

文書番号	標題	年代	形態	数量	内容	備考
1-1	[往來物案文]	年月日未詳	折本	1冊		裏表紙に「中島屋 倉敷村 房蔵・貞蔵 亀田屋」の書付あり
1-2	元治二五年夏 庭訓往來 大橋僊之輔	元治2年	美・豎	1冊		
1-3	五畿内	年月日未詳	美・豎	1冊		裏表紙に「五畿内 大橋千之介」の書付あり
1-4	甲子季秋 消息往來 大橋千之輔	甲子年9月	美・豎	1冊		裏表紙に「消息往來 詩曰君子之道」の書付あり
1-5	人名頭(力)入 大橋正吉	年月日未詳	美・豎	1冊		
1-6	商売往來 大橋正吉	年月日未詳	美・豎	1冊		
1-7	[往來物]	年月日未詳	美・豎	1冊		表紙なし
1-8	用文章 大橋正吉	年月日未詳	美・豎	1冊		
1-9	状の文 大橋慶	年月日未詳	美・豎	1冊		
1-10	寺子教訓書	年月日未詳	美・豎	1冊		
1-11	元治紀元初秋 消生往來 大橋千之助	元治元年	美・豎	1冊		
1-12	[大橋高之宛大橋賢之甫書状]	大正5年9月24日	豎紙	1通	南洋防備隊司令部への着任報告及び当地の状況について	封筒あり(封筒表書)「岡山県備中国倉敷町 大橋高之殿」(封筒裏書)「臨時南洋群島防備隊司令部大橋賢之甫 大正五年九月二四日」刷物
1-13	月刊 農家の友 号外	大正10年1月12日	23.0×32.0	1通		印刷物
1-14	販売米数量調べノ件	大正10年2月1日	豎切紙	1通(2枚)	倉敷町米穀投売防止組合→地主各位	刷物「販売米調書」が折り込まれている
1-15	月刊 農家の友 号外	大正10年1月29日	27.0×19.8	1通		印刷物
1-16	[大橋高之宛岡山県都窪郡倉敷町農会封筒]	年月日未詳		1枚		封筒のみ(封筒表書)「大橋高之殿」(封筒裏書)「岡山県都窪郡倉敷町農会」
1-17	[大橋幹一宛林條三郎はがき]	大正8年4月16日	はがき	1通	臨時株主総会における決議について異議申立の是非をたずねる	
1-18	明治三十七年度税戸数割隨時課税案	明治37年12月24日	豎切紙	1通	倉敷町長植田年より提出	刷物
1-19	[大橋高之宛倉敷町長用状]	大正10年10月24日	豎切紙	1通	伯備線「鉄道用地二関スル件」について役場への出頭依頼	岡山県都窪郡倉敷町役場罫紙使用
1-20	[大橋高之宛津田資郎書状]	大正6年11月10日	20.0×57.0	1通	津田銀行開業挨拶	封筒あり(封筒表書)「都窪郡倉敷町 大橋高之様」(封筒裏書)「岡山市桶屋町一六番ノ一 株式会社津田銀行 頭取津田資郎 電話長一〇〇五番」
1-21	[大橋高之宛福田村外三ヶ町有志者書状]	大正8年8月	18.7×48.0	1通	県会議員改選につき龍治醇氏への尽力依頼	封筒あり(封筒表書)「都窪郡倉敷町大字 大橋高之殿」(封筒裏書)「福田村外三ヶ町有志者 大正八年八月日」
1-22	[大橋高之宛倉敷町有志者書状]	大正5年9月29日	19.5×45.0	1通	県代議士補欠選挙につき山谷虎三氏への投票依頼	封筒あり(封筒表書)「大橋高之殿」(封筒裏書)「倉敷町有志者 大正五年九月二十九日」
1-23	[大橋高之宛星島謹一郎書状]	大正5年10月25日	20.3×58.0	1通	第一審・二審両判決共無罪につき礼状	封筒あり(封筒表書)「都窪郡倉敷町 大橋高之様」(封筒裏書)「岡山県児島郡藤戸町 星島謹一郎」
1-24	昭和拾六年度 小作米納算用帳	昭和16年	美・横長	1冊		
1-25	昭和拾七年度 昭和拾八年度 小作米納算用帳	昭和17年～18年	美・横長	1冊		後に昭和28年～昭和35年の小作料の書付あり
1-26	昭和四年四月 租税県税市町村税上納扣帳	昭和4年4月	美・横長	1冊		
1-27	昭和貳拾壹年度小作米納勘定帳	昭和21年	美・横長	1冊		
1-28	昭和貳拾貳年度 小作米納勘定帳	昭和22年	美・横長	1冊		
1-29	明治四拾年十一月吉日 小作米及代金取立帳	明治40年11月	美・横長	1冊		
1-30	昭和十三年十一月 小作米納算用帳 東大橋	昭和12年11月	美・横長	1冊		
1-31	昭和拾壹年 小作米納算用帳	昭和11年	美・横長	1冊		
1-32	昭和拾年十一月吉日 小作米納算用帳	昭和10年11月	美・横長	1冊		
1-33	天保十一年庚子正月吉日 店売取扣	天保11年	半・横長	1冊		
1-34	[扶持方覚・諸入用控]	文政3年～10年	半・横列	1冊		(裏表紙)「中島屋」
1-35	巳之秋 ともし油 ○金油 瀬戸物 御通 東大橋様 巳之秋 上くわし 塩魚類 八百屋物 御通 東大橋 御氏様 うを屋長十郎	巳年	美・横半折	1冊		
1-36	女子 作文教科書 卷一	大正6年3月25日	22.0×14.8	1冊		印刷物
1-38	[日記]	年月日未詳	美・横列	1冊		
1-39	[覚・記]	子年12月～丑年2月		1巻	代銀書付他	76通の覚・記が1巻にされている
1-40	明治卅貳年十一月吉日 小作米納算用帳	明治32年11月	美・横長	1冊		
1-41	六年四月拾日 大正五年小作米滞扣	大正6年4月10日	半・豎	1冊		罫紙
1-42	明治卅四年十一月吉日 小作米納算用帳	明治34年11月	美・横長	1冊		
1-43	明治三拾五年十一月一日 小作米算用帳	明治35年11月1日	美・横長	1冊		
1-44	明治三拾六年十一月一日 小作米納算用帳	明治36年11月1日	美・横長	1冊		
1-45	明治三拾七年十一月吉日 小作米納算用帳	明治37年11月	美・横長	1冊		
1-46	明治卅八年十一月吉日 小作米納算用帳	明治38年11月	美・横長	1冊		
2-1	奥御祐筆問答屋代太○	年月日未詳	折本	1帖		(表紙上書)「奥御祐筆問答屋代太○」
2-2	[往來物]	年月日未詳	19.0×26.8	1冊		
2-3	[算盤]	年月日未詳	49.7×78.0	1枚		
2-4	[書状]			1包(2通)		2-4-1～2包紙で一包 (包紙上書)「大橋源助様 大橋金平様 川喜左衛門 尊下所用」

2-4-1	[大橋金平宛喜左衛門用状]	年未詳11月22日	横継紙	1通	浜方一件について	(上書)「大橋金平様 川 喜左衛門 尊下内用」
2-4-2	[大橋大人外2名宛河野喜左衛門書状]	年未詳11月22日	横継紙	1通	尋問書差出の役介依頼について詫び	
2-5	[書状類]			1括り(6通1括り 1包1袋1枚1纏め)		2-5-1~11紐で一括り
2-5-1	[書状類]			1纏め(4通)		2-5-1-1~4一纏めにして包紙で一包み (包紙上書)「大橋源介様 河野喜左衛門 急要用」
2-5-1-1	[大橋源介外2名宛河野喜左衛門書状]	年未詳4月29日	横継紙	1通	真島新開場所地直しの様子を承りたい旨 又、中山氏と示談日限について相談したこと	
2-5-1-2	[大橋宛川野喜左衛門追書]	年月日未詳	横切紙	1通	先月29日指出の予定延引	
2-5-1-3	[川野喜左衛門宛大橋金平書状]	年未詳5月3日	横折紙	1通	外出できない旨報知と直島普請について中山氏へも通達するように依頼	縦切紙を横折にしている
2-5-1-4	[用状]	年月日未詳	横切紙	1通	宛名・差出人なし 源介の出違いがあつたら金平・喜久太が取計らうように依頼	
2-5-2	[戌夷屋忠八宛木屋喜四郎・岸田和一郎書状]	年未詳3月28日	横継紙	1通	霊前供物への御礼 又、質物の具足打紙の名前と脇差の銘を書写し差越すように御願ひ	
2-5-3	肥州藩製鳥屋戸	年月日未詳	縦紙	1枚	服用薬説明書	刷物
2-5-4	[御湯之花葉袋]	年月日未詳		1袋		刷物 袋に1服分の包みが入っている 帯封あり
2-5-5	[文介書状案文]	年未詳6月2日	横切紙	1通	預け物売払い代銀について御願ひ	
2-5-6	[書状案文]	年月日未詳	横切紙	1通	詳細の返答依頼	前欠
2-5-7	[書状類]			1包(3通)		2-5-7-1~3包紙で一包 (包紙上書)「備中倉舗にて中島屋源介様 貴下 従備前矢田村小高敬四郎内 西尾松軒 正月廿八日」
2-5-7-1	[大橋金平宛西尾正賢用状]	年月日未詳	縦切紙	1通	手紙受取	
2-5-7-2	[用状]	年月日未詳	横継紙	1通	岡山在現在家下役大森氏方に逗留の報知	
2-5-7-3	[大橋源介宛西尾松軒書状]	年未詳正月5日	横折紙	1通	年始挨拶	
2-5-8	[中島屋宛彦助書状]	年未詳8月1日	横継紙	1通	仕切のために入銀と来訪の依頼	包紙あり(包紙上書)「倉敷井ノ上町中島屋様 ○○中島湊屋彦助 急用事 岡山中ノ町土島様より早々御届可被下候」
2-5-9	[大橋金平宛秋岡衛五郎口上]	年未詳4月7日	横継紙	1通	質地売渡につき貴所と本家で相談依頼	(上書)「大橋金平様 秋岡衛五郎 急用」
2-5-10	[中島屋宛野崎太平次書状]	年未詳7月26日	横継紙	1通	森岡氏質物返済延引の子細につき報知	包紙あり(包紙上書)「中島屋様 野崎太平次 貴下要用」
2-5-11	[書状類]			1括り(仮1冊6通)		2-5-11-1~7紐で一括り
2-5-11-1	[人名書付]	年月日未詳	横切紙	1通	「黒崎代吉」	
2-5-11-2	[金平宛衛五郎書状]	年未詳4月2日	横切紙	1通	田地一条につき本家と相談し調わなかったことについて承知 又、福島へ申しのこと	(上書)「金平様 衛五郎 用要」
2-5-11-3	[大橋宛秋岡口演]	年未詳3月10日	横継紙	1通	田地書抜取寄差上につき相談と他言無用の御願ひ	(上書)「大橋様 秋岡」
2-5-11-4	[大橋金平宛秋岡衛五郎書状]	年未詳4月4日	横継紙	1通	田地書抜差上の件で他所見合の上相談したため都合伺	包紙あり(包紙上書)「大橋金平様 秋岡衛五郎 用事小帳入」
2-5-11-5	[大橋金平宛観音寺寂如書状]	年未詳6月13日	横継紙	1通	福島からの返答延引の詫び	包紙あり(包紙上書)「大橋金平様 従中帯江 観音寺 内要用書」
2-5-11-6	[羽島村並黒崎村分公畝合書付]	年月日未詳	横継紙	1通		
2-5-11-7	[北田分他畝数書付]	年月日未詳	美・横長	仮1冊		
2-6	[大橋金平宛河野喜左衛門書状]	年未詳12月5日	横継紙	1通	痲瘡医師西尾正賢へ長三郎を差し向けた件で当村請込痲瘡人片付け等の子細について報知	包紙あり(包紙上書)「大橋金平様 御要用 河(以下破損)」
2-7	[仮名振語句書付]			1纏め(3通)		2-7-1~3一纏め
2-7-1	[仮名振語句書付]	年月日未詳	横継紙	1通	「多忙」、「閑敷」等	
2-7-2	[仮名振語句書付]	年月日未詳	横折紙	1通	「慇懃」、「適」等	
2-7-3	[仮名振語句書付]	年月日未詳	横切紙	1通	「被想予」、「通伝」、「大抵」等	
2-8	[高(ママ)橋金平宛関原功外3名書状]	年未詳6月6日	横継紙	1通	洪水見舞として白米進上	(上書)「倉敷大橋金平様 大森助介 鈴木孫平次 江木扇介 関原功 白米式係添」
2-9	[中島屋金平宛岡源左衛門書状]	年未詳正月22日	横切紙	1通	年始挨拶及び贈品扇子への御礼	
2-10	[東大橋主人宛郡屋多助書状]	年未詳4月14日	横継紙	1通	御用伺	
2-11	[中島屋金平宛千田金右衛門書状]	年未詳正月22日	横切紙	1通	年始挨拶及び贈品扇子への御礼	
2-12	[大橋金平宛内山新兵衛書状]	年未詳正月16日	横切紙	1通	白魚進上	包紙あり(包紙上書)「大橋金平様 庭瀬内山新兵衛」
2-13	[寛(服部勘之丞分の米高書付)]	年未詳3月20日	横継紙	1通	文介→大い	
2-14	[大橋金平宛小河太郎書状]	年未詳11月8日	横切紙	1通	御見舞として鯉魚進上	
2-15	[大橋尊兄宛大橋〇介書状]	年未詳7月2日	横継紙	1通	入用の件につき依頼	
2-16	[父及金平宛喜久太書状]	年未詳6月2日	横継紙	1通	川中に築堤の一件で喜左衛門・常次郎両人と小津村名主加太郎の掛合につき報知	包紙あり(包紙上書)「備中倉敷大橋源介様 備中尻海河野喜左衛門 乍御役介〇〇様より早便御聞合御達被成候様奉頼候 六月二日認」
2-17	[人別公畝合書付]	年月日未詳	横継紙	1通	「五間樋 公畝合式反八畝廿四歩 小右衛門割」等	
2-18	[書状]			1纏め(2通)		2-18-1は2-18-2を巻き込んでいる
2-18-1	[大橋金平宛喜左衛門用状]	年未詳11月21日	横継紙	1通	喜久太帰路の節に絵図を差遣すこと	(上書)「大橋金平様 尻海〇 喜左衛門 急要用尊下」
2-18-2	[大橋金平宛河野喜左衛門書状]	年未詳11月20日	横継紙	1通	大干潟の場所について居合が困難につき、海上絵図を遣したいが村入用出来のため延引のこと	包紙あり(包紙上書)「大橋金平様 河野喜左衛門 貴下要用」
2-19	[大橋金平宛同徳蔵書状]	年未詳8月1日	横継紙	1通	猪飼先生への入塾の許可願ひ	封筒あり(封筒上書)「大橋金平様 自糸崎 大橋徳蔵 奉復」
2-20	[書状]	年月未詳6日	横継紙	1通	周平昨日罷越し貴家へ廻ること等	
2-21	[大橋喜久太宛尻海喜左衛門書状]	年未詳7月28日	横継紙	1通	牛窓村と戦出来一件につき報知	封筒あり(封筒上書)「大橋喜久太様 尻海喜左衛門 用書」
2-22	塩浜壱軒分年中釜焼寛	年月日未詳	横折紙	1通	年中出来塩及び諸入用書付	

2-23	[五月廿九日書状写]	年未詳5月29日	横折紙	1通	加州米等相替につき勘定	
2-24	天保四巳五月廿可指別前樋塩浜方間合覚書	天保4年5月20日	半・横長	仮1冊		
2-25	[寒中及び暑中見舞添状案文]	年月日未詳	横折紙	1通	大橋亀次郎→(宛名なし)	
2-26	[今川状]	年月日未詳	縦継紙	1通		破損
2-27	[印章]	年月日未詳		1本		袋入り
2-28	[印章]	年月日未詳		1本		
2-29	[印章]	年月日未詳		2本		袋入り
2-30	[印章]	年月日未詳		1本		
2-31	[砂石]	年月日未詳		1包(2包)		2つに分けて包紙で包んでいる(外包紙上書)「労石 文政十三年大橋氏」
2-32	[算木箱]	年月日未詳		1箱	黒の算木98個 赤の算木97個 基石5個 印章2個	(箱裏書)「富春館家蔵」
2-33	[羅紗]	年月日未詳		2切		口上書の反故紙を包紙にしている
2-34	[岡源左衛門書状]	年未詳2月22日	横切紙	1通	贈品扇子への御礼	
2-35	[千田金石衛門書状]	年月日未詳	横切紙	1通	年始挨拶と贈品扇子への御礼	
3-1	児島神社創建方法稟告	明治17年	半・縦	1冊		刷物
3-2	[金平宛久右衛門口上]			1包(2通)		3-2-1~2包紙に一包(包紙上書)「金平様 久右衛門 会所より」
3-2-1	[金平宛久右衛門口上]	年月日未詳	横継紙	1通	月番役の入用立替の件につき相談	(上書)「金平様 久右衛門」
3-2-2	[金平宛久右衛門口上]	年月未詳2日	横継紙	1通	月番立替ものについて	(上書)「金平様 久右衛門」
3-3	送り状之事(写)	文政11年7月14日	横継紙	1通	藤沢弥九平、大原太郎右馬様元々の中間としての江戸表用向済につき国元への送り状 大坂町惣代小林孫兵衛→摂州西成郡北野村より備中国倉敷船倉辻村々衆之役人中	虫損
3-4	[大橋金平宛守永友太郎他1名書状]	年未詳3月7日	横継紙	1通	贈答の魚に対する御礼	封筒あり(封筒上書)「大橋金平様 守永友太郎 奉復」
3-5	[袋]	年月日未詳		1枚		(上書)「金 古城権太郎」
3-6	[用状]	年月未詳22日	横切紙	1通	西摺山の分袂者相談一件	
3-7	[代金書付]			1纏め(2通)		3-7-1~2一纏め
3-7-1	[野菜代金等書付]	年月日未詳	横切紙	1通		
3-7-2	記(ままかり等魚代金書付)	年月日未詳	横切紙	1通		
3-8	修営大全	年月日未詳	半・縦	1冊	家相の指南本写	
3-9	千秋月令 選方名鑑 全	天保3年8月	38.0×50.0	1枚	平安藤村南峯信安著述	刷物
3-10	本令的殺	年月日未詳	折本	1冊	九星占いの解説書写	
3-11	[九星占い文言書付]			1纏め(2通)		3-11-1~2一纏め
3-11-1	[九星占い文言書付]	年月日未詳	横切紙	1通		
3-11-2	[九星占い文言書付]	年月日未詳	横継紙	1通		
3-12	年的殺	年月日未詳	縦切紙	1枚	倉舗本町清泉堂施印の九星占い	刷物
3-13	極秘九紫三白并五善吉宿之伝	年月日未詳	縦紙	1枚	九星占いの図表	
3-14	[辰年分人別吉方位書付]	年月日未詳	横継紙	1通		
3-15	[包紙]	年月日未詳		1枚		虫損(上書)「大橋金平」
3-16	[戻証券]			1袋(15通3枚)		3-16-1~18一袋(袋上書)「戻証券在裡」
3-16-1	借用証券	明治13年11月	縦継紙	1通	借主大橋秀太郎・証判大橋俊太郎→林源十郎 金200円	
3-16-2	[封筒]	卯年12月		1枚		(上書)「借用証券 卯十二月切 大橋秀太郎」
3-16-3	記(地代受取)	明治13年10月31日	横切紙	1通	東大橋→富賀廉太郎 金175円	
3-16-4	記(所有地売渡定訳金受取)	明治13年1月26日	横継紙	1通	倉敷東大橋→富賀廉太郎 金130円	
3-16-5	預之証	明治13年8月18日	縦紙	1通	借主大橋秀太郎→木村光太郎 金100円	封筒あり(封筒上書)「木村大人尊〇 大橋俊太郎 証書在裡」 罫紙
3-16-6	証(米借用)	明治13年1月23日	横継紙	1通	東新宅→本家	押印部切取り
3-16-7	金子預り証券	明治17年1月1日	縦継紙	1通	預り主大橋秀太郎→大橋良平 金380円	朱書で反故にしている 封筒あり(封筒上書)「預り証券 大橋秀太郎 207」
3-16-8	借用証券	明治12年9月17日	縦紙	1通	負借主大橋秀太郎・証人大橋俊太郎→御取次木村光太郎 金200円	押印部切取り
3-16-9	記(中畝米売渡代金受取)	明治12年12月11日	横切紙	1通	東大橋→中畝村杉原善吉 金70円	墨書で反故にしている
3-16-10	預券	明治12年9月1日	縦紙	1通	窪屋郡倉敷村大橋秀太郎→児島郡天城村井上信一郎 金300円	墨書で反故にしている
3-16-11	預り之証	明治12年8月18日	縦切紙	1通	大橋秀太郎→安田木造 金200円	墨書で反故にしている
3-16-12	義倉金預り証文之事	明治11年9月7日	縦継紙	1通	預り主大橋秀太郎・証人大橋長蔵→義倉幹事 金100円	(裏書)「返済」
3-16-13	[包紙]	年月日未詳		1枚		(上書)「預金之証」
3-16-14	[包紙]	年月日未詳		1枚		(上書)「預券」
3-16-15	講金預り証券	明治12年11月28日	縦継紙	1通	預り主大橋秀太郎→講主亡三宅又二・勘定御引受植田鶴三郎・同大橋長蔵 金148円16銭7厘	(裏書)「反故」
3-16-16	預証券	明治11年10月19日	縦切紙	1通	大橋秀太郎→安田木造	墨書で反故にしている(裏書)「明治十二年十一月廿四日済」
3-16-17	預之券	明治11年9月1日	縦切紙	1通	大橋秀太郎→木村和吉 金100円	利足書付の附紙あり(裏書)「明治十二年十二月返却」
3-16-18	耕地売渡定約二付入金受取証	明治13年1月14日	縦継紙	1通	窪屋郡倉敷村大橋秀太郎→児島郡玉島村富賀廉太郎	墨書で反故にしている
3-17	[図表下書]	年月日未詳	横折紙	1枚		「天」の文字と罫線のみ
3-18	渡丁場野取帳	年月日未詳	半・横半折	1冊		

3-19	天保開堀所切上ヶ用水井路仕立	年月日未詳	半・横長	仮1冊		
3-20	[田地書抜]			1包(2通)		3-20-1~2包紙で一包(包紙上書)「田地書抜」
3-20-1	田地書抜	未年2月	横継紙	1通	興除新田中疇の田地について	
3-20-2	田地書抜	未年2月	横継紙	1通	興除新田中疇の田地について	
3-21	[手形類]			1包(4通)		3-21-1~4包紙で一包(包紙上書)「証券 二通 金〇百円也〇」
3-21-1	午十二月計算	午年12月	横継紙	1通	〇田孫太郎・内藤順蔵貸付戻り金の算用	
3-21-2	[利子金算用書付]	午年1月3日	横切紙	1通	高田謙三郎へ渡す	
3-21-3	記(末広講増揃金等遣し)	明治14年12月24日	横切紙	1通	大橋長蔵→大橋俊太郎	
3-21-4	[東大橋宛和泉屋能造口上]	年月日未詳23日	横切紙	1通	平田氏からの証書を請求	
3-22	[出銀算用書付]			1括り(仮2冊)		3-22-1~2紐で一括り
3-22-1	[出銀算用書付]	年月日未詳	美・横長	仮1冊		
3-22-2	[出銀算用書付]	年月日未詳	美・横長	仮1冊		
3-23	[図表下書]	年月日未詳	横折紙	1枚		罫線のみ
3-24	記(表地等贈品添状)	年月日未詳	横継紙	1通	不明→土屋御祖父他3名	
3-25	[中島屋金平宛徳田作右衛門書状]	年未詳12月23日	横継紙	1通	寒中見舞と袖の御礼	包紙あり(包紙上書)「戌十二月 中島屋金平様 徳田作右衛門」
3-26	[大島井田井塩浜関係書類]			1包(1括り仮1冊1枚)		3-26-1~3包紙で一包(包紙上書)「酉年大島塩浜井田井塩浜書類入」
3-26-1	[書付類]			1括り(6通)		3-26-1-1~6紐で一括り
3-26-1-1	覚(竈屋等間数書付)	年月日未詳	横折紙	1通		
3-26-1-2	[当季入用書付]	年月日未詳	横切紙	1通	広湯16軒之内2軒分	
3-26-1-3	覚(入用銀勘定)	年月日未詳	横継紙	1通		(端裏書)「仕出之書」
3-26-1-4	覚(広湯浜加地子等書付)	酉年11月	横切紙	1通	直島扇屋→東大橋主人	
3-26-1-5	粒江村之内亥角西分	年月日未詳	横切紙	1通	畝数并物成等書上	
3-26-1-6	田井村広湯浜荒見取図	年月日未詳	27.8×40.5	1通	地子銀引上げのため天保11年開発当年までの次第を示す	
3-26-2	[塩浜新開地下絵図]	年月日未詳	29.2×37.4	1枚		
3-26-3	大島中新開塩浜追普請諸入用荒積り見込おぼえ	年月日未詳	美・堅	仮1冊		覚が1通挟み込まれている
3-27	[小歌帖]	年月日未詳	半・横長	1冊		(表書)「よし子の」
3-28	[井手向川田之上建家等質地書付]	未年12月	横折紙	1通	内田屋佐忠次他2名→児島屋和吉 他2件	
3-29	[阿知庄井手端畑等質地書付]	弘化4年12月	横折紙	1通	吉定蔵→ス情左衛門 他2件	
3-30	[本町北側水夫屋敷他質地書付]	年月日未詳	横折紙	1通	光右衛門他2名→橋本屋善吉	
3-31	[井手端畑等質地書付]	弘化4年12月	横折紙	1通	〇崎屋三右衛門他1名→清左衛門 他2件	
3-32	[大橋金平宛用右衛門用状]	年未詳12月6日	横継紙	1通	金子借用依頼	(上書)「大橋金平様 用右衛門 御用書」
3-33	[書付類]			1括り(3通)		3-33-1~3紐で一括り
3-33-1	会所寄会図	年月日未詳	横切紙	1通	1、5、15、20、25日の朝四ツ時より出勤のこと	
3-33-2	月番頭	年月日未詳	横切紙	1通	正月紋右衛門 二月金平 三月尚介 四月勇三郎 五月大橋平	
3-33-3	[触書控]	成年11月22日	横継紙	1通	右衛門 六月光右衛門	
3-34	[歌書付]	年月日未詳	堅切紙	1通	一位様墓去につき鳴物停止	
3-35	[書付類]			1括り(5通)		3-35-1~5紐で一括り
3-35-1	[人別献数書付]	年月日未詳	横切紙	1通		
3-35-2	[用状]	年月日未詳	横継紙	1通	堤敷の割賦について不承知の申し出	
3-35-3	記(金銭請取)	年未詳5月3日	横切紙	1通	銭屋保三郎→大森	
3-35-4	記(明金代金受取)	年未詳7月1日	横切紙	1通	窪三亀→大橋	
3-35-5	差入申一札之事	年月日未詳	横継紙	1通	金蔵宛金子借用証文の雛形	
3-36	[直島塩浜関係書付類]			1括り(6通2枚)		3-36-1~8紐で一括り
3-36-1	[地割図]	年月日未詳	28.0×38.0	1枚		
3-36-2	[地割図]	年月日未詳	28.5×38.0	1枚		
3-36-3	[年貢塩書付]	年月日未詳	横継紙	1通	「高巻石二付式斗五升入六俵六歩五厘」	3-36-5の附紙外れ力
3-36-4	[年貢塩算用書付]	申年	横継紙	1通	直島塩浜音抜七番井八番分	附紙2枚あり
3-36-5	浜かた覚	年月日未詳	横継紙	1通	汐水取場の釜焚賃など	
3-36-6	塩浜書抜	申年	横継紙	1通	直島塩浜七番井八番分の年貢塩算用	附紙1枚あり
3-36-7	覚(年貢塩算用書付)	酉年10月	横継紙	1通	七番井八番釜釜家分	
3-36-8	[浜子人足賃書付]	年月日未詳	横継紙	1通		前欠
3-37	[書状]			1括り(2通)		3-37-1~2紐で一括り
3-37-1	[大橋金平宛内山利兵衛書状]	成年12月22日	横継紙	1通	寒中見舞として白魚進上	包紙あり(包紙上書)「戌十二月 中島屋金平様 内山新兵衛 貴下」
3-37-2	[大橋金平宛関原功他3名書状]	成年12月22日	横継紙	1通	寒中見舞として白魚進上	包紙あり(包紙上書)「戌十二月 大橋金平様 沢田多治右衛門 関原功」
3-38	[利銀勘定書付類]			1纏め(4通)		3-38-1~4一纏め
3-38-1	覚(年別利銀勘定)	年月日未詳	横継紙	1通		
3-38-2	[書付]	年月日未詳	横切紙	1通	「の」の文の列記	右上部が切り取られている
3-38-3	[年別利銀勘定書付]	年月日未詳	横継紙	1通		
3-38-4	覚(年別利銀勘定)	嘉永元年12月	横継紙	1通	倉敷中島屋金平→荒尾了三様御用人中	

3-39	[大橋金平宛観龍寺書状]	年未詳9月18日	横継紙	1通	依頼の賢父病平癒等の祈念を行うこと 又、貴君や徳蔵の妙見宮登山参詣への礼	包紙あり(包紙上書)「大橋金平様 観龍寺 ○○貴○ 御一覽後御火中被下候以上」
3-40	[地割図]			1包(1舗2枚)		3-40-1~3包紙で一包 包紙上に破損の紐あり
3-40-1	[地割図]	年月日未詳	47.5×34.5	1舗	小作人秀蔵預款2反9畝他	
3-40-2	[地割図]	年月日未詳	24.0×17.2	1枚	小作人加須山彦右衛門 預款1反5畝15分	
3-40-3	[地割図]	年月日未詳	24.0×34.3	1枚	小作人重右衛門 預款3反8畝	
3-41	[証書類]			1括り(3通)		3-41-1~3組で一括り
3-41-1	質入申田地証文之事	弘化3年12月	縦継紙	1通	質主川入村孫右衛門・親類同村伊八・証人同村久次郎→倉敷中島屋源介	
3-41-2	[質入申田地証文之事]	弘化4年12月	縦継紙	1通	質主八王寺村還右衛門・親類判株親同村伝助・証人川入村嘉吉他1名→倉敷村中島屋源介	
3-41-3	[内山宛中島屋金平追書]	年未詳6月22日	横切紙	1通	贈品の砂糖への添状	
3-42	議定	未年12月	縦切紙	1通	御恵浜七番八番の当作仕事加地子と常蔵より借用の浜道具について 直島扇屋元太郎→(宛名なし)	
3-43	[社長宛西大寺店五蔵書状]	年未詳5月16日	横継紙	1通	脇差し等送付につき受取願ひ	
3-44	安政二乙卯年小作米請取通	安政2年	横継紙	1通	倉敷東大橋→川入孫右衛門 他7件	押印部切取り 後欠
3-45	[借用証文]			1括り(8通)		3-45-1~8組で一括り
3-45-1	借用申銀子証文之事	年月日未詳	縦切紙	1通	銀2貫目	後欠
3-45-2	借用申銀札証文之事	安政2年4月	縦継紙	1通	借用主西原村嘉右衛門・証人同村利七→倉敷村大橋源助 銀札234匁2分	
3-45-3	[人別借用銀札書付]	年月日未詳	横折紙	1通	銀札49匁8分4厘 鶴新田鶴松 他5件	
3-45-4	[金子借用証文]	嘉永7年12月	縦継紙	1通	質主八王寺村還右衛門・親類判株親同村伝助・証人川入村嘉吉他1名→倉敷○○ 金514両	前後欠
3-45-5	覚(質入証文)	嘉永7年12月	横継紙	1通	八王寺村還右衛門・親類判株親同村伝助→御名主川入村惣五郎	
3-45-6	差入申添証文之事	嘉永7年12月	縦継紙	1通	質主八王寺村還右衛門・親類判株親同村伝助・証人川入村嘉吉他1名→倉敷村中島屋源介 金97両永440文	
3-45-7	借用申銀札証文之事	安政2年4月	縦継紙	1通	借用主鶴新田村虎吉・証人西原村利七→倉敷村大橋源介 銀札277匁2分	
3-45-8	借用申銀札証文之事	安政2年4月	縦継紙	1通	借用主西原村役之介・証人同村利七→倉敷村大橋源助 銀札594匁	
3-46	嘉永五壬子年小作米請取通	嘉永5年~7年	横継紙	1通	倉敷中島屋→乙しま富七 他25件	押印部切取り 前後欠
3-47	[厚紙]	年月日未詳		1包(18枚)		布紐1本包紙入り
3-48	[借用証書類]			1括り(1纏め1通2枚)		3-48-1~4組で一括り 紐破損のためSILティッシュで包む
3-48-1	[白紙]	年月日未詳	横切紙	1枚		
3-48-2	[借用証書類]			1纏め(14通)		3-48-2-1~14一纏め
3-48-2-1	[銀借用証文雛形]	嘉永7年10月	縦継紙	1通	誰→中島屋金平	前欠
3-48-2-2	借用申金子証文之事	年月日未詳	縦切紙	1通	金150両	後欠
3-48-2-3	借用申金子借用証文之事	年月日未詳	縦切紙	1通	金150両	後欠
3-48-2-4	[銀借用証文]	年月日未詳	縦切紙	1通	銀札3貫目	前後欠
3-48-2-5	[金子借用証文]	年月日未詳	縦切紙	1通	金150両	前後欠
3-48-2-6	覚(畑質入証)	年月日未詳	縦切紙	1通		後欠
3-48-2-7	[金子借用証文]	年月日未詳	縦切紙	1通	新宅→宛名不明 金150両	前後欠
3-48-2-8	[金子借用証文]	嘉永7年12月	縦継紙	1通	新宅→宛名不明 金150両	前後欠
3-48-2-9	[金子借用証文]	嘉永7年10月13日	縦切紙	1通	中島屋亀次郎→宛名不明	前後欠
3-48-2-10	[金子借用証文]	嘉永7年12月	縦継紙	1通	中島屋亀次郎→宛名不明	前後欠
3-48-2-11	[金子借用証文]	年月日未詳	縦切紙	1通	金450両	後欠
3-48-2-12	借用申金子証文之事	年月日未詳	縦切紙	1通	金450両	後欠
3-48-2-13	借用申金子証文之事	年月日未詳	縦切紙	1通	金150両	後欠
3-48-2-14	借用申金子証文之事	年月日未詳	縦継紙	1通	金150両	後欠
3-48-3	[白紙]	年月日未詳	縦継紙	1枚		
3-48-4	[宛名書]	年月日未詳	縦切紙	1通	安田七左衛門他5名	前欠
3-49	[大橋金平宛勝院書状]	年未詳12月	横継紙	1通	菓子贈答への御礼	包紙あり(包紙上書)「大橋金平様 観龍寺 貴○」
3-50	[のし袋]	年月日未詳		1纏め(2枚)		
3-51	[宛名手習い書付]	年月日未詳	横切紙	1通		
3-52	[大橋宛土屋書状]	年未詳4月21日	横継紙	1通	人足数につき御尋ね	
3-53	[大橋金平宛尊瀧書状]	年未詳6月1日	横継紙	1通	宮様の令旨披露につき来訪願ひ	包紙あり(包紙上書)「大橋金平様 尊瀧院」
3-54	[封筒]	年月日未詳		1枚		(上書)「大橋俊太郎様 御同秀太郎様 ○下 吉沢長左衛門」 3-55-1~2包紙で一包 (包紙上書)「大橋金平様 待史 鴨井耕太郎」
3-55	[書状]			1包(2通)		
3-55-1	[大橋父上宛同亀二郎書状]	年未詳3月8日	横切紙	1通	明日妹尾へ出かけるため袴と手笠の借用願ひ	(上書)「大橋父上様 待史 同亀二郎」
3-55-2	[大橋金平宛鴨井耕太郎書状]	年未詳3月9日	横継紙	1通	紅魚送付に対し御礼	
3-56	[車人足数等書付]	年月日未詳	横継紙	1通		
3-57	[代銀書付]	年月日未詳		1括り(5通)		3-57-1~5組で一括り
3-57-1	覚(こんふ代銀書付)	申年7月	横切紙	1通	かつらや弥平→東大橋	

3-57-2	覚(札取替銀書付)	申年7月	横切紙	1通	うおや長十郎→阿知町中島屋	
3-57-3	覚(当前×銀書付)	申年7月	横切紙	1通	うおや長十郎→角中島屋	
3-57-4	覚(砂糖代銀書付)	申年7月	横継紙	1通	原→かど中島屋	
3-57-5	覚(辰年×代銀書付)	申年7月	横切紙	1通	中屋平造→かど大橋	
3-58	[小歌書付]	年月日未詳	横継紙	1通		
3-59	取あつめ あづまうちちふ伝	年月日未詳	美・横半折	1冊		
3-60	[大橋金平宛三宅源左衛門書状]	年未詳3月25日	横継紙	1通	菓子贈答への御礼	封筒あり(封筒上書)「大橋金平様 貴館 三宅源左衛門」(封筒裏書)「三月廿五日 松田屋より」
3-61	嘉永七甲寅年見取米請取通	嘉永7年	横継紙	1通	倉敷中島屋→青木仙蔵 他38件	押印部切取り 前欠
3-62	[書状類]			1括り(4通)		3-62-1~4紐で一括り
3-62-1	覚(卯年振込銀請取)	辰年正月4日	横継紙	1通	源介→文右衛門	
3-62-2	[大橋源介宛大崎猪兵衛書状]	年未詳12月18日	横継紙	1通	当年振入銀指引の証文遣し	包紙あり(包紙上書)「大橋源介様 大島猪兵衛 用書」
3-62-3	[大橋金平宛堀和助書状]	年未詳8月16日	横継紙	1通	湯治より帰宅後不快と聞き、御見舞い	包紙あり(包紙上書)「倉敷大橋金平様 玉案下 惣社堀和助」
3-62-4	[大橋源介宛占見新田村名主慎治郎書状]	年未詳正月29日	横継紙	1通	延引中の年賦払入銀遣し	包紙あり(包紙上書)「倉敷大橋源介様 占見新田村名主慎治郎 要用書」
3-63	[大橋源介宛大島猪兵衛書状]	辰年12月	横継紙	1通	年賦銀遣し	包紙あり(包紙上書)「大橋源介様 大島猪兵衛 用事銀子添」
3-64	[大橋金平宛丹右衛門書状]	年未詳11月	横切紙	1通	庭瀬講舎へ遣した代人が原元次郎書状等を届けてくれたことへの御礼	封筒あり(封筒上書)「大橋金平様 貴下 小野丹右衛門」
3-65	[林醇平・木村光太郎宛井上住一郎用状]	年未詳4月22日	横切紙	1通	本日午後出車の依頼	封筒あり(封筒上書)「林醇平様 木村光太郎様 井上住一 急用」
3-66	[書状]			1纏め(2通)		3-66-1~2一纏め
3-66-1	[名越宛しまや用状]	年未詳12月6日	横切紙	1通	無心の件につき依頼	
3-66-2	[名越宛しまや用状]	年未詳12月6日	横切紙	1通	風邪が治り次第伺う旨	
3-67	[小作米請取通類]			1括り(9通1纏め)		3-67-1~10紐で一括り 紐破損のためSILティッシュで包む
3-67-1	[大橋金平宛鴨井耕太郎書状]	年未詳3月16日	横継紙	1通	初鯛贈答に対する御礼	
3-67-2	弘化四丁未小作米請取通	弘化4年	横継紙	1通	倉敷中島屋→鶴新田周平	
3-67-3	弘化四丁未小作米請取通	弘化4年	横切紙	1通	倉敷中島屋→西之浦権作	
3-67-4	弘化四丁未小作米請取通	弘化4年	横切紙	1通	倉敷中島屋→鶴新田宅次郎	
3-67-5	弘化四丁未小作米請取通	弘化4年	横切紙	1通	倉敷中島屋→鶴新田弥吉	
3-67-6	弘化四丁未小作米請取通	弘化4年	横切紙	1通	倉敷中島屋→柏島伊勢吉	
3-67-7	弘化四丁未小作米請取通	弘化4年	横切紙	1通	倉敷中島屋→乙島半九郎	
3-67-8	弘化四丁未小作米請取通	弘化4年	横切紙	1通	倉敷中島屋→鶴新田与茂蔵	
3-67-9	[小作米請取通]	年月日未詳	横切紙	1通	中島屋→鶴新田周平	前欠
3-67-10	[白紙]	年月日未詳		1纏め(6枚)		
3-68	[書状]			1包(2通)		3-68-1~2包紙で一包 (包紙上書)「中島屋大橋金平様 塩田善三郎 用事」
3-68-1	[中島屋金平宛塩田善三郎書状]	年未詳正月7日	横継紙	1通	年始挨拶	
3-68-2	[金平宛善三郎書状]	年未詳正月7日	横継紙	1通	近日中に訪問する旨	
3-69	[達書類]			1括り(2通)		3-61-1~2紐で一括り
3-69-1	[達書]	申年7月15日	縦継紙	1通	倉敷御役所→備中国窪屋郡倉敷村外六ヶ村 備前備中国諸家の銀札引替相場で両替のこと	
3-69-2	[達書添状]	年未詳10月25日	横継紙	1通	年貢銀等につき備前備中両国とも相場にて引替の旨倉敷并郡中惣代へ仰渡される	
3-70	[金平宛右衛門兵衛書状]	年未詳4月19日	横継紙	1通	先日訪問できなかった件の詫び	(端裏書)「金平様」 封筒あり(封筒上書)「中島屋金平様 小堀右衛門兵衛」
3-71	[証文案文]			1括り(1纏め1通)		3-71-1~2紐で一括り
3-71-1	[証文案文]			1纏め(2通)		3-71-1-1~2一纏め
3-71-1-1	譲渡申新開場反別之事(案文)	年月日未詳	縦継紙	1通	御新開請負人政五郎→(宛名なし)	
3-71-1-2	売渡申新開場反別之事(案文)	年月日未詳	縦継紙	1通	御新開請負人政五郎・開発方引受野崎武左衛門→(宛名なし)	
3-71-2	替地約定証文之事(案文)	年月日未詳	縦切紙	1通		
3-72	[小歌帖]	年月日未詳	美・横半折	仮1冊		
3-73	[書状案文類]			1括り(1通2枚)		3-73-1~3紐で一括り
3-73-1	[附紙]	年月日未詳	縦切紙	1枚		白紙
3-73-2	[神崎宛大橋金平書状案文]	年月日未詳	横切紙	1通	明日出向くようにとの案内に対し、徳蔵と参らせる旨の返答	嘉永三年蔵米切手預り証の反故紙
3-73-3	[戊十二月廿日改天保悪水所見取図]	戊年12月20日	28.5×39.0	1枚	おくノ政平、大さき長市の預畝側の悪水	
3-74	[小切手綴]	文化6年~天保4年		1綴(13枚)		横切紙を貼り付けて綴っている 焼損
3-75	初相場	寅年正月5日	横切紙	1纏め(3枚)	米麦等相場書付 不明→板屋定八他	焼損
3-76	[断簡類]	年月日未詳		1纏め		
4-1	弘化三年丙午正月吉日 日記	弘化3年	美・横列	1冊		(裏表紙)「大福入 中島屋 源介」
4-2	弘化四年丁未九月吉日 控帳	弘化4年	美・横列	1冊		(裏表紙)「大福入 中島屋 金平」
4-3	弘化二乙巳年十一月吉日 岡山控日記	弘化2年	美・横列	1冊		(裏表紙)「東大橋」
4-4	明治七甲戌年三月十三日ヨリ同十四辛巳年迄 小作米取立場帳	明治7年~14年	美・横長	1冊		(裏表紙)「東大橋」

5-1	[月番書類]	弘化4年		1括り(1冊4通2括り2包1纏め)		5-1-1~10紙綴りで一括り 5-1-2~10が5-1-1で巻かれて紙綴りで括られている 紙綴りに「弘化四丁未年役向書類」とあり (箱5の蓋内書)「大橋亀次郎」
5-1-1	弘化四丁未年五月 月番諸願留	弘化4年5月	半・横長	1冊		
5-1-2	[助右衛門他6名宛月番金平廻状]	未(弘化4)年6月	横継紙	1通	向市場徳松女房離縁願他	包紙あり(包紙上書)「廻状 月番金平」
5-1-3	[小間物代銀滞り一件書類]	弘化4年		1括り(2通1包)		5-1-3-1~3紙綴りで一括り
5-1-3-1	[倉敷御年寄月番金平宛西坂名主金次郎書状]	年未詳6月晦日	横継紙	1通	貴御村義八より当村喜兵衛へかかる小間物代銀滞り一件につき済方依頼承知のこと	包紙あり 来信の包紙を転用している (包紙上書)「倉敷御年寄月番金平様 西坂名主金次郎 役用答」
5-1-3-2	[西坂御名主金次郎宛倉敷年寄月番金平宛書状]	年未詳6月10日	横継紙	1通	小間物代銀滞り一件につき済方依頼	包紙あり(包紙上書)「西坂御名主金次郎様 倉敷年寄月番金平 役用書」
5-1-3-3	[小間物代銀滞り一件関係書類]	弘化4年6月		1包(2通)		包紙あり(包紙上書)「上」 5-1-3-3-1に5-1-3-3-2が折り込まれていた
5-1-3-3-1	以書付御願申上候	弘化4年6月	縦継紙	1通	倉敷村大工屋義八→西坂名主金次郎 当村百姓喜兵衛にかかると小間物代銀滞り一件について	(奥書)義八→村役人中 付紙あり
5-1-3-3-2	覚(売却代銀書付)	弘化4年6月	縦継紙	1通	倉敷大工屋義八→(宛名なし) 吉田屋喜兵衛へ売物代銀辻、 ノ七百九十九分四厘	
5-1-4	[貸銀返済差繰れ一件書類]	(弘化4年)		1包(3通)		5-1-4-1~3一包 包紙あり(包紙上書)「願人 文介」 包紙が紙綴りで括られている (貼紙)「此節之懸合状并返書共二通西七月四日広江屋之方入用候由申出二付大黒屋甚介へ相渡候」
5-1-4-1	以書付御願申上候	弘化4年6月	縦継紙	1通	願人大黒屋文介→備前岡山野田屋町名主長左衛門・忠右衛門 当町北方屋惣介と貸銀返済差繰れ一件について	(奥書)文介→倉敷村役人中
5-1-4-2	借用申銀子証文之事	天保10年12月	縦切紙	1通	借主北方屋惣介→備中倉敷大黒屋文介 文銀三貫目、壹ヶ月 壹歩利足の証文写し	
5-1-4-3	覚(取替銀元利書付)	未(弘化4)年6月	横切紙	1通	大黒屋文介→岡山野田屋町名主長左衛門・忠右衛門	
5-1-5	[津山御蔵米買請差繰一件書類]			1括り(5通)		5-1-5-1~5紙綴り一括り
5-1-5-1	[備中倉敷村金平宛備前赤坂郡惣分村名主伴蔵書状]	弘化4年6月3日	横継紙	1通	倉敷村山手屋増次郎と惣分村藤屋五左衛門倅千代次の津山御蔵米買請差繰内済の報知	包紙あり(包紙上書)「備中倉敷村金平様 備前赤坂郡惣分村下分名主伴蔵」
5-1-5-2	[備前赤坂郡惣分村名主広蔵宛備中倉敷村年寄月番金平書状案文]	年未詳5月21日	横継紙	1通	津山御蔵米買請差繰につき済方の依頼案文	
5-1-5-3	覚(津山御蔵米売渡証)	弘化4年5月4日	縦切紙	1通	藤屋五左衛門→山手屋増次郎・取次万俵屋岩吉	
5-1-5-4	[助右衛門他5名宛金平・文平廻状]	(弘化4)年5月20日	横継紙	1通	山手屋増次郎一件につき添状を遣わす是非についての廻状	
5-1-5-5	以書附御願申上候	弘化4年5月	縦継紙	1通	備中国窪屋郡倉敷村山手屋増次郎→備前国赤坂郡惣分村名主広蔵 千代次に約定通り御蔵米を渡すよう仰付けてほしいとの願状	(奥書)山手屋増次郎→倉敷村役人中
5-1-6	[肥物代并取替銀滞一件書類]			1纏め(1通1纏め)		5-1-6-1に5-1-6-2が巻き込まれている
5-1-6-1	以書付御願申上候	弘化4年4月	縦継紙	1通	吉右衛門病氣二付親類清右衛門→浜村庄屋留五郎・松助 茶屋吉右衛門・浜村万作に取替銀并肥物代滞り一件について	(奥書)清右衛門→村役人中 (端裏書)「茶屋吉右衛門願書」
5-1-6-2	[肥物代并取替銀滞り一件書類]	未(弘化4)年		1纏め(2通)		5-1-6-2-1に5-1-6-2-2が折り込まれている
5-1-6-2-1	[浜村庄屋留太郎・松助宛倉敷年寄月番金平書状]	(弘化4)年	横切紙	1通	肥物代并取替銀滞り一件済方の依頼	付紙あり
5-1-6-2-2	覚(代銀及び元利書上)	未(弘化4)年5月15日	横継紙	1通	茶屋吉右衛門→はま村万作 ほしか代・たねかず代他	
5-1-7	御請書之事	未(弘化4)年5月21日	縦継紙	1通	五八他6名→村役人中 川浚人足・日数御請の事	
5-1-8	以書附御届申上候	弘化4年5月	縦紙	1通	沢嶋屋藤吉他5名→村役人中 藤島屋藤吉家内一同児島郡小川村藤三郎方へ引越しにつき願い	包紙あり(包紙上書)「御届ヶ書 沢嶋屋役蔵届書壹通」 付紙あり
5-1-9	以書付御届申上候	弘化4年5月	縦紙	1通	引形新調ン付届書 和泉屋藤右衛門→村役人中	
5-1-10	[千蔵仁三郎代銀滞り一件書類]			1包(3通)		5-1-10-1~3一包 包紙あり(包紙上書)「上 願人 千蔵」
5-1-10-1	差出申済方証文之事	未(弘化4)年7月	縦継紙	1通	千蔵他5人→村役人中 東町千蔵より船倉仁三郎へ掛る生魚代銀滞り一件について	
5-1-10-2	以書付御願申上候	弘化4年6月	縦継紙	1通	千蔵・組合伝蔵→村役人中 東町千蔵より船倉仁三郎にかかる生魚代銀滞り一件について	
5-1-10-3	覚(銀高書上)	未(弘化4)年6月	縦切紙	1通	東町千蔵→(宛名なし)	
5-2	覚(目録)	年月日未詳	横継紙	1通	一白袖 壹端 御祖母様他	包紙あり(包紙上書)「覚書」
5-3	嘉永元戊申 御神事行列	嘉永元年	美・横長	1冊	当申当番大工屋儀八他9名	包紙あり(包紙上書)「上 行列帳 あわや房右衛門」
5-4	[屏風代銀滞一件書類]			1括り(3通)		5-4-1~3紙綴りで一括り
5-4-1	[某書状]	年月日未詳	縦継紙	1通	新五郎より卯三郎へ掛る屏風代銀滞につき早々支払う様申付置いたところ、卯三郎出奔の知らせにつき以後善処方依頼	
5-4-2	[某書状]	年月日未詳	横継紙	1通	屏風代滞り一件の当村卯三郎出奔の知らせ	
5-4-3	[倉敷村庄屋丈助宛上船尾村庄屋八右衛門・同岡次郎書状]	年未詳10月23日	横継紙	1通	屏風代銀滞りにつき取計らい依頼	包紙あり(包紙上書)「倉敷村御庄屋丈助様 上船尾村庄屋岡次郎 同八右衛門 役用」
5-5	[取替銀滞り一件書類]			1括り(2通)		5-5-1~2紙綴りで一括り
5-5-1	[年寄月番金平宛古鉄屋長左衛門・八幡屋忠左衛門書状]	未年6月12日	横継紙	1通	北方屋惣介へ大黒屋文介よりの取替銀滞り一件について	包紙あり(包紙上書)「倉敷御年寄月番金平様 野田屋町名主古鉄屋長左衛門 同八幡屋忠左衛門 役用貴答 自岡山備中迄」

5-5-2	[岡山野田屋町名主古金屋長左衛門・八幡屋忠左衛門宛倉敷年寄月番金平書状]	年未詳6月6日	横継紙	1通	大黒屋文助より北方屋惣介へ掛る貸銀滞り一件について取計依頼	
5-6	[役用書類]			1括り(6通)		5-6-1~6紙綴りで一括り
5-6-1	乍恐以書付御届奉申上候	年月日未詳	竖継紙	1通	辰次郎幼年二付代兼親類竹五郎→倉敷御役所 倉敷村無高百姓辰次郎姉みわ・りゑ、借金相嵩み難義のため出奔届出	
5-6-2	差出申御預証文之事	未(弘化4)年6月13日	横切紙	1通	右村役人惣代→倉敷→辰次郎姉りへ吟味中手鎖村預の証文案文	
5-6-3	口演	年未詳6月26日	横継紙	1通	金平・文平→助右衛門他5名 新内町金蔵兄筆吉困入についての考えを尋ねる廻状	
5-6-4	乍恐御尋二付始末奉申上候	年月日未詳	竖継紙	1通	倉敷村古金買喜蔵、児島郡八浜村にて喧嘩の始末案文	
5-6-5	覚(人足書付)	未(弘化4)年6月11日	横継紙	1通	藤方彦市郎手代松井孝三郎→倉敷村他3ヶ村庄屋年寄中 倉敷より笠岡帰陣につき人足書付	
5-6-6	[大坂三郷御払者生死取調書]	弘化4年4月29日	半・竖	4丁	右村年寄金平・庄屋助勤丈平→奉行所	
5-7	[案書類]			1袋(3通)		5-7-1~3一袋(封筒上書)「案文三通 倉敷村」
5-7-1	宗門放手形之事	年月日未詳	竖紙	1通	雛形	宛先に「地藏院」の貼紙あり
5-7-2	送り手形之事	年月日未詳	竖紙	1通	雛形	宛名に「年寄金平」「庄屋丹右衛門 助右衛門 年寄月番大橋平右衛門」の貼紙あり
5-7-3	宗門請状之事	年月日未詳	竖紙	1通	雛形	宛名に「金平」「庄屋丹右衛門 助右衛門 年寄月番大橋平右衛門」の貼紙あり
5-8	[氏神祭礼関係書類]			1括り(2通)		5-8-1~2紙綴りで一括り
5-8-1	芸檀尻之先規二随ひ候上者 俄之内手踊有之分左之通建場	丙午年8月	横継紙	1通		
5-8-2	[氏神祭礼時刻嚴重取計の事]	丙午年8月	横継紙	1通		
5-9	[御用書類]			1括り(5通)		5-9-1~5紙綴りで一括り 紙綴りが切れていたためSILティッシュで括る
5-9-1	差出申請取書之事	嘉永元年11月15日	竖継紙	1通	組合惣代安兵衛・佐吉→村役人中 上之町まち死去につき死場入用丁錢三貫文受取	
5-9-2	覚(屏風壺双買取証書)	申(嘉永元)年10月12日	横切紙	1通	有城屋卯三郎→久見屋新五郎	
5-9-3	[酉年七月分町役錢不納分書上]	年月日未詳	横継紙	1通	午七郎他合計20人分	
5-9-4	[大橋金平宛小野樹太郎・田辺政太郎書状]	年未詳8月23日	横継紙	1通	亀之丞後家ちよ取替銀滞り一件内済につき礼状	包紙あり(包紙上書)「倉敷村御年寄大橋金平様 長尾村庄屋小野樹太郎・同田辺政太郎 役用書」
5-9-5	覚(預米等算用書)	申(嘉永元)年正月27日	横継紙	1通	加茂屋金蔵・船倉松兵衛作り→(宛名なし)	包紙あり(包紙上書)「正月廿七日算用書 願人加茂屋金蔵」
5-10	覚(受取証)	年月日未詳	横継紙	1通	岡山野田屋町名主古鉄屋長左衛門・同八幡屋忠左衛門→備中倉敷御年寄金平 北方屋惣介に掛る書状壺通受取	包紙あり(包紙上書)「倉敷御年寄金平様 岡山野田屋町名主古鉄屋長左衛門 御状受取在中」(包紙裏書)「備中迄」
5-11	[弘化二巳年役向書類]	弘化2年		1括り(1冊5通1包1括り)		5-11-1~8紙綴りで一括り 紙綴りに「弘化二巳年役向書類」とあり
5-11-1	[丹右衛門他7名宛月番金平廻状]	巳(弘化2)年6月	横継紙	1通	備前国児島郡曾原村庄兵衛倅柳吉養子引受願他	包紙あり(包紙上書)「廻状 月番金平」
5-11-2	[役用書付]	(弘化2年)	横継紙	1通	児島郡曾原村庄兵衛倅柳吉養子引受願他	
5-11-3	[大橋宛源十郎口上]	年未詳6月16日	横継紙	1通	案文認め持たせるとのこと	
5-11-4	以書付御届申上候	巳(弘化2)年6月	竖切紙	1通	大阪屋源十郎→村役人中 津山眼医高原謙蔵を招き沢屋善齋方に留め置き治療を頼むことについての届	包紙あり(包紙上書)「上」
5-11-5	[人別送り手形]			1括り(2通)		5-11-5-1~2紙綴りで一括り 紙綴りに「此分願人幸助持参候付己前之書類故不用分」とあり
5-11-5-1	一札之事	文化13年正月	竖切紙	1通	摂州西成郡難波村栄町会所→役人中 淡路屋源助娘きのの人別送り	
5-11-5-2	宗旨送り手形之事	文化12年正月	竖切紙	1通	大福院他3ヶ寺→備中国窪屋郡倉敷観龍寺 淡路屋源助娘きぬ芳野屋太助倅幸助方へ縁付のため	
5-11-6	[水沢常太郎・植田武右衛門宛丹右衛門他6名口上]	年未詳6月25日	横継紙	1通	豆腐値上げの件	
5-11-7	[豆腐値上げ一件書類]			1包(2通)		5-11-7-1~2一包 包紙あり(包紙上書)「上」
5-11-7-1	覚(算用書)	弘化2年6月	竖紙	1通	惣兵衛・曾吉・三吉→村役人中 豆腐・油揚の生産費及び算用、値上げ願いのため、豆腐1丁22文うり、油揚1切8文うり	
5-11-7-2	覚(算用書)	弘化2年6月	横切紙	1通	豆腐・油揚の生産費及び利の算用 豆腐1丁20文うり、湯揚1切7文うり	
5-11-8	巳年五月より おほへ	巳(弘化2)年	美・横長	1冊	年寄月番役用留書	
5-12	[弘化三年役間書類]			1括り(1纏め1冊11通)		5-12-1~13紙綴りで一括り 紙綴りに「弘化三丙午年役間書類」とあり
5-12-1	弘化三丙午年三月 月番諸願留	弘化3年3月	半・横長	1冊		
5-12-2	[丹右衛門他7名宛月番金平廻状]	午(弘化3)年3月	横継紙	1通	新川町弥兵妹とよを戸川内蔵助様御知行所、都宇郡早島前瀧村助四郎倅久五郎妻に遣す件他	包紙あり(包紙上書)「廻状 月番金平」
5-12-3	[丹右衛門他7名宛月番金平廻状]	午(弘化3)年8月	横継紙	1通	御崎金石衛門徒弟みゑ龜山村清蔵妻に遣す件他	包紙あり(包紙上書)「廻状 月番金平」
5-12-4	[倉敷村役人中宛撫川村大庄屋太田健治郎書状]	年未詳8月11日	横継紙	1通	加茂屋金蔵・取組一件について	包紙あり(包紙上書)「倉敷村御村役人中様 撫川村大庄屋太田健治郎 貴下急用書」
5-12-5	[丹右衛門他7名宛金平廻状]	年未詳9月20日	横継紙	1通	御崎仁太郎娘より願出の件について急々相談申し上げたく会所へ出勤を願う	



5-12-6	[出銀覚書類]			1纏め(2通)		5-12-6-1～2一纏め 5-12-6-1に5-12-6-2が巻き込まれている
5-12-6-1	覚(酒樽代銀勘定書)	午年8月	横継紙	1通	下津井屋俵左衛門→(宛名なし)	
5-12-6-2	覚(酒樽代銀勘定書)	午年8月	横継紙	1通	俵左衛門→(宛名なし)	
5-12-7	[丹右衛門他7名宛金平廻状]	年未詳3月	横継紙	1通	東町庄兵衛役介人和五郎離縁のこと他	
5-12-8	[金平宛丹右衛門書状]	年未詳3月1日	横切紙	1通	才吉の儀については下拙留主中につき廣江屋と相談の上取計をたのむ	来信の包紙を再利用している 包紙あり(包紙上書)「金平様 丹右衛門 貴下」
5-12-9	[某書状案文]	年月日未詳	横切紙	1通	新川金屋幸吉謹慎赦免についての相談	
5-12-10	[願書]	午(弘化3)年3月22日	横切紙	1通	西之浦伊三郎姉のぶを御崎徳蔵役介人に引受願ひ	
5-12-11	覚(銀子引替願)	午年8月5日	堅切紙	1通	都屋清左衛門→倉敷村役人中	包紙あり(包紙上書)「上」
5-12-12	[備中倉鋪川西町役人中宛備前御野郡南方村名主円次郎書状]	年未詳3月8日	横継紙	1通	浜田屋金兵衛が旅中病気になったため、迎えを求める 同国同所本栄寺→国々所御関所御役人衆中 周造一千ヶ寺参詣の為	包紙あり(包紙上書)「備中倉鋪川西町御役人中様 備前御野郡南方村名主円次郎」
5-12-13	往来一札之事	弘化3年正月	堅紙	1通		(奥書)倉鋪村庄屋丹右衛門 包紙あり(包紙上書)「一札」
5-13	[新川町組妙見宮祭礼入用関係書類]			1袋(3通)		5-13-1～3一袋 (袋上書)「新川町組妙見宮祭礼入用勘定帳 写し 井口銭寄高控外二小書付写し 寺通当番口ひかへ右之外下帳面先組頭妹尾屋江預置有之所同家二而紛失之由二而御座候事 天保十一年八月組頭東中島屋」
5-13-1	新川町妙見宮祭礼入用勘定帳写	文政13年8月～嘉永5年8月13日	横継紙	1通	文政13年8月から嘉永5年8月13日までが書かれている	
5-13-2	新川町分 天保十一年祭礼勘定尻覚	天保12年8月	横切紙	1通		
5-13-3	覚(入用割付銀書付)	年月日未詳	横切紙	1通		
5-14	[野田屋町貸銀に関する書付]			1括り(2包)		5-14-1～2紙綴りで一括り
5-14-1	[文介の貸銀に関する書付]			1包(2通)		5-14-1-1～2一包 包紙あり(包紙上書)「御月番年寄金平様 名主古鉄屋長左衛門 同八幡屋忠右衛門 役用」(包紙裏書)「倉敷迄岡山野田屋町より」
5-14-1-1	覚(頼状及び申出之書付受取)	申(嘉永元)年6月21日	横切紙	1通	岡山野田屋町名主古鉄屋長左衛門・八幡屋忠右衛門→倉敷月番年寄金平	
5-14-1-2	[岡山野田屋町名主忠右衛門・同長左衛門宛倉敷村年寄月番金平書状]	申(嘉永元)年6月16日	横折紙	1通	大黒屋文介より北方屋宗介に掛る貸銀一件についての相対済方の取計依頼	
5-14-2	[文介の貸銀に関する書付]			1包(2通)		5-14-2-1～2一包 包紙あり(包紙上書)「書付 倉敷村文介」
5-14-2-1	以書付御願申上候	申(嘉永元)年6月	堅継紙	1通	倉敷村文介→岡山野田屋町名主忠右衛門・長左衛門 北方屋惣介へ掛る貸銀一件取計願ひ	
5-14-2-2	以書付御願申上候	年月日未詳	堅折紙	1通	倉敷村文介→岡山野田屋町名主忠右衛門・同長左衛門 北方屋宗介へ掛る貸銀一件取計願ひ	
5-15	[長尾村亀之丞後家ちよより当村御崎音吉へ相掛取替銀一件済方書類]			1袋(2通1包)		5-15-1～3一袋 5-15-1～3まで紙綴りで括られて袋に入っている 袋あり(袋上書)「長尾村亀之丞後家ちよより 当村御崎音吉へ相掛取替銀一件 済方書類入」
5-15-1	[倉鋪村役人中宛長尾村庄屋小野樹太郎・同断田辺政太郎書状]			1包(2通)		5-15-1-1～2一包 包紙あり(包紙上書)「倉鋪村御役人中様 長尾村庄屋小野樹太郎 同断田辺政太郎 役用書」
5-15-1-1	覚(取替銀算用書)	嘉永元年6月	横折紙	1通	長尾村亀之丞後家ちよ→倉敷音吉 証人同所安兵衛	
5-15-1-2	[倉敷村役人中宛長尾村庄屋田辺政太郎・同断小野樹太郎書状]	(嘉永元)年6月21日	横継紙	1通	御崎音吉と前神町亀之丞後家ちよの取替金返済をめぐる出入りについて取計依頼	
5-15-2	[長尾村庄屋政太郎・同断樹太郎宛倉敷村年寄月番金平書状案文]	(嘉永元)年6月28日	横切紙	1通	長尾村亀之丞後家ちよ取替銀一件について	貼紙で訂正してある
5-15-3	差出申済方証文之事	嘉永元年6月28日	堅継紙	1通	亀之丞後家ちよ外6名→倉敷村役人中 借銀返済方法について内済のこと	
5-16	以書付御願申上候	嘉永元年6月	堅継紙	1通	母とら・組合惣代吉右衛門→村役人中 母登羅より家出をして行方不明となった倅相続人仙次郎と兄清之介の久離勘当願ひ	袋あり(袋上書)「東町吉見屋登らより同人倅相続人仙次郎并兄清之介両人共不心行二付久離勘当願出候」
5-17	[沖村平八への貸銀滞一件書類]			1袋(3通1纏め)		5-17-1～4一袋 5-17-1～4まで包紙に包まれて袋に入っている 袋あり(袋上書)「向市場長浜屋五郎介より沖村平八江貸銀滞一件願出候二付 同村庄屋時之介二添状いたし置候」
5-17-1	以書附御願申上候	嘉永元年6月	堅継紙	1通	願人倉敷村五郎助→沖村庄屋時之助 沖村百姓平八借銀返済延引について	(奥書)願人五郎助→村役人中
5-17-2	覚(元利算用書)	申(嘉永元)年6月	堅紙	1通	倉敷村五郎助→(宛名なし)	
5-17-3	質入申田地之事	弘化4年5月	堅継紙	1通	沖村質主平八他3名→倉敷五郎介 金四拾両の質、上田寺反六畝七歩他2筆	(奥書)右村庄屋時之介
5-17-4	[質入田地関係書類]			1纏め(2通)		5-17-4-1～2一纏め 5-17-4-1に5-17-4-2が折り込まれている
5-17-4-1	質入申田地之事	弘化4年8月	堅継紙	1通	沖村質主平八・同証人桑蔵→浅尾屋五郎助 銀札四百五拾目の質、上田三畝四歩	(奥書)右村後見年寄漁蔵・同庄屋時之介
5-17-4-2	覚(小作書付)	年月日未詳	横切紙	1通	小作人三右衛門→(宛名なし)	
5-18	嘉永六丑年七月 町役銀揃帳 新川町	嘉永6年7月	美・横長	1冊		
5-19	[町役錢揃帳]			1纏め(2冊)		5-19-1と5-19-2の2冊を重ねて二ツ折
5-19-1	弘化三年午年七月 町役錢揃帳 新川町	弘化3年7月	美・横長	1冊		
5-19-2	弘化三年午十二月 町役錢揃帳 新川町	弘化3年12月	美・横長	1冊		
5-20	[町役錢関係]			1纏め(1冊仮1冊)		5-20-1～2一纏め 5-20-1に5-20-2が折り込まれている

5-20-1	嘉永二酉年十二月 町役錢揃帳 新川町	嘉永2年12月	美・横長	1冊		
5-20-2	酉十二月町役錢不納之分	酉(嘉永2)年12月	美・横長	仮1冊		
5-21	弘化四年未十二月 町役錢揃帳 新川町	弘化4年12月	美・横長	1冊		
5-22	嘉永五年子十二月 町役銀揃帳 新川町	嘉永5年12月	美・横長	1冊		
5-23	弘化四年未七月 町役錢揃帳 新川町	弘化4年7月	美・横長	1冊		
5-24	嘉永元年申十二月 町役錢揃帳 新川町	嘉永元年12月	美・横長	1冊		
5-25	嘉永二酉年七月 町役錢揃帳 新川町	嘉永2年7月	美・横長	1冊		
6-1	[凶事関係書類]			1袋(2括り1通1纏め)		6-1-1~4一袋(袋上書)「天保二辛卯年口月十一日 凶事書類入」
6-1-1	[葬式関係書状一括]			1括り(2括り8通1纏め1枚)		6-1-1-1~12紙綴りで一括り
6-1-1-1	[大橋源介宛書状]			1括り(2通)		6-1-1-1-1~2紙紐で一括り
6-1-1-1-1	[大橋源介宛福島春作書状]	年未詳10月13日	横継紙	1通	忌中謝儀受取御礼	包紙あり(包紙上書)「大橋源介様 福島春作 奉復」
6-1-1-1-2	[大橋源介宛小河古策書状]	年未詳10月13日	横継紙	1通	謝義の南鐙一封受取御礼	包紙あり(包紙上書)「大橋老人 古策」
6-1-1-2	[大橋源介宛高戸元徴書状]	年未詳10月12日	横継紙	1通	菓子料として南鐙一封をもらったことへの礼	包紙あり(包紙上書)「大橋源介様 高戸元徴 奉復」
6-1-1-3	[大橋源助宛淀屋為助書状]	年月日未詳		1通		未開封(上書)「大橋源助様 淀屋為助 貴下急用書」
6-1-1-4	[献立他一括]			1括り(3通1纏め)		6-1-1-4-1~4紙紐で一括り
6-1-1-4-1	献立	年月日未詳	横継紙	1通		
6-1-1-4-2	[役割人名書付]	年月日未詳	横継紙	1通		
6-1-1-4-3	[金銭算用書]			1纏め(2通)		6-1-1-4-3-1に6-1-1-4-3-2が巻き込まれている
6-1-1-4-3-1	[代銀算用書]	年月日未詳	横継紙	1通	ふきん・青物代他	
6-1-1-4-3-2	[金銭算用書]	年月日未詳	横継紙	1通		
6-1-1-4-4	[十月十日夕・十月十九日夕案内の名簿]	年月日未詳	横継紙	1通(2枚)		
6-1-1-5	[大橋源助他2名宛片山善右衛門書状]	年未詳10月9日	横折紙	1通(2枚)	御老人死去への悔状及び菓子と香進呈のこと	包紙あり(包紙上書)「大橋源助様 片山善右衛門 机下」
6-1-1-6	[引受人名書付及び献立]			1纏め(2通)		6-1-1-6-1に6-1-1-6-2が巻き込まれている
6-1-1-6-1	[引受人名書付]	年月日未詳	横切紙	1通	料理方、悔受、野場引受他	
6-1-1-6-2	献立	年月日未詳	横継紙	1通		
6-1-1-7	[大橋源介宛田中右内書状]	年未詳10月9日	縦紙	1通	御尊母様御死去につき、菓子進上のこと	(上書)「大橋源介様 田中右内 貴下」
6-1-1-8	[大橋源介宛三島民之丞書状]	年未詳10月9日	横継紙	1通	霊前への供物として餅進呈のこと	
6-1-1-9	[大橋源介・大橋金平宛宮道次書状]	年未詳10月8日	横切紙	1通	お供え物送付のこと	包紙あり(包紙上書)「大橋源介様 大橋金平様 宮道次」
6-1-1-10	[大橋源助宛来光院口上]	年未詳10月8日	横切紙	1通	お供え物として饅頭を送ったこと	
6-1-1-11	[大橋源介宛尊瀧院書状]	年未詳10月8日	横折紙	1通	御老母様死去のお悔み及び供物進呈のこと	包紙あり(包紙上書)「大橋源介様 尊瀧院」
6-1-1-12	[包紙]	年月日未詳		1枚	包紙のみ	(上書)「大橋源助様 来光院 貴下」
6-1-2	覚(伊部瓶壺本代受取他)	卯年10月	横継紙	1通(44枚)		44枚が綴がれている 紙綴りで結ばれている 全体をSILティッシュで包んだ
6-1-3	[帳簿類]			1括り(3纏め5冊仮10冊1通)		6-1-3-1~19紙綴りで一括り
6-1-3-1	[買物帳]			1纏め(仮3冊)		6-1-3-1-1~3まで重ねて一纏め
6-1-3-1-1	買物帳 三冊之内 井上町 中嶋屋	年月日未詳	美・横長	仮1冊		
6-1-3-1-2	買物帳 三冊之内 井上町 中嶋屋	年月日未詳	美・横長	仮1冊		
6-1-3-1-3	勝手方買物帳 三冊之内 井上町 中嶋屋	年月日未詳	美・横長	仮1冊		
6-1-3-2	天保二辛卯十月十一日 凶事払帳 中嶋屋	天保2年10月11日	美・横長	1冊		
6-1-3-3	音物帳	年月日未詳	美・横長	仮1冊		
6-1-3-4	[町名・人名書付]	年月日未詳	横折紙	1通(3枚)		SILティッシュで包む「通」の表紙を転用
6-1-3-5	悔帳	年月日未詳	美・横長	仮1冊		
6-1-3-6	卯八月より 御病中 御食餌覚	年月日未詳	美・横半折	1冊		
6-1-3-7	諸方人足帳	年月日未詳	美・横長	仮1冊		
6-1-3-8	前夕かり葬之節野辺帳	年月日未詳	美・横長	仮1冊		
6-1-3-9	[野辺帳]			1纏め(仮2冊)		6-1-3-9-1~2まで重ねて一纏め
6-1-3-9-1	野辺帳	年月日未詳	美・横長	仮1冊		
6-1-3-9-2	野辺帳	年月日未詳	美・横長	仮1冊		
6-1-3-10	[役帳]			1纏め(仮1冊1通)		6-1-3-10-2に6-1-3-10-1がはさまれてニツ折
6-1-3-10-1	[人名書付]	年月日未詳	横折紙	1通(2枚)		
6-1-3-10-2	役帳	年月日未詳	美・横長	仮1冊		
6-1-3-11	書出帳 三次郎	年月日未詳	半・横長	仮1冊		
6-1-3-12	かんきん扣 十月七日夕	年未詳10月7日	半・横長	仮1冊		
6-1-3-13	[働人氏名扣]	年月日未詳	美・横半折	1冊		
6-1-3-14	五月梅長居扣	年月日未詳	美・横長	仮1冊		
6-1-3-15	十月七日 もとし物扣	年未詳10月7日	美・横長	仮1冊		
6-1-3-16	諸事扣	年月日未詳	美・横半	仮1冊		
6-1-3-17	卯十月五日 山御入用材木通 新屋卯之介 中嶋屋様	卯年10月5日	美・横長	仮1冊		
6-1-3-18	書出帳	年月日未詳	半・横長	1冊		

6-1-3-19	卯七月より御病中御見舞人々	卯年7月	美・横長	1冊		(裏表紙)「卯十月迄」「卯の年御通 いわし屋源七郎」を転用している
6-1-4	[葬式役付書付]			1纏め(2通)		6-1-4-1に6-1-4-2が巻き込まれている
6-1-4-1	松風了聴清信女葬式役付	年月日未詳	横継紙	1通		
6-1-4-2	[葬式役付書付]	年月日未詳	横切紙	1通	幟・花籠・腰折・六合・御経役の人名書付	
6-2	[諦観玄応居士凶事関係書類]			1袋(1通1括り)		6-2-1~2一袋(袋上書)「慶応元乙丑年閏五月晦日 諦観玄応居士様 凶事書類入」
6-2-1	覚(代銀書上他)	丑年6月2日~6日	横継紙	1通(56枚)		
6-2-2	[凶事関係書類]			1括り(仮5冊2纏め1冊4通)		6-2-2-1~12紙綴りで一括り
6-2-2-1	[大橋家内中宛高取利助書状]	年未詳6月8日	横継紙	1通	良介様死去に付き見舞状	包紙あり(包紙上書)「大橋秀太郎様 高取利助」
6-2-2-2	[良介不幸之砌御供礼状案文]	年月日未詳	横継紙	1通		
6-2-2-3	[良介死去之砌御供礼状案文]	年月日未詳	横継紙	1通		
6-2-2-4	[葬儀役付書上]	年月日未詳	横切紙	1通	旗・花籠・腰折・六合・経他	
6-2-2-5	六月朔日夜 野辺帳	年未詳6月1日	美・横長	1冊		
6-2-2-6	[野辺帳]			1纏め(3冊)		6-2-2-6-1~3まで二ツ折にして一纏め
6-2-2-6-1	丑六月二日 野辺帳	丑年6月2日	美・横長	1冊		
6-2-2-6-2	丑六月二日 野辺帳	丑年6月2日	美・横長	1冊		
6-2-2-6-3	丑六月二日 野辺帳	丑年6月2日	美・横長	1冊		
6-2-2-7	[買物帳]			1纏め(仮3冊)		6-2-2-7-1~3まで二ツ折にして一纏め
6-2-2-7-1	閏五月 買物帳 三冊之内壱 東大橋	年未詳閏5月	美・横長	仮1冊		
6-2-2-7-2	閏五月 買物帳 三冊之内弐 東大橋	年未詳閏5月	美・横長	仮1冊		
6-2-2-7-3	閏五月 買物帳 三冊之内三 東大橋	年未詳閏5月	美・横長	仮1冊		
6-2-2-8	六月六日 七日払 東大橋	年未詳6月6日~22日	美・横長	仮1冊	山崎屋芳右衛門他への支払	
6-2-2-9	七日払拾上 わけや升造	年月未詳7日	美・横長	仮1冊		
6-2-2-10	人足日嘉恵	年月日未詳	美・横長	仮1冊		(挟み込み文書あり) 人数及び賃銀書上げの文書2枚が挟み込まれている
6-2-2-11	閏五月晦日 悔帳	年未詳閏5月晦日	美・横長	仮1冊		
6-2-2-12	[葬式役付書付]	年月日未詳	美・横長	仮1冊		
6-3	[葬儀入用書付類]			1括り(1冊2通2纏め1丁仮2冊)		6-3-1~8紙綴りで一括り
6-3-1	[献立]	年月日未詳	横継紙	1通		
6-3-2	[御齋書付・覚他]			1纏め(仮1冊1通1括り1纏め)		6-3-2-1に6-3-2-2~4がはさまれ二ツ折になっている 纏めの為SILティッシュで包む
6-3-2-1	払帳 井上町 中島屋	年月日未詳	美・横長	仮1冊		
6-3-2-2	[廿一日晩案内先書付]	年月日未詳	横継紙	1通		
6-3-2-3	[御齋]			1纏め(2通)		6-3-2-3-1~2まで重ねて一纏め
6-3-2-3-1	廿二日御齋	年月日未詳	横切紙	1通	献立書付	
6-3-2-3-2	[御齋]	年月日未詳	横切紙	1通	廿一日献立書付	
6-3-2-4	[覚]			1括り(12通)		6-3-2-4-1~12紙紐で一括り
6-3-2-4-1	覚(野菜代銀書付)	辰年9月	横継紙	1通	まつはや友介→井ノ上町中島屋	
6-3-2-4-2	覚(代銀書付)	辰年9月22日	横切紙	1通	長尾屋弥七→中島屋新宅	
6-3-2-4-3	覚(四寸釘代等書付)	年未詳9月22日	横継紙	1通	大黒屋文助→新宅	
6-3-2-4-4	覚(むしろ代銀書付)	年未詳9月	横継紙	1通	今福屋→中島屋	
6-3-2-4-5	覚(こんにやく他代銀書付)	年未詳9月22日	横継紙	1通	うを屋七太郎→中島屋新宅	
6-3-2-4-6	覚(材木代銀書付)	年月日未詳	横継紙	1通	新や卯之介→井ノ上町中島屋	
6-3-2-4-7	覚(杓等代銀書付)	年未詳9月22日	横継紙	1通	福岡屋勘二郎→中島屋新宅	
6-3-2-4-8	覚(材木代銀書付)	辰年9月22日	横切紙	1通	新屋卯之助→井ノ上町中島屋	
6-3-2-4-9	覚(桶等代銀書付)	辰年9月	横切紙	1通	たるや岩吉→新宅中島屋	
6-3-2-4-10	覚(あげ等代銀書付)	辰年9月22日	横継紙	1通	中村や喜助→中島屋新宅	
6-3-2-4-11	覚(かま等代銀書付)	年未詳9月22日	横切紙	1通	わけ屋→中島屋新宅	
6-3-2-4-12	覚(柿等代銀書付)	辰年9月23日	横切紙	1通	いわしや源七郎→中島屋新宅	墨書で反故にしている
6-3-3	[買物帳]			1纏め(仮2冊)		6-3-3-1~2まで重ねて二ツ折
6-3-3-1	辰九月十八日 買物帳 弐冊之内 井上町 中島屋	辰年9月18日	美・横長	仮1冊		
6-3-3-2	辰九月十八日 買物帳 弐冊之内 井上町 中島屋	辰年9月18日	美・横長	仮1冊		
6-3-4	[白紙]	年月日未詳	美・横長	1冊		白紙の美濃紙が3枚
6-3-5	九月十八日 働方おほへ	年未詳9月18日	横折紙	1通		
6-3-6	役帳	年月日未詳	横折紙	1丁		綴じ跡あり
6-3-7	[十八日晚より夜分詰書付]	年月日未詳	半・横長	仮1冊		
6-3-8	九月十八日夜八時 野辺帳	年未詳9月18日	美・横長	仮1冊		
6-4	[野辺帳]			1括り(仮2冊1纏め)		6-4-1~3紙綴りで一括り
6-4-1	嘉永六丑年四月十七日 悔帳	嘉永6年4月17日	美・横長	仮1冊		
6-4-2	四月十八日夕 仮葬之節 野辺帳	年未詳4月18日	美・横長	仮1冊		

6-4-3	[野辺帳]			1纏め(仮2冊)		6-4-3-1~2まで重ねて四ツ折
6-4-3-1	野辺帳	年月日未詳	美・横長	仮1冊		
6-4-3-2	野辺帳	年月日未詳	美・横長	仮1冊		
6-5	[心荘宜體大姉凶事関係書類]			1袋(1冊3通1包4纏め仮3冊)		6-5-1~12一袋(袋上書)「明治四辛未年五月廿五日 心荘宜體大姉様 凶事書類入」袋破損のためSILティッシュで包む
6-5-1	[野辺帳]			1纏め(2冊)		6-5-1-1~2まで重ねて一纏め
6-5-1-1	野辺帳	年月日未詳	美・横長	1冊		
6-5-1-2	野辺帳	年月日未詳	美・横長	1冊		
6-5-2	野辺帳	年月日未詳	美・横長	1冊		
6-5-3	[仮葬野辺帳]			1纏め(仮2冊)		6-5-3-1~2まで重ねて四ツ折
6-5-3-1	仮葬野辺帳	年月日未詳	美・横長	仮1冊		
6-5-3-2	明治四未六月廿六日夕 仮葬野辺帳	明治4年6月26日	美・横長	仮1冊		
6-5-4	明治四辛未六月廿五日 買物帳 東大橋			1纏め(仮3冊)		6-5-4-1~3まで重ねて二ツ折
6-5-4-1	明治四辛未六月廿五日 買物帳 三冊之内壹番 東大橋	明治4年6月25日	美・横長	仮1冊		
6-5-4-2	明治四辛未六月廿五日 買物帳 三冊之内貳番 東大橋	明治4年6月25日	美・横長	仮1冊		
6-5-4-3	明治四辛未六月廿五日 買物帳 三冊之内参番 東大橋	明治4年6月25日	美・横長	仮1冊		
6-5-5	七日払拾上	年月日未詳	美・横長	仮1冊		
6-5-6	七日払帳	年月日未詳	美・横長	仮1冊		
6-5-7	記(齋米として玄米三俵の受取)	明治10年12月28日	横切紙	1通	仁井谷高恭→東大橋 地藏院住職兼務	
6-5-8	[書状一括]			1包(7通)		6-5-8-1~7一包(包紙上書)「倉子城 大橋英太郎様 岡山平井清一郎」
6-5-8-1	[大橋徳蔵・長之丞宛片山歳吉書状]	年未詳7月2日	横折紙	1通	伯母様死去につき御悔み	
6-5-8-2	[大橋徳蔵・秀太郎宛菅波常三郎・衆五郎書状]	年未詳8月12日	横継紙	1通	老父看病のため法要に行けない旨の御詫び	
6-5-8-3	[大橋繁太郎宛近藤廉造書状]	年未詳7月20日	横折紙	1通	御祖母様霊前への香並びに菓子進呈添状	
6-5-8-4	[大橋徳蔵・長之丞宛大森真吉書状]	年未詳6月29日	横折紙	1通	祖母様死去につき御悔み	
6-5-8-5	[大橋徳蔵宛菅梅太郎書状]	年未詳6月26日	横折紙	1通	老母様死去につき霊前への粗菓進呈添状	
6-5-8-6	[大橋英太郎宛平井清一郎・好太郎書状]	年未詳7月5日	横折紙	1通	御老人様霊前への菓子及び灯籠進呈添状	
6-5-8-7	[大橋徳蔵・長之丞・秀太郎宛大森藤次郎書状]	年未詳7月6日	横継紙	1通	初盆への灯籠并御香進呈添状	
6-5-9	[屋号及び氏名書上]	年月日未詳	美・横切横半折	仮1冊		
6-5-10	[屋号及び氏名書上]	年月日未詳	縦紙	1通		
6-5-11	[役帳及び七日払注文扣]			1纏め(仮1冊1丁)		6-5-11-1~2まで重ねて二ツ折
6-5-11-1	役帳	年月日未詳	横折紙	1丁	屋号及び氏名書付	
6-5-11-2	七日払注文扣	年月日未詳	半・横長	仮1冊		
6-5-12	覚(代銀書上他)	未年7月2日	横継紙	1通(41枚)		41枚が継がれている
6-6	[清容智妍大姉凶事書類]			1袋(1袋1綴1纏め5冊1通)		6-6-1~9一袋(袋上書)「明治十二己卯年七月廿二日 則旧曆六月三日ナリ 清容智妍大姉 凶事書類入」
6-6-1	[仮葬式関係書類]			1袋(2冊6通1枚1纏め仮1冊1括り)		6-6-1-1~12一袋(袋上書)「清容智妍大姉 仮葬式書類」
6-6-1-1	記(金銭書付)	年未詳7月22日	横継紙	1通	林源十郎→大橋長蔵	
6-6-1-2	[金封受取書付]	年未詳7月28日	横切紙	1通	高橋→(宛名なし)	
6-6-1-3	[墓地絵図]	年月日未詳	横切紙	1枚		
6-6-1-4	記(診察料等受取)	年未詳7月28日	横切紙	1通	神埼愿堂→東大橋	
6-6-1-5	[大橋俊太郎・秀太郎宛片山親吉書状]	年未詳7月22日	横切紙	1通	心底に任せず、書中を以ってお悔み申し上げ候事	
6-6-1-6	[吐瀉物汲除賞銭受取書]	明治12年7月22日	横切紙	1通	長山→東大橋	
6-6-1-7	[買物帳]			1纏め(2冊)		6-6-1-7-1~2まで重ねて二ツ折
6-6-1-7-1	十二年七月廿一日 壹番買物帳	明治12年7月21日	美・横半折	1冊		(裏表紙)「東大橋」
6-6-1-7-2	十二年七月廿一日 貳番買物帳	明治12年7月21日	美・横半折	1冊		(裏表紙)「東大橋」
6-6-1-8	[大橋俊太郎宛井上信一郎書状]	年未詳7月29日	横継紙	1通	悔みと霊前への供物進呈	封筒あり(封筒上書)「大橋俊太郎様 井上信一郎」
6-6-1-9	[金銭書付]			1括り(3通)		6-6-1-9-1~3紙綴りで一括り
6-6-1-9-1	覚(ごんにやく代書付)	年未詳6月9日	横切紙	1通	米屋治之吉→東大橋	
6-6-1-9-2	記(石代書付)	年未詳8月	横切紙	1通	石屋徳松→東大橋	
6-6-1-9-3	覚(金銭書付)	卯年7月22日~28日	横継紙	1通(35枚)		35枚が継がれている
6-6-1-10	七日払帳	年月日未詳	美・横半折	1冊		
6-6-1-11	七日払拾上帳	年月日未詳	美・横長	1冊		
6-6-1-12	[賞銭書上]	年月日未詳	美・横長	仮1冊	御棺人足・御骨拾他	
6-6-2	徳全宜芳様 一七日取計写	年月日未詳	美・横半折	1冊		

6-6-3	第壹号 買物帳 東大橋	年未詳9月3日~9日	美・横半折	1冊		
6-6-4	第貳号 買物帳 東大橋	年未詳9月4日~7日	美・横半折	1冊		
6-6-5	[金銭書付綴]	卯年7月21日~9月8日		1綴	加嶋屋弥三郎→東大橋家他35通	
6-6-6	[金銭勘定書付]	年月日未詳	横継紙	1通		
6-6-7	九月五日 悔帳	年未詳9月5日	美・横長	1冊		
6-6-8	[野辺帳]			1纏め(仮3冊)		6-6-8-1~3が重ねて折られていた
6-6-8-1	三冊之内 野辺帳	年月日未詳	美・横長	仮1冊		
6-6-8-2	本葬野辺帳	年月日未詳	美・横長	仮1冊		
6-6-8-3	三冊之内 野辺帳	年月日未詳	美・横長	仮1冊		
6-6-9	買物払判取帳 東大橋	年月日未詳	美・横長	1冊		括り文書2通あり「醤油切手代受取覚 卯九月九日 木村和吉→東大橋」「板式枚代受取」
6-7	[人足賃書付]	年未詳9月22日	半・横長	仮1冊		
6-8	[銀高及氏名書付]	年月日未詳	横折紙	1通		
6-9	[袋]	年月日未詳		1枚		破損のためSILティッシュで包む (上書)「天保〇九月凶事書類」
6-10	[書状・買物帳]			1括り(2通1纏め)		6-10-1~3紙縫りで一括り
6-10-1	[大橋金平宛石坂桑(力)蔵書状]	年未詳3月29日	横切紙	1通	備への礼状	包紙あり(包紙上書)「大橋様 石坂桑(力)蔵」
6-10-2	[大橋重平宛岸内冠平書状]	年未詳3月29日	横切紙	1通	謝礼金一封礼状	包紙あり(包紙上書)「大橋重平様 岸内冠平 奉復」
6-10-3	[買物帳・払帳]			1纏め(仮4冊)		6-10-3-1~4まで重ねて四ツ折
6-10-3-1	三冊の内壱番 買物帳 東中嶋屋	年未詳3月24日~28日	美・横長	仮1冊		
6-10-3-2	三冊の内貳番 買物帳 東中嶋屋	年未詳2月23日~3月29日	美・横長	仮1冊		
6-10-3-3	三冊の内三番 買物帳 東中嶋屋	年未詳2月24日~3月29日	美・横長	仮1冊		
6-10-3-4	払帳 東中嶋屋	年月日未詳	美・横長	仮1冊		
6-11	[俊岳良祐居士凶事書類]			1包(仮1冊1括り)		6-11-1~2一包 包紙あり(包紙上書)「俊岳良祐居士様 凶事書類 嘉永六癸丑年四月十七日」包紙破損のためSILティッシュで包む
6-11-1	[買物帳類]			1括り(仮5冊)		6-11-1-1~5紙縫りで一括り
6-11-1-1	嘉永六癸丑年四月 払帳 東中嶋屋	嘉永6年4月	美・横長	仮1冊		
6-11-1-2	三冊之内壱 嘉永六丑年四月十七日 買物帳 東中嶋屋	嘉永6年4月17日	美・横長	仮1冊		
6-11-1-3	三冊之内貳 嘉永六丑年四月十七日 買物帳 東中嶋屋	嘉永6年4月17日	美・横長	仮1冊		
6-11-1-4	三冊之内三 嘉永六丑年四月十七日 買物帳 東中嶋屋	嘉永6年4月17日	美・横長	仮1冊		
6-11-1-5	嘉永六丑年四月十七日 大工方之分 買物帳 東中嶋屋	嘉永6年4月17日	美・横長	仮1冊		
6-11-2	[人別賃金書付]	年月日未詳	美・横長	仮1冊		
6-12	[諸事書付]	年未詳9月	半・横長	仮1冊	人別賃金・音物扣など	
6-13	壬辰九月十八日 悔帳	年未詳9月18日	美・横長	仮1冊		
6-14	[心相妙円清倍女葬式役附]	天保15年11月4日	縦継紙	1通	天保十五甲辰年十一月四日八ツ時 明治十八年十月二日則陰曆乙酉年八月二十四日也午後八時没ス 十月四日午后二時出棺	
6-15	[得脱覚理居士葬式役附]	明治18年10月4日	縦継紙	1通		
6-16	[諦観玄應居士葬式役附]	年月日未詳	縦継紙	1通		
6-17	[嵩岳弘秀清信士葬式役附]	年月日未詳	縦継紙	1通		
6-18	[瓊英自薫大姉葬式役附]	安政5年正月21日	縦継紙	1通	安政五戊午正月廿一日夕死去 同廿三日出棺	
6-19	[俊岳良祐居士葬式役附]	嘉永6年4月19日	縦継紙	1通	嘉永六癸丑年四月十九日	
6-20	[昌珠妙光葬式役附]	年未詳3月7日	縦継紙	1通	三月七日正八ツ時葬式	
6-21	[心荘宣體大姉葬式役附]	明治4年6月25日	縦継紙	1通	明治四辛未年六月廿五日卯之刻没	
6-22	[慈闍妙昌清信女葬式役附]	年月日未詳	縦継紙	1通		
6-23	[哲翁紹完居士葬式役附]	弘化2年	横継紙	1通	弘化二乙巳年	
6-24	[義倫義浄居士葬式役附]	安政4年正月29日	縦継紙	1通	安政四丁巳年正月廿七日夕死去 同廿九日出棺	
6-25	[観阿智清信女葬式役附]	年未詳3月4日	縦継紙	1通	三月四日八ツ時	
6-26	[松風了聴清信女葬式役附]	年月日未詳	縦継紙	1通		
6-27	[諦然玄鏡大姉葬式役附]	明治13年1月25日	縦継紙	1通	明治十三庚辰年一月廿二日陰曆己卯年十二月十一日午後七時没 一月廿五日葬式	
6-28	[俊操良瑩大姉葬式役附]	明治15年9月4日	縦継紙	1通	明治十五壬午年九月二日陰曆壬午年七月二十日午前四時没	
6-29	[清容智妍大姉葬式役附]	年未詳9月5日	縦継紙	1通	九月四日午後二時出棺	
6-30	覚(銀子書付)	年未詳3月28日~晦日	横継紙	1通(37枚)		37枚が貼り継がれている

6-31	[買物帳・初七日払帳]			1括り(3冊)		6-31-1~3紙綴りで一括り
6-31-1	安政五戊午年正月廿七日 初七日払帳	安政5年正月27日	美・横長	1冊		
6-31-2	安政五戊午年正月廿一日 買物帳 東大橋	安政5年正月21日	美・横長	1冊		
6-31-3	安政五戊午年正月廿一日 買物帳 東大橋	安政5年正月21日	美・横長	1冊		
6-32	[諦然玄鏡大姉凶事書類]			1袋(2纏め3通1綴1括り)		6-32-1~7一袋(袋上書)「明治十三年辰一月廿二日 諦然玄鏡大姉様 凶事書類入」袋が虫損の為SILティッシュで包む
6-32-1	[七日払判取帳他]			1纏め(2冊7通)		6-32-1-1~9一纏め 6-32-1-1及び6-32-1-2が重ねられ6-32-1-3~9がその間に挟まれていた 纏めの状態である為SILティッシュで包む
6-32-1-1	七日佛判取帳	年月日未詳	美・横長	1冊		
6-32-1-2	買物拾帳	年月日未詳	美・横長	1冊		
6-32-1-3	記(金封請取)	年未詳2月2日	横切紙	1通	大橋弥一→東大橋	
6-32-1-4	記(紙料受取)	年未詳旧12月	横切紙	1通	大権→東大橋	
6-32-1-5	記(作料書付)	年未詳旧12月20日	横切紙	1通	大権→東大橋	
6-32-1-6	[謝儀受取証]	年未詳2月2日	横切紙	1通	妹尾又口→大橋秀太郎	
6-32-1-7	[茶・菓子料受取証]	13年2月1日	横切紙	1通	高橋→東大橋	SILティッシュで包む 押印された紙片2枚がはさまれている
6-32-1-8	記(領收証)	年月日未詳	横切紙	1通	神崎愿堂→(宛名なし)	
6-32-1-9	[大橋俊太郎宛名越白平・為志書状]	年未詳10月25日	横切紙	1通	悔状	封筒あり(封筒上書)「大橋俊太郎様 御悔」(封筒裏書)「名越白平」
6-32-2	[悔帳・役控一括]			1纏め(仮2冊1括り)		6-32-2-1~3が重ねて折られている
6-32-2-1	役控	年月日未詳	美・横長	仮1冊		
6-32-2-2	[屋号・人名書付]	年月日未詳	横折紙	1括り(5枚)		5枚が紙綴りで括られている
6-32-2-3	悔帳	年月日未詳	美・横長	仮1冊		
6-32-3	証(金額書付他)	年未詳1月23日~辰年1月28日	横継紙	1通(75枚)		75枚が貼り継がれ紙綴りで括られている
6-32-4	[大工手間賃書上]	年月日未詳	横切紙	1通		
6-32-5	[熊飛料金書上]	辰年1月31日	横切紙	1通	通運会社→東大橋	
6-32-6	[辰一月廿三日 買物帳]	辰年1月23日	美・横半長	1綴		買物帳番号~三号が綴られている 括りの紙綴りが切れている為SILティッシュで括る
6-32-7	[野辺帳類]			1括り(仮4冊)		6-32-7-1~4紙綴りで一括り
6-32-7-1	仮葬控	年月日未詳	美・横長	仮1冊		
6-32-7-2	野辺帳	年月日未詳	美・横長	仮1冊		
6-32-7-3	野辺帳	年月日未詳	美・横長	仮1冊		
6-32-7-4	野辺帳	年月日未詳	美・横長	仮1冊		
6-33	[哲翁紹完居士凶事書類]			1袋(仮4冊)		6-33-1~4一袋(袋上書)「哲翁紹完居士様 凶事書類 弘化二乙巳年二月廿三日」袋破損の為SILティッシュで包む
6-33-1	[賃銀書付]	弘化2年	美・横長	仮1冊		
6-33-2	悔帳	弘化2年2月23日	美・横長	仮1冊		
6-33-3	野辺帳	弘化2年2月23日	美・横長	仮1冊		
6-33-4	野辺帳	弘化2年2月23日	美・横長	仮1冊		
6-34	[俊操良瑩大姉凶事書類]			1袋(3纏め2通1袋)		6-34-1~6一袋(袋上書)「明治十五年午九月九日陰曆七月廿六日 俊操良瑩大姉様 凶事書類」
6-34-1	[葬式関連帳面]			1纏め(1冊仮6冊)		6-34-1-1~7一纏め
6-34-1-1	仮葬 野辺帳	年月日未詳	美・横長	仮1冊		
6-34-1-2	悔帳	年月日未詳	美・横長	仮1冊		
6-34-1-3	野辺帳	年月日未詳	美・横長	仮1冊	三十七氏人	
6-34-1-4	野辺帳	年月日未詳	美・横長	仮1冊		
6-34-1-5	役帳	年月日未詳	美・横長	仮1冊		
6-34-1-6	[人足・女中等書上帳]	明治15年旧7月20日~25日	美・横半折	仮1冊		
6-34-1-7	払帳	年月日未詳	美・横長	1冊		(裏表紙)「東大橋」
6-34-2	記(代銀書付他)	明治15年旧7月~新9月7日	横継紙	1通(42枚)		42枚が貼り継がれている
6-34-3	[葬式・法要関係書類]			1纏め(9通1綴)		6-34-3-1~10まで重ねて折りたたまれていた SILティッシュで包む
6-34-3-1	[金銭并人名書付]	年月日未詳		1綴(44枚)		横切紙を紙綴りで綴っている
6-34-3-2	[人足人名人数書上]	年月日未詳	横継紙	1通		
6-34-3-3	[密葬・本葬両度分費用書付]	年月日未詳	横継紙	1通	観音院・青蓮院借用料・布施・看経など	
6-34-3-4	[入用書付]	年未詳9月2日~7日	横折紙	1通	九月二日 七升鴨・五斗木など書付	
6-34-3-5	[屋号書付]	年月日未詳	横折紙	1通	江戸屋・入舟屋など〆拾名とほか二名	
6-34-3-6	[屋号・人名書付]	年月日未詳	横折紙	1通	江戸屋専吉他	
6-34-3-7	[人足賃書上]	年月日未詳	横切紙	1通	三成行・庄介 三拾貳銭他	

6-34-3-8	[葬式関係人名書付]	年月日未詳	横折紙	1通	大工権七他	
6-34-3-9	[葬式関係・地名人名書付]	年月日未詳	横折紙	1通	松造り彦造・亀吉他	
6-34-3-10	音物控	年月日未詳	横折紙	1通		
6-34-4	[受取書類]			1袋(4通)		6-34-4-1~4まで山陽新報で作られた袋に入れられている (袋上書)「受取書類」
6-34-4-1	[金銭受取]	年未詳旧7月27日	横切紙	1通	高橋→(宛名なし)	台紙は刷物
6-34-4-2	[「神崎愿堂 謹領」の朱印]	年月日未詳	横切紙	1通		
6-34-4-3	覚(金銭受取)	年未詳9月	横切紙	1通	西国屋小介→大橋	
6-34-4-4	記(代金請取)	午年9月8日	横切紙	1通	浅口利七郎→東大橋 切手代	
6-34-5	[人足氏名・賃銭等書付]	年月日未詳	横折紙	1通		
6-34-6	[買物帳]			1纏め(3冊)		6-34-6-1~3一纏め SILティッシュで包む
6-34-6-1	明治十五年九月二日 諸取帳	明治十五年九月二日	美・横半折	1冊		(裏書)「東大橋」
6-34-6-2	明治十五年九月二日 買物帳 貳冊之内貳	明治十五年九月二日	美・横半折	1冊		(裏書)「東大橋」
6-34-6-3	明治十五年九月二日 買物帳 貳冊之内壹	明治十五年九月二日	美・横半折	1冊		(裏書)「東大橋」
6-35	[悔帳]			1括り(仮4冊)		6-35-1~4紙綴りで一括り
6-35-1	蘭質智香清信女 悔帳	年月日未詳	美・横長	仮1冊		
6-35-2	御悔帳	年未詳2月26日~3月4日	美・横長	仮1冊		
6-35-3	十歳死去之節悔帳	年月日未詳	半・横長	仮1冊		
6-35-4	孤輪決證清信女 悔帳	年月日未詳	美・横長	仮1冊		
6-36	[葬式関係書類]			1括り(1袋1纏め1枚1通)		6-36-1~4一括り 紙綴りが切れている為SILティッシュで括る
6-36-1	[葬式関係書類]			1括り(仮2冊2通1纏め)		6-36-1-1~5紙綴りで一括り
6-36-1-1	覚(人足氏名・人数書上)	年月日未詳	美・横長	仮1冊		
6-36-1-2	役帳	年月日未詳	美・横長	仮1冊		
6-36-1-3	[買物帳他]			1纏め(1冊1括り1通1纏め)		6-36-1-3-1~4一纏め
6-36-1-3-1	中島屋新宅 買物帳	戌年10月3日	美・横長	1冊		
6-36-1-3-2	[中島屋宛諸々覚書]			1括り(8通)		6-36-1-3-2-1~8紙紐で一括り
6-36-1-3-2-1	覚(代銀書付)	年未詳10月5日	横継紙	1通	うおや長十郎→中島新宅 さと芋・こんにやく代	
6-36-1-3-2-2	覚(丁子・白檀代銀書付)	年未詳10月3日	横切紙	1通	大坂屋源介→中島屋	
6-36-1-3-2-3	覚(代銀書付)	年未詳10月5日	横切紙	1通	松原屋友介→新宅中しま屋 ふんちん代他	
6-36-1-3-2-4	覚(代銀書付)	年未詳10月5日	横切紙	1通	福岡屋勘次郎→中島屋新宅 もめん代他	
6-36-1-3-2-5	覚(代銀書付)	戌年10月3日	横切紙	1通	さぬきや→中島屋 せんへい代	
6-36-1-3-2-6	覚(代銀書付)	年未詳10月5日	横継紙	1通	林屋→中島屋 かめ代他	
6-36-1-3-2-7	覚(代銀書付)	年未詳10月5日	横継紙	1通	本屋長右衛門→中島屋 たらい・中杓・丁ちん代他	
6-36-1-3-2-8	覚(代銀書付)	年未詳10月5日	横切紙	1通	おかや→中島屋新宅 茶くみ・まつ香・油さし代他	
6-36-1-3-3	覚(代銀書上)	年未詳10月6日	横継紙	1通	西原屋嘉右衛門→中島屋新宅 筵代他	
6-36-1-3-4	[人名控]			1纏め(4通)		6-36-1-3-4-1~4一纏め 折り重ねられて一纏めになっていた為SILティッシュで包む
6-36-1-3-4-1	[町名・人名書付]	年月日未詳	横折紙	1通		裏は悔状の下書
6-36-1-3-4-2	[屋号・人名書付]	年月日未詳	横折紙	1通		裏は悔状の下書
6-36-1-3-4-3	[屋号・人名書付]	年月日未詳	横折紙	1通		裏は悔状の下書
6-36-1-3-4-4	[屋号・人名書付]	年月日未詳	横折紙	1通		
6-36-1-4	覚(利足銀送付添状)	申年12月2日	横切紙	1通	宅源寺→中嶋屋源介	
6-36-1-5	覚(代銀書付)	酉年9月29日	横切紙	1通	ぬの屋嘉吉→新屋中島屋 麻糸・もふく上下仕立代他	
6-36-2	[封筒]	文化2年2月6日		1枚		(封筒上書)「文化二丑二月六日 妙光葬式之次第」
6-36-3	[書状案文]	年月日未詳	横切紙	1通	「先刻者御入来被下忝奉存候」	
6-36-4	[関係書類]			1袋(2纏め仮1冊1枚)		6-36-4-1~4一袋 入り切らないのでSILティッシュで包む (袋上書)「文化二丑三月六日 昌珠妙光葬式之節小書類分引残 此中少有委敷別帳二記ス 三月十六日」
6-36-4-1	[代銀書付覚]			1纏め(29通)		6-36-4-1-11に6-36-4-1-2~29がくるまれている
6-36-4-1-1	覚(材木代銀書付)	丑年3月16日	横切紙	1通	荒木屋長右衛門→新宅中島屋	
6-36-4-1-2	覚(代銀書付)	年未詳3月12日	横切紙	1通	藤屋→中しまや 塩代他	
6-36-4-1-3	覚(代銀書付)	丑年3月12日	横切紙	1通	さくら→中島屋新宅 木杓子代他	
6-36-4-1-4	覚(代銀書付)	年未詳3月12日	横切紙	1通	秀屋→中島屋 あげ・とうふ代	
6-36-4-1-5	覚(代銀書付)	年未詳3月12日	横切紙	1通	藤井屋→中島屋新宅 紙代	
6-36-4-1-6	覚(代銀書付)	丑年3月12日	横切紙	1通	いわし屋半兵衛→中島屋新宅 こんにやく・酒代他	
6-36-4-1-7	覚(代銀書付)	年未詳3月12日	横切紙	1通	桶や八兵衛→中島屋新宅 こし折・花籠代他	
6-36-4-1-8	覚(代銀書付)	年未詳3月12日	横継紙	1通	おかや→中島屋新宅 とうふ・三寸釘・かわらけ代他	
6-36-4-1-9	覚(代銀書付)	年未詳3月12日	横切紙	1通	工屋文蔵→中島屋 松板代	
6-36-4-1-10	覚(代銀書付)	丑年3月12日	横切紙	1通	内田屋→新宅中島屋 醤油・酢代	
6-36-4-1-11	覚(代銀書付)	丑年3月	横切紙	1通	ささや武右衛門→あち町中島屋 しぶかみ代	
6-36-4-1-12	覚(代銀書付)	年未詳3月12日	横切紙	1通	かはや→新宅中島屋	
6-36-4-1-13	覚(代銀書付)	年未詳3月12日	横切紙	1通	うお屋長十郎→中島屋新宅 とさか・みつば・もやし代他	

6-36-4-1-14	覚(代金書上)	丑年3月12日	横切紙	1通	平野屋→中しまや新宅 粟代	
6-36-4-1-15	覚(金銭書付)	年未詳3月12日	横切紙	1通	勘郎→新宅中嶋屋	
6-36-4-1-16	覚(代銀書付)	年未詳3月12日	横切紙	1通	たわら屋→中しまや 仙過代	
6-36-4-1-17	覚(金銭書付)	年月日未詳	横切紙	1通		
6-36-4-1-18	覚(代銀書付)	年未詳3月12日	横継紙	1通	角屋藤吉→中嶋屋新宅 醤油代	
6-36-4-1-19	覚(代銀書付)	年未詳3月	横継紙	1通	本町名田屋→中嶋屋	
6-36-4-1-20	覚(代銀書付)	年未詳3月12日	横継紙	1通	もと屋→中嶋屋新宅 杓・手桶・木綿代他	
6-36-4-1-21	覚(代銀書付)	年未詳3月12日	横切紙	1通	まつ屋→新宅中嶋屋 茶わん代	
6-36-4-1-22	覚(代銀書付)	年未詳3月12日	横切紙	1通	あたらしや伊介→新たく中嶋屋 あけ・やきとうふ代	
6-36-4-1-23	覚(代銀書付)	丑年3月12日	横切紙	1通	吉見屋→新宅中嶋屋 しやうふ(生ふ)	
6-36-4-1-24	覚(代銀書付)	年未詳3月12日	横切紙	1通	樽見屋利八→あちまち中嶋屋 酒代	
6-36-4-1-25	覚(代銀書付)	年未詳3月12日	横継紙	1通	たもし屋弥兵衛→中嶋屋新宅 弁当・蠟燭代他	
6-36-4-1-26	覚(代銀書付)	年未詳3月12日	横切紙	1通	まつはや友介→新宅中嶋屋 ちさ・大こん・平いも代他	
6-36-4-1-27	覚(代銀書付)	丑年3月	横継紙	1通	こんだや国作→中しまや	
6-36-4-1-28	覚(代銀書付)	丑年3月12日	横切紙	1通	長濱屋→中嶋屋新宅 もめん代	
6-36-4-1-29	覚(代銀書付)	年未詳3月12日	横切紙	1通	伊部屋→中嶋屋 用亀代他	
6-36-4-2	文化十一年戊十月三日お久賀童子死去 野辺帳	文化11年10月3日	美・横長	仮1冊		
6-36-4-3	[葬式関係書類]			1纏め(仮10冊1通)		6-36-4-3-1~11まで重ねて一纏め
6-36-4-3-1	文化式年丑三月十二日 渡し覚帳	文化2年3月12日	美・横長	仮1冊		
6-36-4-3-2	音物帳 昌珠妙光信女	文化2年3月6日~12日	美・横長	仮1冊		
6-36-4-3-3	二冊之内 三月六日 買物帳 新宅中嶋屋	(文化2)年3月6日	美・横長	仮1冊		
6-36-4-3-4	買物帳 新宅中嶋屋	文化2年3月6日	美・横長	仮1冊		
6-36-4-3-5	役帳	文化2年3月7日	美・横長	仮1冊		
6-36-4-3-6	恵性妙貞様 御悔蝶	年月日未詳	美・横長	仮1冊		
6-36-4-3-7	昌珠妙光信女 悔帳	文化2年3月6日~7日	美・横長	仮1冊		
6-36-4-3-8	[人名書付]	年月未詳8日~11日	横折紙	1通		
6-36-4-3-9	野辺帳	文化2年3月7日	美・横長	仮1冊	昌珠妙光葬式	
6-36-4-3-10	[昌珠妙光葬式之供人書付]	文化2年3月7日	美・横長	仮1冊		
6-36-4-3-11	覚(昌珠妙光葬式之供人書付)	文化2年3月7日	美・横長	仮1冊		
6-36-4-4	[白紙]	年月日未詳	縦紙	1枚		
6-37	[心相妙円清信女葬式ノ節書類]			1袋(3冊1通仮7冊)		6-37-1~11一袋(袋上書)「天保十五辰年十一月三日 心相妙円清信女 葬式ノ節書類入」
6-37-1	覚(代銀書付)	辰年11月9日~12月	横継紙	1通(38枚)		38枚が貼り継がれている
6-37-2	天保十五甲辰年十一月九日 一七日払帳 東中嶋屋	天保15年11月9日	美・横長	仮1冊		
6-37-3	手控	天保15年11月4日~9日	美・横長	仮1冊		
6-37-4	役帳	天保15年11月	美・横長	1冊		
6-37-5	天保十五甲辰年十一月四日 壱番 買物帳 東中嶋屋	天保15年11月4日	美・横長	仮1冊		
6-37-6	天保十五甲辰年十一月四日 弐番 買物帳 東中嶋屋	天保15年11月4日	美・横長	仮1冊		
6-37-7	天保十五甲辰年十一月四日 三番 買物帳 東中嶋屋	天保15年11月4日	美・横長	仮1冊		
6-37-8	野辺帳	年月日未詳	美・横長	仮1冊		
6-37-9	野辺帳	年月日未詳	美・横長	1冊		
6-37-10	心相妙円清信女 悔帳	天保15年11月4日~10日	美・横長	仮1冊		
6-37-11	音物帳	年月日未詳	美・横長	1冊		
6-38	[通・覚]			1纏め(1冊1通)		6-38-1~2一纏め 纏めの為SILティッシュで包む 6-38-2に6-38-1が巻かれている
6-38-1	覚(代銀書付)	丑年4月~丑年4月28日	横継紙	1通(59枚)		59枚が貼り継がれている
6-38-2	丑卯月 上菓子類・八百屋物御通 別通の分 東中嶋屋様 うをや長十郎	丑年4月17日~23日	美・横半折	1冊		(裏書・刷物)「池田伊丹上酒品々并万年酢御用被為仰付被下候」
6-39	[堯倫義浄居士凶事書類]			1袋(1通3括り)		6-39-1~4一袋(袋上書)「堯倫義浄居士様 凶事書類入 安政四丁巳年正月廿八日」
6-39-1	[買物帳]			1括り(仮4冊)		6-39-1-1~4紙継り一括り
6-39-1-1	壱 安政四丁巳年正月廿七日 買物帳 三冊之内 東大橋	安政4年正月27日	美・横長	仮1冊		



6-39-1-2	貳 安政四丁巳年正月廿七日 買物帳 三冊之内 東大橋	安政4年正月27日	美・横長	仮1冊		
6-39-1-3	三 安政四丁巳年正月廿七日 買物帳 三冊之内 東大橋	安政4年正月27日	美・横長	仮1冊		
6-39-1-4	安政四丁巳年正月廿七日 働人別控	安政4年正月27日	美・横長	仮1冊		
6-39-2	[払帳類]			1括り(仮2冊1通)		6-39-2-1～3紙綴りで一括り 紐破損の為SILティッシュで包む
6-39-2-1	安政四丁巳歳二月四日 一七日払帳	安政4年2月4日	美・横長	仮1冊		
6-39-2-2	[安政四丁巳年正月廿七日死去 義倫義浄居士一七 日控]	安政4年正月27日	美・横長	仮1冊		
6-39-2-3	中陰計向扣	年月日未詳	横折紙	1通		
6-39-3	覚(代銀書付)	巳年正月3日～2月 8日	横継紙	1通(48枚)	布屋太郎右衛門→東大橋 岡屋→中嶋屋 外46枚	48枚が貼り継がれている
6-39-4	[凶事書類]			1括り(仮4冊)		6-39-4-1～4紙綴りで一括り
6-39-4-1	仮葬野邊帳	(安政4年正月)	美・横長	仮1冊		
6-39-4-2	安政四丁巳年正月廿七日 野邊帳	安政4年正月27日	美・横長	仮1冊		
6-39-4-3	安政四丁巳年正月廿七日 野邊帳	安政4年正月27日	美・横長	仮1冊		
6-39-4-4	安政四丁巳年正月廿七日 悔帳	安政4年正月27日	美・横長	仮1冊		
6-40	[純光童子葬式書類]			1袋(仮5冊1括り1通)		6-40-1～7一袋 (袋上書)「純光童子 葬式書類」
6-40-1	[葬式関係書類]			1括り(仮3冊1括り)		6-40-1-1～4紙綴りで一括り
6-40-1-1	天保十一子正月廿九日払帳 東中島屋	天保11年正月29日	美・横長	仮1冊		
6-40-1-2	買物帳 貳冊之内巻 東中島屋	(天保11)年正月15 日～19日	美・横長	仮1冊		
6-40-1-3	買物帳 貳冊之内貳 東中島屋	(天保11)年正月15 日～16日	美・横長	仮1冊		
6-40-1-4	[代銀書付覚]			1括り(28通)		6-40-1-4-1～28紙綴りで一括り
6-40-1-4-1	覚(代銀書付)	年未詳正月19日	横切紙	1通	おか屋千治郎→東中島屋	
6-40-1-4-2	覚(代銀書付)	子年正月19日	横切紙	1通	大黒屋文介→新宅 半紙代	
6-40-1-4-3	覚(代銀書付)	年月未詳19日	横切紙	1通	おかや→中しま屋 ころろ・土びん	
6-40-1-4-4	覚(代銀書付)	子年正月	横継紙	1通	平のや定介→中島屋新宅 ふしぬき	
6-40-1-4-5	覚(代銀書付)	子年正月19日	横切紙	1通	本や長八郎→中島屋 木綿代	
6-40-1-4-6	覚(代銀書付)	年未詳正月19日	横継紙	1通	福岡屋→井上町中嶋屋 四ツ茶わん代他	
6-40-1-4-7	覚(代銀書付)	子年正月19日	横切紙	1通	大坂屋清介→東中島屋 棺蓋石代	
6-40-1-4-8	覚(代銀書付)	子年正月19日	横継紙	1通	新屋卯之介→東中嶋屋 材木代	
6-40-1-4-9	覚(代銀書付)	年未詳正月	横継紙	1通	今福屋→東中嶋屋 たらい・おけ・杓他	
6-40-1-4-10	覚(代銀書付)	年未詳正月19日	横切紙	1通	八浜屋→東中嶋屋 上醤油五升代	
6-40-1-4-11	覚(代銀書付)	子年正月19日	横切紙	1通	米屋重介→中嶋屋 こんふ代	
6-40-1-4-12	覚(代銀書付)	子年正月19日	横継紙	1通	宝東屋甚右衛門→東中嶋屋 かめ代	
6-40-1-4-13	覚(代銀書付)	年未詳正月19日	横切紙	1通	まつばや友介→中しまや 里いも・こんふ代他	
6-40-1-4-14	覚(代銀書付)	子年正月19日	横切紙	1通	嶋田屋常七→東中嶋屋 蕨代他	
6-40-1-4-15	覚(代銀書付)	子年正月19日	横切紙	1通	いわし屋源七郎→東中島屋 古酒代	
6-40-1-4-16	覚(代銀書付)	年未詳正月19日	横切紙	1通	たる屋利之介→ひかし中嶋屋 竹代	
6-40-1-4-17	覚(代銀書付)	年未詳正月19日	横切紙	1通	増田屋岩吉→中嶋屋新宅 せんへい代	
6-40-1-4-18	覚(代銀書付)	年未詳正月19日	横切紙	1通	かな屋孝平→東中嶋屋 古酒代	
6-40-1-4-19	覚(代銀書付)	年未詳正月19日	横切紙	1通	わけ屋→東中島屋 白茶椀代	
6-40-1-4-20	覚(代銀書付)	辰年正月19日	横切紙	1通	きくち屋佐八→中嶋屋 しきひ代	
6-40-1-4-21	覚(代銀書付)	子年正月19日	横切紙	1通	秀まつ屋好介→東中嶋屋 木代	
6-40-1-4-22	覚(代銀書付)	年未詳正月19日	横継紙	1通	うお屋長十郎→ひかし中嶋屋 高野とうふ・里芋・午ほう代他	
6-40-1-4-23	覚(代銀書付)	子年正月19日	横継紙	1通	津田や→東中嶋屋 鉄丁羽・格子兵代他	
6-40-1-4-24	覚(代銀書付)	年未詳正月19日	横切紙	1通	新屋半次郎→東中嶋屋 なっ豆代	
6-40-1-4-25	覚(代銀書付)	年未詳正月19日	横切紙	1通	帯屋→東新宅中嶋屋 めんたひ代	
6-40-1-4-26	覚(代銀書付)	年未詳正月19日	横切紙	1通	高嶋屋→東新宅 丸丁ちん代	
6-40-1-4-27	覚(代銀書付)	年未詳正月19日	横継紙	1通	ゑひすや忠八→東中島屋 ふしぬき代	
6-40-1-4-28	覚(代銀書付)	年未詳正月19日	横切紙	1通	中村や喜介→(宛名なし) やきとうふ・あけ代他	
6-40-2	[手伝人足賃等控]	年月日未詳	半・横長	仮1冊		
6-40-3	手伝日雇扣	年月日未詳	美・横半折	仮1冊		
6-40-4	[十五日店勤屋号・人名書付]	年月未詳15日	横折紙	1通		
6-40-5	音物控	年未詳正月17日～ 19日	美・横長	仮1冊		
6-40-6	野辺帳	年月日未詳	美・横長	仮1冊		
6-40-7	悔帳	年月日未詳	美・横長	仮1冊		
6-41	[瓊英自薫大姉凶事書類]			1袋(1通3括り)		6-41-1～4一袋 (袋上書)「瓊英自薫大姉様 凶事書類 安政五戊 午年正月廿二日」 袋破損のためSILティッシュで包む

6-41-1	[凶事書類]			1括り(仮3冊)		6-41-1-1~3紙綴りで一括り
6-41-1-1	取計向ひかえ	年月日未詳	半・横長	仮1冊		
6-41-1-2	安政五戊午年正月廿一日死去 瓊英自薫様葬式取計向仮扣	安政5年正月21日	美・横長	仮1冊		
6-41-1-3	安政五年正月廿一日 職人日雇人足控	安政5年正月21日	美・横長	仮1冊		
6-41-2	[悔帳・埜邊帳類]			1括り(仮4冊)		6-41-2-1~4紙綴りで一括り
6-41-2-1	安政五戊午年正月廿一日 悔帳	安政5年正月21日	美・横長	仮1冊		
6-41-2-2	役帳	年月日未詳	美・横長	仮1冊	西屋・鯛助他	
6-41-2-3	安政五年午正月二十二日 埜邊帳	安政5年正月22日	美・横長	仮1冊		
6-41-2-4	安政五年午正月廿二日 埜邊帳	安政5年正月22日	美・横長	仮1冊		
6-41-3	[代銀書付覚]			1括り(50通1纏め)		6-41-3-1~51紙綴りで一括り 紙綴りが破損していたのでSILティッシュで一括した
6-41-3-1	覚(代銀請取)	午年正月27日	横継紙	1通	新屋卯之介→東大橋 柏板代	
6-41-3-2	覚(代銀書付)	年未詳正月27日	横継紙	1通	ますほや政蔵→東大橋 あけ・大やき代	
6-41-3-3	覚(代銀書付)	年未詳正月22日	横切紙	1通	藤井屋三右衛門→東大橋 杉原代	
6-41-3-4	覚(代銀書付)	午年正月27日	横切紙	1通	黒石屋磯吉→東大橋 あけ代	
6-41-3-5	覚(代銀書付)	午年正月27日	横継紙	1通	黒石屋磯吉→東大橋 あけ・飛龍頭代他	
6-41-3-6	覚(代銀書付)	午年正月27日	横継紙	1通	なら屋万吉→東大橋 もやし・牛房・ゆりね代他	
6-41-3-7	覚(代銀書付)	年未詳正月27日	横継紙	1通	うを屋長十郎→東大橋 セリ・ゆり根代他	
6-41-3-8	覚(代銀書付)	午年正月27日	横継紙	1通	ますほや政蔵→東大橋 こんにゃく・あけ代他	
6-41-3-9	覚(代銀書付)	年未詳正月27日	横切紙	1通	三崎屋平介→東大橋 さね・浅草のり代他	
6-41-3-10	覚(代銀書付)	年未詳正月27日	横切紙	1通	吉井屋→東大橋 堅すミ・白砂糖代	
6-41-3-11	覚(代銀書付)	午年正月26日	横切紙	1通	吉井屋→東大橋 釘・堅すミ代	
6-41-3-12	覚(代銀書付)	年未詳正月26日	横継紙	1通	加賀屋信兵衛→東大橋 豆代	
6-41-3-13	[醤油代銀書付覚]			1纏め(2通)		6-41-3-13-1~2一纏め
6-41-3-13-1	覚(代銀書付)	年未詳正月27日	横継紙	1通	いつみや藤右衛門→ひかし大橋 醤油代	
6-41-3-13-2	覚(代銀書付)	年未詳正月26日	横切紙	1通	和泉屋藤右衛門→大橋 醤油代	
6-41-3-14	覚(代銀書付)	年未詳正月26日	横切紙	1通	よしの屋仙蔵→東大橋 薄へり代	
6-41-3-15	覚(代銀書付)	午年正月26日	横切紙	1通	出島屋松郎→東大橋 白茶湯茶わん代	
6-41-3-16	覚(代銀書付)	年未詳正月25日	横切紙	1通	加嶋屋弥三郎→大橋屋 杓・竹ほうき代他	
6-41-3-17	覚(代銀書付)	年未詳正月26日	横切紙	1通	本屋長八郎→東大橋 蠟燭代	
6-41-3-18	覚(代銀書付)	年未詳正月27日	横継紙	1通	長浜屋嘉助→東大橋 竹代	
6-41-3-19	覚(代銀書付)	年月未詳26日	横継紙	1通	まつみや友助→大はし 山吹代	
6-41-3-20	覚(代銀書付)	年未詳正月26日	横継紙	1通	若井屋→東大橋 釘代	
6-41-3-21	覚(代銀書付)	午年正月26日	横継紙	1通	和氣屋叶造→東大橋 茶わん・水呑代	
6-41-3-22	覚(代銀書付)	年未詳正月	横切紙	1通	橋本屋善吉→東大橋 佛膳・はし代	
6-41-3-23	覚(代銀書付)	年未詳正月26日	横継紙	1通	加茂屋善兵衛→東大橋 油代	
6-41-3-24	覚(代銀書付)	午年正月26日	横切紙	1通	にし屋鯛助→東大橋 わらし代	
6-41-3-25	覚(代銀書付)	午年正月	横継紙	1通	小しまや瀧蔵→東大橋 しきび代	
6-41-3-26	覚(代銀書付)	午年正月26日	横切紙	1通	広島屋宗兵衛→東大橋 せんへい代	
6-41-3-27	覚(代銀書付)	午年正月	横切紙	1通	板屋→東大橋 醤油代	
6-41-3-28	覚(代銀書付)	午年正月26日	横切紙	1通	かつらや弥兵衛→東大橋 豆ふ代	
6-41-3-29	覚(代銀書付)	年未詳正月	横切紙	1通	両国屋国介→大橋 丁ちん代他	
6-41-3-30	覚(代銀書付)	年未詳正月26日	横切紙	1通	今福屋善蔵→東大橋 むしろ・いかき代他	
6-41-3-31	覚(代銀書付)	午年正月26日	横継紙	1通	岡崎屋好右衛門→東大橋 たつむしろ代他	
6-41-3-32	覚(代銀書付)	年未詳正月26日	横継紙	1通	秀松屋好介→大橋 白雲香代	
6-41-3-33	覚(代銀書付)	午年正月26日	横切紙	1通	けしのや弥兵次→東大橋 牛房代	
6-41-3-34	覚(代銀書付)	年未詳正月26日	横切紙	1通	大黒屋文介→東大橋 奉書・半紙代	
6-41-3-35	覚(代銀書付)	年未詳正月26日	横切紙	1通	高しまや常吉→東大橋 茶袋・なわ代他	
6-41-3-36	覚(代銀書付)	年月未詳26日	横継紙	1通	平の屋定助→東大橋 なた・ぞうり・ほふき代	
6-41-3-37	覚(代銀書付)	午(安政5力)年正月26日	横継紙	1通	さぬきや与右衛門→東大橋 豊嶋式三角四本代	
6-41-3-38	覚(代銀書付)	年未詳正月26日	横切紙	1通	蔵間屋友蔵→東大橋 しす代	
6-41-3-39	覚(代銀書付)	年未詳正月26日	横継紙	1通	嶋田屋六郎七→東大橋 大たらい代他	
6-41-3-40	覚(代銀書付)	年未詳正月26日	横切紙	1通	大坂屋源介→東大橋 五種香代他	
6-41-3-41	覚(代銀書付)	年未詳正月26日	横継紙	1通	布屋幸左衛門→東大橋	
6-41-3-42	覚(代銀書付)	午(安政5力)年正月26日	横継紙	1通	新屋卯之介→東大橋 栢・杉等材木代	
6-41-3-43	覚(若屋勘介分金銭書付)	年未詳正月26日	横切紙	1通		
6-41-3-44	覚(代銀書付)	午(安政5力)年正月26日	横継紙	1通	いわし屋源七郎→東大橋 並酒代他	
6-41-3-45	覚(代銀書付)	年未詳正月26日	横継紙	1通	藤井屋三右衛門→東大橋 奉書・半紙代	
6-41-3-46	覚(代銀書付)	午年正月	横切紙	1通	扇屋宇平→東大橋 あげ・ひりふす代	
6-41-3-47	覚(代銀書付)	午年正月27日	横切紙	1通	石屋徳兵衛→東大橋 蓋石代他	
6-41-3-48	覚(代銀書付)	年未詳正月22日	横切紙	1通	新屋→東大橋 間杭代	
6-41-3-49	覚(代銀書付)	年未詳正月26日	横切紙	1通	かみや弥助→東大橋 徳り代	

6-41-3-50	覚(代銀書付)	年未詳正月26日	横切紙	1通	柏屋惣助→東大橋 生ゆず代	
6-41-3-51	覚(代銀書付)	年未詳正月27日	横継紙	1通	戒屋辰吉→東大橋 ぞうり・なわ代他	
6-41-4	役附	年月日未詳	横継紙	1通		
6-42	[得脱覚理居士凶事書類]			1袋(3冊12通1枚1袋仮1冊6纏め)		6-42-1~24一袋(袋上書)「明治十八年八月二日 得脱覚理居士様 凶事書類 陰曆八月廿四日」
6-42-1	記(代銀書付)	年未詳旧9月2日~酉年10月10日	横継紙	1通(40枚)		40枚貼り合わせ
6-42-2	[買物帳]			1纏め(2冊)		2冊重ねて二ツ折にして纏められている
6-42-2-1	明治十八年十月二日 式冊之内一番 買物帳	明治18年10月2日	美・横半折	1冊		
6-42-2-2	明治十八年十月二日 式冊之内式番 買物帳	明治18年10月2日	美・横半折	1冊		
6-42-3	役帳	(明治18年10月)	美・横長	仮1冊		
6-42-4	[名刺]	年月日未詳	8.4×4.5	1枚	三宅儀一	
6-42-5	記(代銀受取)	酉年旧9月5日	横切紙	1通	藤吉→大橋 かし代	
6-42-6	[大橋俊太郎宛大森武三書状]	年未詳10月7日	縦紙	1通	秀太郎逝去へのお悔み	罫紙
6-42-7	[大橋俊太郎宛三宅弥四郎はがき]	年未詳10月6日	はがき	1通	悔状	
6-42-8	[大橋俊太郎宛土屋重三郎書状]	年未詳10月16日	横折紙	1包(1通)	秀太郎逝去への悔み及び供物送付のこと	包紙あり(包紙上書)「大橋俊太郎様 土屋重三郎 喪次」
6-42-9	[金銭受取書類]			1纏め(4通)		6-42-9-1~3までが9-42-9-4に巻かれていた
6-42-9-1	証(受取書)	年月日未詳	横継紙	1通	取野琢磨留守居→大橋	
6-42-9-2	証(金銭受取)	年未詳10月22日	横切紙	1通	小川知彰→大橋	
6-42-9-3	証(菓子料受取)	年未詳10月22日	横切紙	1通	小川知彰→大橋	
6-42-9-4	証(金銭受取)	年未詳10月22日	横切紙	1通	清野勇→大橋	
6-42-10	[大橋俊太郎宛田辺弘三書状]			1袋(2通)		6-42-10-1~2一袋 封筒あり(封筒上書)「大橋俊太郎様 御坐下」(封筒裏書)「田辺弘三」
6-42-10-1	[大橋宛田辺弘三書状]	年未詳10月8日	横継紙	1通	秀太郎初七日への供物送付のこと	
6-42-10-2	[大橋俊太郎宛平川貞五郎他1名書状]	年未詳10月8日	横切紙	1通	昨日の供物に預かったことへの礼状	
6-42-11	[大橋俊太郎宛妹尾留太郎書状]	年未詳10月16日	横継紙	1通	秀太郎及び美袋の田辺兄逝去への悔やみ	封筒あり(封筒上書)「窪屋郡倉敷大橋俊太郎様 貴下」(封筒裏書)「玉島新町妹尾留太郎 十月十六日」
6-42-12	[大橋俊太郎宛笠井吉夫書状]	年未詳10月13日	横継紙	1通	秀太郎死去に付き、お悔やみの事	封筒あり(封筒上書)「備中国窪屋郡倉敷大橋俊太郎様」(封筒裏書)「美作国東北条郡巡回先ニテ笠井吉夫」
6-42-13	[大橋俊太郎宛大橋千三書状]	年未詳10月15日	横継紙	1通	秀太郎霊前へ供物送付のこと	封筒あり(封筒上書)「大橋俊太郎様 御悔書」(封筒裏書)「大橋千三拜」
6-42-14	[大橋宛三宅儀一書状]	年未詳10月7日	横切紙	1通	秀太郎死去に付き悔やみの事	封筒あり(封筒上書)「東大橋様 梧下」(封筒裏書)「十月七日 西之浦三宅」
6-42-15	[通]			1纏め(1冊1通)		6-42-15-1~2一纏め 6-42-15-1に6-42-15-2が挟まれている
6-42-15-1	明治拾八年十月より 現銀材木御通 倉敷阿知町東大橋様 安江村新屋敬太郎	明治18年10月	美・横半	1冊		(裏表紙)「井唐木類薪炭一切」
6-42-15-2	覚(代銀書付)	年未詳2月16日	横切紙	1通	新屋佐平二→大橋 材木代	
6-42-16	十八年二月自り 来診并服薬扣	明治18年2月	半・横半折	1冊		(裏表紙)「新屋用」
6-42-17	凶事小遣ひ	年月日未詳	美・横半折	1冊		
6-42-18	[金銭書上書類]			1纏め(2通)		6-42-18-1~2まで重ねて折りたたまれている
6-42-18-1	[金銭書上]	年月日未詳	横折紙	1通	屋号及び金額書付	
6-42-18-2	[金銭書上]	年月日未詳	横折紙	1通	屋号及び金額書付	
6-42-19	[数量書付]	年月日未詳	横折紙	1通		
6-42-20	[人名書付]	年月日未詳	横切紙	1通		
6-42-21	[人名書付]	年月日未詳	横折紙	1通		
6-42-22	[金銭受取書付]			1纏め(1通1綴)		6-42-22-1~2まで重ねて二ツ折
6-42-22-1	記(金銭受取)	明治18年10月11日~12日		1綴(4枚)	浅口屋利太郎→東大橋 醤油切手代	
6-42-22-2	[金銀受取]	年未詳10月11日	横切紙	1通	高橋→大橋	
6-42-23	[金銭数量書付]			1纏め(3通1纏め)		6-42-23-1~4一纏め 6-42-23-1に6-42-23-2~4が包まれていた 纏めの為SILティッシュで包む
6-42-23-1	記(金銭受取)	年未詳9月5日	横切紙	1通	高橋副店→(宛名なし)	
6-42-23-2	[金銭書付]			1纏め(2通)		6-42-23-2-1~2一纏め 6-42-23-2-2が6-42-23-2-1に包まれていた
6-42-23-2-1	記(金銭書付)	年月日未詳	横切紙	1通		
6-42-23-2-2	記(金銭書付)	年未詳旧7月30日	横継紙	1通	笠原藤吉→東大橋	
6-42-23-3	[金銭受取]	年月日未詳	横切紙	1通	帯江屋幸蔵→大橋	
6-42-23-4	記(金銭受取)	酉年旧9月	横継紙	1通	藤吉→東大橋	
6-42-24	凶事金銭払帳	年月日未詳	美・横長	1冊		
6-43	[慈閣妙昌清信女葬式関係書類]	文政8年		1袋(1纏め1括り)		6-43-1~2一袋(袋上書)「文政八年乙酉九月廿三日六十九 慈閣妙昌清信女葬式之節 書類不残入委細別帳有之 大橋氏」袋破損の為SILティッシュで包む

6-43-1	[葬式参列者書上]	年月日未詳	横折紙	1纏め	向市場分、東町分、東本町分、中町、横町、稲荷町分、下組、と ミ町、戎町分、新町分	3枚が重ねて折りたたまれている
6-43-2	[葬式関係書類]			1括り(1綴5冊 仮11冊)		6-43-2-1~17紙綴りで一括り
6-43-2-1	[葬式関係納品書類]	文政8年9月29日		1綴(28枚)	9月29日付新宅宛福岡屋覚(もめん等代金請求書)等	28枚が紙綴りで仮綴されている
6-43-2-2	慈閣様九陰御留 大橋氏	年月日未詳	美・横半折	1冊	代銀書上帳	
6-43-2-3	[銀札書上]	年月日未詳	半・横長	1冊	銀札ノ壹貫廿五匁分式厘	
6-43-2-4	文政八年酉九月 慈閣妙昌清信女様葬式前夜 諸入 用荒々勘定扣	文政8年9月	半・横長	1冊		
6-43-2-5	文政八年酉九月廿三日より 慈閣妙昌清信女葬式前 後諸事控 大橋氏	文政8年	半・横長	1冊	買物代銀・献立等	
6-43-2-6	[葬式参列者書上]	年月日未詳	半・横長	仮1冊	井上町、阿知町、川西町分 大橋源介謙室津代文政八乙酉九 月廿三日卒ス 翌廿四日向倉鋪葬之慈閣妙昌清信女戒名ス	
6-43-2-7	勝手世話人	(文政8年)9月23日	美・横長	仮1冊	九月廿三日夜分西もちや文蔵他	
6-43-2-8	文政八乙酉九月廿三日 買物帳 三冊之内 中島屋 新宅	文政8年9月23日	美・横長	仮1冊		
6-43-2-9	文政八乙酉九月廿三日 買物帳 三冊之内 中島屋 新宅	文政8年9月23日	美・横長	仮1冊		
6-43-2-10	文政八乙酉九月廿三日 買物帳 三冊之内 中島屋 新宅	文政8年9月23日	美・横長	仮1冊		
6-43-2-11	払帳 中島屋新宅	年月日未詳	美・横長	仮1冊		
6-43-2-12	はたらき覚	年月未詳23日	美・横長	1冊	中村屋金蔵他	
6-43-2-13	[人足賃書上]	年月日未詳	半・横長	仮1冊		
6-43-2-14	[支払帳]	年月日未詳	美・横長	仮1冊		
6-43-2-15	式冊之内 野辺帳	年月日未詳	美・横長	仮1冊		
6-43-2-16	式冊之内 野辺帳	年月日未詳	美・横長	仮1冊		
6-43-2-17	悔帳	年月日未詳	美・横長	仮1冊		
6-44	[律賢童子葬式関係書類]			1袋(2括り仮1 冊1纏め)		6-44-1~4一袋(袋上書)「律賢童子葬式之節書類」袋破損の為S ILティッシュで包む
6-44-1	[葬式関係書類]			1括り(6通)		6-44-1-1~6一括り
6-44-1-1	覚(代銀書付)	年未詳2月29日	横継紙	1通(43枚)		43枚が貼り継がれている
6-44-1-2	覚(支払い勘定書付)	年未詳2月29日	横切紙	1通		
6-44-1-3	親類野辺勤連名	年月日未詳	横継紙	1通		
6-44-1-4	[人名書付]	年月日未詳	横切紙	1通		
6-44-1-5	祈禱 連名おほへ	年月日未詳	横切紙	1通		
6-44-1-6	[御祈禱連名覚]	年月日未詳	横継紙	1通		(端裏書)「御祈禱」
6-44-2	音物扣	年月日未詳	美・横長	仮1冊		
6-44-3	[控帳]			1纏め(1冊1通)		6-44-3-1に6-44-3-2が折り込まれていた
6-44-3-1	[支払い扣]	年未詳4月11日	半・横長	1冊		
6-44-3-2	覚(供物書上)	年月日未詳	横折紙	1通		
6-44-4	[葬式関係書類]			1括り(仮8冊4 通)		6-44-4-1~12紙綴りで一括り
6-44-4-1	野辺帳	年月日未詳	美・横長	仮1冊		
6-44-4-2	野辺帳	年月日未詳	美・横長	仮1冊		
6-44-4-3	役帳	年月日未詳	美・横長	仮1冊		
6-44-4-4	覚(南録受取)	年未詳2月29日	横切紙	1通	三宅立貞→大はし源介	
6-44-4-5	[屋号書付]	年月日未詳	横継紙	1通		
6-44-4-6	[役割分担書付]	年月日未詳	横継紙	1通		
6-44-4-7	[人名書付]	年月日未詳	横折紙	1通		
6-44-4-8	買物帳 中島屋	年未詳2月23日~ 29日	美・横長	仮1冊		
6-44-4-9	買物帳 中島屋	年未詳2月23日~ 29日	美・横長	仮1冊		
6-44-4-10	悔帳	年月日未詳	美・横長	仮1冊		
6-44-4-11	戊二月廿九日 払請取 中島屋新宅	戊年2月29日	美・横長	仮1冊		
6-44-4-12	扣帳	年月日未詳	美・横長	仮1冊		
6-45	[断簡]	年月日未詳		1枚		
7-1	自文久二戌年二月吉日 家用音信贈答日記	文久2年2月吉日	美・横長	1冊		
7-2	[催合講落札証文]			1括り(1通1包)		7-2-1~2紙綴りで一括り
7-2-1	催合講落札証文之事	嘉永5年4月	横継紙	1通	落札主 倉敷村中島屋金平 証人 親類 徳蔵→庭瀬御講掛り 内山親兵衛 間野権蔵 前田常介	包紙あり(包紙上書)「質地証文吉通」(奥書)鶴新田庄屋 三宅直 吉(端裏書)「嘉永五年子十一月廿五日調印 子式拾五番」
7-2-2	[証書類]			1包(2通)		7-2-2-1~2一包 包紙あり(包紙上書)「証文小作手形共 式通 大 橋金平」

7-2-2-1	催合講落札証文之事	嘉永5年4月	縦継紙	1通	落札主 倉敷村中島屋金平 証人 親類 徳蔵→新見御勘定元加藤愚 催合講世話方若原如山 同平田源太郎 催合講連中	(奥書)鶴新田庄屋預り 三宅直吉 (端裏書)「嘉永五年子四月九日調印 子貳番」
7-2-2-2	小作証文之事	嘉永5年4月	縦継紙	1通	倉敷村中島屋金平→催合講世話方若原如山 同平田源太郎	
7-3	明治七年戌十二月 講帳	明治7年12月	美・横列	1冊		(裏表紙)「宝来山 大橋秀太郎」「趣法催合講落札出金証書」明治拾三年十一月廿五日付が挟み込まれている
7-4	嘉永三庚戌年三月吉日 奉納経 備中倉敷大橋金平代参宗二郎	嘉永3年2月15日～3月吉日	美・縦	1冊		和歌の書付2枚が挟み込まれている
7-5	弘化三丙午年三月吉日 奉納経 備中倉敷大橋忠之丞代参嘉平	弘化3年3月吉日	美・縦	1冊		納札1枚が挟み込まれている
7-6	弘化四丁未年二月吉日 奉納経 備中倉敷大橋戌の年女代参友七	弘化4年2月～4月23日	美・縦	1冊		
7-7	嘉永二己酉年二月吉日 奉納経 備中倉敷大橋金平代参兼蔵	嘉永2年2月	美・縦	1冊		
7-8	弘化五戊申年三月吉日 奉納経 備中倉敷大橋金平代参友七	弘化5年3月	美・縦	1冊		
7-9	弘化二巳年三月吉日 奉納経 備中倉敷大橋忠之丞代参増吉	弘化2年3月～4月25日	美・縦	1冊		
7-10	丙戌明治十九年十一月より 小作米取立庭帳	明治19年11月～大正9年2月3日～10年3月28日	美・横長	1冊	明治19・20年分	(裏表紙)「東大橋」
7-11	[倉敷大橋銀行当座預金通帳]	明治6年～寅(明治11)年	17.5×9.5	1冊		
7-12	明治六癸酉年七月ヨリ 毎年盆暮勤方扣 富春軒	明治41年9月19日	美・横長	1冊		赤金の水引で綴じてある
7-13	明治四拾叁年九月十九日 旧八月廿四日午後七時 幸子誕生祝儀比加恵帳	明治22年1月吉日	美・横長	1冊		(裏表紙)「大橋壽」
7-14	己丑明治廿二年壹月吉日 諸雜記帳	明治19年正月～	美・横長	1冊		(裏表紙)「東大橋」
7-15	丙戌明治十九年正月吉日 小作米金貸付本帳	明治30年11月～	美・横長	1冊	新田、生坂、子位庄、浜、富久の索引あり	(裏表紙)「東大橋」 2枚に破れた「此分未進帳二而済」の書付が挟み込まれている
7-16	丁酉明治三拾年十一月吉日 小作米納算用帳	明治20年11月～	美・横長	1冊	明治20～明治22年分	(裏表紙)「名越」
7-17	丁亥式拾年十一月より 小作米取立庭帳	明治33年11月	美・横長	1冊	新田、生坂、子位庄、浜、富久の索引あり	
7-18	明治卅三年十一月吉日 小作米納算用帳	明治29年11月～	美・横長	1冊	新田、生坂、子位庄、浜の索引あり	(裏表紙)「東大橋」
7-19	丙申明治二拾九年十一月吉日 小作米算用帳	年月日未詳	美・横長	1冊		(裏表紙)「東大橋」
7-20	[小作米納算用帳]					
8-1	[沖新開地割絵図]	年月日未詳	54.3×59.5	1舗		袋あり(袋上書)「文政十二丑年 改天保開 沖新開有畝反別地割絵図 開発人一同壹枚宛所持候」
8-2	[文政十三年寅九月 鶴新田之内 文政開地割分間絵図]	文政13年9月	106.5×78.5	1舗		袋あり(袋上書)「文政十三寅十一月 文化開 文政開有畝反別 分検絵図 開発人一同壹枚宛所持候」
8-3	[貸家裏掛塀仕替見分略図]	嘉永2年正月25日	33.2×47.1	1枚		(端裏書)「立会広江屋 八浜屋 広田屋 本家 嘉永二己酉年正月廿五日 新川町 中須賀貸家 豊屋定次郎貸家裏掛塀仕替二付見分受候 此書付利吉より受取」
8-4	[福田沖新開場書類]			1括り(1袋1枚 仮2冊1冊)		8-4-1～5紙綴りで一括り
8-4-1	[福田沖新開場関係書類]			1袋(4通1舗)		8-4-1-1～5一袋 袋あり(袋上書)「嘉永元申年五月 福田新田荒絵図并仁左衛門へ相渡議定書写し入」
8-4-1-1	[福田沖新開場絵図]	年月日未詳	47.5×37.0	1舗		
8-4-1-2	福田沖附測(ママ)御新開場之内上流作続御分間杭より西大寺堤長六百間築立方申合覚	弘化5年4月	横折紙	1通	引請柳田村汲五平・証人木目村寛治・取次柳田村清三郎→道口俊之助・仁左衛門	
8-4-1-3	[坪数及び代銀書付]	年月日未詳	横切紙	1通		
8-4-1-4	[坪数及び代銀書付]	年月日未詳	横折紙	1通		
8-4-1-5	[福田新田干潟大島山板敷迄附切之目論人書付]	年未詳8月8日	横切紙	1通		
8-4-2	福田新田沖板敷丸山両所義定控	嘉永元年9月	半・横長	仮1冊		
8-4-3	児島郡福田新田沖附洲御分間二分百間積見取絵図	年月日未詳	27.9×40.5	1枚		
8-4-4	[乍恐以書付御敷奉申上書付扣]	申年9月	美・横長	仮1冊	福田新田沖附洲開発一件について	
8-4-5	嘉永元申年九月廿四日ヨリ おほへ	嘉永元年9月24日～11月晦日	半・横折半	1冊	9月24～11月晦まで福田新田に関する日記	
8-5	[借金関係書類]			1包(1括り1通)		8-5-1～2一包 (包紙上書)「七月 金十両 御陣内長沢橋平 本家此方源左工門他三人二而取かへ候節之手紙入 扣証文跡より入」
8-5-1	[書状]			1括り(3通)		8-5-1-1～3紙綴りで一括り
8-5-1-1	[中島屋源助宛長沢橋平書状]	年未詳6月27日	横継紙	1通	重ねて無心の依頼	(上書)「中島屋源助様 長沢橋平 当用」
8-5-1-2	[大橋源介宛三宅源左衛門書状]	年未詳7月6日	横継紙	1通	長沢一件の金子落手の事	(上書)「大橋源介様 三宅源左衛門 貴答」
8-5-1-3	[直島大介宛長沢書状]	年未詳6月27日	横継紙	1通	夜前にお悔やみした無心について念押し的事	(上書)「直島大介 長沢 当用御直披」
8-5-2	借用申金子之事	天保13年7月	縦継紙	1通	長沢橋平→源左衛門・平右衛門・源助	
8-6	覚(銀札受取)	未年7月19日	横継紙	1通	発起中→中島屋源助	包紙あり(包紙上書)「未年 妙見宮修覆入用寄附銀 請取書入 世話人宮崎屋慶雲 福嶋春作 そのきや与右衛門」

8-7	[役用書類雛形等]			1括り(1袋2通)		8-7-1~3紙綴り一括り
8-7-1	[届出書類雛形]			1袋(2通)		8-7-1-1~2一袋(袋上書)「出職人請状案文一通」(袋裏書)「倉敷」
8-7-1-1	差出申一札之事	年月日未詳	縦継紙	1通	引請人何屋誰→庄屋水沢常太郎・植田武右衛門・丹右衛門・年寄月番源介 雛形	(端裏朱書)「出職人一札案文壹通」
8-7-1-2	宗門請状之事	年月日未詳	縦継紙	1通	何郡何村何寺→窪屋郡倉敷庄屋水沢常太郎・植田武右衛門・丹右衛門・年寄月番源介 雛形	
8-7-2	一札之事	天保9年11月	縦継紙	1通	倉敷年寄月番源助→備前岡山原金兵衛 嘉兵衛倅磯之助を岡山桜町郡屋千左衛門方養子に遣わす	包紙あり(包紙上書)「備前岡山江男子送り出候節同心手より書付好候書付控 尤も案文差残候得共少々差略いたし認遣候事」
8-7-3	[人別関係書類帳面認方案文]	年月日未詳	縦継紙	1通	人別引請手形雛形等	袋あり(袋朱上書)「引越送願 帳面認方案文」
8-8	[帳面表紙]	文化13年	14.6×39.2 14.0×22.8	2枚		(上書)「文化十三年より 年々祭礼諸入用控」他
8-9	[月番年寄役用書類]			1袋(2冊30通1枚1包)		8-9-1~34一袋(袋上書)「天保十三寅年月番口取締書類并他村掛合文通控其外取斗向小書付在中」袋破損の為SILティッシュで包む
8-9-1	上新川町夜番組控 天保十一子十一月	天保11年11月	半・横切半折	1冊		
8-9-2	下新川町夜番組控 天保十一子十一月	天保11年11月	半・横切半折	1冊		
8-9-3	覚(宿割書)	年月日未詳	横継紙	1通	手代深谷耕二郎御上下三人御宿水沢他	
8-9-4	[郷村請取役人江戸出立等書付]	年月日未詳	横折紙	1通	深谷耕二郎他6名 当月18日江戸出立他	
8-9-5	[御着御祝儀書付]	寅年12月26日	横折紙	1通		
8-9-6	[町役銭関係書類]			1包(2通)		8-9-6-1~2一包 包紙あり(包紙上書)「新川町組町役銭立替書付壹通」
8-9-6-1	寅十二月町役銭	年月日未詳	横折紙	1通	前神百拾貫六百九拾九文他	
8-9-6-2	覚(銀子受取)	寅(天保13)年12月26日	横切紙	1通	新川町八拾三貫貳百六拾六文	
8-9-7	以書付御歎申上候	年月日未詳	横継紙	1通	千代吉親類たれ他→村役人中 千代吉・五作御締御免の願い	
8-9-8	改書	年未詳5月21日	横継紙	1通	人別改めについて	(端裏書)「五月廿一日出候御書付写」
8-9-9	覚(身元紹介)	年未詳4月25日	横継紙	1通	元次郎→大橋 桂元右衛門・松浦六郎の身元について	
8-9-10	[通達書]	年未詳4月27日	横切紙	1通	彦太郎・郡蔵→源助 一件のもの明朝申合につき通達	
8-9-11	[月番年寄役向心得書]	年月日未詳	横継紙	1通	用場の呼称等について他	
8-9-12	水沢常太郎北面新川町借り主喜十郎裏建物立会見分書控	年月日未詳	24.3×24.7	1枚		
8-9-13	[某書状扣]	年月日未詳	横継紙	1通	金子調達願いについて	(端裏書)「四月七日富岡屋貞輔竹田屋伝兵へ遣ス返書扣」
8-9-14	[大橋源介宛地蔵院書状]	年月日未詳	横継紙	1通	由緒書入筆依頼	(上書)「大橋源介様 地蔵院 坐下」
8-9-15	覚(粗間銀算用書)	年月日未詳	横継紙	1通	不納分・割賦辻	
8-9-16	[役用書付]	年月日未詳	横切紙	1通	請証文認め替えのことなど	
8-9-17	上納粗請負勘定控	年月日未詳	横折紙	1通	受負友右衛門	
8-9-18	覚(本欠合粗算用書)	年月日未詳	横折紙	1通		
8-9-19	[粗間銀等書上]	年月日未詳	横継紙	1通		
8-9-20	願下ヶ之事	天保13年12月	縦継紙	1通	願主茂助他3名→村役人中 材木代延引一件内済につき	(端裏書)「新屋茂助より御崎半助へ相懸り一件済口願下書付」
8-9-21	済口議定之事	寅(天保13)年5月4日	縦継紙	1通	中島村兵次郎・沖村利吉→沢屋善兵衛 代銀支払方について	
8-9-22	[倉敷御年寄源介宛小橋町名主六蔵書状]	寅(天保13)年12月25日	横継紙	1通	笹屋庄吉より伊勢屋万次郎へかかる代銀滞り一件下済について	包紙あり(包紙上書)「倉敷御年寄源助様 小橋町名主六蔵 役用貴答」
8-9-23	以書付御願申上候	天保13年11月	縦紙	1通	来光院他3名→村役人中 七日間心経講釈許可願い	
8-9-24	覚(願書)	天保12年8月	縦切紙	1通(2枚)	撰州大坂北久宝寺町三丁目役人→倉敷役人中 万屋平兵衛より岡屋安右衛門にかかる小間物代銀滞り一件につき下済依頼	包紙あり(包紙上書)「大坂北久宝寺町三丁目役人」役人名を記した添紙あり
8-9-25	[倉敷村御年寄源介宛渋江村名主庄平書状]	年未詳9月24日	横継紙	1通	西屋半助より松次郎他5名にかかる肥し代銀滞り一件	包紙あり(包紙上書)「倉敷村御年寄源介様 渋江村名主庄平 役用答」
8-9-26	差上申仮証文之事	天保9年12月	横継紙	1通	窪屋郡倉敷村庄屋水沢常太郎他5名→倉敷役所 貸付金三百両受取	
8-9-27	以書付御願申上候	天保11年9月	縦継紙	1通	三蔵→村役人中 帯江銀札につき陣屋役人非道の取計について	包紙あり(包紙上書)「上 三蔵」
8-9-28	善兵衛甚三郎一件	年月未詳12日	横継紙	1通	治左衛門→大橋 預銀貳貫目のこと	
8-9-29	[差上申済口議定之事案文]	年月日未詳	横折紙	1通	千代吉他5名分滞分書上	
8-9-30	[源介宛助右衛門書状]	年月未詳21日	横継紙	1通	玉島入用割賦帳面のこと	(上書)「村会所 源介様 庄屋助右衛門 御答」
8-9-31	[源介宛助右衛門書状]	年月未詳4日	横継紙	1通	前後新田引取につき掛合のこと	(上書)「源介様 助右衛門 御答」
8-9-32	差出申一札之事	年月日未詳	横継紙	1通	石松倅坂蔵他6名→村役人中 石松灘村山中にて縊死のこと	
8-9-33	以書付御歎申上候	年月日未詳	横継紙	1通	千代吉親類他→村役人中 当村千代吉・五作御締御免願い下書	
8-9-34	覚(銀札受取)	天保13年6月13日	横継紙	1通	親類清吉→村役人中 郡屋いとへ助勢分銀札六拾目	

8-10	[大橋源助宛の場復齋書状]			1包(1包1通)		8-10-1~2一包 包紙あり(包紙上書)「天保三年辰二月 金貳拾兩取かへ 的場復齋 書状式通入」
8-10-1	[大橋源助宛の場復齋書状]			1包(2通)		8-10-1-1~2一包 包紙あり(包紙上書)「備中倉敷大橋源助様 要用 京室町二条下ル 的場復齋 正月五日発」
8-10-1-1	[大橋源助宛の場復齋書状]	年未詳正月5日	横継紙	1通	娘縁談も決まり3日初に帰着のつもり、については金20兩借与下されたしとのこと	(上書)「大橋源助様 的場復齋 用事」
8-10-1-2	[大橋源助宛の場復齋書状]	年未詳正月2日	横折紙	1通	海糠魚漬二桶のお礼及び年頭の祝詞	
8-10-2	[大橋源介宛の場復齋書状]	年未詳2月6日	横継紙	1通	金子受取のお礼	包紙あり(包紙上書)「倉敷大橋源助様 京都室町二条[ ] 的場復齋 要用 二月六日」
8-11	[人別送り関係書類雑形]			1袋(3通)		8-11-1~3一袋 袋あり(袋上書)「離縁案文三通 倉敷」
8-11-1	送手形之事	年月日未詳	縦継紙	1通	何国何郡何村庄屋誰→備中国窪屋郡倉敷庄屋水沢常太郎・植田武右衛門・丹右衛門・年寄中 雛形	(端裏書)「離送」
8-11-2	宗門放手形之事	年月日未詳	縦紙	1通	何国何郡何村何寺→備中国窪屋郡倉敷何寺 雛形	(端裏書)「放」
8-11-3	宗門請状之事	年月日未詳	縦継紙	1通	何国何郡何村何寺→備中国窪屋郡倉敷庄屋水沢常太郎・植田武右衛門・丹右衛門・年寄中 雛形	(端裏書)「離宗受」
8-12	[預金取替金関係書類]			1袋(1包仮1冊1通)		8-12-1~3まで一包にされて袋に入れられている 袋あり(袋上書)「祖母様書類」(包紙上書)「受取通」
8-12-1	[預金書付等書類]			1包(13通)		8-12-1-1~13まで包紙に包まれている (包紙上書)「上」
8-12-1-1	借用申金子証文之事	明治15年旧正月	縦紙	1通	佐々木峰吉→大橋	
8-12-1-2	[大橋宛善吉書状]	年月日未詳	横継紙	1通	手数料の願い	(上書)「大橋様 善吉 御答」
8-12-1-3	大橋氏内預金依頼二付預金書抜	年月日未詳	横継紙	1通		
8-12-1-4	覚(弘化開地代銀納付証)	巳年10月18日	横切紙	1通	上本や勘次郎→倉鋪大橋	
8-12-1-5	覚(小はん受取)	卯年4月	横切紙	1通	大森増次郎→大橋	
8-12-1-6	覚(預金書上)	年月日未詳	横切紙	1通		
8-12-1-7	覚(預金書付)	年月日未詳	横折紙	1通		(上書)「卯のとし おほへ」
8-12-1-8	[金銭関係証文]	卯年3月5日~明治12年11月1日	横継紙	1通(3枚)		3枚の証文が貼り継がれている
8-12-1-9	[取替金書付]	年月日未詳	横折紙	1通	旧三月八日取かへの分八円他	
8-12-1-10	覚(預金書付)	年月日未詳	横継紙	1通		
8-12-1-11	記(金銭受取)	年未詳11月1日	横継紙	1通	善吉→東大橋	
8-12-1-12	覚(預金書付)	年月日未詳	横切紙	1通		
8-12-1-13	覚(預金書付)	年月日未詳	横継紙	1通		
8-12-2	覚(取替金書付)	年月日未詳	横折紙	1通	酉の年十二月元おくまとは入用百五拾兩	
8-12-3	年賦金受取通	年月日未詳	美・横長	仮1冊	大橋平右衛門→大橋源介	
8-13	[金借用証文・義倉金預り証文]			1括り(12通2包)		8-13-1~14紙綴りで一括り
8-13-1	覚(金受取)	嘉永7年12月17日	縦継紙	1通	光右衛門・丈平→文介	包紙あり(包紙上書)「請取書」
8-13-2	覚(利足金受渡し書付)	戌年12月30日	横継紙	1通	平蔵→徳蔵	
8-13-3	借用申金子証文之事	慶応4年7月15日	縦切紙	1通	新宅大橋秀太郎・同徳蔵→本家大橋平右衛門 「巳十二月十一日返済」の書付あり	包紙あり(包紙上書)「証文書通 新宅」本文全体墨書で抹消
8-13-4	借用申金子之事	慶応3年12月29日	横切紙	1通	新宅大橋秀太郎・同徳蔵→本家大橋平右衛門	包紙あり(包紙上書)「証書書通」
8-13-5	[証書類]			1包(2通)		8-13-5-1~2一包 包紙あり(包紙上書)「書附書通」
8-13-5-1	記(借用証書)	明治9年9月4日	横切紙	1通	新宅大橋秀太郎→本家大橋平蔵	包紙あり(裏書)「記 利子三円六拾銭 利子金正二請取候也」
8-13-5-2	記(受取証)	明治10年3月22日	横切紙	1通	新宅大橋秀太郎→本家大橋平蔵・同友蔵	(端裏書)「利子六円拾壹銭五厘請取 明治十年五月十九日」
8-13-6	借用申金子証文之事	明治5年7月14日	縦切紙	1通	新宅大橋秀太郎→本家大橋平蔵	包紙あり(包紙上書)「証文書通 新宅秀太郎」本文全体墨書抹消
8-13-7	借用申金子証文之事	慶応4年7月24日	縦切紙	1通	中島屋徳蔵→日野屋孫兵衛	包紙あり(包紙上書)「証文書通」本文全体墨書抹消
8-13-8	借用申金子証文之事	明治7年1月25日	縦切紙	1通	新宅大橋秀太郎→本家大橋平蔵	包紙あり(包紙上書)「証文書通 新宅」本文全体墨書抹消
8-13-9	借用申金子証文之事	明治2年12月21日	縦切紙	1通	北新宅大橋徳蔵→西本家大橋平右衛門	包紙あり(包紙上書)「証文書通」本文全体墨書抹消
8-13-10	借用申金子証文之事	明治7年1月22日	縦切紙	1通	新宅大橋秀太郎→本家大橋平蔵	包紙あり(包紙上書)「証文書通 新宅」本文全体墨書抹消
8-13-11	[義倉金預り証文]			1包(2通)		8-13-11-1~2一包 包紙あり(包紙上書)「預り証券 書通」(上書は墨書抹消)
8-13-11-1	義倉金預り証文之事	明治10年9月20日	縦切紙	1通	預り主大橋秀太郎・証人大橋長蔵→義倉幹事	本文全体墨書抹消
8-13-11-2	義倉金預り証文之事	明治10年9月17日	縦切紙	1通	預り主大橋秀太郎・証人大橋長蔵→義倉幹事	本文全体墨書抹消
8-13-12	借用申金子之事	明治9年9月28日	縦切紙	1通	借主大橋秀太郎・証人大橋徳蔵→安田升造取次	(裏書)「明治九丙子年十一月廿八日返済致候也」表書の本文全体墨書抹消
8-13-13	金子借用証文之事	明治10年1月16日	縦紙	1通	借主大橋秀太郎・証人大橋徳蔵→取次尻原常蔵	包紙あり(包紙上書)「証書書通」本文全体墨書抹消
8-13-14	預り申金子之事	元治2年2月3日	縦切紙	1通	大橋良介→本家大橋平右衛門 「慶應三年卯五月廿四日返ル」の書付あり	本文全体墨書抹消
8-14	[新田開発関係文書]			1袋(3舗1纏め)		8-14-1~4一袋 (袋上書)「嘉永三庚戌年十一月 児嶋郡板敷丸山両所新開絵図并地割帳面共入」
8-14-1	[新開地割絵図]	年月日未詳	54.3×104.7	1舗		包紙あり(包紙上書)「絵図面入」
8-14-2	児嶋郡福田新田沖御新開御検地御下積升割絵図	年月日未詳	101.5×62.8	1舗		

8-14-3	[福田新田沖新開取分ヶ絵図面及び申合之覚]	嘉永3年11月5日	56.5 × 158.8	1舗	[申合之覚]の立会人として野崎武左衛門他6名の署名あり	(袋上書)「戌十一月 福田新田沖新開取分ヶ絵図面入 但鬮取議定文意書込有之候 東大橋」(絵図面端裏書)「嘉永三庚戌年十一月五日 地所鬮取いたし候 東大橋」
8-14-4	[土地割関係類]			1纏め(2冊2通)		8-14-4-1の帳面に8-14-4-2~4までが挟まれて二ツ折にされている
8-14-4-1	嘉永三庚戌年十一月二日ヨリ 地割野取帳 東大橋	嘉永3年11月2日~	半・横長	1冊		
8-14-4-2	[土地見面勘定書付]	年月日未詳	横継紙	1通	「亥十一月廿六日夕 大黒屋より借用 写ス」の書付あり	
8-14-4-3	[新田開発関係諸事留帳]	年月日未詳	美・横半折	1冊		
8-14-4-4	[五ヶ村の名主名書付]	年月日未詳	横継紙	1通	東畝村・北畝村・西畝村・南畝村・松江村分	
8-15	壹番抵当書入証	明治19年12月21日	半・縦	仮1冊	負債主大橋俊太郎・証人三宅璋平→小河原丈平	袋あり(袋上書)「戻り証券」 罫紙使用
8-16	[預金関係書類]			1包(2通)		8-16-1~2一包 包紙あり(包紙上書)「受取書入 百両引取覚(力)勝之丞」
8-16-1	[良介宛勝之丈用状]	午年3月17日	横切紙	1通	預金引渡し依頼	(上書)「良介様 勝之丈 内要用」
8-16-2	覚(金子受取)	年月日未詳	横切紙	1通		
8-17	明治十二卯年三月廿四日 則旧三月二日也 田畑地券金貨証書帳簿米石引渡帳	明治12年3月24日	半・横長	1冊		
8-18	[銀高書付]			1括り(16通)		8-18-1~16紙綴りで一括り 紐に付箋が付いている(付箋上書)「庄介書類数々有之候」
8-18-1	覚(銭札預り)	未年6月24日	横切紙	1通	松江庄作→東大橋	
8-18-2	覚(銀札受取)	年未詳8月26日	横継紙	1通	松 庄介→塩生名主	
8-18-3	[大橋宛松江庄助作書状]	午年12月25日	横切紙	1通	小作入米銀入帳依頼	(上書)「倉舗東大橋様 松江庄作 尊下」
8-18-4	覚(呼松前大水門普請入用銀受取)	未年2月26日	横継紙	1通	松江村役幸松→大橋	
8-18-5	覚(辰年村入用銀書出し)	年月日未詳	横継紙	1通	松江庄作→大橋	
8-18-6	覚(午年賄銀受取)	未年2月25日	横切紙	1通	庄作→大橋	
8-18-7	覚(呼松前水門裾替の件につき返答願ひ他)	年月日未詳	横継紙	1通		
8-18-8	爾歳反割	年月日未詳	横切紙	1通	松江里正武三郎→倉舗村源介	
8-18-9	覚(銀札受取)	午年正月	横切紙	1通	松江名主永五郎→倉敷東大橋源介	
8-18-10	覚(当夏割銀受取)	午年7月12日	横切紙	1通	松江庄作→東大橋	
8-18-11	覚(銀勘定書付)	午年3月24日	横切紙	1通	松江庄作→大橋	
8-18-12	覚(銀勘定書付)	明治2年7月	横継紙	1通	松江名主栄之介→倉敷東大橋源介	
8-18-13	明治二巳年十二月 御年貢	明治2年12月	横継紙	1通	松江名主塩生村永五郎→大橋源介	
8-18-14	[懸り銀請求書]	明治2年7月	横切紙	1通	松江役場→大橋源介	
8-18-15	覚(銀札請取)	巳年7月13日	横切紙	1通	松江庄介→大橋	
8-18-16	[年貢請取]	午年12月16日	横継紙	1通	松江庄作→東大橋	
8-19	[借用証書類]			1包(仮1冊2通)		8-19-1~3一包 包紙あり(包紙上書)「証書 二」
8-19-1	金子預り証券	明治18年2月13日	縦紙	1通	預り主倉敷村大橋秀太郎・証人大橋俊太郎→中島村三島重郎 借用主窪屋郡倉敷村大橋秀太郎他2名→都宇郡早島新田村金主石井増太郎	封筒あり(封筒上書)「十八年十二月三十一日限金三百四拾五円 証券巻通 倉敷村大橋秀太郎」(裏書)「一金三拾六円也 右者取替金勘定残金正二受取候也 明治二十年三月七日 三島重郎」 表書本文全体墨書抹消
8-19-2	金子借用証券	明治17年12月3日	縦継紙	1通		朱線・墨線で消印されている
8-19-3	金子借用証券	明治19年12月2日	半・縦	仮1冊	負債主大橋俊太郎他2名→債主大橋良平	罫紙使用 墨線で消印抹消されている
8-20	[三宅吉造関係証書等書類]			1袋(仮3冊3通)		8-20-1~6包紙に包まれて一袋 (袋上書)「三宅吉造書類 在し程」
8-20-1	[元利書付]	年月日未詳	横継紙	1通	奈良や金五拾円、此り七円	
8-20-2	田地売渡シ証	明治16年9月1日	半・縦	仮1冊	売渡人備中国下道郡二万村白神七十郎・証人塩見新→備中国窪屋郡倉敷三宅吉造	(奥書)下道郡上二万村下二万村戸長木村元太郎 罫紙
8-20-3	宅地敷永代売渡証	明治17年2月	半・縦	仮1冊	売主窪屋郡酒津村石井吉平・証人同郡同村都志光十郎→窪屋郡倉敷村三宅吉造	(奥書)戸長藤野宇一 罫紙
8-20-4	金子借用之証	明治17年5月15日	縦紙	1通	借主窪屋郡倉敷村三宅吉造・証人同郡同村小橋嘉吉→大橋秀太郎 金三拾六円	封筒あり(封筒上書)「十七年五月十五日入金三拾六円証券巻通 三宅吉造」 罫紙
8-20-5	[金預り証控]	明治17年3月28日	縦紙	1通	金預主大橋秀太郎・証人大橋俊太郎→三宅吉造	(奥書)大橋秀太郎 罫紙
8-20-6	差入置申候証書	明治17年3月28日	半・縦	仮1冊	窪屋郡倉敷村三宅吉造→大橋秀太郎	罫紙
8-21	[貸家敷地見分略図]	丑年6月24日	28.2 × 36.3	1枚		(端裏書)「丑六月廿四日立会 植田 小野 水沢 広江屋 大島屋 新川町中須賀貸家敷地見分書付 写 八月十二日使権助より受取」
8-22	[印鑑包紙]	年月日未詳	縦切紙	1通		「御印判師」の商標あり
8-23	[銀高書付書類]			1括り(2通2包)		8-23-1~4紙綴りで一括り
8-23-1	覚(銀高算用書付)	文政7年12月	横継紙	1通	本家→新宅	包紙あり(包紙上書)「文政七申年 新宅算用状」
8-23-2	[銀子請取関係書類]			1包(3通)		8-23-2-1~3一包 包紙あり(包紙上書)「文政七申正月十七日本家算用書付巻通并同家へ相渡候請取書付控巻通入」
8-23-2-1	覚(銀子請取皆済の事)	文政7年正月17日	横継紙	1通	新宅源介→本家貞蔵	(端裏書)「文政七申正月十七日本家請取書控」



8-23-2-2	覚(銀子渡し皆済の事)	文政7年正月17日	横継紙	1通	本家貞蔵→新宅源助	
8-23-2-3	[本家宛新宅書状]	年月日未詳	横切紙	1通	当正月十七日迄の皆済を依頼	(上書)「源介様 平蔵」
8-23-3	[銀子受取関係書類]			1包(2通)		8-23-3-1~2一包 包紙あり(包紙上書)「宇治屋利右衛門へ渡候銀受取書式通入」
8-23-3-1	覚(銀子請取)	文化9年5月	横切紙	1通	宇治屋利右衛門→地蔵院	包紙あり
8-23-3-2	覚(頼母子講銀返済一札)	文化8年2月	縦継紙	1通	借主宇治屋利右衛門・加判古山屋儀平→中島屋源介	包紙あり(包紙上書)「一札」
8-23-4	[代銀書付]	年月日未詳	横継紙	1通	とんふり・硯ぼこ代他	
8-24	[鶴新田弘化開き絵図]			1包(2舗)		8-24-1~2一包 (包紙上書)「鶴新田弘化開絵図入 東大橋」
8-24-1	[鶴新田弘化開き絵図]	年月日未詳	59.8×55.5	1舗		
8-24-2	[弘化開絵図]	年月日未詳	72.5×70.1	1舗		(端裏書)「大橋 弘化開絵図」
8-25	覚(異国船防禦入用上納金請取)	嘉永7年4月20日	縦切紙	1通	佐々井半十郎手附下又平・青木新右衛門→倉敷村亀次郎	包紙あり(包紙上書)「嘉永七甲寅年四月 献納金御役所より御請取書入」
8-26	[献納金受取証]			1包(4冊4纏め)		8-26-1~8一包 包紙あり(包紙上書)「慶応丑寅兩年献納金並助勢金御役所受取式通 村役人受取四通都合六通入」
8-26-1	哲多郡御困糶償代丑寅武ヶ年分受取	卯年4月20日	縦切紙	1通	桜井久之助役所逸見小十郎・田中東蔵→倉敷村大橋秀太郎	
8-26-2	[献納金書類]			1纏め(2通)		8-26-2-2が8-26-2-1に包まれている
8-26-2-1	御進発上金卯年分請取	卯年11月8日	縦切紙	1通	長坂半八郎役所小菅十一郎・山中武右衛門→倉敷村大橋秀太郎	
8-26-2-2	[卯年献金請求切手]	卯年	横切紙	1通	大橋秀太郎分	
8-26-3	[難渋人助情金請取覚]			1纏め(2通)		8-26-3-1~2が重ねて折りたたまれている
8-26-3-1	覚(難渋人助情金請取)	寅年7月9日	横切紙	1通	倉敷村役人惣代原唯介・勝之丞・仁左衛門→大橋秀太郎	
8-26-3-2	覚(難渋人助情金請取)	寅年7月9日	横切紙	1通	倉敷村役人惣代原唯介・勝之丞・仁左衛門→中嶋屋徳蔵	
8-26-4	[献納金書類]			1纏め(2通)		8-26-4-1が8-26-4-2に包み込まれている
8-26-4-1	[丑年献納金請求切手]	丑年	横切紙	1通	中嶋屋徳蔵分	
8-26-4-2	覚(丑年献納金受取)	乙丑年11月25日	縦切紙	1通	金五両請取証 庄屋大橋平右衛門・勝之丞→中嶋屋徳蔵	
8-26-5	艘差出金受取	卯年4月12日	縦切紙	1通	桜井久之助役所逸見小十郎・田中東蔵→倉敷村徳蔵	
8-26-6	艘差出金請取	卯年4月12日	縦切紙	1通	桜井久之助役所逸見小十郎・田中東蔵→倉敷村大橋秀太郎	
8-26-7	年賦上納金寅年分受取	年未詳正月16日	縦切紙	1通	桜井久之助役所逸見小十郎・田中東蔵・直江喜平治→倉敷村大橋秀太郎	
8-26-8	[金請取証]			1纏め(2通)		8-26-8-1が8-26-8-2に包み込まれている
8-26-8-1	献納金丑年分請取	丑年12月4日	縦切紙	1通	桜井久之助手附田中東蔵・同手代逸見小十郎・直江喜平治→倉敷村秀太郎	
8-26-8-2	覚(本丸普請上納金受取)	丑年12月8日	縦切紙	1通	桜井久之助手附田中東蔵・同人手代逸見小十郎・直江喜平治→備中国窪屋郡倉敷村大橋良助	
8-27	[居屋舗并貸屋舗見分書類]			1袋(1纏め1舗1枚)		8-27-1~3一袋 (袋上書)「倉敷村此方居屋舗并貸屋舗請見分 書類入」
8-27-1	[屋敷地丈量図]			1纏め(2枚)		8-27-1-2に8-27-1-1がはさまれて二ツ折
8-27-1-1	[屋敷地略図]	年月日未詳	24.2×20.0	1枚		
8-27-1-2	[屋敷地丈量図]	年月日未詳	34.5×24.7	1枚		
8-27-2	本町南側水夫屋敷地面図	明治8年7月9日	27.5×44.0	1舗	今福屋工賃候分	
8-27-3	[屋敷地丈量図]	年月日未詳	34.5×24.7	1枚		
8-28	[御警衛入用献金切手]	年未詳10月28日	横切紙	1通	大橋良介分	
8-29	[畝高欠分等書付]	年月日未詳	横折紙	1通		
8-30	[鶴新田小絵図類]			1袋(8枚1舗)		8-30-1~9一袋 (袋上書)「鶴新田小絵図類入」
8-30-1	[井道目論見略図]	年月日未詳	27.8×40.6	1枚		
8-30-2	[破損提井波切杭打立場所等間敷略図]	文政13年3月25日	27.6×40.7	1枚		(端裏書)「文政十三寅閏三月 逸見様差出候絵図控」
8-30-3	拾壹ヶ村悪水道并御新開四ヶ所米屋ひらき共見取略絵図	年月日未詳	41.0×28.0	1枚		
8-30-4	[沖開御見分所略図]	年月日未詳	24.5×33.6	1枚	「方角難相分御書記し可被下候」の書付あり	
8-30-5	備中国浅口郡鶴新田見取倉絵図	年月日未詳	27.7×38.7	1枚		
8-30-6	鶴新田見取倉絵図	年月日未詳	28.0×39.3	1枚		「文政十二丑八月晦日江戸御普請役元々格米倉武助様 普請役小池小二郎様 御兩人御見分之節差出し候扣 但シ海辺村々御支配等計」の付紙がはさまれている
8-30-7	鶴新田見取倉絵図	天保2年8月	27.4×36.6	1枚		「天保二卯年御勘定山田様へ御駕籠訴二相添出ス」の付紙がはさまれている
8-30-8	[新田分間略絵図]	年月日未詳	37.5×57.8	1舗		
8-30-9	薩生場見取倉絵図	年月日未詳	28.1×40.4	1枚		
8-31	天保十一子年二月 鶴新田海面満干絵図面袋	天保11年2月	27.6×14.8	1枚		袋のみ
8-32	[伊左衛門関係書類]			1包(2通1包)		8-32-1~3一包 包紙あり(包紙上書)「一札連島西ノ浦 三宅伊左衛門」
8-32-1	一札之事	文政4年11月	縦紙	1通	連島西ノ浦栄屋伊左衛門・証人同所伏見屋東平→倉敷中島屋源助 畑の式反八畝八歩の譲渡しについて	
8-32-2	譲状之事	文政4年11月	縦紙	1通	倉敷中島屋源助・証人西ノ浦伏見屋東平→西ノ浦町時屋源兵衛	
8-32-3	[源助宛伊左衛門書状類]			1包(2通)		8-32-3-1~2一包 包紙あり(包紙上書)「中島屋源助様 米屋伊左衛門貴下内用書 自連島 到倉敷」

8-32-3-1	〔源助宛伊左衛門口上書〕	年未詳12月8日	横切紙	1通	面倒な依頼を承知してくれたことへの礼状	
8-32-3-2	〔源介宛伊左衛門書状〕	年未詳11月17日	横切紙	1通	拙家隣地購入に付名前借用の事を依頼	
8-33	〔中島屋印鑑〕	年月日未詳		1個		包紙あり(包紙書入)「安政二乙卯年九月五日迄此印形相用イ候翌六日ヨリ東大橋ト云印形相用候事」
8-34	覚(上下他呉服逢賃(力)書上)	とら年7月30日	横継紙	1通	みつ→東大橋旦那	
8-35	〔仁左衛門開関係書類〕			1括り(2舗1枚1通1冊)		8-35-1～5紙綴りで一括り(紙綴り付紙)「仁左衛門開古絵図」
8-35-1	仁左衛門開荒絵図	年月日未詳	62.3×60.1	1舗		(端裏書)「仁左衛門開荒絵図 守屋扣」
8-35-2	〔仁左衛門開荒絵図〕	年月日未詳	62.5×59.6	1舗		8-35-1に同じ
8-35-3	〔地割略図〕	年月日未詳	23.9×16.5	1枚		
8-35-4	〔大橋金平宛保三郎書状〕	年未詳12月2日	横切紙	1通	仁左衛門開絵図送付、御覧下されたしとのこと	(上書)「大橋金平様 保三郎 貴覧之事」
8-35-5	高洲新開名寄帳	年月日未詳	半・横長	1冊		
8-36	伺倉敷御墓所地界絵図并定杭之控	文政13年4月25日	28.0×36.8	1枚		袋あり(袋上書)「文政十三庚寅年四月廿五日 向倉敷御墓所地界絵図并定杭之控」
8-37	口達之覚	辰年12月	横継紙	1通	時勢に付き入費夥敷ため永納借用の利足米は不得止昨年半年減のこと	包紙あり(包紙上書)「備中倉敷中嶋屋良介様 中山清介 橋本弥五兵衛 武田鎌次郎」
8-38	御尋二付奉申上候書付	辰年5月	横継紙	1通	倉敷村年寄源介→倉敷役所 献納金及び西之浦や鶴新田開発場所の反別など書上	
8-39	〔ただれのめぐすり覚〕	年未詳4月1日	美・横半折	1冊	薬品の調合について	
8-40	〔中畝絵図〕	年月日未詳	65.0×94.0	1舗		帯封あり(帯封上書)「中畝絵図ノハ子」
8-41	子十一月 御交代二付別段入用扣	子年11月	美・横半折	1冊		
8-42	〔旧岡山藩への預銀一件書類〕			1包(1纏め5通1冊)		8-42-1～7一包(包紙上書)「証文一通」
8-42-1	〔旧岡山藩への預銀一件書類〕			1纏め(仮1冊4通)		8-42-1-1に8-42-1-2～5までは含まれていた
8-42-1-1	岡山御旧藩江永納与唱指出御預ヶ銀	明治5年正月	美・縦	仮1冊	窪屋郡倉敷村大橋秀太郎→倉敷県庁 御預ヶ銀書上	罫紙
8-42-1-2	〔利米請取覚〕	年月日未詳	横継紙	1通		
8-42-1-3	〔貸付銀高勘定覚〕	年月日未詳	縦紙	1通		
8-42-1-4	〔備前旧御藩永納与唱指出御預ヶ金案文〕	年月日未詳	縦紙	1通		罫紙
8-42-1-5	旧御藩并旗下江調達金之儀に付御願書	壬申年9月28日	縦紙	1通	大橋秀太郎(外三名)→小田県庁 廃藩置県の際、旧藩并旗下の調達金を認めてもらう願書	
8-42-2	旧岡山御藩調達金并二御証文写共書上 小田県管下窪屋郡倉敷村大橋秀太郎	明治6年6月	美・縦	1冊		罫紙
8-42-3	〔調達金書上持参添状の案文〕	年月日未詳	横継紙	1通		宛名・差出人不明
8-42-4	旧御藩并旗本江調達金義二付御願書	壬申年9月28日	縦紙	1通	大橋秀太郎他4名→小田県県庁	
8-42-5	〔出納課指示書〕	年未詳5月29日	横切紙	1通	岡山藩借入金銀証文写并借入已来代替実名等岡山県へ持参のこと	
8-42-6	覚(利米請取高書上)	年月日未詳	横継紙	1通	窪屋郡倉敷村大橋秀太郎→(宛名なし)	
8-42-7	〔中島屋当主没年等書付〕	年月日未詳	横継紙	1通		
8-43	〔献納金請取書〕			1包(4通)		8-43-1～4一包(包紙上書)「文久元年辛酉年十二月より 献納金御役所より御請取書」
8-43-1	覚(上納金請取書)	子(元治元力)年12月11日	縦切紙	1通	桜井久之助手附田中東蔵・同人手代逸見小十郎・直江喜平治→備中国窪屋郡倉敷村良助 金四拾両 本丸普請のため上納金子年分	
8-43-2	覚(上納金請取書)	亥(文久3力)5月	縦切紙	1通	大竹左馬太郎役所小磯錠助・関口良蔵→備中国窪屋郡倉敷村良助 金四拾両 本丸普請のため上納金亥年分	
8-43-3	覚(上納金請取書)	戌(文久2力)8月8日	縦切紙	1通	大竹左馬太郎手代池田泰蔵・小磯錠助→備中国窪屋郡倉敷村大橋良助 金四拾両 本丸普請のため上納金戌年分	
8-43-4	覚(上納金請取書)	酉(文久元力)11月27日	縦切紙	1通	大竹左馬太郎手代池田泰蔵・小磯錠助→備中国窪屋郡倉敷村良助 金四拾両 本丸普請のため上納金酉年分	
8-44	〔岡山取引関係書類〕			1括り(7袋)		8-44-1～7紙綴りで一括り(紙綴り書付)「文久二戌年ヨリ明治三年迄の岡山書附 甚介指越ス分」 SILティッシュで包む
8-44-1	〔慶応元乙丑年 大黒屋甚介より差越書類〕			1袋(仮1冊8通1包)		8-44-1-1～10一袋(袋上書)「慶応元乙丑年 大黒屋甚介より差越書類入」
8-44-1-1	慶應元丑年 取立銀差引算用帳	慶應元年	半・横長	仮1冊		
8-44-1-2	覚(元利算用書付)	年月日未詳	横継紙	1通		
8-44-1-3	覚(氏名書付)	年月日未詳	横切紙	1通	津田源右衛門他5名	
8-44-1-4	〔立用銀元利算用書付〕	酉年12月3日	横切紙	1通	加藤伝兵衛分二名分	
8-44-1-5	〔納米高等書付〕	丑年12月9日	横切紙	1通		
8-44-1-6	覚(利米請取)	年月日未詳	横切紙	1通		
8-44-1-7	覚(佐野氏講差引過金算用書)	丑年12月2日	横継紙	1通	大黒屋甚介→新宅	
8-44-1-8	〔東大橋宛甚介書状〕	年未詳12月10日	横継紙	1通	銀札三貫目渡状	(上書)「東大橋様 甚介 口上書銀札相添」
8-44-1-9	覚(去丑年岡山取立差引過金受取)	丙寅年8月2日	横切紙	1通	大黒屋甚介→東大橋	
8-44-1-10	〔御蔵払米関係書類〕			1包(4通)		8-44-1-10-1～4一包 包紙あり(包紙上書)「御切手五拾俵 川入東大橋様之分」
8-44-1-10-1	覚(御蔵払米を年貢米切手に書替の書付)	丑年12月	横継紙	1通	川入村名主庄兵衛→御蔵奉行	

8-44-1-10-2	覚(切手受取)	年未詳12月20日	横切紙	1通	川入村役場→倉敷大橋源介	
8-44-1-10-3	[銀高書付]	年月日未詳	横切紙	1通	備中倉敷中嶋屋良介	
8-44-1-10-4	預申御蔵米	丑年12月17日	竖切紙	1通	田中富八郎・岡本鉄之介→山田左右衛門	
8-44-2	[慶応二丙寅年 大黒屋甚介より差越候書付]			1袋(仮1冊6通)		8-44-2-1~7一袋(袋上書)「慶應二丙寅年 大黒屋甚介より差越候書付入」
8-44-2-1	覚(福田新開水面地代金割当分引渡算用書)	慶応2年12月	横継紙	1通	大黒屋甚介・大黒屋松二郎→大橋秀太郎	
8-44-2-2	覚(金指算用書付)	丑年11月27日	横継紙	1通	三島・東大橋・妹尾分	
8-44-2-3	覚(岡山差引過金受取)	丁卯年6月27日	横継紙	1通	大黒屋甚介→新宅	包紙あり(包紙上書)「受取書」
8-44-2-4	覚(利金算用書)	卯年4月14日	横継紙	1通		(端裏朱書)「小畠分」(端裏書)「卯四月十四日 甚介 持参」
8-44-2-5	覚(岡山取立銀引渡添状)	寅年10月晦日	横切紙	1通	大黒屋甚介→東大橋	
8-44-2-6	[書状追伸]	年月日未詳	横継紙	1通	永納米受取書印形不備のため御渡し相成申さず	宛名・差出人なし 追伸のみで本文なし
8-44-2-7	慶應二年寅十二月 取立銀指算用帳 御新宅様 大黒屋甚介	慶応2年12月	半・横長	仮1冊		
8-44-3	[慶応三年 大黒屋甚介より差越候書付]			1袋(仮1冊6通)		8-44-3-1~7一袋(袋上書)「慶応三卯年 大黒屋甚介より差越候書付入」
8-44-3-1	慶応三卯年 取立銀差引算用書 御新宅様 大黒屋甚介	慶応3年	美・横長	仮1冊		
8-44-3-2	[大橋徳蔵宛国府に而甚介書状]	年未詳12月24日	横継紙	1通	永納米の代銀を支払う旨の報知	包紙あり(包紙上書)「大橋徳蔵様 国府より甚介 御要用」
8-44-3-3	覚(皆済米支払代銀算用書付)	年月日未詳	横継紙	1通		
8-44-3-4	[永納之分受取証]	年月日未詳	横切紙	1通	橋本弥五郎兵衛外2名→二番御蔵奉行	
8-44-3-5	覚(納米代銀算用書付)	年月日未詳	横継紙	1通		
8-44-3-6	覚(永納米代銀遣し証)	辰年正月	横継紙	1通	大黒屋甚介→東大橋	
8-44-3-7	覚(金銭請取証)	辰年閏4月4日	横継紙	1通	大黒屋甚介→東大橋	
8-44-4	[岡山取引関係書類]			1袋(仮2冊1括り1纏め8通)		8-44-4-1~12一袋(袋上書)「明治元辰岡山取引書類 大黒屋甚介より差越候分入 同二巳年同断書類入 同三午年分三通入」
8-44-4-1	明治元辰年 岡山取立金差引算用帳 御新宅様 大黒屋甚介	明治元年	半・横長	仮1冊		
8-44-4-2	覚(取立金算用書付)	明治元年	半・横長	仮1冊		(朱筆上書)「明治元辰年 大黒屋甚介 取立銀差引算用書巳年六月中差越ス」
8-44-4-3	[明治己午年分書付]			1括り(4通)		8-44-4-1~4紙綴りで一括り(紙綴り上書)「明治己午年分書附」
8-44-4-3-1	覚(銀遣し証)	午年10月	横切紙	1通	大黒屋甚介→東大橋 岸織部様より払込の分	
8-44-4-3-2	[米高書付]	戌年12月	竖切紙	1通	中島屋良介→(宛名なし)	
8-44-4-3-3	[大橋徳蔵宛岡山ニ而甚介書状]	年未詳12月24日	横継紙	1通	調印済の永納米受取通について改めて調印し差越すように御願ひ	
8-44-4-3-4	覚(おたつ差越利金の受取)	午年3月26日	横切紙	1通	にし大橋→東大橋	
8-44-4-4	[納米代関係書類]			1纏め(仮1冊2通)		8-44-4-4-1~3一纏め
8-44-4-4-1	明治二巳年 岡山取立金指算用帳 御新宅様 大黒屋甚介	明治2年	半・横長	仮1冊		付紙1枚あり
8-44-4-4-2	[米代金書付]	年月日未詳	竖切紙	1通	備中倉敷中嶋屋良介→(宛名なし)	
8-44-4-4-3	[大橋徳蔵宛岡山ニ而甚介書状]	年未詳12月23日	横継紙	1通	永納米受取書の俵数に間違いがあるため認め越すよう御願ひ 永納米代銀札引渡延引の詫び、受取書落印・苗字届出不備のため延引について	
8-44-4-5	[東大橋宛大黒屋証二郎書状]	年未詳12月24日	横継紙	1通	船戸八郎左衛門・小堀右衛門兵衛よりの受取切手があれば出し置を依頼	包紙あり 東大橋と大黒屋証二郎往復書簡の包紙再利用
8-44-4-6	[北大橋宛甚介口上書]	年未詳10月27日	横切紙	1通	津田四拾両、服部百両証文持参について	(上書)「北大橋様 甚介 口上書」
8-44-4-7	[北大橋宛甚介口上書]	年未詳12月16日	横継紙	1通		(上書)「北大橋様 甚介」
8-44-4-8	覚(服部頼母へ取替銀立用について)	年月日未詳	横継紙	1通	寅十二月元 銀札拾四貫四百三拾四匁五厘他3筆	宛名・差出人なし(端裏朱書)「服部頼母様へ御取替銀立用方 辰十一月 御相談有之 右居り合口上書附」
8-44-4-9	[北大橋宛甚介口上書]	年未詳12月24日	横継紙	1通	戒屋取計の米差向依頼	(上書)「北大橋様 甚介」 切封あり
8-44-4-10	[米数量・人名書上]	年月日未詳	横切紙	1通	中山清介・橋本弥五兵衛他2名→岸織部・丹羽房之介	
8-44-4-11	覚(永納米代金支払について)	巳年正月	横切紙	1通	大黒屋甚介→東大橋 金札式拾貳両	
8-44-4-12	[東大橋宛甚介書状]	年未詳12月28日	横継紙	1通	岡山取立金七拾両送付について	(上書)「大森徳蔵様 国府ニ而甚介 金七拾両相添」
8-44-5	[元治元甲子年 大黒屋甚介より差越候書類]			1袋(仮1冊11通1包)		8-44-5-1~13一袋(袋上書)「元治元甲子年 大黒屋甚介より差越候書類入」
8-44-5-1	[大橋良介宛甚介書状]	年未詳12月21日	横継紙	1通	川入村切手出来につき今便差上げのこと 米相庭不景気につき取引方大閉口	包紙あり(包紙上書)「大橋良介様 国府ニ而甚介 貴答内要用 御切手銀札相添」
8-44-5-2	覚(御蔵払米を年貢切手に書替の書付)	子年11月	横切紙	1通	川入村名主庄兵衛→御蔵奉行	
8-44-5-3	覚(元利算用書)	子年12月	横切紙	1通	大黒屋甚介→東大橋	
8-44-5-4	覚(安藤氏証文受取)	年未詳12月27日	横切紙	1通	甚介→東大橋	
8-44-5-5	覚(証文三通受取)	年未詳3月9日	横切紙	1通	甚介→東大橋 水野助三郎・水野又右衛門・安藤千賀之介分	
8-44-5-6	[証文返却依頼の書付]	年月日未詳	横切紙	1通	水野助三郎様証文、水野又右衛門様証文の2通の返却依頼	
8-44-5-7	覚(借銀残銀返済勘定書)	年月日未詳	横継紙	1通	岸織部分	
8-44-5-8	[証文返却依頼書付]	年月日未詳	横切紙	1通	笠井平右衛門様・船戸八郎右衛門様の証文 異筆にて「九月十五日返ス」の書付あり	
8-44-5-9	覚(代銀勘定書)	丑年9月	横継紙	1通	甚介→東大橋 茶碗・香合・小倉袴地代	
8-44-5-10	覚(袴地代銀請取)	丑年8月19日	横切紙	1通	大崎屋善吉→上	

8-44-5-11	覚(金五拾両送付のこと)	年未詳10月17日	横継紙	1通	大黒屋甚介→東大橋	
8-44-5-12	[大橋良介宛甚介書状]			1包(3通)		8-44-5-12-1~3一包 包紙あり(包紙上書)「大橋良介様 大黒屋甚介 貴答銀札相添」
8-44-5-12-1	覚(金・銀札送付のこと)	子年12月22日	横継紙	1通	大黒屋甚介→東大橋	
8-44-5-12-2	[大橋良介宛甚介書状]	年未詳12月26日	横継紙	1通	切手銀札の受取書を入手したこと 又金子入用に付き取立銀のうち戌丈け使いに渡して呉れとの件も承知のこと他	
8-44-5-12-3	[岸氏談口についての書付]	年月日未詳	横切紙	1通	是迄新田方へ預け米のうち五拾俵を払入れ、来丑暮から皆済まで貳拾俵ずつ払入れのこと	
8-44-5-13	元治元甲子年 取立銀差引算用帳 御新宅様 大黒屋甚介	元治元年	半・横長	仮1冊		
8-44-6	[文久三年大黒屋甚介より差越候書類]			1袋(仮1冊3通)		8-44-6-1~4一袋 (袋上書)「文久三癸亥年 大黒屋甚介より差越候書類入」
8-44-6-1	文久三癸亥年 取立銀差引算用帳 御新宅様 大黒屋甚介	文久3年	半・横長	仮1冊		
8-44-6-2	[大橋良介宛大黒屋甚介書状]	年未詳12月22日	横継紙	1通	切手銀札落手の報知と金子入用につき借用依頼	包紙あり(包紙上書)「大橋良介様 大黒屋甚介 貴答内要用」 甚介宛の書状の包紙の転用
8-44-6-3	[人名書付]	年月日未詳	横継紙	1通	安藤幾之介外5名	
8-44-6-4	[大良介宛国府二而甚介書状]	年未詳12月17日	横継紙	1通	川入村の切手遣し及び米代銀の振替のこと	封筒あり(封筒上書)「大橋良介様 国府二而甚介 御切手銀札とも相添」
8-44-7	[文久二壬戌年 大黒屋甚介より差越候書類]			1袋(仮1冊9通2包)		8-44-7-1~12一袋 (袋上書)「文久二壬戌年 大黒屋甚介より差越候書類入」
8-44-7-1	[大橋良介宛大黒屋甚介銀札送付書類]			1包(3通)		8-44-7-1-1~3一包 包紙あり(包紙上書)「大橋良介様 岡山府二而甚介 要用 金銀札相添」
8-44-7-1-1	覚(取立金銀送付のこと)	戌年12月25日	横継紙	1通	大黒屋甚介→東大橋	
8-44-7-1-2	[大橋良介宛甚介書状]	戌年12月25日	横継紙	1通	取立銀送付添状及び当地米相庭下落の状況などを告げる	
8-44-7-1-3	[宛名札]	年月日未詳	横切紙	1通	「大橋良介様 大黒屋甚介 銀札入」	紙縫りが通されている
8-44-7-2	[大橋良介宛甚介書状]			1包(2通)		8-44-7-2-1~2一包 大橋良介宛大黒屋甚介要用書の包紙を転用している (包紙上書)「大橋良介様 国府二而甚介 内要用 無異」
8-44-7-2-1	[大橋良介宛甚介書状]	年未詳12月20日	横継紙	1通	忠八出府につき岡山での取立銀差上の予定 切手相庭下落のため買手なく困っていることなど岡山での状況報告	
8-44-7-2-2	[東大橋宛甚介書状]	年未詳12月20日	横継紙	1通	谷田佐野氏講銀割戻引渡について 本文中の証文 津田源右衛門・小堀右衛門兵衛他3名	8-44-7-2-1の追伸
8-44-7-3	覚(御帖1通の受取)	年未詳12月22日	横継紙	1通	大黒屋甚介→東大橋	包紙あり(包紙上書)「御請」
8-44-7-4	覚(御書并証文の受取)	戌年12月27日	横継紙	1通	大黒屋甚介→東大橋	包紙あり(包紙上書)「請取書」
8-44-7-5	[東大橋宛甚介書状]	年未詳5月7日	横継紙	1通	服部氏の株について問合せ 宇治茶の喜撰を送付依頼	(上書)「東大橋様 甚介 当用」
8-44-7-6	覚(天神山御郡方新古催合講出銀引渡書)	戌年12月	横継紙	1通	大黒屋甚介→東大橋	
8-44-7-7	覚(谷田氏佐野氏戌年分差引講銀引渡書)	戌年12月	横継紙	1通	大黒屋甚介→東大橋	
8-44-7-8	覚(岡山取立金引渡書)	戌年12月16日	横切紙	1通	大黒屋甚介→東大橋	
8-44-7-9	覚(御蔵御払米年貢米切手に書替願い)	戌年11月	横継紙	1通	川入村名主庄兵衛→御蔵奉行	庄兵衛より差越したものを十二月八日甚介に渡した控
8-44-7-10	[証書類書上]	年月日未詳	横継紙	1通	一. 津田源右衛門五拾両株御算用書他3件	
8-44-7-11	[大橋良介宛大黒屋甚介書状]	年未詳12月16日	横継紙	1通(2枚)	金五十両外に天神山湊銀不足を別紙の通り使に渡したこと	包紙あり(包紙上書)「大橋良介様 国府二而甚介 貴答用書」 別紙の追伸あり
8-44-7-12	文久二戌年 取立銀差引算用帳 御新宅様 大黒屋甚介	文久2年	半・横長	仮1冊		
8-45	内願写し	年月日未詳	半・縦	1冊	福田沖新開関係	
8-46	嘉永元申年六月 児島郡福田新田沖御新開引請人より地所売附代銀取引議定人別取調書上帳 東大橋控	嘉永元年6月	半・縦	1冊		
8-47	[書状類]			1包(2通)		8-47-1~2一包 (包紙上書)「三成御母上様御病中御自筆一通」
8-47-1	町役割方巳十二月改	文政4年12月	横継紙	1通		
8-47-2	[大橋源助宛片山母口上]	年月日未詳	横継紙	1通	送り物の礼状	(上書)「くらしきにて大橋源助殿江なかより 片山母より 御返事」
8-48	[献納金請取覚]			1包(4通)		8-48-1~4一包 (包紙上書)「安政五年年十二月より 献納金御役所より御請取書三通入」
8-48-1	覚(御困糶償石代請取)	亥年12月14日	縦切紙	1通	大竹左馬太郎役所小磯錠助・関口良蔵→備中国窪屋郡倉敷村大橋良助	
8-48-2	覚(海防備筋用途上納皆済金請取)	申年12月11日	縦切紙	1通	大竹左馬太郎手代池田泰蔵・小磯錠助→備中国窪屋郡倉敷村忠之丞	
8-48-3	覚(海防用途年割献納金請取)	申年正月晦日	縦切紙	1通	加藤余十太郎手代島田匡蔵・同人手附杉浦武助・福井勘四郎→備中国窪屋郡倉敷村百姓忠之丞	
8-48-4	御国愁異加上納金請取	午年12月6日	縦切紙	1通	田中庄次郎手附杉浦武助・同人手代内山鷲三郎→備中国窪屋郡倉敷村忠之丞	
8-49	[地図受取書類]			1包(2通)		8-49-1~2一包 (包紙上書)「大橋七蔵様 横山富太郎」 包紙は鳥越恵吉の他行届の案文が書かれた「第十五大区窪屋郡」の封紙を転用
8-49-1	[大橋長蔵宛横山富太郎他1名書状]	年未詳8月30日	横継紙	1通	切絵図落手的事	
8-49-2	記(地図請取)	年未詳8月30日	横継紙	1通	岩菱恒(力)介→大橋	(上書)「大橋大兄 岩菱恒(力)介 請取」

8-50	[諸書類一括]			1括り(1冊仮1冊1包1括り1纏め)		8-50-1~5紙綴りで一括り
8-50-1	[諸書類]			1括り(仮2冊1包1纏め)		8-50-1-1~4紙綴りで一括り
8-50-1-1	[福田沖新開残町歩割賦受取書]			1包(2通)		8-50-1-1-1~2一包 (包紙上書)「福田沖新開残町歩割賦受取書在中 寅十二月七日 中島両家矢田此方大黒屋江寄合割賦受取」
8-50-1-1-1	覚(巳前割賦受取分反数書上)	年月日未詳	横継紙	1通		
8-50-1-1-2	覚(公畝勘定書付)	年月日未詳	横継紙	1通		
8-50-1-2	福田沖御新開普請入用御出銀請取通 中島屋金平殿 大黒屋文介 中島屋久右衛門	酉年3月晦日~卯年7月12日	美・横長	仮1冊		包紙あり(包紙上書)「大橋金平様」
8-50-1-3	寅年残町歩割賦帳	寅年	美・横長	仮1冊	中島次郎右衛門 中島左一郎 矢田半十郎 金平分	
8-50-1-4	[金銭関係書類]	嘉永7年		1纏め(仮1冊2通)		8-50-1-4-1~3一纏め 8-50-1-4-1に8-50-1-4-2~3が含まれている
8-50-1-4-1	嘉永七寅年七月 福田新開御出銀算用書 御新宅様 大黒屋文介	嘉永7年7月	美・横長	仮1冊		
8-50-1-4-2	[金銭算用書付]	年月日未詳	横継紙	1通		
8-50-1-4-3	覚(出銀勘定書)	寅年閏7月	横継紙	1通	文介→大橋秀次郎	
8-50-2	[角店より差越候福田一条書類]	年未詳2月22日~3月24日		1包(3通1枚)		8-50-2-1~4一包 (包紙上書)「角店より差越候福田一条二付書付并書類壱通入」
8-50-2-1	[新開地割絵図]	年月日未詳	縦紙	1枚		
8-50-2-2	[金平宛久右衛門口上]	年月未詳11日	横継紙	1通	野崎へ地割方についてせり込のため文介よりさそいに預かった件について	
8-50-2-3	覚(書付等受取)	年未詳3月24日	横継紙	1通	栄之介留主屋→久右衛門	
8-50-2-4	[大橋久右衛門宛徳蔵書状]	年未詳2月22日	横継紙	1通	福田沖新田過畝の町歩割について	包紙あり(包紙上書)「大橋久右衛門様 徳蔵様」
8-50-3	[田畑反別書上]	年月日未詳	美・横長	仮1冊		包紙あり
8-50-4	嘉永六丑年 高懸り銀并諸入用仕出帳	嘉永6年	美・横長	1冊		
8-50-5	[新開関係帳]			1纏め(2冊)		8-50-5-1~2まで重ねて一纏め
8-50-5-1	嘉永六丑年 御新開之内請取不足畝帳	嘉永6年	美・横長	1冊		
8-50-5-2	嘉永七寅年七月 福田新開田畑歩方割賦上中下書抜	嘉永7年7月	美・横長	1冊		
8-51	[信州様払上銀請取通]			1袋(1冊1通)		8-51-1~2一袋 (袋上書)「嘉永四辛亥年より 信州様払上銀請取通入」
8-51-1	嘉永五壬子閏二月改 御借用銀札請取通	嘉永5年閏2月	美・横半折	1冊	光田文平・片山三蔵・塩田善三郎→中島屋金平	
8-51-2	奉拝借銀札証文之事	嘉永3年12月	縦切紙	1通	拝借主倉敷中島屋金平・証人倉敷大黒屋文介→塩田善三郎・徳田治右衛門	包紙あり(包紙上書)「銀札百貫目 借主中島屋金平 証人大黒屋文介」
8-52	[児島郡大島丸山両所新開場関係書類]			1袋(2括り)		8-52-1~2一袋 「嘉永元申年九月吉日 児島郡大島丸山両所新開場議定書并小書付入」
8-52-1	[書状類]			1括り(6通1包)		8-52-1-1~7紙綴りで一括り
8-52-1-1	[中島屋金平宛谷嘉伝太書状]	年未詳11月8日	横継紙	1通	出張の際世話になった礼状	包紙あり(包紙上書)「中島屋金平様 谷嘉伝太」
8-52-1-2	[大橋金平宛岡部義三兵衛書状]	年未詳11月29日	横継紙	1通	大島へ罷出汲五平へ懸合の報告他	包紙あり(包紙上書)「大橋金平様 岡部義三兵衛 貴下」
8-52-1-3	[大橋金平宛三島治郎右工門書状]	年月日未詳	横継紙	1通	此状着次第、早々私宅へ御入来下されたく	包紙あり(包紙上書)「大橋金平様 三島治郎右工門 大急内要用」
8-52-1-4	[金平・徳蔵宛久右衛門書状]	年未詳9月28日	横継紙	1通	新開進退について	(上書)「金平殿 徳蔵殿 久右衛門」
8-52-1-5	[大橋金平宛三嶋治右衛門書状]	年未詳9月13日	横継紙	1通	昨日の掛引の報告	(上書)「大橋金平様 三嶋治右衛門 貴下」
8-52-1-6	[大橋金平宛篠井汲五平書状]			1包(1纏め1通)		8-52-1-6-1~2一包 (包紙上書)「大橋金平様 篠井汲五平 待史」
8-52-1-6-1	[金平宛汲五平書状]			1纏め(2通)		8-52-1-6-1-1に8-52-1-6-1-2が巻き込まれている
8-52-1-6-1-1	[金平宛汲五平書状]	年月未詳9日	横継紙	1通	武左工門福田新田開発へ取りかかりの事について	
8-52-1-6-1-2	覚(本家へ余り無沙汰に付使者立寄の事)	年月日未詳	横切紙	1通		
8-52-1-6-2	[篠井汲五平宛大橋金平書状]	年未詳11月9日	横継紙	1通	久右衛門が三宅氏の元で話した件について意見伺い	
8-52-1-7	[数量・人名書付]	年月日未詳	横切紙	1通	壱歩八厘 治郎右衛門外7筆	
8-52-2	[福田沖新開場関係書類]			1括り(4通)		8-52-2-1~4紙綴りで一括り
8-52-2-1	覚(土地使用方法に関する書付)	年月日未詳	縦継紙	1通		
8-52-2-2	[児島郡福田新田沖新開築立取替規定書]	嘉永2年3月	縦継紙	1通	児島郡味野村野崎武左衛門・備中倉子城中島屋久右衛門・同大黒屋文介・同中島治郎左衛門	
8-52-2-3	為取替置申議定証文之事	嘉永2年3月	縦継紙	1通	柳田村汲五平 味野村野崎武左衛門 福田沖附洲御新開場の件について	(奥書)野崎武左衛門→中島屋久右衛門 大黒屋文介
8-52-2-4	為取替置申議定証文之事	嘉永2年3月	縦継紙	1通	倉敷大黒屋文介 中島屋久右衛門 中島屋金平 中島治郎右衛門 同左一郎 同半十郎 児島郡福田新田沖御新開御分間并御築立増の件について	
8-53	[島新田文化文政開地図他]			1袋(4舗1纏め4枚)		8-53-1~9一袋 (袋上書)「大切之絵図 島新田文化開文政開地図并天保開検見絵図 弘化開検見絵図入 中島屋」
8-53-1	西之浦文化新開	年月日未詳	48.6×33.3	1舗	地割図	(裏書)「倉敷 大橋」付紙あり

8-53-2	[畝数書付]			1纏め(2通)		8-53-2-1~2まで重ねて一纏め
8-53-2-1	[畝数書付]	年月日未詳	横折紙	1通	北七ノ割、北八ノ割	
8-53-2-2	[畝数勘定書付]	年月日未詳	横折紙	1通	北七ノ割、北八ノ割	
8-53-3	天保開之内北八之割埋出地見取図	弘化3年5月20日	24.2×34.5	1枚	「弘化三丙年五月廿日出張書面之通六尺五寸間竿を以改之置久右衛門 周平」の書付あり	付紙2枚あり
8-53-4	切堤水門図	年月日未詳	23.0×32.2	1枚		
8-53-5	[新開地割図]	年月日未詳	55.1×41.0	1舗	文政新開、沖新開の辺り	
8-53-6	天保開検見絵図	年月日未詳	40.8×27.8	1枚		(端裏書)「天保開検見絵図」
8-53-7	[地割図]	年月日未詳	27.8×40.8	1枚		
8-53-8	鶴新田文化新開検見絵図	年月日未詳	34.5×48.2	1舗		(端裏書)「鶴新田文化新開検見絵図」
8-53-9	乙新開御私領分北七ノ割弥平次より入地図	年月日未詳	68.0×38.0	1舗		付紙多数あり
8-54	[代銀書付]	年月日未詳	横切紙	1通	(差出人なし)→東大橋 白折・正喜せん代	
8-55	覚(代銀勘定)	年未詳8月29日	横切紙	1通	はたごや美津→大橋 8月20日~8月28日分の「上下」	
8-56	覚(金銭書付)	年月日未詳	横切紙	1通	源五郎→大橋	
8-57	覚(反物代金書付)	卯年4月	横継紙	1通	長谷屋千代吉→井上町東大橋	
8-58	覚(呉服代銀書付)	年未詳4月20日	横切紙	1通	白銀屋榮吉→東大橋	
8-59	[銀子渡し状等書付類]			1括り(8通)		8-59-1~8紙綴りで一括り
8-59-1	[発金書付]	年月日未詳	横切紙	1通	茅原充芳、江戸下谷万歳市郎左衛門家敷二而弥生節句庭前之桜盛りかりしを見てとりあへす一句	
8-59-2	覚(金引渡し添状)	戌年12月晦日	横切紙	1通	文介→御料室様	
8-59-3	覚(株利分引渡し添状)	年未詳11月29日	横継紙	1通	勝之丞→徳蔵	
8-59-4	覚(銀札渡し状)	酉年8月3日	横継紙	1通	鴨方札場御用所→(宛名なし)	
8-59-5	覚(銀札渡し状)	酉年8月21日	横継紙	1通	鴨方札場御用所→(宛名なし)	
8-59-6	覚(銀札渡し状)	酉年12月28日	横切紙	1通	鴨方札場御用所→(宛名なし)	
8-59-7	覚(銀渡し状)	酉年7月5日	横切紙	1通	徳田兵右衛門・塩田善三郎→中嶋屋金平	
8-59-8	覚(過銀并証書返送添状)	天保3年11月4日	横継紙	1通	平右衛門→源介	包紙あり(包紙上書)「算用書」
8-60	[山崎様払上金請取書類]			1袋(3纏め2通)		8-60-1~5一袋(袋上書)「嘉永四辛亥年十一月ヨリ 山崎様払上金請取書入」
8-60-1	[拝借金亥年返納銀に付書付]			1纏め(2通)		8-60-1-1~2一纏め 8-60-1-1に8-60-1-2が巻き込まれている(上書)「大橋金平様 もとふ家 滝右衛門 貴報」(端裏書)「亥年払上金請取書 此書状の尻二有之」
8-60-1-1	[大橋金平宛滝右衛門書状]	亥年11月28日	横継紙	1通	拝借返納金受領の事、貴兄発病の見舞など 文書奥に元詰勘定所より東中嶋屋あて拝借返納金の受取覚を貼りつぐ	
8-60-1-2	覚(亥年分払上銀持参添状)	亥年	横切紙	1通	山崎様二而弘化開破損之節、金千両五ヶ年賦拝借金のうち当亥年分	
8-60-2	[弘化開拝借返納金関係書類]			1纏め(2通)		8-60-2-1~2一纏め 8-60-2-1に8-60-2-2が挟み込まれていた
8-60-2-1	[大橋宛松井書状]	(嘉永5力)年11月28日	横継紙	1通	拝借年賦金受取、西原守屋分年賦算用などについて 文末に「子十一月廿八日付、弘化開元方→東中嶋 拝借返納金三拾六両三歩弐朱 受取覚書」がある	(上書)「大橋様 新開方 松井より 御貴下」(端裏書)「嘉永五壬子年払上金請取書 此書状の尻二有」
8-60-2-2	覚(拝借返納金払上について)	子(嘉永5力)年11月28日	横継紙	1通	山崎様弘化開破損のため千両五年賦拝借金払上 使下男佐介持参、店当座帳へ控ル	
8-60-3	覚(拝借返納金受取)	丑(嘉永6力)年12月20日	横切紙	1通	弘化開会所→倉敷東中嶋屋 「嘉永六癸丑年払上金請取書」の後筆あり	
8-60-4	[拝借返納金受取書類]			1纏め(2通)		8-60-4-1~2一纏め 8-60-4-1に8-60-4-2が挟み込まれていた(上書)「大橋亀次郎様 元ふ家滝右衛門 貴報」(端裏書)「嘉永七甲寅年払上金請取書」
8-60-4-1	[大橋亀次郎宛多喜右衛門書状]	寅(嘉永7力)年11月28日	横継紙	1通	拝借返納金受取、大地震、大雪、大風などについて	
8-60-4-2	覚(拝借返納金受取)	寅(嘉永7力)年11月28日	横継紙	1通	弘化開会所(元請勘定処)→倉敷東中嶋屋	
8-60-5	[東中嶋屋宛滝右衛門書状]	(安政2力)年11月27日	横切紙	1通	返納金受取について 文中に弘化開会所受取証文あり	(上書)「大橋源介様 元之家滝右衛門 貴下御報」(端裏書)「安政二乙卯年分」
8-61	覚(人別銀算用書付)	文政9年正月6日	横継紙	1通		(包紙上書)「文政八酉年新宅算用状」大橋平蔵・同貞蔵宛宮永中務郷書状の包紙を転用
8-62	[子位庄村田畑関係書類]			1括り(1冊仮1冊1袋1包3通)		8-62-1~7紙紐で一括り 8-61-1で8-62-2~7までが包まれている
8-62-1	弘化二乙巳年 子位庄分田畑書抜帳 倉舗中島屋源助地	弘化2年	半・縦	1冊		
8-62-2	[子位庄村分田分関係書類]			1袋(仮1冊1通)		8-62-2-1~2一袋(袋上書)「子位庄村分田分今度御上様より取調可差出様御沙汰有之ニ付名主より申越候ニ付取調遣スひかへ入弘化二乙巳年六月八日」
8-62-2-1	[小作名及び田分畝数書抜帳]	弘化2年6月8日	美・横長	仮1冊	源介分控	
8-62-2-2	[小作名前及び田分畝数書付]	弘化2年6月8日	横折紙	1通	久兵衛分控	
8-62-3	[子位庄村名寄帳面書抜并地算次第書付]			1包(1冊2通1纏め)		8-62-3-1~4包紙一包(包紙上書)「子位庄村名寄帳面書抜并地算次第書付入」
8-62-3-1	子位庄村地押扣	年月日未詳	美・横半折	1冊		「丁丑春東油屋小間物紙通 新宅中島屋殿」の帳面を転用
8-62-3-2	[子位庄村分字別田畑畝数書付]	年月日未詳	横継紙	1通	倉敷中島屋源介分	
8-62-3-3	[田畑畝数書付]			1纏め(2通)		8-62-3-3-1~2一纏め
8-62-3-3-1	[子位庄村分字別田畑畝数書付]	年月日未詳	横継紙	1通	倉敷中島屋久兵衛分	
8-62-3-3-2	[人別田畑畝数書付]	年月日未詳	横継紙	1通	中島屋久兵衛分	

8-62-3-4	覚(人別畝数書付)	年月日未詳	横継紙	1通	持主久兵衛	
8-62-4	[中島屋宛子位庄村役場口上]	年未詳8月22日	横継紙	1通	御所持地の内田分小作人書付并稲毛か畑作物か書分けの請求	
8-62-5	[田地畝高増減書付]	年月日未詳	横切紙	1通		
8-62-6	覚(田分畑成に相成分書付)	弘化2年6月	横継紙	1通	源介→(宛名なし)	
8-62-7	[人別田地畝数書付控]	嘉永2年8月20日	美・横長	仮1冊 1括り(2舗2纏め1通)	「嘉永二酉年八月廿日此帳面差越し小作人名前書込具度申越し候二付則書込遣し候控」の書付あり	
8-63	[野取関係書類]					8-63-1~5紙綴りで一括り
8-63-1	[川入東川田野取図]	年月日未詳	15.0×174.4	1舗	東川田、東上川田、上川田等の野取図	(包紙上書)「川入東川田 田地絵図入」
8-63-2	[野取図]	年月日未詳	31.0×118.5	1舗		
8-63-3	[野取図及び下書き]			1纏め(1通5枚)		8-63-3-1~6一纏め
8-63-3-1	[野取図下書き]	年月日未詳	16.8×22.5	1枚		
8-63-3-2	[野取図]	年月日未詳	15.6×22.5	1枚		
8-63-3-3	[野取図]	年月日未詳	16.5×22.5	1枚		
8-63-3-4	[野取図]	年月日未詳	16.7×22.5	1枚		
8-63-3-5	[野取図]	年月日未詳	13.5×16.0	1枚		
8-63-3-6	覚(嘉一部分畝数書付)	年月日未詳	横継紙	1通		
8-63-4	[野取図]			1纏め(4枚1舗)		8-63-4-1~5一纏め
8-63-4-1	[野取図]	年月日未詳	23.0×28.5	1枚		
8-63-4-2	[野取図]	年月日未詳	31.0×23.0	1枚		
8-63-4-3	[野取図]	年月日未詳	14.7×56.0	1舗		
8-63-4-4	[野取図]	年月日未詳	15.5×22.8	1枚		
8-63-4-5	[野取図]	年月日未詳	15.7×22.5	1枚		
8-63-5	[田地畝数斗代書上]	年月日未詳	横継紙	1通		
8-64	[地界図面]			1纏め(2括り1包3枚1纏め)		8-64-1~7まで袋でくまれている くるんでいる袋の虫損が甚だしい為SILティッシュで包む
8-64-1	[地界図]			1括り(1括り1包21枚)		8-64-1-1~23一括り 包紙あり(包紙上書)「文化四年卯二月改之濱村分鹿爪前川より西同川より東田地類地塚留子位庄分田地拵之内地塚杭留」
8-64-1-1	[操場畑見取絵図]			1括り(3枚)		8-64-1-1-1~3紙綴りで一括り
8-64-1-1-1	弘化二巳年操場畑いたし二付見取絵図	弘化2年	34.3×24.6	1枚		
8-64-1-1-2	[くり上畑願出に付き見取略絵図]	天保13年11月	29.3×38.4	1枚	浜村分之内鹿爪東字喜右衛門地	
8-64-1-1-3	[くり上畑願出に付き見分見取絵図]	天保12年	29.4×38.4	1枚		
8-64-1-2	[浜分 子位庄分預米田地絵図]			1包(2枚)		8-64-1-2-1~2一包 (包紙上書)「浜分喜右衛門地 ○五十 壺石 式斗八升預米田地絵図入 子位庄分酒津境壺石式斗八升預米絵図入 同村分山畑 ○廿六 絵図入」
8-64-1-2-1	[見取絵図]	文化3年2月26日	23.8×32.7	1枚	「文化三寅二月廿六日南井筒屋伊左衛門地境差支二付立会不申故杭入し不申候 尤も夫レ々境石相見へ申候」の付紙あり	
8-64-1-2-2	[見取絵図]	年月日未詳	16.2×23.9	1枚		
8-64-1-3	[地界図]	年月日未詳	23.0×37.0	1枚		
8-64-1-4	鹿爪前浜村分川より西田地塚絵図	文化4年	23.8×34.0	1枚		
8-64-1-5	浜村分鹿爪川より東ノ前田地類地塚絵図	文化4年2月	24.0×34.0	1枚		
8-64-1-6	[地塚絵図]	年月日未詳	24.0×32.5	1枚		
8-64-1-7	浜村分無所ノ脇凡地圖	戌年5月	23.0×25.0	1枚		
8-64-1-8	文政十三庚寅十二月 酒津村佐平次より質流地ノ図	天保2年2月4日	23.5×34.0	1枚	天保二辛卯二月四日双方立会地所無竿入其俣請取境杭夫々印之通入置	(端裏書)「鹿爪西 木屋 酒津佐平次より入地絵図 天保二卯二月四日改」
8-64-1-9	[新右衛門・伊蔵両人への屋敷貸改絵図]	天保9年10月11日	24.8×34.6	1枚		
8-64-1-10	[小作畝内改地図]	文化2年5月13日	23.4×32.6	1枚	世話人 鹿爪甚右衛門	(端裏書)(朱筆)「子位庄村 ○壺 石薬師小作畝内改地図入 文化二丑五月十三日」
8-64-1-11	子位庄村栄師前絵図	年月日未詳	24.6×16.6	1枚		
8-64-1-12	覚(川入村地所畝高書抜)	文政3年7月	横継紙	1通		(端裏書)「川入村地所書抜 文政三辰七月当地書付名主へ出候控」
8-64-1-13	[地境抗朽損二付き添杭入置図面]	天保5年2月29日	24.8×35.0	1枚		
8-64-1-14	[天保五甲午二月廿九日双方立会絵図]	天保5年2月29日	24.8×34.8	1枚	小作地地界図 立会人喜久太他三名	
8-64-1-15	[地界図]	享和3年11月	23.0×37.0	1枚	子位庄村万四郎受乙八作り地と角屋忠兵衛の地塚	
8-64-1-16	[地界図]	享和3年2月	23.0×37.0	1枚	祐安、浜村境	
8-64-1-17	[欠畝再検地図]	天保2年2月4日	23.0×37.0	1枚		(端裏書)(朱筆)「子位庄村 ○壺 石薬師式反式畝廿五歩之分 天保二卯二月四日 再内改地図入」
8-64-1-18	[地境杭入図]	弘化3年2月	24.6×28.9	1枚	「弘化三丙午年二月川入久四郎 惣九郎立会境杭入ル 尤小作人孫右衛門も出申候」の書付あり	

8-64-1-19	[境添杭設置に付き見取絵図]	天保3年5月6日	30.3×33.6	1枚	立合人浜村役人代茂八 川入村名主惣五郎 同村五人組頭加右衛門 坂本屋八郎右衛門代金蔵 周介 此方喜久太	
8-64-1-20	浜村分一向無所両人作式区地図	戊年5月	29.0×24.9	1枚		
8-64-1-21	[杭入に付絵図]	弘化4年	14.9×11.1	1枚	川入亀五郎地及び小作人大内惣五郎地境	
8-64-1-22	[包紙]	享和3年2月		1枚		(上書)「享和三年癸亥二月改之 子位庄邑田地絵図 大橋氏」
8-64-1-23	字濱の道潮屋喜平裏ノ持地絵図	天保11年2月19日	32.0×24.0	1枚	日野屋利三郎持地など	
8-64-2	文化二丑十二月改 子位庄村、浅原村書抜			1包(仮1冊1通)		8-64-2-1~2一包 (包紙上書)「文化二丑十二月改 子位庄村、浅原村書抜」
8-64-2-1	文化二丑十二月 書抜 子位庄分 倉敷中島屋金平	文化2年12月	美・横長	仮1冊	子位庄分、倉敷中島屋金平分田方畑方畝高書抜帳	
8-64-2-2	覚(倉敷中島屋金平分畝高勘定書付)	文化2年12月	横継紙	1通		
8-64-3	[地境杭入図]	嘉永3年	29.2×12.2	1枚	小作人利喜蔵と小作人民蔵地境	
8-64-4	[嘉永二年杭入図]			1纏め(3枚)		8-64-4-1~3まで重ねて折りたたまれている
8-64-4-1	[嘉永二年杭入図]	嘉永2年	11.0×25.0	1枚	小作人文太郎、小作人庄吉、油屋地境	
8-64-4-2	[嘉永二年杭入図]	嘉永2年	11.0×25.0	1枚	油屋、小作人庄吉、板屋地境	
8-64-4-3	[嘉永二年杭入図]	嘉永2年	11.0×25.0	1枚	小作人佐平治、油屋地境	
8-64-5	[切絵図]	年月日未詳	33.0×24.0	1枚	川入分、浜分等	
8-64-6	[切絵図]	年月日未詳	34.0×24.5	1枚	小才地内	
8-64-7	[杭入図面]			1括り(3枚)		8-64-7-1~3紙纏りで一括り
8-64-7-1	[新杭位置書入図面]	弘化3年5月29日	34.0×24.2	1枚	板屋水沢此方所持分地境	
8-64-7-2	[杭入図面]	嘉永元年11月14日	33.5×24.2	1枚	浜村分「嘉永元申年十一月十四日此方代人折川弥吉 高田屋政吉立会杭入置候」の書付あり	
8-64-7-3	[杭入図面]	嘉永元年11月16日	33.5×20.5	1枚	一向無所分「嘉永元申年十一月十六日此方代人新川弥吉 亀田屋元右衛門両人立会杭入置候」の書付あり	
8-65	預申銀子之事	文政9年12月	縦紙	1通	岡源左エ門・千田円之介・石原権平→備中倉敷中島屋源助 松平上総介殿就要用預申金五拾貫目	(奥書)別所重左衛門・森九兵衛・小崎半兵衛
8-66	覚(代銀書付)	年未詳4月1日	横切紙	1通	渡辺や定兵衛→東大橋 高 柳油樽代	
8-67	誓約神文之事	文化14年5月27日	縦紙	1通	大橋源介→陶山久作	(端裏書)「算術誓紙之控 文化十四丁丑年五月廿七日 大橋謙」
8-68	おぼへ(代銀受取)	年未詳6月25日	横切紙	1通	(差出人なし)→法輪寺 くしやくとふ代	
8-69	[包紙]	年月日未詳		1枚		薬を包むような形に折りたたまれていた 雨中わらじ・すし代銀などが書かれた用紙を転用している
8-70	[興除新田中疇分地絵図并見合書類]			1袋(2枚1舗)		8-70-1~3一袋 (袋上書)「天保十三寅年十月 興除新田中疇分地絵図并見合書類 東大橋」
8-70-1	児島郡興除新田之内中疇分絵図	(天保13力)年	81.7×107.5	1舗		
8-70-2	[増右衛門居宅周辺絵図]	年月日未詳	29.0×37.6	1枚	西側は大道すじ、南側はまへ用水、大川に面する	
8-70-3	[曾根分新田分地絵図]	年月日未詳	28.6×39.6	1枚	興除新田力	
8-71	[彩色家作配置図]	年月日未詳	56.5×67.8	1舗	図中「下津井屋」「伊豆屋」「広田屋御家」などの記載あり	
8-72	[大橋良介献納金書付]	年月日未詳	横切紙	1通	献納金当亥年分 金四拾両	
8-73	覚(助情金請取)	万延元年11月1日	横切紙	1通	村役人惣代年寄大橋平右衛門・半兵衛→(宛名なし)	包紙あり(包紙上書)「万延元申年十一月朔日 助情金村役人より請取書入」
8-74	[困糶及び五街道宿々助郷救済金関係書類]			1袋(2通1丁)		8-74-1~3一袋 (袋上書)「困糶差出候分名前付 五街道宿々助郷困窮二付指出し候名前付入」
8-74-1	差上申御請書之事	天保13年12月	横継紙	1通	宇右衛門他18名→高山又蔵様御役所 哲多郡困窮に付、困糶出石について	
8-74-2	乍恐以書付奉申上候	天保14年正月	横折紙	1通	窪屋郡倉敷村年寄光右衛門他10名→御役所 五街道宿々助郷	
8-74-3	御請書	辰年正月14日	横折紙	1丁	村々救済金出銀について	
8-75	[直島塩田関係書類]			1包(5通1舗)	御国恩冥加金並びに五街道宿助郷御救済金について	8-75-1~6一包 包紙あり(包紙上書)「絵図面并書抜」
8-75-1	[直嶋塩田絵図]	年月日未詳	39.0×81.5	1舗		
8-75-2	覚(買入の塩浜流地につき名寄帳書き換え願)	嘉永4年6月	横継紙	1通	倉敷村中島屋金平→直島庄屋三宅源左衛門	
8-75-3	[塩濱諸品問屋のことにつき書付]	年月日未詳	縦継紙	1通	塩濱にて、塩・薪・石炭などを取扱う二ヶ所の問屋は源左衛門と平右衛門が壹ヶ所宛差配のこと	
8-75-4	直嶋御恵浜書抜七番之分	申年8月	横継紙	1通	塩田畝高書付	(端裏書)「此方覚書不用之分」
8-75-5	[壹ヶ年切小作預証文之事雛形]	嘉永4年正月	縦継紙	1通	塩浜小作預について	
8-75-6	[反別書付]	年月日未詳	横継紙	1通		包紙あり(包紙上書)「大切之書付入」
9-1	[安政六己未年十一月 信州様催合講関係書類]			1袋(1冊1括り)		9-1-1~2一袋 (袋上書)「安政六己未年十一月 信州様催合講帳入」袋破損の為SILティッシュで包む
9-1-1	[講関係書類]			1括り(7通2括り仮1冊)		9-1-1-1~10紙纏りで一括り
9-1-1-1	[明治九年分目度及び明治七年落札分書付]	丑年1月6日	横折紙	1通	丑一月六日教善寺にて集会し決裁のこと	
9-1-1-2	[信州様御郡方安政講]	安政6年11月	横継紙	1通	講の規則や加入者の名前が書かれている	包紙あり(包紙上書)「東 御新宅様 大橋店 御講書付在中」
9-1-1-3	[安政講関係書類]			1括り(2通)		9-1-1-3-1~2紙纏りで一括り
9-1-1-3-1	安政講落札	年月日未詳	横折紙	1通	講銀勘定書付	
9-1-1-3-2	[安政講掛銀元利書付]	年月日未詳	横切紙	1通		
9-1-1-4	覚(安政講懸銀請取)	卯年11月晦日	横継紙	1通	笹沖村弥右衛門→大橋秀太郎	



9-1-1-5	覚(安政講懸銀受取)	辰年11月晦日	横継紙	1通	笹沖弥右衛門→大橋良介	
9-1-1-6	覚(金札請取)	年未詳12月26日	横切紙	1通	笹沖森右衛門→倉敷良介	
9-1-1-7	覚(安政講出銀請取)	寅年12月2日	横切紙	1通	笹沖弥右衛門→大橋秀太郎	
9-1-1-8	覚(安政講元懸利金請取)	丑年11月晦日	横継紙	1通	笹沖村名主弥右衛門→中島屋良介	
9-1-1-9	[講金関係書類]			1括り(5通)		9-1-1-9-1~5紙綴りで一括り
9-1-1-9-1	[嘉永講・安政講計算書]	年月日未詳	横継紙	1通		
9-1-1-9-2	覚(嘉永講・安政講懸銀請取)	万延元年11月28日	横継紙	1通	笹沖村名主弥右衛門→倉敷中島屋良介	
9-1-1-9-3	覚(安政講元懸銀拝借証文請取)	申年11月28日	横切紙	1通	笹沖村名主弥右衛門→中島屋良介	包紙あり(包紙上書)「安政講元懸銀借用証文差入候受取入 此分 大切之書類」
9-1-1-9-4	御郡方面講出銀分ひかえ	年未詳11月	横切紙	1通	嘉永講及び安政講	
9-1-1-9-5	拝借仕御銀之事	安政6年11月	縦紙	1通	拝借主倉敷中島屋良介・証人同村中島屋徳蔵→郡方役所 安政講元掛銀拝借	
9-1-1-10	安政六未年企 催合講銀請取通	万延元年12月	美・横長	仮1冊	天神山郡役所→倉敷中島屋良介	
9-1-2	催合講帳	安政6年11月	半・縦	1冊		
9-2	[丹羽広人講関係書類]			1袋(1冊1纏め 仮3冊)		9-2-1~5一袋(袋上書)「弘化二乙巳年 丹羽広人様講帳入 一口 金平 一口亀次郎 半口忠之丞」(袋裏書)「亥十二月廿五日消印」
9-2-1	頼母志講御連名帳	弘化2年11月	半・縦	1冊		
9-2-2	[講関係書類]			1纏め(2括り4 通仮2冊)		9-2-2-1~8一纏め 9-2-2-1~7までが9-2-2-8で巻かれている
9-2-2-1	[丹羽講入札関係書類]			1括り(6通)		9-2-2-1-1~6紙綴りで一括り
9-2-2-1-1	[亥年分講銀書付]	年月日未詳	横切紙	1通	忠之丞控	
9-2-2-1-2	[戌年分講銀書付]	年月日未詳	横継紙	1通	忠之丞分	
9-2-2-1-3	未年分丹羽様御講寄合入札	年月日未詳	横継紙	1通		
9-2-2-1-4	覚(申年分落札銀書付)	申年5月	横切紙	1通		
9-2-2-1-5	[戌年分丹羽家講入札扣]	年未詳10月16日	横継紙	1通		
9-2-2-1-6	覚(酉年分講銀算用書)	年月日未詳	横切紙	1通		
9-2-2-2	覚(丹羽広人様講銀差引書付)	申年12月	横継紙	1通	大黒屋文介→新宅	
9-2-2-3	亥年分丹羽氏講入札扣	年月日未詳	横切紙	1通		
9-2-2-4	[講関係書類]			1括り(5通)		9-2-2-4-1~5紙綴りで一括り
9-2-2-4-1	[申五月十六日落札書付]	申年5月16日	横切紙	1通		
9-2-2-4-2	覚(手取銀書付控)	戌年10月	横切紙	1通		
9-2-2-4-3	覚(酉年入札銀書付ひかへ)	嘉永2年8月	横切紙	1通		
9-2-2-4-4	覚(金平・亀次郎分銀書付)	弘化4年8月	横切紙	1通		
9-2-2-4-5	覚(金平・亀次郎・忠之丞銀書付ひかへ)	嘉永元年5月	横切紙	1通		
9-2-2-5	[申年落札銀算用書付]	年月日未詳	美・横長	仮1冊		
9-2-2-6	[申年分落札銀算用書付]	年月日未詳	美・横長	仮1冊		
9-2-2-7	[戌年落札銀算用書付]	年月日未詳	横折紙	1通		
9-2-2-8	午年より落札控	年月日未詳	横折紙	1通		
9-2-3	講銀請取通	巳年12月~卯年12月	美・横長	仮1冊	丹羽浩之介内寺尾甚左衛門・太田半平・山本藤蔵→中島屋忠之丞	包紙あり(包紙上書)「講銀請取通」
9-2-4	講銀請取通	巳年12月~卯年12月	美・横長	仮1冊	丹羽浩之介内寺尾甚左衛門・太田半平・山本藤蔵→中島屋亀次郎	包紙あり(包紙上書)「講銀請取通」
9-2-5	講銀請取通	巳年12月~卯年12月	美・横長	仮1冊	丹羽浩之介内寺尾甚左衛門・太田半平・山本藤蔵→中島屋金平	包紙あり(包紙上書)「講銀請取通」
9-3	[頼母子講議定帳]			1袋(1冊1括り)		9-3-1~2一袋(袋上書)「嘉永五壬子年十一月 頼母子講議定帳 講主真島屋勘兵衛」
9-3-1	[真島屋勘兵衛講関係書類]			1括り(7通1纏め)		9-3-1-1~8紙綴りで一括り
9-3-1-1	覚(寅十二月十三日真島屋勘兵衛講開札書付)	年月日未詳	横継紙	1通		
9-3-1-2	覚(中島屋良介分頼母子講積立金書付ひかへ)	巳年12月	横継紙	1通		
9-3-1-3	覚(真島屋勘兵衛講当丑懸銀受取)	丑年12月17日	横切紙	1通	落札方須田→東中嶋屋	
9-3-1-4	真島屋講入札書抜	丑年12月11日	横継紙	1通	大黒屋文介→(宛名なし)	
9-3-1-5	[卯十一月真島屋勘兵衛講入札書付]	卯年11月	横継紙	1通		
9-3-1-6	[頼母子講掛銀請取書付]			1纏め(2通)		9-3-1-6-1~2まで重ねて巻かれている
9-3-1-6-1	覚(頼母子講辰年分出銀請取)	辰年12月	横切紙	1通	真島屋勘兵衛→東大橋	
9-3-1-6-2	覚(天神山御屋敷落札銀算用書付)	辰年12月	横継紙	1通	真島屋勘兵衛→大橋	
9-3-1-7	[大橋亀次郎宛三島治郎右衛門書状]	嘉永7年12月22日	横継紙	1通	差引過金送付添状	(上書)「大橋亀次郎様 三島治郎右衛門 大意金子添」
9-3-1-8	覚(真島屋勘兵衛講卯年分出銀請取書付)	卯年12月5日	横切紙	1通	大黒屋文介→東大橋	
9-3-2	嘉永五壬子年十一月 頼母志講議定帳	嘉永5年11月	半・縦	1冊		
9-4	[中嶋村次郎右衛門引請舒太郎講関係書類]			1袋(1冊1括り)		9-4-1~2一袋(袋上書)「嘉永元戊申年十二月 中島村次郎右衛門引請舒太郎講帳并通入」
9-4-1	嘉永元年戊申年十一月 頼母志講帳 講主舒太郎	嘉永元年11月	半・縦	1冊		
9-4-2	[舒太郎講銀関係書類]			1括り(11通1纏め)		9-4-2-1~12紙綴りで一括り

9-4-2-1	[大橋徳蔵・大黒屋文介宛舒太郎書状]	年未詳12月11日	横継紙	1通	講銀払出願い	包紙あり(包紙上書)「各様 三島舒太郎」
9-4-2-2	覚(落札銀受取願い)	癸亥年12月11日	横継紙	1通	中島舒太郎→大橋良助	
9-4-2-3	覚(落札銀受取願い)	嘉永5年12月14日	横切紙	1通	中島舒太郎→倉敷金平	
9-4-2-4	[未年舒太郎講落札銀勘定書付]	年月日未詳	横切紙	1通		
9-4-2-5	[中島舒太郎講庚申落札銀算用書付]	年月日未詳	横切紙	1通	實際寺分	
9-4-2-6	[銀算用書付]	文久元年	横切紙	1通		
9-4-2-7	中島下ノ庄屋入札	亥年10月13日	横継紙	1通	入札銀書付	
9-4-2-8	[倉敷大橋金平宛中島舒太郎書状]	子年12月12日	横切紙	1通	取集講銀受取願い	封筒あり(封筒上書)「倉敷大橋金平様 中島三島舒太郎 貴用書金子添」
9-4-2-9	[舒太郎講銀算用書付]			1纏め(2通)		9-4-2-9-1~2までが重ねて巻かれている
9-4-2-9-1	覚(舒太郎講戌落札銀勘定書付)	年月日未詳	横継紙	1通		
9-4-2-9-2	[落札銀算用書付]	年月日未詳	横切紙	1通		
9-4-2-10	[中島講寅入札書付]	年月日未詳	横切紙	1通		
9-4-2-11	[大橋金平宛三島治郎右衛門書状]	酉年	横切紙	1通	舒太郎講銀落札の件について	(端裏書)「酉年」封筒あり(封筒上書)「大橋金平様 三島治郎右衛門 酉年 貴下」
9-4-2-12	催合講落札証文之事(控)	嘉永5年12月	縦継紙	1通	落札主倉敷村中島屋金平・証人親類徳蔵→御講主中島村舒太郎外3名	(奥書)鶴新田庄屋三宅直吉→(宛名なし) (裏書)「嘉永五年子十一月廿五日調印 子式拾四番」
9-5	[庭瀬板倉様講関係書類]			1袋(2括り)		9-5-1~2一袋 袋破損の為SILティッシュで包む (袋上書)「嘉永元年 庭瀬板倉様御講帳入」
9-5-1	[庭瀬講関係書類]			1括り(1冊17通1包)		9-5-1-1~19紙綴りで一括り
9-5-1-1	嘉永二己酉年十一月 庭瀬催合講掛銀受取通 大橋金平	酉(嘉永2)年11月25日~卯(安政2)年11月24日	美・横半折	1冊		
9-5-1-2	[催合講関係書状及び覚]			1包(3通)		9-5-1-2-1~3一包 (包紙上書)「大橋良助様 庭瀬浅尾牧太郎 前田常介 請取書在中」
9-5-1-2-1	[大橋良助宛浅尾牧太郎・前田常介書状]	年未詳12月25日	横継紙	1通	催合講の割戻金筋立方執り計いの件について	
9-5-1-2-2	覚(割戻金勘定書付)	未年12月	横切紙	1通		
9-5-1-2-3	覚(催合講未年分受取)	未年12月25日	横継紙	1通	前田常介・浅尾牧太郎→大橋良助	
9-5-1-3	覚(催合講落札半口分銀子勘定書)	子年12月5日	横継紙	1通	庭瀬講掛り前田常助・間野権蔵・内山新兵衛→大橋金平	
9-5-1-4	覚(催合講掛銀并利足受取)	子年12月5日	横継紙	1通	庭瀬講掛り前田常助・間野権蔵・内山新兵衛→大橋金平	
9-5-1-5	覚(催合講掛銀并利足銀請取)	庚戌年11月29日	横継紙	1通	間野権蔵・田口衛士助・内山新兵衛→大橋金平	
9-5-1-6	覚(催合講酉年出銀并利足銀請取)	己酉年11月25日	横継紙	1通	庭瀬内山新兵衛→大橋金平	
9-5-1-7	[庭瀬御講入札戌十月廿三日開札書付]	戌年10月23日	横継紙	1通		
9-5-1-8	覚(催合講亥年分掛金受取)	亥年12月25日	横継紙	1通	前田常介→大橋良助	
9-5-1-9	覚(催合講差引勘定過金戌年分請取)	戌年12月25日	横継紙	1通	前田常介→大橋良助	
9-5-1-10	覚(講差引勘定過金請取)	酉年12月28日	横継紙	1通	前田常介・浅尾牧太郎→大橋良助	
9-5-1-11	覚(催合講申年分掛金受取)	申年12月25日	横継紙	1通	前田常介・浅尾牧太郎→大橋金平	
9-5-1-12	覚(講金請求書)	年未詳12月4日	横継紙	1通	庭瀬講元→大橋金平	
9-5-1-13	覚(催合講金午年分差引勘定請取)	午年12月22日	横継紙	1通	前田常助・弓場平兵衛→大橋良助	
9-5-1-14	覚(催合講掛金受取)	巳年2月	横継紙	1通	前田常助・弓場平兵衛→大橋金平	(端裏貼紙)「大はし様」
9-5-1-15	覚(催合講掛銀割戻差引受取)	辰年12月4日	横切紙	1通	庭瀬講元→大橋金平	(端裏書)「大橋」
9-5-1-16	覚(寅年分催合講掛銀利足受取)	寅年11月	横継紙	1通	前田常助・間野権蔵・遠藤梶之助・内山新兵衛→大橋金平	
9-5-1-17	覚(催合講金請取)	丑年12月12日	横切紙	1通	前田常介→大橋良助	
9-5-1-18	覚(催合講金子年分差引出銀請取)	子年12月28日	横継紙	1通	前田常介→大橋良助	
9-5-1-19	[大橋良助宛前田常介書状]	年未詳12月28日	横継紙	1通	講割戻金半口分の変更について	包紙あり(包紙上書)「大橋良助様 前田常介 貴下請取書在中」
9-5-2	[催合講帳類]			1括り(2冊1括り)		9-5-2-1~3紙綴りで一括り
9-5-2-1	安政二乙卯年ヨリ 庭瀬講割戻シ規定	安政2年	半・縦	1冊		
9-5-2-2	嘉永元年戊申年十二月 催合講定帳	嘉永元年12月	半・縦	1冊		(奥書)稲垣直兵衛・沢田多次右衛門他3名→(宛名なし)
9-5-2-3	[催合講銀関係書類]			1括り(1纏め2包10通)		9-5-2-3-1~13紙綴りで一括り
9-5-2-3-1	催合講落札証文之事	嘉永5年12月	縦継紙	1通	落札主倉敷村中島屋金平・証人親類徳蔵→庭瀬御講掛り内山新兵衛・間野権蔵・前田常介 銀拾四貫三百九拾八匁九分 此質物鶴新田天保開南四ノ割八拾番 中畑五畝廿四歩他三筆	(奥書)鶴新田庄屋三宅直吉 (端裏書)「嘉永五年十一月廿五日調印 子式拾五番」
9-5-2-3-2	[催合講金請取書類]			1纏め(2通)		9-5-2-3-2-1に9-5-2-3-2-2が挟み込まれていた
9-5-2-3-2-1	[大橋金平宛前田常助他2名書状]	丑年12月4日	横継紙	1通	催合講割合出銀引渡依頼	
9-5-2-3-2-2	覚(丑年催合講跡掛金小懸利分請取)	丑年12月4日	横継紙	1通	銀六貫五百目 跡掛半口分他2口 前田常介・間野権蔵・内山新兵衛→大橋金平	
9-5-2-3-3	[庭瀬講関係書類]			1包(5通)		9-5-2-3-3-1~5一包 (包紙上書)「書類入 庭瀬御講」
9-5-2-3-3-1	覚(落札銀算用書付)	年月日未詳	横切紙	1通		
9-5-2-3-3-2	出会御役人御名前	年月日未詳	横切紙	1通	沢田太次右衛門・大森寿助・内山新兵衛・間野権蔵・前田常介	
9-5-2-3-3-3	[落札銀算用書付]	子年10月22日	横継紙	1通		
9-5-2-3-3-4	壹番子十月廿二日入札(人別入札銀書付)	子年10月22日	横継紙	1通		
9-5-2-3-3-5	覚(落札銀算用及び約定金引渡しにつき質地証文戻し依頼)	子年11月23日	横継紙	1通	庭瀬催合講掛り→(宛名なし)	

9-5-2-3-4	催合講落札証文之事(写)	子年12月2日	横継紙	1通	倉敷中島屋久右衛門・加判大黒屋文介→庭瀬御役所御催合講御連中	(奥書)御新開掛り上村弥太郎・田之口村半左衛門→(宛名なし) 包紙あり(包紙上書)「久右衛門より庭瀬講落札二付引当差入候地所ひかへ 子十二月二日金七写し帰り候」
9-5-2-3-5	[大橋金平宛内山新兵衛書状]	年未詳11月1日	横切紙	1通	催合講懸銀受取及び通帳差上げのこと	包紙あり(包紙上書)「大橋金平様 内山新兵衛」
9-5-2-3-6	催合講廻状(写)	嘉永2年11月12日	横継紙	1通	庭瀬間野権蔵・田口衛士介・内山新兵衛→倉敷大橋平右衛門・同大橋金平外12名	包紙あり(包紙上書)「満講迄入用之書類入 但金相場議定書 嘉永二酉年十一月十二日写ス」
9-5-2-3-7	[大橋金平宛前田常助外3名書状類]			1包(2通)		9-5-2-3-7-1~2包紙で一包(包紙上書)「大橋金平様 内山新兵衛 田口衛士助 間野権蔵 前田常助」
9-5-2-3-7-1	[大橋金平宛前田常助外3名書状]	年未詳12月3日	横継紙	1通	催合講掛銀受取書を指上げにつき金子を使いに渡すよう依頼	
9-5-2-3-7-2	覚(催合講懸銀受取)	亥年12月	横切紙	1通	前田常介外3名→大橋金平	(端裏書)「大橋金平様」
9-5-2-3-8	覚(興除中疇村之内二所畝数書付)	年月日未詳	横切紙	1通		(包紙上書)「書拔庭瀬講落札二付鶴新田所持引当二差入候 然ル所引当少々様二付興除中疇分と差替候積り申候所此分を添候様申二付追而引替候」
9-5-2-3-9	嘉永七甲寅十月ノ廿二日庭瀬講会開札控 巻番六会目開札(人別落札銀書付)	寅年10月22日	横継紙	1通		
9-5-2-3-10	酉十月十九日開札(人別落札銀書付)	酉年10月19日	横折紙	1通		
9-5-2-3-11	亥十月廿二日 庭瀬御講三ヶ年目(人別落札銀書付)	亥年10月22日	横折紙	1通		
9-5-2-3-12	[講主前取銀書付]	年月日未詳	横折紙	1通		
9-5-2-3-13	[銀算用書付]	年月日未詳	横折紙	1通		包紙を転用
9-6	[講関係書類]			1袋(2袋2冊1括り5通)		9-6-1~10紙綴りで一括りし袋入り(袋上書)「嘉永四辛亥年 池田形部様御講書類入 世話人大黒屋文介」 SILティッシュに包みかえ
9-6-1	嘉永三庚戌年十二月 催合講議定帳	嘉永3年12月	半・縦	1冊		
9-6-2	御催合講落札証文之事	安政3年11月	縦継紙	1通	落札主倉敷村大橋源介・証人親類忠之丞・中疇地所世話人益右衛門→池田形部御講掛り霜山徳左衛門外2名	(奥書)中疇名主勝左衛門→(宛名なし)
9-6-3	小作証文之事	安政3年11月	縦継紙	1通	大橋源介・親類忠之丞→池田形部様御講掛り霜山徳左衛門外2名	
9-6-4	御催合講落札証文之事(控)	嘉永 年5月11日	縦継紙	1通	落札主倉敷村中島屋源介・証人親類徳蔵→池田形部様御講掛り上野平三郎外1名	(奥書)中疇名主勝左衛門・同武一郎→(宛名なし)
9-6-5	小作証文之事	嘉永5年11月	縦継紙	1通	中島屋源介・親類徳蔵→池田形部様御講掛り上野平三郎・小田益之進	
9-6-6	嘉永三庚戌ノ年 催合講御出銀掛銀共請取之通 吉口半 中島屋金平殿	嘉永3年	美・横半折	1冊		
9-6-7	[形部様御講関係書類]	安政3年		1袋(1纏め4通)		9-6-7-1~5一袋(袋上書)「安政三辰年より形部様御講落札二付先方より渡書并算用書共入」
9-6-7-1	覚(催合講落札銀引渡)	巳年11月	横継紙	1通	谷嘉伝太→大橋良介	
9-6-7-2	覚(得番金引渡)	辰年11月29日	横継紙	1通	須々木定之丞→大橋源介	
9-6-7-3	覚(形部様講金引渡)	辰年12月13日	横切紙	1通	郡屋鳥助→東大橋	
9-6-7-4	覚(得番銀引渡)	辰年12月3日	横切紙	1通	須々木定之丞→大橋源介	
9-6-7-5	[東大橋宛郡屋鳥助口上]			1纏め(2通)		9-6-7-5-2は9-6-7-5-1に巻き込まれている
9-6-7-5-1	[東大橋宛郡屋鳥助口上]	年未詳12月26日	横継紙	1通	岡山大黒屋よりの金子受渡し	(上書)「東大橋様 郡屋鳥助 金子添」
9-6-7-5-2	[東大橋宛郡屋鳥助口上]	年未詳12月26日	横切紙	1通	出店立替の銀受渡し	(上書)「東大橋様 郡屋鳥助」
9-6-8	[池田隼人様仕法講議定帳類]	文久元年12月		1袋(1冊2通1包)		9-6-8-1~4紙綴りで一括りし袋に入れる(袋上書)「文久元酉年十二月 池田隼人様仕法講議定帳入」
9-6-8-1	文久元辛酉年十二月 仕法講懸銀請取通 中島屋良介	文久元年12月	美・横列	1冊		
9-6-8-2	[東大橋宛甚介書状]	年月未詳20日	横切紙	1通	西御門講出金受取通1冊遣し	
9-6-8-3	覚(仕法講当り金引渡し)	寅年12月1日	横継紙	1通	谷嘉伝太→大橋秀太郎	
9-6-8-4	[仕法講議定帳写類]			1包(3通)		9-6-8-4-1~3包紙で一包
9-6-8-4-1	仕法講議定之事(写)	文久元年12月	横継紙	1通	古田亀之進外4名・銀預大橋平右衛門→(宛名なし) 仕法書も追記	(奥書)小田益之進→(宛名なし)
9-6-8-4-2	[大橋宛吉田用状]	年未詳12月17日	横切紙	1通	仕法書写遣し	
9-6-8-4-3	[大橋良介宛吉田亀之進書状]	年未詳12月16日	横継紙	1通	甚介より相談中の新講懸金の出金につき再度依頼	(上書)「大橋良介様 吉田亀之進」
9-6-9	[書付]			1纏め(2通)		9-6-9-1~2重ねて一纏め
9-6-9-1	覚ひかへ(手取銀書付)	辰年11月9日	横継紙	1通	大橋源介→(宛名なし)	
9-6-9-2	[畝数并小作米書付]	年月日未詳	横切紙	1通		
9-6-10	[銀受取書付他]			1括り(12通1纏め)		9-6-10-1~13紙綴りで一括り
9-6-10-1	覚(中ノ町講出銀請取)	甲寅年12月17日	横切紙	1通	文介留主中引受多介→東大橋	
9-6-10-2	覚(刑部様講出銀受取)	乙卯年12月5日	横継紙	1通	大黒屋文介→大橋源介	
9-6-10-3	覚(隼人様講出銀受取)	未年12月	横継紙	1通	大黒屋文介→東大橋	
9-6-10-4	覚(池刑部様講出銀受取)	子年2月12日	横切紙	1通	大黒屋文介→新宅	
9-6-10-5	覚(刑部様分(金平手取銀書付))	亥年12月6日	横継紙	1通		
9-6-10-6	形部御講子十月廿八日開札(人別手取銀書付)	子年10月28日	横継紙	1通		
9-6-10-7	[用状類]			1纏め(2通)		9-6-10-7-1~2一纏め

9-6-10-7-1	[新宅宛甚介用状]	年未詳2月10日	横切紙	1通	中ノ町講算用認め替差上につき差戻し依頼	(上書)「御新宅様 甚介」
9-6-10-7-2	覚(出入銀勘定書付)	子年2月	横継紙	1通	文介→新宅	
9-6-10-8	覚(池田形部様講落札銀引渡)	子年12月6日	横継紙	1通	多助→東大橋	
9-6-10-9	亥十二月六日入札(人別手取銀書付)	亥年12月6日	横継紙	1通		
9-6-10-10	池田形部様御講十一月廿一日開札(人別落札銀書付)	年未詳11月21日	横継紙	1通		
9-6-10-11	[年別出銀書付]	年月日未詳	横折紙	1通		継紙あり
9-6-10-12	[年別出銀書付]	年月日未詳	横折紙	1通		継紙あり
9-6-10-13	[用状]	年月日未詳	横継紙	1通	金会の寄会場所について	裏は銀書付
9-7	[信州様催合講帳類]			1袋(1冊仮2冊 1通4括り)		9-7-1~8一袋(袋上書)「嘉永二酉年十一月 信州様催合講帳入」
9-7-1	催合講帳	年月日未詳	半・縦	1冊		
9-7-2	嘉永二年己酉十一月 催合講銀請取通 御郡役所	嘉永2年11月	美・横長	仮1冊		
9-7-3	[銀算用書付]	年月日未詳	美・横長	仮1冊		
9-7-4	戌年 入札控	戌年	横折紙	1通		
9-7-5	[落札銀関係書類]			1括り(4通)		9-7-5-1~4紙綴りで一括り 括り紐に付紙あり(付紙)「戌年落札之節書類先方へ遣候ひかえ共」
9-7-5-1	[信州様御郡方御講落札銀勘定書付]	戌年10月24日	横継紙	1通		
9-7-5-2	[東大橋分落札銀算用書付]	年月日未詳	横継紙	1通		
9-7-5-3	奉請取催合御銀落札銀之事(控)	文久元年11月29日	横継紙	1通	寿之介諸勤手代弥三郎・大崎村三宅治三郎→天神山郡方役所	
9-7-5-4	奉請取催合御講落札銀之事(控)	文久2年11月晦日	縦継紙	1通	倉敷大橋良介→天神山郡方役所	「十二月九日笹沖弥右衛門江遣候ひかへ」の書付あり
9-7-6	[亥年落札銀関係書類]	文久3年11月29日		1括り(2通)		9-7-6-1~2紙綴りで一括り 括り紐に付紙あり(付紙)「亥年落札之節先方へ書類遣し候ひかへ」
9-7-6-1	覚(嘉永講落札銀引渡添状)	亥年11月29日	横継紙	1通	笹沖村弥右衛門→倉敷良介	
9-7-6-2	奉請取催合御講落札銀之事	文久3年11月29日	縦継紙	1通	倉敷大橋良介→天神山郡方役所	
9-7-7	[落札銀関係書類]			1括り(5通)		9-7-7-1~5紙綴りで一括り 括り紐に付紙あり(付紙)「酉年落札之節先方へ書類遣候ひかへ」
9-7-7-1	覚(嘉永講落札銀引渡添状)	子年11月晦日	横継紙	1通	笹沖村弥右衛門→倉敷良介	
9-7-7-2	[嘉永講甲子年落札銀算用書付]	年月日未詳	横切紙	1通		
9-7-7-3	覚(天神山郡方当子年分出銀引渡添状)	子年11月晦日	横継紙	1通	大黒屋甚介→東大橋	
9-7-7-4	覚(池田様御郡方安政講当子小懸銀引渡添状)	甲子年11月30日	横切紙	1通	平右衛門→良介	
9-7-7-5	奉請取催合御講落札銀之事	元治元年11月晦日	縦継紙	1通	倉敷大橋良介→天神山郡方役所	「十二月朔日笹沖弥右衛門江受取書遣候ひかへ」の書付あり
9-7-8	[講落札銀書付類]			1括り(18通)		9-7-8-1~18紙綴りで一括り
9-7-8-1	[嘉永講・安政講落札銀書付]	亥年10月19日	横継紙	1通		
9-7-8-2	覚(嘉永講・安政講銀書付)	亥年10月	横切紙	1通	大橋良介→(宛名なし)	「ひかへ 但式通二いたし候事」の書付あり
9-7-8-3	覚(信州様御郡方御講当未落札小懸一口分受取)	安政6年12月3日	横継紙	1通	平右衛門→良介	袋あり(袋上書)「天神山 御郡方小懸受取」
9-7-8-4	覚(一口掛銀算用書付)	年月日未詳	横切紙	1通		「四十瀬新田精一笹沖弥右衛門兩人より申越候控」の書付あり
9-7-8-5	覚(嘉永講出銀請取)	午年11月25日	横継紙	1通	笹沖村名主弥右衛門→大橋金平	
9-7-8-6	覚(郡方嘉永講当已掛銀請取)	丁巳年11月24日	横切紙	1通	四十瀬新田村名主精一→倉敷大橋金平	
9-7-8-7	覚(郡方嘉永講銀受取)	丙辰年11月18日	横継紙	1通	四十瀬新田村精一→倉敷大橋金平	
9-7-8-8	落札(銀勘定書付)	年月日未詳	横切紙	1通		
9-7-8-9	覚(金平分亥十月入札控)	年月日未詳	横継紙	1通		
9-7-8-10	落札(信州様御講寅年落札分勘定書付)	卯年	横継紙	1通		「信州様御講去寅年入札候処備前札一条二付当卯十二月迄延引 則今般落札左之通」の書付あり
9-7-8-11	覚(信州様郡方催合講子年分掛銀請取)	子年11月20日	横切紙	1通	久右衛門→金平	
9-7-8-12	覚(金平手取銀書付控)	子年9月27日	横切紙	1通		
9-7-8-13	覚(郡方役所嘉永講銀受取)	己卯年11月15日	横切紙	1通	四十瀬新田村名主精一・笹沖村名主弥右衛門→大橋金平	
9-7-8-14	覚(天神山講銀受取)	卯年3月27日	横切紙	1通	大黒屋文介→新宅	
9-7-8-15	子落札(大黒屋より申越の銀算用書付写)	年未詳9月晦日	横継紙	1通		
9-7-8-16	覚(午九番落札銀算用書付)	年月日未詳	横切紙	1通	四十瀬新田精一・笹沖弥右衛門→(宛名なし)	
9-7-8-17	覚(丑年講出銀受取)	丑年11月25日	横継紙	1通	大黒屋文介→東大橋 天神山郡方講、谷田講、佐野講分	
9-7-8-18	[人別入札銀書付]	年月日未詳	横継紙	1通		
9-8	[嘉永五壬子年浅原秋庭治左衛門催合講帳]			1袋(1冊4通)		9-8-1-1~5一袋(袋上書)「嘉永五壬子年 浅原秋庭治左衛門 催合講帳」
9-8-1	催合講議定帳	嘉永5年~安政2年 12月7日	半・縦	1冊		
9-8-2	催合講落札銀証文之事	嘉永7年12月	縦継紙	1通	落札主出雲大社長谷川図書・引請講主秋庭治左衛門・証人宝山但馬→催合講惣連中	(端裏書)「嘉永七甲寅年 式番落札証文写」
9-8-3	覚(人別講銀書付)	丑年11月	横切紙	1通		
9-8-4	[人別寅年入札銀書付]	年月日未詳	横切紙	1通		
9-8-5	覚(催合講壱口分元掛利井小方割掛銀受取)	嘉永7年12月22日	横切紙	1通	秋庭治左衛門→大橋亀次郎	
9-9	[講関係書類]			1括り(3袋2冊)		9-9-1~5紙綴りで一括り
9-9-1	[頼母志講関係書類]			1袋(1冊1通)		9-9-1-1~2一袋(袋上書)「安政二乙卯年十二月頼母志講帳 鯛屋源七郎」

9-9-1-1	頼母子講議定帳 いわし屋源七郎	安政2年12月	半・竪	1冊		
9-9-1-2	安政二年乙卯十二月 頼母子講懸金請取并二跡番金返上金御通 東大橋様 いわし屋源七郎	安政2年12月	横折紙	1通	世話人 島屋万平 宗津屋仁兵衛	
9-9-2	[京都金屋五郎三郎道具講関係書類]			1袋(1冊2通)		9-9-2-1~3一袋 (袋上書)「安政三丙辰年五月 京都金屋五郎三郎道具講帳 世話人 郡屋多介」
9-9-2-1	安政三丙辰年五月 京都金屋五郎三郎道具講帳 世話人郡屋多介	安政3年5月	半・竪	1冊		
9-9-2-2	覚(巳春秋分金請取)	年未詳9月23日	竪紙	1通	金屋五郎三郎→東大橋	
9-9-2-3	覚(午秋未春分金請取)	年未詳4月18日	横切紙	1通	金屋五郎三郎代ます→東大橋	
9-9-3	[西阿知村伝次郎講書付]			1袋(2通)		9-9-3-1~2一袋 (袋上書)「子七月十二日 西阿知村伝次郎講書付入 西原油屋俊吉取次」
9-9-3-1	[東大橋宛伝次郎書状]	年未詳7月12日	横継紙	1通	送付された着の礼と盆後早々罷出る旨を伝える	(上書)「東大橋様 西阿知より伝次郎 貴下 略封御免可被下候」
9-9-3-2	覚(伝次郎講)(御取頼母志講取立銀書付)	年月日未詳	横継紙	1通	講主西阿知村伝次郎・世話人西原村俊吉・引請松井守屋→返照院外14名	
9-9-4	安政六未年十一月 講帳	安政6年11月	半・竪	1冊		
9-9-5	無尽講規定帳	嘉永4年11月	半・竪	1冊		
9-10	[講関係書類]			1括り(4袋)		9-10-1~4紙綴りで一括り
9-10-1	[戎屋忠八頼母志講関係書類]			1袋(1冊2通仮1冊1包)		9-10-1-1~5一袋 (袋上書)「安政二乙卯年三月 戎屋忠八頼母志講帳入」
9-10-1-1	安政二乙卯年三月 頼母志講議定帳 戎屋忠八	安政2年3月	半・竪	1冊		
9-10-1-2	[講銀覚]			1包(7通)		9-10-1-2-1~7一包 9-10-1-2-7に巻き込まれている
9-10-1-2-1	覚(亥年分引出金引渡書付)	亥年12月	横切紙	1通	大黒屋甚介→戎屋忠八	
9-10-1-2-2	覚(忠八講子丑年分小懸共受取)	丑年12月28日	横切紙	1通	勝之丞→徳蔵	
9-10-1-2-3	覚(金子受取)	丑年12月7日	横継紙	1通	中島や→東大橋	
9-10-1-2-4	覚(戎忠講金引渡書付)	乙卯年10月29日	横切紙	1通	七郎右衛門→大橋源介	
9-10-1-2-5	覚(戌年落札銀受取)	文久2年12月11日	横切紙	1通	新宅徳蔵→本家良介	
9-10-1-2-6	覚(戎屋忠八講出金受取)	文久元年12月4日	横継紙	1通	三島治郎右衛門→大橋良介	
9-10-1-2-7	[忠八講申年落札銀書付]	年月日未詳	横切紙	1通	勝之丞手取金内訳	
9-10-1-3	覚(落札金引渡書付)	乙卯年11月晦日	横切紙	1通	戎屋忠八→東大橋	
9-10-1-4	覚(戎屋忠八講割戻り金書付)	明治3年5月8日	横継紙	1通	「明治三年五月八日大黒屋甚介より差越候書附」の記載あり	
9-10-1-5	講御出金請取通	安政2年3月	美・横長	仮1冊		袋あり(袋上書)「安政二年卯三月 講御出金請取通 大橋源介様 戎屋忠八」
9-10-2	[佐野貞蔵講関係書類]			1袋(1冊7通仮1冊)		9-10-2-1~9一袋 (袋上書)「嘉永二酉年五月十一日 佐野貞蔵講議定書并請取通入 文助引請」
9-10-2-1	頼母志講連名帳	嘉永2年4月	半・竪	1冊		
9-10-2-2	嘉永二年酉四月 講御出銀受取通 大橋金平様 大黒屋文介取次	嘉永2年4月	美・横長	仮1冊		
9-10-2-3	[東大橋宛甚介書状]	年未詳12月12日	横切紙	1通	国府での用も漸々先刻片付いたこと及び谷田佐野両人の講銀を別紙の通り差上のごと	(上書)「東大橋様 甚介 金子相添」
9-10-2-4	覚(講銀引渡書付)	酉年12月12日	横切紙	1通	大黒屋文介→新宅	
9-10-2-5	覚(未年文講出銀受取)	未年12月11日	横継紙	1通	大黒屋文介→東大橋	
9-10-2-6	覚(子年落札銀引渡書付)	子年11月	横切紙	1通	大黒屋文介→新宅	
9-10-2-7	覚(佐野氏講落札銀引渡書付)	乙卯年12月	横継紙	1通	大黒屋文助→東大橋	
9-10-2-8	覚(巳年分講出金受取)	巳年12月16日	横継紙	1通	大黒屋文介→東大橋	
9-10-2-9	覚(講銀請取)	辰年11月26日	横継紙	1通	大黒屋文介→東大橋	
9-10-3	[谷田清之介講関係書類]			1袋(1冊9通)		9-10-3-1~10一袋 (袋上書)「弘化四丁未年十二月岡山家中塩田善三郎子息谷田清之介講帳写し入 大黒屋文助より段々頼二付致加入候」袋破損の為SILティッシュで包む
9-10-3-1	弘化四年未十一月 頼母子講連名帳	弘化4年11月	半・竪	1通	講主谷田清之介	
9-10-3-2	[嘉永五子年四月廿日集会入札不残二付四月廿七日開札の覚]	嘉永5年4月27日	横継紙	1通		
9-10-3-3	覚(谷田氏講割戻銀書付)	午年12月	横切紙	1通	甚介→東大橋	
9-10-3-4	亥十一月十日 谷田講入札扣	亥年11月10日	横継紙	1通		
9-10-3-5	覚(谷田氏講割戻シ銀引渡書付)	午年12月14日	横継紙	1通	大黒屋文介→東大橋	
9-10-3-6	覚(申年分講銀差引過金引渡書付)	酉年3月	横切紙	1通	大黒屋文介→東大橋	
9-10-3-7	覚(谷田講・佐野講寅年分出金受取)	寅年12月10日	横継紙	1通	大黒屋文介→東大橋	
9-10-3-8	覚(谷田氏講出銀受取)	亥年11月21日	横継紙	1通	大黒屋文助→新宅	
9-10-3-9	覚(割戻金引渡書付)	亥年12月27日	横継紙	1通	大黒屋甚介→新宅	
9-10-3-10	覚(子年分不足銀引渡書付)	丑年2月	横継紙	1通	大黒屋甚介→東大橋	
9-10-4	[郡屋多介頼母志講関係書類]			1袋(1冊1纏め)		9-10-4-1~2一袋 (袋上書)「嘉永二己酉年十一月 郡屋多介頼母志講帳写し入」
9-10-4-1	嘉永二己酉年十一月 頼母志講議定帳 講主郡屋多助	嘉永2年11月	半・竪	1冊		
9-10-4-2	[郡屋多助講関係書類]			1纏め(14通3纏め)		9-10-4-2-1~17一纏め 9-10-4-2-1に9-10-4-2-2~17までが巻かれている
9-10-4-2-1	[未年文介引受講落札銀書付]	年月日未詳	横継紙	1通		

9-10-4-2-2	[多介講申年落札銀書付]	年月日未詳	横切紙	1通		
9-10-4-2-3	覚(丑年分出銀請取)	乙丑年12月20日	横継紙	1通	郡屋多助→東大橋	包紙あり(包紙上書)「東大橋様 郡屋多助」
9-10-4-2-4	覚(子年分出銀請取)	子年12月15日	横継紙	1通	郡屋多助→東大橋	
9-10-4-2-5	覚(亥年分出銀受取)	癸亥年12月12日	横継紙	1通	郡屋多助→東大橋	包紙あり(包紙上書)「御受取書」
9-10-4-2-6	[頼母子講集金書上]			1纏め(2通)		9-10-4-2-6-1~2一纏め
9-10-4-2-6-1	[東大橋宛郡屋多助書状]	年未詳12月16日	横継紙	1通	郡屋多助→東大橋	出金受取のこと
9-10-4-2-6-2	覚(戌年分出金請取)	壬戌年12月13日	横切紙	1通	郡屋多助→東大橋	(上書)「東大橋様 郡屋多助」
9-10-4-2-7	[講銀算用書]	年月日未詳	横継紙	1通	谷田様・佐野様講・郡多講分	
9-10-4-2-8	覚(申年分出銀受取)	万延元年12月4日	横継紙	1通	郡屋多助→東大橋	
9-10-4-2-9	覚(丑年講銀請取)	癸丑年12月1日	横継紙	1通	郡屋多助→東大橋	
9-10-4-2-10	覚(未年分講銀請取)	安政6年12月11日	横継紙	1通	郡屋多助→東大橋	
9-10-4-2-11	[落札銀書付]			1纏め(2通)		9-10-4-2-11-1に9-10-4-2-11-2が巻き込まれている
9-10-4-2-11-1	覚(落札銀取り残し分請取)	万延元年7月10日	横継紙	1通	郡屋多助→東大橋	
9-10-4-2-11-2	[銀算用書付]	年月日未詳	横切紙	1通		
9-10-4-2-12	覚(銀子受取)	辰年12月14日	横切紙	1通	郡屋多助→東大橋	
9-10-4-2-13	覚(寅年分出銀受取)	寅年12月8日	横継紙	1通	郡屋多助→東大橋	
9-10-4-2-14	覚(卯年分出銀請取)	乙卯年12月3日	横継紙	1通	郡屋多助→東大橋	
9-10-4-2-15	覚(子年落札銀引渡書付)	子年11月29日	横継紙	1通	郡屋多介→東大橋	
9-10-4-2-16	[講銀関係覚]			1纏め(2通)		9-10-4-2-16-1~2まで重ねて巻かれている
9-10-4-2-16-1	覚(午年分出銀請求)	午年12月21日	横継紙	1通	郡屋多介→東大橋	
9-10-4-2-16-2	覚(午年分出銀請求)	安政5年12月22日	横切紙	1通	郡屋多介→東大橋	
9-10-4-2-17	覚(寅年分前取出銀請取)	慶応2年12月	横継紙	1通	郡屋多助→東大橋	
9-11	[南北趣法講関係書類]			1袋(1括り仮1冊1冊)		9-11-1~3一袋 (袋上書)「嘉永三庚戌年 南北趣法講規定帳 大庄屋四人引受」
9-11-1	[南北講関連書類]			1括り(仮1冊14通)		9-11-1-1~15紙綴りで一括り
9-11-1-1	覚(講元払出及び落札払出銀書付)	年月日未詳	美・横長	仮1冊		
9-11-1-2	安政二卯年 北南講(人別出銀及落札銀書付)	安政2年	横折紙	1通		
9-11-1-3	[大橋金平宛友野鉄太郎・守屋友太郎・秋庭五一兵衛・守安慎介書状]	亥年11月	横継紙	1通	南北講壱口加入への礼と来る辰年まで十八ヶ年議定の通り取計らうこと	包紙あり(包紙上書)「大橋金平様 友野鉄太郎 守安慎介」
9-11-1-4	[大橋金平宛惣五郎書状]	年未詳12月20日	横継紙	1通	南北講銀受渡	(上書)「大橋金平様 惣五郎」
9-11-1-5	覚(南北講并天城講銀請求)	丑年12月	横継紙	1通	西原多郎介→倉敷亀次郎	
9-11-1-6	覚(卯年此方半口落札算用書西原大庄屋より差越候分書付)	年月日未詳	横折紙	1通		
9-11-1-7	覚(南北講出銀利請求)	卯年12月22日	横切紙	1通	田之上弥三郎→倉敷大橋源介	
9-11-1-8	覚(浅原五一兵衛分の銀引渡)	卯年12月22日	横継紙	1通	俊三郎→大橋源介	
9-11-1-9	覚(南北講残銀等引渡)	年月日未詳	横切紙	1通	西原俊三郎→倉敷大橋源介	
9-11-1-10	覚(南北講銀引渡)	卯年12月25日	横切紙	1通	四十瀬村名主七郎治→倉敷大橋源介	
9-11-1-11	覚(南北講出銀引渡)	乙卯年12月9日	横切紙	1通	西阿知彦左衛門→大橋源介	
9-11-1-12	[子年十月十一日平田に於いて寄会の節人別講銀書付]	子年10月11日	横折紙	1通		
9-11-1-13	[大橋金平宛多喜次書状]	年未詳10月3日	横切紙	1通	南北講昨年初入札銀の件で世話になる旨	包紙あり(包紙上書)「大橋金平様 守屋多喜次 御展」
9-11-1-14	小作証文之事(控)	安政2年12月	縦継紙	1通	倉敷大橋源介・証人親類忠之丞→講御引受大庄屋黒谷友野鉄太郎外3名	
9-11-1-15	催合講落札質地証文之事(控)	安政2年12月	縦継紙	1通	倉敷大橋源介・証人親類忠之丞→講御引受大庄屋黒谷友野鉄太郎外3名	
9-11-2	南北講請取通	嘉永3年	美・横長	仮1冊	友野鉄太郎・守屋友太郎・秋庭五一兵衛・守安慎介→大橋金平	(袋上書)「嘉永三戌歳 南北講通 大橋金平殿 守屋友太郎」
9-11-3	嘉永三年戌十一月 南北趣法講規定帳 貳拾貳ヶ村	嘉永3年11月	美・縦	1冊	購主方式拾貳ヶ村三田村名主周左衛門外21名→(宛名なし)	(奥書)大庄屋黒谷友野鉄太郎外3名
9-12	[林源十郎仕法講関係書類]			1袋(2冊2通)		9-12-1~4一袋 (袋上書)「明治八乙亥年十一月四日写 林源十郎仕法講議定書」
9-12-1	[講金算用書付]	年月日未詳	横継紙	1通		
9-12-2	明治八乙亥年十一月 仕法講議定	明治8年11月	半・縦	1冊	講主林源十郎	罫紙
9-12-3	記(落札金送付添状)	年未詳11月30日	横切紙	1通	林源十郎→大橋	
9-12-4	仕法講議定帳	明治8年11月	半・縦	1冊	講主倉敷村林源十郎	
9-13	[岡山御家中下方祐之進様講帳類]			1袋(3冊1包)		9-13-1~4一袋 (袋上書)「弘化三丙午年 一口分忠之丞名前の分岡山御家中下方祐之進様講帳并塩田善三郎様より文助を以御頼越之書状壱入 但瀧川縫様より此度之御講者御頼之由承二候」
9-13-1	[講関係書状類]			1包(5通)		9-13-1-1~5包紙で一包 (包紙上書)「岡山御家中塩田善三郎様より下方祐之進様講御頼之書状壱通入 弘化二乙巳年十一月」
9-13-1-1	[大黒屋文助宛内田為左衛門外1名書状]	年未詳7月8日	横継紙	1通	屋舗講帳面の披見願い	(上書)「大黒屋文助様 内田為左衛門 佐藤文次兵衛」
9-13-1-2	[金平宛善三郎書状]	年未詳11月27日	横継紙	1通	美酒壱樽への礼及び下方祐之進取立講の加入につき依頼	包紙あり(包紙上書)「中島屋金平様 塩田善三郎 要用貴下」
9-13-1-3	覚(講出入銀書付)	年未詳9月13日	横継紙	1通		
9-13-1-4	覚(忠之丞下方分手取銀書付)	戊年4月	横切紙	1通		

9-13-1-5	[講銀勘定書付]	年月日未詳	横切紙	1通		
9-13-2	弘化三丙午年四月 講入札帳	弘化3年4月	半・豎	1冊		
9-13-3	弘化二乙巳年十一月 講証文連名帳 下方	弘化2年11月	半・豎	1冊		
9-13-4	弘化二巳年十二月 講銀請取通 下方	弘化2年12月	美・横半折	1冊		
9-14	[嘉永元年西原油屋後吉講帳并通]			1袋(1冊4通1袋仮1冊)		9-14-1~7一袋 袋破損のためSILティッシュで包む(袋上書)「嘉永元年申十二月 西原油屋後吉講帳并通共入」
9-14-1	頼母志講通袋			1袋(仮1冊9通1纏め)		9-14-1-1~11一袋 (袋上書)「頼母志講通袋 西原村後吉」
9-14-1-1	嘉永元年申ノ十二月 頼母志講請取通	嘉永元年12月	美・横長	仮1冊	講主西原村後吉・引請人民介・加判多喜介・世話人源五郎・同三郎右衛門→倉敷大橋金平	
9-14-1-2	[講銀書付]			1纏め(2通)		9-14-1-2-1に9-14-1-2-2が巻き込まれている
9-14-1-2-1	覚(出銀書付)	年未詳3月晦日	横継紙	1通	後吉→東大橋	
9-14-1-2-2	覚(講差引算用書付)	寅年12月	横継紙	1通	油屋後吉→大橋良介	
9-14-1-3	覚(金受取)	丑年12月27日	横切紙	1通	にし屋油屋→東大橋	
9-14-1-4	覚(銀差引之分受取)	万延元年12月	横切紙	1通	西原後吉→中島屋良介	
9-14-1-5	覚(講銀差引過銀受取)	酉年12月25日	横切紙	1通	油屋後吉→大橋良介	
9-14-1-6	覚(差引過銀受取)	万延2年正月22日	横切紙	1通	油屋後吉→中島屋良介	
9-14-1-7	[大橋金平宛守屋民介・同保三郎書状]	年未詳4月25日	横継紙	1通	講銀受取	包紙あり(包紙上書)「大橋金平様 守屋民介 同保三郎 貴報至」
9-14-1-8	覚(講銀請取)	嘉永元年12月	横継紙	1通	民介・保三郎→金平	
9-14-1-9	[大橋金平宛守屋民介書状]	年未詳3月4日	横継紙	1通	保三郎講銀且御家地子米等差引過を渡すよう依頼	
9-14-1-10	覚(出銀書付)	年未詳8月4日	横継紙	1通	後吉→大橋良介	
9-14-1-11	[年別出銀書付]	酉年~子年	横継紙	1通	後吉→(宛名なし)	
9-14-2	[大橋金平宛西原後吉書状]	年未詳12月29日	横切紙	1通	小作打合困難のため講銀拝借依頼	(上書)「倉敷大橋金平様 西原守屋後吉 貴要用」
9-14-3	[酉年番多喜介落札銀等書付]	年月日未詳	横継紙	1通		
9-14-4	[油屋講落札控]	嘉永6年12月	横切紙	1通		
9-14-5	質入申田畑証文之事	嘉永元年11月	豎継紙	1通	質主民介・講主保三郎・証人源五郎・同三郎右衛門→頼母志講御連中	(奥書)名主多喜介→(宛名なし)
9-14-6	嘉永元年申六月 頼母志講儀定帳 講主後吉	嘉永元年6月	半・豎	1冊	講元後吉・引請民介・加判多喜介・世話主三郎右衛門・同源五郎→(宛名なし)	
9-14-7	嘉永元年申十二月 頼母志講銀札取引通 金平殿 講主保三郎	嘉永元年12月	美・横長	仮1冊		袋入り(袋上書)「講通袋 金平様」
9-15	明治七甲戌年第十二月 福島収平講議定書入			1袋(1冊5通)		9-15-1~6一袋 (袋上書)「明治七甲戌年第十二月 福島収平講議定書入」
9-15-1	明治六癸酉十二月 催合講趣法議定書 講主福島収平	明治6年12月11日	美・豎	1冊	講主福島収平・金預大橋平蔵・勘定引受和栗二三・同大橋孝四郎	
9-15-2	[本家落札金書付]	年月日未詳	豎紙	1通		
9-15-3	壹番落札 作戌年分	明治8年2月16日	横折紙	1通		
9-15-4	乙亥十一月二日 貳番(落札金書付)	(明治8)年11月2日	横折紙	1通		
9-15-5	[二三書状]	年月未詳17日	横切紙	1通	福島講金戌年分を月2円40銭出金で連中一同が承引した旨の報知	
9-15-6	[大橋秀太郎宛和栗二三口上]	年未詳2月18日	横切紙	1通	昨日福島氏講金を大橋へ受渡したので近日講通に印を差出す旨の報知	罫紙
9-16	弘化四年未十一月 催合講議定帳 講主守屋多喜介	弘化4年11月	美・豎	1冊	講主守屋多喜介・引受人松井彦左衛門・同岡利左衛門・同大橋俊之助	袋入り(袋上書)「弘化四丁未年十二月 西原村名主多喜介講帳写し入 西阿知菅田屋彦左衛門 西原油屋民介兩人より頼候付致加入候」
9-17	明治元辰年 小位庄村名主生坂村禎介講帳入			1袋(1冊3通仮1冊1袋)		9-17-1~6一袋 (袋上書)「明治元辰年 小位庄村名主生坂村禎介講帳入」
9-17-1	[講金講取通類]			1袋(仮2冊10通)		9-17-1-1~12一袋 (袋上書)「巳年より講金講取通 大橋様 金預り元請」
9-17-1-1	[大橋秀太郎宛目黒禎介書状]	戌年12月8日	横継紙	1通	前取勿見込取除入札金につき報知	
9-17-1-2	落札(大橋秀太郎外2名分書付)	丑年12月29日	豎紙	1通		包紙あり(包紙上書)「大橋秀太郎様 目黒禎介 書留」
9-17-1-3	[佐藤仲・石井長一・大橋秀太宛鷲口小文太書状]	年未詳1月3日	横継紙	1通	催合講払出金の催促	
9-17-1-4	趣法講議定之事(案文)	明治元年12月	美・横長	仮1冊		
9-17-1-5	[趣法講議定書案文]	年月日未詳	横継紙	1通		
9-17-1-6	[講金請取通]	年月日未詳	横継紙	1通		
9-17-1-7	奉矢野権令閣下書	年月日未詳	豎切紙	1通	5ヶ年分の年別金書付と小作証券部分の写し	罫紙
9-17-1-8	[守屋寿太郎及東雲院隠居講金差引書付]	年月日未詳	横継紙	1通		
9-17-1-9	[西原守屋戌年分入札金書付]	年月日未詳	横切紙	1通		
9-17-1-10	[貳歩五厘加入落札金書付]	年月日未詳	横切紙	1通		
9-17-1-11	[窪津江治落札金書付]	年月日未詳	横切紙	1通		
9-17-1-12	明治二巳年より 生坂禎介講銀請取通 大橋源介殿 金預り元請	明治2年	美・横長	1通		
9-17-2	[巳年より六ヶ年分金算用書付]	年月日未詳	横継紙	1通		
9-17-3	[大橋俊太郎宛片山類者書状]	年未詳正月9日	横継紙	1通	年始挨拶	

9-17-4	復古分村之儀二付御願	明治12年5月	美・豎	仮1冊	浅口郡合併村西之浦と鶴新田の分村願い 中桐義忠太外10名 →岡山県令高崎五六	第十七大区浅口郡番紙
9-17-5	明治元辰年 趣法講議定帳写 講主生坂村禎介	明治元年	美・豎	1冊	講主生坂村禎介・金預り元請江口市郎右衛門・同窪津延助・引 請世話方山本太郎他2名	
9-17-6	[明治十二年拾一番口落札金書付]	明治12年	横切紙	1通		
9-18	[催合講帳類]			1括り(2袋)		9-18-1~2紐で一括り
9-18-1	万延元庚申年 岡田仕法講帳入			1袋(仮2冊6通 1纏め)		9-18-1-1~9-1袋 (袋上書)「万延元庚申年 岡田仕法講帳入」
9-18-1-1	講仕法(写)	年月日未詳	美・豎	1冊		
9-18-1-2	万延元申十二月より 仕法講掛銀差引通 中島屋良 助殿 岡田勘定所	万延元年12月	半・横長	仮1冊		袋入り(袋上書)「申歳取立 仕法講通 中島屋良助殿 岡田」
9-18-1-3	覚(銀請取)	年未詳12月28日	横切紙	1通	難波惣七→(宛名なし)	
9-18-1-4	覚(指引不足銀受渡)	年未詳4月4日	横継紙	1通	世話方難波惣七→東大橋	
9-18-1-5	入札(人別銀書付)	年月日未詳	横折紙	1通		
9-18-1-6	覚(丑秋利足金請取)	年未詳9月27日	横継紙	1通	難波惣七→東大橋	
9-18-1-7	覚(通ひ壱通并利息金受取)	年未詳10月6日	横継紙	1通	難波惣七→東大橋 寅9月分	
9-18-1-8	覚(催合講前取出銀請取)	丑年12月	横継紙	1通	世話方難波惣七→大橋良右衛門	
9-18-1-9	[講銀書付類]			1纏め(仮1冊4 通1括り)		9-18-1-9-1~6一纏め
9-18-1-9-1	岡田仕法講落札扣	年月日未詳	半・横長	仮1冊		
9-18-1-9-2	覚(子九月入札扣)	子年9月	横折紙	1通		
9-18-1-9-3	[講銀書付類]			1括り(7通)		9-18-1-9-3-1~7紐で一括り
9-18-1-9-3-1	[東大橋分銀書付]	年月日未詳	横切紙	1通		
9-18-1-9-3-2	[講元払出銀書付]	年月日未詳	横切紙	1通	仕法講世話方→東大橋	
9-18-1-9-3-3	百四会目落札覚	年月日未詳	横継紙	1通		
9-18-1-9-3-4	[東大橋宛馬左衛門口上]	年未詳3月晦日	横切紙	1通	仕法講割戻しにつき来訪依頼	
9-18-1-9-3-5	覚(矢田亭左衛門へ岡田講銀受渡)	申年12月26日	横切紙	1通	郡屋清太郎→東中島屋良助	
9-18-1-9-3-6	百廿三開札	年月日未詳	横切紙	1通(2枚)		
9-18-1-9-3-7	覚(講銀差引書付)	申年12月19日	横継紙	1通	馬左衛門→良助	
9-18-1-9-4	覚(丑三月晦日利足銀請取)	丑年4月3日	横切紙	1通	難波惣七代人房右衛門→東大橋	
9-18-1-9-5	入札覚	丑年3月	横継紙	1通		
9-18-1-9-6	覚(不足銀請取)	亥年9月6日	横継紙	1通	田辺馬左衛門→大橋良介	
9-18-2	嘉永二酉年十一月 伊藤播磨守様催合講帳入			1袋(1冊1袋1 括り)		9-18-2-1~3一袋 (袋上書)「嘉永二酉年十一月 伊藤播磨守様催 合講帳入」
9-18-2-1	催合講趣法議定帳	嘉永2年11月	美・豎	1冊	岡田勘定所→(宛名なし)	(奥書)徳田尚一外6名→(宛名なし)
9-18-2-2	[催合講銀受取通袋]			1袋(仮1冊3 通)		9-18-2-2-1~4一袋 (袋上書)「催合講銀受取通袋 中島屋金平」
9-18-2-2-1	嘉永二年酉十二月 催合講銀受取通 倉敷中島屋金 平殿 岡田勘定所	嘉永2年12月	美・横長	仮1冊		
9-18-2-2-2	覚(岡田講当子年払出銀受取)	元治元年11月26日	横継紙	1通	三右衛門→良助	
9-18-2-2-3	覚(子年分催合講銀請取)	子年11月晦日	横切紙	1通	引請世話方難波惣七→東大橋	
9-18-2-2-4	催合講銀請取通	文久元年11月	横折紙	1通	引受田辺馬左衛門→良助	
9-18-2-3	[催合講落札証書類]			1括り(4通2包)		9-18-2-3-1~6紐で一括り
9-18-2-3-1	催合講落札証文之事(控)	嘉永5年12月	豎継紙	1通	落札主倉敷村中島屋金平・証人親類徳蔵→岡田御講掛り徳田 尚二外6名	(裏書)「嘉永五年子十一月廿五日調印千式拾六番」(奥書)鶴新 田庄屋三宅直吉→(宛名なし)
9-18-2-3-2	[講銀差引書付]	未年12月4日	横切紙	1通	若林貫二→(宛名なし)	
9-18-2-3-3	[子年落札銀書付]			1包(2通)		9-18-2-3-3-1~2包紙で一包 (包紙上書)「書類入」
9-18-2-3-3-1	[子年落札銀人別書付]	子年8月	横折紙	1通	代人金七→(宛名なし)	
9-18-2-3-3-2	[子年落札銀勘定書付]	子年	横切紙	1通		
9-18-2-3-4	亥九月十日入札覚	年月日未詳	横継紙	1通		
9-18-2-3-5	[岡田講引受役人より質地証文預り書類]			1包(2通)		9-18-2-3-5-1~2包紙で一包 (包紙上書)「岡田講引受役人より質 地証文預り書壱通入」
9-18-2-3-5-1	覚(質地証文預り証)	嘉永5年11月28日	豎紙	1通	伊東若狭守内狩山逸作外7名→倉敷中島屋金平	
9-18-2-3-5-2	覚(質地証文受渡証)	子年11月28日	横切紙	1通	岡田勘定所→中島屋金平	
9-18-2-3-6	[大橋金平宛徳田尚二書状]	年未詳11月28日	横継紙	1通	催合講入札手取分を名代金七へ受渡す際の席料について	包紙あり(包紙上書)「大橋金平様 徳田尚二」
9-19	嘉永四辛亥年四月 新見様催合講帳			1袋(1冊1通仮 1冊1纏め1袋1 括り)		9-19-1~6紐で一括りし、袋入り (袋上書)「嘉永四辛亥年四月 親 見様催合講帳」
9-19-1	嘉永四年亥四月 催合講蝶 新見勘定元	嘉永4年4月	美・豎	1冊	新見勘定元木山主一・大武以平・菅仁平・世話方若原如山・平 田源太郎	
9-19-2	催合講金取引通	嘉永5年4月28日	美・横長	仮1冊	新見勘定所世話方平田源太郎・同若原如山→大橋金平	袋入り(袋上書)「嘉永五壬子四月 催合講銀取引通 新見」
9-19-3	[催合講関係書類]			1纏め(1冊6通)		9-19-3-1~7一纏め



9-19-3-1	嘉永五壬子四月 催合講質地書抜帳 倉敷大橋金平	嘉永5年4月	美・横長	1冊	倉敷大橋金平→大橋世話方若原如山・同平田源太郎	
9-19-3-2	[大橋金平宛内藤定治郎口演]	年未詳5月1日	横継紙	1通	催合講利足算用につき取合せ願ひ	(上書)「大橋金平様 尊下 内藤定治郎拜」
9-19-3-3	催合講落札証文之事(案文)	嘉永5年4月	横継紙	1通	落札主倉敷村中島金平・証人親類徳蔵→新見御勘定元加藤愚・催合講御世話方若原如山・同平田源太郎・催合講御連中	(端裏書)「縦紙上包入」 附紙、貼紙多数あり
9-19-3-4	[大橋宛西阿知源太郎書状]	年未詳4月29日	横継紙	1通	金2朱、札2匁の返上について主人若原様の意向報知	
9-19-3-5	覚(金書付)	年未詳4月29日	横切紙	1通	源太郎→定吉	
9-19-3-6	覚(引替金遣し)	年未詳4月29日	横継紙	1通	平田・若原→大橋	
9-19-3-7	子四月三日集会入札	子年4月3日	横折紙	1通		
9-19-4	[寅四月ヨリ催合講受取書類]			1袋(14通)		9-19-4-1~14一袋 (袋上書)「寅ノ四月ヨリ催合講受取書入 大橋金平様」
9-19-4-1	覚(講銀受取)	安政2年4月20日	横切紙	1通	平田源太郎・若原如山→大橋金平	
9-19-4-2	覚(催合講掛戻利銀受取)	嘉永7年4月20日	横切紙	1通	平田源太郎・若原如山→大橋金平	
9-19-4-3	覚(新見催合講銀請取)	慶応4年閏4月	横切紙	1通	西阿知村丸川延太郎→倉敷大橋良介	
9-19-4-4	仮請取之事	安政4年4月	横継紙	1通	取立方西阿知村丸川延太郎→倉敷大橋金平 新見表催合講金	
9-19-4-5	催合講銀仮請取	午年4月	横切紙	1通	取立方大江村結太郎→大橋金平	
9-19-4-6	覚(掛戻利銀請取)	未年4月	横切紙	1通	西阿知村丸川延太郎→大橋金平	
9-19-4-7	覚(催合講銀請取)	万延元年4月	横継紙	1通	丸川延太郎→大橋金平	
9-19-4-8	覚(新見催合講金請取)	文久元年4月	横切紙	1通	西阿知丸川延太郎→倉敷大橋金平	
9-19-4-9	覚(利銀并前取銀請取)	文久2年4月	横継紙	1通	西阿知丸川延太郎→大橋金平	
9-19-4-10	覚(利銀并前取銀請取)	文久3年4月	横切紙	1通	新見催合請取立西阿知村丸川延太郎→倉敷大橋金平	
9-19-4-11	覚(新見催合講銀請取)	元治元年4月	横継紙	1通	西阿知村丸川延太郎→倉敷大橋良介	
9-19-4-12	覚(新見催合講銀請取)	丑年4月	横継紙	1通	西阿知村丸川延太郎→倉敷大橋良介	
9-19-4-13	覚(新見講銀請取)	慶応2年4月	横切紙	1通	西阿知村丸川延太郎→倉敷大橋良介	
9-19-4-14	覚(新見催合講銀受取)	慶応3年4月	横継紙	1通	西阿知村丸川延太郎→倉敷大橋良介	
9-19-5	[催合講関係証文]			1括り(3通)		9-19-5-1~3紐で一括り
9-19-5-1	十六ヶ年之間預り手形之事	嘉永5年4月	縦継紙	1通	西阿知村彦左衛門・証人同村篤介→倉敷中島屋金平	包紙あり(包紙上書)「御証文預手形 西阿知彦左衛門」
9-19-5-2	催合講落札証文之事(控)	嘉永5年4月	縦継紙	1通	落札主倉敷村中島屋金平・証人親類同徳蔵→新見御勘定元加藤愚・催合講御世話方若原如山・同平田源太郎・催合講御連中	(裏書)「嘉永五年子四月九日調印千弍番」 (奥書)鶴新田庄屋預り三宅直吉
9-19-5-3	小作証文之事(控)	嘉永5年4月	縦紙	1通	倉敷村中島屋金平→催合講御世話方若原如山・同原田源太郎	
9-19-6	覚(新見催合講出銀請取)	辰年5月25日	横切紙	1通	西阿知村丸川延太郎・代寿太郎→大橋源介	包紙あり(包紙上書)「請取書 壱通」
9-20	[和栗仁左衛門講議定書]			1袋(1冊2通)		9-20-1に9-20-2~3が挟み込まれている 袋入り(袋上書)「明治十一年寅十二月 和栗仁左衛門講議定書」
9-20-1	明治十年丁丑十二月 催合講條約簿 写 講主和栗仁左衛門	明治10年12月	美・縦	1冊	講主和栗仁左衛門・加判和栗二三・金預大橋平蔵代理大橋友蔵・勘定引請大橋五郎・同大橋又四郎・同手伝和栗淳次	
9-20-2	記(講金請取)	寅年11月25日	横切紙	1通	和栗仁左衛門・同二三→大橋秀太郎	罫紙
9-20-3	受取証(二十年払出金)	(明治)20年11月21日	横切紙	1通	和栗康郎→大橋秀太郎	
9-21	趣法購払金受取通	明治16年	美・横長	仮1冊	講主和田行蔵・幹事惣代木村光太郎・同窪津大紀→大橋俊太郎	
9-22	[子位庄村地所書旧公証取消請願書類]	明治23年1月11日		1綴(5通)	窪津郡倉敷村亡大橋秀太郎・相続人大橋寿・後見人名越為吉・代理人西原勘三郎→(宛名なし)	3通は罫紙
9-23	[相続頼母子講帳類]			1袋(1冊仮1冊1括り)		9-23-1~3一袋 (袋上書)「万延元申年十一月 相続頼母子講帳入 講主地頭村大塚寿兵衛」
9-23-1	万延元申年十一月 相続頼母子講帳(写)	万延元年11月	半・縦	1冊	取立人大塚寿兵衛・金預り請人足助郡右衛門・同三村長兵衛・同松室宇四郎	
9-23-2	地頭村大塚寿兵衛殿講壺口金拾両掛七歩五厘拙夫加入之内御内歩弍歩五厘之分割合受取通(控)	万延元年11月	半・横長	仮1冊	中島屋良介→中島屋徳蔵	
9-23-3	[書状類]			1括り(3通1包)		9-23-3-1~4紐で一括り
9-23-3-1	[大橋良介宛大塚寿兵衛書状]	年未詳11月13日	横切紙	1通	講一条引受について	包紙あり(包紙上書)「倉敷大橋良介様 地頭大塚寿兵衛 貴下要用」
9-23-3-2	[大橋良介宛大塚寿兵衛書状]	年未詳11月5日	横継紙	1通	講加入の件につき依頼	包紙あり(包紙上書)「倉敷大橋良介様 自中村地頭大塚寿兵衛 貴下要用」
9-23-3-3	[大橋良介宛中村義太郎書状]	年未詳11月18日	横継紙	1通	弟源内の頼母子講に加入の件につき御礼	袋入り(袋上書)「倉敷大橋良介様 中村片山義太郎 貴下要用書」
9-23-3-4	[源内講銀受取書]			1包(2通)		9-23-3-4-1~2包紙で一包 (包紙上書)「庚申十一月 源内講銀受取書 中村片山義太郎」
9-23-3-4-1	覚(地頭村源内頼母子講への出金受渡)	庚申年11月18日	横切紙	1通	中村片山義太郎→倉敷村大橋良介	
9-23-3-4-2	覚(地頭村大塚寿兵衛講の割合金遣し)	万延元年11月14日	横切紙	1通	新宅徳蔵→本家良介	
9-24	[古地方分綿縮取箇書上]	年月日未詳	横継紙	1通		
9-25	[金受渡証]			1纏め(2通)		9-25-1は9-1-2を巻き込んでいる

9-25-1	記(元利引渡)	明治22年6月1日	堅切紙	1通	精米会社→名越為次	倉敷精米会社用紙
9-25-2	仮請取之証(地蔵院寄附金)	(明治)24年12月23日	横切紙	1通	地蔵院惣代井上永蔵→東大橋	
9-26	当辰年弘化開取箇定	辰年	横継紙	1通		
9-27	[綿代銀書付]	年月日未詳	横継紙	1通		
9-28	[書状類]			1纏め(2通)		9-28-1~2一纏め
9-28-1	[倉敷大橋宛利七・辰右衛門書状]	年未詳5月18日	横切紙	1通	大島屋早兵衛両人の件につき謝罪	(上書)「倉敷大橋様 利七 辰右衛門 尊下」(裏書)「略封御免可被下候」
9-28-2	覚(丸山新開水七番小作代銀支払)	年未詳5月18日	横切紙	1通	利七・伝治郎→倉敷大橋	
9-29	[交信社催合講受取通類]			1袋(仮1冊3通1枚)		9-29-1~5一袋 袋入り(外袋上書)「交信社催合講」(内袋上書)「明治十三年 講金請取通 難波景次殿 交信社幹事」
9-29-1	明治十三年 催合講金受取通 難波景次殿 交信社幹事	明治13年	美・横長	仮1冊		
9-29-2	催合講譲渡之証	明治14年8月13日	堅紙	1通	譲主難波景二・証人三宅障平→大橋俊太郎	罫紙
9-29-3	地所書入催合講落札金受取証(案文)	明治14年11月28日	横継紙	1通	落札金受取主・証人→催合講幹事手番木山精一・岡田義平	
9-29-4	覚(催合講金受取)	辰年11月29日	横切紙	1通	木山精一→難波	罫紙
9-29-5	[封筒]	年月日未詳		1枚		(上書)「講金金仮受取証入 交信社分」
9-30	[大橋宛等八郎用状]	年月日未詳	横継紙	1通	議事録や後見人就職届等への調印及必要事項記載依頼	
9-31	覚(寛政開他新開入用書付)	未年12月5日	横継紙	1通		(上書)「弘化四未年鶴新田割符書抜 未十二月五日」
9-32	おぼへ(丸葉数及人足数書付)	年月日未詳	横切紙	1通		
9-33	[人別米高書付]	文化13年	美・堅半	1冊	富春軒 浜村、子位庄村、川入村、浅原村、早島庄分	
9-34	[大橋高之家督相続届]			1纏め(仮2冊6通)		9-34-1~8一纏め SILティッシュで包む
9-34-1	家督相続届(案文)	明治43年2月	堅紙	1通	前戸主松枝徒弟宮家省三(高之三男) 戸主大橋高之	
9-34-2	家督相続人指定証書	明治43年2月	堅紙	1通	相続人大橋省三 養母宮家濃婦 養父宮家晋	
9-34-3	家督相続人指定届(案文)	明治43年3月	堅紙	1通	指定家督相続人宮家省三・戸主宮家松枝・松枝未成年二付親権ヲ行フ母宮家濃婦→郷内村戸籍吏	
9-34-4	家督相続届	明治43年3月	堅紙	1通	前戸主松枝徒弟宮家省三 省三未成年二付親権ヲ行フ母宮家濃婦 戸主大橋高之	
9-34-5	被家督相続人指定承諾書	明治43年2月	堅紙	1通	指定者宮家松枝 被指定者大橋省三 親権者大橋高之	
9-34-6	家督相続人指定届(案文)	明治40年	半・堅	仮1冊	指定相続人宮家寿子	
9-34-7	家督相続届(案文)	明治40年	堅紙	1通	松枝妹宮家寿子・親権ヲ行フ母宮家濃婦→郷内村戸籍吏	
9-34-8	家督相続人指定届	明治43年2月	半・堅	仮1冊	指定相続人大橋省三	
9-35	金預り証書	明治25年4月1日	堅紙	1通	金預り主大橋寿・後見人名越為吉→同所西原勘三郎	罫紙 墨書で棒引き 封筒あり(封筒上書)「金預り証書書通 明治廿五年四月一日」
9-36	謠之雑録	年月日未詳	半・堅半	1冊		
9-37	小作米両年分請負銀請取通	嘉永4年	美・横長	仮1冊	倉敷中島屋→鶴新田村善左衛門・浅海村葉蔵	
9-38	[大森母及姉宛とも書状]	年月日未詳	横折紙	1通	当年父上様の事につき御祝	(上書)「大森御母上様 同御姉様 大〇〇〇ともより参る御悦ひ〇〇」
9-39	[宮家両人宛みへ書状]	年月日未詳	横折紙	1通	祝儀の御祝	(上書)「宮家御両人様 御みへより 御いらへ」
9-40	[地割図]			1括り(2舗)		9-40-1~2紐で一括り
9-40-1	[地割図]	年月日未詳	89.0×58.2	1舗	「大島」、「北之鼻」等の地名あり	
9-40-2	[地割図]	年月日未詳	54.8×51.5	1舗		
9-41	建物所有権保存二付登記申請書	明治43年8月18日	美・堅	仮1冊	申請人宮家松枝・代人小川改次郎→岡山区裁判所味野出張所	登記用紙
9-42	土地所有権保存二付登記申請書	明治40年11月18日	美・堅	仮1冊	申請者宮家松枝親権者宮家濃婦・代人原文十郎→岡山区裁判所味野出張所	登記用紙
9-43	土地登記表示ノ更正登記申請書	明治43年10月	美・堅	仮1冊	申請者宮家松枝親権者宮家濃婦・代人小川改次郎→岡山区裁判所味野出張所	登記用紙
9-44	[大橋宛佐藤等八郎書状]	年未詳10月8日	横継紙	1通	登記書類送付、不用委任状返却、登記所提出の親族会決定謄本の処置、松枝隠居関連の委任状調印依頼	封筒あり(封筒上書)「大橋様 直披」(封筒裏書)「佐藤等八郎 十月九日」
9-45	[宮家松枝関連書類]			1纏め(2通)		9-45-1~2一纏め
9-45-1	隠居届(案文)	明治44年	堅紙	1通	隠居者宮家松枝→郷内村戸籍吏谷田経太郎	
9-45-2	家督相続人指定届	明治44年	堅紙	1通	被相続人宮家松枝・相続人宮家省三→郷内村戸籍吏谷田経太郎	
9-46	決定謄本	明治43年10月6日	堅紙	1通	大橋高之、近藤禎三郎、幡中登三名を宮家省三の親族会員に選定のこと 岡山区裁判所判事菱川憲正、裁判所書記福家信也	岡山区裁判所用紙
9-47	戸地売渡シ之証	明治43年9月6日	半・堅	1冊	売主宮家松枝・特別代理人大橋高之・代書人佐藤等八郎→買主宮家省三	
9-48	建物売渡証	明治43年9月6日	半・堅	1冊	売主宮家松枝・特別代理人大橋高之・代書人佐藤等八郎→買主宮家省三	
9-49	明治二拾一年壹月ヨリ 諸控	明治21年1月~24年11月	半・堅	1冊	地所売渡証券、免許銃譲受届、金借用証券等大橋寿関連書類	大森祖母宛大橋増・とは年始挨拶状1通が挟み込まれている

9-50	弘化三丙午年 頼母子講規定帳 講主三浦寛左衛門	弘化3年12月	半・豎	1冊	講主浅原村三浦寛左衛門・加判同村秋庭善太夫他3名・世話方同村高野繁左衛門→安養寺・倉舗大橋金平外13名	
9-51	諸道具目録	安政2年12月12日	美・横長	仮1冊		
9-52	定約証	明治14年11月20日	豎切紙	1通	古位庄村小作人川崎幸吉・同村証人北見栄八→窪屋郡倉敷村大橋秀太郎	証券界紙
9-53	[材木及釘入用書付]	年月日未詳	半・横長	仮1冊		
9-54	裏道作入用控	年月日未詳	美・横長	仮1冊		
9-55	[普請銀控]			1纏め(1冊1通)		9-55-1に9-55-2が挟み込まれている
9-55-1	弘化五申年三月廿五日ヨリ年号嘉永元二改ル 嘉永元戊申年ヨリ 鶴新田弘化開福田沖板敷新開普請銀控	嘉永元年	美・横半折	1冊		
9-55-2	[堀所埋出し地普請周平渡銀書付]	年月日未詳	横継紙	1通		
9-56	[玉島登記所行永山要平外支度金書付]	(明治)21年2月19日	半・豎	仮1冊		罫紙
9-57	[御東宛永山要平用状]	年未詳旧正月13日	横切紙	1通	米借用依頼、玉島登記所行費用を拝借中費用と差引き不足金を遺すこと	
9-58	土地売渡証	明治24年2月10日	美・豎	仮1冊	売渡人大橋寿・後見人名越為吉・大橋高之・大橋平右衛門→山陽鉄道会社々々長松本重太郎	
9-59	委任状	明治27年2月10日	豎切紙	1通	大橋寿・後見人名越為吉→(宛名なし) 山陽鉄道株式会社へ土地売渡登記請求一件の権限を守谷石次郎へ委任	
9-60	地所証明願	年月日未詳	半・豎	仮1冊	窪屋郡浜村9番字河原外15ヶ所	罫紙
9-61	定約書	明治14年11月23日	豎切紙	1通	小作人森脇伝十郎・同福武板吉・証人森本菊郎→大橋秀太郎	証券界紙
9-62	[大橋源介宛綱島泰輔書状]	年未詳12月8日	横継紙	1通	娘の道具類の処置につき依頼	包紙あり(包紙上書)「備中倉敷阿知町大橋源介様 自京東洞院蛸薬師下発 綱島泰輔 十二月九日 状賃相添 無事用書」
9-63	[小作人定約証]			1纏め(3通)		9-63-1~3重ねて一纏め
9-63-1	定約証	明治14年11月20日	豎切紙	1通	子位庄村小作北見平八・同村証人川崎幸吉→倉敷村大橋秀太郎	証券界紙
9-63-2	定約証	明治14年11月20日	豎切紙	1通	窪屋郡子位庄村小作人坪井茂平・同村証人同林蔵→窪屋郡倉敷村大橋秀太郎	証券界紙
9-63-3	定約書	明治14年11月20日	豎切紙	1通	子位庄村小作人藤田源蔵・同村証人川崎幸吉→倉敷村大橋秀太郎	証券界紙
9-64	当辰弘化開綿地取箇仕出	辰年	横継紙	1通		
9-65	明治五年申十月 加地子再見帳 二治作扣	明治5年10月	半・横半折	1冊		
9-66	[年貢米書付]	巳年		1綴(7通)	米見二作・舛取理吉・庄屋大橋平右衛門→(宛名なし)	豎切紙を綴っている
9-67	[お寿宛藤治郎書状]	年未詳11月12日	横継紙	1通	約束の手紙指上	
9-68	鶴新小書付并廻文控入			1袋(1冊1通仮2冊)		9-68-1~4一袋 (袋上書)「鶴新小書付并廻文控入」
9-68-1	午とし 鶴おほへ	(弘化3)年2月17日~弘化4年10月3日	美・横半折	1冊	鶴新田集会の内談一条に関する日誌	
9-68-2	寛(用水等入用銀書付)	未年7月11日	半・横長	仮1冊	鶴新田庄屋預り三宅直吉→各々	
9-68-3	廻状留	年月日未詳	美・横半折	仮1冊	新開の儀につき相談の村会延引(三宅甚蔵外1名→大橋金平外2名)等	
9-68-4	[天保新開箱樋板替箇所書上]	年月日未詳	横折紙	1通		
9-69	文政十一戊子年 賃借券	文政11年	美・横列	1冊		(上書)「片山道碩」
9-70	[子位庄村窪津質趣法講書類]			1袋(2冊4通)		9-70-1~6一袋 (袋上書)「明治七甲戌十二月 子位庄村窪津質趣法講帳并書入証文写入」
9-70-1	趣法講議定帳	明治7年12月31日	半・豎	1冊	講主子位庄村窪津質・金預り元請難波景二・同高尾仙作・引請世話方野上階庵→(宛名なし)	
9-70-2	窪津質趣法講書入証文写	明治7年12月31日	半・豎	1冊	講主子位庄村窪津質・証人同郷窪津大紀→御加入方総御連衆中	
9-70-3	記(趣法講元掛金請取)	明治8年1月4日	横切紙	1通	子位庄村窪津質→大和秀太郎	
9-70-4	[人別金書付]	年月日未詳	横継紙	1通		
9-70-5	寅年(前取金及講主払出金差引書付)	寅年	横継紙	1通		
9-70-6	[人別金書付]	明治9年	横折紙	1通		
9-71	[頼母志講帳]			1袋(1冊2通)		9-71-1~3一袋 (袋上書)「文久元酉年 頼母志講帳入 講主西阿知村滝右衛門」
9-71-1	文久元辛酉年 頼母志講帳 講主滝右衛門	文久元年7月	半・豎	1冊	講主西阿知村滝右衛門・世話人上成瀬介→(宛名なし)	
9-71-2	百落札(落札銀書付)	年月日未詳	横継紙	1通		
9-71-3	寛(大橋良介呑口分講銀書付)	戌年8月	横切紙	1通		
9-72	[石坂篤太講帳類]			1袋(1冊6通1括り)		9-72-1~8一袋 (袋上書)「弘化五戊申年二月 石坂篤太講帳写し入 但地蔵院より従々頼二付加入いたし候」袋破損のためSILティッシュで包む
9-72-1	弘化五戊申年二月 石坂篤太頼母子講帳	弘化5年2月	半・豎	1冊	講主石坂篤太・引受親類田中安左衛門→広江屋丈平・大橋平右衛門・中島屋久右衛門外7名	

9-72-2	覚(落札金広江屋の分請取)	寅年12月14日	横切紙	1通	大阪屋源介→東中島屋	
9-72-3	覚(石坂氏頼母子講掛銀受取)	寅年12月	横切紙	1通	広江屋丈平→中島屋亀次郎	
9-72-4	[石坂講寅十二月入札及落札銀書付]	寅年12月	横継紙	1通		
9-72-5	[石坂講銀受取証類]	嘉永元年11月17日 ~(嘉永6)年12月5日	横継紙	1通(8枚)	地藏院→大橋金平 等	
9-72-6	覚(石坂健蔵入札之控)	丑年11月5日	横切紙	1通	亀次郎→(宛名なし)	
9-72-7	[講銀書付]			1括り(3通)		9-72-7-1~3紐で一括り
9-72-7-1	[広江屋外銀書付]	年月日未詳	横切紙	1通		
9-72-7-2	[講落札銀書付]	子年11月15日	横切紙	1通	落札主真木→(宛名なし)	
9-72-7-3	覚(講落札銀書付)	丑年11月	横継紙	1通	板屋・橋本や→中しま屋 講主石坂篤太・引受親頼田中安左衛門→広江屋丈平・大橋平 右衛門・中島屋久右衛門外7名	
9-72-8	頼母子講引受証文	弘化5年1月	横継紙	1通		
9-73	[天城講帳類]			1括り(2袋)		9-73-1~2紐で一括り
9-73-1	[天城講帳類]			1袋(1冊1括り)		9-73-1-1~2一袋(袋上書)「弘化三丙午十一月 天城様御講帳写し入 三步三厘忠之丞名前 但誉田屋彦左衛門より相頼候付同人江詫し置候処西原村多彦介右彦左衛門此方三步三厘宛都合壱口加入」
9-73-1-1	弘化三年午十月 新催合講加入連印帳(写)	弘化3年10月	半・豎	1冊	石井清兵衛・伊原弥一兵衛・高原善之丞→(宛名なし)	(奥書)永島権八郎・勝山財次郎・福家弁左衛門→(宛名なし)
9-73-1-2	[催合講出銀受取通帳及書状類]			1括り(仮1冊3括り)		9-73-1-2-1~4紐で一括り
9-73-1-2-1	催合講出銀受取通帳	弘化3年12月	美・横長	仮1冊	天城屋敷御勘定所→西原村多喜介	
9-73-1-2-2	[書状類]			1括り(8通2纏め)		9-73-1-2-2-1~10紐で一括り
9-73-1-2-2-1	[彦左衛門宛多喜介書状]	年未詳3月27日	横切紙	1通	天城講落札銀を大橋への通し依頼	(上書)「彦左衛門様 多喜介」(端裏書)「天城講未年分」
9-73-1-2-2-2	[西原村多喜介外2名宛高原善之丞外1名書状]	年未詳12月1日	横継紙	1通	催合講銀札を集め申し合せの上出札願ひ	(端裏書)「未年分」
9-73-1-2-2-3	[大橋宛彦左衛門書状]	年未詳12月3日	横継紙	1通	天城屋敷講出札につき依頼	(上書)「大橋金平様 松井彦左衛門」(端裏書)「未年分」
9-73-1-2-2-4	[松井・大橋宛多喜介用状類]			1纏め(2通)		9-73-1-2-2-4-1は9-73-1-2-2-4-2を巻き込んでいる
9-73-1-2-2-4-1	[松井・大橋宛多喜介用状]	年未詳5月1日	横切紙	1通	天城屋敷講の落札報知	(端裏書)「申年分」
9-73-1-2-2-4-2	[申年分落札銀書付]	年月日未詳	横切紙	1通		
9-73-1-2-2-5	[大橋金平宛松井彦左衛門書状]	年未詳11月28日	横継紙	1通	天城講酉落札銀の報知と振替延引の詫び	(上書)「大橋金平様 松井彦左衛門 貴酬」(端裏書)「酉年分」
9-73-1-2-2-6	[大橋金平宛松井彦左衛門書状類]			1纏め(2通)		9-73-1-2-2-6-1が9-73-1-2-2-6-2を巻き込んでいる
9-73-1-2-2-6-1	[大橋金平宛松井彦左衛門書状]	年未詳閏4月3日	横継紙	1通	天城講去申年落札銀につき報知	(上書)「大橋金平様 松井彦左衛門 貴酬書」(端裏書)「酉年分」
9-73-1-2-2-6-2	酉三番口落札(落札銀書付)	年月日未詳	横継紙	1通		
9-73-1-2-2-7	[大橋金平宛彦左衛門書状]	酉年12月20日	横継紙	1通	天城講の懸ヶ銀受渡し	(上書)「大橋金平様 松井彦左衛門 返上書新札添」(端裏書)「酉年分」
9-73-1-2-2-8	[宿懐介戌落札銀書付]	年月日未詳	横切紙	1通		
9-73-1-2-2-9	[新屋和左衛門亥年分払出銀書付]	年月日未詳	横切紙	1通		(端裏書)「くらしき大橋行分」
9-73-1-2-2-10	[大橋金平宛松井彦左衛門書状]	年未詳4月2日	横継紙	1通	天城様廻文により講日報知と入札を西原へ依頼した旨	(上書)「大橋金平様 松井彦左衛門 平安用書差上忝候」(端裏書)「子年分」
9-73-1-2-3	[書状類]			1括り(4通)		9-73-1-2-3-1~4紐で添紙と共に一括り(添紙上書)「此分大切之書状」
9-73-1-2-3-1	[六月廿八日借用銀勘定書付]	年月日未詳	横継紙	1通		
9-73-1-2-3-2	[用状]	年月日未詳	横切紙	1通	天城屋敷講を岡山屋敷野田屋町茶屋にて催行の案内	
9-73-1-2-3-3	[大橋金平宛松井彦左衛門書状]	年未詳11月10日	横切紙	1通	天城催合講加入のところで友太郎と相談取決めの件報知	(上書)「大橋金平様 松井彦左衛門 平安用不及遣可申候」
9-73-1-2-3-4	[新大橋宛まつゐ書状]	年未詳12月14日	横継紙	1通	天城催合講加入分の新札請求	(上書)「東大橋様 まつゐ」
9-73-1-2-4	[受取証類]			1括り(6通4纏め)		9-73-1-2-4-1~10紐で一括り
9-73-1-2-4-1	覚(天城講銀受取)	丑年12月5日	横切紙	1通	守屋鯉太→大橋良介	
9-73-1-2-4-2	覚(天城屋敷講前取勿銀受取)	子年12月6日	横継紙	1通	守屋鯉太→大橋良介	
9-73-1-2-4-3	覚(天城講出銀預り)	癸亥年12月7日	横継紙	1通	松井彦左衛門→大橋良介	
9-73-1-2-4-4	覚(天城屋敷講前取勿銀大橋分受取)	戌年12月11日	横継紙	1通	守屋鯉太→松井彦左衛門	
9-73-1-2-4-5	[受取証類]			1纏め(3通)		9-73-1-2-4-5-1~3一纏め
9-73-1-2-4-5-1	[大橋宛彦左衛門用状]	年未詳12月13日	横継紙	1通	別紙の通り金札受渡しのこと	(上書)「大橋様 彦左衛門」
9-73-1-2-4-5-2	覚(受取証遣し依頼)	酉年12月	横継紙	1通	守屋→松井	
9-73-1-2-4-5-3	覚(天城屋敷講金受取)	酉年12月11日	横切紙	1通	西原守屋→倉敷大橋	
9-73-1-2-4-6	[大橋良介宛松井彦左衛門書状類]			1纏め(2通)		9-73-1-2-4-6-1~2一纏め
9-73-1-2-4-6-1	[大橋良介宛松井彦左衛門書状]	年未詳12月9日	横継紙	1通	天城屋敷講金を別紙の通り受渡しのこと	(上書)「大橋良介様 松井彦左衛門 拝答書」

9-73-1-2-4-6-2	覚(天城講前取出銀受取)	戊午年12月9日	横継紙	1通	西阿知彦左衛門→大橋良介	
9-73-1-2-4-7	覚(天城講前取刳銀当年分請取)	庚申年12月9日	横継紙	1通	萱田屋彦左衛門→中島屋良介	
9-73-1-2-4-8	覚(天城講休利当年分受取)	庚申年12月11日	横切紙	1通	西阿知彦左衛門→中島屋良介	
9-73-1-2-4-9	[東大橋宛彦左衛門書状]			1纏め(2通)		9-73-1-2-4-9-1~2一纏め
9-73-1-2-4-9-1	[東大橋宛彦左衛門書状]	年未詳12月25日	横継紙	1通	天城講銀を別紙の通り受取のこと	
9-73-1-2-4-9-2	覚(天城催合講前取刳銀受取)	乙未年12月25日	横継紙	1通	西阿知彦左衛門→倉敷良介	
9-73-1-2-4-10	[東大橋宛彦左衛門書状類]			1纏め(2通)		9-73-1-2-4-10-1~2一纏め
9-73-1-2-4-10-1	[東大橋宛彦左衛門書状]	年未詳12月17日	横切紙	1通	天城講銀を別紙の通り受取のこと	(上書)「東大橋様 彦左衛門 貴下」
9-73-1-2-4-10-2	覚(天城講当年出銀受取)	丁巳年12月17日	横継紙	1通	西阿知彦左衛門→大橋良介	
9-73-2	[天城講帳類]			1袋(1冊1通)		9-73-2-1~2一袋 (袋上書)「嘉永五壬子年 天城様催合講帳入」
9-73-2-1	融通講	嘉永5年	半・豎	1冊	大庄屋岡谷友野鉄太郎外3名・(加判)寺川重郎左衛門外2名→(宛名なし)	(奥書)長尾次郎右衛門→(宛名なし)
9-73-2-2	覚(天城屋敷催合講銀受取)	年月日未詳	横継紙	1通	西原村守屋多喜介→大橋亀次郎	(端裏書)「五年分」
9-74	[大橋徳蔵宛片山曾兵衛書状]	年未詳2月17日	横継紙	1通	来訪依頼	(上書)「大橋徳蔵様 片山曾兵衛 貴下要用」
9-75	[片山氏墓碑銘書付]	年月日未詳	横継紙	1通		
9-76	[大橋徳蔵宛片山米吉書状]	年未詳5月15日	横継紙	1通	妙咩様良岱居士の供物への御礼	封筒あり(封筒上書)「大橋徳蔵様 片山米吉 館復」
9-77	[和歌書付]	年月日未詳	横継紙	1通		
9-78	覚(代銀受取)	寅年12月	横継紙	1通	児島屋和吉→北大橋 波色金巾他	
9-79	[大橋徳蔵・同長之丞宛片山義太郎書状]	年未詳10月18日	横継紙	1通	母七十の賀につき内祝進上	
9-80	覚(割合半方分の金遣し)	年未詳8月7日	横継紙	1通	嘉兵衛→東大橋	
9-81	覚(代金遣し)	年未詳10月19日	横継紙	1通	中村片山→北大橋 雲泉掛もの代他	
9-82	覚(代銀書付)	年未詳閏4月5日	横切紙	1通	はまだやお光→角中島屋御内お竹 呉服代	「大橋徳蔵」と書付の紙片が挟み込まれている
9-83	覚(代金書付)	辰年5月	横切紙	1通	問屋→東大橋 茶わん箱入代他	
9-84	[大はし伯母・おけん宛宮家りせ書状]	年未詳10月13日	横継紙	1通	当17、18日亡父一周忌の法要につき案内	
9-85	[大橋伯母・おけん宛宮けりせ書状]	年未詳5月	横折紙	1通	祝儀の籠品進上	
9-86	[封筒]	年月日未詳		1枚		(上書)「名越お定どの 大橋お寿どの 田辺祖母より 参るよふじ」
9-87	[大橋宛備前屋汶兵衛書状]	年未詳9月23日	横継紙	1通	贈品御礼他	包紙あり(包紙上書)「備中倉敷阿知町大橋源介様 貴答用書賃添 備前屋汶兵衛 九月廿三日出 ○○○」
9-88	明治五年申十月日 加地子取立帳 庄作扣 大橋	明治5年10月	半・横長	1冊		(表紙朱書)「六年酉二月七日差越ス」
9-89	[大森祖母外2名宛大橋熊書状]	年未詳1月	横折紙	1通	年始挨拶と歳暮御礼	
9-90	[大森祖母宛大橋熊・仲書状]	年未詳1月	横折紙	1通	年始挨拶と歳暮御礼	
9-91	[大森祖母外2名宛大橋いととは書状]	年月日未詳	横折紙	1通	婚礼祝への御礼	
9-92	講金請取通	明治13年12月	美・横長	仮1冊	一貫社幹事→大橋俊太郎	袋入り(袋上書)「講金請取通 大橋俊太郎殿 一貫社幹事」
9-93	[書状類]			1括り(7通2纏め)		9-93-1~9紐で一括り
9-93-1	差入申一札之事	安政3年3月	豎継紙	1通	小作人乙島万之丞・引請人鶴新田善左衛門・証人西原利七→倉敷大橋源介	包紙あり(包紙上書)「書付書通 乙島万之丞」
9-93-2	[通帳類]			1纏め(仮1冊2通)		9-93-2-1~3一纏め
9-93-2-1	午御通	安政5年	美・横長	仮1冊	西源屋源左衛門 替地畝数及銀書付	
9-93-2-2	覚(見取米算用書付)	年月日未詳	横切紙	1通	鶴役之介分	
9-93-2-3	覚(田地畝高書付)	年月日未詳	横継紙	1通		
9-93-3	[大橋良介宛甚介・文介書状]	年未詳12月14日	横継紙	1通	谷田氏講の別取と佐野氏講の過銀についてと取立入用金子の送付	包紙あり(包紙上書)「大橋良介様 国府二而文介 貴酬金子相添」
9-93-4	[東大橋宛彦左衛門書状類]			1纏め(2通)		9-93-4-1は9-93-4-2を巻き込んでいる
9-93-4-1	[東大橋宛彦左衛門書状]	年未詳12月7日	横継紙	1通	一緒に支払うので別紙の通り銀送付依頼	(上書)「東大橋様 彦左衛門」
9-93-4-2	弘化三年年取立催合講銀取立覚	巳年12月晦日	横継紙	1通	西原村多喜介→丸川源右衛門・高原善之丞	
9-93-5	覚(銀遣し)	午年6月29日	横切紙	1通	大阪屋源介→中島屋	
9-93-6	[大橋源介宛小野書状]	年未詳10月15日	横継紙	1通	天保開の荒所譲渡の一件につき手扣類請求	封筒あり(封筒上書)「大橋源介様 小野○○ 内要用書」
9-93-7	[東大橋宛文介用状]	年未詳正月11日	横切紙	1通	鴨方分の替金請求	(上書)「東大橋様 文介 拝尊」
9-93-8	組免し料	年月日未詳	横切紙	1通	盆前勤につき麻晒・酒料他書付	
9-93-9	覚(代銀書付)	年月日未詳	横継紙	1通	石工幾治郎→東大橋 薬師墓所石樋代	
9-94	[晩翠宛一治書状]	年未詳3月	横継紙	1通	作詩のこと、返書依頼	封筒あり(封筒上書)「大橋晩翠詞契 今榻」(封筒裏書)「四月十三日 馬○承蹟所 陳梅」
9-95	[大橋高之宛豪谷書状]	年未詳8月9日	横切紙	1通	古社寺保存金出願書草按の送付	封筒あり(封筒上書)「大橋高之様 簿下 条伝相添」(封筒裏書)「衣笠豪谷」
9-96	[大橋高之宛笹城書状]	年月未詳18日	横継紙	1通	揮毫と酒津焼茗碗の送付	封筒あり(封筒上書)「大橋高之様」(封筒裏書)「十八日 笹城秋専」
9-97	[大橋高之宛衣笠豪谷書状]			1包(2通)		9-97-1~2一包 封筒あり(封筒上書)「大橋高之様 貴下 衣笠豪谷」

9-97-1	[大橋高之宛衣笠豪谷書状]	年未詳5月21日	横継紙	1通	新宅へ入家と結婚についての祝詞	
9-97-2	[大橋晚翠宛衣笠豪谷書状]	年未詳8月11日	横継紙	1通	池上氏からの画帖用継等受渡し	
9-98	[道作入用控]			1纏め(2冊)		9-98-1~2重ねて二ツ折
9-98-1	本町南側貸家道作入用控	年月日未詳	美・横長	1冊		
9-98-2	物置之処道作入用控	年月日未詳	美・横長	1冊		
9-99	裏隠居之分控	年月日未詳	美・横長	1冊	大工、石工等人足書付	
9-100	[大橋高之宛衣笠豪谷書状]	(明治26)年1月3日	堅切紙	1通	年始挨拶	封筒あり(封筒上書)「大橋高之様」(封筒裏書)「癸巳一月五日 衣笠豪谷」
9-101	[倉敷分田畑畝数書付]	天保9年12月晦日	美・横長	1冊	辰正月28日喜久太へ遣す分地	
9-102	[中疇村綿及び靱取立数他書付]	年月日未詳	半・横長	仮1冊		
9-103	[姉宛くま書状]	年月日未詳	横継紙	1通	ぬいもの仕立上りのこと、きつこうきもの御礼他	
9-104	[福岡福永関連書類]			1袋(1纏め2通1舗)		9-104-1~4一袋(袋上書)「嘉永二酉年八月十七日 福岡福永書類入」
9-104-1	[廻状控]	戌年2月14日	横継紙	1通	喜左衛門→各 邑久郡福岡福永八日市の三ヶ村の内大川節築例開立の儀につき村益見込銀を村役人へ渡すこと他	
9-104-2	[大橋金平宛河野喜左衛門書状]			1包(2通)		9-104-2-1~2一包 包紙あり(包紙上書)「大橋金平様 河野喜左衛門 急内要用」
9-104-2-1	[大橋金平・同久右衛門宛喜左衛門書状]	年未詳9月8日	横継紙	1通	福岡の様子について報知	
9-104-2-2	[大橋金平宛河野喜左衛門書状]	年未詳9月8日	横継紙	1通	新札の金両替依頼	(上書)「大橋金平様 河野喜左衛門 御他見無用 極御内密用」
9-104-3	[金平・久右衛門宛喜左衛門書状]	年未詳9月1日	横継紙	1通	五人組頭と面談の件等福岡の様子について報知	包紙あり(包紙上書)「大橋金平様 川野喜左衛門 貴下要用」
9-104-4	[福岡福永絵図写]	年月日未詳	57.7 × 35.7	1舗		
9-105	[普請絵図及入用書付類]			1袋(1纏め21通1袋1包)		9-105-1~24一袋(袋上書)「表普請絵図面 裏普請絵図面 処々註文物控入」
9-105-1	[普請書類]			1袋(3枚)		9-105-1-1~3一袋(袋上書)「普請書類入」
9-105-1-1	[屋敷図面]	年月日未詳	36.0 × 28.5	1枚		
9-105-1-2	[敷地図面]	年月日未詳	28.7 × 38.0	1枚		
9-105-1-3	[屋敷切取図面]	年月日未詳	11.4 × 14.8	1枚		
9-105-2	裏建物材木	年未詳3月14日	横継紙	1通	材木数、受合人	上部に紙を継いで受取日を書付している
9-105-3	覚(代銀書付)	年未詳3月12日	横継紙	1通	酒づ六郎右衛門→井上町東中島屋 瓦代	
9-105-4	切石間数控	年未詳3月21日	横切紙	1通		
9-105-5	[代銀書付]	年月日未詳	横継紙	1通	星島代	
9-105-6	覚(裏之分材木寸法書付)	年月日未詳	横切紙	1通	新屋卯之介へ注文	
9-105-7	覚(井戸縁寸法書付)	年未詳3月11日	横切紙	1通		
9-105-8	つひをひの分(材木書付)	年月日未詳	横継紙	1通		
9-105-9	[岡山二日市孫太郎宛中島屋佐介書状控]	年未詳4月20日	横切紙	1通	瓦請取と不足数の報知	(上書)「岡山二日市孫太郎様 倉敷中島屋店佐介 請取書在中」
9-105-10	[用状類]			1纏め(2通)		9-105-10-1~2一纏め
9-105-10-1	[大橋宛瓦師孫太郎用状]	丑年3月17日	横切紙	1通	瓦受注のこと	
9-105-10-2	覚(瓦寸法書付)	年月日未詳	横切紙	1通		
9-105-11	覚ひかへ(代銀書付)	年未詳3月16日	横切紙	1通	中島屋→畳屋和十郎 新床畳代	
9-105-12	覚(瓦釘数書付)	年月日未詳	横切紙	1通	中島屋→(宛名なし)	
9-105-13	覚ひかへ(瓦数書付)	年未詳3月16日	横継紙	1通	倉敷中島屋→二日市孫太郎	
9-105-14	[建具数書付]	年月日未詳	横継紙	1通	障子、雨戸、戸	
9-105-15	覚(裏普入用控)	年未詳3月14日	横継紙	1通	材木数、受合人	
9-105-16	覚(代銀書付)	年月日未詳	横切紙	1通	障子、雨戸代	
9-105-17	覚(材木数書付)	年月日未詳	横切紙	1通		
9-105-18	覚(瓦数書付)	年未詳3月12日	横切紙	1通	佐介改メ	
9-105-19	覚(代銀書付)	年月日未詳	横切紙	1通	酒づ六郎右衛門→東大橋	
9-105-20	[瓦数書付]	年月日未詳	横継紙	1通	表ひさし、裏隠居の分	
9-105-21	覚(瓦数書付)	年未詳3月12日	横継紙	1通(2枚)	倉敷中島屋→酒津六郎右衛門	
9-105-22	[畳数書付]	年未詳3月13日	横切紙	1通	東町吉野屋→(宛名なし)	
9-105-23	向茶屋隠居之控	年未詳3月19日	横切紙	1通	えん下、天上寸法	
9-105-24	[方角書付]			1包(2通)		9-105-24-1~2一包 包紙あり(包紙上書)「方角書付入」
9-105-24-1	嘉永六癸丑歳ノ考	嘉永6年	横継紙	1通	建物造作日の吉凶について	
9-105-24-2	[大吉日書付]	年月日未詳	横継紙	1通	辰巳ノ方、戌亥ノ方の造作について	
9-106	[弘化開闢連書付類]			1袋(1冊6通2纏め1包)		9-106-1~10布袋入り
9-106-1	小作預一札之事(案文)	嘉永3年4月	堅継紙	1通	鶴新田弘化開の小作地について	
9-106-2	[畝数書付]	年月日未詳	横折紙	1通	元割、三ノ割	
9-106-3	[畝数書付]	年月日未詳		1纏め(2通)		9-106-3-1~2一纏め
9-106-3-1	[畝数書付]	年未詳9月5日	横継紙	1通	壹ノ割大道より三反西他	
9-106-3-2	[畝数書付]	年月日未詳	横継紙	1通	貳割永道より壹反六畝西下他	
9-106-4	[櫛及筭]			1包(1本1枚)		9-106-4-1~2包紙で一包
9-106-4-1	[櫛]	年月日未詳	2.5 × 8.6	1枚		木製 歯が欠けている
9-106-4-2	[筭]	年月日未詳	12.8 × 0.5	1本		木製
9-106-5	[畝数書付]	年月日未詳	横切紙	1通	五ノ割永道下他	
9-106-6	[畝数書付]	年月日未詳	横切紙	1通	六ノ割永道下他	

9-106-7	八日後源介容体	年月日未詳	横継紙	1通	八日夜丸薬服用のことや痛み、便通について	
9-106-8	[入用書付]	年月日未詳	横切紙	1通	寛政天保南所砂持摸入用他	
9-106-9	嘉永三戌年二月 弘化門築立手扣	嘉永3年2月	半・豎半	1冊		
9-106-10	[半紙]	年月日未詳		1纏め(3枚)		3枚重ねてたたんである 未記入
9-107	[断簡類]	年月日未詳		1纏め		
10-1	[新開一件関連書類]			1袋(2冊仮1冊 4括り2舗)		10-1-1~9一袋(袋上書)「亥六月ヨリ 御新開一件書類一切入 金花印」
10-1-1	[文化新開地割方諸相談日記他]			1括り(1通1包)		10-1-1-1~2紐で一括り
10-1-1-1	文化新開地割方諸相談日記			1包(7通2枚2 纏め)		10-1-1-1-1~11包紙で一包(包紙上書)「文化新開地割方諸相談日記」
10-1-1-1-1	覚(地番別銀書付)	年月日未詳	横折紙	1通	壹番貳拾九分宮之浦他十七番まで	
10-1-1-1-2	[地割図]	年月日未詳	24.8×34.5	1枚	壹から十貳まで	
10-1-1-1-3	[間数及銀書付]	年月日未詳	横折紙	1通		
10-1-1-1-4	[四月八日・同十一日出勤人書付]	年月日未詳	横切紙	1通	中島屋他4名	
10-1-1-1-5	[人名書付]	年月日未詳	横切紙	1通	壹 源介 俊蔵 小兵衛 徳次郎 政吉 以下三まで	
10-1-1-1-6	[地割図]	年月日未詳	23.0×15.5	1枚	南は沖新開、西は文化開丑年新開、北は成羽領葎地	
10-1-1-1-7	[南壹ノ割地番別銀書付]	年月日未詳	横切紙	1通	壹から十貳まで	
10-1-1-1-8	[地番別畝数書付]	年月日未詳	横切紙	1通	壹から拾貳まで及成羽領	
10-1-1-1-9	[土取場所書付]	年月日未詳	横継紙	1通		
10-1-1-1-10	[地番別間数書付]			1纏め(2通)		10-1-1-1-10-1は10-1-1-1-10-2を巻き込んでいる
10-1-1-1-10-1	[地番別間数書付]	年月日未詳	横継紙	1通	壹ノ割の壹から九まで	
10-1-1-1-10-2	[地番別間数書付]	年月日未詳	横継紙	1通	南壹ノ割の壹から九まで	
10-1-1-1-11	[地割図]			1纏め(4枚)		10-1-1-1-11-1~4まで重ねてたたんでいる
10-1-1-1-11-1	[地割図]	年月日未詳	32.5×23.5	1枚		
10-1-1-1-11-2	[地割図]	年月日未詳	32.7×23.7	1枚		
10-1-1-1-11-3	[地割図]	年月日未詳	32.5×23.7	1枚		
10-1-1-1-11-4	[地割図]	年月日未詳	32.0×23.6	1枚		
10-1-1-2	十一村水門井水通し株木ノ端堀割荒摺年数覚	年月日未詳	横継紙	1通	一. 宮之浦古水門開発元禄三年 一. 新水門山ノ端抜済口明和五年 他	
10-1-2	[書状類]			1括り(17通1包 2纏め)		10-1-2-1~20紐で一括り
10-1-2-1	[書状]			1包(6通1纏め)		10-1-2-1-1~7包紙で一包(包紙上書)「倉敷源助様 西原後吉 西阿知瀧右衛門様 戸田屋寿助 書丈在中」
10-1-2-1-1	[書状]			1纏め(2通)		10-1-2-1-1-1は10-1-2-1-1-2を巻き込んでいる
10-1-2-1-1-1	[中島屋源助宛西阿知瀧右衛門書状]	年未詳7月13日	横継紙	1通	銀と別紙を先方へ渡すよう依頼	(上書)「中島屋源助様 西阿知瀧右衛門 貴下用要」
10-1-2-1-1-2	[書状]	年月日未詳	横切紙	1通	取噺人へ代銀遣しの報知と取計いの依頼	
10-1-2-1-2	[戸田屋寿助宛中島屋源介書状]	年未詳7月12日	横継紙	1通	取込のため盆後に拝面したく、その折に銀子を渡す	(上書)「戸田屋寿助様 中島屋源介 要用」
10-1-2-1-3	[戸田屋寿助宛中島屋源助書状]	年月日未詳	横継紙	1通	取込中のため直に懸合いの依頼	(上書)「戸田屋寿助様 中島屋源介 返答」
10-1-2-1-4	[倉敷源助外2名宛戸田屋寿助書状]	年未詳7月10日	横切紙	1通	新開一件取噺入用について書出取調の別紙差上につき取計いの依頼	
10-1-2-1-5	[書状案文]	年月日未詳	横継紙	1通	直に懸合うように依頼	
10-1-2-1-6	[書状]	年未詳7月12日	横継紙	1通	取込のため盆後に拝面して銀子を渡す	
10-1-2-1-7	[倉敷源助宛戸田屋寿助書状]	年未詳7月12日	横継紙	1通	新開一件取噺入用について出銀の盆前延引は差支につき検討依頼	(上書)「中島屋源助様 戸田屋寿助 御報」
10-1-2-2	[入用銀書付]			1纏め(3通)		10-1-2-2-1~3一纏め
10-1-2-2-1	覚(入用銀書付)	年月日未詳	横継紙	1通	幸助払、いなばやへ渡す他	
10-1-2-2-2	覚(払銀書付)	年月日未詳	横切紙	1通	猶田屋払、戸田屋払	
10-1-2-2-3	覚(入用銀書付)	年月日未詳	横継紙	1通	新門、望月、夜、暁他	
10-1-2-3	[書状案文]	年月日未詳	横継紙	1通	新開請負人弥平次并弥太郎小十郎を相手どり倉敷表へ出訴の旨報知	
10-1-2-4	[源助宛後吉・瀧右衛門書状]	年未詳7月12日	横切紙	1通	母死去の御悔みと戸田屋の儀につき依頼	(上書)「源助様 後吉 瀧右衛門」
10-1-2-5	[中島屋源助宛猶田屋幸助書状]	年未詳7月18日	横切紙	1通	只今役所より召出につき私宅へ来訪願ひ	(上書)「中島屋源助様 猶田屋幸助 急用」
10-1-2-6	[議定書部分控]	年月日未詳	横折紙	1通	新開請負人西之浦弥平次→大草太郎右馬様御役所	
10-1-2-7	[書状案文]			1纏め(3通)		10-1-2-7-1~3一纏め
10-1-2-7-1	使口上手控	年月日未詳	横切紙	1通	先日の一件につき、落合わないので盆後に罷出延引を申し出ているが、上様からの罷出不用との断りを本人へ言伝するように依頼	
10-1-2-7-2	[書状案文]	年月日未詳	横継紙	1通	先日の件につき落合せず盆後罷出延引を申し出ているが、上様からの罷出不用との断りを本人へ言伝願ひ	
10-1-2-7-3	[書状案文]	年月日未詳	横切紙	1通	先日の件につき落合せず盆後罷出延引を申し出ているが、上様からの罷出不用との断りを本人へ言伝願ひ	
10-1-2-8	[預け人書付]	年月日未詳	横継紙	1通	大ぼら定七(中島屋作治郎妻弟)小作滞りにつき惣市預け 他	
10-1-2-9	[中島屋源助宛菅田屋瀧右衛門外1名書状]	年未詳4月11日	横継紙	1通	今日入来を明日に延引の旨承知	(上書)「中島屋源助様 菅田屋孫兵衛 同瀧右衛門 御報」
10-1-2-10	[中島屋源助宛油屋後吉書状]	年未詳11月26日	横継紙	1通	仰せの件承知のことと文言につき相談	(上書)「中島屋源助様 油屋後吉 ○復」

10-1-2-11	[西之浦米屋伊右衛門宛倉敷中島屋源助外2名書状]	年未詳8月10日	横継紙	1通	新開不取締につき請負人弥平次外2名を倉敷表へ出訴の旨報知	
10-1-2-12	[上成常屋俊蔵宛倉敷中島屋源助外2名書状]	年未詳8月10日	横継紙	1通	新開不取締につき請負人弥平次外2名を倉敷表へ出訴の旨報知	
10-1-2-13	[源助外2名宛寿助書状]	年未詳閏4月19日	横継紙	1通	一件取戻入用を別紙取調差出のこと	
10-1-2-14	[中島屋源助宛猶田屋幸助書状]	年未詳閏4月14日	横切紙	1通	賄入用を書き認め差出したので銀遣し依頼	(上書)「中島屋源助様 猶田屋幸助 貴下要用」
10-1-2-15	乍恐書付ヲ以奉申上候(案)	年月日未詳	横継紙	1通	三人→役所 連島西ノ浦前海面新開場の弥平次外2名を出訴の上取締議定差上の件、文化十四年新開入用割の変更について議定連印取かわしの件	
10-1-2-16	[大橋源助宛松井瀧右衛門書状]	卯年7月11日	横継紙	1通	郷宿賄代遣し 西之浦へ払入の儀を水江村大庄屋へも相談し当18日まで延引を願うため使者を送った旨報知	
10-1-2-17	[西原守屋真右衛門宛片しま柳井半十郎書状]	年未詳3月9日	横継紙	1通	新開の割賦延引の件で西之浦へ懸合の予定が取込みのため延引	(上書)「西原守屋真右衛門様 片しま柳井半十郎 貴下用答」
10-1-2-18	[人名書付]	年月日未詳	横折紙	1通	一月六日 幸 源助 俊蔵 小十郎 政吉 清治 以下七日式、八日三まで	
10-1-2-19	[銀書付]	年月日未詳	横切紙	1通	戸田屋寿助分	
10-1-2-20	[大橋源助宛守屋後吉書状]	年未詳3月27日	横継紙	1通	新開の地割につき西之浦への取なし願ひ	
10-1-3	[書状類]			1括り(17通1纏め)		10-1-3-1~18紐で一括り
10-1-3-1	[俊蔵外5名宛源介外2名用状案文]	年月日未詳	横切紙	1通	惣代片島徳次・中島民之丞兩人、明10日西阿知菅田屋より発足予定報知	
10-1-3-2	[淀屋清介口演]	年未詳8月18日	横切紙	1通	惣代が明10日朝5つ時にくるので4つ時に出張するように依頼	
10-1-3-3	[追書案文]	年月日未詳	横継紙	1通	開発場所用水手の検討依頼	
10-1-3-4	[書状案文]	年月日未詳	横折紙	1通	11ヶ村よりの新開故障や悪水の申し出は節違ひにつき、支配所の酒津中島片島3ヶ村を召出し取計いをするよう御願ひ	
10-1-3-5	[用状案文]	年月日未詳	横切紙	1通	西阿知村へ集会で伺う際に用水の件で相談がある旨	
10-1-3-6	[中島屋源助宛西中高左衛門書状]	年未詳7月6日	横切紙	1通	差上げた願書扣一冊を中島伝太郎が取りに来たので扣を使い	(上書)「中島屋源助様 西中高左衛門 淀屋より急用」
10-1-3-7	[代銀書付他]			1纏め(2通)		10-1-3-7-1は10-1-3-7-2を巻き込んで
10-1-3-7-1	覚(願書調及写代銀書付)	亥年7月	横継紙	1通	西中高左衛門→源助・民之丞・徳次・後吉 役所より亀島新田西之浦返答書他	
10-1-3-7-2	覚(鶴新田書類認代銀受取)	亥年7月11日	横継紙	1通	西中高左衛門→中島屋源助	
10-1-3-8	[中島屋源助宛西中高左衛門書状]	年未詳7月9日	横継紙	1通	筆工料の催促	(上書)「中島屋源助様 西中高左衛門 従戸田屋 要用」
10-1-3-9	[中島屋源助外2名宛恒屋俊蔵書状]	年未詳6月25日	横継紙	1通	見舞かたわら下代の者を送る旨	
10-1-3-10	[中島屋源介宛中島村伝太郎書状]	年未詳7月8日	横切紙	1通	高左衛門より亀島新田一件の川内11ヶ村差出願書写一札について問合せがあること他	(上書)「中島屋源介様 中島村伝太郎 用事」
10-1-3-11	[中島屋源助宛西中高左衛門口演]	年未詳7月30日	横切紙	1通	借用中の鶴新田願書扣一冊返上と銀札受渡し	(上書)「中島屋源助様 西中高左衛門 貴下」
10-1-3-12	[用状案文]	年月日未詳	横切紙	1通(2枚)	延引している西之浦出張の日限についてや新開用水入用の双方くい違ひの件について相談	
10-1-3-13	[中島屋源助宛西中高左衛門用状]	年未詳7月29日	横切紙	1通	鶴新田願書扣借用依頼	
10-1-3-14	[用状案文]	年月日未詳	横継紙	1通	11ヶ村余水海面に流捨について役所へ伺出の義につき相談他	
10-1-3-15	[大橋宛民之丞・徳次用状]	年未詳閏6月27日	横切紙	1通	西之浦より請負人使安吉が罷越し内談したいと伝えていたが兩人が直に出向く旨報知	(上書)「大橋様 淀屋兩人」
10-1-3-16	[中島民之丞外8名宛倉敷源介・西原後吉廻状]	年未詳閏6月17日	横継紙	1通	用水一件につき今日役所へ兩人罷出のことと、その相談のため明18日後吉宅にて集会の案内	包紙を本紙に貼付 (包紙上書)「廻状 自倉敷」
10-1-3-17	[新開惣代中宛上成俊蔵書状]	年未詳閏月25日	横切紙	1通	今日川内井組召出について惣方へ相談があったが、不都合のため佐太郎を差向ける	(上書)「御新開御惣代中様 上成俊蔵 貴答」
10-1-3-18	[中島屋源介宛同金平書状]	年月未詳25日	横継紙	1通	用向き済み次第帰るよう御願ひ	(上書)「中島屋源介様 同金平 用事」
10-1-4	文化七年午七月八日初メ 西ノ浦前新門一件諸用ひかへ	文化7年7月8日	半・横長	仮1冊	金平外10名宛三宅弥平次廻状(明九日新開作小屋集会の案内)他	
10-1-5	[願書類]			1括り(15通1包)		10-1-5-1~16紐で一括り
10-1-5-1	[願書数書付]	年月日未詳	横切紙	1通	天保二年替地之風聞有之歎願書通他	
10-1-5-2	[守屋後吉宛横溝和七書状]	年未詳6月10日	横継紙	1通	上成への訳定の催促について猶予がもらえないか御伺い	
10-1-5-3	書翰写し	年未詳1月29日	横継紙	1通	俊蔵・伊左衛門→後吉・源助・孫兵衛 新開一件の詫びと生鯛・酒進上	
10-1-5-4	[銀主中宛弥平次廻状]	年未詳12月4日	横切紙	1通	新開場の内領分開発地を届出のところ、明日改めがある旨報知	
10-1-5-5	[源助・七郎兵衛宛政吉書状]	年未詳12月26日	横継紙	1通	急用で会に不参加のため新開割賦の割合私分を引受取置するよう依頼	(上書)「源助様 七郎兵衛様 政吉」
10-1-5-6	乍恐以書付御訴訟奉申上候(写)	文政2年正月	横継紙	1通	中島村百姓幸七→奉行所 綿積商売をやめたため、連島村西ノ浦百姓藤右衛門等を相手どり滞りの借銀返済を求める	
10-1-5-7	一札之事(案文)	年月日未詳	縦切紙	1通	新開銀主歩方たれ→新開請負人弥平 西之浦前新開場の沖新開破損所について恒屋俊蔵より私への譲り受証文通り、此後は請負人并惣銀主歩方中へ相談して諸事を取計うこと	



10-1-5-8	差入申一札之事(案文)	年月日未詳	縦紙	1通	三人→新開請負人西之浦弥平次 新開地の内破損所を上成恒屋俊蔵からの譲請証文通り、此後は勝手にせず諸事取計うこと	(端裏書)「是ハ過日最初認メ受候得共差戻し候時之文ニ御座候鳥渡入御覽置候迄ニ御座候御覽後火中にて」
10-1-5-9	[書状案文]			1包(2通)		10-1-5-9-1~2包紙で一包(包紙上書)「後吉様 源助様 瀧右衛門 弥平治 案文入」
10-1-5-9-1	差入申一札之事(案文)	年月日未詳	横継紙	1通	新開銀主歩方誰→新開請負人弥平治 西之浦新開の内破損所沖新開について上成恒屋俊蔵より私への譲請証文の通り、請負人并歩方に相談し諸事取計うこと	付紙2枚を挟んでいる
10-1-5-9-2	差入申一札之事(案文)	年月日未詳	縦紙	1通	西原村後吉・倉敷村源助・西阿知村孫兵衛→新開請負人西之浦弥平次 破損所沖新開を上成恒屋俊蔵よりの譲請の証文通り諸事取計うこと	
10-1-5-10	乍恐以書付奉窺上候(控)	年月日未詳	横継紙	1通	連島西之浦前海新開の内破損所沖新開について請負人弥平治へ歩方上成恒屋俊蔵が譲地した件で、歩方内の譲り合いの折り合いがつかず証文奥印ができないため相談	
10-1-5-11	覚(差引過銀遺し)	文政2年12月26日	横継紙	1通	西之浦弥平次→倉敷源介 寅年諸入用割賦出銀他	
10-1-5-12	[守屋後吉宛横溝和七書状]	年未詳6月9日	横継紙	1通	弥平次が恒屋との掛合のため猶予を望んでいること等報知	(上書)「守屋後吉様 横溝和七 御用事」
10-1-5-13	[源助外2名宛伊左衛門書状]	年未詳5月8日	横切紙	1通	恒屋書状と新開請負人案文の受渡し	(上書)「御三君様 伊左衛門 内々要用方」
10-1-5-14	乍恐以書付奉窺上候	文政3年6月	縦継紙	1通	新開銀主歩方西原村後吉→大草太郎右馬・役所 連島西之浦前海新開場所の請負人弥平次へ歩方上成恒屋俊蔵が譲地した件で、歩方内の譲り合いの折り合いがつかず証文奥印ができないため相談	
10-1-5-15	[伊左衛門宛源介外2名書状控]	年未詳5月12日	横継紙	1通	小野氏より譲り受けの沖新開証文を請負へ差出すために依頼していた案紙受取と小野氏へのとりなし願ひ	(上書)「三宅伊左衛門様 守屋後吉 控へ」
10-1-5-16	[源助外2名宛伊左衛門書状]	年未詳5月13日	横継紙	1通	先日の案文について請負人と小野氏の案文認め子細	包紙あり
10-1-6	文化十四年丑十月三日開札 当国浅口郡連島西浦新開堤普請入札写并諸入用割符銀高歩方銘々持株控 其外出入中懸引諸事控	文政2年9月5日	美・横長	1冊		
10-1-7	弥平次御請負申上候御新開場凡見取略図	年月日未詳	69.0×82.0	1舗		(端裏書)「書損絵図」
10-1-8	御新開堤普請諸入用銀高控	文政元年12月	美・横長	1冊	倉敷中島屋源介→(宛名なし) 中は文化十四丑十月三日連島西之浦御新開凡拾町歩築立分堤普請入札写	
10-1-9	[西之浦新開場見取略図]	年月日未詳	68.5×81.3	1舗		(端裏書)「書損絵図」
10-2	[新開用水一件関連書類]			1括り(6冊3括り)		10-2-1~9紐で一括り 紐の破損部をSILティッシュで包む
10-2-1	[書状類]			1括り(12通1包)		10-2-1-1~13紐で一括り
10-2-1-1	[大橋源介宛後吉・徳治・民之丞用状]	年月日未詳	横継紙	1通	鶴新田用水不足一件の窺書案文とその添削依頼	
10-2-1-2	[彦左衛門外5名宛西原後吉廻状]	年未詳9月24日	横切紙	1通	歎願書について昨日源介が添削したので熟覧の上調印依頼 出府の件で急ぎ発足するように沙汰があり、相談のため源介宅へ集案案内	本紙に包紙貼付(包紙上書)「各様 西原後吉 要用書」
10-2-1-3	[後吉外6名宛源介廻状]	年未詳10月23日	横継紙	1通		本紙に包紙貼付(包紙上書)「各々様 源介 急用事」
10-2-1-4	[片島弥太郎外5名宛西原後吉廻状]	年未詳9月1日	横継紙	1通	指しむけた書付2通を熟覧の上調印依頼	包紙あり(包紙上書)「各様 西原後吉」
10-2-1-5	[大橋源介宛西原徳二書状]	年未詳10月25日	横継紙	1通	弥太郎より依頼の取替金を3包にし送付 他2包は西阿知と中島へ回すこと	(上書)「倉敷大橋源介様 片 中原徳二 金子添大急用」
10-2-1-6	[大橋源助宛小野小十郎書状]	年未詳9月10日	横切紙	1通	彼地案内のため明日来訪できるか都合伺い	封筒あり(封筒上書)「大橋源助様 小野小十郎」
10-2-1-7	[書状]			1包(2通)		10-2-1-7-1~2包紙で一包(包紙上書)「大橋源介様 西阿知松井彦左衛門 尊下要用書 御返事及不申候」
10-2-1-7-1	[大橋宛松井彦左衛門書状]	年未詳12月22日	横継紙	1通	返金2朱の代わり送付遅引の詫び 一件の安否不明の旨を片島を始め上成へ申し置いたこと	(上書)「大橋大人様 松井彦左衛門様 貴下拝文」
10-2-1-7-2	[大橋宛松井書状]	年未詳12月13日	横継紙	1通	菊太郎出立時に渡した金10両の内、悪金2朱の交換と遅引の詫び	
10-2-1-8	[大橋源助宛小野小十郎書状]	年未詳11月29日	横継紙	1通	出府中の菊太郎の状況伺い他	包紙あり(包紙上書)「大橋源助様 小野小十郎 貴下」
10-2-1-9	[大橋源介宛三島民之丞書状]	年未詳12月16日	横切紙	1通	関東へ書状認めにつき内覧依頼	(上書)「大橋御氏様 三島様」 包紙あり(包紙上書)「大橋源介様 三島民之丞 貴下」
10-2-1-10	[大橋源助宛為助書状]	年未詳9月29日	横継紙	1通	鶴新田書類取調の件で、弥平次との今晚西之浦での相談について都合伺い	(上書)「大橋源助様 為助 貴下急用」
10-2-1-11	[人名書付]	年月日未詳	横切紙	1通	勘定山田寿之助外5名	
10-2-1-12	[大橋源助宛淀屋為助書状]	年未詳9月23日	横継紙	1通	勘定様浅口郡廻村についての問合せに対し、当月25、6日頃の都合がよい旨	(上書)「大橋源助様 淀屋為助 貴下要用 差急キ斗出御受申候」
10-2-1-13	[大橋源助宛中原弥太郎書状]	年未詳9月10日	横継紙	1通	役所指上の書類調印等について報知	封筒あり(封筒上書)「大橋源助様 中原弥太郎 内用書」
10-2-2	[書状類]			1括り(4通)		10-2-2-1~4紐で一括り
10-2-2-1	[中島屋源助宛牧貞八書状]	年未詳9月16日	横切紙	1通	門樋が明日中には付かないので岡山方への出立延引願ひ	包紙あり(包紙上書)「倉敷中島屋源助様 牧貞介 急用事 四度目書状」
10-2-2-2	[油屋後吉宛牧貞介口上]	年未詳9月13日	横継紙	1通	相談のため明日倉敷淀屋清助方へ出立願ひ 門樋先々仕舞の件で江戸行延引	(上書)「油屋後吉様 牧貞介 用事」(端裏書)「三度目書状」
10-2-2-3	[誉田屋孫兵衛・油屋後吉宛牧貞介口上]	年未詳9月12日	横切紙	1通	西ノ浦三ヶ村へ掛合中で出勤できないため、脇宿滞留中の惣代で二、三日待つように依頼	(端裏書)「初ノ手紙ハ西阿知ニ御座候 是ハ式度目ニ御座候」
10-2-2-4	乍恐以書付奉申上候(控)	亥年9月	横切紙	1通	中島村民之丞・片島村徳治→倉敷御役所 鶴新田用水一件で江戸へ出立につき用状添触の依頼	(端裏書)「亥九月八日御添触頼書付控」

10-2-3	[書状類]			1括り(25通)		10-2-3-1~25紐で一括り
10-2-3-1	[議定案文]	年月日未詳	横継紙	1通	亀島新田用水の新井路堀上げについて	継目外れ
10-2-3-2	[中島屋源助宛よどや清助書状]	年月未詳9日	横継紙	1通	お尋ねの片島中島の両人は私宅から帰り、不明のこと	(上書)「中島屋源助様 よどや清助 貴下用答」
10-2-3-3	[片島村重内外5名宛倉敷源介外2名廻状]	年未詳9月9日	横継紙	1通	新開一件の惣代片島村徳治、中島村民之丞が用状添蝕を頂戴し出立の旨報知	本紙に包紙貼付(包紙上書)「廻状 倉敷村より」
10-2-3-4	[大橋源助宛守屋中岳用状]	年月未詳10日	横継紙	1通	残りの絵図遣し	(上書)「大橋源助様 守屋中岳 貴酬」
10-2-3-5	[議定案文]	年月日未詳	横継紙	1通	亀島新田用水の新井路堀上げについて	
10-2-3-6	[大橋源介宛三宅弥平次書状]	年未詳8月28日	横継紙	1通	今日一同淀屋へ来訪の件承知とその内自ら参上すること	(上書)「大橋源介様 淀屋二而 三宅弥平次 貴下用」
10-2-3-7	[中島屋源介宛組合惣代伝太郎書状]	年未詳9月21日	横継紙	1通	一件済口につき係付入用を今日片付け引取りたいため金借用依頼	(上書)「中島屋源助様 組合惣代伝太郎」
10-2-3-8	[大橋源助宛守屋後吉外1名書状]	年未詳9月1日	横継紙	1通	只今より淀屋へ来訪依頼	(上書)「大橋源助様 淀屋より守屋後吉 松井瀧右衛門 為至御用」
10-2-3-9	[源介宛後吉・孫兵衛書状]	年未詳9月12日	横継紙	1通	牧氏へ口上にて返答の子細	(上書)「源介様 後吉 孫兵衛」
10-2-3-10	[源介宛徳治・民之丞書状]	年未詳9月13日	横継紙	1通	滞宿先より近況報告	(上書)「大橋源助様 徳治 民之丞 御返事」
10-2-3-11	[大橋宛中原・三島書状]	年未詳9月14日	横継紙	1通	牧氏より井組懸引について延引の報があり迷惑につき直接掛合の依頼	
10-2-3-12	[大橋源介宛松井孫兵衛書状]	年未詳9月14日	横継紙	1通	11ヶ村役人衆中とのやりとり子細と岡山行を日延べし私宅へ来訪依頼	(上書)「大橋源介様 松井孫兵衛 貴下要用書」
10-2-3-13	[大橋源介宛松井孫兵衛書状]	年未詳9月14日	横継紙	1通	岡山滞留の件で西原と相談依頼	(上書)「大橋源介様 松井孫兵衛 復上書」
10-2-3-14	[大橋源助宛中原徳治外1名書状]	年未詳9月21日	横切紙	1通	滞留先にて井組儀定取替による和融等の風聞で不安のため、近況返答催促	包紙あり(包紙上書)「倉敷阿知町中島屋大橋源助様 中原徳治 三島民之丞 大急要用 九月廿一日 岡山西中島旅宿より」
10-2-3-15	[大橋宛中原書状]	年未詳8月17日	横継紙	1通	西原後吉出勤につき、掛合のため来訪依頼	(上書)「中新大橋様 淀屋より中原 尊下」
10-2-3-16	[大橋宛新開惣代書状]	年月未詳16日	横継紙	1通	惣代今朝出会につき弥平二依頼の絵図面書類持参で来訪願	(上書)「中 大橋大人様 新開惣代 尊下」
10-2-3-17	[大橋源介宛民之丞用状]	年月未詳11日	横継紙	1通	写取の件で菊太へ来訪依頼の旨報知	(上書)「大橋源介様 淀屋にて 民之丞 要用」
10-2-3-18	[大橋源介宛三島政吉書状]	年未詳9月29日	横切紙	1通	常例神事の案内	(上書)「倉敷大橋源介様 三島政吉 貴下」
10-2-3-19	[大橋源助宛淀屋清助書状]	年未詳10月1日	横継紙	1通	借入金子を貴家引受の新開入用として差引くように依頼	(上書)「大橋源助様 淀屋清助 貴下内用」
10-2-3-20	[大橋宛彦介用状]	年未詳9月22日	縦紙	1通(2枚)	中原外1名今日帰村予定のところ、今夕滞留の報知	包紙あり(包紙上書)「大橋様 岡山屋彦介 貴下」
10-2-3-21	[中島屋源助宛牧貞介用状]	年月未詳22日	横継紙	1通	今朝淀屋に吉人の滞留もなかったため、外連中に出会を触れるように依頼	(上書)「中島屋源助様 牧貞介 再用事」
10-2-3-22	[源介宛牧貞介用状]	年月未詳21日	横切紙	1通	役所へ願書を差し上げたいので出向くように依頼	(上書)「源助様 牧貞介 急用」
10-2-3-23	[大橋源助宛三島民之丞用状]	年未詳9月3日	横切紙	1通	先方が書類返却を求めているので使いに渡すように依頼他	(上書)「くらしき大橋源助様 三島民之丞 急要用」
10-2-3-24	[証文案文]	年月日未詳	横継紙	1通	亀島新田用水の井路堀抜について	
10-2-3-25	[大橋源介宛中徳・三民書状]	年未詳9月15日	横継紙	1通	更なる延引がないように牧氏へ説得願	(端裏書)「九月十五日岡山両所書状」
10-2-4	[願書類]			1括り(1舗9通)		10-2-4-1~10紐で一括り
10-2-4-1	連島西之浦地内字蕪崎新田内并串之山東之方迄新規用悪水路掘割地引絵図	安永9年4月	42.2×265.0	1舗	山崎主税助知行所備中国浅口郡連島西之浦地主惣代百姓権三郎・年寄藤蔵・庄屋弥平次→佐藤源蔵	(上書)「用悪水井路敷田畑地引絵図」
10-2-4-2	新開用水一件約定之事(控)	文政10年	縦継紙	1通	倉敷源介外10名→(宛名なし) 用水入用は所持反別に応じ出銀のこと他	徳二等の江戸出願に際する連中議定の控であることが裏書されている
10-2-4-3	乍恐心書付奉申上候(案文)	年月日未詳	縦紙	1通	鶴新田用水引取について	
10-2-4-4	指上申書付之事	安永9年4月	縦継紙	1通	山崎主税助知行所備中国浅口郡西之浦百姓惣代伊左衛門・年寄藤蔵・庄屋弥平次・右同知行同国同郡亀島新田百姓惣代治兵衛・年寄理左衛門・同与六→中井清大夫様手代佐藤源蔵 西之浦前海辺の汐除堤并用悪水路附方等見届けのこと	
10-2-4-5	乍恐以書付奉伺上候	文政10年6月	縦継紙	1通	新開銀主惣代後吉・徳次郎・俊蔵→大草太郎右馬・役所 連島鶴新田用水不足のため、西之浦地内蕪崎から串山東のメ切樋へ新井路堀抜の許可願	(奥書)請負人鶴新田庄屋弥平治→大草太郎右馬・役所
10-2-4-6	為取替申内済証文之事(控)	寛政3年5月	縦継紙	1通	亀島新田用水不足につき窪屋浅口両郡11ヶ村悪水落川末への枝川付争論について内済	(端裏書)「寛政三亥年亀島新田新井路関訴一件済口証文写 亥八月控置」
10-2-4-7	為取替申内済証文之事(写)	寛政3年5月	縦継紙	1通	亀島新田用水不足につき窪屋浅口両郡11ヶ村悪水落川末への枝川付争論について内済	(端裏書)「寛政三亥年川内拾ヶ村悪水亀島へ分水致候節済口証文写」
10-2-4-8	差上申書付之事(写)	安永9年4月	縦継紙	1通	山崎主税助知行所備中国浅口郡西之浦百姓惣代伊左衛門・年寄藤蔵・庄屋弥平次・右同知行同国同郡亀島百姓惣代治兵衛・年寄理右衛門・同与六→中井清大夫様手代佐藤源蔵 西之浦前海辺の汐除堤并用悪水付方等の見届け	(端裏書)「安永九子年鶴新田用水無之旨西之浦亀島より当御役所へ差出し有之書付写」
10-2-4-9	乍恐以書付奉申上候(写)	文政10年6月	縦継紙	1通	新開銀主歩方惣代西原村後吉→右役所 連島鶴新田用水不足のため、西之浦地内蕪崎から串山東のメ切樋へ新井路堀抜の許可願	(奥書)新開請負人鶴新田庄屋弥平次→(宛名なし)
10-2-4-10	乍恐以書附奉願上候	文政10年6月	縦継紙	1通	新開銀主歩方惣代西原村後吉・同倉敷村源助→大倉太郎右馬 連島鶴新田用水不足のため、西之浦地内蕪崎からメ切樋口へ新井路堀抜の許可願	(奥書)新開請負人鶴新田庄屋弥平次→(宛名なし) (端裏朱書)「壹」(端裏書)「亥六月廿五日差出 同廿七場所御見分 橋本様逸見様 御出役」
10-2-5	文政十亥年八月十日より 御新開一件日記其外雑記	文政10年8月10日 ~11月26日	美・横半折	1冊		
10-2-6	乍恐以書付奉御訴訟候(案文)	年月日未詳	半・縦	1冊	鶴新田新開議定違変用水差障出入	墨書で反故にしている
10-2-7	乍恐以書付奉出訴候(案文)	年月日未詳	半・縦	1冊	新開用水無謂故障出入	

10-2-8	閏六月十七日御役所より御下ヶ被下拝見仕候写 亀島新田返答書写	文政10年閏6月	美・豎	1冊	亀島新田取立役勝蔵・同与六→役所	
10-2-9	目安願書(案文)	年月日未詳	半・豎	1冊	鶴新田用水不足につき落廢悪水の用水引取願	墨書で反故にしている
10-3	濟口為取替証書之事(案文)	明治6年9月2日	豎繼紙	1通	鶴新田嘉永開の大橋久右衛門持地が長尾村小野善太郎へ流地となり、地所堤築立入用滞について内済	
10-4	[願書案文]			1纏め(1冊3通)		10-4-1に10-4-2~4が挟まれている
10-4-1	[開発人一同申上書案文]	年月日未詳	美・豎	1冊	役義の永続について	
10-4-2	目録	年月日未詳	横折紙	1通	新開場を御公料所倉敷へ渡すこと他	
10-4-3	[開発人申上書案文]	年月日未詳	豎紙	1通	鶴新田新開について天保年中西之浦矢柄両村の新田と代地となり、諸事公料の振合について	後欠
10-4-4	乍恐以上書奉願上候	年月日未詳	豎紙	1通	他の入用もあるため昨辰年大割入用大造について、これまで通りにするように歎願	
10-5	[西ノ浦前新開一件諸用留他]			1袋(1纏め1通)		10-5-1~2一袋
10-5-1	[西ノ浦前新開一件諸用留他]			1纏め(1冊1通)		10-5-1-1に10-5-1-2が挟まれている
10-5-1-1	文化九申七月 西ノ浦前新開一件諸用留	文化9年7月	半・豎	1冊		
10-5-1-2	[歩方株書付]	年月日未詳	横折紙	1通		小作証文の反故紙を転用
10-5-2	[鶴新田小作畝数書付]	年月日未詳	横繼紙	1通	文化開南割20番 与茂三作他	(朱筆)「大橋」
10-6	[新開関連書類]			1括り(2冊4通1袋3括り)		10-6-1~10紐2本で一括り(1本は破損)
10-6-1	[銀借用証文]			1括り(5通)		10-6-1-1~5紐で一括り
10-6-1-1	覚(銀受取借用)	天保7年7月	横切紙	1通	庄屋三宅弥平治→倉敷金平 鶴新田周平借用銀	包紙あり(包紙上書)「受取書 壹通」
10-6-1-2	銀子借用証文之事	天保7年8月	豎切紙	1通	借用主西之浦伝右衛門・証人鶴新田忠平→倉敷中島屋金平 鶴新田夫役銀	包紙あり(包紙上書)「四月十二日 銀貳百目 当十二月四取かへ西之浦伝右衛門 証人周平」
10-6-1-3	覚(銀受取借用)	天保7年4月	横切紙	1通	庄屋三宅弥平治→倉敷金平 鶴新田村辻銀	包紙あり(包紙上書)「請取書 壹通」
10-6-1-4	村辻借用証文之事	天保6年12月	豎切紙	1通	連島西ノ浦庄屋三宅弥平治→倉敷金平 村辻入用銀	包紙あり(包紙上書)「村辻借用証文 壹通」
10-6-1-5	村辻借用証文之事	天保7年7月	豎切紙	1通	鶴新田庄屋三宅弥平治→倉敷金平 鶴新田村辻入用銀	包紙あり(包紙上書)「村辻借用証文 壹通」
10-6-2	[ノ切堤水門書類及覚書]			1袋(7通3枚)		10-6-2-1~10一袋 (袋上書)「天保六年未九月より ノ切堤水門書類入 外二覚書入」
10-6-2-1	覚(材木数書付)	年未詳10月15日	横繼紙	1通	柳井又八右衛門→おきや伊平	
10-6-2-2	[石数書付]	年月未詳18日	横折紙	1通	清太郎分	
10-6-2-3	[石数書付]	年未詳9月24日	豎切紙	1通(2枚)	伏見屋割石	
10-6-2-4	[石数書付]	年未詳10月17日	横折紙	1通	伏見屋石、又右衛門石	
10-6-2-5	[石数書付]	年月日未詳	豎切紙	1通	愛介島石	
10-6-2-6	[石数書付]	年月日未詳	横折紙	1通	清太郎分	
10-6-2-7	ノ切水門材木入用覚	年未詳9月24日	横切紙	1通		
10-6-2-8	ノ切堤水門場所堀割	未年10月12日	19.0×25.2	1枚	樋敷見取図	
10-6-2-9	水門敷図	年月日未詳	23.5×34.2	1枚		
10-6-2-10	[ノ切石堤水門図]	年月日未詳	28.5×39.0	1枚	天保井路のノ切水門	
10-6-3	甲午をほえ	(天保5)年2月24日 ~12月14日	半・横切列	1冊	天保開新用水堀割について	
10-6-4	天保五年十二月 鶴新田御年貢通調印名元留	天保5年12月	美・横半折	1冊	川西→(宛名なし)	
10-6-5	鶴新田御年貢通調印名前留	卯年12月15日	横折紙	1通		
10-6-6	覚(入用銀書付)	申年12月	横繼紙	1通	水門入用他	
10-6-7	[畝数書付]	年月日未詳	横折紙	1通	北七ノ割壹番五反ノ内伊左衛門株の金平分他	
10-6-8	[畝数書付]	年月日未詳	横切紙	1通	地割毎に川欠、堀所の別を記す	後欠
10-6-9	[開発人差出書控他]			1括り(2通)		10-6-9-1~2紐で一括り
10-6-9-1	[開発人差出書控]	天保8年8月	横繼紙	1通	鶴新田の新開内訳	(端裏書)「天保八酉八月内々差出候控」
10-6-9-2	[畝高書付]	年月日未詳	横繼紙	1通	寛政開、文化開、文政開他	
10-6-10	[公畝数書付]			1括り(2通)		10-6-10-1~2帯封で一括り (帯封上書)「鶴新田公畝当ル積り書」
10-6-10-1	[公畝数書付]	年月日未詳	横切紙	1通	文化開、文政開	
10-6-10-2	[公畝数書付]	年月日未詳	横切紙	1通	文化開、文政開	
10-7	文政二卯年葭苺抜図	文政2年	23.0×32.5	1通		
10-8	[鶴新田新開関連書類]			1括り(5冊1枚1包)		10-8-1~7紐で一括り
10-8-1	申三月十三日 天保開小作畝内検控但竿用新写	申年3月13日	美・横半折	1冊		切図1枚挟み込み
10-8-2	[地割図]	年月日未詳	24.7×34.5	1枚		
10-8-3	[金平所持地畝数書付]			1包(2通)		10-8-3-1~2包紙一包 (包紙上書)「元より御私領之分 化政北割金平所持地公畝有畝書付」
10-8-3-1	金平分名寄覚(畝数書付)	年月日未詳	横折紙	1通	文化北ノ割畑他	
10-8-3-2	覚 卯年分(畝数及上納米書付)	年月日未詳	横繼紙	1通	文化私領分、文政私領分	
10-8-4	天保七丙申三月 天保新開小作畝書抜	天保7年3月	美・横半折	1冊		
10-8-5	[沖用水樋入用他覚書]	年月日未詳	半・横長	仮1冊		

10-8-6	[文化文政開小作畝書付]	年月日未詳	美・横半折	仮1冊		
10-8-7	備中浅口郡連島之内鶴新田真言宗御改帳 巳三月廿日調印	天保4年3月22日	美・豎	1冊	西之浦多間院・大庄屋三宅弥平治・庄屋後見源介→井上篤治・中島紋左衛門	
10-9	[鶴新田議定書関連書類]			1袋(1刷1通3括り1包)		10-9-1~6一袋(袋上書)「鶴新田議定」
10-9-1	[鶴新田新開議定関連書類]			1括り(5通)		19-9-1-1~5包紙に包んだ上から紐で一括り(包紙上書)「文政二年九月四日為取替之新開議定書書通 卯九月中右一件済口之節差出候書類写三通」
10-9-1-1	[新開議定書]	文政2年	豎継紙	1通	新開銀主浅口郡片島村七厘持重内・窪屋郡倉敷村吉歩持源介外11名・新開請負人浅口郡西ノ浦武厘持弥平治→(宛名なし)代官所備中窪屋郡倉敷村中島屋源介→大草太郎右馬様御役所 請負人弥平、銀主小十郎、弥平治の葭刈等の勝手について、源介外2名不得心につき、早々に地割をし、築立大造は初め銀主に命じるように歎願	(端裏書)「御新開不取締二付源介後吉孫兵衛右三人より後手締り方願立歩方中江銘々為取替候議定書書通 文政二年卯九月五日」
10-9-1-2	乍恐以書付御訴訟奉申上候	文政元年12月	豎継紙	1通	片島村重内・倉敷村源介外10名→請負人弥平次 文化14年串野山ノ切下新開築立の諸入用割賦帳へ立合小十郎への謝礼金について預け分の返銀受取	(端裏書)「寅十二月七日出」
10-9-1-3	覚(銀受取)	文政2年9月	豎継紙	1通	倉敷村源介・西原村後吉・西阿知孫兵衛→大草太郎右馬様役所 文化14年新開入用割賦の小十郎遺し金について一同返銀受取と議定連印の上取替	(端裏書)「此書之通弥平次宅二而相調双方調印二而弥平次へ出渡し写」
10-9-1-4	乍恐以書付奉申上候(控)	文政2年9月	豎継紙	1通	当御代官所窪屋郡倉敷村吉歩持源介外13名→大草太郎右馬様御役所	(端裏書)「議定為取替後相済候段訴訟方三人より口上書可差出様被仰聞二付卯九月十一日差出し書付控」
10-9-1-5	[新開議定書控]	文政2年	豎継紙	1通	窪屋郡倉敷村開発人源助13名・浅口郡上成庄屋取嚙人牧貞助→大草太郎右馬様御役所 鶴新田開発人歩方源助等8人より請負人弥平次等6人へ請書違変用水故障で出訴一件について内済	(端裏書)「文政二卯九月十日弥平次相添へ当役所へ差出ス」(奥書)新開請負人西之浦弥平次→大草太郎右馬様役所
10-9-2	差上申済口証文之事	文政10年9月	豎継紙	1通		
10-9-3	[歎願書]			1括り(5通)		10-9-3-1~5紐で一括り
10-9-3-1	乍恐以書付御歎奉申上候(写)	卯年9月8日	豎継紙	1通	倉敷村金平外7名→倉敷御役所 鶴新田のうち成羽山崎寿丸様知行西之浦地続の新開場について替地等をとり止めるように歎願	(端裏書)「卯八月廿一日倉敷御役所江差出候書付九月八日御下二相成候書付写」(奥書)鶴新田庄屋後見源介・右惣代後吉外2名→(宛名なし)
10-9-3-2	乍恐以書附御歎奉申上候	卯年9月	豎継紙	1通	古橋新左衛門御代官所備中国窪屋郡倉敷村金平・右新田庄屋後見窪屋郡倉敷村源介外7名→上 成羽山崎寿丸様地行所西之浦地続の鶴新田新開場について私領への替地不都合につき歎願	(端裏書)「御勘定山田寿之助様より御沙汰有之候趣二而写帳二致し差出可申候様当 御役所より被仰渡候二付写差出候 扣外二巻御支配様へ差出候事」
10-9-3-3	差入申一札之事	天保2年9月	豎継紙	1通	開発人倉敷村金平外7名→鶴新田庄屋後見倉敷村源介 鶴新田の山崎寿丸様へ替地につき倉敷役所への歎願不受理のため奉行所への歎願引受の依頼	
10-9-3-4	乍恐以書付御歎奉申上候(案文)	天保2年	豎継紙	1通	古橋新左衛門様代官所備中浅口郡鶴新田庄屋後見同国窪屋郡倉敷村源介煩二付代親類同村宅三→(宛名なし) 鶴新田の私領へ替地は不都合につき元請地とするように歎願	(端裏書)「願書下書控」
10-9-3-5	乍恐以書付御歎奉申上候	天保2年	豎継紙	1通	古橋新左衛門様代官所備中浅口郡鶴新田庄屋後見同国窪屋郡倉敷村源介煩二付代親類宅三→(宛名なし) 鶴新田の私領へ替地は不都合につき元請地とするように歎願	
10-9-4	[議定証文及為取替証文]			1包(3通)		10-9-4-1~3包紙で一包(包紙上書)「議定証文書通 為取替証文三通 文政七申七月十八日於弥平次宅惣方調印之上請取より」
10-9-4-1	為取替申議定証文之事	文政4年4月	豎継紙	1通	片島村庄屋弥太郎外15名・新開銀主惣代片島村重内外3名・新開請負人西之浦弥平治→銀主倉敷村源介 弥平治請負人新開場の悪水落川幅について	
10-9-4-2	為取替証文之事	文政4年11月	豎継紙	1通	銀主倉敷村源介外10名・請負人西之浦弥平治→(宛名なし) 公領新開と米屋新開の湯水時用水割について	
10-9-4-3	儀定証文之事	文政6年6月	豎継紙	1通	新開銀主倉敷村源介外10名・新開請負人西之浦弥平治→(宛名なし) 岡新開の用水割について	
10-9-5	[書状類]			1括り(仮1冊2通)		10-9-5-1~3紐で一括り
10-9-5-1	[中島屋源助宛三宅弥平治書状]	貞年3月22日	横継紙	1通	新開割賦銀受取	(包紙上書)「倉敷中島屋源助様 西之浦三宅弥平治 用答」
10-9-5-2	西之浦前御新開場出入申郷宿飯料并取嚙人方賄料甚外諸入用算用控	文政2年9月27日	美・横長	仮1冊		
10-9-5-3	[源介宛為治書状]	年未詳7月17日	横継紙	1通	破損新開堤普請について	(上書)「源介様 為治拝 貴下」包紙あり(包紙上書)「源介様 為治 貴下用答」
10-9-6	文化八年未五月十八日 御新開儀定連印証文	文化8年5月18日	美・豎	1冊	新開銀主倉敷中島屋源助外9名・新開請負人西之浦弥平治→(宛名なし)	
10-10	[鶴新田新開関連書類]			1括り(4袋)		10-10-1~4紐2本で一括り
10-10-1	[鶴新田歎願書類]			1袋(仮1冊1括り2包)		10-10-1-1~4紐で一括りし、袋入り(袋上書)「卯九月 鶴新田歎願出府参書類袋并御勘定山田寿之助様御普請役榎本定右衛門様御手附星野礼右衛門様御三所廻村之砌鶴新田岡堤におゐて差出被願書并絵図共入」

10-10-1-1	備中浅口郡西之浦村新開御普請仕様入用帳	寛政8年2月	美・横長	仮1冊	西之浦弥平次→(宛名なし)	
10-10-1-2	[伺書類]			1括り(6通1纏め)		10-10-1-2-1~7紐で一括り
10-10-1-2-1	乍恐以書付奉願申上候(案文)	年月日未詳	横継紙	1通	鶴新田開発人→倉敷御役所 鶴新田新開場大造の入用に難渋し山崎様役場へ歎願に際し添翰依頼	
10-10-1-2-2	[願書類]			1纏め(2通)		10-10-1-2-1~2一纏め
10-10-1-2-2-1	乍恐以書付御願奉申上候	辰年5月	横継紙	1通	鶴新田開発人→山崎寿丸様御役所 新開場普請が出来次第検地高入等諸事これまでの振合永続の歎願	
10-10-1-2-2-2	[願書添状]	辰年6月	横切紙	1通	鶴新田開発人庄屋役三宅弥平次・同後見源介外8名→山崎寿丸様御役所	
10-10-1-2-3	乍恐以書付御伺奉申上候(案文)	天保3年5月	縦継紙	1通	鶴新田開発人・同庄屋後見・同庄屋→山崎寿丸様御役所 新開場普請が出来次第検地高入等諸事これまでの振合永続の歎願	
10-10-1-2-4	覚(鶴新田新開場御免高書付)	年月日未詳	縦継紙	1通	開発人→山崎寿丸様御役所	
10-10-1-2-5	乍恐以書付御伺奉申上候(案文)	年月日未詳	縦継紙	1通	鶴新田開発人→山崎寿丸様御役所 新開場検地高入等諸事について、これまでの振合永続の歎願	
10-10-1-2-6	乍恐以書付御伺奉申上候	天保3年5月	縦継紙	1通	鶴新田庄屋後見倉敷村源介→倉敷御役所 後見の件について	(端裏書)「五月廿四日弥平次江面会之上願下致ス」
10-10-1-2-7	乍恐以書付御届奉申上候(案文)	辰年3月	縦継紙	1通	鶴新田庄屋弥平次・同源介→倉敷御役所 汐除堤并樋方共普請取掛りにつき届出	
10-10-1-3	[議定証書類]			1包(2通)		10-10-1-3-1~2包紙で一包(包紙上書)「卯九月十日調印請取議定証文書通」
10-10-1-3-1	差入申一札之事	天保2年9月	縦継紙	1通	開発人倉敷村金平外7人→鶴新田庄屋後見倉敷村源介 鶴新田の山崎寿丸様へ替地一件で奉行所への歎願引受の依頼	(端裏書)「開発人一同頼一札写本紙八宅三持参致ス」
10-10-1-3-2	差入申一札之事	天保2年9月	縦継紙	1通	開発人倉敷村金平外7人→鶴新田庄屋後見倉敷村源介 奉行所歎願の入用銀を一日金壹歩にとり決め	
10-10-1-4	[歎願書]			1包(4通)		10-10-1-4-1~4包紙で一包(包紙上書)「上」
10-10-1-4-1	乍恐以書付御歎奉申上候	天保2年9月	縦継紙	1通	備中国浅口郡鶴新田開発人倉敷村金平外7名・右新田庄屋後見倉敷村源介→上 鶴新田の山崎寿丸様私領渡りは不都合につき巳前請地とするよう歎願	(端裏書)「天保二卯年九月廿六日御勘定山田寿之助様御普請役榎本定右衛門様御手附星野礼右衛門様御廻村之節鶴新田御見分途中二而名前の者一同相揃差出ス尤差越候義二付御理解之上願出御下被成候其為御支配御役人より阿賀崎新田御旅宿又助宅二而御沙汰有之繼添印形致し写差上候事」
10-10-1-4-2	乍恐以書付御歎奉申上候(控)	天保2年9月	縦継紙	1通	備中国浅口郡鶴新田開発人倉敷村金平外7名・右新田庄屋後見倉敷村源介→上 鶴新田私領渡りにつき歎願	差出・宛名の部分は横継紙(端裏書)「天保二卯九月御勘定山田寿之助様へ差出候願書控」
10-10-1-4-3	乍恐以書御歎奉申上候(控)	天保2年9月	縦継紙	1通	備中国浅口郡鶴新田開発人倉敷村金平・右新田庄屋後見倉敷村源介→(宛名なし) 鶴新田私領渡りにつき歎願	(端裏書)「卯九月廿六日御勘定様へ差出候願書控」
10-10-1-4-4	[開発人申上書]	天保2年9月	縦継紙	1通	開発人惣代右金平外5名→御役人中 願書を支配へ引渡し仰せ承知につき請印形差上	
10-10-2	[議定書]			1袋(1通1包)		10-10-2-1~2一袋(袋上書)「天保五年 弁才天巻ノ口新用水川〇条 川内江相渡候議定書控書通 川西江渡候同書通 鶴新田」
10-10-2-1	議定証文之事	天保5年4月	縦継紙	1通	鶴新田庄屋西之浦三宅弥平治・同後見倉敷村源助→片島村庄屋弥太郎外14名 西大川節弁才天より串之山西手への新用水川普請について議定	包紙あり(包紙上書)「議定書 書通 午四月廿一日調印 但此控共拾四通調印」
10-10-2-2	[議定書]			1包(2通)		10-10-2-2-1~2包紙2枚で一包(外包紙上書)「議定書 書通」
10-10-2-2-1	差入申議定証文之事	天保5年	縦継紙	1通	鶴新田庄屋弥平次・後見源介・加談人彦蔵→川西村々惣代番鶴新田用水弁才天流作地内に新井路堀貫について議定	墨書で反故にしている(端裏書)「拙存寄之分 此分反古也 川西より案文好有之付拙不得心故拙差考案内差出候得共川西落合不申候二付弥平次より頼候付別別調印」
10-10-2-2-2	差入申議定之事	天保5年5月	縦継紙	1通	鶴新田弁才天原西村庄屋西之浦三宅弥平治・鶴新田庄屋後見倉敷→御料阿賀崎新田村外11ヶ村・右村々惣代守屋貞右衛門外1名 弁才天外流作地内に用水井路堀附について議定	
10-10-3	[御割付皆済目録写]			1袋(4通1纏め)		10-10-3-1~5一袋(袋上書)「文政十一子年より御割付皆済目録写入 浅口郡鶴新田 但し本紙は弥平次方二有之候」(袋裏書)「庄屋後見源介」
10-10-3-1	子御年貢皆済目録	文政12年4月	縦継紙	1通	大太郎右衛門→庄屋・年寄・惣百姓	(上書)「備中国浅口郡鶴新田」(端裏書)「丑六月六日御下ヶニ相成候本紙ハ弥平次へ渡 但し紙ハなみみつ折と相見へ申候」
10-10-3-2	巳御年貢皆済目録	文政13年4月	縦継紙	1通	古新左衛門→庄屋・年寄・百姓代	(上書)「備中国浅口郡鶴新田」
10-10-3-3	巳御年貢皆済目録	文政13年4月	縦継紙	1通	古新左衛門→庄屋・年寄・百姓代	(上書)「備中国浅口郡鶴新田」
10-10-3-4	子御年貢可納割付之事	文政11年10月	縦継紙	1通	大草太郎左衛門→庄屋・年寄・百姓代	(上書)「備中国浅口郡鶴新田」(端裏書)「丑六月六日御下ニ相成候 但し紙ハひ〇〇と相見へ候 本紙ハ弥平次へ相渡ス」
10-10-3-5	[銀書付]			1纏め(2通)		10-10-3-5-1~2一纏め
10-10-3-5-1	[銀書付]	年月日未詳	横継紙	1通	定石代、六尺給銀、伝馬宿入用他	
10-10-3-5-2	[銀書付]	年月日未詳	横切紙	1通	鶴新田二銀納、流作場年貢銀	
10-10-4	[年貢銀上納請取通]			1袋(6通)		10-10-4-1~6一袋(袋上書)「文政十三年 当寅御年貢銀上納御請取通 鶴新田」
10-10-4-1	寅御年貢銀請取通	寅年	横折紙	1通	古橋新左衛門手附宇佐美律右衛門・同人手代逸見八助→(宛名なし)	(端裏朱書)「拾六」包紙あり(包紙上書)「寅御年貢御請取通」

10-10-4-2	覚(鶴新田年貢銀差引書付)	寅年10月6日	横継紙	1通	惣代十右衛門・春次郎・淀屋為助→源助	
10-10-4-3	寅御年貢二納(銀指引書付)	寅年12月13日	横継紙	1通	為助・十右衛門・治左衛門→源介	
10-10-4-4	覚(鶴新田納銀預り証)	寅年12月15日	横切紙	1通	治左衛門・十右衛門→源介	
10-10-4-5	覚(鶴新田納銀預り証)	寅年10月5日	横切紙	1通	浅口郡惣代春次郎・十右衛門→倉敷源介	
10-10-4-6	[源介宛治左衛門外1名書状]	(寅)年12月15日	横継紙	1通	両替銀受取	(上書)「中島屋源介様 淀屋二而治左衛門 十右衛門 貴答」
10-11	[乍恐以書附奉願上候]			1括り(2通)		10-11-1~2まで帯封の上を紙縫りで一括り 帯封に「扣」の書付あり
10-11-1	乍恐以書附奉願上候	年月日未詳	縦継紙	1通	西之浦沖鶴新田の新開用水一件について	虫損につき後半は開くことができず不詳 10-11-2と同文力
10-11-2	乍恐以書附奉願上候	慶応3年2月	縦継紙	1通	鶴新田開発人小野忠兵衛他7名→成羽役所 西之浦沖鶴新田の用水相続の為樋壱ヶ所据込の取立役紋五郎役義御免願	
10-12	[鶴新田葭場開札并絵図面歩方割符書抜]			1袋(仮1冊4通1枚)		10-12-1~6一袋(袋上書)「天保七丙申十月十八日鶴新田葭場開札并絵図面歩方割符書抜入」
10-12-1	[鶴新田葭場開札書抜]	年月日未詳	美・横長	仮1冊		
10-12-2	覚(銀書付)	年月日未詳	横切紙	1通	百九勿割 菊太分	
10-12-3	[銀書付]	年月日未詳	横切紙	1通		
10-12-4	覚(銀書付)	年月日未詳	横切紙	1通	百九勿割 金平分	
10-12-5	鶴新田葭場開札書抜	年未詳10月15日	横折紙	1通		
10-12-6	[鶴新田葭場地割絵図]	年月日未詳	24.8×35.0	1枚		
10-13	[天保開新用水書類]			1袋(1冊仮2冊10通1枚5纏め2舗)		10-13-1~21紐で一括りし、袋入り(袋上書)「天保己午年 天保開新用水書類」
10-13-1	鶴新田用水目論見鹿絵図	天保5年正月	28.0×101.0	1舗		
10-13-2	新一之口用水樋絵図	年月日未詳	28.7×93.8	1舗		
10-13-3	[請普場所書付]			1纏め(2通)		10-13-3-1~2重ねて一纏め
10-13-3-1	辻普請場所(書付)	午年3月14日	横切紙	1通	佐太郎、周平へ申付の分	
10-13-3-2	小野大橋両家仲間普請(書付)	午年3月14日	横切紙	1通		
10-13-4	[新用水樋口石垣仕様書付]			1纏め(2通)		10-13-4-1~2重ねて一纏め
10-13-4-1	新用水樋口石垣仕様	年月日未詳	横継紙	1通		
10-13-4-2	新用水樋口石垣仕様	年月日未詳	横継紙	1通		
10-13-5	一札之事	文政10年8月	縦継紙	1通	倉敷源介外5名→片島村徳次・中島村民之丞 鶴新田用水についての出訴惣代の依頼	
10-13-6	辻普請所(書付)	年月日未詳	横切紙	1通	佐太郎、周平へ申付の分	
10-13-7	覚(代銀請取)	年未詳3月24日	横継紙	1通	西阿知屋新平→佐太郎・周平 材木代	
10-13-8	[源助宛伊平書状]	年未詳3月22日	横継紙	1通	樋口上手石垣築夫は愛介請合の報知他	封筒あり(封筒上書)「倉舗中島屋源助様 片島沖屋伊兵衛 参ル人々御中」(封筒裏書)「状賃相済申候 弁才天於普請場所」
10-13-9	[倉敷大橋源助宛西之浦大野八十太口上]	年未詳3月晦日	横継紙	1通	愛助より天保開悪水樋請負銀引当にて銀借用依頼につき取替願	(上書)「倉敷大橋源助様 西之浦大野八十太 玉下」
10-13-10	[天保悪水樋入用書付類]			1纏め(2通1枚)		10-13-10-1~3一纏め
10-13-10-1	[天保悪水樋入用書付]	年未詳2月29日	横切紙	1通		
10-13-10-2	[用水樋図]	年未詳2月29日	12.3×25.0	1枚		
10-13-10-3	[材木数等書付]	年未詳2月29日	横切紙	1通		
10-13-11	覚(寄合評決大谷川石垣寸法書付)	未年4月6日	横切紙	1通		
10-13-12	[大谷川節用水樋見取図]	年月日未詳	24.7×34.2	1枚		
10-13-13	[銀書付]	年月日未詳	横切紙	1通	弁才天、上成他	
10-13-14	[用水樋普請書付]	年月日未詳	横切紙	1通		
10-13-15	[石数書付]	年月日未詳	横切紙	1通	青木鈴蔵、伝吉の分	
10-13-16	覚(銀受取)	午年12月23日	横切紙	1通	鶴新田庄屋三宅弥平治→開発人金平 新用水入用愛助為替銀	包紙あり(包紙上書)「書付 愛助」
10-13-17	[未二月十三日開札用水樋仕様書付]			1纏め(3通)		10-13-17-1~3重ねて一纏め
10-13-17-1	[未二月十三日開札用水樋仕様書付]	未年2月13日	横折紙	1通		
10-13-17-2	[未二月十三日開札用水樋仕様書付]	未年2月13日	横折紙	1通		
10-13-17-3	覚(玉島道橋仕用他書付)	年月日未詳	横切紙	1通		
10-13-18	[大谷川石垣仕様書付]			1纏め(2通)		10-13-18-1~2重ねて一纏め
10-13-18-1	[四月六日評定大谷川石垣仕様書付]	年未詳4月6日	横折紙	1通		
10-13-18-2	[四月十三日評定大谷川石垣仕様書付]	年未詳4月13日	横折紙	1通		
10-13-19	[用水樋普請申定等書付]	年月日未詳	半・横長	仮1冊		
10-13-20	天保五年午五月 新一之口用水樋仕様帳 鶴新田	天保5年5月	半・縦	1冊		
10-13-21	天保五年午四月 新一ノ口用水樋仕様帳 鶴新田 此分仕様替	天保5年4月	半・縦	1冊		
10-14	[新開一件願書類]			1袋(2括り)		10-14-1~2袋入りの上から紐で一括り(袋上書)「文政元寅吉月七日出訴後明ル卯九月十一日迄 御新開一件願書類控入 但し議定書写并証文写絵図面共」

10-14-1	[新開一件願書類]			1括り(1冊6通2纏め)		10-14-1-1~9紐で一括り
10-14-1-1	乍恐以書付奉申上候	文政2年正月	縦継紙	1通	倉敷村中島屋源助外3名→大草太郎右馬様御役所 西之浦弥平治請負新開の割賦争論の和談について歎願	(端裏書)「卯正月廿五日当御上江差出ス」
10-14-1-2	乍恐以書付奉申上候(案文)	文政2年正月	縦継紙	1通(3枚)	倉敷村中島屋源介・西原村後吉・西原村孫兵衛代瀧右衛門→大草太郎右馬様御役所 西之浦弥平治請負新開の割賦争論の和談について歎願	
10-14-1-3	御新開銀主株譲り証文之事(写)	享和2年6月	縦継紙	1通	備中国浅口郡連島西之浦海面新開歩方譲り主上金屋恭蔵・銀主惣代片島村十内代弥曾治・新開請負人庄屋三宅弥平次→倉敷中島屋金平	包紙あり(包紙上書)「証文写」
10-14-1-4	乍恐以書付奉申上候(案文)	文政2年正月	縦継紙	1通	倉敷村中島屋源助外3名→大草太郎右馬様御役所 西之浦弥平治請負新開の割賦争論の和談について歎願	
10-14-1-5	乍恐以返答書ヲ以奉申上候	寅年12月	縦継紙	1通	山崎勘解由領分新開請負人西之浦弥平次・同銀主小十郎・当代官所同郡片島村同弥太郎→大草太郎右馬様御役所 倉敷村源介より訴訟一件について陳状	
10-14-1-6	申定覚	年月日未詳	縦継紙	1通	新開普請や割賦につき議定	
10-14-1-7	[願書類]			1纏め(2通)		10-14-1-7-1~2重ねて一纏め
10-14-1-7-1	乍恐書付奉申上候	文化8年閏2月	縦継紙	1通	西之浦前新開請負人大庄屋弥平次→西之浦御役場 新開場普請のうち串之山ノ切について延引の歎願	
10-14-1-7-2	[廻状]	(文化8)年閏2月5日	縦継紙	1通	新開一件の相談のため明7日集会の案内	
10-14-1-8	文化八年未五月十八日 御新開儀定連印証文写	文化8年5月18日	美・縦	1冊	新開銀主倉敷中島屋源介外10名→(宛名なし)	
10-14-1-9	[願書類]			1纏め(3通)		10-14-1-9-1が10-14-1-9-2~3を巻き込んでいる
10-14-1-9-1	乍恐以書付御願下ヶ之義奉願上候(案文)	文政2年5月	縦継紙	1通	訴訟人中島屋源介外2名・相手方弥平次外2名・取噺人宇都郡日畑村庄屋与次兵衛外2名→大草太郎右馬様御役所 西之浦海面新開について寛政8年議定再談の上議定のこと	糊附していない附紙2枚あり
10-14-1-9-2	備中国浅口郡連島西之浦前海面御新開儀定証文之事	文政2年4月	縦継紙	1通	新開請負人西之浦歩方式厘持弥平次・御新開銀主歩方倉敷村中島屋源介外12名→(宛名なし)	
10-14-1-9-3	備中国浅口郡連島西之浦前海面御新開儀定証文之事(案文)	年月日未詳	縦継紙	1通	新開請負人歩方式厘持西之浦弥平次・新開銀主歩方同巷歩持倉敷村中島屋源介外12名→(宛名なし)	
10-14-2	[新開一件願書類]			1括り(仮1冊14通2纏め)		10-14-2-1~17紐で一括り
10-14-2-1	[新開一件願書下書類]			1纏め(1冊仮1冊4通)		10-14-2-1-1は10-14-2-1-2~6を巻き込んでいる
10-14-2-1-1	乍恐以書附奉願上候	文政元年11月	縦継紙	1通	窪屋郡倉敷村中島屋源介→大草太郎右馬様御役所 新開地割差滞りと葭草押領で弥平次、小十郎、弥太郎を相手どり出訴	(端裏書)「御新開一件願書下書類通入」
10-14-2-1-2	乍恐以書付御訴訟奉申上候(案文)	年月日未詳	縦継紙	1通	新開地割差滞りと葭草押領について中島屋源介が請負人弥平次外2名を相手どり出訴	
10-14-2-1-3	文政元寅十一月差出候願書写	文政元年11月	美・縦	1冊	倉敷中島屋源介→大草太郎右馬様御役所 新開地割差滞りと葭草押領につき請負人弥平次外2名を相手どり出訴	
10-14-2-1-4	[願書案文]	年月日未詳	半・縦	仮1冊	新開地割差滞りと葭草押領につき出訴	
10-14-2-1-5	乍恐以書附奉願上候	文政元年11月	縦継紙	1通	倉敷中島屋源介→大草太郎右馬様御役所 新開地割差滞りと葭草押領につき請負人弥平次外2名を相手どり出訴	
10-14-2-1-6	乍恐奉書付御訴訟奉申上候	文政元年1月	縦継紙	1通	当代官所備中国窪屋郡倉敷村中島屋源介→大草太郎右馬様御役所 新開地割差滞りと葭草押領につき請負人弥平次外2名を相手どり出訴	(端裏書)「此願書壹月七日差出ス」
10-14-2-2	覚(代銀書付)	年月日未詳	横切紙	1通	いなはや嘉蔵→中島屋新宅 ようかん代他	
10-14-2-3	おほへ(代銀受取)	年未詳9月29日	横継紙	1通	亀儀や弥助→中島屋新宅	
10-14-2-4	覚(代銀請取)	年未詳9月29日	横切紙	1通	万屋正兵衛→新宅中島屋 白龍門1疋代	
10-14-2-5	覚(代銀受取)	卯年5月4日	横継紙	1通	猶田屋幸助→中島屋源助 西阿知西原飯代	
10-14-2-6	覚(代銀受取)	年未詳3月29日	横切紙	1通	西之浦弥平治→倉敷中島屋源助	
10-14-2-7	覚(割当出銀請取)	卯年9月27日	横切紙	1通	戸田屋寿助→中島屋源助	
10-14-2-8	[源介宛鶴政吉口上]	年月未詳24日	横切紙	1通	当26日に出向く旨報知	
10-14-2-9	覚(代銀受取)	卯年7月13日	横切紙	1通	猶田屋幸助→中島屋源助 西阿知西原飯代	
10-14-2-10	[議定証文案文]			1纏め(2通)		10-14-2-10-1が10-14-2-10-2を巻き込んでいる
10-14-2-10-1	備中国浅口郡連島西之浦前海面御新開一件請負人并惣歩方儀定証文之事(案文)	年月日未詳	横継紙	1通	歩方式厘持新開請負人西之浦弥平次・同巷歩持倉敷村中島屋源介外12名→(宛名なし)	
10-14-2-10-2	御新開地儀定証文之事(案文)	年月日未詳	横切紙	1通		
10-14-2-11	[中島屋源助宛藤右衛門口上]	年未詳閏4月7日	横切紙	1通	下書借用依頼	(上書)「中島屋源助様 会所ニて藤右衛門」
10-14-2-12	[議定証文案文]	年月日未詳	横切紙	1通		
10-14-2-13	[議定証文案文]	年月日未詳	横切紙	1通		
10-14-2-14	乍恐儀定書奉差上候(案文)	年月日未詳	横継紙	1通		
10-14-2-15	[議定証文案文]	年月日未詳	横切紙	1通		
10-14-2-16	御新開一件詫証文之事(案文)	年月日未詳	横切紙	1通	入用割賦と葭草割合押領について訴訟一件の詫状	(端裏書)「此通不節之案紙出し候付差返し頓着不致候」
10-14-2-17	乍恐以書付御願下ヶ之義奉願上候(案文)	年月日未詳	美・横長	仮1冊		
10-15	[鶴新田村用書類留他]			1括り(5冊)		10-15-1~5紐で一括り

10-15-1	文政十一戊子正月吉日 鶴新田村用日記 後見庄屋源介	文政11年正月3日 ～丑年10月21日	美・横長	1冊		
10-15-2	文政十二巳丑正月吉日 御用村用書類留 鶴新田	文政11年12月～12 年12月	美・横長	1冊	田地質入銀子借用証文他	(裏表紙上書)「庄屋後見源介」
10-15-3	文政十三庚寅正月吉日ヨリ天保二辛卯十二月迄 公用録 鶴新田	文政13年正月5日 ～天保2年10月	美・横長	1冊	田地質入銀子借用証文他	(裏表紙上書)「庄屋後見」
10-15-4	天保二年卯八月 畑本免小前帳 江戸より御勘定様山田寿之助様御越二付倉敷御役所へ差上候扣 備中浅口郡鶴新田	天保2年8月	半・横長	1冊	鶴新田庄屋後見源助・庄屋弥平治→倉敷御役所	
10-15-5	文政十丁亥年十一月十三日より 諸願留 鶴新田後見庄屋源介	文政10年11月13日 ～12月	半・縦	1冊	田地質入銀子借用証文他	
10-16	[鶴新田関連書類]			1括り(2袋2冊4 包1通5括り)		10-16-1～14紐2本で一括り
10-16-1	[宗門送手形他下書]			1袋(4通)		10-16-1-1～4一袋(袋上書)「宗門送手形下書一通 寺請状下書一通 村役人より差出候願書下書壱通 村役人手前へ可取置一札下書壱通」(袋裏書)「文政十三庚寅二月下旬 鶴新田分 大橋稿」
10-16-1-1	送り手形之事(案文)	年月日未詳	縦継紙	1通	西之浦村役人→鶴新田庄屋西之浦弥平次・同後見倉敷村源介西之浦宅次兄周平について	(端裏書)「送り手形」
10-16-1-2	宗門請状之事(案文)	年月日未詳	縦継紙	1通	西之浦何作→鶴新田庄屋弥平次・同後見源介 西之浦宅次兄周平について	(端裏書)「寺請状」
10-16-1-3	乍恐以書付奉願上候(案文)	年月日未詳	縦継紙	1通	浅口郡鶴新田庄屋弥平次・後見源介→倉敷御役所 西之浦宅次兄周平の出稼について	(端裏書)「村役人より御願可申積願書下書」
10-16-1-4	差入申一札之事(案文)	年月日未詳	縦継紙	1通	鶴新田周平・親類西之浦たれ→鶴新田庄屋弥平次・後見源介周平出稼について	(端裏書)「村役人手前江取置可申積一札下書」
10-16-2	をほえ(入用銀書付)	年月日未詳	半・縦半	1冊		
10-16-3	持簿	天保2年正月19日 ～9月15日	美・縦半	1冊		
10-16-4	[鶴新田辻立替書付并割賦書類]			1袋(9通1枚1 纏め)		10-16-4-1～11紐で一括りし、袋入り(袋上書)「天保二卯年 鶴新田辻立替書付入并割賦書類入」
10-16-4-1	覚(銀受取)	天保2年4月	横切紙	1通	弥平治→西原後吉 化政見分入用当銀割出銀分	包紙あり(包紙上書)「請取書 一通」
10-16-4-2	覚(代銀書付)	卯年3月	横継紙	1通	ならや万吉→中島屋新宅 こち、たい代他	
10-16-4-3	覚(銀書付)	天保2年4月	横継紙	1通	弥平治→金平 化政見分入用当銀割出銀分	包紙あり(包紙上書)「請取書 壱通」
10-16-4-4	[封筒]	年月日未詳		1枚		(上書)「大橋源介様 三宅弥平治 貴下用書」
10-16-4-5	覚(差引過銀遣し)	卯年4月29日	横継紙	1通	弥平治→源介	
10-16-4-6	[大橋源介宛淀屋二而三宅弥平治書状]	年未詳2月10日	横継紙	1通	これより早島へ出かけ、委細は初寄会で話すため寄会へ出張依頼	(上書)「大橋源介様 淀屋二而三宅弥平治 貴下用書」
10-16-4-7	覚(銀受取)	寅年12月1日	横切紙	1通	片島十内→西之浦鶴新田 二納銀	
10-16-4-8	覚(二納銀遣し)	寅年12月1日	横継紙	1通	片中屋徳二→西之浦庄屋弥平治	
10-16-4-9	覚(銀遣し)	寅年12月1日	横切紙	1通	小野→弥平治	
10-16-4-10	[大橋源介宛三宅弥平治書状]	年未詳4月29日	横継紙	1通	検地帳并請野帳調印遣し及び当銀割差引過銀遣し	
10-16-4-11	[歩方別銀書付]			1纏め(2通)		10-16-4-11-1～2一纏め
10-16-4-11-1	[歩方別銀書付]	年月日未詳	横継紙	1通	徳次郎・後吉・上成・米屋他	
10-16-4-11-2	[歩方別銀書付]	年月日未詳	横継紙	1通	徳次郎・西原・上成・米屋他	
10-16-5	[大橋源介宛宅三書状他]			1包(3通)		10-16-5-1～3包紙で一包(包紙上書)「中島屋源介様 甚太夫 別紙在中急要用 十月十六日認め 十月廿六日着」
10-16-5-1	[大橋宛宅三用状]	年未詳10月16日	横継紙	1通(2枚)	8日予定の出願が日延した子細報知	(上書)「大橋様 宅三」 追書は10-16-5-3のものカ
10-16-5-2	乍恐以書付奉歎願候	天保2年10月14日	縦継紙	1通	古橋新左衛門様御代官所備中国浅口郡鶴新田開発人惣代兼庄屋源介煩二付代甚太夫→奉行所 鶴新田新開場の私領引渡は不都合につき歎願	
10-16-5-3	[大橋源介宛宅三書状]	年未詳10月8日	横継紙	1通	去月29日大和屋小兵衛に相談し、本日月番村垣様へ出願する旨報知	
10-16-6	[大橋源介宛大橋喜久太書状]			1包(2通)		10-16-6-1～2包紙で一包(包紙上書)「備中倉敷大橋源介様 守屋後吉 大橋喜久太 急要用 無異 自大坂 十一月朔日早朝認十二月十六日文助より達ス」
10-16-6-1	[大橋源介宛きく太・後吉書状]	年未詳11月1日	横継紙	1通	兩人昨晦日大坂備前屋に逗留し、明晩伏見へ向け乗舟の予定報知	(上書)「大橋源介様 守屋後吉 大橋喜久太」
10-16-6-2	[大橋源介外2名宛きく太書状]	年未詳11月1日	横継紙	1通	昨晦日大坂番所へ無事到着し、今晚伏見へ向け乗舟の予定報知他	(上書)「大橋源介様 同金平様 同徳兵衛様 喜久太 十二月十六日着 自大坂」
10-16-7	[大橋源介宛書状]			1括り(1通1袋)		10-16-7-1～2紐で一括り
10-16-7-1	[中島屋源介・金平宛大和屋小兵衛書状]	年未詳12月1日	横継紙	1通	元々方を兩人へ引合せ、先月26日老中大久保加賀守へ歎願	包紙あり(包紙上書)「倉敷大橋源介様 大和屋小兵衛 貴下 十二月朔日 十二月廿三日甚太夫持帰り」
10-16-7-2	[大橋源介宛大橋喜久太書状他]			1袋(2通)		10-16-7-2-1～2封筒入り(封筒上書)「大橋源介様 同金平様 大橋きく太 貴下」(封筒裏書)「十二月廿三日甚太夫持帰りニ〇」



10-16-7-2-1	[大橋父・金平・徳三宛きく太書状]	年未詳12月1日	横継紙	1通(2枚)	為替金の委細承知、出訴一件で支配方より承った内容を甚太夫から聞くように等	(上書)「大橋」
10-16-7-2-2	[守屋用状]	年月日未詳	縦切紙	1通	亀山新田築立年銀額の間合せと文化メ切り議定証文写の送付依頼	(上書)「〇様 守屋」
10-16-8	[大橋源助宛書状]			1括り(3通)		10-16-8-1~3紐で一括り 紐破損のためSILティッシュで括る
10-16-8-1	[大橋源介外2名宛大和屋小兵衛書状]	年未詳10月22日	横継紙	1通	鶴新田替地一件について当月14日村垣淡島守へ出願し古橋様へ引渡し旨報知 彦右衛門道中金を甚太夫より渡す	包紙あり(包紙上書)「倉敷大橋源助様 馬喰大和屋小兵衛 貴下十月廿二日認十一月八日夜着 彦右衛門持帰り」
10-16-8-2	[大橋宛甚太夫書状]	年未詳10月22日	横継紙	1通	余分入用を小兵衛と相談の上返却のこと	包紙あり(包紙上書)「大橋源助様 江戸谷 甚太夫 無難 十月廿三日認十一月八日夜着」
10-16-8-3	[大橋源介宛喜久太・後吉口上]	年未詳11月3日	縦紙	1通(2枚)	彦右衛門より書類〇印詮義について聞き心配のこと	(端裏書)「途中より彦右衛門便 十一月八日着」
10-16-9	[書状]			1包(1通1包)		10-16-9-1~2包紙2枚で一包(外包紙上書)「備中倉敷大黒屋文介様 江戸馬喰町大和屋小兵衛 大急用 十二月十日出自大坂 埃喜 十二月十二日晚着」(内包紙上書)「大橋様 兩人 急用事 無異 十二月十二日広忠より達ス」
10-16-9-1	[書状]			1包(3通)		10-16-9-1-1~3包紙で一包(包紙上書)「大橋源介様 守屋後吉 大急用事 無異 十一月廿九日夕四ツ頃認 十二月十二日着」
10-16-9-1-1	[大黒屋文介宛埃屋喜平治書状]	年未詳12月10日	横継紙	1通	大和屋小兵衛より依頼の書状を早便にて送付 賃金6匁請求	
10-16-9-1-2	[大橋父・同金平宛きく太書状]	年未詳11月29日	横継紙	1通(2枚)	出訴一件につき別紙高覧依頼と年内にさらに老中か大目付へ出願したい旨	(端裏書)「十二月十二日広忠より届」
10-16-9-1-3	[人名書付]	年月日未詳	横切紙	1通	金平、徳次 共に押印あり	
10-16-9-2	[大橋源介外6名宛大橋喜久太・守屋後吉書状]	年未詳11月29日	横継紙	1通	水野出羽守、老中大久保加賀守へ賀籠訴の子細報知	(端裏書)「十二月十二日晚広忠より届ケ」
10-16-10	[書状]			1包(3通)		10-16-10-1~3包紙で一包(包紙上書)「大坂堂島米市場堺屋喜兵衛様 備中倉敷大黒屋文介様行 江戸馬喰町壱丁目大和屋小兵衛 大急要用引合 無異 十一月十八日認 十一月廿八日着」
10-16-10-1	[大橋源介・金平・徳蔵宛きく太書状]	年未詳11月18日	横継紙	1通	近日中に出願の予定と〇印の件が心配である旨	包紙あり(包紙上書)「大橋様 守屋 大橋」
10-16-10-2	[大橋宛江戸谷甚太夫書状]	年未詳11月18日	横継紙	1通	喜久太・後吉の無事到着と彦右衛門を返した件の報知	包紙あり(包紙上書)「大橋源助様 福岡屋甚太夫 無難要用 十一月十七日夕認メ 十八日出」
10-16-10-3	[大橋源介宛喜久太・後吉書状]	年未詳11月18日	横継紙	1通	出願延引の委細と当月24、5日頃に発足予定の報知	包紙あり(包紙上書)「大橋源介様 守屋後吉 急要用 無異 十一月十八日朝認メ」
10-16-11	覚(代銀書付)	壬辰年12月10日	横継紙	1通	小野→大橋	
10-16-12	[書状類]			1括り(8通2纏め)		10-16-12-1~10紐で一括り
10-16-12-1	[片島初太郎外5名宛倉敷源介廻状]	年未詳11月4日	横継紙	1通	鶴新田一件の相談のため6日中島村民之丞方へ集会依頼	包紙あり(包紙上書)「各々様 倉敷」
10-16-12-2	[大橋源助宛松井彦左衛門書状類]			1纏め(2通)		10-16-12-2-1は10-16-12-2-2を巻き込んでいる
10-16-12-2-1	[大橋源介宛松井彦左衛門書状]	(天保3)年閏11月29日	横継紙	1通		(上書)「大橋源助様 松井彦左衛門 貴下用書」
10-16-12-2-2	覚(沖新開仲間代への掛銀遣し)	(天保3)年閏11月29日	横継紙	1通	こんだや彦左衛門→中島屋源介	
10-16-12-3	[大橋源介宛三島民之丞書状]	年月日未詳	横継紙	1通	昨日樋入札の件で村方の大工遣すつもり、また地代銀遣すので算用願	(上書)「大橋源介様 三島民之丞」
10-16-12-4	[大橋源介宛同金平・きく太口上]	年未詳6月22日	横継紙	1通	昨日の上成見廻りについて報知と帰宅依頼	(上書)「大橋源介様 同金平 きく太 用事」
10-16-12-5	[大橋源介宛金平書状]	年月未詳17日	横継紙	1通	小野氏が出勤せず困っていること等普請方の状況報知と帰宅依頼	(上書)「大橋源介様 金平 用事」
10-16-12-6	[大橋源介宛金平口上]	年月未詳16日	横継紙	1通	普請方の状況報知と帰宅依頼	(上書)「大橋源介様 金平」
10-16-12-7	覚(金遣し)	壬辰年6月19日	横切紙	1通	上成小野→鶴新田会所二而大橋 銀札代	
10-16-12-8	[汐切り間敷及石代等書付]	年月日未詳	横切紙	1通		
10-16-12-9	[大橋宛小野書状類]			1纏め(2通)		10-16-12-9-1は10-16-12-9-2を巻き込んでいる
10-16-12-9-1	[大橋宛小野書状]	年月日未詳	横切紙	1通	持病で欠勤の詫びと近々の夕留には出向くこと 別紙の通り銀札遣し	(上書)「大橋左詞兄 小野 悦 貴下銀札銀共添」
10-16-12-9-2	覚(銀遣し)	壬辰年6月20日	横切紙	1通	小野→大橋	
10-16-12-10	[大橋源助宛小野小十郎書状]	年未詳閏月4日	横継紙	1通	6日の集会案内の了承	(上書)「大橋源助様 小野小十郎 拝復略書御免可被下候」
10-16-13	[書状]			1括り(3通)		10-16-13-1~3紐で一括り
10-16-13-1	[大橋源介外2名宛同喜久太書状]	年未詳12月27日	横継紙	1通	出願委細と今日に帰国の途につく旨報知	(上書)「大橋源介様 同金平様 同徳蔵様 同喜久太 自江戸」
10-16-13-2	[三島民之丞外6名宛倉敷源介廻状]	年未詳正月15日	横継紙	1通	東都よりの書状を一覧するよう依頼 両人の様子と近日寄合予定の報知	(端裏書)「辰正月十五日広忠より達ス」
10-16-13-3	[大橋源介外6名宛大橋喜久太・守屋後吉書状]	年未詳12月28日	横継紙	1通	老中松平周防守へ駕籠訴の委細と晦日に帰途につく旨報知	(上書)「各々様 倉敷源介 用事兩人書状添」
10-16-14	[書状類]			1括り(19通1纏め3括り)		(上書)「御双方様 東都より兩人」(端裏書)「辰正月十五日広忠より達ス」
10-16-14-1	[書状類]			1括り(19通1包)		10-16-14-1~20紐で一括り
10-16-14-1-1	[源介宛弥平治口上]	年未詳5月19日	横切紙	1通	役所御用があるため後日の来訪都合伺い	(上書)「源介様 弥平治 貴下用 略封御免可申候」
10-16-14-1-2	[大橋源介・大橋菊太郎宛小野小十郎書状]	年未詳5月21日	横継紙	1通(2枚)	西之浦より返答があったかの伺いと、普請滞りで取締方がどうすべきか相談したいので来訪依頼	包紙あり(包紙上書)「大橋源助様 大橋菊太郎様 小野小十郎 貴下内用」

10-16-14-1-3	[書状]	年月未詳23日	横切紙	1通	贈品御礼	
10-16-14-1-4	[書状]			1包(3通)		10-16-14-1-4-1~3包紙で一包(包紙上書)「大橋源助様 小野小十郎〇〇 奉復内用」
10-16-14-1-4-1	[大橋宛小野小十郎書状]	年未詳5月10日	横継紙	1通	普請場の義はこれまでの姿で普請をすとの沙汰承知 先日の願面について惣代へ請書と調印を頼みたく取計い願ひ	
10-16-14-1-4-2	[源助宛小十郎書状]	年未詳5月10日	横切紙	1通	内談中の西之浦上金屋持の沖新開北之割について貴家買取分としてほしい	(上書)「源助様 小十郎」
10-16-14-1-4-3	[大橋源介・金平宛きく太口上]	年月未詳10日	横切紙	1通	願書の継添印形指上について依頼、普請方の様子報知	(上書)「大橋源介様 金平様 きく太 鶴新田より用事」
10-16-14-1-5	[大橋源助宛よどや為助書状]	年未詳5月8日	横切紙	1通	鶴新田明後10日山崎様へ引渡しので別紙書付2通遣し	(上書)「大橋源助様 よどや為助 貴下要用 源助様御留主中二御座候ハハ喜久太様御披覧可申事」
10-16-14-1-6	[大橋源助宛淀屋為助書状]	年未詳4月17日	横継紙	1通	役所よりの書付受渡し、またその書付を西之浦へ送付依頼	(上書)「大橋源助様 淀屋為助 貴下要用」
10-16-14-1-7	[大橋源助宛小野小十郎書状]	年未詳3月29日	横継紙	1通	西之浦御田へ口上を遣すが不在、今日昼帰宅とのことだが、大変なので今日は休息してもらい明日まで延引でもよいか伺ひ	包紙あり(包紙上書)「大橋源助様 小野小十郎 貴下平安 無副条」
10-16-14-1-8	覚(築立請負認書案文)	天保3年3月	横切紙	1通	中島屋→長原 鶴新田沖ノ手汐除堤石垣両面築について	
10-16-14-1-9	乍恐以書付奉願上候(写)	年月日未詳	横継紙	1通(2枚)	新開場の山崎寿丸様へ替地了承につき歎願	
10-16-14-1-10	[大橋源助宛小野小十郎書状]	年未詳5月8日	横切紙	1通	役所より10日出勤の沙汰について拙宅は不都合につき出勤できないため取なし依頼	包紙あり(包紙上書)「大橋源助様 小野小十郎 貴下内用」
10-16-14-1-11	堤入札(入札銀書付)	辰年3月	横切紙	1通	延太・金平→(宛名なし)	包紙あり(包紙上書)「堤入札 倉敷 上成」
10-16-14-1-12	[大橋源助宛小野小十郎書状]	年未詳4月17日	横継紙	1通	明日の様子を聞き心配であることと、疲れを出さないよう気遣い	包紙あり(包紙上書)「大橋源助様 小野小十郎 貴下内答」
10-16-14-1-13	[開発人歩方書付]	年月日未詳	横切紙	1通	壹歩壹厘持当御支配所倉敷村金平外11名	
10-16-14-1-14	[願書案文]	年月日未詳	横継紙	1通	(差出人なし)→山崎様御役所	
10-16-14-1-15	[大橋源助宛小野小十郎書状]	年未詳5月13日	横継紙	1通	昨日成羽役人中鶴新田見分の旨報知と普請所へ出張の催促	包紙あり(包紙上書)「大橋源助様 小野小十郎 貴下平安」
10-16-14-1-16	乍恐以書付御伺奉申上候(案文)	天保3年5月	横継紙	1通	鶴新田庄屋後見倉敷村源介→倉敷御役所 替地一件で役所にて後見の扱いが以前と異なるため御伺ひ	
10-16-14-1-17	乍恐以書付奉願上候(案文)	年月日未詳	横継紙	1通	開発人→倉敷御役所 鶴新田の山崎寿丸様へ替地了承につき歎願	
10-16-14-1-18	乍恐以書付奉願上候(案文)	天保3年4月	横継紙	1通	鶴新田開発人倉敷村金平外7名・鶴新田庄屋後見倉敷村源介→倉敷御役所 鶴新田の山崎寿丸様へ替地了承につき歎願	
10-16-14-1-19	[大橋宛小野用状]	年月日未詳	横切紙	1通	西之浦爪崎重石衛門方へ周平を遣し同道で調えるように申付依頼	(上書)「大橋様 小の」
10-16-14-1-20	[西阿知彦左衛門外2名宛倉敷源介廻状]	年未詳5月17日	横継紙	1通	役所より召出され鶴新田郷村引渡しについて開発人は以後山崎様役所へ出向くよう申渡された件について承知するように依頼	包紙あり(包紙上書)「各々様 倉敷役所」
10-16-14-2	乍恐以書付御届奉申上候(案文)	辰年	縦紙	1通	鶴新田北先蔵生場の汐除堤井樋方等普請に明日より取掛かる	
10-16-14-3	[大橋源助宛小野小十郎書状]	年未詳4月22日	横切紙	1通	来月10日引渡しので風評があるので急ぎ仲間で集金できるように廻文差出しの依頼	封筒あり(封筒上書)「大橋源助様 小野小十郎 貴下内用」
10-16-14-4	[大橋源助宛小野小十郎書状]	年未詳7月20日	横継紙	1通	普請方諸勘定等取調のため21日出張の件について、玉島出張で不在につき23日に来訪依頼	包紙あり(包紙上書)「大橋源助様 小野小十郎 拝復」
10-16-14-5	[銀受取証他]			1纏め(2通)		10-16-14-5-1は10-16-14-5-2を巻き込んでいる
10-16-14-5-1	覚(銀受取)	壬辰年6月22日	横切紙	1通	小野→大橋	
10-16-14-5-2	[沖新開掛り銀書付]	年未詳7月5日	横切紙	1通	金平→(宛名なし)	
10-16-14-6	[伯父宛平右衛門書状]	年未詳3月29日	横切紙	1通	取調の小判等が80両程の旨報知	(上書)「御伯父様 平右衛門」
10-16-14-7	[中島民之丞外6名宛倉敷源介廻文]	年未詳7月29日	横継紙	1通	昨日役所より鶴新田未開発場一円替地の評議が済んだ旨の通達報知	包紙を本紙に継いでいる(包紙上書)「廻文」
10-16-14-8	[大橋源助宛小野小十郎書状]	年未詳6月1日	横切紙	1通	酒肴進呈、今晚から明朝までに貴宅へ出向予定	封筒あり(封筒上書)「大橋源助様 小野小十郎 貴下」(上書)「大橋賢兄 〇洲拝 梧有」
10-16-14-9	[大橋宛小野書状]			1括り(4通)		10-16-14-9-1~4帯紐で一括り(紐上書)「用事」
10-16-14-9-1	[大橋宛小の書状]	年月未詳12日	横切紙	1通	川内連中からの酒肴を石工等に振るまってくれた件について御礼 弟死去で取込むこと	(上書)「大橋様 小の拝 拝復」
10-16-14-9-2	[書状]	年未詳6月9日	横切紙	1通	絵図返却、明日不都合で欠勤するため普請方の取はからい依頼	
10-16-14-9-3	[大橋宛小野書状]	年月未詳11日	横切紙	1通	弟危篤のため欠勤	(上書)「大橋様 小野 貴下不及御答候」
10-16-14-9-4	[大橋宛小野書状]	年未詳6月9日	横継紙	1通	西之浦の様子について伺ひ	(上書)「大橋様 小野拝 貴下内用」
10-16-14-10	[書状類]			1括り(9通)		10-16-14-10-1~9紐で一括り
10-16-14-10-1	[源介宛又之丞書状]	年未詳11月28日	横継紙	1通	村用差支につき年貢銀并小物成銀の上納日限を来10日まで延引願ひ	(上書)「鶴新田後見源助様 淀屋片島善次郎事又之丞 貴下」
10-16-14-10-2	[大橋源助宛為助書状]	年未詳12月5日	横継紙	1通	18日までに鶴新田飯代通を認め送付するようにとの依頼了承	(上書)「大橋源助様 為助 貴答 書式相添」
10-16-14-10-3	弥平次宅御宛手当	年未詳2月16日	横折紙	1通	見分役の部屋割と人数数書付	
10-16-14-10-4	覚(銀受取)	寅年12月13日	横切紙	1通	十右衛門・次左衛門→源介 小屋両替之分	
10-16-14-10-5	[源介宛弥平治書状]	年未詳4月13日	横継紙	1通	金請取、夜前に訪問し相談したい旨報知	(上書)「源介様 弥平治 用答」
10-16-14-10-6	[大橋源助宛周平書状]	年未詳3月11日	横切紙	1通	先日依頼した沖新開買入銀を幸田屋より人を遣るので渡すように御願ひ	包紙あり(包紙上書)「倉鋪大橋旦那様 自鶴新田 周平 貴下要用書」

10-16-14-10-7	[大橋源介宛中原後吉書状]	年未詳9月6日	横継紙	1通	沖原地持の連中へ掛合を弥平二へ頼んでいることと、弥平二より近日中返答があることの報知	(上書)「中 大橋源介様 片 中原後吉 机下」
10-16-14-10-8	[大橋源介宛三宅弥平治書状]	年未詳正月19日	横継紙	1通	相談があるので来月23、4日頃の寄会に参会依頼 貴家取替銀算用に誤りがあったことの報知	包紙あり(包紙上書)「大橋源介様 三宅弥平治 貴報」
10-16-14-10-9	[中島屋源介宛十右衛門・治左衛門口上]	年未詳12月14日	横継紙	1通	上納銀に添えた小玉銀について古銀があったため指替依頼	(上書)「中島屋源介様 淀屋二而 十右衛門 治左衛門 用事」
10-16-14-11	[大橋源介・金平宛同喜久太書状]	年未詳正月27日	横切紙	1通(2枚)	大坂より帰国中の状況について報知	
10-16-14-12	沖新開築立方議定之事(案文)	年月日未詳	横折紙	1通		
10-16-14-13	申定	辰年3月	横継紙	1通	人足着次第宰番へ届け、木札を腰にさげて差図通り働く事など新開場職人并人足の心得	
10-16-14-14	[三島民之丞外5名宛大橋喜久太書状]	年未詳2月6日	横継紙	1通	帰国の報知	包紙を本紙に継いでいる(包紙上書)「各様 喜久太」
10-16-14-15	[三宅弥平次外10名宛大橋源介廻状]	年未詳2月15日	横継紙	1通	沖新開築立方について相談のため明16日集会案内	包紙あり(包紙上書)「各様 中島屋源介」
10-16-14-16	[大橋源介宛三宅弥平治書状]	年未詳正月22日	横切紙	1通	役所からの書付受取	(上書)「大橋源介様 三宅弥平治 御用答」
10-16-14-17	[大橋源助宛小野小十郎書状]	年未詳7月27日	横継紙	1通	この手紙をもたせた玉島山田屋源蔵に葉を恵んでくれるように依頼 妹尾からの帰りに立寄る旨報知	(上書)「倉敷中島屋二而大橋源助様 自上成小野小十郎 梧下平安」
10-16-14-18	[大橋源介宛金平書状]	年月未詳23日	横継紙	1通	煙草持出のこと他	(上書)「大橋源介様 金平 用事」
10-16-14-19	[大橋源介宛きく太・金平書状]	年月未詳22日	横切紙	1通	明日三蔵・林蔵に払出しの仰せ了承 松次郎について報知	(上書)「大橋源介様 きく太 金平 奉答」
10-16-14-20	[大橋源介宛民之丞書状]	年未詳7月7日	横継紙	1通	片島伊平と両人の書状遣し	(上書)「大橋源介様 民之丞」
10-16-14-21	[大橋源介宛小野小十郎書状]	年未詳6月26日	横切紙	1通(2枚)	樋方普請について今朝石工乙五郎より樋口の根石を樋底と同様にしようとの指図があり、懸合いのため仲間中へ出張の取計い依頼	(上書)「大橋様 小野 内用御覽後御火中可被〇候」封筒あり(封筒上書)「倉子城二而 大橋源助様 舎所二而 小野小十郎 梧下内要用」(封筒裏書)「六月廿六日」
10-16-14-22	乍恐以書付御伺奉申上候(案文)	年月日未詳	横継紙	1通	鶴新田開発人→山崎寿丸様御役場 鶴新田替地に際し、以前と同様の振り合いとなるように歎願	
10-16-14-23	[大橋源助宛小野小十郎書状]	年未詳6月6日	横切紙	1通	西之浦差出の願書を惣方へ廻すので、一覽後周平へ渡すようにまた役場出勤に關しての相談	包紙2枚あり(外包紙上書)「大橋源助様 小野小十郎 貴下内用」(内包紙上書)「大橋源助様 小野小十郎 貴下要用」
10-17	[鶴新田関係書類]			1袋(10通3括り 1纏め仮1冊2冊)		10-17-1~17-1袋 袋の上に紙紐が結ばれている(袋上書)「天保三辰年分年々鶴新田諸用手控并諸入用割方控帳入」袋破損につきSILティッシュで包む
10-17-1	[酉四月廿九日立会の記録]	酉年4月29日	横継紙	1通		
10-17-2	[三宅弥平治・大橋源助宛三島治郎左衛門書状]	年未詳5月	横継紙	1通	文政開地内三反三畝三步株売払いにつき依頼	封筒あり(封筒上書)「三宅弥平治様 大橋源助様 三島治郎左衛門 五海下」
10-17-3	[酉四月廿九日立会評義覚書]	酉年4月29日	横切紙	1通		
10-17-4	[大橋源助宛酒屋嘉十郎書状]	年未詳6月21日	横継紙	1通	大塚氏書替証文三通への奥印依頼	(上書)「倉鋪 大橋源助様 酒屋嘉十郎 尊下 証文相添」
10-17-5	[鶴新田関係書類]			1括り(1括り1袋)		10-17-5-1~2紙綴りで一括り 紙綴りが切れている為SILティッシュで結ぶ
10-17-5-1	[石垣関係書付他]			1括り(8通1括り)		10-17-5-1-1~9一括り
10-17-5-1-1	覚(さし石代銀請求書)	午年12月11日	横切紙	1通	浦田佑造→倉敷仲島屋源助	
10-17-5-1-2	[氏名書付]	年月日未詳	横継紙	1通	袖場太郎衛・小野本太郎他6名	
10-17-5-1-3	[倉敷分人別受取金銭書付]	年月日未詳	横切紙	1通		
10-17-5-1-4	弁才天壺ノ口樋口石垣仕様	年月日未詳	横折紙	1丁		
10-17-5-1-5	[人名書付]	年月日未詳	堅切紙	1通	和吉他8名	
10-17-5-1-6	[忝反二付掛り銀書付]	午年12月13日	横切紙	1通		
10-17-5-1-7	[種々覚書]	年月日未詳	横切紙	1通	「帳方引受 人足引廻し」「壺坪二付七刃」他	
10-17-5-1-8	[氏名書付]	年月日未詳	横切紙	1通	三宅伊左衛門他3名	
10-17-5-1-9	[午十一月十日割石内入札関係書付]			1括り(7通)		10-17-5-1-9-1~7帯封で一括り(帯封上書)「午十一月十日割石内入札」
10-17-5-1-9-1	[佐太部分書付]	年月日未詳	横切紙	1通		
10-17-5-1-9-2	覚(嘉十郎分数量書付)	年月日未詳	横切紙	1通	一八百廿	(端裏書)「嘉十郎」
10-17-5-1-9-3	[西阿知五三郎分惣積分石ならし数量書付]	年月日未詳	横切紙	1通		
10-17-5-1-9-4	[石積内入札源介分書付]	年月日未詳	横折紙	1通		
10-17-5-1-9-5	[八十太分書付]	年月日未詳	横折紙	1通		
10-17-5-1-9-6	[割石数量書付]	年月日未詳	横切紙	1通		
10-17-5-1-9-7	[俊平分数量書付]	年月日未詳	横折紙	1通		
10-17-5-2	[天保五年鶴新田辻取替書類]			1袋(5通)		10-17-5-2-1~5一袋(袋上書)「天保五年鶴新田辻取替書類」
10-17-5-2-1	覚(鶴新田村辻取替銀受取)	天保5年7月	横継紙	1通	庄屋弥平治→倉敷金平	包紙あり(包紙上書)「受取書 壺通」
10-17-5-2-2	覚(銀子受取)	年未詳11月28日	横切紙	1通	三宅弥平次→大橋金平	
10-17-5-2-3	[落札高書付]	午年10月10日	横切紙	1通		
10-17-5-2-4	[大橋源助宛三島民之丞書状]	年未詳5月15日	横継紙	1通	東方行芝居入用銀受取	(上書)「大橋源助様 三島民之丞」包紙あり(包紙上書)「鶴新田辻取かへ請取書 午五月十五日 民之丞へ相渡分」
10-17-5-2-5	覚(鶴新田夫役引当の嘉平へ取替銀借用書)	天保5年6月	横切紙	1通	鶴新田人足引廻し伝右衛門→大橋金平	包紙あり(包紙上書)「書附 壺通」
10-17-6	[鶴新田関係書類]			1括り(13通1纏め1枚1袋1包)		10-17-6-1~17紙綴りで一括り
10-17-6-1	[大橋源介宛三島民之丞書状]			1包(2通)		10-17-6-1-1~2一包 包紙あり(包紙上書)「大橋源介様 三島民之丞」

10-17-6-1-1	[大橋源介宛三島民之丞書状]	年未詳5月24日	横継紙	1通	新開一条追々決談に付き明日立会を依頼 追伸で小野よりの書状を先に拝見したことわびる	
10-17-6-1-2	[大橋源助・三島民之丞宛小野小十郎書状]	年未詳5月24日	横継紙	1通	此度の造りの見積りでは「小身もの之身二逢不申」につき四五十町位に落合ように取計ってほしい	包紙あり(包紙上書)「大橋源助様 三島民之丞様 小野小十郎 貴下内要用」
10-17-6-2	覚(取替銀子引渡し証)	天保5年5月	横切紙	1通	庄屋弥平治→倉敷金平	包紙あり(包紙上書)「請取書 壺通」
10-17-6-3	[大橋源助宛酒屋嘉十郎書状]	年未詳正月27日	横継紙	1通	売渡証文壺通への奥印依頼	封筒あり(封筒上書)「倉敷 大橋源助様 酒屋嘉十郎 尊下 証文在中」
10-17-6-4	[大橋源介宛串野山有元彦造書状]	年未詳10月11日	横継紙	1通	天保新開七ノ割の佐太郎下作地の譲り渡しについて	封筒あり(封筒上書)「大橋源介様 串野山 有元彦造 玉下内用書」
10-17-6-5	[大橋源介宛串野山有元彦造書状]	年未詳7月26日	横切紙	1通	金子貳百両借用仲介の書状	封筒あり(封筒上書)「倉敷 大橋源介様 串野山 有元彦造 玉下内用書」
10-17-6-6	[大橋源助宛問屋平作書状]	年未詳12月26日	横切紙	1通	寒中見舞に鯉一尾進呈のこと 文化新開残地の大塚へ差戻し証文壺通への印形依頼	包紙あり(包紙上書)「倉敷 大橋源助様 問屋平作」
10-17-6-7	[大橋源介・三宅直吉宛三宅愛吉・八十太書状]	年未詳9月12日	横切紙	1通	材木の買主取極は明晩迄延引してくれる様依頼	(上書)「大橋源介様 三宅直吉様 三宅愛吉 八十太 己下」
10-17-6-8	[天保四年鶴新田村立立替銀書類]			1袋(3通)		10-17-6-8-1~3一袋 (袋上書)「天保四巳年 鶴新田村立立替銀書類」
10-17-6-8-1	覚(普請出来に付き銀札請求書)	天保4年5月	縦紙	1通	鶴新田引廻し伝右衛門・同民右衛門→大橋金平	包紙あり(包紙上書)「書附」
10-17-6-8-2	覚(代銀書付)	み年7月	横継紙	1通	じゃうれん代他 岡屋彦右衛門→新宅中島屋	
10-17-6-8-3	[夫役銀書付]	年月日未詳	縦紙	1通	伝右衛門→周平	(端裏書)「加平夫役立替」
10-17-6-9	覚(代銀受取)	未年7月	横切紙	1通	金じゃれん代他 岡屋彦右衛門→西の浦周平	
10-17-6-10	[貸入銀書付]	年月日未詳	横切紙	1通	「申三月十六日消印」の書付あり	
10-17-6-11	[計測略図]	年月日未詳	24.6×19.4	1枚		
10-17-6-12	乍恐以書附御願奉申上候	天保7年6月	縦紙	1通	見取倉絵図面の通り凡五拾町歩の開発願い 鶴新田銀主西之浦分三宅辰蔵他15名→中紋左衛門	(端裏書)「此願書認弥平次より差越候得共余り拙候故此方二而文言書替候事」
10-17-6-13	乍恐以書付御願奉申上候	天保7年6月	横切紙	1通	鶴新田字文政開・天保開の地先海面附洲開の残の内五拾町歩計の開発願い 鶴新田開発人年松他15名→中紋左衛門	裏に「鶴新田開発人 玉島三宅辰蔵」と書かれた付紙あり
10-17-6-14	[敵高・銀子算用書付]			1纏め(2通)		6-17-6-14-1~2まで重ねて一纏めにして折りたたまれている
10-17-6-14-1	[敵高算用書付]	年月日未詳	横切紙	1通		
10-17-6-14-2	[入用銀子算用書付]	年月日未詳	横切紙	1通	七ノ割南北普請料 南六ノ割堀レ所埋入用他	
10-17-6-15	[南六ノ割五反株之内買取分算用書付]	年月日未詳	横切紙	1通		
10-17-6-16	乍恐書付を以御願奉申上候	天保6年9月	横切紙	1通	是迄三樋と唱えメ切堤に居込んでいた木樋を元揚内法幅五尺の水門にかえることへの願書 鶴新田庄屋三宅弥平次・後見源介→中紋左衛門	
10-17-6-17	[大橋源助宛小野小十郎書状]	年未詳7月25日	横継紙	1通	来ル廿七日会所への出張の件は承知したが先刻よりの腹痛のため万一全快しない様であれば廿九日迄決定を延ばしてくれる様依頼	封筒あり(封筒上書)「大橋源助様 小野小十郎 奉復」
10-17-7	[鶴新田入用銀関係書類]			1括り(4通1括り)		10-17-7-1~5紙綴りで一括り
10-17-7-1	覚(人足賃受取)	天保6年5月29日	横切紙	1通	鶴新田人足引当テ伏見屋引受分及び用水入用門樋堤仕立人足積分 庄屋三宅弥平次→開発人金平	包紙あり(包紙上書)「未五月頃 三宅弥平次 請取書壺通入」
10-17-7-2	覚(鶴新田村迂入用受取)	天保5年12月	横切紙	1通	庄屋三宅弥平次→中島屋金平	包紙あり(包紙上書)「迂借証文 壺通」
10-17-7-3	[入用銀受取覚]			1括り(4通)		10-17-7-3-1~4紙綴りで一括り
10-17-7-3-1	覚(七月当銀受取)	天保6年7月	横切紙	1括り(1通)	鶴新田庄屋三宅弥平次→倉敷金平	包紙あり(包紙上書)「受取書 壺通」
10-17-7-3-2	覚(水門入用当銀受取)	未年12月2日	横切紙	1通	庄屋三宅弥平次→中島屋金平	包紙あり(包紙上書)「受取書 壺通」
10-17-7-3-3	覚(鶴新田新用水入用割石井小石代銀受取)	天保6年3月	横切紙	1通	庄屋弥平治 金平	包紙あり(包紙上書)「書付 壺通」
10-17-7-3-4	覚(鶴新田水門入用当銀受取)	天保6年12月	横切紙	1通	庄屋三宅弥平治→倉敷金平	包紙あり(包紙上書)「書付 壺通」
10-17-7-4	借用証文之事	文政11年12月25日	縦切紙	1通	鶴新田庄屋弥平治・加判西浦三宅基作→倉敷金平	包紙あり(包紙上書)「文政十一年 証文壺通 弥平治」
10-17-7-5	覚(入用銀書上)	未年12月	横継紙	1通	新用水入用割不足取かへ銀他	
10-17-8	乍恐以書付奉願上候	年月日未詳	横継紙	1通(2枚)	開発人庄屋・後見→役場 海面付洲開発残反別の内字文政開外近來土地高になった所の普請取掛り願い	開発人として伊左衛門他13名庄屋三宅弥平次後見源介の氏名が記された横折紙が巻き込まれている
10-17-9	[人別敵数書付]	年月日未詳	横切紙	1通	「南四之割 四畝 伏見屋」他9筆	
10-17-10	乍恐以書附奉願上候	天保5年12月	縦継紙	1通	開発人西之浦伊左衛門他13名・庄屋西之浦三宅弥平次・後見倉敷村源助→中紋左衛門 鶴新田海面付洲開発残反別の内字文政開外近來土地高になった場所の普請取掛り願い	(端裏書)「午十二月 御出役様江入御内覧候願書下書」
10-17-11	御書付写	酉年6月	横継紙	1通	亡父弥平治のあと庄屋直吉として所持の帳面を取調べ差支なく勤めること	(端裏書)「七月五日弥平次より来ル」
10-17-12	[銀子算用覚]			1纏め(2通)		10-17-12-1~2まで重ねて巻かれている
10-17-12-1	覚(普請入用等算用書)	年未詳7月9日	横切紙	1通		
10-17-12-2	[銀子算用書付]	年月日未詳	横切紙	1通		
10-17-13	覚(沖新開堤築立入用銀受取)	天保3年7月	横切紙	1通	鶴新田庄屋三宅弥平次・後見源介→彦蔵	
10-17-14	啓年切売渡証文之事	天保3年3月	縦継紙	1通	売主伊左衛門・証人小十郎・八十太→鶴新田開発人中	
10-17-15	文化地内天保開用水新井路引畝	年月日未詳	美・横長	仮1冊		
10-17-16	天保四巳年十二月 おほえ 小入用割十一月廿九日割次第控	天保4年12月	美・横半折	1冊	堤方内勘定十一月廿六日小野氏立会相済候控	

10-17-17	辰閏十一月廿四日より 天保三辰年藤売払并諸入用割賦用沖新開 新用水井路諸普請積り方控	天保3年11月24日～	美・横半折	1冊		
10-18	[鶴新田関係書類]			1括り(2冊1括り2袋)		10-18-1～5紐2本で一括り
10-18-1	天保6乙未年正月より おほえ	天保6年正月	半・横半折	1冊		
10-18-2	[懐中記録]			1袋(2冊1通仮2冊)		18-2-1～5一袋(袋上書)「辰三月より普請中 懐中記録入」
10-18-2-1	天保壬辰四月 おほえ	天保3年4月	半・横半折	1冊		
10-18-2-2	壬辰盆後備忘録	天保3年	美・横半折	仮1冊		
10-18-2-3	[畝数算用書]	年月日未詳	横切紙	1通		
10-18-2-4	[割賦帳]	年月日未詳	半・横長	仮1冊	化政割、沖新開割、歩方割、岡割	
10-18-2-5	天保壬辰 持簿	天保3年正月24日～	半・横半折	1冊		
10-18-3	[書状一括]			1括り(32通2纏め)		18-3-1～34紙綴りで一括り
10-18-3-1	[民之丞・彦左衛門・後吉宛源介廻状]	年未詳3月21日	横継紙	1通	西之浦陣屋より己後新開用向の節は本人・祝蔵兩人立会の上諸相談を致すべき沙汰があった旨を報知	包紙あり(包紙上書)「各々様 倉敷源介」
10-18-3-2	[大橋源介・三宅弥平次宛松井彦左衛門書状]	年未詳3月26日	横継紙	1通	今日の出会について自分は西方へ他行 他の者も差支えの為無拋断りの旨を伝える 又三島氏も風邪の為不参の事	包紙あり(包紙上書)「鶴新田会所二而大橋源介様 西阿知彦左衛門 拝 玉案下」
10-18-3-3	覚(金平分年貢米書付)	巳年11月	横切紙	1通	鶴新田庄屋→(宛名なし)	
10-18-3-4	[大橋源輔宛小野小十郎書状]	年未詳10月6日	横継紙	1通	今晚は流行の風邪の為不参のこと しかし兼て示談申し度き事がある為明日の予定をたずねる	(上書)「大橋源輔様 小野小十郎 極々要用」
10-18-3-5	[大橋源助宛小野小十郎書状]	年未詳12月26日	横継紙	1通	金平様先日来不快への見舞 先達ての土地買収の節の残銀振替の礼と延引ながら今般持参のこと 鶴新田売買証文四通への奥書依頼	包紙あり(包紙上書)「大橋源助様 小野小十郎」
10-18-3-6	覚(沖新開諸入用への出銀請取)	癸巳年2月28日	横切紙	1通	上成小野→大橋	
10-18-3-7	[大橋源助宛小野小十郎書状]	年未詳4月12日	横継紙	1通	急々玉島役所へ出勤の為無拋不参をわびる 示談の件については同意するので宜敷頼む もし談があれば佐太郎へ話してくれる様に	(上書)「大橋源助様 小野小十郎 貴下内用」
10-18-3-8	覚(金銭受取)	巳年6月	横切紙	1通	三木や武右衛門→周平	
10-18-3-9	[大橋源助宛小野小十郎書状]	年未詳2月28日	横切紙	1通	鶴新田へ出張の節の紙面及び佐太郎への伝言の趣は承知 拝借の名寄帳面返上のこと 鶴新田諸入用方借用依頼	(上書)「大橋源助様 小野小十郎 貴下」
10-18-3-10	覚(鶴新田普請入用金請取)	癸巳年7月13日	横切紙	1通	上成小野→大橋	
10-18-3-11	[大橋源介宛三宅弥平治書状]	年未詳11月28日	横継紙	1通(2枚)	出役中島様より急場入用の為金子百弍拾両の借用の申し入れがあった旨を伝える	(上書)「大橋源介様 三宅弥平治 平安急内用書」「別啓」として別紙あり
10-18-3-12	[大橋源助宛嘉十郎書状]	年未詳12月22日	横切紙	1通	質入証文2通に奥印依頼	封筒あり(封筒上書)「倉敷大橋源助様 弁才天酒屋嘉十郎 尊下」
10-18-3-13	[大橋源介・三宅弥平治宛三島民之丞書状]	年未詳12月24日	横切紙	1通	樋方請負人夕除堤堀代について伺い	(上書)「三宅弥平治様 大橋源介様 三島民之丞 拝 貴下 差急略封直手御免被下候」
10-18-3-14	おほへ(代銀書付)	年未詳3月26日	横切紙	1通	藤井屋善吉→中島屋	
10-18-3-15	[大橋源介宛小野小十郎書状他]			1纏め(2通)		10-18-3-15-1～2包紙一包(包紙上書)「大橋源介様 小野小十郎 奉復待史」
10-18-3-15-1	[大橋源介宛小野小十郎書状]	年未詳3月22日	横継紙	1通	新開堤普請入用引当銀遣しと帳面返却	
10-18-3-15-2	覚(銀受取)	癸巳年3月22日	横切紙	1通	小野小十郎→大橋源介 新開堤普請入用引当銀	
10-18-3-16	[大橋源介・三宅弥平治宛三島民之丞書状]	年未詳12月26日	横継紙	1通	差向けられた金封について覚えがないが月廻なので年明けまで預かる	包紙あり(包紙上書)「三宅弥平治様 大橋源介様 三島民之丞 貴答」
10-18-3-17	[大橋源助宛三島民之丞書状]	年未詳3月14日	横切紙	1通	掛合のその後について様子伺い	(上書)「大橋源助様 三島民之丞 貴下」
10-18-3-18	[大橋源助宛三島民之丞書状]	年未詳2月29日	横切紙	1通	西原一大事につき内談のため来訪依頼	(上書)「大橋源助様 三島民之丞 貴下要用」
10-18-3-19	[大橋源助宛小野小十郎書状]	年未詳12月25日	横継紙	1通	天保開堤外懸り銀は拙宅差支により貴家より残らず出銀するように御願い	(上書)「大橋源助様 小野小十郎 貴下要用」
10-18-3-20	[大橋宛三島民之丞書状]	年未詳5月5日	横継紙	1通	相談の引受と集金の出欠について伺い	(上書)「大橋大人様 三島民之丞 拝 貴下 略封御免被下候」
10-18-3-21	差入申議定証文之事(案文)	年月日未詳	横継紙	1通	鶴新田庄屋弥平治・後見源介・加談人彦蔵→川西村々惣代中	
10-18-3-22	覚(人別畝数并掛銀書付)	年月日未詳	横継紙	1通	新井路の井関について	
10-18-3-23	[大橋源助宛三島民之丞書状]	年未詳5月3日	横切紙	1通	愛助他2名の分	
10-18-3-24	[中島民之丞宛柳井又之丞書状他]			1纏め(2通)		(上書)「大橋源助様 三島民之丞 尊下」
10-18-3-24-1	[中島民之丞宛柳井又之丞書状]	年未詳5月29日	横継紙	1通	内談中の件について 村役人衆中へ積り置くこと報知	10-18-3-24-1が10-18-3-24-2を巻いている
10-18-3-24-2	覚(講銀受取)	午年5月29日	横切紙	1通	講銀受取につき受取証送付	(上書)「中島民之丞様 柳井又之丞 貴答」
10-18-3-25	[大橋源介宛松井彦左衛門書状]	年未詳6月27日	横継紙	1通(2枚)	片島又之丞→中島民之丞	
10-18-3-26	[大橋喜久太宛三島民之丞書状]	年未詳4月10日	横切紙	1通	新開樋方の調達場所について、中島と半方で出銀のところ差支えにつき貴家からも出銀依頼	包紙あり(包紙上書)「大橋源介様 西阿知松井彦左衛門 貴案下」
10-18-3-27	[用水関連条文書付]	年月日未詳	横切紙	1通	儀定書調へにつき惣寄合の案内	
10-18-3-28	[大橋源介宛有元彦造書状]	年未詳5月4日	横継紙	1通	「一、中川悪水樋居込之事」他4条	封筒あり(封筒上書)「倉敷中島屋大橋源介様 串野山 有元彦造 玉下要用書」
10-18-3-29	[大橋源介宛酒屋嘉十郎書状]	年未詳4月3日	横切紙	1通	川西へ掛合のことや弥平次井上成小十郎へ毎度内談のこと等用水一条につき報知	包紙あり(包紙上書)「倉敷大橋源介様 酒屋嘉十郎 尊下 從弁才天」
10-18-3-29	[大橋源介宛酒屋嘉十郎書状]	年未詳4月3日	横切紙	1通	大塚質入書替証文へ奥印願い	

10-18-3-30	[大橋源介宛三島民之丞書状]	年未詳5月9日	横継紙	1通	今日の集会について	(上書)「大橋源介様 三島民之丞様 貴下要」
10-18-3-31	[大橋源助宛酒屋嘉十郎書状]	年未詳12月13日	横継紙	1通	歩方一件につき昨日急取引が済んだこと、その譲り渡し証文を遺すので奥印依頼	封筒あり(封筒上書)「倉敷大橋源助様 弁才天酒屋嘉十郎 尊下」
10-18-3-32	覚(銀遣し依頼)	午年5月	横継紙	1通	伝右衛門→大橋喜久太 鶴新田会所にて預けた金子の替りの銀札	継目外れ
10-18-3-33	[大橋源助宛小野小十郎書状]	年未詳正月9日	横切紙	1通	堤外地面平均普請に早く取りかかりたく、相談のため出張願ひ西之浦年貢差引で必要につき鶴新田検地名寄帳面の拝借依頼	包紙あり(包紙上書)「大橋源輔様 小野小十郎 貴下要用」 包紙あり(包紙上書)「大橋源助様 大橋菊太様 小野小十郎 梧有」
10-18-3-34	[大橋源助・大橋菊太宛小野小十郎書状]	年未詳正月9日	横折紙	1通	年始挨拶	10-18-4-1~7一袋 (袋上書)「天保三壬辰年 沖新開両人引請 仲間地出銀割賦帳 同勘定帳入」
10-18-4	[勘定帳類]			1袋(5冊2通)		
10-18-4-1	天保五年十二月 天保開仲間地弁銀割戻シ帳 下帳	天保5年12月	美・横長	1冊	片島初太郎外7名→上成延太・倉敷金平	
10-18-4-2	天保三年辰十月 堤入用惣勘定扣	天保3年10月	美・横長	1冊		
10-18-4-3	天保五年十二月 天保開仲間地弁銀割戻帳	天保5年12月	美・横長	1冊	片島初太郎外7名→上成延太・倉敷金平	
10-18-4-4	覚(代銀勘定書付)	年月日未詳	横折紙	1通		
10-18-4-5	覚(代銀遣し)	乙未年2月2日	横切紙	1通	上成小野→倉敷大橋 渡し地代銀	
10-18-4-6	天保三壬辰閏十一月 沖新開仲間地入用銀取立帳	天保3年閏11月	美・横長	1冊		
10-18-4-7	天保四巳二月ヨリ 堤普請算用帳	天保4年2月	美・横長	1冊		
10-18-5	天保三年壬辰三月 算用帳	天保3年3月	美・横列	1冊		(上書)「元方」
10-19	[普請中注文小書付]			1袋(1冊仮3冊40通5括り3纏め1包)		10-19-1~53一袋 入りきらないためSILティッシュで包む (袋上書) 「普請中注文小書付入 請負」 (端裏書)「辰四月九日差引勘定控」
10-19-1	辻差引過方控	辰年4月9日	横折紙	1通		
10-19-2	土積扣 石工丁場控	年月日未詳	半・横半折	1冊		
10-19-3	辰四月朔日開札 岡堤外石取越入札	辰年4月1日	横折紙	1通		
10-19-4	[堤普請人夫賞書上帳]	年月日未詳	半・横長	仮1冊		
10-19-5	覚(銀受取)	辰年5月7日	横切紙	1通	大江屋菊右衛門→新開周平	
10-19-6	覚(入用銀書付)	年月日未詳	横切紙	1通	庄蔵→旦那 舟ちん、飯料、小遣	
10-19-7	沖手古堤石垣間数改留 但し壺丁場拾間宛	年月日未詳	半・横長	仮1冊		
10-19-8	[夫役切手]	年未詳3月22日~29日		1括り(10通)	西ノ岩五郎、弁ノ岩吉、鶴佐五郎、西ノ平蔵、上成久五郎、西ノ庄平、弁ノ平吉、宮ノ重吉各1通、新田辰五郎2通	1通毎の記録は汎雑となるため纏めてとった
10-19-9	[石垣間数書付]	年月日未詳	横切紙	1通	地より上之分など	
10-19-10	[土積越入札書付]	年月日未詳		1括り(9通)	西之浦中蔵、青木村連中、浅浦、大梵村西ノ方、乙島嘉平、串ノ山忠吉、狐島菊次郎、宮ノ浦、不明各1通	紐で一括り 1通毎の記録は汎雑となるため纏めてとった
10-19-11	[岡外石取越入札書付]	年月日未詳		1括り(7通)	辻、串の山辰之介、中新田七郎兵衛、松三郎、にしあち新吉、鉄蔵、吉浦亀蔵各1通	紐で一括り 1通毎の記録は汎雑となるため纏めてとった
10-19-12	[南堤砂先坪持入札書付]	年未詳4月12日		1括り(9通)	大梵新吉、浅浦村、にし原順蔵・駒吉、中島恵十郎・勝蔵、新田、青木村、西阿知新吉、西町岩吉、弁才天長八各1通	包紙で包んだ上から紐で一括り (包紙上書)「四月十二日南堤砂先坪持入札書付」(紐上書)「入札」 1通毎の記録は汎雑となるため纏めてとった
10-19-13	[普請関係書類]			1括り(2冊2通1綴り)		10-19-13-1~5紐で一括り
10-19-13-1	辰ノ年 万御通 御新開茶木屋様 服部屋万兵衛	辰年	美・横半折	1冊		
10-19-13-2	[夫役切手]	年未詳5月6日~7月8日		1綴(27通)	つる佐五郎7通、乙捨次郎4通、中新田島吉、上伝蔵各3通、上政五郎2通、上米作外7名各1通	紙綴りで綴っている
10-19-13-3	覚(代銀書付)	辰年7月	横継紙	1通	さらしや志之助→経屋 さらし代	
10-19-13-4	覚(代銀受取)	辰年7月	横切紙	1通	はつとりや万兵衛→新開会所 五寸釘・半紙他	
10-19-13-5	辰ノ年 材木御通 御新開元方様 服部屋万兵衛	辰年	美・横半折	1冊		
10-19-14	覚(代銀書付)	辰年7月	横切紙	1通	三木屋定五郎→沖新田元方 なわ代	
10-19-15	覚(代銀書付)	辰年7月	横切紙	1通	はなたや源次郎→鶴新田堤方引請衆中 切手紙代	
10-19-16	覚(新開掛り銀書付)	辰年7月4日	横切紙	1通	伊庭太兵衛→小野小十郎 連島庄屋へ受渡し依頼	
10-19-17	覚(出銀勘定書付)	辰年7月5日	横切紙	1通	備前屋長市→新開元方	
10-19-18	[普請注文書付類]			1纏め(5通)		10-19-18-1が10-19-18-2~5を巻いている (端裏書)「三月十八日松次郎遣ス」
10-19-18-1	覚 樋方けやき替り別注文分	年月日未詳	横継紙	1通		
10-19-18-2	覚(代銀書付)	年未詳5月3日	横折紙	1通		
10-19-18-3	覚(小屋舗落札銀請求)	辰年4月13日	横切紙	1通	樋方受負代伝右衛門→堤受負元方	
10-19-18-4	覚(樋方へ引受場所書付)	年月日未詳	横継紙	1通	中井路より北ノ分、中井路より角ノ分	
10-19-18-5	覚(石代請求)	年未詳3月21日	横切紙	1通	基作代伝右衛門→堤方請負両方	
10-19-19	覚(代銀書付)	年未詳6月1日	横継紙	1通	小野→(宛名なし) 人夫賞・石代	
10-19-20	覚(代銀受取)	辰年7月8日	横継紙	1通	浜辺屋→新開周平	
10-19-21	覚(代銀書付)	年月日未詳	横継紙	1通	服部屋→新開元方 樋方木代・会所入用他	
10-19-22	覚(代銀書付)	年未詳6月22日	横切紙	1通	ときや→新開入用夫周平	
10-19-23	覚(金受取)	年未詳5月1日	横切紙	1通	大黒丸条助→中島屋	
10-19-24	四月十二日 沖堤砂先坪持入札控	年未詳4月12日	横折紙	1通		
10-19-25	覚(代銀書付)	辰年7月	横継紙	1通	塩喜十郎→新開 てさげ・かいさし代	

10-19-26	覚(沖新開入用銀遣し)	辰年7月5日	横継紙	1通	彦左衛門→源介・小十郎	
10-19-27	覚(代銀書付)	年月日未詳	横継紙	1通	樋方材木代他	
10-19-28	覚(代銀書付)	辰年7月	横継紙	1通	中屋兵蔵→新田元請 松代	
10-19-29	覚(代銀書付)	年未詳3月7日	横継紙	1通(2枚)	三木や佐太郎宛塩飽大工弥八石船代書付とつる新田庄屋宛表	
10-19-30	[材木代銀書付]			1纏め(2通)	屋亀蔵石船代書付を継合せ	10-19-30-1は10-19-30-2を巻いている
10-19-30-1	覚(代銀書付)	辰年6月	横切紙	1通	亀介→佐太郎 材木代	
10-19-30-2	[材木書付]	年未詳7月5日	横切紙	1通	上亀介→(宛名なし)	
10-19-31	覚(代銀書付)	辰年3月10日	横切紙	1通	橋本屋恵助→三木屋 材木代	
10-19-32	[石請負方書付]			1包(2通)		10-19-32-1~2包紙で一包 (包紙上書)「石請負方書附式通 腕村」
10-19-32-1	覚(代銀受取)	天保3年4月	縦継紙	1通	石請負人串野山忠吉・うて喜左衛門外5名→新開請負元方上成	
10-19-32-2	覚(代銀請求)	年月日未詳	横継紙	1通	小野延太・倉敷大橋金平 新開堤石入用につき石辻注文の手付金	
10-19-33	鶴新田覚(代銀書付)	年未詳5月16日~22日	美・横長	仮1冊	石代	
10-19-34	[銀書付]	年月日未詳	横折紙	1通		
10-19-35	覚(代銀書付)	年未詳4月11日	横切紙	1通	亀介→佐太郎 材木代	
10-19-36	[銀銭勘定書付]			1纏め(3通)		10-19-36-1~3一纏め
10-19-36-1	覚(銀銭勘定書付)	辰年3月14日	横継紙	1通	郡屋多郎→伊庭	
10-19-36-2	三月廿一日銭改	年未詳3月21日	横切紙	1通		
10-19-36-3	銭欠覚	年月日未詳	横継紙	1通		
10-19-37	[銀請求]	年未詳7月8日	横切紙	1通	角屋柳延→長右衛門 野取より本帳上らないため	
10-19-38	覚(改銭両替)	辰年6月21日	横継紙	1通	都喜屋→新開周平	
10-19-39	三月十七日晚持参樋方引当米屋伊左衛門より書付差越候写	年未詳3月17日	横切紙	1通	質銀書付	
10-19-40	[代銀書付]	年月日未詳	横切紙	1通	花源→(宛名なし) 切手代	
10-19-41	覚(代銀書付)	辰年4月3日	横継紙	1通	大黒屋文介→新開庄屋 極上之三折四状代	
10-19-42	覚(代銀書付)	辰年5月14日	横切紙	1通	みつや岩吉→中島屋 千代露切手、大杉束、水引、かつを代	
10-19-43	覚(代銀書付)	年未詳6月21日	横切紙	1通	岩吉→周平 車えひ代	
10-19-44	覚(米代銀請求)	年未詳5月24日	横折紙	1通	石工彦蔵→役所	
10-19-45	覚(代銀受取)	辰年5月2日	横継紙	1通	鍛冶屋源五郎→油屋 金しよれん代	
10-19-46	覚(代銀請求)	年未詳4月3日	横継紙	1通	かじや小左衛門→新開周平取次 すき鋏、かな鋏代	
10-19-47	覚(代銀書付)	年月日未詳	横継紙	1通	亀介→佐太郎 材木代	
10-19-48	[代銀請求書付]	年未詳7月8日	横切紙	1通	串ノ山角屋→あらかや 大ノ藤吉どろつみ代	
10-19-49	覚(代銀受取)	年未詳6月24日	横切紙	1通	中〇屋→周平	
10-19-50	覚(代銀受取)	辰年6月晦日	横切紙	1通	備前屋長市→広島屋周平 米代	
10-19-51	覚(代銀請取)	年未詳6月22日	横切紙	1通	島屋松蔵→鶴新開会所	
10-19-52	覚(代銀書付)	年未詳5月3日	横切紙	1通	和泉屋→鶴新開元方 空樽代	
10-19-53	覚(預り銀書付)	年未詳5月25日	横継紙	1通	島屋松蔵→新開元方	
10-20	[新開普請関係書類]			1括り(1冊2通3袋3纏め)		10-20-1~9紐で一括り
10-20-1	[辻要用書類]			1袋(12通1包)		10-20-1-1~13紐で一括りして袋に入れている (袋上書)「辰三月より 辻要用書類入」
10-20-1-1	[辰年辻立替物控]			1包(4通)		10-20-1-1-1~4包紙で一包 (包紙上書)「辰年辻立替物控」
10-20-1-1-1	[会所元方宛彦造・佐太郎口上]	辰年6月22日	縦切紙	1通	樋方一条にて急入用につき銀借用依頼	包紙あり(包紙上書)「小書付壺通 角屋 三木屋」
10-20-1-1-2	覚(金銀勘定書付)	年月日未詳	横切紙	1通		
10-20-1-1-3	覚(樋方請負銀請取)	年未詳12月15日	横切紙	1通	樋方請負小十郎・八十太→鶴新田後見源助	
10-20-1-1-4	覚(銀勘定書付)	辰年12月	横切紙	1通		
10-20-1-2	覚(金銀預り)	辰年7月6日	横切紙	1通	弥平治→源介 普請入用銀のうち樋方へ渡す分	包紙あり(包紙上書)「辰七月 普請入用銀庄屋弥平治預り書付」
10-20-1-3	覚(樋方請負銀請取)	辰年7月6日	横継紙	1通	樋方請負八十太・同小十郎→鶴新田庄屋三宅弥平治・同後見源助	包紙あり(包紙上書)「辰七月六日 樋方請負銀請取通」
10-20-1-4	覚(樋方請負銀請取)	辰年6月19日	横切紙	1通	樋方請負小十郎・八十太→鶴新田庄屋三宅弥平治・同後見源助	包紙あり(包紙上書)「書付 壺」
10-20-1-5	覚(為替銀勘定)	年月日未詳	横継紙	1通		
10-20-1-6	議定証文之事(写)	天保3年3月	縦継紙	1通	鶴新田岡堤修覆入用について	
10-20-1-7	議定証文之事(案文)	年月日未詳	縦切紙	1通	岡新開堤の修覆について	朱筆の添削あり
10-20-1-8	引渡申地所之事(写)	年月日未詳	縦継紙	1通	鶴新田庄屋弥平治・同後見源助・開発人惣代地持惣代好松・後吉→延太・金平 沖新開地所の引渡し	
10-20-1-9	[大橋源助宛大野八十太用状]	年未詳4月27日	横切紙	1通	樋方入用銀借用につき庄屋後見の奥印依頼	(上書)「倉敷大橋源助様 西之浦大野八十太 玉机下」
10-20-1-10	覚(樋方請負銀受取)	天保3年3月11日	縦切紙	1通	受負人基作代伝右衛門・証人小十郎→鶴新田庄屋後見源助	
10-20-1-11	覚(樋方請負銀請取)	辰年3月12日	横切紙	1通	伊左衛門・証人小十郎→鶴新田庄屋後見源助	
10-20-1-12	覚(樋方請負銀受取)	辰年3月10日	横切紙	1通	樋方請負人基作代伝右衛門・証人八十太→鶴新田庄屋後見源助	
10-20-1-13	覚(銀勘定書付)	辰年3月11日	横継紙	1通	片島初太郎→三會中	

10-20-2	[樋方買物立替書類]			1袋(1通1括り)		10-20-2-1~2-1袋 (袋上書)「樋方買物立替書類」
10-20-2-1	樋方材木(入用銀書付)	年月日未詳	横折紙	1通		
10-20-2-2	[代銀書付]			1括り(13通)		10-20-2-2-1~13紐で一括り
10-20-2-2-1	覚(代銀受取)	辰年7月9日	横継紙	1通	表屋亀介→みき屋佐太郎	
10-20-2-2-2	覚(代銀書付)	年未詳3月3日	横継紙	1通	表屋亀介→つる新田庄屋	
10-20-2-2-3	覚(代銀書付)	辰年6月2日	横切紙	1通	一ノ口川口屋宇兵衛→上成亀介 材木代	
10-20-2-2-4	覚(代銀請取)	辰年7月	横切紙	1通	はっとりや万兵衛→新開元方 材木代、舟ちん	
10-20-2-2-5	覚(代銀書付)	辰年7月	横切紙	1通	橋本屋恵助→三木屋武右衛門 材木代	
10-20-2-2-6	覚(代銀書付)	辰年4月	横切紙	1通	三之助→新開元方 材木代	
10-20-2-2-7	[代銀書付]	年月日未詳	横切紙	1通	材木取越や材木かけ合の人足代	
10-20-2-2-8	覚(代銀書付)	年未詳4月2日	横継紙	1通	川辺山田屋八五郎→倉敷中島屋源助 材木代	
10-20-2-2-9	覚(代銀書付)	辰年4月4日	横折紙	1通	新木屋平次郎→村ノ油屋後吉 材木代	
10-20-2-2-10	材木方扣	年月日未詳	横継紙	1通		
10-20-2-2-11	覚(代銀書付)	年未詳3月20日	横継紙	1通	川辺山田屋八五郎→倉敷小十郎・上成源助 材木代	
10-20-2-2-12	覚(代銀書付)	辰年4月3日	横継紙	1通	川辺山田屋八五郎→新開元方 材木代	
10-20-2-2-13	覚(銀受取)	年未詳3月22日	横切紙	1通	二ち市十郎→(宛名なし)	
10-20-3	[茶方算用書付并茶小屋仮米算用書類]			1袋(1通1纏め)		10-20-3-1~2-1袋 (袋上書)「茶方算用書付并茶小屋仮米算用書類」
10-20-3-1	覚(代銀書付)	年未詳5月15日	横継紙	1通	えちこや佐平次→川入村松八郎 白米代	
10-20-3-2	[代銀書付]			1纏め(3通)		10-20-3-2-1~3重ねて一纏め
10-20-3-2-1	覚(代銀書付)	辰年7月8日	横切紙	1通	菊屋才助→甚吉 人夫賃、醤油代	
10-20-3-2-2	覚(代銀書付)	辰年4月	横折紙	1通	米屋仙八→庄蔵 はし、しゃく、青板、にしめ代他	
10-20-3-2-3	覚(代銀書付)	年月日未詳	横折紙	1通	白米代	
10-20-4	[代銀書付]			1纏め(3通)		10-20-4-1~3一纏め
10-20-4-1	覚(代銀書付)	年月日未詳	横切紙	1通	中間地売払代銀割合壹歩ノ分	
10-20-4-2	覚(入用銀書付)	年月日未詳	横継紙	1通	北壱割新井路堀貫賃、北堤根井路浚へ他	
10-20-4-3	覚 鶴新田辻銀差引控	年月日未詳	横切紙	1通		
10-20-5	好助口上覚	年未詳4月6日	横折紙	1通	堤方杭木代銀入用のこと、銀遣しのこと他	
10-20-6	覚(代銀書付)	年月日未詳	横折紙	1通	会所屋鋪米代、酒代他	
10-20-7	[大橋源介宛書状類]			1纏め(4通)		10-20-7-1は10-20-7-2~4を巻いている
10-20-7-1	[新開関係条文書付]	年月日未詳	横切紙	1通	樋居込之事、悪水樋番給米之事、文化中割金平所持替地之事他	
10-20-7-2	[大橋源助宛三宅弥平治書状]	年未詳6月3日	横継紙	1通	惣方へ廻文の件で委細承知と自分より延引を申し遣す旨報知	包紙あり(包紙上書)「大橋源介様 三宅弥平次 貴報」
10-20-7-3	[大橋源介宛有元彦造書状]	年未詳7月3日	横切紙	1通	来訪依頼	封筒あり(封筒上書)「御会所二而 大橋源介様 有元彦造 玉下」
10-20-7-4	覚(替銀受渡)	辰年6月7日	横継紙	1通	小野→大橋 上金屋小野替銀	
10-20-8	[懷中手備加恵并書付]			1纏め(1冊3通 仮1冊)		二つ折りの10-20-8-1の間に10-20-8-2~5が挟まれている
10-20-8-1	天保七乙申年正月吉日より 懷中手備加恵	天保7年正月吉日	美・横半折	1冊		
10-20-8-2	[新開惣入用算用書付]	年月日未詳	美・横長	仮1冊		
10-20-8-3	[人別落札銀書付]	戌年10月11日	横折紙	1通		
10-20-8-4	覚(代銀算用書付)	年月日未詳	横継紙	1通	葎代	
10-20-8-5	当酉御年貢通写し	酉年	横継紙	1通		
10-20-9	辰三月十日 勘定帳	辰年3月10日~7月8日	半・横長	1冊		
10-21	[替地一条関東歎訴諸入用書類]			1袋(2冊5通仮 2冊1包)		10-21-1~10-1袋 (袋上書)「御替地一条関東御歎訴諸入用 天保卯年より 別段入用取調子書類袋 鶴新田」(袋裏書)「出府人 後見源介代人 甚太夫 開発人惣代西原村後吉 同喜久太」
10-21-1	[出府諸入用書付]	卯年9月10日~10月25日	美・横半折	仮1冊	宅三持参旅用金、状使賃他	
10-21-2	卯九月日 鶴新田出府一条控	卯年9月	美・横半折	1冊		
10-21-3	[金請取書]			1包(2通)		10-21-3-1~2包紙で一包 (包紙上書)「請取書 壹通」
10-21-3-1	覚(金受取)	卯年9月10日	横切紙	1通	福岡屋宅三→中島屋源助	
10-21-3-2	覚(残金請取)	卯年12月27日	横切紙	1通	福岡屋甚太夫→大橋源助	
10-21-4	覚(代銀書付)	年未詳10月17日	横継紙	1通	大黒屋→新宅 江戸使状賃	
10-21-5	覚(入金書付)	年月日未詳	横折紙	1通	元メ神保氏、加判多久氏への謝儀他	
10-21-6	覚(書状及賃銀受取)	年未詳12月19日	横継紙	1通	佐伯屋藤四郎→大黒屋文助 江戸大和屋宛書状	
10-21-7	覚(書状及賃銀受取)	年未詳11月12日	横継紙	1通	佐伯屋藤四郎→大黒屋文助 江戸馬喰町三丁目大和屋宛書状	
10-21-8	覚(書状及賃銀受取)	年未詳10月25日	横継紙	1通	佐伯屋藤四郎→倉しき大黒屋文助	
10-21-9	江戸入用割賦帳	年月日未詳	美・横長	仮1冊		
10-21-10	天保三辰十月 関訴入用割賦指引	天保3年10月	美・横長	1冊		
10-22	[天保開恒屋此方仲間地引分ヶ算用書類]			1袋(1冊6通仮 2冊)		10-22-1~9一袋 (袋上書)「天保七申年七月晦日 鶴新田天保開恒屋此方仲間地此度相談之上關取二而引分ヶ算用書類入」(袋裏書)「絵図共入 中島屋」



10-22-1	天保七丙申年七月 天保開小野大橋兩人持之分地 割算用控	天保7年7月	美・横長	1冊		
10-22-2	覚(地割算用書付)	丁酉年2月15日	美・横長	仮1冊	上成小野→倉敷大橋	
10-22-3	[野取図]	年月日未詳	半・横長	仮1冊	南六ノ割、南五ノ割、南四ノ割、北八ノ割	
10-22-4	請勘定控	年月日未詳	横折紙	1通	天保開仲間地申十一月十九日より同廿一日迄庄屋東作立会検 地相改に関する勘定書付	
10-22-5	覚 堤形検地	年月日未詳	横折紙	1通		裏は小作畝改
10-22-6	[南六ノ割吉番他売買算用書付]	年月日未詳	横切紙	1通		
10-22-7	[仲間地割算用書付]	年月日未詳	横切紙	1通		
10-22-8	覚(地改仲間地請勘定控)	申年11月22日	横切紙	1通		(端裏書)「申十一月廿二日地改仲間地請勘定控」
10-22-9	覚(地割算用書付)	年月日未詳	横継紙	1通		
10-23	[鶴新田関係書類]			1括り(1括り2 袋)		10-23-1~3紐2本で一括り
10-23-1	[大橋源助宛書状類]			1括り(19通1 包)		10-23-1-1~20紐で一括り
10-23-1-1	[大橋源助宛為助書状]	年未詳7月13日	横継紙	1通	祝儀丸雪切手への御礼と鶴新田飯代通送付	(上書)「大橋源助様 為助」包紙あり(包紙上書)「大橋源助様 淀 屋為助 鶴新田飯代通在中」
10-23-1-2	[大橋源助宛淀屋為介書状]	年未詳7月12日	横継紙	1通	祝儀酒切手への御礼と鶴新田飯代通送付	包紙あり(包紙上書)「大橋源助様 淀屋為助 貴下飯代書遣候在中」
10-23-1-3	[中島屋源助宛淀屋次左衛門外1名書状]	年未詳12月13日	横継紙	1通	浅口郡二納銀を今日取調へ正銀で上納するのに正小玉入用につ き両替依頼	(上書)「中島屋源助様 淀屋より次左衛門 同十右衛門 貴下要用」
10-23-1-4	[源助宛次左衛門外1名書状]	年未詳12月13日	横継紙	1通	小玉銀について巻貫不足につき世話依頼	(上書)「源助様 次左衛門 十右衛門 再御答」
10-23-1-5	おほへ(銀受取)	年未詳4月13日	横切紙	1通	ひらのや→中島屋	
10-23-1-6	[源介宛弥平次書状]	年未詳7月2日	横継紙	1通	惣代中主人へ願書并沖新開仕方下積帳等を調へ次第貴家へ遣 すよう頼んでいる旨報知	(上書)「源介様 淀屋二而 弥平次 貴下用事」
10-23-1-7	[用状]	年月日未詳	横切紙	1通	増間敷并杭木直直しのこと	
10-23-1-8	[大橋源介宛三宅弥平治書状]	年未詳3月2日	横継紙	1通	6日まで他行のため、沖新開見分の延引取計らい依頼	包紙あり(包紙上書)「倉敷大橋源介様 西之浦三宅弥平治 貴下用 書」
10-23-1-9	[大橋源介宛三宅弥平治書状]	年未詳6月10日	横切紙	1通	鶴新田の件で相談があるが、麻疾で難義しており見合せのこと と十日切高反別書上帳送付の報知	封筒あり(封筒上書)「大橋源介様 三宅弥平治 貴下用書」
10-23-1-10	[大橋源介宛三宅弥平治書状]	年未詳4月29日	横継紙	1通	明日代官入陣の世話依頼	封筒あり(封筒上書)「大橋源介様 三宅弥平治 貴下用書」
10-23-1-11	[大橋源介宛三宅弥平治書状]			1包(2通)		10-23-1-11-1~2一包 封筒あり(封筒上書)「大橋源介様 三宅弥 平治 貴答」(封筒裏書)「村用」
10-23-1-11-1	[大橋源介宛三宅弥平治書状]	年未詳9月29日	横継紙	1通	見舞いの着への御礼と相談があるので来訪依頼	
10-23-1-11-2	[年貢初納銀村別銀書付]	丑年9月2日	横継紙	1通	倉鋪村、鶴新田他14ヶ村	
10-23-1-12	[人別過不足銀書付]	年月日未詳	横折紙	1通	民之丞、彦左衛門他6名	
10-23-1-13	[大橋源介宛三宅基作書状]	丑年11月晦日	横切紙	1通	今明日中に上成へ移ること報知、流作場分年貢銀上納のため 平五郎を遣すので借用依頼	封筒あり(封筒上書)「大橋源介様 三宅基作 貴下用事」(封筒裏 書)「丑十一月晦日銀談書状」
10-23-1-14	[大橋源助宛小野延太書状]	年未詳12月10日	横継紙	1通	去暮新開仕借へ用立銀子を早春まで延引すると基作の沙汰が あり迷惑につき、当暮までになるよう取計らい依頼	包紙あり(包紙上書)「大橋源助様 小野小十郎 貴下」
10-23-1-15	[大橋源介宛基作書状]	年未詳11月28日	横継紙	1通	相談のため郡屋へ出張依頼	(上書)「大橋源介様 郡屋二而基作 貴下用」
10-23-1-16	乍恐以書付奉願上候(案文)	(寅)年	縦継紙	1通	新開普請場破損のため年季と上納銀について歎願	
10-23-1-17	差入申一札之事(案文)	年月日未詳	縦継紙	1通	鶴新田周平・親類西之浦誰→鶴新田庄屋弥平次・後見源介 引 越につき西之浦役人より人別送手形等差出しのこと	墨書で反故にしている(端裏書)「一札」
10-23-1-18	乍恐以書付奉願上候	年月日未詳	縦継紙	1通	浅口郡鶴新田庄屋弥平次・後見源介→倉敷役所 他領隣村より 入作は不都合につき西之浦周平移転許可願	(端裏書)「村役人より差出候願書」(端裏朱書)「此分追而宗門帳 一緒二差出可申事」
10-23-1-19	乍恐以書付奉願上候	(寅)年	縦継紙	1通	当寅年の上納について猶予願	(端裏朱書)「寅七月廿八日差出候控」
10-23-1-20	差上申一札之事	文政13年7月28日	縦紙	1通	備中国浅口郡鶴新田庄屋弥平次・同国窪屋郡倉敷村後見年寄 源介→倉敷役所	(端書)「表 備中国浅口郡鶴新田見取米増米請印帳」
10-23-2	[鶴新田割賦引合物書類]			1袋(仮2冊1包 1綴1纏め)		10-23-2-1~5一袋(袋上書)「文政十三年庚寅十一月 鶴新田割 賦引合物書類入」
10-23-2-1	[鶴新田割賦書付]	年月日未詳		1綴(10通)		
10-23-2-2	[普請落札書付]			1纏め(2通)		10-23-2-2-1~2重ねて一纏め
10-23-2-2-1	二月三日立会評義(普請落札書付)	年未詳2月3日	縦紙	1通	沖新開普請所他	(端裏朱書)「寅年諸普請入札渡し分控」
10-23-2-2-2	[普請落札書付]	年月日未詳	横折紙	1通	文政三ノ割下ノ箱樋他2ヶ所伏見屋、西原落札	
10-23-2-3	覚(入用銀書付)	寅年11月	美・横長	仮1冊	淀屋為助→鶴新田庄屋弥平次、後見源助 鶴新田より使代他	
10-23-2-4	[銀立替書付]			1包(2通)		10-23-2-4-1~2包紙で一包(包紙上書)「丑ノ十二月 土割銀立替 之分」
10-23-2-4-1	覚(郡中入用銀請取)	丑年12月17日	横切紙	1通	川崎平右衛門手代向島岸郎→(宛名なし)	
10-23-2-4-2	覚(銀立替書付)	丑年12月17日	横継紙	1通		
10-23-2-5	覚(入用銀受取)	寅年7月18日	美・横長	1通	淀屋為助→鶴新田庄屋弥平次、同源助 化政使代他	
10-23-3	[鶴新田上納物御請取書類]			1袋(仮2冊9通 1包)		10-23-3-1~12一袋(袋上書)「文政十二丑年九月 鶴新田上納物 御請取書類入」
10-23-3-1	[大橋源介宛三宅弥平治書状]	年未詳12月26日	横継紙	1通	銀取替依頼と過上銀遣し	
10-23-3-2	[沖新開関係条文書付]	年月日未詳	横折紙	1通	西原普請受合増銀之事他	

10-23-3-3	覚(取替銀請取)	文政11年12月26日	横継紙	1通	鶴新田庄屋弥平治→倉敷金平	
10-23-3-4	覚(銀書付)	年月日未詳	横切紙	1通	忒の割分、岡崎分	
10-23-3-5	覚(取替銀請取)	文政12年6月8日	横切紙	1通	鶴新田庄屋弥平治→倉敷金平	
10-23-3-6	[大橋源介宛三宅弥平治書状]	年未詳6月8日	横切紙	1通(2枚)	南鏡銀取替依頼	(上書)「大橋源介様 三宅弥平治 貴下用」包紙あり(包紙上書)
10-23-3-7	[入用銀書付]	年月日未詳	横切紙	1通	文化、文政	「大橋源介様 三宅弥平治 貴下要用」
10-23-3-8	[大橋宛三宅用状]	年未詳6月8日	横切紙	1通	借用依頼中の南鏡銀受取	(上書)「大橋様 三宅 貴館」
10-23-3-9	[文化入用辻銀書付]	年月日未詳	横継紙	1通		
10-23-3-10	[御用書類并証文]			1包(5通1包)		10-23-3-10-1~6包紙で一包(包紙上書)「御用書類入 外二証文三通」
10-23-3-10-1	[郡中入用亥残銀子ノ先銀御請取切手]			1包(1通2纏め)		10-23-3-10-1-1~3包紙で一包(包紙上書)「郡中入用残銀子ノ先銀御請取切手式枚入 御役所 亥十二月七日納 鶴新田」
10-23-3-10-1-1	[郡中銀受取書付]			1纏め(2通)		10-23-3-10-1-1-1~2重ねてたたんでいる
10-23-3-10-1-1-1	覚(郡中銀子残銀請取)	子年12月11日	縦切紙	1通	大草太郎右馬元手代不詰合大坪甚兵衛・森規三郎→(宛名なし)	
10-23-3-10-1-1-2	覚(郡中銀丑先銀請取)	子年12月11日	縦切紙	1通	大草太郎右馬元手代不詰合大坪甚兵衛・森規三郎→(宛名なし)	
10-23-3-10-1-2	[郡中銀受取書付]			1纏め(2通)		10-23-3-10-1-2-1~2重ねてたたんでいる
10-23-3-10-1-2-1	覚(郡中銀受取)	亥年12月7日	縦切紙	1通	大草太郎右馬手代大坪甚兵衛→(宛名なし)	
10-23-3-10-1-2-2	覚(郡中銀受取)	亥年12月7日	縦切紙	1通	大草太郎右馬手代大坪甚兵衛→(宛名なし)	
10-23-3-10-1-3	[郡中銀書付]	年月日未詳	横切紙	1通	亥残銀、子先銀	
10-23-3-10-2	覚(子年貢銀差引)	子年10月1日	横継紙	1通	水沢→鶴新田	
10-23-3-10-3	覚(子年貢銀差引)	子年12月2日	横継紙	1通	水沢常太郎→鶴新田源助	
10-23-3-10-4	覚(丑年貢銀差引)	丑年9月晦日	横継紙	1通	水沢→鶴新田	
10-23-3-10-5	覚(丑年貢銀差引)	丑年11月晦日	横継紙	1通	水沢→鶴新田	
10-23-3-10-6	覚(子残銀及丑先銀書付)	子年12月11日	横継紙	1通	水沢常太郎→鶴新田源助	
10-23-3-11	覚(入用銀書付)	丑年12月	美・横長	仮1冊	淀屋湊助→鶴新田庄屋基作・後見源助 飯代、かこ人足、酒肴代他	
10-23-3-12	覚(入用銀受取)	丑年7月13日	美・横長	仮1冊	よどや湊助→鶴新田庄屋弥平次・後見源助 ろうそく、使、酒肴代他	
10-24	[天保三辰年書類]			1括り(5冊仮1冊3袋)		10-24-1~9紐で一括り(紐上書)「天保三辰年書類」
10-24-1	[備中国浅口郡鶴新田文化開文政開御検地請野帳写]			1袋(2冊)		10-24-1-1~2一袋(袋上書)「天保二卯年四月 備中国浅口郡鶴新田文化開文政開御検地請野帳写 忒冊」(袋裏書)「後見庄屋源介」
10-24-1-1	天保二年卯四月 備中国浅口郡鶴新田地先新開場検地請野帳(写)	天保2年4月	美・横長	1冊	鶴新田庄屋後見当代御代官所備中国窪屋郡倉敷村年寄源介・同新田兼帯庄屋山崎寿丸知行同国浅口郡西之浦村庄屋弥平次外6名→古橋新左衛門様御手附宇佐美律右衛門外2名	
10-24-1-2	天保二年卯四月 備中国浅口郡鶴新田見取場検地請野帳(写)	天保2年4月	美・横長	1冊	鶴新田後見庄屋当御代官所備中国窪屋郡倉敷村年寄源介・同新田兼帯庄屋山崎寿丸知行同国浅口郡西之浦村庄屋弥平次外6名→古橋新左衛門様御手附宇佐美律右衛門外2名	
10-24-2	[文化文政反別書上帳控]			1袋(2冊)		10-24-2-1~2一袋(袋上書)「天保二辛卯年卯二月 文化文政反別書上帳控 浅口郡鶴新田庄屋後見」
10-24-2-1	天保二年卯二月 大草太郎右馬様御検地文化開反別小前帳(控) 浅口郡鶴新田	天保2年2月	美・横長	1冊	鶴新田庄屋弥平次・後見源助→倉敷役所	(表紙付紙上書)「大草様御検地請野帳写 卯二月書上候控」
10-24-2-2	天保二年卯二月 文政開反別小前帳(控) 浅口郡鶴新田	天保2年2月	美・横長	1冊	鶴新田庄屋弥平次・後見源助→倉敷役所	(表紙付紙上書)「御検地之節書上帳控」
10-24-3	備中国浅口郡鶴新田 見取場請野帳写	(文政12年)	美・横半折	1冊		袋入り(袋上書)「鶴新田岡分御検地帳写 忒冊 同所文化開請野帳写 忒冊 右本紙者弥平次宅二有之候」「鶴新田岡分御検地帳 忒冊」は墨書で抹消(袋裏書)「文政十二丑年十月十一日請取 鶴新田庄屋後見源介」
10-24-4	[鶴新田検地取調関係書類]			1袋(1冊1括り)		10-24-4-1~2一袋(袋上書)「天保二辛卯四月二日 鶴新田御検地御取調書類控入 外二書上帳忒冊別袋入添請野帳御下被成候写取候忒冊忒袋添」
10-24-4-1	[鶴新田検地取調関係書類]			1括り(8通)		10-24-4-1-1~8紐で一括り
10-24-4-1-1	[大橋源助宛淀屋為助書状]	年未詳3月26日	横継紙	1通	鶴新田検地出役で宇佐美様外2名が28、29日の内に来訪の件報知	(上書)「大橋源助様 淀屋為助 貴下要用 上掛封御免被下候」
10-24-4-1-2	[大橋源助宛よとや為助書状]	年未詳3月28日	横継紙	1通	鶴新田検地出役の件来月2日に延引	(上書)「大橋源助様 よとや為助 貴下当用」
10-24-4-1-3	[大橋源助宛為助書状]	年月未詳1日	横継紙	1通	明日出役で、福田新田より西之浦までの乗船人足を福田新田より出す件について報知	(上書)「大橋源助様 為助 急用書」
10-24-4-1-4	[大橋源介宛三宅弥平治用状]	年未詳3月22日	横切紙	1通	化政帳面并絵図面等借用、明日返却のこと	包紙あり(包紙上書)「大橋源介様 弥平治 用答」

10-24-4-1-5	[大橋源介宛三宅弥平治書状]	年未詳2月24日	横継紙	1通	見分は来月節句後でそれまでに絵図面を認めるようにとの沙汰なので、郡屋より帰宅次第とりかかる	(上書)「大橋源介様 三宅弥平治 貴下用書」
10-24-4-1-6	[源介宛弥平治書状]	年未詳3月27日	横継紙	1通	出役の期日28、29日がどちらか分からず不都合のこと 当日の早出依頼 家内瘧疾の薬について御礼及返却	
10-24-4-1-7	御吟味二付申上候書附	天保2年9月	縦継紙	1通	当御代官所備中国浅口郡鶴新田開発人惣代後吉外1名・同庄屋弥平次煩二付代伝右衛門・庄屋後見源介→倉敷御役所 本免上納について新開場馴まで弁納難儀につき歎願	
10-24-4-1-8	差上申一札之事(写)	年月未詳8日	縦切紙	1通(2枚)	堤自普請目論見について	(端裏書)「卯九月十六日御請書写」
10-24-4-2	天保二卯年 鶴新田文化開文政開御検地御高請之節日記 鶴新田庄屋後見	天保2年	半・縦	1冊		
10-24-5	[岡新開西角始築立銀書付]	戊年2月10日	美・横長	仮1冊		
10-24-6	文政十一年子五月 鶴新田用水新井路堀割樋方入用帳	文政11年5月	美・横長	1冊		
10-24-7	文政十一年子五月 鶴新田用水新井路堀割并樋方入用帳	文政11年5月	美・横長	1冊		
10-24-8	文政十三年七月 寅年宗門御改帳 控 備中浅口郡鶴新田	文政13年7月	半・縦	1冊	備中浅口郡西之浦円光寺・備中浅口郡鶴新田庄屋西之浦弥平次・後見倉敷村源介→倉敷役所 開発人金平借地周平について	
10-24-9	高反別帳 備中浅口郡鶴新田	文政13年5月	半・縦	1冊	鶴新田庄屋弥平治・同後見源助→倉敷役所	
10-25	[鶴新田名寄帳写]			1袋(4冊1通)		10-25-1~5一袋(袋上書)「浅口郡鶴新田之内岡開文化開文政開沖新開名寄帳写式冊 本帳者弥平次宅二有之候」(袋裏書)「鶴新田庄屋後見源介」
10-25-1	文政十二年丑五月日 鶴新田之内沖新開反別名寄帳	文政12年5月	半・横列	1冊		
10-25-2	天保三辰年 文化開文政開名寄帳 鶴新田	天保3年	美・横長	1冊		
10-25-3	文政十二年丑三月 鶴新田名寄扣	文政12年3月	美・横半折	1冊		
10-25-4	天保三年辰四月 沖新開反別名寄帳 鶴新田	天保3年4月	美・横長	1冊		
10-25-5	[人別畝数書付]	年月日未詳	横折紙	1通	2町6反1畝27歩金平 外21件	
10-26	[鶴新田村用書類]			1袋(1冊仮1冊 1袋3括り1枚)		10-26-1~7袋に入れた上から紐で一括り(袋上書)「文政十一子年正月より三月迄 鶴新田村用書類袋」(袋裏書)「鶴新田後見」
10-26-1	[書状類]			1括り(26通1纏め1包)		10-26-1-1~28紐で一括り
10-26-1-1	[大橋源介宛三宅弥平治書状]	年未詳4月13日	横継紙	1通	川西村々一統の返答が存外なる次第だった件につき役所へ届けるように依頼	包紙あり(包紙上書)「大橋源介様 三宅弥平治 貴下用」
10-26-1-2	[大橋源介宛三島民之丞書状]	年未詳4月9日	横継紙	1通	昨日の岡崎開一同見分の様子について報知と、普請につき返答猶予及指図の依頼	(上書)「大橋源介様 三島民之丞様 要用 略封御免可被下候」
10-26-1-3	[大橋源介宛三宅弥平治書状]	年未詳10月26日	横継紙	1通	依頼中の一件で貴家へ参上すべきか伺い	(上書)「大橋源介様 三宅弥平治 貴下用」
10-26-1-4	覚(書状請取)	年未詳11月24日	横切紙	1通	三宅弥平治→大橋源介	
10-26-1-5	[中原弥太郎外2名宛書状]	年未詳2月21日	横継紙	1通	蕪崎新井路の取締書を23日に惣方と取替したいので指図依頼と、25日より普請取掛りの届出	
10-26-1-6	覚(普請取掛り場所等書付)	年月日未詳	横折紙	1通		
10-26-1-7	[宛名及差出人書付]	年月日未詳	横継紙	1通	宛名は西原村名主友太郎外15名 差出人は鶴新田開発人歩方鶴新田庄屋後見源介外11名	
10-26-1-8	三月朔日集会申談覚	年未詳3月1日	横折紙	1通		
10-26-1-9	杭打入札扣	年未詳2月25日	横折紙	1通		
10-26-1-10	[書状]			1纏め(2通)		10-26-1-10-1は10-26-1-10-2を巻いている
10-26-1-10-1	[大橋源介宛三宅弥平治書状]	年未詳2月22日	横切紙	1通	水江片島連名書状送付	(上書)「大橋源介様 三宅弥平治 貴下用」
10-26-1-10-2	[弥平次・源介宛弥太郎外1名書状]	年未詳2月22日	横切紙	1通	鶴新開用水道儀定書につき明23日本水門会所10ヶ村井組一同で集会について報知	
10-26-1-11	[大橋源介宛三宅弥平治書状]	年未詳2月24日	横継紙	1通	出張より帰宅するよう依頼	(上書)「大橋源介様 三宅弥平治 貴下急用」
10-26-1-12	三月十三日壺番(入札銀書付)	年未詳3月12日	横切紙	1通		
10-26-1-13	[新開堤井路土内場間数書付]	年月日未詳	横折紙	1通		
10-26-1-14	[岡崎開沖堤等間数書付]	年月日未詳	横折紙	1通		
10-26-1-15	乍恐以書付御届奉申上候(案文)	年月日未詳	縦紙	1通	鶴新田用水道蕪崎新井路の普請取掛りと鶴新田西手の築立について	
10-26-1-16	[井路間数書付]	年月日未詳	縦紙	1通		
10-26-1-17	覚(入用銀書付)	年月日未詳	横継紙	1通	上成植出し為替之分、歩方引受普請入用他	
10-26-1-18	[大橋源介宛三宅弥平治書状]	年未詳5月21日	横継紙	1通	川西一条等相談のため明日普請場へ出張依頼	(上書)「大橋源介様 三宅弥平治 急要用」
10-26-1-19	[大橋宛三宅書状]	年未詳3月19日	横継紙	1通	明日差上の書付へ認め依頼	(上書)「大橋様 三宅 貴下用」
10-26-1-20	[大橋宛三宅書状]	年未詳4月10日	横切紙	1通	今夕参上予定につき都合伺い	(上書)「大橋様 三宅 用事」
10-26-1-21	[大橋源介宛三宅弥平治書状]	年未詳3月24日	横継紙	1通	昨日宮之浦にて川内組合出会有り、串之山水門尻堀割について開発人評議の上、2・3日中に返答すると答えた旨報知	(上書)「大橋源介様 三宅弥平治 貴下要用」
10-26-1-22	郡中掛り(銀算用書付)	年月日未詳	横切紙	1通		
10-26-1-23	[書状]			1包(2通)		10-26-1-23-1~2包紙で一包(包紙上書)「大橋源助様 小野小十郎 貴下」

10-26-1-23-1	[大橋源助宛小野延太書状]	年未詳正月5日	横継紙	1通	鶴新開昨年割後入用があり西之浦弥平次より出銀依頼につき内談のため与太郎差向けのこと	
10-26-1-23-2	[小野延太宛大橋源介書状控]	年未詳正月6日	横継紙	1通	年始挨拶と弥平治からの出銀依頼の件了承	(端裏書)「返事控 表書小十郎当」
10-26-1-24	[大橋源介宛三宅弥平治書状]	年未詳12月2日	横切紙	1通	浅口一郡割賦と鶴新田辻借一条について相談したく淀屋へ来訪依頼	(上書)「大橋源介様 三宅弥平治 貴下用」
10-26-1-25	[大橋源介宛三宅弥平治書状]	年未詳11月28日	横継紙	1通	岡新開辻借の儀委細承知 明日淀屋へ出向き直に相談する旨	包紙あり(包紙上書)「倉敷大橋源介様 西之浦三宅弥平治 用答」
10-26-1-26	[大橋源介宛三宅弥平治書状]	年未詳11月20日	横継紙	1通	忌中で不都合につき西原と相談するように依頼	包紙あり(包紙上書)「倉子城大橋源介様 三宅弥平治 貴下内用」
10-26-1-27	[大橋源介宛三宅弥平治書状]	年未詳3月23日	横切紙	1通(2枚)	地割の儀につき来月朔日立会の返答をした旨報知	包紙あり(包紙上書)「大橋源介様 三宅弥平治 貴下用」
10-26-1-28	[大橋源介宛三宅弥平治書状]	年未詳2月23日	横継紙	1通	新井路に義落合の様子について明日水江敬左衛門宅へ出向くよう依頼	包紙あり(包紙上書)「大橋源介様 三宅弥平治 貴下急用」
10-26-2	[書状類]			1括り(13通)		10-26-2-1~13紐で一括り
10-26-2-1	[大橋源介宛三宅弥平治書状]	年未詳正月16日	横継紙	1通	年番村への沙汰がないとの水江返答について心配していること	(上書)「大橋源介様 三宅弥平治 用答」
10-26-2-2	[大橋源介宛三宅弥平治書状]	年月未詳16日	横切紙	1通	牧氏書状の件了承と松井氏書状返却	(上書)「中屋二而 大橋源介様 三宅弥平治 用答」
10-26-2-3	[大橋源介宛中原徳二書状]	年月日未詳	横継紙	1通(2枚)	25日出会の件を両君引受に対し労い他	(上書)「大橋源介様 中原徳二 奉報」
10-26-2-4	[松井彦左衛門宛大橋源介書状]	年月未詳16日	横切紙	1通	水江の返答についての弥平治返書遣しのこと	(上書)「松井彦左衛門様 大橋源介 用事及貴答不申候」
10-26-2-5	[銀書付]	年月日未詳	横切紙	1通	橋、河、小者	
10-26-2-6	[大橋源介宛三宅弥平治・後吉書状]	年未詳4月14日	横折紙	1通	堀わり困難につき菊太を差向けるか出張依頼	包紙あり(包紙上書)「大橋源介様 三宅弥平治 貴下急用」
10-26-2-7	丁亥十二月二日西之浦三宅弥平治君江貞八郎使口上袖控	丁亥年12月2日	横継紙	1通	鶴新開へ川西悪水引入の風聞について	包紙あり(包紙上書)「貞八郎使口上袖控写し 亥十二月三日弥平次より来ル」
10-26-2-8	[大橋源介宛三宅弥平治書状]	文政11年12月20日	横切紙	1通(3枚)	借用銀返済	包紙あり(包紙上書)「大橋源介様 三宅弥平治 貴下銀札添」
10-26-2-9	[大橋源介宛三宅弥平治書状]	年未詳12月18日	横継紙	1通	鶴新田小前皆済書等の調印受取他	包紙あり(包紙上書)「大橋源介様 三宅弥平治 貴下要用」
10-26-2-10	[大橋源介宛三宅弥平治書状]	年未詳6月17日	横継紙	1通	14日樋場所へ水車を立替につき安堵のこと 川内年番が樋の内せき取払いの風聞を聞き及び要害にしてくれと申ししてきたこと他	包紙あり(包紙上書)「大橋源介様 三宅弥平治 貴下要用」
10-26-2-11	[大橋源介宛三宅弥平治書状]	年未詳8月3日	横継紙	1通	浅口一郡村々が出勤し、伝えるべきところ延引となり宥願い	(上書)「大橋源介様 よとや二而 三宅弥平治 貴下用」
10-26-2-12	[大橋源介宛三宅弥平治書状]	年未詳9月14日	横切紙	1通	鶴新田年貢当月29日限上納との仰付につき取替上納依頼	包紙あり(包紙上書)「大橋源介様 三宅弥平治 貴下用」
10-26-2-13	[大橋源助宛渡介書状]	年未詳7月12日	横継紙	1通	祝儀肴料御礼と鶴新田飯代受渡依頼	包紙あり(包紙上書)「大橋源助様 よとや湊助 貴下要用」
10-26-3	[書状類]			1括り(20通1包)		10-26-3-1~21紐で一括り
10-26-3-1	[廻状]			1包(2通)		10-26-3-1-1は10-26-3-1-2を巻いている
10-26-3-1-1	[米屋伊左衛門外9名宛源介・弥平次廻状]	年未詳2月29日	横継紙	1通	新開諸普請について相談のため明朔日代五郎宅で集会の案内 今日民之丞より相談・取極めができないと聞いたので廻状を出す旨報知	包紙が書状に貼り継がれている (包紙上書)「各様 源介 弥平次」
10-26-3-1-2	[三宅弥平次宛大橋源介口上]	年未詳2月29日	横継紙	1通	書付の2ヶ条について岡本氏へ相談の子細 27日水江集会へ立会依頼 儀定書認め替へにつき奥印依頼他	封筒あり(封筒上書)「三宅弥平次様 大橋源介 用事」
10-26-3-2	[大橋源介宛三宅弥平次書状]	年未詳2月26日	横継紙	1通		
10-26-3-3	蕪崎新井路(寸法書付)	子年3月	横継紙	1通		
10-26-3-4	[掛屋一件文通掛合状写]	文政11年11月	横継紙	1通	哲多郡初納銀不足一件の内済についての浅口郡惣代治左衛門外3名宛水沢常太郎後見正佐書状の写等	墨書で反故にしている (上書)「文政十一子十一月 掛屋一件文通掛合状式通写」
10-26-3-5	蕪崎堤樋寸法	年月日未詳	横折紙	1通		
10-26-3-6	新井路敷畝数覚	年月日未詳	横折紙	1通		
10-26-3-7	[大橋源介宛三島民之丞口達]	年未詳2月26日	横継紙	1通	蕪崎地内メ切の汐よけ堤について明27日に見積り、28日札開と決めたので同日出勤依頼他	
10-26-3-8	[大橋源介宛三宅弥平治書状]	年未詳2月19日	横切紙	1通	使を送り西原公へ伝言を聞き、廻すように依頼	(上書)「大橋源介様 三宅弥平治 貴下用」
10-26-3-9	[大橋源介宛中原徳二口演]	年未詳2月26日	横継紙	1通	新井路普請について今日中に相談したい旨	(上書)「中島屋大橋源介様 片島○中原徳二 急用書」
10-26-3-10	[三宅弥平次宛大橋源介口上]	年月未詳15日	横継紙	1通	相談があるので新開代五郎宅へ出張依頼	(上書)「三宅弥平次様 自新開大橋源介 用事」
10-26-3-11	[大橋源介宛三島民之丞書状]	年未詳2月28日	横切紙	1通	欠勤の旨承知	(上書)「大橋源介様 中島 三島民之丞様 貴答」
10-26-3-12	[大橋源介宛三宅弥平治書状]	年未詳2月18日	横切紙	1通	役所の召出により不参の旨承知	(上書)「大橋源介様 三宅弥平治 用答」
10-26-3-13	[三宅弥平次・大橋源介宛大塚定三郎書状]	年未詳8月9日	横切紙	1通	本角屋彦蔵の沖新開2反譲り証文へ奥書依頼	包紙あり(包紙上書)「三宅弥平次様 大橋源介様 大塚定三郎 貴下要用書」
10-26-3-14	拾ヶ年限り返り手形之事	文政4年5月	横切紙	1通	中島村政吉・倉敷源介・証人中島村庄屋伝太郎→吹屋村定三郎	
10-26-3-15	[用状案文]	年月日未詳	横切紙	1通	鶴新田新井路について相談	
10-26-3-16	覚(銀書付)	年未詳12月7日	横継紙	1通	水沢→鶴新田 亥残銀、子先銀	
10-26-3-17	[書付]	年月日未詳	横切紙	1通	「隣家善之助引合 弓島沖新開俊平」	
10-26-3-18	[大橋源介宛三宅弥平治書状]	年未詳12月5日	横継紙	1通	年貢銀を取替へ、紋七へ渡すように依頼	
10-26-3-19	[証文案文]	年月日未詳	縦紙	1通	取喰人上成牧貞助→鶴新田庄屋弥平次・同後見源助・開発人中 蕪崎新井路堀割場所の麦作難渋につき買取代銀受取と作人へ割賦渡し	
10-26-3-20	[大橋源介宛松井彦左衛門書状]	年未詳2月8日	横継紙	1通	鶴新田井路一件で井組村々と明日集会につき弥平次も含め出張依頼	封筒あり(封筒上書)「大橋源介様 松井彦左衛門」
10-26-3-21	相渡申議定証文之事(案文)	年月日未詳	横継紙	1通	鶴新開歩方・同請負人・同村役人→御料領所	付紙多数あり(1枚は貼付していない)

10-26-4	[子年鶴新田諸入用小注文類]			1袋(仮3冊16通1包)		10-26-4-1~20一袋(袋上書)「文政十亥年割後より子年鶴新田諸入用小注文類一切入」
10-26-4-1	[入用銀書付]	亥年	横折紙	1通	郡中大割亥残銀、同子ノ先銀、用水ニノ樋居込入用伏見屋渡分他	
10-26-4-2	覚(入用銀書付)	子年7月	美・横長	仮1冊	淀屋湊助→鶴新田庄屋弥平次・同後見源助 弥平次の分、使代、酒肴代他	
10-26-4-3	[落札銀書付]	年月日未詳	横切紙	1通		
10-26-4-4	[銀書付]	年月日未詳	横切紙	1通	岡、中の分	
10-26-4-5	乍恐以書付奉願上候(案文)	文政11年5月	横折紙	1通	開発人西之浦伊左衛門他10名・鶴新田庄屋後見源介・鶴新田庄屋弥平次→大草太郎右馬様御役所 用水方普請入用が莫大であるため銀援助の歎願	
10-26-4-6	子九月廿六日用水井路樋方勘定	子年9月26日	横折紙	1通		
10-26-4-7	堤仕用書	年未詳3月晦日	横継紙	1通	弥平治→源介	
10-26-4-8	[大橋源助宛牧貞介口上]	亥年12月25日	横切紙	1通	亀島新田一件入用新開掛分の銀が間に合わないのので代わりに西之浦三宅へ渡すよう依頼	包紙あり(包紙上書)「中島屋源助様 牧貞介 為替手形入」
10-26-4-9	覚(代銀受取)	年未詳4月24日	横切紙	1通	大和屋利吉→淀屋 小田原灯燈、御用弓張仕立代	
10-26-4-10	覚(代銀書付)	年未詳12月29日	横切紙	1通	新川児島屋→井上町中島屋 繻子男帯代	
10-26-4-11	覚(銀両替及送付依頼)	文政12年4月12日	横切紙	1通	鶴新田庄屋弥平治→倉敷金平 新開場歩方割引受分を西原清兵衛へ	
10-26-4-12	[大橋源介宛松井彦左衛門書状]	年未詳12月17日	横継紙	1通	入用銀受取及書状京都送付への礼	(上書)「大橋源介様 松井彦左衛門乃拝 奉復 鹿封御高免被下候」
10-26-4-13	[書状類]			1包(3通)		10-26-4-13-1~3一包 封筒あり(封筒上書)「大橋源助様 西中高左衛門」
10-26-4-13-1	[大橋源助宛西中高左衛門書状]	亥年12月26日	横継紙	1通	鶴新田調もの筆耕料の振替渡しについて伺い	
10-26-4-13-2	[大源助宛高左衛門用状]	年月未詳27日	横切紙	1通	振替渡しについて伺い	(上書)「大源助様 従戸田屋 高左衛門 要用」
10-26-4-13-3	覚(銀受取)	亥年12月27日	横切紙	1通	西中高左衛門→源助	
10-26-4-14	覚(代銀受取)	子年7月18日	横切紙	1通	よとや湊介→中島源助 鶴新田飯代	
10-26-4-15	覚(代銀受取)	亥年12月17日	横切紙	1通	彦左衛門→源介 一義濟口銀札、沖新開葎代	
10-26-4-16	[辻銀差引書付]	年月日未詳	横折紙	1通		
10-26-4-17	岡開(畝数及代銀書付)	年月日未詳	横折紙	1通		
10-26-4-18	覚(代銀受取)	子年12月29日	美・横長	仮1冊	淀屋湊助→鶴新田庄屋弥平次・同後見源助 家来、使、酒肴代他	
10-26-4-19	覚(代銀受取)	亥年11月	美・横長	仮1冊	淀屋湊助→鶴新田庄屋弥平次・同後見源助外5名 弥平次より使、西之浦飛脚賃、半紙代他	
10-26-4-20	辻借控	年月日未詳	横折紙	1通(2枚)		
10-26-5	[切絵図]	年月日未詳	19.3×25.5	1枚		
10-26-6	文政十丁亥年中冬休日より おほえ 富春寄主人	文政10年11月24日	半・豎半	1冊		
10-26-7	[岡崎新開仕用書付]	年月日未詳	美・横長	仮1冊	土取場等間数、村別割銀	
10-27	[新開普請仕様帳類]			1括り(14冊1通仮2冊)		10-27-1~17紐で一括り
10-27-1	安永九子年佐藤源蔵様新開御見分村々糺御請証文写	安永9年	半・豎	仮1冊		
10-27-2	備中国浅口郡連島地先海辺付新開地代金御勘定組伺書	安永9年	半・豎	仮1冊		(裏表紙書)「文政十一戊子年内見相伺御下之節写し置」
10-27-3	安永九子年 西之浦前干瀉御新開場目論見之時分略記	安永9年	半・豎	1冊		
10-27-4	安永九子年 願書 寛政三亥年 内済為取替証文(控)	安永9年4月・寛政3年5月	半・豎	1冊	枝川付により亀島新田へ用水引取一件	
10-27-5	文政十丁亥年九月 鶴新田用水一件諸願控 富春軒	文政10年9月	半・豎	1冊		
10-27-6	享和三年亥九月 川西村々為取替濟御証文写	享和3年9月	半・豎	1冊	三河口太忠様御代官所備中国浅口郡阿賀崎新田村庄屋東作外56名→三河口太忠様倉敷御役所	
10-27-7	鶴新田之内葎生場築立仕様下積り帳 控	文政13年5月	半・豎	1冊	鶴新田庄屋弥平治・同後見源助→倉敷御役所	
10-27-8	[入用割合等書付]	年月日未詳	横継紙	1通		墨書で反故にしている
10-27-9	鶴新田堤築立諸入用為書上帳	年月日未詳	美・豎	1冊	浅口郡鶴新田庄屋後見倉敷村源介→倉敷御役所	
10-27-10	願書類写	安永9年4月~文化7年3月	半・豎	1冊	亀島新田用水一件	
10-27-11	天保九年戌三月廿二日 備中国浅口郡連島之内鶴新田真言宗御改帳 但本紙大三軒	天保9年3月22日	半・豎	1冊	真言宗備中国浅口郡矢柄村宝島寺末寺同国同郡西之浦多聞院外2院・鶴新田庄屋煩直吉・同後見源蔵→中島紋左衛門	
10-27-12	辰閏十一月 沖新開用水樋井新井路文化之内堀抜仕様帳	(天保3年11月)	半・豎	1冊		
10-27-13	天保三壬辰年二月 沖新開堤築立仕様帳写 壹番	天保3年2月	半・豎	1冊		
10-27-14	天保三年壬辰二月吉日 鶴新田之内沖新開築立積り仕様帳 貳番 樋方	天保3年2月吉日	半・豎	1冊		

10-27-15	乍恐以書付御歎奉申上候(案文)	天保2年12月13日	半・豎	仮1冊	古橋新左衛門御代官所備中国浅口郡鶴新田開発人同国窪屋郡倉敷村金平外7名・右惣代右金平・徳次→松平周防守 山崎寿丸様知行所へ鶴新田引渡しの風説について御料所へ留置くように歎願	
10-27-16	文政十三年寅八月 鶴新田之内外沖新開築立仕様下積り帳	文政13年8月	半・豎	1冊		
10-27-17	備中国連島西之浦前新開汐除堤用悪水路樋類普請仕用帳	安永9年4月	半・豎	1冊	山崎主税助知行備中浅口郡連島西之浦庄屋新開請負人弥平次・証人同村百姓小十郎→(宛名なし)	(奥書)年寄藤蔵→(宛名なし)
10-28	[新開関係書類]			1括り(1冊4通1纏め1括り1袋)		10-28-1~8紐で一括り
10-28-1	[評決帳類]			1纏め(1冊2通)		10-28-1-1~3—纏め
10-28-1-1	天保九年三月二日 戌春評決帳	天保9年3月2日	半・横長	1冊		
10-28-1-2	天保悪水樋下積り	年未詳3月23日	横折紙	1通	引受人伝右衛門・同周平・同忠之丞→(宛名なし)	
10-28-1-3	[樋小屋屋ねふきかへ入用等書付]	年月日未詳	横折紙	1通		
10-28-2	癸巳持簿	(天保4年)	美・横半折	1冊		
10-28-3	[書状]			1括り(3通)		10-28-3-1~3紐で一括り
10-28-3-1	[鶴新田庄屋後見源助宛渡辺周平書状]	年未詳6月5日	横継紙	1通	贈品への礼	包紙あり(包紙上書)「鶴新田庄屋後見源助様 渡辺周平」
10-28-3-2	[大庄屋三宅弥平次宛渡辺周平用状]	年未詳5月14日	横継紙	1通	中島屋より送付の分について後見というのは異例につき前書差返しの旨を伝えるように依頼	包紙あり(包紙上書)「西之浦御目附 渡辺周平殿書状壱通」
10-28-3-3	[大橋源介宛三宅弥平治書状]	年未詳6月7日	横継紙	1通	基作よりの普請見舞の酒等受渡と渡辺様書状送付	包紙あり(包紙上書)「大橋源介様 三宅弥平治 貴下要用」
10-28-4	[中島屋源助宛秋田龍平書状]	年未詳12月1日	横継紙	1通	土産と紋付の礼 先日長屋へ来訪時留守にしていた詫び	包紙あり(包紙上書)「倉敷中島屋源助様 秋田龍平」
10-28-5	覚(新開地代銀遣し)	酉申年12月13日	横切紙	1通	小野延太→大橋源助	
10-28-6	寛政開入用	年月日未詳	横折紙	1通		
10-28-7	[大橋源助宛三宅直吉書状]	年未詳10月4日	横継紙	1通	渡辺様より築立延引と聞き訳を尋ねたが不明とのこと	封筒あり(封筒上書)「猶島二而 大橋源助様 机下 連島 三宅直吉」
10-28-8	[天保二年西之浦弥平次頼母子講取組書類]			1袋(6通2包)		10-28-8-1~8紐で一括りし袋入り(袋上書)「天保二辛卯年四月西之浦弥平次頼母子講取組書類袋控」
10-28-8-1	[大橋源助宛小野延太書状]	年未詳7月11日	横継紙	1通	鶴新田辻入用弥平次引請について	包紙2枚あり(外包紙上書)「上成恒屋要用書状」(内包紙上書)「倉敷二而中島屋 大橋源助様 自上成恒屋 小野延太 貴下要用 七月十一日認」
10-28-8-2	引当書入頼母子講議定証文之事(控)	文政13年12月	縦継紙	1通	講主西之浦弥平次→(宛名なし)	
10-28-8-3	[源助・俊蔵廻状案文]	年月日未詳	横継紙	1通	西之浦弥平次頼母子講の利分減少を了承するように依頼	
10-28-8-4	[大橋源助宛小野小十郎書状]			1包(3通)		10-28-8-4-1~3包紙で一包(包紙上書)「大橋源助様 小野小十郎」
10-28-8-4-1	[大橋源助宛小野小十郎書状]	年未詳5月14日	横継紙	1通	庄屋弥平次頼母子講証文の案文について同意ならば惣方へ廻状差出依頼	
10-28-8-4-2	[源助宛小十郎追書]	年未詳5月14日	横継紙	1通	新開辻取替銀利息考弁について相談	
10-28-8-4-3	[書状案文]	年月日未詳	縦切紙	1通	弥平次講証文の奥書の件承知他	
10-28-8-5	[大橋源介宛守屋後吉書状]	年未詳7月5日	横継紙	1通	弥平二為替の件で依頼	包紙あり(包紙上書)「大橋源介様 守屋後吉 尊下」
10-28-8-6	[人別銀書付]	年月日未詳	横切紙	1通		
10-28-8-7	引当書入頼母子講議定証文之事	文政13年12月	縦継紙	1通	講主西之浦弥平次→金平外11名	(奥書)鶴新田庄屋後見源介・上成恒屋俊蔵→(宛名なし)
10-28-8-8	[弥平次頼母子講書類]			1包(1通1包)		10-28-8-8-1~2包紙で一包(包紙上書)「弥平次頼母子講書類」
10-28-8-8-1	覚(講元質物議定証文請取)	辛卯年6月29日	横継紙	1通	上成延太→弥平次講連中使安吉	包紙あり(包紙上書)「頼母子講証文請取書」
10-28-8-8-2	[請取書]			1包(2通)		10-28-8-8-2-1~2包紙で一包(包紙上書)「請取書 壱通」
10-28-8-8-2-1	覚(講銀請取)	天保2年6月	横継紙	1通	弥平治→倉敷源介	
10-28-8-8-2-2	覚(講銀差引書付)	天保2年6月	横切紙	1通	弥平治→倉敷源介	
10-29	[用事書付]	亥年10月6日	縦紙	1通	取噺人貞助・弥平次・源介等淀屋清助宅へ集会について	
10-30	[鶴新田関係書類]			1括り(2袋)		10-30-1~2紐で一括り
10-30-1	[鶴新田御用書并村用書類]			1袋(1冊3括り)		10-30-1-1~4—袋(袋上書)「文政十二丑年正月より 鶴新田御用書并村用書類入」(袋裏書)「庄屋後見源介」
10-30-1-1	[書状類]			1括り(8通2包)		10-30-1-1-1~10紐で一括り
10-30-1-1-1	鶴新田建札御案紙	年月日未詳	横継紙	1通	倉敷御役所 他所より入込用水路への立入殺生等禁止書付調印依頼、風邪で参向できないため17日の若殿様江戸表出立の見送り依頼	包紙あり(包紙上書)「鶴新田建札御案紙」
10-30-1-1-2	[源介宛弥平治書状]	年未詳12月15日	横継紙	1通	明日集会の案内と鶴新田名寄写送付	(上書)「大橋源介様 三宅弥平治 貴下用」
10-30-1-1-3	[大橋源介宛三宅弥平治書状]	年未詳3月17日	横継紙	1通		(上書)「大橋源助 湊助」包紙あり(包紙上書)「大橋源助様 よとや湊介 鶴飯代書出し在中」
10-30-1-1-4	[大橋源助宛よとや湊介書状]	年未詳12月27日	横継紙	1通	鶴新田飯代通を別紙にて送付	(上書)「大橋源助様 淀屋湊助 貴下要用」
10-30-1-1-5	[新開関係案文]	年月日未詳	横切紙	1通	「一、文政開悪水樋修覆之事」他11筆	(上書)「大橋源助様 よとや湊助 貴答注文在中」
10-30-1-1-6	[大橋源助宛淀屋湊助書状]	年未詳7月12日	横継紙	1通	鶴新田飯代書出しを別紙にて送付	(上書)「大橋源助様 湊介 御答」
10-30-1-1-7	[大橋源助宛よとや湊助書状]	年未詳7月13日	横継紙	1通	鶴新田飯代通間違い一件の詫びと訂正通面の送付	
10-30-1-1-8	[大橋源助宛湊助書状]	年未詳12月2日	横継紙	1通	鶴新田飯代書出しを別紙にて送付	

10-30-1-1-9	[大橋源助宛淀屋湊助書状]			1包(2通)		10-30-1-1-9-1~2包紙で一包(包紙上書)「大橋源助様 淀屋湊助 尊下内用書」
10-30-1-1-9-1	[大橋源助宛湊助書状]	年未詳正月29日	横継紙	1通	当暮まで飯代金借用依頼	
10-30-1-1-9-2	覚(鶴新田飯代金借用)	丑年正月29日	横切紙	1通	淀屋湊助→中島屋源助	
10-30-1-1-10	[大橋源介宛三宅弥平治書状類]			1包(3通)		10-30-1-1-10-1~3包紙で一包(包紙上書)「倉敷大橋源介様 西之浦三宅弥平治 貴下要用 書付入」
10-30-1-1-10-1	[大橋宛三宅書状]	年未詳正月25日	横継紙	1通	昨日廻文したところ西原公等の都合により明日の出会い 沖新開願書控并手控の送付	(上書)「大橋様 三宅」
10-30-1-1-10-2	乍恐以書付御願奉申上候(控)	酉年3月	縦継紙	1通	西之浦新開場当酉年季明の25町歩の内12町5反は普請築立し難いため7年の葎生冥加金上納の許可願い 銀主惣代浅口郡片島村十内・引請人浅口郡連島西之浦弥平治→大草太郎右馬様御役所	
10-30-1-1-10-3	手控写	年未詳正月	横継紙	1通	弥平治→源助 沖新開普請一件の役所へ出願の子細	
10-30-1-2	[新開関係書類]			1括り(12通1括り1纏め1包)		10-30-1-2-1~15紐で一括り
10-30-1-2-1	[証文并差返書付]			1括り(3通)		10-30-2-1-1~3紐で一括り
10-30-1-2-1-1	[書付]	子年12月	横切紙	1通	「子十二月書かへ古証文書通 当分取替請取相済候小書付書通 〆式通 子十二月弥平次へ可差返分預り置」	
10-30-1-2-1-2	覚(銀請取借用)	文政11年12月5日	横継紙	1通	鶴新田庄屋弥平治→倉敷金平	包紙あり(包紙上書)「弥平次可差返書付 書通」
10-30-1-2-1-3	借用証文之事	文政10年12月26日	縦紙	1通	新開請負人鶴新田庄屋・加判西之浦三宅基作→鶴新田庄屋後見役倉敷源介 銀請取新開方へ引受借用	包紙あり(包紙上書)「証文書通 弥平治」
10-30-1-2-2	[大橋源介宛三宅基作書状]	年未詳12月13日	横継紙	1通	喜久太へ頼んでいる割賦の件で依頼	封筒あり(封筒上書)「大橋源介様 三宅基作 用事」
10-30-1-2-3	[大橋源介宛三宅弥平治書状]			1包(2通)		10-30-1-2-3-1~2包紙で一包(包紙上書)「倉敷大橋源介様 西之浦三宅弥平治 内用答」
10-30-1-2-3-1	[源介宛弥平治書状]	年未詳8月4日	横継紙	1通	依頼中の一件で相談したいが祭礼等でとり紛れにつき祭礼後訪問のこと	
10-30-1-2-3-2	[源介宛弥平治書状]	年未詳8月4日	横切紙	1通	9日の鶴新田祭礼に際し仲間一統へ参詣の廻文をする予定や茶菓について	
10-30-1-2-4	文政十二丑年鶴新田御年貢請取通名当留	文政12年	横折紙	1通	鶴新田庄屋基作・後見役倉敷源介→(宛名なし)	
10-30-1-2-5	[願書]			1纏め(2通)		10-30-1-2-5-1は10-30-1-2-5-2を巻いている
10-30-1-2-5-1	[願出人書付]	年月日未詳	横切紙	1通	開発人倉敷村金平外10名	
10-30-1-2-5-2	乍恐書付奉願上候	年月日未詳	横切紙	1通	開発人一同→(宛名なし) 弥平次病気につき悴基作の鶴新田庄屋役跡継許可願い	
10-30-1-2-6	覚(銀請渡)	文政11年4月27日	縦継紙	1通	鶴新田庄屋弥平治・同後見源介→倉敷金平 鶴新田樋方居込普請西之浦伏見屋受負銀	(端裏書)「子年割賦へ組入此方出銀へ立用受取済」
10-30-1-2-7	覚(銀請取)	文政11年7月11日	横切紙	1通	鶴新田庄屋弥平治→倉敷金平 代五郎へ渡し分	包紙あり(包紙上書)「子七月 請取書書通 弥平治」
10-30-1-2-8	[願書差出人及宛名書付]	文政12年10月	縦継紙	1通	浅口郡鶴新田庄屋弥平次煩二付代兼後見源助→倉敷御役所	墨書で反故にしている
10-30-1-2-9	覚(銀請取)	文政11年7月10日	縦切紙	1通	鶴新田庄屋弥平治・同後見源介→倉敷金平 鶴新田樋方普請入用買物代	包紙あり(包紙上書)「子七月 請取書書通 弥平治 子割賦へ立入出銀へ立用受取済」
10-30-1-2-10	覚(用水入用金借用)	文政10年6月18日	横切紙	1通	鶴新田庄屋借主弥平治・証人片島村徳治郎→中島屋源介	(端裏書)「亥年出銀へ立用受取相済」
10-30-1-2-11	[大橋宛三宅口上]	年未詳6月7日	横切紙	1通	返却の割付皆目録を受取	
10-30-1-2-12	[大橋源助宛淀屋湊助書状]	年未詳8月14日	横継紙	1通	普請役廻村のところ弥平次故障につき私宅まで出張依頼	(上書)「大橋源助様 淀屋湊助 貴下要用」
10-30-1-2-13	乍恐以書付奉願上候(案文)	文政12年10月	横継紙	1通	鶴新田隣村よりの作物踏荒しや門樋等打崩しが多く難洪しているので建札の許可願い	
10-30-1-2-14	[大橋源助宛小野延太口上]	年未詳10月25日	横切紙	1通	印判添状	(上書)「大橋源助様 小野延太 貴下要用印判添 略封御免被下候」
10-30-1-2-15	[大橋源介宛民之丞書状]	年未詳10月25日	横継紙	1通(2枚)	印判添状	(上書)「大橋源介様 民之丞 貴下」
10-30-1-3	[書状類]			1括り(8通1纏め)		10-30-1-3-1~9紐で一括り
10-30-1-3-1	[倉敷中島屋金平外7名宛三宅伊左衛門外2名口上]	年未詳10月21日	横継紙	1通	鶴新開庄屋弥平治大病につき悴基作跡継の同意依頼	
10-30-1-3-2	[大橋源介宛三宅伊左衛門書状]	年未詳10月20日	横継紙	1通(2枚)	庄屋弥平治大病につき鶴新開同人役向を悴基作へ譲りたいので同意ならば役所へ出願依頼	包紙あり(包紙上書)「大橋源介様 三宅伊左衛門 貴下用事」
10-30-1-3-3	[人名書付]	年未詳10月20日	横切紙	1通	西之浦米屋伊左衛門、伏見屋東平、上金屋曾蔵、右三人代〇島屋元吉	
10-30-1-3-4	[大橋源助宛小野延太書状]	年未詳10月23日	横切紙	1通	印判添状	(上書)「源助様 延太 貴下印判添」 包紙あり(包紙上書)「大橋源助様 小野延太 印判在中」
10-30-1-3-5	[大橋宛彦介用状]	年月日未詳	横折紙	1通	銀札借用依頼	(上書)「大橋大人様 彦介 大急用 若源介様御留守二候ハハ菊太殿御開封被下候」
10-30-1-3-6	[米屋伊左衛門外9名宛鶴新田後見倉敷源介廻状]	年未詳10月22日	横継紙	1通	大病中の庄屋弥平次の役向について相談のため明日淀屋湊介方へ立会依頼	包紙貼継(包紙上書)「廻状」
10-30-1-3-7	[大橋源助宛小野延太書状]	年未詳10月22日	横切紙	1通	足痛のため明日の集会欠席と意任の旨	包紙あり(包紙上書)「大橋源助様 小野延太 梧有」
10-30-1-3-8	[西之浦伊左衛門外9名宛源介・弥平次廻状]	年未詳10月2日	横継紙	1通	鶴新田北方の例年見合来之儀のため明日出勤依頼	包紙貼継(包紙上書)「廻文」
10-30-1-3-9	[乍恐以書付奉願上候]			1纏め(2通)		10-30-1-3-9-1~2一纏め
10-30-1-3-9-1	乍恐書付奉願上候	文政12年10月	縦継紙	1通	鶴新田庄屋役西之浦弥平次病気につき同人役の悴基作引継願い 浅口郡鶴新田開発人倉敷村金平外13名→倉敷御役所	(奥書)鶴新田庄屋後見源助→(宛名なし)

10-30-1-3-9-2	[願書奥書]	丑年10月26日	豎紙	1通	先庄屋弥平次・同人悴当庄屋基作・後見源助→倉敷御役所	
10-30-1-4	文政十二年 文化開文政開岡開用水沖新開歩方 諸入用割書抜 中島屋扣	文政12年	美・横長	1冊		
10-30-2	[鶴新田用水一件諸入用勘定書類并要用状]			1袋(3冊仮1冊 2括り)		10-30-2-1~6一袋 (袋上書)「文政十丁亥年分 鶴新田用水一件 諸入用勘定書類并要用状一切入」
10-30-2-1	[書状類]			1括り(13通4纏 め)		10-30-2-1-1~17紐で一括り
10-30-2-1-1	[中島屋源助宛淀屋清助書状]	年未詳11月1日	横継紙	1通	入用請求があったので渡すように依頼	(上書)「中島屋源助様 淀屋清助 貴下要用」
10-30-2-1-2	[用水間数測図]			1纏め(2枚)		10-30-2-1-2-1~2一纏め
10-30-2-1-2-1	[用水間数測図]	年月日未詳	19.0×25.3	1枚		
10-30-2-1-2-2	[用水間数測図]	年月日未詳	19.0×25.3	1枚		
10-30-2-1-3	差上申上札之事	文政10年11月13日	横継紙	1通	源介・弥平次・銀主惣代後吉・孫兵衛・徳二→大草太郎右馬様 御役所 庄屋弥平次病につき源介後見のこと	
10-30-2-1-4	[大橋源介宛守屋後吉書状]	年未詳12月26日	横継紙	1通	蔵代銀受取と為替銀遣し	
10-30-2-1-5	[源介宛彦左衛門書状]			1纏め(2通)		10-30-2-1-5-1~2一纏め
10-30-2-1-5-1	[源介宛彦左衛門書状]	年未詳12月26日	横継紙	1通	蔵代世話の礼と年明12日頃集会承知	(上書)「源介様 彦左衛門 奉復」
10-30-2-1-5-2	覚(代銀受取)	亥年12月26日	横切紙	1通	彦左衛門→源介 蔵代	
10-30-2-1-6	[地代書付他]			1纏め(2通)		10-30-2-1-6-1~2一纏め
10-30-2-1-6-1	覚(地代書付)	年月日未詳	横切紙	1通		
10-30-2-1-6-2	覚(畝数書付)	年月日未詳	横切紙	1通	文化公料、同私領、文政公料他	
10-30-2-1-7	[畝高書付]			1纏め(2通)		10-30-2-1-7-1~2一纏め
10-30-2-1-7-1	[畝高書付]	文政8年5月	横切紙	1通	文政6年5月検地鶴新田岡分は定米、文化ノ分は見取米	
10-30-2-1-7-2	[畝数書付]	年月日未詳	横切紙	1通	文化ノ内成羽分 見取米	
10-30-2-1-8	[願書]			1纏め(2通)		10-30-2-1-8-1~2一纏め
10-30-2-1-8-1	乍恐以書付奉願上候	文政10年11月	横切紙	1通	開発人窪屋郡中島民之丞→(宛名なし) 鶴新田庄屋西之浦弥 平次は他領で差支えにつき開発人之内当支配所倉敷村源助へ 後見役仰付願い	
10-30-2-1-8-2	[願書奥書]	年月日未詳	横切紙	1通	請負人鶴新田庄屋西之浦弥平次→(宛名なし)	
10-30-2-1-9	[大橋源介宛三宅弥平治書状]	年未詳12月26日	横切紙	1通	中島より申し越しの差引算用間違いについて	(上書)「大橋源介様 三宅弥平治 貴下急用」
10-30-2-1-10	[大橋源介宛淀屋清助書状]	年未詳12月22日	横継紙	1通	市左衛門への取替銀受渡し	(上書)「大橋源介様 淀屋清助 貴答」
10-30-2-1-11	[大橋源助宛淀屋清介書状]	年未詳12月17日	横継紙	1通	返済方を引受けるので市左衛門へ金貸付依頼	包紙あり(包紙上書)「大橋源助様 淀屋清介 貴下要用」
10-30-2-1-12	[大橋源介宛中原徳二書状]	年未詳12月7日	横継紙	1通	足痛見舞の真鶴等への礼と書類返却	(上書)「倉鋪 大橋源介様 片島 中原徳二 貴報」
10-30-2-1-13	[大橋源助宛三宅弥平次口上]	年未詳12月11日	横切紙	1通	書状并贈品の受取と礼	
10-30-2-1-14	[大橋源介宛三宅弥平治書状]	年未詳12月3日	横切紙	1通	西阿知貞八郎と江長武右衛門より音物の返却があり用水一条と 割賦の件で相談のため明日来訪依頼	包紙あり(包紙上書)「大橋源介様 三宅弥平治 貴下要用」
10-30-2-1-15	[大橋源介宛三宅弥平治書状]	年未詳12月14日	横切紙	1通	小前皆清書付調印の受取 別紙証文への奥印加判依頼 依頼中の鶴新田年貢銀上納について委細は使紋吉より聞いて ほしい	(上書)「大橋源介様 三宅弥平治 貴下用」
10-30-2-1-16	[大橋源介宛三宅弥平治書状]	年未詳12月2日	横継紙	1通		(上書)「大橋源介様 三宅弥平治 貴下要用」
10-30-2-1-17	[大橋源助宛淀屋清助書状]	年未詳11月19日	横継紙	1通(2枚)	肴料送付への礼	(上書)「大橋源助様 淀屋清助 貴答 鹿封御免可申候」
10-30-2-2	[書状類]			1括り(21通)		10-30-2-2-1~21紐で一括り
10-30-2-2-1	[大橋源介宛三宅伊左衛門外2名書状]	年未詳11月17日	横折紙	1通	鶴新田庄屋後見仰付の祝	包紙あり(包紙上書)「大橋源介様 三宅伊左衛門 貴下」
10-30-2-2-2	[大橋源助宛中原弥太郎・同好松書状]	年未詳11月24日	横継紙	1通	西浦新開後見庄屋就任の祝	封筒あり(封筒上書)「大橋源助様 中原弥太郎 同好松 貴下」
10-30-2-2-3	[大橋源介宛三宅弥平治書状]	年未詳12月26日	横継紙	1通	銀札借用証文并算用書付等送付	
10-30-2-2-4	[牧貞助書状写并三宅弥平治・大橋源介返書案文]	年未詳12月21日	横継紙	1通	蕪崎新井路片付の作人難渋有無について	
10-30-2-2-5	[大橋源介宛よとや清助書状]	年未詳12月27日	横切紙	1通	鶴新田飯代受取	(上書)「大橋源介様 よとや清助 貴答」
10-30-2-2-6	[上杭入用書付]	年月日未詳	横切紙	1通		
10-30-2-2-7	[人名書付]	年月日未詳	横折紙	1通	「一 片島岩端」他13筆	
10-30-2-2-8	覚(入用書付)	年月日未詳	横継紙	1通		
10-30-2-2-9	[入用書付]	年月日未詳	横切紙	1通	片島杭木代他	
10-30-2-2-10	覚(入用銀受取)	亥年11月9日	横切紙	1通	淀屋清助→中島屋源助	
10-30-2-2-11	[大橋宛清助書状]	年未詳11月9日	横切紙	1通	入用の取替依頼	(上書)「大橋様 清助」
10-30-2-2-12	[大橋源介宛三宅弥平治書状]	年未詳11月4日	横切紙	1通	当村平兵衛書出し調への別紙送付	(上書)「倉敷大橋源介様 西之浦三宅弥平治 貴下要用」
10-30-2-2-13	[大橋源介宛三宅弥平治書状]	年未詳12月27日	横継紙	1通	昨日の差引過上銀受取書へ淀屋払加筆と民之丞為替受渡し	
10-30-2-2-14	[新開関係案文]	年月日未詳	横切紙	1通	「一 好助願出評義之事」他5筆	
10-30-2-2-15	[大橋源介宛三宅弥平治書状]	年未詳正月20日	横継紙	1通(2枚)	川内年番廻文并牧氏書状送付と片島への組合廻状指出依頼	
10-30-2-2-16	[畝数及掛銀書付]	年月日未詳	横切紙	1通		
10-30-2-2-17	覚(鶴新田年貢上納銀書付)	亥年11月	横切紙	1通		
10-30-2-2-18	[大橋源介宛三宅弥平治書状]	年未詳11月1日	横切紙	1通	よとやへ出向中につき貴宅不参の詫び	(上書)「大橋源介様 淀屋二而 三宅弥平治 貴下」
10-30-2-2-19	[大橋源介宛三宅弥平治書状]	年未詳12月13日	横継紙	1通	贈品への礼と鶴新田年貢の皆清書付并小帳への調印依頼 弥平治より出銀算用依頼があり、銀札を送るので引合せ請取願 い	(上書)「大橋源介様 まつゐ彦左衛門 貴下」 (上書)「大橋源介様 彦左衛門様」包紙あり(包紙上書)「大橋源介 三宅弥平治 用答」
10-30-2-2-20	[大橋源介宛まつゐ彦左衛門書状]	年未詳12月25日	横継紙	1通		
10-30-2-2-21	[大橋源介宛彦左衛門用状]	年未詳正月15日	横継紙	1通	寄合日について相談	
10-30-2-3	御料私領用水掛反別覚	年月日未詳	半・横長	仮1冊		
10-30-2-4	文政十亥年十一月十三日 鶴新田村用諸事控 後見 庄屋倉敷源介	文政10年11月13日 ~12月27日	半・横長	1冊		



10-30-2-5	文政十年亥六月廿六日夜ヨリ 鶴新田用水御見分諸入用帳	文政10年6月26日 ～11月8日	半・横長	1冊		
10-30-2-6	文政十丁亥年九月より 鶴新田用水一件諸入用控帳 此方より弁銀之分書出	文政10年9月	美・横長	1冊		
10-31	[新開関係書類]			1括り(30通3纏め)		10-31-1～33紐で一括り
10-31-1	沖新開堤普請請負引当証文之事(控)	年月日未詳	横切紙	1通	受負人延太・金平→弥平治・源助・開発人中	上部に紙を継いでいる
10-31-2	覚(代銀書付)	年月日未詳	横継紙	1通	石柱、土台、うけ石、敷板他	
10-31-3	三月十三日夕勘定	年未詳3月13日	横継紙	1通		
10-31-4	[大橋源介・小野小十郎宛松井彦左衛門書状]	年未詳3月23日	横折紙	1通	遍照院法会にて人足差出延引の詫び	封筒あり(封筒上書)「会所二而 大橋源介様 西阿知 松井彦左衛門 貴下内書」
10-31-5	[片島村初太郎外8名宛弥平次代兼源介廻状]	年未詳3月23日	横継紙	1通	沖新開築立方の相談のため集案内	
10-31-6	[源介宛弥平治書状]	年未詳2月12日	横継紙	1通	役場より延引不可と出頭の命について報知	(上書)「会所二而 源介様 西之浦弥平治 用事 略封御高免可申候」
10-31-7	覚(沖新開堤築立石工長吉請負銀遺し)	年未詳3月22日	横継紙	1通	金平→大橋源介	(上書)「大橋源介様 同金平 用事」
10-31-8	[辰三月朔日鶴新田勤方控]			1纏め(3通)		10-31-8-1～3一纏め
10-31-8-1	[辰三月朔日鶴新田勤方控]	辰年3月1日	横継紙	1通		(端裏書)「辰三月朔日鶴新田勤方控」
10-31-8-2	覚(入用書付)	年月日未詳	横継紙	1通		
10-31-8-3	覚(入用書付)	年月日未詳	横継紙	1通		
10-31-9	[源介宛弥平治書状]	年未詳正月29日	横切紙	1通	為介へ相談し今度の件は格別の事なので別紙の通り取計らうと言われたことの報知	(上書)「源介様 弥平治 内用事」
10-31-10	[大橋源介宛有元彦造書状]	年未詳6月2日	横継紙	1通	普請方の悪天にて滞りの状況報知	封筒あり(封筒上書)「御会所二而 大橋源介様 串野山 有元彦造 玉下」
10-31-11	[沖新開株書付]	年月日未詳	横継紙	1通	沖新開西角北元彦造株他	
10-31-12	[書状案文]	年月日未詳	横切紙	1通	私役分引渡しについて延引のとりなし依頼	
10-31-13	[大橋源介・同金平宛きく太口上]			1纏め(2通)		10-31-13-1～2一纏め
10-31-13-1	[大橋源介・同金平宛きく太口上]	年月未詳25日	横継紙	1通	帰宅を待つ旨と酒のさし入れ	(上書)「大橋源介様 同金平様 きく太 用事」
10-31-13-2	[代銀書付]	年月日未詳	横継紙	1通	石代、人足賃	
10-31-14	[大橋宛小野小十郎書状]	年未詳5月20日	横切紙	1通	玉島へ出向くため今日不参の詫び	(上書)「大橋左詞兄 小野小十郎様 梧有」
10-31-15	[大橋源介宛きく太・金平書状]	年未詳6月2日	横切紙	1通	一両日中に帰宅願いとすしのさし入れ	(上書)「大橋源介様 きく太 金平 用事」
10-31-16	[大橋宛小野書状]	年未詳4月20日	横切紙	1通	七郎右衛門差向けの依頼	(上書)「大橋様 小野 内用事」
10-31-17	[中原初太郎外5名宛大橋源介・小野小十郎廻状]	年未詳3月16日	横切紙	1通	集案内	包紙貼継(包紙上書)「各々様 鶴新田会所より」
10-31-18	[大橋宛小野書状]	年未詳4月2日	横切紙	1通	米屋地代銀を渡し次第訪問する旨	(上書)「大橋様 小野 貴下」
10-31-19	[大橋源助宛小野小十郎書状]	年未詳4月27日	横継紙	1通	明日出張時に書類持参及び会所用の木綿蚊屋調達の依頼	(上書)「大橋様 会所二而 小野様 貴下」 封筒あり(封筒上書)「大橋源助様 小野小十郎 梧有」
10-31-20	[大橋源介宛きく太・金平口上]	年未詳4月20日	横継紙	1通	中屋徳二の訃報	(上書)「大橋源介様 きく太 金平 尊下」
10-31-21	[大橋源介宛有元彦造書状]	年未詳9月11日	横継紙	1通	新開畑開について二ノ割と三ノ割に地開したいので場所書抜依頼	封筒あり(封筒上書)「倉敷大橋源介様 串野山 有元彦造 玉下」
10-31-22	[源助宛淀屋為助口上]	年未詳5月10日	横切紙	1通	鶴新田引渡一件で今朝一同召出につき出勤依頼	(封筒裏書)「急用」
10-31-23	[石垣築夫賃及日別員数書付]			1纏め(2通)		10-31-23-1～2一纏め
10-31-23-1	覚(汐除堤石垣築夫賃書付)	天保3年3月	縦切紙	1通	宮之浦長吉→中島屋	
10-31-23-2	覚(日別人夫数書付)	年月日未詳	横切紙	1通	(差出人なし)→中島屋	
10-31-24	覚(代銀書付)	辰年7月	横継紙	1通	大黒屋文介→新宅 三ツ折式状帳、半紙五状帳他	
10-31-25	覚(代銀書付)	辰年7月13日	横切紙	1通	倉敷中島屋→(宛名なし) 腰札、ろうそく、銭たんす代他	
10-31-26	覚(代銀書付)	年未詳7月12日	横継紙	1通	周平→(宛名なし) 倉敷より仕出し、上成より仕出し、奉行小家大工作料他	
10-31-27	覚(代銀書付)	辰年7月	横継紙	1通	備前屋長市→広島屋周平 酒、酢代	
10-31-28	[大橋源介宛小野義方書状]	壬辰年9月18日	横継紙	1通	小児病気への見舞いと金送付	包紙あり(包紙上書)「大橋源助様 小野小十郎 奉復」
10-31-29	[追書]	年月日未詳	横継紙	1通	小児病気治癒を祈念する杓の柄銘について	
10-31-30	[大橋源助宛小野小十郎書状]	年未詳10月3日	横継紙	1通	新開堤普請の地所割賦用水路小作預ケ方の事等で相談のため出張依頼	包紙あり(包紙上書)「大橋源助様 小野小十郎 梧有」
10-31-31	[大橋源助・大橋喜久太宛小野小十郎書状]	年未詳9月22日	横切紙	1通	小児病気への見舞い	包紙あり(包紙上書)「大橋源助様 大橋喜久太様 小野小十郎 梧有」
10-31-32	[大橋源助宛小野小十郎書状]	年未詳11月2日	横継紙	1通	互の引請場堤敷井伊左衛門入地之葺の入札についての質問	包紙あり(包紙上書)「大橋源助様 小野小十郎 貴下」
10-31-33	[大橋源助宛小野小十郎書状]	年未詳3月13日	横継紙	1通	今朝米屋が樋方請負を断ってきたので相談のため出張依頼	(上書)「源助様 小十郎 御内見可被下候」 包紙あり(包紙上書)「倉敷二而 大橋源助様 鶴新田会所二而 小野小十郎 梧下内用」
10-32	[沖新開普請議定書類]			1袋(8通1包)		10-32-1～9一袋 (袋上書)「天保三辰年 沖新開普請議定書類 伏見屋八十太証文書通 米屋伊左衛門証文書通 倉敷」
10-32-1	差入申議定証文之事(案文)	年月日未詳	縦継紙	1通	開発人→延太・金平 沖新開堤築立普請について	
10-32-2	差入申議定証文之事	天保3年3月	縦継紙	1通	開発人→延太・金平 沖新開堤築立普請について	(端裏書)「連中より差入議定下書」
10-32-3	沖新開築立儀定証文之事	天保3年2月	縦継紙	1通	開発人西之浦伊左衛門・同倉敷金平外11名→(宛名なし)	(奥書)鶴新田庄屋弥平治・同後見源助→(宛名なし) (端裏書)「沖新開議定 金平」
10-32-4	沖新開普請再儀定之事	天保3年3月	縦継紙	1通	開発人惣代西之浦小十郎・同倉敷金平→(宛名なし)	(奥書)鶴新田庄屋弥平治・同後見源助→(宛名なし) (端裏書)「沖新開再議定 倉敷」

10-32-5	沓ヶ年切売渡証文之事	天保3年4月	豎紙	1通	売主伏見屋八十太・証人伝右衛門→上成村小野延太・倉敷中島屋金平	(奥書)鶴新田庄屋三宅弥平治・同後見源介→(宛名なし) 包紙あり(包紙上書)「証文 沓通 伏見屋」
10-32-6	沖新開堤普請請負引当証文之事	天保3年3月	豎継紙	1通	請負人上成延太・同倉敷金平→鶴新田庄屋弥平治・同後見源介・開発人中	包紙あり(包紙上書)「沖新開堤御方証文 辻持分沓通」
10-32-7	差入申議定証文之事	天保3年3月	豎継紙	1通	開発人中島村民之丞外5名→上成延太・倉敷金平 沖新開堤築立普請について	包紙あり(包紙上書)「議定証文 沓通 消印相済 金平分」
10-32-8	乍恐以書付御願奉申上候(案文写)	辰年6月	豎継紙	1通	鶴新田開発人片島村初太郎・同倉敷村金平外6名→山崎寿丸様御役所 倉敷御役所支配より代知となり取掛り中の普請について検地高入等諸事をこれまで通りにするようご願	(上書)「写下書」
10-32-9	[沖新開普請議定書類]			1包(3通1纏め)		10-32-9-1~4一包 包紙あり
10-32-9-1	仲間為取替議定証文之事	天保3年3月	豎継紙	1通	請負人仲間周平外4名→(宛名なし) 諸入用并出役賃について	
10-32-9-2	[樋方井堤方銀勘定書付]	年月日未詳		1通		
10-32-9-3	[議定証文断簡]	天保5年4月		1纏め(10枚)	全て前欠で差出人部分のみ 鶴新田庄屋西之浦三宅弥平治・同後見倉敷村源助→(宛名なし)	
10-32-9-4	申定	辰年3月	豎紙	1通	新開普請について	
10-33	天保三年壬辰 沖新開堤方諸入用御払帳	天保3年	美・横長	1冊		(裏表紙)「請負元方 恒屋 中島屋」
10-34	天保三年壬辰三月 沖新開堤方諸入用御払帳	天保3年3月	美・横長	1冊		(裏表紙)「請負元方 恒屋 中島屋」
10-35	天保三年壬辰七月 沖新開堤方諸入用御払帳	天保3年7月	美・横長	1冊		(裏表紙)「請負元方 恒屋 中島屋」
10-36	[薬包紙]	年月日未詳		1枚		
11-1	安政四年丁巳正月吉日 日記	安政4年正月吉日	美・横列	1冊		(裏表紙)「大福入 大橋源介」
11-2	[日記]	年月日未詳	美・横列	仮1冊		表紙なし(裏表紙)「大福入 大橋源介」
11-3	文政三年辰正月吉日 日記	文政3年正月吉日	美・横列	1冊		(裏表紙)「大福入」
11-4	癸巳 日記	天保4年	美・横列	1冊		(裏表紙)「大福入 中島屋源介」
11-5	寛延四年辛未正月吉日 日記	寛延4年正月吉日	美・横列	1冊		(裏表紙)「大福入 中島屋久兵衛」
11-6	祝義おほへ	年月日未詳	美・横半	1冊		
11-7	[日記]	年月日未詳	美・横半	仮1冊	中は白紙	表紙なし(裏表紙)「大福入 中島屋金平」
11-8	天明六歳丙午正月吉日 日記	天明6年正月吉日	美・横列	1冊		分裂しているのでSILティッシュで括る(裏表紙)「大福入 中島屋久兵衛」
11-9	延享五暦戊辰正月吉日 日記	延享5年正月吉日	美・横列	1冊		(裏表紙)「大福入 中島屋久兵衛」
11-10	天明四歳甲辰正月吉日 日記	天明4年正月吉日	美・横列	1冊		(裏表紙)「大福入 中島屋久兵衛」
11-11	明和七歳庚寅正月吉日 日記	明和7年正月吉日	美・横列	1冊		(裏表紙)「大福入 中島屋久兵衛」
11-12	寛延四年辛未正月吉日 万覚帳	寛延4年正月吉日	美・横列	1冊		(裏表紙)「大福入 中島屋久兵衛」
11-13	寛政五年癸丑正月吉日 日記	寛政5年正月吉日	美・横列	1冊		(裏表紙)「大福帳 中島屋金平」
11-14	弘化五年戊申正月吉日 日記	弘化5年正月吉日	美・横列	1冊		(裏表紙)「大福入 中島屋源介」
11-15	嘉永三年庚戌正月吉日 日記	嘉永3年正月吉日	美・横列	1冊		(裏表紙)「大福入 中島屋源介」
11-16	文政八年乙酉正月吉日 日記	文政8年正月吉日	美・横列	1冊		(裏表紙)「大福入 中島屋源介」
11-17	安政五年戊午正月吉日 日記	安政5年正月吉日	美・横列	1冊		(裏表紙)「大福入 中島屋源介」
12-1	[大橋源介宛摩辺照太郎書状]	年未詳4月22日	横継紙	1通	御蔵子上京に際する土産の魚への礼	封筒あり(封筒上書)「大橋源介様 摩辺照太郎 御答」(封筒裏書)「自京都」
12-2	[和泉為入家屋取調書類]			1袋(1通2包)		12-2-1~3包紙に包み袋入り(包紙上書)「和泉屋裏所買取之分所〇〇書取次人忠八忠平」(袋上書)「和泉為入家屋敷取調書類并絵図入」
12-2-1	[書付]	年月日未詳		1通		開封不能
12-2-2	[和泉屋茂兵衛書付]	年月日未詳		1包(2通)		開封不能(包紙上書)「和泉屋茂兵衛書付入」
12-2-3	[書付]			1包(2通)		12-2-3-1~2包紙で一包(包紙上書)「書付式通」
12-2-3-1	覚(屋敷等掛り銀書付)	寅年2月	横継紙	1通	和泉屋→中島屋	
12-2-3-2	[書付]	年月日未詳		1通		開封不能
12-3	[書状]			1包(5通)		12-3-1~5昭和21年度大橋幹一相続税領収証書で一包
12-3-1	[大橋源介宛の場復齋書状]	年未詳10月5日	横継紙	1通	疎遠の詫びと渚利右衛門の計報承知	
12-3-2	[中島屋源介宛岡源左衛門書状]	年未詳正月11日	横折紙	1通	年始祝詞扇子の受納と礼	
12-3-3	[源介宛復齋書状]	年未詳12月7日	横継紙	1通	嵐山行樂他	
12-3-4	[竹泉大橋宛井上充三書状]	年未詳2月5日	横継紙	1通	染筆の礼と詠詩	
12-3-5	[大橋源介宛の場復齋書状]	年未詳閏6月18日	横継紙	1通	京酷暑で難儀のこと	
12-4	[家賃書付]	年月日未詳	横継紙	1通		包紙あり(包紙上書)「裏悪水路江仮橋掛度旨和泉屋茂兵衛より頼候書状入 天保二辛卯五月十五日 取次人小倉屋宮吉」
12-5	[裏屋鋪悪水川寸法見分書付控]	年月日未詳	横折紙	1通		包紙あり(包紙上書)「未十月 裏屋鋪悪水川見分書ひかへ入」
12-6	[建築線指定申請書及建物配置図]			1纏め(1冊1綴1舗1纏め)		12-6-1~4一纏め
12-6-1	明治十六年第二月三日 当午十二月分家賃書出帳 東大橋	明治16年2月3日	美・横長	1冊		
12-6-2	[建物配置図]			1纏め(2枚)		12-6-2-1~2重ねて一纏め
12-6-2-1	縮尺百分之沓 建物配置図	年月日未詳		1枚	倉敷市富久八三二番地 大本嘉吉	
12-6-2-2	縮尺三分の一見取図	年月日未詳		1枚		

12-6-3	建築線指定申請書	昭和6年1月3日		1綴	申請者大本嘉吉→岡山県知事香坂昌康 土地所有者大橋高之他4名の承諾書と見取図2枚を一緒に綴る	罫紙
12-6-4	[家相方位図]	年月日未詳	78.5×184.0	1舗		
12-7	耕地書入催合講落札金証書	年月日未詳	縦継紙	1通		開封不能 包紙あり(包紙上書)「催合講落札金証書 大橋秀太郎」
12-8	質入申〇〇〇証文之事	年月日未詳		1通		開封不能 虫損で12-9とくつついている 12-9とともにSILティッシュで包む
12-9	[書類入袋]	年月日未詳		1袋		開封不能 虫損で12-8とくつついている
12-10	覚(地子米代銀書付)	文政13年12月	縦継紙	1通	和泉屋茂兵衛・親類瀬尾屋五之介・同浅屋六左衛門→中島屋源介	袋入り(袋上書)「文政十三寅年より嘉永元申年十一月改当時入用之分入 貸家手形弥通入」
12-11	[証書類]			1袋(2通1袋1包)		12-11-1~4紐で一括りし袋入り(袋上書)「寅正月廿七日 金百両 寅十二月切約束 角屋久右衛門」
12-11-1	分地之分銀引渡申証文之事	年月日未詳	縦継紙	1通		開封不能 袋入り
12-11-2	[証書類]			1包(1袋1包)		12-11-2-1~2包紙で一包(包紙上書)「証文武通 亀二郎様 御貨無用 久右衛門」
12-11-2-1	[証書類]			1包(2通1包)		12-11-2-1-1~3紐で一括りし包紙で一包(包紙上書)「証文吉通 井証文控書吉通入 角屋久右衛門」
12-11-2-1-1	[証書類]			1包(3通)		12-11-2-1-1-1~3包紙で一包(包紙上書)「正月廿七日広江屋江差入之証文 控書并寅三月此方より返済いたし候付本紙返引之分共在中」
12-11-2-1-1-1	借用申金子証文之事	嘉永7年正月	縦継紙	1通	借用主中島屋亀次郎・証人大黒屋文介→広江屋文平	(奥書)中島屋久右衛門→(宛名なし)
12-11-2-1-1-2	[亀二郎宛久右衛門用状]	年月未詳27日	横継紙	1通	調印依頼	(上書)「亀二郎様 久右衛門」
12-11-2-1-1-3	借用申金子証文之事	嘉永7年正月	横継紙	1通	借用主亀次郎・証人大黒屋文介→広江屋文平	
12-11-2-1-2	借用申金子証文之事	嘉永7年正月	縦継紙	1通	中島屋久右衛門・証人大黒屋文介→中島屋亀次郎	
12-11-2-2	[質流地証書類]			1袋(7通)		12-11-2-2-1~7包紙で一包みし紐で一括りした状態が袋入り(包紙上書)「天保十五辰五月 分地証文吉通」(袋上書)「ヨヒ 天保九戌十二月 質流地証文吉通 外ニ寄除本添 日野屋利三郎」
12-11-2-2-1	覚(地代請取)	天保9年12月晦日	横継紙	1通	日野屋利三郎→中島屋喜久太	
12-11-2-2-2	覚(地代請取)	年月日未詳	横継紙	1通		
12-11-2-2-3	覚(質地書付)	年月日未詳	横切紙	1通	日間田787番 他8カ所	
12-11-2-2-4	覚(質地書付)	年月日未詳	横切紙	1通	安福寺562 多蔵	
12-11-2-2-5	覚(質地書付)	年月日未詳	横切紙	1通	山後ノ三ノ割97番 小作庄蔵	
12-11-2-2-6	覚(小作畝小作米書付)	天保9年12月	縦継紙	1通	日野屋利三郎→中島屋喜久太	
12-11-2-2-7	質入申田畑証文之事	天保9年12月	縦継紙	1通	質入日野屋利三郎・親類平松屋千蔵・証人本屋忠八→中島屋喜久太	(奥書)庄屋水沢常太郎・植田武右衛門・丹右衛門→(宛名なし)
12-11-3	[証書類]			1袋(1通1包)		12-11-3-1~2紐で一括りし袋入り(袋上書)「丑九月廿九日取かへ 同八未定 金百両 当丑十月晦日切約束 角屋久右衛門」
12-11-3-1	[印書]			1包(4通1纏め)		12-11-3-1-1~5包紙で一包(包紙上書)「印書」
12-11-3-1-1	覚(借入金受取)	丑年9月28日	横継紙	1通	久右衛門→亀二郎	包紙あり(包紙上書)「仮請取書入」
12-11-3-1-2	[久右衛門宛亀治郎・徳蔵返書控]	年未詳9月24日	横継紙	1通	銀子調達について町内聞合せのつもり	(端裏書)「拙返書控」
12-11-3-1-3	[徳蔵・亀二郎宛久右衛門書状]			1纏め(2通)		12-11-3-1-3-1は12-11-3-1-3-2を挟み込み
12-11-3-1-3-1	[徳蔵・亀二郎宛久右衛門書状]	年月未詳20日	横継紙	1通	依頼中の金子について指替願ひ	(上書)「徳蔵様 亀二郎様 久右衛門 内用事」
12-11-3-1-3-2	[久右衛門宛徳蔵・亀次郎書状]	年未詳9月28日	横切紙	1通	金子の件について拙宅へ廻り合せは朔日夜になること	
12-11-3-1-4	[徳蔵・亀二郎宛久右衛門口上]	年月日未詳	横継紙	1通	内頼中一条につき依頼	(上書)「徳蔵様 亀二郎様 久右衛門 内用事」
12-11-3-1-5	[徳蔵・亀二郎宛久右衛門書状]	年月日未詳	横継紙	1通	依頼中一条について	(上書)「徳蔵様 亀二郎様 久右衛門 用事」
12-11-3-2	借用申金子之事	丑年9月29日	横切紙	1通	久右衛門→亀次郎	
12-11-4	借用申銀札証文之事	嘉永7年2月	縦切紙	1通	中島屋久右衛門→中島屋亀二郎	包紙に一包みし袋入り(包紙上書)「印書 〇〇」(袋上書)「嘉永七寅年二月 銀札五貫目 当寅五月切約束 角屋久右衛門」
12-12	[悪水川端見分図]	未年10月24日	14.7×43.5	1舗	庄屋水沢常太郎・年寄丹右衛門外4名	
12-13	[金受取通帳]	昭和16年3月~24年1月	美・横半折	仮1冊		表紙欠損
12-14	自明治十五年第一月 至 諸入用勘定帳	明治15年1月~	美・横列	1冊		(裏表紙)「東大橋」
12-15	建築線指定申請書	明治6年1月3日		1綴	申請者大本嘉吉→岡山県知事香坂昌康 土地所有者大橋高之他4名の承諾書と合綴	罫紙
12-16	昭和拾九年度ヨリ 小作米算用帳	昭和19年度~	美・横列	1冊		
12-17	天保九戌年八月廿三日 覚	天保9年8月23日~ 文久2年4月6日	半・横列	1冊	諸入用勘定	
12-18	嘉永五壬子年正月より ひかへ	嘉永5年正月元日~ 安政3年11月11日	美・横列	1冊	日記	
12-19	[大橋高之宛敏夫書状]	年未詳6月30日	横継紙	1通	鎌田氏先妻の復縁の件で世話依頼	前欠
12-20	明治十三庚辰年第一月より 日記簿	明治13年1月~19年3月	美・横長	1冊		(裏表紙)「東大橋」

12-21	[白紙]	年月日未詳	横切紙	1枚		
12-22	自文久二戌年 雑事録	文久2年7月6日～ 明治14年10月3日	半・横長	1冊		(裏表紙)「大橋氏」 (上書)「昭和廿八年三月十三日 法岳晩翠居士 葬儀一切の記」 帳簿から外れたものカ
12-23	[貼紙]	年月日未詳		1枚		
12-24	[家賃領収台帳]	昭和25年	美・横長	1冊	矢戸忠男	
12-25	明治十九年十一月ヨリ 諸扣 東大橋	明治19年11月～20 年12月	半・縦	1冊	被害者救助金寄附額他	
12-26	昭和三十拾叁年二月 家賃領収諸雑記	昭和31年2月	美・横列	1冊		(上書)「東大橋」
12-27	明治十五年午旧十一月 鶴新田小作米覚	明治15年11月	半・横長	1通		(上書)「倉敷東大橋」
12-28	從明治十五壬午年 至 生阪 西坂 帯高 前湯 中 崎 検見反別書出帳	明治15年	美・横長	1冊		(上書)「倉敷東大橋」
12-29	明治三十年二月廿日 書画幅諸道具控帳 東大橋	明治30年2月20日	美・横長	1冊		(表紙貼紙上書)「明治三十年 売立の時」
12-30	昭和八年十一月吉日 小作米及代金取立帳	昭和8年11月吉日	美・横長	1冊		
12-31	昭和九年壹月 家賃請取算用帳	昭和9年1月	美・横長	1冊		
12-32	[川崎製鉄株式会社株主名簿登録証入袋]	年月日未詳		1袋(1冊2通)	大橋ヒサ登録証、住所氏名訂正葉書、パンフレット	
12-33	[袋]	年未詳12月28日		1枚		(袋上書)「Mr.H.H.Ohashi.No.385Kurashiki- Machi.Okayama.Ken.Japan. Dec.28 K-52」(袋朱鉛筆上書)「大橋 平右衛門」
13-1	大正九年十一月吉日 小作米納算用帳	大正9年11月吉日	美・横長	1冊		
13-2	大正八年十一月吉日 小作米納算用帳	大正8年11月吉日	美・横長	1冊		
13-3	大正五年十一月吉日 小作米納算用帳	大正5年11月吉日	美・横長	1冊		
13-4	大正六年十一月吉日 小作米納算用帳	大正6年11月吉日	美・横長	1冊		
13-5	大正元年十一月吉日 小作米納算用帳	大正元年11月吉日	美・横長	1冊		
13-6	大正貳年十一月吉日 小作米納算用帳	大正2年11月吉日	美・横長	1冊		
13-7	大正參年十一月吉日 小作米納算用帳	大正3年11月吉日	美・横長	1冊		
13-8	大正四年十一月吉日 小作米納算用帳	大正4年11月吉日	美・横長	1冊		
13-9	自嘉永七甲寅年 鶴新田分御年貢并横役調通	嘉永7年	美・横半折	1冊		(裏表紙)「倉敷中島屋金平」
13-10	小学日本歴史 二	明治38年11月12日		1冊	文部省発行	(裏表紙貼紙)「倉敷男子尋常小学校第六学年大橋幹一」
13-11	二十三年未来記	明治19年10月	18.0×12.3	1冊	末廣重恭著 大阪同盟書房	
13-12	[通帳]	年月日未詳	美・横半折	1冊		
13-13	備作 第拾四号	明治27年12月30日	22.0×14.8	1冊	備作事務取扱所発行	破損 SILティッシュで包む
13-14	[大橋高之宛大森武三はがき]	年未詳1月1日	はがき	1通	年始挨拶	破損 SILティッシュで包む
13-15	綴り方帳	年月日未詳	半・縦	1冊	高等尋常小学校第〇学年大橋〇〇	破損 SILティッシュで包む
13-16	市町村雑誌 第百六拾号	明治40年3月15日	21.5×14.3	1冊	市町村雑誌社発行	破損 SILティッシュで包む
13-17	有隣生命保険株式会社定款	明治27年2月18日	22.0×15.2	1冊		
13-18	養老保険掛金表	明治27年7月	13.5×43.0	1枚	有隣生命保険株式会社	破損 SILティッシュで包む
13-19	[用立金関係書類]			1括り(1纏め1 括り)		13-19-1～2紐で一括り
13-19-1	[天保八年出府中書付控]			1纏め(1冊1通)		13-19-1に13-19-2に挟み込まれている
13-19-1-1	天保八酉年出府中 書付控	天保8年	半・縦	1冊		(裏表紙)「古橋様一件」
13-19-1-2	覚(金子受取)	申年10月3日	横継紙	1通	宇佐美律右衛門→源介	包紙あり(包紙上書)「古橋新左衛門様へ用立候金子御手付宇佐美 津右衛門様仮受取書通」
13-19-2	[用立金関係書類]			1括り(1括り1 包)		13-19-2-1～2紐で一括り
13-19-2-1	[代官古橋新左衛門支配之節書付類]			1包(3通1包)		13-19-2-1-1～4包紙2枚で一包 (外包紙上書)「御代官古橋新左 衛門御支配之節書付数通入」(内包紙上書)「書付三通入」
13-19-2-1-1	[教諭所備金請取書]			1包(2通)		13-19-2-1-1～2包紙で一包 (包紙上書)「四月十一日 御請取 書 教諭所備金残銀五月中旬迄」
13-19-2-1-1-1	覚(教諭所備金請取)	未年6月4日	縦切紙	1通	宇佐美律右衛門・逸見八助→(宛名なし)	
13-19-2-1-1-2	覚(教諭所備金請取)	未年4月11日	縦切紙	1通	宇佐美律右衛門・逸見八助→(宛名なし)	
13-19-2-1-2	[年賦金返済書付]	年月日未詳	横切紙	1通		包紙あり(包紙上書)「源介様」
13-19-2-1-3	[金銀書付]	年月日未詳	横切紙	1通	教諭所備金両替分、米高値による村方難渋人助勢出銀分他	
13-19-2-1-4	覚(村別高書付)	年月日未詳	横切紙	1通	一. 三石四斗六合 倉敷村 他	
13-19-2-2	[書状類]			1括り(12通)		13-19-2-2-1～12紐で一括り
13-19-2-2-1	[源介宛宇佐美律右衛門書状]	年未詳7月28日	横継紙	1通	極秘に頼んだ件について相談	封筒あり(封筒上書)「源介様 宇佐美律右衛門」
13-19-2-2-2	[中島屋源介宛宇佐美郷一書状]	年未詳9月11日	横継紙	1通	入用につき金子借用依頼	封筒あり(封筒上書)「中島屋源介様 宇佐美郷一 内用御直披」
13-19-2-2-3	[中島屋平右衛門・同源助宛田中宗吉書状]	年未詳6月19日	横切紙	1通	唐物商島田文次郎の紹介	(上書)「中島屋平右衛門様 中島屋源助様 田中宗吉」
13-19-2-2-4	[中島屋源助宛陣内用状]	年未詳8月3日	横継紙	1通	明朝までに出向くように依頼	包紙あり(包紙上書)「中島屋源助様 陣内より用書」
13-19-2-2-5	[中島屋源介宛宇佐美郷一書状]	年未詳晦日	横継紙	1通(2枚)	小児出生内祝の贈品進上	封筒あり(封筒上書)「中島屋源介様 宇佐美郷一」
13-19-2-2-6	[中島屋源助宛田中宗吉書状]	年未詳8月7日	横継紙	1通	喜久太に伝えた件について話したいので来訪依頼	(上書)「中島屋源助様 田中宗吉 内用書」
13-19-2-2-7	[中島屋源助宛田中宗吉書状]	年未詳4月13日	横切紙	1通	先日話した一茶につき内談のため来訪依頼	(上書)「中島屋源助様 田中宗吉 内用書」
13-19-2-2-8	[中島屋源助宛田中宗吉書状]	年未詳正月16日	横継紙	1通	年始挨拶并贈品進上	(上書)「中島屋源助様 田中宗吉」

13-19-2-2-9	乍恐以書付御届奉申上候(案文)	天保8年8月	豎継紙	1通	倉敷村庄屋植田武右衛門・同村年寄平右衛門・同源助・倉敷村教諭所年寄五郎右衛門外4名→倉敷御役所 江戸町奉行所吟味節があり出府の届出	
13-19-2-2-10	[手附人書付]	年月日未詳	横継紙	1通	田村積右衛門手附本郷壯太夫外1名	(端裏書)「大坪様御書付」
13-19-2-2-11	[源介宛宇佐美律右衛門書状]	年未詳12月3日	横折紙	1通	去月七日到着の報知他	包紙あり(包紙上書)「源介様 宇佐美律右衛門」
13-19-2-2-12	[用状類控]	年月日未詳	横継紙	1通	用立金について	
13-20	[中島屋新宅金平宛浅原村治左衛門書状]	申年6月23日	横継紙	1通	延引の加地子米算用書付調へ并失念していた畑預銭差引分遣し	(上書)「中島屋新宅金平様 浅原村治左衛門 貴下用事」
13-21	覚(銀受取)	丑年2月29日	横切紙	1通	木曾屋三之丞→中島屋文治郎	
13-22	覚(利銀書付)	癸丑年3月1日	横継紙	1通	新あかね屋→中しま屋新宅	
13-23	[大橋平右衛門・大橋平蔵宛中田五左衛門書状]	年未詳10月14日	横継紙	1通	銀子借用依頼	
13-24	[大橋金平宛秋岡嘉二郎書状]	年未詳正月20日	横継紙	1通	小作米取立について相談	(上書)「大橋金平様 秋岡嘉二郎 貴下」
13-25	寛政四年覚(銀送付)	寛政4年	豎紙	1通		
13-26	[書状]	年月日未詳	横継紙	1通	万一購入の時は直に買ってほしい旨	破損 SILティッシュで包む
13-27	[中島屋金平宛浅原治左衛門書状]	子年大晦日	横継紙	1通	下作算用差引帳遣し并借用証文調への猶予願い	
13-28	明治廿九年略本曆	明治28年11月1日	15.5×11.2	1冊	神宮司庁発行	破損 SILティッシュで包む
13-29	[大橋高之宛大橋千之甫はがき]	明治29年12月13日	はがき	1通	作州津山町大字田町へ転居の通知	
13-30	[雑記帳]	年月日未詳	18.5×12.5	1冊	尋常高等小学尋常科第一学年大橋励二	
13-31	[収入印紙]	明治42年	横折紙	1通	木村庫太郎→(宛名なし)	包紙あり(包紙上書)「進呈 粗魚 木村」
13-32	[掛軸]	年月日未詳	114.0×27.0	1幅	竹木 備竹藁蟬里	破損 SILティッシュで包む
13-33	精思校友会 第四回	明治31年2月21日	22.2×15.2	1冊	大久保源太郎編輯 小谷丈六発行	
13-34	英語筆記帳	年月日未詳	20.5×13.0	1冊	一年を組大橋雅子	裏表紙破損
13-35	岡山県歌唱	明治33年10月20日	14.8×11.2	1冊	岡山吉田書房発行	破損 SILティッシュで包む
13-36	[明治三十一年略本曆]	明治30年11月1日	15.5×11.2	仮1冊	神宮司庁発行	破損 表紙欠 SILティッシュで包む
13-37	有隣生命保険株式会社保険規則	(明治31年)	15.5×11.0	1冊		
13-38	有隣生命保険株式会社保険規則	(明治31年)	15.5×11.0	1冊		
13-39	有隣生命保険株式会社甲種乙種有限積立保険規則	年月日未詳	18.5×13.0	1冊		破損 SILティッシュで包む
13-40	有隣生命保険株式会社甲種乙種有限積立保険規則	年月日未詳	18.5×13.0	1冊		
13-41	有隣生命保険株式会社保険規則	(明治31年)	15.2×11.0	1冊		
13-42	有隣生命保険株式会社保険規則	(明治31年)	15.2×11.0	1冊		
13-43	有隣生命保険株式会社保険規則	(明治31年)	15.2×11.0	1冊		
13-44	備作賛成員名簿	明治27年12月30日	21.8×14.8	1冊	備作発行所 備作第14号附録	
13-45	[名越為吉宛岡崎柁次郎はがき]	明治29年9月22日	はがき	1通	後見届受取并解除届を米山氏より受取	破損 SILティッシュで包む
13-46	[大橋寿宛遠藤善兵衛はがき]	明治29年9月20日	はがき	1通	近況報告	破損 SILティッシュで包む
13-47	[名越為吉宛旅宿熊谷店はがき]	明治32年1月1日	はがき	1通	年始挨拶	
13-48	[大橋高之宛永富康三はがき]	明治32年1月2日	はがき	1通	年始挨拶	
13-49	[大橋高之宛大橋伴はがき]	明治33年11月9日	はがき	1通	土産の礼	
13-50	[大橋金平宛中原弥次郎書状]	年未詳10月21日	横切紙	1通	依頼中の銀子を使いへ渡すよう御願い	(上書)「倉敷大橋金平様 片島中原弥次郎 用事」
13-51	[大ばしおば宛川入俊蔵書状]	年未詳3月28日	横継紙	1通	両方心得違いがないようにと心配されている件について当方に偽りはないこと	(上書)「大ばし御おば様 川入俊蔵」
13-52	[銀受取書付]			1纏め(3通)		13-52-1~3-纏め
13-52-1	覚(銀受取)	亥年12月27日	横継紙	1通	庄屋染次→源助	
13-52-2	[銀受取書付]	亥年10月4日	横切紙	1通	染次・与治平→(宛名なし)	
13-52-3	[入用銀書付]	年月日未詳	横切紙	1通		
13-53	覚(養子引請書)	文政10年5月	豎紙	1通	備中国窪屋郡倉敷村当時請持都宇郡日畑村庄屋与次兵衛→備前国邑久郡尻海村五人組頭与兵衛・同万右衛門 尻海村名主喜兵衛子息喜久太を倉敷村百姓源助養子に引請	包紙あり(包紙上書)「受取書 巻札 日畑村与次兵衛」
13-54	[父・金平宛喜久太口上]	年月日未詳	横継紙	1通	岡山で所々銀札引替并両替を始めたので許可願い	包紙あり(包紙上書)「口上書 喜久太」
13-55	寛政八辰年預米通	寛政8年	横折紙	1通	浅原・治左衛門→中島屋平右衛門	吉左衛門年貢未払の旨の書付が付紙している
13-56	仕用帳	年月日未詳	横継紙	1通	大黒柱・土台・屋根板他屋敷建具類	
13-57	[中島屋金平宛浅原治左衛門書状]	辰年4月29日	横継紙	1通	去秋用立した糯米受取并下作算用書付遣し	(上書)「中島屋金平様 浅原 治左衛門 貴答」
13-58	[中島屋金平宛浅原治左衛門口上]	午年12月4日	横継紙	1通	重吉并出居より借用銀の利銀遣し	(上書)「倉敷中島屋金平様 浅原村後左衛門 用事利銀添」
13-59	[大橋金平宛浅原後左衛門書状]	辰年12月大晦日	横継紙	1通	借用銀子遣しにつき手形引替願い	(上書)「中島屋大橋金平様 浅原 後左衛門 銀札式包添」
13-60	[中島屋金平宛浅原治左衛門書状]	寅年6月4日	横継紙	1通	不足加地子米遣し	(上書)「中島屋金平様 浅原 治左衛門 用事」
13-61	[中島屋金平宛浅原村治左衛門書状]	子年8月6日	横継紙	1通	加地子米遣しにつき算用願い	(上書)「中島屋金平様 浅原村 治左衛門 用事」
13-62	[中島屋金平宛浅原村治左衛門書状]	年未詳7月6日	横継紙	1通	三田の件について相談と米が売れない旨報知	(上書)「中島屋金平様 浅原村 治左衛門 内用事」
13-63	[中島屋金平宛浅原治左衛門書状]	年未詳12月25日	横継紙	1通	田地請取と銀子渡しはどうなったか様子伺い	(上書)「中島屋金平 浅原 治左衛門 内用」
13-64	[平治郎・金平宛庄蔵書状]	年未詳12月25日	横継紙	1通	酒津梶谷文治郎と同庄屋木谷十郎右衛門の書状やりとりより、庄蔵の田畑売証文の奥印が滞っていること	(上書)「平治郎様 金平様 庄蔵」
13-65	覚(取立銀書付)	午年12月28日	横継紙	1通	川入嘉三郎→中島屋	

13-66	[中島屋金平宛川入嘉三郎書状]	丑年3月16日	横継紙	1通	銀子借用の礼	
13-67	覚(銀送付)	子年正月28日	横継紙	1通	川入嘉一郎→中島屋	
13-68	[屋敷見取図]	年月日未詳	38.5×58.0	1舗		
13-69	[中島屋金平宛川入孫太郎書状]	年未詳2月13日	横切紙	1通	請取人を遣すので銀を渡すように依頼	
13-70	覚(十二ヶ年米代銀書付)	寅年12月大晦日	横継紙	1通		
13-71	[大橋金平・同源助宛中原八十二書状]	年未詳6月4日	横折紙	1通	歩買取につき入銀依頼と歩売券証文を追而差上のこと	包紙あり(包紙上書)「倉敷大橋金平様 同源介様 片島中原八十二 貴下」
13-72	[地割図]	年月日未詳	×150.0	1舗	新田、倉屋にご、北川原、立瀬他	
13-73	[中島屋金平宛浅原次左衛門書状]	年未詳5月23日	横継紙	1通	去暮加地子米算用と銀遣し	
13-74	覚(米送付)	酉年12月28日	横切紙	1通	浅原村後左衛門→中島屋金平	
13-75	寛政九巳歳浅原村御所持預米指引通	寛政9年	横折紙	1通	浅原治左衛門→中島屋平右衛門	口上書1通を貼付している
13-76	覚(預り歎書付)	年月日未詳	横折紙	1通		
13-77	[金平宛藤左衛門書状]	年未詳3月晦日	横継紙	1通	正月まで延引の御願ひ	(上書)「金平様 藤左衛門様 用答」
13-78	[歎高書付]	年月日未詳	横切紙	1通	利介他	
13-79	[中島屋金平宛あかね屋惣平書状]	年未詳8月晦日	横切紙	1通	祭につき質入脇さしの一時期借用依頼	(上書)「中島屋金平様 あかね屋惣平 様内用」
13-80	[中島屋金平宛浅原村後左衛門書状]	子年12月1日	横継紙	1通	昨日の書付について訂正	(上書)「中島屋金平様 浅原村後左衛門 用事」
13-81	[中島屋金平宛大助書状]	年月日未詳	横切紙	1通	銀子借用依頼	(上書)「中島屋金平様 大助 内用」
13-82	[大橋平右衛門宛田中〇助書状]	年未詳閏6月23日	横継紙	1通	見廻をしなかった件の詫ひ	
13-83	[新宅金平宛あかね屋惣平用状]	年未詳8月晦日	横継紙	1通	銀借用依頼	(上書)「新宅金平様 あかね屋惣平様」
13-84	[銀借請人書付]	年月日未詳	横継紙	1通	児島郡天城村名主三郎四郎他	破損により前欠
13-85	人相一代之事	安永5年2月吉日	横継紙	1通	大橋土佐守→(宛名なし)	
13-86	[中島屋金平宛浅原治左衛門書状]	年未詳8月28日	横継紙	1通	田地加地子米算用書付送付	(上書)「中島屋金平様 浅原治左衛門 用事」
13-87	[中島屋金平宛あかね屋宗平口演]	壬子年2月24日	横継紙	1通	銀借用依頼	(上書)「中島屋金平様 あかね屋宗平様 御下」
13-88	覚(預り米請渡)	子年閏2月6日	横切紙	1通	浅原村治左衛門→中島屋金平	
13-89	[金平宛嘉一郎用状]	年未詳11月13日	横切紙	1通	未11月12日落札の子細報知	
13-90	[中島屋金平宛浅原治左衛門書状]	申年7月23日	横継紙	1通	盆前加地子米取越の礼と源七の売家について	(上書)「中島屋金平様 浅原治左衛門 用事」
13-91	[中島屋金平宛浅原後左衛門口上]	子年3月26日	横継紙	1通	槇割木の割賃并持賃について	(上書)「中島屋金平様 浅原後左衛門 要事」
13-92	[書状類]			1括り(9通1纏め)		13-92-1~10紐で一括り
13-92-1	[書状]			1纏め(2通)		13-92-1-1は13-92-1-2を巻き込む
13-92-1-1	[大橋金平宛秋岡嘉三郎書状]	年未詳4月14日	横継紙	1通	岡山明宿板屋文次郎に頼まれた大供村大工十吉の眼病について世話の御願ひ他	(上書)「大橋金平様 秋岡嘉三郎 貴下」
13-92-1-2	[川入嘉三郎宛板屋文次郎書状]	申年4月13日	横継紙	1通	大供村重吉が目病につき中島屋へのとりなし依頼	
13-92-2	[中島屋金平宛川入嘉一郎書状]	年未詳10月23日	横継紙	1通	頼母志講会が23日夕にあった旨報知	(上書)「中島屋金平様 川入嘉一郎 内要用書」
13-92-3	[中島屋金平宛川入嘉三郎書状]	年未詳12月4日	横継紙	1通	急入用につき銀借用依頼	(上書)「中島屋金平様 川入嘉三郎 内要用」
13-92-4	川入并浜分共嘉一郎より入地	年月日未詳	横折紙	1通		
13-92-5	[中島屋金平宛川入惣五郎書状]	年未詳5月22日	横継紙	1通	相談があるので一両日中に来訪依頼	(上書)「中島屋金平様 川入 惣五郎 用事」
13-92-6	[中島屋金平宛川入村俊蔵書状]	年未詳12月24日	横継紙	1通	嘉一郎へ銀札を遣してくれた件の礼	覚1通を貼継している (上書)「中島屋金平様 川入村俊蔵 極内要用」
13-92-7	覚(銀札請取)	戊午年12月23日	横切紙	1通	川入村俊蔵→中島屋金平	
13-92-8	[地利米算用書付]	年月日未詳	横継紙	1通		
13-92-9	預申銀子之事	寛政10年12月13日	横継紙	1通	川入嘉一郎→中島屋金平	
13-92-10	[金平宛加三郎書状]	年未詳4月22日	横継紙	1通	先日の歳之義について茂吉子息を松山へ遣して様子を知りたい	(上書)「金平様 加三郎 極内用書」
13-93	[新宅宛加三郎口上]	未年2月14日	横切紙	1通	三本木小作米算用について	(上書)「新宅様 加三郎」
13-94	寛政元酉暮預米取米算用覚	戌年正月	横継紙	1通	浅原治左衛門→中島屋金平	
13-95	[大橋金平宛川へ嘉一郎書状]	年未詳12月22日	横継紙	1通	証文遣し及銀子請求	(上書)「大橋金平様 川へ嘉一郎」
13-96	[中島屋金平宛浅原村治左衛門書状]	子年7月10日	横継紙	1通	槇割ちん并持ちちん立用願ひ	(上書)「中島屋金平様 浅原村治左衛門 用事」
13-97	有隣生命保険株式会社診査規程	明治31年9月	18.8×12.8	1冊		
13-98	[大橋雅子宛林あき書状]	年未詳6月8日	横切紙	1通	御機嫌伺い	
13-99	文政二己卯浜村御年貢請取	文政2年	横折紙	1通	庄屋富太郎・久兵衛→(宛名なし)	(端裏書)「卯 久兵衛」
13-100	文政五壬午御年貢米銀請取通之事	文政5年	横切紙	1通	庄屋七太夫・年寄水沢伊左衛門・義右衛門外3名→(宛名なし)	
13-101	[代銀勘定帳]	年月日未詳	美・横長	仮1冊		破損 SILティッシュで包む
13-102	[中島屋源助宛取立人酒津村染口用状]	亥年7月11日	横切紙	1通	入用銀受取	破損 SILティッシュで包む (上書)「中島屋源助様 酒津口口 用答」
13-103	有隣生命保険株式会社保険規則	(明治31年)	15.2×11.0	1冊		裏表紙破損 (裏表紙)「松口口」
13-104	有隣生命保険株式会社保険規則	(明治31年)	15.2×11.0	1冊		
13-105	有隣生命保険株式会社保険規則	(明治31年)	15.2×11.0	1冊		
13-106	有隣生命保険株式会社保険規則	(明治31年)	15.2×11.0	1冊		
13-107	有隣生命保険株式会社保険規則	(明治31年)	15.2×11.0	1冊		
13-108	有隣生命保険株式会社保険規則	(明治31年)	15.2×11.0	1冊		
13-109	有隣生命保険株式会社保険規則	(明治31年)	15.2×11.0	1冊		
13-110	有隣生命保険株式会社保険規則	(明治31年)	15.2×11.0	1冊		

13-111	有隣生命保険株式会社保険規則	(明治31年)	15.2×11.0	1冊		
13-112	有隣生命保険株式会社保険規則	(明治31年)	15.2×11.0	1冊		
13-113	有隣生命保険株式会社保険規則	(明治31年)	15.2×11.0	1冊		
13-114	有隣生命保険株式会社保険規則	(明治31年)	15.2×11.0	1冊		
13-115	有隣生命保険株式会社保険規則	(明治31年)	15.2×11.0	1冊		
13-116	有隣生命保険株式会社保険規則	(明治31年)	15.2×11.0	1冊		
13-117	有隣生命保険株式会社保険規則	(明治31年)	15.2×11.0	1冊		
13-118	有隣生命保険株式会社保険規則	(明治31年)	15.2×11.0	1冊		
13-119	有隣生命保険株式会社保険規則	(明治31年)	15.2×11.0	1冊		
13-120	有隣生命保険株式会社保険規則	(明治31年)	15.2×11.0	1冊		
13-121	第六回報告	明治33年3月31日	18.5×13.0	1冊	有隣生命保険株式会社	
13-122	市町村雑誌 第百五拾九号	明治40年2月15日	21.5×14.5	1冊	市町村雑誌社発行	破損 SILティッシュで包む
13-123	明治三十二年略本暦	明治31年11月1日	15.5×11.2	1冊	神宮司庁発行	
13-124	私立山陽女学校規則	明治31年4月	30.5×47.0	1枚		
13-125	私立山陽女学校規則	明治31年4月	30.5×47.0	1枚		
13-126	明治十八年略本暦	(明治17年)	15.5×11.5	1冊	神宮司庁発行	
13-127	[明治三十七年略本暦]	明治36年	15.5×11.2	仮1冊	神部署発行	表紙なし
13-128	明治三十七年方位便覧	明治36年11月2日	15.0×11.0	1冊	寺田清助発行	
13-129	明治三十六年方位便覧	明治35年11月2日	15.0×11.0	1冊	寺田清助発行	
13-130	明治三十六年略本暦	明治35年11月1日	15.5×11.2	1冊	神部署発行	
13-131	オースチン氏法理学	明治17年3月29日	18.3×12.5	1冊	錦森閣発行 法学士関直彦講義	
13-132	当未早魅入用請取通	未年	横切紙	1通		
13-133	□□□□□浜村御年貢請取	年月日未詳	横折紙	1通	庄屋富太郎・久兵衛→(宛名なし)	(端裏書)「久兵衛」破損 SILティッシュで包む
13-134	文化十四丑浜村御年貢請取	文化14年	横折紙	1通	庄屋富太郎・久兵衛→(宛名なし)	(端裏書)「丑 久兵衛」
13-135	[代銀書付]			1括り(2通)		13-135-1~2紐で一括り 紐破損の為SILティッシュで括る
13-135-1	[代銀書付]	年月日未詳	横継紙	1通		
13-135-2	[代銀書付]	年月日未詳	横継紙	1通		
13-136	[文政十二年分村々御年貢通]			1袋(仮2冊15通)		13-136-1~17一袋 (袋上書)「文政十二丑年分 村々御年貢通袋」
13-136-1	文政十二丑浜村御年貢請取	文政12年	美・横長	仮1冊	庄屋富太郎・金平→(宛名なし)	
13-136-2	川入村当御年貢米請取通	文政12年9月	横折紙	1通	名主惣五郎→倉敷中島屋源助	
13-136-3	覚(切手代請取)	丑年12月9日	横切紙	1通	川入村名主恵五郎→中島屋源助	
13-136-4	文政十二己丑年高沼村御年貢請取通	文政12年12月晦日	横切紙	1通	庄屋謙蔵→(宛名なし)	
13-136-5	丑御年貢米之事	文政12年12月20日	横切紙	1通	庄屋基作→(宛名なし)	
13-136-6	丑御年貢米掛銀之事	年未詳12月26日	横折紙	1通	鶴新田庄屋基作・後見役倉敷源助→開発人金平	包紙あり(包紙上書)「丑十二月 丑年御年貢通 百貳拾目之替通戻 二有之」
13-136-7	当御年貢米請取通	文政12年	美・横長	仮1冊	子位庄村名主五一兵衛・同中右衛門・倉敷中島屋源介→(宛名なし)	
13-136-8	文政十二丑御年貢米銀請取通之事	文政12年	横切紙	1通	庄屋水沢常太郎・同植田汝四郎→(宛名なし)	
13-136-9	覚(地割代銀遣し)	寅年正月4日	横継紙	1通	江長庄屋→倉敷中島屋	
13-136-10	覚(代銀受取)	年未詳12月28日	横切紙	1通	忠蔵→大橋 松屋へ御こし分	
13-136-11	文政十二丑御年貢請取之事	年未詳12月29日	横切紙	1通	庄屋三宅武右衛門→(宛名なし)	
13-136-12	借用証文之事	文政12年12月27日	縦切紙	1通	基作→金平	包紙あり(包紙上書)「丑十二月 借用証文 書通 百目之分 鶴新田辻」
13-136-13	覚(立替銀書付)	丑年12月27日	横切紙	1通	鶴新田庄屋内安吉→後見源助	包紙あり(包紙上書)「丑十二月廿七日 鶴新田立替銀小書付入 五拾目分」
13-136-14	覚(取替銀書付)	年月日未詳	横折紙	1通		包紙あり(包紙上書)「書付 書 金平様 基作」
13-136-15	当丑小入用仮請取通	丑年12月28日	横切紙	1通		
13-136-16	当御年貢米請取通	文政12年	横継紙	1通	子位庄村名主五一兵衛・同中右衛門・倉敷中島屋久兵衛跡→(宛名なし)	(端裏書)「倉敷中島屋久兵衛跡」
13-136-17	丑御年貢納通	丑年	横切紙	1通		
13-137	倉敷日曜講演	明治37年3月17日	18.5×12.0	1冊	林源十郎編輯兼発行	破損 SILティッシュで包む
13-138	[会費領収証]	明治36年4月~37年3月	13.0×17.0	1通	岡山県婦人慈善会→大橋久子	
13-139	明秋 呉服物御通 東大橋様 兎島屋忠七	明治24年8月20日	美・横半折	1冊	加藤忠七→東大橋	
13-140	廿四年八月 上もの油並石炭油瀬戸物御通 東大橋様 倉敷阿知町和氣屋外造	明治24年8月	美・横半折	1冊	安田外造→東大橋	(裏表紙)「ぬりものいろいろ並箱るい おろし にうり」
13-141	廿一年八月 上もの油石炭油瀬戸物御通 東大橋様 倉敷阿知町和氣屋外造	明治21年8月	美・横半折	1冊		(裏表紙)「塗物薄茶器並箱類いろいろ 安田外造」
13-142	文化十三丙子浜村御年貢請取	文化13年	横折紙	1通	庄屋富太郎・久兵衛→(宛名なし)	(端裏書)「子 久兵衛」
13-143	文政四辛巳御年貢米銀請取通之事	文政4年	横折紙	1通	庄屋七太夫・年寄惣左衛門・水沢伊左衛門→(宛名なし)	
13-144	文政元戊寅浜村御年貢請取	文政元年	横折紙	1通	庄屋富太郎・久兵衛→(宛名なし)	(端裏書)「寅 久兵衛」
13-145	呉服太物御通 東大橋御氏様 京都御染物取次倉敷本町兎島屋事岡田義兵衛	明治24年8月	美・横半折	1冊		破損 SILティッシュで包む

13-146	廿四年八月 金物類正種油石炭油和洋砂糖類御通 新川東大橋様 森本善吉	明治24年8月	美・横半折	1冊		
13-147	とら年 御通 東大橋様 妹尾浜治	寅年	美・横半折	1冊		
13-148	廿四年八月 煉羊羹生くす上菓子砂糖漬物御通 東 大橋様 鳥羽屋吉三	明治24年8月	美・横半折	1冊	八木吉三→東大橋	(裏表紙)「和洋砂糖類」
13-149	明治廿四年九月一日ヨリ 上菓子品々砂糖類御通 東大橋御氏様 山本精治郎	明治24年9月1日	美・横半折	1冊	大桐精治郎→東大橋	
13-150	廿四年八月 髪附蠟燭諸紙類御通 東大橋様 小松 原慶太郎	明治24年8月	美・横半折	1冊		
13-151	廿四年秋 醬油御通 東大橋様 木村光太郎	明治24年8月	美・横半折	1冊		
13-152	廿五年一月ヨリ 魚口屋口御通 東大橋様	明治25年1月	美・横半折	1冊	鴨井長十郎→東大橋	破損 SILティッシュで包む
13-153	辰ノ春 酒類御通 東大橋様 羽葉酒店	明治25年2月	美・横半折	1冊	羽葉純次→東大橋	汚損 SILティッシュで包む
13-154	卯ノ秋 薬品御通 東大橋様 林源十郎	明治24年8月	美・横半折	1冊		破損 開封不能 SILティッシュで包む
13-155	辰ノ年 御通 東大橋様 入舟屋森三	明治25年2月	美・横半折	1冊	吉岡森三→東大橋	
13-156	蒲鉾生魚御通 東大橋様 秋田屋半造	明治24年8月	美・横半折	1冊	松尾半造→東大橋	
13-157	卯八月 諸紙御通 東大橋様 松葉屋席吉	明治24年8月	美・横半折	1冊	河野席吉→東大橋	(裏表紙)「宇治茶各種筆墨蠟燭朝日羊羹」
13-158	卯秋 鶏肉御通 東大橋様 精勤舎	明治24年8月	美・横半折	1冊	赤木秀太郎→東大橋	濡損 開封不能
13-159	明治二十四年 東大橋様 金道宗七 (入用通帳)	明治24年	半・横半折	1冊		
13-160	辰の春 揚豆腐御通 東大橋御氏様 藤田屋弥平	明治25年2月	美・横半折	1冊	松本弥平→東大橋	
13-161	辰之年 酒御通 東大橋様 阿知町朝屋酒店	明治25年2月	美・横半折	1冊	井上直太郎→東大橋	(裏表紙)「美淋焼酎白酒味噌麴」
13-162	[代金書付類]			1纏め(6綴22 通)		13-162-1~28重ねて一纏め
13-162-1	記(代金書付)	辰年7月	横継紙	1通	カモヤ柳三→東大橋 油代他	
13-162-2	記(代金受取)	明治25年9月	横切紙	1通	八王寺梶谷敬左次→阿知町東大橋 栗四尺杭代他	
13-162-3	記(代金書付)	明治25年9月	横継紙	1通	橋本屋与吉→東大橋 ヒジ坪、釘代他	
13-162-4	記(代金書付)	辰年8月	横切紙	1通	小松原店→東大橋	
13-162-5	記(代金書付)	年未詳7月	横切紙	1通	うを屋和平→東大橋 藤色花ヲ代他	
13-162-6	記(代金書付)	辰年9月	横切紙	1通	吉村商店→新川東大橋 糸しん代他	
13-162-7	記(代金書付)	年未詳8月	横切紙	1通	酒津仁井屋庄二郎→倉敷東大橋 片炭、松葉代他	
13-162-8	記(代金書付)	辰年旧7月	横継紙	1通	帯江屋文七→東大橋 つるべ代他	
13-162-9	記(代金書付)	辰年	横切紙	1通	さのや福三郎→東大橋 舞鶴代他	
13-162-10	記(代金書付)	辰年7月	横切紙	1通	吉田屋貞蔵→東大橋 ねずみのせんじ墨染代	
13-162-11	記(代金書付)	辰年7月	横切紙	1通	かめや惣七→東大橋 甲くし代	
13-162-12	記(代金書付)	辰年旧7月	横切紙	1通	戎屋房次郎→東大橋 白酒代	
13-162-13	記(代金書付)	年未詳旧7月12日	横切紙	1通	高橋多助→東大橋 硯刻直し代	
13-162-14	記(代金書付)	辰年9月	横切紙	1通	養原屋→東大橋 うなぎ代	
13-162-15	証(代金書付)	年未詳8月30日	横切紙	1通	朝日園茶舗三輪→東大橋 東雲代	
13-162-16	記(代金書付)	辰年9月	横切紙	1通	森田〇〇→東大橋 産代	
13-162-17	記(代金受取)	辰年7月	横切紙	1通	河田屋和平→中 東大橋 より糸代	
13-162-18	記(代金書付)	年未詳9月	横切紙	1通	魚長→大橋 くず代他	
13-162-19	記(代金受取)	辰年旧7月	横切紙	1通	岡田茂平→東大橋 紹、かすり、糸掛大柄代	
13-162-20	記(代金書付)	辰年旧7月	横切紙	1通	ふたや僧兵衛→東大橋 さらし代	
13-162-21	記(代金書付)	年未詳9月3日	横切紙	1通	藤波店→東大橋 もめん代	
13-162-22	覚(入用書付)	年月日未詳	横継紙	1通	美袋行代他	
13-162-23	[代金書付綴]	明治25年7月~9月		1綴(6枚)	かめ屋永兵衛→東大橋 他	
13-162-24	[代金書付綴]	辰年9月		1綴(5枚)	秀まつ屋岩吉→東大橋 他	
13-162-25	[代金書付綴]	辰年7月~9月		1綴(4枚)	高島屋呉服店→東大橋 他	
13-162-26	[代金書付綴]	壬申年7月~8月		1綴(2枚)	岡山や角五郎→新川町東大橋 他	
13-162-27	[代金書付綴]	辰年7月~未年9月		1綴(9枚)	平井秀吉→新川町東大橋 他	
13-162-28	[代金書付綴]	明治25年7月~9月		1綴(3枚)	多田与一→東大橋 他	
13-163	文化五辰浜村御年貢請取	文化5年	横折紙	1通	立会庄屋染次・同五左衛門・庄屋仮役四郎右衛門・久兵衛→ (宛名なし)	(端裏書)「辰 久兵衛」
13-164	[文化六]巳浜村御年貢受取	(文化6)年	横折紙	1通	立会庄屋染次・同五左衛門・庄屋仮役理右衛門・久兵衛→(宛 名なし)	(端裏書)「巳 久兵衛」 破損 SILティッシュで包む
13-165	文化七午年浜村御年貢請取	文化7年	横折紙	1通	庄屋富太郎・久兵衛→(宛名なし)	(端裏書)「午 中島屋久兵衛」
13-166	文化八未浜村御年貢請取	文化8年	横折紙	1通	庄屋富太郎・久兵衛→(宛名なし)	(端裏書)「未 久兵衛」
13-167	文化九壬申浜村御年貢請取	文化9年	横折紙	1通	庄屋富太郎・久兵衛→(宛名なし)	(端裏書)「久兵衛」 破損
13-168	文化十酉浜村御年貢請取	文化10年	横折紙	1通	庄屋富太郎・久兵衛→(宛名なし)	(端裏書)「酉 久兵衛」
13-169	文化十一戌浜村御年貢請取	文化11年	横折紙	1通	庄屋富太郎・久兵衛→(宛名なし)	(端裏書)「戌 久兵衛」
13-170	文化十二乙亥浜村御年貢請取	文化12年	横折紙	1通	庄屋富太郎・久兵衛→(宛名なし)	(端裏書)「久兵衛」 破損
13-171	[平右衛門・源助宛永井幸之丞書状]	年未詳正月7日	横折紙	1通	年始挨拶と役所出勤について	包紙あり(包紙上書)「倉敷平右衛門様 源助様 永井幸之丞」 包 紙破損 全体をSILティッシュで包む
13-172	辰之秋 生魚口物御通 東大橋様	辰年	美・横半折	1冊		汚損 SILティッシュで包む



13-173	未御年貢銀納方請取覚	文政6年12月4日	横折紙	1通	浅口郡口江村庄屋口右衛門・都宇郡下庄村庄屋忠次→窪屋郡倉敷村源助	破損 SILティッシュで包む
13-174	[買物通]	年月日未詳	美・横半折	1冊		破損 SILティッシュで包む
13-175	[大橋高之宛西大寺紡績株式会社取締役口長伊原木久三郎はがき]	明治29年7月17日	はがき	1通	取締役補欠選挙執行の報告	
13-176	[名越為吉宛江木重一郎はがき]	明治34年10月17日	はがき	1通	岡田八郎先生へ照会の件	破損 SILティッシュで包む
13-177	[大橋高之宛永富口夫はがき]	明治32年	はがき	1通	年始挨拶	
13-178	[東大橋宛池本彦平はがき]	明治29年12月11日	はがき	1通	世話になった礼	
13-179	[大橋高之宛永富口夫はがき]	明治29年9月7日	はがき	1通	近況報告	破損
13-180	[大橋高之宛はがき]	年未詳1月1日	はがき	1通	年始挨拶	破損 SILティッシュで包む
13-181	[御用旗]	年月日未詳	29.0×16.0	1枚	ひ二番	
13-182	[御用旗]	年月日未詳	29.0×16.5	1枚	江二番	
13-183	[御用旗]	年月日未詳	29.0×16.5	1枚	れ二番	
13-184	[御用旗]	年月日未詳	26.0×16.0	1枚	ぬ四番	
13-185	[御用旗]	年月日未詳	29.5×16.0	1枚	め五番	破損
13-186	[御用旗]	年月日未詳	29.0×16.0	1枚	ま四番	
13-187	[御用旗]	年月日未詳	29.0×16.0	1枚	さ四番	
13-188	[御用旗]	年月日未詳	28.0×16.5	1枚	さ五番	
13-189	[御用旗]	年月日未詳	19.0×16.0	1枚	拾二番	
13-190	[御用旗]	年月日未詳	27.5×16.0	1枚	の二番	
13-191	[御用旗]	年月日未詳	29.5×16.0	1枚	や二番	
13-192	[御用旗]	年月日未詳	28.5×16.0	1枚	ひ三番	
13-193	[御用旗]	年月日未詳	28.0×16.0	1枚	木五番	
13-194	[布]	年月日未詳	38.0×50.0	1枚		汚損のため中性紙袋へ入れる
13-195	[新聞断簡]	明治42年12月6日 ～大正2年4月2日		1纏め	大正2年4月2日の大阪朝日新聞、明治43年10月14日の中国民報他	箱内にあったものを纏めてSILティッシュで包む
13-196	[断簡]	年月日未詳		1纏め		箱内にあったものを纏めて中性紙袋へ入れる
14-1	[有畝及定米書付]	年月日未詳	美・横列	1冊	倉敷、倉敷新田、日吉、川入、濱邑、浅原、洪江邑、白楽市邑、安江邑、四十瀬邑、田之上邑、中之荘、西田邑、高須賀、亀山邑	
14-2	自明治廿六年一月 雑費附込帳	明治26年1月1日～ 年未詳12月晦日	半・横長	1冊		表紙の「自明治廿五年」の「五」を朱筆で「六」と訂正している
14-3	明治廿有七年甲午一月吉日 金銭出納帳	明治20年1月1日～ 12月30日	美・横長	1冊		(裏表紙)「大橋寿」
14-4	文久二戌年一月吉日ヨリ明治元戌辰十二月迄 年勤定帳	文久2年11月～明 治元年12月	半・横列	1冊		
14-5	[小作米銀納仮算帳]			1袋(2冊)		14-5-1～2一袋 (袋上書)「亥五月七日仕舞 小作算用書類秘入」
14-5-1	文久二壬戌年小作米銀納仮勤定帳 徳聚	文久2年	半・横長	1冊		
14-5-2	万延元十二月 当申小作米代銀納仮算帳 徳聚扣	万延元年12月	半・横長	1冊		
14-6	享和二年壬戌四月吉日 日記	享和2年4月	美・横列	1冊		虫損のため不展開 (裏表紙)「大福入」
14-7	[日記]	年月日未詳	美・横列	1冊		表紙は虫損の為不詳 (裏表紙)「中嶋金平 大福入」
14-8	金平・おとわ病中見廻囉物扣	年未詳1月3日～9 日	美・横半折	1冊		屋号書付及び献立書付の挟み込み文書あり
14-9	[人別畝数書付]	年月日未詳	横切紙	1通		
14-10	天明九年巳酉正月吉日 日記	天明9年正月吉日	美・横列	1冊		(裏表紙)「中島屋 金平 大福入」 綴じ紐劣化の為SILティッシュで包む
14-11	[日記]	戌年正月	美・横列	1冊		(裏表紙)「大福入 大橋俊太郎」 綴じ紐劣化の為SILティッシュで包む
14-12	[納米・切手石数書付]	年月日未詳	横折紙	1丁		
14-13	[小林権六入陣祝義書付]	年未詳6月27日	横切紙	1枚		
14-14	[覚]			1袋(6通)		14-14-1～6一袋 (袋上書)「嘉永五壬子年十一月廿五日より 周平より差越之書類并二庄屋より蔵斗書抜之分 入」
14-14-1	覚(人別石数書付)	子年11月27日	横継紙	1通	「子十一月廿七日庄屋より之書抜 石定より差越し候」の書付あり	
14-14-2	おぼへ(人別銀札書付)	年未詳11月11日	横切紙	1通	鶴新田石松→(宛名なし)	
14-14-3	[人別石数書付]	年未詳11月25日	横切紙	1通	「子十一月廿五日 石走持参 即手前へ計かり此分十二月五日 場帳へ写ス」の書付あり	
14-14-4	[割相場書付]	子(嘉永5)年11月 25日	横継紙	1通	「子十一月廿五日 石松持参」の書付あり	
14-14-5	覚(人別銀高書付)	丑(嘉永6)年正月8 日	横切紙	1通	「石松持参」の書付あり	前欠力
14-14-6	おぼへ(人別銀高書上)	年月日未詳	横継紙	1通		後欠

14-15	壬辰年 両替御通 御新開元方様 大江屋還右衛門	壬辰年	美・横半折	1冊		
14-16	享和三亥年十二月 川入分三本木畑小作米取立帳 中嶋屋	享和3年12月	美・横長	1冊		
14-17	[普請書付]	年月日未詳	半・横長	仮1冊		
14-18	十一月十五日改 申年濱平算手板 御魚濱 七番八番 引受元蔵	年未詳11月15日	半・横長	1冊		
14-19	従明治十九年十二月 米蔵勘定帳	明治19年12月14日 ～20年	美・横列	1冊		(裏表紙)「東大橋」
14-20	[帳簿]	年月日未詳	美・横列	1冊	金銭の出納	虫損により表紙不詳 (裏表紙)「東大橋」
14-21	日記	年月日未詳	半・横列	1冊	金銭の出納	虫損により表紙不鮮明 (裏表紙)「大福入 中嶋屋」
14-22	庚午明治三年正月吉日 町通	明治3年1月14日～ 4年1月9日	美・横列	1冊		(裏表紙)「東大橋」
14-23	[米数量・人名書付]	年月日未詳	横継紙	1通		
14-24	[表紙]	年月日未詳	35.4×13.6	1枚	「東大橋」の書付あり	
15-1	岡田松山山論出入済口証文写	嘉永元年5月	半・縦	1冊	板倉周防守領分備中国川上郡玉村と伊東播磨守領分備中国下 道郡水田村の山境出入一件について	箱15の文書はすべて箱が壊れている為文書箱に移した 15-2-1～2まで折りたたまれて一纏め
15-2	[大橋良介妹みつを類介妻に引受一件書類]			1纏め(2通)		
15-2-1	覚(大橋良介妹みつを類介妻に引受につき人別送手 形受取)	元治元年3月	横切紙	1通	板倉摂津守領分小田郡東三成村庄屋役分組頭三郎兵衛→大 竹左馬太郎様御貸所窪屋郡倉敷村御年年月番唯介	書状の裏を転用
15-2-2	宗門放手形受取之事	元治元年3月	縦紙	1通	東三成村仏種吉→窪屋郡倉敷村地蔵院	
15-3	[土地関係書類写]			1包(3冊1通1 括り)		15-3-1～5一包 包紙あり(包紙上書)「此分不用之書類ニ御座候得 共写シニ付入置」
15-3-1	覚(新開之内郡中村懸り書上)	嘉永5年10月	横継紙	1通	後に「議定書之事」雛形あり	
15-3-2	[土地・免書上]			1括り(2通)		15-3-2-1～2紙綴りで一括り
15-3-2-1	[東大橋分土地譲り受渡書上]	年月日未詳	横折紙	1通		
15-3-2-2	[富岡村土地条約書上]	年月日未詳	横折紙	1通		
15-3-3	寄島新田古開之分 譲証文写書	文政13年12月	半・縦	1冊	譲主窪屋郡笹沖村高橋仲介・親類同村孫右衛門・同弥兵衛・証 人井原村清蔵→後月郡井原村大津寄重郎左衛門	(奥書)東大島名主源介
15-3-4	寄島新田 譲証文下書	文政13年12月	半・縦	1冊	譲主窪屋郡笹沖村高橋仲介・親類同村孫右衛門・同弥兵衛・証 人井原村清蔵→後月郡井原村大津寄重郎左衛門	(奥書)大嶋中村原田忠五郎
15-3-5	東大島寄島新開願書之写	文化2年2月～戊年 7月	半・縦	1冊		
15-4	塩濱小作証文之事	嘉永2年12月21日	縦継紙	1枚	直嶋扇屋元太郎→東大橋主人	
15-5	釜屋下玉土手石垣笠上ヶ之事	戊年正月21日	縦継紙	1通		「戌正月廿一日塚屋持参」の書付あり
15-6	[役用書類]			1袋(1通1括り)		15-6-1～2一袋 (袋上書)「役用書類入」
15-6-1	奉願上	元治元年8月	縦継紙	1通	西疇名主忠三郎・同曾根幾太郎・彦崎村名主良蔵・同添役川張 村嘉右衛門→(宛名なし) 西疇より彦崎・植松への渡し場に杭 土俵を用意し、臨時差入の節に普請仰せ付けられるべきこと	(奥書)大庄屋内尾常右衛門・藤戸村星嶋義兵衛→羽原治郎右衛門
15-6-2	[役用書類]			1括り(2括り)		15-6-2-1～2紙綴りで一括り (紙綴り書付)「此分以前分」
15-6-2-1	[風聞書等役用書類]			1括り(7通)		15-6-2-1-1～7紙綴りで一括り
15-6-2-1-1	[風聞書]	亥(文久3)年8月28 日	横継紙	1通	大和騒乱(天誅組の乱)について	
15-6-2-1-2	[書状案文]	年月未詳3日	横継紙	1通	矢嶋様御元服に付き肴料についての相談	
15-6-2-1-3	[風聞書]	(文久3力)年8月19 日	横継紙	1通	政変の風聞力	
15-6-2-1-4	[天誅張紙写]	亥年10月	横継紙	1通	巡国周施方 市中に於は植田武右衛門など表仁陰悪の姦賊を 重用のことなど	
15-6-2-1-5	以書付御歎申上候	年月日未詳	縦継紙	1通	向市場魚屋宗兵衛と栗坂村初蔵・徳芳村小次郎との代銀出入 のこと	
15-6-2-1-6	[張札写]	年未詳正月9日	縦継紙	1通	近日中に安右衛門宅に砲火の積り、隣家は用心のこと	
15-6-2-1-7	[吉左衛門寿太郎の明白な取調要求書付]	丑年正月8日	縦継紙	1通	御存士→桜井久之助役所	
15-6-2-2	[願書類]			1括り(2通)		15-6-2-2-1～2紙綴りで一括り
15-6-2-2-1	[願書への返答下書]	年月日未詳	横継紙	1通	当村弥平治倅庄次郎他行の節、妻すミ・子どもを実家栄三郎に 預け置くにつき着類など送るべきこと	
15-6-2-2-2	以書付御願申上候	年月日未詳	横継紙	1通	阿知町播磨屋彦介召使いの佐方村近蔵倅恵介が集金を持ち逃 げした件について	下書 15-7-1～2一包 包紙あり(包紙上書)「御恵浜七番八番小作証文数 通入 外二小書付色々入」
15-7	[小作証書類]			1包(2通)		包紙あり(包紙上書)「亥年小作証文寄通 直嶋扇屋元太郎」
15-7-1	壹ヶ年切小作預り証文之事	嘉永4年正月	縦継紙	1通	小作人直嶋扇屋元太郎・受人塚屋常蔵→東大橋	
15-7-2	来申年加地子定	年月日未詳	横折紙	1通		
15-8	[塩浜引受けに付証文]			1括り(2通)		15-8-1～2紙綴りで一括り
15-8-1	[差入申議定証文之事]	嘉永元年11月晦日	縦継紙	1通	直嶋扇屋元太郎→倉敷中嶋屋金平 塩浜引受けに付約定の事	
15-8-2	[塩浜壹ヶ年切小作預証文事]	弘化4年11月	縦継紙	1通	小作人直嶋扇屋元太郎→倉舗中嶋屋金平	

15-9	[六月廿八日夜張紙ノ写]	年月日未詳	豎切紙	1通	巡国周施方見習 浪士本村を乱妨せんと張紙に対する意見	
15-10	元治元年子十月 稲方御検見下取帳 小田郡東三成村西分	元治元年10月	半・豎	1冊		
15-11	慶応二年寅九月 御免木綿用御仲見下取帳 小田郡東三成村西分	慶応2年9月	半・豎	1冊		
15-12	酉十二月十五日 ひかへ	酉年12月15日	美・横半折	1冊	入分米糶俵数書付	
15-13	[諸扣まとめ]			1纏め(1冊仮2冊)		15-13-1~3まで重ねて二ツ折
15-13-1	嘉永四亥年改 新川町組火事役扣	嘉永4年	半・横長	1冊		亥年正月~五月まで氏名の書かれた挟み込み文書
15-13-2	[正月朔日御礼次第書付]	年月日未詳	半・横長	仮1冊		
15-13-3	[正月二日御礼次第書付]	年月日未詳	半・横長	仮1冊		
15-14	[本塩浜書抜]			1袋(1冊3通)		15-14-1~4一袋(袋上書)「嘉永四辛亥年十月 本塩浜書抜在中」
15-14-1	亥十月 本家塩浜相続ひかへ	亥(嘉永4)年10月26日~嘉永5年4月5日	美・横半折	1冊	塩浜相続に関する書付	
15-14-2	[西阿知伝次郎宛味野常太郎書状]	年未詳4月22日	横継紙	1通	直嶋塩浜一件について相談の返答書	包紙あり(包紙上書)「西阿知伝次郎様 味野常太郎 用書」
15-14-3	覚(竈屋数書付)	亥年11月	横切紙	1通	大橋→新宅	包紙あり(包紙上書)「ひかへ」
15-14-4	口上	年未詳11月2日	横継紙	1通	今日の金相庭については熟考のこと	(上書)「東主人様 指上置 郡屋多助」
15-15	[正月三日御謠初之次第]	年月日未詳	半・横長	仮1冊		「御謠初御断子組」の挟み込み文書あり
15-16	明治7甲戌年 ひかへ	明治7年~8年	美・横半折	1冊	入分米糶俵数書付	(裏表紙)「富春軒」
15-17	[山稜修補及び長防征伐に付廻状写]	子年9月18日	半・豎	仮1冊	倉敷役所→窪屋郡倉敷村・浜村・酒津村・安江村・沖村・中島村	
15-18	[触書写]	年未詳閏8月22日	半・豎	仮1冊		
15-19	本家敬之介より借り請文久二戌年十月十六日写 福田古新田樋之輪疵附一件済口証文控	文久2年10月16日	半・豎	1冊		
15-20	[数量書付類]			1括り(仮1冊3通)		15-20-1~4紙綴りで一括り
15-20-1	卯年岡山廻し書抜	年月日未詳	美・横長	仮1冊		
15-20-2	[請作税書付]	年月日未詳	横折紙	1通		
15-20-3	[内作書付]	年月日未詳	横切紙	1通		
15-20-4	覚(氏名・米俵数書上)	卯年12月	横継紙	1通		
15-21	[金銭書付類]			1纏め(15通)		15-21-1~15まで重ねて一巻きになっていた 元の状態に戻せない ので1通ずつ重ねてSILティッシュで包む
15-21-1	記(シャツ代金受取)	年未詳10月22日	横継紙	1通	佐藤猪三郎→大橋	
15-21-2	覚(代金受取)	酉年8月	横切紙	1通	はまのや角二→本大橋 銭保、下鴨行代	
15-21-3	記(油代金受取)	午年7月8日	横切紙	1通	小しま秀天兵治郎→長保菊治郎	
15-21-4	記(代金受取)	年未詳7月25日	豎切紙	1通	黒田重三郎→木村 古鉄瓶直シ代	
15-21-5	記(杭木代金請取)	年未詳3月29日	横継紙	1通	大黒屋吉太→長保菊次郎	
15-21-6	証(本朱九寸高付代金受取)	明治18年11月1日	横切紙	1通	岡山県西大寺町漆器卸商青津藤衛→上様	台紙は摺物
15-21-7	記(代金受取)	年未詳2月27日	横切紙	1通	日下兎三郎→横た	
15-21-8	記(代金書上)	酉年7月	横切紙	1通	岡屋桂吉→東大橋 いわし、くし柿、玉子代他	「右正二請取候也」の書付あり
15-21-9	記(代金受取)	戌年8月	横切紙	1通	生嶋岩太郎→大橋 朝老日記、檀風物語他代	
15-21-10	記(玉露代請取)	年未詳7月23日	横切紙	1通	若林周蔵→上様	
15-21-11	記(賃金及び代金書上)	明治17年	横継紙	1通	高見和平次→東大橋 米取立衆并二年貢取立衆小継夫代、むしろ代他	「受取済」の後筆あり
15-21-12	覚(直し代受取)	年未詳4月5日	横切紙	1通	柳田屋栄吉→東大橋	
15-21-13	証(領収書)	明治20年1月19日	横切紙	1通	向陽社→大橋俊太郎	台紙は印刷物
15-21-14	記(代金受取)	酉年8月27日	横切紙	1通	塗師俊二→上様 ひき出し、ふち、ぬりはし代	
15-21-15	記(代金受取)	年未詳旧6月18日	横継紙	1通	旭日堂→東大橋 上金縄、金銀モール縄代他	
15-22	[長防征伐に付廻状]	子年9月19日	半・豎	1冊	倉敷役所→備中国窪屋郡倉敷村他5ヶ村村役人 長防征伐に際し秣用意のこと及び大豆等を余国へ売渡すことを禁止する	
15-23	慶応三卯年五月 御触書請印帳写	慶応3年5月	半・豎	1冊	横田新之丞→村々役人	
15-24	公儀御触書	年未詳閏8月	半・豎	1冊		
15-25	[此度変革に付き心得書写]	亥年2月25日	半・豎	1冊	倉敷役所→備中国窪屋郡倉敷村他5ヶ村村役人	
15-26	[外交文書]	年月日未詳	半・豎	1冊	大日本国老中→大俄羅斯国上宰相子也利羅徳	「東大橋氏蔵」の書付あり
15-27	[諸書類]			1包(5通1包)		15-27-1~6一包
15-27-1	以書付御願申上候	弘化4年11月	横継紙	1通	倉敷村光右衛門→子位庄村名主浅原村五一兵衛 米右衛門が貸し付けた銀を返さず、質地を流地にもさせないので、米右衛門を取り調べて埒をつけることを願う	
15-27-2	乍恐以書付奉願申上候	未年6月20日	豎継紙	1通	勝蔵・組頭喜和蔵・組合仁右衛門・同瀧蔵→倉敷役所 勝蔵弟仙右衛門が八浜村にて当村辰蔵伴房太郎に怪我をさせられたので、調査してほしい事	(奥書)庄屋丈平 年寄光右衛門 同金平
15-27-3	以書付御伺申候	未年6月26日	豎切紙	1通	金平・丈平→水沢常太郎・植田武右衛門 新川町筆吉に村囲い入れを申し付けたいので、差図を伺う	宛先の水沢・植田の氏名の下に囲入取計を承知する旨の書付あり

15-27-4	差出申済方証文之事	午年8月	縦継紙	1通	市之丞・古の他10名一村役人 市之丞が女房古のと口論の末、疵を負わせた件につき内済のこと	
15-27-5	[加子金書付]			1包(2通)		15-27-5-1~2一包 (包紙上書)「加子金定書入」
15-27-5-1	覚(来成年分預ケ金約定)	年月日未詳	横継紙	1通	「貳番一金三拾七両壹歩 福松」他6筆	
15-27-5-2	嘉永四亥年分覚	嘉永4年	横切紙	1通	「一金四拾壹両 壹番 千歳」他5筆	
15-27-6	[丹右衛門他7名宛金平廻状]	年未詳8月24日	横継紙	1通	角力取の鏡岩と申す者が町内に逗留し、寺院にて弟子共と稽古をしないと申している事について取計方を相談	
15-28	[代金書上類他]			1括り(52通1纏め)		15-28-1~53紙綴りで一括り
15-28-1	[三島治郎右衛門他6名宛松江名主武三郎・栄之介廻状]	年未詳11月8日	横継紙	1通	未返済新開発費の返済可否を問う廻文	
15-28-2	覚(飛脚・与力貸銭書上)	申年7月	横継紙	1通	若松百蔵→東大橋	(上書)「東大橋御氏様」
15-28-3	覚(代銀書上)	申年8月28日	横切紙	1通	みつ→東大橋 按腹代他	(上書)「東大橋檀那様」
15-28-4	覚(代銀受取)	壬申年8月28日	横継紙	1通	和氣屋舩蔵→東大橋 今年証明銭	(上書)「東大橋様」
15-28-5	覚(代銀書上)	年月日未詳	横継紙	1通	紙屋→東大橋 白紙、扇、短尺代他	(上書)「東大橋様」
15-28-6	覚(代銀書上)	申年9月29日	横切紙	1通	はまたやみつ→東大橋 按腹、按摩代他	(上書)「東大橋檀那様」
15-28-7	覚(代銀書上)	申年7月	横切紙	1通	西大寺屋直三→東大橋 御身研上代	(上書)「東大橋様」
15-28-8	覚(代銀書上)	申年12月暮日	横切紙	1通	おみつ→東大橋 旦那様按摩、按腹代他	(上書)「東大橋檀那様」
15-28-9	覚(代銀書上)	年未詳1月	横切紙	1通	西大寺屋直三→東大橋 脇差身念入研上代	(上書)「東大橋様」
15-28-10	覚(代銀書上)	酉年2月25日	横切紙	1通	新川利平→大橋 旦那様按摩、針代	(上書)「大橋檀那様」
15-28-11	覚(代銀書上)	酉年5月25日	横切紙	1通	みつ→東大橋 按腹代他	(上書)「東大橋檀那様」
15-28-12	覚(金銭受取)	申年8月3日	横切紙	1通	長尾屋金蔵→東大橋 金札九両、銭札四拾目受取	
15-28-13	覚(金銭書上)	年未詳5月31日	横切紙	1通	帯江屋久平→東大橋 四月卅日分	(上書)「東大橋氏様」
15-28-14	覚(代金書付)	年未詳5月31日	横切紙	1通	帯江屋まつ蔵→東大橋 上茶半斤代	(上書)「東大橋氏様」
15-28-15	覚(代銀書上)	酉年5月	横継紙	1通	あわや源吉→東大橋 日笠代	(上書)「東大橋様」
15-28-16	覚(代銀書上)	酉年4月30日	横切紙	1通	帯江屋久平→東大橋 角あけ、糸マキ代他	(上書)「東大橋氏様」
15-28-17	覚(代銀書付)	申年3月2日	横切紙	1通	小山→東大橋 掛木代	
15-28-18	覚(代銀書上)	申年7月	横継紙	1通	河原町通蛸薬子角 なたや嘉助→東大橋 奉書、木綿、晒代他	
15-28-19	覚(代銀書上)	年未詳9月(力)1日	横継紙	1通	渡辺吉兵衛→裏大橋 黒朱子、紬代他	
15-28-20	覚(代銀書上)	年未詳10月1日	横切紙	1通	渡辺吉兵衛→大橋 紬、黒朱子、紅縮緬代他	
15-28-21	覚(代銀書上)	申年7月	横切紙	1通	河内屋和平→比大橋 大幟、糸代他	(上書)「比大橋様」「右之通槌請取申候」の後筆あり
15-28-22	覚(代銀書付)	申年9月	横切紙	1通	よしのや虎吉→東大橋 まかり代	(上書)「東大橋様」
15-28-23	覚(代銀書付)	酉年1月11日	横切紙	1通	新木屋藤兵衛→東大橋 掛木代	(上書)「阿知町東大橋御氏様」
15-28-24	覚(代銀書上)	申年10月晦日	横切紙	1通	はまたやみつ→東大橋 按腹代他	(上書)「東大橋檀那様」
15-28-25	覚(代銀書上)	年未詳6月24日	横継紙	1通	みつ→東大橋 按腹、按摩代他	(上書)「東大橋檀那様」
15-28-26	覚(代銀書付)	年未詳3月27日	横切紙	1通	新屋佐平二→東大橋 掛木代	(上書)「東大橋様」
15-28-27	覚(代銀書上)	明治6年3月	横継紙	1通	乾眼堂→東大橋 蝙蝠傘、本木地櫛笄代他	(上書)「東大橋様」
15-28-28	覚(代銀書付)	明治6年3月	横切紙	1通	乾〇〇→北大橋 青羅紗代	(上書)「北大橋様」
15-28-29	覚(請求書)	年未詳4月15日	横切紙	1通	新屋佐平二→東大橋	(上書)「東大橋」
15-28-30	覚(代銀書上)	酉年3月28日	横切紙	1通	みつ→東大橋 灸、按摩代他	(上書)「東大橋檀那様」
15-28-31	覚(代銀書上)	年未詳3月31日	横切紙	1通	こじまや千代兵衛→東大橋 花かんざし、万才人形、花火代他	(上書)「東大橋様」
15-28-32	覚(代銀書上)	年月日未詳	横切紙	1通	渡辺吉兵衛→北大橋 御召紋掛代他	(上書)「北大橋様 渡辺吉兵衛」
15-28-33	覚(代銀書上)	年月日未詳	横継紙	1通	渡辺吉兵衛→東大橋 縮緬、奉書代他	
15-28-34	覚(代銀書上)	酉年4月	横切紙	1通	油屋形三→東大橋 掛木代	(上書)「阿知町 東大橋様」
15-28-35	覚(代銀書上)	年未詳4月29日	横切紙	1通	枳見屋→東大橋 肴箱、文庫代他	(上書)「東大橋様」
15-28-36	覚(代金書上)	酉年春	横継紙	1通	なたや嘉助→東大橋 紅絹裏、紫綸子半帯代他	(上書)「東大橋様 河原町通蛸薬師角なたや嘉助」
15-28-37	覚(代金書付)	酉年春	横切紙	1通	河原町通蛸薬師角なたや嘉助→北大橋 利休茶紬、利休紬羽織代	(上書)「北大橋様」
15-28-38	覚(代金書付)	酉年4月	横切紙	1通	太閤屋六蔵→東大橋 子情二篇・外篇、二帙代	(上書)「東大橋様」
15-28-39	覚(代銀書上)	年未詳4月26日	横切紙	1通	はまた屋利平→東大橋 按腹代他	(上書)「東大橋旦那様」
15-28-40	覚(代銀書上)	年未詳4月22日	横切紙	1通	渡海屋吉兵衛→北大橋 御召紋掛代他	(上書)「北大橋氏様」
15-28-41	[東大橋宛照文堂書状]	年未詳4月3日	横切紙	1通	岡山〇照文堂→東大橋 玉綱代銀報知及び出来上がりが遅れたことの詫状	
15-28-42	覚(賃銀書上)	年未詳6月14日	横継紙	1通	大江与平→東大橋	(上書)「東大橋様御店御衆中」
15-28-43	覚(代銀書付)	酉年7月	横切紙	1通	岡山〇照文堂→東大橋 玉綱代	(上書)「倉敷東大橋様」
15-28-44	覚(代銀書上)	酉年7月23日	横切紙	1通	みつ→東大橋 はり、灸代	(上書)「東大橋檀那様」 罫紙
15-28-45	覚(請求書)	酉年7月15日	横切紙	1通	あわや源吉→東大橋 番傘代	(上書)「東大橋氏様」
15-28-46	[松まき代銀覚]			1纏め(2通)		15-28-46-1~2まで重ねて折りたたまれている
15-28-46-1	覚(代銀書付)	酉年6月7日	横切紙	1通	ひ後屋芳三郎→東大橋 松まき代	
15-28-46-2	覚(代銀書付)	酉年6月7日	横切紙	1通	ひ後屋芳三郎→大橋 松まき代	
15-28-47	覚(代銀書上)	年未詳2月	横切紙	1通	田屋橋興・新定→東大橋 橋縁、竹代他	(上書)「東大橋様」
15-28-48	おほえ(代銀書上)	年未詳8月24日	横切紙	1通	はざいやひさ→大はし かねきんと代	
15-28-49	覚(代銀書付)	酉年7月	横切紙	1通	にしや愛助→東大橋 さら、はち代	
15-28-50	覚(代銀受取)	年未詳8月2日	横切紙	1通	笈屋定蔵→大橋東新宅 笈代	(上書)「大橋東新宅様」
15-28-51	覚(代銀書上)	年未詳9月13日	横継紙	1通	泉勘→上 まゆはけ代他	(上書)「上」

15-28-52	覚(代銀書上)	酉年11月5日	横切紙	1通	栄屋利平→東大橋 按摩、按腹代他	(上書)「東大橋檀那樣」
15-28-53	証(代金書付)	年未詳10月7日	横切紙	1通	広吉→東大橋 対答文例、附録共弍冊代	(上書)「東大橋様」「此分十月十日相渡済」の書付あり
15-29	[諸書類]			1括り(20通1包 3袋1括り)		15-29-1~25紙綴りで一括り
15-29-1	嘉永七甲寅年十一月中備前御触書ひかへ	嘉永7年11月	横継紙	1通	「大造之御入箇一向御目計も無之 誠ニ御家御危急」に付き触書ひかへ	包紙虫損の爲めSILティッシュで包む 包紙あり(包紙上書)「[ ]十一月[ ]備前領郡中[ ]并岡山諸家中迄御触出書」
15-29-2	丑年中四組辻之儀掛合書類			1包(3通1纏め)		15-29-2-1~4一包 包紙あり(包紙上書)「丑年中四組辻之儀 掛合書類」「嘉永七甲寅年小作米請取通」を包紙に転用
15-29-2-1	油屋江遣書状控	寅年正月4日	横切紙	1通	大橋亀次郎→守屋俊吉 四組辻折札金両替について	
15-29-2-2	油屋江遣書控	年未詳2月15日	横継紙	1通	四組折札の歩合について報知	
15-29-2-3	覚(両替金子書付)	年月日未詳	横継紙	1通		
15-29-2-4	[書状類]			1纏め(9通)		15-29-4-1~9が重ねて折りたたまれている
15-29-2-4-1	[守屋俊吉宛大橋亀次郎書状案文]	年未詳4月20日	横切紙	1通	大庄屋入残り并四組残金請求	
15-29-2-4-2	[守屋俊吉宛大橋亀次郎書状案文]	年未詳7月晦日	横切紙	1通	延引になっている四組残金の催促	
15-29-2-4-3	[守屋俊吉宛大橋亀次郎書状案文]	年未詳6月21日	横切紙	1通	四組残金算用の次第説明	
15-29-2-4-4	[守屋俊吉宛大橋亀次郎書状]	年未詳6月7日	横切紙	1通	大庄屋入残り分・四組之分引渡し催促	
15-29-2-4-5	[守屋俊吉宛大橋亀次郎書状案文]	年未詳5月27日	横切紙	1通	守屋家仕分・大庄屋残金・四組残金引渡し催促	
15-29-2-4-6	[守屋俊吉宛大橋亀次郎書状案文]	年未詳4月27日	横切紙	1通	大庄屋入残り・四組残金引渡し催促	
15-29-2-4-7	[守屋俊吉宛大橋亀次郎書状案文]	年未詳5月12日	横切紙	1通	守屋家取替分折札五百目・大庄屋残金・四組残金引渡し催促	
15-29-2-4-8	[俊吉宛亀次郎書状案文]	年月日未詳	縦切紙	1通	四組残金引渡し催促	
15-29-2-4-9	[守屋俊吉宛大橋亀次郎書状案文]	寅年7月5日	横切紙	1通	四組残金引渡し催促	
15-29-3	[新宅旦那宛卯三郎書状]	年未詳5月6日	横継紙	1通	撫川で相談があるにつき都合をたずねる	(上書)「新屋 旦那様 卯三郎」
15-29-4	[新宅宛卯三郎書状]	年未詳11月25日	横継紙	1通	阿次郎一件及び羽島一条については三郎兵衛より委しく聞いてほしい	(上書)「新宅様 卯三郎」
15-29-5	借用申金子証文	嘉永7年12月	横継紙	1通	借主喜左衛門・同亀次郎・証人文助→大橋平右衛門 金五百両を借用	
15-29-6	以書附御願申上候	嘉永5年3月	縦切紙	1通	倉敷村中島屋源介→中疇村名主藤戸村武一郎・同村名主勝左衛門 土蔵仕度き願書	
15-29-7	[大橋弥介宛文介書状]			1袋(2通)		15-29-7-1~2一袋 封筒あり(封筒表書)「倉敷 大橋弥介様 岡山より文介 急用書」
15-29-7-1	[大橋弥介宛文介書状]	年未詳12月23日	横継紙	1通	小島東兵衛の当暮納込百俵の内の五拾俵掛合について	
15-29-7-2	[大橋弥介宛文介書状]	年未詳12月23日	横継紙	1通	兼而受取った五拾俵についての掛合	
15-29-8	[金銭書付]	年月日未詳	横折紙	1通	五百八拾匁 露亀十郎他6筆	宛名・差出人なし
15-29-9	[人名書上]	年月日未詳	横折紙	1通	(表)周平分北茂・金蔵分浅浦分氏名書上 (裏)しの綿代金書付	
15-29-10	亥年綿引方村々法立覚・鶴新田米方覚	年月日未詳	横切紙	1通		
15-29-11	[地名及び人名書上]	年月日未詳	横切紙	1通		
15-29-12	弘化開	年未詳10月5日	横切紙	1通	元割より九割東岡崎まで当年より検見致さず定米取立のこと	
15-29-13	[元利書付]	年月日未詳	横切紙	1通		
15-29-14	[代官所役人氏名書付]	年月日未詳	横切紙	1通	御代官田中庄次郎他8人氏名	
15-29-15	[某書状]	年月日未詳	縦紙	1通	自分は病氣であるため、代人卯三郎差出のこと	宛名・差出人とも不詳
15-29-16	[大橋宛滝本屋卯三郎書状]			1袋(2通)		15-29-16-1~2一袋 (封筒表書)「大橋様 御店御衆中様 瀧本屋卯三郎」
15-29-16-1	乍恐口上	年未詳10月19日	横切紙	1通	伝次郎が大庄屋を尋ねたが出府に付き留主中であつた旨を報知	
15-29-16-2	[瀧本屋卯三郎宛大和屋伝二郎書状]	年未詳10月19日	横切紙	1通	西原へ尋ねたが大庄屋は岡山へ参っていて不在のこと	(上書)「下新川 瀧本屋卯三郎様 西阿知 大和屋伝二郎 用書」
15-29-17	[小書付]			1袋(2通)		15-29-17-1~2一袋 (封筒表書)「十一月六日ヨリ出店より差越候小書付入」
15-29-17-1	[新宅宛出店書状]	年未詳11月8日	横切紙	1通	今日又三拾石御出し下さるべく	(上書)「新宅様 出店」
15-29-17-2	[新宅宛中書状]	年未詳11月6日	横切紙	1通	米六拾俵、此人にお渡し下さるべく	(上書)「新宅様 中」
15-29-18	[大橋忠太郎宛守屋庸庵書状]	年未詳4月21日	横継紙	1通	講の加入に付き仕方帳を差し出すので、一覽の上調印いたたくと有難き事	(封筒表書)「倉敷二而大橋忠太郎様 西原守屋庸庵」
15-29-19	記(代金受取)	年未詳5月3日	縦切紙	1通	高橋→上 孟五箱代	
15-29-20	覚(代金書付)	年未詳4月22日	横切紙	1通	玉屋卯兵衛→上 金物壹式代他	
15-29-21	覚(手付け金受取)	辰年4月13日	横継紙	1通	望月和津→備中倉鋪大橋 絹地御好之通念入 弘法大師壹幅代	
15-29-22	覚(代金受取)	年未詳4月4日	横継紙	1通	基石屋市兵衛→備中蔵敷井上町東大橋 基石、基盤代	
15-29-23	覚(代金書付)	年未詳5月3日	横切紙	1通	三条小橋西入南側諸金物仕入所辻井市三郎→上 すゝ水のミ、極上小ノ茶わん代他	
15-29-24	記(代金受取)	年未詳4月晦日	縦紙	1通	高橋→上 染付小茶盤・染付急須代他	
15-29-25	[書状類]			1括り(5通)		15-29-25-1~5紙綴りで一括り
15-29-25-1	[大橋秀太郎宛菅波扶助・菅波序平書状]	年未詳12月22日	横継紙	1通	叔母様御見舞のため菓子一折を呈上、御笑味下さるべきこと	封筒あり(封筒表書)「大橋秀太郎様 貴下要用書 菅波扶助 菅波序平」
15-29-25-2	[徳蔵宛平次口上書]	寅年2月29日	横切紙	1通	3月分利足仁右衛門に御渡し、慥に受け取り証文返却のこと	(上書)「徳蔵様 口上書 平次」
15-29-25-3	乍恐奉願上候口上覚	年月日未詳	横切紙	1通	鶴新田開発人小野忠兵衛外12人・同請負人三宅紋五郎→親民役所 前よりの通り開発仰せ付け下さるべきこと	(奥書)鶴新田庄屋預り後見小野小十郎・同庄屋預り三宅紋五郎

15-29-25-4	[東大橋宛庄作書状]	年未詳3月7日	横切紙	1通	去12月名主より申出の御切手間銀をこの人にお渡し下さるべきこと	切封(上書)「倉舗東大橋様 急用 松屋庄作」
15-29-25-5	[小野小十郎宛大橋秀太郎書状]	年未詳正月28日	横継紙	1通	開発不容易につき集評に漏れざるように頼む	
15-30	[書状・絵図類]			1括り(1袋1包)		15-30-1~2紙継りで一括り
15-30-1	[書状・絵図類]			1袋(6通1枚1冊1冊)		15-30-1-1~9一袋(袋上書)「嘉永四辛亥年 ひかへ 西原大庄屋 友太郎より沙汰有之 俊吉より書状并絵図入」
15-30-1-1	[大橋金平宛守屋保三郎書状]	年未詳9月10日	横継紙	1通	田地書附受取のこと 友太郎当月十三日岡山へ罷出で何角と御うかゝひのこと	(上書)「大橋金平様 貴啓上 守屋保三郎」
15-30-1-2	[興除新田中疇分高反別書付]	亥年9月	横切紙	1通		
15-30-1-3	[大橋金平宛保三郎書状]	年未詳9月12日	横切紙	1通	右一条につき、明日直接郡奉行で話をうかがうこと	(上書)「大橋金平様 保三郎 貴披書」
15-30-1-4	[大橋金平宛保三郎書状]	年未詳9月14日	横継紙	1通	以前郡奉行吉田様手代幸次郎と申す人物が加り様子を聞くと、本手筋へはいまだ沙汰なきこと	切封(上書)「大橋金平様 貴披書 保三郎」
15-30-1-5	[絵図]	年月日未詳	41.0×30.5	1枚	東登り百五拾間余 西ノ登九拾間 南沖め手三百五十六拾間余 北地三百八拾間	
15-30-1-6	[御野郡下手構へ大庄屋名書付]	年月日未詳	横切紙	1通	米倉周左衛門、田中岩太郎	
15-30-1-7	[寸法及び普請代金見積り]	年月日未詳	横継紙	1通		
15-30-1-8	[御野郡古地田前樋筋絵図]	年月日未詳	29.0×76.0	1舗		
15-30-1-9	嘉永四年亥年 ひかへ	嘉永4年3月16日~11月1日	美・横半	1冊	東新開西原の開発について	
15-30-2	[田地算用書類]			1包(1冊3通仮1冊)		15-30-2-1~5一包(包紙上書)「申年 油屋俊吉より差越候 田地算用書入」
15-30-2-1	[久次郎・利七宛保三郎書状]	年未詳11月10日	横切紙	1通	小作米構仕出し帳書出について	(上書)「久次郎様 利七様 要用書 保三郎」
15-30-2-2	[小作米銀取立書付]	年月日未詳	横継紙	1通	御勘弁の分、返上すべき分など	
15-30-2-3	[田畑石高書付]	年月日未詳	横切紙	1通		
15-30-2-4	[田畑石高書上]	寅年~未年	美・横長	仮1冊		
15-30-2-5	寅年ヨリ未の年迄算用帳	寅年~未年	美・横長	1冊		
15-31	[田地関係書類]			1括り(2括り2纏め1包3冊5通1枚)		15-31-1~14紙継りで一括り
15-31-1	[田地関係書類]			1括り(11通1纏め)		15-31-1-1~12紙継りで一括り
15-31-1-1	[稲見取取立書付]			1纏め(2通)		15-31-1-1-1~2まで折りたたまれている
15-31-1-1-1	覚(去寅ノ稲見取取立書付)	卯年12月	横折紙	1通	道口太介→大橋代人 去寅ノ綿見取取立	
15-31-1-1-2	小作上渡分	年月日未詳	横切紙	1通	中畝・黒分	
15-31-1-2	換地事	年月日未詳	横切紙	1通	惣畝ノ八町九反畝拾四歩 他2筆	
15-31-1-3	中畝地所書抜ひかえ	年月日未詳	横折紙	1通	見面三反八畝廿三歩 他10筆 ノ五町四反三畝拾九歩半	
15-31-1-4	覚初(人名反数書上)	年月日未詳	横切紙	1通	鶴、西原	
15-31-1-5	覚後(人名反数書上)	年月日未詳	横切紙	1通	水江、西原、浅浦、矢柄、四十瀬	
15-31-1-6	小作上渡之内江請取他左之通	年月日未詳	横継紙	1通	中畝・黒	
15-31-1-7	覚(かし金書付)	年月日未詳	横折紙	1通		
15-31-1-8	[人別新地反数書上]	年月日未詳	横折紙	1通	片島、西原、鶴新田、西阿知、乙島、浅浦	
15-31-1-9	[地名・引受人氏名書上]	年月日未詳	横継紙	1通		
15-31-1-10	[東大橋宛岡介書状]	年未詳9月26日	横継紙	1通	平切手、証文、角店入用金受取報知	(上書)「東大橋様 岡介 御請」
15-31-1-11	覚(矢田へ遣す算用書ひかへ)	安政3年9月	横継紙	1通	倉敷大橋源介→矢田 妹尾半十郎 倉敷村大橋平右衛門・親類大橋源介・証人同村文介→矢田村半十郎	
15-31-1-12	売渡申田地証文之事	安政3年9月	縦継紙	1通		
15-31-2	覚(人別跡作反別書上)	年月日未詳	横折紙	1通		
15-31-3	[算用書]			1包(3通)		15-31-3-1~3一包 包紙あり(包紙上書)「算用書入」
15-31-3-1	覚(地代金算用書)	安政3年9月	横継紙	1通	倉敷大橋源介→矢田 妹尾半十郎	
15-31-3-2	仁左衛門開地所内考	年月日未詳	横継紙	1通	開発地に関する出納 大黒屋文介→東大橋 福田新田仁左衛門開の内矢田半十郎へ受取地の残銀を渡す為の算用書	(上書)「東大橋様」
15-31-3-3	覚(金銭算用書)	辰年11月26日	横継紙	1通	麦三斗 小溝三五郎 他21筆	
15-31-4	麦取立覚	年月日未詳	横折紙	1通		
15-31-5	辰麦作見取控	年月日未詳	半・横長	1冊		
15-31-6	西塚小絵図	年月日未詳	40.2×27.8	1枚	道・溝・境川でかこまれた一郭で、郭内は方格(縦にイ、ロ、ハ~ム、横は一~五ないし~八)	
15-31-7	[徳蔵宛勝之丈書状]	年月未詳26日	横切紙	1通	新開一条につき金子を文介持参のこと	(上書)「徳蔵様 貴下 勝之丈」
15-31-8	覚(切手引当及び高懸り銀書付)	午年12月	横切紙	1通	中畝用場→(宛名なし)	
15-31-9	覚(代銀書上)	辰年10月	横継紙	1通	大黒屋文助→東大橋 煙火箸、風呂火箸、鉄鑊、板釜敷、むらさきふくさ他	
15-31-10	覚			1纏め(2通)		15-31-10-1に15-31-10-2が挟み込まれている
15-31-10-1	覚(拝借銀算用書)	辰年10月	横継紙	1通	大黒屋文介→東大橋	
15-31-10-2	覚(代銀受取)	年未詳3月19日	横切紙	1通	はじま屋善五郎→大橋新宅 紅梅あや代等2筆	(上書)「大橋様 御新宅」
15-31-11	[小作人別小絵図・野取帳]			1括り(2冊)		15-31-11-1~2紙紐で一括り

15-31-11-1	大橋様御持地之分 卯十二月改 小作人別小絵図 道口太介 扣	卯年12月	美・横半折	1冊		
15-31-11-2	安政二年卯十二月改 ○(榎力)地野取扣	安政2年	美・横半折	1冊		
15-31-12	[安政二年福田新開見取書類]			1纏め(2冊)		15-31-12-1~2まで重ねて二ツ折
15-31-12-1	安政二乙卯年七月 福田仁左衛門開見取書并小作 人別控 東大橋	安政2年7月	美・横長	1冊		表紙に貼紙あり「此分未引合せ不致候」
15-31-12-2	安政二卯年九月 福田新開中畝見取書抜	安政2年9月	美・横長	1冊		
15-31-13	安政二乙卯年 福田新開中畝見取米取立場帳	安政2年	美・横長	1冊		
15-31-14	安政二乙卯年 福田新開中畝見取定帳	安政2年	美・横長	1冊		表紙に貼紙あり「此分未引合せ不致候」
15-32	[覚外一括]			1括り(95通1纏め)		15-32-1~96紙綴りで一括り
15-32-1	覚(金銭書付)	年月日未詳	横切紙	1通	美津→東大橋「七月廿三日 一 五銭 若旦那様」	
15-32-2	記(金銭書付)	年未詳5月29日	横切紙	1通	佐平治→東大橋	
15-32-3	記(金銭書付)	年未詳5月27日	横切紙	1通	佐平二→東大橋 板代金	
15-32-4	諸(代銀書付)	年未詳3月	横切紙	1通	乾眼堂→東大橋 水仙一株	破損の為SILティッシュで包む
15-32-5	覚(代銀書付)	年未詳10月31日	横継紙	1通	やくし美川→大橋旦那 あんま代外	
15-32-6	証(請求書)	年未詳5月18日	横切紙	1通	新屋佐平二→東大橋 中せ代	
15-32-7	証(請求書)	年未詳5月27日	横切紙	1通	新屋左平二→東大橋 中せ(中し)代銀	
15-32-8	覚(代銀書上)	年未詳8月18日	横継紙	1通	三正屋千賀蔵→大橋 松葉外	
15-32-9	証(請求書)	年未詳9月9日	横切紙	1通	新屋佐平二→東大橋 中せ代	
15-32-10	覚(代銀書上)	年未詳6月23日	横継紙	1通	はまたや美津 あんぶく代外	
15-32-11	覚(代銀書上)	年未詳8月28日	横切紙	1通	やくし美津→東大橋	
15-32-12	記(請求書)	年未詳8月16日	横切紙	1通	新屋佐平二→東大橋 中せ代	
15-32-13	記	年未詳7月28日	横切紙	1通	新屋→元大橋 中せ代	
15-32-14	証(請求書)	年未詳7月20日	横切紙	1通	新屋佐平二→東大橋	
15-32-15	覚(代銀書上)	年未詳1月29日	横切紙	1通	油屋形三→東大橋 掛木代	
15-32-16	証(請求書)	年未詳6月27日	横切紙	1通	新屋佐平二→東大橋	
15-32-17	証(請求書)	年未詳6月6日	横切紙	1通	新屋佐平二→東大橋	
15-32-18	証(請求書)	年未詳6月19日	横切紙	1通	新屋佐平二→東大橋	
15-32-19	証(請求書)	年未詳8月28日	横切紙	1通	新屋佐平二→東大橋	
15-32-20	証(代銀書上)	(明治以降降)3月2日	横切紙	1通	新木屋藤兵衛→東大橋 材木代	
15-32-21	[覚一括]			1纏め(2通)		15-32-21-1~2一重ね
15-32-21-1	記(代金受取)	丑年5月17日	横切紙	1通	口口幾次郎→上	
15-32-21-2	覚(代金書上)	年未詳5月22日	横切紙	1通	西国屋五平→東大橋 サツマ代外	
15-32-22	記(代金受取)	年未詳9月3日	横切紙	1通	成羽屋与三郎→東大橋 白扇代	
15-32-23	覚(代金受取)	丑年8月	横切紙	1通	黒瀬与三郎→当区御事務所 白扇代外	
15-32-24	記(代金受取)	年未詳旧8月	横切紙	1通	三宅屋又吉→大橋 しず帯代	
15-32-25	覚(代金書上)	年未詳1月29日	横切紙	1通	○津熊蔵→東大橋	
15-32-26	記(代銀書上)	年月日未詳	横切紙	1通	やくし美川→大橋	
15-32-27	覚(代金受取)	年未詳旧8月4日	横切紙	1通	河波屋源吉→東大橋 天窓張かえ外	
15-32-28	[東大橋宛新木屋藤兵衛依頼状]	年未詳1月13日	横継紙	1通	代金支払依頼	
15-32-29	証(代金受取)	明治11年1月13日	横切紙	1通	新木屋藤兵衛→東大橋	
15-32-30	覚(代金書上)	年未詳4月30日	横継紙	1通	油屋形三→東大橋	
15-32-31	証(代金書上)	年未詳11月	横切紙	1通	貫行社常之→東大橋	
15-32-32	記(代金書上)	年未詳2月2日	横継紙	1通	熊屋又四郎→東大橋 錦代	
15-32-33	覚(代金書上)	年未詳4月23日	横切紙	1通	やくし美津→大橋旦那 あんま代	
15-32-34	覚(代金書上)	年未詳9月晦日	横切紙	1通	やくし美津→東大橋旦那 あんま代	
15-32-35	覚(請求書)	寅年〇月11日	横切紙	1通	和気屋舛蔵→東大橋 塗付代	
15-32-36	覚(代金書上)	年未詳1月2日	横継紙	1通	油屋形三→東大橋 掛木代	
15-32-37	記(代金書上)	寅年1月	横切紙	1通	向屋→東大橋 双六覧外代金	
15-32-38	覚(代銀書上)	年未詳12月25日	横切紙	1通	はまた屋美津→大橋若旦那 あんま代	
15-32-39	記(代銀書上)	寅年4月	横切紙	1通	古じまや千代兵衛→東大橋 糸まき外	
15-32-40	覚(代銀書上)	年未詳3月29日	横継紙	1通	やくし美津→大橋旦那 あんま代	
15-32-41	記(代金書上)	年未詳正月1日	横継紙	1通	升谷→上 まゆはけ代外	
15-32-42	証(代金受取)	年未詳12月25日	横継紙	1通	○(〇の中に泉)→上 正桐飛切 弐箱	
15-32-43	記(代金書上)	丑年7月	横切紙	1通	さか〇順吉→東大橋 作料	
15-32-44	覚(代銀書上)	年月日未詳	横継紙	1通	やくし美津→大橋旦那 あんま代	
15-32-45	証(代金書上)	年未詳2月28日	横切紙	1通	新屋佐平二→北大橋 中せ代	
15-32-46	覚(代金書上)	年未詳8月28日	横切紙	1通	やくし美津→大橋 あんま代	
15-32-47	覚(代金書上)	年未詳8月	横切紙	1通	舟倉代吉→東大橋 4人半分の代金	
15-32-48	覚(代金書上)	年未詳12月28日	横切紙	1通	やくし美津→東大橋 あんま代	
15-32-49	覚(代銀書上)	年未詳5月10日	横切紙	1通	三正屋近蔵→大橋 銀水引代外	
15-32-50	覚(代金書上)	年未詳4月15日	横切紙	1通	酒津金助→(宛名なし) 笹代外	
15-32-51	口(代金書上)	年未詳4月15日	横切紙	1通	古じまや千代兵衛→東大橋 唐子外	
15-32-52	覚(代銀書上)	年未詳3月2日	横継紙	1通	書写屋半蔵→東大橋 手間代外	墨書抹消あり

15-32-53	記(代金書上)	旧丑年2月30日	横切紙	1通	やくし美津→東大橋 あんま代	
15-32-54	記(代金書上)	丑年4月9日	横継紙	1通	児島屋義平→東大橋 黒纏子代外	
15-32-55	証(請求書)	年未詳6月8日	横切紙	1通	新屋佐平二→東大橋 中セ代	
15-32-56	覚(代金書上)	丑年2月	横切紙	1通	指屋→東大橋	
15-32-57	記(代金書上)	年未詳5月10日	横切紙	1通	新屋佐平治→東大橋 中セ代	
15-32-58	覚(代金書上)	年未詳4月29日	横継紙	1通	やくし美津→東大橋旦那 あんふく代外	
15-32-59	覚(代金書上)	い年10月	横切紙	1通	よしのや虎吉→東大橋 いな代	
15-32-60	覚(代金書上)	年月日未詳	横継紙	1通	やくし美津→東大橋 あんま代	
15-32-61	覚(代金書上)	年未詳5月10日	横継紙	1通	三正屋近蔵→大橋 金子掛	
15-32-62	記(代金受取)	年未詳8月23日	横継紙	1通	〇〇屋八郎平→大橋 酒代外	
15-32-63	[代金書付]	年月日未詳	横継紙	1通	八角時計代金	罫紙 宛名・差出人なし
15-32-64	覚(代金書上)	年未詳11月26日	横継紙	1通	やくし美川→大橋旦那 あんま代	
15-32-65	記(代金書上)	卯年3月	横継紙	1通	古じまや千代兵衛→東大橋 拭ばん	
15-32-66	記(代金書上)	年未詳3月27日	横切紙	1通	三〇徳三→東大橋 そ路ばん代外	
15-32-67	覚(代金書上)	年未詳11月10日	横切紙	1通	〇屋芳蔵→東大橋	
15-32-68	記(代金書上)	卯年3月	横切紙	1通	ふしみや西店→東大橋 手まり代	
15-32-69	覚(代金書上)	年未詳3月	横切紙	1通	ふしみや順蔵→東大橋 切雛一対外	「引合」の印あり 墨線抹消
15-32-70	記(代金・人数書上)	丑年旧12月	横折紙	1通	大工権七→東大橋 北御門戸式枚代外	
15-32-71	覚(代金書上)	年未詳9月27日	横継紙	1通	三山屋近蔵→大橋 手杯外	
15-32-72	覚(代金書上)	年未詳9月27日	横切紙	1通	三山屋近蔵→大橋 矢立代外	墨線抹消あり
15-32-73	記(代金受取)	年月日未詳	横切紙	1通	矢〇屋嘉三郎→角大橋	
15-32-74	記(代金書上)	子年12月	横切紙	1通	傘定八→大橋	
15-32-75	覚(代金受取)	丑年4月25日	横継紙	1通	和気屋舛蔵→東大橋	
15-32-76	記(代金書上)	丑年正月29日	横切紙	1通	やくし美津→東大橋 按腹代外	
15-32-77	記(代金書上)	丑年6月	横切紙	1通	中茂→東大橋 ぼふろ代外	
15-32-78	記(代金書上)	寅年2月	横切紙	1通	松ノ屋助吉→東大橋	
15-32-79	記(代金受取)	寅年3月14日	横切紙	1通	石斗→東大橋 男帯代	
15-32-80	記(代金書上)	寅年正月	横切紙	1通	松野屋助吉→東大橋 芋代	
15-32-81	覚(代金書上)	年未詳2月29日	横継紙	1通	はまたや美津→大橋旦那 あんま代外	
15-32-82	記(代金受取)	寅年旧2月29日	横切紙	1通	あわや源吉→東大橋 奴蛇之目傘	
15-32-83	記(代金書上)	年未詳4月27日	横切紙	1通	泉勘→上 正桐飛切壺箱代外	
15-32-84	覚(代金書上)	年未詳5月3日	横切紙	1通	新屋佐平二→東大橋 中セ代	
15-32-85	記(代金受取)	年未詳5月26日	横切紙	1通	新屋→東大橋 中セ代	
15-32-86	覚(代金書上)	年月日未詳	横継紙	1通	やくし美津→東大橋旦那	
15-32-87	覚(代金書上)	年未詳正月晦日	横継紙	1通	はまたや美津→東大橋 あんま代	
15-32-88	覚(代金書上)	年未詳4月27日	横切紙	1通	帯江屋半蔵→東大橋 田米代	
15-32-89	覚(代金書上)	年未詳5月3日	横切紙	1通	油屋形三→東大橋 掛木代	
15-32-90	覚(代金書上)	年未詳11月30日	横継紙	1通	美津→東大橋 あんぷく代外	
15-32-91	記(代金書上)	年未詳6月16日	横継紙	1通	児島林村瓦師→倉敷東大橋 瓦代	(後筆)「六月十六日渡済」
15-32-92	記(代金書上)	年月日未詳	横切紙	1通	渡海屋吉兵衛→東大橋 朱子エリ代外	
15-32-93	覚(代金書上)	丑年7月4日	横切紙	1通	あわ屋源吉→東大橋 傘代金	
15-32-94	記(代金書上)	年未詳5月3日	横切紙	1通	渡海屋吉平→上 友禪代外	
15-32-95	記(代金書上)	年未詳5月3日	横継紙	1通	渡海屋吉平衛→上 羽織代外	
15-32-96	記(代金受取)	年未詳5月2日	横継紙	1通	大出屋安三→大橋 仕出し代外	
15-33	[鶴新田関係書類]			1括り(15通)		15-33-1~15紙綴りで一括り
15-33-1	[大橋良介宛敬之介書状]	子年2月2日	横継紙	1通	中元暮歳末及び吉備津宮参詣入用など例年の割合報知 姉君様男子出産祝送付について 宗門放手形受取、引受手形 延引の詫状	(上書)「大橋良介様 差上置 敬之介」 封筒あり(封筒表書)「大橋良介様 玉座下 片山新助」虫損あり
15-33-2	[大橋良介宛片山新助書状]	年未詳5月7日	横継紙	1通		
15-33-3	[人別米相場入銀書付]	戌年11月	横継紙	1通	久次郎・藤吉他15筆	
15-33-4	[弘化開入用割賦帳への調印依頼状]	年未詳10月28日	横切紙	1通	三宅甚蔵・小野小十郎・三島治郎右衛門→(宛名なし)	
15-33-5	壺割式歩之先吉利引法	年月日未詳	横継紙	1通		
15-33-6	乍恐以書附御願奉申上候	安政5年6月	横継紙	1通	鶴新田開発人三宅定太郎他15人→西之浦役所 検地取筒并に 鋏下等につき御慈悲御願い	(奥書)三宅直吉 弘化開年寄三宅甚蔵・小野小十郎・三嶋治郎右 衛門→各様
15-33-7	塩浜方仕立諸入用	年月日未詳	横切紙	1通		
15-33-8	手扣	年月日未詳	横継紙	1通	三宅甚蔵・三しま治郎右衛門・小野小十郎	
15-33-9	覚(丑年苗代年貢受取)	丑年11月3日	横切紙	1通	倉敷東大橋→川入 兵蔵	
15-33-10	[石高書付]	年月日未詳	横切紙	1通		
15-33-11	[内藤宛徳蔵書状]	年未詳9月24日	横切紙	1通	綿一俵代米一石代比例二付検討依頼	切封(上書)「内藤先生 梧右 徳蔵拜」(裏書)「略封御免可被下 候 九月廿四日」
15-33-12	[慶応元丑十月廿三日仕法書付]	慶応元年10月24日	横切紙	1通	米相庭三百七拾五匁 綿相庭四百九拾目	
15-33-13	覚(年貢米銀書付)	丑年12月2日	横継紙	1通	久次郎→(宛名なし)	
15-33-14	[米高書付]	年月日未詳	横切紙	1通	一壺俵 松嶋金蔵 他 今年分20筆	
15-33-15	[米高書付]	年月日未詳	横切紙	1通	米八斗 七畝稻倉蔵 他 昨年分18筆	
15-34	[帳面外一括]			1袋(1冊1纏め)		15-34-1~2一袋(袋上書)「村々御年貢蔵斗控」袋が破損してい る為SILティッシュで包む



15-34-1	嘉永元申年口 中疇分御年貢岡山廻之分控	嘉永元年	美・横長	1冊		
15-34-2	[帳面外一括]			1纏め(1冊7通1綴)		15-34-2-1~9一重ね 15-34-2-1を折った中に15-34-2-2~9までが挟まれている
15-34-2-1	村々御年貢蔵斗控	午年	美・横長	1通	くらしき分外	
15-34-2-2	覚(俵数・人名書上)	年月日未詳	横継紙	1通		
15-34-2-3	覚(面積・人名書上)	年月日未詳	横折紙	1通	成年分	
15-34-2-4	小作之者より岡山へ廻ス分御年貢米俵数控	年月日未詳	美・横長	1冊	亥年分	
15-34-2-5	覚	年月日未詳	横折紙	1通	「十月廿四日 一斗 伝蔵 利吉名相受」外	
15-34-2-6	[年貢書付雛型]	年月日未詳	横切紙	1通	「壹反二付 一本米何斗何升取 小作人名前」	
15-34-2-7	[中畝反別及び所有者人名書付綴]	年月日未詳		1綴(3通)	酉年分	形態が別々の3通を重ねて貼り付けている
15-34-2-8	[御年貢米俵数書抜]	亥年11月	横折紙	1通	倉敷中島屋	
15-34-2-9	口演	年未詳11月18日	横継紙	1通(2枚)	秋岡→大橋 年貢米を銀札で立て替えるので、後で取り立ててほしい	袋あり(袋上書)「倉敷金平様 川入 惣五郎 要用」書付あり
15-35	[児島郡絵図・書付外一括]			1袋(2舗3通1枚1纏め)		15-35-1~7一袋 (袋上書)「児島絵図入」袋が破損している為SILティッシュで包む
15-35-1	[小串村絵図]	年月日未詳	24.0×32.6	1枚		
15-35-2	[略図]	年月日未詳	29.6×66.6	1舗	片岡村、宗津村外村名を書いている	
15-35-3	[絵図]	年月日未詳	48.5×34.0	1舗	「宗津村 家 庄屋十左衛門」等	
15-35-4	[村名・庄屋名書付]	年月日未詳	横折紙	1通	宗津村、迫川村外	
15-35-5	[書付一括]			1纏め(2通)		15-35-5-1~2一重ね 15-35-5-1が15-35-5-2を挟み込んでいる
15-35-5-1	覚(反別書付)	年月日未詳	横折紙	1通	彦崎名主 迫川 五人組庄左衛門→(宛名なし)	
15-35-5-2	[地名・人名書付]	年月日未詳	横切紙	1通	「彦崎村幸蔵」外2筆	
15-35-6	覚(代金書付・絵図)	年月日未詳	横継紙	1通	胴木代、人夫、樋入用外 児島郡大崎村干潟見取絵図	
15-35-7	口上	年未詳4月5日	横切紙	1通	丈平→東大橋 病後なので急々の用向に参上できない事の断わり文	袋あり(袋上書)「東大橋御氏様 平山二而ふし屋丈平 尊報」
15-36	[日記]	嘉永元年正月14日 ~4年12月晦日	半・横列	1冊	久右衛門、源介、良介等の名前あり	
15-37	来寅年御供番江戸詰并正月下旬迄出府之面々	丑年力	半・横長	1冊	一 千五百石 御番頭 池田波門外	
15-38	[風聞書]	年未詳8月	半・横長	1冊	幕末の長州の動向等	
15-39	[代金書上外一括]			1括り(2纏め21通)		15-39-1~23紙紐で一括り
15-39-1	記(代金書上)	戌年7月	横継紙	1通	秀松屋→東大橋 三国志外本代	破損あり SILティッシュで包む
15-39-2	記(代金書上)	年月日未詳	横継紙	1通	長尾屋→東大橋 作料・竹代外	
15-39-3	記(代金書上)	年未詳正月22日	横切紙	1通	三宅善造→大橋 そろばん代外	
15-39-4	覚(代金書上)	午年7月28日	横継紙	1通	みつ→東大橋檀那 按腹代外	
15-39-5	覚(代金書上)	午年8月	横切紙	1通	ふだや嘉助→東大橋 ふり袖、ゆのし代外	合印あり
15-39-6	証(代金受取)	明治19年10月8日	横切紙	1通	岡山栄町井上巳之治→上 散弾代	
15-39-7	記(代金書上)	酉年7月	横切紙	1通	中のやせの→東大橋 めいせん単羽織仕立代外	
15-39-8	記(代金書上)	年未詳11月8日	横継紙	1通	林源十郎→東大橋 山陽新報代	
15-39-9	記(代金書上)	申年5月4日	横切紙	1通	○尾屋俊吉→東大橋 白代	
15-39-10	記(代金書上)	酉年3月	横切紙	1通	八未→東大橋 す代外	
15-39-11	記(代金書上)	年未詳11月20日	横継紙	1通	山陽新報社→大橋 新報代	
15-39-12	換舌(代金受取)	年未詳7月29日	横切紙	1通	林源十郎→大橋 新聞代	
15-39-13	記(代金受取)	年未詳3月19日	横継紙	1通	佐藤猪三郎→大橋	
15-39-14	記(代金書上)	年未詳旧正月13日	横切紙	1通	新屋→上 ずし等代金	
15-39-15	記(代金書上)	酉年2月21日	横継紙	1通	○○や藤吉→東大橋 かし代	
15-39-16	記(代金書上)	年未詳12月4日	横切紙	1通	婦じや寿○郎→東大橋 掛木代	
15-39-17	記(代金書上)	未年5月	横継紙	1通	うをや惣平→東大橋 すし代	
15-39-18	記(代金受取)	年未詳5月晦日	横切紙	1通	中疇大黒屋店→上	
15-39-19	記(代金書上)	年未詳6月16日	横継紙	1通	林源十郎→大橋 山陽新報代	
15-39-20	[書付一括]			1纏め(3通)		15-39-20-1~3一纏め 重ねて折っている
15-39-20-1	記(代金受取)	年未詳9月14日	横切紙	1通	きしや喜之治 フランネル、シャツ代	
15-39-20-2	覚(代金請取)	年未詳9月28日	横切紙	1通	橋本八郎→大橋 玉ろ代	
15-39-20-3	記(代金受取)	年未詳9月24日	横切紙	1通	きしや喜之治 白フランネル、シャツ代	
15-39-21	[代金受取一括]			1纏め(2通)		15-39-21-1~2一纏め 重ね折り
15-39-21-1	証(代金受取)	明治10年	横切紙	1通	宇津神社教会本院出納係→大橋俊太郎 日供料半額分	
15-39-21-2	証(代金受取)	明治10年	横切紙	1通	宇津神社教会本院出納係→大橋俊太郎 日供料半額分	
15-39-22	記(代金書上)	年未詳10月	横継紙	1通	芳野屋利三郎→東大橋 畳表替へ代	
15-39-23	記(代金書上)	亥年1月13日	横切紙	1通	新木屋藤兵衛→東大橋	
15-40	[口上覚外書類]			1纏め(9通)		[口上覚]外8通の文書が貼りあわされている
15-41	[御触外書類一括]			1括り(5通)		15-41-1~5一括り
15-41-1	未年5月廿九日御触	未年5月	横継紙	1通	山城・佐渡→南組惣年寄 貳朱銀の交換レートについて	
15-41-2	申合	年月日未詳	横継紙	1通	吉事の時の贈り物を控えめにする事等	
15-41-3	[触書]	年未詳8月23日	横継紙	1通	鳴物停止解除の事	

15-41-4	[触書]	午年8月18日	横継紙	1通	鳴物停止の事	
15-41-5	御達	巳年6月	横継紙	1通(2枚)	水沢・東大橋外13名 廻状 海岸御備筋御用途の上納金について	「御達」と名前を書いた書付が一重になっている
15-42	[書状外一括]			1括り(5通)		15-42-1~5一括り
15-42-1	[大橋金平宛岡部義三兵衛書状]	年未詳12月晦日	横切紙	1通	使いの者に直島への船賃と連夫賃を渡すよう依頼	(上書)「大橋金平様 岡部義三兵衛」
15-42-2	[大橋金平宛岡部義三兵衛書状]	年未詳7月	横継紙	1通	岡部の依頼に対する対応について苦言	包紙あり(包紙上書)「大橋金平様 岡部義三兵衛 尊下」
15-42-3	[大橋金平宛義三兵衛書状]	年未詳7月9日	横継紙	1通	使いの者に金二両を遣わすよう依頼	包紙あり(包紙上書)「大橋金平様 福田義三兵衛 尊下」
15-42-4	[大橋金平宛岡部義三兵衛書状]	年未詳2月16日	横継紙	1通	義三兵衛→金平・治右衛門・半十郎 処遇に対する苦言外	包紙あり(包紙上書)「大橋金平様 岡部義三兵衛 貴下」
15-42-5	[大橋金平宛岡部義三兵衛書状]	年未詳12月27日	横切紙	1通(2枚)	鱒の礼状	(上書)「大橋金平様 岡部義三兵衛 奉復」
15-43	[寛外一括]			1括り(16通)		15-43-1~16紙綴りで一括り
15-43-1	口上	年月日未詳	横切紙	1通	親真院了慎→大橋 御品拝領の御礼	
15-43-2	[代銀・人名書上]	年月日未詳	横折紙	1通	直取立分	
15-43-3	[畝高・石高書上]	明治	横継紙	1通		小田県下、無印紙証書用罫紙
15-43-4	巳年加地子申定覚	巳年10月	横継紙	1通	福田分 稲作・畑作外	
15-43-5	覚(代金・賃金等書付)	未年11月	横継紙	1通	若松屋百介→東大橋	墨線抹消あり
15-43-6	覚	慶応3年12月29日	横切紙	1通	池蔵屋→大橋 米三俵、先祖前霊供として寺納	
15-43-7	[物成・金高書上]	年月日未詳	横継紙	1通		小田県管下 無印紙証書用罫紙
15-43-8	[米・綿外高書上]	年月日未詳	横継紙	1通	古地并元割より九割迄ノ分	
15-43-9	[当亥年畑分引米人別書上]	亥年12月	横継紙	1通	浜村・川入村分	
15-43-10	[小作地村別地利米書上]	年月日未詳	横継紙	1通	子位庄村・川入村分	
15-43-11	[銀子受取外書付]	年月日未詳	横継紙	1通	分家徳蔵→本家良介	
15-43-12	覚(品名書上・依頼状)	丁卯年3月	横継紙	1通	倉敷村役人→中疇名主文兵衛 源介の加地子米を蔵から出すよう依頼	
15-43-13	[銀高書上]	年月日未詳	横切紙	1通	「後入作高壺石二付 銀礼武拾九匁分式厘掛」外	
15-43-14	助勢金事	年月日未詳	横継紙	1通	「一金五百両 内藤忠兵衛」外	
15-43-15	[代銀書上]	年月日未詳	横継紙	1通	「一 丑年分不足 残拾壹貫九拾五文 川西町 浅平」外	
15-43-16	[亥年分村別田方検見引書出]	癸亥年11月	横継紙	1通	浜村分	
15-44	[寛外一括]			1括り(1冊11通)		15-44-1~12一括り
15-44-1	覚(代金書上)	年未詳12月6日	横継紙	1通	黒○屋→東大橋 戎鯛外	
15-44-2	覚(代金受取)	寅年12月	横継紙	1通	ならや卯助→大橋 さとふ代外	
15-44-3	覚(代金受取)	年未詳12月6日	横継紙	1通	うお屋長十郎→大橋 するめ代外	
15-44-4	覚(代金受取)	年未詳12月6日	横継紙	1通	児島屋和吉→きた大橋 南部じま上物代	
15-44-5	覚(品名・宛先書上)	年月日未詳	横切紙	1通	「一 大森鹿太様 御扇子 一箱」外	
15-44-6	[数字及び人名書付]	年月日未詳	横切紙	1通	「十五 平右衛門」外	
15-44-7	覚(代金受取)	年月日未詳	横切紙	1通	角屋律蔵→旦那	
15-44-8	[人名書付]	年月日未詳	横切紙	1通	「類助 母 お登も 増次郎」外	
15-44-9	[書付]	年月日未詳	横切紙	1通	地蔵院→大橋徳蔵 星祭りの札の件	
15-44-10	[屋号・人名書付]	年月日未詳	横継紙	1通	「西児嶋屋 角屋 大坂屋」外	
15-44-11	[代金・人名書付]	年月日未詳	横切紙	1通	「一 百疋 治平」	
15-44-12	[金銭書付]	年月日未詳	半・横長	1冊	使用人に払った賃金	
15-45	[書付一括]			1括り(7通1包)		15-45-1~8紙紐で一括り 紐が短い為SILティッシュで包む
15-45-1	[塩浜諸道具書付]	弘化4年12月4日	横折紙	1通	改人堺屋常蔵・代政次→(宛名なし) 七番八番浜道具控	包紙あり(包紙上書)「塩浜諸道具書付入」
15-45-2	[書付一括]			1包(4通1纏め)		15-45-2-1~5一包 包紙あり(包紙上書)「本家大島 中間算用抜書 丑正月認置」
15-45-2-1	御差御祝義	戌年8月21日	横継紙	1通	「一 献上物 焼杉五本入 扇子一箱」外	
15-45-2-2	[書付]	年月日未詳	横切紙	1通	「黒かた 廿艘 代百廿目」	
15-45-2-3	[書付一括]			1纏め(2通)		15-45-2-3-1~2一纏め
15-45-2-3-1	覚(金銭書付)	年月日未詳	横切紙	1通	年玉・肴代外	
15-45-2-3-2	覚(金銭書上)	年月日未詳	横切紙	1通	「中貝妻卯春二下香料辻」代	
15-45-2-4	[陣内勤向借用書付外]	子年11月	横継紙	1通		
15-45-2-5	覚(差出金子内訳)	年月日未詳	横継紙	1通	本家・大島・此方より差出金	
15-45-3	覚(納品書)	亥年7月20日	横継紙	1通	中島屋→無津村と七・千吉 木くし、下駄外	紙片で括っていたようだが紙片が切れているのでSILティッシュで包む
15-45-4	[銅山稼方に付願書案文]	年月日未詳	横継紙	1通	川上郡地頭村庄屋	包紙あり(包紙上書)「御地子 五十俵 川入 東大橋様」
15-45-5	[御恵浜加地子納方書付]	年月日未詳	横継紙	1通	「酉年十二月廿四日扇屋より受取ル」の書付あり	
15-45-6	覚(代金書付)	年月日未詳	横継紙	1通	「一寅閏三月朔日 金九両永三百三拾三文 外二式朱壺○」	
15-45-7	覚(代金書付)	亥年12月29日	横継紙	1通	「一金壺歩壺朱 永井」外	
15-45-8	[金銭書上]	年月日未詳	横継紙	1通	「一金五円五拾壺銭貳厘 同人分担税」外	
15-46	[寛外一括]			1括り(1纏め52通)		15-46-1~53紙綴りで一括り
15-46-1	覚(代銀書付)	辰年4月23日	横切紙	1通	東屋柳蔵→東大橋 酒・さかな代	
15-46-2	覚(代銀書付)	辰年4月8日	横切紙	1通	東屋柳蔵→東大橋 酒・さかな代	
15-46-3	覚(代銀書上)	年月日未詳	横継紙	1通	美川→東大橋 按腹代	
15-46-4	覚(代銀書上)	年未詳5月29日	横継紙	1通	美津→東大橋 上下按腹代外	

15-46-5	覚(代銀受取)	年未詳5月27日	横切紙	1通	黒田新屋→大橋 松葉代	
15-46-6	覚(代銀書付)	辰年5月	横切紙	1通	あわや源吉→東大橋 傘張替代	
15-46-7	[代銀書上]	年未詳6月29日	横継紙	1通	美川→東大橋檀那 上下按腹代外	
15-46-8	[代銀書上]	辰年7月	横継紙	1通	はまだ屋み川→東大橋檀那 上下按腹代外	
15-46-9	覚(代銀受取)	年月日未詳	横切紙	1通	西田村友久郎→倉敷村大橋 上木綿代	破損
15-46-10	覚(代銀書上)	年未詳5月29日	横継紙	1通	美津→角中島屋 按腹代	
15-46-11	覚(代銀書上)	年未詳6月20日	横継紙	1通	みつ→角中島屋 按腹代外	
15-46-12	覚(代金書付)	年未詳3月22日	横切紙	1通	瓦師桐蔵→東大橋	
15-46-13	覚(代銀書上)	辰年10月30日	横継紙	1通	み川→東大橋 按腹代外	
15-46-14	覚(金子送付添状)	辰年11月5日	横切紙	1通	又屋細介→東大橋	
15-46-15	覚(代金書付)	辰年10月19日	横継紙	1通	新木屋藤兵衛 角中島屋分掛木代外	
15-46-16	覚(代金書付)	年未詳10月20日	横切紙	1通	両国屋延吉→東大橋 火ばち代	
15-46-17	覚(代銀書付)	辰年10月13日	横切紙	1通	玉島屋好右衛門→(宛名なし) 木綿代	
15-46-18	覚(預米書付)	巳年2月3日	横切紙	1通	西村吉太郎→東大橋	
15-46-19	覚(代銀書上)	巳年正月30日	横切紙	1通	木綿屋理吉→東大橋 手間糸代外	
15-46-20	覚(代銀書付)	年未詳5月24日	横切紙	1通	市原屋清兵衛 極上志野	
15-46-21	覚(代銀受取)	辰年12月	横切紙	1通	若松屋百介→東大橋 大丁ちん代外	
15-46-22	覚(代銀書付)	辰年12月	横切紙	1通	酒津新蔵→東大橋 炭六俵代	
15-46-23	覚(代銀書上)	巳年2月	横切紙	1通	油屋形蔵→阿ち町東大橋 まつ代	
15-46-24	覚(代銀書上)	年未詳2月8日	横切紙	1通	(差出人なし)→岡山西中口水屋	
15-46-25	覚(代金書付)	巳年2月晦日	横切紙	1通	新木屋→東大橋 上材木代	
15-46-26	覚(代銀書上)	巳年3月	横継紙	1通	古じま屋千代兵衛→東シ大橋 花かんさし代外	
15-46-27	覚(代銀書付)	巳年3月	横切紙	1通	扇屋卯平→東大橋 油揚代外	
15-46-28	覚(代金書付)	年未詳3月8日	横切紙	1通	長尾屋→倉敷大橋	
15-46-29	覚(代銀書上)	年未詳3月11日	横切紙	1通	渡海や吉兵衛→北ノ大橋 唐天代外	
15-46-30	覚(代銀書上)	年未詳3月11日	横切紙	1通	渡海や吉兵衛→大橋 袖代外	
15-46-31	覚(代金受取)	年未詳3月12日	横切紙	1通	長尾屋金蔵→倉敷大橋	
15-46-32	覚(代銀受取)	年未詳3月23日	横切紙	1通	東屋弥介→東大橋 菓子わん代	
15-46-33	覚(代金受取)	年未詳4月	横切紙	1通	久別屋浅平→旦那 酒・さしみ代外	
15-46-34	覚(代銀書上)	年未詳4月4日	横継紙	1通	瓦師桐蔵→東大はし 瓦代	
15-46-35	覚(代銀書上)	巳年3月30日	横継紙	1通	はまだや美津→東大橋旦那 按腹代外	
15-46-36	覚(代銀書上)	年未詳4月29日	横切紙	1通	美津→東大橋檀那 按腹代外	
15-46-37	覚(代銀書上)	年未詳4月28日	横切紙	1通	美津→角中島屋お竹	
15-46-38	覚(代金書上)	辰年10月	横継紙	1通	長谷屋千代吉→井上丁東大橋 絛子代外	
15-46-39	覚(代銀書上)	年未詳3月2日	横継紙	1通	帯江屋久兵衛→東大橋 田米代外	
15-46-40	覚(代銀書上)	年未詳5月4日	横継紙	1通	鳥ぬ屋吉右衛門→東大橋	
15-46-41	覚(代銀書上)	巳年5月	横切紙	1通	帯江屋久兵衛→東大橋 田米・角あげ代外	
15-46-42	覚(代金書上)	巳年4月	横継紙	1通	長谷屋千代吉→井上丁東大橋 緋鹿子代外	
15-46-43	覚(代銀書上)	年月日未詳	横切紙	1通	ます→ひがし大はし あんふく代外	
15-46-44	覚(代銀書上)	年未詳5月28日	横継紙	1通	美川→旦那 きう代外	
15-46-45	覚(代銀書付)	巳年5月	横切紙	1通	水江油屋形蔵→あち町東大橋	
15-46-46	覚(代銀受取)	年月日未詳	横切紙	1通	祐安浦新宅→倉敷東大橋 上木綿代	
15-46-47	覚(銀札受取)	年未詳6月9日	横切紙	1通	見島屋瀧蔵→久吉	
15-46-48	覚(代銀書上)	ミ年6月30日	横継紙	1通	美津→東大橋檀那 按腹代	
15-46-49	覚(代金受取)	年未詳6月晦日	横切紙	1通	鶴田舎勘蔵→大橋 香炉代	
15-46-50	覚(代金書付)	巳年6月11日	横継紙	1通	越後はやし屋兼五郎→東大橋 縮代	
15-46-51	[代金受取]	年未詳7月11日	横切紙	1通	勝本屋善兵衛→東大橋 船代	
15-46-52	[覚一括]			1纏め(2通)		15-46-52-1~2一重ね
15-46-52-1	覚(日付・人数書上)	年月日未詳	横継紙	1通	大工久吉→東大橋	
15-46-52-2	覚(代金書付)	巳年7月	横切紙	1通	染屋精吉→東大橋 塩土代	
15-46-53	覚(代銀受取)	巳年7月	横継紙	1通	大黒屋甚介→東大橋 小豆代外	
15-46-54	覚(代金書付)	巳年5月10日	横切紙	1通	下津井書店→鉤吉	
15-47	[大橋宛書状一括]			1括り(2通1袋)		15-47-1~3紙纏りで一括り
15-47-1	[大橋金平宛秋庭五兵衛書状]	年未詳5月17日	横継紙	1通	御厄介の内情について	袋あり(袋上書)「大橋金平様 秋庭五兵衛 内要用」
15-47-2	[大橋源介宛秋庭五兵衛書状]	年未詳3月20日	横継紙	1通	おわび・講加入について	包紙あり(包紙上書)「大橋源介様 秋庭五兵衛 内要用」
15-47-3	[書状一括]			1袋(2通)		15-47-3-1~2一袋 (袋上書)「倉敷 大橋金平様 酒津茂と屋 友右衛門 貴家内用書」
15-47-3-1	[本〇友右衛門宛中島屋源介書状]	年未詳2月7日	横継紙	1通	中島屋源介→本〇友右衛門 講の件につきお断り	
15-47-3-2	[大橋金平宛茂と屋友右衛門書状]	年未詳2月6日	横継紙	1通	茂と屋友右衛門→大橋金平 灯燈返却・講役について外	
15-48	[石高書上]	年月日未詳	横継紙	1通	取米・引米外	
15-49	[覚外一括]			1括り(26通)		15-49-1~26一括り 但し15-49-1~14までと15-49-15~26までは8の字にして括った紐の上下二つに別れている SILティッシュで括る
15-49-1	記(代銀受取)	年未詳2月4日	横継紙	1通	〇澤カ→北大橋 つむぎ代	
15-49-2	覚(代銀受取)	戌年12月	横継紙	1通	かきや→北大橋 志の代外	

15-49-3	記(代銀書付)	戌年10月2日	横切紙	1通	廣江屋又二→北大橋	
15-49-4	覚(代金書付)	亥年1月	横切紙	1通	新木屋竹兵衛→角大橋	
15-49-5	記(代金書上)	年未詳11月29日	横継紙	1通	渡辺吉兵衛→北大橋	
15-49-6	覚(代金書付)	年未詳11月	横切紙	1通	問屋はし善→東大橋 柳之香炉	
15-49-7	覚(代金書付)	酉年11月18日	横切紙	1通	新木屋藤平→角大橋 掛木代	
15-49-8	記(金高書付)	戌年12月20日	横切紙	1通	渡海や吉兵衛→北大橋 朱子代外	
15-49-9	覚(代金書付)	年月日未詳	横切紙	1通	渡海屋吉平→北大橋	
15-49-10	覚(代金書上)	戌年11月4日	横継紙	1通	渡海屋吉平→北大橋	
15-49-11	覚(代金書付)	年月日未詳	横切紙	1通	よしたや竹介→北大橋 米沢羽織代	
15-49-12	覚(代金書付)	酉年11月	横切紙	1通	八濱屋力蔵→東大橋	
15-49-13	覚(代金書付)	酉年10月	横切紙	1通	八濱屋→東大橋 酒代	
15-49-14	覚(代金書付)	年未詳11月2日	横切紙	1通	よし屋和平→東大橋 はも代外	
15-49-15	覚(代金書付)	酉年10月	横切紙	1通	よしのや虎吉→東大橋 まかり代	
15-49-16	覚(代金受取)	酉年10月18日	横継紙	1通	ぬし屋庄介→東大橋 脇差代外	
15-49-17	覚(代金書上)	年未詳11月	横継紙	1通	問屋はし善→東大橋 七耀青磁代外 根来丸盆	
15-49-18	記(代金書上)	年未詳11月30日	横切紙	1通	渡辺吉平→東大橋	
15-49-19	覚(代金書付)	酉年11月20日	横切紙	1通	熊屋又四郎→東大橋	
15-49-20	覚(代銀書付)	酉年12月18日	横切紙	1通	新木屋藤平→東大橋 掛木代	
15-49-21	覚(代書付)	酉年11月30日	横切紙	1通	阿波屋源吉→東大橋 九寸絹蛇の目	
15-49-22	覚(代銀書付)	年未詳2月23日	横切紙	1通	泉→上 まゆげ二本代外	
15-49-23	覚(代銀書上)	年未詳1月11日	横継紙	1通	油屋形三→阿ち町 掛木代	
15-49-24	記(代金書上)	年未詳4月4日	横切紙	1通	岡山屋善造→大橋 花かんざし代	
15-49-25	覚(代銀書上)	申年5月	横切紙	1通	帯江屋久平→東大橋 糸まき代外	
15-49-26	覚(代銀書上)	さる年5月	横継紙	1通	吉田屋宇介→東大橋 きぬ、茶、かばん代外	
15-50	記(代金書付)	辰年2月10日	横切紙	1通	酒津仁井屋正三郎→東大橋 掛木代	
15-51	[覚一括]			1括り(53通)		15-51-1~53紙紐で一括り
15-51-1	覚(代銀書上)	午年3月	横切紙	1通	児島屋宗介→東大橋 大工手間	
15-51-2	覚(代銀書上)	年未詳3月28日	横継紙	1通	みつ→東大橋 按腹代外	
15-51-3	覚(代銀書上)	年未詳2月23日	横継紙	1通	将棋店吉兵衛→大橋 友仙代外	
15-51-4	覚(代銀受取)	年未詳3月晦日	横切紙	1通	出店→新宅	
15-51-5	覚(代銀書上)	年未詳3月20日	横継紙	1通	渡海屋吉兵衛→東大橋 友仙代外	
15-51-6	覚(代銀受取)	巳年12月	横切紙	1通	若松屋百助→東大橋 弓はり代外	
15-51-7	覚(代銀書上)	午年3月	横切紙	1通	酒津岡野屋甚兵衛→東大橋	
15-51-8	覚(代銀書上)	年未詳2月20日	横切紙	1通	洪○屋→上	
15-51-9	覚(代銀書上)	年未詳2月5日	横切紙	1通	井原洪○屋→上	
15-51-10	覚(代銀書上)	巳年12月	横継紙	1通	美津→東大橋檀那 按腹代	
15-51-11	覚(代銀書付)	年月日未詳	横切紙	1通	岡山西中島本屋→(宛名なし) 白梅香代	虫損あり
15-51-12	覚(代銀受取)	巳年12月14日	横継紙	1通	新木屋藤兵衛→東大橋 掛木代	
15-51-13	覚(代銀書上)	巳年12月	横切紙	1通	中屋船蔵→東大橋 掛木代	虫損あり
15-51-14	覚(代銀書上)	巳年11月29日	横継紙	1通	三つ→東大橋 按腹代外	虫損あり
15-51-15	覚(代銀書上)	巳年11月	横継紙	1通	油屋形蔵→阿ち町東大橋 掛木代	
15-51-16	覚(代銀書上)	年未詳5月晦日	横継紙	1通	渡海屋吉兵衛→東大橋 黒かのこ代	
15-51-17	覚(代金書上)	巳年11月27日	横切紙	1通	新木屋藤兵衛→東大橋 上掛木代	
15-51-18	覚(代銀書上)	巳年11月	横切紙	1通	長谷屋千代吉→御浦大橋 千草金巾代	
15-51-19	覚(代銀書上)	巳年11月	横切紙	1通	長谷屋千代吉→東大橋 友仙代外	
15-51-20	覚(代銀書上)	巳年7月	横切紙	1通	橋本屋○吉→倉敷東大橋 丸太代	
15-51-21	覚(代銀書上)	巳年11月1日	横切紙	1通	橋本屋○吉→倉敷東大橋 丸太代外	
15-51-22	覚(代銀書上)	巳年10月21日	横切紙	1通	三つ→東大橋	
15-51-23	覚(代銀書上)	ミ年9月	横切紙	1通	美津→角お竹	
15-51-24	覚(代銀書上)	年未詳8月27日	横継紙	1通	美津→東大橋 按腹代	虫損あり
15-51-25	覚(代銀書上)	巳年9月11日	横切紙	1通	美津→東大橋 按腹代外	
15-51-26	覚(代銀書付)	年未詳9月16日	横切紙	1通	泉屋勤七→大橋 がんじき代外	
15-51-27	覚(代銀受取)	年未詳9月16日	横切紙	1通	泉→上 がんじき代	
15-51-28	覚(代銀書上)	巳年9月	横切紙	1通	紙屋弥介→ひがし大橋 岩あられ代	
15-51-29	覚(代銀書上)	巳年9月	横切紙	1通	八濱屋力蔵→東大橋 こち代	虫損あり
15-51-30	覚(代銀書上)	巳年9月	横切紙	1通	岡屋善右衛門→東大橋 夏大豆代	虫損あり
15-51-31	覚(代銀書上)	ミ年9月節句前	横切紙	1通	三つ→角中島屋お竹	虫損あり
15-51-32	覚(代銀書付)	年未詳3月2日	横継紙	1通	古じま屋千代兵衛→東大橋 神雛代外	
15-51-33	覚(代銀書上)	午年3月2日	横切紙	1通	帯江屋久兵衛→東大橋 角あけ代外	虫損あり
15-51-34	覚(代銀書上)	ミ(力)年9月8日	横切紙	1通	三つ→東大橋檀那	虫損あり
15-51-35	覚(代銀書上)	年未詳3月節句	横継紙	1通	美津→東大橋 按腹代外	
15-51-36	覚(代銀書付)	辰年7月晦日	横切紙	1通	儀兵衛→北大橋	
15-51-37	覚(代金書上)	年未詳5月4日	横継紙	1通	大坂屋素介→東大橋 忌衣代	
15-51-38	覚(代金受取)	辰年12月29日	横切紙	1通	元坂本屋→東大橋 すミ代	
15-51-39	覚(代金書上)	辰年12月	横継紙	1通	元坂本屋→東大橋 堅すミ代	
15-51-40	覚(代金書上)	年未詳5月4日	横継紙	1通	大阪屋素助→ひがし大橋	

15-51-41	覚(代金書上)	午年2月25日	横継紙	1通	新木屋藤兵衛→東大橋 掛木代	
15-51-42	覚(代金受取)	午年3月24日	横切紙	1通	木澤屋理吉→東大橋 大若松代	
15-51-43	覚(代銀書上)	午年5月	横切紙	1通	美津→東大橋	
15-51-44	覚(代銀書上)	午年4月23日	横切紙	1通	油屋形蔵→あち町東大橋 掛木代	
15-51-45	覚(代銀書上)	午年5月23日	横継紙	1通	み川→東大橋檀那	
15-51-46	覚(金札引き渡し(の事))	年月未詳30日	横継紙	1通	和気屋舛造→東大橋 備前札	
15-51-47	覚(代銀・人数書上)	年未詳12月29日	横継紙	1通	在間久兵衛→大橋	
15-51-48	覚(代銀書上)	午年5月4日	横継紙	1通	酒津岡野屋店→東大橋	
15-51-49	覚(代銀書上)	年未詳5月11日	横切紙	1通	新屋芳太郎→東大橋 古ん色上	
15-51-50	覚(代金書上)	巳年5月13日	横継紙	1通	越後柏崎はやし屋兼五郎→東大橋 越後縮代	
15-51-51	覚(代金書上)	年未詳5月21日	横継紙	1通	はやし屋兼五郎→東大橋 縮代	
15-51-52	明治二巳年小作米請取通	年月日未詳	横切紙	1通	倉敷東大橋→酒津村儀兵衛	
15-51-53	証(米受取)	巳年12月晦日	横切紙	1通	地藏院→大橋執事	
15-52	[書状一括]			1括り(3通1包)		15-52-1~4紙綴りで一括り
15-52-1	[大橋源助宛菅三郎・菅波久治郎書状]	年未詳4月22日	横継紙	1通	中屋一条については位牌を残らず請取った事などを報知 又六月廿二日の法要の案内と廿日市へも通達してくれる様依頼	包紙あり(包紙上書)「備中倉舗大橋源助様 備後神辺 菅三郎 菅波久治郎 指向急用書」
15-52-2	[大橋源介宛近藤玄介書状]			1包(2通)		15-52-2-1~2一包 包紙あり(包紙上書)「倉敷 大橋源介様 近藤玄介 急用書」(包紙裏書)「備後 安井より」
15-52-2-1	[大橋大人・伯母宛近藤玄介書状]	年未詳2月28日	横切紙	1通	自分の病状の近況及び中屋一条のその後の報告 又お里に芸州赤川板倉与市梓健助と申す者を養子にした件を伝える	
15-52-2-2	[大橋源介宛近藤玄介書状]	年未詳2月28日	横切紙	1通	栗原五蔵死去のこと及び晦日八ツ時葬式の報知	包紙あり(包紙上書)「大橋源介様 御待史 近藤玄介」
15-52-3	[片山栄吉宛小川権之進書状]	年未詳12月20日	横継紙	1通	贈られた品への礼状及び姉扶持料落手のこと 又源助殿への見舞も姉老衰の為延引の旨を伝える	包紙あり(包紙上書)「片山栄吉様 小川権之進 貴答」
15-52-4	[大橋源助宛近藤玄介書状]	年未詳12月9日	横継紙	1通	福山への立入一件について	封筒あり(封筒表書)「大橋源助様 近藤玄介 玉案下」
15-53	[代銀覚]			1括り(7通)		15-53-1~7紙綴りで一括り
15-53-1	記(按摩代銀書上)	亥年3月	横切紙	1通	美津→東大橋	
15-53-2	覚(弁当代書付)	亥年	横切紙	1通	高見屋後多郎→東大橋	
15-53-3	記(杭代銀受取)	年未詳3月25日	横継紙	1通	見延村嘉七→久治郎	
15-53-4	覚(掛木代銀書付)	亥年3月20日	横継紙	1通	新木屋豪太郎→東大橋	
15-53-5	記(按摩代銀書上)	亥年1月7日	横切紙	1通	(差出人なし)→東大橋	
15-53-6	覚(掛木代銀書付)	年未詳1月6日	横継紙	1通	油屋形三→大橋	「相渡済」の後筆あり
15-53-7	記(按摩代銀書上)	亥年8月31日	横切紙	1通	美つ→東大橋	
15-54	覚			1括り(84通)		15-54-1~84紙綴りで一括り
15-54-1	覚(按腹代銀書上)	午年3月30日	横継紙	1通	みつ→東大橋	
15-54-2	覚(代銀書上)	年月日未詳	横継紙	1通	渡海屋→東大橋 平内、友仙代他	
15-54-3	覚(按腹代銀書上)	未年9月30日	横切紙	1通	はまたや美津→東大橋	
15-54-4	覚(請求書)	未年8月	横継紙	1通	河原町通蛸薬師角なだや嘉助→東大橋 利久茶秋田織、越後代他	
15-54-5	覚(按腹代銀書上)	未年8月27日	横継紙	1通	美津→東大橋	
15-54-6	覚(高瀬綱代銀書付)	午年12月	横切紙	1通	高嶋屋常吉→角中嶋屋	
15-54-7	覚(代銀書上)	子年10月8日	横継紙	1通	福本屋虎蔵→北新宅中嶋屋 はり代他	
15-54-8	覚(上餅米代金書付)	未年3月29日	横継紙	1通	(差出人なし)→東大橋	
15-54-9	覚(代銀書上)	未年4月15日	横切紙	1通	油屋形蔵→東大橋 掛木代	
15-54-10	覚(番傘代銀書付)	未年4月16日	横切紙	1通	阿波屋源吉→東大橋	
15-54-11	覚(栗四尺杭代銀書付)	年未詳3月1日	横切紙	1通	新屋佐平二→阿知町東大橋	三月七日付代銀受取の後筆あり
15-54-12	覚(板代銀受取)	年未詳4月23日	横継紙	1通	市原屋清次郎→東大橋	
15-54-13	覚(上木代書付)	年未詳4月21日	横切紙	1通	瀧本や汝(力)平→大橋	
15-54-14	覚(掛木代銀書付)	年未詳4月22日	横切紙	1通	小山仲使→東大橋	
15-54-15	覚(代金書上)	年未詳閏10月21日	横切紙	1通	児嶋や善六→東大橋 無名壱幅、梅のかけ物代	
15-54-16	覚(代銀書上)	年未詳6月24日	横継紙	1通	瀬た屋順太郎→東大橋 梅代他	
15-54-17	覚(代銀書上)	未年7月晦日	横継紙	1通	よしのやふさ→大橋 かんさし、扇代他	
15-54-18	覚(代銀書上)	年未詳6月15日	横切紙	1通	新屋松五郎→東大橋 切ちん、油代	
15-54-19	覚(代銀清算書)	未年7月	横継紙	1通	美つ→東大橋	
15-54-20	覚(代銀書付)	未年8月7日	横継紙	1通	あわや源吉→東大橋	
15-54-21	覚(古麦・新麦引渡添書)	未年5月26日	横継紙	1通	西屋吉太郎→東大橋	
15-54-22	乍恐書附二而奉申上候	未年6月20日	竪切紙	1通	美つ→東大橋 札三拾匁取替願ひ	
15-54-23	覚(両替金引残り請取)	年未詳9月11日	横継紙	1通	本家店吉蔵→新宅	
15-54-24	覚(按腹代銀書上)	未年5月30日	横継紙	1通	美つ→東大橋	
15-54-25	[東大橋宛孚一書状]	年未詳12月24日	横継紙	1通	氏神拜殿の寄合金出金願ひ	(上書)「東大橋様 孚一」
15-54-26	覚(代銀受取)	未年7月	横切紙	1通	若松屋百蔵→東大橋 小赤入小丸、御棒代	
15-54-27	覚(代銀書上)	年未詳8月	横切紙	1通	渡海屋吉兵衛→東大橋 平太細、唐天代他	
15-54-28	覚(代銀書上)	未年9月	横切紙	1通	よしのや虎蔵→東大橋 まかり、平代	
15-54-29	覚(はも代書付)	未年9月	横切紙	1通	八濱屋力蔵→東大はし	
15-54-30	覚(代銀書上)	午年12月12日	横切紙	1通	油屋形蔵→東大橋 掛木代	

15-54-31	覚(十人荷代銀書付)	年未詳正月	横切紙	1通	桂見屋→東大橋	
15-54-32	覚(按腹代銀書上)	申年正月29日	横切紙	1通	はまたやみつ→東大橋	
15-54-33	覚(ひや麦代銀書付)	未年7月	横切紙	1通	黒石屋彦十郎→東大橋	
15-54-34	覚(代銀書上)	未年12月22日	横継紙	1通	藤原や→大橋 紋付、糸代、ちりめん、はおり代	「十二月廿二日渡済」の書付あり
15-54-35	覚(代銀受取)	午年12月	横継紙	1通	若松屋百蔵→東大橋 小丁ちん、与力、赤玉入小丸代他	
15-54-36	覚(無尽焼代銀書付)	年未詳11月	横切紙	1通	問屋橋本屋善吉→北大橋	
15-54-37	覚(左伝頼録代銀書付)	年未詳9月20日	横継紙	1通	大坂屋源十郎→東大橋	
15-54-38	覚(竹代受取)	申年4月26日	横切紙	1通	酒つ竹屋→東大橋	
15-54-39	覚(小豆島醤油代銀書付)	年未詳2月17日	横切紙	1通	〇〇→東大橋	
15-54-40	[東大橋宛照文堂里次郎書状]	年未詳12月15日	横継紙	1通(2枚)	小形墨五挺送付添状	包紙あり(包紙上書)「倉敷 東大橋 貴下 照文堂 里次郎」(包紙裏書)「極月十五日 岡山油町より」
15-54-41	覚(代銀書上)	未年10月30日	横継紙	1通	美津→東大橋	
15-54-42	覚(掛木六十七荷代銀書付)	申年3月	横切紙	1通	小山中使→東大橋	
15-54-43	覚(六丈・本紅・かの子代金書付)	年月日未詳	横切紙	1通	渡海屋吉兵衛→東大橋	
15-54-44	覚(掛木代銀受取)	未年11月29日	横切紙	1通	新木屋藤兵衛→東大橋	
15-54-45	覚(代銀書上)	年未詳12月3日	横継紙	1通	島屋与兵次→大橋 帯、きせる代他	
15-54-46	覚(按腹代銀書上)	未年11月晦日	横継紙	1通	みつ→東大橋	
15-54-47	覚(代金受取)	年未詳11月29日	横継紙	1通	郡屋・多屋取次→東大橋 黒八丈代他	
15-54-48	覚(金銭書付)	年未詳10月24日	横継紙	1通	和氣屋竹蔵→東大橋	
15-54-49	覚(按腹代銀書上)	未年5月4日	横切紙	1通	みつ→東大橋	
15-54-50	覚(代銀書上)	年未詳3月2日	横継紙	1通	児嶋屋千代兵衛→東大橋 丁ちん、菓子たんす、花火代他	
15-54-51	覚(代銀書上)	年未詳3月2日	横継紙	1通	こしまや千代兵衛→北大橋 丸籠、七道具、たぬき代	
15-54-52	覚(代銀書上)	年未詳3月2日	横切紙	1通	古じま屋千代兵衛→北大橋 丸籠、七道具、たぬき代	
15-54-53	覚(代銀書上)	年未詳3月2日	横継紙	1通	児島屋千代兵衛→東大橋 花かんさし、かさ、丁ちん、菓子たんす他	
15-54-54	覚(代金受取)	年未詳正月晦日	横切紙	1通	二満屋亀三→東大橋 琴壺面代他	
15-54-55	覚(ごまとうふ代領収書)	申年3月30日	横切紙	1通	とうふや嘉平→大橋	
15-54-56	覚(栗四尺杭代銀書付)	年未詳3月10日	横切紙	1通	新屋佐平二→東大橋	
15-54-57	覚(按腹代銀書上)	申年3月	横継紙	1通	美津→東大橋	
15-54-58	覚(代銀書上)	申年3月	横切紙	1通	油屋形三→大橋	
15-54-59	覚(代銀書上)	申年2月	横切紙	1通	問屋橋善→東大橋 大鉢代他	
15-54-60	覚(代銀受取)	申年2月	横切紙	1通	照文堂里次郎→東大橋 墨代他	
15-54-61	覚(しの・高つき代銀書付)	年未詳5月3日	横切紙	1通	市原屋清次郎→東大橋	
15-54-62	覚(按腹代銀書上)	未年4月1日	横継紙	1通	みつ→檀那	
15-54-63	覚(代金書上)	年未詳3月	横継紙	1通(4枚)	かみや弥助→東大橋 未三月岩あられ代 いわしや源七郎→東大橋 未三月二日タンツウ代 ふしみや欣兵衛→東大橋 三月二日たばこぼん代 古しまや千代兵衛→東大橋 三月二日た代他	4件の覚が貼りあわされている
15-54-64	覚(按腹代銀書上)	未年正月30日	横切紙	1通	みつ→東大橋	
15-54-65	覚(代銀書上)	未年2月	横継紙	1通	問屋橋本屋善吉→東大橋 木杓代他	
15-54-66	覚(按腹代銀書上)	午年8月20日	横継紙	1通	美津→東大橋	
15-54-67	覚(掛木代銀受取)	未年11月29日	横切紙	1通	新本屋広兵衛→角中嶋屋	
15-54-68	覚(代銀書上)	午年9月29日	横切紙	1通	美津→東大橋	
15-54-69	覚(按腹代銀書上)	午年11月4日	横継紙	1通	美つ→東大橋	
15-54-70	覚(紺蛇目代銀書付)	年未詳4月10日	横切紙	1通	あわ屋源吉→東大橋	
15-54-71	覚(代銀書上)	年未詳3月12日	横継紙	1通	渡海屋吉兵衛→大橋 子袴、黒朱子代他	
15-54-72	覚(代銀書上)	年未詳3月	横継紙	1通(2枚)	渡海屋吉兵衛→東大橋 三月十三日黒朱子代他 渡海屋吉兵衛→大橋 三月十二日袴代他	三月十二日及び十三日分の2件の覚が貼り合わされている
15-54-73	覚(代銀書上)	年未詳3月	横切紙	1通	渡海屋吉兵衛→裏大橋 平太細、黒朱子代他	
15-54-74	覚(栗五尺杭代銀受取)	年未詳4月5日	横継紙	1通	新屋佐平二→東大橋	
15-54-75	覚(市まつ代銀書付)	申年3月	横継紙	1通	伏見屋欣兵衛→東大橋	
15-54-76	覚(代銀書上)	申年3月	横継紙	1通	河原町通蛸薬師角なだや嘉助→東大橋 うす花色紋縮面、白紋絹、利休茶袖代他	
15-54-77	覚(餅米代銀受取)	申年5月4日	横切紙	1通	西屋吉太郎→東大橋	
15-54-78	覚(小鉢代銀書付)	年未詳3月20日	横切紙	1通	ましや勘平→東大橋	
15-54-79	覚(代銀書上)	年未詳5月30日	横継紙	1通	はまたやみつ→大橋	
15-54-80	覚(車代銀請取)	年未詳7月2日	横切紙	1通	吉田屋十吉→直次郎	
15-54-81	覚(按腹代銀書上)	申年5月	横切紙	1通	はまた屋みつ→東大橋	
15-54-82	覚(代銀受取)	申年正月	横切紙	1通	備前屋伸助→北大橋 するめ、花代他	
15-54-83	覚(按腹代銀書上)	未年4月30日	横継紙	1通	みつ→東大橋	
15-54-84	覚(栗四尺杭代銀受取)	年未詳3月10日	横切紙	1通	新屋佐平二→東大橋	
15-55	[書状外一括]			1包(1包9通1枚1纏め)		15-55-1~12一包 包紙に間取りが描かれている SILティッシュで括る
15-55-1	[大橋良助宛堀井栄次郎書状]	年未詳9月9日	横継紙	1通	禄請の件について	包紙あり(包紙上書)「くらしき阿知町 大橋良助様 溝口 堀井栄次郎 内〇書在中」
15-55-2	[大森家妻出所書付]	年月日未詳	横切紙	1通	大森藤右衛門妻外	

15-55-3	覚(代銀受取)	申年7月	横継紙	1通	庭せや利兵衛→大橋御旦那 御さけ肴代外	
15-55-4	[和紙]	年月日未詳	横切紙	1通		何も書かれていない淡い藍色の紙 水鳥の地紋様が下部に入っている
15-55-5	覚(代銀受取)	年未詳正月9日	横継紙	1通	庭瀬屋利兵衛→倉敷大橋御旦那 小さと・まさへ外	
15-55-6	覚(代銀受取)	未年7月	横切紙	1通	米屋嘉五郎→東大橋若御旦那 政へ・三川外	
15-55-7	[書状一括]			1纏め(2通)		15-55-7-1で15-55-7-2を包んでいる
15-55-7-1	[東大橋御店宛平まつや清次郎書状]	年未詳2月15日	横継紙	1通	布店の義について	
15-55-7-2	[平松屋清次郎宛布屋庄兵衛書状]	年未詳2月15日	横継紙	1通	大橋の米の残金、廻米の事について	(端裏書)「平松屋様 布屋庄兵衛 貴下」
15-55-8	[小唄]	年月日未詳	横継紙	1通	天保山から沖の形…	
15-55-9	諸納借金持参之節祝義	巳年力	横切紙	1通	代金書上	
15-55-10	[書状]	年未詳12月1日	横継紙	1通	御分家禄請一条について	宛名・差出人なし
15-55-11	[人名書付]	年月日未詳	横切紙	1通	「岡山船着町丸屋 伊達理右衛門」外3名分	
15-55-12	[紙札一括]	年月日未詳	約7.3×約2.7	1包(20枚)	「中島屋良介」「大橋良介」とあり	
15-56	御真筆写	年未詳10月1日	横継紙	1通	藩製改革に関する御趣意書	
15-57	[書状一括]			1袋(2括り14通 1枚1纏め)		15-57-1~18一袋(袋上書)「古人戯贈答書」
15-57-1	[大橋源介宛健書状]	年未詳11月27日	横継紙	1通	御位牌出来について	包紙あり(包紙上書)「大橋賢契 健 再拜」
15-57-2	[大橋源輔宛田中保兵衛書状]	年未詳4月8日	横継紙	1通	銀子返済の儀について	袋あり(袋上書)「大橋源輔様 田中保兵衛 貴下」
15-57-3	[大橋源助宛洪川道隆書状]	年未詳6月27日	横継紙	1通	用事があって訪問できない等	
15-57-4	[大橋源介宛鷓鴣大治書状]	年未詳12月24日	横切紙	1通	鏝金一封御恵投の御礼	包紙あり(包紙上書)「大橋源介様 鷓鴣大治 御侍史中」
15-57-5	[大村桂子爵位授与のいきさつ]	年月日未詳	横継紙	1通		
15-57-6	[和歌書付]	年月日未詳	横切紙	1通		
15-57-7	痲病主治	年月日未詳	横継紙	1通	痘瘡主薬外	
15-57-8	口上	年月日未詳	横継紙	1通	富貴長久ならしめる為の法	
15-57-9	[江戸城見取図]	年月日未詳	27.3×38.2	1枚		
15-57-10	月夜泛湖	年月日未詳	横継紙	1通	漢詩	
15-57-11	[土田宛書状]	年月日未詳	横継紙	1通	鑑別金の事外	
15-57-12	[大橋係惣宛片山道碩書状]	年未詳4月10日	横継紙	1通	鞆津からの書翰を御入手下さい	(上書)「大橋係惣様 片山道碩」裏に屋号の書付あり
15-57-13	[大橋源介宛雲匡書状]	年月日未詳	横切紙	1通	○龍留拝借の件	(上書)「大橋源介様 雲佳 用事」
15-57-14	[書状一括]			1括り(3通)		15-57-14-1~3紙紐で一括り
15-57-14-1	[源介宛平蔵書状]	年未詳2月	横切紙	1通	徳寿庵の僧が来たので、○沙房の米はこれ以降相送るように申しておいた	
15-57-14-2	[口上]	年月日未詳	横切紙	1通	ばば→源介 ちょっと来て下さい	(上書)「源助様 ははより 参」
15-57-14-3	[源介宛平蔵書状]	年月日未詳	横切紙	1通	平右衛門が名札にして庵殿へ勤行させているが来て勤めさせるべきだ、念の為	
15-57-15	[俳句]	年月日未詳	堅切紙	1通	寛敬舎 花樵	
15-57-16	[位牌関係書類一括]			1纏め(3通)		15-57-16-1で15-57-16-2~3を巻き込んでいる
15-57-16-1	[位牌注文書]	年月日未詳	堅切紙	1通	設計図(寸法あり)、塗りなどを指定	
15-57-16-2	口上(位牌添状)	年月日未詳	横継紙	1通	京都仏師→的場・御引・御益	
15-57-16-3	覚(位牌関係代金書上)	卯年11月25日	横継紙	1通	御仏師吉成→版場 位牌・仮箱代金	
15-57-17	[書状外一括]			1括り(9通)		15-57-17-1~9紙紐で一括り
15-57-17-1	[食一老兄宛飯汁書状]	年未詳7月29日	横切紙	1通	先日の非礼のおわび	(上書)「食一老兄 飯汁 貴下」
15-57-17-2	[食一宛飯汁書状]	年未詳8月6日	横切紙	1通	ひまなので来ませんかという手紙	(上書)「食一 ミ下 飯汁 尊下」
15-57-17-3	[食一宛蝶軒書状]	年月日未詳	横継紙	1通	しそ巻の御礼外	(上書)「食一 ミ下 蝶軒 奉答」
15-57-17-4	[和歌]	年月日未詳	横切紙	1通	しそまきのとうがらしの歌	
15-57-17-5	[和歌]	年月日未詳	横切紙	1通	船荷の骨箱に事寄せて	
15-57-17-6	[和歌]	年月日未詳	横継紙	1通	つけぎを恵まれて詠んだ歌	
15-57-17-7	[和歌]	年月日未詳	横継紙	1通	ひしほ給りしにむくひて詠んだ歌2首	
15-57-17-8	[和歌]	年月日未詳	横切紙	1通	さいまつのつけぎの歌外1首	
15-57-17-9	[和歌]	年月日未詳	横切紙	1通	ひしほの歌 食一詠	
15-57-18	[中じまや源助宛小玉や内書状]	年未詳24日	横継紙	1通		袋あり(袋上書)「中じまや 源助様 小玉や内」
15-58	[絵図・乙島一条関係書類他]			1括り(2包1括り 1通1冊)		15-58-1~5紙綴りで一括り
15-58-1	[用向二遣候日別人数書付]			1包(仮1冊3通)		15-58-1-1~4一包 包紙あり(包紙上書)「嘉永五壬子年 西原嘉右衛門子丑両年弘化開用向二遣し候日別書抜差越之分入并寅年分入卯年分入」包を紙綴りで括っている 包紙は大橋金平宛岡熊之介の書状の包紙を転用
15-58-1-1	覚(用向二遣候日別人数及び賃銀書付)	安政2年正月18日~12月25日	横折紙	1通		
15-58-1-2	覚(嘉永七寅年分用向二遣候日別人数書付)	嘉永7年正月9日~12月27日	横折紙	1通		
15-58-1-3	覚(用向二遣候日別人数書付)	戌年2月8日~子年12月21日	横折紙	1通		
15-58-1-4	[用向二遣候日別人数書付]	年未詳正月6日~12月18日	半・横長	仮1冊		

15-58-2	[絵図面]			1括り(1通5枚)		15-58-2-1~6紙綴りで一括り
15-58-2-1	上成健蔵鶴新田虎吉作り地所絵図	年月日未詳	33.0×24.0	1枚		
15-58-2-2	[上成健蔵鶴新田虎吉畝数書付]	年月日未詳	横切紙	1通		
15-58-2-3	[鶴新田金蔵屋敷絵図]	年月日未詳	33.0×24.0	1枚		
15-58-2-4	大内小田郡より同村太郎右衛門へ広畑之内貳拾貳坪預米八升八合小作譲りいたし候見取絵図	年月日未詳	29.0×46.5	1枚		
15-58-2-5	寅四月六日近在へ杭入 久次郎佐介遣候見取絵図	年月日未詳	33.5×16.0	1枚		
15-58-2-6	[小作人介安喜平太及西子位庄元次郎持地見取絵図]	年月日未詳	23.3×19.3	1枚		
15-58-3	[乙島一条関係書類]			1包(3通)		15-58-3-1~3一包 包紙あり(包紙上書)「乙島一条書類入」
15-58-3-1	[惣達名拾四軒宛倉敷久右衛門廻文控]	年未詳4月5日	横継紙	1通	乙島一条に付き明六日私宅への出立依頼	
15-58-3-2	[西之浦庄屋直吉宛乙島村庄屋勝太郎書状]	年未詳3月22日	横継紙	1通	松山川鶴新田前よりの新規堤普請について奉行所へ訴訟申し上げた旨を報知	
15-58-3-3	乍恐以書付奉願上候	嘉永7年3月	横折紙	1通	鶴新田開発人惣代倉敷村亀次郎・上成村小野小十郎・西之浦三宅基蔵・受負人三宅直吉→西之浦御役所 鶴新田岡崎堤疵所繕中の一件について江戸奉行所への出訴につき添簡を願う	
15-58-4	[坪数書付]	年月日未詳	横切紙	1通		
15-58-5	閏四月廿六日 弘化開入用内勘定	年未詳閏4月26日	美・横半折	1冊		
15-59	[覚・書状他]			1括り(9通1枚)		15-59-1~10紙綴りで一括り
15-59-1	覚(金請取)	子年12月11日	横切紙	1通	松嶋友右衛門→東大橋	
15-59-2	覚(代銀請取)	子年11月	横切紙	1通	松嶋友右衛門→上 酒肴代他	
15-59-3	覚(銀受取)	子年11月24日	横切紙	1通	まつ清→大はし	
15-59-4	覚(代銀書上)	子年11月22日	横継紙	1通	末屋益(力)五郎→旦那 色子・酒肴・かこ代他	
15-59-5	覚(銀受取)	未年12月20日	横切紙	1通	西京屋利七→新田葛五郎	
15-59-6	[大橋良介宛三嶋清右衛門書状]	年未詳12月4日	横切紙	1通	会所での開発人割賦への立会依頼	(上書)「大橋良介様 三嶋清右衛門 急用書」
15-59-7	[大橋良介宛小野延三・三嶋治郎右衛門書状]	年未詳11月28日	横継紙	1通	新開割賦方について廻文が参るとも不承知と返答のこと	(上書)「倉敷大橋良介様 西之浦二而小野延三 三嶋治郎右衛門 大急用」
15-59-8	[都々逸]	年月日未詳	横継紙	1通		
15-59-9	[画]	年月日未詳	35.0×49.5	1枚	下女、女郎、奥様、若様などの姿を描く	
15-59-10	[人足賃金書付]	年月日未詳	横切紙	1通		
15-60	[円の相場書付]	年月日未詳	横継紙	1通		
15-61	覚			1括り(9通)		15-61-1~9紙綴りで一括り
15-61-1	覚(金受取)	年未詳6月28日	横切紙	1通	西中 西藤芳吉(力)→東大橋	
15-61-2	覚(代銀書上)	午年6月25日	横継紙	1通	み津→東大橋	
15-61-3	覚(灸代銀他書上)	午年6月25日	横切紙	1通	み津→角お瀧	
15-61-4	覚(按腹代銀書上)	午年7月	横継紙	1通	美津→東大橋	
15-61-5	覚(さね代銀書付)	年未詳9月8日	横切紙	1通	八雲屋力蔵→東大橋	
15-61-6	覚(すすり代銀書付)	午年9月	横切紙	1通	よしのや虎蔵→東大橋	
15-61-7	覚(代銀書上)	午年8月	横切紙	1通	ゆば・いせや→東大橋 からくさ、石灰、油上スサ代他	
15-61-8	覚(代銀受取)	午年9月	横切紙	1通	新屋芳太良→東大橋 木綿、かねぎん、切染わけ代他	
15-61-9	覚(丸小傘代銀受取)	午年9月2日	横切紙	1通	あわや源吉→東大橋	
15-62	覚			1括り(37通)		15-62-1~37紙綴りで一括り
15-62-1	覚(代銀書上)	年未詳5月2日	横切紙	1通	渡海屋吉兵衛→大橋 黒朱子・唐天代他	
15-62-2	覚(代銀書上)	戌年12月	横切紙	1通	問屋橋本屋善吉→東大橋 硯ふた入子、吸物椀、八寸四段重箱代他	「黒点之分此方江買取候 朱点之分北新宅へ被買取候」の朱筆あり
15-62-3	覚(せん〇代銀書付)	年未詳10月17日	横切紙	1通	今の屋甚兵衛→大橋	
15-62-4	記(代銀請取)	年未詳10月	横切紙	1通	西大寺屋豊蔵→東新宅 縁頭代他	罫紙
15-62-5	覚(代銀書付)	戌年8月	横切紙	1通	佐藤新三郎→東大橋 右之は薬入は料	
15-62-6	覚(按腹代銀書上)	年未詳12月7日	横切紙	1通	やくし美津→東大橋	
15-62-7	覚(あげ代銀書付)	戌年4月17日	横切紙	1通	帯江屋久平→東大橋	
15-62-8	覚(代銀書上)	戌年4月23日	横切紙	1通	帯江屋久平→東大橋 糸やき、ふ、角あけ、あげ代他	
15-62-9	記(代銀請取)	年未詳12月19日	横切紙	1通	酒津岡野屋→上	
15-62-10	覚(代銀請求書)	年未詳11月16日	横切紙	1通	はしま善太郎→東大橋 まこ代	
15-62-11	覚(代銀書上)	戌年11月4日	横継紙	1通	渡辺吉平→東大橋 緋、縮面、唐天代他	
15-62-12	記(按腹代銀書上)	年未詳5月15日	横継紙	1通	みつ→東大橋	罫紙
15-62-13	記(按腹代銀書上)	年未詳6月15日	横継紙	1通	やくし美津→東大橋	
15-62-14	記(代銀書上)	年未詳4月30日	横切紙	1通	枳見屋→東大橋 ふ箱代他	
15-62-15	覚(代銀書上)	戌年6月10日	横切紙	1通	阿波屋源吉→東大橋 番傘、傘張替代他	
15-62-16	覚(按摩・按腹代銀書上)	戌年7月30日	横切紙	1通	薬師美つ→東大橋	罫紙
15-62-17	覚(按摩・按腹代銀書上)	年未詳7月12日	横切紙	1通	美津→東大橋	罫紙
15-62-18	記(代銀書上)	年未詳8月3日	横継紙	1通	見山屋善造→大橋 花かんざし代他	
15-62-19	記(代銀書上)	年未詳8月3日	横切紙	1通	見山屋善造→東大橋 花かんざし、紫かのこ、かはん代他	
15-62-20	覚(片炭代銀書上)	年未詳12月24日	横切紙	1通	長町谷安二郎→大橋	



15-62-21	記(代銀請取)	年未詳2月22日	横切紙	1通	竹中豊右衛門→木村 緞子広帯、本紅代他	
15-62-22	覚(杉代銀書付)	戌年5月25日	横切紙	1通	河内屋和平→大橋	
15-62-23	覚(掛木代銀書上)	戌年5月	横切紙	1通	油屋形三→東大橋	
15-62-24	覚(代銀書上)	年未詳5月	横継紙	1通	帯江屋久平→東大橋 あけ、丸ふ、糸やき代他	
15-62-25	おぼへ(しのみき代銀書付)	年月日未詳	横切紙	1通	かるや→大はし	
15-62-26	おぼへ(しのみき代銀書付)	年月日未詳	横切紙	1通	かるや→大はし	
15-62-27	覚(預り代銀精算書)	戌年10月	横継紙	1通	西京なだや嘉助→東大橋 本紅絹ふり袖裏代他	
15-62-28	覚(代銀書上)	年月日未詳	横切紙	1通	河原町通蛸薬師なだや嘉助→東大橋 ふり袖、ふかし代他	
15-62-29	証(金蒔絵櫛代金請取)	年未詳9月6日	横切紙	1通	阿知町郡屋→東大橋	
15-62-30	覚(代銀書上)	戌年8月	横切紙	1通	せ津→東大橋 一ツ身綿入羽織、木綿単羽織仕立代他	
15-62-31	覚(仕立代請取)	年未詳8月3日	横切紙	1通	中野屋おせつ→東大橋	
15-62-32	覚(代銀書上)	年未詳4月17日	横継紙	1通	こじまや千代兵衛→大橋 提箱、本箱代他	
15-62-33	覚(代銀書上)	年未詳12月26日	横切紙	1通	〇(〇の中に泉)→上 まゆばけ、まはけ代他	
15-62-34	記(按摩・按腹代銀書上)	年未詳11月26日	横継紙	1通	やくし美津→東大橋	
15-62-35	覚(掛木代銀書付)	戌年4月11日	横切紙	1通	新木屋藤兵衛→東大橋	
15-62-36	記(按摩・按腹代銀書上)	戌年8月	横切紙	1通	薬師美つ→東大橋	罫紙
15-62-37	記(按摩・按腹代銀書上)	年未詳9月10日	横切紙	1通	薬師美津→東大橋	罫紙
15-63	[万延元年盆後 小請取書及び先方より渡書]			1袋(73通3包6纏め)		15-63-1~82一袋 (袋上書)「万延元年申盆後ヨリ所々小請取書入外ニ先方より渡書共入」袋に入らないのでSILティッシュで包む
15-63-1	[大橋良介宛敬之介書状]	子年2月4日	横切紙	1通	銀札請取報知	(上書)「大橋良介様 敬之介 御請」
15-63-2	[大橋良介宛大森藤三郎書状]	子年2月3日	横継紙	1通(2枚)	金子利差出しの添状及び利金の覚	(上書)「大橋良介様 貴下 大森藤三郎」
15-63-3	覚(年貢未進算用書)	戌年3月7日	横継紙	1通		(端裏書)「此書付近々差返し可被下候」
15-63-4	覚(留二郎未進引渡明細書)	亥年7月30日	横継紙	1通	中疇文兵衛→倉敷源介	
15-63-5	覚			1包(2通)		15-63-5-1~2一包 包紙あり
15-63-5-1	覚(戒屋忠八講銀落札二付出銀覚)	文久3年12月15日	横継紙	1通	新宅徳蔵→本家大橋良介	
15-63-5-2	覚(角恒介入用立替銀受取及び臨時借用銀返済覚)	亥年12月29日~大晦日	横切紙	1通	北新宅→東本家 新宅徳蔵→本家	
15-63-6	[立替銀算用覚]	年月日未詳	横切紙	1通		
15-63-7	覚(御用代金請取)	亥年5月	横切紙	1通	小山屋朔右衛門→大橋	
15-63-8	覚(酒代受取)	酉年12月晦日	横切紙	1通	中嶋や→新宅	
15-63-9	[大橋良介宛敬之介書状]			1包(2通)		15-64-9-1~2一包 封筒あり(封筒表書)「大橋良介様 敬之介 差上置」
15-63-9-1	[良介宛敬之介書状]	亥年5月3日	横継紙	1通	割合物代銀受取及び当春立替でもらっていた割合物代銀返済の覚	
15-63-9-2	[良介宛敬之介書状]	亥年4月晦日	横継紙	1通	年寄として記載分を書抜き報知及び貴家様の立替分も遠慮なく知らせてほしい	
15-63-10	覚(三井置物代残金受取)	亥年4月21日	横切紙	1通	勝之丞→良介	
15-63-11	[金銭算用覚]	年月日未詳	横切紙	1通		
15-63-12	覚(借用銀返済明細書)	年未詳3月10日	横切紙	1通	中嶋や→新宅	
15-63-13	覚(買物代金受取)	亥年2月6日	横切紙	1通	中嶋屋→東大橋	
15-63-14	覚(代銀算用書)	年未詳2月	横継紙	1通	佐一郎→勝之丞 黒朱ス、仕立代他	
15-63-15	覚(実綿受取)	亥年3月6日	横切紙	1通	郡屋多助→東大橋	
15-63-16	覚(代銀受取)	年月未詳30日	横継紙	1通	すしや与兵衛→大橋 酒、肴、支度代他	
15-63-17	覚(両掛代金受取)	戌年6月晦日	横切紙	1通	中嶋屋→東大橋	
15-63-18	覚(借入金送付添状)	年未詳12月11日	横継紙	1通	勝之丞→良介	
15-63-19	[大橋良介宛松井左喜二書状]	年未詳12月21日	横継紙	1通	過日新開での惣方指合の報知	(上書)「大橋良介様 貴下要用 松井左喜二」
15-63-20	覚(人別金額書上)	年月日未詳	横折紙	1通	一 戌十二月廿九日 百五拾四匁 川入 惣十郎他26筆	
15-63-21	覚(年賦金他清算書及び金銀札送付添状)	年未詳5月27日	横継紙	1通	多三郎→東大橋	
15-63-22	覚(利七よりの預かり金送付添状)	年未詳4月24日	横継紙	1通	多三郎→東新宅	
15-63-23	[東大橋宛中嶋屋書状]	戌年6月4日	横切紙	1通	借入金返済添状	封筒あり(封筒表書)「新宅様 出店 金相添」
15-63-24	覚			1纏め(2通)		15-63-24-1に15-63-24-2が巻き込まれている
15-63-24-1	覚(薄茶代他代銀算用書)	年未詳7月21日	横継紙	1通	甚介→新宅	
15-63-24-2	覚(茶料受取)	年未詳7月22日	横切紙	1通	甚介→新宅	
15-63-25	[大橋良介宛油屋後吉書状]			1袋(2通)		15-63-25-1~2一袋 封筒あり(封筒表書)「大橋良介様 貴下 油屋後吉」
15-63-25-1	[大橋良介宛後吉書状]	酉年12月24日	横継紙	1通	茂平・常五郎両人の算用への書印依頼	
15-63-25-2	覚(講銀差出しにつき明細書)	酉年12月24日	横継紙	1通	後吉→東大橋	
15-63-26	[東大橋宛甚介書状]	年未詳5月15日	横切紙	1通	算用書五通落手のこと	(上書)「東大橋様 甚介 御請」
15-63-27	覚(代銀書上)	年月日未詳	横切紙	1通	買物代、肴料他	宛名・差出人とも不詳
15-63-28	覚(買物代銀受取)	酉年10月18日	横継紙	1通	中嶋屋→東大橋	
15-63-29	[大橋勝之文宛与兵衛書状]	年未詳7月1日	横切紙	1通	時借金受取及び義平よりの勿金三歩替金差出しのこと	(上書)「大橋勝之文様 御座下 与兵衛」
15-63-30	[東大橋宛甚介書状]			1纏め(2通)		15-63-30-1に15-63-30-2が巻き込まれている
15-63-30-1	[東大橋宛甚介書状]	年未詳正月15日	横継紙	1通	入用銀札のうち「都合よきほど」廻してくれる様依頼	(上書)「東大橋様 甚介 当用」
15-63-30-2	[東大橋宛甚介書状]	年未詳正月15日	横継紙	1通	銀札受取のこと 及び引替金を使い渡したことを報知	
15-63-31	覚(米五拾俵の蔵出し依頼)	酉年2月25日	横切紙	1通	中嶋屋→東大橋	

15-63-32	覚(引渡金算用明細書)	年月日未詳	横継紙	1通		
15-63-33	覚(割金両替間金受取)	申年11月28日	横切紙	1通	勝之丞→良介	
15-63-34	覚(銀札預り証及び銀受取)	酉年3月晦日	横継紙	1通	中嶋や→東大橋	
15-63-35	覚(赤茶碗代金受取)	酉年2月17日	横継紙	1通	堺屋加介→東大橋	
15-63-36	覚			1纏め(2通)		15-63-36-1に15-63-36-2が巻き込まれている
15-63-36-1	覚(注文割合銀の算用書)	年未詳5月25日	横継紙	1通	仁右衛門→良介 算用覚のあとに不足銀については送ってもらうに及ばない旨の書付あり	
15-63-36-2	覚(梨代銀不足分受取及び過銀返上のこと)	年未詳5月25日	横切紙	1通	仁右衛門→良介	
15-63-37	覚(元利共借入金受取)	戌年12月15日	横切紙	1通	中畝保右衛門→倉敷大橋	
15-63-38	覚(引戸駕新製代銀請取)	亥年2月晦日	堅切紙	1通	小山屋朔右衛門→倉子城東大橋 駕仕立方についての指示書きあり	
15-63-39	卯三郎より利七分書出しひかへ	年月日未詳	横継紙	1通	金銭算用書	
15-63-40	覚(人別金額書上)	年月日未詳	横折紙	1通	一 酉十二月晦日 百五拾八匁 藤介他21筆	
15-63-41	覚(村木本先生への取替金請求)	酉年5月18日	横切紙	1通	出店→新宅	
15-63-42	[東中嶋屋分銀内訳]	酉年5月1日	横切紙	1通		
15-63-43	[東大橋宛甚介書状]			1纏め(2通)		15-63-43-1に15-63-43-2が巻き込まれている
15-63-43-1	覚(代金受取)	年未詳2月5日	横継紙	1通	隅屋自契→東大橋 盃、九谷小鉢代金	
15-63-43-2	[東大橋宛甚介書状]	年未詳2月5日	横切紙	1通	隅屋道具代金受取につき受取書差上げのこと	(上書)「東大橋様 甚介 御受」
15-63-44	[大橋宛松井書状]	庚申年11月24日	横切紙	1通	西阿知村彦右衛門→良介 年賦銀払上げ延引の詫 及び元利指上げに付き算用覚	(上書)「大橋様 松井」
15-63-45	[良介宛勝之丞書状]	年未詳11月10日	横切紙	1通	金貳拾五両高見様に御役介になり、この人に御渡し下さるべく	(上書)「良介様 勝之丞 急要用」
15-63-46	[良介宛勝之丞書状]	年未詳10月10日	横継紙	1通	三拾両程借用願ひ	(上書)「良介様 勝之丞 御直覧」
15-63-47	[良介宛勝之丞書状]	年未詳10月28日	横継紙	1通	刀類を此人に渡してほしい	(上書)「良介様 座下 勝之丞」
15-63-48	覚(金銭算用書)	年月日未詳	横切紙	1通		
15-63-49	覚(酒代受取)	戌年2月24日	横切紙	1通	中嶋屋→東大橋	
15-63-50	覚(借入金引渡内訳書付)	酉年2月15日	横切紙	1通	日吉桂山→東大橋	
15-63-51	覚(借入金引渡内訳書付)	年未詳10月晦日	横切紙	1通	中嶋屋→東大橋	
15-63-52	[良介宛勝之丞書状]	年未詳12月20日	横継紙	1通	金貳拾五両の取替依頼	(上書)「良介様 勝之丞 内要事」
15-63-53	[東大橋宛郡屋多助口上書]	年未詳12月18日	横切紙	1通	貳拾金送付添状	(上書)「東大橋様 郡屋多助 廿金相添」
15-63-54	[良介宛勝之丞書状]	年未詳12月5日	横切紙	1通	明日迄五両取替依頼	
15-63-55	覚(証文八通請取)	万延元年12月	横切紙	1通	西原後吉→倉敷中嶋屋良介	
15-63-56	覚(私宅講出銀算用書)	申年12月	横継紙	1通		宛名・差出人とも不詳
15-63-57	[銀札請取覚]	年未詳10月6日	横切紙	1通	本屋基八郎→東大橋	
15-63-58	覚(民介引受の小作への銀札受取)	酉年正月22日	横切紙	1通	油や後吉→中嶋屋良介	
15-63-59	覚(代銀書上)	酉年3月	横切紙	1通	甚介→東大橋 茶碗、唐津平鉢、万古香合代他	
15-63-60	覚(代銀受取)	酉年3月22日	横継紙	1通	甚介→東大橋	15-63-59の代銀受取力
15-63-61	覚(田畑貸入借入金元利書付)	戌年2月22日	横切紙	1通	民三郎→大橋良介	
15-63-62	覚(米・納米代銀算用書)	戌年3月晦日	横継紙	1通	屹屋万平→東大橋	
15-63-63	覚(年賦銀清算明細書)	壬戌年正月23日	横継紙	1通	使久介 喜左衛門→大橋良介	
15-63-64	[良介宛喜左衛門口上書]	辛酉年12月21日	横継紙	1通	申酉戌亥子の都合五ヶ年分の年賦金送付添状	(上書)「東大橋様 まつみ」
15-63-65	[大橋勝之丞宛那〇喜左衛門書状]	年未詳12月21日	横継紙	1通	金子受取報知及び良介兄へは直二払入れるので御放念下さる様に	(上書)「大橋勝之丞様 那〇喜左衛門 貴下再答書」(裏書)「乍失礼良介様より御飛脚被参候事頼上候」
15-63-66	覚(時米三俵寺納のこと)	戌年12月27日	横切紙	1通	井上寺→東大橋	包紙あり(包紙上書)「御請」
15-63-67	覚(時米三俵寺納のこと)	申年12月23日	横切紙	1通	地蔵院→東大橋	包紙あり(包紙上書)「御請」
15-63-68	御請(時米三俵寺納のこと)	酉年12月27日	横切紙	1通	地蔵院→東大橋	包紙あり(包紙上書)「東大橋様 寺」
15-63-69	[人別金額書上]	亥年12月晦日	横折紙	1通	一 濱分 六百四拾三匁五分 西村 文太郎他33筆	
15-63-70	覚(代金受取)	戌年9月	横継紙	1通	札付間屋多介→西大橋 伊部茶入、赤へ水滴、染付小茶わん代他	
15-63-71	覚(唐青貝卓代金請取)	戌年9月	横切紙	1通	幡江屋多介→西大橋	
15-63-72	覚			1纏め(2通)		15-63-72-1に15-63-72-2が巻き込まれて一纏め
15-63-72-1	覚(代銀書上)	戌年9月	横継紙	1通	甚介→東大橋 薄茶、きせん、炉五徳代他	
15-63-72-2	覚(申年以来茶料其外取次物代金受取)	戌年11月8日	横切紙	1通	甚介→東大橋	
15-63-73	[大橋良助宛観龍寺書状]	年未詳3月5日	横継紙	1通	慈教房が先月廿六日に観音院方へ引福に付き施米を願う	封筒あり(封筒表書)「大橋良助様 観龍寺 几下用書」
15-63-74	覚(人別金額書上)	子年12月晦日	横折紙	1通	一 拾匁 川入 藤吉他30筆	
15-63-75	覚			1纏め(2通)		15-63-75-1と15-63-75-2が重ねて折りたたまれている
15-63-75-1	覚(三ツ井分金銭算用書)	年未詳4月7日	横継紙	1通	佐太郎→勝之丞	
15-63-75-2	覚(返済金算用書)	年未詳4月24日	横切紙	1通	三井作五郎→板屋	
15-63-76	覚(銀引渡し書付)	丑年正月26日	横切紙	1通	窪新田会所→大橋	
15-63-77	[良介宛勝之丞書状]	年未詳12月晦日	横継紙	1通	今橋が昨日今日と儀兵衛をさし越している 百五拾両だけでも廻しては如何か	
15-63-78	[東大橋宛今城書状]	年未詳正月2日	横切紙	1通	新年のあいさつ及び申し上げておいた大小を此人に渡してほしい	(上書)「東大橋様 今城」
15-63-79	覚(代銀受取)	年未詳4月21日	横切紙	1通	中嶋屋→東大橋 酒、小磯様下女遣し割合代他	
15-63-80	覚(三井呉服物代金受取)	亥年3月1日	横切紙	1通	中嶋屋→東大橋	
15-63-81	覚(納銀引渡書付)	亥年12月25日	横切紙	1通	鳥羽(力)村庄屋三木之助→中嶋屋源助	
15-63-82	覚(備前札・永銭金額書付)	年月日未詳	横切紙	1通		

15-64	[書状外書類一括]			1括り(2通1纏め)		15-64-1~3紙紐で一括り
15-64-1	[書状外一括]			1纏め(2通)		15-64-1-1が15-64-1-2を巻き込んでいる
15-64-1-1	[金平宛平右衛門書状]	年月日未詳	横継紙	1通	貯数を印封してさし揃えたので、貴家も早くさし出してもらいたい	
15-64-1-2	[村役人宛覚雛型]	年月日未詳	堅切紙	1通	作徳米・何所米・麦、何石・同・同 当時直段何程	
15-64-2	役人之分覚	弘化3年12月	横継紙	1通	倉敷村年寄金平外8名→倉敷御役所 別囲の米石高、人別書上	
15-64-3	[石高・人名書付]	年月日未詳	横切紙	1通		
15-65	覚(代銀受取)	年未詳9月22日	堅切紙	1通	酒津屋→(宛名なし)	
15-66	[前神町神事入用御手当銀の内貸付取調書類]			1包(仮1冊1包 1括り2冊7通)		15-66-1~12一包 袋あり(袋上書)「天保八年三月晦日 前神町神事入用御手当銀之内貸付証文武冊并小前帳巻冊 外二取調書類入」袋の中に紙縫りに括られた包が入っている 外袋も紙縫りで括られている (内包上書)「神事入用御手当銀袋付取調書類」(上書)「下書」朱筆にて訂正されている
15-66-1	差出申一札之事	天保	横継紙	1通	妙見宮神事入用御手当銀拝借証文下書 一同→前神町組頭・御年寄源介・大当番組安右衛門・仁左衛門・与右衛門・加右衛門・甚七	証文控
15-66-2	妙見宮神事入用御手当銀拝借証文之事	天保 年8月	半・縦	仮1冊	見事なる珍魚の謝礼及び見廻として砂糖呈上のご事 前神町内銀貸付について勘定引合申さず分について如何するかをたずねる	
15-66-3	[金平宛紋右衛門書状]	年未詳閏 月2日	横継紙	1通		包紙あり(包紙上書)「代壬 紋右衛門」
15-66-4	[覚]			1包(5纏め)		15-66-4-1~5まで紙縫りで括られて包紙で包まれている 包紙あり(包紙上書)「此分年寄紋右衛門へ引渡節此方手前へ残し置 別二負数丈ヶ宛之書付認め夫々江付渡候 弘化三丙午年三月九日」
15-66-4-1	[覚]			1纏め(2通)		15-66-4-1-1に15-66-4-1-2が折り込まれている
15-66-4-1-1	覚(人別金額書付)	年月日未詳	横折紙	1通	一 五匁 良助他19筆	
15-66-4-1-2	[銀受取]	丑年閏正月16日	横切紙	1通		
15-66-4-2	[覚]			1纏め(3通)		15-66-4-2-1に15-66-4-2-2及び15-66-4-2-3が折り込まれている
15-66-4-2-1	[人別金額書付]	年月日未詳	横折紙	1通	一 拾匁 留之介他9筆 裏は死失及び他行などの氏名書付	
15-66-4-2-2	覚(預り金書付)	子年大晦日	横継紙	1通		
15-66-4-2-3	覚(嘉助・宗次郎分銀受取)	丑年2月24日	横継紙	1通		
15-66-4-3	[覚]			1纏め(2通)		15-66-4-3-1に15-66-4-3-2が折り込まれている
15-66-4-3-1	[人別金額書付]	年月日未詳	横折紙	1通	一 拾七匁 十五郎他12筆 裏に死亡人の氏名など書付あり	
15-66-4-3-2	[銀受取]	丑年閏正月16日	横切紙	1通		
15-66-4-4	[覚]			1纏め(2通)		15-66-4-4-1に15-66-4-4-2が折り込まれている
15-66-4-4-1	[人別金額書付]	寅年12月	横切紙	1通	一 拾四匁 和吉他7筆	
15-66-4-4-2	[嘉助よりの請取銀書付]	寅年12月25日	横切紙	1通		
15-66-4-5	[覚]			1纏め(2通)		15-66-4-5-1に15-66-4-5-2が折り込まれている
15-66-4-5-1	[人別金額書付]	寅年12月	横継紙	1通	一 拾匁 定次郎他16筆	
15-66-4-5-2	覚(松五郎・佐之右衛門兩人よりの受取銀書付)	寅年12月25日	横継紙	1通		
15-66-5	覚(銀札請取控)	天保8年	横切紙	1通	組頭源介→前神町大当番中 祭礼入用御手当銀の内町内難渋人共への貸付銀請取控	
15-66-6	[引受人氏名書上]	年月日未詳	横継紙	1通	嘉太郎外26人 引受人大黒屋嘉助・嶋田屋宗次郎	
15-66-7	[氏名書上]	年月日未詳	横折紙	1通	永吉外26人	
15-66-8	[氏名書上]	年月日未詳	横折紙	1通	才治郎外23人 「世話人嘉助・宗次郎」の書付あり	
15-66-9	[人別金額書付]			1括り(2通)		15-66-9-1~2紙紐で一括り
15-66-9-1	[人別金額書付]	寅年12月	横継紙	1通	一 五匁 惣兵衛外7筆	(端裏書)「嘉助より差出候書付」
15-66-9-2	[人別金額書付]	卯年3月5日	横折紙	1通	一 拾匁 留之介外10筆	
15-66-10	[氏名書上]	年月日未詳	横折紙	1通	武吉外23人	
15-66-11	天保八丁酉年四月 前神町神事手当銀貸付小前帳写 卯三月 勘兵衛取調	天保8年4月	半・横長	1冊		
15-66-12	天保八丁酉年四月 神事御手当銀拝借人別小前帳	天保8年4月	美・横長	1冊		
16-1	[諸書類]			1袋		16-1-1~81一袋 (袋上書)「文政十丁亥年当村三和屋安八 下津井屋定右衛門 兩人より藤左衛門初三拾式人江相掛御奉行所へ御差出一件書類 兩人訴状返答書并済口御願下書類 巻袋 右一件二付代人長右衛門 平兵衛 差出候内談書類 巻袋 右一件二付入用諸勘定書付入 巻袋」
16-1-1	[訴訟覚書]			1纏め(2通)		16-1-1-1に16-1-1-2が挟まれて折りたたまれている
16-1-1-1	四月十五日於御白砂橋本氏吟味口御覚書	年未詳4月15日	横折紙	1通	裏に植田文四郎外20人の氏名書付あり	
16-1-1-2	[訴訟覚書]	年月日未詳	横切紙	1通	役平の「不顧恐」剃髪退役一件他5筆	
16-1-2	[書付]	年月日未詳	横継紙	1通	年寄庄屋井百姓代を「決而難取用」の申出について差支のある者は書付をもって廿六日朝五ツ時迄に申出ることについて今夕取極めたい旨を知らせる	
16-1-3	[新様宛本堂書状]	年未詳3日	横継紙	1通	最早急々御吟味も始ったことを知らせる	
16-1-4	[中 源宛濱 安書状]	年未詳3月18日	横継紙	1通	白髪翁と一寸と隠宅までの入来を依頼	(上書)「中 源様 濱 安 内用」

16-1-5	[源介宛十蔵口上]	年月未詳28日	横継紙	1通	先刻代イ様持参の書附を坂本屋より返してくれる様に申参った件について「貴家様御手前」に入用かどうかを尋ねる	(上書)「源イ様 十蔵」
16-1-6	[文政十亥年十一月 安八 定右衛門より藤左衛門外三拾壹人へ掛り奉行所へ差出一件訴返書類]			1袋(2冊仮1冊)		16-1-6-1~3一袋(袋上書)「文政十亥年十一月 安八 定右衛門へ相掛り御奉行所株へ御差出一件訴返書類入 右三拾壹人惣代 代人 平兵衛 長右衛門」
16-1-6-1	文政十亥年十一月 安八 定右衛門より御奉行所株へ差出候願書写 別帋一件御吟味下願上并御請証文写しとも添置候	文政10年11月	半・縦	1冊		
16-1-6-2	文政十亥年十一月 安八 定右衛門一件江戸御奉行様御吟味下并御請証文写	文政10年11月	半・縦	1冊		
16-1-6-3	定八 貞右衛門兩人五百拾五人惣代より申立候人数御奉行所へ書付差出し候写	年月日未詳	半・横長	仮1冊		
16-1-7	[安八 定右衛門差出一件入用取立銀勘定帳并小書付]			1袋(仮1冊1冊1通1括り)		16-1-7-1~4一袋(袋上書)「安八 定右衛門御差出一件入用銀取立銀勘定帳并小書付入 文政十丁亥年十月九日改」
16-1-7-1	文政10丁亥年冬十月吉辰日 出府入用金割賦帳	文政10年10月	美・横長	1冊		
16-1-7-2	[江戸入用持銭勘定内訳及び割戻銀受取覚]	子年正月30日	美・横長	仮1冊		
16-1-7-3	[各宛中嶋屋源介口上]	年未詳正月30日	横継紙	1通	長右衛門出府入用持銀さし引過銀別紙算用書の通り出銀高割合を返却に付き添状	
16-1-7-4	[出府入用金関係書類]			1括り(10通2纏め)		16-1-7-4-1~12まで帯封でまとめて紙紐で一括り 帯封は丈吉宛紀伊国内よりの長右衛門書状の包紙を転用
16-1-7-4-1	[出府入用金差出依頼廻状]	年未詳10月6日	横切紙	1通		
16-1-7-4-2	[新大橋宛丙書状]	年月日未詳	横切紙	1通	江戸状は西竹に滞っていたが貴家に留置いてくれる様に 又約束の品差上げのこと	(上書)「新大橋様 丙」
16-1-7-4-3	覚(旅用銀請取)	亥年10月9日	横切紙	1通	荒木屋長右衛門→広江屋竹吉御連中	
16-1-7-4-4	覚(賃銀書付)	亥年12月	横継紙	1通	佐伯屋藤四郎→倉しき茜屋惣平 江戸外神田紀伊国江利八行賃金	
16-1-7-4-5	[覚]			1纏め(5通)		16-1-7-4-5-1に16-1-7-4-5-2~5が巻き込まれている
16-1-7-4-5-1	覚(金・銀札引渡し計算書)	年月日未詳	横継紙	1通		
16-1-7-4-5-2	[銀札額書付覚]	年月未詳27日	横切紙	1通	濱田屋→茜屋	
16-1-7-4-5-3	[本家分及びはまた分の銀送付添状]	年月日未詳	横切紙	1通		宛名・差出人とも不詳
16-1-7-4-5-4	覚(銀札算用書)	年月日未詳	横切紙	1通		
16-1-7-4-5-5	[屋号書付]	年月日未詳	横切紙	1通		
16-1-7-4-6	[大橋源助宛広江屋忠助書状]	年未詳11月3日	横継紙	1通	長右衛門入用銀百匁借用願い	(上書)「大橋源助様 広江屋忠助 尊下」
16-1-7-4-7	[申ノ〇宛正輔書状]	年未詳6月24日	横継紙	1通	書状を認める様にとの仰せは用向多く寸暇も得ないので外方に依頼してほしい 又広丈は三両と申しているが五両差向けてほしい	(上書)「申ノ〇様 正輔 御答」
16-1-7-4-8	[広江屋丈吉他宛長右衛門書状]	年未詳11月1日	横継紙	1通	江戸着の報告及び訴訟書類が役立たないと利八に指摘されたことについて	
16-1-7-4-9	[広江屋丈吉他宛長右衛門書状]	年未詳11月11日	横継紙	1通	11月3日~11月10日まで支配役所や奉行所へ出むいた折の報告書	
16-1-7-4-10	[各宛丈吉書状]	年未詳11月19日	横継紙	1通	今夕到着のあら長よりの書翰差上げのこと 旅用の義道中多分入用に付き少々遣わしてくれる様依頼	
16-1-7-4-11	[広丈宛荒長書状]	年月日未詳	横切紙	1通	殊の外の入用に付き「少々ニ而茂早速」金を送ってくれる様依頼	(上書)「広丈様 荒長 無事用」
16-1-7-4-12	[広江丈吉宛長右衛門書状]			1纏め(2通)		16-1-7-4-12-1に16-1-7-4-12-2が巻き込まれている
16-1-7-4-12-1	[広江丈吉宛長右衛門書状]	年未詳11月11日	横切紙	1通	上向不沙汰の由を案じていること 及び上総屋種兵衛へくわしい手紙をよこしてほしい	(上書)「広江丈吉様 長右衛門 無実急用」
16-1-7-4-12-2	[書付]	年月日未詳	横切紙	1通	「是ハ旅用之事哉 広丈考」	
16-1-8	覚(両替明細書付)	年月未詳15日	横継紙	1通	内田屋→中嶋屋	
16-1-9	[源助宛惣平書状]	年未詳3月25日	横切紙	1通	一条に付き御示談申上げたく屋後早々御来駕を願う 又石井へもこの旨を御しらせ願いたい	(上書)「源助様 惣平 内事」
16-1-10	[村役一同并百姓代取用い方についての届書]	年月日未詳	横継紙	1通		宛名・差出人とも不詳
16-1-11	[大橋宛囃惣書状]	年月日未詳	横切紙	1通	御老母様御見舞 内田も今朝より御出でに付き来駕を願う	(上書)「大橋様 座下 囃惣」
16-1-12	乍恐以書付御答奉申上候	年月日未詳	縦紙	1通	庄屋・年寄、百姓代取極めについては差当り差支えの義はないものの村役人のみ相談の上の決定については「往々如何様之差支」も計り難く「敷敷」存じている旨の返答書	宛名・差出人とも不詳
16-1-13	[中島屋源介宛内田屋五郎右衛門書状]	年未詳3月12日	横切紙	1通	預手形差入れ借用銀の元銀返済添状	(上書)「中島屋源介様 内田屋五郎五衛門 拝 銀貳貫五百目添」
16-1-14	[五郎右衛門宛老惣書状]	年月未詳25日	横切紙	1通	仁左衛門よりの掛合について「野生手ニ而者いや々々と計難申」に付き「貴所様可燃御取計」をねがう	(上書)「五郎右衛門様 座下 老惣」
16-1-15	[書状]	年未詳4月17日	横切紙	1通	帋面委細承知のこと 随分保養なさる様に 寿助よりの廻状は石井へ御見せ下さる様希う	宛名・差出人とも不詳
16-1-16	[嚴助宛惣平書状]	年未詳4月18日	横継紙	1通	頭痛の見舞と今日の石井、小山、志湧、野老の出勤予定他	(上書)「嚴助様 惣平 用事」
16-1-17	[書付下書]	年月日未詳	横切紙	1通	新川町佐太郎銀子借用心得違ひ一件について	
16-1-18	乍恐以書付奉申上候	年月日未詳	横継紙	1通	七太夫の大切之諸帳面を其の俣に捨置き家内引連れ退去のことなど不埒至極のもの共を書上げ「決而難取用」ことを願う	宛名・差出人とも不詳
16-1-19	[甚祐宛吳老書状]	年月未詳26日	横切紙	1通	評義二統に相別れ書附出来のことを報知	(上書)「甚祐様 吳老 拝 奉謝」

16-1-20	[大石宛ほりべ弥兵衛書状]	年月未詳9日	横継紙	1通	一寸御来談を希う	(上書)「大石様 座下 ほりべ 弥兵衛」
16-1-21	[大石宛ほり部書状]	年月日未詳	横切紙	1通	平田にて茶漬さし上げたきよし「御乱髪」にても御出勤を願う	(上書)「大石様 ほり部」
16-1-22	覚(割賦銀并町役銀立替出銀請取書下書)	文政6年12月19日	横切紙	1通	乙島村彦右衛門代兼下庄村庄屋忠治→貞蔵	
16-1-23	[大はし宛東書状]	年月日未詳	横切紙	1通	植田小山より「御決談申上度義」があるので石井を同伴の上御来会を願う	(上書)「大はし様 東 用事」
16-1-24	[大橋源助宛塩飽五郎右衛門書状]	年未詳4月25日	横切紙	1通	御答拝見、御両君の御思召承知のこと	(上書)「大橋源助様 塩飽五郎右衛門 再答」
16-1-25	[源介宛八郎書状]	年月未詳16日	横継紙	1通	銀札八匁五分五厘受取のこと	(上書)「源介様 八郎様 貴報」
16-1-26	[源助宛惣平書状]	年月日未詳	横継紙	1通	寿助へ召出の時刻を尋ねたところ、そろそろ御出掛然るべきなので石井へも御達し下さる様に	(上書)「源助様 座下 惣平」
16-1-27	[書付案文]	年月日未詳	横継紙	1通	庄屋、年寄、百姓代退役後の新役取極めについての経過書付	
16-1-28	[庄屋・年寄役柄不似合についての書付案文]	年月日未詳	縦紙	1通		
16-1-29	[庄屋・年寄勤め方心得及び百姓代取極め方について]	年月日未詳	横切紙	1通		
16-1-30	[大宛由書状]	年月未詳26日	横継紙	1通	注進した額返却下され入掌のこと他	(上書)「大様 拝答 由より」
16-1-31	[大橋宛老惣書状]	年月日未詳	横継紙	1通	明晩には御帰下される様に 又余義なきことがあっても明後廿七日昼までにはお帰りを希いたい	(上書)「大橋様 老惣 奉答」
16-1-32	[あかね屋宛内田屋書状]	年未詳4月25日	横継紙	1通	お手紙拝見承知のこと 出かけるか又は集会するか、兎も角も返事をされるのが然るべきと思う	(上書)「あかね屋様 貴下 内田屋 拝」
16-1-33	[大橋源助宛植田武左衛門書状]	年未詳8月24日	横継紙	1通	「すし御咄申上度義」があるので私宅までの御入来を願う	
16-1-34	[上宛御存書状]	年月日未詳	横切紙	1通	最早御願出しになられたのか尋ね、委敷御左右御間かせなられる様に	(上書)「上 御存より」
16-1-35	[大場志宛きし部書状]	年未詳4月22日	横切紙	1通	いまだ何れよりも何の沙汰もなく「破之字二御ざ候」	(上書)「大場志様 拝 きし部」
16-1-36	[源介宛五郎右衛門書状]	年月未詳25日	横切紙	1通	老叟より申来る件について昼前より寄合談合をするか御答を待つ	(上書)「源介様 貴下 五郎右衛門」
16-1-37	[巖輔宛早平口上]	年月日未詳	横継紙	1通	昨日の饗応の礼とくたびれ二日酔いのため御礼参上できなかった詫 忠次への出翰案文の添削について	(上書)「巖輔様 座下 早平」
16-1-38	[きし部宛勞壯書状]	年月未詳19日	横継紙	1通	兩人よりの文通を見て「なるほどヶ様之義」であるなら明日まで見合わせ、外へも早々通達申すべき	(上書)「きし部様 勞壯 返事」
16-1-39	[大はし宛五人書状]	年月日未詳	横切紙	1通	当日は目出度く「はまた」よりのさし図にて「めて鯛」を進上のこと	(上書)「大はし様 座下 五人」
16-1-40	[中しま屋源助宛あかね屋惣平書状]	年月未詳30日	横継紙	1通	辻銀、今朝は間に合い兼ね差支の様子のため取替下さるかを尋ねる	
16-1-41	[訴訟に付き願書]	年月日未詳	横切紙	1通	本願書の通り、組分を仰せ付けられたい事	後欠 下書力
16-1-42	[源のひかる宛紅梅書状]	年未詳9月12日	横切紙	1通	内田より沙汰の事について、急ぎ取り計らいたいが私の快復はわからないので、角児が吉十方へ引き寄せてどうにかしたい事、何卒、出馬下さるべき事	(上書)「源のひかる公へ 紅梅 座右」
16-1-43	[源介宛御存書状]	年未詳3月24日	横継紙	1通	願書の文面に付き意見の事、下書が出来たら見せてほしい事等はまだらが書付の差し出しは25日まで待つてほしいと言っている事等に付き、相談があるので来訪願	(上書)「源介様 御存 要用」
16-1-44	[巖輔宛惣平書状]	年月未詳24日	横切紙	1通		(上書)「巖輔様 惣平 奉答」
16-1-45	[町野六郎宛筒井書状]	午年12月	横継紙	1通	弥三大病に付き、跡式の件で親類一統寄り合い相談している事	(上書)「町野六郎様 筒井氏 無用」
16-1-46	[村入用割及び百姓代一件に付き書類]			1纏め(2通)		16-1-46-1の中に16-1-46-2が巻き込まれていた
16-1-46-1	[訴状訴え]	年月日未詳	横折紙	1通	村小入用割及び百姓代の事に付き、村役人の見解をわかまへかね、役所の意見をうかがいたい事	
16-1-46-2	[村役人との掛け合い始末報告]	年月日未詳	横継紙	1通	百姓代の人選について掛け合いの事	
16-1-47	[中源宛御存口演]	年未詳7月9日	横継紙	1通	今日中に御咄書を調べ、一同御願いすべき事	包紙あり(包紙上書)「[ ] [ ] 極内用書」
16-1-48	[富春宛有意楼書状]	年未詳9月11日	横切紙	1通	寿助を以て消の字を掛合いたい事	(上書)「富春翁様 有意楼意入 座右」
16-1-49	[ひかる源氏宛有意楼書状]	年月未詳12日	横継紙	1通	今夕拙宅へお出掛け下されたい事	(上書)「ひかる源氏様 有意楼 内事」
16-1-50	[喬木宛老壯書状]	年未詳8月27日	横継紙	1通	参宮の義、どうぞ本望とげたく、おたがいに残念である事	(上書)「喬木様 老壯 内事」
16-1-51	[大鷲宛左右子書状]	年月未詳26日	横継紙	1通	内田より急に談示したい事がある由にて、来駕下されたい事、本家へも知らせしてほしい事他	(上書)「大鷲様 左右子 内事急用」
16-1-52	あつま屋弥助かべにはり紙	年月日未詳	横切紙	1通	当年の祭りについて、9月1日に6人の者を〇き申すべく、一晚にあかねやへ〇き掛けたので皆様お出で下さり、それらのかわりにたのしみ申す事	貼紙の写し
16-1-53	[喬宛平書状]	年月日未詳	横切紙	1通	はり紙について、外様に拘らず願出たい事、御面倒なら捨て置いて、自分から申し出て打ち破る事	(上書)「喬様 平 内事」
16-1-54	[源助宛老惣書状]	年月未詳27日	横切紙	1通	庄屋より酒津八ヶ郷掘りさらえ人足の事を告げられ、急ぎ相談したいので、来てほしい事	(上書)「源助様 老惣 内事」
16-1-55	[書状]	年月未詳9日		1通	密事一覽、広印からの沙汰を待った上で考えて、有無を聞きたい事、盆後の吟味は覚束なく、法印の内通も信用し難い事他	
16-1-56	[源助宛惣平書状]	年月未詳19日	横切紙	1通	今日一寸来駕下されたい事	(上書)「源助様 惣平 用事」
16-1-57	[中島宛惣平書状]	年未詳2月14日	横継紙	1通	内田氏より急ぎ内談したい事があるので、出会下されたいとの事	(上書)「中島御氏様 惣平 内事」
16-1-58	[おかる宛由ら書状]	年未詳7月11日	横切紙	1通	今夕、利工公来臨に付きどうにも一決せねばならない事に付き、御高考の上お答え下されたい事	(上書)「[ ] おかる殿 山品より 由より」

16-1-59	〔原甫宛惣平書状〕	年月未詳27日	横継紙	1通	片岡より黑白返事が来るはずが、いまだに知らせもなく、恥入っている事、夜前一決を後悔している処計り難く、何か変わった事があればお答えしたい事	(上書)「原甫様 惣平 座右」
16-1-60	〔はし宛ほり書状〕	年未詳11月28日	横継紙	1通	今夕までに切り出しの事は平蔵らに掛け合うので、米納の事を先に取り決めておいてほしい事	(上書)「はし様 ほりより 内事」
16-1-61	〔中しまや源助宛あかねや惣平書状〕	年未詳11月晦日	横切紙	1通	平蔵と志湧ノ方に面会、年貢の節は叶い安心すべき事、繰綿30本賃に取り、元内蔵へ入れたので、同家に賃銀を渡してほしい事	(上書)「中しまや源助様 あかねや惣平 〇知」
16-1-62	〔原氏宛ほりへ書状〕	年月未詳16日	横継紙	1通	おとつが昨日寿助と幸助を岡山へ行くと言って出て、今朝帰村すると何となくざわざわいたしている由について	(上書)「原氏様 ほりへ 内事」
16-1-63	乍恐以書付奉申上候	年月日未詳	横切紙	1通	村役人より小入用を行うという事だが、出会いの際に争いとなるので、寿介を差し入れ下さる様にしたい事	(上書)「申二月廿八日差出候書付引替三月四日差上ル扣」
16-1-64	〔村役人進退に付き条々書付類〕			1括り(3通)		16-1-64-1~3紙綴りで一括り
16-1-64-1	〔村役人進退に付き条々書付〕	年月日未詳	横切紙	1通	庄屋・年寄はこれまで通りに勤め、跡役は惣百姓相談の上で決めた者を願い出る事、百姓代はこれまで勤めていた者は一旦退役し、長百姓相談の上で決まった者を願い出る事	(上書)「染次取条々切出し控」
16-1-64-2	〔村役人進退に付き条々書付〕	年月日未詳	横切紙	1通	村役人は退役後は他の百姓と同様たるべき事	
16-1-64-3	〔村役人進退に付き条々書付〕	年月日未詳	横切紙	1通	百姓代はこれまで勤めていた者は一旦退役し、惣百姓相談の上で決めるべき事、庄屋・年寄はこれまで通りとし、跡役は惣百姓相談の上で決めるべき事他	
16-1-65	〔源助宛惣平書状〕	年月未詳10日	横切紙	1通	義倉立会の件に付き、坂本らの参会は然るべき事等	(上書)「源助様 惣平 座右」
16-1-66	〔五郎右衛門口上〕	年月未詳26日	横切紙	1通	話したい事があるので、出没なられるべき事	
16-1-67	〔大はし宛快所書状〕	年月未詳20日	横切紙	1通	沖の大先生が出られたので、御来駕願ひ	(上書)「大はし君 快所」
16-1-68	〔大石宛老壮書状〕	年月未詳11日	横切紙	1通	米納小作差し支えの趣を広利が申し出ている件に付き、今夕出会願ひ	(上書)「大石様 老壮 内事」
16-1-69	〔諸書類〕			1括り(68通3纏め)		16-1-69-1~71紙綴りで一括り 綴をSILティッシュの紐にかえる
16-1-69-1	〔源助・十蔵宛平蔵口上〕	年月未詳11日	横継紙	1通	病人は寸刻も待たない状況ではあるが、村一件もあり、明日には帰りたいので向えの人をよこしてほしい事	(上書)「源助様 十蔵様 林より 平蔵 用事」
16-1-69-2	〔源助宛平蔵書状〕	年月未詳5日	横切紙	1通	内田屋より借用銀書類御渡の事について	
16-1-69-3	〔岸部宛猪老書状〕	年月未詳26日	横切紙	1通	七太夫・三郎右衛門南へ通る件について、届け出るか明朝までに決めたい事	(上書)「岸部様 猪老 奉答」
16-1-69-4	〔書状〕	年月未詳26日	横切紙	1通	明朝へ延ばしがたいので、出欠をお答えしてほしい事	
16-1-69-5	覚(銀高書付)	年月日未詳	横折紙	1通	利銀等	
16-1-69-6	〔書状〕	年月日未詳	横切紙	1通	戸田屋より立ち会うよう申し越しの件に付き、不快なので立ち会いは断る事	後欠
16-1-69-7	〔源介宛郎策書状〕	年未詳7月4日	横継紙	1通	金へ両替願ひの事	(上書)「源介様 郎策」
16-1-69-8	〔源助宛与三右衛門書状〕	年未詳8月2日	横継紙	1通	銀子無心の事について	(上書)「源助様 与三右衛門 内用」
16-1-69-9	〔広田屋利右衛門他4名宛中島屋源助書状〕	年未詳7月朔日	横継紙	1通	内田屋惣一郎が、村割について立ち会いは不安心に付き延引したいと言っている件について意見伺い	
16-1-69-10	〔大橋源助宛堀貞兵衛書状〕	年未詳6月26日	横継紙	1通	参る度の饗応のお礼等	
16-1-69-11	覚(銀高書付)	年月日未詳	横継紙	1通	源助分町役割等	
16-1-69-12	〔書状類〕			1纏め(2通)		16-1-69-12-1に16-1-69-12-2が巻き込まれている
16-1-69-12-1	〔書状〕	年月日未詳	横切紙	1通	宮崎屋出入九蔵が長浜屋に悪口をいたして、大変出来申し、今夕出没なられるべき事	
16-1-69-12-2	〔源介宛五郎右衛門書状〕	年未詳7月25日	横継紙	1通	新金引替え、受印の義、広田屋不沙汰に調印の件について等	(上書)「源介様 五郎右衛門 貴下」
16-1-69-13	〔大橋宛黒瀬書状〕	年未詳9月9日	横継紙	1通	中元の御礼	(上書)「大橋様 黒瀬 奉復」
16-1-69-14	〔大橋源介宛福島春作書状〕	年未詳7月9日	横継紙	1通	中元の贈答品について等	(上書)「大橋源介様 福島春作 [ ]」
16-1-69-15	〔大橋源介宛的場貞蔵他1名書状〕	年未詳7月9日	横継紙	1通	中元の品のお礼	(上書)「大橋源介様 的場〇馬・同貞蔵 貴報」
16-1-69-16	乍恐以書付奉申上候	年月日未詳	横継紙	1通	当村仁右衛門が取喰いに立入り、心得方を切り出した件について、先達で同意しておきながら今更同意一同取用い難く申し上げるのは、恐れ多い事であるが、慈悲をもって対処してほしい事 仁右衛門立入り心得方切り出しの件について、発願に同意の者も連印し目安願書差し上げの件について	
16-1-69-17	〔願書下書〕	年月日未詳	縦切紙	1通		
16-1-69-18	〔諸書類〕			1纏め(2通)		16-1-69-18-1に16-1-69-18-2が巻き込まれている
16-1-69-18-1	〔岸部宛老壮書状〕	年月未詳27日	横継紙	1通	白米小うり同意の件について	(上書)「岸部様 老壮 内事」
16-1-69-18-2	〔願書〕	年月日未詳	横継紙	1通	百姓代の人選に関して村役人承知のみ申し募った事に付き出訴の件について、他に出訴している事もあるので出訴しない事 名前・印形相断りの上にも拘らず、同意の者を書き加える事について	
16-1-69-19	〔願書〕	年月日未詳	横継紙	1通	臈窓一件に付き今朝同人が申し立てた事は左様に見える事、急ぎ来駕下さるべき事	
16-1-69-20	五郎右衛門口上	年未詳8月2日	横継紙	1通		
16-1-69-21	〔銀子算用書付〕	年月日未詳	横切紙	1通		
16-1-69-22	〔銀高書付〕	文政4年6月10日 (申年6月10日写)	横継紙	1通		

16-1-69-23	乍恐以書附奉申上候	年月日未詳	横継紙	1通	同意一同取用い難く申し上げているのに対し、同意に拘らず御願ひ申し出の事	
16-1-69-24	[書状類]			1纏め(2通)		16-1-69-24-1の中に16-1-69-24-2が巻き込まれている
16-1-69-24-1	[中島屋源すけ宛内田屋五郎右衛門書状]	年未詳8月4日	横継紙	1通	別紙の通りに付き、早目にあかねやへ出向いてほしい事	(上書)「中島屋源すけ様 内田屋五郎右衛門 貴下」
16-1-69-24-2	[書状]	年月日未詳	横切紙	1通	吟味を後へまわすのは如何なものか、人数は兩人にて然るべき3人と申すが目立つのではないか、これらに付き早めに高考なられるべき事	
16-1-69-25	[大橋源助宛行願院知本口上]	年未詳7月2日	横切紙	1通	4月15日に大般若經転読に付き土砂を寺中へ差し上げ受納なられた事、発起中も私より挨拶をするように話している事	
16-1-69-26	[大橋宛惣平書状]	年月日未詳	横切紙	1通	今夕集会の事、はまだらへ伝えたので、暮れ早々に拙宅へ来てほしい事	(上書)「大橋様 惣平 内事」
16-1-69-27	[大はし宛ほり部書状]	年月未詳13日	横切紙	1通	昨日寿助に吟味と村割日限についてきいた所、村割の事は何も言わないが、寿助の心得方は色々と言っていたので、会って話したい事	(上書)「大はし様 ほり部 内事」
16-1-69-28	[大石宛ほり部書状]	年月未詳10日	横切紙	1通	今日の集会は見合わせたい事、拙宅へ出掛けて下されたい事	(上書)「大石様 ほり部 要用」
16-1-69-29	[大はし宛堀部書状]	年未詳3月5日	横継紙	1通	下庄へ人を遣わし入手の文書を送付、おかし所等は会って話したい事	(上書)「大はし様 堀部 座右」
16-1-69-30	[願書下書]	年月日未詳	縦切紙	1通	村役人退役に付き、村役人共が心得違いを願ひ上げている件について、私共は6人の者と同様願ひ申し上げる事	
16-1-69-31	[植田書状]	年月日未詳	横継紙	1通	儉約の取り決めについて、村役人より何の話もなかったので、庄屋・年寄宛の請印を消印した事等	
16-1-69-32	[小字名書付]	年月日未詳	横切紙	1通(2枚)	向倉敷、王子権現等	
16-1-69-33	[中新宛東あか書状]	年月未詳29日	横継紙	1通	夜前、福山より好物の品到来に付き、お知らせの事等	(上書)「中新様 東あか 座右奉答」
16-1-69-34	[新宛本書状]	年月日未詳	横継紙	1通	書取りおだやかになり、初一念役所先方へ受免致しては追々邪魔になる事をよろしく伝達してほしい事	(上書)「新様 本より」
16-1-69-35	[大橋宛惣平書状]	年未詳5月10日	横切紙	1通	貴所様昼食は拙宅にてお茶漬けをお上がりになるつもりにて、承知下さるべき事等	(上書)「大橋様 惣平 内事」
16-1-69-36	[中島屋貞蔵宛伝太郎書状]	年未詳2月12日	横継紙	1通	年賦銀の事に付き廻文があり、健蔵は周蔵らが帰り次第評議をするので、利右衛門より話ができればそのように伝えてほしい事	(上書)「中島屋貞蔵様 伝太郎 内用事」
16-1-69-37	[大橋宛快翁書状]	年月未詳28日	横継紙	1通	黒せへ面会に付き、夜前申し置きをの振合いお聞き下さるべき事、それに付き一応お目にかかり申し上げたい事がある事	(上書)「大橋様 快翁 座右」
16-1-69-38	[大橋宛五郎書状]	年月日未詳	横切紙	1通	今朝早々に出てきてほしい事	(上書)「大橋様 五郎より 貴下」
16-1-69-39	[大橋宛惣平書状]	年月日未詳	横継紙	1通	役所へ出る事について、仮庄屋の事とは別に川さらい人足の事で相談したいので、只今お出掛け下さるべき事	(上書)「大橋様 惣平 座右」
16-1-69-40	[新宅宛[ ]書状]	年月日未詳	横継紙	1通	夜前の書付には不行届があるので手元があればちょっと出してほしい事、この方に写しなく、差し出しも少々延引の事等	(上書)「新宅様 [ ]」
16-1-69-41	[源介・八郎右衛門口上]	年月未詳20日	横切紙	1通	染次より内談したい旨について	(上書)「源介様 八郎右衛門 貴下」
16-1-69-42	[大橋平蔵宛成治口上]	年月日未詳	横継紙	1通	庭瀬領騒動の段間合について	(上書)「大橋平蔵様 成治印 貴下」
16-1-69-43	[大橋宛五郎書状]	年未詳9月18日	横継紙	1通	脇指賃銀を渡すこと	(上書)「大橋雅君 五郎拜 銀札相添」
16-1-69-44	[大宛会所書状]	年月日未詳	横切紙	1通	関東行のこと大橋両家とも不納得なので藤左衛門から掛け合依頼	(上書)「大橋 快より 内事」
16-1-69-45	[極内密書]	年月日未詳	横切紙	1通	江戸へこし入させについて	(上書)「御先方 ○○」
16-1-69-46	[書状]	年月日未詳	横切紙	1通	石井同伴で来臨願	
16-1-69-47	[大橋宛会所急用書]	年月日未詳	横切紙	1通	登田へ御掛合の決着があったこと	(上書)「大橋様 会諸 急用書」
16-1-69-48	[利右衛門外4人宛源介書状]	年未詳10月24日	横継紙	1通	平蔵宅へ出向く依頼	(上書)「各々様 源介 用事」
16-1-69-49	[大橋宛隴窓書状]	年月日未詳	横継紙	1通	今夕皆様方集會について	(上書)「大橋様 隴窓 内事」
16-1-69-50	[源助宛惣平書状]	年月未詳23日	横継紙	1通	昨日植隠が来訪し色々申しした事、お互いの心得について植隠へはまたより伝えているがいろいろき様子である事等	(上書)「源助様 惣平 座右」
16-1-69-51	[大橋宛静○書状]	年月日未詳	横切紙	1通	浜田兄より、夜分が明日かにのぼしてはどうかと云ってきている事	(上書)「大橋様 静○ 拜」
16-1-69-52	[鷗波翅宛会所書状]	年月未詳19日	横切紙	1通	小山生お出でに付き、来会願ひたい事 植田よりは何の沙汰もないが、程なく案内があると思われる事	(上書)「鷗波翅兄 会所 座右」
16-1-69-53	[源君宛会処書状]	年月未詳5日	横切紙	1通	広田・内田両人出馬の所、貴所様の出馬をのぞむ事	(上書)「源君様 会処 座右」
16-1-69-54	[大橋宛会所書状]	年未詳5月19日	横継紙	1通	小山よりの書状を御覧に入れる事 植田より決断があれば早々に申し上げるので、そのようにお答え下されたい事	(上書)「大橋様 会所 座右」
16-1-69-55	[大馬志宛快所老人書状]	年月未詳23日	横切紙	1通	沖氏病氣に付き、はまだより聞合わせるよう申し遣わす処について、相談の事	(上書)「大馬志様 快所老人 座右」
16-1-69-56	[大橋宛会所書状]	年月未詳28日	横切紙	1通	拙宅へ来るのか貴宅へ行くのか問い合わせ	(上書)「大橋様 快所 内事」
16-1-69-57	[大玄宛老惣書状]	年未詳2月5日	横継紙	1通	明6日御蔵前へ出勤するか問い合わせ	(上書)「大玄様 老惣 座右」
16-1-69-58	[甚輔宛老惣書状]	年月未詳20日	横切紙	1通	忠次が明日在所へ帰るに付き、一応平蔵と面会申すべき事	(上書)「甚輔様 老惣 内事」
16-1-69-59	覚	文政6年11月19日	横切紙	1通	乙島村彦右衛門代兼下庄村庄屋忠治→貞蔵 倉敷村年中小入用割賦が出入中なので滞ったので、立替出銀になり請取った	
16-1-69-60	[源介宛老惣書状]	年月未詳11日	横継紙	1通	忠二から貴兄へ沙汰があるので袴着用をし、寿介方で今日は過ぎさないようにとのこと	(上書)「源輔様 老惣 座右」
16-1-69-61	[源助宛惣平書状]	年月未詳26日	横切紙	1通	約束の鳥飯を差し上げるから夕飯に来てくれとのこと	(上書)「源助様 惣平 内事」

16-1-69-62	口演	年未詳10月6日	横切紙	1通	善右衛門→惣平・源助・五郎右衛門 下庄忠兵衛が屋前に出たことをお知らせする	(上書)「大石様 堀部」
16-1-69-63	[大石宛ほりべ書状]	年未詳10月晦日	横継紙	1通	片時も早く熟破決し一計策と思っている	(上書)「大石様 ほりべ 内事」
16-1-69-64	[大橋宛会所書状]	年月日未詳	横切紙	1通	暮頃までには掛合したいので来会してほしい	(上書)「大橋様 快所 用事」
16-1-69-65	[大橋宛籠窓書状]	年未詳11月2日	横切紙	1通	早めに有無を決したいので今夕入来願	(上書)「大橋志様 籠窓 内事」
16-1-69-66	[阿知町連印人別書付]	年月日未詳	横継紙	1通	中島屋源助他12名	
16-1-69-67	[大はし宛しはく口上]	年月未詳23日	横切紙	1通	組合の受状の当年分は取り次がない事他 2条を無判にて案文とする事	(上書)「大はし様 しはく拝」
16-1-69-68	[書状]	年月日未詳	横切紙	1通	福山定七・また蔵より鯛2尾さしこし、皆様へ料理して差し上げる事	
16-1-69-69	[願書下書]	年月日未詳	縦折紙	1通	村役人が役向きを我俣にしている件に付き吟味中なので、仮庄屋等、役願筋を取り次ぐ者を置く事を許可してほしい事	
16-1-69-70	[中島屋源介宛坂本屋志津蔵口上]	年未詳11月1日	横切紙	1通	内田屋より参るように言ってきたこと	(上書)「中島屋源介様 坂本屋志津蔵 貴下」
16-1-69-71	[源助宛惣平書状]	年月未詳10日	横継紙	1通	今夕地蔵院にて集会のお知らせ	(上書)「源助様 惣平 用事」
16-1-70	[源助宛利右衛門書状]	年月未詳9日	横切紙	1通	御肴の御礼、戸印の事についてお尋ねに付き、戸印より返答があり次第お答えするべき事	(上書)「源助様 利右衛門 貴報」
16-1-71	[書状]	年月未詳28日	横切紙	1通	西印催促の件につき注進	宛名・差出人不詳
16-1-72	[百姓代心得之事・書状類]			1括り(31通1括り2纏め)		16-1-72-1~34紙綴りで一括り
16-1-72-1	[連印之者名前一覧外]			1括り(4通)		16-1-72-1-1~4紙綴りで一括り
16-1-72-1-1	阿知町後ノ連印ノ内	年月日未詳	横折紙	1通	熊吉他8人の名前書付	
16-1-72-1-2	[未三月廿九日取調候処同意之落印へ相成候者氏名書付]	未年3月29日	横切紙	1通	仁左衛門他28名の氏名書付	
16-1-72-1-3	[井上町御両君宛坂上書状]	年月日未詳	横切紙	1通	御両所様より取極めてもらうように願上げ、晩方までに寿助へ差出したい旨の書付	(上書)「井上町御両君様 坂上より 極内要」
16-1-72-1-4	[未三月晦日差上申すべき節連印之者氏名書付]	未年3月晦日	横切紙	1通	治郎兵衛他21名の氏名書付	
16-1-72-2	[屋号人名書上]	年月日未詳	横継紙	1通		
16-1-72-3	[中島屋源介宛内田屋五郎右衛門書状]	年未詳11月20日	横切紙	1通	先夜相談したことを早速平蔵様へ御相談下された処、当年は一統御断りになされることを承知した旨を報知	(上書)「中島屋源介様 内田屋五郎右衛門 奉酬」
16-1-72-4	覚(木うす代銀受取)	未(文政6力)年3月17日	横切紙	1通	林屋与治右衛門→川西町忠八	(上書)「川西町忠八様」
16-1-72-5	[貸付利銀内訳及び人名書付]	未年6月8日	横折紙	1通		
16-1-72-6	[小田亭書状]	年月日未詳	横切紙	1通	此方心得方を申すのが然るべきか、または一応承知とするべきか御賢慮仰せ聞かさるべく	
16-1-72-7	[大波志宛籠窓書状]	年月日未詳	横切紙	1通	庄屋・年寄退役につき御高慮の上御差略下さるべく	(上書)「大波志様 籠窓 用事」
16-1-72-8	[大意志宛ほりべ書状]	年月日未詳	横切紙	1通	平蔵様へ此方への御来会を願う	(上書)「大意師様 ほりべ」
16-1-72-9	[中しま屋宛あかね屋書状]	年月日未詳	横切紙	1通	梨果を「御つみて」があれば貴家より十蔵様へ届けてほしい	(上書)「新中しま屋様 あかね屋」
16-1-72-10	此度御願申上候百姓代心得之事	年月日未詳	横切紙	1通		(端裏書)「百姓代心得」
16-1-72-11	百姓代便利心得之事	年月日未詳	横継紙	1通		
16-1-72-12	百姓代便利心得之事	年月日未詳	横継紙	1通		
16-1-72-13	植田武右衛門口上手扣	年未詳4月20日	横継紙	1通	出入一件に付き双方熟談落ち合う様に取計うべきとの御趣意につき今晚か明朝御直談申し上げたい	
16-1-72-14	[大橋宛快所書状]	年月未詳22日	横継紙	1通	廣田は長崎へ長蓮寺祈禱を龍宮返しに行った 何分明日は御繰合せ御来駕を希う	(上書)「大橋様 拝面 快所」
16-1-72-15	[大橋宛快所書状]	年月未詳14日	横切紙	1通	お見舞の礼状及び額が出来たので御覧に入れる 少々「拝眉仕度義」もあり祭前御互いに多忙なので不勝手にならぬ様都合を聞かせてほしい	(上書)「大橋様 ふ 快所 坐右 がく添」
16-1-72-16	[大橋宛小田原亭書状]	年月未詳3日	横切紙	1通	馳走の礼及び松露進上のこと	(上書)「大橋様 坐右 小田原亭」
16-1-72-17	[おきし宛菊やかた書状]	年月未詳3日	横切紙	1通	「一杯差上御辯散などは如何」との案内	(上書)「おきし殿 菊やかた内」
16-1-72-18	[大橋宛会所書状]	年未詳4月11日	横切紙	1通	今まで待ったが誰もお出でにならないので、石井氏同伴でお出でいただきたい	(上書)「大橋様 会所 内事」
16-1-72-19	[源助・八郎右衛門宛五郎右衛門口上]	年未詳8月28日	横継紙	1通	「御談し申上度」義があるので暮方茜屋まで御来駕下され間敷哉	(上書)「源介様 八郎右衛門様 五郎右衛門 内意」
16-1-72-20	[由良宛真津蔵書状]	年未詳8月12日	横継紙	1通	参宮の儀に付、広利帰陣の上決談する旨を知らせる	(上書)「由良様 貴下 真津蔵」
16-1-72-21	百姓代便利心得之事	年月日未詳	横継紙	1通		
16-1-72-22	百姓代心得之事	年月日未詳	横継紙	1通		
16-1-72-23	[源助宛惣平書状]	年未詳4月15日	横切紙	1通	廣田も帰村し出勤してもらいたいと内田とも話をしている 廣田と一緒に御光臨して頂きたい 内田屋弁蔵が言うには大坂を八日に発ったというが御帰着か	(上書)「源助様 座右 惣平」
16-1-72-24	御願上候百姓代心得之事	年月日未詳	横継紙	1通		
16-1-72-25	[源助宛惣平口上]	年未詳正月5日	横切紙	1通	内田へ掛合いの件につき貴家へ参会したい 忌中にて申上げかねたが左様に心得置かるべきこと	(上書)「源助様 惣平 用々」
16-1-72-26	[源介・十蔵宛平蔵書状]	年月日未詳	縦紙	1通	葬儀についての打ち合わせ 村方一件について問い合わせ	(上書)「源介様 十蔵様 平蔵」
16-1-72-27	[中島屋源介宛坂本屋真津蔵書状]	年未詳12月1日	横継紙	1通	内田屋に一同が集まる期日を日延にするように庄屋に掛合を求めたもの	(上書)「中島屋源介様 坂本屋真津蔵 内書」
16-1-72-28	[源助宛藤左衛門書状]	年月未詳24日	横継紙	1通	一件評議の左右に対する返答待ちについて	(上書)「源助様 藤左衛門 貴報」 虫損あり



16-1-72-29	[本家隠居書状并願書草稿]			1纏め(2通)		16-1-72-29-1~2まで重ねて折り畳まれている
16-1-72-29-1	[本家隠居書状]	年月日未詳	横継紙	1通	願書の添削につき、御上をめぐる文章表現を訂正	(端裏書)「本家隠居書状并願書草稿心得書」
16-1-72-29-2	乍恐以書付奉願上候	年月日未詳	横切紙	1通	当村庄屋・年寄一同退役につき村方一同不安心につき願上の処、新役仰付けらる百姓代の儀について	願書草稿
16-1-72-30	[中島屋源助宛内田屋五郎右衛門用状]	年未詳2月6日	横切紙	1通	急の内談依頼について	(上書)「中島屋源助様 内田屋五郎右衛門 内用書」 五郎右衛門宛書状を転用している為「雑帛御免」の書付あり
16-1-72-31	[書状]			1纏め(2通)		16-1-72-31-1に16-1-72-31-2が挟まれている
16-1-72-31-1	[大石宛ほり部用状]	年月未詳25日	横切紙	1通	忠次へ初納の沙汰についての問い合わせ	(上書)「大石様 ほり部 内事」
16-1-72-31-2	[利右衛門宛三和屋安八書状]	年未詳11月11日	横切紙	1通	平兵衛へ借替返済の件 銭屋病氣につき延引依頼	(上書)「利右衛門様 三和屋安八 内要用」
16-1-72-32	[源助宛壮平書状]	年月日未詳	横継紙	1通	切出し今夕決定哉 内田氏と面談などについて	(上書)「源助 坐右 壮平」(裏継目書付)「書損切継御高免可被下候」
16-1-72-33	[源介宛宗平書状]	年月日未詳	横継紙	1通	はまたより鳥肉到来につき夜食への案内	(上書)「源介様 坐右 宗平」
16-1-72-34	[大橋宛龐窓書状]	年月日未詳	横切紙	1通	集会日延べ・会談内容確認などについて	(上書)「大はし様 龐窓 内用 平安」
16-1-73	[書状類他]			1括り(2括り1纏め56通)		16-1-73-1~59紙綴りで一括り
16-1-73-1	[庄屋年寄退役の節の取極書付]	年月日未詳	横継紙	1通		
16-1-73-2	[乍恐奉申上候案文]	年月日未詳	横切紙	1通	庄屋・年寄・百姓代の不嚴重の事などに対する糾弾	
16-1-73-3	百姓代動向心得方	年月日未詳	横切紙	1通	庄屋・年寄の進退について、百姓代へ沙汰があれば百姓一同へ相談して得心の上で調印すること	(端裏書)「五月十七日夕 同意方書付之控」
16-1-73-4	[嚴輔宛惣平書状]	年月未詳23日	横切紙	1通	訴状の件につき集会への出張を求める	(上書)「嚴輔様 座右 惣平」
16-1-73-5	[はまた用状]	年月日未詳	横切紙	1通	田川様御帰陣を知らせる	(端裏書)「はまたより」
16-1-73-6	乍恐以書付奉願上候	年月日未詳	横切紙	1通	利右衛門外5人の者より村役人を相手取訴訟について内済を願う書付案文	
16-1-73-7	[大はし宛老惣書状]	年未詳4月5日	横切紙	1通	きのうの手續について内田より「御談示申上度義」があるので拙宅への「御来駕」を願う	(上書)「大はし様 老惣 内事」
16-1-73-8	[用状]	年月未詳4日	横切紙	1通	田川様着陣のむかえについて広田よりは「及申ましく」と申しているが考えをたずねる	
16-1-73-9	[源助宛保右衛門書状]	年未詳5月2日	横切紙	1通	時刻は浜田より使を以って知らせるので本家御老君の御出でを願う	(上書)「源助様 保右衛門 御答不及」
16-1-73-10	[願書案文]	年月日未詳	縦切紙	1通	当村佐太郎よりの銀子借用願の件について取込みにつき願書案文	
16-1-73-11	[大橋宛茅蒐還書状]	年月未詳14日	横切紙	1通	乙島もいまた出張仕らず 五郎右衛門君はとかく快方御座無く序があれば見廻も然るべきと思うので石井へも沙汰してほしい	(上書)「大橋様 貴下 茅蒐還」
16-1-73-12	[坂本や八郎右衛門・中島や貞蔵宛地蔵院書状]	年未詳7月11日	横継紙	1通	御礼宝金壱封受取の礼状	(上書)「坂本や八郎右衛門様 中島や貞蔵様 貴報 地蔵院勤所」
16-1-73-13	[嚴甫宛老惣書状]	年月未詳10日	横切紙	1通	村役人一同退役願の件につき御賢慮御聞かせ願いたい	(上書)「嚴甫様 座右 老惣」
16-1-73-14	[中しま宛赤根書状]	年月未詳18日	横切紙	1通	今朝の内田よりの書付について	(上書)「中しま様 座右 赤根」
16-1-73-15	[源宛惣書状]	年月未詳19日	横継紙	1通	片時の早く御来駕を願う	(上書)「源様 拜 惣」
16-1-73-16	[平蔵宛藤左衛門書上]	年未詳5月4日	横継紙	1通	昨日の手簡の件については最早手切の外思案がないと思うので、貴意を得たく拝顔御示談申し上げたい	(上書)「平蔵様 藤左衛門 内用書」
16-1-73-17	[中島屋宛古手屋文五郎口上]	年未詳3月11日	横継紙	1通	昨今の仕切代銀百貳拾八匁及びかご代貳拾四匁の請求書	(上書)「くらしき中島屋様」
16-1-73-18	[中嶋屋新宅宛五郎書状]	年未詳6月9日	横継紙	1通	御袋様への見舞及び茜屋でお申上げた銀子の貸し付け依頼	(上書)「中嶋屋新宅様 貴下 内 五郎拜」
16-1-73-19	[きし部宛ほりべ書状]	年月日未詳	横切紙	1通	明日の義倉会には御本家坂もとなど御同伴拙宅まで御出掛下さる様依頼	(上書)「きし部様 座右 ほりべ」
16-1-73-20	[大橋平蔵宛別当来光院書状]	年未詳6月12日	横継紙	1通	困窮人について依頼	(上書)「大橋平蔵様 貴下 別当来光院」
16-1-73-21	[惣平宛源介書状]	年月未詳13日	横継紙	1通	無拋義につき、追付罷出ことを知らせる	未開封であったが調査の折に開封 (上書)「惣平様 源介 内用再答」
16-1-73-22	[源介宛平蔵口上]	年月日未詳	横継紙	1通	義倉の年賦銀の封印改め井筒屋差支の様子について	(上書)「源介様 平蔵 御読後御火中」
16-1-73-23	[庄屋・年寄・百姓代身状不嚴重役柄不似合の取計に付き訴状下書]	年月日未詳	横継紙	1通		訂正の為の貼紙あり
16-1-73-24	[父上宛喜久太口上]	年未詳5月24日	横継紙	1通	村方の儀に付き面談したいことがあるので急ぎ御帰えり下さる様に	(上書)「御父上様 喜久太 極内急々用」
16-1-73-25	[大波志宛老壯書状]	年月未詳6日	横切紙	1通	坂もと御同伴の上御来駕を願う	(上書)「大波志様 老壯 内事」
16-1-73-26	[新宅宛本家書状]	年月日未詳	横切紙	1通	願書の精書を鳥渡拝見したい	(上書)「新宅様 本家 御用」
16-1-73-27	[大石宛ひがし書状]	年未詳5月11日	横切紙	1通	町内同意方評義の件について御出で下さるべく	(上書)「大石様 拜了 ひがし」
16-1-73-28	[喬木宛茅蒐書状]	年未詳正月29日	横切紙	1通	一条破談の由 御本家へ御尋ね下されば大かたの様子相分り申すべく	(上書)「喬木様 用事 茅蒐」
16-1-73-29	[庄屋・年寄・百姓代の身状不嚴重役柄不似合の義に付き訴状]	年月日未詳	横継紙	1通		
16-1-73-30	[庄屋・年寄・百姓代退役に付き跡役取り極めについての願書下書]	年月日未詳	横継紙	1通	村役人が役儀を我俣にして退役したので後任は大小百姓相談し連印書付を以て願い上げるようにしたい事	
16-1-73-31	[中島屋源祐宛内田屋五郎右衛門書状]	年未詳6月17日	横継紙	1通	同意一同会所へ参る折重蔵様大又両人病氣とて不参のについては同意一同不和の基にもなるとの異見を述べる	(上書)「中島屋源祐様 内田屋五郎右衛門 貴下」
16-1-73-32	[惣平宛源介用状]	年月日未詳	横切紙	1通	板屋へ懸合のことについて後刻御咄をする	未開封であったが調査の折に開封 (上書)「惣平様 源介 内要用」
16-1-73-33	[用状]	年月未詳13日	横切紙	1通	同意方から差上げの書付こしらえについて	宛名・差出人不詳

16-1-73-34	〔大波志宛東惣用状〕	年月日未詳	横継紙	1通	廣田より仁右衛門に掛合をする旨を申しきたので石井同伴で来てほしい	(上書)「大波志様 東惣 拜了」
16-1-73-35	乍恐以書付奉願上候	年未詳5月15日	横継紙	1通	村役人へ相掛る百姓代出入の内済が破談になったので、内済を仰付けられたいという願書	(端裏書)「案文 五月十五日夕」
16-1-73-36	〔源助宛五郎右衛門書状〕	年未詳6月18日	横継紙	1通	書付の添削依頼及び両替の歩入五百目をこの人に渡してほしい	(上書)「源助様 貴下 五郎右衛門」
16-1-73-37	〔入用銀書上〕	年月日未詳	横継紙	1通	町々建礼品々入用他	
16-1-73-38	〔入用銀書上〕	年未詳9月1日	横継紙	1通	六人一件二付御触書御受印取并日数三日分他	
16-1-73-39	〔百姓代勤向心得方及び切出し書付〕			1括り(17通1纏め)		16-1-73-39-1~18紙綴りで一括り
16-1-73-39-1	〔庄屋・年寄・百姓代退役後の跡役取極について〕	未年2月29日	横切紙	1通	庄屋・年寄が死失・退役の後、跡役は惣百姓が相談して取極める 百姓代が退役の後には長百姓が相談して百姓代を取極める	(端裏紙)「未二月廿九日取噺人染次より切出候書付之写」
16-1-73-39-2	〔切出し書付之写〕	年未詳5月17日	横切紙	1通	これまで勤めてこなかった家が庄屋・年寄になる時は村役人・百姓一同相談して取極めること 是までの百姓代は止め、已後は村役人・百姓が相談して取極めること	(端裏書)「五月十七日 仁左衛門より切出し書付之写」 (端裏書)「申五月廿四日晩方 寿介より隠居へ内談致し候書付之写」 16-1-73-39-2と同文
16-1-73-39-3	〔役義進退の節の役向取極について〕	申年5月24日	横継紙	1通		(端裏書)「相手方得之書付之由仁右衛門より切出 五月朔日」
16-1-73-39-4	〔庄屋・年寄・百姓代の跡役取極について〕	年未詳5月1日	横継紙	1通		
16-1-73-39-5	〔切出し書付扣〕	未年11月晦日	横継紙	1通	是までの百姓代の勤振りが名目違により役名除ケになり、新たに8人の百姓代を取極めた 又水夫銀は組元より取立のこと 村用は庄屋・年寄・百姓代一同で相談のこと 非常異変の節の諸願の取扱いについて	(端裏書)「未十一月晦日 忠治切出し候ひかへ」
16-1-73-39-6	〔切出し書付〕	年未詳5月1日	横継紙	1通	庄屋・年寄・百姓代について、村役人・百姓方一同相談して取極めること	(端裏書)「五月朔日 仁左衛門心得切出し此件作略難出来由申分」
16-1-73-39-7	百姓代勤向心得方	年月日未詳	横切紙	1通	庄屋・年寄役義進退の儀は百姓代へ沙汰し百姓一同相談して得心の上調印すること	(端裏書)「百姓心得方書付写」
16-1-73-39-8	〔切出し書付〕	申年3月27日	横継紙	1通	庄屋・年寄の勤方について 是迄の百姓代は取止め以後は本田町方七組で七人、新田にて三人の式石以上の高持百姓十人宛年番で勤めること	(端裏書)「三月廿七日 板仁最初取噺候切出し」
16-1-73-39-9	〔六人之者心得書付〕	年月日未詳	横継紙	1通	年寄は今の五人の外に二人を加えて七町に七人とし、丁内限り勤めるようにすること 役義進退の節の跡役取極め方について	(端裏書)「六人之者心得書付」
16-1-73-39-10	〔切出し写〕	年未詳5月23日	横継紙	1通	新規の家が庄屋・年寄になる時は村役人・百姓方一同で相談すること	(端裏書)「五月廿三日 仁左衛門より切出し写」
16-1-73-39-11	〔書付下書〕	年月日未詳	横切紙	1通	庄屋・年寄・百姓代の取極め方についての下書	
16-1-73-39-12	〔書付下書〕	年月日未詳	横継紙	1通	庄屋・年寄・百姓代の取極め方についての下書	
16-1-73-39-13	百姓代勤向心得方	年月日未詳	横切紙	1通		
16-1-73-39-14	〔切出し書付写〕			1纏め(2通)		16-1-73-14-1~2が纏めて折ってある
16-1-73-39-14-1	〔切出し書付写〕	年月日未詳	横継紙	1通	庄屋・年寄・百姓代の取極め方について	(端裏書)「但同意方及内談候切出し写 五月朔日仁右衛門より切出し平蔵・藤左衛門へ内談有之 五月二日相談二而取極候内村用御用ノ向藤左衛門より相除茜屋へ見候書付」
16-1-73-39-14-2	〔切出し書付〕	年月日未詳	横継紙	1通	庄屋・年寄・百姓代の取極め方について	
16-1-73-39-15	〔切出し書付〕	申年5月17日	横切紙	1通	庄屋・年寄・百姓代の取極め方について	(端裏書)「板屋仁左衛門 三度目切出し 申五月十七日」
16-1-73-39-16	〔切出し書付〕	年月日未詳	横継紙	1通	庄屋・年寄・百姓代の取極め方について	
16-1-73-39-17	〔切出し書付〕	年月日未詳	横継紙	1通	庄屋・年寄・百姓代の取極め方について	(端裏書)「本家隠居 藤左衛門 仁左衛門相談之上取究候切出し」
16-1-73-39-18	〔切出し書付〕	申年5月1日	横切紙	1通	庄屋・年寄・百姓代の取極め方について	(端裏書)「仁左衛門 再 切出し 申五月朔日」
16-1-73-40	〔きし部宛堀部書状〕	年月日未詳	横切紙	1通	七大夫他、役所に罷り出たことの報知	(上書)「きし部様 拜了 堀部」
16-1-73-41	〔願書案文〕	年月日未詳	横切紙	1通	去年七月中に庄屋・年寄・百姓代が退役して混雑にいたったので、百姓代は村方高持之内で相談して決めることについて	
16-1-73-42	〔取扱中手続扣〕	年月日未詳	横継紙	1通	庄屋・年寄・百姓代の取極めについて経過書付	(端裏書)「板屋仁左衛門 取扱中手続扣」
16-1-73-43	〔書状類〕			1括り(1纏め12通)		16-1-73-43-1~13紙紐で一括り
16-1-73-43-1	覚(銀子受取)	申年7月11日	横切紙	1通	戸田屋寿助→中嶋屋源助 貳貫三百七十文町役、百七拾文万作給 〆貳貫五百四十文受取	
16-1-73-43-2	〔新宅宛平蔵書状〕	年未詳6月3日	横切紙	1通	村割につき下津井屋外両三人話し合い、不都合ないよう立会依頼	(上書)「新宅様 平蔵」
16-1-73-43-3	〔書状〕			1纏め(2通)		16-1-73-43-3-1に16-1-73-43-3-2が折りたたんで挟まれている
16-1-73-43-3-1	〔大宛よし書状〕	年月未詳3日	横継紙	1通	広田・寿助など村割立会困難につき延引申立て、惣百姓は村割実施申立て、集会開催についての相談	(上書)「大様 坐右 よし」
16-1-73-43-3-2	〔宗平宛寿助書状〕	年未詳7月3日	横切紙	1通	村割延引の取り扱いについての相談 貳拾五人の外百姓中へ村割延引を的場より掛合、不承知の返答	(上書)「宗平様 寿助」
16-1-73-43-4	〔新宅宛本家書状〕	年月日未詳	横継紙	1通	三ヶ条書書類拝見依頼	(上書)「新宅様 本家」
16-1-73-43-5	〔源介宛平蔵書状〕	年月日未詳	横切紙	1通	書状を内密に取扱うよう依頼	(上書)「源介様 平蔵」

16-1-73-43-6	[源介宛喜久太書状]	年未詳6月24日	横切紙	1通	新川郡屋和吉車借用依頼につき如何するかを尋ねる	(上書)「中嶋屋源助様 喜久太 要用」未開封であったが調査の折に開封
16-1-73-43-7	[中嶋屋源助宛喜久太口上]	年未詳6月25日	横継紙	1通	矢掛より使がやってきて、早く帰ってくるように要請につき用事が片付かなくても急ぎ帰る様に	(上書)「中嶋屋源助様 同喜久太 甚急用向」
16-1-73-43-8	[中嶋屋源助宛戸田屋寿助口上]	年未詳6月28日	横継紙	1通	村割一条に付き内談したいので御苦労ながらちよっとお出掛けいただきたい	(上書)「中嶋屋源助様 戸田屋寿助 内急用」
16-1-73-43-9	[六人宛戸田屋寿助廻状]	年未詳7月3日	横継紙	1通	村割の件について昨日村役人一同不快の為立会が出来なかったため、今日屋九ツに立会をするという通達	
16-1-73-43-10	[中嶋屋源祐宛内田五郎右衛門書状]	年未詳7月3日	横継紙	1通	御無沙汰のお見舞と先達との両替不足分指上げのこと	(上書)「中嶋源祐様 貴下 内田五郎右衛門拜」
16-1-73-43-11	[源助・十蔵宛隠居書状]	年未詳6月25日	横継紙	1通	廻文がまわってきたが立会には参ることができない	(上書)「源助様 十蔵様 隠居 内申」
16-1-73-43-12	[広田屋利右衛門他4名宛中嶋屋源介廻状]	年未詳7月1日	横継紙	1通	中嶋屋源介→広田屋利右衛門・内田屋五郎右衛門・坂本屋八郎右衛門・浜田屋保右衛門・茜屋惣平 村割風評につき立会割賦の件について廻状	
16-1-73-43-13	[諸入用書上]	年未詳9月1日~28日	横折紙	1通	四匁五分 林平 六人一件二付御触書御受印取日数他6筆 五貫三百貳拾六匁三分 未横役 他7筆	
16-1-73-44	[書付]			1纏め(2通)		16-1-73-44-1~2まで重ねて折りたたまれている
16-1-73-44-1	[書付]	年月日未詳	横継紙	1通	一. 庄屋年寄之義者当時相勤罷有候者其俣相勤可申事 一. 以後百姓代義者惣百姓相談之上取究可申事	
16-1-73-44-2	[書付]	年月日未詳	横切紙	1通	一. 庄屋年寄之義者当時相勤罷有候者其俣相勤可申事 一. 百姓代義へ惣百姓相談得心之上取究相勤可申事	
16-1-73-45	乍恐以書付奉願上候	年月日未詳	横切紙	1通	利右衛門他五人が村役人を相手取出入におよび、双方得心して内済しようとしたが儀定書の文言については破談してしまったが、私共が申談取嘸たので是非内済したい	(端裏書)「同意方取嘸之姿二而出度様申候二付相認候得共相調不申候」
16-1-73-46	同意方人数	年月日未詳	横切紙	1通	常太郎、伊右衛門他24名の氏名書上	
16-1-73-47	[氏名書上]	年月日未詳	横継紙	1通	竹原屋広右衛門他10名の氏名書上	
16-1-73-48	[用状]	年月未詳11日	横切紙	1通	約束の物を料理するので御来臨を希う 又小河よりの場へ遣す銀札と書付について依頼のこと	宛名・差出人不詳
16-1-73-49	[百姓代一件書付]	年月日未詳	縦継紙	1通	去ル午七月中当村庄屋・年寄・百姓代一同退役、百姓一同相談の上百姓代取極一件の顛末について	
16-1-73-50	[嚴甫宛老惣書状]	年月日未詳	横切紙	1通	取計方法の相談(具体的内容不明)	(上書)「嚴甫様 老惣 坐右」
16-1-73-51	永代銀勘定之事	文政7年7月4日	横継紙	1通	寛延三年より安永四年まで古帳面勘定元利、宝暦七年十二月、大坂へ源十郎取かえ、文政七(六カ)未十二月切勘定の三筆書上	
16-1-73-52	[未年村相場通用等勘定書付]	年月日未詳	横継紙	1通	通用銀六拾四匁五分 横役割・人足割など四筆 未年割立物減少分 町役分 樋守・保頭給書上	
16-1-73-53	[嚴輔宛老惣書状]	年月未詳6日	横継紙	1通	細書拝見、寿助よりの返答を受けて直に掛合うよう依頼	(上書)「嚴輔様 老惣 座右奉答」
16-1-73-54	[嚴輔宛老惣書状]	年未詳7月5日	横切紙	1通	書類二通受取、小河発足挨拶など私信	(上書)「嚴輔様 老惣 奉答」
16-1-73-55	[中嶋屋源助・茜屋宗平宛の場復斎・来光院書状]	年未詳7月9日	横切紙	1通	内々の相談事あり 益後に相談依頼	(上書)「中嶋屋源助様 茜屋宗平様 的場復斎 来光院 内用事」切封あり
16-1-73-56	[嚴輔宛老惣書状]	年未詳6月13日	横継紙	1通	病氣見舞、同意方議定書六人へ差入などについて	(上書)「嚴輔様 老惣 ふゐ 御報 座右」
16-1-73-57	[嚴輔宛老惣書状]	年未詳6月2日	横切紙	1通	村役人退役願出などについて	(上書)「嚴輔様 老惣 坐右」
16-1-73-58	[書付]	年月日未詳	横継紙	1通	庄屋・年寄役義進退、百姓代取極などについて	墨線で抹消してある 虫損あり
16-1-73-59	乍恐以書付奉願上候	年月日未詳	横継紙	1通	去年七月当村庄屋・年寄・百姓代一同退役願出につき去未四月利右エ門など六人より目安書指上、当三月惣百姓心得方御礼、庄屋・年寄・百姓代取極願上	(端裏書)「貴稿相認メ候得共 同意之者願書相捨候二付出し不申候」 虫損あり
16-1-74	[大橋源助宛書状類他]			1括り(15通1包1纏め)		16-1-74-1~17紙綴りで一括り
16-1-74-1	[源助宛惣平書状]	年未詳3月19日	横切紙	1通	会所へ大よせの由に付き早く来てくれるように要請	(上書)「源助様 惣平 内事」
16-1-74-2	[源介宛後多書状]	年未詳3月4日	横継紙	1通	銀子漸々出来につき取就き依頼	(上書)「源介様 後多 銀子添」
16-1-74-3	[書状]			1纏め(2通)		16-1-74-3-1に16-1-74-3-2が折り込んである
16-1-74-3-1	[植田他4名宛大橋口上]	年月未詳3日	横継紙	1通	御惠贈の初鯛が余りに大造の肴につき御相伴の案内	大橋→植田・塩飽・石井・小山・由良
16-1-74-3-2	[用状]	年月日未詳	横切紙	1通	今朝は何れとも快談したいので早々お出でいただきたい	
16-1-74-4	[中嶋屋新宅宛元内田屋書状]	年未詳11月30日	横切紙	1通	銀子貳貫五百目、此人に御渡し下さるべく	(上書)「中嶋屋新宅様 元内田屋 用事」
16-1-74-5	[源助宛十蔵書状]	年月日未詳	横継紙	1通	昨日町内にて又三人御役所へ御召しの趣に付き様子をたずねる	(上書)「源助様 十蔵 内用」
16-1-74-6	[新宛本書状]	年未詳3月19日	横継紙	1通	御役所様へ訴出るか又は外の能き手段があれば早々その手段を取る様に それについては拙に知らせるには及ばないが其内相談があれば吾人お出で下されば然るべきである	(上書)「新様 本より 内用」
16-1-74-7	口上	年未詳3月25日	横継紙	1通	村役人をさしつかえと申したものは中嶋屋より打かかられる事について 御崎舟蔵中一(宛名なし)	
16-1-74-8	[利右衛門・安右衛門・惣平宛源介書状]	年月未詳24日	横継紙	1通	塩飽屋や石井も出勤の積にしているので、おいで頂きたい	(上書)「各々様 源介」
16-1-74-9	覚(願書)	年未詳7月9日	横切紙	1通	地蔵院納所→大橋源助 銀札一封、素麺一折を願う	
16-1-74-10	[人別銀高書付]	申年7月	横折紙	1通		
16-1-74-11	[書状]			1包(2通)		16-1-74-11-1~2一包 包紙あり
16-1-74-11-1	[大橋源助宛堀貞円書状]	年未詳7月8日	横継紙	1通	御令正様への見舞及び此度も葉二十服を送る件について 又金一両及肴一封の礼	

16-1-74-11-2	[大橋源介宛秋庭五一兵衛書状]	年未詳7月8日	横継紙	1通	中元御祝儀の礼状	(上書)「大橋源介様 秋庭五一兵衛 貴答」
16-1-74-12	[大橋源助宛片山善右衛門書状]	年未詳7月10日	横継紙	1通	病氣の見舞と中元の礼	包紙あり(包紙上書)「大橋源助様 御貴下 片山善右衛門」
16-1-74-13	[大橋源助宛宮辺頌書状]	年未詳7月3日	横継紙	1通	御地村方一件も済んだと伝承しているがお越し下さらないのは今に済んではないのか 何分線合せて御来駕願いたい	包紙あり(包紙上書)「倉敷大橋源助様 要用 玉座下 矢掛駅 宮辺頌(力)」
16-1-74-14	[大橋源介宛片山善右衛門書状]	申年7月5日	横継紙	1通(3枚)	村方の立銀については規定通りに立てることに決し今日銀子を持参したので受取ったことの報知 御地差縫一件についてたずねる	本文及び追答2枚の3枚となっている 包紙あり(包紙上書)「倉舗之大橋源助様 東三成 片山善右衛門 要用」
16-1-74-15	[大橋源助宛片山善右衛門書状]	年未詳7月22日	横継紙	1通	先日依頼した調物について役介をかけた礼 錦織、緋鹿子を三井に誂えの件については承知のこと 又結納は来月廿二三日頃と考えていること他	包紙あり(包紙上書)「大橋源助様 片山善右衛門 要用」
16-1-74-16	[書状]	年未詳7月1日	横切紙	1通	お礼の書状	宛名・差出人不詳
16-1-74-17	[大橋源介宛鶴鶴大治書状]	年未詳7月8日	横継紙	1通	中元祝義南鏡言封の礼状	包紙あり(包紙上書)「大橋源助様 鶴鶴大治 奉復」
16-1-75	[大箸宛五郎書状]	年未詳5月27日	横切紙	1通	御払の鈿の直段を申し越してくる様に 又質物の品もこの人に御かし下さるべく	(上書)「大箸様 五郎拜」
16-1-76	[鷗波超宛惣平書状]	年未詳5月22日	横切紙	1通	半切の書付は庄七作のよし、立紙一通は野老の拙作につき添削を願う	(上書)「鷗波超様 惣平」
16-1-77	[大橋宛惣平書状]	年月未詳26日	横切紙	1通	広田翁へ昨日の答を明日答えるについて御賢慮承り度く宜しく取り計らってくれる様依頼	(上書)「大橋様 惣平 内事」
16-1-78	[源宛諫人書状]	年月未詳6日	横継紙	1通	今夕御出で下さる様希う	(上書)「源君 諫人 拜内事」
16-1-79	[源介宛本平蔵書状]	年未詳10月24日	横継紙	1通	一件に付き御相談申したく今夕私宅まで御連中様御出で下さる様願う	(上書)「新 源介様 本 平蔵 用事」
16-1-80	[庄屋・年寄跡役についての書付]			1包(8通)		16-1-80-1に16-1-80-2~8までが巻き込まれている
16-1-80-1	[案文書付]	年月日未詳	横切紙	1通	庄屋七太夫家内不残退去の件について他	
16-1-80-2	[庄屋・年寄跡役についての取極の書付]	年月日未詳	横切紙	1通		
16-1-80-3	[困窮人合力手当としての義金・彦七郎借込についての書付]	年月日未詳	横切紙	1通		
16-1-80-4	[先達而奉差上候訴状面之内身状不嚴重役柄不似合之義御吟味二付乍恐奉申上候書付]	年月日未詳	横継紙	1通		
16-1-80-5	乍恐以書付奉願上候	文政7年4月	縦切紙	1通	去未年四月の目安書付について組分の仰せ付けを願う	(端裏書)「申四月十五日差出候所御下二相成明後十七日双方罷出候様被仰付引取之節書付之扣」
16-1-80-6	[先達而奉差上候訴状之内身状不嚴重役柄不似合之義御吟味二付乍恐以書付申上候書付案文]	年月日未詳	縦紙	1通		
16-1-80-7	[庄屋出奔及び彦七郎役義再々進退につき願書案文]	年月日未詳	横切紙	1通		
16-1-80-8	[庄屋・年寄跡役の役所へ印形について書付]	年月日未詳	横切紙	1通		
16-1-81	[書付]	年月日未詳	縦切紙	1通	「当村庄屋年寄共百姓代差支有無之義御尋被為遊候二付五人組合限相糺候所前々之通差支無御座候以上」	
16-2	乍恐以書付奉申上候	年月日未詳	縦継紙	1通	桂助より年寄平右衛門外2人に対する出入につき吟味下げの願い	下書 宛名・差出人なし (端裏書)「寅三月十三日御掛様より御書取り御下ケ被成候事」
16-3	[源介宛書状類]			1括り(21通8纏め)		16-3-1~29紙綴りで一括り
16-3-1	[大橋父上宛ます書状]	年月未詳11日	横継紙	1通	大介「つう風」の様子及び金介への御守・袖なし等に対する礼状	切封(上書)「大橋御父上様 同ますより 上御返事 人々御中」(端裏書)「■月十一日出 廿九日着」
16-3-2	[父上宛増書状]	年未詳6月23日	横継紙	1通	母病重く、早く帰られたし	(上書)「六月廿三日出 七月十六日着 御父上様 増より」(裏書)「六月二十三日」
16-3-3	[源介宛はは書状]	年月日未詳	横継紙	1通	「御ついせん」の「御としや」を送ってもらった礼 ひがしより源介との帰らず様々他	(上書)「源介との ははより 用事 十二月三日着」
16-3-4	[源介宛代介ばば書状]	年未詳5月15日	横折紙	1通	代介、7月8日ころより頭痛・此間は痛風により大難儀	(上書)「源介との 代介 ばば 用事 五月二十九日着」
16-3-5	[源介宛はは書状類]			1纏め(2通)		16-3-5-1に16-3-5-2が挟み込まれていた
16-3-5-1	[源介宛はは書状]	年未詳5月11日	横継紙	1通	代介も「そく才」ながら源介の帰りを望む	(上書)「源介との ははより 五月十一日御認同十六日出 廿九日着」
16-3-5-2	[源介宛はは書状]	年月日未詳	横継紙	1通	平蔵殿すぐれず、出入の者差止め、源介の帰りを望む	
16-3-6	[源介宛母書状]	年未詳2月22日	横継紙	1通	平蔵「すぐれ不申」につきお帰りを願う	(上書)「源介との 母より きう用」
16-3-7	[家内宛はは書状]			1纏め(2通)		16-3-7-1に16-3-7-2が挟み込まれていた
16-3-7-1	[源介宛はは書状]	年月日未詳	横継紙	1通	出した文の返事がとどかず心配している 平蔵や代介の様子を知らせる	(上書)「やまとや源介との 申しまははより やう事 [ ] とのへ 申候 酉二月二日備前より来ル」
16-3-7-2	[外宛はは書状]	年月日未詳	横継紙	1通	代介・ます・つよの様子 しゆびよくおかえりをまつ	(上書)「外殿へ 内々〇〇(繰返し) ははより 十二月廿三日」
16-3-8	[大橋父宛ます書状]	年月日未詳	縦紙	1通(2枚)	新年の挨拶並びに母様病氣見舞	(上書)「大橋御父上様 同ますより 御寿正月十七日届ク」
16-3-9	[源介宛源介はは書状]	申年8月11日	横切紙	1通	代介病氣回癒 源介まつりの前に帰ること、母待ち入ること	(上書)「大はし源介との 用事 大はしははより」(裏書)「渡八月十一日 申九月十一日着」
16-3-10	[源介宛はは書状]	年月日未詳	横継紙	1通	代介四国代参につき喜久太へ「そうたん」したところ「とら年ハあしく」来年よろしくとのこと	(上書)「大はし源介との 同ははより 用事」(裏書)「十二月廿八日着」
16-3-11	[源介宛はは口上]	年月日未詳	横継紙	1通	おます「いわたおひ」のこと 大介はしか後心配いたし候えどもこの節は顔色すくやかに成りめでたく正月いたさせること	(上書)「源介との ははより 用事」
16-3-12	[父宛増書状]	年未詳6月23日	横継紙	1通	大介「やうやう此間床はなれ」のこと他家内の近況報告	(上書)「御父上様 増より」(裏書)「六月廿三日出 七月十六日着」
16-3-13	[源介宛はは口上]	年月日未詳	横継紙	1通	源介の帰宅を待つ 代介の「はしか」の後の近況他	切封(上書)「源介との 用事 ははより 十二月廿八日着」

16-3-14	〔源介宛は書状〕	年月日未詳	横継紙	1通	代介わずらい、下女いとまなど家内の様子 おかえりを待つこと	(上書)「源介殿 は、正月十七日届」
16-3-15	〔源介宛ははます書状〕	年月日未詳	横切紙	1通	大こくやよりさんしうこんひら殿にて御きとういたしくれとのこと	包紙あり(包紙上書)「江戸にて源介との くらしきはは・ますより 七月十五日ハツ時 金介そふととのへ」
16-3-16	〔源介宛母書状〕			1纏め(2通)		16-3-16-1に16-3-16-2が重ねて折りたたまれている
16-3-16-1	〔源介宛はは書状〕	年未詳10月24日	横継紙	1通	ずいぶん「しゆひよく御すませ」早くおかえりを待つ 此間の文では少々「御ふくわい」のよし「御くつろき」なられる様に	(上書)「源介との ははより 用事 御めんとうなから御らん可被下候くれくれ御たのミ申候 十一月五日出 十二月六日着」
16-3-16-2	〔源介宛はは書状〕	年月日未詳	横継紙	1通(2枚)	江戸は「水あしく」「さむさつよく」喜久太もわたくしもいづれも心配していること及び家族の近況 事がすんだら早く帰ってくれる様に	別紙あり
16-3-17	〔大橋父上宛ます書状〕	年月日未詳	横継紙	1通	年内に御帰りもなく残念	(上書)「大橋御父上様 ますより 上る人々中へ」「十二月八日出 十二月廿八日着」
16-3-18	〔某書状〕	年月日未詳	横切紙	1通(2枚)	きとう代参のこと	(端裏書)「酉八月十五日着」
16-3-19	〔源介宛母書状〕	年月日未詳	横継紙	1通	きとうのこと、代参のことなど	(上書)「源介との はより 用事 八月十一日着」
16-3-20	〔源介宛母書状〕			1纏め(2通)		16-3-20-1に16-3-20-2が重ねて折られている
16-3-20-1	〔源介宛母書状〕	年月日未詳	横切紙	1通	しゆひよく相すみ御かえりを待っていること	(端裏書)「申九月八日着」
16-3-20-2	〔源介宛母書状〕	年未詳後8月17日	横切紙	1通(2枚)	おます大介の近況及び早くおかえりくださいましたし	(上書)「おふはし 源介との 同母より きう用事」
16-3-21	〔書状〕			1纏め(3通)		16-3-21-1に16-3-21-2~3が巻き込まれている 宛名及び差出人は記されていないが源介宛ははの書状力
16-3-21-1	〔中島書状〕	年月日未詳	横継紙	1通	大介の病状他、家の近況及びいつお帰りが聞きたい	(端裏書)「酉十一月四日出十二月二日 中島氏より大和屋へ届」
16-3-21-2	〔書状〕	年月日未詳	横継紙	1通(2枚)	「御祖母様よくよく世話なし下され」くつろいでいるとの近況及び早々御帰りを待つ	16-3-21-3と関連の書状力
16-3-21-3	〔書状〕	年月日未詳	横切紙	1通	御帰りを待ち祈っている近況を伝える	(端裏書)「酉十一月四日出十二月二日 中島氏より大和屋へ届」
16-3-22	〔は書状〕			1纏め(4通)		書状の中間部分が欠落し2枚になっている
16-3-22-1	〔大はし源介宛はは書状〕	年月日未詳	横継紙	1通	「平蔵すくれ不申」お帰りを待つ	16-3-22-1に16-3-22-2~4が折り込まれている
16-3-22-2	〔ふもし宛は書状〕	年月日未詳	横切紙	1通	病人殊の外源介様を「こかれ」しているので早く帰られるように	(上書)「大はし源介との 同ははより 用事 大和やへよろしく あくふてきのとく」「四月五日達 辰五日着」
16-3-22-3	〔ふもし宛は書状〕	年月日未詳	横継紙	1通	病人殊外源助様を「こかれ」、「いたわしく」思うので早くお帰り下さる様に頼む	(上書)「新宅御ふもし殿 本家はより」
16-3-22-4	〔書付〕	年月日未詳	横切紙	1通	「村やく人」の聞かぬうちに早くお帰り下さる様	(上書)「御ふもし様 ほんけはより」
16-3-23	〔源介宛書状〕			1纏め(2通)		
16-3-23-1	〔源介宛ば書状〕	年未詳8月23日	横継紙	1通	帰りを待っていること 近況報告 おますに「かんさし」をたのむ	16-3-23-1に16-3-23-2が折り込まれている
16-3-23-2	〔源介宛喜久太書状〕	年未詳8月24日	横継紙	1通	留守中のこと	(上書)「源介どの ばより 用事 八月廿三日」「申閏八月八日着 之由」
16-3-24	〔源介宛は書状〕	年月日未詳	横継紙	1通	代介もそもじ殿の手がみをよみ、あんじいることなど	(上書)「江戸源介との 備中ばより 用事」(裏書)「九月廿一日着」
16-3-25	〔ます書状〕			1纏め(2通)		16-3-25-1に16-3-25-2が挟み込まれている
16-3-25-1	〔父上宛ます書状〕	年月日未詳	横継紙	1通	祖母は母のことを案じたびれ、私としてもいたし方なし、そなた殿の無事を祈る	(上書)「大橋御父上殿 同ます」「十月十二日出 十月晦日着」
16-3-25-2	〔ます書状〕	年月日未詳	横継紙	1通	大介はしか、母の病氣、次第よろしきこと	
16-3-26	〔源助宛は書状〕	年未詳8月	横継紙	1通	「なつはかま」「はな色ちふ」など「のそミ物」はあるが此度は「半日にてはやく」のお帰りを待つ	(上書)「大はし源介との 用事 大はしはより 八月■四日」
16-3-27	〔大橋父上宛大橋増書状〕	年未詳11月17日	横継紙	1通	霊雲寺様にての「土砂かち」は妙昌様の追善と仏様も満足のこと 大介の病状について 観箋天ではなく、不堂様と相せん様をお祈り申し上げること 私こたつとんの表はあるが裏はないので 求めてくれる様に他	(上書)「十一月十七日 大橋御父上様 来書 同増」「十二月三日着」
16-3-28	〔源介宛は書状〕	年未詳4月14日	横継紙	1通	三月中ころの文の返事がなく案じている 平蔵様があいたがっていることなど家中の近況	包紙あり(包紙上書)「やまとや源介との 中しまやはより 用事」(包紙裏書)「卯月十四日」「五月二日出之書状 一緒二参り 五月十六日」(上書)「大和屋源介との 中しまや ばより」「卯月十四日御認 五月十六日安藤氏より届」
16-3-29	〔書状〕	年未詳5月28日	横継紙	1通	平蔵殿大心配のこと 大介の病状悪しく「じゆけん殿」の「御かへり」を待っていること他	(端裏書)「五月廿八日寿元才へ出候よし 六月廿一日大和屋より届」
16-4	〔江戸吟味関係書類〕			1袋(7冊1括り)		16-4-1~8一袋 (袋上書)「文政五年七月より同九戌八月迄 村一件 発端より江戸御差出御吟味申及内済候迄書類入 一発端より手続覚書 壹冊 一出府中日記 大小四冊 一宗門人別帳 貳冊 一御奉行所御吟味候覚書 壹冊 一御奉行所江差上候済口証文写 壹冊 一一件中国方御奉行所江御門訴致候御式件御請文書聞書写 壹冊 一諸入用勘定帳写 貳冊」
16-4-1	文政五年七月より おほへ	文政5年7月18日~8月12日	半・横列	1冊		(表紙朱書)「村一件発端より江戸発足迄御吟味口井内談手続覚書」綴じ紐が切れている為SILティッシュで包む
16-4-2	さる八月十六日より酉十二月迄ノ分 東都諸勘定さし引抜書 おふはし記	申年8月16日~酉年12月	半・横長	1冊		(表紙朱書)「但本帳一切茜屋惣平江預有之候」
16-4-3	巳初冬十九日 東日記	巳年19日	13.2×5.2	1冊		
16-4-4	〔見舞人・品目書付〕			1括り(3通)		16-4-4-1~3紙綴りで一括り
16-4-4-1	未七月御締り被仰付候節見舞人控	未年7月5日~10日	横折紙	1通	鶏卵・西瓜・大鯛など品名と人名書上	
16-4-4-2	〔町名・屋号・人名書上〕	年月日未詳	横折紙	1通	(書出)川西町児嶋屋 同町三蔵 同町竹原屋他	

16-4-4-3	[屋号・人名書上]	年未詳7月4日～5日	横折紙	1通	まつはらや友助 広田屋熊吉他	
16-4-5	文政十二丑七月 村一件諸入用勘定帳写	文政12年7月	美・横長	1冊		(表紙朱書)「但本帳者茜屋惣平江預り有之候」
16-4-6	乍恐以書奉願上候	年月日未詳	半・縦	1冊	去年八月中当村庄屋年寄百姓代一同退役に付、村役人取極方の義、六人相頼願上一件	
16-4-7	文政九年戌四月 人別宗門帳 控	文政9年4月	半・縦	1冊		(表紙朱書)「村一件江戸御吟味中当戌両人宗門帳別帳にて三拾式人より差出候控」
16-4-8	文政八年酉五月 人別宗門帳	文政8年5月	半・縦	1冊		(表紙朱書)「村一件江戸御吟味中西戌両年分宗門帳別帳にて三拾式人より差出候控」
16-5	丑二月廿四日当村百姓安八事桂助より御役所江差出候願書写并返答書其外差出書類控 三月十二日双方御呼出之上願書御読聞御下ケニ相成候写答書翌十三日差出候	文政12年2月～6月	半・縦	1冊		
16-6	[吟味取下げ関係書類]			1括り(5通)		16-6-1～5紙綴りで一括り 紙紐破損に付きSILティッシュで括る
16-6-1	[大橋源助宛植田甚四郎書状]	年月未詳16日	横切紙	1通	今夕罷出る約束があつたが、他客のため明日罷出るので御承知下さりたきこと	(上書)「大橋源助様 植田甚四郎 急用」
16-6-2	[新大橋宛向植田書状]	年月未詳16日	横切紙	1通	書付差し上げ賢慮願ひ、明日参上して相談申し上げる事	(上書)「新大橋様 向植田 貴下」
16-6-3	[吟味取下願]	年月日未詳	縦継紙	1通	吟味中の事柄について内裁が出来たので吟味を取り下げたいとの旨	(端裏書)「愚案認候得共差出不申」
16-6-4	[訴訟取下願下書]	寅年11月19日	縦継紙	1通	帯刀の件は全風聞につき相互納得の上は吟味を取り下げ願ひたい	(端裏書)「寅十一月十九日宇佐美様より与次兵衛へ御直之候二而御下ケ被成候写し 右不承知申上候処則御添削被成候分書込有之候事」
16-6-5	[吟味一件熟談整いに付御下ケ願]	年月日未詳	縦切紙	1通		(端裏書)「宇佐美様より三度目御書下与次兵衛より受取候是にて相済メ可申様御仰聞事」
16-7	申渡	寛政5年8月18日	半・縦	仮1冊	村役人を軽んじるなどの小前百姓の心得ちがいに對する野口辰之助様役所の申渡しとそれに対する村民の請書	
16-8	[口(桂力)助一件書類]			1袋(4冊仮4冊5括り10通1包1纏め1本)		16-8-1～26一袋 SILティッシュで包む 袋破損につきSILティッシュで包む
16-8-1	乍恐以書付御訴訟奉申上候	寅年12月	半・縦	1冊	年寄平右衛門・甚四郎・源介→奉行所 先村役人我意申立議定及破き村方混雑難渋出入一件について	「寅十二月出府之積にて願書下書」の書付あり
16-8-2	乍恐以書付御訴訟奉申上候	年月日未詳	半・縦	1冊	平右衛門・甚四郎・源介→奉行所 先村役人我意申立議定及破き村方混雑難渋出入	「右之通願書相認差出奉願出府致候積二候処事煩敷存候而願相止メ当役御免相願候事」の書付が最後にあり
16-8-3	乍恐以書付御吟味下奉願上候	文政13年2月	半・縦	仮1冊	連印(氏名記載なし)→大橋新左衛門様御役所 源介らが帯刀していたと桂助が代官所へ調査を願ひ出るが取り下げを願う	(朱書)「寅三月桂助より御吟味下ケ書付与次兵衛迄差出候写し」
16-8-4	乍恐以書付御吟味下奉願上候訴状写し 返答書同断	年月日未詳	半・縦	仮1冊	甚四郎・源介江戸表への道中帯刀の一件につき吟味取下げの願書	(朱書)「桂助一件願下願書此方にて心得方認候控」
16-8-5	[書状一括り]			1括り(4通)		16-8-5-1～4紙綴りで一括り
16-8-5-1	[中嶋屋源介宛今屋喜左衛門書状]	年未詳3月1日	横継紙	1通	先達而村方一件江戸御出訴の件について相談したい	包紙あり(包紙上書)「倉敷■嶋屋源介殿 ■屋口左衛門 要用」
16-8-5-2	[中嶋屋喜久太宛今屋伝吉書状]	年未詳3月16日	横継紙	1通	先日御立寄の節、留主で御意を得ず残念 書付写落手のこと	(上書)「中嶋屋喜久太様 今屋伝吉 貴差上」
16-8-5-3	[大黒屋文介宛今屋喜左衛門書状]	年未詳3月17日	横継紙	1通	御地村方一件につき当所御奉行様へ御地より願上 それにつき御相談申上げたく御來駕を願う	(上書)「大黒屋文介殿 今屋喜左衛門 急用事」
16-8-5-4	[某書状]	年未詳3月26日	横継紙	1通	江戸表へ人足の儀につき水川甚兵衛へ御尋につき返言の写御返しのこと	宛名・差出人不詳
16-8-6	[訴状一括]			1括り(2通1纏め)		16-8-6-1～3紙綴りで一括り
16-8-6-1	乍恐以書付御伺奉申上候	文政13年12月	縦継紙	1通	窪屋郡倉敷村百姓丈吉・惣平→古橋新左衛門役所 「村役人并百姓代一同馴合役向我僱仕候」一件について	(端裏書)「寅十二月広丈惣平より差出候書付控留置」
16-8-6-2	差上申一札之事	文政13年12月18日	縦継紙	1通	当代官所備中窪屋郡倉敷村年寄格五之助代彦七郎・年寄三郎右衛門→倉敷役所 五之介に年寄役が仰せ付けられたが幼年のため追而御沙汰のあるまで年寄格に任ずる	(奥書)村役人惣代庄屋植田汶四郎・年寄大太郎・条之助→(宛名なし) (端裏書)「寅十二月 彦七郎 三郎右衛門 受書写」
16-8-6-3	[訴状案文一括]			1纏め(3通)		16-8-6-3-1に16-8-6-3-2と16-8-6-3-3が巻き込まれている
16-8-6-3-1	[元村役人我意申立議定及破却村方混雑難渋出入につき訴状案文]	年月日未詳	縦継紙	1通	(差出人なし)→奉行所	(上書)「反古」
16-8-6-3-2	[訴状案文]	年月日未詳	横切紙	1通		
16-8-6-3-3	[訴状案文]	年月日未詳	横切紙	1通		
16-8-7	[村役人関係書類]			1括り(8通)		16-8-7-1～8紙綴りで一括り
16-8-7-1	[役儀御免願上書案文]	年月日未詳	横継紙	1通	入札にて村役人を選出したが故障が起きたので村役人を務め難きに付き役義御免の願書案文	
16-8-7-2	乍恐以書付御願奉申上候	年月日未詳	横切紙	1通	村方人気不穩に付き、勤め向きは慎みたき事	案文
16-8-7-3	[願書案文]	年月日未詳	横継紙	1通	小前より組分けの願出により村内混雑の趣につき村役人ども並びに十人を呼び出し吟味の上で先の仰せわたしを守るよう嚴重に注意して欲しいこと	
16-8-7-4	[庄屋年寄動向取極]	年月日未詳	横継紙	1通		(端裏書)「五月十四日夜多次郎より与次兵衛相渡し候控」
16-8-7-5	[五月二十五日評議書付]	年未詳5月25日	横継紙	1通(2枚)	庄屋月番は取止め常勤のこと 年寄動向は式人宛月番のこと他	
16-8-7-6	[呼出名前書付]	子年7月18日	横継紙	1通	役所→倉敷村庄屋年寄 尋ねの儀につき呼出し	(端裏書)「子七月十八日 御呼出之者名前付」

16-8-7-7	[三月十三日評義書付]	年未詳3月13日	横継紙	1通	庄屋兩人勤方月番の事 願書奥書之事 年寄勤方の事他	
16-8-7-8	与次兵衛存寄書	年月日未詳	横切紙	1通	倉敷村役人新規取極につき諸事村方第一に心得ること他	(端裏書)「日畑村与次兵衛 存寄書[ ]」
16-8-8	乍恐以書付奉願上候	文政12年3月	縦継紙	1通	倉敷村年寄源介他2名→倉敷役所 桂助が帯刀の事などで吟味を申し立てているが、代官御参府中につき御帰陣次第裁断を受ける事	(上書朱書)「丑三月十三日認候得共添書過候様存候二付書替出ス」 全面に「×」印あり
16-8-9	乍恐以書付御吟味下奉願上候	年月日未詳	半・縦	仮1冊	甚四郎・源介・桂介江戸表への道中帯刀一件について吟味願下げのこと	
16-8-10	[吟味願い書付]	年未詳5月12日	横切紙	1通	伝十郎申年中帯刀の件は古京町与吉と申す者見受の由申し出の上は吟味を願う	
16-8-11	[吟味取下げ願い]	年月日未詳	横継紙	1通	甚四郎・源介・桂助江戸表への道中帯刀一件について吟味願下げのこと	
16-8-12	[覚]			1括り(2通)		16-8-12-1~2紙縫りで一括り
16-8-12-1	覚(新札受取)	午年9月晦日	縦切紙	1通	三和屋安八→中島屋源助	
16-8-12-2	覚(夜義・唐紙受取)	申年閏8月16日	横切紙	1通	三和屋安八→大黒屋文助	
16-8-13	乍恐以追訴奉願上候	文政12年5月	横継紙	1通	「年寄平右衛門外式人江相掛」帯刀一件について	
16-8-14	乍恐以書付奉願上候	文政11年4月	横切紙	1通	窪屋郡倉敷村惣之助他13名→倉敷役所 村役人入札の結果不服につき、組分し水澤常太郎支配に仰付け下されたい	
16-8-15	[大橋源介・植田甚四郎宛塩飽五郎右衛門書状]			1包(2通)		16-8-15-1~2一包 包紙あり(包紙上書)「大橋源介様 植田甚四郎様 塩飽五郎右衛門 要用」
16-8-15-1	覚(金子受取)	年未詳閏6月2日	横切紙	1通	平野屋佐吉→内田屋五郎右衛門	(端裏書)「〇」
16-8-15-2	[植田利右衛門・大橋源助宛平野屋佐吉・仲書状]	年未詳5月14日	横継紙	1通	帰国の土産として金包三百疋を貰ったお礼	包紙あり(包紙上書)「備中蔵敷 植田利右衛門様 大橋源助様 平野屋佐吉 尊答」(包紙裏書)「五月十四日出 従大坂」
16-8-16	文政十二年十一月朔日 一件御糺御覚書	文政12年11月	半・横半	1冊	桂助より村方出入に付き「大違之入用有之」との申立について	
16-8-17	丑四月廿三日より 聞書	丑年4月23日	美・横半折	1冊	中島屋源介外の者共「江戸へ罷越候節」の一件について四月廿三日御呼出しの聞書	
16-8-18	[乍恐以書付御伺奉申上候]			1纏め(仮2冊)		16-8-18-1~まで一纏めに折りたたまれている
16-8-18-1	乍恐以書付御伺奉申上候	年月日未詳	半・縦	仮1冊	桂助より帯刀の件について吟味申し立ての事 早々片付ける様に嚴重に取り計られたく賢慮伺いの事	文頭に「一件三月巳来御沙汰無之二付御催促申出度致愚案相認候得共差考中御沙汰有之候二付差出不申候分 寅十月下旬」
16-8-18-2	乍恐以書付御伺奉申上候	年月日未詳	半・縦	仮1冊	桂助より帯刀の件について吟味申し立てに付き、早々片付けるよう仰せ付けられたく、嚴重に取り計られたく賢慮伺いの事	文頭に「一件御沙汰無之二付催促致度相認候置候事 寅十月初旬」
16-8-19	乍恐書付御歎奉申上	文政12年2月	縦継紙	1通	備中窪屋郡倉敷村敷人百姓辰蔵→備前役人中 百姓藤左衛門外三拾壹人より村役人へ相掛る出入につき江戸へ出訴の節苗字帯刀の件について	(端裏書)「備前御役場へ辰蔵より差出候由之書付写置」
16-8-20	乍恐以書付御答奉申上候	文政12年3月	半・縦	仮1冊	倉敷村年寄源介・甚四郎・平右衛門→倉敷役所 入札の方法などについて桂助訴えに付返答	
16-8-21	[乍恐以書付奉願上候]			1括り(2通)		16-8-21-1~2紙縫りで一括り
16-8-21-1	乍恐以書付奉願上候	年月日未詳	横継紙	1通	私(源介)義御役御免の願書	(端裏書)「此日差出候積下書」
16-8-21-2	乍恐以書付奉願上候	寅年11月	縦継紙	1通	私(源介)儀御役御免の願書	(端裏書)「寅十一月相認候得共相止候事」
16-8-22	[桂助生立ち及び行状書付下書]	年月日未詳	横継紙	1通	桂助ら3人、新田に酒食を持ち運び祈禱と唱え人を集めた事についてなど桂助の生立ちやこれまでの所業についての書付	墨で棒引きあり (上書)「反古」
16-8-23	[桂助生立ち及び行状書付下書]	丑年11月	横継紙	1通	去る酉年お嘆きと唱えて陣屋に多人数を集めたことについて吟味をうけたことなど	(端裏書)「丑十一月三日 同七日 吉左被問候内々差出候」
16-8-24	書上	文政12年6月	縦継紙	1通	東中島町福田屋伝十郎→(宛名なし) 備中者五六人江戸へ罷越日雇いをした始末について	
16-8-25	[紙縫り]	年月日未詳		1本		袋の中に入っていたもの
16-8-26	[書付]	年月日未詳	横切紙	1通	「中島屋源介」	
16-9	乍恐以書付御愁訴奉申上候	天保2年2月	半・縦	1冊	古役之者馴合以我意為及乱村候出入一件 訴訟人百姓平八郎他九人 相手方正佐他二人	(表紙上書)「卯二月 新田 此吉 藤吉 四日発之届」
16-10	義倉條約帳写	明和6年6月	半・縦	1冊	作者播磨屋安右衛門・岡雲臥 明和6年6月連印 義倉監護寺方5ヶ寺・惣人数74人	(奥書)代官野村彦右衛門
16-11	[村方心得のこと]	年月日未詳	半・縦	仮1冊	村役風俗、拾子等心得のこと	(裏表紙)「田老作文 癸未季春申中七日写ス」
16-12	[願書綴]	文政7年閏8月~11月	半・縦	仮1冊	村方騒動について百姓代らの訴状綴	
16-13	[大橋源介宛書状]			1袋(30通4纏め1枚)		16-13-1~35が紙縫りで括られて袋に入れられている 袋入り(上書)「東府中[ ]書状」
16-13-1	[父上宛大助書状]	年未詳8月17日	横継紙	1通	母上見舞のこと並に訴訟に関する用状受取のこと並に祭礼静に終了し安心のこと	(端裏書)「九月三日 嶋屋より届 小伝取次」
16-13-2	[大橋父上宛徳蔵・ます・大介・喜久太書状]	年未詳9月25日	横継紙	1通	母上当月十九日よりすぐれず、廿三日死去戒名慈闍妙昌清信女	(上書)「東武にて大橋源介様 凶事 同喜久太・大助・徳蔵」十月九日達ス」
16-13-3	[大橋源助宛大黒屋文助書状]	酉年3月16日	横継紙	1通	国元呼び戻し当役場吟味願いのこと、中間の内一兩人も出府、かけ込み訴訟申すかのこと	(端裏書)「家事内密」西四月朔日昼達ス」
16-13-4	[大橋父上宛喜久太書状]	申年9月21日	横継紙	1通	町内祭礼の節などにも騒動の目論見あり、舟からの者相手取喧嘩入牢人五六人あり、諸事請引本家御頼みのこと	(端裏書)「申十月七日夜着」
16-13-5	[大橋源介宛中島屋大介書状]	年未詳12月3日	横切紙	1通	「寒気甚敷」関東への見舞及び一件済み次第帰国を待つ ばゝ様は貴願の為読経心痛のこと	(切封上書)「大橋源介様 貴下 中嶋屋大介」十二月廿八日着」
16-13-6	[大橋父上宛喜久太書状]	酉年3月13日	横継紙	1通	三月十二日、おます男子を出産のこと	(端裏書)「西三月十三日出 四月五日達ス」
16-13-7	[大はし父上宛喜久太書状]			1纏め(2通)		16-13-7-1に16-13-7-2が挟み込まれている

16-13-7-1	[大はし父上宛喜久太書状]	年未詳12月5日	横継紙	1通	先月十九日付書面晦日落手のこと 祖母様目まいながら難波氏の丸薬で快方のこと 質方・小作方のこと	(端裏書)「十二月廿八日着 松井紋次郎より達ス」
16-13-7-2	[書判等書付]	年月日未詳	横継紙	1通	通護の書判	
16-13-8	[大橋父上宛喜久太・大助書状]	酉年3月8日	横継紙	1通	帰国延引江戸の様子、先日文品の品岡田屋敷田淵熊太郎に頼むこと等	(端裏書)「西三月八日出 四月五日達ス」
16-13-9	[御洗米包み紙]	年月日未詳	11.2×11.3	1枚		(上書)「水はつを二て御いたたき被成候」
16-13-10	[父上宛喜久太口上]	年未詳正月3日	横折紙	1通	御内意御断のこと 母上・大介頭痛、増は出産間近 何かと心配 早々ご帰国を待つ	
16-13-11	[大橋源助宛喜久太書状]	年未詳正月3日	横折紙	1通	出府中目出度越年、年頭御見舞	
16-13-12	[大はし父上宛喜久太書状]	年未詳正月3日	横折紙	1通(2枚)	おます「にんしん」の様子 大介全快のこと	
16-13-13	[大橋源介宛貞蔵内書状]	酉年3月8日	横継紙	1通	病人の気分がすぐれず、また、一目会って話したいことがあるので帰国してほしい	包紙あり(包紙上書)「大橋源介殿 用事 同貞蔵内より 三月八日」「西四月五日達ス」
16-13-14	[大橋源介宛大橋大介・喜久太書状]	年未詳8月23日	横継紙	1通	母上様重病大いに心配、質方・小作方・扶持方・祭礼など	(上書)「大橋源介様 尊下 同喜久太」「八月廿三日出同廿八日着 九月十日着」
16-13-15	[大橋父上宛徳蔵・大介・喜久太書状]	酉年11月4日	横継紙	1通	小作方当年は事の外悪しくことごとく検見の事 本家祖父の病状について 三輪屋安八出府田地訴訟の事他	(端裏書)「西十一月四日出 十二月二日田中様より届」
16-13-16	[大橋源介宛文助書状]	年未詳10月16日	横継紙	1通	田地出入内済のこと 板屋仁左衛門見廻りと唱え本家さぐりのこと 初納銀御屋敷様へ納入のこと	(端裏書)「十一月十八日備前屋安より届 安藤氏」(上書)「大橋源介様 用事 文助」
16-13-17	[大橋源助宛徳蔵・喜久太・大輔書状]	年未詳10月15日	横継紙	1通	何れも当年内中には御帰国の御趣意	(上書)「大橋源助様 同喜久太 大輔 急要用」(端裏書)「十一月十八日安藤氏より届ク」
16-13-18	[大橋源介宛徳蔵・大助・喜久太書状]	年未詳10月27日	横継紙	1通	本家伯父様指図にて嵩岳様台座のみ建て、先々の事は帰国を待ち申すことなど	(端裏書)「十一月九日届ク」
16-13-19	[源助宛喜久太・十蔵書状]	酉年3月16日	横継紙	1通	廣江屋丈吉、近日中出府の上、駕籠訴などにも致し度き 内済は今少し見合わせられたし	(上書)「大橋源助様 極内用御他見御無用 同十蔵 同喜久太」「西四月朔日昼達ス」
16-13-20	[某書状]	年月日未詳	横継紙	1通	村方静謐 一件早々相済み候様祈願の為、他行仕るに付き万事御上向への取成を頼む 仲間安右衛門は足痛のため跡に残る	
16-13-21	[源助宛中嶋屋喜久太書状]	申年閏8月12日	横継紙	1通	出府以後の様子を御知らせ下されたし	(端裏書)「申九月十一日着」
16-13-22	[大橋源介宛大橋大介書状]	年未詳11月12日	横継紙	1通	一件ばかばかしくないとのこと何分一件相済み次第早いお帰りを待つ ば様は貴願のため読経心痛のこと	(上書)「大橋源介様 貴下 大橋大介」
16-13-23	[源助宛は書状]	年未詳閏8月12日	横切紙	1通	あら米をつかわす 申までもないが随分ありがたき事と承知なるべく	あら米の包まれていたものカ つつみ紙が折り込まれている
16-13-24	[父上宛喜久太・大介書状]	酉年正月15日	横折紙	1通(3枚)	新年の挨拶 一件は何卒早々到着、御帰国を願う 西ノ浦文化新開一昨年より取箇 昨年は八分五に定の事他	(端裏書)「西二月八日安藤氏参り請取」
16-13-25	[大橋源助宛喜久太書状]	申年11月12日	横継紙	1通	一件については「いつ迄御滞府之程も難計」の由、早々到着し御引取を祈る 小作方の件、大助の件、下人下女の件他	(端裏書)「申十二月七日 柴岡より届ク」
16-13-26	[大橋父上宛喜久太書状]	酉年正月6日	横継紙	1通	御留守中御大人弥御信心御祈念のこと、小作方本家にて取り立てのこと、西のうら文化新開昨年より取箇付けの分は皆済のこと他	(端裏書)「西正月十七日届ク」
16-13-27	[大橋父上宛大助・きく太書状]	年未詳3月23日	横継紙	1通	母子共に順調で七夜の内祝をしたこと 稲荷町連名願書のこと 町内無高の事出来	(端裏書)「三月廿四日出 四月十八日安藤氏より達ス」
16-13-28	[大橋源介宛書状]			1纏め(2通)		16-13-28-1に16-13-28-2が挟み込まれていた
16-13-28-1	[大橋父上宛大助・喜久太書状]	年未詳3月3日	横継紙	1通	伯父様の病状、質方、西之浦新開、徳蔵の事、小作取立の事など	
16-13-28-2	[大橋源輔宛喜久太書状]	年未詳3月3日	横継紙	1通	三輪屋安八より七町の者共へ回状を遣わし寄合、出府の者差返し訴訟申し上げ度き由の目論見あり	(上書)「大橋源輔様 同喜久太」
16-13-29	[喜久太書状]	年月日未詳	横継紙	1通	父より代人さしこし相済み候よう願ひ	(上書)「三月四日晚 喜久太より差越候書状要用の所而已 切抜入御覧候」前後が切られている
16-13-30	[大橋父上宛喜久太・大助・徳蔵書状]			1纏め(2通)		16-13-30-1に16-13-30-2が折り込まれている
16-13-30-1	[大橋父上宛喜久太・大助・徳蔵書状]	年未詳10月10日	横継紙	1通(2枚)	一件につき郡中惣代出府延引 質方の件 本家伯父の病状 徳蔵・おます近況他	(端裏書)「十月十二日出 備前便りにて小伝より 十月日晦日着」
16-13-30-2	[父上宛大助書状]	年未詳10月10日	横継紙	1通	母上様死去御見舞	(上書)「関東父上様 中島屋大助」「十月十二日出十月晦日小伝より届ク」
16-13-31	[大橋父上宛大橋大介・喜久太書状]	年未詳7月晦日	横継紙	1通(2枚)	母上と本家伯父病状について 七大夫ら訴訟方人数減じ取巧みのこと 質方・小作方・大介・徳蔵などの近況他 「はは」と「つよ」よりこの一件について「ださいふ天神様」を祈っていることを書添える旨の書付あり	(端裏書)「七月晦日出 八月十五日内山より届」 源介宛はは・つよの書付が挟み込まれていた
16-13-32	[大橋父宛大橋大介書状]	年未詳11月18日	横継紙	1通	霊雲寺にて慈閣妙昌清様の加持土砂御問執行	(上書)「江戸小伝馬町大和屋小兵衛様に而 大橋源介様 貴下 大橋大介」「十二月三日着」
16-13-33	[大橋源介宛徳蔵・大助・喜久太書状]	年未詳11月18日	横継紙	1通	帰国のこと、慈閣様石塔のこと、田地方のこと、一件追々都合よろしきこと、三輪屋安八のこと、本家伯父様、大介のこと	(端裏書)「十二月三日着」
16-13-34	[父上宛喜久太書状]	年未詳10月18日	横継紙	1通	大介追々快方に向かいその他大人も始め母上様も御丈夫、小作の内西村勘七上ヶ地の事他	(端裏書)「十月二十九日相達ス」
16-13-35	[父上宛喜久太書状]			1纏め(3通)		16-13-35-1に16-13-35-2~3が折り込まれている
16-13-35-1	[父上宛喜久太書状]	申年10月10日	横切紙	1通	大介、おます追々全快のこと 諸引請追々お知らせのこと 早々ご帰国願ひ上げのこと他	(上書)「御父上様 急用 中しま屋 喜久太」「申十月十五日晩届ク」



16-13-35-2	[旦那宛佐代書状]	年月日未詳	横継紙	1通	増への下着の礼 母様、昼夜神仏お祈りにつきあなた様も「真心」なされる様に	(上書)「江戸二而旦那殿 急用事 中鳴や 佐代より」十月十五日晩届ク
16-13-35-3	[父上宛喜久太点書]	年未詳10月10日	横継紙	1通	「連中の人を意をやふり候でも全体下地の申分に勝利ヲ得居候事故」なかなか容易に明と等とも相成間敷候得共腰を据願立肝要也」	
16-14	[在府中隠居并十蔵書状]			1袋(30通3纏め1包1括り)		16-14-1~35-1袋 (袋上書)「在府中隠居并十蔵書状入」
16-14-1	[源助宛隠居書状]	年未詳11月5日	横継紙	1通	塩尻氏迄遣した為替について最早達し候哉	(上書)「源助様 隠居 極内用」申十一月五日着
16-14-2	[源介宛平蔵口上]	年未詳9月25日	横継紙	1通	「おつよどの」臨終の様子と「かいめう」を知らせる	(上書)「源介様 平蔵」十月九日達す
16-14-3	[源介宛平蔵書状]	申年11月4日	横継紙	1通	江戸出訴の浅原屋弥十、京屋元吉に対する対応について	(端裏書)「申十一月五日出 十二月六日着」
16-14-4	[忠四郎・丈太宛弥十・文三郎書状]	年未詳10月14日	横継紙	1通	八度に及ぶ、駆込訴、籠訴等の後、訴状を預ってもらった事、御上の御沙汰がないので、帰村できずにいる事等	(端裏書)「申 十一月五日出 十二月廿六日着」
16-14-5	[新宅主人宛隠居書状]	年未詳11月10日	横継紙	1通(2枚)	岡田へ遣した小判廿五兩の事、苗惣の事等	(端裏書)「申十二月五日郡寿元口より届ク」別紙追而書あり
16-14-6	[新宅主人宛隠居書状]	申年11月10日	横継紙	1通(2枚)	入用金廿五兩を岡田に頼み遣わした事等	(上書)「源介様 十蔵」申十一月三日出 同廿二日 岡田より届ク
16-14-7	[惣平・源介宛平蔵書状]	年月未詳19日	横切紙	1通	庄屋の儀は役所御理解の後、植武の取りはからいが訳の立たない様子である	(上書)「惣平様 源介様 平蔵 内用」申十月廿九日相達ス
16-14-8	[金銭関係書状]			1纏め(3通)		16-14-8-1に16-14-8-2~3が巻かれている
16-14-8-1	[書状]	年月日未詳	横切紙	1通	芳蔵が大造の無心を求めてきたことについて、要蔵と久平は一向頓着せず不埒である事	
16-14-8-2	[書状]	年月日未詳	横切紙	1通	岡田の塩尻へ頼み金チャを遣したので十一月十五日迄には届くとの由、入用金この後は来正月につかわすべき事	
16-14-8-3	[源助宛隠居書状]	年月未詳晦日	横切紙	1通	年中遊銀は何程積り除けおおくか、諸雑費如何か、これらの件を聞かせて知らせてほしい	(上書)「源助様 隠居より 極内報」
16-14-9	[源介宛平蔵書状]	年未詳10月1日	横継紙	1通	此度の一件については心配のこと 大助、おます病気のこと 金銀受引方のこと 入用金のこと他	(端裏書)「申 十月十五日晚相達ス」
16-14-10	[金平及び源介宛書状]			1纏め(2通)		16-14-10-1の中に16-14-10-2が巻き込まれている
16-14-10-1	[金平宛御存書状]	年未詳9月16日	横継紙	1通	家内の近況 福山屋の娘も備前邑久郡へ嫁す由 服部庄蔵伯父死去のこと 願書写の件について 此節「倉敷之受甚宜敷」こと 此辺は先々豊作のこと他	(端裏書)「九月十六日御認ノ書状 申十月二日着」
16-14-10-2	[源介宛隠居書状]	年月日未詳	横切紙	1通	長逗留ならば岡山の方初平シ後平シ共取計のこと 当冬郡の寿元左が当月十一日殿様御供にて江戸へ参ること	(上書)「源介様 隠居 極内用」
16-14-11	[源介宛御存書状]	年未詳10月18日	横継紙	1通	武右衛門より庄屋年寄への掛合についての経過	(端裏書)「申十月廿九日相達ス」
16-14-12	[源介宛平蔵書状]	年未詳5月25日	横継紙	1通	源介の帰りを心待ちにしていること 貞蔵のことを宜しく頼むということ	(上書)「源介様 貞蔵 要用」(裏書)「五月廿六日出」差出人は上書は貞蔵、文末は平蔵となっている
16-14-13	[大橋源介宛書状]			1纏め(2通)		16-14-13-1に16-14-13-2が巻き込まれている
16-14-13-1	[大橋源介宛しき書状]	年未詳6月4日	横継紙	1通(2枚)	五月廿七日「御やく所様」へ十蔵、文助御めし「たんたん延引」に付きおしかりのこと 「此文とき次第はやくお帰り」を願うとの別紙あり	(上書)「六月十四日小伝より達ス」
16-14-13-2	[大橋源介宛大橋貞蔵書状]	年月日未詳	横切紙	1通	父共追々全快の様子所、一件を承り以後は日夜心配 御返りを願う	
16-14-14	[源介宛隠居書状]	申年10月23日	横継紙	1通(3枚)	当月十五出之御役所御理解之義内々取扱之事 植田文四郎まづ年貢程取立仰付らるの事	(端裏書)「十月廿三日出 申十一月四日昼届」尚々書2通を内包
16-14-15	[源介宛平蔵書状]	申年10月19日	横継紙	1通	石川様へ馳込訴の積の所母上様死去に付き残念のこと 大目付様へ馳込訴について 松浦様へ差出し写拝見のこと 塩尻の借用金について他	(端裏書)「申 十月廿九日晚相達ス」
16-14-16	[源介宛平蔵書状]	申年10月15日	横継紙	1通	利右衛門外四人の者共江戸表で御老中様へ御駕訴につき倉敷御役所より差紙にて申渡御用の件について	(端裏書)「十月十五日出 申十月廿九日相達ス」
16-14-17	[源介宛平蔵書状]	酉年正月7日	横継紙	1通	おます妊身の祝いと大助の様子 旧彌岡山受引方滞りなく相済のこと 苗字帯刀のこと他	(上書)「酉正月[ ]内要用二月四日寿元より達ス」
16-14-18	[大橋源介宛大橋貞蔵・平蔵書状]	年未詳正月16日	横継紙	1通	苗字帯刀被仰付礼金・雑費調達の件外	(上書)「大橋源介様 大橋貞蔵・平蔵 極家事内用他見無用 酉正月十五日認 二月八日安藤氏より達ス」
16-14-19	[大橋源介宛同十蔵書状]	年未詳7月28日	横継紙	1通	お津代様への見舞 中村主馬様への為替金差登のこと他	(上書)「大橋源介様 同十蔵」八月十五日内山宅より届 御内覧奉希申候
16-14-20	[大橋源介宛隠居書状]	年未詳7月29日	横継紙	1通(2枚)	「彦七事ヲ巧ミ居由」のその後の様子 おつよ殿の病状について	(端裏書)「八月十九日 備前内山より届」反物の礼状が添えられている
16-14-21	[源介宛平蔵書状]	酉年11月5日	横継紙	1通	源介が長い間村をあけているので当暮には間違いない帰ってきてほしいということ	(端裏書)「酉十一月廿日着」
16-14-22	[源介宛平蔵書状]	年未詳10月27日	横継紙	1通	当年は一先帰国のことを楽しみにしている	(上書)「源介様 平蔵」十一月十五日夜至ル
16-14-23	[大橋源助宛隠居書状]	年未詳7月20日	横継紙	1通(2枚)	「夢物かたり試毫」の標題がつけられている 大介、おつよ殿の病状について 村方一件、門訴一件、宇治屋一件等の近況報告 御地は大都會の事故朱印式ツ、ロウ石にてほらせてほしい	(端裏書)「七月廿三日出 酉八月十一日着」
16-14-24	[源助宛書状]			1包(2通)		16-14-24-1~2一包 包紙あり(包紙上書)「要用書 不許他見」国元印状壱通 十二月十二日着

16-14-24-1	〔源助宛平蔵書状〕	申年11月晦日	横継紙	1通	再三の御駕訴により御奉行様より当地御役所へ御引渡に付き連れ帰る様に仰せ渡され無視、呼戻しの受書を差し出したことについて	(端裏書)「十二月十二日着」
16-14-24-2	〔源介宛十蔵書状〕	年未詳2月22日	横継紙	1通	「別段二隠居より被申聞候」の標題が付けられている 七太夫が鉄預りをしているのは村一件の助けにならないこと、広田が不人性ものであることなど隠居より聞かされたこと	
16-14-25	〔源介宛平蔵書状〕	酉年11月14日	横継紙	1通	御おば様御不快の様子に付き、この書状が着き次第、帰国するように	(端裏書)「酉十二月朔日着」
16-14-26	〔源介宛貞蔵・母書状〕	年未詳正月23日	横継紙	1通	はやい帰国を頼む	(端裏書)「酉二月朔日着」
16-14-27	〔源宛隠居書状〕	年未詳11月晦日	横継紙	1通(2枚)	江戸惣代両人連帰りにつき取計いを依頼	(端裏書)「申十二月十二日着」
16-14-28	〔金平宛某書状〕	申年8月24日	横継紙	1通(2枚)	近況報告 お帰りの節武鑑書冊を買ってくれる様に他	(端裏書)「申閏八月八日着」 追伸の別紙あり 全体に×印あり
16-14-29	〔源介宛御存書状〕	申年11月29日	横継紙	1通	御駕訴に付き連帰りの御差紙への対応について	(端裏書)「申十二月十二日着」
16-14-30	〔貞蔵御領之分書付〕	年月日未詳	横切紙	1通	倉敷濱・安江・中嶋・合高百九拾八石貳斗二升八匁	
16-14-31	〔新宅宛隠居書状〕	申年閏月10日	横継紙	1通(3枚)	延着につき訴延引を心配のこと及び国元の様子 逸見氏より代官交代の咄しあり	(端裏書)「申閏月廿一日着」 補足書き2枚同封
16-14-32	〔源介宛書状〕	年月日未詳	横切紙	1通(2枚)	「家事内密用他見御無用早々火中」持参金が間に合兼ねる時は此方に申越してほしい	2枚に破られ折り込まれている 前後のみでまん中の部分は欠損
16-14-33	〔新宅宛書状〕	申年8月21日	横継紙	1通(2枚)	十八日夕廿五人へも相談なく桜屋井下津井屋舎弟御地へ出立の件他 当地の近況報告	(端裏書)「申閏月朔日着候由」 追而書1枚あり
16-14-34	〔大橋源介宛大橋貞蔵書状〕	年未詳正月16日	横継紙	1通(2枚)	当地の相手方の様子を知らせる	(上書)「酉二月八日 安藤氏表二而請取」 別紙旧臘借金返済の件についての追而書あり
16-14-35	〔書状一括〕			1括り(21通7纏め2括り)		16-14-35-1~30紐で一括り
16-14-35-1	〔大橋源介宛十蔵書状〕	年未詳7月16日	横継紙	1通(2枚)	橋本氏小ものよりの無心取計のこと 宇治屋一件について お津世様大病に付き祈禱のこと他	(上書)「大橋源介様 同十蔵 家事用向」 平蔵和歌詠草が巻き込まれている
16-14-35-2	〔源助宛善五郎・十蔵・文助書状〕	年未詳正月21日	横継紙	1通	平蔵義当十六日暁より左半身手足ともしびれる大病につき早々の帰国を願う	(上書)「源介様 善五郎・十蔵・文助」 「二月朔日着」
16-14-35-3	〔源助宛書状〕			1纏め(2通)		16-14-35-3-1~2一纏め
16-14-35-3-1	〔源助宛平蔵書状〕	年未詳11月7日	横継紙	1通(2枚)	出入がはかばかしくないのでひとまず引き取るべきこと	(端裏書)「申十二月五日寿元より達ス」 別啓あり
16-14-35-3-2	〔大橋源助宛郡 寿元書状〕	年未詳12月5日	横継紙	1通	本家よりの書状御届の添状	(上書)「上野広小路 上総屋推参之室二而 大橋源助様 郡 寿元平安」
16-14-35-4	〔大橋源助宛十蔵書状〕			1纏め(2通)		16-14-35-4-1~2一纏め
16-14-35-4-1	〔大橋源輔宛十蔵書状〕	年未詳3月26日	横継紙	1通	本家隠居も追々全快のこと おます様親子とも御肥立のこと 小兵衛宅類焼について 村役人出府につき悪党ども誘出し村内騒動致させたこと 七太夫自身借用鉄質等算用のこと他	(上書)「大橋源輔様 同十蔵 御内読」
16-14-35-4-2	〔大橋源助宛十蔵書状〕	年未詳2月21日	横継紙	1通	隠居の病状については何分にも長引く様子であること 昨廿一日庄屋・年寄・百姓代迄御召出のこと他	(上書)「大橋源助様 同十蔵 貴下内要用」 「酉二月廿七日着」
16-14-35-5	〔大橋源介宛大橋十蔵書状〕	酉年2月3日	横継紙	1通	平蔵の病状と村方一件について	(端裏書)「酉二月三日 同廿日達ス」
16-14-35-6	〔源介宛十蔵書状〕	年未詳閏8月23日	横継紙	1通	延着を心配していること及び出立後の村内の動きについて	(端裏書)「申九月八日着」
16-14-35-7	〔大橋元輔宛十蔵書状〕	年未詳8月20日	横継紙	1通	田川氏と田辺橋本と了簡別れ別れになったとの噂など御出立後の村方の動きについて	(上書)「大橋元輔様 同十蔵 内用」 「申九月五日着」
16-14-35-8	〔大橋宛十蔵書状〕	年未詳3月12日	横継紙	1通(2枚)	おます様当十二日男子御安産のこと 村役人も十六日に出立の届差出しのこと たれたれが参るかは未だ決し申さず 追啓として村内の様子を報告及び十日出立の宇治屋一条本人全快まで日延のこと	(上書)「大橋様 十蔵 内用事」 「酉三月十二日出 四月五日達ス」 (追啓上書)「源介様 十蔵」 別紙の追啓あり 追啓の末尾に「御読後火中へ」の書付あり
16-14-35-9	〔大橋源輔宛十蔵書状〕	年未詳3月8日	横継紙	1通	隠居の病気兎角長引きにつき帰国を願う 七太夫身上借代について他	(上書)「大橋源輔様 同十蔵 秘用」 「巳四月五日達ス」
16-14-35-10	〔源助宛平蔵書状〕	年未詳10月2日	横継紙	1通	江戸訴訟のことにつき意見及び倉敷の近況報告	(端裏書)「申十月十五日晚達ス」
16-14-35-11	〔大橋源介宛十蔵書状〕	申年10月2日	横継紙	1通	おます様、大介様少々不快ながら寿元老の療治にて全快のこと 此辺及び子伊之左濱川入も先ず豊作のこと他	(上書)「東郡二テ大橋源介様 備中宿屋 同十蔵 無事要用」 「申十月十五日着」 (裏書)「十月十五日晚届ク」
16-14-35-12	〔源介宛十蔵書状別啓〕	年未詳11月5日	横切紙	1通	金子取集の件について	本文なし
16-14-35-13	〔書付〕	年月日未詳	横切紙	1通	岡山柳沢与次郎より発駕の件	(端裏書)「酉二月朔日着」 宛名・差出人不詳
16-14-35-14	〔借用関係書類〕			1纏め(2通)		16-14-35-14-1に16-14-35-14-2が巻き込まれている
16-14-35-14-1	〔七太夫借用銀・取かへ銀等関係書付〕	年月日未詳	横継紙	1通	「覚や」「借用銀子証文の事」など	
16-14-35-14-2	郡中借替銀年賦証文之事	文政4年12月	横継紙	1通	郡中惣代倉敷庄屋七太夫・中嶋庄屋五左衛門他11名→倉敷中島屋貞蔵	(上書)「秘用作見御用殿 申三月十三日着」
16-14-35-15	〔源介宛中島屋十蔵書状〕	年未詳10月1日	横継紙	1通	岡山為替正金二十両備前御屋敷より御入手の八月廿八日出の御届物九月廿八日夕に到着、霊前へ御供のこと	(袋表書)「江戸小伝馬町三町目大和屋小兵衛様二而 中島源介様 同十蔵 大急要用 金子添」 (袋裏書)「從備中倉敷 十月朔日出ス」
16-14-35-16	〔大橋源輔宛大橋十蔵書状〕	年未詳5月1日	横継紙	1通	此方の病人は辛川祥介治療にかえたが中気の為長引様子 おます様の様子 御内題一件について 御奉行所へ御駆込の件について	(端裏書)「五月二日出 十蔵書状 五月十六日安藤氏より相達ス」
16-14-35-17	〔書状〕			1纏め(4通2纏め)		16-14-35-17-1の中に16-14-35-17-2~6までが巻かれていた
16-14-35-17-1	〔大橋源助宛大橋十蔵書状〕	年未詳7月5日	横継紙	1通	奉行所への差出については豊後守様御掛になったこと 沢子一件につき、御役所によって内済にすることになったが千蔵が不承とし、訴訟に至った事他	(上書)「大橋源助様 同十蔵 御答無異平安 申八月十一日着」

16-14-35-17-2	[書状]			1纏め(2通)		16-14-35-17-2-1の中に16-14-35-17-2-2が巻かれていた
16-14-35-17-2-1	[別啓]	年月日未詳	横切紙	1通	三郡惣代の事 京屋弥十の件は未だ落着せず新町園吉他二人が見舞に罷越した件について	
16-14-35-17-2-2	[窪屋郡・都宇郡・浅口郡各郡惣代氏名書付]	年月日未詳	横切紙	1通		
16-14-35-17-3	[書状]	年未詳7月23日	横継紙	1通	新川元吉の罷出の件については何とも申さずに罷出のこと 園吉・馬之丞倅美兵衛については未だ御吟味中であること	(端裏書)「八月十一日着」 差出人は花押のみあり宛名は不詳 花押は十蔵のものカ
16-14-35-17-4	[源介宛書状]			1纏め(2通)		16-14-35-17-4-1に16-14-35-17-4-2が巻かれている
16-14-35-17-4-1	[大橋源介宛十蔵書状]	年未詳7月22日	横継紙	1通	辻金不足に付廣田屋より八両出銀を得た件 鉄山方について承合の件延引につき猶予を願う他	(上書)「大橋源介様 同十蔵様 内用」
16-14-35-17-4-2	[源介宛平蔵書状]	年月日未詳	横継紙	1通	廣田屋の年賦を郡中村々により立替の件について倉敷中島屋貞蔵より郡中村々惣代庄屋御中宛文政五年午十二月廿八日付の覚の写が文末にあり	(上書)「源介様 平蔵」
16-14-35-17-5	[人名書付]	年月日未詳	横継紙	1通	下庄村忠次郎他13名	
16-14-35-17-6	[書状]	年月日未詳	横継紙	1通	別紙郡中惣代氏名書上は郡それぞれが分りづらいため、御賢察下されたい事 利右衛門より郡中連借証文や鉄預り書類写を差し越す様申してきたが、どうすべきかと広田屋より申してきた件について	宛名・差出人不詳
16-14-35-18	[大橋源助宛大橋十蔵書状]	年未詳6月2日	横継紙	1通	村方小前もの共歎書一件については吟味が始まったこと 先達安藤与一右衛門様、為替に金子8両差しあげ候分御落手の件他	(上書)「大橋源助様 同十蔵 平安急要用」「六月四日出 同十四日小伝より達ス」
16-14-35-19	[書状]			1纏め(2通)		16-14-35-19-1~2一纏め
16-14-35-19-1	[書状]	年月日未詳	横継紙	1通	郡中惣代当月二日出立につき当月廿日前後には出府の予定であること及び出立した庄屋の概要について 郡中大割について近況報告や単物地の礼 一件について当地の動きを知らせる	(上書)「源介様 隠居より 内用事」(裏書)「九月八日出 九月廿一日着」
16-14-35-19-2	[源介宛隠居書状]	年未詳9月8日	横継紙	1通	郡中銀の陣屋普請入用払方について他	
16-14-35-20	[大橋源介宛大橋十蔵書状]	年未詳7月16日	横継紙	1通	年寄・百姓代の訴訟のこと、御門訴一件、井上町町内村役人に不服のこと、吉太郎徒党のこと他	(上書)「大橋源介様 同十蔵 平安要用」「八月三日着」
16-14-35-21	[源介宛十蔵書状]	酉年正月21日	横継紙	1通	年始のあいさつ 平蔵「十六日暁より左り手足とも半身しひれ」に付き帰郷を願う「御内々被仰聞候錢」の義については「念願相叶候様御掛合」のこと他	(端裏書)「酉二月朔日着」
16-14-35-22	[源介宛貞蔵・十蔵書状]	年未詳9月29日	横継紙	1通	お津様臨終前後の様子及び戒名を知らせる	(上書)「源助様 貞蔵 十蔵」「十月九日相達ス」
16-14-35-23	[大橋源介宛中島屋十蔵書状]	年未詳6月23日	横継紙	1通	「御門前為騒候もの共」御吟味の様子 宇治屋一件、辻銀、お津世様の事等について	(端裏書)「十蔵より 六月廿三日出 七月十六日届ク」
16-14-35-24	[書状類]			1纏め(3通)		16-14-35-24-1の中に16-14-35-24-2含む 16-14-35-24-2の中に16-14-35-24-3含む
16-14-35-24-1	[大橋源介宛大橋十蔵書状]	年未詳9月8日	横継紙	1通	庄屋差添人とも当月二日出立、当月廿日前後二到着か この度下津井に八浜屋より書状を頼み差し上げ、金子は岡山真吉へ向けて為替を出したこと他	(上書)「東武二テ大橋源輔様 倉敷同十蔵 要用書」「九月廿一日着」
16-14-35-24-2	[書状下書]	年未詳9月3日	横継紙	1通	昨日御越になられた十年分の御書記を改めたところ午未年は大に相違の件について	消し線あり 書状の下書
16-14-35-24-3	[別啓]	年月日未詳	横継紙	1通	最近では自分の身のまわりも落ち着いてきたので心配なく、ご安心下さいという事	
16-14-35-25	[源介宛十蔵書状]	年未詳11月5日	横継紙	1通	瀬尾清次右衛門殿への挨拶は当年秋作方不作に付すぐ出かけられない旨を伝える件他	(端裏書)「十一月廿一日着」
16-14-35-26	[書状]	年未詳11月5日	横継紙	1通	廿五人惣代江戸入用多分に付困入の件相談について 郡中証文の件承知のこと 当秋至而不熟大困りのこと他	(上書)「家事要用 他見無用」「十一月廿日着」 宛名・差出人不詳 内々御覧火中江の書付あり
16-14-35-27	[源介宛書状]			1括り(2通)		10-14-35-27-1に10-14-35-27-2が巻き込まれ帯封をして纏められている 帯封あり(帯封書付)「十二月朔日着」
16-14-35-27-1	[源助宛十蔵書状]	酉年11月5日	横継紙	1通	御宅様御中陰も滞りなく済んだこと 隠居も帰村を楽しみにしていること 当酉之郡中立会に彦七郎出勤致さずの件 当秋は甚々不作に付大ニ当惑仕候の件外	(上書)「家事内入用他見無用」「酉十二月朔日届」
16-14-35-27-2	[源介宛平蔵書状]	年未詳11月14日	横継紙	1通	年内の帰国を願う	(端裏書)「糺 十二月朔日着」
16-14-35-28	[源介宛十蔵書状]			1括り(2通)		16-14-35-28-1~2まで帯封で纏められている
16-14-35-28-1	[大橋源助宛大橋十蔵書状]	年未詳8月23日	横継紙	1通	新川作次郎を差添人にしたいが、高齢で倅此吉を名代としたい旨 寿介より江戸奉行様へ御伺書差し出した事他	(上書)「大橋源介様 同十蔵 平安要用」「八月廿三日認 廿八日出 九月十日着」
16-14-35-28-2	[大橋元輔宛大橋十蔵書状]	年未詳8月23日	横継紙	1通	差添人の取斗の件 当年祭礼御幸は御座無き趣他	(上書)「大橋元輔様 同十蔵 家事秘要」「八月廿六日認 同廿八日出 九月十日着」
16-14-35-29	[源助宛貞蔵他4名書状]	年未詳11月19日	横継紙	1通	御宅御中陰を滞りなく済ませたこと及び御老人様不快の趣につき一先帰宅の上、春になって出府なられる様依頼	(上書)「大橋源介様 大橋貞蔵 同喜久太 同大助 同十蔵 文助」「酉十二月朔日着」
16-14-35-30	[源助宛十蔵書状]			1纏め(3通)		16-14-35-30-1に16-14-35-30-2と16-14-35-30-3が巻き込まれている
16-14-35-30-1	[源助宛十蔵書状]	年未詳9月8日	横継紙	1通(2枚)	哲多郡芳川山の寿三郎山は当六月に倉敷支配となった事 この度の仕様書は山出しの値であり、この他に諸入用がかかる事 鉄山では鉄砂を流して鉄を取り出し、掛目八貫目から鍛冶大工にかけて五貫六百より七百目位の鉄にする事他	(上書)「源助様 十蔵 他見御無用」「九月廿一日着」

16-14-35-30-2	[書付]	年月日未詳	横切紙	1通	「銭残書文」「全者本丁巻丁目」他	
16-14-35-30-3	[山出し直段書付]	年月日未詳	横切紙	1通		
16-15	[村用書類一括]			1袋(2包5纏め1括り60通)		16-15-1~68一袋 (袋上書上書)「文政十丁亥年 村用書類 亥四月廿八日 三安下亥一件御伺口書致印形御差出御下知八月十九日」
16-15-1	[書状一括]			1括り(8通1包)		16-15-1-1~9紙綴りで一括り
16-15-1-1	[神事祭礼に付き書付]	文政10年8月	横切紙	1通	神事祭礼を去成年の通り穩便に行うことにつき御請印形差上げのこと	(端裏書)「亥八月廿二日 御触書 請印 与次兵衛へ出入」 (上書)「西川札騒動に付■屋清助より廻文人々御中 亥七月十六日」
16-15-1-2	[西川札不通用に付き廻文]	年未詳7月16日	横切紙	1通	西川銀札不通用に付き十九日迄に有無印枚取調のこと	
16-15-1-3	亥盆前取嚙入用別控	亥年	横折紙	1通	染代・臨時入用・筆工料など	
16-15-1-4	[大橋宛丙書状]	年月未詳12日	横切紙	1通	清治より申出の銀高を忠次へ引合せたが貴所様不参に付、決談しがたく引分れた旨を知らせる	(上書)「大橋様 拜下 丙 不及御答候」
16-15-1-5	[源介宛惣平書状]	年月未詳20日	横切紙	1通	忠次殿からの内々に取り計らう趣も分り難く急之用向も差支えたので一先帰村すること	(上書)「源介様 用事 惣平」
16-15-1-6	[中島屋源助宛自習屋忠治書状]	年月未詳25日	横切紙	1通	昨晚不参もあり一決しなかった為今朝不参の所へ廻ったため程なく返答が参るので御苦労ながら出張を願う	(上書)「中島屋源助様 御貴下 自檀田屋忠治」
16-15-1-7	[大橋源助宛片山善右衛門書状]			1包(2通)		16-15-1-7-1~2一包 包紙あり(包紙上書)「大橋源助様 片山善右衛門 要用」
16-15-1-7-1	[大橋源助宛片山善右衛門書状]	年未詳7月9日	横継紙	1通	銀子返済のこと 12、3日に銀を納めるはずであったのを10日に繰り上げる	
16-15-1-7-2	[源助宛善右衛門書状]	年月未詳9日	横切紙	1通	中元の品添え状	
16-15-1-8	[廣田屋利右衛門・中嶋屋源助宛与次平兵衛書状]	年未詳8月20日	横切紙	1通	相談したいことがあるので、今日の八つ時迄に戸田屋に来てほしい	(上書)「廣田屋利右衛門様 中嶋屋源助様 与次兵衛」
16-15-1-9	[源助宛清助書状]	年月日未詳	横切紙	1通	預かっていた金子を此人に渡ししてほしい 尤も手形は明日認め差上げのこと	(上書)「源助様 清助 内用」
16-15-2	[曾我様への訴答差出しに付き質問書付]	年月日未詳	横切紙	1通	訴答差出しはいつか、又だれに差出すのか、凡の所をちょっと御越し下さるべく	
16-15-3	[大橋宛小河○(部力)書状]	年未詳7月13日	横切紙	1通	東都において借用の金子の利は壹朱お越し下さるべく	(上書)「大橋君 小河○(部力) 内用答」
16-15-4	[訴訟一件等関係書類]			1纏め(1冊3通2纏め)		16-15-4-1~6一纏め 16-15-4-1~2が重ねて折り畳まれ、その間に16-15-4-3~6が挟み込まれている 纏まっている為SILティッシュで包む
16-15-4-1	覚(入用算用書上)	年月日未詳	横折紙	1通	六拾壹匁六分四厘清一他6筆 三拾八匁八分四厘留蔵他4筆 壹貫五百貳拾九匁九分八厘貞蔵他3筆	
16-15-4-2	[町役掛り割付帳]	(戌年12月)	半・横長	1冊	高巻石二付銀札五匁貳分掛り 町役掛り戌七月・同十二月割 広田屋藤左衛門・中嶋屋貞蔵・内田屋五郎右衛門など30名分書上	
16-15-4-3	[大橋宛惣平書状]	年月未詳9日	横切紙	1通	小伝馬丁・権十郎へ封物承知、きの国屋へは見合せなどについて	
16-15-4-4	[訴訟一件書類]	年未詳8月2日~10月7日		1纏め(5通)		16-15-4-4-1に16-15-4-4-2~5が折り畳んで挟み込まれている SILティッシュを紐にして一括した
16-15-4-4-1	[倉敷役所宛貞蔵・源介など十九名届書]	年未詳10月4日	横折紙	1通	当村定右衛門外三人より藤左衛門外三十壹人へ掛る一件につき惣代富蔵親平十郎・利右衛門同道出府の届	
16-15-4-4-2	[中嶋屋源介宛喜久太口上]	年未詳10月7日	横継紙	1通	神(力)屋佐衛門 喜久太・主人に面談申し入れについて	(上書)「中嶋屋源介様 喜久太」
16-15-4-4-3	[弥三次書状]	年未詳8月2日	横継紙	1通	倉敷淀屋清介より書状到来役所より指出仰付により銀主惣代出張名代差立の依頼 三宅弥三次宛淀屋清介書状(役所より指出仰付、古後新田庄屋弥兵衛・銀主惣代出勤について)が後に書き添えてある	宛名不明 下書力
16-15-4-4-4	[大橋宛東書状]	年月未詳7日	横切紙	1通	出府入用金用立依頼、出立前來訪依頼	(上書)「大橋様 拜而 東」
16-15-4-4-5	[源介宛半十郎書状]	年未詳10月7日	横継紙	1通	与次兵衛より呼出、大坪対面拒否のため源介に直接面談依頼	(上書)「源介様 貴下内要 半十郎」
16-15-4-5	[村方訴訟一件願書]			1纏め(2通)		16-15-4-5-1と16-15-4-5-2は重ねて折り畳みである
16-15-4-5-1	乍恐以書付奉申上候	年月日未詳	横継紙	1通	庄屋・年寄・百姓代訴訟一件去戌八月内済後、安八・定右衛門不服申立について	宛名・差出人不明 墨線で抹消してある部分多い 下書
16-15-4-5-2	乍恐以書付奉申上候	年月日未詳	横継紙	1通	私共より当村庄屋・年寄・百姓代へ懸る訴訟一件、去戌八月内済後、安八・定右衛門不服申立について	
16-15-4-6	[源介宛平蔵書状]	年月未詳7日	横切紙	1通	昨日拝借の書付写し取済、返却について	
16-15-5	[訴状一括]			1包(仮1冊4通)		16-15-5-1~5一包 包紙は中島屋平蔵宛花房藤左衛門宛の書状の包紙が転用されている
16-15-5-1	乍恐以書付奉願上候	文政8年11月	半・縦	仮1冊	安八・定右衛門・辰蔵・為吉→大草太郎右馬役所 窪屋郡倉敷村百姓藤左衛門外が村役人を相手に出入となった一件について出府せず当地に於いて和融内済を願う	
16-15-5-2	[当村安八外三人より三拾貳人へ相掛訴訟一件について経過書付]	年月日未詳	横継紙	1通		
16-15-5-3	乍恐以書付奉申上候	亥年3月	縦紙	1通	日畑村庄屋与次兵衛→大草太郎右馬役所 倉敷村出入の内済証文についての上申書	(端裏書)「亥三月 日畑与次兵衛より差出候書付写」

16-15-5-4	乍恐以書付御望奉申上候	亥年10月	横継紙	1通	貞蔵外十九人惣代半十郎→役所「当村定右衛門外三人より三十式人の者相手取候一件」が東武御奉行所へ差出しに付き惣代半十郎発足の届書	(端裏書)「亥十月六日 半十郎より御役所へ差出ス」
16-15-5-5	乍恐以書付奉申上候	亥年9月	横折紙	1通	利右衛門他7人→大草役所 向市場・東町・戒町・阿知町惣代四人より私共三十式人を相手取り江戸へ差出の一件について江戸への出府は利右衛門ほか惣代のみとさせてほしい	(奥書)取次人日畑村庄屋与次兵衛
16-15-6	[広田屋利右衛門外4人宛与次兵衛廻状]	年未詳4月7日	横継紙	1通	与次兵衛→広田屋利右衛門・茜屋惣平・浜田屋安右衛門・中嶋屋源助・下津井屋吉左衛門 相談のため戸田屋への集合呼びかけ	(上書)「廻状 与次兵衛」
16-15-7	乍恐以書付奉願上候	年月日未詳	横継紙	1通	小作人義右衛門の地所差返し并不足銀取立の願書案文	
16-15-8	乍恐以書付奉願上候	年月日未詳	横切紙	1通	小作地所差返し并不足銀取立の願書案文	
16-15-9	[乍恐申上候下書]			1纏め(2通)		16-15-9-1~2までが重ねて折られている
16-15-9-1	乍恐申上候	年月日未詳	横継紙	1通	庄屋・年寄役氏名報知	
16-15-9-2	乍恐奉申上候	年月日未詳	横継紙	1通	庄屋・年寄役を入札で決めるに付き町ごとの人数について願書下書	
16-15-10	[大橋十蔵宛大和屋小兵衛書状]	年未詳2月18日	横継紙	1通	内済証文無沙汰のこと隣町焼失などの近況報告 十二月廿九日備前船出帆の節鮭五本差送りに付き配達依頼他	
16-15-11	[大羽宛丙書状]	年月日未詳	横切紙	1通	今日の舞台附の感想及び土産受取のこと	(上書)「大羽様 丙 拝答」
16-15-12	[中しま屋宛あかね屋書状]	年未詳3月21日	横継紙	1通	米八石の代金の受け取りについて都合を尋ねる	
16-15-13	[大橋源介宛十蔵書状]	年未詳20日	横切紙	1通	来訪の依頼	(上書)「大橋源介様 にし十蔵」
16-15-14	[惣平他4人宛廻状]	年未詳7月2日	横継紙	1通	去年江戸においての旅籠代差支の節、宿屋他借の金子返済について相談したい 惣平・利右衛門・安右衛門・平右衛門・八郎右衛門宛差出人不詳	
16-15-15	[源助宛惣平書状]	年月日未詳	横継紙	1通	余儀なき用向のため案内を断わる	(上書)「源助様 惣平 拝答」
16-15-16	[中嶋屋源助宛戸田屋与次兵衛書状]	年未詳3月2日	横切紙	1通	村方入札につき承りたい	(上書)「中嶋屋源助様 従戸田屋与次兵衛 用事」
16-15-17	虎争論	年月日未詳	横継紙	1通	「けたものになぞらへ」て温順に和融が一村の大幸であることをさとす 漢文作者 占見鵬鯤大先生 悟道弁者 傍若寺無人大和尚	
16-15-18	[中嶋屋源助宛与次兵衛書状]	年未詳2月18日	横切紙	1通	急内談したいので只今戸田屋へ来てもらいたい	(上書)「中嶋屋源助様 与次兵衛 内用」
16-15-19	[広田屋藤左衛門他5名宛日畑村庄屋与次兵衛廻状]	年未詳2月9日	横切紙	1通	日畑村庄屋与次兵衛→広田屋藤左衛門・浜田屋安右衛門・茜屋惣平・下津井屋吉左衛門・中嶋屋源助・広江屋丈吉 役所よりの義につき戸田屋寿助方へ立会願いたい	(上書)「廻状 与次兵衛」
16-15-20	[大橋源介宛阿部正輔書状]	年未詳4月13日	横切紙	1通	若殿様御帰陣の御迎えに広田よりさそわれたので出る心得にしていたが七太夫の坪印へ賄賂の証拠立に付き出迎えをしなくなったことを知らせる	(上書)「大橋源介様 阿部正輔 内用書」
16-15-21	[井上宛丙書状]	年月未詳25日	横切紙	1通	御役所よりの問合わせに、書面で返答するように言われたのを断わった後、しも庄より書面の方が都合がよろしいとの相談があった 集会してはどうかと思うのでお答をねがう	(上書)「井上様 拝 丙」
16-15-22	[中嶋屋源助宛日畑村庄屋与次兵衛書状]	年未詳7月22日	横継紙	1通	母上様のお見舞と大坪様よりの仰付について相談があるので戸田屋まで出張を依頼	(上書)「中嶋屋源助様 日畑村庄屋与次兵衛 用事」(裏書)「従戸田屋」
16-15-23	[中嶋屋源助宛戸田屋忠治書状]	年未詳7月24日	横切紙	1通	役所から願書と勘定書が来たので、戸田屋まで御入来を願う	(上書)「中嶋屋源助様 自戸田屋忠治 要用」
16-15-24	乍恐以書付奉申上候	年月日未詳	横切紙	1通	庄屋・年寄・百姓代へ相掛り村役人并百姓代一同馴合役向我俣二仕候出入について内済したいという願書	
16-15-25	[大橋源介宛植田利右衛門書状]	年未詳3月23日	横継紙	1通	御患の肴は一応お預け置き晩方貴家にて料理を仰せ付けられたい	(上書)「大橋源介様 植田利右衛門 貴答」
16-15-26	[広田屋藤左衛門・中嶋屋源助宛与次兵衛書状]	年未詳4月21日	横継紙	1通	相談したいことがあるので戸田屋へ来てほしい	(上書)「広田屋藤左衛門様 中嶋源助様 与次兵衛」
16-15-27	[倉敷村出入の書付]			1纏め(3通)		16-15-27-1~3が纏められている 16-15-27-1~3は一連のものカ
16-15-27-1	[以書付心得方奉申上候]	年未詳4月8日	横切紙	1通	「村役人へ相掛候出入」については噯人立入内済に付き安八外三人に対し申し争いの心得はない旨を述べる	(端裏書)「四月八日差出ス」
16-15-27-2	[書付]	亥年4月	横切紙	1通	窪屋郡倉敷村百姓藤左衛門煩二付代悴利右衛門外七人の連印→倉敷役所	
16-15-27-3	[以下札奉申上候]	年月日未詳	横切紙	1通	本文をさし上げたが、また安八から甚三郎へ掛合があった しかし私共は内済に付き申し争う心得は毛頭ないことを述べる	
16-15-28	乍恐以書付奉申上候	丁亥年4月22日	縦紙	1通	廿四人年寄右惣代兼藤左衛門煩代利右衛門・貞蔵代兼源介他5人→役所 七太夫後役を議定の通り高持百姓の入札で決めること	(端裏書)「亥四月廿二日与次兵衛迄差出候書付控」 封筒あり(封筒上書)「大鷲様 丙 内要」(上書)「猪の上様 丙 拝用」
16-15-29	[猪の上(大鷲)宛丙書状]	年月日未詳	横継紙	1通	新田分残らず紋四郎へ入札することなど入札の状況報告	(上書)「中嶋屋源助様 与次兵衛」
16-15-30	[中嶋屋源助宛与次兵衛書状]	年未詳5月3日	横切紙	1通	民右衛門一条に付き相談したく入来を願う	(上書)「中嶋屋源助様 与次兵衛」
16-15-31	覚	年月日未詳	横切紙	1通	毛利の受取証文下書	(端裏書)「控」
16-15-32	[中嶋屋源助宛淀屋清助口上]	年未詳4月30日	横継紙	1通	民右衛門難渋に付き都合百八十目で漸納得のこと	(上書)「中嶋屋源助様 淀屋清助 貴下要用」
16-15-33	[広田屋藤左衛門外6人宛与次兵衛廻状]	年未詳4月26日	横継紙	1通	与次兵衛→広田屋藤左衛門・茜屋惣平・浜田屋安右衛門・下津井屋吉左衛門・内田屋五郎右衛門・中嶋屋源介・坂本屋八郎右衛門 来月二日庄屋・年寄入札についての触及び麦作見分の為御代官が一両日中に廻村のことを知らせる	

16-15-34	[中島屋大助宛内田屋五郎右衛門書状]	年未詳4月13日	横継紙	1通	茶道具直引に付きお買上げいただきたい	(上書)「中島屋大助様 内田屋五郎右衛門 貴下」
16-15-35	[広田屋藤左衛門・中嶋屋源助宛与次兵衛書状]	年未詳4月22日	横切紙	1通	村役取極存寄の書付を昨晚差出さなかったが御役所から催促があったので只今の内に差出す様に	(上書)「広田屋藤左衛門様 中嶋屋源助様 与次兵衛」
16-15-36	倉敷村役人取極入札仕様書	年月日未詳	横継紙	1通	一、田畑所持之百姓不殘入札可致事など、倉敷村役人の入札に関する取極六ヶ条	
16-15-37	[乍恐心得方奉申上候]	年月日未詳	横継紙	1通	一件については取極入立内済に付き、申し争う心得はなく諸事早々片付き程に治まる様に願う	全体に×印がしてある
16-15-38	[大橋宛正輔書状]	年未詳4月1日	横継紙	1通	植田隠居より連中へ面会したいとの件については拙宅は差支があるので濱田へ出席してほしい 尤植田隠居の出席の時刻については濱田より知らせる	(上書)「井上町 大橋様 正輔 用事」
16-15-39	乍恐以書付奉願上候	亥年3月	横継紙	1通	倉敷村百姓源介→大草太郎右馬役所 源介が尻海村名主喜兵衛倅喜久太を養子としたことについて入帳取計願ひ	(端裏書)「亥三月八日 淀屋清介取次ニ而 大坪様へ出ス控」
16-15-40	[中嶋屋源助宛与次兵衛書状]	年未詳閏6月20日	横継紙	1通	相談したいことがあるので御透の砌戸田屋までお出で願ひたい	(上書)「中嶋屋源助様 従戸田屋与次兵衛」
16-15-41	[大橋宛植田書状]	年未詳閏月16日	横継紙	1通	殿様出迎の際の差引勘定と唐紙縁代銀入手のこと	(上書)「大橋様 植田より 貴答」
16-15-42	[源助宛飯汁郎書状]	年未詳10月12日	横継紙	1通	今日の清書も見事な出来であったこと 又備前に出かけるので明日手本紙を拵え御出下さる様に 私の留守中はあなたが引廻してほしい	(上書)「源助之下へ 飯汁郎 貴下」
16-15-43	[書付]	年月日未詳	横切紙	1通	日畑の書付を御使へ渡したことをしらせる	宛名・差出人不詳
16-15-44	覚(取替銀清算書)			1纏め(2通)		16-15-44-1に16-15-44-2が巻き込まれている 内容は同文
16-15-44-1	覚(取替銀清算書)	文政10年閏6月29日	横継紙	1通	弥平・善左衛門→源介	
16-15-44-2	覚(取替銀清算書)	文政10年閏6月29日	横継紙	1通	弥平・善右衛門→源助	
16-15-45	[中嶋屋源助宛日畑村与次兵衛書状]	年未詳7月3日	横継紙	1通	内談の委細承知の返答と自分も帰村の積りで明後日五日に罷出ることを知らせる	(上書)「中嶋屋源助様 日畑村与次兵衛 貴答」
16-15-46	[大はし宛惣平書状]	年月日未詳	横切紙	1通	相談したいことがあるので御来駕いただきたい	(上書)「大はし様 惣平 内事」
16-15-47	[広田屋利右衛門他5人宛下津井屋吉左衛門・八濱屋弥兵衛廻状]	年未詳6月27日	横継紙	1通	下津井屋吉左衛門・八濱屋弥兵衛→広田屋利右衛門・中島屋源助・内田屋五郎右衛門・茜屋惣平・さくらや豊助・下津井屋源之助 出府中に必要な金子を用立てたが返金してほしい	
16-15-48	[大橋源介宛植田利右衛門書状]	年月未詳16日	横切紙	1通	唐紙ふちを調べたが、少々不出来であったので気に入らなければ返してもらっても構わないということ	(上書)「大橋源介様 貴下 植田利右衛門」
16-15-49	[中島屋源助宛あかね屋惣平書状]	亥年6月29日	横継紙	1通	拾八匁のところ貳拾匁受取ったので過上の分を返す 川石分の代銀など明細の覚書きあり	(上書)「中島屋源助様 あかねや惣平 過上銀札添」
16-15-50	[中しま屋宛茜屋書状]	年月未詳22日	横継紙	1通	東都への為替金について広田吉十へ尋ねたところ幸使の知らせがあったことについて	(上書)「井上中しま屋様 茜屋 貴下」
16-15-51	[源介宛利右衛門書状]	年月未詳6日	横継紙	1通	半間分間違ったことは全部自分の考え違いであり不調法であったことをわびる	(上書)「源介様 貴下 利右衛門」
16-15-52	[双方宛丈吉書状]	年未詳9月5日	横継紙	1通	追而罷出申すべく	(上書)「御双方様へ丈吉」
16-15-53	乍恐以書付御請奉申上候	亥年10月	横切紙	1通	倉敷村百姓利右衛門外6名→大草太郎右馬役所 安八外三人より五百余人の惣代と唱えて私共32人と出入になった一件について 惣代惣平が病気になるに及んで出府できなくなったので一同相談の上早々取極るとの書付下書	
16-15-54	[大鷲宛丙書状]	年月未詳8日	横切紙	1通	拙宅まで御来駕を願う 日畑へはいまだ何も申遣わしてはいない	(上書)「大鷲様 拝 丙」
16-15-55	乍恐以書付申上候	亥年2月	縦切紙	1通	「庄屋七太夫外八人江相掛り村役人并百姓代一同馴合役向我俣二仕候出入」一件について	(端裏書)「亥二月四日当御役所へ差出候控」
16-15-56	出府申合之事	亥年9月	横継紙	1通	惣代が訴訟のために江戸へ行く資金についての約定 利右衛門・源介・五郎右衛門・八郎右衛門・安右衛門・惣平・弥平・吉左衛門・忠助の連名	(端裏書)「内義定控」
16-15-57	[源助宛御そんし書状]	年月日未詳	横切紙	1通	庄七今朝退去の由、瀧川隆助よりの話をお知らせ	(上書)「源助様 御そんしより 内用事」
16-15-58	[大橋源介宛塩飽五郎右衛門書状]			1纏め(3通)		16-15-58-1~3一包 (包紙上書)「大橋源介様 貴下 塩飽五郎右衛門」
16-15-58-1	覚(舟賃勘定書)	年未詳1月8日	横切紙	1通	平の屋佐吉→内田屋五郎右衛門	
16-15-58-2	覚(南鐐巻片受取)	年未詳12月30日	横切紙	1通	山本玄潭→大橋源助	
16-15-58-3	[大はし宛塩飽書状]	年未詳3月21日	横切紙	1通	両通をお目にかける 平佐へは急いで遣したい	
16-15-59	覚(入用銀書上)	年月日未詳	横切紙	1通	所々へ遣ひ物之分差添へ入用弁銀他	
16-15-60	[井上宛聞上(力)書状]	年月未詳17日	横切紙	1通	両庄屋で話し合いがしたいが、どうも都合が合わない ただし、拙宅もいろいろ都合が悪いので、とりあえず回答は先延しにしておくか御答を願う	(上書)「井上様 聞上(力) 拝内事」
16-15-61	[書状]			1纏め(2通)		16-15-61-1の中に16-15-61-2が入っている
16-15-61-1	[大鷲宛丙書状]	年月未詳9日	横継紙	1通	明早朝下又一ならびに喜兵衛発足 十蔵・坂元・内田など九軒での頭わりについて	(上書)「大鷲様 拝 丙」
16-15-61-2	[書付]	年月日未詳	横切紙	1通	十蔵之割合之内御入レ可申候	
16-15-62	[源助宛与次兵衛書状]	年月未詳25日	横切紙	1通	御苦勞ではあるが戸田屋まで来てほしい	(上書)「中嶋屋源助様 与次兵衛 内用」
16-15-63	[大橋宛惣平書状]	年月未詳15日	横継紙	1通	与次兵衛が参っている由 一応せり込んで如何か 若殿様が三月初旬高梨様同道にて帰陣の趣であること	(上書)「大橋様 惣平 内用」

16-15-64	[中嶋屋源助宛日畑村与次兵衛書状]	年未詳3月14日	横継紙	1通	先刻は不在であったが急ぎ御目に掛りたいので御入来を願う	(上書)「中嶋屋源助様 日畑村与次兵衛 用事」
16-15-65	[広田屋藤左衛門外5人宛与次兵衛廻章]	年未詳2月27日	横継紙	1通	与次兵衛→広田屋藤左衛門・茜屋惣平・中嶋屋源助・濱田屋安右衛門・下津井屋吉左衛門・広江屋丈平 話したいことがあるので戸田屋寿助方へ来てほしい	(上書)「廻章」
16-15-66	[惣平外3人宛与次兵衛急廻状]	年未詳2月18日	横切紙	1通	与次兵衛→惣平・源助・安右衛門・吉左衛門 急用により戸田屋へ来てほしい	(上書)「急廻状」
16-15-67	[源介宛十蔵書状]	年月未詳28日	横切紙	1通	伝太郎の御用は何か内々に問い合わせ	(上書)「源介様 十蔵」
16-15-68	[屋号書付]	年月日未詳	横継紙	1通	廣江屋・大黒屋・和気屋・廣田屋・杉屋・駒屋・西内た屋・竹原屋	
16-16	文政八年酉十二月 人馬駄賃帳 大草太郎右[ ] 御支[ ]	酉(文政8)年12月 13日~28日	半・横半折	1冊		東海道中 品川より倉敷まで
16-17	[源助関係要用書類]			1袋(23通1括り)		16-17-1~24一袋 (袋上書)「要用書類入 大橋」 包紙あり(包紙上書)「大橋源介様 河野竹三郎 急要用」「十一月八日届」
16-17-1	[源介宛河野竹三郎書状]	年未詳10月18日	横継紙	1通	掛合一件追々筋立御手柄の様子、御帰国の上御様子を承りたい	
16-17-2	正月廿日上野御仏参	年未詳1月20日	横切紙	1通	石数と大名氏名書上	
16-17-3	覚(取かへ金書上)	年未詳11月9日	横継紙	1通		
16-17-4	覚(引継ぎ書類目録)	年未詳11月9日	横継紙	1通	御奉行様へ御駈込訴状他 青山様へ差出し候願書 十一月九日小伝馬町、病氣保養二付惣平、源助兩人より五郎右衛門、利右衛門兩人へ引渡置	
16-17-5	[大橋源介宛河野竹三郎・喜兵衛書状]	年未詳9月	横切紙	1通	ご内室様死去につき悔やみ状	包紙あり(包紙上書)「大橋源介様 河野喜兵衛」「十一月八日届」
16-17-6	覚(代銀受取)	年未詳11月9日	横継紙	1通	庄八→源介 太縞胴着・八丈紬代	
16-17-7	[年貢米銀取通の書付]	年月日未詳	横継紙	1通	文政元年より文政7年まで 6・7年は出入中	(端裏書)「十一月五日 御吟味之節御書付差出し候由」
16-17-8	[源介関係書類]			1括り(18通)		16-17-8-1~18紙綴りで一括り
16-17-8-1	覚(人別高書上)	酉年正月	横継紙	1通	保右衛門 山畑高九石壺斗四升九合三勺他	
16-17-8-2	覚(人別銀子書上)	年月日未詳	横継紙	1通	成羽屋与三右衛門 銀壹貫目他21人分 銀七拾五貫六百目	
16-17-8-3	御所望一札之事	年月日未詳	横切紙	1通	惣介・五郎右衛門→(宛名なし) 国元へ人足一人差し返しに付き道中難儀かけまじきこと	
16-17-8-4	覚(借用手形)	文政7年9月17日	縦切紙	1通	備中倉敷中島屋源介→伊東様御屋敷塩尻藤兵衛 金五十両、当年10月5日切に備中御屋敷へ中島屋平蔵より返済のこと	
16-17-8-5	[金子書付]	年月日未詳	横切紙	1通	金八十五両壹歩式朱 大黒・内田入	
16-17-8-6	[三所宛壯平用状]	年月日未詳	横切紙	1通	石井君気色も余程よし、住吉宮へ参詣仕りたし 道中肩輿一丁伺りのこと	(上書)「長ほりはし二而 御三所様 内事 壯平」
16-17-8-7	覚(御用金・冥加米書上)	年月日未詳	横継紙	1通	文化7年差出す御用金、貞蔵金600両他 文政4年差出す冥加米、貞蔵米225俵他	
16-17-8-8	[大橋源介宛小伝馬町某用状]	年未詳10月8日	横継紙	1通	丸の内より急談申し参る 一寸御出下さるべし	(上書)「大橋源介様 貴下 小伝馬町より」
16-17-8-9	[中嶋屋源助宛柴岡定右衛門書状]	年未詳12月4日	横継紙	1通	大黒屋文助書状到来、持参 返書は明後6日までに御越し下さるべし	(端裏書)「十二月七日届ク」 (上書)「小伝馬町三丁目大和屋小兵衛様二而備中之国倉鋪利右衛門様外御連中様 急出し申書 神田松永町 紀伊国屋利八」
16-17-8-10	[利右衛門他宛利八書状]	年月未詳22日	横切紙	1通	大草太郎右馬よりこの者御越し申すべしとのことをしらせる	
16-17-8-11	[岡田白齋口上書]	年月日未詳	横切紙	1通	極密之御咄しあり 今日中に私方迄御知らせ下さるべし 明日にては間に合い申さず 浅草旅宿にて	
16-17-8-12	一札之事	年月日未詳	横継紙	1通	人足国元へ差し返すにつき、道中諸事引き請けのこと	横線で抹消されている
16-17-8-13	郡中庄屋惣代(名前書上)	年月日未詳	横切紙	1通	倉敷七太夫他11人	
16-17-8-14	[名前書上]	年月日未詳	横切紙	1通	伊左衛門他2人、藤左衛門他23人、他に永吉、佐平次	
16-17-8-15	[源介宛五郎右衛門口上書]	年月日未詳	横切紙	1通	金子七両おかみさんへ渡す	(上書)「源介様 用事 五郎右衛門」
16-17-8-16	覚(銀子受取)	年未詳8月21日	横切紙	1通	大坂屋左蔵→倉敷村利右衛門他4名 壬四月十八日より拾五人 飯料代金弍匁	
16-17-8-17	[願書案文]	年月日未詳	縦継紙	1通	村役人は高持の者の入札をもって仰せ付けられたきこと	前欠・後欠カ
16-17-8-18	[倉敷出府中宛金右衛門書状]	年未詳10月16日	横継紙	1通	一件につき内談、両三人越前屋方に御越し下されたし	包紙あり(包紙上書)「上総屋御内宗兵衛様 五郎右衛門様 御用万屋内金左衛門」
16-17-9	[大橋源助・植田利右衛門外四人宛新屋治郎右衛門書状]	年未詳9月8日	横継紙	1通	植田親類より孫太夫相手取候出入ヶ條の内御陣屋御困込の訴答書・濟口書他経過報告	封筒あり(封筒表書)「大橋源助様 植田利右衛門様 外御四人様とも 新屋治郎右衛門一件に付用書」(封筒裏書)「東武二而 丁合屋」
16-17-10	[大橋源助宛阿へ源之介書状]	年未詳10月28日	横切紙	1通(3枚)	以前よりの忠告を聞かず尾張樓に来たが、金がなくなり帰れない 金の御用を願うも音沙汰がないので再三頼む	封筒あり(封筒表書)「大橋源助様 阿へ源之介 再答 貴下」(封筒裏書)「江戸街壺丁目」
16-17-11	[大橋源助宛阿部源之介書状]	年未詳10月28日	横継紙	1通	以前よりの忠告を聞かず尾張樓に行くも、帰れなくなり金の借用を願う	封筒あり(封筒表書)「井上権十郎にて 大橋源助様 阿部源之介 内用」(上書)「大源助様 阿源之介 他見無用」
16-17-12	乍恐以書付奉願上候	年月日未詳	横継紙	1通	義麦銀・村小入用割につき庄屋七太夫たちの不正を訴えること	案文
16-17-13	覚(人足賃銀受取)	申年4月20日	横切紙	1通	西メ→(宛名なし)	
16-17-14	覚(縁代及び酒代銀受取)	年未詳8月18日	横切紙	1通	加古川京塚庄兵衛→(宛名なし)	
16-17-15	[3人宛北兩人書状]	年月未詳22日	横切紙	1通	旅籠では相談できないのでこちらで相談との事だが、老足で行けないとの事	(端裏書)「鍵御かへ可被下候」(上書)「備前岡山 御三人様 座右北 兩人」
16-17-16	覚(代銀勘定書)	年未詳8月22日	横切紙	1通	喜屋与兵衛→備前旦那 する・中飯・くわし代他	

16-17-17	[追伸]	年未詳3月27日	横切紙	1通	十四人→六人 此度の騒動について用状が返翰より先に届く様に取計らってほしい	本文なし
16-17-18	覚(書状預り証)	酉年11月1日	縦切紙	1通	定飛脚問屋嶋屋佐右衛門→大和屋小兵衛 大坂塚屋喜兵衛宛書状一通	
16-17-19	覚(書状受取証)	年未詳4月27日	横継紙	1通	谷文五郎内高橋文輔→衆中 文晁は一橋様御用で外出中につき書状請取のこと	
16-17-20	[利右衛門他5名宛常太郎他8名書状]	年未詳8月23日	横継紙	1通	常太郎・半十郎・惣次郎・吉左衛門・弥兵衛・安右衛門・八郎右衛門・貞蔵・藤左衛門→利右衛門・源介・五郎右衛門・惣平・豊介・源之介 昨二十二日差上る訴状御預かりに付き今に何とも沙汰なし、郡中惣代庄屋の出府人評議も遅々、義倉帳面について他	
16-17-21	覚(金子清算書)	年未詳8月16日	横継紙	1通	今屋喜右衛門→倉敷忠八	
16-17-22	覚(銀算用書付)	年月日未詳	横切紙	1通		
16-17-23	覚(飯料受取)	申年間8月5日	縦切紙	1通	中山道御馬宿川役人初右衛門→備前様内水川甚平 千曲川百姓井形越にておわたり飯料として	
16-17-24	[利右衛門他5人宛常太郎他8人書状]	酉年8月24日	横継紙	1通	常太郎・半十郎・宗次郎・吉左衛門・弥兵衛・安右衛門・八郎右衛門・重蔵・藤左衛門→利右衛門・源助・五郎右衛門・宗平・豊助・源之助 8月22日に代官役所へ願書提出の次第	
16-18	[大橋父宛ます書状]	年未詳5月16日	横継紙	1通	安産で二人とも丈夫であることを知らせる 返事を待っていても何の沙汰もなかったが、屋後清介が参り「今少しまち呉候」様に申した旨	(上書)「大橋御父上様 ますより」(端裏書)「五月十六日 安藤より届」
16-19	[大橋宛書状]	年月未詳26日	横切紙	1通		(上書)「大橋様 奉答 ひかし」
16-20	[大橋宛籠窓書状]	年未詳正月8日	横切紙	1通	千蔭井に鏝を此人にお越し下さるべく	(上書)「大橋様 座右 籠窓」
16-21	[大はし宛籠窓書状]	年未詳正月7日	横継紙	1通	藤左衛門より今夕在府中のはなしを聞きたいと再度出席を依頼してきたこと	(上書)「大はし様 座右 籠窓」
16-22	[西宛東書状]	年月未詳19日	横切紙	1通	御添触の件につき愚老と由之助兩人にて役所へ罷出ることが然るべきと思召しならば此書面に印形を願う	(上書)「西様 東より 内事」
16-23	[新宅隠居宛東書状]	年月未詳15日(力)	横切紙	1通	広田での談示の様子をわかり次第しらせてほしい	(上書)「新宅 御隠居様 東 要事」
16-24	[茜屋惣平宛寿助書状]	年未詳2月19日	横切紙	1通	御添書願等についても申し上げておいたので御勝手次第に願出なられる様に	(上書)「茜屋惣平様 戸田屋寿助 要用書」
16-25	[書状]	年月未詳5日	横切紙	1通	御役所へ差上げた東部への書状が手違いで返ってきたことを知らせる	宛名・差出人とも不詳
16-26	[新宅宛本隠書状]	年月未詳6日	横継紙	1通	一件も破談の由御休息旁拙宅への案内状	(上書)「新宅様 本隠 不及貴答」
16-27	[中島屋源助宛淀屋清輔口上]	年未詳正月11日	横継紙	1通	宗平様方へ明朝内々に話したいことがあるので来てほしい	(上書)「中島屋源助様 淀屋清輔 内用書」
16-28	[大はし宛惣平書状]	年未詳正月12日	横切紙	1通	清介よりの文通に対する返答について	(上書)「大はし様 奉答 惣平」
16-29	[大橋宛談(力)丈書状]	年月未詳11日	横切紙	1通	東都へ書状差出しにつき用向の有無伺い	(上書)「大橋様 ○(談力)丈 急用書」
16-30	[大黒屋文助宛土佐屋順平書状]	年未詳正月22日	横継紙	1通	咽を痛めて薬をもらったことに対する御礼 面談依頼などの私信	(上書)「大黒屋文助様 貴下内用 土佐屋順平」
16-31	[大橋宛ひのうへ書状]	年月未詳29日	横切紙	1通	右掛合の済口について、請取喫人の申す水夫組頭を以前通りにする事を議定書にのせず、これまで通り含む事について、広田へ坂本同伴で出会すべき事	(上書)「大橋様 拝」袋あり(袋上書)「大橋様 ひのうへ 拝 ○内用事」
16-32	[源介宛平蔵書状]	年月未詳12日	横継紙	1通	尹孚俳の一軸をもらいたかったが、倅に教えられ断る事	(上書)「源介様 平蔵 内用事」
16-33	[源介他1名宛惣平書状]	年月未詳23日	横継紙	1通	右の通り申し来た。両家様の内よりお返し下されたい事	(上書)「源介様 十蔵様 惣平 要事」
16-34	[大橋源助宛油屋半十郎書状]	年未詳2月26日	横切紙	1通	ただれ目の薬代の為に無心の事	(上書)「大橋源助様 油屋半十郎 此筆 用事」
16-35	[源介宛惣平書状]	年未詳3月2日	横切紙	1通	二五の集会に立ち会い、承る所、とても熟談には見えず困っているようであるが、因縁ずくと諦める他ない事、今日は多忙で相談は計り難く、まずは二五に任せる心得である事	(上書)「源介様 惣平 座右」
16-36	[大橋宛惣平書状]	年月未詳9日	横切紙	1通	一条の件につき、お目に掛りたく、坂本同伴で来駕していただきたい事	(上書)「大橋様 惣平 座右」
16-37	[大はし宛惣平書状]	年月未詳13日	横切紙	1通	廿五連と談示の最中であるが、寿助に見せた書面には五右衛門に後役をさせ、他村庄屋へ後見のつもりとするべきと広田に申したが、廿五連へはその句を除いて掛合うよう含み置いてほしい事	(上書)「大はし様 惣平 座右内事」
16-38	[訴訟内済に付き条々書付]	年月日未詳	横継紙	1通	庄屋年寄はこれまで通り5人で勤め、進退は惣百姓で相談の上願い上げるべき事他5条	(上書)「二月八日咄し有之 同九日仁左衛門復齋○より切出」
16-39	覚(証文条々下書)	年月日未詳	横継紙	1通	庄屋は七太夫がそのまま勤め、他に訴訟方隨身の者も1人後見とさせ、後役は惣百姓相談の上で願い上げるべき事他4条	(上書)「訴訟方より玉島三所へ懸合」
16-40	[証文条々下書]	年月日未詳	横継紙	1通	庄屋七太夫はそのまま勤め、他に訴訟方隨身の者を1名添え、後役は惣百姓相談の上で願い上げるべき事他4条	
16-41	覚(内済証文条々下書)	成年正月	横継紙	1通	庄屋役は七太夫が帰村次第退役し、後役は惣百姓が相談の上で倅大太郎にすべき事他6条	(上書)「玉島三人切出し」
16-42	添書(御用書付差遣しに付き、この者の渡船等配慮すべき事)	酉年12月12日	縦切紙	1通	大草太郎右馬手附高梨官平→備中国倉敷問屋屋年寄中	写し
16-43	[書状]	年月未詳11日	横切紙	1通	破談の件に付き、覚悟すべき事	
16-44	乍恐以書付奉願上候	戌年3月	縦切紙	1通	十蔵他3名→役所 内済の相談がまとまらず、江戸出府が遅延する事を奉行所に申し出てほしい事	



16-45	[源介宛茜屋書状]	年月日未詳	堅切紙	1通	25連未だ出ず、惣方差揃い、待っているので御出て下さるべき事	(上書)「茜屋 源介様」 茜屋宛源介書状の裏を使用
16-46	[茜屋惣平宛浜田屋安右衛門書状]	年未詳2月11日	横切紙	1通	右一条破談の件を中島・坂本へ伝えてほしい事	(上書)「茜屋惣平様 浜田屋安右衛門 内用書」
16-47	[大はし宛惣平書状]	年月日未詳	横継紙	1通	二十五連の注文に付き、発足は御指日に間に合わないの、願書を差し出した、調印をのぞむ事	(上書)「大はし様 惣平 座右」
16-48	[書状]	年月未詳1日	横切紙	1通	日延願いについて、惣方が不承知の場合には日延の日より早く参るので、おしかりは受けないだろう事	
16-49	[書状]	年月日未詳	横継紙	1通	差越の金について、そのまま返上し、追々お越しにてどうともするべき事他3件	(上書)「様 より 座右」
16-50	[諸書状類]			1括り(46通5纏め)		16-50-1~51紙綴りで一括り
16-50-1	[源介他1名宛利右衛門他3名書状]	年未詳2月22日	横継紙	1通	市川様よりも催促を受けているので、早々に出府すべき事	包紙あり(包紙上書)「備中倉敷二而中島屋源介様 赤根屋惣平様 広田屋利右衛門下津の屋源之介 大急用」(包紙裏書)「二月廿二日 東武上の広小路井上権太郎より」
16-50-2	[書状類]			1纏め(3通)		16-50-2-1に16-50-2-2~3までが巻き込まれている
16-50-2-1	[旦那宛文助書状]	年未詳6月17日	横継紙	1通	奥様病氣、お袋様も心配しているので、帰村してほしい事	(上書)「七月廿三日出七月十六日備前内山庄右衛門様より達ス 大橋源介様 大うらや文助」
16-50-2-2	[旦那宛文助書状]	年月未詳23日	横切紙	1通	女性ばかりで心配も多く、あなたの身の上も心配なので、一度帰村してほしい事	
16-50-2-3	[源助宛平蔵書状]	年未詳6月23日	横継紙	1通(2枚)	宇治屋一件も和融の体にて、今後は川入松次郎同様にする事、もっとも私はしらぬ体にて、文助取計いで600日程借銀を払った事等	
16-50-3	[大橋源助宛の場復兵衛書状]	年未詳9月25日	横継紙	1通	病氣の事など報告	(上書)「十月九日達ス」
16-50-4	[とま宛十蔵書状]	年月日未詳	横切紙	1通	この状が着き次第、早速相届なられるよう取計ってほしい事	
16-50-5	[旦那宛文助書状]	年未詳9月25日	横継紙	1通	奥様死去及びその後の様子報知	(上書)「大橋源介様 大こくや文助 貴下 十月九日達ス」
16-50-6	[願書下書]	年月日未詳	横継紙	1通	村役人が出府の際に小前の者を集めて騒ぎを起こした件について、それぞれ取締ってほしい事	
16-50-7	[大橋源助宛石井八郎右衛門書状]	年未詳10月26日	横継紙	1通	村方が静まらない事に付き心配の事 委細は差添人より相談	(上書)「大橋源助様 石井八郎右衛門 貴下 西十一月九日届」
16-50-8	[大橋源介宛五郎右衛門母書状]	年月日未詳	横継紙	1通	近況報告の事	(上書)「大橋源介様 五郎右衛門母より 御申上」 虫損あり SILティッシュで包む
16-50-9	[大橋源助宛児島太郎右衛門書状]	年未詳9月6日	横継紙	1通	亀太郎の事親切になりお礼の事など	(上書)「十一月廿二日 岡田より着」 虫損あり SILティッシュで包む
16-50-10	[由良惣平宛福山屋治郎兵衛書状]	年未詳2月21日	横継紙	1通	早々帰国するとの書状を母公に出す様申し聞き下されたい事	袋あり(袋上書)「由良宗平様 小田次郎兵衛 貴下 急用要平安」(袋裏書)「自備中倉子城 二月廿二日認」
16-50-11	[大橋源助宛植田藤左衛門書状]	年未詳正月15日	横切紙	1通	利右衛門に親切にいただきお礼の事等	包紙あり(包紙上書)「大橋源助様 植田藤左衛門 貴下」
16-50-12	[中源助宛八郎右衛門書状]	年未詳3月14日	横継紙	1通	令女様安産の事など	(上書)「中 源助様 八郎右衛門 貴下 四月五日達ス」
16-50-13	[由良老壯他1名宛秋岡精一書状]	年未詳4月29日	横継紙	1通(2枚)	金子を添えるので預り置き下されたい事等	袋あり(袋上書)「由良老壯様 大橋源介様 秋岡精一 尊下」(袋裏書)「江戸旅宿御中 五月十六日 安藤より達ス」
16-50-14	[由良老翁他1名宛正輔書状]	年未詳4月29日	横継紙	1通	先達て門前にて騒ぎ立ての件は、追々吟味するに付き、私共へも猶予相成るべく村役人らへも慎むべく仰せ渡された事等	袋あり(袋上書)「東武二而 由良老翁 大橋大兄 阿部正輔 内用」(袋裏書)五月十六日 安藤より届」(上書)「大田」
16-50-15	[中島屋源助宛広江屋丈吉他1名書状]	年未詳4月16日	横継紙	1通	江戸表にて稼ぎをした、路用銀無心の事	包紙あり(包紙上書)「江戸旅宿中 大橋源助様 広江屋大吉 御頼用」(包紙裏書)「四月六日発 ○」
16-50-16	[旦那宛文助書状]	年未詳11月12日	横継紙	1通	近況報告の事	(上書)「十二月七日岡山○ 届ク」
16-50-17	[大橋源助宛同喜久太書状]	年未詳6月晦日	横継紙	1通	出府の4人を召し連れ帰るようにての仰せ渡しに付き、承知の趣書付を認めて差し出した事について	
16-50-18	[大橋源助宛大黒屋文助書状]	年未詳12月12日	横切紙	1通(2枚)	安藤与一右衛門返弁金について、直に受け取られるようにすべく、安藤に私から手紙を以て伝えた事	(上書)「大橋源助様 大黒屋文助 要用 十二月七日着」 母よりの依頼品数量書付が添えられている
16-50-19	[大橋源助他1名宛布屋太郎右衛門書状]	年未詳9月2日	横継紙	1通(3枚)	惣社村にて出生の実子亀太郎を連れて帰村してほしい事	包紙あり(包紙上書)「江戸小伝馬町三丁目 大和屋小兵衛様 布屋太郎右衛門 届状数々入」(包紙裏書)「自備中倉敷 九月二日認」
16-50-20	[源助他1名宛丈吉書状]	年未詳9月26日	横継紙	1通	水沢伊左衛門死去に付き、ぬかりなくかけ引専一の事	(上書)「豊助様 源助様 丈助 貴下」 未開封だったが調査の為開封した
16-50-21	[大橋源祐宛丈吉口上]	年未詳3月22日	堅切紙	1通	藤左衛門不埒に付きお願いの事	包紙あり(包紙上書)「大橋源祐様 丈吉 極内○他見無用 御留守 中平安一条大変」(包紙裏書)「口月朔日達ス」
16-50-22	[大橋源助宛丈吉他3名書状]	年未詳8月21日	横継紙	1通	かの兩人勘定出入の件について意見伺い	(上書)「甲閏月一日着」
16-50-23	[大橋源介宛の場復多書状]	年未詳8月20日	横継紙	1通	役所表取り計い、嘆息にたえない事	(上書)「甲閏月一日着」
16-50-24	[各宛丈吉書状]	年未詳8月21日	横切紙	1通	田鍋らが清一を縛った事、大田や久兵衛宅でも同様の吟味があつた事について報告	(上書)「甲閏月一日」
16-50-25	[各宛丈吉書状]	年未詳8月24日	横切紙	1通	弥十郎、元三郎の御免し願いは難しい事	(上書)「備中倉子城 大橋源助様 丈吉 尊下」
16-50-26	[由良宗平宛小田定七書状]	年未詳8月18日	横継紙	1通	3人取り極めがようやく決まり、出立できる事、多少遅れても待つてほしい事等	袋あり(袋上書)「由良宗平様 小田定七 貴下急用」(袋裏書)「八月十八日昼迄発 自倉子城」
16-50-27	[大橋源助宛西あち屋増蔵書状]	年未詳閏8月13日	横継紙	1通	私の隣家の小林武右衛門は江戸へ行っているところ、書状遣わされるに付き、小林氏に頼まれ書状指し上げの事	(上書)「申九月十一日着」
16-50-28	[旦那宛文助書状]	年未詳3月8日	横継紙	1通(2枚)	本家隠居及びお婆様病氣の事等に付き、帰村願いたい事	(上書)「文助来状 四月二達ス」
16-50-29	[大橋源祐宛丈吉書状]	年未詳3月14日	横切紙	1通(2枚)	出入りについては下津の屋より申し上げるので、お含みの上、取り計るべき事	(上書)「大橋源祐様 丈吉 平安 四月五日達ス」
16-50-30	[旦那宛文助書状]	年未詳1月15日	横継紙	1通	留主中の様子の報告、春中には帰村してほしい事	(上書)「西二月八日 安藤氏宅二而請取」

16-50-31	[大橋源助他4名宛阿部正輔書状]	年未詳正月16日	横継紙	1通	年始のあいさつの事、一件当地振合については源助へ申し遣すので、承知下されたい事	(上書)「五人様 正輔 要用」
16-50-32	[植田利右衛門他2名宛阿部正輔書状]	年未詳4月29日	横継紙	1通	御門前で騒動の件、追々吟味をすると代官が直々に仰せられ、一同恐怖の事について、別帳の不印にて差し上げるべく仰せ聞かされたが拒んだ事について等	
16-50-33	[書状類]			1纏め(2通)		16-50-33-1に16-50-33-2が巻き込まれている
16-50-33-1	[大橋源介他1名宛正輔書状]	年未詳2月26日	横継紙	1通	20日到着の用状に付き、委曲源助へ申し遣している事について等	(上書)「過老ひ」
16-50-33-2	[書状]	年月日未詳	横切紙	1通	江戸願書そのままにて代官様吟味願い出る事について	
16-50-34	[大橋宛丈吉他1名書状]	年未詳5月1日	横切紙	1通	本地や亀助乱心の始末、両三日以前に帰村の事	(上書)「大橋源介様 丈吉 極用書 五月十六日 安藤より届」
16-50-35	[連中宛倉連書状]	年未詳5月26日	横切紙	1通	観龍法印が役所へ歎書を持参したが取り用いられなかった事、御門へ出た事を観法が咄し下郷屋半へ取置について、郡中庄屋より窓あけをするよう願っているが、叶っていない事	
16-50-36	[大橋宛植田書状]	年月未詳8日	横切紙	1通	金1両2分無心の事	(上書)「大橋様 植田 極内用書」
16-50-37	[源助宛八郎右衛門他7名書状]	年未詳9月23日	横継紙	1通	源助妻病気について報告の事	(上書)「西十月七日着」
16-50-38	[源助宛忠助書状]	年未詳10月5日	横継紙	1通	御内方様遠行の事報知	(上書)「十月七日着」
16-50-39	[書状類]			1纏め(2通)		16-50-39-1に16-50-39-2を巻き込んで一纏め
16-50-39-1	[大橋源助宛布屋太郎右衛門書状]	年未詳3月16日	横継紙	1通	村役人発足の際の騒ぎに付き、町内の様子報知他4条	(上書)「布屋状」
16-50-39-2	[和歌書付]	年月日未詳	横切紙	1通		
16-50-40	[大橋源助宛丈吉書状]	年未詳10月23日	横継紙	1通	浜田・横田や賃の件に付き、身勝手な事報告	(上書)「大橋源助様 丈吉 内書要用 八月十一日着」
16-50-41	[大橋源助宛書状一括]	年未詳10月27日		1括り(2通)		16-50-41-1~2帯封で一括り(帯封上書)「十一月十五日着」
16-50-41-1	[大橋源助宛児島太郎右衛門書状]	年未詳10月27日	横継紙	1通	一件勝利は疑いなき事等	包紙あり(包紙上書)「大橋源助様 児太郎右衛門 十一月十五日着」
16-50-41-2	[大橋源介宛植田汶四郎書状]	年未詳10月27日	横継紙	1通	御令室様死去の事報知 差添人出府に付き、御無念の義はそれに託すか別便に託して差し越してほしい事他1条	包紙あり(包紙上書)「東武二而大橋源助様 植田汶四郎 貴上要書 十一月十五日夜来ル」
16-50-42	[大橋源助宛の場汶齋書状]	年未詳10月26日	横継紙	1通		(上書)「的場書状 十一月九日届」
16-50-43	[連中宛広屋書状]	年未詳9月9日	横継紙	1通	姫路にて直田屋が懐中用意金などを紛失した事について	
16-50-44	[大橋源介宛阿部正輔書状]	年未詳6月5日	横継紙	1通	金子入用に付き無心の事他	(上書)「江戸旅籠宿中 大橋源介様 阿部正輔 内用」
16-50-45	[八郎右衛門書状類]	年未詳6月12日~13日		1纏め(1通1纏め)		16-50-45-1に16-50-45-2が巻き込まれている
16-50-45-1	[御連中宛八郎右衛門書状]	年未詳6月12日	横継紙	1通	6月10日晩に井上町元蔵らが代官所へ召し出され、井上町にて連印をして歎書を差し出す様言われた事 浜田町は明日早々差し出すが当町は昨年の触書を申し立て断るべき事他	(上書)「石井書状 六月十三日出 同廿三日到着」
16-50-45-2	[源介宛八郎右衛門書状類]	年未詳6月12日		1纏め(2通)		16-50-45-2-1に16-50-45-2-2が巻き込まれていた
16-50-45-2-1	[大橋源助他5名宛石井八郎右衛門書状]	年未詳6月12日	横継紙	1通(2枚)	妙見宮にて皆様の安全を祈禱したのでお守りを送る事他2条	上書部分の紙が破れて分かれている (上書)「六人御衆中様 八郎右衛門 無別条要用 六月十三日出」
16-50-45-2-2	覚(金子差遣わしに付、借用の内へ入れて下されたき事)	年未詳6月12日	横継紙	1通	八郎右衛門→源介他1名	
16-50-46	[東武上総屋内四人宛保右衛門書状]	年未詳5月26日	横継紙	1通	門訴の件の吟味について、彦七郎を呼び出さねば村方がおさまらない事等	(上書)「浜田屋書状」
16-50-47	[源介他3名宛八郎右衛門書状]	年未詳5月	横継紙	1通	門訴に付き吟味の様子等報告他3条	(上書)「石井書状 五月十六日備前屋敷より達ス」 (上書)「広忠書状 五月十六日出 同廿五日着」 継目がはがれ2枚になっている
16-50-48	[大橋源助宛広忠書状]	年未詳5月16日	横継紙	1通(2枚)	庄屋年寄出立の事、戒町山手屋周蔵ら家出の事など報告	
16-50-49	[中島屋源助他5名宛八浜屋弥兵衛他2名書状]	酉年9月1日	横継紙	1通	金子差越すよう仰せに付き、100両送付の事等	袋あり(袋上書)「東武上野広小路黒門前井上権十郎様二而 中島屋源介様 茜屋惣平様 八浜屋弥兵衛 下津の屋吉右衛門 金百両相添」(袋裏書)「九月二日発之処差支二而四日発 従備中倉子城」
16-50-50	[大橋源介宛石井八郎右衛門書状]	年未詳8月16日	横継紙	1通	京屋元三郎一件相済み、2畳の所に住んでいて気の毒の事他、近況報告の事	(上書)「中島屋源介様 八郎右衛門 貴下 九月三日晩島屋より届小伝」
16-50-51	[旦那宛文助書状]	年未詳7月29日	横継紙	1通	奥様病気の様子報告、旦那様もお体に気を付けてほしい事等	(上書)「大橋源介様 大黒屋文助 貴下 八月十五日 内山氏より届」 破損あり SILティッシュで包む
16-51	登浅草観音閣之詩	年月日未詳	縦継紙	1通		
16-52	[書状]	年月日未詳	横切紙	1通	郡中銀取調の件は、急いで掛け合ひすべきである事 その事について相談したい事	(上書)「様 拝 内事」
16-53	[西宛ひかし書状]	年月未詳21日	横切紙	1通	昨夕、広翁が来室した件に付き報知	(上書)「西様 ひかし 拝」
16-54	[大はし宛惣平書状]	年月未詳15日	横切紙	1通	金をはま田へ早々に送るべき事	(上書)「大はし様 惣平 座右」
16-55	[大はし宛籠窓書状]	年月未詳2日	横継紙	1通	五徳2つ受け取り、1つは石井のものなので是へ遣わした事 彼是入り交り御面倒をおかけした事を許してほしい事	
16-56	[大橋源介宛植田汶四郎書状]	年未詳12月29日	横切紙	1通	御帰村に付き挨拶申し上げるべき所、時用に取り紛れてできずにいる事	
16-57	[源介宛十蔵書状]	年月日未詳	横切紙	1通	隠居の件について一応相談の事	(上書)「東二で源介様 十蔵 内用事」
16-58	[大はし宛ゆらゆら書状]	年月未詳11日	横切紙	1通	只今より出席のつもりにて来駕願いたい事	(上書)「甚目立候ハハ夜分二而も不苦候間御答可被下候以上 大はし様 ゆら〇(繰返し) 用書」
16-59	[大はし宛由良書状]	年月日未詳	横切紙	1通	御上にも破談に付き、是非とも発足したいがそれができないので、どうすべきか相談の事	(上書)「大はし様 由良 拝書」

16-60	[大はし宛東書状]	年月未詳13日	横継紙	1通	浜田へ申し遣す所、御面倒ながら貴所様より取り集めてほしい事	(上書)「大はし様 東 拝言」
16-61	[大はし宛由良書状]	年月未詳11日	横切紙	1通	一条破談に付き、今日庭瀬迄にても発足するつもりである事	(上書)「大はし様 由良 拝言」
16-62	[源介宛要蔵書状]	年月未詳10日	横継紙	1通	十蔵伝言の件は難しいので、十蔵罷り越すようにしたい事	(上書)「源介様 要蔵」
16-63	[書状]	年月未詳15日	横切紙	1通	寿助より少々引掛りがあるので御触書が出来るのは明朝との事を聞いた事等	
16-64	[中島屋源助宛浜田屋安右衛門書状]	年月未詳15日	横切紙	1通	旅用金苗屋より申し上げる様との事 御本家よりの弁銀は苗屋へ差し向けるべき事	(上書)「中島屋源助様 浜田屋安右衛門 内用書」
16-65	[大はし宛惣平書状]	年月未詳12日	横切紙	1通	小山が帰ったが皆来られず、御両所様御来会下さるべき事 五連は小田原におり取愛人よりの催促はおかしい事	(上書)「大はし様 惣平 御返事」
16-66	[大はし宛惣平書状]	年月未詳10日	横切紙	1通	何方よりも沙汰ないので、皆様に相談の上今一応西東親類へ勧めたい事	(上書)「大はし様 惣平 拝答」
16-67	[大はし宛東書状]	年月未詳8日	横継紙	1通	今朝由之介が参り、添触願出に調印した事 惣連中を呼びよせようとしたがあつましき連中なので断われた事	(上書)「大はし様 東 拝」
16-68	[利右衛門他4名宛源介他1名書状]	年未詳正月28日	横継紙	1通	玉島赤崎七十郎ら取愛に立ち入りに付き掛け合いの為、奉行所指定日迄に出府しがたいので、そちらの4人からも江戸役所に書状を出し、対応してほしい事	
16-69	○保元	年月日未詳	半・縦半	1冊	出府の際の万覚	
16-70	[諸書類]			1袋(8通2包仮 2冊4纏め4冊)		16-70-1~20一袋 (袋上書)「府中自分諸勘定書類切入并覚書入」
16-70-1	[山田屋亦兵衛宛平野屋左吉書状]	年未詳8月23日	横継紙	1通	備中御方様勿論上下9人出府に付き旅宿として貴家様を紹介したので万端取り計ってほしい事	包紙あり(包紙上書)「江戸大伝馬町二丁目北新道 山田屋亦兵衛様 従大坂 参上御中」(包紙裏書)「八月廿三日 平野屋左吉」
16-70-2	[諸書類]			1包(4通)		16-70-2-1~4包紙一包 (包紙上書)「在府中○状 易判断書入」 (上書)「二月十六日大文より来ル先方判断二近々済方可出様咄し有之事」
16-70-2-1	坎為水	年月日未詳	横切紙	1通	月毎の吉凶書付	
16-70-2-2	覚(借入金高書上)	年未詳7月13日	横切紙	1通	植田→大橋	
16-70-2-3	[父宛喜久太書状]	年未詳10月11日	横切紙	1通	文助の所へ来た易人による易判断報知	(上書)「十月十二日出 十月晦日着」
16-70-2-4	[易判断書付]	年月日未詳	縦切紙	1通		
16-70-3	[人名・品物名等書付]	年月日未詳	半・横長	仮1冊		
16-70-4	見聞おぼえ	年月日未詳	半・横長	仮1冊		
16-70-5	[代金書上類]			1纏め(2通)		16-70-5-1に16-70-5-2を巻き込んで一纏め
16-70-5-1	覚(受取金高書上)	年未詳閏8月15日	横継紙	1通	丸屋利介→源助 白鳩目1つ他代金	
16-70-5-2	[代金書上]	年月日未詳	横折紙	1通	茶漬代他	
16-70-6	[大橋源祐他1名宛精一書状]	年未詳10月〇5日	横継紙	1通	五郎右衛門快方の儀に付き、本家の者は大いに喜んでる事他	
16-70-7	[金高書上類]			1纏め(5通)		16-70-7-1に16-70-7-2~5までが巻き込まれて一纏め
16-70-7-1	[金高書上]	年未詳11月12日	横継紙	1通	上総屋藤助→大和屋小兵衛	(上書)「元本方より金壹両木綿代渡し〇残り式〇巻」
16-70-7-2	覚(代金書上)	年未詳11月1日	横継紙	1通	越後屋勘助他1名→弥助	
16-70-7-3	[誂え品数量及び受取金高書上]	年未詳閏8月18日	横継紙	1通	丸屋利介→源助 姫路革他	2件の覚え書が1枚の紙に書かれている
16-70-7-4	覚(受取金高書上)	年未詳閏8月18日	横継紙	1通	丸屋利介→源助	
16-70-7-5	覚(受取金高書上)	申年9月7日	横切紙	1通	広屋茂兵衛→源助	
16-70-8	覚(貸付金高書上)	年未詳閏8月11日	横切紙	1通	ハマや茂右衛門→(宛名なし)	
16-70-9	[口上類]			1纏め(2通)		16-70-9-1に16-70-9-2を巻き込んで一纏め
16-70-9-1	[布屋亀太郎宛惣平口上]	年未詳12月29日	横継紙	1通	赤かね小ちようちん等入れ組んだなら御越しあるべき事 もしまだなら、この旨を伝言してほしい事	(上書)「布屋亀太郎様 惣平 用〇」
16-70-9-2	[村役人人事に付き書付]	年月日未詳	縦切紙	1通	庄屋年寄は義右衛門惣之介三郎右衛門が勤め、七太夫彦七郎は退役すべき事、以後は百姓一同が相談の上で届け出るべき事	
16-70-10	[大橋源助宛大和屋文兵衛書状]	年未詳正月14日	横継紙	1通	借入金返却の催促など	
16-70-11	[大橋源介宛尊瀧院抽興書状]	年未詳12月晦日	横継紙	1通	御手柄の件に付きお祝い、肴を1尾進上の事	
16-70-12	[書状]	年月日未詳	横継紙	1通	去冬12月25日に願出の件は春に下知あるまで関わりのは待機の事、会議をしたいので、出府してほしい事	
16-70-13	申八月より酉正月迄ノ分 諸買物覚書	申年8月23日~酉年正月7日	半・横折	1冊		
16-70-14	[金高書付類]			1纏め(2通)		16-70-14-1~2まで一纏めに重ねて折りたたまれている
16-70-14-1	[金高書付]	年月日未詳	横折紙	1通		16-70-14-2と関連あり
16-70-14-2	覚(借入金高等書付)	年月日未詳	横折紙	1通		16-70-14-1と関連あり
16-70-15	雑費録	年月日未詳	半・横半	1冊		
16-70-16	[清水藤右衛門宛ひらの屋左吉書状]	年未詳8月23日	横継紙	1通	この方々は備中より用事向きがあつて出府した者に付き、よろしくお願ひしたい事	(包紙上書)「神田久右衛門町町丁目新道伊勢屋吉右衛門様ニテ清水藤右衛門様 従大坂 ○〇中要用」(包紙裏書)「八月廿三日 ひらの屋左吉」未開封であつたが整理の為開封した
16-70-17	[源介宛はは書状類]			1包(2通)		16-70-17-1~2一包 (包紙上書)「大はし源介 同ははより 用事」(包紙裏書)「正月廿五日此弁せひ 内々にて御ミセ下され 大事にて御さ候」
16-70-17-1	[大はし源介宛はは書状]	年未詳正月25日	横継紙	1通	早く帰るよう催促の事	(上書)「大はし源介との 同ははより 用事」

16-70-17-2	口上(お迎えに参上しても、何事も咄すべきでない事)	年月日未詳	横切紙	1通	母→源介	(上書)「源介様 母より ○○此○内之よし御渡可被下候」
16-70-18	十月二日より 小雑費控帳 留春亭主人 丁	年未詳10月2日~ 12月11日	半・横半	1冊		
16-70-19	西十二月十二日上野宿上総屋権兵衛より発足十二	西年12月11日~	半・横半	1冊		
16-70-20	月廿八日帰国 道中日記	(戌)年正月8日	半・横半	1冊		
16-71	[大橋家由緒書付]	年月日未詳	横切紙	1通		(上書)「文化七午年 負加歳文政四巳年力」
16-71	[大橋父宛大橋大助書状]	年未詳閏8月10日	横切紙	1通	御機嫌伺い、留守中は無異の事、早々の帰国を待っている事	
16-72	[袋]	年月日未詳	35.3×37.0	1枚		(上書)「在府中 老母つよますより書状」
16-73	[袋]	年月日未詳	22.5×15.7	1枚		(上書)「東都二而滞留中 老母おつよおます書状」
16-74	[源介宛はゞ書状]	年未詳2月23日	横継紙	1通	平蔵病気に付き、早々帰るべき事	(上書)「大はし源介どの 母より 急用」
16-75	[江戸より帰村に付き関係書類]			1袋(2通仮1冊)		16-75-1~3一袋(袋上書)「惣平・源介兩人分 西十二月十二日晚江戸上野広小路発足同廿八日帰着迄道中諸入用記録入」
16-75-1	東海道筋路用扣	乙酉年	半・横長	仮1冊		
16-75-2	覚(銀高書付)	年未詳12月28日	横継紙	1通	酒肴代他	
16-75-3	[大橋源助宛惣平書状]	年未詳12月29日	横継紙	1通	道中拝借金等、御受取下さるべき事	(上書)「中しま屋御新宅様 茜屋惣平 座右 さいふ添」
16-76	[諸書類]			1括り(1括り2纏め79通)		16-76-1~82紙纏りで一括り 整理後、元の纏では括れなくなったので、SILティッシュの紐で括る
16-76-1	[諸書類]			1括り(9通)		16-76-1~9紙纏りで一括り
16-76-1-1	覚(堺屋喜兵衛宛書状受取)	丑年5月28日	竪切紙	1通	定飛脚問屋島屋佐右衛門→大和屋小兵衛	
16-76-1-2	覚(堺屋喜兵衛宛書状受取)	酉年9月6日	竪切紙	1通	定飛脚問屋島屋佐右衛門→大和屋小兵衛	
16-76-1-3	覚(堺屋喜兵衛宛書状受取)	酉年10月18日	竪切紙	1通	定飛脚問屋島屋佐右衛門→大和屋小兵衛	
16-76-1-4	覚(堺屋喜兵衛宛書状受取)	酉年10月19日	竪切紙	1通	定飛脚問屋京屋弥兵衛→大和屋小兵衛	
16-76-1-5	覚(堺屋喜兵衛宛書状受取)	酉年10月25日	竪切紙	1通	定飛脚問屋島屋佐右衛門→大和屋小兵衛	
16-76-1-6	[願書下書]	年月日未詳	竪切紙	1通	国元の訴訟方同意の者に仰せ付けられ、この者達より御願い申し上げる者を差し出されたき事	
16-76-1-7	覚(堺屋喜兵衛宛書状受取)	酉年9月14日	竪切紙	1通	定飛脚問屋島屋佐右衛門→大和屋小兵衛	
16-76-1-8	覚(堺屋喜兵衛宛書状受取)	酉年6月18日	竪切紙	1通	定飛脚問屋島屋佐右衛門→大和屋小兵衛	
16-76-1-9	覚(堺屋喜兵衛宛書状受取)	戌年7月19日	竪切紙	1通	定飛脚問屋島屋佐右衛門→大和屋小兵衛	
16-76-2	[受取書上一纏め]			1纏め(3通)		16-76-2-1~4まで折りたたんで一纏め 親番号の付箋を添える為にSILティッシュの紐で括る
16-76-2-1	覚(堺屋喜兵衛宛書状受取)	酉年2月21日	竪切紙	1通	定飛脚問屋島屋佐右衛門→大和屋小兵衛	
16-76-2-2	覚(印判代金請取)	年未詳10月13日	竪切紙	1通	印判師森田与七→大和屋舗内源助	
16-76-2-3	覚(堺屋喜兵衛宛書状受取)	申年9月17日	竪切紙	1通	定飛脚問屋大坂屋茂兵衛→大和屋小兵衛	
16-76-2-4	覚(堺屋喜兵衛宛書状受取)	申年10月19日	竪切紙	1通	定飛脚問屋島屋佐右衛門→大和屋小兵衛	
16-76-3	[人名書付]	年月日未詳	横切紙	1通	7月14日に上野へ御仏参の覚	
16-76-4	覚(代金受取)	年未詳12月13日	横切紙	1通	かしわや三太郎→源助 鉄さや代	
16-76-5	覚(手紙差し遣しの事)	年未詳12月3日	横切紙	1通	大和屋小兵衛→備中大橋源介	
16-76-6	[捺印紙片]	年月日未詳	13.5×15.5	1枚	(印判)「開運妙見 柳島 御洗米 妙見山」	
16-76-7	覚(新札金額書付)	年未詳12月20日	横切紙	1通		
16-76-8	[新札金額書付]	年月日未詳	横切紙	1通		
16-76-9	[大橋源助宛木村庄兵衛書状]	年未詳11月26日	横継紙	1通	明朝こちらへ来訪してほしい事	袋あり(袋上書)「備中倉敷 大橋源介様 大和屋より 急事」
16-76-10	[庄兵衛宛呉服橋書状]	年未詳11月19日	横切紙	1通	倉敷一条内見いたし、はんじ帳にて内実訳を認め、色々書類を持参するので、かねての兩人へ渡してほしい事	(上書)「庄兵衛様 呉服橋 極内用事」
16-76-11	覚(代金書上)	年未詳10月27日	横継紙	1通	大丸や義八→源助	
16-76-12	覚(堺屋喜兵衛宛書状受取)	申年12月2日	竪切紙	1通	定飛脚問屋大坂屋茂兵衛→大和屋小兵衛	
16-76-13	覚(油紙包み受取)	酉年12月7日	横切紙	1通	上総屋権兵衛→源助	
16-76-14	覚(買物品書上)	年未詳8月26日	横継紙	1通	ひかや忠蔵他1名→上 文庫1つ	
16-76-15	[人名書付]	年月日未詳	横切紙	1通	備中国哲多郡井村庄屋新次郎代五八郎他2名 訴訟人と相手の名前	
16-76-16	覚(金高書上)	年未詳6月23日	横継紙	1通	大丸や義八→源助	
16-76-17	覚(受取金銀高書上)	年未詳2月1日	横切紙	1通	郡内や安左衛門→源介	
16-76-18	覚(代金受取)	年未詳5月21日	横切紙	1通	松江屋弥七他1名→井上権十郎 羽織地代他	
16-76-19	[願書]	年月日未詳	横切紙	1通	一度帰国すべきところ、難渋の始末御歎き申し上げた所、御聞済み差し出し下されたき事	下書力
16-76-20	乍恐以書付奉願上候	年月日未詳	横継紙	1通	早々帰国すべき所、国元混雑中にてこのままでは帰国できないので、この段お答えの分、奉行所へ差し出し下されたい事	下書力
16-76-21	[願書]	年月日未詳	横切紙	1通	一旦帰国すべき所、このまま帰国しては迷惑となるので、奉行所へ御差し出し下されたい事	下書力
16-76-22	[願書]	文政7年11月	横切紙	1通	連名→大草太郎右馬役所 前書の通り奉行所へ願出たいので、差し出し下されたい事	下書力
16-76-23	覚(金高書付)	年未詳9月	横切紙	1通	大丸屋→(宛名なし)	
16-76-24	覚(代金書上)	年未詳閏8月13日	横切紙	1通	まるや利介→源介	
16-76-25	覚(品物名書上)	年未詳閏8月12日	横継紙	1通	丸利→源介 亀紙袋他	
16-76-26	覚(代金受取)	年未詳閏8月14日	横継紙	1通	まるや利介→五郎右衛門 黒馬銭入代他	
16-76-27	覚(代金受取)	年未詳閏月17日	横継紙	1通	はしま屋伊右衛門→(宛名なし)	

16-76-28	覚(金高書上)	年未詳10月4日	横継紙	1通	大丸や義八→源助	
16-76-29	覚(代金受取)	年未詳10月2日	横継紙	1通	大丸や義八→源介 島八丈代他	
16-76-30	覚(代金書上)	年月日未詳	堅切紙	1通	安八郎→備中源介 あい島代他	
16-76-31	覚(代金書上)	年未詳9月28日	横継紙	1通	大丸屋義八→源助	
16-76-32	覚(品物名書上)	年月未詳28日	横継紙	1通	儀八→源介 島八丈他	
16-76-33	覚(人数書上)	申年10月19日	横継紙	1通	いせや新兵衛→倉敷村衆中	
16-76-34	覚(品物名書上)	年月未詳28日	横継紙	1通	儀八→源介 煤竹太織小袖他	
16-76-35	覚(代金受取)	年未詳2月21日	横切紙	1通	須原屋茂兵衛→(宛名なし)	
16-76-36	覚(代金書上)	年未詳4月19日	横継紙	1通	大丸や義八→源助 越後縮代他	
16-76-37	覚(代金受取)	申年11月3日	横切紙	1通	広屋茂兵衛→源介 唐更紗代他	
16-76-38	覚(代金請取)	年未詳正月26日	横継紙	1通	大坂や庄兵衛→源助 印籠矢立代	
16-76-39	覚(代金受取)	酉年正月6日	堅切紙	1通	印判屋与七→かつさや内寄 仕切判代他	
16-76-40	覚(代金請取)	酉年正月6日	堅継紙	1通	印判屋与七→かつさや内中島 印判代他	
16-76-41	覚(代金受取)	年未詳2月14日	横切紙	1通	橋本や新八→井上 八丈〇代	
16-76-42	覚(代金書上)	年未詳3月14日	横切紙	1通	大丸屋義八→源助	
16-76-43	[大橋源介宛大和屋千兵衛書状]	年未詳10月20日	横継紙	1通	本国より書状が来たので、早速来駕してほしい事	
16-76-44	[源介宛小兵衛書状]	年未詳7月16日	横切紙	1通	備前内山庄左衛門より承わり、明後18日に飛脚が出立するので、返事を下さる様にすべき事	(上書)「源介様 小兵衛」
16-76-45	[書状類]			1纏め(2通)		16-76-45-1に16-76-45-2を巻き込んで一纏め
16-76-45-1	[中島屋源助他1名宛三村立篤書状]	年未詳11月12日	横継紙	1通	扇子調達の御礼、代料は今日持参する事	
16-76-45-2	覚(銀高書上)	年未詳11月12日	横切紙	1通	立篤→源介他1名	
16-76-46	[源介宛かつさや四人書状]	年未詳11月15日	横継紙	1通	貴所様病氣に付き、明日出勤は差し控えるべきか御尋ねの所、そうすべき事	(上書)「小伝馬町三丁目 大和屋小兵衛様二而備中源介様 広小路かつさや四人 急用」
16-76-47	[大和屋備中両所宛かつさや四人書状]	年未詳11月17日	横継紙	1通	急に相談したい事が出来たので、今よりお出で下さりたい事	(上書)「大和屋備中御両所様 かつさや四人 急用」
16-76-48	[大橋源介他1名宛湯島三蔵書状]	年未詳10月1日	横継紙	1通	倉敷十蔵方へ向けて鏡入用に付いてお聞き合わせと尋ねられたので、そちらへ書状を送ったが、その後どうなったのか問い合わせ他	
16-76-49	[大橋宛植田書状]	年月未詳6日	横継紙	1通	金子返済の事	
16-76-50	覚(堺屋喜兵衛宛書状受取)	酉年12月1日	堅切紙	1通	定飛脚問屋島屋佐右衛門→大和屋小兵衛	
16-76-51	[相手方懸合・訴訟方返答控]	年月日未詳	横切紙	1通	百姓代を以後は百姓方で見立てる事他	「相手方より懸合」の下に「訴訟方懸合返答之控」を継いでいる
16-76-52	訴訟方返答懸合控	年月日未詳	横継紙	1通	庄屋・年寄について、茂右衛門・惣之助・三郎右衛門は留任、七太夫・彦七郎は退役させ、後役は百姓一同相談の上で決めるべき事	
16-76-53	覚(堺屋喜兵衛宛書状受取)	酉年12月6日	堅切紙	1通	定飛脚問屋島屋佐右衛門→大和屋小兵衛	
16-76-54	[訴訟に付き書付]	年月日未詳	横継紙	1通	一同相談の上、七太夫を退役させ、後役は彦七以外の年寄から年番で勤めさせたい事他	
16-76-55	[大橋源助宛大和屋小兵衛書状]	年未詳6月19日	横切紙	1通	国元より急用の書状到達、そちらへ持参させるので賃金を払ってほしい事	(上書)「上野広小路上総屋権兵衛様二而 大橋源助様 小伝三大和屋小兵衛 急用書」
16-76-56	[日蓮宗題目書付]	年月日未詳	横切紙	1通		
16-76-57	覚(代金書上)	年未詳9月18日	横継紙	1通	まつ坂屋久兵衛→源助 羽織地代等	
16-76-58	覚(代金受取)	年未詳10月15日	横継紙	1通	庄八→源介 花色秩父代等	
16-76-59	覚(代金書上)	年未詳9月25日	横継紙	1通	白木屋忠助他1名→源助 白秩父代等	
16-76-60	[大橋源助宛木村庄兵衛書状]	年未詳10月17日	横継紙	1通	御内義様逝去に付きお悔やみの事	(上書)「大橋源助様 木村庄兵衛 尊下」
16-76-61	[大橋源介宛大和屋小兵衛書状]	年未詳5月29日	横切紙	1通	無心に付き早速御届け、受領書を下されたい事 酒代御無心に付き、相手方へ急ぐのか承りたい事	(上書)「大橋源介様 大和屋小兵衛 用事」
16-76-62	[大橋源助宛大和屋小兵衛書状]	年未詳8月3日	横継紙	1通	在所より書状が来たので、御届けの事	(上書)「備中大橋源介様 大和屋小兵衛 内用事」
16-76-63	[大橋源介宛大和屋小兵衛書状]	年未詳7月晦日	横切紙	1通	一寸お出で下されたい事	(上書)「大橋源介様 大和屋小兵衛」
16-76-64	覚(代金品名書上)	年未詳9月19日	横継紙	1通	松坂屋久兵衛→源助 小紋袖	
16-76-65	覚(代金書上)	年未詳9月25日	横切紙	1通	白木屋忠助他1名→源助 白緋太織代等	
16-76-66	覚(金子受取)	年未詳9月23日	横切紙	1通	遠州屋助三郎→源介	
16-76-67	[源介宛大小書状]	年未詳9月21日	堅継紙	1通	御本在書状御届けの事他	(上書)「源介様 大小」
16-76-68	覚(代金受取)	年未詳4月1日	横切紙	1通	新八→源助 八丈袖代等	
16-76-69	覚(代金書上)	年未詳9月3日	横継紙	1通	大丸屋義八→源助	
16-76-70	覚(代金受取)	年未詳8月	横継紙	1通	新八→源助 八丈袖代等	
16-76-71	[大橋源介宛大和屋小兵衛書状]	年未詳6月7日	横切紙	1通	相手方が出府したのか知りたいが、本宅へ仮越し引き移るので、御無沙汰していた事	(上書)「大橋源介様 大和屋小兵衛 貴下」
16-76-72	覚(代金受取)	酉年8月3日	横継紙	1通	ちゝみ屋重兵衛→源輔 生ちゝみ代	
16-76-73	覚(代金受取)	年未詳6月8日	横継紙	1通	松坂屋久兵衛→源助 越後上布代等	
16-76-74	当事身ノうへ	年未詳4月5日	堅切紙	1通	斎藤安次考 運勢占い力	
16-76-75	覚(代金受取)	年未詳12月12日	堅切紙	1通	印判師安藤久右衛門→上 印判代	
16-76-76	覚(代金書上)	年未詳12月12日	横切紙	1通	大丸屋新八→源助	
16-76-77	覚(代金書上)	申年12月16日	横継紙	1通	大丸屋〇五郎→源助	
16-76-78	覚(代金書上)	年未詳12月	横切紙	1通	はし本や庄八→井上権十郎	
16-76-79	覚(代金書上)	年未詳12月	横継紙	1通	松坂や栄助→源助	
16-76-80	[大橋平蔵宛大橋源介書状]	年未詳11月23日	横継紙	1通	訴訟の為、帰国できない件に付き説明	
16-76-81	[源介宛大和屋小兵衛書状]	年未詳11月28日	横切紙	1通	代金報知の事	(上書)「源介様 大和屋小兵衛 〇」

16-76-82	覚(代金書上)	年未詳11月25日	横継紙	1通	大丸屋〇五郎→源助	
16-77	[大橋宛ひとし書状]	年月日未詳	横切紙	1通	御出で下されたい事	(上書)「大橋様 ひとし 拝答」
16-78	口上(一円混雑に付き訳知らず、何も聞いていない事)	年未詳2月2日	横切紙	1通	しつ蔵→源介	(上書)「源介様 しつ蔵 内書」
16-79	口上(御出勤願)	年未詳正月28日	横切紙	1通	寿助→源助他1名	(上書)「源助様 惣平様 寿助」
16-80	[括り紐・袋類]			1袋(4点)		前後の文書との関係が判断できなかったため、中性紙の封筒に入れて、単独の番号を振る
16-81	持簿 丙	年月日未詳	小・横長	1冊		
16-82	[書状類]			1括り(36通5纏め)		16-82-1~41紙綴りで一括り
16-82-1	[大橋父宛大橋大介書状]	年未詳正月5日	横折紙	1通	新年の挨拶、帰国を待っている事等	
16-82-2	[父宛大助他1名書状]	年未詳7月11日	横切紙	1通	近況報告、安藤氏へ持越の荷物を添えるので届けてほしい事	(上書)「七月十三日発 八月朔日着 小伝」
16-82-3	[大橋父宛大橋大介書状]	年未詳7月11日	横切紙	1通	母大病の事	
16-82-4	[大橋父宛大助他2名書状]	年未詳9月9日	横継紙	1通	祭礼の様子報告他	(上書)「九月九日出 九月廿一日着」
16-82-5	[書状類]			1纏め(2通)		16-82-5-1に16-82-5-2が巻き込まれて一纏め
16-82-5-1	[父宛大助他1名書状]	年未詳7月16日	横継紙	1通	沢島屋親子について報告の事	(上書)「八月三日着」
16-82-5-2	[父宛大助他1名書状]	年未詳7月15日	横継紙	1通	近況報告の事	
16-82-6	[父宛大介書状]	年未詳9月29日	横切紙	1通	母死去に付き、お帰り下さる事	(上書)「小伝馬町 大和屋小兵衛様二而 大橋御父様 倉敷大介 残多十月九日着」 (上書)「六月廿三日出 七月十六日 岡山〇〇庄右衛門様より届ク」
16-82-7	[大橋父宛大助他1名書状]	年未詳6月18日	横継紙	1通	母上容体の事他	(上書)「六月廿三日出 七月十六日着」
16-82-8	[父宛大介他1名書状]	年未詳6月29日	横継紙	1通	母上大病等近況報告の事	(上書)「六月廿三日出 七月十六日着」
16-82-9	[大橋父宛大助他1名書状]	年未詳6月23日	横継紙	1通	1人ばかり着府の事に付き不審の事他近況報告	(上書)「六月廿三日出 七月十六日着」
16-82-10	[大橋父宛大助他2名書状]	年未詳7月3日	横継紙	1通	母の容体等、近況報告	(上書)「七月三日夕認 七月十八日 留吉 持参」
16-82-11	[大橋父宛大介他1名書状]	年未詳11月5日	横継紙	1通	お勤め中ではあるが、一度帰国願いたい事	(上書)「十一月廿日届ク」
16-82-12	[書状類]			1纏め(3通)		未開封だったが開封した 16-82-12-1に16-82-12-2~3が巻かれて一纏めになっている
16-82-12-1	[旦那宛文助書状]	年未詳11月6日	横継紙	1通	9月初旬の浪籍の事に付き報告等	(上書)「大橋旦那様 文助 尊下 十二月朔日着」
16-82-12-2	[大橋父宛大介他1名書状]	年未詳11月16日	横切紙	1通	今便書状を差し上げたかったが時間がなく、広江屋に頼んだ事	(上書)「大橋父上様 大介 喜久太 十二月朔日入」
16-82-12-3	[旦那宛文助他2名書状]	年未詳11月5日	横継紙	1通(2枚)	近況報告の事	(上書)「大橋源介様 大黒屋文助 尊下 十二月一日入」
16-82-13	[書状類]			1纏め(3通)		16-82-13-1に16-82-13-2~3までが巻き込まれて一纏め
16-82-13-1	[大橋源介宛文助他1名書状]	年未詳8月15日	横継紙	1通(2枚)	郡中高懸り10ヶ年以來取り調べの件に付き報告の事	(上書)「〇 九月三日届」
16-82-13-2	[源介宛は書状]	年月日未詳	横継紙	1通	近況報告の事	(上書)「江戸源介との 暮らしきはより〇用 九月三日届」 (上書)「大橋御父上様 増 〇世世上候御中 内山より 九月三日届」
16-82-13-3	[大橋父宛増書状]	年月日未詳	横継紙	1通	近況報告の事	
16-82-14	御内意(格別諸雑費がいると思われるので、余分に入れ増す事)	年未詳7月20日	横切紙	1通	きく太他1名一父	
16-82-15	[大橋父宛大橋大介書状]	年未詳6月23日	横継紙	1通	母大病に付き至急帰ってほしい事	(上書)「大橋父様 大橋大介 貴下 七月十六日着」 (上書)「源介との はより 用事 四月八日達ス 茜之状へ入来ル」
16-82-16	[源介宛は書状]	年月日未詳	横切紙	1通	近況報告等	
16-82-17	[大橋父宛大橋大助他1名書状]	年未詳7月21日	横継紙	1通	門訴一件に付き吟味の様子報告他	(上書)「七月廿一日認 同廿三日出 八月十一日着」
16-82-18	[大橋父宛大助他1名書状]	年未詳5月16日	横継紙	1通	当地大騒動に付き吟味の様子報告他	(上書)「五月十六日出 喜久太 五月廿九日着」 (上書)「大橋源助様 秋庭五一兵衛 秋岡保太郎 中原治郎 〇下 五月九日認メ 五月十六日出 同廿九日着」
16-82-19	[大橋源助宛秋岡保太郎他2名書状]	年未詳5月9日	横継紙	1通(2枚)	挨拶・近況報告	(上書)「源介との 母より 五月廿九日到着」
16-82-20	[源介宛母書状]	年未詳5月11日	横切紙	1通	おつよには見舞いがてら返事を書くべき事他	(上書)「五月廿八日出 寿介〇〇出候由 大和屋より 六月廿一日着」
16-82-21	[大橋父宛大助他1名書状]	年未詳5月28日	横継紙	1通(2枚)	本家伯父病気に付き帰国すべき事他	
16-82-22	[書状]	年未詳3月24日	横継紙	1通	去る21日、役所へ2、300人が詰め入った件に付き取り噺い内熟の事について報告	(上書)「三月廿四日出 四月十八日 安藤七より達ス」
16-82-23	[書状]	年未詳8月23日	横継紙	1通	21日に2、300人が詰めかけた件に付き相談をされた事等報告	(上書)「三月廿四日出 四月十八日 安藤長より達ス」
16-82-24	[父宛中島屋大介書状]	年未詳5月1日	横継紙	1通(2枚)	この間、役所より村役人へ急いで発足するようことの指示があったとの事	(上書)「大橋父様 同大介 至下 五月廿六日 備前安藤より来ル」 (上書)「四月廿四日認 五月六日出之書状江封込 五月十六日 安藤より届」
16-82-25	[大橋父宛大介他1名書状]	年未詳4月28日	横継紙	1通(3枚)	村方大騒動に付き吟味の事など報告	(上書)「五月九日出 但し貞蔵 十蔵 文助 喜久太 藤兵衛連名 同十九日大和屋小兵衛より届ク」
16-82-26	[源介宛貞蔵他7名書状]	年未詳5月9日	横継紙	1通	先日の門前の騒ぎや江戸の駕訴の事で代官の吟味があった事、庄屋七太夫ら出立の事等報告	
16-82-27	[大橋源助宛書状類]			1纏め(2通)		16-82-27-1に16-82-27-2が巻き込まれて一纏め
16-82-27-1	[大橋源助宛大舟屋文助書状]	年未詳9月10日	横継紙	1通	十倉様屋敷にて相談の件等報告	(上書)「九月十日出ス 九月廿九日備前田中様より相届ク」
16-82-27-2	[大橋源介宛同喜久太他2名書状]	年未詳9月11日	横継紙	1通	西のうら新開が大風を受け故障に付き、立ち合いの節に取り定めるべき事等	(上書)「大橋源介様 同喜久太 大輔 〇蔵 要用貴下」 (上書)「大橋源介様 倉敷大橋大助 大急用 七月廿八日晚認メ 八月十五日届」
16-82-28	[大橋父宛大橋大助書状]	年未詳7月28日	横切紙	1通	関東へ4、5人程参る事に付き、皆様御用心第一の事等	
16-82-29	[大橋父宛大助他1名書状]	年未詳正月15日	横切紙	1通(2枚)	本家伯父大病に付き至急帰国願う事等	
16-82-30	[大橋父宛同喜久太書状]	年未詳12月22日	横継紙	1通	小作方は十蔵とも相談をして取り計らっているが、少々悪算用に見える事他	(上書)「大橋父上様 喜久太 西二月二日 備前屋敷より届ク」
16-82-31	[書状類]			1纏め(3通)		16-82-31-1に16-82-31-2~3まで巻き込まれて一纏め

16-82-31-1	[喜久太宛父書状]	年未詳正月12日	横切紙	1通(3枚)	印判調えの件は、実名にすべく西村氏に頼んでいるが、書状が中々滞っている様なので、今また差し上げ申し依頼する事他	
16-82-31-2	[書付]	年月日未詳	横切紙	1通	「金性 通字法 通護 帰納ト 兎」	
16-82-31-3	[大橋父宛ます書状]	年未詳正月12日	横継紙	1通	近況報告の事	
16-82-32	[大橋父宛大橋大介書状]	年未詳3月26日	横切紙	1通(2枚)	御機嫌伺いの事	(上書)「江戸小伝馬町三丁目 大和屋小兵衛様二而 大橋父上様 備中倉敷二而 大橋大介 貴下」
16-82-33	[父宛喜久太書状]	年未詳正月18日	横切紙	1通(2枚)	伯父病気の事などもあるので、早く帰国を望む事他	(上書)「酉正月十八日出 二月四日着」
16-82-34	[大橋源助宛中嶋屋喜久太書状]	年未詳2月20日	横継紙	1通	矢掛伯父より一先帰国する様に言わせており、伯父は待ち兼ねている事他	(上書)「御大人へ御聽二入候文送」
16-82-35	[大橋父宛喜久太他1名書状]	年未詳正月20日	横継紙	1通	近況報告の事	
16-82-36	[父宛きく書状]	年未詳2月23日	横切紙	1通	夜前に本家より見廻りが来て、老人より御咄があった事他	
16-82-37	[大橋父宛きく太書状]	年未詳3月26日	横継紙	1通	村役人が出府しない件について報告の事他	
16-82-38	[父宛喜久太書状]	年未詳2月14日	横切紙	1通	おます安産の事他	(上書)「四月八日達ス 茜屋状へ入来ル」
16-82-39	[大橋源助宛同喜久太書状]	年未詳正月12日	横継紙	1通	海船へ積み越しの荷物は、先月22日に帰帆した事他	(上書)「大橋源助様 同喜久太 達〇 酉二月三日出 同廿日達ス」
16-82-40	[源介宛母書状]	年月日未詳	横切紙	1通	惣平顔もと悪しき事他報告	
16-82-41	[父宛喜久太書状]	年未詳閏8月18日	横継紙	1通	大介病気の件に付き報告の事	(上書)「申九月八日着」
16-83	乍恐以書付奉申上候			1括り(6通)		16-83-1~6紙紐で一括り
16-83-1	乍恐以書付奉申上候	寅年12月	縦継紙	1通	「桂介より私共不細依之趣旨作配難受段」一件について取締願い 倉敷村年寄源介・甚四郎・平右衛門→倉敷御役所	(端裏書)「寅十二月十五日差出候書付控」「奥書は無之候」の書付あり
16-83-2	乍恐以書付奉申上候	年未詳12月11日	横継紙	1通	「桂助より私共不細依之趣二而種々悪訴仕候」一件についての案文	(端裏書)「十二月十一日御理解有之候付認候へ共考不行届二付相止メ候事」
16-83-3	乍恐以書付申上候	寅年12月10日	縦継紙	1通	先出入後の済口議定の通り先役一同退役 水沢常太郎始め十二人が跡役となったが平右衛門、源介、甚四郎へ不細依の申立についての取締りを願う	(端裏書)「寅十二月十日差出可申存認候処 平右衛門 添削之分 差出不申候」
16-83-4	乍恐以書附奉願上候	寅年12月10日	縦継紙	1通	平右衛門、甚四郎、源介の退役を願う訴えについて 三郎右衛門、彦七郎、桂助の三人を一緒に奉行所に差出す様に願う	(端裏書)「寅十二月十日広田相認め候分 同十一日御呼出し二付差出不申候」
16-83-5	乍恐以書付奉申上候	寅年12月15日	縦継紙	1通	年寄平右衛門外式人へ対する桂助よりの訴えについて取締りを願う案文	(端裏書)「寅十二月十五日差出可申存認候得共文義不宜故相止メ別紙控之通差出候」
16-83-6	乍恐以書付奉申上候	寅年12月10日	縦継紙	1通	先出入後済口議定の通り先役人は退役、跡役を勤めてきたが先役のもの共不細依につき取締りを願う	(端裏書)「寅十二月十日相認め差出可申存候処十一日御呼出し二付差出不申候」
16-84	[書状]			1袋(1包1括り)		16-84-1~2一袋 (袋上書)「文政九戌三月惣平十蔵出立前後より一切 要用 書状 江戸状入」袋破損の為SILティッシュで包む
16-84-1	[曆及び書状]			1包(1括り1纏め)		16-84-1-1~2一包 書状の包紙を転用(包紙上書)「備中倉敷 大橋源助様 広小路井上権太郎 戌七月五日夜認め」包紙が小さい為SILティッシュの紐で括る
16-84-1-1	[大・小月の曆]	年月日未詳	10.3×23.3	1纏め(10枚)	上野廣小路井上権十郎製	摺物 同じものが十枚重ねて一纏めにされている 一枚ずつカードを取るの煩瑣な為一括して取る
16-84-1-2	[書状一括]			1括り(25通1纏め1包)		16-84-1-2-1~27紙紐で一括り
16-84-1-2-1	[源介宛平右衛門書状]	年月未詳28日	横切紙	1通	甚太夫より今朝の出立を延引してくれる様にとの内意に付き様子をたずねる	(上書)「源介様 平蔵 内用」
16-84-1-2-2	[中島屋源助宛浜田屋安右衛門書状]	年未詳4月10日	横切紙	1通	役所より人別帳面を差出す様に仰付けられたが先達で御噂の豪太郎(カ)様入帳の願書を出してはどうか	(上書)「中島屋源助様 浜田屋安右衛門 貴下要用」
16-84-1-2-3	[中嶋宛謨文書状]	年未詳4月9日	横継紙	1通	東行御状受取のこと 来着の日数は凡十四五日もかかる	(上書)「中嶋さま 謨丈 貴答」
16-84-1-2-4	[大橋源介宛十蔵書状]	年未詳3月20日	横切紙	1通	これから乗船の予定を知らせる 新田 里之助が蕎麦より持参金を預かった由	(上書)「大橋源介様 十蔵 要用」
16-84-1-2-5	覚(出府旅用金受取)	文政9年3月15日	横切紙	1通	あかね屋惣平→中嶋屋貞蔵	
16-84-1-2-6	[源助宛惣平書状]	年月未詳6日	横継紙	1通	風邪の見舞及び東都よりの書状を見せてほしい	(上書)「源助様 只今帰り申候 惣平 用書」
16-84-1-2-7	[中島屋源助宛広田屋藤左衛門書状]	年未詳4月4日	横切紙	1通	先日の腹痛による失敬をわびる 差添人旅用の内弁金貳両請取のこと	(上書)「中島屋源助様 広田屋藤左衛門」
16-84-1-2-8	[源助宛平蔵書状]	年月未詳1日	横切紙	1通	二三日の内に金子を御頼みしたい	(上書)「源助様 平蔵」
16-84-1-2-9	[年寄役取極について]	年月日未詳	横切紙	1通		
16-84-1-2-10	[中島屋源助宛濱田屋安右衛門書状]	年未詳3月28日	横切紙	1通	仏事の差添人由蔵について困っているので相談したい 手透になつたら知らせてほしい	(上書)「中島屋源助様 濱田屋安右衛門 御答不及」
16-84-1-2-11	[御新宅宛謨文書状]	年月日未詳	横切紙	1通	明早朝東都へ書状を遣わすので用向があれば新宅まで御越し願いたい	(上書)「御新宅様 謨丈」
16-84-1-2-12	覚(庄屋・年寄・百姓代・水夫銀について取極め)	年月日未詳	横継紙	1通		
16-84-1-2-13	[文政四巳年分連印人名書付]	文政4年	横切紙	1通		
16-84-1-2-14	[大橋宛大和屋書状]	年未詳12月10日	横継紙	1通	吟味中の一件については来二月十五日迄双方共帰村のこと 又一同首尾宜敷願い通りになっていること	
16-84-1-2-15	[源助宛安右衛門書状]	年月未詳23日	横切紙	1通	明昼前茜屋まで御入来を願う	(上書)「源助様 安右衛門 御答用書」
16-84-1-2-16	[屋号及び人名書付]	年月日未詳	横切紙	1通		
16-84-1-2-17	[小山宛大はし書状]	年月未詳28日	横切紙	1通	由之助の件については「広田初外様手前御相談」の上宜敷取計らってほしい	(上書)「小山君 大はし 御答」
16-84-1-2-18	相手方より掛合候控	年月日未詳	横切紙	1通(2枚)	庄屋・年寄・百姓代の取極めについて	2枚が紙紐で括られている
16-84-1-2-19	覚(江戸行並便り賃受取)	年未詳4月9日	横切紙	1通	謨丈→中嶋	

16-84-1-2-20	[大橋源助宛坐下飯汁籠書状]	年未詳2月14日	横切紙	1通	高砂を貸してくれる様に依頼	(上書)「大橋源助様 貴下 坐下飯汁籠」
16-84-1-2-21	[源助宛真津蔵書状]	年月未詳16日	横継紙	1通	今朝郡屋へ行ったが出遣いで何も分らない 後刻迄には分るので返事があり次第御左右申上げる	(上書)「源助様 貴下 真津蔵」
16-84-1-2-22	[大橋源助宛書状]			1纏め(3通)		16-84-1-2-22-1~3までが巻かれて一纏め
16-84-1-2-22-1	[大橋源介宛十蔵書状]	成年4月8日	横継紙	1通	四月四日道中恙なく到着のこと 奉行所での吟味の様子報告	(上書)「大橋源介様 同十蔵 平安要用」「從江戸 戌四月廿日着」
16-84-1-2-22-2	[大橋源助宛惣平・十蔵書状]	成年4月8日	横継紙	1通	四月四日着府を知らせる 御支配役所奉行所の御尋ねの様子 辻入用金の報告及び軍用金として百金計り差向依頼	(上書)「大橋源助様 由良惣平 大橋十蔵 要用」「大はし様 從江戸 戌四月廿日着」
16-84-1-2-22-3	[書状]	年月日未詳	横切紙	1通	金子の件については御連中にも申遣しているが貴所様も立会相談の上先達ての百金とは別に百金差向けてくれる様に依頼 滞留している者の様子を報告	大橋源助宛惣平・十蔵の書状と一連のものと思われるが書き出しに「貴所様之手紙ハ内分ニ而」との書付があり16-84-1-2-22-2とは別紙となっている
16-84-1-2-23	[中島屋源介・茜屋惣平宛広田屋利右衛門書状]	年未詳3月6日	横継紙	1通	「出府御指日は相過候得ハ」急々の出府を促す	包紙あり(包紙上書)「中島屋源介様 茜屋惣平様 広田屋利右衛門 大急用」(包紙裏書)「自東武」
16-84-1-2-24	[駄賃書付]	年月日未詳	横切紙	1通		
16-84-1-2-25	[東都より帰国之節歎び候人名及屋号書付控]	年月日未詳	横折紙	1通		(上書)「東都より帰国之節歎び候控」
16-84-1-2-26	乍恐以書附奉御窺候	年未詳3月15日	縦紙	1通	持地高の増減がないのに目録辻が式斗三升余増米になっている件について尋ねる	(端裏書)「藤左衛門下書致郡屋治郎右衛門へ相渡し候由 同右衛門より相談有之二付控置 三月十五日」
16-84-1-2-27	[宗門受状覚]			1包(13通)		16-84-1-2-27-1~13一包 包紙あり 包紙の裏に書付あり「福山屋二送り願中二御座候由、下札之分左様御承知可被下候 其外者出入無御座由 八浜屋より夜前 広田屋迄申参り候」
16-84-1-2-27-1	[中嶋屋源介宛下津井屋吉左衛門書状]	年未詳4月16日	横切紙	1通	去年の宗門帳に訳(ママ)りかねることがあるので念の為尋ねる	(上書)「下津井屋吉左衛門 下 中嶋屋源介様 上 内事」
16-84-1-2-27-2	宗門受状之覚	成年4月11日	横切紙	1通	真言宗 観龍寺 広右衛門一家六人分	
16-84-1-2-27-3	覚(宗門受状)	成年4月	横切紙	1通	浄土真宗 教善寺 熊吉一家五人分	
16-84-1-2-27-4	[宗門受状之覚]	年月日未詳	横切紙	1通	観龍寺 みと一家三人分	
16-84-1-2-27-5	覚(宗門受状)	成年4月11日	横切紙	1通	真言宗 観龍寺 喜久蔵一家三人分	
16-84-1-2-27-6	[宗門受状覚]	年月日未詳	横切紙	1通	真言宗 紋次郎一家三人分 浄土宗 庄蔵一家三人分	
16-84-1-2-27-7	覚(宗門受状)	文政9年4月	横切紙	1通	観龍寺 永吉一家四人分	
16-84-1-2-27-8	覚(宗門受状)	年月日未詳	横切紙	1通	観龍寺 左平次一家三人分 本永寺 武吉一家二人分	
16-84-1-2-27-9	[宗門受状覚]	年月日未詳	横切紙	1通	観龍寺 常太郎一家五人分	
16-84-1-2-27-10	[屋号・氏名・年令書付]	年月日未詳	横切紙	1通		
16-84-1-2-27-11	口上(宗門受状)	年月日未詳	横切紙	1通	真言宗 観龍寺 藤兵衛一家五人分	
16-84-1-2-27-12	[宗門受状覚]	年月日未詳	横切紙	1通	観龍寺 与兵衛一家六人分	
16-84-1-2-27-13	[宗門受状覚]	文政9年4月	横継紙	1通	真言宗 地蔵院 忠介一家六人分 真言宗 地蔵院 忠次郎一家七人分 真言宗 地蔵院 文助一家七人分	
16-84-2	[書状一括]			1纏め(1袋10通 1括り)		16-84-2-1~12紙綴りで一括り
16-84-2-1	[書状一括]			1括り(25通1枚)		16-84-2-1-1~26紙紐で一括り
16-84-2-1-1	[源助宛飯汁郎書状]	年月未詳14日	横切紙	1通	病人見舞及び東武より書状送付添状	(上書)「源助様 飯汁郎 座下」
16-84-2-1-2	[大橋源助宛由良惣平書状]	年未詳8月12日	横継紙	1通(3枚)	滞府の様子報告 一条内済に付き議定差出しのこと 庄屋・年寄・百姓代選出方法について	(端裏書)「八月十二日出 廿三日夜着」 濟口の写の部分が切除された為に3枚となった力
16-84-2-1-3	[中嶋屋源助宛郡屋治郎右衛門書状]	年未詳4月4日	縦紙	1通	年貢米について目録辻が増米になっていることについての訳をたずねる為の書面について意見を求める	包紙あり(包紙上書)「中嶋屋源助様 郡屋治郎右衛門 内用」
16-84-2-1-4	[植田藤左衛門・小山安右衛門宛惣平・十蔵書状]	年未詳4月8日	横継紙	1通	着府したことの報知及び訴訟の状況報知 旅用金の精算及び百金か貳百金の差向依頼	(上書)「植田藤左衛門様 小山安右衛門様 惣平 十蔵」
16-84-2-1-5	[中嶋屋源助宛濱田屋安右衛門書状]	年未詳8月2日	横継紙	1通	先の廻文について内談の件は延引するので御透の時を知らせてほしい 又印状金子の件についてはいかが思召か	(上書)「中嶋屋源助宛濱田屋安右衛門 内用」
16-84-2-1-6	[大橋源介宛由良惣平書状]	年未詳7月20日	横継紙	1通(2枚)	自分の病状報告 金子の件については連名状を遣わすので然るべく賢慮を希う 西の丸御姫様御隠れに付き吟味延引のこと 他東都の近況	封筒あり(封筒表書)「大橋源介様 由良惣平 平安急要事」(封筒裏書)「七月十九日出 從東都小伝馬丁」(端裏書)「七月廿八日着」
16-84-2-1-7	[中嶋屋源介宛内田屋五郎右衛門書状]	年未詳7月5日	横継紙	1通	一件「長引困入候義」に付き「出府相成申間敷哉」	(上書)「中嶋屋源介様 内田屋五郎右衛門 要用」
16-84-2-1-8	[大橋源介宛同十蔵書状]	年未詳7月11日	横継紙	1通	おます様、徳蔵、金助への見舞 一件は能登守様御死去に付き九日より停止 今日迄御召出しもない	封筒あり(封筒表書)「備中倉敷大橋源介様 東武ヨリ同十蔵 平安要用」(封筒裏書)「七月十一日 小伝馬三町目 大和屋より」(上書)「大橋源介様 同十蔵 平安要用」(七月八日着)



16-84-2-1-9	[封筒]	年月日未詳	16.6×5.3	1枚		封筒のみ(封筒表書)「大橋源助様 由良惣平 平安要事」(封筒裏書)「從 東都旅館」
16-84-2-1-10	[大橋源介宛由良惣平書状]	年未詳7月3日	横継紙	1通	愚老病氣も快復のこと	(端裏書)「七月十四日 長濱より着」
16-84-2-1-11	[大橋源介宛大橋十蔵書状]	年未詳7月5日	横継紙	1通	明六日下又一同様発足、御地へ御出役の趣	封筒あり(封筒表書)「大橋源介様 大橋十蔵 平安要用」 「下又一様 御発駕之時遣し度候処 出立早く依之今般さし上候 惣方よりハ御 同人便りテ参候へとも壯平同様別ニさし上候 却而是が早く可到着 と存候」(端裏書)「七月十九日届」
16-84-2-1-12	[書状]	年未詳7月5日	横継紙	1通	下又一様御発駕、内藤様も御同伴、その下男喜兵衛について風聞など	宛名・差出人不詳 (端裏書)「はし様 七月十九日着」(上書)「下様御発駕へ積度と存候へとも 用捨いたし候」
16-84-2-1-13	[大橋源助宛十蔵書状]	成年7月8日	横継紙	1通	一件が当月二日破談に及んだことについて御掛様よりのおたずねについて	(上書)「大橋源助様 東武 同十蔵 平安要用」 「戌七月十九日朝着」
16-84-2-1-14	[源介宛良策書状]	年未詳7月10日	横切紙	1通	銀子三四百目を霜月迄取替願ひ	(上書)「源介様 机下 良策」
16-84-2-1-15	[中島屋源介宛定七書状]	年未詳7月13日	横継紙	1通	残金返却の益後早々迄の延引と亦々の無心を願う	(上書)「中島屋源介様 福島屋定七 当用」
16-84-2-1-16	[大はし宛惣平書状]	年未詳7月3日	横継紙	1通	下又一様七月六日御発駕、廿五六日頃着陣のこと 権十郎へ面談の序に連中より与次兵衛へ見せ度き心得書のことについて他	(端裏書)「七月十四日長濱より着」
16-84-2-1-17	[大橋源介宛十蔵書状]	年未詳6月9日	横継紙	1通(2枚)	私宅への役介を謝す 六月朔日御家へ罷出受取った高式拾金の仕向内訳 廿六日訴答とも御呼出しの折の報告他	封筒あり(封筒表書)「備中倉敷大橋源助様 從東都 同十蔵 平安要用」 (封筒裏書)「六月十五日出ス」
16-84-2-1-18	[大橋源介宛由良惣平書状]	年未詳7月6日	横継紙	1通	在府中の近況報告 金子五両受取の礼	封筒あり(封筒表書)「大橋源介様 由良惣平 急用平安」(封筒裏書)「六月六日 從東都上野広小路井上権十郎より 両日之内小伝馬丁へ引取候間 以後ハやま小へ御差向可被下候」(端裏書)「北大はし様 六月十五日出 七月朔日着」
16-84-2-1-19	[大橋源介宛由良惣平書状]	年未詳6月21日	横継紙	1通	愚老病氣快方のこと 掛引の近況報告	封筒あり(封筒表書)「大橋源介様 由良惣平 平安用事」(封筒裏書)「六月廿一日発 從小伝馬丁やまとより」(端裏書)「北大橋様 七月三日着」
16-84-2-1-20	[大橋源介宛十蔵書状]	年未詳6月21日	横継紙	1通	留守宅役介の礼 訴訟方趣意書差出しについて 辻金はなく益も近づくので謝義もいる為借金の相談をしている	封筒あり(封筒表書)「倉子城 大橋源介様 東武 同十蔵 平安要用」
16-84-2-1-21	[源介宛定七書状]	年未詳7月10日	横継紙	1通	病氣見舞 切手代残銀延引ながら今夕は帰ると思うので廻り次第差上げのこと	(上書)「中島屋源介様 福山屋定七 貴報」
16-84-2-1-22	[取り極め書付]	年月日未詳	横継紙	1通	去ル午歳庄屋年寄百姓代退役及び跡役取究めの次第について郡中銀割賦について	(端裏書)「七月十九日着」
16-84-2-1-23	[中嶋屋源助宛屋吹清次右衛門書状]	年未詳正月	横折紙	1通	新年あいさつ 宮一件については屋夜油断なき様に	包紙あり(包紙上書)「中嶋屋源介様 屋吹清次右衛門 参人々御中」
16-84-2-1-24	[源助宛真津蔵書状]	年月未詳13日	横切紙	1通	此吉由蔵一条に付き濱田屋より聊心付を致すべきと言ってきた件については何分宜敷頼むと申遣したことを知らせる	(上書)「源助様 真津蔵 内用書」未開封 調査の為開封する
16-84-2-1-25	[大橋源助宛由良惣平書状]	年未詳7月8日	横継紙	1通	今朝下又一様内藤為蔵様、家来喜兵衛召連れ御発駕のこと 出入之義は七太夫心得書も一覽したが内済にはなり難い	(端裏書)「大はし様 七月十九日着」
16-84-2-1-26	覚(書状・団扇請取)	年未詳7月28日	横切紙	1通	利右衛門よりの書状巻通 上総屋より団扇三本 向市場広田屋一井上町中島屋	
16-84-2-2	[大橋十蔵宛由良惣平書状]	年未詳4月24日	横継紙	1通	雨天の為東海道川支の為か由之助はいまだ着府していない一件について高梨の理解によれば相手役人とも銀子が続かない為一同退役と決すれば内済にしたい由他	(端裏書)「源介様 四月廿四日出 五月六日着」
16-84-2-3	[書状]	年未詳4月25日	横継紙	1通	門訴御裁許について「はやく可有之とも」思えないが「相しれ不申」跡役については御賢慮の上「御地ニ而済口」になる様取計ってほしい	(端裏書)「四月四日出 五月六日着」宛名・差出人不詳
16-84-2-4	[藤左衛門・八郎右衛門他2名宛惣平・十蔵書状]	年未詳4月8日	横継紙	1通	私共兩人当月四日着府のこと 五右衛門が今以て快気しないのであれば「替り合のもの」を早々差向けてほしい他	(端裏書)「江戸兩人より 四月八日出 同廿日着」
16-84-2-5	[大橋屋文助宛十蔵書状]	年未詳5月29日	横継紙	1通	「先達而申上候金子」を受取り大悦のこと	(上書)「大橋屋文助様 江戸 十蔵 内用答」
16-84-2-6	[中島屋源介宛中嶋幸之介]	年未詳6月2日	横継紙	1通	金子貳拾兩櫃に受取、昨朔日御渡しのこと 受取書は「愚父共より差出」しのこと	包紙あり(包紙上書)「備中倉舗にて 中嶋屋源介様 田中内記内 中嶋屋幸之介 要用」(包紙裏書)「六月二日発 從江戸」 「六月二日出 十五日届」
16-84-2-7	[大橋源助宛十蔵書状]			1袋(3通)		16-84-2-7-1~3一袋 封筒あり(封筒表書)「倉敷 大橋源助様 從東都 同十蔵 無異要用」
16-84-2-7-1	[大橋源助宛十蔵書状]	成年5月18日	横継紙	1通(2枚)	与次兵衛は五月朔日に到着ながら未だ奉行所への御届けもしていないことなど一件の進行状況の報告	(上書)「大橋源助様 同十蔵 御内覧可被下候」 「五月十八日出 六月四日着」
16-84-2-7-2	[大橋源介宛由良惣平書状]	成年5月19日	横切紙	1通	在府連中皆々安全のこと 半十を召連れ出府してくれる様に願う	(端裏書)「大はし様 五月十八日出 六月四日着」
16-84-2-7-3	[書状]	成年5月18日	横継紙	1通	日畑与次兵衛着府に付き上野連中との面会の次第	(端裏書)「大はし様 戌五月十八日出 六月四日着」
16-84-2-8	[藤左衛門・貞蔵他2名宛惣平・十蔵書状]	年未詳4月24日	横継紙	1通	十日の訴答一同呼出されたが郡中引合の者不参に付き吟味は行なわれなかったことなど一件の進行状況	(端裏書)「江戸兩人より連名状 四月廿四日出 五月六日着之写し」
16-84-2-9	[大橋源介宛大橋十蔵書状]	年未詳4月24日	横継紙	1通	銃方一件の次第について他 当地一件については当十一日御呼出し、御門訴一条口書印形を差し上げ引取のことなど	(端裏書)「四月廿四日出 五月六日着」
16-84-2-10	覚(小判請取)	年未詳5月16日	横切紙	1通	小判貳十両請取 佐々木喜市→差出人なし	
16-84-2-11	[中しま屋源助宛由良惣平・十蔵書状]	年未詳4月13日	横切紙	1通	大鉢五ツを差遣すのでそれぞれへ届けてくれる様依頼	包紙あり(包紙上書)「備中倉敷井上町 中しま屋源助様 同十蔵 平安 大鉢五個添」(包紙裏書)「卯月十三日発 從東都小伝馬丁三丁目 やまと屋小兵衛」(端裏書)「戌四月廿二日品川出帆 同廿五日備前へ帰帆 五月三日竹三郎 此書状持参」

16-84-2-12	[綱島三蔵宛大橋源介書状]	年未詳5月20日	横継紙	1通	先日の銃の件についての小兵衛よりは何の書状も不参であるが十蔵より委細は承知した 若し又此の上様子がわかれば申上げる	包紙あり(包紙上書)「綱島三蔵様 大橋源介 要用無異」 16-85-1に16-85-2が巻き込まれて一纏め 虫損あり SILティッシュで包む
16-85	[書状類]			1纏め(2通)		
16-85-1	[大はし源介宛母書状]	年未詳5月29日	横継紙	1通	養生大事にしてほしい事など	
16-85-2	[源助宛〇平蔵書状]	年未詳5月28日	横継紙	1通	宇治屋一件は敗軍になり残念の事 当家に変わりがあれば家がつぶれてしまう事	
16-86	[源介宛徳他1名書状]	年月日未詳	横継紙	1通	近況報告 1日も早く帰ってくる事	
16-87	[大はし源介宛くげ書状]	年未詳7月5日	横継紙	1通(2枚)	近況報告の事等	包紙あり
16-88	[諸書類]			1括り(8通1纏め)		16-88-1~9紙綴りで一括り
16-88-1	乍恐書付ヲ以奉申上候	未年3月	堅切紙	1通	安右衛門病気代兼惣平他5名→役所 去8月に御願いの件で同意の者共が書付を差入れ私共に御願いする様頼んだ所、訴状へ連印する様、上様より言われたが断つたので、我々だけで御願いの事	(上書)「未三月晦日差出ス書付ノ写 去秋同意の方より差入連印写ニ相添へ差上ル」
16-88-2	乍恐以書付奉願上候	文政6年2月	堅紙	1通	窪屋郡倉敷百姓代安右衛門他8名→役所 百姓代の件について願ひ上げの事は、村方一同で差し支えなき様に熟談するので、うまく治まる様取り計らってほしい事	(上書)「未三月相手方より差上候返答書写」
16-88-3	[乍恐以書付御歎奉申上候]	年月日未詳	堅紙	1通	藤右衛門煩代利右衛門親類仲助他18名→役所 上様に対し心得違ひを起こして手鎖を申し付けられた件について、御許し願ひたい事	
16-88-4	乍恐以書附御訴訟奉申上候	文政6年2月	堅継紙	1通	窪屋郡倉敷村百姓惣平他5名→大草太郎右馬役所 村役人の人事について、以前の通りにする様にと言われているが、13人が独占しておりゆづらないので、法の通りに申し付けてほしい事	(上書)「未二月差出ス願書草稿」 墨で棒引きされている
16-88-5	[張り紙の件に付き申達]	年月日未詳	堅切紙	1通	張り紙をした者を村中厳しく探し出すべき事	写し力
16-88-6	乍恐以書付奉願上候	年未詳5月	堅切紙	1通	六人→役所 植田武右衛門に庄屋役を申し付けてほしい事	(奥書)利右衛門他5名→(宛名なし)
16-88-7	[願書下書]	年未詳2月	堅切紙	1通	六人→役所 村役人と立ち会って村割の割賦を行う件について、穩便に行えるか分からないので、相当の取計人を指し入れてほしい事	(上書)「申二月廿八日書付下書」
16-88-8	[諸書類]			1纏め(1通1纏め)		16-88-8-1に16-88-8-2が巻かれて一纏め
16-88-8-1	乍恐書付を以奉願上候	年月日未詳	堅切紙	1通	村方騒動について惣百姓が一村に混じっている様は村用に差し支えるので、組み分けしてほしい事	
16-88-8-2	[書状類]			1纏め(2通)		16-88-8-2-1と16-88-8-2-2が重ねて一纏めになっている
16-88-8-2-1	[書状]	年月日未詳	横切紙	1通	別紙に思うところを書いたので、目を通してほしい事	
16-88-8-2-2	[書状]	年月未詳6日	横切紙	1通	相談したい事があるので、ちょっと来てほしい事	
16-88-9	公方様四月廿日上野へ御成拝見仕覚書	年月日未詳	堅切紙	1通	行列の配置及び人数の書付	
16-89	[金勘定書]	年月日未詳		1丁	戌八月~戌十月までの金勘定冊子断簡	
16-90	[勘定書類]			1袋(2通1括り)		16-90-1~3一袋 (袋上書)「六人辻 申八月十六日より西十二月十二日迄 在府中 御勘定書類入」
16-90-1	覚(金銭勘定書)	年月日未詳	横切紙	1通	一七両壹分貳朱ノ三匁七分四厘 大坂迄入用他	
16-90-2	[金銭勘定書覚]	年月日未詳	横切紙	1通	一八拾五両壹分貳朱 元方他	
16-90-3	[勘定関係書類]			1括り(9通1纏め)		16-90-3-1~10紙綴りで一括り
16-90-3-1	覚(申十一月廿六日より同十二月大晦日迄の勘定銀受取)	申年12月27日	横継紙	1通	上野広小路・上総屋権兵衛→備中倉敷村 利右衛門・源助・五郎右衛門・惣平・豊助・源之助	
16-90-3-2	覚(酒料請取)	酉年5月9日	横切紙	1通	東屋吉兵衛→備中倉敷衆中	
16-90-3-3	覚(ふとん代受請取)	酉年2月18日	横継紙	1通	上総屋権兵衛→利右衛門・源助・源之助・豊助・惣平	
16-90-3-4	[代銀書付覚]	年月日未詳	横切紙	1通	茶漬・茶代・丁ちん・ろうそく代他	
16-90-3-5	覚(菊川代金書付)	酉年6月22日	横切紙	1通	三河屋四郎兵衛→吉五郎・伊上	
16-90-3-6	[惣平・源助・利右衛門・五郎右衛門宛安右衛門書状]	年未詳5月8日	横継紙	1通	十一日小石川において曾我豊後守様への駕訴について その後の経過 辻入金について 村役人出立について見立人凡六七百人など様子や予定の報知	
16-90-3-7	[覚一括]			1纏め(5通)		16-90-3-7-1~5まで重ねて一纏め
16-90-3-7-1	覚(酒肴・かご代書付)	年月日未詳	横切紙	1通	目の屋→大和屋御客	
16-90-3-7-2	覚(書状請取)	申年閏8月19日	堅切紙	1通	定飛脚問屋鶴屋佐兵衛→大和屋小兵衛	
16-90-3-7-3	[寸法書付]	年月日未詳	横切紙	1通	一壹丈九尺四寸 由良 他四筆	
16-90-3-7-4	覚(代銀書付)	年月日未詳	横切紙	1通	わた代・半てん仕立代他	
16-90-3-7-5	覚(着尺寸法書付)	年未詳閏8月13日	横切紙	1通	一六尺四寸 胴裏分他	
16-90-3-8	覚(飯料受取)	酉年7月8日	横継紙	1通	かつさや権兵衛→源助他3名	
16-90-3-9	覚(数量書付)	年未詳5月3日	横継紙	1通	大丸儀八→八右衛門 木〇〇八拾四反他	「〇(〇の中に大)八拾四反」「〇〇〇〇」と書かれた札が巻き込まれている
16-90-3-10	[金高書付]	年月日未詳	横継紙	1通		(裏書)「井ノ上様」
16-91	[紙綴]	年月日未詳		1点		紙綴のみが落ちていた

16-92	[書状一括]			1括り(30通2纏め)		16-92-1~30紙綴りで一括り
16-92-1	[大橋源助宛片山善右衛門書状]	年未詳3月2日	横継紙	1通	平蔵中症に付き早々の帰国を願う 妙咩様七回忌ながら四月まで差延のこと他	
16-92-2	[書状]	年未詳11月23日	横継紙	1通	「兼而御願之義」は先方に相談したところ「御断申度」とのことであった	宛名・差出人不詳
16-92-3	[目録]	年月日未詳	横切紙	1通	「御菓子一折」の目録 備前尻海川野屋喜兵衛→備中倉敷中嶋屋源助	
16-92-4	[中嶋屋源助宛新屋茂介書状]	年未詳9月18日	横継紙	1通	青山様御老中御駕籠訴と承り大慶の至り 近日の内には勝利を得て帰国を待っている	包紙あり(包紙上書)「中嶋屋源助様 新屋茂介 要用」
16-92-5	[中嶋屋源介宛塩尻藤兵衛書状]	年未詳9月15日	横継紙	1通	過日御依頼の「御内々之一条」については御安念下さる様に	(上書)「中嶋屋源介様 塩尻藤兵衛 内用書」
16-92-6	[源助宛道碩(力)追而書き]	年未詳9月22日	横切紙	1通	今日態々御状持参に付き一緒に差上げのこと	追而書きのみで本文なし
16-92-7	[大橋源助宛宇山道碩書状]	年未詳9月21日	横継紙	1通	留守宅の近況報告 当月十四日吉日に決まっていた件も赤松幸右衛門妻死去につき来ル廿七日まで差延べのこと 御訴訟筋早々訳立ち機嫌よく帰国できる様に祈る他	(端裏書)「十月七日夜着」
16-92-8	[大橋源助宛汜寛書状]	年未詳12月4日	横継紙	1通	村内出入一件については閑訴になったが双方和融大平になり早い帰国を祈る	包紙あり(包紙上書)「大橋源助様 汜(力)寛 内々禁他見」(包紙裏書)「十二月廿四日着」
16-92-9	[中嶋屋源介宛柴岡定右衛門書状]	年未詳12月26日	横切紙	1通	「先日之義」に付き今屋九時より八時迄の内、与一右衛門が在屋しているので入来を願う 尤も今日取障があれば明日も同時刻にお出で下さる様に	
16-92-10	[浅野利喜蔵宛片山善右衛門書状]			1纏め(1通1枚)		16-92-10-1に16-92-10-2が巻き込まれている (端裏書)「栄吉」
16-92-10-1	[浅野利喜蔵宛片山善右衛門書状]	年未詳11月6日	横切紙	1通	一件が片付き早々の帰国を祈る 悴栄吉の印形誂え依頼	
16-92-10-2	[印形形状説明絵図]	年未詳11月6日	横継紙	1枚		
16-92-11	[大橋源助宛片山道碩書状]	年未詳11月6日	横継紙	1通	安否と近頃の一件の様子を知らせてほしい 栄吉も先頃庄屋役を仰せ付けられたこと	(端裏書)「申十一月六日出 十二月五日 庭瀬屋敷より届」
16-92-12	[源助宛大和やちめ書状]	年月日未詳	横切紙	1通	金子十五両ほどの請求	(上書)「上野にて大はし源助様 大和やちめより 用事」
16-92-13	[大橋源介宛宅源寺汜寛書状]	年未詳2月28日	横切紙	1通	本家平蔵中症に付き片時も早い帰国を祈る	
16-92-14	[源助宛善右衛門書状]	年未詳3月3日	横継紙	1通	早々帰国する様に 栄吉印刻受取のこと 辻借銀取立のこと他	虫損に付きSILティッシュで包む
16-92-15	[大橋源助宛片山道碩書状]	年未詳3月4日	横継紙	1通	江戸公事の常で一両年も掛ることもあり代人仕立について	(上書)「大橋源助様 片山道碩 極内要用」
16-92-16	[中嶋屋源介宛渡辺養順書状]	年未詳3月8日	横継紙	1通	昨日道碩より書状到来お届けのこと、もし返事を遣すようなら十一日頃迄に私方迄御越しならべく	
16-92-17	[白紙]	年月日未詳		1纏め(3枚)		白紙3枚が重ねて折りたたまれている
16-92-18	[大橋源助宛片山道碩書状]	年未詳11月10日	横継紙	1通	「御老人様御元氣も宜候」など留守宅の近況	(端裏書)「三成 矢かけ 無用之書状 十二月三日着」
16-92-19	[大橋源助宛片山道碩書状]	年未詳4月26日	横継紙	1通(2枚)	お満寿安産、男子出生など留守宅の近況 栄吉の印形が届き至極宜敷出来と悦んでいる 妙咩様七回忌の法事を滞りなく調べのこと	(端裏書)「道碩より書状 四月廿六日出 六月廿六日 渡辺より届」
16-92-20	[大橋源助宛渡辺養順書状]	年未詳6月26日	横継紙	1通	片山氏よりの書状持参のこと	「追附」が別紙となっている
16-92-21	[大橋源助宛片山善右衛門書状]	申年11月6日	横継紙	1通	おます大助の近況 出府一条はどうなっているのか 長々の御逗留に付き早々の帰国を祈る 江戸御年寄川村様天城御陣屋へ出張 栄吉・道碩共御目通りのこと	(端裏書)「十一月六日出 申十二月九日 庭瀬屋敷より届」
16-92-22	[大橋源介宛柴岡定右衛門書状]	年未詳9月15日	横継紙	1通(2枚)	与一右衛門・私義とも七月廿日無事帰着のこと 又出立の節の銭別の礼	追啓は別紙
16-92-23	[大橋源助宛片山道碩書状]	年未詳3月1日	横継紙	1通	平蔵病気の報を聞いても帰国しないとの事だが、考えなおして早急に帰国すべき事	(上書)「三月廿日達」
16-92-24	[大橋源助宛片山道碩書状]	年未詳6月12日	横継紙	1通(2枚)	おます母子は殊の外丈夫の事、滞留が長引いており心配である事	(上書)「道碩書状六月十二日出 七月十日渡辺より達ス」
16-92-25	[人名書付]	年月日未詳	横切紙	1通	哲多郡井村鉄山師忠田寿三郎他1名の名前が書かれている	
16-92-26	[大橋源助宛片山道碩書状]	年未詳正月16日	横継紙	1通	年始のあいさつ、大原屋隠居の方の屋敷を買い取り、作事に取りかかるなどせわしない事他	(端裏書)「大橋様 道碩正月十六日出 三月八日渡辺より達ス」
16-92-27	[大橋源助宛片山道碩書状]	年未詳2月18日	横継紙	1通(2枚)	作事に取掛った為御無沙汰していたが十五日に留守宅を訪問した際のお満寿殿や本家平蔵の近況 平蔵の病気のこともあり御聞濟になり次第第一刻も早い発足を願う	(端裏書)「道碩書状 二月十八日出 三月五日達ス」 追而書きの別紙あり
16-92-28	[大橋源助宛片山道碩書状]	年未詳8月26日	横継紙	1通	「御姉様」の病状快方の様子を知らせる	(端裏書)「十二月三日着」
16-92-29	[大橋源助宛片山道碩書状]	年未詳7月10日	横継紙	1通	「御姉様」の持病の発病の様子を知らせ、鳥渡工面して帰国する様に依頼	(端裏書)「七月十一日出 道碩 八月朔日着」
16-92-30	[大橋源助宛塩尻藤兵衛書状]	年未詳3月25日	横切紙	1通	明後廿七日在所へ出立に付き用向があれば仰せ付けてくれる様に	(上書)「大橋源助様 塩尻藤兵衛」(裏書)「上総屋宿二而」
16-92-31	[源助宛健書状]	年月未詳21日	横継紙	1通	平蔵中風の為、健忘など病状を知らせ、工夫の上帰村の決意をうながす	(端裏書)「的場氏 六月廿三日出 七月十六日[ ] 庄右衛門様より達ス」
16-92-32	[書状]	年月未詳6月21日	横継紙	1通	見廻の二品進呈の添状 来月二日出立につき用向などあれば仰せ聞かされたい	宛名・差出人不詳
16-93	[村用書類一括]			1括り(22通)		16-93-1~22紙綴りで一括り (括り紐書付)「戊年中 村用書類」
16-93-1	[東大橋宛にし店書状]	(戊)年26日	横継紙	1通	明五ツ時御召出と広田屋より使のあったことを知らせる	(上書)「東大橋様 にし店 内用事」
16-93-2	[大はし宛ひかし書状]	年月日未詳	横切紙	1通	豊助一条について東都よりの用状について	封筒あり(封筒表書)「大さし様 ひかし」(上書)「庄屋様 平介 要事」 書状全体に×印あり

16-93-3	[井中宛ひかし書状]	年月未詳晦日	横切紙	1通	昨日立寄ることができなかったので明夕迄には是非とも参上する 真田正染地は今日持参し御氣に入れば如何様とも御相談申し上げる	(上書)「井中様 ひの上 用事」
16-93-4	[大はし宛ひかし書状]	年月未詳6日	横切紙	1通	屠龍乙画を御覧に入れるので気に入ったものがあれば撰取ってほしい 岡山今屋喜左衛様へ紙包壹ツを届けてくれる様に依頼	(上書)「大はし様 ひかし 不及御答候」
16-93-5	[用状]	年月日未詳	横切紙	1通	重録をしいのものにわたしてくれる様依頼	宛名・差出人不詳
16-93-6	[井上宛東書状]	年月未詳17日	横切紙	1通	亀印より元次へ申し入れた内意について	(上書)「井上様 東」
16-93-7	[書状]	年月未詳3日	横継紙	1通	吉原岡もと屋よりの「グヅリ」に金子五十両までさし出したが破談につき御支配より出奔届を出す様いわれた一件についての豊助の動向	宛名・差出人不詳
16-93-8	[あち宛老惣書状]	年月未詳24日	横切紙	1通	本家での夜食への案内を張面引合の為め断る	(上書)「あち様 老惣 拝答」
16-93-9	[用状]	年月日未詳	横継紙	1通	貸口借手手形が落合わない為相談の用状	宛名・差出人不詳
16-93-10	[坂光宛東書状]	年月日未詳	横切紙	1通	安八、定右衛門より願書差出しに付き両方呼出しの次第について	(上書)「坂光様 東 拝下」
16-93-11	[用状]	年月日未詳	横切紙	1通	井上権十郎よりの届物到着に付き安心のこと 五郎右衛門も十日に発足のこと	宛名・差出人不詳
16-93-12	乍恐以書付御請奉申上候	文政9年12月	縦切紙	1通	百姓藤左衛門外三拾壹人よりは是迄勤めていた庄屋・年寄・百姓代共取用い難きとの申出の出入について、立入庄屋として御年貢取立方は酒津村庄屋染次へ諸願其外差支の義は日畑村庄屋与次兵衛が取計うことについての請証文 兵助・源介・宗平・弥兵衛・源之助→倉敷役所	(端裏書)「戌十二月廿四日差出候書付控」
16-93-13	[大橋宛ひの上書状]	年月未詳15日	横切紙	1通	今夕の囲碁への誘い	(上書)「大橋様 拝 ひの上」
16-93-14	[源介宛十蔵書状]	年月日未詳	横切紙	1通	畑方の義については川西町のものが宮崎屋六歩取りの書付を見せたのでその様に算用しておいたとの報知	
16-93-15	[井上宛ひの上書状]	年未詳12月19日	横切紙	1通	福山定七不埒に付き老人夫婦とも退去のこと 入用金が甚だ急になった為相談したく来駕を願う	(上書)「井上御両所様 拝 ひの上」
16-93-16	[願書案文]	年未詳10月25日	横切紙	1通	村役人へ掛る出入の吟味中相手方が帰村の上退役したことに ついて跡役取極めの願書案文	
16-93-17	乍恐以書付奉願上候	年月日未詳	横切紙	1通	庄屋・年寄・百姓代退役の為御上納時節柄差支の為立入庄屋の仰付けを願う	
16-93-18	[大橋宛老壯書状]	年月未詳冬至	横切紙	1通	救命丸持参のこと なお金子は気がかりながら預り置のこと 今夕冬至の祝義の為御来駕を希う	(上書)「大橋様 老壯 拝下 救命丸添」
16-93-19	[大橋源助宛来光院書状]	年月未詳8日	横切紙	1通	「六月廿五日御下知之御請証文」を写し取りの上返送依頼	(上書)「大橋源助様 貴下 来光院」
16-93-20	[大橋源助宛正喜書状]	年月未詳2日	横継紙	1通	八濱下津井濱田[■]様にはやく貴家様へ御出でになる様申し遣わしてほしい	虫損が激しい (上書)「大橋源助様 正喜 極内用書」
16-93-21	[新宅宛東書状]	年月未詳5日	横切紙	1通	七太夫は十一月十二日発足し今日帰着 大勢迎えに参るとのこと	(上書)「新宅様 東 要事」
16-93-22	宗門請状之事	文政6年8月	縦紙	1通	源介の家族6人の宗門請状	
16-94	[大はし源介宛同母書状]	年未詳7月8日	横継紙	1通	遠方(江戸)にいる源介にあてた倉敷の近況と帰ってきてほしいという内容	(上書)「大はし源介との 同はより やうし」「八月朔日着」(裏書)「七月八日くれころ」
16-95	[某書状]	年月日未詳	横継紙	1通	源介江戸かえりのこと 源介の恥にならぬよう望むことなど書付	宛名・差出人不明 (端裏書)「十二月三日着」 16-94大橋源介母と同筆と思われる
16-96	[書状・宗門手形他]			1括り(1纏め仮 1冊1括り3通)		16-96-1~6紙綴りで一括り
16-96-1	[源助宛清助書状]	年未詳8月3日	横継紙	1通	下津井屋より吉和屋へかかる一件について御役所より急用があるのでお出で下さる様に	
16-96-2	[大橋源助宛淀屋清助書状]	年未詳8月1日	横継紙	1通	五百目借用の要望とその借用のための使者の派遣の通知	(上書)「大橋源助様 淀屋清助 貴下内用答」
16-96-3	[源介宛平蔵書状]	年月日未詳	横切紙	1通	三和屋八十八宛初よりの書類 此度之一件并此方より之返答書類等を借してほしい	(上書)「源介様 平蔵」
16-96-4	[郡中入用金書付]	年月日未詳	美・横長	仮1冊		
16-96-5	[書状類・覚]			1括り(15通)		16-95-5-1~15紙綴りで一括り
16-96-5-1	[中嶋屋源介宛猶田屋忠治書状]	年未詳8月	横継紙	1通	約束の双方の返答延引の断り	(上書)「中嶋屋源介殿 自猶田屋忠治 御下」 日付は虫損の為不詳
16-96-5-2	[切出し算用下書]	年未詳7月	横継紙	1通		(端裏書)「七月廿三日晩 取噫被仰付 廿四日受致候 廿五日請 廿六日請 切出し算用下書」
16-96-5-3	[十二年の元利書上]	年月日未詳	横折紙	1通		
16-96-5-4	覚(金銭勘定書付)	年月日未詳	横継紙	1通	滞辻九貫四百八拾八匁の残銀年賦書付	
16-96-5-5	覚(金銭勘定書付)	年月日未詳	横継紙	1通	滞辻九貫四百八拾八匁の残銀年賦書付	
16-96-5-6	[中島屋宛下庄書状]	年未詳7月29日	横切紙	1通	下津井屋来訪につき来宅依頼	(上書)「中島屋様 貴下 下庄」
16-96-5-7	[源介宛忠治書上]	年未詳7月28日	横継紙	1通	双方、引き合わせの様子について尋ねる	(上書)「中嶋屋源助様 御下 自猶田屋忠治」
16-96-5-8	[中島屋源介宛平松忠治書状]	年月未詳27日	横継紙	1通	母不快につき今晚一寸帰り明屋迄には出勤する 仕方書を差上げるので受けとってくれる様に	(上書)「中島屋源介様 平松忠治 再答」
16-96-5-9	[源介宛忠治書状]	年未詳7月30日	横切紙	1通	相談のため猶田屋迄来訪の依頼	(上書)「中島屋源介様 自猶田屋忠治 用事」
16-96-5-10	[源介宛忠治用状]	年未詳7月27日	横継紙	1通	双方へ一通り引き合い置きたし、夕迄にても一寸御出下さるべし	(上書)「中嶋屋源介様 自猶田屋忠治 用事」

16-96-5-11	[中嶋屋源介宛忠治用状]	年未詳7月29日	横継紙	1通	吉和屋へ御移りの義は今少し延引下さるべしと吉次郎弟申すこと	(上書)「中嶋屋源介様 自猶田屋忠治 用事」
16-96-5-12	覚(算用書)	年月日未詳	横継紙	1通	元利滞辻九貫四百八拾八匁残銀年賦案	
16-96-5-13	[中嶋屋源助宛猶田屋忠治用状]	年未詳9月6日	横継紙	1通	少々御透きあれば一寸御出張下さるべし相談あり	(上書)「中嶋屋源助様 自猶田屋忠治 御用」
16-96-5-14	[源助・惣平宛忠治用状]	年未詳9月2日	横切紙	1通	相談あり 後刻迄に御出張下さるべし	(上書)「源助様 惣平様 忠治 用事」
16-96-5-15	[源助宛忠治用状]	年月未詳18日	横切紙	1通	夜分清次より返答、相談申すべく一寸御出張下さるべし	(上書)「源助様 忠治 用書」
16-96-6	[宗門手形書類]			1纏め(4通)		16-96-6-1~4重ねてニツ折り
16-96-6-1	宗門送手形之事	年月日未詳	縦紙	1通	何国何郡何村何寺→大草太郎右馬様御代官所備中国窪屋郡倉敷村当時請持都宇郡日畑村庄屋与次兵衛 宗門送手形の雛形	(端裏書)「与次兵衛案文写」
16-96-6-2	宗門放手形之事	年月日未詳	縦紙	1通	何国何郡何村何寺→備中国窪屋郡倉敷村地蔵院 宗門放手形の雛形	(端裏書)「与次兵衛案紙写」
16-96-6-3	宗門送手形之事	文政10年5月	縦紙	1通	備前国邑久郡庄内山朝日寺→大草太郎右馬様御代官所備中国窪屋郡倉敷村当時請持都宇郡日畑村庄屋与次兵衛 尻海村名主喜兵衛倅喜久太を倉敷村百姓源介の養子に遣す	(端裏書)「写」(奥書)「備前国邑久郡尻海村五人与頭与兵衛 同万右衛門」
16-96-6-4	宗門放手形之事	文政10年5月	縦紙	1通	備前国邑久郡庄内山朝日寺→備中国窪屋郡倉敷村地蔵院 尻海村名主喜兵衛倅喜久太を倉敷村百姓源介養子に遣す	(端裏書)「写」
16-97	[大橋源助宛書状]			1括り(1包1通)		19-97-1と19-97-2が紙縫りで括られている
16-97-1	[大橋源介宛書状]			1包(2通)		16-97-1-1~2が包紙に入っている 包紙あり(包紙上書)「備中国倉敷村中嶋屋源助様 無別条 かつさ屋権兵衛」「戌八月廿九日出 江戸上野北大門町ヨリ」
16-97-1-1	[中嶋屋源助宛権十郎内書状]	年月未詳29日	横継紙	1通(2枚)	母上様より何よりてうほう(重宝)なる品下され、よろしく御礼御願い上げ 出入もすんだことをよろこぶ	包紙あり(包紙上書)「中嶋屋源助様家人中 かつさ屋内 廿九日出」(上書)「中嶋屋源助様 人々御中 権十郎内より 八月廿九日出」 添紙あり
16-97-1-2	[大橋源助宛井上権十郎書状]	戌年8月29日	横継紙	1通	重蔵様帰村、御連中様方およろこびのことなど	包紙あり(包紙上書)「備中倉敷大橋源助様 内要用迄 上野広小路 井上権十郎 戌八月廿九日出」
16-97-2	[大橋源助他2名宛大和屋小兵衛書状]	年未詳8月26日	横継紙	1通	一件内済のため済口下書、権十郎調えのことなど 大和屋小兵衛→大橋源介・同喜久太・同佐助	包紙あり(包紙上書)「倉舗大橋源助様 貴下 小伝馬町大和屋小兵衛」(端裏書)「新宅」
16-98	[書状・願書類]			1包(1括り1包)		16-98-1~2一包 包紙が小さい為SILティッシュの紐をかける(包紙上書)「出入内用書類 但し申八月前 在国中之分」
16-98-1	[書状類・継人足帳]			1包(2通1枚)		16-98-1-1~3一包 (包紙上書)「中嶋屋源介様 今屋喜左衛門 大黒屋文介 急用」
16-98-1-1	[父宛喜久太用状]	年月未詳16日	横継紙	1通	もはやあかね屋までお帰りのこと 八匁は大延引のこと	
16-98-1-2	[中嶋屋源介宛今屋喜左衛門書状]	年未詳8月16日	横継紙	1通	文介より委細承りのこと 籠人足入用賃について他	
16-98-1-3	文政七申年八月 継人足帳 備前家中水川基平 印宿々問屋中	文政7年8月	横折紙	1枚		(裏書)「右ノ通人馬帳 相調居申候間 御安心可被下候」表紙に使用するためのものカ
16-98-2	[村方出入一件に付願書及び書状]			1括り(1纏め14通)		16-98-2-1~15紙紐で一括り
16-98-2-1	[覚書・願書下案]			1纏め(仮1冊1通1纏め)		16-98-2-1-1~3一纏め
16-98-2-1-1	[村役人の悪行覚書案文]	年未詳9月3日	半・横長	仮1冊	年寄水沢伊左衛門など村役人の悪行を箇条書案文	
16-98-2-1-2	[村役人の悪行覚書案文]	年月日未詳	横折紙	1纏め(2丁)		
16-98-2-1-3	[願書下案]	年月日未詳	縦紙	1通(2枚)	備中国窪屋郡倉敷村の百姓6人が江戸へ越訴した件についての願書の下書	
16-98-2-2	[願書下案]	年月日未詳	横継紙	1通	去々(午)年以来の訴訟について、御代官様御手切で済方にしていただきたいという願書の下案	
16-98-2-3	[きし宛壮平書状]	年月未詳10日	横切紙	1通	今夕、通夜と唱えて観龍寺稲荷へ雑兵が集まっている件について一寸とお知らせ	(上書)「きし様 壮平 内事」
16-98-2-4	乍恐以書付御訴訟奉申上候	年月日未詳	横継紙	1通	訴訟人窪屋郡倉敷村利右衛門他5名→相手庄屋七太夫他村役人8名 村役人が馴合い村方混雑を顧みず一同退役した件について	(端裏書)「三月廿五日差出候願書控 其後受御差函 月八四月与書替候事」
16-98-2-5	[きし宛ほり書状]	年月日未詳	横継紙	1通	御上様より御足輕を差出されたことについて 夜前は太鼓がまびしくなど「不楽心」であったが御上様より足輕差出しによって静となった 談は未決の趣につき評議したい	(上書)「きし様 ほりより 拝内事」
16-98-2-6	[岸部宛ほり部書状]	年月日未詳	横切紙	1通	今一応愚老により掛合ってほしいという願いにより、今朝内談したことについて	(上書)「岸部様 ほり部 内答」
16-98-2-7	乍恐以書付奉願上候	文政7年8月6日	横継紙	1通	栄吉他24名→役所 他に同意の者3名 村小入用割賦に付き諸帳面を取調べたところ不審の件多数につき、御年貢上納取次については庄屋年寄は取用い難い	
16-98-2-8	乍恐以書付奉申上候	年月日未詳	横継紙	1通	村役人を相手取っての出入について仁左衛門が取嚙に立入った内済取計が破談となった件について	
16-98-2-9	乍恐以書付奉願上候	年未詳9月晦日	横切紙	1通	五人→大草役所 村役人を相手にしての出入は奉行所より役所へ引渡となり早々帰国する様にとのことだが国元は騒動中に付き帰国することができない 別別の庄屋を仰せつけてほしい	

16-98-2-10	[打ちこわし指図書]	癸未(文政6)年8月28日	縦紙	1通	当所外町→御さき・舟倉中 張紙の通り一番に茜屋、最後に中嶋屋を打ちこわすという通知	
16-98-2-11	[巖輔宛老惣書状]	年未詳8月3日	横切紙	1通	今朝志湧屋より噂があり、いよいよ明日御召出しになることを知らせる	(上書)「巖輔様 老惣 内事」
16-98-2-12	乍恐以書付奉申上候	年未詳8月	横切紙	1通	六人→(宛名なし) 百姓六人から村役人に対する出入に仁左衛門が取嚙に立入り内済取計が破談になった件について	
16-98-2-13	覚(仲間辻銀勘定書)	年月日未詳	横切紙	1通		
16-98-2-14	[乍恐以書付奉願上候]	年月日未詳	縦紙	1通(2枚)	訴訟がはじまってから3年が経ち、このままでは村方が差支えてしまうので組分れをしてほしいという願書	半分に破れている
16-98-2-15	乍恐以書御歎申上候	年月日未詳	横継紙	1通	百姓代の件についての訴訟は一同難渋に付き代官の「御切手」と早々の裁断を願う	案文
16-99	[在府中復古]			1包(15通4枚2纏め1本)		16-99-1~22一包 (包上書)「在府中 復古」
16-99-1	[中島屋源助宛龍丸五左衛門書状]	年未詳10月25日	横切紙	1通	荷物菴包大小二丸の請取及び煙草吉つの礼	(上書)「貴客 中島屋源助様 龍丸五左衛門」(端裏書)「略々御免可被遣候」
16-99-2	[大橋源助宛大橋善五郎書状]	年未詳11月5日	横継紙	1通	御母様殊の外御氣遣いに付き早々お帰りになられる様に	(上書)「江戸表二而 大橋源助様 川入大橋善五郎」(端裏書)「十一月廿日着」
16-99-3	[喜久太・大介宛源介書状]	年未詳8月19日	横継紙	1通	帰国する報告	
16-99-4	[宅源寺宛中しま屋大助のはは書状]	年未詳2月26日	横継紙	1通(2枚)	平蔵も先月十六日より中症につき源介の早い帰宅を願っていることなど近況を知らせる 見廻の品の添状	追而書が別紙になっている
16-99-5	定	年月日未詳	横折紙	1通	公事出入、公事訴訟について心得、豊後日田役所	(端裏書)「四月十一日御奉行所於茶屋写し」
16-99-6	[封筒]	年月日未詳		19.0×6.0	1枚	封筒のみ(封筒表書)「要用書類入」
16-99-7	[植村駿河守など書上]	年月日未詳	縦切紙	1通(2枚)	植村駿河守・堀田撰津守・田沼玄蕃頭・水野吉岐守の役目及び佐竹様発駕の場所及日付	
16-99-8	[御大名御役人泰平御武鑑の帯]	年月日未詳		15.8×11.2	1枚	摺物
16-99-9	[文政八乙酉歳略歴]	文政8年		17.4×11.3	1通	摺物「馬喰町吉丁目 附木店 印判師森田与七」の印あり
16-99-10	[備中御客宛越後用状]	年月日未詳	横切紙	1通	座敷迄御来駕を願う	(上書)「備中御客様 越後より 尊下」
16-99-11	[返書依頼先書付]			1纏め(2通)		16-99-11-1~2まで重ねて折られている
16-99-11-1	[用状]	年月日未詳	横切紙	1通	返書があれば俵屋弥兵衛方へ依頼のこと	
16-99-11-2	[俵屋弥兵衛判]	年月日未詳	縦切紙	1通		摺物
16-99-12	[月末ごとの花の名所紹介]	文政8年	横切紙	1通	谷中道・円珠院・下寺・泉龍院他	摺物
16-99-13	[封筒]	年未詳2月29日		16.9×5.0	1枚	封筒のみ(封筒表書)「東武にて大橋源助様 同喜久太 大助 急要用 無異」
16-99-14	[大銭銀座・中銭金座懸り書付]	年月日未詳	縦切紙	1通	大銭銀座懸り水内新八、中銭金座懸り後藤三右衛門 右両座兼	
16-99-15	[封筒]	年月日未詳		20.5×15.0	1枚	「馬喰町附木店 印判師森田与七」の印あり
16-99-16	[当村之義村役人共心得方悪敷二付不治之訳荒増書付]			1纏め(3通1枚)		16-99-16-1~4まで重ねて巻かれている
16-99-16-1	[当村之義村役人共心得方悪敷二付不治之訳荒増書付の案文]	年月日未詳	横継紙	1通		
16-99-16-2	[村役人心得方悪敷二付不治之訳荒増書付]	年月日未詳	横継紙	1通		
16-99-16-3	[村役人心得方悪敷二付不治之訳荒増書付の案文]	年月日未詳	横切紙	1通		前欠及び後欠
16-99-16-4	[白紙]	年月日未詳		13.0×6.5	1枚	
16-99-17	[紙紐]	年月日未詳			1本	
16-99-18	[書付]	年月日未詳	横切紙	1通	「備前大廻り龍丸五左衛門宿 北新堀町讃岐屋佐兵衛」	
16-99-19	[付紙]	年月日未詳	横切紙	1通	大川はた御留場キワ しり之大船やど 讃岐屋佐兵衛へ	
16-99-20	[氏名書付]	年月日未詳	横切紙	1通	「桜田かじ町 加賀屋五郎兵衛様 加賀屋藤五郎様」	
16-99-21	[和歌]	年月日未詳	横折紙	1通	訪諏(諏訪方)和田○長屋[ ]芦田にて 十里の道をもろほぎにする	
16-99-22	[付紙]	年月日未詳	横切紙	1通	「大川端御留場キワ 讃岐屋佐兵衛」	
16-100	[戊正月より三月十六日迄取嚙中日記]				1括り(2通)	16-100-1~2紙綴りで一括り (付紙)「戊正月より三月十六日迄 取嚙中日記」 紙綴りが切れたので擦り合わせた SILティッシュで包んだ
16-100-1	[取嚙中日記]	(文政9)年1月19日~2月26日	横継紙	1通	正月19日夕 文助宅にて順平と面会 村役人についての江戸紮口検討など経過書付	16-100-2が折り畳んで挟み込まれていた
16-100-2	[取嚙中日記]	(文政9)年2月27日~3月16日	横折紙	1通	御添触願十一日・十九日・廿八日三度 武右衛門・汶四郎より取嚙御免届出などについて	16-100-1の中に折り畳んで挟み込まれていた
16-101	[大橋源介宛十兵衛書状]	年月日未詳	横継紙	1通	おます、徳蔵、喜久太、金平などの病氣見舞 一件も昨十一日の呼出して落着し廿一日頃発足の予定 送ってもらった金子拾両は着次第受取のことなど	(端裏書)「八月十二日出 廿三日着」
16-102	[書状]			1包(6通1枚)		16-102-1に16-102-2~7が包んであった SILティッシュで包む
16-102-1	[源助宛丈吉書状]	年月日未詳	横切紙	1通	参着の書状引渡について	(上書)「源助様 丈吉」
16-102-2	[大橋源輔宛同十蔵書状]	年未詳7月29日	横継紙	1通	訴訟一件済口証文写差上、相手方水夫屋敷進退、五人組二書入水夫小物成、郡中大割帳などについて	(上書)「大橋源輔様 同十蔵 平安急要用」(端裏書)「八月十日着」
16-102-3	[某書状]	年月日未詳	横切紙	1通	代官手代に大坪甚兵衛召抱えについて	(端裏書)「八月十日着」 宛名・差出人なし

16-102-4	[大橋宛書状]	年月日未詳	横継紙	1通	大草代官跡目のこと 大坪甚兵衛陣屋へ出勤 利右衛門悪巧ミの疑いなど書付 上野逗留	(端裏書)「大はし様 八月十日着」 差出人不明
16-102-5	[某書状]	年月日未詳	横切紙	1通	7月6日訴訟方・相手方・扱人与次兵衛各趣意書差出し三通とも添削後引渡し 済口証文提出指示 彦七郎当時天竺浪人になる済口書差出し後の様子報告 八月中江戸滞在予定 村内のこと文四郎へ相談して由断のないよう忠告	(端裏書)「八月十日着」 宛名・差出人不明
16-102-6	[源助宛惣平書状]	年未詳7月27日	横継紙	1通		(端裏書)「八月十日着」
16-102-7	[大橋源介宛由良惣平書状封筒]	年未詳7月28日	16.7×5.0	1枚		封筒のみ(封筒表書)「大橋源介様 由良惣平 平安急要事」(封筒裏書)「七月廿八日出 東都旅館より 此間封紙致候所 長サ切そこなひ封目おかし候 御高免可被下」
16-103	文政八酉二月十六日より 国元書状返答并日記	文政8年2月16日～12月12日	半・横長	1冊	江戸滞在中の日記	(裏書)「むめのおもはむことも はつかし おれをみてまた哥をよみちらすかと むめのおもはむこともはつかしむめの」
16-104	[源助宛かし(力)書状]	年未詳12月9日	横継紙	1通	品物が到着した際の礼状	(端裏書)「十二月九日 下津井屋帰候晩届」
16-105	[大橋源介宛同十蔵書状]	年未詳8月16日	横継紙	1通	訴訟一件内済し、為取替証文を廿日頃までに整えるつもりなので廿五六日頃に発足の予定	(上書)「大橋源介様 同十蔵 大口左右急要用」(端裏書)「八月廿六日着」
16-106	[大橋源介宛由良惣平書状]	文政9年8月16日	横継紙	1通	奉行所への書類差出しの為発足は廿五六日になる予定 辻金差支については高梨様と相談の上「どふか出来可申哉」となったので心配はいらないなど	(端裏書)「八月十六日出 同廿六日着」
16-107	[三河屋立会の次第書付]	年未詳7月25日	横継紙	1通	郡中申送帳、郡中大割帳其他の取調べの次第	付紙あり
16-108	[旦那宛つ代書状]	年未詳5月16日(出)	横継紙	1通	留守宅の様子を知らせ、御上様へ御出での節はお守を持参する様に	(上書)「東方にて旦那様 つ代より」(端裏書)「五月十六日出 同廿九日着」
16-109	[書状]	年月日未詳	横継紙	1通	御兄上様・御同辺を心配し「かならず御身御大切」にと祈る	宛名・差出人とも記載なし
16-110	口上	年月日未詳	横切紙	1通	町内がやかましく本家へ行くこともしがたいこと、大介「つう風」で大難儀など近況報告	(後欠)
16-111	[旦那宛つ代書状]	年月日未詳	横継紙	1通	大助が痛風になり本家より川辺にて「大きとう」をしたが今にふしていることなど	(上書)「東方二而旦那様 つ代より 急やうやう」五月廿八日出 六月廿一日着
16-112	[旦那宛つ代書状]	年月日未詳	横切紙	1通	岡山便の荷物請取のこと 追伸で父に「たひ」「龍門」をもとめて帰ってくれる様に依頼	
16-113	[上総屋権兵衛関係書類]			1包(2通)		16-113-1～2一包 (上書)「備中倉敷村 中島屋源助様 上野廣小路 上総屋権兵衛」(裏書)「戌十一月十九日夜ハツ時認メ 十二月九日下津ぬより届」
16-113-1	[大橋源助宛上総屋権兵衛書状]	戌年11月9日	横継紙	1通	源之助、由之助の出立をよろこぶ 金子の儀については私も「こまり入申候」	
16-113-2	[上総屋権兵衛宛役所書状]	戌年8月23日	横切紙	1通	利右衛門外五人の江戸宿飯料及び帰路入用金をわたすので明廿四日罷出ること 尚このことは惣平、重蔵にも伝えること	包紙あり(包紙上書)「大草太郎右馬役所 上総屋権兵衛」
16-114	[旦那宛つ代口上書]	年月日未詳	横継紙	1通	「かかり合」が首尾よく調うように母子ともにねがっている 古手でも増に着せたいので下着があれば頼みたい	(上書)「大橋旦那様 用事 申上候用事申 同つ代より」
16-115	[旦那宛つ代書状]	年月日未詳	横継紙	1通	増平産のこと 肥立ちまし、早々お目にかけたし 一件相調う様に家中中願い候こと	(上書)「東方にて 旦那様 新宅つ代より 御返事申上」(端裏書)「五月十六日 安藤氏より届」
16-116	[源介宛新宅口上]	年月日未詳	横切紙	1通	膳の準備ができたため帰宅催促	(上書)「中嶋や源介様 同新宅より」
16-117	[大橋旦那宛つ代書状]			1纏め(3通)		16-117-1～3が折り込んである
16-117-1	[大橋旦那宛つよ書状]	年未詳11月5日	横継紙	1通	母の持病も寿元様御薬にて快気のよしなど留守宅の近況を知らせ、首尾よく調へてはやく帰ってほしいとねがう	(上書)「大はし旦那様 同つ代より 内々用」(端裏書)「十一月五日出 十一月廿六日 松井[■]着」
16-117-2	[大橋旦那宛つ代用状]	年月日未詳	横切紙	1通	ふるての上下袴など安い物を買って荷物が多ければ尻海船で送ってほしい	
16-117-3	[大橋旦那宛つ代用状]	年月日未詳	横継紙	1通	水天宮へお越くださるべく	(上書)「大橋旦那様 大はしつ代より 無事用事」
16-118	[大はし旦那宛つ代書状]	申年9月8日	横継紙	1通	留守宅の近況と町内も今だにおち付かず、くれぐれも早くお帰りになる様に	(上書)「大はし旦那様 同つ代より 御申上用事」申十月七日着 (裏書)「菊月八日出」
16-119	[大橋旦那宛つ代書状]	年未詳閏8月8日	横継紙	1通	御母様は夜ハツ時分より神様に此懸合が首尾よく調う様にいのっていることなど近況の報告	(上書)「大はし旦那様 同つ代より 御申上」(端裏書)「申閏八月八日着之由」
16-120	[大橋旦那宛つ代書状]			1纏め(2通)		16-120-1～2一纏め
16-120-1	[大橋旦那宛つ代書状]	年月日未詳	横継紙	1通	「あなた様爰元御立あそはし候後 増・大介ふたり共すくれ不申」など近況報告	(上書)「大はし旦那様 つよより やうやう御申上」申九月八日着
16-120-2	[和歌書付]	年未詳8月	横継紙	1通	歌一首「武蔵野の田ことの月のさやかなる結ふえにしを覚ますかな」	(上書)「此文初八月之すへにしたため候 つ代より」
16-121	[大橋旦那宛同つ代書状]	年月日未詳	横継紙	1通	子供の誕生、養育のことなどについて	(上書)「大橋旦那様 内々用事 同つ代より」(端裏書)「西二月二日 備前より来ル」(裏書)「至って内々々御覧之可被下候」中欠3枚に分かれている為SILティッシュで一括した
16-122	[大橋旦那宛つ代書状]	年月日未詳	横継紙	1通	母・増・大介などの近況を知らせる 歌一首 ゆかしさの思ひあまりに手を折てかそふるけふの年も暮けり	(上書)「大橋旦那様 同つ代より 内々やうし」十二月廿八日着
16-123	[源介宛庄八書状]	年未詳11月17日	横継紙	1通(2枚)	贈り物への礼状 金子のことにつき大晦日の間に会いたい	包紙あり(包紙上書)「備中倉敷中島屋源助様 家主庄八 参人々御中」(包紙裏書)「江戸上野広小路北大門町」十二月九日 下津ぬ屋渡し届」別紙追而書あり
16-124	[中嶋屋源助宛上総屋権兵衛書状類]			1包(2通)		16-124-1と16-124-2が包紙に入っている (包紙上書)「備中倉敷村 中嶋屋源助様 要用し急 上野広小路上総屋権兵衛」(裏書)「十一月下旬 広江屋より届ク」

16-124-1	[豊助錦尾欠落一件につき書付]	文政9年10月29日	横継紙	1通	豊助不斗罷出につき利右衛門訴状 遊女錦尾欠落につき遊女屋安蔵訴状など	
16-124-2	[中嶋屋源助宛上総屋権兵衛書状]	戊(文政9力)年11月16日	横継紙	1通	豊助一件内済に仕るべきこと、七太夫金五拾両拝借のことなど	
16-125	[願書類]			1纏め(仮4冊13通)		16-125-1~17-纏め 一纏めの為SILティッシュで括った
16-125-1	乍恐以書付奉願上候	文政8年4月	横継紙	1通	大草太郎右馬様御支配所備中窪屋郡倉敷村百姓利右衛門他5名→御奉行所 村方騒動につき御吟味願	(端裏書)「四月十一日 曾我豊後守様へ御駕籠願書控」
16-125-2	[訴状箇条につき訳書付]	文政7年5月	縦継紙	1通	倉敷村百姓惣平他5名→大草太郎右馬役所 村役人取計らいにつき其の訳書上	(端裏書)「申五月廿五日差出し之村役箇条書付之控」
16-125-3	乍恐以書付奉願上候	未(文政6力)5月	縦継紙	1通	六人→役所 文四郎に庄屋役仰付けらるべきこと	
16-125-4	乍恐以書付奉願上候	年未詳2月	縦継紙	1通	惣平他4名→大草太郎右馬役所 戸田屋寿介を仲介として諸事相談・村割賦銀渡しを行いたいとの願	
16-125-5	乍恐以書付奉願上候	文政7年2月	縦紙	1通	倉敷村百姓惣平他5名→大草太郎右馬役所 村割につき相当の取計人指入れの願	(端裏書)「申二月廿八日村割之義二付田辺様へ初而差出し候書付之控式通」
16-125-6	[願書案文]	年月日未詳	縦紙	1通	村役人冥加銀押領などについて	
16-125-7	乍恐以書付奉願上候	年月日未詳	縦継紙	1通	六人 同意の者26人連印は仕らず旨下札のこと	(端裏書)「申八月九日差出ス 同十日御呼出し下札致可差出様被渡後御下二相成則下札致同十一日差出ス」
16-125-8	乍恐以口上書奉願上候	年月日未詳	縦紙	1通	七太夫・彦七郎呼び出し吟味仕らるべきこと	(端裏書)「申四月十七日御召出御吟味之上可差出案文」
16-125-9	[願書案文]	年月日未詳	縦紙	1通	百姓代につき名義ともに立つよう願うこと	
16-125-10	乍恐以書付奉願上候	年月日未詳	縦紙	1通	村役人取り用い難きにつき内組分け願	
16-125-11	[願書案文]	年月日未詳	縦紙	1通	百姓代取り立てにつき双方呼び出し吟味下さるべき願	(端裏書)「願書下書」
16-125-12	乍恐以書付御訴訟奉願上候	文政6年2月	縦継紙	1通	窪屋郡倉敷村百姓惣平他5名→大草太郎右馬役所 百姓代取り立てにつき双方召し出し定法の通り仰付けられるよう願	(端裏書)「未二月九日差出候願書控」
16-125-13	乍恐以書付奉願上候	文政6年2月	縦継紙	1通	窪屋郡倉敷百姓代才右衛門他8名→大草太郎右馬役書 百姓代につき静謐の取り計いを願うこと	(端裏書)「未二月廿日村役人共より御上様江差出候返答書之写」
16-125-14	[預所につき法度書請書]	文政12年6月	半・縦	仮1冊	倉敷村村役人・窪屋・都宇・浅口・哲多・作州・小豆島・那阿郡三ヶ村村役人 農業出精のことなど	
16-125-15	[村役人勤方につき願書]	年月日未詳	半・縦	仮1冊	七大夫退去のことなど	
16-125-16	乍恐以書附奉願上候	年月日未詳	半・縦	仮1冊	庄屋村役人の勤め方について	
16-125-17	[尚齒会約条]	年月日未詳	半・縦	仮1冊	西内田屋他24名	
16-126	[村役人退役に付き跡役取極めに関する書類一括]			1纏め(2冊仮2冊)		12-126-1~4まで重ねてニツ折 纏っている為SILティッシュで包む
16-126-1	覚書	天保2年3月	半・縦	1冊	備中国窪屋郡倉敷村新田小前惣代藤吉・此吉から古橋新左衛門役所に宛てて提出された願書(乍恐以書付奉願上候)2通の写し 庄屋七太夫・年寄水沢伊左衛門ほか「当村草分」の者が退役した後の新役選出をめぐる訴訟	
16-126-2	[庄屋・年寄・百姓代退役に付き跡役取極の願書]	年月日未詳	半・縦	仮1冊		朱筆があり案文
16-126-3	[村内治り方宜からずにつき申渡し請引帳]	寛政5年8月18日	半・縦	仮1冊	東町吉三郎他28名→野口辰之介役所	(奥書)「庄屋孫太夫他8名」
16-126-4	西八月廿四日国元より来状九月三日相達候連名状写し	年月日未詳	半・縦	1冊		
16-127	[願書類]			1括り(8通)		16-127-1~8紙綴りで一括り
16-127-1	乍恐以書附奉願上候	文政9年12月	縦継紙	1通	窪屋郡倉敷村百姓藤左衛門煩二付代悴利右衛門未帰村不仕二付代親類吉十郎他30名→大草太郎右馬役所 退役村役人跡入札まで立入庄屋付けられるべきこと	虫損あり
16-127-2	乍恐以書附奉願上候	文政6年	縦継紙	1通	窪屋郡倉敷村百姓惣代他5名→大草太郎右馬役所 村役人退役のため跡役決定まで文四郎に仮庄屋を頼む	(端裏書)「不用」
16-127-3	乍恐以書付奉願上候	文政5年8月	縦継紙	1通	窪屋郡倉敷村百姓徳之丞他5名→大草太郎右馬役所 村役人退役につき百姓代に相当の者取り立ての願	(端裏書)「午八月取調へ連印状写」(奥書)仁左衛門他49名→藤左衛門他5名
16-127-4	乍恐以書付奉願上候	年月日未詳	縦継紙	1通	村役人不正訴訟いまだ未決、その間の庄屋等の勤め方	(端裏書)「高」
16-127-5	[願書案文]	文政7年10月	縦継紙	1通	利右衛門外4名→石川主水正奉行所 曾我豊後守へ越訴、相手方九人の者呼び出し裁許仰付けられたし	(端裏書)「石川様へ 十月朔日可奉差上案文」訂正の付紙あり
16-127-6	乍恐以書附奉願上候	年月日未詳	縦継紙	1通	村役人退役のため跡役選任の再度願	下書 朱で訂正加筆
16-127-7	乍恐以書付奉願上候	年月日未詳	縦継紙	1通	庄屋七太夫借銀等村役人九人の不正・我まま	
16-127-8	乍恐以書付奉願上候	年月日未詳	縦継紙	1通	郡中辻借用・義麦貸付などにつき村役人九人を訴える	
16-128	[大はし旦那宛つ代書状]	年月日未詳	横継紙	1通	「町内屋夜ませ返し」していることや「母様夜分ハツ時よりまい夜々々神様ニ計御ねがひ被成候」など留守宅や町内の近況を知らせる	包紙あり(包紙上書)「大はし旦那様 同つ代より」(端裏書)「申九月十一日着」
17-1	壬子嘉永五年正月吉日 町通	嘉永5年正月吉日	美・横列	1冊	日付・金額・屋号等	(17-1)(裏表紙)「東中島屋」紐がはずれたのでSILティッシュで包む 全体をSILティッシュで包む 虫損甚大 箱17の文書(帳面)はもともと2列にして縄で括りこもの中に入っていた 文書と縄は文書箱に移す
17-2	日記	年月日未詳	美・横列	1冊	日付・金額・氏名等	(裏表紙)「大福入 中島屋」虫損甚大
17-3	壬申文化九年 日記	文化9年吉日	美・横列	1冊	日付・金額・村名・氏名等	虫損甚大 (裏表紙上書)「中島屋 大福入 [ ]」紐が切れている
17-4	丁卯文化四年正月吉日 日記	文化4年正月吉日	美・横列	1冊	日付・金額・屋号・名前等	虫損甚大 (裏表紙上書)「中島屋 大福入 金平」くつついて開かないページもある SILティッシュで包む



17-5	丁卯慶応三年正月 日記	慶応3年正月吉日	美・横列	1冊	日付・金額・屋号・氏名等	虫損あり(裏表紙上書)「東口口口」全体を綴じる紐がちぎれている SILティッシュで包む
17-6	明治十九年正月吉日 日記	明治19年正月吉日	美・横列	1冊	日付・代金・屋号・名前・品名等	表紙に朱書の付紙あり
17-7	甲戌口(文か)化拾[ ](一年か)正月吉日 日記	文化11年正月吉日	美・横列	1冊	日付・金額・村名・名前等	虫損甚大(裏表紙上書)「中島屋 大福入 源介」帳を綴じて結ぶための紐が片一方なくなっている
17-8	慶応三丁卯年十二月ヨリ明治四辛未秋迄 渡帳	慶応3年12月～明治4年秋	美・横列	1冊	日付・金額・屋号・名前等	(裏表紙)「東大橋」数項ずつを纏めていた紙紐を外しSILティッシュで包む 全体をSILティッシュで包む
17-9	丙寅文化三年正月吉日 日記	文化3年正月吉日	美・横列	1冊	日付・金額・屋号・名前等	虫損甚大(裏表紙)「中島屋 大福入 金平」紐が片方はずれている
17-10	嘉永四辛亥年正月吉日ヨリ 渡帳	嘉永4年正月吉日	美・横列	1冊	日付・金額・屋号・名前等	虫損甚大(裏表紙)「東中島屋」数項を纏めていた紐を外しSILティッシュで包む 全体をSILティッシュで包む 断片をSILティッシュで包み当該ページにはさむ
17-11	加のと卯天保二年正月吉日 町通	天保2年正月～天保3年正月	美・横列	1冊	日付・金額・屋号・名前等	虫損あり(裏表紙)「井上町 中島屋」紐が片方はずれている
17-12	乙巳文化六年正月吉日 日記	文化6年正月吉日	美・横列	1冊	日付・金額・屋号・名前等	虫損甚大(裏表紙)「中島屋 大福入」
17-13	[ ]十三年正月吉日 町通	13年正月吉日	美・横列	1冊	日付・金額・屋号・名前等	虫損あり(裏表紙上書)「東中島屋」
17-14	辛未明治四年正月吉日 町通	明治4年正月吉日	美・横列	1冊	日付・金額・屋号・名前・品名等	虫損あり(裏表紙上書)「東大橋」
17-15	庚申寛政十二年正月吉日 日記	寛政12年正月吉日	美・横半	1冊	日付・金額・屋号・名前等	虫損甚大(裏表紙上書)「中島屋 大福入 金平」
17-16	己巳明治二年正月吉日 町通	明治2年正月吉日	美・横列	1冊	日付・金額・屋号・名前等	(裏表紙上書)「東大橋」
17-17	癸酉明治六年二月吉日 町通	明治6年2月吉日	美・横列	1冊	日付・金額・屋号・名前・品名等	虫損あり(裏表紙上書)「東大橋」
17-18	文化二丑歳九月吉日 小作米取立庭帳	文化2年9月吉日～	美大・横切半折	1冊	日付・石高・村名・名前等	(裏表紙上書)「中島屋新宅」
17-19	甲戌明治七 一月吉日 町通	明治7年1月吉日	美・横列	1冊	日付・金額・屋号・名前・品名等	虫損あり(裏表紙上書)「東大橋」
17-20	明治十七年正月吉日 町通	明治17年正月吉日	半・横列	1冊	日付・金額・屋号・名前・品名等	虫損あり(裏表紙上書)「東大橋」数項を纏めて綴じた紙紐をはずしSILティッシュで包む 全体をSILティッシュで包む
17-21	東大橋様 生魚御通 新田屋米蔵	酉年秋	美・横切半折	1冊	日付・金額・品名(料理名)	(表紙朱書)「酉ノ秋」「仕出し」(表紙青書)「蒲鉾」(裏表紙)「新屋敷」
17-22	己未安政六年正月吉日 町通	安政6年正月吉日	美・横列	1冊	日付・金額・屋号・名前・品名等	虫損甚大(裏表紙上書)「東大橋」ページがはずれかけている 部分的に項を纏めていた紐をはずす 紐と帳面をSILティッシュで包む
17-23	きゆうハ三年亥口月ヨリ 於保之	享和3年	小・豎半	1冊	検見帳	(裏表紙)「大橋氏」
17-24	文久三年正月吉日 町通	文久3年正月吉日	美・横列	1冊	日付・金額・屋号・名前・品名等	虫損あり(裏表紙上書)「東大橋」数ページを纏めて綴じていた紐をSILティッシュで包む 全体をSILティッシュで包む
17-25	自文化十一甲戌二月吉日 至文化十三口午十二月晦日 金銀渡帳	文化12年2月吉日～13年12月晦日	美・横列	1冊	日付・金額・屋号・名前・受取文言等	(裏表紙上書)「中島口」紐が切れている
17-26	みづのと巳天保四年正月吉日 町通	天保4年正月吉日	美・横列	1冊	日付・金額・屋号・名前・品名等	虫損甚大 帳面がバラけているのでSILティッシュで包む 紐の断片がはずれたのでSILティッシュで包む 皮紐は片方はずれかけている
17-27	壬辰天保三年正月吉日 町通	天保3年正月吉日	美・横列	1冊	日付・金額・屋号・名前・品名等	虫損甚大(裏表紙上書)「井上町 中島屋」丁はずれになりそうなのでSILティッシュで包む
17-28	癸口口嘉永六年[ ] 町通	嘉永6年正月	美・横列	1冊	日付・金額・屋号・名前・品名等	虫損甚大(裏表紙上書)「東中島屋」1カ所数ページを綴じていた紙紐をはずしSILティッシュで包む 全体をSILティッシュで包む
17-29	天保八酉年口月吉日 渡帳	天保8年9月	美・横列	1冊	日付・金額・屋号・名前・受取文言等	虫損あり(裏表紙上書)「東中島屋」虫損によりはずれた断簡はSILティッシュに包み関連ページにはさんだ
17-30	帳面一括			1括り(2冊)		17-30-1～2紐一括り
17-30-1	[ ]年未正月吉 売	年月日未詳	半・横列	1冊	村名・名前・薬の種類カ・数 文政五年午夏仕込入用	虫損甚大(裏表紙上書)「倉敷 中島屋」SILティッシュで包む
17-30-2	文政五年午秋 薬懸帳 備後	文政5年	美・横列	1冊	村名・名前・数等	虫損甚大(裏表紙上書)「備中窪屋郡倉敷大橋氏 代口口吉」全体を綴じる紐が片方はずれている SILティッシュで包む
17-31	口口寛政十二年[ ]号 口正月吉日 日記	寛政12年正月吉日	美・横列	1冊	日付・金額・屋号・名前等	虫損甚大(裏表紙上書)「中島屋 大福入 金平」付箋がついている はずれた付箋をSILティッシュで包み該当ページにはさむ 全体をSILティッシュで包む
17-32	弘化二乙未巳年十一月吉日ヨリ 渡帳	弘化2年11月	美・横列	1冊	日付・金額・屋号・名前・受取文言等	虫損甚大(裏表紙上書)「東中島屋」帳面がはずれかけているのでSILティッシュで包む 帳面の上の紐が片方はずれている 虫損によりはずれた断簡をSILティッシュで包み該当ページにはさむ
18-1	[水夫屋敷買取関係書類]			1袋(1括り1枚)		18-1-1～2一袋 袋の上に紙綴りが巻かれている(袋上書)「嘉永五壬子年七月買取証文并書類一切入 銀拾四貫目 但シ本町和泉屋あさ所持家屋敷ニ[ ]処去ル弘化二巳年より庭瀬屋義介前へ質流ニ相成候ニ付今般同人より買取候 庭瀬屋義介 親類庭瀬屋清吉 証人西阿知村伝次郎 同土手新屋卯之介 同船倉伊勢屋常之介」
18-1-1	[水夫屋敷買取証書類]			1括り(2包)		18-1-1-1～2紙綴り一括り
18-1-1-1	[水夫屋敷質流関係書類]			1包(4通2枚)		18-1-1-1-1～6一包 包紙あり(包紙上書)「本町水主屋敷壺ヶ所別紙端書之通銀拾四貫目ニ而庭瀬屋儀介より買取候得共名寄帳面和泉屋あさ名前ニ有之候ニ付あさより証文認メ差越候負数銀拾五貫五百目与有之候訳者右義介手前ニ而無余義内々訳柄御座候ニ付あさ與相談之上認メ越し候義ニ御座候 嘉永五壬子年七月」

18-1-1-1-1	[家敷図]	嘉永5年7月3日	56.5×37.0	1枚	水夫屋敷現状図「新屋卯之介 伊勢屋常介 新川弥吉三人立会取調候絵図 嘉永五壬子七月三日」の書付あり	
18-1-1-1-2	覚(屋敷質流に付き名寄帳面名前書替願い案文)	年月日未詳	縦切紙	1通		
18-1-1-1-3	[図面]	年月日未詳	14.2×8.2	1枚		
18-1-1-1-4	覚(水夫屋敷質流に付き名寄帳面名前書替願い案文)	嘉永5年8月	縦切紙	1通	中嶋屋金平→庄屋助右衛門・同丈平	
18-1-1-1-5	覚(水夫屋敷質流に付き名寄帳面名前書替願い案文)	年月日未詳	縦継紙	1通	庄屋助右衛門・丈平宛	
18-1-1-1-6	質入申家屋敷証文之事	嘉永5年6月	縦継紙	1通	質入主和泉屋あさ・親類瀬尾屋五之介・証人庭瀬屋多吉・同伊勢屋常介・同新屋卯之助→中嶋屋金平	(奥書)庄屋助右衛門 同丈平
18-1-1-2	[本町水夫屋敷買取書類一件]			1包(5通1包)		18-1-1-2-1~6一包 (上書)「子七月十二日 金子請取書三通 添証文書通 家買手形書通 本町水夫屋敷代銀拾四貫目 七月十二日晩刻迄二不残相渡 庭瀬屋義介」
18-1-1-2-1	[水主屋敷庭瀬屋より買取之分書抜]			1包(4通)		18-1-1-2-1-1~4一包 包紙あり(包紙上書)「本町書抜在中 但水主屋敷 庭瀬屋より買取候分」
18-1-1-2-1-1	覚(本町水腐屋敷地面・建家・役銀書抜)	年月日未詳	横折紙	1通		
18-1-1-2-1-2	質入申家屋舗之事	弘化2年5月	横継紙	1通	質入主和泉屋あさ・親類大嶋屋次郎右衛門・証人中屋藤助→庭瀬屋太吉	(奥書)庄屋丹右衛門 同助右衛門 同助勤丈平
18-1-1-2-1-3	覚(年貢諸役銀・貸家賃書付)	年月日未詳	横切紙	1通	貸主大坂屋源介	
18-1-1-2-1-4	覚(屋敷間数内訳書付)	年月日未詳	横継紙	1通	表行ク間半 裏行 同断 奥行九間 店・座敷・同次間・居間・中間・同次間・台所・三階蔵・表土蔵・表物置	
18-1-1-2-2	覚(家屋敷其外建物代銀受取)	嘉永5年6月28日	横継紙	1通	売主庭瀬屋義介・親類清吉・証人伊勢屋常介→新屋之助・取次	包紙あり(包紙上書)「子六月廿八日 本町水夫屋敷并建家買取入銀金貳拾兩相渡候請取書入 庭瀬屋義介」
18-1-1-2-3	覚(水夫建物代銀請取)	嘉永5年7月	縦切紙	1通	庭瀬屋儀助・証人新屋卯三郎→中嶋屋金平	包紙あり(包紙上書)「子七月九日 金三拾兩請取書書通入 庭瀬屋儀介」
18-1-1-2-4	覚(水夫屋敷建物代銀請取)	嘉永5年7月12日	横継紙	1通	売主庭瀬屋義介・親類清蔵→中嶋屋金平	包紙あり(包紙上書)「子七月十三日 金子不残引渡し請取書入 庭瀬屋義介」
18-1-1-2-5	差入申添証文之事	嘉永5年7月	縦継紙	1通	和泉屋あさが弘化2年に質入したものが流地流家になった件について 売主庭瀬屋義助・親類同清吉・証人新屋卯之助・同伊勢屋常助→中嶋屋金平	
18-1-1-2-6	覚(家賃書上)	嘉永5年6月	縦継紙	1通	本町南側水夫屋敷の家賃 庭瀬屋太吉・親類同清蔵・証人伊勢屋常助→中嶋屋金平	
18-1-2	[屋敷図]	嘉永5年8月	92.5×65.2	1枚	「あさ所地」との境界に朱線あり	
18-2	[興除新田中疇田地関係書類]			1括り(2袋)		18-2-1~2紙紐で一括り
18-2-1	[興除中疇田地証文]			1袋(2括り)		18-2-1-1~2一袋 (袋上書)「天保十三寅十二月 興除中疇田地証文入」
18-2-1-1	[興除新田中疇田地売渡証文]			1括り(3通)		18-2-1-1-1~3紙縫りで一括り
18-2-1-1-1	覚(興除新田中疇田地代銀請取)	天保13年12月24日	横継紙	1通	八濱屋猪平・早沖新田伝左衛門・倉敷新田平左衛門・粒江村善蔵→中嶋屋源介	
18-2-1-1-2	覚(興除新田中疇田地売り渡し手形)	天保13年12月14日	縦紙	1通	売主早嶋八濱屋伊兵衛・証人早沖伝左衛門・倉敷新田平左衛門・粒江村善蔵→中嶋屋源助	包紙あり(包紙上書)「銀拾二貫目受取書 八濱屋猪平」
18-2-1-1-3	覚(興除新開中疇田地代銀請取)	天保13年11月19日	縦紙	1通	早嶋八濱屋伊平・早沖伝左衛門・倉敷新田平左衛門・粒江村善蔵→中嶋屋金平	包紙あり(包紙上書)「十一月十九日 金三拾兩 早嶋八濱屋伊平 興除新田田地之内へ入銀請取書付入」
18-2-1-2	[興除新田中疇田地証文]			1括り(3通1包)		18-2-1-2-1~4紙縫りで一括り
18-2-1-2-1	小作証文之事	天保15年9月	横継紙	1通	早沖富蔵・中疇千代→中嶋屋源介 小作預りのこと	
18-2-1-2-2	小作証文之事	天保15年正月	縦継紙	1通	順助・小三郎・兼次郎・鶴次郎・作太夫・久三郎・平左衛門・利左衛門・嘉平代判親類右平左衛門・七左衛門・浅之助→倉敷中嶋屋源介 小作預りのこと	
18-2-1-2-3	差上申一札之事	天保14年10月20日	縦継紙	1通	小作米皆済難渋申立の件は駒之丞、順介、常左衛門3人のみの申立に付、心得違をやめ小作米を皆済する旨の一札 興除新田中疇太蔵・豊平・万介・長吉・広介・宇介・名吉・役次郎・小三郎→中嶋屋源介	(奥書)駒之丞 唯介
18-2-1-2-4	[興除新田中疇田地証文]			1包(2通)		18-2-1-2-4-1~2一包 包紙あり(包紙上書)「証文」
18-2-1-2-4-1	小作証文之事	天保13年12月	縦継紙	1通	清八代判常左衛門外17名→倉敷中嶋屋源介 小作預りの連印証文	(奥書)八濱屋猪平
18-2-1-2-4-2	売渡申田地証文之事	天保13年12月	縦継紙	1通	売主早嶋八濱屋猪平・親類同所勇介外証人5人→倉敷中嶋屋源介 興除新田中疇田地売渡のこと	(奥書)中疇名主藤戸村義兵衛 同曾根伴三郎
18-2-2	[興除新田中疇田地書抜]			1袋(1冊仮3冊)		18-2-2-1~4一袋 (袋上書)「寅十二月早嶋八濱屋入之分 興除新田中疇田地書抜」
18-2-2-1	仕出し覚	年月日未詳	美・横長	仮1冊	中疇田地	
18-2-2-2	[中疇田地測量図]	年月日未詳	半・横長	仮1冊		
18-2-2-3	天保十三寅年 払地下作預畝面覚帳	天保13年	半・横長	1冊	八濱屋作成	
18-2-2-4	天保十三寅十一月晦日双方立会地面請取 北境杭木左之図通入置候事 児島郡興除新田内中疇	天保3年11月晦日	美・横長	仮1冊	立会人喜久太 平左衛門 八濱屋猪平 同雇人常左衛門 妹尾花屋半四郎代兼伝左衛門 紙屋常右衛門代定七	

18-3	[質取証文并小作証文]			1袋(2通1括り)		18-3-1~3まで紙紐で括られて袋に入っている(袋上書)「天保八酉年十二月十八日 山の後三ノ割 田三反歩 質取証文并小作証文 二通 ■寄抜相添請取置候事 広田屋甚四郎 跡たね」
18-3-1	質入申田地之事	天保8年12月	縦継紙	1通	山之後三割の田地の質入について 質入主広田屋たね・親類吉波屋兵助・同児島屋太治兵衛→中島屋源助	(奥書)庄屋水沢常太郎 植田武右衛門 丹右衛門
18-3-2	覚(小作畝小作米書上)	天保8年12月	縦継紙	1通	山ノ後三割の田地についての覚 広田屋たね・親類吉波屋兵助→中島屋源助	
18-3-3	[山後三割畝高書上他]			1括り(2通1枚)		18-3-3-1~3紙紐一括り
18-3-3-1	[所持地見取図]	天保8年12月16日	横切紙	1枚	「天保八酉年十二月十六日 広田屋代人 二反芳蔵 山後善蔵 李五郎 金平立合請取候事」の書付あり	
18-3-3-2	[山後三割田地畝高書付]	年月日未詳	横切紙	1通		
18-3-3-3	覚(山之後三割地利米算用書)	年月日未詳	横切紙	1通		
18-4	[畑地年季売書付類]			1袋(1通1括り)		18-4-1~2一袋 袋の表に貼紙あり(貼紙)「天保七申年十二月求之 川入下字石橋畑畝反畝分 銀四百式拾目壹分六厘 又畝六分五厘覚大違候間加ル 大内宇源次」
18-4-1	[大内村宇源次畑地年季売書類]			1括り(3通1枚)		18-4-1-1~4紙綴りで一括り
18-4-1-1	畝ヶ年切売渡申畑証文之事	天保7年12月	縦継紙	1通	売主大内村宇源次・親類同村武右衛門・証人川入村嘉吉→倉敷中嶋屋源介 下畑2ヶ所	(奥書)川入村名主惣五郎
18-4-1-2	覚(下畑代銀請取)	天保7年12月	横継紙	1通	大内村宇源次・証人川入村嘉吉→倉敷中嶋屋源介	
18-4-1-3	[大内宇源治分地所見取図]	年月日未詳	24.0×17.3	1枚		
18-4-1-4	書抜	年月日未詳	横切紙	1通	有坪石橋下畑2ヶ所の畝高書付	
18-4-2	小作証文之事	天保7年12月	縦継紙	1通	小作人大内村宇源次・証人川入村嘉吉→倉敷中嶋屋源介 石橋下畑2ヶ所の小作畝小作米の証文	
18-5	[地所四方境見取図]	年月日未詳	16.0×16.0	1枚	某地の四方の形状を記す 方位の記載のみ	
18-6	[田畑・小作証文]			1袋(5通1枚)		18-6-1~6紙綴りで括られて袋に入っている 袋の表に貼紙あり(貼紙)「申十二月 田畑証文畝通 小作証文畝通 大内村嘉吉より買取地」
18-6-1	畝ヶ年切売渡申畑証文之事	天保7年12月	縦継紙	1通	売主大内村嘉吉・親類同村浅吉・証人川入村嘉吉・同村久次郎→倉敷中嶋屋源介 番屋地畑地売渡証文	(奥書)川入村名主惣五郎
18-6-2	小作証之事	天保7年12月	縦継紙	1通	小作人大内村嘉吉・親類浅吉・証人川入村嘉吉・同村久次郎→倉敷中嶋屋源介 番屋地畑地の小作畝小作米の証文	
18-6-3	[大内村嘉吉分畑地四方書]	年月日未詳	横継紙	1通	「西ハ川入清右衛門 東ハ大内佐吉 北ハ道切 南ハ倉敷源介」など	
18-6-4	覚(番屋地畑地代銀受取)	天保7年12月13日	横継紙	1通	大内村嘉吉・証人川入村嘉吉→倉敷中嶋屋源介	
18-6-5	覚(預畝・預米書上)	年月日未詳	横切紙	1通(2枚)		挟み込み文書(耕地等級・高書上)あり
18-6-6	地図	年月日未詳	28.8×17.5	1枚	大内嘉吉分 畑地見取図	
18-7	[三本木畑売渡書類]			1包(3通1包)		18-7-1~4まで紙紐で括られて袋に入っている(袋上書)「嘉永二己酉年十二月求之 銀壹貫五百四拾四匁分 右者三本木畑畝反畝歩求ル 川入村藤吉 証人久次郎」
18-7-1	覚(川入村字三本木畑地売渡代銀受取)	嘉永2年12月18日	横継紙	1通	売主川入村藤吉・証人同村久次郎→倉敷中嶋屋源介	
18-7-2	[田地書抜]			1包(2通)		18-7-2-1~2一包 包紙あり(包紙上書)「田地書抜 川入藤吉」 包紙は書状を転用
18-7-2-1	[三本木畑畝高書上]	年月日未詳	横継紙	1通		
18-7-2-2	[預地四方書]	年月日未詳	横切紙	1通	「東・西中嶋屋地 南道切 北川切」	
18-7-3	売渡申畑証文之事	嘉永2年12月	縦継紙	1通	川入村之内字三本木畑の売渡証文 売主川入村藤吉・証人同村久次郎→倉敷中嶋屋源介	(奥書)川入村名主惣五郎
18-7-4	小作証文之事	嘉永2年12月	縦継紙	1通	川入村之内字三本木の小作畝小作米の証文 売主川入村藤吉・証人同村久次郎→倉敷中嶋屋源介	
18-8	譲渡申葎場証文之事	文政10年12月	縦継紙	1通	鶴新田之内沖新開葎場北畝割の譲渡証文 譲主腕茂介・証人弁才天与太郎→鶴新田御後見倉敷源介	袋あり(袋上書)「文政十丁亥年十二月十九日 沖新開葎場証文 畝通 腕茂助」
18-9	[子位庄分田畑売買書類]			1括り(4通1包)		18-9-1~4紙綴りで一括り
18-9-1	[田畑書抜覚]			1包(3通)		18-9-1-1~3包紙一括り(包紙上書)「子位庄分田畑売候書抜 本村要吉世話二而西岡行願院江売尤名前之義八同寺より善次郎当二認メ呉と頼越候二付、善次郎当二認メ遣候」
18-9-1-1	覚(小作畝小作米書上)	年月日未詳	横継紙	1通	字五右衛門屋敷 字クメ之止 字八幡谷 字宮ノ下分	
18-9-1-2	覚(小作畝小作米書上)	年月日未詳	横継紙	1通	八幡宮、宮ノ下分	
18-9-1-3	覚(田畑高・物成書上)	年月日未詳	横切紙	1通	千四百三十三 山田 二筆	
18-9-2	覚(田畑代銀引渡し覚)	巳年5月29日	横継紙	1通	子位庄村行願院→倉敷大橋金兵衛	
18-9-3	[大橋金平宛行願院書状]	年未詳5月21日	横継紙	1通	要吉口入にて田地買求につき名前を子位庄村善治郎とする件について	包紙あり(包紙上書)「倉敷大橋金平様 西岡山行願院 几下 用ゝ書」
18-9-4	[行願院宛大橋金平返書控]	年未詳5月27日	横継紙	1通	名義についての行願院要請を承知のこと 奥に「此方より遣し候返書控」の書付あり	

18-9-5	[大橋金平宛秋庭善太夫書状]	(弘化2)年6月6日 及び弘化2年6月8日	横継紙	1通	証文の義につき畝並帳記載との相違について照会 書状末尾に「田畑畝並帳」取調べの別紙貼継ぎあり	(上書)「大橋金平様 秋庭善太夫 貴下」
18-10	質入申家屋敷証文之事	嘉永5年12月	縦継紙	1通	質入主和泉屋あさ・親類瀬尾屋五之介・証人中屋平蔵→中島屋金平	(袋上書)「本町南側家屋敷ヶ所 代銀八貫目也 証文并寄抜共入 売主和泉屋あさ 嘉永五壬子年十二月求之」 中包あり(中包上書)「家屋敷質地証文 巻通 和泉屋あさ」(奥書)庄屋助右衛門 同丈平
18-11	[田地売渡証文及び小作証文]			1袋(2通1包)		18-11-1~3一袋 (袋上書)「嘉永七甲寅十一月 銀六貫貳百貳拾 巻匁四分五厘 箕島分田貳反三畝求之 売主箕島村桑三郎 証人 妹尾伊三郎」
18-11-1	小作証文之事	嘉永7年11月	縦紙	1通	箕島村之内字四方田 小作人箕島村甚十郎 売主箕島村桑三郎・証人妹尾伊三郎→倉敷村中島屋金平	
18-11-2	売渡申田地証文之事	嘉永7年11月	縦紙	1通	箕島村之内字四方田 売主箕島村桑三郎・証人妹尾伊三郎→倉敷村中島屋金平	(奥書)庄屋寿次郎 年寄彦介
18-11-3	[田地書抜及び買取関係書類]			1包(1通1包)		18-11-3-1~2一包 包紙あり(包紙上書)「田地売券証文小作証文 並算用書共三通」包紙の上を紙紐で括られている 中包あり(中包上書)「妹尾伊三郎より差越候箕島庄屋桑三郎 田地書抜并買取 二付金子受取書入 丑十一月廿六日」
18-11-3-1	[小作地関係書付]			1包(2通2枚)		18-11-3-1-1~4一包 伊三郎宛書状包紙を転用
18-11-3-1-1	[小作人甚十郎預地見取図]	年月日未詳	33.5×24.0	1枚	所持地見取図 東西南北の境界図	(端裏書)「箕島田地見取図」
18-11-3-1-2	[地境之図]	年月日未詳	20.0×27.8	1枚	東西南北の地境図	
18-11-3-1-3	[畝高算用書]	年月日未詳		1通		
18-11-3-1-4	覚(小作米取極めについて)	嘉永6年11月27日	横切紙	1通		
18-11-3-2	覚(地所売渡代銀受取)	嘉永7年11月	横継紙	1通	箕島村之内字四方田 売主箕島村桑三郎・証人妹尾伊三郎→倉敷村中島屋金平	
18-12	[借家関係書類]			1包(1通1包)		18-12-1~2一包 包紙あり 包紙の上を紙紐で括られている (包紙上書)「一 嘉永六癸丑年正月 借家手形巻通 外二地蔵院書状并 大坂屋より差越候書付数通入 本町大坂屋源介」
18-12-1	[大坂屋源介家賃書付]			1包(5通)		18-12-1-1~5一包 運勢について書かれた用紙を転用 包紙あり (包紙上書)「大坂屋源介より家賃内分書付并地蔵院書状入」
18-12-1-1	覚(家賃銀内分書上)	年未詳8月7日	横継紙	1通	大坂屋源介→東中島屋	
18-12-1-2	覚(家賃銀内分書上)	年月日未詳	横継紙	1通	大坂屋分・板屋分・今崎屋分の家賃銀	
18-12-1-3	覚(家賃銀内分書上)	年月日未詳	横継紙	1通	18-12-1-2と同内容	
18-12-1-4	[大橋金平宛大坂屋源介口上]	年未詳8月7日	横継紙	1通	大坂屋源介→大橋金平 仰付けのあった家賃配当の件	包紙あり(包紙上書)「東中橋様 大坂屋源介」
18-12-1-5	[大橋金平宛玄機書状]	年未詳7月25日	横継紙	1通	源介へ申聞候所何分御懇情之段難有義二御座候	包紙あり(包紙上書)「御請 玄機」
18-12-2	借家手形之事	嘉永6年正月	縦継紙	1通	借主大坂屋源介・請人大橋屋素介→中島屋金平 本町南側瓦 葺建屋巻ヶ所	包紙あり(包紙上書)「借家手形巻通」
18-13	[永年入用書類]			1括り(2包1括り 1纏め29通)		18-13-1~33まで包紙につつまれ包紙の上を紙紐で括られている (包紙上書)「文政十二丑正月より永年入用之書類小切レ入」
18-13-1	[書状及び銀受領書]			1包(2通)		18-13-1-1~2一包 包紙あり(包紙上書)「請取書」
18-13-1-1	[倉敷中嶋伯母宛つる書状]	年月日未詳	横切紙	1通	銀子3貫目を使いの者に渡すよう源介への伝言を依頼したもの	(上書)「倉敷中島や新屋 御伯母様 つるより」
18-13-1-2	覚(銀三貫目受領証)	未年11月	横切紙	1通	中島村政吉→倉敷中島屋源介	
18-13-2	[教諭所釈菜奠物請取覚]			1包(2通)		18-13-2-1~2一包 包紙あり(包紙上書)「天保七申年教諭所釈菜 之節奠物預り置候分 同所年寄両人江相渡候請取書入 酉三月十日」
18-13-2-1	覚(釈菜奠物預り書)	丁酉年2月27日	横切紙	1通	安右衛門・政七郎→源介	
18-13-2-2	[新宅中島屋宛教諭所書状]	年未詳2月23日	横切紙	1通	釈典御預金子は持ち帰り次第請取書差上げのこと	(上書)「中島屋新宅様 教諭所 用事」
18-13-3	[荻野流炮術打順之覚及び書状]			1括り(4通)		18-13-3-1~4紙紐で一括り
18-13-3-1	七月廿九日 荻野流炮術打順之覚	年未詳7月29日	横継紙	1通	師範大御番頭新庄越前守御預り力 村上源之丞	
18-13-3-2	[文政八酉年大小 大の餅ずき 小けふの酒ずき]	文政8年	横切紙	1通	若餅を喰ふてひしもち柏餅盆のふたもち亥ノ子寒餅 初午や又 初松魚暑氣払ひ二度の月見にのむ祝ひ月	
18-13-3-3	[井上権十郎宛渡辺沖蔵書状]	年未詳5月14日	横切紙	1通	今晚の来宅を願う	(上書)「上野北大門町 井上権十郎様 大草役所 渡辺沖蔵 当用」
18-13-3-4	[源介・宗平宛十左衛門書状]	文政8年11月23日	横切紙	1通	今日会うことができず残念であった	
18-13-4	[井上権十郎宛よし見書状]	年未詳4月27日	横継紙	1通	「のぼり」の事につき、今夕までに金子を届けてくれるよう依頼し、来る4日頃いつもの酒が四升ほど必要になる旨を伝える	(上書)「井上権十郎殿 小川下よし見」包紙あり(包紙上書)「蜀山人甥ノ由よし見義助様 事力 口人名 糺ノさだ摩呂」
18-13-5	覚(道具類代銀受取)	文化8年5月4日	横継紙	1通	本家→新宅	
18-13-6	[朝鮮国感鏡道咸興府雲田社松丁里金成用船人氏名書上]	年月日未詳	横継紙	1通	14名の氏名書上	
18-13-7	[大橋源助宛片山仲右衛門書状]	年未詳6月28日	横継紙	1通	盆前入用銀札貳百目の借用依頼書	包紙あり(包紙上書)「倉敷阿知町大橋源助様 東三成村行部片山 仲右衛門 要用書」
18-13-8	[大橋源助宛長蓮寺書状]	丑年正月12日	横切紙	1通	護国殿寄附銀一朱金拾片受納の礼状	包紙あり(包紙上書)「上 大橋源助様 貴下 長蓮寺 副寺」包紙は長蓮寺宛中島屋源介書状の包紙を転用 「一朱金一封添」の書付あり
18-13-9	覚(借入金返済添状)	年月未詳29日	横継紙	1通	栄之助→源助 追伸として早々の出勤を依頼	
18-13-10	覚(取かえ銀利足受取)	文政13年正月7日	横切紙	1通	平右衛門→源介	

18-13-11	[新大はし宛うへだ書状]	年月未詳28日	横継紙	1通	御印割合及び撫川割合受取のこと	(上書)「新大はし殿 貴答 伺 うへだ」
18-13-12	覚(取かえ銀指引過銀返却添状)	文政12年12月25日	横継紙	1通	貞蔵→源介	
18-13-13	[小兵衛宛呉服橋書状]	年未詳10月8日	横継紙	1通	倉敷一義に付き兩人にお目に懸り相談したいことがあるので竹屋と申す船宿の隣家の茶見せまで来てほしい	(上書)「小兵衛様 呉服橋 内用書」
18-13-14	五月十六日於地蔵院演組	年未詳5月16日	横継紙	1通	演目及び氏名書付	
18-13-15	覚(平蔵分取かへ銀算用書)	文化10年正月	横継紙	1通		
18-13-16	対州御出張	年月日未詳	横継紙	1通	江戸幕府が対馬に派遣した使者の名簿 正使老中小笠原大膳太夫・副使同格脇坂中務太輔ほか	
18-13-17	[大橋源介宛惣平書状]	年月未詳24日	横継紙	1通	汶四郎へ御届話をしてくれたかどうかをたずね、「どう成と御取計被下候」て訳立をたのむ	(封筒表書)「大橋源介様 坐下 [ ] 惣平」
18-13-18	[大橋源介宛小河真策書状]	年未詳6月16日	横継紙	1通	銀子返納延期願ひ	包紙あり(包紙上書)「大橋源介様 玉机下 小河真策」
18-13-19	[大橋源助宛の場復齋書状]	年未詳6月6日	横継紙	1通	御老母様の古稀と今節の婚姻を祝す	包紙あり(包紙上書)「備中倉敷大橋源助様 京都宝町二条下ナル的場復齋 平安用事」(包紙裏書)「五月十日出ス」
18-13-20	[大橋源介宛植田甚四郎書状]			1纏め(2通)		18-13-20-2が18-13-20-1の中に挟まれている
18-13-20-1	[大橋源介宛植田甚四郎書状]	年月未詳17日	横継紙	1通	先立って取替た割賦金入手のことなど	(上書)「大橋源介様 植田甚四郎 貴答」
18-13-20-2	覚(取かえ金算用書)	年月日未詳	横切紙	1通		
18-13-21	覚(金子入書状忝通請取)	丑年9月24日	横切紙	1通	方屋正兵衛→新宅中嶋屋	包紙あり(包紙上書)「西阿知菅田屋彦左衛門より 京都松村景文行金子入書状潼田屋(力)当地方屋正兵衛へ相頼遣候受取書一通」(包紙裏書)「丑九月廿四日」
18-13-22	[大橋宛松井彦左衛門書状]	丑年12月23日	横継紙	1通	葎代の世話をしてくれる礼、葎代受取	(上書)「大橋高兄様 松井彦左衛門様 机下用事書」(裏書)「御高免可為下候」
18-13-23	覚(祝儀巻封受取)	年未詳12月23日	横切紙	1通	守谷用齋→大橋源介	
18-13-24	[大橋源介宛地蔵院書状]	年月未詳9日	横継紙	1通	今日の喜兵衛の咄は承知したがこの件については「いく重もいく重も」勤弁してほしい	(上書)「大橋源介様 地蔵院 内事書」
18-13-25	[大橋源介宛地蔵院書状]	年月未詳9日	横継紙	1通	返書を拝見したところ誠に誠に当惑している	(上書)「大橋源介様 地蔵院 内用書」
18-13-26	[大橋源介宛地蔵院書状]	年未詳11月8日	横切紙	1通	一条については「喜兵衛を呼び彼寺へ断の示談仕候得共是も能分別付不申」に付き「偏二御高可被下候」	(上書)「大橋源介様 地蔵院 急極用書」
18-13-27	覚(餅・塩・桶代銀受取)	丑年10月15日	横切紙	1通	二日市町常蔵→今屋	
18-13-28	[中島屋十蔵宛源介書状]	年未詳12月15日	横切紙	1通(3枚)	品川より源介→貞蔵・十蔵・喜久太他2名 私・惣平のみ今朝出立外四人は在府になったことを知らせる	尚々書が別紙2枚あり (上書)「中島屋十蔵様 同源介 用事 無異」
18-13-29	覚(引き渡し銀算用書)	寛政11年5月25日	横継紙	1通	平蔵→出店伯父	
18-13-30	[金平宛川入嘉三郎書状]	年未詳2月1日	横継紙	1通	銀子四百目の借用願	(上書)「中嶋屋金平様 貴下 川入嘉三郎 内用書」
18-13-31	借用手形之事	寛政12年2月1日	縦切紙	1通	銀四百目の借用手形 借主川入村嘉三郎・証人同村嘉四郎→倉敷中嶋屋金平	
18-13-32	乍恐以書付奉願上候	午年9月	縦継紙	1通	女房を引受けたところ石打と号して大勢が集まり居宅と新宅を打損じ狼藉を働いた者を宥免してくれるよう願上げる 中島屋平蔵外6人→柘植又左衛門役所	
18-13-33	覚(銀子引渡添状)	年未詳11月22日	横切紙	1通	正銀貳貫三拾九匁八厘の引渡状 平蔵→叔父	
18-14	[古証文并書付]			1袋(1纏め1括り3通)		18-14-1~5を紙綴りで一括りの上、袋中に納む (袋上書)「古証文写入并弘秀様御手跡」
18-14-1	[三之丞預地取放に付き内済関係書類]			1纏め(3通)		18-14-1-1~3一纏め 18-14-1-1に18-14-1-2と18-14-1-3が巻き込まれている
18-14-1-1	[三之丞預地取放に付内済経緯書付案文]	年月日未詳	横継紙	1通	寛政6年8月3日孫太夫宛さつ書状及びその後の経緯	
18-14-1-2	覚(こへ代・水かき入用銀受取)	寅年9月8日	横切紙	1通	木曾屋三之丞→広江屋義兵衛・くまの屋嘉兵衛	
18-14-1-3	[三之丞銀札広江屋くまの屋取計い状]	寛政6年9月	横切紙	1通		
18-14-2	済口一札之事	寛政6年8月	縦継紙	1通	三之丞→中嶋屋平右衛門・金平 預り地取り放しに対し悪口不埒の行跡につき詫状	
18-14-3	[借用証文他]			1括り(7通)		18-14-3-1~7紙綴りで一括り
18-14-3-1	奉拝借御銀証文之事	寛政7年12月	縦継紙	1通	備中小田郡尾坂村組頭百姓惣代又三郎・別頭文左衛門・作次郎他10名→(宛名なし)	(奥書)備中小田郡尾坂村名主留次郎→円満院宮内役人中取次大橋平右衛門
18-14-3-2	覚(払込銀受取)	寛政6年12月5日	縦切紙	1通	備中倉敷大橋金平→備前家中牧野権六郎	
18-14-3-3	借用申銀子手形之事	寛政9年5月	縦切紙	1通	中嶋村政吉・証人源次郎→金平	
18-14-3-4	御年貢米借用証文之事	天明3年12月	縦継紙	1通	御年貢米指詰り難渋に付き借用 借主浅原村次郎右衛門・証人同村勘太郎→倉敷中嶋屋金平・世話人浅原村次郎左衛門	(端裏書)「天明三卯暮中嶋屋御年貢ノミ 次郎右衛門」
18-14-3-5	写シ書 預り申銀子之事	寛政6年正月	縦紙	1通	牧野権六郎→備中倉敷大橋金平取次	(奥書)御野郡円覚村判頭又七郎・惣五郎他3名→備中倉しき大橋金平取次
18-14-3-6	借用申銀之事	寛政10年2月	縦継紙	1通	波多野左仲→福岡屋源次郎	
18-14-3-7	元年切売渡申田畑事	安永5年12月	縦継紙	1通	庄蔵→酒津村文次郎	(裏書)「庄屋木谷重右衛門」
18-14-4	乍恐以書付奉願上候口上	年月日未詳	縦紙	1通	窪屋郡浜村年貢銀・村小入用銀につき村方勘定出入の裁許役の年貢年賦の件下書	
18-14-5	以書附願上候口上	寅年8月8日	縦継紙	1通	百姓平右衛門→庄屋孫太夫 年貢未進につき三之丞預り地取り放ちの件下書	
18-15	[質流・借地証書類]			1括り(1包1袋)		18-15-1~2紙紐で一括り
18-15-1	[家屋敷流れ証書類]			1包(1纏め1包)		18-15-1-1~2一包 (包紙上書)「駒屋治郎右衛門より対馬屋正左衛門江家屋敷流二相渡シ候節書類其外地図一切入」

18-15-1-1	[証書類及び地境絵図]			1纏め(3通1枚)		18-15-1-1-1~4一纏め
18-15-1-1-1	[絵図]	年月日未詳	19.5×23.5	1枚		18-15-1-1-2~4に帯封の様に巻かれている
18-15-1-1-2	文政十一戊子御年貢米銀請取通之事	文政11年	横切紙	1通	対馬屋庄左衛門分成米書付	左上に「七十六」
18-15-1-1-3	覚(流地・流家に付き名寄帳書替依頼)	天保5年8月	縦継紙	1通	対馬屋正左衛門→庄屋水沢常太郎・植田武右衛門	
18-15-1-1-4	借家証文之事	寅年12月	縦継紙	1通	七月十二日に借賃半銀宛払入れのこと 対馬屋庄左衛門・木屋甚蔵・吉田屋卯八→濱屋万造	
18-15-1-2	[質入関係書類]			1包(4通1枚)		18-15-1-2-1~5一包 (包紙上書)「質入証文 駒屋治郎右衛門」
18-15-1-2-1	質入申畑建家之事	文化8年12月	横継紙	1通	質主駒屋治郎右衛門・親類児島屋武右衛門・証人本屋長八郎→対馬屋善吉	(奥書)庄屋七太夫 年寄三左衛門
18-15-1-2-2	借家証文之事	天保2年11月	縦継紙	1通	対馬屋正左衛門・木屋甚蔵・吉田屋卯八→濱屋万蔵 6軒を借宅にし、7月、12月に半銀づつ払入れのこと	
18-15-1-2-3	[家賃・地子米書付]	年月日未詳	横折紙	1通		
18-15-1-2-4	天保八丁酉御年貢米銀請取通之事	天保8年	横切紙	1通	対馬屋庄左衛門分成米書付	左上に「百十九」
18-15-1-2-5	[屋敷割絵図]	年月日未詳	16.5×48.0	1枚	文化11年正月29日夜の出火により焼失した地所の普請についての屋敷割絵図	
18-15-2	[質流・借地証文]			1袋(3包)		18-15-2-1~3一袋 (封筒表書)「戌八月流 質地証文 屋敷・建家流地証文 質家証文 算用付 屋敷絵図 対馬屋正左衛門」
18-15-2-1	[川西町貸地関係書類]			1包(2枚1纏め)		18-15-2-1-1~3一包 (包紙上書)「川西町対馬屋庄左衛門より家屋敷流地受取之分境杭書抜入」
18-15-2-1-1	[対馬屋正左衛門より入川西町借家凡地図]	天保9年8月26日	29.1×38.0	1枚		
18-15-2-1-2	[川西町貸地改の図]			1纏め(2枚)		18-15-2-1-2-1~2まで重ねて巻かれている
18-15-2-1-2-1	[地租改正に付き川西町丈量図]	明治8年7月6日	22.6×59.0	1枚	「御維新地租御改正二付以六尺壹歩竿田宅地共当明治八乙亥年御丈量二相成戸長原唯七保長内藤忠吉兩人二而竿入相済候以上 則七月六日也 但朱書之分六尺壹歩竿 墨書之分六尺三寸竿 立会人 此方代 徳蔵 大原幸四郎 水沢太郎代人広瀬屋金介」の書付あり	
18-15-2-1-2-2	川西町貸地改ノ図	天保10年12月	14.0×23.4	1枚	但馬屋文兵衛、両国屋平吉の貸地改の図	
18-15-2-1-3	[明治八亥七月六日竿改之節内考之控]	明治8年7月6日	横切紙	1枚	若松屋より三宅屋迄借屋ノ分、但馬屋玉島屋両国屋貸地建物ノ分、右三軒両タル落井西境抗限空地ノ	
18-15-2-2	[質流地証書類]			1包(4通)		18-15-2-2-1~4一包 (包紙上書)「申十二月 質地証文書通 戌八月 流地証文書通 質家証文書通 算用書付書通 屋敷絵図書枚入 対馬屋正左衛門」
18-15-2-2-1	覚(家賃・貸地定米書付)	天保9年8月	縦継紙	1通	対馬屋正左衛門他6名→中島屋源介	
18-15-2-2-2	覚(質銀・家賃地子米代滞分立用請取)	天保9年8月	横紙	1通	対馬屋正左衛門・親類中島屋甚兵衛→中島屋源介	
18-15-2-2-3	質流地添証文之事	天保9年8月	縦継紙	1通	質主対馬屋正左衛門他6名→中島屋源介	
18-15-2-2-4	質入申畑建家之事	天保7年12月	縦継紙	1通	質主対馬屋正左衛門他3名→中島屋源介	(奥書)庄屋水沢常太郎 同植田武右衛門 同丹右衛門
18-15-2-3	[借地証書類]			1包(3通)		18-15-2-3-1~3一包 (包紙上書)「申十二月 貸家・地子賃証文書通入」
18-15-2-3-1	借地証文之事	天保3年12月	縦継紙	1通	平吉他5名→中島屋源介	
18-15-2-3-2	借地証文之事	文政13年12月	縦継紙	1通	対馬屋正左衛門他2名→浜屋万蔵	
18-15-2-3-3	借家証文之事	天保3年12月	縦継紙	1通	三宅屋岩吉他8名→中島屋源介	
18-16	[証書類]			1袋(4通)		18-16-1~4まで包紙に包んで紙紐で一括し袋に入っている (袋上書)「天保十三年寅年 宮崎屋三郎右衛門 質地証文書通并寄拔書通入」(包紙上書)「質地証文」
18-16-1	質入申田地之事	天保13年12月	縦継紙	1通	質入主宮崎屋三郎右衛門・証人親類油屋伊八郎→中島屋源介 新田大窪之内後下田五畝拾貳歩 高五斗九升四合 此質入銀三貫三百五拾目 1筆	(奥書)庄屋丹右衛門 同助右衛門 同助勤年寄丈介
18-16-2	小作証文之事	天保13年12月	縦継紙	1通	宮崎屋三郎右衛門→中島屋源介 新田大窪之内田壹反貳畝歩 預ケ米壹石六斗八升 他1筆	
18-16-3	[田高取米等算用書]	(天保13年力)	横切紙	1通	大窪之内田五畝拾貳歩 高五斗九升四合 御取米四斗九升八合など書上	
18-16-4	覚(田地代銀貸付証文)	天保13年12月	横継紙	1通	中島屋源介→宮崎屋三郎右衛門 大窪之内田五畝拾貳歩 小作貳式反貳畝歩 代銀三貫九拾八匁壹分五厘	
18-17	[借用証書類]			1袋(3通)		18-17-1~3まで包紙を帯封の様に巻いて袋に入っている (袋上書)「文政十一年子十二月 西之浦弥平治・上成恒屋延太より借用致候 銀高壹貫八百目 鶴新田御年貢通算用尻二而借用二相成候様取計有之候故拙者連名之通尾仕用故已後役介懸ケ申間敷旨証文書通受取置候」(包紙上書)「文政十一子年十二月書附書通 弥平治」
18-17-1	書付之事	文政11年12月26日	縦紙	1通	上成延太よりの借金壹貫八百目に付き聊の役介も掛けないことを証す 鶴新田庄屋弥平治・大庄屋西ノ浦合作→鶴新田後見倉敷源介	
18-17-2	[源介宛弥平治書状]	年未詳12月27日	横継紙	1通	過銀の受取書落手のこと 立落し物其外先貸しの儀承知のこと 他	
18-17-3	借用証文之事	文政11年12月28日	横切紙	1通	鶴新田庄屋弥平治・同後見源介→上成延太	

18-18	[証書類]				1袋(5通1枚1纏め)	18-18-1~7まで紙紐で一括して袋に入っている(袋上書)「文政十一子五月 本家平右衛門より質流地請取候畑建家証文書通入」(朱書)「但元稲葉屋彦五郎より買取候建家并屋敷分一口元板屋弥左衛門より買取候畑式筆一株ノ分 子九月迄本家名前二致置候二付 此度流地之姿二致し 実ハ銀子取引ハ無之 名寄書替候分」
18-18-1	質入申畑家屋敷之事	文政11年4月	縦継紙	1通	一ノ向墓所 畑壹反十畝歩 高壹石三斗六升 川入畑壹反壹畝拾歩 高六斗八升 等3筆 質銀拾四貫貳百目 質入主平右衛門・親類十歳→源介	(奥書)庄屋水沢常太郎 同植田紋四郎 (端裏朱書)「板屋弥左衛門より入地請取候節地図并算用書付添」 付紙あり (切封上書)「源介様 平右衛門」
18-18-2	一向墓所并川入両所板屋入候地絵図	文政6年12月	41.4×31.6	1枚		
18-18-3	[源介宛平右衛門書状]	年未詳8月29日	横継紙	1通	質地証文并寄抜きとも受渡しについて	
18-18-4	[書付](板屋弥左衛門入質地証文作成について)	年月日未詳	横切紙	1通	当年証文作成・名寄書加之依頼 倉敷分田畑取調べ	
18-18-5	覚(加地子算用書)	年月日未詳	横継紙	1通	一向無所畑壹反七畝 高壹石三斗六升 御取米壹石壹斗六升 壹合 加地子三石壹斗壹合五勺 1筆	
18-18-6	覚(加地子算用書)	年月日未詳	横切紙	1通	小作人広畑辰兵衛 一向無所川入畑壹反壹畝拾歩 高十六斗八升 御取米六斗壹合 加地子壹石六斗五升八合貳勺 1筆	
18-18-7	[質入畑地書類]				1纏め(1通1枚)	18-18-7-1に18-18-7-2が折り畳んで挟み込まれていた
18-18-7-1	[質入畑略絵図]	年月日未詳	25.7×19.8	1枚	石高・銀高など書付 代銀四貫貳百九拾匁四分貳厘	
18-18-7-2	[質入畑書付]	年月日未詳	横切紙	1通	坪数・石高・銀高書上 代銀四貫貳百九拾目四分貳厘	
18-19	譲渡申地面事	嘉永5年12月	縦継紙	1通	譲主仲間惣代年番左一郎・堯助・八十太→金兵衛	(奥書)霧新田庄屋受負人三宅直吉(端裏書)「嘉永六年丑三月十日調印丑六番」(袋上書)「一嘉永五壬子年十二月 弘化開 拾貳割 大道より東保三郎様 壹反 代銀札壹貫五百目 右者弘化開差引ニ而求之 譲主仲間惣代年番左一郎 堯助 八十太」(中包上書)「譲証文書通 新開元小家」封筒の中に包紙に包まれ入っている
18-20	[替地関係書類]				1括り(2袋)	18-20-1~2紙綴りで一括り
18-20-1	[証書類]				1袋(5通)	18-20-1-1~5が包紙に包まれ紙紐がかけられ袋に入れられている(袋上書)「天保十四卯年八月 興除新田中疇見面畝四町貳反五畝拾貳歩長尾村小野善太郎所持地此度此方所持地鶴新田天保開之内壹町三畝九歩地替二いたし候証文書通并小作証文書抜是入」(包紙上書)「証文二通」
18-20-1-1	[中疇小作人名書上]	年未詳7月8日	横切紙	1通	小野屋直蔵申し出の分 信助他4人	
18-20-1-2	[人名書上]	年月日未詳	横継紙	1通	伝蔵他8人	
18-20-1-3	売渡申田地証文之事	天保13年12月	縦継紙	1通	売主小野善太郎他6名→倉敷中嶋屋源助 興除新田中疇字六ノ割に升ノ内中田六反九畝拾貳歩 他8筆	(奥書)中疇名主藤戸村義兵衛 曾根伴三郎
18-20-1-4	小作証文之事	天保13年12月	縦継紙	1通	小野善太郎→倉敷中嶋屋源助 興除新田中疇字六ノ割に升ノ内中田六反九畝廿壹歩 小作人中疇伝蔵 他8筆分	
18-20-1-5	小作証文之事	天保14年7月	縦継紙	1通	伝蔵他8名→倉敷中嶋屋源介 興除新田中疇字六ノ割に升之内中田六反九畝廿壹歩 小作人中疇伝蔵 他8筆分	
18-20-2	[替地関係書類]				1袋(1冊2通2枚仮1冊)	18-20-2-1~7一袋(袋上書)「天保十四卯年六月廿八日 興除新田中疇分田地書抜長尾小野善太郎持地之分今般此方所持鶴新田天保開与替地いたし請取之分書類入」
18-20-2-1	替地端書一札之事	天保14年6月4日	縦紙	1通	世話人上成健蔵他1名→中嶋屋金平 興除新田中疇九升之内にて鶴新田天保開九町の中畑と替地	包紙あり(包紙上書)「卯六月七日 替地約定書書通 伝右衛門 健蔵」
18-20-2-2	[田地丈量略図]	年月日未詳	28.8×37.5	1枚	壹割・貳割・三割・六割・廿八割 15筆分	
18-20-2-3	[田地略図]	年月日未詳	23.8×33.5	1枚	十三割・三十割 7筆分	
18-20-2-4	[中疇小作地書上]	年未詳7月27日	半・横長	仮1冊	立会興除新田中疇廿六割は升駒之介他6名 中疇六ノ割に升中田六反九畝廿壹歩 他8筆	
18-20-2-5	一札之事	年月日未詳	横切紙	1通	小作米取増しなどにつき小作人彼是申す節は、主人善太郎より埒明けること	(端裏書)「八月十日角屋半兵衛持参写し」
18-20-2-6	[大橋源介宛小野本太郎書状]	年未詳8月14日	横継紙	1通	地替につき小作人との折合のこと	包紙あり(包紙上書)「大橋源介様 要用書 小野本太郎」
18-20-2-7	[預ケ米書上]	年月日未詳	美・横長	1冊	中疇六割に升ノ内中田六反九畝貳拾壹歩他8筆分 各筆ごとに物成計と地利米の内訳を記す	
18-21	[免違いに付き改め書類]				1袋(3通)	18-21-1~3一袋(袋上書)「川入村之内下々畑貳畝廿貳歩半 高壹斗六升五合之分 免違有之二付今般相改候書類名主惣五郎より差越二付入置此方より書付惣五郎 当遣ス委敷者当座帳二記置 弘化四丁未年九月」
18-21-1	[大橋金平宛秋岡惣五郎書状]	年未詳11月19日	横継紙	1通	免違い分書付并に銀子送付添状	(上書)「大橋金平様 秋岡惣五郎」
18-21-2	[畑高免率算用書付]	年月日未詳	横切紙	1通		
18-21-3	覚(畑高免率改めに付き差引銀子送付添状)	弘化4年9月	横切紙	1通	川入村名主惣五郎→倉敷村源助	
18-22	天保二年卯五月 貸家間数 扣	天保2年5月	半・縦	1冊	天保12年に中須賀の借家の藁葺の分を瓦家に建てかえ、嘉永元年に川西町の借家を取り壊して新規に瓦ぶきの家を建てた 嘉永元年に新しく帳面を整えた	

18-23	売渡申畑之事	文政12年3月	縦紙	1通	売主戸城屋安吉・証人上成佐太郎→倉敷大橋金平	(袋貼紙)「文化新開ノ切下 田地証文巻通 文政十二丑二月 西之浦安吉」(奥書)庄屋三宅基作
18-24	[鶴新田文化開畑売切証文]			1袋(1通1括り)		18-24-1~2一袋 (袋貼紙)「天保四巳七月十三日 鶴新田文化開畑売切証文 玉島菊屋太郎兵衛」
18-24-1	[鶴新田之内売払関係書類]			1括り(1纏め1袋)		18-24-1-1~3紙綴りで一括り
18-24-1-1	[秀平宛小野書状]	年月未詳晦日	横切紙	1通	請引方が6分ならばそれで請取るとのこと	(上書)「秀平様 小の」
18-24-1-2	[覚書類]			1纏め(2通)		18-24-1-2-1~2一纏め
18-24-1-2-1	覚(鶴新田文化開地代残銀二付覚)	癸巳(天保4)年7月13日	横切紙	1通	地処持名目伊庭太郎兵衛・宇吉・請人小野延太→大橋金平	
18-24-1-2-2	覚(中畑畝高書付)	年月日未詳	横切紙	1通		
18-24-1-3	[大橋源輔宛小野小十郎書状]			1袋(2通)		18-24-1-3-1~2一袋 (袋上書)「大橋源輔様 小野小十郎 貴下内用」
18-24-1-3-1	[大橋源助宛小野小十郎義方書状]	年未詳7月11日	横継紙	1通	文化新開の内、菊屋太郎兵衛名目の分を此度売払ことについて、銀子は本人ではなく私に渡してほしいということ	
18-24-1-3-2	[大橋宛小野書状]	年未詳7月11日	横切紙	1通	普請入用諸払の事につき、委細秀平の話しの内容で承知のこと	
18-24-2	売渡申証文之事	天保4年正月	縦継紙	1通	売主玉島伊庭太郎兵衛・証人宇吉・同鶴新田忠平→倉敷中島屋金兵衛	(奥書)鶴新田庄屋三宅弥平治・同後見源助
18-25	[買取証文・算用書]			1袋(2通)		18-25-1~2一袋 (袋上書)「文政十亥八月十六日 東蔵買取証文巻通 外二銀子算用書付添 植田汶四郎」
18-25-1	覚(土蔵売渡証文)	文政10年8月16日	縦切紙	1通	植田汶四郎→中島屋源助	
18-25-2	[銀子算用書]	年月日未詳	横切紙	1通		
18-26	[家屋敷の代銀についての事]			1袋(3通)		18-26-1~3が包紙で包まれて袋に入れられている (中包上書)「証文一通」(袋貼紙)「天保六年未三月ヤ 右 燐家屋敷相求候証文并小書付添 植田武右衛門」
18-26-1	[廣江屋丈助宛植田屋亦右衛門書状]	年未詳3月21日	横継紙	1通	家屋敷代銀入掌のこと 家賃引残り分請取について	(上書)「廣江屋丈助様 植田屋亦右衛門 貴答」
18-26-2	覚(中島屋新宅家屋敷代銀請取)	乙未年3月21日	横継紙	1通	植田→廣江屋	
18-26-3	質入申家屋敷之事	天保6年2月	縦継紙	1通	質入主植田武右衛門・親類亦右衛門・証人広江屋丈吉→中島屋源介	(奥書)庄屋水澤常太郎 付紙あり
18-27	[田地売買関係書類]			1袋(1纏め2通)		18-27-1~3まで紙紐で括られて袋に入れられている (袋上書)「弘化三丙午年十一月晦日 銀巻貫七百拾貳匁分式厘 田地買取証文巻通 川入中島屋善五郎 証人久次郎」
18-27-1	[銀算用書]			1纏め(2通)		18-27-1-1~2一纏め
18-27-1-1	[川入村東かふら地利算用書]	年月日未詳	横継紙	1通		
18-27-1-2	[物成・夫口・諸懸米・横役高算用書]	年月日未詳	横切紙	1通		
18-27-2	畑地売渡申証文之事	弘化3年11月	縦紙	1通	売主川入村善五郎・証人同村久次郎→倉敷源介	(奥書)川入村名主惣五郎
18-27-3	小作証文之事	弘化3年11月	縦切紙	1通	川入村善五郎・川入村久次郎→倉敷金平	
18-28	[田畑売渡関係書類]			1袋(2冊5通1枚)		18-28-1~8が紙綴りで括られて袋に入っている (袋貼紙)「文政十二丑年七月取調 田畑売渡証文巻通 小作証文巻通 書簡巻通 外二取調書類数通入 仮見取絵図共入 連島村江長武右衛門 此分亥十二月金七拾兩二而田地差返ス尤証文者此返返ス 天保十三寅年十二月三日 父上様江持参 貼紙が破損している為SILティッシュで包む
18-28-1	小作証文之事	文政11年12月	縦継紙	1通	小作引受人江長武右衛門・証人国蔵→倉敷村源介	
18-28-2	覚(畝高算用書)	文政11年12月	横継紙	1通	江長武右衛門→倉敷村源介	
18-28-3	[大橋源介宛三宅武右衛門書状]	年未詳8月12日	横継紙	1通	証文落手のこと	包紙あり(包紙上書)「大橋源介様 三宅武右衛門 拜答 八月十二日」(包紙裏書)「貞蔵より差返し候分証文為持遣候節請取書状入」
18-28-4	[田畑反別高書付]	年月日未詳	美・横長	1冊		
18-28-5	[大橋源介宛三宅武右衛門書状]	年未詳7月11日	横継紙	1通(2枚)	証文并に小作預け書抜帳を差し上げる	包紙あり(包紙上書)「倉敷大橋源介様 江長三宅武右衛門 要用別紙在中」別紙の尚々書あり
18-28-6	覚(田畑高書付)	年月日未詳	横継紙	1通		
18-28-7	文政十二丑七月廿一日 江長沖地所見合扣 中島屋	文政12年7月21日	土半・横長	1冊		
18-28-8	[大江村沖境田地絵図]	年月日未詳	30.8×67.8	1枚	一ノ割から八ノ割までの田地絵図	
18-29	[土蔵買取一件書類]			1袋(2包4通)		18-29-1~6一袋 (袋上書)「弘化三丙午年九月十八日 岡山小橋町清水屋幸介二而土蔵壹ヶ所買候二付書類一切入 取次新川大工屋弥吉」
18-29-1	覚(道具屋口銭銀札受取)	未年5月10日	横継紙	1通	清水屋幸介→恵美須や忠八	
18-29-2	[新川町弥吉宛清水屋幸介書状]	年未詳2月24日	横継紙	1通	雨天のため手間どっていたが来27日に蔵の方に取り掛かることを告ぐ	(上書)「新川町弥吉様 清水屋幸介 急用」
18-29-3	覚(手間代銀札受取)	未年3月2日	横切紙	1通	清水屋幸介→恵美須屋忠八 蔵1ヶ所を残らず川まで持出しの手間代	
18-29-4	[土蔵買付書付]			1包(2通)		18-29-4-1~2一包 (包紙上書)「九月十八日 銀札百目 岡山小橋町清水屋幸介 右者土蔵壹ヶ所買付候二付入銀請取書入」



18-29-4-1	覚(土蔵売渡書付雑型)	弘化3年9月18日	横継紙	1通	売主岡山何町何屋誰他引受人・証人→倉敷新川町大工屋弥吉	18-29-4-2の雑型
18-29-4-2	覚(土蔵売渡書付)	弘化3年9月	横継紙	1通	瓦葺土蔵壹ヶ所 代銀札九百目 岡山小橋町清水屋幸介・請人白石喜右衛門・同倉敷和吉→倉敷新川町大工屋弥吉	
18-29-5	[弥吉宛喜右衛門口上]	年未詳9月20日	横継紙	1通	口銭銀札の受渡し依頼 酒船・大釜・酒大桶その外小道具類の処置	(上書)「倉敷新川町大工弥吉様 白石新屋喜右衛門 貴下」
18-29-6	[土蔵代銀及び口銭請取]			1包(2通)		18-29-6-1~2一包(包紙上書)「十月四日 土蔵壹ヶ所代銀九百目請取書并喜右衛門二遣ス口銭請取書 入」
18-29-6-1	覚(瓦葺土蔵代銀請取)	弘化3年10月4日	横継紙	1通	売主岡山小橋町清水屋幸介・証人白石 喜右衛門・同倉敷 利吉→倉敷新川町大工屋弥吉	
18-29-6-2	覚(蔵口銭銀札請取)	午年10月4日	横継紙	1通	白石新屋喜右衛門→倉敷新川町弥吉	
18-30	覚(家賃地子米証文案)	文政13年12月	横継紙	1通	中島屋源介	
18-31	天保八酉年正月 粥施行諸入用勘定帳写 井上町中島屋	天保8年正月	美・横長	1冊		施行米割合差引銀札受取覚の挟み込み文書あり
18-32	卯五月十四日 貸家間数覚	卯年5月14日	美・横長	仮1冊	大坂屋定右衛門他	
18-33	[紋付上下拝領書付]			1包(1袋2通)		外包・内包2重にて18-33-1~3を包み込む(外包上書)「山崎様於町役場御紋付御上下巻具拝領御書付書通」(外包裏書)「天保十亥ノ年十一月廿六日」内包は天保十年十一月廿六日 御陣屋に於て金貳百疋を遣わず書付を裏がえして使用
18-33-1	[紋付上下一巻贈呈状]	年月日未詳	横切紙	1通	鶴新田庄屋役後見倉舗源助宛 鶴新田引渡彼是出精及び天保開分の検地終了につき贈られる	
18-33-2	[大橋源助宛三宅直吉書状]			1袋(2通)		18-33-2-1~2一袋「角田川の帰帆」図柄の封筒を使用(封筒上書)「大橋源助様 三宅直吉 要用」
18-33-2-1	[三宅直吉宛周平書状]	年未詳11月24日	横継紙	1通	源助が無拠用向で引き取ったという趣は承知したが御用向があるので明日・明後日の内に罷出る様に其元から申し遣わしてほしい	(上書)「三宅直吉殿 周平」
18-33-2-2	[大橋源助宛三宅直吉書状]	年未詳11月24日	横切紙	1通	18-33-2-1の差紙内容を伝達	
18-33-3	[狂歌書付]	年月日未詳	横切紙	1通	上下に仰かれ給ふ身となればめてとう下る房あふき(扇)かな	
18-34	[汐川堀浚入用当辰月分割賦分請取書]			1包(4通)		18-34-1~4一包(上書)「汐川堀浚入用当辰年分割符分請取書入并巳年二月分九月其一切入 広田屋紋右衛門 ○○屋尚助」
18-34-1	覚(汐川堀浚入用町役銭割符之分受取)	甲辰年10月25日	横切紙	1通	紋右衛門・尚介→金平	
18-34-2	覚(新川分汐川堀浚入用町役銭割賦立替分請取)	乙巳年5月4日	横切紙	1通	紋右衛門→金平	
18-34-3	覚(汐川堀浚入用町役銭割賦銀請取)	乙巳年4月26日	横切紙	1通	紋右衛門・尚介→金平	
18-34-4	覚(汐川堀浚入用割賦銭請取)	巳年12月10日	横切紙	1通	尚介・紋右衛門→金平	
18-35	[売地関係書類]			1袋(1包1通)		18-35-1~2が包紙に包まれ袋に入れられている(袋上書)「弘化四丁未年十二月求之 鶴新田文化開巻反九畝拾三步 同文政開三反式畝拾壹歩 同天保開巻反拾八歩 代銀拾六貫六百九拾六匁 西原油屋後吉」(中包上書)「証書一通 西原後吉」
18-35-1	[売地関係書類]	弘化4年11月		1包(4通)		18-35-1-1~4が包紙に入れられている(包紙上書)「西原油屋後吉分ひかへ」
18-35-1-1	[壹ヶ年切売渡申証文之事ひかへ]	弘化4年11月	縦紙	1通	売主西原油屋後吉他3名→倉敷中嶋屋金平 鶴新田文化南割何番中畑九畝拾八歩他2筆	
18-35-1-2	覚(取替銀書上)	年月日未詳	横切紙	1通	午十二月取替銀壹ヶ年割定銀七貫目他合拾三貫六拾目三分七厘	
18-35-1-3	覚(取替銀書上)	年月日未詳	横継紙	1通		18-35-1-2に同文
18-35-1-4	覚(代銀書上)	年月日未詳	横継紙	1通	文政開南式割拾六番下畑壹反六畝三步他2筆の代銀 拾六貫三百目	
18-35-2	壹ヶ年切売渡申証文之事	弘化4年11月	縦継紙	1通	売主西原後吉他3名→倉敷中嶋屋金平 鶴新田内文化開南割廿式番中畑九畝拾八歩他2筆	(端裏書)「弘化四年未十二月二日調印未三番」(奥書)鶴新田庄屋預り三宅直吉
18-36	壹年切売渡証文之事	天保2年2月	縦継紙	1通	売主上金屋租蔵・証人伏見屋八十太→倉敷中島屋金平 沖新開七反五畝分・代銀貳貫貳百五拾目の売渡証文	袋あり(袋貼紙)「沖新開葎場七反半買取証文書通 西之浦上金屋租蔵」(奥書)鶴新田庄屋平治 鶴新田庄屋後見源助
18-37	[質株買取証文]			1袋(仮1冊1通)		袋あり(袋貼紙)「未十二月 質株買取証文書通 岸部屋喜次郎」
18-37-1	覚(質物帳面及び銀子請取証文)	文政6年12月	縦紙	1通	岸部屋喜次郎・証人茜屋惣平・八濱屋弥兵衛・内田屋五郎右衛門・広田屋熊吉→中嶋屋源介	
18-37-2	[銀子算用帳]	年月日未詳	美・横長	仮1冊		
18-38	[田畑譲渡証文・田畑石高書付覚]			1袋(4通)		18-38-1~4一袋 4通を纏めて包紙に包み袋に入れられている(袋上書)「嘉永二酉年十二月 銀貳貫目 川入分田畑貳反八畝分求之 川入村常之次 証人久次郎」
18-38-1	小作証文之事	嘉永2年12月	縦継紙	1通	売主川入村常之次・親類同村要蔵・証人同村久次郎→倉敷中嶋村源助	
18-38-2	覚(田畑売渡代銀受取)	嘉永2年12月18日	横継紙	1通	売主川入村常之次・親類同村要蔵・証人同村久次郎→倉敷中島屋源介	
18-38-3	覚(田畑畝高書付)	年月日未詳	横継紙	1通		
18-38-4	売渡申田畑証文之事	嘉永2年12月	縦継紙	1通	売主川入村常之次・親類同村要蔵・証人同村久次郎→倉敷中嶋屋源助	(奥書)川入村名主惣五郎

18-39	[質地証書類]				1袋(1包1通)	18-39-1~2が紙縫りで結ばれて包紙に包まれ袋に入っている(包紙上書)「質地証文書通」(袋上書)「嘉永七甲寅年十二月 一. 金四拾三兩 永七拾七文六歩 川入分畑壹反六畝拾四歩 八王寺分畑壹反九畝歩求之 大内村還右衛門」
18-39-1	[小作地反別・石高書付・絵図]				1包(3通2枚)	18-39-1-1~5一包(包紙上書)「金高還右衛門 書抜」
18-39-1-1	覚(小作地書付)	年月日未詳	横切紙	1通	八王寺村借用主還右衛門・同村親類伝助 小作畝・預米・四方境書付	
18-39-1-2	[地境絵図]	年月日未詳	24.3×33.2	1枚	川入分・八王寺分の4ヶ所	
18-39-1-3	[小作畝高書付]	年月日未詳	横継紙	1通	借用主八王寺村還右衛門・同村親類伝介・証人川入嘉吉・同久治郎 八王寺村の分の小作地	
18-39-1-4	[検地絵図]	嘉永7年12月	14.0×34.2	1枚	「寅十二月十八日双方立会検地差入候」の書付あり 川入分新田川添畑・八王寺分上野畑	
18-39-1-5	[畝高免書付]	年月日未詳	横継紙	1通	「右之通二候得共証文者畝高免計御書入其外ハ書入無用高掛リ八年々違有之」の書付あり	
18-39-2	売渡申畑証文之事	嘉永7年12月	縦継紙	1通	売主八王寺村還右衛門・親類同村伝助・証人川入村嘉吉・同同村久次郎→倉敷中島屋源介	(奥書)川入村・八王寺村名主惣五郎
18-40	[田畑流地証文]				1袋(2括り1包)	18-40-1~3が紙縫りで括られ、袋に入っている(袋上書)「田畑流地証文袋」
18-40-1	[小作地関係書類]				1括り(6通)	18-40-1-1~6紙縫りで一括り
18-40-1-1	壹年切売渡申田地之事	寛政10年12月	縦継紙	1通	売主川入村嘉一郎・証人同村嘉右衛門→倉敷村平右衛門 浜村分法蔵坊下田五畝他1筆	(端裏朱書)「浜村分 川入嘉一郎証文書通」(奥書)浜村庄屋恵蔵 同年寄九左衛門
18-40-1-2	壹年切売渡申畑之事	寛政9年12月	縦継紙	1通	売主川入村嘉三郎・証人子位庄村惣次郎→倉敷中島屋平右衛門 新田川辺り下々畑壹畝貳拾四歩他7筆	(奥書)川入村名主嘉一郎 同村五人組頭多次郎
18-40-1-3	小作請込申手形之事	寛政10年12月	縦継紙	1通	小作請込人川入村嘉一郎他1名→倉敷村平右衛門 川入分東川田御畝五畝七分半・浜分法蔵坊御畝五畝預畝田貳反六畝八分三厘貳毛他7筆	
18-40-1-4	[加地子算用書]	年月日未詳	横継紙	1通	新田川辺り下々畑壹畝廿四歩他6筆	
18-40-1-5	覚(預ヶ米書付)	寛政10年12月	横継紙	1通	川入分東川田公畝五畝七歩半浜分法蔵坊公畝五畝預畝田貳反八畝拾壹歩嘉一郎他7筆	(端裏書)「川入嘉一郎より買取地の分」
18-40-1-6	壹年切売渡申田畑之事	寛政10年12月	縦継紙	1通	売主川入村嘉一郎・同村嘉三郎・証人同村嘉右衛門→倉敷村平右衛門 東川田下々田五畝七歩半他16筆	(奥書)川入村五人組頭多次郎 付紙あり
18-40-2	[流地関係書類]				1括り(3通)	18-40-2-1~3紙縫りで一括り
18-40-2-1	質入申畑証文之事	文化4年2月	縦継紙	1通	質主浜村藤蔵・親類文右衛門・証人浜村助次郎・同川入村松次郎→倉敷中島屋金平 鹿爪前九百九番下畑三畝八歩	(端裏朱書)「浜村分藤蔵流地証文書通」(奥書)立会庄屋五左衛門 庄屋仮役四郎右衛門 年寄九左衛門
18-40-2-2	覚(小作証文)	文化4年2月	縦紙	1通	質主浜村藤蔵・証人同村助次郎・同川入村松次郎→中島屋金平 鹿爪前九百九番下畑三畝八歩	
18-40-2-3	[質地関係書類]				1纏め(2通)	18-40-2-3-1に18-40-2-3-2が折り込まれている
18-40-2-3-1	質入申田地証文之事	文化4年12月	縦継紙	1通	質主倉敷村杵右衛門・親類同村佐兵衛・証人子位庄村六郎右衛門→中島屋平右衛門 川入村字鹿爪原下々畑壹畝拾六歩	(端裏朱書)「倉敷村大隅屋杵右衛門流地証文書通 川入村分」(奥書)川入村名主嘉一郎
18-40-2-3-2	小作証文之事	文化4年12月	縦切紙	1通	大すみや杵右衛門・証人子位庄村六郎右衛門→中島屋平右衛門 川入村字鹿爪原下々畑壹畝拾六歩	
18-40-3	[流地証書類]				1包(1纏め4通1枚)	18-40-3-1に18-40-3-2~6が折り込まれている 包紙あり(包紙上書)「油屋直助田地証文并地図算用書入 午十二月廿五日」
18-40-3-1	質入申田地証文之事	文化7年12月	縦継紙	1通	質主前湯村直助・親類同村伊兵衛・証人西田村善七→倉敷村中島屋源助 前湯西之内拾丁分堀切替下田貳畝拾四歩他5筆	(奥書)高沼村莊屋栄三郎
18-40-3-2	覚(代銀算用書)	午年12月20日	横切紙	1通	油屋直助→中島屋源助	
18-40-3-3	覚(小作証文)	年月日未詳	横切紙	1通	預畝五反四畝拾歩	
18-40-3-4	[小作証書類]				1纏め(2通)	18-40-3-4-1に18-40-3-4-2が折り込まれている
18-40-3-4-1	覚(小作証書)	未年3月	横継紙	1通	油屋直助→中島屋源介 前湯西之内拾丁分公畝合三反貳畝五歩	
18-40-3-4-2	[掛り米書上]	年月日未詳	横切紙	1通	辰・巳・午3ヶ年分	
18-40-3-5	[田地略図]	年末詳6月25日	22.5×31.0	1枚	西分壹~四「六月廿五日改」の書付あり	
18-40-3-6	覚(小作証文)	文化7年12月	縦継紙	1通	前湯村直助・証人西田村善七→倉敷村中島屋源介 前湯西ノ内拾丁分堀切替下田三畝拾八歩他5筆	
18-41	[中島屋源助宛牧貞介口上]	年末詳4月23日	横切紙	1通	いつまや茂平の土地について苦勞していただいたお礼	包紙あり(包紙上書)「中島屋源助様 貴下 牧貞介」
18-42	[徳蔵より金平へ改名関係書類]				1袋(4通)	18-41-1~4まで紙紐で括られ袋に入れられている 袋あり(袋表書)「文化開南割中割々六反五畝拾五歩分俊吉入地是迄徳蔵名前二いたし置候得共当年より金平名前二改候 但此訳文化文政天保開并歩方共去ル天保三辰年六月中相求候二付大造之銀高相成候二付金平一名二而者不宣二付夫々名前替置候得共勝手悪敷二付金平名前二替候 乍併是迄徳蔵名前之事故其旨徳蔵江も申聞名前改候事 嘉永五壬子年十月」
18-42-1	[大橋徳蔵宛三宅直吉書状]	嘉永5年10月6日	横継紙	1通	大橋徳蔵所持の鶴新田の田地を金平の名前に書替の件について	(封筒表書)「大橋徳蔵様 三宅直吉 役用書」
18-42-2	覚(書状・御譲書の預り証)	子年10月8日	横切紙	1通	三宅直吉→大橋徳蔵	

18-42-3	[大橋金平宛三宅直吉書状]	年未詳10月14日	横継紙	1包(1通)	菓子 の 礼 と 徳 蔵 よ り の 譲 書 の 調 印 が 一 件 に 取 紛 れ 延 引 で あ っ た が 三 通 共 本 日 送 付 の 事	包紙あり(包紙上書)「大橋金平様 三宅直吉 御報 証文三通在中」本文書状のみ在中
18-42-4	譲渡申畑之事	嘉永5年10月	縦継紙	1通	譲り主倉敷中島屋徳蔵・証人西之浦戸城屋伝右衛門→中島屋金平	包紙あり(包紙上書)「書付書通」(奥書)鶴新田庄屋預り 三宅直吉 (端裏書)「嘉永五年子十月十三日調印 拾七番」
18-43	[鶴新田の歩方譲証書類]			1袋(6通)		18-43-1~6までが包紙に包まれ袋に入れられている (袋貼紙)「文政新開井沖新開譲証文書通 歩方六厘同一通 文化新開同書通」
18-43-1	鶴新田化政小作預覚	年月日未詳	美・横長	仮1冊		包紙あり(包紙上書)「喜久太様 後吉 書付入」
18-43-2	覚(銀受取)	辰年12月	横継紙	1通	西原民介・同後吉→倉敷中島屋源介	包紙あり(包紙上書)「油屋後吉請取書付」
18-43-3	譲渡申地所之事	天保3年6月	縦継紙	1通	譲主西原村後吉・証人同村民助→倉鋪金平	(奥書)鶴新田庄屋三宅弥平治 同後見源助
18-43-4	譲渡申畑之事	天保3年6月	縦継紙	1通	譲主西原村後吉・証人同村民助→倉鋪徳蔵	(奥書)鶴新田庄屋三宅弥平治 同後見源助
18-43-5	譲渡申鶴新田歩方之事	天保3年6月	縦継紙	1通	譲主西原村後吉・証人同村民介→倉敷村喜久太	(奥書)鶴新田庄屋役請負人三宅弥平治 同庄屋後見源助
18-43-6	譲渡申鶴新田歩方之事	天保9年12月	縦紙	1通	譲主倉敷喜久太・証人同金平→西原村後吉	(端裏書)「歩方譲証文写」
18-44	[川入村畑地証書類]			1包(1冊5通1枚)		18-44-1~7まで一包みにして紙綴りで括られている (包紙上書)
18-44-1	廣畑畝高覚帳	年月日未詳	美・横長	1冊		「子十二月 証文書通 小作証文書通 川入村万蔵」 (裏表紙)「八王寺村恵左衛門」
18-44-2	壹ヶ年切売渡申畑証文之事	天保11年12月	縦継紙	1通	売主川入村万蔵・親類同村清右衛門・証人同村嘉吉・同同村久次郎→倉敷中島屋源介 川入村之内字広畑畑地15筆	(奥書)名主惣五郎
18-44-3	覚(畑売渡代銀請取)	天保11年12月	横継紙	1通	売主川入村万蔵・証人同村嘉吉・同同村久次郎→倉敷中島屋源介 川入村字広畑の畑15筆	
18-44-4	[田畑見取絵図]	天保11年12月27日	28.6×28.3	1枚	元大内村周策持地、川入村万蔵買取の際、見取図 立会人喜久太他、川入3名、小作人2名	
18-44-5	小作証文之事	天保11年12月	縦継紙	1通	小作人大内村恵左衛門・証人川入村嘉吉・同同久次郎→倉敷中島屋源介 川入村之内字広畑の畑15筆	
18-44-6	[広畑分畝高勘定覚]	年月日未詳	横折紙	1通	18-44-1と同内容	
18-44-7	[高勘定書付覚]	年月日未詳	横切紙	1通		
18-45	[買地書類]			1袋(1括り2通)		18-45-1~3が包紙に包まれ、袋に入れられている (袋上書)「嘉永元戊申年十二月求之 銀書貫七百三拾三匁八分 右者小才地式反歩求ル 売主川入村多八 証人同村久次郎」(中包上書)「証文武通井小書付入」
18-45-1	売渡申畑証文之事	嘉永元年12月	縦継紙	1通	売主川入村多八・判株親同村親類万蔵・加判親類辰蔵・証人同村久次郎→倉敷村中島屋源介 川入村之内字小才地下々畑三畝式拾歩他5筆	(奥書)川入村名主惣五郎
18-45-2	小作証文之事	嘉永元年12月	縦継紙	1通	売主川入村多八・判株親同村親類万蔵・加判親類辰蔵・証人同村久次郎→倉敷中島屋源介 川入村之内小才地下々畑三畝式拾歩他5筆	
18-45-3	[小作関係書類]			1括り(3通)		18-45-3-1~3紙綴りで一括り
18-45-3-1	覚(加地子代銀請取証)	嘉永元年12月16日	横継紙	1通	売主川入村多八他2名→倉敷村中島屋源介 川入村之内小才地下々畑三畝式拾歩他5筆	
18-45-3-2	小作畝	年月日未詳	横切紙	1通	川入村多八良 小作畝式反預米式石四斗	
18-45-3-3	[小作証書]	年月日未詳	横継紙	1通	川入村売主多八他2名 下々三畝廿歩他5筆	
18-46	[買地関係書類]			1袋(2包3通2枚)		18-46-1~7が紙綴りで括られ、封筒に入れられている (袋貼紙上書)「天保十四癸卯年十二月 興除新田中疇田地買取証文入 内尾信右衛門」
18-46-1	[田畑売渡証書類]			1包(3通)		18-46-1-1~3が包紙に包まれている (包紙上書)「証文 内尾信右衛門」
18-46-1-1	覚(興除新田中疇田地代請取)	卯年12月11日	横継紙	1通	内尾信右衛門代兼妹尾伊三郎・同早沖新田伝左衛門→中島屋源介	
18-46-1-2	売渡申田畑証文之事	天保14年12月	縦継紙	1通	売主内尾信右衛門・親類中疇宇介・証人妹尾伊三郎・同早沖新田伝左衛門・同倉敷新田平左衛門・中疇判頭吉十郎→倉敷中島屋源介	(奥書)中疇名主藤戸村義兵衛・同曾根伴三郎
18-46-1-3	覚(小作証文)	天保14年12月	縦継紙	1通	売主内尾信右衛門・証人妹尾伊三郎→倉敷中島屋源介 興除新田中疇十一ノ割八升上田壹畝式反五畝九歩他3筆	
18-46-2	[小作関係書類]			1包(3通)		18-46-2-1~3が包紙に包まれている 包紙あり(包紙上書)「中疇書 抜平左衛門持参」
18-46-2-1	[人名書上]	年月日未詳	横切紙	1通	内尾信右衛門他4名	
18-46-2-2	[小作畝書上]	年月日未詳	横切紙	1通	十壹割八升公畝壹町三反五畝六歩他1筆	
18-46-2-3	[小作畝書上]	年月日未詳	横切紙	1通	八升ノ分公畝壹町三反五畝六歩他1筆	
18-46-3	[小作証文]	年月日未詳	横切紙	1通	中疇十一ノ割八升上田壹町式反五畝九歩他2筆 十二割は升西半分	
18-46-4	覚(売渡証文)	卯年11月23日	横切紙	1通	妹尾佐藤忠左衛門→倉敷大橋源介 中疇十一ノ割八升上田壹町式反五畝九歩他3筆	貼紙あり
18-46-5	[小作畝書上]	年月日未詳	横切紙	1通	十一ノ割八升八反八歩早沖新田平右衛門他3筆 十二割は三反三畝拾七歩中疇七左衛門他1筆	
18-46-6	興除新田中疇十二ノ割は升見取図	天保14年12月2日	24.0×34.0	1枚	立会人喜久太他5名 天保十四卯十二月二日売主信右衛門立会呉候様申出候故双方并小作人共一同立会之上受取也	

18-46-7	興除新田中疇十一ノ割い升見取図	天保14年12月2日	23.8×34.0	1枚	立会人喜久太他5名 天保十四年卯十二月二日売主信右衛門より立会呉与申出候故双方并小作人共立会之上受取之	
18-47	[借家手形]			1袋(1纏め7通1括り)		18-47-1~9まで紙綴りで一括りにして袋に入れられている(袋上書)「文政十三寅年十二月 借家手形 和泉屋茂兵衛入ノ分」
18-47-1	[貸家手形]			1纏め(2通)		13-47-1-1~2までが帯封で巻かれている(帯封上書)「文化十年西正月 貸家手形巻通 播磨屋石蔵」(帯封裏書)「親類 紙屋安蔵 請人大工屋義八」
18-47-1-1	借家手形之事	文化12年正月		縦継紙	1通	借主播磨屋弥三郎・親類紙屋安蔵・請人大工屋義八→中島屋源助 井上町南側裏、家ヶ所及び土蔵ヶ所
18-47-1-2	借家手形之事	文化10年正月		縦継紙	1通	借主播磨屋家業小間物売買石蔵・親類紙屋安蔵・請人大工屋義八→中島屋源介 井上町南側家ヶ所
18-47-2	売渡申建家証文之事	天保2年11月		縦継紙	1通	売主新田屋吉之助・証人生坂屋猶八郎→中島屋源介 瓦葺建家ヶ所
18-47-3	売渡申建家証文之事	天保2年7月		縦継紙	1通	売主山田屋安五郎・親類熊野屋芳蔵・証人益見屋忠平→中島屋源介 新川横町東側其元借家表 表口三間
18-47-4	借家手形之事	文政13年12月		縦継紙	1通	借主櫛屋佐太郎・請人西屋七蔵→中島屋源介 新川端葺長借家之内表口式間半裏口式間半他2筆
18-47-5	借家手形之事	文政13年12月		縦継紙	1通	借主生坂屋猶八郎・請人新田屋吉之介→中島屋源介 新川横町東側瓦葺長借家之内表口式間裏行四間半他1筆
18-47-6	借家手形之事	天保2年7月		縦継紙	1通	借り主生坂屋猶八郎・引請人新田屋吉之介→中島屋源介 新川横町瓦葺長借家之内表口式間半裏口式間半裏行四間
18-47-7	借家手形之事	天保3年閏11月		縦継紙	1通	借り主増田屋家業道具売買岩吉・請人中屋清吉→中島屋源介 新川中須賀葺長借家之内表口三間裏口三間裏行三間
18-47-8	借家手形之事	文政13年12月		縦継紙	1通	借主下津井屋善蔵・請人天城屋定右衛門→中島屋源介 新川横町東側瓦葺長借家之内表口式間半裏口式間半裏行三間
18-47-9	[売渡証文及び借家手形]			1括り(2通)		18-47-9-1~2紙綴りで一括り
18-47-9-1	売渡申証文之事	天保15年10月		縦継紙	1通	売主喜介・引請人新田屋定吉・証人三笠屋久蔵→中島屋金平 新川横町東側貴殿借家之内庇半間表間長三間・同所掛塀式間半
18-47-9-2	借家手形之事	文政13年12月		縦継紙	1通	売主中村屋喜介・請人平田屋千代吉→中島屋源介 新川横町東側南之分瓦葺長借家之内表口式間裏口式間半裏行四間半他1筆
18-48	[巻俵二付六合宛蔵前二おみて取除一件について]			1括り(5通1括り)		18-48-1~6紙綴りで一括り
18-48-1	覚(積立銀元利勘定書)	年月日未詳		横継紙	1通	
18-48-2	相談手扣	年月日未詳		横継紙	1通	「巻俵二付六合宛蔵前二おみて取除置」積立てる件について相談する手扣
18-48-3	覚(積立銀勘定書)	年月日未詳		横継紙	1通	
18-48-4	差出申御請書之事	年月日未詳		縦継紙	1通	「巻俵二付六合宛蔵前二おみて御取除」の件について小作人から地主あて請書の雛型
18-48-5	差出申御請証文之事	年月日未詳		縦継紙	1通	「巻俵二付六合宛蔵前二おみて御取除」の件について地主から村役人中への請書雛型
18-48-6	[差出申御請書之事]			1括り(2通)		18-48-6-1~2紙綴りで一括り
18-48-6-1	差出申御請書之事	弘化3年11月		縦継紙	1通	小作人浜之道・藤屋文平・川西町代蔵・新川瀧蔵・川下元吉・喜代助→中島屋金平 「巻俵二付六合宛蔵前二おみて取除」の件について
18-48-6-2	差出申御請書之事	弘化3年11月		縦継紙	1通	小作人東町橋本屋源左衛門・山後長蔵・新川寿之介→中島屋久右衛門 「巻俵二付六合宛蔵前二おみて取除」の件について
18-49	[借家附物代銀受取]			1括り(2通)		18-49-1~2紙綴りで一括り
18-49-1	覚(借家附物一切代銀受取)	未年12月23日		横切紙	1通	下つい屋善蔵・戎屋忠八・証人崎屋吉兵衛→中島屋新宅
18-49-2	売渡申付物之事	天保4壬辰年5月 (記載の年号と干支が合わない)		横継紙	1通	久志屋佐太郎→中島屋源介 借家借受中自分普請造作代銀請取
18-50	[田地売渡関係書類]			1括り(2通)		18-50-1~2紙綴りで一括り
18-50-1	[大橋源助宛守屋真右衛門書状]	年未詳2月24日		横継紙	1通	「証文加判相認め」差上げるので銀子を使の人に渡してほしい病人への見舞
18-50-2	譲渡申証文之事	文政5年2月		縦紙	1通	売主西之浦弥平治・証人西原村真右衛門→倉敷中島屋源介 「巳之新開北巻ノ割三番式反六畝拾巻歩」の譲渡し
18-51	[借家手形之事]			1括り(7通)		18-51-1~7紙綴りで一括り
18-51-1	借家手形之事	嘉永6年7月		縦継紙	1通	借り主中野屋豊次郎・請人大工屋弥吉→中島屋金平 川西町南側瓦葺長借家之内表口式間裏口式間裏行四間
18-51-2	借家手形之事	嘉永元年7月		縦継紙	1通	借主若松屋辰五郎・請人祐安屋万介→中島屋金平 川西町南側瓦葺長借家之内表口式間裏口式間裏行四間
18-51-3	借家手形之事	嘉永元年7月		縦継紙	1通	借り主備前屋文兵衛・請人船尾屋治右衛門→中島屋金平 川西町南側瓦葺長借家之内表口式間裏口式間裏行四間

18-51-4	借屋手形之事	嘉永元年7月	縦継紙	1通	借主岡山屋庄右衛門・請人樽屋利之介→中島屋金平 川西町南側瓦葺長借家之内表口式間余裏口式間余裏行四間	(端裏貼紙)「岡山屋庄右衛門」
18-51-5	借家手形之事	嘉永元年7月	縦継紙	1通	借り主丸山屋光蔵・請人四十瀬屋音次郎→中島屋金平 川西町南側瓦葺長借家之内表口式間裏口式間裏行四間	(端裏貼紙)「丸山や光蔵」
18-51-6	借家手形之事・借地証文之事	嘉永元年7月	縦継紙	1通	借り主三宅屋岩吉・請人御崎新田屋源蔵→中島屋金平 川西町南側瓦葺長借家之内表口三間裏口三間裏行四間・川西町南側屋敷	(端裏貼紙)「三宅や岩吉」
18-51-7	借家手形之事	嘉永元年7月	縦継紙	1通	借主瀧本屋政介・請人四十瀬屋音次郎→中島屋金平 川西町南側瓦葺長借家之内表口式間裏口式間裏行四間	(端裏付紙)「瀧本屋政介」此分借家指返し二付不用
18-52	[質流地関係書類]			1袋(6通)		18-52-1~6まで紙綴りで括られて袋に入っている(袋上書)「天保十亥年二月 質流地証文巻通 段寄抜巻通 川西町代蔵」
18-52-1	覚(地利米勘定書)	年月日未詳	横継紙	1通		
18-52-2	覚(質銀請取)	己亥年2月14日	横切紙	1通	広田屋たね・吉野屋兵助→中島屋源助	
18-52-3	覚(地利米勘定書)	年月日未詳	横切紙	1通		
18-52-4	小作証文之事	天保10年2月	縦継紙	1通	小作人川西町代蔵→中島屋金平 土畑八畝拾歩の小作預り証文	
18-52-5	覚(小作預畝預米書付)	天保9年8月	縦継紙	1通	質入主広田屋たね・親類吉波屋兵助→川西町代蔵 小作人三蔵の土畑八畝拾歩	
18-52-6	質入申畑田之事・継添証文之事	天保9年8月	縦継紙	1通	質入主広田屋たね・親類吉波屋兵助・同児島屋太治兵衛→川西町代蔵 流地になり名寄帳面の名前を書替られたとしても「一言之儀無之」ことを証すとの継添証文 質主川西町代蔵・証人浜屋徳助→中島屋金平	(奥書)庄屋松寿 年寄喜蔵
18-53	[小作証文・質流証文]			1袋(2通1纏め)		18-53-1~3まで紙綴りで括られて袋に入っている(袋上書)「天保九戌年十二月 銀巻貫七百四拾五匁五分 前湯喜平 親類己之介 同地買取証文巻通入」
18-53-1	[畝高勘定書]			1纏め(2通)		18-53-1-1~2が重ねて折られている
18-53-1-1	覚(前湯村喜平己之介持地畝高勘定書)	年月日未詳	横継紙	1通		
18-53-1-2	[口米・徳米・夫米勘定書]	年月日未詳	横継紙	1通		
18-53-2	小作証文之事	天保9年12月	縦継紙	1通	小作人前湯喜平・親類己之介・証人西田村善七→倉敷中島屋源介 中田式畝拾四歩・下田三畝拾歩の小作預り証文	
18-53-3	質入申田地証文之事	天保9年12月	縦継紙	1通	質入前湯喜平・親類同村己之介・証人西田村善七・証人高沼村年寄多利助→倉敷中島屋源介 中田式畝拾四歩・下田三畝拾歩の質入証文	(奥書)高沼村庄屋謙蔵
18-54	[畑売買関係書類]			1袋(3通1枚)		18-54-1~4まで紙綴りで括られて袋に入っている(袋上書)「天保7申十二月 畑買取証文巻通 地面并算用付入 大内源六」
18-54-1	覚(地利米代銀請取)	天保7年12月13日	横切紙	1通	大内村源六・証人川入村嘉吉→倉敷中島屋源介	
18-54-2	[測量図]	年月日未詳	14.3×17.5	1枚		
18-54-3	[畝高書上]	年月日未詳	横切紙	1通		
18-54-4	沓ヶ年切売渡申畑証文之事	天保7年12月	縦継紙	1通	売主大内村源六・親類同村篤右衛門・証人川入村嘉吉・同同村久次郎→倉敷中島屋源介 下々畑壹反・下々畑三畝式歩の売渡証文	(奥書)川入村名主惣五郎
18-55	覚(瓦庇・瓦小庇代銀請取)	文政6年3月	縦継紙	1通	売り主くし屋亀太郎・証人新屋茂助→中島屋源介	
18-56	[多次郎田地関係書類]			1袋(2通1包)		18-56-1~3一袋(袋上書)「未十二月 流地証文 小作証文 寄除外二書付共一切入 塩津多次郎」
18-56-1	[多次郎関係書類]			1包(3通1枚)		18-56-1-1~4まで白紙に巻かれて一纏め 包紙の端裏に「多次郎」の書付あり
18-56-1-1	[三ヶ年の高算用書]	年月日未詳	横切紙	1通	丑年・午年・未年分	
18-56-1-2	[地境図]	年月日未詳	22.8×32.5	1枚		
18-56-1-3	覚(塩津村多次郎分地利米勘定書)	年月日未詳	横切紙	1通		
18-56-1-4	覚(銀札受取)	天保7年3月14日	横継紙	1通	塩津村多次郎・証人忠八→中島屋源介	
18-56-2	質入申田地証文之事	天保6年12月	縦継紙	1通	質主塩津村多次郎・親類北割綱吉・同西中村好右衛門・証人倉敷戎屋忠八→倉敷村中島屋源介 「帯江分前湯村十ノ割下田式反歩」の質入証文	(奥書)庄屋儀右衛門
18-56-3	小作証文之事	天保6年12月	縦継紙	1通	小作人塩津村多次郎・親類北割綱吉・証人倉敷戎屋忠八→倉敷村中島屋源介 「帯江分前湯村十ノ割下田式反歩」の小作証文	
18-57	売渡申畑証文之事	弘化3年5月	縦継紙	1通	売主中島屋久兵衛・証人戎屋忠八→中島屋源介 「子位庄村之内上田三畝 下畑拾歩」の売渡し証文	(袋上書)「子位庄窪ノ下上田三畝歩高五斗五升八合 下々畑拾歩高三升七合 此二筆本家より譲り受候分如何之間違哉 名前帳面久兵衛名前二有之ニ付 弘化三丙午年五月久右衛門江談示之上買取証文受取候」
18-58	覚(預け置いた銀子元利請取)	天保8年12月8日	横切紙	1通	沖村房次郎→倉敷中島屋源介	(袋上書)「沖村房次郎より預り置候銀子元利相渡シ候節 同人より請取書指入候ニ付此袋入置 天保八酉年十二月八日」(中包上書)「沖村房次郎より預り置候銀子指返し候節請取書巻通入 天保八酉年十二月八日」
18-59	[林蔵畑地関係書類]			1袋(1枚1括り)		18-59-1~2一袋(袋貼紙)「天保七申年十二月 畑買取証文巻通 外二地図并算用書入 大内林蔵」
18-59-1	[包紙]			1枚	包紙上書に「巳十一月証文巻通 成羽濱屋宗右衛門」	包紙のみ

18-59-2	[林蔵畑地関係書類]			1括り(3通1枚)		18-59-2-1~4紙綴りで一括り
18-59-2-1	覚(代銀請取)	天保7年12月13日	横継紙	1通	大内村林蔵・証人川入村嘉吉→倉敷中島屋源介	
18-59-2-2	覚(畝高算用書)	年月日未詳	縦切紙	1通		
18-59-2-3	[測量図]	年月日未詳	14.5×17.5	1枚		
18-59-2-4	壹ヶ年切売渡申畑証文之事	天保7年12月	縦継紙	1通	売主大内村林蔵・親類同村小平次・証人川入村嘉吉・同村久次郎→倉敷中島屋源介「石橋 下々畑四畝拾五歩 同下々畑壹畝貳拾八歩半」の売渡証文	(奥書)川入村名主惣五郎
18-60	[買取証文]			1袋(2通)		18-60-1~2が包紙に包まれ袋に入っている(袋上書)「天保八酉年十二月 天保開六反貳畝拾五歩 代銀六貫五百六拾貳分五厘 買取之分 西原俊吉」(中包上書)「証書二通 西原村俊吉」
18-60-1	譲渡申証文之事	天保9年12月	縦紙	1通	「天保開三之割元割畝壹反貳畝拾五歩」の譲渡し 譲主倉敷金平・証人喜久太→西原村俊吉	(端裏書)「天保開之内譲渡証文写」
18-60-2	譲渡申証文之事	天保8年12月	縦継紙	1通	「天保開西角地元割畝貳反外二筆」の譲渡し 売主西原村俊吉・証人同村民介→倉敷金平	(奥書)鶴新田庄屋預り直吉 同後見源蔵
18-61	[沖新開買取証文]			1袋(2通)		18-61-1~2一袋(袋上書)「沖新開買取証文壹通 上成恒屋俊蔵」
18-61-1	相渡申証文之事	文政8年4月	縦継紙	1通	「鶴新田之内沖新開有坪南三割畝反貳畝拾五歩」他5筆 引渡主上成恒屋俊蔵・証人同所佐太郎→倉敷源助	(奥書)鶴新田庄屋御新開請負人西之浦弥平治
18-61-2	相渡証文之事	文政8年4月	縦継紙	1通	「鶴新田之内沖新開有坪北貳ノ割畝反五畝歩」他1筆 引渡主上成恒屋俊蔵・証人同所佐太郎→西阿知村孫兵衛	(奥書)鶴新田庄屋御新開請負人弥平治(端裏書)「此分菅田屋名前二候得共入用無之由二付俊吉此方兩人二而請持居候所 又々望二付文政九戌三月代銀受取 孫兵衛へ譲り後相済候事」
18-62	壹年切売渡申畑之事	天保12年12月	縦継紙	1通	「有坪寛政開堤跡貳拾八番 中畑拾八歩」他2筆 売主代西之浦伝右衛門・証人鶴新田忠蔵→中島屋金平	包紙あり(包紙上書)「寅十二月買取証文壹通 切三月十七日 認入替差越候分 銀札壹貫七拾三匁六分 但寛政開堤跡辻地買取証文壹通 西之浦伝右衛門」(奥書)庄屋預り三宅直吉 同後見源蔵(端裏書)「天保十四卯三月十七日調印」
18-63	差入申一札之事	天保8年12月19日	縦継紙	1通	預り切手紛失ながら「小作米算用へ立用御渡二相成髓二請取」のこと 鶴新田周平→倉敷中島屋金平	包紙あり(包紙上書)「鶴新田周平預り銀相渡預り切手可差返書付紛失いたし候旨二而段々相断二付同人より請取書取置相済已上天保八酉年十二月十九日」
18-64	[酒津村佐平次流地関係書類]			1袋(5通)		18-64-1~5まで紙綴りで括られて袋に入っている(袋貼紙)「天保二卯二月流地証文壹通 外二添証文小書付入 木屋酒津佐平次」
18-64-1	書抜	年月日未詳	横切紙	1通	鹿爪西分畑地畝高書抜	
18-64-2	覚(鹿爪西四筆分代銀請取)	卯年正月	横継紙	1通	酒津村佐平次→くらしき中島屋源助	
18-64-3	覚(流地に付き名寄帳面の名前書替願い)	天保2年正月	縦紙	1通	「鹿爪西下々畑七畝歩」外3筆 酒津村佐平次・証人同村柳右衛門→子位庄村名主惣兵衛・中右衛門	(端裏朱書)「佐平次より村役人差出候寄除写し留 名主へ掛合此方よりハ不及出旨申聞候故差出申候」
18-64-4	添証文之事	天保2年12月	縦切紙	1通	「鹿爪西九畝拾九歩」の小作畝小作米証文 酒津村佐平次・証人同村柳右衛門→倉敷中島屋源助	
18-64-5	質入申畑之事	文政13年12月	縦継紙	1通	「鹿爪西四筆」質入の証 質主酒津村佐平次・親類茂一兵衛・証人同村柳右衛門→倉敷中島屋源助	(奥書)子位庄村名主五一兵衛 同中右衛門 卯正月廿八日
18-65	覚(銀札仮受取証)	丑年7月11日	横切紙	1通	茜屋惣平・下津井屋吉左衛門・広江屋丈吉→中島屋源助	包紙あり(包紙上書)「村一件諸雜費割賦代相渡候分 仮請取書付入 丑七月十二日」
18-66	[醤油道具代銀受取]			1包(3通)		18-66-1~3一包 包紙あり(包紙上書)「二月廿四日 新札貳貫目 八浜屋光右衛門 醤油道具代受取書入」
18-66-1	[金平宛光右衛門書状]	年未詳2月24日	横継紙	1通	道具代の内銀札貳貫目入手のこと	(上書)「金平様 光右衛門 貴答」
18-66-2	覚(醤油道具代残銀請取)	未年5月12日	横切紙	1通	八濱屋→中島屋	
18-66-3	覚(醤油道具代銀受取)	未年2月24日	横切紙	1通	元八濱屋→東中島屋	
18-67	[倉敷村教諭所年寄五郎右衛門浜村医師良策帰国につき飯料・帰村入用金借用に関する書類他]			1括り(仮1冊7通)		18-67-1~8紙綴りで一括り
18-67-1	[源助宛安右衛門書状]	年月未詳27日	横継紙	1通	「かの地」へ罷越した折の入用について「貴家御主人」は「御留主居」であったので六軒割にするか五軒割にするか「思召次第取計」うため考えをたずねる	(上書)「源助様 安右衛門 要用」
18-67-2	[大橋源助宛濱田屋安右衛門書状]	年未詳12月27日	横切紙	1通	乙島海面一条についての入用金を六軒で割賦に付きその代金を請求する	(上書)「大橋源助様 濱田屋安右衛門 要用書」
18-67-3	[平右衛門・源助宛安右衛門書状]	年未詳閏4月7日	横継紙	1通	五郎右衛門拝借金貳拾金差上げのこと	(上書)「平右衛門 源助様 安右衛門 金子添」
18-67-4	[書状案文]	年月日未詳	横切紙	1通	五郎右衛門江戸拝借金一条について日限も「差競」い役所へも「内々御届」をしなければならぬので「篤与」相談して明朝までに結果を知らせてほしい	
18-67-5	[中島屋源助宛嘉作書状]	年未詳4月1日	横切紙	1通	火急に相談したいことがあるのでおいでいただきたい	(上書)「中島屋源助様 自上ノ同屋嘉作 急内用」
18-67-6	[中島屋源助宛新屋嘉作書状]	年未詳4月13日	横切紙	1通	当月中の仕出しには間に合わないと思う 下拙は用事の為帰村するので七八日頃貴家より浜田迄申し遣わしてほしい	(上書)「中島屋源助様 新屋嘉作 急内用」
18-67-7	借用申金子証文之事	年未詳4月13日	横切紙	1通	倉敷村教諭所年寄五郎右衛門・浜村医師良策帰国につき飯料・帰村入用金借用証 備中国窪屋郡倉敷村教諭所年寄善兵衛他9人→紀伊国屋利八	
18-67-8	借用申金子証文之事	戌年正月22日	半・縦	仮1冊	倉敷村教諭所年寄五郎右衛門・浜村医師良策帰国につき飯料・帰村入用金借用証 備中国窪屋郡倉敷村教諭所年寄善兵衛他9人→紀伊国屋利八	

18-68	[大橋源助宛書状]			1括り(15通1括り1包)		18-68-1~17紙紐で一括り
18-68-1	[松田屋田地売払関係他書状]			1包(6通1包)		16-68-1-1~7紙紐で一括り
18-68-1-1	[書状]	年未詳11月12日	横継紙	1通	矢かけ松田屋田地売払について八十八差遣しのこと	宛名・差出人不詳
18-68-1-2	[大橋源助宛片山善右衛門書状]	年未詳12月26日	横継紙	1通(2枚)	松田屋田地の小作印形は年貢取立の故障になる為年明け早々まで断る旨を頼んでほしい 借用銀利足段々延引ながら今便にて差遣しのこと	包紙あり(包紙上書)「大橋源助様 片山善右衛門」別紙追而書あり
18-68-1-3	[松田屋田地関係書類]			1包(2通)		18-68-1-3-1~2一包 (包紙上書)「倉敷中島屋新宅大橋源助様 片山善右衛門 貴下要用」
18-68-1-3-1	[大橋源助宛片山善右衛門書状]	年未詳12月16日	横継紙	1通	徳蔵の病療を祝う 東新宅定吉良吉、中新宅の俊蔵の病状について 松田屋田地見合の様子報告	包紙は大橋源助宛片山善右衛門書状の転用
18-68-1-3-2	[源助宛いつみや八十八書状]	辰年12月16日	横継紙	1通	田畑の件の様子報告が延引になったが此間片山氏様が見合下さり出来あがったので一両日の内に証文を調べてほしい	
18-68-1-4	覚(畝高算用書)	年月日未詳	横継紙	1通	山ね畑・ねじればち・奥廻前川等の田地	
18-68-1-5	[源助宛善右衛門書状追答]	年月未詳19日	横継紙	1通	人を遣わすのを明日迄延ばしてくれる様に申したが、御地并に江長迄人を遣わす用意をしていたので差遣わず 明日で済まない様であれば又々八十八より人を遣わすのでその様に承知してもらいたい	
18-68-1-6	[源助宛いつみや八十八書状]	年未詳12月17日	横継紙	1通	昨日は人を遣わしたが留主の様子であったので今日又人を遣わす 一件の義について様子を聞かせてもらいたい	(上書)「中島屋源助様 いつみや八十八」
18-68-1-7	[大橋源助宛片山善右衛門書状]	年未詳12月17日	横継紙	1通	「年尾御祝」受納の礼 松田屋田地の件については此節になっては銀子も出来ず、明日八十八が御地に出むき御頼みする様子である	(上書)「大橋源助様 片山善右衛門 御答」
18-68-2	[源助・宗平宛与三右衛門書状]	年未詳8月8日	横継紙	1通	茜屋よりの通については委細承知 通は返上するので貴家にて預り置いてほしい	(上書)「源助様 宗平様 与三右衛門 内用書」
18-68-3	覚(小河一条济口金請取)	文政5年8月5日	竖切紙	1通	三和屋安八→成羽屋与三右衛門・中島屋源助・茜屋惣平	
18-68-4	[大橋源助宛河井彦二郎書状]			1包(2通)		18-68-4-1~2一包 (包紙上書)「大橋源助様 西阿知より河井彦二郎 用書」
18-68-4-1	[大橋源助宛河井彦二郎書状]	年未詳9月3日	横継紙	1通	先日御咄申上げた一条について平蔵殿へ出銀下さる様に取計いを依頼	
18-68-4-2	[大橋源助宛河井彦二郎書状]	年未詳9月3日	横継紙	1通	平蔵殿不得心の由 申上げ兼ねるが銀札三拾匁の借用を願う	(上書)「大橋源助様 西阿知より河井彦二郎 内用書」
18-68-5	[源介宛浅原五一兵衛書状]	年未詳4月6日	横継紙	1通	加地子米延引ながら荒々指別紙進達のこと	(上書)「倉敷源介 麻原五一兵衛 答」
18-68-6	[中嶋屋源介宛浅原五一兵衛書状]	年未詳12月27日	横継紙	1通	年貢算用の過銀送付のこと 当年は取引切手下直二付き切手相場は近日相談のこと	(上書)「中嶋屋源介様 浅原五一兵衛 内事」
18-68-7	[尚々書き]	年未詳2月24日	横継紙	1通	無心のものは此人に渡してもらいたい 借用手形は別紙差し上げるのでお請取り下さる様に	尚々書きのみ 宛名・差出人不詳
18-68-8	[源助宛後吉書状]	年未詳12月25日	横継紙	1通	銀子七百目差越す様依頼	包紙あり(包紙上書)「倉敷源助様 西原後吉 要用」
18-68-9	[中嶋屋宛成羽屋書状]	午年8月5日	横継紙	1通	金壹両借用のこと	(上書)「大橋君 黒噺 要用」
18-68-10	[源介宛復多書状]	年月未詳25日	横継紙	1通	銀札百匁借用願ひ及び木綿代銀拾匁指上げのこと	(上書)「源介様 復多 要用」
18-68-11	[中嶋屋源介宛汶多書状]	年未詳5月4日	横切紙	1通	銀札百目無心依頼	(上書)「中嶋屋源介 汶多」
18-68-12	[中嶋屋源助宛猶田屋よ助書状]	年未詳12月29日	横継紙	1通	見廻寺封受取のこと	(上書)「中嶋屋源助様 猶田屋よ助 貴答」
18-68-13	[大橋源介宛大嶋源之丞・原田寿介書状]	巳年12月10日	横継紙	1通	年賦銀及び通式枚送付添状	包紙あり(包紙上書)「中嶋屋大橋源介様 大嶋源之丞 原田寿介 銀子添通入」
18-68-14	[大橋源介宛岡山新右衛門書状]	年未詳10月6日	横継紙	1通	御本家も「余程之銀高」の為「今少し御決答」もなれがたい 今日亦文次郎と円蔵を差向けるので決談下さる様に諸事取向を頼む	包紙あり(包紙上書)「大橋源介様 岡山新右衛門 要用書」
18-68-15	[大橋源介宛岡山新右衛門書状]	年未詳10月27日	横継紙	1通	銀談の件については過日文次郎への伝言は承知のこと「何卒御出精ヲ以て拾式貫調べてくれる様に願う	包紙あり(包紙上書)「大橋源介様 岡山新右衛門 要用書」
18-68-16	[大橋源介宛岡山新右衛門書状]	年未詳10月20日	横継紙	1通	判頭両人差遣した節の「貴答」については承知のこと「御出精ヲ以て拾貫匁程は御本家の方も承知下され安心のこと しかしまだ式貫目不足に付き「格別之御働キヲ以て」拾式貫調べてくれる様に願う	包紙あり(包紙上書)「大橋源介様 占見新田岡山新右衛門 要用書」
18-68-17	[大橋源介宛岡山新右衛門書状]	年未詳9月11日	横継紙	1通	過日の銀談一件について判頭文次郎を差遣したが何卒取替を願う	包紙あり(包紙上書)「大橋源介様 岡山新右衛門 要用書」
18-69	[座敷買取関係書類]			1袋(1冊1包)		18-69-1~2が紙紐に括られて袋に入っている (袋上書)「天保十二丑年九月吉日 銀札式貫目 座敷売主備前溝部与助 口入旦土 溝部屋 中買中嶋彦助 座敷一ヶ所右直段二而相求候書類一切入外二諸入用壹貫貳百拾貳匁五分 合三貫貳百拾貳匁五分」
18-69-1	[家屋買取関係書類]			1包(5通1括り)		18-69-1-1~6一包 (包紙上書)「家壹ヶ所買取候書類」
18-69-1-1	[弥吉宛金錢関係書類]			1括り(2通)		18-69-1-1-1~2紙紐で一括り
18-69-1-1-1	覚(家代残銀受取)	丑年9月12日	横切紙	1通	銀札壹貫六百四拾四匁の受取 溝部屋→備中倉敷弥吉・口入彦介	
18-69-1-1-2	覚(舟賃五百五拾匁にて請合の覚)	年未詳8月15日	横切紙	1通	湊屋彦助→弥吉	
18-69-1-2	覚(売渡家屋見分及び残銀書付)	天保12年8月15日	横折紙	1通	備前溝部与介・口入旦土溝部屋・中買中嶋彦介→備中倉敷弥吉	
18-69-1-3	[代銀書上]	年月日未詳	横折紙	1通	酒代・さゝら・わらし・土俵代他	

18-69-1-4	覚(湊屋買物代銀書付)	年月日未詳	横折紙	1通	さうり・むしろ・なわ・たはこ代他	
18-69-1-5	覚(しふ紙代銀受取)	丑年9月11日	横継紙	1通	いなみ屋→(宛名なし)	
18-69-1-6	覚(しふ紙代銀受取)	丑年9月11日	横継紙	1通	林屋弥七郎→本町杉屋	
18-69-2	天保十二丑年九月吉日 ひかへ	天保12年9月6日～	半・横長	1冊	備前溝部与助所持友清村座敷代銀・取崩シ中諸入用・船賃・当所湊より此方裏迄取越し中せ賃とも一切取付	
18-70	[借入金返済関係書類]			1袋(1通1袋)		18-70-1～2一袋(袋貼紙)「金貳拾両壹分永八十三文 吉左衛門 弥平 相渡書付入」
18-70-1	[中嶋屋源介宛下津み屋吉左衛門・八濱屋弥兵衛書状]			1袋(3通)		18-70-1-1～3一袋(袋上書)「中嶋屋源介様 下津み屋吉左衛門 八濱屋弥兵衛」
18-70-1-1	[源介宛吉左衛門・弥兵衛書状]	年未詳閏6月22日	横継紙	1通	当月中に金子を取揃え返金を願う	
18-70-1-2	[返書控]	年未詳閏月22日	横継紙	1通	当月中に入用の自分の分の金子についてはお渡しするが「外方取揃之義」については御断りする	(端裏書)「兩人当テ 返書控」
18-70-1-3	[利右衛門・源介・五郎右衛門・惣平宛豊介廻状]	年未詳閏6月26日	横継紙	1通	出府中下津み屋、八濱屋両家より借用の金百両返金について猶予を願う	
18-70-2	覚(元利金請取)	文政10年閏6月29日	横継紙	1通	金貳拾両壹分永八拾三文の請取 弥兵衛・吉左衛門→源介	
18-71	[歩方売買関係書類]			1括り(3通1袋)		18-71-1～4紙紐で一括り
18-71-1	拾ヶ年限返し手形之事	文政4年5月	縦紙	1通	西之浦前御新開歩方譲渡証文受取 中島村政吉・倉敷源介→大塚定三郎	包紙あり(包紙上書)「文政四巳年 御新開歩方三厘 内巻厘 文政九戌二月西原後吉へ譲り渡す 残巻厘此方所持 大塚定三郎より買取之証文写巻通」(端裏書)「大塚定三郎へ相渡候返証文調印之上中嶋村政吉へ相渡候証文控」
18-71-2	譲渡申西之浦前新開歩方之事	文政9年2月	縦紙	1通	倉舗源介・証人川入松次郎→西原後吉	包紙あり(包紙上書)「文政九戌二月 御新開歩方巻厘 西原後吉江譲り証文控巻通 并後吉より拾ヶ年分返り証文請取之巻通入」(端裏書)「歩方巻通 後吉へ譲り証文扣へ 文政九戌二月 ひかへ」(奥書)御新開請負人西之浦弥平次
18-71-3	譲渡申歩方証文之事	弘化5年2月	縦継紙	1通	譲主中嶋屋久右衛門・証人鶴新田忠平→中島屋金平	(袋上書)「鶴新田未開発場歩方三厘内歩方式厘残而巻厘也 代銀四貫貳百目 去ル天保三辰年拙者取持之歩方勝手二付貴兄御名前二残置候分今般猶又拙者名前二御書替被下候分 角店久右衛門 弘化五申年二月求之 但申八月廿七日所当座帳へ付ル」
18-71-4	[御新開歩方買受関係書類]			1袋(6通1包)		18-71-4-1～7まで紙紐で括り袋に入っている(袋上書)「享和二年戌六月 御新開歩方巻歩買受之証文巻通 代金貳拾両 西之浦上金屋恭蔵 加判片島弥曾次」
18-71-4-1	[中嶋屋源介宛 屋八十二書状]	年未詳7月8日	横切紙	1通	病氣見舞状	
18-71-4-2	[書状]	年月日未詳	横切紙	1通	西之浦より銀子セリ込みに付き銀子引渡しを願う 添証文の文言が気に入らないのであれば案文を便にわたしてほしい	宛名・差出人不詳
18-71-4-3	[大橋金平・源助宛中原[ ]書状]	年未詳7月9日	横継紙	1通	「御伯父様」への見舞 西之浦より銀子セリ込みに付き九百七拾式匁を便に渡してくれる様に	
18-71-4-4	覚(金銭算用書)	申年12月	横切紙	1通	請負人弥平次→中嶋屋源介	
18-71-4-5	[証定証文之事案文]			1包(3通)		18-71-4-5-1～3一包 包紙あり(包紙上書)「案紙巻通」
18-71-4-5-1	[書状]	年月日未詳	横継紙	1通	添証文案文は先方が待兼ねて認め寄越して来たが「此方存寄り二不相叶二付」案文を差遣し議定証文は添証文をかためてからと申しておいた	
18-71-4-5-2	[議定証文之事案文]	年月日未詳	縦切紙	1通	備中国浅口郡連嶋西之浦前海面御新開銀主株加入への議定書案文 誰→御新開請負人弥平次・銀主方惣代片島村十内代弥曾次	紙背に覚(質流地に関するもの力)の下書あり
18-71-4-5-3	[議定証文之事案文]	年月日未詳	縦紙	1通	備中国浅口郡連嶋西之浦前御新開銀主株加入への議定書案文 誰→御新開請負人弥平次・御新開銀主中	付紙あり
18-71-4-6	一札	享和2年6月	縦紙	1通	西之浦前御新開銀主株譲渡への議定書 上金屋恭蔵→倉敷中島屋金平	包紙あり(包紙上書)「添証文巻通」
18-71-4-7	御新開銀主株譲証文事	享和2年6月	縦継紙	1通	同国同郡連嶋西之浦海面御新開銀主歩方譲主上金屋恭蔵・銀主惣代片島村十内代弥曾次・御新開請負人庄屋三宅弥平次→倉敷中島屋金平	包紙あり(包紙上書)「歩方巻歩之分 証文巻通 上金屋恭蔵」
18-72	[鶴新田寛政開畑買取関係書類]			1袋(3通)		18-72-1～3一袋(袋貼紙)「天保六未十一月 鶴新田寛政開畑買取証文巻通 連島腕 金十郎」(内包上書)「連嶋腕 金十郎より未十一月 田地買取証文巻通 入」
18-72-1	売渡申畑証文之事	天保6年11月	縦継紙	1通	鶴新田字寛政開式割七拾三番の中畑式反壹畝九歩の売渡証文 畑売主連島腕金十郎・証人鶴新田忠平→倉敷中島屋金平	(奥書)鶴新田庄屋三宅弥平治 鶴新田庄屋後見源助
18-72-2	覚(証文受かへし銀受取)	天保6年11月1日	横切紙	1通	売主金平・証人忠平→中島屋	
18-72-3	覚(取かへ利銀書付)	未年10月29日	横継紙	1通	本ちや店清助→中新田豊次郎	
18-73	[質地流地関係書類]			1袋(3通)		18-73-1～3一袋(袋上書)「文化二丑十二月 質地流地証文并算用書付共入 板屋与八郎 世話人茜屋惣平」
18-73-1	質入申田地之事	文化2年12月	縦継紙	1通	浜之道百四十六番田四畝歩の質入証文 質主板屋与八郎・親類同弥吉→中島屋金平	(奥書)庄屋七太夫 年寄三郎右衛門
18-73-2	覚(代銀差上げの覚)	丑年12月23日	横継紙	1通	板屋与八郎→あかね屋宗平	
18-73-3	覚(預米書付)	丑年12月23日	横継紙	1通	いたや与八郎→あかね屋宗平	



18-74	[ 葛右衛門畑地売買関係書類 ]			1袋(4通1枚)		18-74-1~5まで紙綴りで括られて袋に入っている (袋上書)「天保七申年十二月求之 銀九百五匁分式厘 川入分字大坂屋地之内式反式畝七歩 大内葛右衛門」
18-74-1	書抜	年月日未詳	横切紙	1通	畝・高書付	
18-74-2	[ 葛右衛門畑地測量図 ]	年月日未詳	24.2×17.3	1枚		
18-74-3	覚(畑代銀請取)	天保7年12月	横切紙	1通	大内村葛右衛門・証人川入村嘉吉→倉敷中島屋源介	
18-74-4	小作証文之事	天保7年12月	縦継紙	1通	小作人大内村葛右衛門・証人川入村嘉吉→倉敷中島屋源介	
18-74-5	書々年切売渡申畑証文之事	天保7年12月	縦継紙	1通	売主大内村葛右衛門・親類同村源六・証人川入村嘉吉→倉敷中島屋源介	(奥書)川入村名主惣五郎
18-75	[ 茶屋伴蔵小作地関係書類 ]			1袋(2通)		18-75-1~2まで紙紐で括られて袋に入っている (袋上書)「小作証文屋敷質書付書紙二認メ 天保九戌年十月請取 茶屋伴蔵 新右衛門 証人鹿爪長五郎」
18-75-1	差入申一札之事	弘化3年4月	縦紙	1通	小作米については已後諸事嚴重に仕るべき事 小作人子位庄村之内字はまの茶屋伴蔵・証人同鹿爪長五郎→倉敷中島屋源介	包紙あり(包紙上書)「一札 はまの茶屋伴蔵」
18-75-2	屋敷借地井小作証文之事	天保9年10月	縦継紙	1通	借地井小作人茶屋新右衛門・伴蔵・証人鹿爪長五郎→倉敷中島屋源介	後に屋敷貸にした分の絵図面あり
18-76	[ 畑地質入関係書類 ]			1袋(4通)		18-76-1~4まで紙紐で括られて袋に入っている (袋上書)「西十二月 銀百目 浅原平太 戊五月四 質地入」
18-76-1	覚(はざこ下々畑畝高物成書付)	年月日未詳	横切紙	1通		
18-76-2	[ 畝・高書付 ]	年月日未詳	縦切紙	1通		
18-76-3	小作証文之事	天保8年12月	縦継紙	1通	はざこ下々畑拾六歩の小作証文 小作人浅原平太・証人同村久蔵→倉敷中島屋喜久太	
18-76-4	質入申畑証文之事	天保8年12月	縦継紙	1通	はざこ下々畑拾六歩の質入証文 質主浅原村平太・証人同村久蔵→倉敷中島屋喜久太	(奥書)浅原村名主茂左衛門
18-77	[ 子位庄百介田地売買関係書類 ]			1袋(4通1枚)		18-77-1~5まで紙綴りで括られて袋に入っている (袋上書)「銀五百七拾目 子位庄百介 子位庄薬師西田七畝歩 天保七申年十二月求之」
18-77-1	覚(薬師西下々田畝高物成書付)	年月日未詳	横継紙	1通		
18-77-2	[ 測量絵図 ]	年月日未詳	34.0×24.4	1枚		
18-77-3	覚(薬師西下々田代銀請取)	天保7年12月	横継紙	1通	子位庄村百介・証人茂吉→倉敷中島村源介	
18-77-4	書々年切売渡申田地証文之事	天保7年12月	縦継紙	1通	薬師西下々田売渡証文 売主子位庄村百介・証人茂吉→倉敷中島屋源介	(奥書)子位庄村名主五一兵衛 証人茂吉
18-77-5	小作証文之事	天保7年12月	縦紙	1通	小作人子位庄村百介→倉敷中島屋源介	
18-78	[ 割賦銀関係書類 ]			1袋(3括り)		18-78-1~3一袋 (袋上書)「弘化二乙巳年十二月 銀札貳貫百七拾七匁五分式厘請取書入 庄屋丹右衛門 組頭水沢常太郎 同植田武右衛門 但文政十一子年より天保十一子年迄町役割賦不致分并割賦共此度割賦いたし右之通出銀いたし呉度相頼二付書面之通遣ス 村方一対右之通割合取立候上者後年村借者無之と存候」
18-78-1	[ 年貢・町役銀算用書 ]			1括り(3通)		18-78-1-1~3紙紐で一括り 括り紐に付紙あり (付紙)「此分丹右衛門より度々尋越候二付書付遣し候控」
18-78-1-1	覚(年貢・町役銀算用書)	辰年10月	横継紙	1通	「天保十五辰年十月二日丹右衛門より差越候控」の書付あり	
18-78-1-2	覚(町役銀算用書)	辰年10月5日	横継紙	1通	金平→丹右衛門	
18-78-1-3	[ 金平宛丹右衛門書状 ]	辰年10月	横継紙	1通	年貢・町役銀算用の覚書	包紙あり(包紙上書)「金平様 丹右衛門 書付在中」
18-78-2	[ 割賦町役銀清算書類 ]			1括り(2包)		18-78-2-1~2紙紐で一括り
18-78-2-1	[ 銀受取覚 ]			1包(2通)		18-78-2-1-1~2一包 (包紙上書)「村方滞ノ勘定相済候書類入 請取書 数通入 但文政十一子年より天保十一子年迄割賦不致分并割賦残り共割賦いたし皆済二相成候」
18-78-2-1-1	覚(割賦銀受取)	弘化2年7月10日	横切紙	1通	丹右衛門→金平	(奥書)水沢常太郎 植田武右衛門
18-78-2-1-2	覚(町役銀・年貢米請取)	弘化2年12月21日	横切紙	1通	丹右衛門→金平	
18-78-2-2	[ 金平宛丹右衛門書状 ]			1包(3通)		18-78-2-2-1~3一包 包紙あり(包紙上書)「金平様 丹右衛門 用書」
18-78-2-2-1	[ 金平宛丹右衛門書状 ]	年未詳12月21日	横継紙	1通	延引ながら町役勘定書を差し上げるので残銀札を今日渡してほしい	
18-78-2-2-2	覚(割賦町役銀勘定書)	弘化2年12月21日	横継紙	1通		
18-78-2-2-3	覚(銀札引渡し添状)	弘化2年12月21日	横継紙	1通	丹右衛門→金平	
18-78-3	[ 丹右衛門より請取書類 ]			1括り(3通)		18-78-3-1~3紙紐で一括り 括り紐に付紙あり (付紙)「弘化二巳年六月廿日 丹右衛門より請取候」
18-78-3-1	[ 割賦残年及び割賦不致年号書付 ]	年月日未詳	横継紙	1通		
18-78-3-2	覚(銀勘定書)	年月日未詳	横継紙	1通		
18-78-3-3	覚(町役銀・年貢代銀算用書)	年月日未詳	横切紙	1通		
18-79	[ 中島屋源助宛牧貞介書状 ]	年未詳5月10日	横継紙	1通(2枚)	村役人中見分については延引になっていたが此間出来た 庄屋植田より明十一日には上坂の様に聞いているが直々聞合せてほしい	包紙あり(包紙上書)「倉敷中島屋源助様 自上成牧貞介 内用事」 追伸は別紙
18-80	覚(質流に付き名寄帳面の名前書替願い案文)	卯年	縦紙	1通	誰→庄屋水沢常太郎・植田汶四郎	

18-81	[質入申家屋敷証文之事案文]	文政13年12月	縦継紙	1通	たれ→中島屋源介	
18-82	[書状一括]			1括り(8通1纏め)		18-82-1~9紙紐で一括り
18-82-1	[大橋源介宛守屋後吉書状]	年未詳5月29日	横継紙	1通	此間頼んでおいた銀子を使に渡してほしい 証文は差し上げる	包紙あり(包紙上書)「大橋源介様 守屋後吉 証文在中」包紙の上から紙縫りで括られている
18-82-2	[大橋源助宛宅源寺書状]	年未詳12月28日	横継紙	1通	此間無心の銀子を隣家の友蔵と申す人を遣すので渡してほしい 先日書面に認め贈進のつもりにしていたが使のものが失念したモチ粟を差しあげる他2筆	包紙あり(包紙上書)「倉敷阿ち町大橋源助様 新本 宅源寺 要用書」(包紙裏書)「午十二月」
18-82-3	[性徳院借用金関係書類]			1纏め(2通)		18-82-3-1~2まで帯封で纏められている 帯封あり(帯封上書)「此分相済此書付返候積り」
18-82-3-1	[大橋源介宛性徳院書状]	年未詳4月5日	横継紙	1通	金子都合五両受取り別紙受取書差上げのこと おさま様よりの進物の礼	(上書)「大橋源介様 性徳院 貴報」
18-82-3-2	覚(上京用立金及び詔物料とも五両の借用書)	戌年4月5日	横継紙	1通	性徳院→中島屋源介	
18-82-4	[村辻江借用申銀子証文之事案文]	文政5年12月	縦継紙	1通	小田郡東三成村西分百姓惣代たれ→窪屋郡倉敷中島屋源介 浅口郡占見新田村百姓代判頭誰・同村五人組頭誰・同村名主誰→倉敷村中島屋貞蔵	(端裏書)「案紙壹通 本紙二御添御返し可下候」(奥書)右村庄屋誰 同組頭誰
18-82-5	[村辻御年貢成替銀借用証文之事案文]	文政5年12月	縦継紙	1通		包紙あり(包紙上書)「案紙一通」(奥書)大庄屋誰
18-82-6	村辻取替年賦銀請取通	文政6年12月~丑年12月24日	横折紙	1通	中島屋源介→東三成村庄屋片山善右衛門	「相済」の記載があり墨書抹消
18-82-7	御村辻取替銀年賦請取通	文政4年12月16日~亥年12月19日	横継紙	1通	倉敷中島屋源介→道越村名主寿介・同源之丞	全体を墨書抹消
18-82-8	覚(村辻取替銀請取)	文政11年12月13日	横切紙	1通	中島屋源介→道越村名主占見新田新右衛門・同村名主坂太郎	
18-82-9	覚(銀高書付)	亥年7月	横継紙	1通	藤屋与吉→(宛名なし)	(上書)「藤与 書付入 西川札」
18-83	覚(銀高・受人・屋号氏名書付)	年月日未詳	横継紙	1通		
18-84	覚(元利とも銀子受取)	文政7年11月晦日	横切紙	1通	宝屋仙蔵→中島屋室蔵	(上書)「室屋千蔵預り銀相渡し候請取書付入」
18-85	[前性徳院預り金関係書類]			1包(4通)		18-85-1~4まで紙紐で括られて包紙に包まれている (包紙上書)「前性徳院預り金拾五両 今般中帯江観音寺へ相渡二付請取書并書状入 他二此方より之返書控共入 天保十五辰年七月八日 使夫左衛門へ渡ス」
18-85-1	銀子請取書之事	天保15年7月	縦切紙	1通	前性徳院弘寛師が預けていた金拾五両の請取 性徳院々代中帯江村観音寺・同寺檀家惣代中庄中島村丈左衛門→倉敷中島屋金平	包紙あり(包紙上書)「請取書一通」
18-85-2	[大橋金平宛観音寺書状]	年未詳7月8日	横切紙	1通(2枚)	性徳院檀家世話方中島村丈右衛門と申す者を差しむけるので 金子を渡してほしい ついては請取書一札を差し上げる	包紙あり(包紙上書)「大橋金平様 中帯江観音寺 要用書 請取書相添」別紙「副書」あり
18-85-3	[観音寺宛中島屋金平書状ひかへ]	年未詳7月8日	横切紙	1通	性徳院より預かっていた金子拾五両を観音寺に渡すことを承知した旨を伝える	(端裏書)「天保十五辰年七月八日 返書ひかへ」
18-85-4	[性徳院預け金関係書類]			1括り(4通)		18-85-4-1~4紙紐で一括り
18-85-4-1	[書付]	丑年12月26日	横切紙	1通	「此分性徳院様 預り金 丑十二月廿六日」の書付	
18-85-4-2	覚(預け金受取)	寅年10月17日	横切紙	1通	壹朱銀七両受取 隠居弘寛→金平	
18-85-4-3	覚(金三両の預け証)	寅年12月4日	横継紙	1通	前性徳院弘寛→金平	
18-85-4-4	覚(金拾九両預け証)	天保12年12月	横継紙	1通	前性徳院弘寛→大橋源介・同金平	
19-1	[日記]			1括り(14冊)		19-1-1~14荒縄で一括り
19-1-1	[ ]吉日 日記	文政7年	美・横列	1冊		(裏表紙)「大福入 中嶋屋源介」見出あり (小口書付)「文政七甲申」
19-1-2	明治十九口丙戌正月吉日 日記	明治19年	美・横列	1冊		(裏表紙)「大福入 大橋壽」SILティッシュで包む 見出あり
19-1-3	文政四年巳正月吉日 日記	文政4年	美・横列	1冊		(裏表紙)「大福入」見出あり
19-1-4	安政三年辰正月吉日 日記	安政3年	美・横列	1冊		(裏表紙)「大福入 大橋源介」見出あり
19-1-5	明和四年丁亥正月吉日 日記	明和4年	美・横列	1冊		(裏表紙)「大福入 中島屋久兵衛」見出あり
19-1-6	天明二年壬寅正月吉日 日記	天明2年	美・横列	1冊		(裏表紙)「大福入 中島屋久兵衛」見出あり
19-1-7	宝暦十年申正月吉日 日記	宝暦10年	美・横列	1冊		(裏表紙)「大福入 中島屋久兵衛」見出あり
19-1-8	天明三年癸卯正月吉日 日記	天明3年	美・横列	1冊		(裏表紙)「大福入 中嶋屋久兵衛」見出あり
19-1-9	宝暦十三年癸未正月吉日 日記	宝暦13年	美・横列	1冊		(裏表紙)「大福入 中嶋屋久兵衛」見出あり 帳外れになっているのでSILティッシュで包んだ
19-1-10	明和五口戊子正月吉日 日記	明和5年	美・横列	1冊		(裏表紙)「大福入 中嶋屋久兵衛」見出あり
19-1-11	文久三年癸亥正月吉日 日記	文久3年	美・横列	1冊		(裏表紙)「大福入 大橋良介」見出あり
19-1-12	文政十三年庚寅正月吉日 日記	文政13年	美・横列	1冊		(裏表紙)「大福入 中島屋源介」(小口書付)「文政十三庚寅十二月晦日より天保元ト改ル」
19-1-13	明治十八年乙酉正月吉日 日記	明治18年	美・横列	1冊		(裏表紙)「大福入 大橋秀太郎」見出あり 帳面横に「明治十八乙酉年」とあり 帳外れになっているのでSILティッシュで包んだ
19-1-14	文政十二年丑正月吉日 日記	文政12年	美・横列	1冊		(裏表紙)「大福入」見出あり
19-2	[日記]			1括り(17冊)		19-2-1~17荒縄で一括り
19-2-1	天保二年辛卯正月吉日 日記	天保2年	美・横列	1冊		(裏表紙)「大福入」(小口書付)「天保二辛卯」見出あり
19-2-2	天明五年乙巳正月吉日 日記	天明5年	美・横列	1冊		(裏表紙)「大福入 中嶋屋久兵衛」見出あり 紐がまかされている
19-2-3	天保八年丁酉正月吉日 日記	天保8年	美・横列	1冊		(裏表紙)「大福入 中島屋源介」(小口書付)「天保八丁酉」見出あり

19-2-4	天保九年戊戌正月吉日 日記	天保9年	美・横列	1冊		(裏表紙)「大福入 中嶋屋源介」(小口書付)「天保九戊戌」見出あり
19-2-5	天保十五年甲辰正月吉日 日記 十二月廿九日御触出シ年号改 弘化元年二当	天保15年	美・横列	1冊		(裏表紙)「大福入 中嶋屋源介」(小口書付)「天保十五甲辰年 同年十二月年号改 弘化元年」見出あり
19-2-6	宝暦十二年壬午正月吉日 日記	宝暦12年	美・横列	1冊		(裏表紙)「大福入 中嶋屋久兵衛」見出あり
19-2-7	寛政三年辛亥正月吉日 日記	寛政3年	美・横列	1冊		(裏表紙)「大福入 中嶋屋金平」見出あり
19-2-8	寛政四年壬子正月吉日 日記	寛政4年	美・横列	1冊		(裏表紙)「大福入 中嶋屋金平」見出あり
19-2-9	宝暦七年丁丑正月吉日 日記	宝暦7年	美・横列	1冊		(裏表紙)「大福入 中嶋屋久兵衛」見出あり
19-2-10	[大橋寿手習帳]	年月日未詳	縦帳	1冊		(表紙上書)「勉強者天稟の才に勝」
19-2-11	弘化二年乙巳正月吉日 日記	弘化2年	美・横列	1冊		(裏表紙)「大福入 中嶋屋源介」見出あり (小口書付)「弘化二乙巳年」
19-2-12	文政十一年戊子正月吉日 日記	文政11年	美・横列	1冊		(裏表紙)「大福入 中嶋屋源介」見出あり (小口書付)「文政十一戊子」
19-2-13	宝暦二年壬申正月吉日 日記	宝暦2年	美・横列	1冊		(裏表紙)「大福入 中嶋屋久兵衛」
19-2-14	万延二年辛酉二年正月吉日 日記	万延2年	美・横列	1冊		(裏表紙)「大福入 中嶋屋良介」見出あり (小口書付)「万延辛酉年同三月より文久元二改ル」
19-2-15	安政二年乙卯正月吉日 日記	安政2年	美・横列	1冊		(裏表紙)「大福入 大橋源介」見出あり (小口書付)「安政二乙卯年」
19-2-16	文政六年癸未正月吉日 日記	文政6年	美・横列	1冊		(裏表紙)「大福入 中嶋屋源介」見出あり (小口書付)「文政六癸未」
19-2-17	嘉永五年壬子正月吉日	嘉永5年	美・横列	1冊		(裏表紙)「大福入 中嶋屋源介」見出あり (小口書付)「嘉永五壬子年」
20-1	[催合講関係書類]			1袋(2冊1括り1纏め)		20-1-1~4一袋 (上書)「文久三亥年 中疇文兵衛催合講帳入 世話方市太郎・同益右衛門」
20-1-1	[催合講関係書類]			1括り(5通)		20-1-1-1~5紙縫りで一括り
20-1-1-1	覚(請取証)	子年12月13日	横切紙	1通	中疇増右衛門→倉敷大橋 中疇名主様式番口掛金九両壹歩永百五十文の請取	
20-1-1-2	[催合講質地証文之事案文]	慶応元年12月	横切紙	1通	得番中疇市太郎・証人同所伊兵衛→催合講請取連中 金百六拾両につき下田五反五畝	(奥書)中疇名主文兵衛 藤戸村武一郎
20-1-1-3	覚(受取証)	丙寅(慶応2)年12月12日	横切紙	1通	文兵衛→大橋 催合講寅年掛金八両永式百文の請取	
20-1-1-4	[落札講金書付]	辰(慶応4)年2月12日	横切紙	1通	卯十二日又兵衛殿講伊兵衛落札九拾壹両三歩	(端裏書)「辰二月十二日増右衛門より指越書附」
20-1-1-5	催合講質地証文之事	文久3年11月	縦継紙	1通	講主中疇文兵衛世話人2名→催合講請取連中 金百六拾両の借用のこと	(奥書)名主藤戸村武一郎
20-1-2	[講関係書類]			1纏め(2通)		20-1-2-1が20-1-2-2に巻かれている
20-1-2-1	[大橋宛文兵衛書状]	年未詳5月16日	横継紙	1通	扶持銀世話方および連判帳などのこと	包紙あり(包紙上書)「大橋様 文兵衛」
20-1-2-2	覚(仕出金書付)	年月日未詳	横折紙	1通	初落札金百五拾両他	
20-1-3	文久三年癸亥 催合講連判帳 引請文兵衛 世話方市太郎 同益右衛門	文久3年	半・縦	1冊	催合講議定之事 21名連判	
20-1-4	文久三年癸亥十一月 催合講連判帳 引請文兵衛 世話方市太郎 同益右衛門	文久3年11月	美・縦	1冊	催合講議定之事	
20-2	覚(銀札勘定書付)	巳年5月	横継紙	1通	「増右衛門江遣スひかへ」の書付あり	
20-3	[通帳]	申3月~	美・横長	仮1冊		
20-4	[片山亮泰関係書状類]			1括り(仮1冊3通1包)		20-4-1~5紙縫りで一括り
20-4-1	[片山亮助宛岡本慎平書状]	年未詳8月23日	横継紙	1通	兄の勘気が許され帰村をよるこぶ 又勘定役人の竹中氏が飯料の催促に17、8度も来たので根気負けしたことなど	包紙は岡本慎平宛小原寛書状の包紙を転用したもの (包紙上書)「備中三成片山亮助様 京都二岡本慎平 要用返事」(包紙裏書)「八月廿三日発ス 東洞院四条上ル」
20-4-2	[片山亮泰宛丈助書状]	年未詳8月2日	横継紙	1通	貸金の返済をせまる	(包紙上書)「備中小田郡東三成村片山亮泰様 要用 京東洞院服部内丈助」(包紙裏書)「八月朔日出ス 賃銭先払」
20-4-3	[片山亮輔宛条介書状]	年未詳8月23日	横継紙	1通	貸金を「一厘二而も不足無御座候様」返済をせまる	(包紙上書)「片山亮輔様 要用書 京都より条助」(包紙裏書)「八月廿三日出ス 賃銭先払」
20-4-4	天保九戌暮 矢掛新宅差引 行部本家	天保9年	半・横長	仮1冊		
20-4-5	[大橋源介宛書状]			1包(2通1袋)		20-4-5-1~3が包紙に包まれている (上書)「亥九月二日涼台持参 大橋源介様 要用」
20-4-5-1	借才惣々書出し扣	年月日未詳	横継紙	1通	河野立蔵に借入金三歩式朱他	
20-4-5-2	[大橋大人宛片山宗元書状]	年未詳9月2日	横継紙	1通	京都・大坂等での借入金について	
20-4-5-3	[証書類]			1袋(8通1括り1包)		20-4-5-3-1~10一袋 (袋上書)「天保九戌年矢掛新宅注文入外二下札入」
20-4-5-3-1	天保九戌年極月 御物成下札 庄屋石井次郎右衛門	天保9年12月	横切紙	1通	畑高三斗七升四合 道碩分について	
20-4-5-3-2	預り申手形之事	天保8年12月	縦切紙	1通	預り主仁井屋栄蔵・証人灰屋治右衛門→片山涼台 通用三百五拾目	
20-4-5-3-3	覚(銀書付)	戌年9月19日	横切紙	1通	町庄吉 道碩分	
20-4-5-3-4	覚(代銀受取)	戌年12月	横継紙	1通	栄屋吉兵衛→片山良泰 本印伝、鉄頭きせる他、代銀受取	
20-4-5-3-5	覚(代銀請取)	戌年7月28日	横継紙	1通	平田屋嘉兵衛→片山涼台 忍尽代他	

20-4-5-3-6	覚(代銀受取)	年未詳壬4月2日	横切紙	1通	行辺屋周助→片山	
20-4-5-3-7	武ヶ年切質地本銀返シ田畑相渡シ証之事	天保8年5月	縦紙	1通	質地渡し東三成村東分喜藤太・証人矢掛中町千寿屋栄吉→矢掛町三成屋定次郎	(端裏書)「喜藤太」印鑑が墨で抹消されている (奥書)庄屋赤松清次郎
20-4-5-3-8	覚(済証文)	戌年7月	横切紙	1通	仁井屋栄蔵→片山 酉暮講銀差引入過金清算の覚	
20-4-5-3-9	[証書類]			1包(2通)		20-4-5-3-9-1~2が包紙に包まれている (包紙上書)「手形巻通」
20-4-5-3-9-1	借用申銀子手形之事	酉年5月	縦紙	1通	借主片山涼台→赤松喜藤太 銀札三百目の借用	
20-4-5-3-9-2	覚(利足書付)	戌年12月	横切紙	1通	三成や貞三郎→東三成喜藤太 当十二月迄利足書付	
20-4-5-3-10	[小川よりの書類]			1括り(2通)		20-4-5-3-10-1~2紙綴りで一括り
20-4-5-3-10-1	[片山宛小川口上書]	年未詳12月20日	横継紙	1通	肴の御礼	
20-4-5-3-10-2	覚(受取証)	戊戌年12月20日	横切紙	1通	小川権之進→片山栄吉 姉扶持米三石	
20-5	[大嶋屋次郎右衛門講関係書類]			1袋(1括り1冊 仮1冊)		20-5-1~3一袋 (袋上書)「弘化三丙午年八月 五口加入之分 大嶋屋治郎右衛門五拾人講帳面入」
20-5-1	[大島屋講関係書類]			1括り(10通)		20-5-1-1~10紙綴りで一括り (包紙上書)「松印各様 大島屋次郎右衛門」
20-5-1-1	四会目 松印開札	申年3月6日	横継紙	1通	松印開札 銀高の書上7人分 大島屋次郎右衛門→各様	
20-5-1-2	[入札關取書付]	子年7月1日	横継紙	1通	落札銀三百八拾五匁五分 吉波屋 關当三拾番 角中島屋	
20-5-1-3	[入札關取書付]	亥年7月2日	横継紙	1通	落札銀三百六拾三匁八分 按屋直次郎 關当三十八番 植田武右衛門	
20-5-1-4	[手取銀書付]	戌年11月	横継紙	1通	手取銀三百六拾目 東中島屋	
20-5-1-5	[入札に付き廻状文言控]	年月日未詳	横継紙	1通	当3月分の入札について廻状文言の控	
20-5-1-6	覚(入札銀書上ひかへ)	酉年6月	横切紙	1通	三月分入札銀三百目 金平分	
20-5-1-7	覚(未年分入札落札者書上)	年未詳6月25日	横継紙	1通	幣家講会入札・落札の氏名・金額書上 大島屋次郎右衛門→各様	
20-5-1-8	酉六月廿五日開札ひかへ	酉年6月26日	横継紙	1通	当年の入札は講主の勝手により3月分、9月分を6月25日に一緒に に行い水沢が落札	
20-5-1-9	覚(大嶋屋講懸銀受取)	申年12月21日	横切紙	1通	宮崎屋→東中嶋屋	
20-5-1-10	覚(大島屋講銀請取通預り覚)	酉年6月26日	横切紙	1通	大島屋講銀請取通 宮崎屋→東中島屋	
20-5-2	深切講議定書	弘化3年8月	半・縦	1冊	講主大嶋屋治郎右衛門	
20-5-3	弘化三丙午年 講銀請取通 中島屋金平殿 大島屋次郎右衛門	弘化3年	美・横長	仮1冊		(袋上書)「通 大島屋次郎右衛門」
20-6	[書物講関係書類]			1袋(1纏め1冊3通)		20-6-1~5一袋 (袋上書)「安政四年丁巳三月 書物講帳入 講主西原守屋庸庵」
20-6-1	安政四丁巳三月 書物講帳 講主守屋庸庵	安政4年3月	半・縦	1冊	講の運営についての議定書 講主守屋庸庵 世話方阿知図書・松井牧右衛門・守屋保三郎・大和屋伝次郎	
20-6-2	[講銀関係書類]			1纏め(3通)		20-6-2-1に20-6-2-2~3が巻かれて一纏めになっている
20-6-2-1	守屋庸庵講申落札	年月日未詳	横切紙	1通	講銀勘定書	
20-6-2-2	覚(午の小掛銀受取)	午年12月17日	横継紙	1通	西原守屋→東大橋	
20-6-2-3	[大橋取次衆中宛守屋庸庵書状]	年未詳12月17日	横切紙	1通	講銀小掛の受け渡しについての取次依頼	
20-6-3	庸庵講落札酉年分	年月日未詳	横継紙	1通	講銀勘定書	
20-6-4	覚(手取銀書付)	戌年10月	横切紙	1通	大橋良介→(宛名なし)	「ひかへ」の書付あり
20-6-5	[大橋良介宛守屋庸庵書状]	年未詳12月27日	横継紙	1通	落札銀を渡すので受取ってもらいたい	(上書)「倉敷阿知町大橋良介様 西原守屋庸庵 座下」
20-7	[金平他3名宛源介書状]	年未詳9月9日	横継紙	1通	源介→金平・喜久太・徳蔵・正介 正介の下痢を心配し、今少し保養し十五七日頃帰るように 四日出帆、夜五時頃着岸のこと わさひおろし、しゅびん、大こん、なら漬の取計を頼む	
20-8	[御用金書付類]			1纏め(2通)		20-8-1~2が一緒に巻かれている
20-8-1	覚(御用金書付)	年月日未詳	横継紙	1通		
20-8-2	丑年御用金金数家数控	年月日未詳	横切紙	1通		
20-9	[大橋高之宛大原孝四郎書状]	年未詳5月11日	横切紙	1通	午前九時頃御入来下さるべく	(封筒表書)「大橋高之様 貴下」(封筒裏書)「大原孝四郎」
20-10	[書状]			1袋(2通)		20-10-1~2一袋 (袋上書)「矢掛涼台借財邑久郡北方より申越し候書状入」
20-10-1	[大橋金平・同喜久太宛片山涼台書状]	年未詳11月22日	横継紙	1通(2枚)	借金の延滞願	(上書)「大橋様 涼台」
20-10-2	[大橋金平宛小寺深蔵書状]	年未詳11月22日	横継紙	1通	涼台借財250目の返済を催促する 第三款合意ノ効力 第一結約者双方及七其代権人ニ付キ合意ノ効力	
20-11	[法令注釈書]	年月日未詳	縦紙	1通	第三百四十九条・第三百五十条の注釈	
20-12	[法令注釈書]	年月日未詳	縦紙	1通		
20-13	[畝高勘定書]	年月日未詳	横折紙	1通(2枚)		付紙がとれたのでSILティッシュで包んで一纏めにしておいた
20-14	証(講金請取)	辰年12月7日	横継紙	1通	大橋俊太郎→森浅蔵	
20-15	[講関係書類]			1袋(1冊1通)		20-15-1~2一袋 (袋上書)「明治拾三年 講金受取通 大橋秀太郎殿 交信社幹事」
20-15-1	明治十三年 講金受取通 大橋秀太郎殿 交信社幹事	明治13年旧11月~ 24年8月16日	美・横長	仮1冊		
20-15-2	壱番拾番書入証	明治20年1月15日	半・縦	仮1冊	窪屋郡倉敷村四百九拾五番邸債主大橋寿・同郡同村同番邸 後見人大橋俊太郎・同郡酒津村貳百三拾壱番邸証人三宅璋平 →窪屋郡倉敷村六百三拾九小河原文平	(封筒上書)「大橋寿ヨリ小河原文平当テ実者交信社へ差入タル金 四百五十円借用証書一通外二小河原文平証明書」 罫紙 裏に朱 書で「明治廿八年一月七日取消候」の書付あり
20-16	講金請取通	明治13年~16年	美・横長	仮1冊	講落札掛金の通	(袋上書)「明治十三年 講金受取通 大橋俊太郎殿 源泉社幹事」

20-17	[包紙]	年月日未詳		1枚		包紙のみ(包紙上書)「質地証文壺通」
20-18	[包紙]	年月日未詳		1枚		包紙のみ(包紙上書)「質地証文壺通 中島屋金平」
20-19	[講金受取証]			1袋(3通)		20-19-1~3一袋(封筒上書)「明治廿年十一月より 講金受取証入東大橋」
20-19-1	仮受取(講金請取)	明治24年12月2日	横切紙	1通	三宅孝蔵催合講明治廿四年分前取刎金請取 大橋長蔵→大橋秀太郎	
20-19-2	記(講金請取)	明治23年12月21日	横継紙	1通	勘定引受大橋長蔵→亡大橋秀太郎	
20-19-3	講金仮受取之証	明治19年12月1日	横切紙	1通	講主和栗仁左衛門相続人和栗庚一郎→大橋俊太郎	
20-20	[催合講関係書類]			1袋(2冊1括り)		20-20-1~3一袋(袋上書)「嘉永四辛亥年 池田形部様御講式貫目出 拾七口都合三拾四貫目壺組 亥十一月企之分 講掛り役人小田益之進 上野平三郎 銀預り大橋平右衛門 世話人守屋友太郎」
20-20-1	嘉永四辛亥歳十一月 催合順増講帳 備中拾七口	嘉永4年11月	半・豎	1冊	催合順増講議定之事 池田形部勝手向要用に就き	
20-20-2	嘉永四亥年 催合順増講銀札請取通 中島屋金平殿	嘉永4年	美・横半折	1冊		
20-20-3	[池田刑部催合講関係書類]			1括り(6通2包)		20-20-3-1~8紙紐で一括り
20-20-3-1	覚(刑部様新講小掛及び利銀受取)	丑年12月14日	横切紙	1通	西原村守屋多喜次→大橋安治郎	
20-20-3-2	覚(池田刑部様講銀受取)	子年12月16日~22日	横継紙	1通	西原村多喜次→金平	
20-20-3-3	覚(池田刑部様催合講辰年落札銀辰巳年元利受取)	未年正月6日	横切紙	1通	大黒屋文介→大橋良介	
20-20-3-4	覚(池田隼人様御講大庄屋引受株巳年出銀引渡分内訳)	未年正月	横継紙	1通	大黒屋文介→大橋良介	
20-20-3-5	[東大橋宛甚介書状]	未年正月25日	横継紙	1通	隼人様御講銀指上げの添状	(上書)「東大橋様 甚介 口上書金子相添」
20-20-3-6	覚(池田隼人様御講大庄屋引受株辰年分元掛銀利足受取)	未年正月25日	横継紙	1通	大黒屋文介→東大橋	(上書)「東大橋様 甚介 受取書」
20-20-3-7	[大橋良介宛書状]			1包(2通)		20-20-3-7-1~2一包(包紙上書)「倉敷二而 大橋良介様 谷嘉伝太 吉田亀之進」
20-20-3-7-1	[大橋良介宛吉田亀之進・須々木定之丞・谷嘉伝太書状]	未年詳12月6日	横継紙	1通	備中大庄屋請催合講の開札が行われ、東大橋が得番となったことを知らせる	
20-20-3-7-2	覚(渡銀勘定書付)	年月日未詳	横切紙	1通		
20-20-3-8	[大橋良介宛大黒屋文介書状]			1包(2通)		20-20-3-8-1~2一包(包紙上書)「大橋良介様 口口より文介 内用拝答」
20-20-3-8-1	覚(手取銀書付)	巳年12月	横切紙	1通	中嶋屋良介→(宛名なし)	
20-20-3-8-2	[大橋良介宛大黒屋文介書状]	未年詳12月6日	横継紙	1通(2枚)	講の入札の開札について 追啓として「菓子御恵投」の礼状あり	
20-21	[札場相庭など]			1括り(6通)		20-21-1~6紙綴りで一括り 紙綴りで括られていたが切れたのでSI Lティッシュで包む
20-21-1	札相場扣え	未年詳6月21日	横切紙	1通	帯江札、早島札、庭瀬札など	
20-21-2	[鶴新田古地掛銀・弘化開掛銀書付]	年月日未詳	横切紙	1通		
20-21-3	[板敷・丸山の土地分割書付ひかへ]	酉年■月5日	横切紙	1通		
20-21-4	札場相庭	未年詳10月8日	横切紙	1通	帯江札、庭瀬札などの相場書付	
20-21-5	[金計算]	年月日未詳	横切紙	1通		
20-21-6	当丑月番	年月日未詳	横継紙	1通	正月~六月まで月番氏名書付	
20-22	[受取証書類]			1括り(6通)		20-22-1~6帯封で一括してある(帯封上書)「天保七申暮 注文並二下札入」(帯封裏書)「やかけ」
20-22-1	覚(講利銀受取)	申年12月25日	横切紙	1通	山名良伯→片山栄吉	
20-22-2	覚(送り状人足貸受取)	申年12月	横切紙	1通	小林屋庄兵衛→片山	
20-22-3	覚(御蔵米四拾六俵代銀差引き過銀送状)	未年詳6月25日	横切紙	1通	いわしや喜兵衛→仁井屋	
20-22-4	天保七年極月 御物成下札	天保7年12月	横切紙	1通	庄屋石井次良右衛門 畑高三斗七升四合 道碩	
20-22-5	覚(申暮講銀一口分受取)	天保7年12月21日	横切紙	1通	仁井屋栄蔵→片山	
20-22-6	覚(金銭差引勘定書)	未年詳12月26日	横継紙	1通	斎木→仁井	
20-23	[金銭差引勘定書類]			1袋(仮1冊1括り)		20-23-1~2一袋 袋の上を紙綴りで括ってある(袋上書)「天保十亥年 矢掛新宅注文入」
20-23-1	矢掛新宅差引	天保10年12月	美・横長	仮1冊	片山本家分 両寺年玉・妹尾屋香料・取替など金銭差引算用書	
20-23-2	[金銭差引勘定書類]			1括り(1冊5通)		20-23-2-1~6紙綴りで一括してある
20-23-2-1	天保十己亥年 盆後ヨリ 雑費備忘録 酔月送隠	天保10年7月~12月	半・横半折	1冊	本家にて小遣借用扣など	
20-23-2-2	天保十年亥極月 御物成下札	天保10年12月	横切紙	1通	庄屋石井治郎右衛門 畑高三斗七升四合 道碩	
20-23-2-3	覚(金銭差引勘定書)	亥年12月21日	横切紙	1通		
20-23-2-4	覚(金銭差引勘定書)	亥年	横切紙	1通	斎木→仁井屋 去戌ノ年分差引	
20-23-2-5	覚(金銭書付)	亥年9月26日	横切紙	1通	銀6匁8分 道碩	
20-23-2-6	覚(斎木家賃送り状)	未年詳12月28日	横切紙	1通	栄蔵→片山	

20-24	[書拔]			1包(2通)		20-24-1~2が包紙で包まれている (包紙上書)「書拔」
20-24-1	覚(加地子算用書)	亥年10月	横継紙	1通	興除新田中疇村	
20-24-2	[福田沖地所望之人名書上]	年月日未詳	横切紙	1通	与井村登山屋健次、同所小角屋築瀬村慶太郎	
20-25	[矢掛新宅関係書類]			1袋(2通1纏め)		20-25-1~3一袋 (袋上書)「天保八年酉 矢掛新宅 小付ケ入 外二下札入」
20-25-1	[覚]			1纏め(2通)		20-25-1-2で20-25-1-1を包んで一纏め
20-25-1-1	覚(銀添状)	年未詳11月15日	横切紙	1通	町庄屋→(宛名なし)	
20-25-1-2	覚(銀受取)	年未詳7月10日	横切紙	1通	仁井屋栄蔵→片山	
20-25-2	天保八酉年極月 御物成下札	天保8年12月	横継紙	1通	庄屋石井次郎右衛門 畑高三斗七升四合 道碩	
20-25-3	覚(講銀受取)	酉年12月27日	横継紙	1通	山名良伯→片山栄吉	
20-26	覚(代銀清算書)	申年2月29日及び3月2日	横継紙	1通	仁井屋栄蔵→片山分が2枚 栄屋熊蔵→片山が1枚	「覚」3枚が貼り継がれている 帯封あり(帯封上書)「天保七申二月小払一切書出し」
20-27	[大橋金平宛小寺深蔵口上書]	年未詳11月8日	横継紙	1通	涼台春方散財の始末について	(上書)「大橋金平様 小寺深蔵 口上書」
20-28	[大橋喜久太・同金平宛片山栄吉・同喜右衛門書状]	年未詳11月11日	横継紙	1通	涼臺參上大ニ厄介「困り入申候」こと	
20-29	[大橋金平宛赤石退蔵書状]	年未詳11月8日	横継紙	1通	涼台子一件について御内密仰せ下され驚入り候こと	
20-30	[覚一括]			1括り(6通)		20-30-1~6帯封で一括り (帯封上書)「天保七申ノ七月作事入用付ケ」(帯封裏書)「やかけ」
20-30-1	覚(釘・瓦釘代銀書付)	申年7月	横切紙	1通	坂本茂平→片山	
20-30-2	覚(釘板代銀書付)	申年7月	横切紙	1通	尾谷屋茂八→片山	
20-30-3	覚(なわ代銀書付)	申年7月	横切紙	1通	熊平→片山	
20-30-4	覚(桧木代銀書付)	申年7月	横切紙	1通	宮しま屋又右衛門→仁井屋栄蔵	
20-30-5	覚(かぎ代銀受取)	申年7月	横切紙	1通	備せん屋幸八→片山	
20-30-6	覚(大工細工料・土代銀書付)	年未詳7月12日	横継紙	1通	栄蔵→片山	
20-31	[御催合講関係証文・書状]			1括り(1包3通)		20-31-1~4紙紐で一括り
20-31-1	御催合講落札十ヶ年之間差入申証文之事	嘉永5年12月	縦継紙	1通	落札新札請取の証文 窪屋郡倉敷村忠二郎 浅口郡西阿知村彦左衛門 同西原村多喜介 証人水江村義太郎	他の講証文の包紙が巻かれている (奥書)大庄屋西原村 守屋友太郎
20-31-2	催合講落札証文之事	嘉永5年12月	縦継紙	1通	落札銀請取 落札主倉敷村中島屋金平・証人親類徳蔵→講主中島村館太郎・引受治郎右衛門・世話方左一郎・幸五郎	(端裏書)「慶応四辰八月晦日消印除倉子城金平分」
20-31-3	催合講落札証文之事	嘉永5年12月	横継紙	1通	銀貳拾七貫八百六拾四匁五分 落札主倉敷村中島屋金平	(端裏書)「慶応四辰八月晦日消印除倉子城金平分」
20-31-4	[御催合講関係証文・書状]			1包(3通)		20-31-4-1~3が包紙で包まれていた 包紙は大橋秀太郎宛吉田亀之進書状の包紙を転用
20-31-4-1	[秀太郎宛亀之進書状]	年未詳12月17日	横切紙	1通	昨年滞講になった催合講の証文武通返進のこと	(上書)「秀太郎様 亀之進」
20-31-4-2	御催合講落札証文之事	安政3年11月	縦継紙	1通	落札主倉敷村大橋源介・証人親類忠之丞・世話人益右衛門→池田形部様御講掛り霜山徳左衛門・須々木定之丞・吉田亀之進	包紙あり(包紙上書)「質地証文書通」(奥書)中疇名主勝左衛門
20-31-4-3	小作証文之事	安政3年11月	縦継紙	1通	大橋源介・親類忠之丞→池田形部様御講掛り霜山徳左衛門・須々木定之丞・吉田亀之進	包紙あり(包紙上書)「小作証文書通」
20-32	[酒津村三宅染次講議定書并通]			1袋(1袋仮1冊2纏め)		20-32-1~4一袋 (袋上書)「明治十一年一月 酒津村三宅染次講議定書并通入」
20-32-1	議定	明治11年1月23日	半・縦	仮1冊	講の議定書 講主引受金預三宅染次・三宅弥平太・引受周旋梶谷八藤太・原田広四郎・和田行蔵	罫紙
20-32-2	頼母志講議定	年月日未詳	半・縦	1纏め(2丁)	講主三宅染次・引受金預り三宅弥平太・引受世話人梶谷八藤太・原田広四郎・和田行蔵	
20-32-3	[講金通]			1袋(仮1冊1通)		20-32-3-1~2一袋 (袋上書)「明治十一年 講金通袋 三宅染次大橋秀太郎殿」
20-32-3-1	講金受取通	明治11年1月28日	美・横長	仮1冊	講主三宅染次・引受金預り三宅弥平太・引受周旋人梶谷八藤太・原田広四郎・和田行蔵→大橋秀太郎	
20-32-3-2	[大橋宅広四郎書状]	年未詳1月30日	横継紙	1通	三宅染次講会依頼の件	
20-32-4	[三宅染次・梶谷八藤太書状]	年月日未詳	横切紙	1通	三宅染次講会の会席案内	
20-32-5	[白紙]	年月日未詳		1纏め(3丁)		「第十五大区窪屋郡」の罫紙
20-33	[荒尾猪左衛門講関係書類]			1袋(1冊2通)		20-33-1~3一袋 (袋上書)「嘉永四辛亥年五月 岡山家中荒尾猪左衛門講帳入」
20-33-1	頼母志講議定帳	嘉永4年5月	半・縦	1冊	荒尾猪左衛門→各位	
20-33-2	[亥年講金勘定控]	年月日未詳	横継紙	1通		
20-33-3	覚(金平手取銀ひかへ)	子年10月	横切紙	1通		
20-34	[戸川様仕法講関係書類]			1袋(仮1冊6通1纏め)		20-34-1~8一袋 (袋上書)「明治五申年ヨリ戸川様仕法講議定書并受取入」
20-34-1	永春講仕法書	明治4年11月	半・横長	仮1冊	講取村役人中→(宛名なし)	
20-34-2	[永春講銀受取覚]	年月日未詳	横継紙	1通	帯高村寅之助→東大橋秀太郎	
20-34-3	[永春講銀受取覚]	年未詳1月21日	横切紙	1通	帯高村虎之助→東大橋源蔵	
20-34-4	[永春講銀受取覚]	酉年8月19日	横継紙	1通	帯高村虎之助→東大橋源蔵	
20-34-5	[永春講銀受取覚]	申年11月16日	横継紙	1通	帯高村虎之助→東大橋源蔵	
20-34-6	覚(永春講銀受取)	申年3月2日	横切紙	1通	帯高村寅兵衛・重三郎→大橋源蔵	
20-34-7	[永春講銀受取覚]	申年6月24日	横切紙	1通	帯高村虎之助→大橋源蔵	

20-34-8	[番号札]	年月日未詳		1纏め(6枚)		「永春社記」の印あり
20-35	[証文及び証文案文]			1括り(6通)		20-35-1～6紙紐で一括り
20-35-1	[人別口数書付]	年月日未詳	縦紙	1通		
20-35-2	催合講仮議定之事	嘉永3年12月	縦紙	1通	扇山徳左衛門・岩城十右衛門→(宛名なし)	
20-35-3	拝借証文之事	嘉永3年7月	縦継紙	1通	金巻千両の拝借証文 三宅定太郎・三宅基蔵他15人→西之浦役所	
20-35-4	[三宅定太郎・小野小十郎・大橋金平宛瀧右衛門口上]	年未詳11月5日	横継紙	1通	拝借証文調印依頼	
20-35-5	[催合講質入借用証文之事案文]	年月日未詳	横継紙	1通	本人・親類・証人→岡田御勘定役所	
20-35-6	[質地証文之事案文]	嘉永4年12月	横継紙	1通	質地主・証人→庭瀬御講掛り	
20-36	[三宅又二催合講関係書類]			1袋(1袋1冊3通仮1冊)		20-36-1～6一袋(袋上書)「明治九年亥企 三宅又二催合講義定書請通入」
20-36-1	記(三宅孝蔵催合講明治廿二年第拾五会月刳金請取)	明治22年12月1日	横切紙	1通	大橋長蔵→大橋寿	
20-36-2	仮受取(亡三宅又二催合講前取刳金明治貳拾叁年分請取)	明治21年11月28日	横切紙	1通	大橋長蔵→亡大橋秀太郎	
20-36-3	仮受取(三宅又二催合講当十三会目刳金請取)	明治20年12月30日	横切紙	1通	大橋長蔵→大橋秀太郎	
20-36-4	[名越為吉宛大橋長蔵書状]			1袋(2通)		20-36-4-1～2一袋(封筒上書)「名越為吉様 大橋長蔵」
20-36-4-1	[大橋長蔵宛名越為吉返書扣]	年未詳12月30日	横継紙	1通	亡三宅又二催合講前取刳金について 大橋寿代理名越為吉→大橋長蔵	
20-36-4-2	[名越為吉宛大橋長蔵書状]	年未詳12月29日	横切紙	1通	亡三宅又二催合講前取刳金について	
20-36-5	初会	年月日未詳	半・縦	仮1冊	講金勘定書 初会落札内藤清蔵	罫紙
20-36-6	催合講趣法議定書	年月日未詳	半・縦	1冊		
20-37	[能州輪島米屋文五郎塗物仕法講議定書并受取通]			1袋(1冊仮1冊)		20-37-1～2一袋(袋上書)「能州輪島米屋文五郎塗物仕法講議定書并受取通在裡 満講濟」
20-37-1	明治 塗物仕法講帳 能登輪島米屋文五郎	明治	半・縦	1冊		
20-37-2	明治七年 御通 東大橋様	明治7年	美・横長	仮1冊		
20-38	[切手受取一括]			1袋(25通)		20-38-1～25一袋(袋上書)「天保七申年切手受取類入 矢掛新宅」
20-38-1	覚(酒代銀受取)	申年2月25日	横継紙	1通	佐渡屋→片山	
20-38-2	覚(みそ代銀受取)	年月日未詳	横切紙	1通	宮まや→片山	
20-38-3	覚(とうふ代銀受取)	申年2月	横切紙	1通	牛屋次兵衛→片山	
20-38-4	覚(晒木綿代銀受取)	申年2月	横切紙	1通	米屋吉兵衛→中町片山	
20-38-5	覚(酒代銀請取)	年未詳2月26日	横切紙	1通	灰屋→片山	
20-38-6	覚(白さとう・れんこん・長いも・ゆり根他代銀受取)	年未詳2月17日	横継紙	1通	周吉→片山	
20-38-7	覚(上酒・にしめ他代銀請取)	年未詳2月17日	横切紙	1通	村江(力)屋又兵衛→片山	
20-38-8	覚(酒代銀受取)	年未詳3月2日	横切紙	1通	中西酒場→片山	
20-38-9	覚(あけ・とうふ代銀受取)	申年2月17日	横切紙	1通	林屋庄兵衛→片山	
20-38-10	覚(厄丁・ひん付代他代銀受取)	申年2月17日	横切紙	1通	坂本屋→片山	
20-38-11	覚(杉原紙・半紙他代銀受取)	申年2月17日	横切紙	1通	きの屋次郎→片山	
20-38-12	覚(絹他代銀受取)	年未詳2月17日	横切紙	1通	三成屋平兵衛→片山	
20-38-13	覚(樋口代銀受取)	年未詳2月17日	横継紙	1通	松田屋→片山	
20-38-14	覚(白砂・玉砂代銀請取)	年未詳2月17日	横継紙	1通	源屋半十郎→片山	
20-38-15	覚(かんひやう・水油・にんしん他代銀請取)	申年2月	横継紙	1通	ひらた屋武介→片山	
20-38-16	覚(油代銀請取)	申年2月	横切紙	1通	今屋富右衛門→片山	
20-38-17	覚(ろうそく代銀受取)	申年3月	横切紙	1通	彦兵衛→片山	
20-38-18	覚(醤油代銀受取)	年未詳2月29日	横切紙	1通	いわし屋喜兵衛→片山	
20-38-19	覚(たこ代銀受取)	申年2月29日	横切紙	1通	うを屋俊太郎→片山	
20-38-20	覚(こんやく代銀受取)	年未詳2月29日	横切紙	1通	ふじや文吉→片山	
20-38-21	覚(すみ・そうり・なわ代銀受取)	申年2月17日	横切紙	1通	堀本屋熊兵衛→片山	
20-38-22	覚(口米代銀受取)	申年2月19日	横切紙	1通	元屋→栄吉	
20-38-23	[菜種品々預り証文]	年月日未詳	横継紙	1通	矢掛町千房や・証人仁井や栄蔵→涼台・引受人片山栄吉	
20-38-24	賃銀書出し	申年2月29日	横継紙	1通	藤吉・栄吉・勤兵衛他四人分の賃銀受取 仁井屋栄蔵→(宛名なし)	
20-38-25	覚(茶羽織地代銀受取)	申年2月17日	横継紙	1通	長門屋喜平二→片山	
20-39	[手形・覚・差引類]			1括り(1括り13通1纏め)		20-39-1～15紙紐で一括り
20-39-1	借用申銀子之事	文政13年11月1日	縦切紙	1通	銀七百目の借用 中村庄屋仲右衛門→片山道碩 銀壹貫目の借用 借用主中村庄屋仲右衛門・片山道碩→仁井屋栄蔵	包紙あり(包紙上書)「手形 壹通」
20-39-2	借用申銀子之事	文政13年12月	縦継紙	1通		包紙あり(包紙上書)「東新宅手形壹通」
20-39-3	[中西八十七他4名宛片山道碩廻状]	年月未詳臨日	横切紙	1通	九ツ時一寸御来駕を希う	
20-39-4	覚(銀子清算内訳書)	未年12月28日	横継紙	1通	金屋島右衛門→片山涼台	
20-39-5	覚(蔵米内訳)	年月日未詳	横継紙	1通	中村→中新宅	
20-39-6	覚(蔵米内訳)	年月未詳30日	横継紙	1通	仲右衛門→伯父	
20-39-7	覚(預り銀札算用書)	未年12月27日	横継紙	1通	中西→片山	

20-39-8	[片山主人宛仲右衛門書状]	年未詳8月7日	横継紙	1通	銀子を使い渡しに渡してもらえれば証文を差上げるので然るべく取計らってほしい 昨日大切な腰のものを返上したので落手してほしい	袋あり(袋上書)「片山御主人様 仲右衛門 内要用書」
20-39-9	中村差引	年月日未詳	横継紙	1通	寅極月、卯七月十三日、卯十二月四日、辰七月十三日の取替	
20-39-10	覚(辰・午の預り銀算用書)	乙未年12月	横継紙	1通	片山本家→矢掛新宅	
20-39-11	[借用申銀子之事]			1括り(3通)		20-39-11-1~3紙紐で一括り 紙紐が切れている為SILティッシュで括る
20-39-11-1	借用申銀子之事	天保5年12月	堅切紙	1通	銀札四百三拾目の借用証文 証人仁井屋栄蔵・借用主片山道碩→三村良太郎	紙背に「三村やより差引付写し」の書付あり
20-39-11-2	[涼台宛三村や書状]	年未詳12月20日	横切紙	1通	帳尻の細字書入は十二月の所へ相当すること	
20-39-11-3	[片山宛三村や書状]	年未詳12月18日	横切紙	1通	帳面訂正の件	
20-39-12	覚(未暮矢掛新宅金子差引)	乙未年	横継紙	1通	片山本家→矢掛新宅	
20-39-13	[去年上の山伐払木代差引]	年未詳12月	横切紙	1通	本家→町 中新宅	
20-39-14	覚(米代中村廻り之分 中新宅まで差引)	乙未年12月	横継紙	1通	本家→中新宅	
20-39-15	[金銭差引勘定覚書]			1纏め(2通)		20-39-15-1・20-39-15-2が重ねて折り畳んであった
20-39-15-1	覚(通用銀返金受取書)	未年12月21日	横切紙	1通	笠原茂一→片山涼台 池田へ返金分受取	
20-39-15-2	覚(金銭差引勘定書)	未年12月21日	横切紙	1通	茂一→片山	
20-40	覚(松江・中畝田畑石高書上)	辰年7月	美・横長	仮1冊	大黒屋文介→東大橋	
20-41	鶴新田引地并築立普請入用元利控	年月日未詳	美・横長	仮1冊		
20-42	[大橋源介宛大橋徳蔵書状]	年未詳12月5日	横継紙	1通	出産とのことを紋吉から聞いたが後便で委細、様子を聞かせてほしい	包紙あり(包紙上書)「備中倉敷大橋源介様 摩島塾 大橋徳蔵 急要用無事」(包紙裏書)「從京都釜座夷川上ル処 十二月六日出 十二月十八日着」
20-43	[大橋宛徳蔵書状]	年未詳12月21日	横継紙	1通	差向けてもらった金七両「難有落手」のこと 袴・踏皮落手のこと 自作文章披露のこと	(端裏書)「詩作在中 亥二月四日着」
20-44	[大橋金平宛大橋徳蔵書状]	年未詳正月22日	横継紙	1通	年甫の書状に対する礼状	封筒あり(封筒上書)「大橋金平様 大橋徳蔵 無事」(封筒裏書)「自京師」
20-45	[大橋源介宛大橋徳蔵書状]	年未詳12月1日	横継紙	1通	大坂備前屋治兵衛方へ差出書状についての問い合わせに対する返答催促	包紙あり(包紙上書)「備中倉敷阿知町 大橋源介様 大橋徳蔵 急要用平安」(包紙裏書)「十二月二日發 從津東町」(端裏書)「十二月十七日着」
20-46	[大橋良介宛片山義太郎書状]	年未詳2月17日	横継紙	1通	結納の打ち合わせ	
20-47	[某書状]	年未詳正月19日	横継紙	1通	類助親類書差上げのこと	
20-48	因果経和讃	年月日未詳	折本	1冊	遍照院三十三世仁井谷高恭	活字本
20-49	[備前屋治兵衛宛大橋徳蔵書状]	年未詳5月1日	横継紙	1通	金子入書状持参につき六両受取のこと	
20-50	[備前屋治兵衛宛大橋徳蔵書状]	年未詳5月2日	横継紙	1通	京師よりの飛脚持参の金子入り書状のうけとり報知	
20-51	[寸法書]	年月日未詳	横切紙	1通		
20-52	覚(人別借金差引算用書)	年月日未詳	横継紙	1通	文介→(宛名なし)	前半部欠損
20-53	御茶名記	年月日未詳	横切紙	1通	薄巻・はつ桜・喜撰・一森・若葉・山吹・内折・舞鶴・玉蘭・花筏・折鷹	
20-54	[包紙]	年未詳正月5日		1枚		包紙のみ(包紙上書)「備中倉敷阿知町大橋源介様 大橋徳蔵 急要用無事」(包紙裏書)「正月五日出 從京都釜座夷川 上ル處摩島塾中 賃銭相済」
20-55	[覚書類]			1括り(1纏め10通)		20-55-1~11紙綴りで一括り 紐が切れている為SILティッシュで包む
20-55-1	[墓石図・寸法]			1纏め(1通1枚)		20-55-1~2一纏め
20-55-1-1	[墓石寸法]	年月日未詳	横継紙	1通	今般拵候分の墓石の寸法	
20-55-1-2	[墓石計測図]	年月日未詳	横切紙	1枚		
20-55-2	覚(銀札書上)	年月日未詳	横継紙	1通	人別不足分入銀の残り銀札書上げ	虫損甚しく展開不能
20-55-3	[年貢通]	年月日未詳	横継紙	1通		
20-55-4	[東大橋宛多助口上]	年未詳12月4日	横継紙	1通	大神宮への代参料・磨料・御初穂、合計銀8匁7分を指出すので取計を願う	(上書)「東大橋様 店多助」
20-55-5	[覚]	卯年5月	横継紙	1通	丑寅年分利銀・貸付銀の書付 益右衛門→大橋	
20-55-6	覚(貸金についての覚書)	卯年	横切紙	1通		虫損により後半部展開せず
20-55-7	覚(見取米代銀書上)	安政2年6月	横継紙	1通	小作人西原村三郎右衛門の見取米代銀の書上 西原名主俊三郎へ願出た書付の控 倉敷大橋亀次郎→(宛名なし)	
20-55-8	[福田新開普請入用井小入用書上]	年月日未詳	横継紙	1通		
20-55-9	誠書	嘉永7年10月21日	縦継紙	1通	3ヶ条の誠書 大橋亀次郎→(宛名なし) ・びくびくして取込むようなことをしてはならない ・先祖からの家産を減少させてはならない ・彼は彼、我は我、人の意見に流されてはいけぬ	包紙あり(包紙上書)「一札」
20-55-10	覚(人別不足分銀札書上)	年月日未詳	横継紙	1通	丑から辰年までの年分不足銀札の書上	
20-55-11	[去年見取米大残り分人別書上]	未年	横継紙	1通		
20-56	[大橋源介宛大橋徳蔵書状]			1包(5通)		20-56-1~5が包紙に包まれている (包紙上書)「備中倉敷阿知町 大橋源介様 急要用無事 大橋徳蔵」(包紙裏書)「七月二十一日 發 自京師下河原鷺尾町仁科塾」
20-56-1	[徳蔵追啓]	年未詳7月20日	堅切紙	1通	関東への望みはなく一両年は京都にて修行のつもり	



20-56-2	[大橋尊大人宛徳蔵書状]	年未詳7月20日	竪紙	1通	摩島への香典、飯料、仁科へ謝儀代、制度通、李北海法帖代金などの支払い報告	
20-56-3	[書状]	年月未詳21日	竪切紙	1通	返書は東洞院錦上ル綱島へ指向けてほしい	
20-56-4	[大橋源介宛紀島東輔書状]	年未詳正月25日	横切紙	1通	ひじりめん袖なしひとへ御越し下されし	(上書)「大橋源介様 紀島東輔」(端裏書)「亥二月四日届」
20-56-5	[大橋尊大人・喜久太・金平宛徳蔵書状]	年未詳7月20日	横継紙	1通	京都での修行の様子およびぞうり・袴・木綿綿入・羽織など送付の依頼など	(端裏書)「亥七月廿九日着」
20-57	[大橋源介宛大橋徳蔵書状]	年未詳6月9日	竪紙	1通(3枚)	跡入塾の吟味をし、よき先生の心当がないか仁科に相談したところ仁科から自分のところへ5、60日入塾するよう勧められたこと	包紙あり(包紙上書)「大橋源介様 大橋徳蔵 要事平安」
20-58	[大橋源介・大橋金平宛備前屋治兵書状]	年未詳5月7日	横継紙	1通	伊勢行き金6両が届いていないことを謝っている	(端裏書)「備治書状 子五月十四日着」
20-59	[大橋源介宛大橋徳蔵書状]	年未詳6月8日	横継紙	1通	松南先生死去二付き鈴木先生へ入塾願いの事	包紙あり(包紙上書)「備中倉敷大橋源介様 摩島塾大橋徳蔵 要用無事 六月八日」
20-60	[大橋徳蔵宛大橋源介書状]	年未詳9月22日	横継紙	1通	猪飼先生の帰京後の予定を尋ねる 本家より瀧屋与兵衛へ掛る一条について忠八井太助両人上京に付き都合よく済む様に祈る	包紙あり(包紙上書)「仁科先生御塾中 大橋徳蔵様 全源介 要用無異」(包紙裏書)「九月廿二日発」
20-61	覚(元利金書付)	戊午年10月	横切紙	1通	西原恵介、西原政右衛門、油屋民介分	
20-62	覚(文介より奥書依頼の地所反別書上)	安政6年8月	横継紙	1通(2枚)	倉敷村中島屋源介→松江名主塩生村栄之介・同味野村武三郎	書上の地所については「少々訳柄も御座候地所」である旨の書付が巻き込まれている
20-63	覚(文介より奥書依頼の地所反別書上)	安政6年8月	横切紙	1通	倉敷村中島屋源介→松江名主塩生村栄之介・同味野村武三郎	墨線で抹消されている
20-64	[金平宛豊介書状]	年未詳10月■日	横切紙	1通	宝寿をちょっと借りたいので、この者へ渡してほしい	
20-65	覚(反別書上)	年月日未詳	横継紙	1通	一の割壺番壺町式反他13筆	
20-66	[銀勘定書覚]			1纏め(2通)		20-66-1~2まで重ねて折られている
20-66-1	覚(銀勘定書)	年月日未詳	横継紙	1通		
20-66-2	覚(元利勘定書ひかへ)	戊午10年	横切紙	1通		
20-67	太田伝右衛門口伝書	辰年6月	美・横半折	1冊	松他、庭木の手入れなどについて	綴り紐が切れている為SILティッシュで包む
20-68	高野山奥院 杜鵑落文	年月日未詳		1包		中に紐あり
20-69	[名越為吉宛高橋駟書状]			1括り(3通1袋)		20-69-1~4紙紐で一括り
20-69-1	[名越宛高橋駟書状]	年未詳12月3日	横継紙	1通	暫時借用のこと	封筒あり(封筒上書)「名越様 高橋駟 拝答」
20-69-2	[名越為吉宛高橋駟書状]	年未詳12月2日	横継紙	1通	八日迄に金貳拾円返納のこと	封筒あり(封筒上書)「名越為吉様 御密披ヲ乞フ 高橋駟」
20-69-3	[名越為吉宛高橋駟書状]	年未詳9月2日	横継紙	1通	返納猶予の願い	封筒あり(封筒上書)「名越為吉様 御親展 高橋駟」
20-69-4	[名越為吉宛高橋駟書状]	明治25年8月27日		1袋(2通)		20-69-4-1~2一袋 封筒あり(封筒上書)「名越為吉様 高橋駟」
20-69-4-1	[名越為吉宛高橋駟書状]	明治25年8月27日	横切紙	1通	残金貳拾円返金のこと	
20-69-4-2	記(受取証)	明治25年8月27日	横切紙	1通	廿四年四月一日取かへの金三拾円の清算書 名越為吉→高橋	
20-70	[大橋金平宛大橋徳蔵書状]	年未詳11月29日	横切紙	1通	大橋金平兄上へ手紙不用の事	(封筒表書)「大橋金平様 無事 大橋徳蔵」(封筒裏書)「自京師」
20-71	[大橋金平宛大橋徳蔵書状]	年未詳正月25日	横継紙	1通	父上的一件、旧冬落着の由にて祝い 本家老人大病であったが年明に京都へ発足とのことで大安心したこと 京都へ御人差出しのこと	包紙あり(包紙上書)「備中倉敷阿知町大橋金平様 急要用 摩島塾中 大橋徳蔵」(包紙裏書)「京都東洞院四条上ル處 正月廿五日 認換」包紙破損の為SILティッシュで包む
20-72	麦安書入之事	年月日未詳	竪紙	1通	御年貢指支に付き書入のこと	虫損のため展開不能
20-73	主方(漢方薬処方)	年未詳6月10日	横継紙	1通	京都竹中氏の処方	
20-74	覚(地代金書付)	安政2年12月	横切紙	1通	福田新田仁右衛門聞きの内三町歩の地代金 某→半十郎	
20-75	[畑高反別書上類]			1括り(3通)		20-75-1~3紙縫りで一括り
20-75-1	覚(銀高書付)	年月日未詳	横切紙	1通	一七百五十目他8筆	
20-75-2	覚(田畑高反別勘定書上)	年月日未詳	横継紙	1通		
20-75-3	覚(米高差引勘定)	年月日未詳	横継紙	1通		虫損のため展開不能
20-76	油取事	年月日未詳	横切紙	1通	油取りの方法 江戸町村の薬屋伝	
20-77	覚(取替金差引不足分清算書付)	嘉永元年11月12日	横継紙	1通	倉敷中島屋→鶴新田周平	
20-78	[大橋尊大人・同兄上宛大橋徳蔵書状]			1包(3通)		20-78-1~3一包 (包紙上書)「大橋尊大人様 大橋兄上様 貴下 大橋徳蔵 拜」(包紙裏書)「自京師 亥正月五日 出 同十三日着」大橋喜久太宛大橋徳蔵書状の包紙を転用
20-78-1	[大橋尊大人・大橋兄上宛大橋徳蔵書状]	年未詳正月3日	横切紙	1通	綱島氏への見舞として菓子折を贈ったことを知らせる 旧冬以来多分の入用の上に今度五両廿貫を送ってもらったことの礼他	書き出しに「三日二白」の書付あり
20-78-2	[徳蔵書状]	年月未詳5日	横継紙	1通	昨年散財したので今年は慎みますということを述べている	書き出しに「追啓」の書付あり
20-78-3	[大橋尊大人・同兄上宛大橋徳蔵書状]	年未詳正月2日	横折紙	1通	正月の挨拶と「宿嵐山」という自分の詩が白谷先生の詩集に入ることになったことを知らせる	
20-79	[雅楽楽譜]	年月日未詳	折本	1冊	越天楽 想夫恋	
20-80	[大橋尊大人宛大橋徳蔵書状]	年未詳8月1日	竪紙	1通(3枚)	学業についての相談「老衰之体ニ見候得者何時ニ而帰国」するので今年か二年かはこちらで修行したいとの希望を伝える	
20-81	[小作米両年分請負銀請取通]			1括り(2通1纏め)		20-81-1~3紙紐で一括り
20-81-1	小作米両年分請負銀請取通	嘉永4年	横折紙	1通	倉敷中嶋屋→西原村利七・西阿知村伝次郎・迫川村俊吉	

20-81-2	小作米両年分請負銀請取通	嘉永4年	横折紙	1通	倉敷中嶋屋→西原村利七・西阿知村伝次郎・迫川村源四郎	
20-81-3	小作米両年分請負銀請取通	嘉永4年	横折紙	1纏め(44枚)		同じ年の通帳44枚が綴じずに束ねた状態
20-82	[村方立替銀小書付類]			1包(1包2通)		20-82-1~3一包(包紙上書)「天保十亥年 村方立替銀小書付」包紙は井上町中嶋屋宛の通帳の表紙を転用してある SILティッシュで包む
20-82-1	[小書付]	年月日未詳	横切紙	1纏め(7通)		小書付が7通あり展開不能
20-82-2	[麦手形入袋]	亥年		1枚		袋のみ
20-82-3	[書付]	年月日未詳	横切紙	1通		展開不能
20-83	[大橋源介宛大橋徳蔵書状]	年未詳9月22日	横継紙	1通(2枚)	姉の出産と忠之丞と命名されたこと・讃州直島の汐留が済んだことを祝う 帰省は先生の帰京が来三月にもなりそうなのでその節にならねば帰省することができないことなど	包紙あり(包紙上書)「備中倉敷阿知町大橋源介様 猪飼塾中大橋徳蔵 要用平安」(包紙裏書)「九月廿二日発 從勢州津東丁[ ]」「十月三日着」包紙虫損の為SILティッシュで包む
20-84	万覚	年月日未詳	半・横半折	1冊	漢方薬処方・村辻借用銀証文之事・質入申畑証文之事などの覚書	
20-85	[勘定状・借財関係書類]			1括り(2括り)		20-85-1~2紙綴りで一括り 外れた付紙(白紙)があった
20-85-1	[書状・借財関係書類]			1括り(1括り2纏め1袋)		20-85-1-1~4紙綴りで一括り 紙綴りに「寅十一月廿四日」と記した付紙がある
20-85-1-1	[雑費録]			1纏め(1冊1纏め)		20-85-1-1-1と20-85-1-1-2は重ねて折り畳んであった
20-85-1-1-1	天保十二年辛丑益後 雑費録	天保12年7月~12月	美・横半	1冊	どぶじた巻足、三匁五分など買物代金書付	(表紙裏書)「橋泉舎」
20-85-1-1-2	[雑費録]	(天保12力)年9月~11月		1纏め(3枚)	小遣、肴代など書付	重ねて折り畳んで20-85-1-1-1に挟み込まれていた
20-85-1-2	[書状・要用書]			1括り(14通)		20-85-1-2-1~14紙綴りで一括り 紙綴りは破損していたのでSILティッシュで結んだ 紙綴りはSILティッシュで包んだ
20-85-1-2-1	[片山栄吉宛小川権之進書状]	年未詳8月12日	横継紙	1通	涼台不行蹟改心につき姉も帰宅のことなどについて 仁井屋への謝礼につき問い合わせ 四五百目送金依頼などについて	封筒あり(封筒上書)「片山栄吉様 小川権之進」
20-85-1-2-2	[片山栄吉宛同涼台書状]	年月未詳24日	横継紙	1通	七八拾目の拝借を願う	(上書)「片山栄吉様 同涼台 尊下要用」
20-85-1-2-3	[片山栄吉宛同涼台書状]	年未詳10月6日	横切紙	1通	金壹両貳分の拝借を願う	(上書)「片山栄吉様 同涼台 要用書」
20-85-1-2-4	[片山栄吉宛同涼台書状]	年未詳11月11日	横切紙	1通		(上書)「片山栄吉様 同涼台 要用書」
20-85-1-2-5	[片山栄吉宛小川権之進書状]	年未詳12月24日	横継紙	1通	姉扶持米料落手のこと 当方病人の様子 預けておいた貳百目を両三日の内に拝借したいが今日壹兩程よこしてほしい	封筒あり(封筒上書)「片山栄吉様 小川権之進 貴報」(封筒裏書)「略封御用捨可被下候」
20-85-1-2-6	[片山栄吉宛同涼台書状]	年未詳12月14日	横継紙	1通	昨日頼んでいた銀子を使者の者に渡してほしい	(上書)「片山栄吉様 同涼台 尊下要用」
20-85-1-2-7	[片山栄吉宛同涼台書状]	年未詳12月21日	横切紙	1通	是非共四五百目の借用を明日か明後朝までに希う	(上書)「片山栄吉様 同涼台 要用書」
20-85-1-2-8	[片山栄吉宛同涼台書状]	年月未詳27日	横継紙	1通	節季入用多分に付き借金を願いたく御答を希う	(上書)「片山栄吉様 同涼台 御答」
20-85-1-2-9	[片山栄吉宛同涼台書状]	年月日未詳	横継紙	1通	「初而之節季大心痛」につき五百目の借用を願う	(上書)「片山栄吉様 同涼台 尊下要用」
20-85-1-2-10	[片山栄吉宛涼台書状]	年未詳12月大晦日	横継紙	1通	先達而の銀札百目は仁井屋より落手のこと 何角払出し多く困っている為外に又百目の拝借を願う	包紙あり(包紙上書)「片山栄吉様 同涼台 要用」
20-85-1-2-11	[片山栄吉宛片山涼台書状]	年未詳12月20日	横切紙	1通	雑費を記し「少々二而も」拝借を願う	(上書)「片山栄吉様 同涼台 要用 雑費附在中」
20-85-1-2-12	[片山栄吉宛同涼台書状]	年未詳12月15日	横継紙	1通	仁井屋栄蔵→片山 ゆたん・ふとん・脇さし・かたな・籠ふとん・かや	
20-85-1-2-13	覚(物品送付添状)	年未詳6月5日	横切紙	1通	仁井屋→片山 布の・帯・かや	
20-85-1-2-14	覚(物品送付添状)	年未詳7月11日	横切紙	1通		
20-85-1-3	[差引勘定書類]			1纏め(仮1冊1通)		20-85-1-3-1に20-85-3-2が挟み込まれていた
20-85-1-3-1	[差引勘定書上]	天保12年	美・横長	仮1冊	行部片山本家 矢掛新宅分差引勘定 小遣、家移り入用など	
20-85-1-3-2	覚(丑夏諸道具売払差引)	(天保12力)年	横切紙	1通	九百六拾五匁貳分 道具下直 辻	20-85-1-3-1に挟み込まれていた
20-85-1-4	[片山涼台借財関係書類]			1袋(3纏め2通1包)		20-85-1-4-1~6一袋(袋上書)「天保十二丑夏 矢掛新宅借財片付巻書類入」袋破損につきSILティッシュで包む
20-85-1-4-1	[借財高書上]			1纏め(2通)		20-85-1-4-1-1~2一袋 重ねて折り畳んであった(帯封上書)「天保十二丑七月 涼台より借財書出し之付ケ入」
20-85-1-4-1-1	覚(涼台借財書上)	年月日未詳	横折紙	1通	六百目 宮嵐屋 外31筆 凡四貫貳百六十八匁 一部棒引箇所あり	
20-85-1-4-1-2	質物覚	丑力年6月3日	横折紙	1通	涼台借財(子五月~丑閏正月)書上 凡壹貫百五十目相済	
20-85-1-4-2	覚(家移り前小作事入用一切他人別銀高書付)	辛丑年7月	横継紙	1通	片山本家→涼台	
20-85-1-4-3	[片山涼台借財関係書類]			1纏め(3纏め2通)		20-85-1-4-3-1~5帯封一纏め 帯封あり(帯封上書)「天保十二 涼台借財片付之節 仁井や二而払出し受取一切」
20-85-1-4-3-1	[仁井屋栄蔵宛又右衛門口上]	年未詳7月12日	横継紙	1通	片山一条について役介をかけた礼 元銀請取のこと 請取覚が貼り継がれている 宮之内又右衛門→仁井屋栄蔵	(上書)「仁井屋栄蔵様 貴下 宮之内又右衛門」
20-85-1-4-3-2	[銀札受取覚]			1纏め(14通)		20-85-1-4-3-2-1~14一纏め 雑多に重ねられていた
20-85-1-4-3-2-1	覚(菜種代銀請取)	丑年6月26日	横切紙	1通	平田屋喜兵衛→片山涼台	
20-85-1-4-3-2-2	覚(片山分銀受取書)	年未詳6月晦日	横切紙	1通	小田屋利兵衛→仁井屋栄蔵	
20-85-1-4-3-2-3	覚(良泰分金子請取)	丑年3月6日	横切紙	1通	矢掛北の内孫介・広蔵→奥山田村米屋善三郎	

20-85-1-4-3-2-4	覚(銀高書付)	子年12月	横切紙	1通	北の屋虎太郎→片山良泰	
20-85-1-4-3-2-5	覚(片山へ取替分銀札受取)	丑年6月27日	横切紙	1通	靴屋六郎右衛門→仁井屋栄蔵	
20-85-1-4-3-2-6	覚(銀受取)	丑年7月4日	横切紙	1通	尾崎村福嶋屋清助→世話人仁井屋栄蔵・売主片山涼台	
20-85-1-4-3-2-7	覚(片山分銀受取)	丑年7月11日	横切紙	1通	片山藤介→仁井屋	
20-85-1-4-3-2-8	覚(銀子請取)	丑年7月12日	横切紙	1通	赤松秀挂→片山涼台	
20-85-1-4-3-2-9	覚(取かへ銀受取)	丑年6月26日	横切紙	1通	嵯峨屋源蔵→片山良吉	
20-85-1-4-3-2-10	覚(取かへ銀受取)	丑年2月26日	横切紙	1通	山田屋恒蔵→片山良太	
20-85-1-4-3-2-11	覚(利銀支払書)	年月日未詳	横切紙	1通	山たや忠兵衛 閏正月十六日 七拾歩 此判六匁六分 七月十一日渡	
20-85-1-4-3-2-12	覚(銀受取)	丑年6月	横切紙	1通	小嶋→片山	
20-85-1-4-3-2-13	おぼへ(銀子受取)	年未詳7月4日	横切紙	1通	村田屋吟蔵→仁井屋永蔵	
20-85-1-4-3-2-14	覚(銀札受取)	丑年6月20日	縦切紙	1通	山形屋はく→仁井屋栄蔵 銀札九拾八匁	
20-85-1-4-3-3	[受取覚]			1纏め(2通)		20-85-1-4-3-3-1~2一纏め 20-85-1-4-3-3-1が20-85-1-4-3-3-2に挟み込まれていた
20-85-1-4-3-3-1	覚(銀子受取)	丑年7月	横切紙	1通	高まや浅吉→片山若旦那	
20-85-1-4-3-3-2	覚(銀札受取証)	丑年7月13日	横切紙	1通	三木や和谷→いくべ旦那	
20-85-1-4-3-4	[受取覚]			1纏め(4通)		20-85-1-4-3-4-1~4一纏め 20-85-1-4-3-4-1に20-85-1-4-3-3-2~4が挟み込まれていた
20-85-1-4-3-4-1	覚(銀受取)	丑年6月26日	横切紙	1通	平田屋武助→片山涼台	
20-85-1-4-3-4-2	覚(入用銀受取)	丑年7月27日	横切紙	1通	左平→仁井屋	
20-85-1-4-3-4-3	覚(薬代銀受取)	年未詳6月26日	横切紙	1通	千房屋忠兵衛→片山涼台	
20-85-1-4-3-4-4	覚(銀受取)	丑年6月26日	横切紙	1通	高国屋周吉→片山	
20-85-1-4-3-5	覚(反物代金請取証)	丑(天保12力)年7月	横切紙	1通	布屋善兵衛代判→片山涼台 九匁貳分四厘 嶋もめん 外6筆	
20-85-1-4-4	[借財片付関係書類]			1纏め(7通)		20-85-1-4-4-1~7帯封一纏め 20-85-1-4-4-1~4は重ねて折り畳んでありその中に20-85-1-4-4-5~7が挟まれていた 帯封あり(帯封上書)「天保十二 涼台借財片付之節賃通入」
20-85-1-4-4-1	[長門屋質通]	子年5月6日~丑年正月11日	横折紙	1通	新屋管助分	取消し書入あり
20-85-1-4-4-2	[長間屋質通]	天保11年11月16日	横折紙	1通	中村辰之助分	取消し書入あり
20-85-1-4-4-3	[長門屋質通]	子年12月16日	横折紙	1通	新屋当の助分	取消し書入あり
20-85-1-4-4-4	[長門屋質通]	天保12年正月24日(天保12力)年6月2日	横折紙	1通	新屋当の助分	取消し書入あり
20-85-1-4-4-5	[金銭高差引書付]		横切紙	1通	高巻貫百七十目五分貳厘	
20-85-1-4-4-6	覚(銀子受取証)	子(天保11力)年6月	横切紙	1通	百八拾四匁八分 夜食椀せん15人分	
20-85-1-4-4-7	覚(金銭元利書上)	子(天保11力)年9月	横切紙	1通	九十目 此利拾匁八分	
20-85-1-4-5	[借入金銭関係書類]			1纏め(11通)		20-85-1-4-5-1~11帯封で一纏め 帯封あり(帯封上書)「天保十二 丑年 涼台借財片付之節受取類并戻り証文入」 包紙あり(包紙上書)「手形書通」
20-85-1-4-5-1	借用申銀子手形之事	天保11年2月	縦紙	1通	借用主片山涼台→和泉屋弥三郎	
20-85-1-4-5-2	証(銀札預り)	年月日未詳	横切紙	1通	きく屋→仁井屋使	
20-85-1-4-5-3	覚(人別金銭高書上)	年月日未詳	横切紙	1通		
20-85-1-4-5-4	覚(金銭受取)	丑年6月26日	横継紙	1通	三吉→(宛名なし)	
20-85-1-4-5-5	覚(金銭受取)	丑年6月26日	横切紙	1通	留之丞→(宛名なし)	
20-85-1-4-5-6	覚(金銭受取)	丑年6月26日	横切紙	1通	品右衛門→(宛名なし)	
20-85-1-4-5-7	覚(金借用証文)	子年10月24日	横切紙	1通	借用主片山涼台→山下屋数兵衛	
20-85-1-4-5-8	覚(金銭受取)	丑年6月29日	横切紙	1通	辰吉→(宛名なし)	
20-85-1-4-5-9	覚(銀札受取)	丑年6月26日	横切紙	1通	森野数馬→片山涼台	

20-85-1-4-5-10	覚(金銭受取)	丑年6月29日	横切紙	1通	幾治郎→(宛名なし)	
20-85-1-4-5-11	借用申銀子手形之事	天保11年5月	縦紙	1通	借用主片山涼台→留三郎	包紙あり(包紙上書)「手形書通」
20-85-1-4-6	預り申銀子手形之事	天保12年3月	縦紙	1通	預主片山涼台→大里重吉	
20-85-2	[涼台勘定帳]			1括り(1冊1袋)		20-85-2-1~2紙綴りで一括り 紙綴りに「丑十一月 涼台勘定帳 栄吉より預」と書かれた付紙あり
20-85-2-1	天保十一庚子十二月 矢掛新宅差引	天保11年12月	美・横長	1冊	正月16日ヨリ12月の年間の差引記録	
20-85-2-2	[矢掛新宅注文受取]			1袋(仮1冊8通 1冊2纏め)		20-85-2-2-1~12一袋 (袋上書)「天保十一子年 矢掛新宅注文受取入」
20-85-2-2-1	薬種類御通	子年	半・横長	仮1冊	千房屋忠兵衛→片山涼台	袋あり(袋上書)「子のとし 千房屋忠兵衛 薬種類御通 行部片山涼台様」
20-85-2-2-2	天保十一庚子年 薬種沙糖御通 平田屋彦兵衛 片山涼台様	天保11年	美・横長	1冊		
20-85-2-2-3	覚(金銭勘定書)	丑年正月	横継紙	1通	仁井屋栄蔵→片山	
20-85-2-2-4	覚(入用他書上)	子年7月	横継紙	1通	ろふ番三度割合・家根入用銀 仁井屋栄蔵→片山涼台	
20-85-2-2-5	覚(銀受取)	年未詳10月5日	横切紙	1通	道碩→町庄屋	
20-85-2-2-6	[物成下札]			1纏め(2通)		20-85-2-2-6-1~2一纏め 20-85-2-2-6-2が20-85-2-2-6-1に巻き込まれている
20-85-2-2-6-1	天保十一子年極月 御物成下札 庄屋見習石井徳五郎	天保11年12月	横切紙	1通	道碩分物成下札	
20-85-2-2-6-2	覚(返却分金子内訳)	子年12月13日	横切紙	1通	道碩分	
20-85-2-2-7	[子八月藤吉居借や直し入用]			1纏め(2通)		20-85-2-2-7-1~2帯封で一纏め (帯封上書)「子八月 藤吉居借や直し入用付ケ」
20-85-2-2-7-1	おほへ(代銀書付)	年未詳8月27日	横切紙	1通	大工や安平→(宛名なし)	
20-85-2-2-7-2	[賃銀代銀書付]	年月日未詳	横切紙	1通	社かん・手ご・なわ代	
20-85-2-2-8	覚(作事入用書付)	子年7月	横折紙	1通(2枚)		帯封あり(帯封上書)「子七月水入二付作事入用付ケ但大工三勾手人式立之由」
20-85-2-2-9	覚(新宅造作入用并二塗屋払受取)	年未詳8月23日	横切紙	1通	仁井屋栄蔵→片山栄吉	
20-85-2-2-10	覚(呉服代銀書付)	子年7月	横切紙	1通	三成屋平兵衛→片山道碩	「十二月廿八日付 使乙吉受取」の後筆あり
20-85-2-2-11	覚(家賃添状)	年未詳12月29日	横継紙	1通	仁井屋栄蔵→片山	
20-85-2-2-12	覚(代銀清算書)	寅年12月	横継紙	1通	糸・木綿代他 布屋利助→片山涼台	
20-86	[中島屋金平宛宇津寛治左衛門書状]	年未詳12月16日	横継紙	1通	結構な御菓子をもたらったことに対する礼と病氣見舞を述べたもの	包紙あり(包紙上書)「中島屋金平様 於倉敷 宇津寛治左衛門」
20-87	[大橋源介宛大橋徳蔵書状]			1包(4通)		20-87-1~4包紙で一括り 包紙保護の為SILティッシュで包む (包紙上書)「備中倉敷大橋源助様 要用無事 大橋徳蔵」(包紙裏書)「五月廿一日認 従京釜座夷川上ル処摩島塾中」(後筆)「六月朔日届」
20-87-1	[大橋尊大人・同兄上宛大橋徳蔵書状]	年未詳5月21日	横継紙	1通	摩島松平先生が亡くなったこと、先生の母・妻に乞われて入塾したこと、白谷先生のところで書物の写本を作成していること、書写が済んだら退塾し、鈴木惣平なる篤実の朱子学者に入門しようと思っていることなどを伝える	
20-87-2	[大橋叔父・金平宛片山亮輔書状]	年未詳正月5日	横折紙	1通	正月の祝いを述べ、医家の竹中献吉・儒家の矢上行介に入門し精を出して勉強していることを伝えたもの	(端裏書)「亥二月四日 川下元吉より来ル 倉敷」
20-87-3	[大橋源介宛大橋徳蔵口上]	年未詳3月27日	横切紙	1通	只今拜見した「江戸状」に心配なことが書いてあったので、詳しい様子を教えてくれるよう依頼したもの	(上書)「備中倉敷大橋源介様 大急用無事 大橋徳蔵拜」三月廿七日 自京師
20-87-4	[徳蔵書状]	年未詳5月21日	横切紙	1通(2枚)	十蔵の叔父が死去したとの報に接し、悔やみを述べると共に「此書状」を届けてくれるよう依頼したもの 西之宮恵美須様の御守二枚小児方へ指上げのこと	
20-88	差上申御請書之事	亥年3月15日	横継紙	1通	戌年中「一ト先婦村」の者共今般吟味につき早々呼寄せのことに対する請書 宿神田松永町家持利八代権次郎→番所	
20-89	[大橋尊大人宛大橋徳蔵書状類]			1纏め(2通)		20-89-1に20-89-2が巻き込まれていた
20-89-1	[大橋尊大人宛徳蔵書状]	年未詳9月5日	横継紙	1通	白谷先生は播州辺へ先月27日発足 猪飼先生も墓参旁上京につき留守中の塾の近況報告	(端裏書)「亥九月十六日与助婦郷之節達ス」
20-89-2	覚(呉服類・手本・小箱など送付添状)	年月未詳5日	横切紙	1通		
20-90	[金銭書付]			1括り(2纏め8通)		20-90-1~10紙紐で一括り
20-90-1	[諸事書付]			1纏め(2通)		20-90-1-1~2一纏め
20-90-1-1	[諸事書付]	年月日未詳	横折紙	1通	西田村義八二可掛合事など	
20-90-1-2	[諸事書付]	年月日未詳	横継紙	1通	「勘定之事」「岡山取調之事」など	
20-90-2	[午年分金高書付]	年月日未詳	横切紙	1通		
20-90-3	[南北講差引]			1纏め(2通)		20-90-3-1~2一纏め
20-90-3-1	南北講 安政三辰年より仕法替差引	年月日未詳	横折紙	1通	残銀七貫貳百八拾三匁九厘	
20-90-3-2	覚(半口分銀高書付)	辰年11月	横切紙	1通	倉敷大橋源介→(宛名なし)	包紙あり(包紙上書)「入札 大橋源介」
20-90-4	[米銀書付]	年月日未詳	横継紙	1通	末年~戌年迄	
20-90-5	[銀高内訳書付]	年月日未詳	横切紙	1通		

20-90-6	[米高書付]	年月日未詳	横継紙	1通	浜分・倉分・新田分・川入分など	
20-90-7	当成年弘化開取箇定メ	成年	横切紙	1通		
20-90-8	寅十二月より勤向諸入用書出	辰年9月	横継紙	1通	寅十二月廿七日 一金百疋 本家店弥介度々相頼ニ付取計遣ス 他7筆	
20-90-9	[尋問書]	年月日未詳	横継紙	1通	新開場所における状況などについて尋ねる	
20-90-10	弘化開田方見取	年月日未詳	横折紙	1通		
20-91	[贈答品書上類]			1括り(3通)		20-91-1~3紙縫りで一括り
20-91-1	[人別銀高書上]	年月日未詳	横切紙	1通		
20-91-2	覚(贈答品書上)	年月日未詳	横切紙	1通	御上・平御半頭・御欠席・御湯呑所詰他	
20-91-3	覚(贈答品書上)	年月日未詳	横継紙	1通		
20-92	[大橋金平宛大嶋猪兵衛・原田多右衛門書状]			1袋(2通)		20-92-1~2一袋(封筒上書)「大橋金平様 原田多右衛門 大嶋猪兵衛 用事」
20-92-1	覚(倉敷中嶋屋年賦入銀添状)	丑年正月25日	横切紙	1通	猪兵衛→千七	
20-92-2	[大橋金平宛大嶋猪兵衛・原田多右衛門書状]	丑年正月25日	横継紙	1通	年賦払入銀差入のこと	
20-93	献立	年月日未詳	横継紙	1通		継目破損に付きSILティッシュで包む
20-94	[東大橋宛文介書状]	年未詳12月2日	横継紙	1通	証文受取のこと 角屋の方は暫時振替金を済ませ申度旨を返答してきた	(上書)「東大橋様 文介 拝答」
20-95	[覚]			1括り(3通)		20-95-1~3紙縫りで一括り 括り紐破損の為SILティッシュで包む
20-95-1	覚(松江去卯年高懸り差引書)	卯年12月22日	横切紙	1通	倉敷大橋源介→松江名主栄之介	虫損甚だし
20-95-2	[戌十一月十二日大島二而角より請取地]	戌年11月12日	横継紙	1通		虫損甚だし
20-95-3	[嘉永六癸丑■福田新開高懸り]	嘉永6年12月23日	横切紙	1通		虫損甚だし
20-96	[書状]	年月日未詳	横切紙	1通	大原普斎先生の石碑並びに遺稿出来に付き出銀依頼添書の件	
20-97	覚(人別銀・米差引勘定書)	子年7月	横継紙	1通		
20-98	[大橋金平・塩田善三郎書状]	年未詳9月28日	横継紙	1通(2枚)	再勤の祝いに対する礼と見舞	包紙あり(包紙上書)「大橋金平様 塩田善三郎 要用貴答」別紙の追啓あり
20-99	[書付類]			1括り(3通)		20-99-1~3紙縫りで一括り
20-99-1	覚(納屋売払)	年月日未詳	横切紙	1通	案文	
20-99-2	凡覚(銀札書上)	年月日未詳	横継紙	1通	古地一切メ銀札三貫目他	
20-99-3	当亥年より覚(銀高書上)	年月日未詳	横継紙	1通	出雲様三貫三百目他	
20-100	覚(金受取)	年未詳3月27日	横継紙	1通	弥介→東新宅 勿金の代わりとして金三両の受取 近況報告と忠八の入用過分について勘弁してくれる様に 羽織・じばんを希う	
20-101	[大橋尊大人宛大橋徳蔵書状]	亥年正月22日	横継紙	1通		(端裏書)「亥二月四日 元吉より届」
20-102	覚(歎書上)	年月日未詳	横継紙	1通	元流作過歎他4筆	
20-103	[大橋源介宛大橋徳蔵書状]	年未詳2月21日	横継紙	1通	御無沙汰見舞 先便でたのんでおいた羽織を再度依頼	(包紙上書)「備中倉敷大橋源介様 摩島塾 大橋徳蔵 要用無事」 (裏書)「從京■夷川釜座上 二月廿二日発」
20-104	御守札	年月日未詳	12.0×4.3	1枚		(裏書)「洛東黒谷煎谷堂」
20-105	不浄除御守 淡島神印	年月日未詳	10.5×5.4	1枚		
20-106	多賀神社擁護神符	年月日未詳	9.5×5.8	1枚		内容物保護の為SILティッシュで包む
20-107	多賀神社擁護神符	年月日未詳	9.8×5.7	1枚		
20-108	[諸事書付覚]	年月日未詳	横折紙	1通	一. 家敷絵図面直しの事など	縦横の墨線で全体が抹消されている
20-109	[宇津神社御祓]	年月日未詳	横切紙	1通	祝詞が書かれている	包紙あり(包紙上書)「宇津神社御祓」 罨紙
20-110	[大橋尊大人宛徳蔵書状]	年月日未詳	横継紙	1通(3枚)	衣類、夜具、書物等挾箱一荷其外を持参し、昨廿六日猪飼先生のお供で勢州へ到着、入門の旨を知らせる 仁科先生の塾で勤学中の消息 猪飼先生は現在勢州津にいる 今一兩年修行したら必ず帰国して独学するつもりである どうき上下、上袴、綿入羽織などを送ってほしい 菓子もらったことに対する礼状	包紙あり(包紙上書)「備中倉敷阿知町大橋源介様 猪飼塾中大橋徳蔵 急要用無事」(包紙裏書)「從勢州津東町 八月廿八日認発 十月十五日 大坂伝次へ着岡山より賃先取」
20-111	[大橋宛大橋徳蔵書状]	年未詳8月1日	横継紙	1通		
20-112	[大橋金平宛宇津寛治左衛門書状]	年未詳3月17日	横継紙	1通		
20-113	[大橋尊大人・同兄上宛徳蔵書状]	年未詳10月6日	横継紙	1通	姉の出産を祝う 修行延引の願い	包紙あり(包紙上書)「備中倉敷阿知町大橋源介様 大橋徳蔵 急要用平安」(包紙裏書)「十月七日発 從勢州津 同十三日大坂より出ス賃添」
20-114	覚(御蔵銀差引算用書)	卯年11月	横継紙	1通	大黒屋文介→東大橋	
20-115	[大橋金平宛大橋徳蔵書状]	子年4月28日	横継紙	1通(2枚)	正月から金子を入れた書状が一通も届かず、途中で紛失している金子を借用しているので急いで送ってもらいたい 父源介が直島へ出張した事について 源蔵が痘瘡により死去したことに對する悔み	(端裏書)「子五月十四日着」
20-116	受領証	明治34年2月28日	横切紙	1通	斎米拝受の受領証 地藏院→大橋高之	
20-117	[大橋重平宛大橋徳蔵書状]	年未詳12月27日	横継紙	1通	姉の男子出産を祝う 又源蔵と付けられた名前も好名である	包紙あり(包紙上書)「大橋重平様 貴下 大橋徳蔵」(包紙裏書)「從京師」
20-118	[大橋尊大人宛徳蔵書状]			1包(2通)		20-118-1~2が包紙に包まれている 包紙あり(包紙上書)「備中倉敷大橋源介様 大橋徳蔵 要用無事」(包紙裏書)「自京師釜座夷川上ル処 六月廿五日発」 包紙保護の為SILティッシュで包む
20-118-1	[大橋宛徳蔵書状]	年未詳6月22日	縦切紙	1通(3枚)	猪飼先生、仁科先生の近況など 追啓として普請混雑に付き養生專一を希う	本文2枚、追啓1枚

20-118-2	[尊大人宛徳蔵書状]	年未詳6月24日	横継紙	1通	摩島家より仁科へ一先移ること	
20-119	[大橋源助宛大橋徳蔵書状]	年未詳11月19日	横切紙	1通	先頃御代官様より御褒美があった際、多忙で無沙汰になったことについての詫状	包紙あり(包紙上書)「備中倉敷大橋源助様 摩島塾大橋徳蔵 急要用無事」(包紙裏書)「從京都釜座夷川上ル処 十一月十九日出」
20-120	[大橋良介宛片山義太郎書状]	年未詳4月25日	横継紙	1通	螢を差上げる様に申上げていたが今年はいつもと違い「螢不自由」につき少々差上げる	(封筒上書)「大橋良介様 片山義太郎 至極下用書不及御答」
20-121	[封筒]	年月日未詳	17.2×4.8	1枚		封筒のみ(封筒上書)「大橋金平殿 同正介殿 用事 自直島 全源介」(封筒裏書)「嘉平事何角能々心付呉候而夜分二而も来喜居申候、御褒御遣し可被下候」
20-122	[書状・覚書]			1括り(1纏め7通)		20-122-1～8紙綴りで一括り 紙綴りはSILティッシュで包む
20-122-1	[事項項目書上]	年月日未詳	横切紙	1通	信州様寅年指上銀通江為付込度事 安藤千賀之介掛合之事など	
20-122-2	[事項項目書上]	年月日未詳	横切紙	1通	一. 中村善右エ門より徳兵エ手前へ去暮見取金貳両相渡居候由此分半方此方江可請取事 一. 同人地之内凡五畝歩荒地有之此分地普請いたさせ早々田二為致可申事	
20-122-3	[畝高書上]			1纏め(2通)		20-122-3-1～2一纏め
20-122-3-1	[畝高書上覚]	年月日未詳	横折紙	1通	小作人半九郎 乙島岩蔵分	
20-122-3-2	[畝高書上覚]	年月日未詳	横切紙	1通	中島屋分	
20-122-4	地所売渡申端書之事	嘉永5年11月	横継紙	1通	中嶋屋金平の土地3町4畝4坪を売渡す件についての一札 請人西阿知村伝次郎・倉敷大工屋弥吉→(宛名なし)	
20-122-5	[請取銀書付]	年月日未詳	横継紙	1通		
20-122-6	[書状断片]	年月日未詳	横切紙	1通	委細を甚介へ談示しておいた 岸氏の方は此所で証文を入替えるよう取計らう	後欠
20-122-7	[石高及び代銀書上]	年月日未詳	横継紙	1通		後半は虫損の為展開せず
20-122-8	[大橋金平宛後吉書状]	年未詳11月21日	横継紙	1通	長屋書替の件については承知したが老人が不快で引きこもり、面会できないので委細を番頭才吉に頼んだ	(封筒上書)「大橋金平様 後吉より 貴披書」
20-123	覚(普請料精算書)	安政4年12月10日	横切紙	1通	倉敷東大橋→片島好介	
20-124	覚(金三両・木綿七反差出添書)	■年12月	横切紙	1通	中畝弥次郎→大橋	
20-125	覚(取替金差引算用書)	戊午年正月	横切紙	1通	東大橋→取次西屋	
20-126	[土地測量図]	年月日未詳	不明	不明	坪数が書かれた測量図	虫損のため展開不能
20-127	[幸蔵質銀滞り関係書類]			1括り(2包)		20-127-1～2紙綴りで一括り
20-127-1	[幸蔵質銀滞り関係書類]			1包(2通)		20-127-1-1～2一包 包紙あり(包紙上書)「上」(包紙裏書)「申十月七日 西中村幸蔵質銀滞候二付 年寄光右衛門へ添書願候ひかへ 但四十瀬新田森右衛門へ出願分江者証人写し相添候」
20-127-1-1	[以書附御願申上候下書]	申年10月	横継紙	1通	幸蔵質銀滞り二付き早々返済する様理解を願う 倉敷村金平→西中村役人	
20-127-1-2	覚(西中村幸蔵滞り質銀内訳)	申年10月	横継紙	1通	倉敷金平→年寄光右衛門	(端裏書)「光右衛門出シ候控」
20-127-2	[幸蔵質銀滞り関係書類]			1包(2通)		20-127-2-1～2一包 包紙あり(包紙上書)「上」「申十一月廿七日 大庄屋八重村田中武介江出願いたし候控代人忠八を遣し候」
20-127-2-1	以書付御願申上候	申年11月	縦継紙	1通	伯楽市新田村の幸蔵への貸銀返済をうながす様に願う 倉敷村金平→大庄屋八重村田中武介	
20-127-2-2	覚(氏名書付)	年月日未詳	横切紙	1通	一由右衛門 八左衛門 一嘉蔵 役之助 一清吉	
20-128	田地書入催合講落札金証券	明治15年11月29日	縦継紙	1通	落札主大橋秀太郎・証人大橋俊太郎→幹事植田鶴次郎・大橋長蔵 田4反27歩を抵当として、講金237円を落札し、返済について取り決めを行ったもの	包紙あり(包紙上書)「催合講落札金証券 大橋秀太郎」 戸長代理用掛り石川矢太郎奥書あり
20-129	田地書入催合講落札金証文之事	明治9年11月28日	縦継紙	1通	落札主大橋秀太郎・証人大橋徳蔵→勘定引受和栗二三・大原孝四郎	包紙あり(包紙上書)「催合講落札証書 吉通」(包紙上書朱書)「明治九年丙子十一月廿八日 東大橋」(奥書)副戸長屋葺恒衛 秋岡素平
20-130	聚金受取通	明治3年閏10月	横折紙	1通	続義倉幹事→大橋秀太郎	(袋上書)「明治三庚午閏十月 聚金受取通 続義倉幹事 大橋秀太郎様」
20-131	元治二丑年五月ヨリ 御扶持米扣 観音院	元治2年5月～	半・横半折	1冊		袋あり(袋上書)「扶持米 通 観音院」 括り文書あり
20-132	[大橋源介・同喜久太・同金平宛大橋徳蔵書上]	年未詳8月13日	横継紙	1通(2枚)	衣類は書付の通り林蔵持参落手のこと 金子五十両については文介が持参したが当着の日は殊更大雨の為受取ってはいない 勢州行きについて	包紙あり(包紙上書)「備中倉敷大橋源介 仁科塾大橋徳蔵 要用無事」(包紙裏書)「八月十三日発 自京師」 大橋徳蔵宛大橋喜久太書状包紙を転用
20-133	[書状・覚書類]			1括り(30通3纏め)		20-133-1～33紙綴りで一括り
20-133-1	[明治元戊辰辰年鶴新田御蔵計り人別書上]	明治元年	横継紙	1通		
20-133-2	[原佐市郎・大橋徳蔵宛三宅直吉書状]	年未詳11月21日	横継紙	1通	小作一条歎願書認替について 紋五郎苗字御免につき書き加え置き下さる様に	
20-133-3	覚(越銀差引勘定書)	慶応3年12月7日	横継紙	1通	鶴新田年番 三宅甚蔵・三島次郎右衛門→紋五郎	
20-133-4	覚(卯年分鶴新田年貢勘定書)	年月日未詳	横継紙	1通		
20-133-5	覚(人別銀勘定書)	年月日未詳	横継紙	1通		
20-133-6	[人別作物反数書上]	年月日未詳	横継紙	1通	一綿貳反分 幸四郎 一稻壹反分勝蔵など	
20-133-7	[氏名書付]	年月日未詳	横切紙	1通	「茂浦浅蔵」他3人	

20-133-8	覚(借金清算書)	明治元年12月4日	横切紙	1通	金百両返納皆済のこと 鶴新田八十太・左一郎・三宅紋五郎他2人一陣屋	
20-133-9	覚(金四拾三両貳朱受取)	辰年12月2日	横切紙	1通	会所→大橋	
20-133-10	[書状]	年未詳11月21日	横切紙	1通	過刻差上げの書付文面の差替えについては承知のこと	宛名・差出人とも不詳
20-133-11	乍恐以書附奉申上候	年月日未詳	横切紙	1通	鶴新田小作人払入方等閑に付き筋立を願う	宛名・差出人とも不詳
20-133-12	[泉左一郎・大橋徳蔵宛小口小十郎書状]	年未詳11月20日	横切紙	1通(2枚)	小作年貢方について庄屋方より談示があり、加判をする件について承知する	(上書)「泉左一郎様 大橋徳蔵様 小口小十郎 御答」別紙「追而書」あり
20-133-13	[大橋徳蔵宛三宅直吉書状]	年未詳11月22日	横継紙	1通	書付を持たせ下されば直ぐに奥書をして使いを小野氏へ廻す調印がすんだなら何時であっても出張してもよい	(上書)「大橋徳蔵様 三宅直吉 拝答」
20-133-14	[原・大橋宛勢介書状]	年未詳11月	横切紙	1通	庄屋より「割り書出し」が参ったので御光来を願う	(上書)「原表様 大橋表様 元小野二而勢介 要用書」
20-133-15	[大橋宛書状]			1纏め(2通)		20-133-15-1~2-纏め (上書)「大橋様 原様 御答 [ ] 拜」
20-133-15-1	[大橋・原宛書状]	年月未詳25日	縦紙	1通	汝五郎へ文通し、同人へ取次がしたい	
20-133-15-2	[書状]	年月日未詳	横切紙	1通	夜前に咄した二ヶ条について	20-133-15-1の追伸力
20-133-16	布告写	(明治2)年	横継紙	1通	旧幕府から苗字帯刀を差免されていたもの、扶持をもらい諸役を免除されていた者は用があるので二月十日までに役所へ罷出ること 倉敷県役所→窪屋郡倉敷村外拾五ヶ村水沢伊左衛門他6名	
20-133-17	覚(石高書上)	年月日未詳	横切紙	1通	川入分・子位庄分・苗代分	
20-133-18	[貼り紙]	年月日未詳		1纏め(7枚)	「中嶋屋徳蔵」と書かれたものが7枚	7枚纏めてSILティッシュで包む
20-133-19	[健外書状]	年未詳6月27日	横継紙	1通	文政堤樋口水道堀割についてゆるしが出たが開発人が承知しないので取りなしてほしい	
20-133-20	卯年京師之作(漢詩詠草)	年月日未詳	横切紙	1通		
20-133-21	覚(納米書上)	辰年11月	横切紙	1通	長尾屋→大橋 弁才天場蔵分五斗他	
20-133-22	覚(預り証)	慶応4年閏4月4日	横切紙	1通	鶴新田会所→中嶋屋 歩方辻銀金三拾両	
20-133-23	差入申一札之事	年月日未詳	横継紙	1通	鶴新田年番大橋秀二郎・中原堯徳・八十吉→井組御年番片嶋庄屋中原健蔵・水江村庄屋白髪佐太郎・連嶋村庄屋丸川劔太郎 鶴新田弘化開北用水につき議定	
20-133-24	[米石高書上覚]	年月日未詳	横切紙	1通	天保開石右衛門作他	
20-133-25	差入申一札之事	年月日未詳	横継紙	1通	鶴新田年番一両人 鶴新田文政樋水行につき議定	
20-133-26	[質銀書付]	年月日未詳	横切紙	1通	平夫五匁五分、大工・石工他	
20-133-27	[諸事書付覚]	年月日未詳	横切紙	1通	「相同此方より沙汰可致事」など	
20-133-28	[徳義ある者書付]	年月日未詳	横切紙	1通	一、親に孝を尽し家内むつまじく身行よろしき者 他2条	
20-133-29	[人別畝数書上]	年月日未詳	横切紙	1通	「九之割大道西四反 林蔵分」他	
20-133-30	[年代別田畑書上覚]	年月日未詳	横切紙	1通		
20-133-31	高掛り銀仕出し	年未詳12月17日	横切紙	1通		
20-133-32	[覚書類]			1纏め(1纏め1通)		20-133-32-1に20-133-32-2が包まれて一纏め
20-133-32-1	[銀及び金内訳書付]	年月日未詳	横切紙	1通		
20-133-32-2	[覚書類]			1纏め(2通)		20-133-32-2-1~2-纏め
20-133-32-2-1	[金勘定書]	年月日未詳	横折紙	1通		
20-133-32-2-2	[事項項目書上]	年月日未詳	横切紙	1通	大庄屋給之事・同小遣人之事他	
20-133-33	覚(用水入用割未皆済分書上)	年未詳12月5日	横継紙	1通		
20-134	[片山栄吉書状・算用書]	戊(天保9)年正月21日~11月23日		1包(1纏め1通)		20-134-1~2封紙に入(包紙上書)「戌十一月廿三日 片山栄吉書状 外二源蔵預り銀算用書 菅通添」
20-134-1	[天保九戌ノ年分矢掛新宅差引覚]	年月日未詳	横折紙	1通	本家片山分	
20-134-2	[大橋源介・金平宛片山栄吉書状]	戊年11月23日	横継紙	1通(2枚)	何率金子の都合をつけて、涼台へ渡してもらいたい 差引の荒増しを別紙でお目に懸ける 別啓として「涼台方私請持世話」をしている銀子の訳付をしなければならぬこと 借財もあることを含み置き涼台へも咄して置いてほしい	「別啓」の別紙あり
20-135	[花押]	年月日未詳	横切紙	1通	「弘化四未年よりは是を用ル」の書付あり	
20-136	[大橋源介宛片山栄吉書状]	年月未詳19日	横継紙	1通	中村差引帳面差上げのこと 矢掛居宅の件については委細仁井やより聞いてほしい 涼台内借の件について	包紙あり(包紙上書)「倉敷阿知町 大橋源介様 東三成 片山栄吉 要用無異」
20-137	[徳蔵口上]	年未詳8月23日	横切紙	1通	猪飼先生の動向については委細は文介へ書状を指出したが荒増を申上げる	
20-138	[漢詩]	年月日未詳	縦紙	1通	詔訃都・秋風・西湖・雪後・酔後・静居と題された東坡などの七言絶句の書付	書状包紙を使用
20-139	[尊大人宛徳蔵書状]	年月日未詳	縦切紙	1通	安否について即時も早く知らせてほしい またその書状は綱島へよこしてほしい 自分がおれば早速受取り、もし発足後であれば同家が届けてくれることになっている	尚々書で本状はなし
20-140	覚(小豆高・代銀算用書)	年月日未詳	横切紙	1通		包紙を転用(包紙上書)「片山涼台一条掛引書状入」
20-141	[大橋源介宛大橋徳蔵書状]			1包(2通)		20-141-1~2-包 包紙あり(包紙上書)「備中倉敷口橋源介様 急要用無事 猪飼塾大橋徳蔵 十一月七日発 従津東町」十一月廿三日着

20-141-1	[大橋源介宛大橋徳蔵書状]	年未詳11月7日	横継紙	1通	9月26日勢州へ到着したものの、その後安否を窺うこともせず無沙汰したことを詫び、通鑑を借用して読書勉学に励んでおり、決して懶懦(ママ)に過ごしているわけではないこと、勢州と京大坂の間には飛脚の便もあるが、大した用事もなかったため無沙汰勝ちになったことを伝え、少々報せが延引しても心配しないよう言い送る	
20-141-2	[書付]	年月日未詳	横切紙	1通	「勢州津東町二而猪飼敬所右之通候而相達申候、先便申上候得共為念申上候」とある	
20-142	記(はをり・わた入・ひふ他代銀書上)	年未詳12月	横切紙	1通	[ ]→東大橋	
20-143	吉書	年月日未詳	折本	1通	大橋那賀→(宛名なし)	手本力
20-144	[書]	年月日未詳	折本	1通	大橋徳蔵書	
20-145	御歳徳尊神	年月日未詳	折本	1通	大橋徳蔵書	
20-146	天保七年申暮 中新宅差引 片山本家	天保7年2月3日~9年正月9日	半・横長	1冊		
20-147	天保六未年 頼母子講習帳	天保6年	半・横長	1冊		
20-148	[墨絵類]			1纏め(8枚)		20-148-1~8まで重ねて二ツ折
20-148-1	[梅に竹図]	年月日未詳	縦紙	1枚		
20-148-2	西中遠鐘	年月日未詳	縦紙	1枚		
20-148-3	[菊図]	年月日未詳	縦紙	1枚	昏嶋作	
20-148-4	[蓮図]	年月日未詳	縦紙	1枚		
20-148-5	[菊之図]	年月日未詳	縦紙	1枚		
20-148-6	[梅図]	年月日未詳	縦紙	1枚		
20-148-7	[水仙図]	年月日未詳	縦紙	1枚	松畔作	
20-148-8	[野菜図]	年月日未詳	縦紙	1枚		
20-149	[徳蔵書状追啓]	年月未詳21日	横切紙	1通	頂戴の豆差上げのこと	本文の書状なし
20-150	[型紙]	年月日未詳		1枚		
20-151	[大橋宛備前屋次兵衛書状]	年未詳9月28日	横切紙	1通	結構な品に対する礼状	
20-152	覚(入札ひかへ)	亥年11月	横切紙	1通	銀四貫貳百目	
20-153	記(神楽料受領書)	明治13年5月5日	横切紙	1通	本宮祈禱所→(宛名なし)	
20-154	記(枳代金書上)	明治24年2月18日	横切紙	1通	大橋五郎→東大橋	
20-155	[断簡類]	年月日未詳		1纏め(3枚)	廿貳年五月一日 東大橋→矢部乙吉 三月十一日「右残金引替米卅石相渡可申候也」	南鐐銀書付のものなどの断簡が3枚、一纏めにしてひとつ番号とする纏める為SILティッシュで包む
20-156	[無図]	年月日未詳	54.0×49.5	1枚	作豊彦	
21-1	[証書類]					21の筆筒の上部の引き出しを21-1、下部の引き出しを21-2、小引き出しを21-3とする 各々の引き出しの親カードとしては数量を記していない
21-1-1	[証書類]	嘉永5年~安政4年		1袋(1包1括り)		21-1-1-1~2が紙綴りで括られて袋に入れられている(袋貼紙)「巳十二月取替五ヶ年賦払之約束 金ヨヤ戌九月元利返済候 大庄屋友野鉄太郎・秋庭五一兵衛・守安慎介・守屋多喜介」
21-1-1-1	[証書類]			1括り(3包)		21-1-1-1-1~3紙綴りで一括り 紙綴りに付紙あり(付紙)「此分不用書類」
21-1-1-1-1	[備中四組合借用金一件]			1包(6通1袋)		21-1-1-1-1-1~7一包 包紙あり(包紙上書)「十二月八日 請取書数通入 友太郎 書付在中」
21-1-1-1-1-1	始末書	亥年	横継紙	1通	5年前宋粟と市より天城御屋敷へ銀200貫差出し、永納として年々米400俵ツへを下げ渡していたが、米高直に付御屋敷の方が勝手筋が成り立たなくなった 村方へ貸付の利足として、1貫に付4俵の当りをもって400俵を与市へ振替で渡してくれとの件について	包紙あり(包紙上書)「後吉様 友太郎 始末書」
21-1-1-1-1-2	覚(金請取書付)	亥年12月16日	横継紙	1通	四組辻百貫目の内へ金貳百両請取 西原友太郎→倉敷金平	
21-1-1-1-1-3	覚(金受取書付)	亥年12月24日	横切紙	1通	百貫目の内へ金貳百両の受取 多喜次→金平	
21-1-1-1-1-4	覚(金請取書付)	亥年12月24日	横継紙	1通	四組辻借百貫目の内へ金貳百両の請取 後吉→金平	
21-1-1-1-1-5	覚(金請取書付)	亥年12月16日	横切紙	1通	四組百貫目の内へ金300両の請取 西原友太郎→倉敷金平	
21-1-1-1-1-6	一札之事(金請取証文)	亥年12月8日	横切紙	1通	備中四組合への借用金百貫目の内へ金貳百両を請取った 西原村友太郎・証人後吉→大橋金平	包紙あり(包紙上書)「書付 西原」
21-1-1-1-1-7	[書状類]			1袋(3通)		21-1-1-1-1-7-1~3一袋(封筒上書)「大橋金平様 後吉 別帛在中」
21-1-1-1-1-7-1	[大橋金平宛後吉書状]	(亥)年12月25日	横継紙	1通	別紙の件を承引していただきたい	(上書)「大橋金平様 後吉 貴披書」
21-1-1-1-1-7-2	覚(残金引渡し依頼)	亥年12月26日	横切紙	1通	多喜次→金平	
21-1-1-1-1-7-3	[後吉宛多喜次書状]	(亥)年25日	横継紙	1通	五百両の分は八六八かへ、七百両の分は八四四かへに取極めてくれる様に 又新札四貫目の分は明後日迄にやはり新札で差返すことを知らせる	
21-1-1-1-2	[証書類]			1袋(2通)		21-1-1-1-2-1~2一袋 封筒あり(封筒上書)「嘉永五壬子年分四組辻取替銀之内払入之書付入」
21-1-1-1-2-1	覚(送金証)	子年11月27日	横継紙	1通	銀札拾貫目元利入 守屋友太郎→安三郎	



21-1-1-1-2-2	覚(銀札書上)	丑年12月22日	横継紙	1通	十四日~廿二日迄の銀札書上	
21-1-1-1-3	[証書類]			1包(4通)		21-1-1-1-3-1~4一包(包紙上書)「大橋恵之丞様 守屋多喜介」
21-1-1-1-3-1	覚(金百五拾両受取証)	安政4年12月29日	横切紙	1通	良介→守屋多喜介	墨線で全体が抹消されている
21-1-1-1-3-2	覚(金八拾貳両送金証)	巳年12月大晦日	横継紙	1通	守屋多喜介→大橋良介	
21-1-1-1-3-3	覚(金百五拾両送金証)	巳年12月29日	横切紙	1通	守屋多喜介→大橋良介	
21-1-1-1-3-4	覚(借銀返済方)	巳年12月22日	横切紙	1通	兼而借用の六拾貫目の内へ来午正月三日切で銀貳拾貫目を渡す旨を知らせる 大庄屋惣代西原村守屋多喜次→倉敷村大橋忠之丞	
21-1-1-2	[書付類]			1包(3通)		21-1-1-2-1~3一包(包紙上書)「書附書通」
21-1-1-2-1	覚(送金証)	戌年9月	横切紙	1通	年賦払入分元利共金七拾三両貳歩 守屋鞆太→三宅丈平 差引詰不足金五百三拾八両永八百八拾六文八歩八厘 多喜介→礼助	包紙あり(包紙上書)「四組江年賦二而取替候得共少々委細有之二付、広江屋当二而証文有之二付、年々受取書広江屋へ此方より置居候間、此書付大切候迄書類入」
21-1-1-2-2	覚(送金証)	午年8月28日	横切紙	1通	年々銀一時請取として金百六拾八両永百五拾三文六歩壹厘の請取証文 南北講引受方岡居友野鉄太郎・浅原村秋庭五一兵衛・宿守安慎介・西原村守屋多喜介→倉敷村大橋良介	
21-1-1-2-3	差引申書附之事	安政4年11月	縦継紙	1通		
21-1-2	[証書類]			1括り(5通2袋)		21-1-2-1~7紙綴りで一括り
21-1-2-1	相渡申作株証文之事	嘉永6年12月	縦紙	1通	作人中疇久吉・世話人同益右衛門・同判頭吉五郎→倉敷中嶋屋源介	包紙あり(包紙上書)「丑十二月中疇小作人久吉 作株書付書通 増右衛門より差越候分入 中疇増右衛門」
21-1-2-2	借用申証文之事	安政2年正月	縦紙	1通	借用主中疇定八・請人同所増右衛門・同判頭彦五郎→倉敷大橋	包紙あり(包紙上書)「卯正月取替月壹歩 但金相場八拾八匁定 銀札四百七拾六匁六分六厘当卯十一月切取かへ 中疇定八」(奥書)同五人組頭弥右衛門・同兵右衛門
21-1-2-3	壹ヶ年売渡申作株証文之事	嘉永5年閏2月	縦紙	1通	売主中疇長次郎・証人判頭吉五郎→益右衛門	(外包上書)「子閏二月 中疇小作人作株書付書通 増右衛門より差越候分入 但長次郎分 中疇増右衛門」(内包上書)「作株証文入」
21-1-2-4	相渡申田地作株証文之事	安政2年3月	縦紙	1通	小作人中疇嘉之介・証人同所藤右衛門→倉敷大橋源助	包紙あり(包紙上書)「安政二乙卯年三月 銀札五百六拾目 中疇李次郎 但年貢不足并取替銀貳五百六拾目二付地所式反歩取上ケ此所より歩預ケニ致遣ス利米壹ヶ年壹俵四歩約定」(奥書)伊兵衛(袋上書)「卯五月取かへ 金相場百目定 銀札九百貳拾三匁分式厘 中疇富太郎 引請人判頭吉五郎 但卯十一月切取かへ尤規日二至り銀子調達不致候にて壹割は内四反五畝歩地所取上ケ之約束」(奥書)判頭吉五郎
21-1-2-5	借用申証文之事	安政2年5月	縦継紙	1通	借主中疇富太郎・証人同村歎右衛門→倉敷地主	21-1-2-6-1~3一袋(袋貼紙)「辰正月元取かへ銀貳百八拾九匁六分三厘 当辰六月切取かへ 中疇駒之丞」(中包表書)「手形入中疇駒之丞」
21-1-2-6	[手形入]			1袋(3通)		
21-1-2-6-1	借用申手形之事	安政2年12月	縦紙	1通	百目金貳百八拾九匁六分三厘の借用書 借主中疇恒太郎・請人益右衛門→倉敷源助	(奥書)判頭竹蔵
21-1-2-6-2	借用申銀証文之事	弘化2年12月	縦紙	1通	正銀四百五拾目の借用書 借主中疇駒之丞・同伴恒次郎→倉鋪中嶋屋金平	
21-1-2-6-3	借用申手形之事	嘉永元年11月	縦紙	1通	銀札四百目の借用書 借主中疇駒之丞・同伴恒次郎→倉敷中嶋屋金平	
21-1-2-7	[証書類]			1袋(2通)		21-1-2-7-1~2一袋(袋上書)「嘉永五壬子年八月 此方作徳米入置候土蔵壹ヶ所中疇村増右衛門屋敷江建候二付同人より書付書通請取置候尤毎年地子米三斗五升宛相立候約束幾年相立候而も土蔵御取除被下度杯決而申間敷勿論此方勝手次第第二取計候約束 中疇増右衛門書付」(中包上書)「土蔵書物一通 興除新田中疇益右衛門」
21-1-2-7-1	土蔵屋敷御取替申約定之事	嘉永5年8月	縦紙	1通	興除新田中疇益右衛門・証人倉敷藤屋平→倉敷中島屋源介	
21-1-2-7-2	[差入申一札之事案文]	嘉永5年3月	縦継紙	1通	土蔵の地子米についての約定案文 中疇村増右衛門・証人倉敷村庄屋平→倉敷村中島屋源介	
21-1-3	[難波景二より土地買受関係書類一括]			1袋(仮2冊2纏め)		21-1-3-1~4一袋(袋上書)「窪屋郡生阪・西坂両村ノ内 一. 田町七反貳畝三歩 代金貳千貳百三拾六円三拾九銭 売渡人難波景二 巳六月求之」
21-1-3-1	[地券書換・小作契約関係書類一括]			1纏め(仮2冊2纏め)		21-1-3-1-1~4一纏め 折込一括
21-1-3-1-1	地券御書換願	明治14年6月	半・縦	仮1冊	備中国窪屋郡西坂村六番字亀甲ほかの土地について、買受人の名義に変更するよう申請した書類 売渡人難波景二・買受人大橋秀太郎・戸長高尾仙作→窪屋郡長林孚一	窪屋郡長林孚一による承認の付紙あり 罫紙を使用
21-1-3-1-2	記	年月日未詳	半・横長	仮1冊	生坂村内の字山之神ほか17ヶ所の土地について、反別・地価・預け米を書き出したもの	
21-1-3-1-3	[金預り証・受領証一括]			1纏め(2通)		21-1-3-1-3-1~2一纏め 折込一括
21-1-3-1-3-1	記(税金預り証)	明治14年6月25日	横継紙	1通	生坂村戸長目黒直衛→大橋秀太郎	

21-1-3-1-3-2	[金受領証]	(明治)14年6月25日	横切紙	1通	難波景治より買受地券の書換証印税の受領証(差出人なし)→大橋秀太郎	21-1-3-1-3-1の内側に折込
21-1-3-1-4	[小作証文綴]	明治14年5月22日	縦紙	1纏め(4丁)	備中国窪屋郡生阪村字松ヶ鼻ほか田4ヶ所について、小作人三宅半三郎・坪井孫三郎・坪井京助・林松吉が倉敷村大橋秀太郎と交わした小作証文の綴	綴紐はなく4枚が折りたたまれている
21-1-3-2	田地売渡之証	明治14年5月	半・縦	仮1冊	窪屋郡西坂村の内六番字亀甲ほか所在の田7カ所を、代金八百八拾七円九拾銭にて永代売却したもの 窪屋郡平田村売渡人難波景二・同郡子位庄村証人大角万作→本郡倉敷村大橋秀太郎	(奥書)戸長高尾仙作 罫紙
21-1-3-3	田地売渡之証	明治14年5月	半・縦	仮1冊	窪屋郡生坂村の内千式百三拾七番字山神ほか所在の田12カ所を、代金千三百四拾九円四拾銭にて永代売却したもの 窪屋郡平田村売渡人難波景二・同郡子位庄村証人大角万作→本郡倉敷村大橋秀太郎	(奥書)戸長目黒直衛 罫紙
21-1-3-4	[小作証文綴]	明治14年巳5月22日	縦紙	1纏め(12丁)	備中国窪屋郡生阪村字松ヶ鼻ほか田12ヶ所について、小作人山砥勝次郎ら12人が倉敷村大橋秀太郎と交わした小作証文の綴	綴紐はなく本来は21-1-3-1-4の一部と思われる
21-1-4	家督相続譲渡証書	明治29年10月	半・縦	仮1冊	譲渡人窪屋郡倉敷町千七拾七番邸大橋壽・後見人小田郡北川村大字走出百番邸名越為吉他2人→譲受人窪屋郡倉敷町千七拾七番邸大橋高之	罫紙
21-1-5	明治廿五年十二月調地所統計 倉敷町分	明治25年12月	半・縦	仮1冊		罫紙
21-1-6	[大橋源介宛小野丹右衛門書状類]			1包(3通)		21-1-6-1~3一包(包紙上書)「酉四月五日分 銀百拾七匁式分 庄屋丹右衛門 大坂三ツ井二而紺緋式反代相渡ス分取かへ」
21-1-6-1	[源介宛丹右衛門書状]	年月日未詳	横継紙	1通	御陣内旦那様方の調ものを別紙の通り御病中役介ではあるが買調えて差下してくれる様に依頼	(上書)「源介様 丹右衛門 急内用書」
21-1-6-2	[大橋宛小野書状]	年未詳4月5日	横継紙	1通	頼んでいたなら紺緋を受け取った旨を伝える礼状	(上書)「大橋様 小野 内要答」
21-1-6-3	覚(反物送付依頼)	年未詳3月23日	横継紙	1通	なら紺かすり・羽織地1反と越後同断1反を大坂で買い求め、同所鈴木町大坂屋国次郎より差出して、送ってもらいたい	
21-1-7	[袋]	年月日未詳	4.5×7.5	1枚		(袋上書)「明治十五年十二月ヨリ同十六年十一月切 一金壹千円也 植田孫太郎」
21-1-8	負債金書出し	明治29年9月30日	半・縦	仮1冊	酒津原田広四郎、大内永山常太郎、倉敷小河原文平、西原勘三郎、内田金衛の負債分を書出し大原氏へ渡した扣	罫紙
21-1-9	[地目変換・地価修正願書類]			1纏め(仮2冊8冊)		21-1-9-1~10まで重ねて二ツ折りにされて纏められている
21-1-9-1	地目変換地価修正願延滞手続上伸書	明治20年1月	半・縦	仮1冊	大橋俊太郎・戸長畠田頭佐代理用掛佐藤年太→児島郡長東馬安太	罫紙
21-1-9-2	明治廿年一月 変換地御届并地価御修正願 備前国児島郡中疇村	明治20年1月	半・縦	1冊	地主大橋俊太郎・戸長畠田頭佐代理用掛佐藤年太→岡山県知事千坂高雅	
21-1-9-3	明治二十年一月 変換地御届并地価御修正願 備前国児島郡中疇村	明治20年1月	半・縦	1冊	地主大橋俊太郎・戸長畠田頭佐代理用掛佐藤年太→岡山県知事千坂高雅	
21-1-9-4	明治二十年一月 変換地御届并地価御修正願 備前国児島郡中疇村	明治20年1月	半・縦	1冊	地主大橋俊太郎・戸長畠田頭佐代理用掛佐藤年太→岡山県知事千坂高雅	
21-1-9-5	明治二十年一月 地目変換丈量絵図 備前国児島郡中疇村	明治20年1月	美・縦	1冊	地主大橋俊太郎・戸長畠田頭佐代理用掛佐藤年太→岡山県知事千坂高雅	
21-1-9-6	明治二十年一月 地目変換丈量絵図 備前国児島郡中疇村	明治20年1月	美・縦	1冊	地主大橋俊太郎・戸長畠田頭佐代理用掛佐藤年太→岡山県知事千坂高雅	
21-1-9-7	明治二十年一月 地目変換丈量絵図 備前国児島郡中疇村	明治20年1月	美・縦	1冊	地主大橋俊太郎・戸長畠田頭佐代理用掛佐藤年太→岡山県知事千坂高雅	
21-1-9-8	地目変換地価修正願延滞手続上伸書 扣	明治20年1月	半・縦	仮1冊	大橋俊太郎・戸長畠田頭佐代理用掛佐藤年太→児島郡長東馬安太	罫紙
21-1-9-9	明治廿年一月 変換地御届并地価御修正願 備前国児島郡中疇村	明治21年1月	半・縦	1冊	地主大橋俊太郎・戸長畠田頭佐代理用掛佐藤年太→岡山県知事千坂高雅	
21-1-9-10	明治二十年一月 地目変換丈量絵図 備前国児島郡中疇村	明治20年1月	美・縦	1冊	地主大橋俊太郎・戸長畠田頭佐代理用掛佐藤年太→岡山県知事千坂高雅	
21-1-10	[村費請取証]			1袋(3通)		21-1-10-1~3一袋 未開封のものを開封した 封筒あり(封筒上書)「七月四日収メ 一金拾三円壹錢七厘 中疇帯高前湯村費中徴」
21-1-10-1	[村費請取証]	明治19年7月4日	横切紙	1通	19年度村費前期 帯高村戸長役場→大橋秀太郎代人林順平	
21-1-10-2	[村費請取証]	明治19年7月4日	16.4×11.6	1通	明治19年度村費地価割 児島郡中疇村内尾村東疇村戸長畠田頭佐→大橋秀太郎代人林醇平	台紙は専用紙
21-1-10-3	[村費請取証]	明治19年5月31日	横切紙	1通	明治19年度村費地価割前期分 戸長大森孫九郎→大橋秀太郎代人林醇平	台紙は専用紙
21-1-11	地所売渡証券	明治18年10月3日	半・縦	仮1冊	岡山県備前国児島郡中疇村百五拾七番屋敷売渡人杉原伊之吉・証人同村杉原忠太郎→岡山県備中国窪屋郡倉敷村四百九拾五番邸大橋秀太郎	封筒あり(封筒上書)「備前国児島郡中疇村字式拾八ノ割伊升 一畑三畝拾五歩 売主杉原伊之吉 明治十八年買求」(奥書)岡山県児島郡中疇村他々村戸長畠田頭佐」 罫紙
21-1-12	[売地証書類]			1袋(4通1枚)		21-1-12-1~5一袋(袋上書)「備中国窪屋郡生坂村字入樋 一田壹反式畝歩 売渡人黒瀬利源太 代金百八円 辰第一月十七日求之」

21-1-12-1	[包紙]	年月日未詳	豎切紙	1通		中身なし(包紙上書)「小作預り証」
21-1-12-2	[賃金書付]	年未詳2月24日	横切紙	1通	地券持参賃金三錢を此人に渡してほしい	
21-1-12-3	[売地につき書付]	年月日未詳	横切紙	1通	小作人生坂村黒瀬利源太 預ケ米四俵ト壹斗	罫紙
21-1-12-4	永代売渡耕地証	明治13年1月17日	豎紙	1通	田壹畝貳拾歩、代価百八円、地価九拾三円九十九錢 窪屋郡生坂村黒瀬利源太・同郡子位庄村大角万作・同郡富久村横山久次郎→倉敷村大橋秀太郎	罫紙
21-1-12-5	地券御書換願	明治13年2月	豎紙	1通	受付印明治13年2月6日第263号 売渡人黒瀬利源太・買請人大橋秀太郎・戸長貝原利久蔵→窪屋郡長林孚一	「券状渡済」の印のある付紙あり
21-1-13	[証書類]			1袋(3通)		21-1-13-1~3一袋 (袋上書)「窪屋郡生坂村千三百七十三番 一田壹反貳畝拾貳歩 売渡人今宮富五郎 代金百三拾円 辰二月五日求之」
21-1-13-1	田地売渡証文之事	明治13年2月	豎紙	1通	田壹反貳畝拾貳歩、代価百三拾円 生坂村売主今宮富太郎・同村証人江口磯吉→大橋秀太郎	
21-1-13-2	売買地券御書換願	明治13年2月	豎紙	1通	引受番号明治13年3月29日第739号 売渡人今宮富太郎・買請人大橋秀太郎・戸長貝原利久蔵→窪屋郡長林孚一	罫紙 「券状渡済」の印のある付紙あり
21-1-13-3	小作証券事	明治13年2月	豎紙	1通	預ケ米四俵ト壹斗 生坂村今宮富太郎・本村江口磯吉→倉敷村大橋秀太郎	罫紙
21-1-14	[証書類]			1袋(3通)		21-1-14-1~3一袋 (袋上書)「窪屋郡生坂村字荒巻 一田壹反拾貳分 代価百拾五円 辰二月五日相之 売渡人目黒末蔵」
21-1-14-1	売買地書御書換願	明治13年3月	豎紙	1通	一田壹反拾貳分 地価八拾壹円四拾八錢 売買代価百拾五円 売渡人目黒末蔵・買請人大橋秀太郎・戸長貝原利久蔵→窪屋郡長林孚一	「券状渡済」の印のある付紙あり
21-1-14-2	小作証文之事	明治13年2月	豎紙	1通	一田壹反拾貳歩 預り米壹石四斗五升 窪屋郡生坂村小作人目黒末蔵・同郡同村証人山川喜代太→倉敷村大橋秀太郎	
21-1-14-3	永代売渡田地証券	明治13年2月	豎紙	1通	田壹反拾貳歩 地価八拾壹円四拾八錢 売買代価百拾五円 売渡人生坂村目黒末蔵・証人同村山川喜代太→倉敷村大橋秀太郎	
21-1-15	[証書類]			1袋(3通)		21-1-15-1~3一袋 (袋上書)「倉敷村字末新田六ノ割 一田壹反廿五歩 売渡人大洞権一 代価百円 求之」
21-1-15-1	小作証文之事	明治13年2月6日	豎紙	1通	耕地壹反貳拾五歩 預米壹石 窪屋郡倉敷新田村小作人本行順次郎・同郡子位庄村証人大角万作・富久村証人横山久次郎→同郡倉敷村大橋秀太郎	罫紙
21-1-15-2	地所売渡証書	明治13年2月6日	半・豎	2丁	耕地壹反貳拾五歩 地価八十円六十三錢 売買代金百円 窪屋郡倉敷村売渡人大洞権一・同郡子位庄村証人大角万作・富久村証人横山久次郎→同郡倉敷村大橋秀太郎	罫紙 綴紐なし
21-1-15-3	記(小作地書付)	年月日未詳	横切紙	1通	小作人本行順次郎 耕地壹反廿五歩 地価八拾円貳拾五錢 預米壹石	
21-1-16	[子位庄村土地関係書類]			1袋(2通1纏め)		21-1-16-1~3一袋 (袋上書)「子位庄村之内字太才・中樋・藪ノ下一田五反七畝六歩 代金四百四拾六円拾六錢 卯五月六日求之 売渡人菅原壽三郎」
21-1-16-1	書抜	年月日未詳	横継紙	1通	子位庄村之内字太才・中樋・藪ノ下の地価・預米書抜	
21-1-16-2	証(売渡耕地券証書換願証印税共受取)	明治12年5月6日	横継紙	1通	菅原壽三郎より大橋秀太郎へ売渡した耕地について 子位庄掛戸長役場→倉敷大橋秀太郎	
21-1-16-3	[窪屋郡子位庄村小作関係書類]			1纏め(仮2冊)		21-1-16-3-1~2一纏め
21-1-16-3-1	小作証文之事	明治12年5月6日	半・豎	5丁	子位庄村の内の田地の小作証文	罫紙 綴紐なし
21-1-16-3-2	永代耕地永代売渡定約書	明治12年5月6日	半・豎	仮1冊	一耕地七畝歩 地価五拾円九十四錢 売買代価五拾四円六拾錢 窪屋郡子位庄村菅原壽三郎・同郡富久村証人横山九次郎・同郡子位庄村証人大角万作→倉敷村大橋秀太郎	罫紙
21-1-17	[証書類]	明治13年1月16日		1袋(2通)		21-1-17-1~2一袋 (袋上書)「窪屋郡倉敷村四百六番字日吉庄境 一田壹反六畝拾四歩 売渡人河崎銀蔵 代金百七拾壹円拾壹錢九厘 求之」
21-1-17-1	地所売渡証書	明治13年1月16日	豎継紙	1通	田壹反六畝拾四歩 代価百七拾壹円拾壹錢九厘 地価百六拾壹円五拾八錢 窪屋郡倉敷村売渡人河崎銀蔵・同所証人全柳蔵→大橋秀太郎	
21-1-17-2	小作証文之事	明治13年1月16日	豎紙	1通	田壹反六畝拾四歩 預り米貳石壹斗貳升 窪屋郡倉敷村小作人山川仲蔵・同証人亀山長太郎→窪屋郡倉敷村大橋秀太郎	
21-1-18	[証書類]			1袋(3通)		21-1-18-1~3一袋 (袋上書)「窪屋郡生坂村千貳百四拾九番字山ノ神 一田七畝廿壹歩 生坂村売渡人目黒壽太郎 代価八拾三円拾六錢 第一月三十一日求之」
21-1-18-1	地券御書換願	明治13年3月	豎紙	1丁	耕地七畝廿壹歩 売渡人目黒壽太郎・買請人大橋秀太郎・戸長貝原利久蔵→窪屋郡長林孚一	「券状渡済」の印のある付紙あり 罫紙
21-1-18-2	耕地売渡之証	明治13年1月31日	豎紙	1通	田七畝廿壹歩 売買代価83円16錢 地価六拾九円六拾七錢 売渡人窪屋郡生坂村目黒壽太郎・同証人山川喜代太→窪屋郡倉敷村大橋秀太郎	
21-1-18-3	小作証文之事	明治13年1月31日	豎紙	1通	田七畝廿壹歩 預り米三俵貳斗四升五合 窪屋郡生坂村小作人山磨彦三郎・証人山川喜代太→窪屋郡倉敷村大橋秀太郎	

21-1-19	[売地・小作証文]			1袋(3通)		21-1-19-1~3一袋 (袋上書)「窪屋郡倉敷村西古開 一田六畝廿歩 武部藤十郎 明治十三年二月十一日求之」
21-1-19-1	田地売渡証文之事	明治13年2月13日	縦紙	1通	田六畝廿歩 売買代価七拾五円 売渡人武部藤十郎・証人松尾清蔵→大橋秀太郎	
21-1-19-2	[売地につき書付]	年月日未詳	横切紙	1通	田六畝廿歩 預り米九斗二升七合六勺 地価六拾円五十銭	
21-1-19-3	小作証文之事	明治13年2月13日	縦紙	1通	田六畝廿歩 預り米九斗壹升七合壹勺 小作人武部藤十郎・証人松尾清蔵→大橋秀太郎	
21-1-20	[売地・小作証文]			1袋(2通1包)		21-1-20-1~3一袋 (袋上書)「子位庄村ノ内馬場 一田六畝廿歩 売渡人中村喜七郎 代金四拾三円五拾貳銭 卯四月二日求焉」
21-1-20-1	[永代耕地売渡定約証他]			1包(仮1冊1丁)		21-1-20-1-1~2一包 (包紙上書)「子位庄村 売渡人中村喜七郎 永代売渡地所証券一通入」 罫紙
21-1-20-1-1	小作証文之事	明治12年4月	縦紙	1丁	田六畝拾貳歩 預米八斗三升貳合 小作人子位庄村中村儀之七・同村証人大角万作・富久村証人横山久次郎→倉敷村大橋秀太郎	罫紙
21-1-20-1-2	永代耕地売渡定約証	明治12年4月	半・縦	仮1冊	耕地六畝拾貳歩 収穫米壹石壹斗貳升六合 地価四拾六円四銭 売買代価四拾三円五拾貳銭 窪屋郡小位庄村売渡主中村喜七郎・同郡同村証人大角万作・同郡富久村証人横山久次郎→同郡倉敷村大橋秀太郎	罫紙
21-1-20-2	記(小作地書上)	年月日未詳	横切紙	1通	小作人中村義之七分耕地・地価・預米書上	
21-1-20-3	記(証印税・地券受取賃の受取証)	明治12年4月2日	横切紙	1通	子位庄村戸長役場→倉敷村大橋秀太郎	
21-1-21	[地所売渡関係書類]			1袋(3通)		21-1-21-1~3一袋 (袋上書)「窪屋郡倉敷村未新田 田八反壹畝七歩 売渡人大久保尚平 代価八百拾貳円三拾銭 十三年辰二月一日求之」
21-1-21-1	地所売渡証券	明治13年1月31日	縦継紙	1通	反別八反壹畝七歩 地価五百七拾壹円貳拾四銭 売渡代金八百拾貳円三拾銭 売渡人窪屋郡倉敷村大久保尚平・証人黒瀬道次郎→窪屋郡倉敷村大橋秀太郎	
21-1-21-2	小作証文之事	明治13年1月30日	縦紙	1通	田二反九歩 預り米貳石三斗壹升四合 小作人備前国児島郡八軒屋村三浦林吉・証人中山淺治郎→窪屋郡倉敷村大橋秀太郎	
21-1-21-3	小作証文之事	明治13年1月30日	縦紙	1通	田壹反六畝三歩 預米貳石八斗三升五合 小作人窪屋郡倉敷村中山淺次郎・証人三浦林吉→窪屋郡倉敷村大橋秀太郎	
21-1-22	[地所売渡関係書類]			1袋(2通2丁)		21-1-22-1~4一袋 (袋上書)「西坂字上正地 一田壹反壹畝廿四歩 売渡人鋤持千代三 代価百貳拾八円 二月六日求之」
21-1-22-1	永代売渡田地証	明治13年2月6日	縦紙	1通	田壹段壹畝廿四歩 地価九拾七円三十五銭 代金百貳拾八円 売渡人窪屋郡西坂鋤持千代三・証人同郡生坂村江国磯吉→同郡倉敷村大橋秀太郎	
21-1-22-2	小作証券事	年月日未詳	縦紙	1丁	田壹段壹畝廿四歩 預ヶ米四俵貳斗 小作人西坂村安井多次郎・証人本村鋤持三郎右衛門→倉敷町大橋秀太郎	罫紙 21-1-22-2と21-1-22-4は綴られていたものカ
21-1-22-3	[鋤持千代三分反別地価・預ヶ米書付]	年月日未詳	横切紙	1通		
21-1-22-4	地券御書換願	明治13年6月5日	縦紙	1丁	田壹段壹畝廿四分 地価九拾七円三十五銭 売買代金百貳拾八円 売渡人鋤持千代蔵・買受人大橋秀太郎・戸長高尾仙作→窪屋郡長林孚一	明治十三年六月八日付窪屋郡長林孚一の「券状渡済」の印のある付紙あり 罫紙 21-1-22-2と21-1-22-4は綴られていたものカ
21-1-23	[田地売渡関係書類]			1袋(1通2丁)		21-1-23-1~3一袋 (袋上書)「窪屋郡生坂村字荒巻 一田壹反廿四歩 売渡人江国末次郎 辰二月求之」
21-1-23-1	田地売渡証文之事	明治13年2月	縦紙	1通	田壹反廿四歩 地価八拾四円五拾九銭 売買代金百拾五円 売主生坂村江国末次郎・証人同村山川喜代太→大橋秀太郎	
21-1-23-2	小作証文之事	明治13年2月5日	縦紙	1丁	田壹反廿四歩 預り米四俵五升 小作人生坂村江国末次郎・証人山川喜代太→窪屋郡倉敷村大橋秀太郎	罫紙
21-1-23-3	売買地券御書換願	明治13年3月	縦紙	1丁	耕地壹反廿四歩 地価八拾四円五拾九銭 売買代価八拾円 売渡人江国末次郎・買受人大橋秀太郎・戸長貝原利太蔵→窪屋郡長林孚一	明治十三年四月一日付窪屋郡長林孚一の「券状渡済」の印のある付紙あり 罫紙
21-1-24	[小作地売渡証書類]			1袋(2通2丁)		21-1-24-1~4一袋 (袋上書)「生坂村之内西阪九百貳拾三番 一田壹反壹畝歩 売渡人鋤持文治 代価百拾貳円 二月六日求之」
21-1-24-1	小作証券事	明治13年2月7日	縦紙	1通	田壹反壹畝 預米四俵 小作人窪屋郡西坂村小作人安井寅吉・本郡本村証人劍持三郎→本郡倉敷村大橋秀太郎	台紙は罫紙の「証券界紙」
21-1-24-2	永代売渡田地証券	明治13年2月6日	縦紙	1通	田壹段壹畝 地価七拾六円八十銭 代金百貳拾円 売渡人窪屋郡西坂鋤持文治・証人生坂村江国磯吉→同郡倉敷村大橋秀太郎	
21-1-24-3	地券御書換願	明治13年4月10日	縦紙	1丁	売渡人福持文治・買受人大橋秀太郎・戸長高尾仙作→窪屋郡長林孚一	明治十三年四月十日付窪屋郡長林孚一の「券状渡済」の印のある付紙あり 罫紙 21-1-24-3と21-1-24-4は綴られていたものカ
21-1-24-4	書抜	年月日未詳	縦紙	1丁	反数・地価・預ヶ米書抜	罫紙 21-1-24-3と21-1-24-4は綴られていたものカ
21-1-25	[明治十九年相続に伴う地券書換願一括]			1袋(仮9冊1通)		21-1-25-1~10一袋 (袋上書)「代換地券地券書換願其他願書指令書」

21-1-25-1	代替地券御書換願	明治19年11月12日	半・豎	仮1冊	備中国窪屋郡倉敷村字油屋敷ほか地所持主大橋秀太郎死去に伴う相続 大橋俊太郎・大橋長蔵・大橋友蔵・戸長植田年→窪屋郡長森田佐平	明治十九年十一月十六日付地券書換下渡、郡長森田佐平の印がおされた付紙あり 罫紙
21-1-25-2	代替り地券御書換願	明治19年11月12日	半・豎	仮1冊	備中国児島郡中疇村拾七番ほか地所持主大橋秀太郎死去に伴う相続 大橋俊太郎・大橋長蔵・大橋友蔵・戸長代理用掛佐藤年太→児島郡長東馬安太	明治十九年十一月十五日付地券下渡、児島郡長東馬安太の印がおされた付紙あり 罫紙
21-1-25-3	被害者救助金寄付願	明治19年11月	豎紙	1通	金沓円五拾銭、本年非常洪水罹災者救助ノ為寄付仕度し 大橋俊太郎・戸長植田年→岡山県知事干坂高雅	明治十九年十一月付書面の趣聞届 岡山県知事干坂高雅の印がおされた付紙あり 罫紙
21-1-25-4	代替地券御書換願	明治19年11月12日	半・豎	仮1冊	備中国窪屋郡生阪村字北六石ヶ坪ほか地所持主大橋秀太郎死去に伴う相続 大橋俊太郎・大橋長蔵・大橋友蔵・戸長高尾仙作→窪屋郡長森田佐平	明治十九年十一月十五日付地券書換下渡、窪屋郡長森田佐平の印がおされた付紙あり 罫紙
21-1-25-5	代替地券御書換願	明治19年11月12日	半・豎	仮1冊	備中国窪屋郡生阪村字地蔵前ほか地所持主大橋秀太郎死去に伴う相続 大橋俊太郎・大橋長蔵・大橋友蔵・戸長高尾仙作→窪屋郡長森田佐平	明治十九年十一月十五日付地券書換下渡、窪屋郡長森田佐平の印がおされた付紙あり 罫紙
21-1-25-6	代替り地券御書換願	明治19年11月12日	半・豎	仮1冊	備中国都宇郡前瀧村字十ヶ割ほか地所持主大橋秀太郎死去に伴う相続 大橋俊太郎・大橋長蔵・大橋友蔵・戸長大森孫九郎→都宇郡長橋本貞固	明治十九年十一月十八日付地券書換下渡、都宇郡長橋本貞固の印がおされた付紙あり 罫紙
21-1-25-7	代替地券御書換願	明治19年11月12日	半・豎	仮1冊	備中国窪屋郡帯高村字十丁分ほか地所持主大橋秀太郎死去に伴う相続 大橋俊太郎・大橋長蔵・大橋友蔵・戸長西山澄→窪屋郡長森田佐平	明治十九年十一月十五日付地券書換下渡、窪屋郡長森田佐平の印がおされた付紙あり 罫紙
21-1-25-8	代替地券御書換願	明治19年11月12日	半・豎	仮1冊	備中国窪屋郡子位庄村字店ノ西ほか地所持主大橋秀太郎死去に伴う相続 大橋俊太郎・大橋長蔵・大橋友蔵・戸長高尾仙作→窪屋郡長森田佐平	明治十九年十一月十五日付地券書換下渡、窪屋郡長森田佐平の印がおされた付紙あり 罫紙
21-1-25-9	代替地券御書換願	明治19年11月12日	半・豎	仮1冊	備中国窪屋郡富久村字津木ほか地所持主大橋秀太郎死去に伴う相続 大橋俊太郎・大橋長蔵・大橋友蔵・戸長窪津大紀→窪屋郡長森田佐平	明治十九年十一月十五日付地券書換下渡、窪屋郡長森田佐平の印がおされた付紙あり 罫紙
21-1-25-10	代替地券御書換願	明治19年11月12日	半・豎	仮1冊	備中国窪屋郡浜村六百貳拾番字石見屋敷ほか地所持主大橋秀太郎死去に伴う相続 大橋俊太郎・大橋長蔵・大橋友蔵・戸長窪津大紀→窪屋郡長森田佐平	明治十九年十一月十五日付地券書換下渡、窪屋郡長森田佐平の印がおされた付紙あり 罫紙
21-1-26	[地所証明書関係書類]			1纏め(5通)		21-1-26-1~5重ねて一纏め
21-1-26-1	委任状	明治21年11月22日	豎紙	1通	倉敷村西原勘三郎へ権限を委任する 日笠哲夫へ売り渡した児島郡中疇村畑について、登記を請求すること他、登記に付て必要な一切について委任のこと 大橋寿・後見人名越為吉→(宛名なし)	罫紙
21-1-26-2	地所証明書	明治21年11月	豎紙	1通	備前国児島郡中疇村五百六拾貳番字三拾壹割伊升 一畑拾歩地価沓円五拾六銭三厘が自分の所有であることの証明を願う 大橋寿・後見人名越為吉→中疇村戸長布施虎雄	罫紙
21-1-26-3	地所証明書	明治21年11月	豎紙	1通	備前国児島郡中疇村五百六拾貳番字三拾壹割伊升 一畑拾歩地価沓円五拾六銭三厘が自分の所有であることの証明を願う 大橋寿・後見人名越為吉→中疇村戸長布施虎雄	罫紙
21-1-26-4	[訂正書]	年月日未詳	豎紙	1通	委任状中の文字の訂正について	
21-1-26-5	[地所証明書案文]	年月日未詳	豎切紙	1通		
21-1-27	印鑑証明願	明治21年1月10日	豎紙	1通	大橋寿・後見人名越為吉→窪屋郡倉敷村戸長植田年	(奥書)窪屋郡倉敷村戸長植田年 罫紙
21-1-28	[登記関係書類]			1袋(1通4纏め5綴3冊仮1冊1枚)		21-1-28-1~15一袋(袋上書)「明治廿年十二月 登記二付書類入東大橋」袋破損の為SILティッシュで包む
21-1-28-1	[屋敷の建物及び坪数・価格書上]	年月日未詳	横継紙	1通	旧宅之分、貸宅之分、現今居住之分	
21-1-28-2	[官簿ヨリ抜翠之建物坪数書上]			1纏め(2通)		21-1-28-2-1~2まで重ねて折られている 纏まっている為SILティッシュで包む
21-1-28-2-1	[油屋敷建物坪数書上]	年月日未詳	横折紙	1通	「右ハ廿九年九月十六日登記処へ出頭官簿ヲ抜翠之事」の朱筆あり	
21-1-28-2-2	[建物坪数書上]	年月日未詳	横折紙	1通	「右ハ廿九年九月十六日登記処へ出頭官簿ヲ抜翠之事」の朱筆あり	
21-1-28-3	地所建物譲渡登記願 大字平田地所建物	明治29年10月3日		1綴	譲渡人大橋寿 後見人名越為吉 譲受人難波克己 後見人難波昇二	建物の坪数の記された見取図あり 罫紙
21-1-28-4	地所変更登記願 倉敷町大字富久大字生坂大字子位庄	明治29年10月	半・豎	1冊	願人窪屋郡倉敷町千七拾七番邸大橋寿・後見人小田郡北川村大字走出百番邸名越為吉→玉島区裁判処倉敷出張所	罫紙
21-1-28-5	字地番号変更訂正二付登記願	明治29年10月3日	半・豎	1冊	願人窪屋郡倉敷町千七拾七番邸大橋寿・後見人小田郡北川村大字走出百番邸名越為吉→玉島区裁判所倉敷出張所	罫紙
21-1-28-6	[地所建物証明願]			1纏め(仮8冊)		21-1-28-6-1~8まで重ねて二ツ折にされて一纏め
21-1-28-6-1	建物証明願	明治20年12月27日	半・豎	仮1冊	大橋俊太郎死亡に付き相続の為の建物証明願 相続人大橋寿・後見人名越為吉・親族大橋長蔵・親族大森藤次郎→窪屋郡倉敷邸戸長植田年	(奥書)窪屋郡倉敷村戸長植田年(明治二十年十二月二十八日付) 罫紙
21-1-28-6-2	建物証明願	明治20年12月27日	半・豎	仮1冊	大橋俊太郎死亡に付き相続の為の建物証明願 相続人大橋寿・後見人名越為吉・親族大橋長蔵・親族大森藤次郎→窪屋郡倉敷邸戸長植田年	(奥書)窪屋郡倉敷村戸長植田年(明治二十年十二月二十八日付) 罫紙

21-1-28-6-3	地所譲り渡証書	明治24年4月28日	半・豎	仮1冊	地所譲渡人名越為吉→大橋寿・後見人名越為吉	奥に玉島区裁判所倉敷出張所の登記済の印あり(明治二十四年四月廿八日付)
21-1-28-6-4	建物登記済証下附願	明治20年12月29日	美・豎	仮1冊	建物持主死亡に付き登記済証下附願 相続人大橋寿・後見人名越為吉→窪屋郡倉敷登記所	罫紙
21-1-28-6-5	地所登記済証下附願	明治20年12月29日	美・豎	仮1冊	地所持主死亡に付き登記済証下附願 大橋俊太郎相続人大橋寿・後見人名越為吉	罫紙 「登記済」の朱筆と「倉敷登記所」の印あり(明治二十年十二月廿九日付)
21-1-28-6-6	地所証明願	明治21年12月27日	美・豎	仮1冊	相続人大橋寿・後見人名越為吉・親族大森藤次郎・親族大橋長蔵→都宇郡前湯郷戸長大森孫九郎・前湯村戸長代理用掛大森二吉が証明	罫紙
21-1-28-6-7	建物登記済証下附願	明治20年12月29日	美・豎	仮1冊	大橋俊太郎相続人大橋寿・後見人名越為吉→窪屋郡倉敷登記所	罫紙
21-1-28-6-8	地所登記済証下附願	明治21年1月12日	美・豎	仮1冊	大橋俊太郎相続人大橋寿・後見人名越為吉→下撫川登記所	罫紙 「登記済」の朱筆と「倉敷登記所」の印あり(明治貳拾年正月拾貳日付)
21-1-28-7	[建物建築御届扣]	明治29年9月		1綴	持主大橋寿・後見人名越為吉→倉敷町長植田年	最後に建物の見取図が付けられている
21-1-28-8	明治廿九年十月 地所建物登記変更願扣 大字平田地所建物	明治29年10月	半・豎	1冊	後見人証明願・地所建物登記簿変更願 窪屋郡倉敷町千七拾七番邸願人大橋寿・小田郡北川村大字走出百番邸後見人名越為吉→玉島区才判処倉敷出張	
21-1-28-9	[登記等書抜分所有地]	年月日未詳	半・横長	仮1冊	浜ノ一、浜ノ二、生坂ノ一、生坂ノ二、子位庄分ノ一、子位庄分ノ二、子位庄ノ三、子位庄ノ四	
21-1-28-10	[建物絵図面]			1纏め(2枚)		21-1-28-10-1~2まで重ねて四ツ折にされている
21-1-28-10-1	[窪屋郡平田村字村中廿五番邸之内ニ在ル建物絵図面]	年月日未詳	豎紙	1枚		「平田村建物登記第四号」の朱印あり
21-1-28-10-2	[窪屋郡平田村字村中廿五番邸之内ニ在ル建物絵図面]	年月日未詳	豎紙	1枚		
21-1-28-11	宅地并二建物売買二付登記願扣	明治29年10月2日		1綴	後見人証明願・宅地并二建物売渡証・建物絵図面が一綴 売渡人大橋寿・後見人名越為吉・親族夫大橋高之→買受人長原勝五郎	
21-1-28-12	[貸附地所絵図面]			1纏め(2枚)		21-1-28-12-1~2まで重ねて折られている
21-1-28-12-1	窪屋郡倉敷村字新川埋出し百貳拾四番地千七拾七番邸之内ニ在ル建物	明治20年12月27日	豎紙	1枚	譲受人大橋寿・後見人名越為吉・親族大橋長蔵・親族大森藤次郎の署名あり	「倉敷村建物登記第五十九号より六十二号迄」の朱印あり
21-1-28-12-2	窪屋郡倉敷村字阿知庄立道南四百四拾九番地ニ在ル建物	明治20年12月27日	豎紙	1枚		「倉敷村建物登記第五十九号より六十二号迄」の朱印あり
21-1-28-13	[窪屋郡倉敷村字油屋敷六百貳拾六番地五百四拾番邸ニ在ル建物絵図面]	明治20年12月29日	豎紙	1枚	譲受人大橋寿・後見人名越為吉・親族大橋長蔵・親族大森藤次郎の署名あり	「倉敷村建物登記第五十九号より六十二号迄」の朱印あり
21-1-28-14	証明御願	明治29年9月		1綴	番邸相違ない旨証明願及び窪屋郡倉敷町字阿知庄立道南二在ル建物絵図面が綴られている 願人大橋寿・後見人名越為吉→倉敷町長植田年	
21-1-28-15	建物取壊于変更登記願扣	明治29年9月18日		1綴	建物変更并二取壊于願 窪屋郡倉敷町字油屋敷五百四拾番邸之内ニ在ル建物絵図面が綴られている 願人大橋寿・後見人名越為吉・新属夫大橋高之・親族代父大橋長蔵→玉島区裁判所倉敷出張所	
21-1-29	[小作地書上](下書カ)	年月日未詳	豎紙	5枚	浜分 惣反別巻町八反八畝九歩 子位庄分 惣反別七町四反四畝廿四歩	3枚白紙 重ねて半分折られていた 罫紙
21-1-30	[田畑・地価・地租書上]	年月日未詳	豎紙	1通	富久分	印刷の用紙の裏を利用したメモ
21-1-31	明治廿六年一月調統計	明治26年1月	豎紙	1通(2枚)	地租・地価の統計 倉敷町分・生阪分・子位庄分	罫紙
21-1-32	[濱村字岩見屋敷田畑略絵図]	年月日未詳	豎紙	1枚	「鉄道用地・地主元大橋・地主山川・東大橋」などの記載あり	
21-1-33	[地価・地租・反別書上]	年月日未詳	豎紙	1通	倉敷・生坂・子位庄・浜分	「地価・地租・預ヶ米」等を記載する為に印刷された台紙の裏を利用
21-1-34	[地価反別書上]	年月日未詳	半・豎	仮1冊	生阪分・子位庄分・浜分・富久分	罫紙
21-1-35	[小作地関係書類]			1袋(2通)		21-1-35-1~2一袋(袋上書)「児島郡中疇村 一畑三畝廿五歩 売渡人小野末 未第一月二日求之」
21-1-35-1	小作証券	明治15年1月2日	豎切紙	1通	備前児島郡中疇村四畝廿五歩 小作人山本正吉→窪屋郡倉敷村大橋秀太郎	(端裏書)「中疇村山本庄吉」
21-1-35-2	地所永世売渡書	明治6年1月	豎紙	1通	畑三畝四歩、地価拾四円七拾銭と畑廿五歩、地価三円八拾銭、売買代金貳拾六円八拾三銭三厘 児島郡中疇村売渡人小野末・証人仁科信太郎→倉敷村大橋秀太郎	(奥書)戸長佐藤年太
21-1-36	[土地売買証書類]			1袋(3通)		21-1-36-1~3一袋(袋上書)「西坂字加須 一田九畝歩 劔持文治 庚辰三月六日求之」
21-1-36-1	小作証券	明治13年3月	豎紙	1通	字加須 田九畝歩 預り米三俵 窪屋郡西坂村小作人劔持治三吉・本村証人同文治→倉敷村大橋秀太郎	罫紙
21-1-36-2	永代売渡田地証書	明治13年3月6日	豎紙	1通	字加須 田九畝歩 地価四拾貳円貳拾三銭 代金九拾五円 窪屋郡西坂村主劔持文治・本村証人劔持保太郎→本郡倉敷村大橋秀太郎	罫紙
21-1-36-3	地券証書換願	明治13年4月10日	豎紙	1通	字加須 九畝歩 窪屋郡生坂村西坂売渡人劔持文治・同郡倉敷村買受人大橋秀太郎・戸長高尾仙作→窪屋郡長林孚一	朱書の決済証書貼付 罫紙
21-1-37	[田地売買関係書類]			1袋(6通)		21-1-37-1~6一袋(袋上書)「明治十一年寅四月求之 金貳百貳拾七円五銭 平田村難波景次」

21-1-37-1	証(地券証書換願中に授与された次第引渡す旨を証す)	明治11年4月10日	横継紙	1通	窪屋郡平田村難波景二・富久村横山久次郎・子位庄村大角万作→窪屋郡倉敷村大橋秀太郎	
21-1-37-2	小作証文之事	明治11年4月10日	縦紙	1通	田壹反六畝廿七步 預米貳石 窪屋郡生坂村小作人木村松三・同郡富久村証人横山久次郎・同郡小位庄村証人大角万作→同郡倉敷村大橋秀太郎	
21-1-37-3	記(反別收穫高・地価・租税村費金等書付)	年月日未詳	横継紙	1通	窪屋郡生坂村内分	字入樋千九百五拾番については内訳を朱筆した付紙あり
21-1-37-4	書抜之事	年月日未詳	横切紙	1通	生坂村田地について 千九百四十番 一畝反貳畝拾五步 字入樋 他3筆の收穫・地価・預り米の書付	
21-1-37-5	小作証文之事	明治11年4月10日	縦紙	1通	田六畝廿七步 預米九斗 窪屋郡生坂村小作人江国勘吉・同郡富久村証人横山久次郎・同郡子位庄村証人大角万作→同郡倉敷村大橋秀太郎	
21-1-37-6	地所売買渡証書	明治11年4月10日	縦継紙	1通	備中国窪屋郡生坂村耕地計四段七畝廿四步 売買代価貳百貳拾七円五銭 売渡人難波景二・証人横山久次郎・同大角万作→大橋秀太郎	(奥書)戸長三宅染次・戸長高尾仙作
21-1-38	[田地売買関係書類]			1袋(仮1冊2通 1枚1纏め)		21-1-38-1~5一袋 (袋上書)「子位庄ノ内字太才 田貳反四畝貳拾壹步 代金百九拾三円九拾銭 卯四月二日求焉 売渡人窪津作太」
21-1-38-1	[子位庄村内小作地略絵図]	年月日未詳	横切紙	1枚	字太才 小作人本村 和市 字太才 小作人本村 小三郎 字馬場 小作人西村 義三七 それぞれの耕地の略絵図	
21-1-38-2	記(地券証受取賃並びに証印税受取証)	(明治)12年4月2日	横切紙	1通	子位庄村戸長役場→倉敷村大橋秀太郎	
21-1-38-3	記(小作地書上)	年月日未詳	横切紙	1通	窪津小三郎・藤井和市分小作地反別・地価・預米書付	
21-1-38-4	記(畑改正地券書換願)	明治11年12月15日	半・縦	仮1冊	九百十番内字西鹿爪下々畑七畝歩他3筆 子位荘村窪津作太→倉敷村大橋秀太郎	罫紙
21-1-38-5	[小作証文類]			1纏め(仮1冊2通)		21-1-38-5-1~3が重ねて三ツ折にされている もとは一綴にされていたものカ
21-1-38-5-1	地所売渡証書	明治12年4月2日	半・縦	仮1冊	田地合貳反四畝廿壹步 売買代価合百九拾三円九拾銭 窪屋郡子位庄村売渡人窪津作太・証人窪津有常・同大角万作・富久村同横山久次郎→窪屋郡倉敷村大橋秀太郎	罫紙
21-1-38-5-2	小作証文之事	明治12年5月6日	縦紙	1通	備中国窪屋郡子位庄村九百五十六 田壹反三畝六步 預り米壹石八斗八升 子位庄村小作人山崎熊吉・同村証人大角万作・富久村横山久次郎→倉敷村大橋秀太郎	罫紙
21-1-38-5-3	小作証文之事	明治12年4月	縦紙	1通	子位庄村九百五拾三番 田壹反壹畝五步 預り米壹石五斗 小作人子位庄村窪津小三郎・証人大角万作・富久村証人横山久次郎→倉敷村大橋秀太郎	
21-1-39	耕地売渡証文之事	明治15年3月10日	縦継紙	1通	反別合貳反四畝歩 地価合百五拾四円六銭 売買代金貳百四拾円 売渡人新宅大橋徳蔵・証人大橋長蔵→本家大橋秀太郎	(袋上書)「凹屋郡富久村 一田貳反四畝歩 代金百五拾四円六銭 売主大橋徳蔵」(中包上書)「耕地売渡証文壹通」(奥書)富久村戸長堀平十郎(明治十五年三月十一日付)
21-1-40	[小作地売渡関係書類]			1袋(3通)		(袋上書)「窪屋郡倉敷村新田 一田九反九畝九步 売渡人藤原重太郎 藤原基四郎 代金壹千四百三拾九円八拾五銭 明治十四年一月求之」
21-1-40-1	田地売渡証券	明治14年1月17日	縦継紙	1通	合反別六反六畝壹歩 地価四百五拾五円拾五銭 売買代価千拾六円九拾壹銭三厘 窪屋郡倉敷村売渡人藤原基四郎・証人杉尾千次郎→大橋秀太郎	(奥書)戸長植田鶴次郎
21-1-40-2	記(小作地地価反別預米書上)	(明治14カ)年11月	横継紙	1通	倉敷新田未屋敷田貳反拾七步他7筆 畝合壹町四畝歩 地価合八百三拾壹円六十七銭	虫損あり 要注意
21-1-40-3	田地売渡証券	明治14年11月17日	縦継紙	1通	合反別三段三畝八歩 地価貳百五拾四円六銭 売買代価五百拾貳円三拾銭 窪屋郡倉敷村売渡人藤原重太郎・証人杉尾千次郎→大橋秀太郎	(奥書)戸長植田鶴次郎
21-1-41	[田地売買関係書類]			1袋(2通1丁)		21-1-41-1~3一袋 (袋上書)「窪屋郡生坂之内西坂千六拾貳番 一田壹反拾貳歩 売渡人目黒多喜 代百拾七円 辰二月五日求之」
21-1-41-1	田地売渡証文之事	明治13年2月	縦紙	1通	備中国窪屋郡生坂村之内西坂千六拾貳番字北六反ヶ坪 一田壹反拾貳歩 地価七拾三円四拾七銭 売買代価百十七円 売主生坂村目黒多喜・証人同村江国磯吉→大橋秀太郎	
21-1-41-2	売買地券書換御願	明治13年4月10日	縦紙	1通	備中国窪屋郡生坂村之内西坂千六拾貳番字北六反ヶ坪 一田壹反拾貳歩 売主目黒多喜・買受人大橋秀太郎・戸長高尾仙作→窪屋郡長林孚一	朱書の決済証書貼付
21-1-41-3	小作証券事	明治13年2月	縦紙	1丁	生坂村之内西坂字六ヶ坪 田壹段拾貳歩 預ヶ米四俵五升 生坂村小作人目黒多喜・生坂村証人江国磯吉→倉敷村大橋秀太郎	罫紙
21-1-42	[小作地売渡関係書類]			1袋(仮1冊2通 1纏め)		21-1-42-1~4一袋 (袋上書)「窪屋郡生坂村之内西坂 一田貳反八畝拾五歩 黒瀬喜太郎 代金貳百拾五円 庚辰十二月求之」
21-1-42-1	[小作証文]			1纏め(3通)		21-1-42-1-1~3まで重ねて折り畳んであった
21-1-42-1-1	小作証文之事	明治14年	縦切紙	1通	窪屋郡西坂村字水別 一田壹反歩 預米八斗七升五合 生坂村小作人目黒時平・証人黒瀬喜太郎→大橋秀太郎	台紙は証券界紙

21-1-42-1-2	小作証文之事	明治14年	堅切紙	1通	窪屋郡西坂村字水別 一田壺反歩 預米七斗四升六合六勺 西坂村小作人横田喜之助・生坂村証人黒瀬喜太郎→大橋秀太郎	台紙は証券界紙
21-1-42-1-3	小作証文之事	明治14年	堅切紙	1通	窪屋郡西坂村字茶屋口 八畝廿七歩 預米壹石貳升 生坂村 小作人常見豊吉・証人黒瀬喜太郎→大橋秀太郎	台紙は証券界紙
21-1-42-2	土地売渡証文	明治13年12月28日	堅継紙	1通	田四畝三歩他7筆 売買代金合貳百拾五円 生坂村売渡人黒瀬 喜太郎・証人江国儀吉→大橋秀太郎	(奥書)戸長高尾仙作
21-1-42-3	[地券証書換願]	明治14年4月1日	半・堅	仮1冊	備中国窪屋郡生坂村内西坂二百拾番他7筆 売渡人黒瀬喜太 郎・買受人大橋秀太郎・戸長高尾仙作→窪屋郡長林孚一	決済証書貼付
21-1-42-4	書抜	年月日未詳	横折紙	1通	小作地の地価・預ヶ米などの書抜	
21-1-43	[備前国児島郡中疇村所在建物関係書類]			1括り(2包)		21-1-43-1~2紙纏りで一括り
21-1-43-1	[書状]			1袋(2通2袋)		21-1-43-1-1~4一袋 (袋上書)「明治11年寅七月十日中疇村松原 善吉小麦此方土蔵へ入有に付秀太郎所有物と心得鍵持挿一条に 付鷺江氏に贈答書状入」
21-1-43-1-1	[大橋徳蔵宛鷺江小文太書状]	年未詳7月13日	横継紙	1通	杉原小麦入蔵の件と鍵は暫時自分が預かり追日返上のこと 「寅八月九日 中疇此方土蔵鍵匙ツ取替 鷺江勝六 使同村大 黒屋取次大國卯三郎」	(封筒上書)「大橋徳蔵様 鷺江小文太 呈書」 罫紙
21-1-43-1-2	[覚書]	寅年8月9日	横切紙	1通		
21-1-43-1-3	[書状類]			1袋(2通)		21-1-43-1-3-1~2一袋 (封筒上書)「大橋長蔵様 鷺江小文太 視 北」
21-1-43-1-3-1	[書状]	年月日未詳	横切紙	1通	杉原小麦、十七日に取渡しが済んだとの由、手数をかけたこと への礼及び鍵を随かに受け取ったことを報知	宛名・差出人不詳
21-1-43-1-3-2	[大橋宛鷺江書状]	年未詳7月30日	横切紙	1通	杉原小麦については十七日に取渡しが済んだので鍵を返上する	罫紙
21-1-43-1-4	[大橋長次宛鷺江小文太書状]			1袋(3通)		21-1-43-1-4-1~3一袋 (封筒上書)「倉敷大橋長次様」(封筒裏 書)「中疇鷺江小文太」
21-1-43-1-4-1	[鷺江小文太宛大橋徳蔵書状]	年未詳7月10日	横継紙	1通	秀太所持の小麦については実ニ善吉殿の品物であり気の毒な ことである 秀太に説諭下さる様に依頼する 一昨日の紙面により小麦一條は秀太に関係のないことは承知し た 昨期秀太に面談したところ節出の申出はなかったが実ニ善 吉殿には気の毒なことであったので今日鍵を持参させる	
21-1-43-1-4-2	[鷺江小文太宛大橋徳蔵書状]	年未詳7月11日	横切紙	1通		
21-1-43-1-4-3	[大橋長次宛鷺江小文太書状]	年未詳7月10日	横継紙	1通	小麦を地子蔵に入れたことについては秀太は関係なく此頃は中 買稼の最中である 今般の所は特別の思召を以て御用捨を願う	
21-1-43-2	[明治十一年四月十日建家書入質証文并絵図]			1袋(仮2冊3 通)		21-1-43-2-1~5一袋 (袋貼書)「明治十一年四月十日建家書入質 証文并絵図各巻通 借用主赤木秀太 証人森定勘介」
21-1-43-2-1	建家書入金借用之証写	明治11年4月10日	半・堅	仮1冊	金七拾円借用、質主中疇村四拾三番地の建物 備前児島郡中 疇村四十三番地借主赤木秀太・証人森定勘七→金主倉敷村大 橋秀太郎	(奥書)戸長鶴崎忠三郎 同鷺江勝六 副戸長呼松源吾 同佐藤市 太郎
21-1-43-2-2	[返済延期につき証文写]	明治11年9月7日	堅紙	1通	明治12年1月20日迄返済延期につき後の為証文写 中疇村佐 藤市太郎→倉敷村大橋秀太郎	21-1-43-2-1に付属カ
21-1-43-2-3	証書面(質・建物書上并に絵図面)	明治11年4月10日	堅継紙	1通(2枚)	明治十一年四月書入質 第三拾六区六番小区児島郡中疇村四 拾三番地建物瓦葺門一棟ほか計六棟 建物主赤木秀太→金主 倉敷村大橋秀太郎	
21-1-43-2-4	[倉敷村大橋秀太郎宛中疇村佐藤市太郎書状]	年未詳1月30日	横継紙	1通	借入金につき二月一日中疇村高竹柳吉が持参すること 内に罫 紙断簡ありて、季限廻り委曲承知のこと書付あり	(封筒表書)「倉敷村大橋秀太郎様」(封筒裏書)「中疇村佐藤市太 郎」
21-1-43-2-5	記(中疇村赤木秀太所持建物書上)	明治11年4月	半・堅	仮1冊	備前国児島郡中疇村赤木秀太所持建物、第一番瓦葺門ほか計 六棟 大橋秀太郎→第拾壱戸長役場	「控」の書付あり
21-1-44	明治三十年二月二十日 書画幅書道具扣帳 東大橋	明治30年2月20日	美・横長	1冊		
21-1-45	[難波氏所有地所・建物譲渡関係書類一括]			1袋(仮1冊2通 1纏め)		21-1-45-1~4一袋 (袋上書)「万寿村大字平田難波氏分地所建物 譲渡書類入 但建物絵図面元ノ分不整頓ニ付面接之際書類調整方 同氏工委託スヘキコト 明治廿九年九月調」
21-1-45-1	[難波景二はがき一括]			1纏め(2通)		21-1-45-1-1~2まで重ねて二ツ折
21-1-45-1-1	[名越為吉宛難波景二はがき]	年未詳9月25日	はがき	1通	すぐに帰国するはずが病人なども出て延引していること、建物間 数など不明の点は万寿村戸長役場に人を遣わして確認するこ と、帰国したら書類を認めて差し出すことなどを伝える	(表書)「備中窪屋郡倉敷町東大橋ニテ名越為吉様 在阪難波景二」 (表書)「備中窪屋郡倉敷町字新川東大橋ニテ名越為吉様 在阪難 波景二 九月廿七日午前九時」
21-1-45-1-2	[名越為吉宛難波景二はがき]	年未詳9月27日	はがき	1通	明後日くらいに出宅する心算であること、書類の件などについて 伝える	
21-1-45-2	[難波景二宛名越為吉書状]	年未詳9月28日	横切紙	1通	登記の件につき4、5日の内に示達すると景二の返答を承知し たこと、取替した金員の元利を返却してほしいこと、名義換の次 第を書き入れた証券を送ってほしいことなどを伝える	
21-1-45-3	[難波景二宛名越為吉書状]	年未詳9月24日	横継紙	1通	先方で発生した洪水の様子を尋ね、地所建物等代替登記上願 書類の調整について売渡建物の間数・売渡証の宛名など不明 な点を面接の上で確認したいと伝える	(上書)「難波景二様 本日郵送いたし候扣也」



21-1-45-4	地所証明願	明治21年1月	半・豎	仮1冊	地所持主死亡につき、相続登記請願のため窪屋郡平田村六百九拾番字城之西ほかの地が大橋俊太郎所有地で間違いないかどうか証明を乞う 窪屋郡倉敷村五百四拾番邸大橋俊太郎相続人大橋寿・後見人名越為吉・親族難波景二・親族三宅璋平→窪屋郡平田村戸長窪津大紀	罫紙
21-1-46	[屋敷増築・移転関係書類一括]			1包(3枚1綴1包1通1纏め)		21-1-46-1~7一包 包紙あり(包紙上書)「家宅絵図但其外共入」
21-1-46-1	[屋敷絵図]	年月日未詳	豎紙	1枚	本屋・間部屋・平納屋・土蔵・雪隠・湯殿・井戸の柱間を示す	
21-1-46-2	[白紙]	年月日未詳	12.6×8.5	1枚		和紙の断片
21-1-46-3	御届	明治22年8月27日		1綴	明治19年に先主大橋俊太郎が届け出た後、増築したので改めて別紙図面を届け出たもの 倉敷村千七拾七番邸大橋寿・後見人名越為吉→窪屋郡倉敷村長植田年	
21-1-46-4	[米粒]	年月日未詳		1包		和紙を折った袋に封入されている 6粒の米
21-1-46-5	[吉日占い]	年月日未詳	横継紙	1通	家移り、建始めに最適な吉日を示したもの	
21-1-46-6	[吉日・吉方占い一括]			1纏め(1通2纏め)		21-1-46-6-1~3まで折込一括
21-1-46-6-1	[吉日占い一括]			1纏め(3通)		21-1-46-6-1-1~3まで巻込一括
21-1-46-6-1-1	[吉日占い]	年月日未詳	横切紙	1通	三十二歳乙卯生まれの人が南の方へ家移りするのに最適な吉日を示したもの	
21-1-46-6-1-2	[吉日占い]	年月日未詳	横切紙	1通	取掛り・南の方へ家移りするのに最適な吉日を示したもの	
21-1-46-6-1-3	[吉日占い]	年月日未詳	横継紙	1通	乙卯生まれの人が南の隠居へ家移りするのに最適な吉日を示したもの	
21-1-46-6-2	[吉日占い一括]			1纏め(4通)		21-1-46-6-2-1~4まで巻込一括
21-1-46-6-2-1	[吉方占い]	年月日未詳	横切紙	1通	「北ノ外本年吉辰ハ無御座」と本年の恵方を知らせる	
21-1-46-6-2-2	[小山秀思考転居占い]	年月日未詳	横切紙	1通		
21-1-46-6-2-3	[吉方位・吉日占い]	年月日未詳	横切紙	1通	小山秀カ 転居に最適な方角・月日を示したもの	
21-1-46-6-2-4	[吉方位・吉日占い]	年月日未詳	横継紙	1通	小山秀 転居に最適な方位・月日を示したもの	
21-1-46-6-3	[吉方占い]	丁亥年旧5月	横切紙	1通	建始は「丙午丁」の方がよい旨を知らせる	
21-1-46-7	[屋敷絵図]	年月日未詳	豎紙	1枚	畳数が記入されている	東に「横町往還」の書付あり
21-1-47	[印鑑証明願一括]			1纏め(4通)		21-1-47-1~4まで重ねて四ツ折
21-1-47-1	印鑑御証願	明治22年11月	豎紙	1通	備前国上道郡高島村大字中井四番邸平民大森藤次郎→高島村大森久五郎	高島村長大森久五郎の決裁あり
21-1-47-2	印鑑御証願	明治22年11月17日	豎紙	1通	印鑑証明願 備中国窪屋郡万寿村大字平田廿五番邸平民難波景二→村長江口竹太郎	万寿村長江口竹太郎の決裁あり
21-1-47-3	印鑑御証明願	明治22年11月28日	豎紙	1通	備中国窪屋郡倉敷村千七拾七番邸寄留名越為吉→窪屋郡倉敷村長植田年	罫紙 倉敷村長植田年の決裁あり
21-1-47-4	印鑑御証明願	明治22年11月28日	豎紙	1通	備中国窪屋郡倉敷村千七拾七番邸大橋寿・後見人名越為吉→窪屋郡倉敷村長植田年	罫紙 倉敷村長植田年の決裁あり
21-1-48	[長原勝五郎関係書類]			1袋(2枚4通1綴2袋1纏め)		21-1-48-1~10一袋 (袋上書)「一金六拾円 長原勝五郎 内二十円 弥一分」
21-1-48-1	[明治十七年八月三十日売渡屋敷絵図面]	年月日未詳	豎紙	1枚	備中国窪屋郡倉敷村八百六拾三番地建物 岡山県備中国窪屋郡倉敷村千五百五拾壹屋敷居住長原勝五郎→大橋秀太郎	
21-1-48-2	証(宅地建物買受証)	明治17年9月1日	豎紙	1通	向市場東側宅地建物 買主大橋秀太郎・証人大橋弥一→長原勝五郎	罫紙
21-1-48-3	差入申証券	明治29年9月		1綴	字向市場千式百五番地二在建物の絵図面も綴られている 窪屋郡倉敷村借宅人千四百九拾三番邸長原勝五郎→同郡同町大橋寿・後見人名越為吉	罫紙
21-1-48-4	[大橋弥一関係証書類]			1袋(仮1冊2通)		21-1-48-4-1~3一袋 (袋上書)「東大橋様 弥一 請取書在中」
21-1-48-4-1	記(元利勘定書)	明治27年8月	横継紙	1通	金貳拾円 大橋弥一→東大橋	
21-1-48-4-2	[名越宛弥一用状]	年未詳8月15日	横切紙	1通	勘定書差出しのこと 弥一→名越	
21-1-48-4-3	記(請取証)	明治27年8月15日	半・豎	仮1冊	元利合三拾六円の内 大橋弥一→大橋寿後見名越為吉	罫紙
21-1-48-5	証(借用証)	明治17年9月1日	豎紙	1通	長原勝五郎貸付金五拾円の内貳拾円 大橋秀太郎代証大橋俊太郎→大橋弥一	
21-1-48-6	証(借用証書)	明治17年9月1日	豎紙	1通	長原勝五郎貸付金六拾円の内貳拾円 大橋秀太郎代証大橋俊太郎→大橋弥一	(裏書)「明治廿三年五月三十日 表書金の貳拾円の内へ金拾円を渡した旨を記す 大橋俊太郎相続人大橋寿 後見人名越為吉」全体が墨線で抹消されている
21-1-48-7	[長原勝五郎借用関係賞書]			1袋(2通)		21-1-48-7-1~2一袋 (封筒上書)「廿一年五月改メ 長原勝五郎江取替勘定入 但大橋弥一ヨリ書出ス分」
21-1-48-7-1	記(請取証)	明治23年5月30日	横切紙	1通	長原勝五郎六拾円取替金之内金拾円請取 大橋弥一→東大橋	
21-1-48-7-2	長原勝五郎取替金勘定	年月日未詳	横折紙	1通	明治十七年八月元金六拾円	
21-1-48-8	[封筒]	年月日未詳		1枚		中身なし (上書)「十八年七月三十日限 分証書通」
21-1-48-9	[地券証印税受取証]	明治17年9月1日		1通	倉敷村戸長植田甚三郎→長原勝五郎	専用紙使用
21-1-48-10	[売渡証書類]			1纏め(仮3冊)		21-1-48-10-1~3までが重ねて二ツ折にされている

21-1-48-10-1	建家売渡証券	明治17年9月1日	半・縦	仮1冊	建家ヶヶ所・瓦葺釜屋壱棟・瓦葺油殿壱棟 売主長原勝五郎・証人池田寿井→大橋秀太郎	(奥書)戸長植田基三郎 罫紙
21-1-48-10-2	地所永世売渡之証	明治17年9月1日	半・縦	仮1冊	宅地貳畝四歩 代価拾五円 窪屋郡倉敷村売渡人長原勝五郎・同郡同村保証人池田寿井→大橋秀太郎	(奥書)戸長植田基三郎 罫紙
21-1-48-10-3	借家請状之事	明治17年8月	半・縦	仮1冊	瓦葺本屋壱棟・瓦葺釜屋壱棟・瓦葺湯殿壱棟 窪屋郡倉敷村建家借主長原勝五郎・同郡同村保証人池田寿井→大橋秀太郎	罫紙
21-1-49	[新開関係書類]			1袋(4通)		21-1-49-1~4-袋 (袋上書)「連島上金屋ヨリ差入り証文写并歩方書類在中」
21-1-49-1	御新開銀主株讓証文事	享和2年6月	横切紙	1通	同国同郡連島西之浦海西御新開銀主歩方讓主上金屋恭蔵・銀主惣代片島村十内代珍曾次・御新開請負人庄屋三宅珍平次→倉敷中嶋屋金平	
21-1-49-2	[三宅勤作書状]	年月日未詳	横継紙	1通	戸長三宅貴一の持地売払の件につき至急協議したいので明後廿八日午前八時上成の小野九一郎宅まで出頭願いたい もし不参なれば「可然代理人」を差向けてほしい	
21-1-49-3	文化開文政開境堤諸下改惣計之写	年未詳9月10日	横折紙	1通		後欠
21-1-49-4	[歩方株惣高九歩貳厘につき内訳書付]	年月日未詳	縦紙	1通	弥平次他10名の氏名及び歩高	罫紙
21-1-50	明治廿三年己丑十月謄写 村々所有地台帳 下調 大橋寿	明治22年	美・横長	1冊	菅生村・万寿村・倉敷村	
21-1-51	[土地関係書類]			1袋(仮5冊3冊 23通3纏め)		21-1-51-1~34-袋 袋虫損の為SILティッシュで包む(袋上書)「明治[ ]年三月 浅口郡蘆新田村所有残地売捌書類入 大橋寿 後見人名越為吉」
21-1-51-1	明治廿二年四月調之 土地台帳下造写 浅口郡鶴新田村	明治22年4月	半・縦	1冊	持主大橋寿	
21-1-51-2	委任状	明治25年1月	縦紙	1通	登記取消請願ノ件についての委任状 備中国窪屋郡倉敷町千七拾七番邸居住平民大橋寿・後見人名越為吉→(宛名なし) 金九百円の返済証書 債主大橋寿・後見人名越為吉→亀島村 負債主平野春次郎	罫紙
21-1-51-3	返済証書	明治25年1月	縦紙	1通		罫紙
21-1-51-4	[返済証書雛形]	年月日未詳	縦紙	1通		罫紙
21-1-51-5	[返済証書雛形]	年月日未詳	縦紙	1通		罫紙
21-1-51-6	[山陽鉄道会社への土地売渡に関する書類]	明治24年7月	半・縦	仮1冊	売渡人大橋寿・後見人名越為吉→山陽鉄道会社社長中上川彦次郎	
21-1-51-7	天保八ノ割書出シ	年月日未詳	美・横長	1冊	蘆新田村大森繁次郎・岡野閑造・岡部熊吉・虫明常吉・渡辺宮吉・玉島村上成井上生一郎の反別・地価書上	
21-1-51-8	[地所変更願扣]	明治24年5月22日	縦紙	1通	倉敷村貳千五百拾壱番字西古開倉敷村六百拾八番字浜ノ道の地所訂正願い 倉敷村千七拾七番邸寄留名越為吉→玉島区裁判所倉敷出張所	罫紙
21-1-51-9	[登記願扣]	明治24年2月13日	縦紙	1通	万寿村大字富久八百番字築田畑八畝拾五歩買受に付き登記願い 地所買受人大橋寿・後見人名越為吉・親族木山巖太郎・親族木山精一→玉島区才判所登記掛	罫紙
21-1-51-10	[登記願扣]	明治24年2月13日	縦紙	1通	菅生村大字子位庄字亀ノ尾田壱反貳畝歩買受に付き登記願い 買受人大橋寿・後見人名越為吉・親族木山巖太郎・親族木山精一→玉島区裁判所登記掛	罫紙
21-1-51-11	登記願	明治24年4月28日	半・縦	仮1冊	倉敷村他地所拾六點無代価にて譲受けに付き登記願い 地所譲受人大橋寿・後見人名越為吉・親族難波景二・田辺弘三→玉島区裁判所倉敷出張登記掛	罫紙 欄外に「此分不用」の朱筆あり
21-1-51-12	持据之分	年月日未詳	半・縦	仮1冊	持据分の地所反別・地価取調書	罫紙
21-1-51-13	文化南ノ割 文政五ノ割 書出シ	年月日未詳	美・横長	1冊		
21-1-51-14	[雛型]			1纏め(2通)		21-1-51-14-1~2まで重ねてニツ折
21-1-51-14-1	[返済証書雛形]	年月日未詳	縦紙	1通		
21-1-51-14-2	[登記願雛形]	年月日未詳	縦紙	1通		
21-1-51-15	[地所変更願扣]	明治24年3月6日	縦紙	1通	蘆新田村字文化開南ノ割の土地の地目変更につき官簿訂正を願う 変更願人大橋寿・後見人名越為吉→玉島区裁判所登記掛	罫紙
21-1-51-16	[委任状扣]	年月日未詳	縦紙	1通	地目変更につき小林伊三郎へ権限委任のこと	罫紙
21-1-51-17	後見人証明願	明治23年12月24日	縦紙	1通	名越為吉が大橋寿の後見人であることの証明を願う 名越為吉→窪屋郡倉敷村長植田年	罫紙 (奥書)窪屋郡倉敷村長植田年
21-1-51-18	後見人証明願	明治23年12月24日	縦紙	1通	名越為吉が大橋寿の後見人であることの証明を願う 名越為吉→窪屋郡倉敷村長植田年	罫紙 (奥書)窪屋郡倉敷村長植田年 21-1-51-17と同じ
21-1-51-19	[代銀受取など]			1纏め(3通)		21-1-51-19-1に21-1-51-19-2~3が巻かれて一纏め
21-1-51-19-1	記(印紙代・手数料請取)	年未詳12月30日	縦切紙	1通	小林伊一郎一名越為吉	
21-1-51-19-2	記(酒肴代書付)	年未詳12月30日	横切紙	1通	大坂屋→上	
21-1-51-19-3	記(手数料請取)	年未詳12月31日	横切紙	1通	高見和平次→東大橋	
21-1-51-20	記(人別差引勘定書)	年月未詳30日	横継紙	1通		
21-1-51-21	記(村税・地租書上)	年未詳5月15日~12月6日	横継紙	1通		

21-1-51-22	仮証(地代金受取)	明治23年12月30日	横継紙	1通	残金皆済の後に本証と交換のこと 窪屋郡倉敷村大橋寿・後見人名越為吉・代理西原勘三郎→浅口郡小坂村虫明常吉	
21-1-51-23	[未済金書上]	年月日未詳	横切紙	1通		
21-1-51-24	廿三年度地方税地租割	(明治)23年	横切紙	1通		
21-1-51-25	[地価割書付]	年月日未詳	縦切紙	1通		
21-1-51-26	委任状	明治23年12月27日	縦紙	1通	所有地の登記変更について権限委任のこと 倉敷村千七拾七番邸大橋寿・後見人名越為吉→(宛名なし)	罫紙 墨書抹消
21-1-51-27	委任状	明治23年12月30日	縦紙	1通	売渡し土地の登記願いの権限を委任する 倉敷村千七拾七番邸大橋寿・後見人名越為吉→(宛名なし)	罫紙 墨書抹消
21-1-51-28	地所売渡し仮契約書	明治23年11月5日	縦紙	1通	九反五畝廿八歩の売渡し仮契約書 残金受取の後本証券登記済と交換のこと	宛名・差出人不詳 案文カ
21-1-51-29	[田畑売渡し金勘定書]	明治23年12月7日	縦紙	1通		罫紙
21-1-51-30	入金扣	年未詳12月4日~5日	縦紙	1通	石井庄吉・槇野初次郎・岡本庄三郎・大本繁次郎・岡部敬次郎・渡辺宮吉・斎藤嘉四郎より入金扣	罫紙
21-1-51-31	[入金請取書]			1纏め(8通)		21-1-51-31-1~8まで重ねて二ツ折
21-1-51-31-1	入金請取之証	明治23年12月4日	縦紙	1通	金拾円請取証 倉敷村大橋寿・代理西原勘三郎・西之浦村証人三宅仙造・高見和平二→西之浦村岡本庄三郎	罫紙
21-1-51-31-2	入金請取之証	明治23年12月10日	縦紙	1通	金貳拾円請取証 倉敷村大橋寿・代理西原勘三郎・西之浦村証人三宅仙造→西之浦村岡本重次	罫紙
21-1-51-31-3	入金請取之証	明治23年12月6日	縦紙	1通	金貳拾円請取証 倉敷村大橋寿・代理西原勘三郎・西之浦村証人三宅仙造・証人高見和平二→西之浦村岡本政吉	罫紙
21-1-51-31-4	入金請取之証	明治23年12月5日	縦紙	1通	金五拾円請取証 倉敷村大橋寿・代理西原勘三郎・西之浦村証人三宅仙造・証人高見和平二→鶴新田村斎藤嘉四郎	罫紙
21-1-51-31-5	入金請取之証	明治23年12月17日	縦紙	1通	金拾円請取証 倉敷村大橋寿・代理西原勘三郎・西之浦村証人三宅仙造→鶴新田村加藤石太郎	罫紙
21-1-51-31-6	記(金九拾五円受取証)	明治23年12月29日	縦紙	1通	倉敷村大橋寿・代人西原勘三郎→鶴新田村渡辺宮吉	
21-1-51-31-7	入金請取之証	明治23年12月5日	縦紙	1通	金拾円請取証 倉敷村大橋寿・代理西原勘三郎・西之浦村証人三宅仙造・証人高見和平二→鶴新田村渡辺宮吉	罫紙
21-1-51-31-8	入金請取之証	明治23年12月4日	縦紙	1通	金五拾円請取証 倉敷村大橋寿・代理西原勘三郎・西之浦三宅仙造・同村高見和平二→鶴新田村岡部敬次郎	罫紙
21-1-51-32	印鑑証明願	明治23年12月24日	縦紙	1通	名越為吉→倉敷村長植田年	罫紙 (奥書)窪屋郡倉敷村長植田年 押印された付紙あり
21-1-51-33	[人別地代金書上]	年月日未詳	半・縦	仮1冊	岡本松三郎・岡本政吉・岡本重次・斎藤源次郎・加藤石太郎・岡部熊吉・岡部関造・大本繁次郎・牧野初次郎・石井庄吉・渡辺宮吉・植木源治郎・小野秀次郎・藤沢末一・虫明常吉・井上生一郎	罫紙
21-1-51-34	[鶴新田村人別地価書上]	年月日未詳	半・縦	仮1冊		罫紙 最後に「此分ノコリノ書抜」の記載あり
21-1-52	以書附御届申上候	戌年11月	横継紙	1通	百姓文平の百姓株を妹りつに譲渡の件 文平・里ツ→村役人中窪屋郡子位庄村三百貳拾番字一ノ抱田壹反五畝廿四歩の小作証文 子位庄村小作人野田利三郎・証人松本分五郎→倉敷村大橋秀太郎	包紙あり(包紙上書)「上」
21-1-53	小作証券	明治15年4月30日	縦紙	1通	窪屋郡子位庄村之内字店之西九拾七番田八畝九歩の小作証文 窪屋郡子位庄村小作人坪井茂平・同郡同村証人坪井林蔵→窪屋郡倉敷村大橋秀太郎	(端裏書)「子村野田利三郎」(裏書)「去十七年度貸附金証書差入分返却のこと 東大橋店吉田元二(明治19年3月31日付)」
21-1-54	小作証券	明治14年11月20日	縦紙	1通	窪屋郡倉敷村大橋秀太郎	(端裏書)「西村坪井茂平」証券界紙を使用 罫紙
21-1-55	[捨子伊三郎一件]	丑年8月8日	横切紙	1通	捨子伊三郎を粕山村で預る経緯について	
21-1-56	借用証券	明治19年2月28日	縦紙	1通	明治十七年分小作米代残金貳円四拾銭の借用証 借用主荻原初吉・証人沢田義介→大橋俊太郎	(端裏書)「荻原初吉六月限証書」
21-1-57	[印鑑証明願・小作証文之事の綴]	明治32年1月28日・1月31日	半・縦	仮1冊	織井六次・水香萬蔵→窪屋郡倉敷町町長植田年(印鑑証明願)小作人織井六次・証人水香萬蔵→大橋高之(小作証文之事)	(奥書)窪屋郡倉敷町町長植田年 明治卅貳年壹月廿八日付の小作証文が合綴されている
21-1-58	借用証券	明治25年3月	縦切紙	1通	明治廿四年分小作米代残金四円五十銭の借用証 窪屋郡菅生村大字子位庄村借用主岡本庄三郎・同郡同村大字同所証人岡本平作→窪屋郡倉敷町大橋寿	(端裏書)「岡本庄三郎」
21-1-59	小作証券	明治21年3月	縦切紙	1通	窪屋郡子位庄村之内六百五拾番字向西村畑貳反壹畝九歩之内畑八畝八歩の小作証券 子位庄村小作人中村熊太郎・証人中村伝三郎→窪屋郡倉敷村大橋寿	(端裏書)「子位庄村分西村中村熊太郎」
21-1-60	小作証券	明治21年3月	縦紙	1通	窪屋郡子位庄村之内六筆の小作証券 子位庄村小作人中村信八・証人中村久八→窪屋郡倉敷村大橋寿	(端裏書)「子位庄村分西村中村元治郎」台紙は摺物
21-1-61	小作証券	明治21年3月	縦紙	1通	窪屋郡富久村之内貳百四拾三番字三本木畑壹反五畝の小作証券 子位庄村小作人高岡梅・証人高岡常太郎→窪屋郡倉敷村大橋寿	(端裏書)「富久村分高岡梅 西村徳太郎」台紙は摺物
21-1-62	小作証券	明治18年5月8日	縦紙	1通	窪屋郡富久村及び浜村之内二筆の小作証券 中村仲治郎・証人中村久八→窪屋郡倉敷村大橋秀太郎	(端裏書)「十八年 中村仲二郎 小作証」台紙は摺物
21-1-63	小作証券	明治18年3月3日	縦紙	1通	窪屋郡富久村貳百四拾番畑六畝廿四歩の小作証券 子位庄村小作人塚岡源吉・証人塚岡丈五郎→倉敷村大橋秀太郎	(端裏書)「子村塚岡元吉 役場書」台紙は摺物

21-1-64	借用申銀子之事	嘉永6年12月	縦紙	1通	備前丸6貫目の借用証文 借用主広田屋紋右衛門・取次証人西屋鯛助→中島屋亀次郎	(袋貼紙)「丑十二月取かへ 新札六貫目 広田屋紋右衛門 来寅十月切取かへ」(中包紙上書)「借用証文書通」
21-1-65	[服部借用関係書類]			1括り(1袋1通1枚)		21-1-65-1~3紙綴りで一括り
21-1-65-1	[封筒]	年月日未詳	35.1×7.5	1枚		中身なし(袋上書)「壬四月廿四日取かへ 金七拾両 服部頼母」
21-1-65-2	[立用銀関係書類]			1袋(1通1袋)		21-1-65-2-1~2紙綴りで括られて一袋 (袋貼紙書)「丑十二月取替ヨ 新田方渡り米貳百拾俵引当但百四拾俵と帳面二附込置候」
21-1-65-2-1	[服部図書立用米一条につき書状類]			1袋(2通1包)		21-1-65-2-1-1~3一袋 (袋上書)「午三月十七日 ひかへ 七前之分」
21-1-65-2-1-1	[中嶋屋金平宛石原権平書状]			1包(3通)		21-1-65-2-1-1~3一包 包紙あり(包紙上書)「中嶋屋金平様 御答 石原権平」
21-1-65-2-1-1-1	[中嶋屋金平宛石原権平書状]	年未詳2月14日	横継紙	1通	服部図書御立用米一件掛合の次第	
21-1-65-2-1-1-2	[石原権平宛中嶋屋金平書状]	年未詳2月8日	横継紙	1通	服部様御払込銀一条違約につき取り成しのこと	
21-1-65-2-1-1-3	口上書	年未詳12月27日	横切紙	1通	服部図書立用米三百俵代銀札九拾目につき掛合 文介→石原権平・金田和左衛門・岡源右衛門	
21-1-65-2-1-2	[中嶋屋金平宛石原権平書状]	年未詳3月16日	横継紙	1通	服部図書立用米につき江戸との掛合不調のこと	包紙あり(包紙上書)「中嶋屋金平 石原権平」
21-1-65-2-1-3	[石原権平宛中嶋屋金平書状]	年未詳3月19日	横継紙	1通	服部借用銀につき去暮迄の利分だけ請け取りのこと	
21-1-65-2-2	借用申銀子証文之事	嘉永6年12月	縦紙	1通	銀三拾貫目 備前家中服部亀之丞・親類加判丹羽藏人→備中倉敷中嶋屋金平	帯封あり(帯封上書)「証文書通 服部」 (袋貼紙上書)「戌十二月取かへ金五拾両 来亥十一月切返済約束 服部頼母」(帯封上書)「証文一通」
21-1-65-3	借用申金子証文之事	文久2年12月	縦紙	1通	五拾両の借用証文 服部頼母→大橋良介	
21-1-66	小作証券	明治21年3月17日	縦紙	1通	窪屋郡浜村之内二筆の小作証券 子位庄村小作人高岡猿松・証人高岡荒治郎→窪屋郡倉敷村大橋寿	(端裏書)「浜村分 西村 高岡猿松」台紙は摺物
21-1-67	借用証券	明治26年3月	縦紙	1通	金四円の借用証 窪屋郡菅生村大字子位庄借用主中村阪三郎・同郡同村同所証人岡本忠吉→窪屋郡倉敷町大橋寿・後見人名越為吉	(端裏書)「廿五年度証券 西村 中本阪三郎」台紙は摺物
21-1-68	小作証券	明治24年8月	縦紙	1通	窪屋郡菅生村大字子位庄之内三筆の小作証券 窪屋郡菅生村大字子位庄小作人岡本忠吉・同郡同村大字同所岡本武七→窪屋郡倉敷町大橋寿	(端裏書)「小作証券 子位庄岡本忠吉」
21-1-69	年賦証券	明治18年4月	縦折紙	1通	小作米代決算不足金九円四十五銭三厘の年賦借用証券 倉敷村田中直次郎・証人西原勘三郎→大橋秀太郎	(端裏書)「二十一年迄四ヶ年賦 毎年十月切 田中直二郎」
21-1-70	借用証券	明治26年3月	縦紙	1通	小作米代残金金壹円八拾銭の借用証券 借用主窪屋郡菅生村大字小位庄岡本忠吉・証人中本阪三郎→窪屋郡倉敷町大橋寿・後見人名越為吉	(端裏書)「廿五年分証券 西村 岡本忠吉」台紙は摺物
21-1-71	[土蔵・建家売渡証文他]			1括り(2通1袋)		21-1-71-1~3紙綴りで一括り
21-1-71-1	借用申金子之事	安政3年正月	縦紙	1通	金貳両貳歩の借用証 鶴新田忠平・引請代判二万村政右衛門・証人西原利七→倉敷大原源介	包紙あり(包紙上書)「辰正月十四日 金貳両貳歩 当辰三月切取かへ 鶴新田忠平 引受代判二万村政右衛門 証人西原利七」
21-1-71-2	[土蔵売渡証文他]			1袋(1冊1包)		21-1-71-2-1~2一袋 (袋上書)「安政二乙卯年瓦葺土蔵壹ヶ所但梁行式間桁行三間地覆共 代銀札壹貫目 安政二乙卯年二月買取候 世話人鶴新田忠蔵 栄吉 建屋式ヶ所 納屋式ヶ所 外二湯殿雪隠共此方取持地 文政開南式割拾五番地地面二相建有之分 代銀壹貫五百廿九匁四分八厘 同年十二月歎二付買取候分 世話人西原利七 二万村政右衛門 外二地所取上ヶノ訳共証文面二委敷御座候 鶴新田周平 同人悻石姿」
21-1-71-2-1	差入申一札之事	安政2年12月	縦継紙	1通	年貢及び借用銀調達致し難きにつき建物及び小作畑取上げになり差引過金受取のこと 鶴新田忠平・証人西原村利七・証人二万村政右衛門→倉敷村大橋源介	(帯封上書)「証文書通」
21-1-71-2-2	[売渡申土蔵証文之事他]			1包(3通)		21-1-71-2-2-1~3まで紙綴りで括られ包紙に包まれている (包紙上書)「書付書通入 外二小書付数通」
21-1-71-2-2-1	売渡申土蔵証文之事	安政2年2月	縦紙	1通	瓦葺土蔵壹ヶ所売渡のこと 鶴新田石松・証人同村忠蔵・同村栄吉→倉敷大橋亀次郎	
21-1-71-2-2-2	覚(取替銀勘定書)	寅年12月及び卯年3月	横継紙	1通	鶴新田周平分の寅十二月及び卯三月の二通の覚が継がれている	「庄屋江遣さ控」の書付あり
21-1-71-2-2-3	覚(区割別作物及び氏名書付)	年月日未詳	横継紙	1通		
21-1-71-3	建家壹ヶ所譲り証文之事	安政3年2月	縦紙	1通	弘化開年番中原道平・原左一郎・三宅庄平→倉敷大橋源助	(袋上書)「安政三丙辰年二月 一建家壹ヶ所但梁行式間桁行三間半 外二雪隠 代銀札五百目 右者鶴新田文政開南式割拾五番之此方地面二相建居候右会所買取証文在中 弘化開年番片島中原道平 同中しま原左一郎 同西之浦三宅庄平」
21-1-72	覚(新札受取)	寅年10月晦日	横切紙	1通	新札四百目受取 文助→新宅	包紙あり(包紙上書)「寅十月晦日 新札四百目 取かへ 大黒屋文助」
21-1-73	借用証券	明治26年3月	縦紙	1通	小作米代残金三円七拾銭の借用証券 窪屋郡菅生村大字小位庄借用主酒井文次郎・証人酒井若松→窪屋郡倉敷町大橋寿・後見人名越為吉	(端裏書)「廿五年分証券 西村 阪井文次郎」台紙は摺物

21-1-74	[借用書類]			1袋(3通)		21-1-74-1~3一袋 (袋貼紙上書)「午十一月書付書通 綿屋喜兵衛」
21-1-74-1	一札(借用証文)	文政5年11月	縦紙	1通	黒貳拾石の借用 借主綿屋喜兵衛→中嶋屋源助	(包紙上書)「浜之道綿屋手形」
21-1-74-2	[銀子元利書上]	年月日未詳	横折紙	1通	文政八酉年十一月元銀壹貫貳百目 天保六年から嘉永二年まで15年分の利息書上	
21-1-74-3	[元号改元の年書付]	年月日未詳	横切紙	1通	文政・天保・弘化・嘉永	
21-1-75	裏毛売渡証文之事	嘉永5年12月	縦紙	1通	預米四石五斗壹升三合を代銀壹貫三百目にて売渡しのこと 霧新庄屋善左衛門→霧新田霧元屋石叅	包紙あり(包紙上書)「子十二月 銀札壹貫三百目 石叅 善左衛門裏毛取揚証文書通」
21-1-76	[田地売渡書類]			1袋(2通)		21-1-76-1~2一袋 (包紙貼紙上書)「西四月元取かへ 一銀壹貫目 子位庄村武介 要吉 質地入取かへ」
21-1-76-1	売渡申田地之事	万延2年12月	縦継紙	1通	武介分 有畝壹反九畝 要吉分 有畝壹反八畝の田地売渡のこと 売主子位庄村武助・同要吉・証人川入村久治郎・取次西村万之丞→倉敷中島屋源助	(帯封上書)「証文書通入 子位庄武介」有畝内訳の貼紙あり(裏書)「文久元年西三月廿八日 奥書 子位庄村名主禎介 延助」
21-1-76-2	覚(預米書上)	年月日未詳	横折紙	1通	百七拾番辻ノ東、下田壹反貳拾三步ほか預米書上	末尾見取図に有畝を記した図あり
21-1-77	[譲与証券類]			1袋(仮13冊4通1纏め)		21-1-77-1~18一袋 (袋上書)「廿年一月 譲与証券入」袋破損の為SILティッシュで包む
21-1-77-1	地所証明願	明治20年12月27日	美・縦	仮1冊	大橋俊太郎死亡に付き相続の土地浅口郡鶴新田村四拾四番字寛政開式之割ほかの登記の為め 大橋俊太郎相続人大橋寿・後見人名越為吉・親族大橋長蔵・親族大森藤次郎→鶴新田村戸長山本鎮	罫紙 明治20年12月27日付浅口郡西之浦村外ヶ村戸長山本鎮の決済書あり
21-1-77-2	譲渡之証	明治20年1月10日	美・縦	仮1冊	備中国浅口郡鶴新田三百九拾九番字文政開四割ほか 譲渡人大橋俊太郎・保証人難波昇二・同名越為吉→大橋寿	罫紙 明治20年1月20日付浅口郡鶴新田村戸長矢部逸次郎の決済書あり
21-1-77-3	地所譲与之証	明治20年1月10日	美・縦	仮1冊	生坂村字蔵前田壹反拾五歩他18件、無償譲与のこと 窪屋郡倉敷村譲与人大橋俊太郎・同郡平田村親類保証人難波昇二・小田郡走出村親類保証人名越為吉→同郡同村大橋寿	罫紙 明治20年1月14日付窪屋郡生坂村戸長高尾仙作の決済書あり
21-1-77-4	地所譲与之証	明治20年1月13日	縦紙	1通	備中国窪屋郡西阪村字亀ノ甲田壹反四畝廿四歩、無償譲与のこと 窪屋郡倉敷村譲与人大橋俊太郎・平田村親類保証人難波昇二・小田郡走出村親類保証人名越為吉→大橋寿	罫紙 明治20年1月14日付窪屋郡西阪村戸長高尾仙作の決済書あり
21-1-77-5	地所譲与之証	明治20年1月12日	美・縦	仮1冊	窪屋郡浜村字石見屋敷田壹反四畝廿七歩ほか、無償譲与のこと 譲与人大橋俊太郎・保証人三宅璋平・名越為吉→大橋寿	罫紙 明治20年1月12日付窪屋郡浜村四ヶ村戸長窪津大紀の決済書あり
21-1-77-6	地所譲与之証	明治20年1月15日	美・縦	仮1冊	窪屋郡富久村字三本木畑九畝廿七歩ほか、無償譲与のこと 譲与人大橋俊太郎・保証人三宅璋平・名越為吉→大橋寿	罫紙 明治20年1月15日付窪屋郡富久村戸長代理用掛江口光三郎の公証書あり
21-1-77-7	地所譲与之証	明治20年1月13日	美・縦	仮1冊	窪屋郡子位庄村字店之西田壹反六畝拾八歩ほか、無償譲与のこと 譲与人大橋俊太郎・親類保証人難波昇二・名越為吉→大橋寿	罫紙 明治20年1月14日付窪屋郡子位庄村戸長高尾仙作の決済あり
21-1-77-8	[地番書上げ受取覚]	明治20年12月26日	横切紙	1通	「但シ地押訂正二付」の書付あり 惣代長山桂太→(宛名なし)	
21-1-77-9	譲与地券御書換願	明治20年1月13日	半・縦	仮1冊	備中国窪屋郡生坂村甲千四百拾番字地蔵前ほか 譲渡人大橋俊太郎・譲受人大橋寿・保証人難波昇二・保証人名越為吉・子位庄村西阪村三田村生坂村浅原村戸長高尾仙作→窪屋郡長森田佐平	罫紙 明治20年1月27日付窪屋郡長森田佐平決済の貼紙あり
21-1-77-10	譲与地券御書換願	明治20年1月19日	半・縦	仮1冊	窪屋郡富久村字三本木ほか 譲渡人大橋俊太郎・譲受人大橋寿・酒津村親類保証人三宅璋平・走出村保証人名越為吉・富久村浜村平田村大島村福島村戸長窪津大紀→郡長森田佐平	罫紙 明治20年1月29日付窪屋郡長森田佐平決済の貼紙あり
21-1-77-11	譲与地券御書換願	明治20年1月12日	半・縦	仮1冊	窪屋郡浜村六百貳拾番字石見屋敷ほか 倉敷村譲渡人大橋俊太郎・同譲受人大橋寿他親類保証人2名・富久村他4ヶ村戸長窪津大紀→窪屋郡長森田佐平	罫紙 明治20年1月29日付窪屋郡長森田佐平の決済書あり
21-1-77-12	譲与地券御書換願	明治20年1月15日	縦紙	1通	窪屋郡西阪村六番字亀ノ甲田壹反四畝廿四歩分 窪屋郡倉敷村譲渡人大橋俊太郎・譲受人大橋寿他保証人2名→窪屋郡長森田佐平	罫紙 明治20年1月27日付郡長森田佐平の決済書あり
21-1-77-13	譲与地券御書換願	明治20年1月13日	半・縦	仮1冊	備中国窪屋郡子位庄村九拾七番字店ノ西ほか 譲渡人大橋俊太郎・譲受人大橋寿・保証人難波昇二・保証人名越為吉・戸長高尾仙作→窪屋郡長森田佐平	罫紙 明治20年1月27日付窪屋郡長森田佐平決済の貼紙あり
21-1-77-14	売買地券御書換願	明治20年1月17日	半・縦	仮1冊	備中国窪屋郡倉敷村六百貳拾四番字新川埋出しほか 売渡人大橋俊太郎・買受人名越為吉・戸長植田年→窪屋郡長森田佐平	罫紙 明治20年1月21日付窪屋郡長森田佐平決済の貼紙あり
21-1-77-15	地所売渡之証	明治20年1月17日	美・縦	仮1冊	備中国窪屋郡倉敷村六百貳拾四番字新川埋出しほか 売主大橋俊太郎・証人難波昇二→名越為吉	罫紙 明治20年1月18日倉敷村戸長植田年の公証書あり
21-1-77-16	地所登記済証下附願	明治21年1月11日	美・縦	仮1冊	浅口郡鶴新田村四拾四番字寛政開式之割ほか 大橋俊太郎相続人大橋寿・後見人名越為吉→玉島登記所	罫紙 明治21年1月11日付「登記済」の書付あり
21-1-77-17	[備前国児島郡中疇村地所売買関係書類]			1纏め(仮1冊2通)		21-1-77-17-1~3まで重ねて折られている
21-1-77-17-1	地所証明書	明治21年11月14日	縦紙	1通	備前国児島郡中疇村五百六拾貳番字三拾壹割伊舁畑拾歩、地価壹円五拾六錢三厘が自分所有の土地であることの証明を願う大橋寿・後見人名越為吉→中疇村戸長布施虎雄	罫紙 明治21年11月14日付中疇村戸長布施虎雄の決済書あり

21-1-77-17-2	地所仮差押取消御願	明治21年11月	半・縦	仮1冊	備前国児島郡中疇村地所仮差押取消の願い 大橋寿・後見人名越為吉→味野登記所	罫紙 明治20年12月7日付岡山始審裁判所仮差押取消命令書の写りが添付されている
21-1-77-17-3	地所売渡登記願	明治21年11月	縦紙	1通	備前国児島郡中疇村五百六拾貳番字三拾壹割伊舁畑拾歩、地価壹円五拾六銭三厘の売買登記を願う 大橋寿・後見人名越為吉・親族大森藤次郎・親族難波昇二→味野登記所	罫紙
21-1-77-18	[仮差押取消シ命令書]	明治20年12月7日	縦紙	1通	大橋長蔵に係る亡大橋俊太郎家督相続故障除去事件についての仮差押取消シ命令 岡山始審裁判所→(宛名なし)	(封書上書)「仮差押取消シ命令書入」「岡山始審裁判所」専用罫紙
21-1-78	[地券書換書類]			1纏め(仮1冊1通1丁)		21-1-78-1~3-纏め 一纏めの為SILティッシュで包む
21-1-78-1	手続上申書	明治20年1月19日	縦紙	1通	児島郡中疇村五百六拾貳番宅地廿壹歩の地券書換願 倉敷村大橋俊太郎・戸長代理用掛佐藤年太→児島郡長東馬安太	罫紙
21-1-78-2	地目変換地券御書換願	明治19年12月24日	半・縦	仮1冊	備前国児島郡中疇村五百六拾貳番字三拾壹割伊舁宅地廿壹歩の地目変換に付き地券書換願 願主大橋俊太郎・戸長代理用掛佐藤年太→児島郡長東馬安太	罫紙 付紙あり
21-1-78-3	地目変換地券御書換願	明治19年12月24日	縦紙	1丁	備前国児島郡中疇村五百六拾貳番字三拾壹割伊舁宅地廿歩の地目変換に付き地券書換願 願主大橋俊太郎・戸長代理用掛佐藤年太→児島郡長東馬安太	罫紙
21-1-79	[諸受取書]			1袋(5通)		21-1-79-1~5-袋 (袋上書)「明治廿〇年一月ヨリ 諸受取書入」
21-1-79-1	証(帝国議会記念碑建設義捐金領収証)	明治24年11月29日	16.5×15.3	1通	大日本帝国議会記念碑建設事務所→大橋寿	台紙は専用紙
21-1-79-2	証(仕法講元掛金受領書)	明治22年2月	横切紙	1通	講主高橋駒→大橋寿	
21-1-79-3	記(銭別受取)	年未詳3月8日	横切紙	1通	神崎章彦→東大橋	
21-1-79-4	覚(呉服代銀受取)	年未詳2月	横切紙	1通	京都三條通新町西へ入安井慶次郎→東大橋	
21-1-79-5	仮請取証(精思小学校楽器購入義捐金領収書)	(明治)22年2月19日	縦切紙	1通	是唱者石井主一・藤田幾太→名越為吉	罫紙
21-1-80	価格金見込	年月日未詳	半・縦	仮1冊	倉敷町分 田反別三町三反四畝一歩 他9筆の地所価格、建物価格及び登録税	罫紙 挟み込み文書あり
21-1-81	[宅地地畝分書類]			1包(2通2枚)		21-1-81-1~4-袋 (袋上書)「間野友太郎 黒瀬利源太 作分 田宅地畝分書類入 廿四年改メ」
21-1-81-1	[畝分け図]	年月日未詳	縦紙	1枚	間野友太郎分と黒瀬利源太分の地所境	
21-1-81-2	[宅地分け図]	年月日未詳	縦紙	1枚	間野友太郎・黒瀬利源太分	
21-1-81-3	[土地分け書類]	年月日未詳	縦紙	1通	間野友太郎と黒瀬利源太間での土地配分を記したものの	
21-1-81-4	[土地分け書類]	年月日未詳	横継紙	1通	間野友太郎と黒瀬利源太の土地配分を記したものの	
21-1-82	[土地売買関係書類]			1袋(仮2冊7通2枚)		21-1-82-1~11-袋 (袋上書)「一金貳百五拾円 古城証二郎 明治十五年十二月限り」
21-1-82-1	[屋敷図]	明治14年6月7日	縦紙	1枚	備中国窪屋郡倉敷村六百八番地第壹号建物見取図 備中国窪屋郡倉敷村六百八番屋敷第壹号居住古城証二郎→大橋秀太郎	
21-1-82-2	建家売渡証文	年月日未詳	半・縦	仮1冊	窪屋郡倉敷村六百八番第一号地の建家売渡証文 売渡人古城証二郎・証人毛利富三→大橋秀太郎	罫紙 (奥書)戸長不在二付代理用掛石川英太郎
21-1-82-3	宅地売渡証文	年月日未詳	半・縦	仮1冊	備中国窪屋郡倉敷村六百拾四番之内第壹字井上宅地貳畝五歩 売買代価三拾円 売渡人古城証二郎・証人毛利富三→大橋秀太郎	罫紙 (奥書)戸長不在二付代理用掛石川英太郎
21-1-82-4	証	明治16年1月	縦紙	1通	返済期限経過につき家屋・宅地差配を告ぐ 債主大橋秀太郎→古城証次郎	罫紙 印紙及び差出人捺印朱線にて抹消す
21-1-82-5	地券書換御願	明治17年4月	縦紙	1通	備中国窪屋郡倉敷村六百四拾番字井ノ上の宅地の地券書換売渡人大橋秀太郎・買受人古城証次郎→窪屋郡長戸川晩香	罫紙 (封筒上書)「大橋源一様 御直披書 差上可申候」(封筒裏書)「古城証二郎」
21-1-82-6	[大橋源一宛古城証二郎書状封筒]	年月日未詳	17.2×6.0	1枚		
21-1-82-7	記(金銭勘定書)	明治17年4月30日	横継紙	1通	合計三百八円四拾五銭七厘 東大橋→古城証次郎	
21-1-82-8	[東大橋宛弥一書状]	年未詳5月4日	横切紙	1通	証二郎よりの書状につき伺い	(上書)「東大橋様 弥一 略封御高免可被下候」
21-1-82-9	証(借金返済期限延期承諾の証書)	明治16年1月	縦紙	1通	債主大橋秀太郎→古城証次郎	罫紙
21-1-82-10	[東大橋宛古城証二郎書状]	年未詳12月31日	横切紙	1通	証文認め差上げのこと	封筒あり(封筒表書)「東大橋様 古城証二郎」(封筒裏書)「後刻出立懸ケ御礼参上可仕候」
21-1-82-11	[秀潤堂宛証二郎書状]	年未詳5月24日	横継紙	1通	前夜大橋深三郎殿と示談、漸々聴済となり今日は深三郎殿も出会のこと	封筒あり(封筒上書)「大橋弥一様 貴下 古城証二郎」(封筒裏書)「五月四日」封筒と本文が取りちがえられているカ
21-1-83	[建物絵図・借用年賦之証]			1纏め(1通3枚)		21-1-83-1~4まで重ねて一纏め SILティッシュで括った
21-1-83-1	窪屋郡倉敷町字向市場東側千貳百〇五番地千四百九拾三番邸之内ニ在ル建物絵図面	年月日未詳	縦紙	1枚	建物譲渡人大橋寿・後見人名越為吉→建物譲受人大橋高之	
21-1-83-2	窪屋郡倉敷町字向市場東側千貳百〇五番地千四百九拾三番邸之内ニ在ル建物絵図面	明治29年	縦紙	1枚	建物譲渡人大橋寿・後見人名越為吉→建物譲受人大橋高之	
21-1-83-3	地所建物書入金借用年賦之証	年月日未詳	縦継紙	1通		宛名・差出人なし 案文カ
21-1-83-4	窪屋郡倉敷村字新川埋出シ六百貳拾四番地千七拾七番邸之内ニ在ル建物絵図面	明治20年12月	縦紙	1枚	譲受人大橋寿・後見人名越為吉・親族大橋長蔵・親族大森藤次郎→(宛名なし)	

21-1-84	窪屋郡倉敷町字油屋敷九百九拾八番地五百四拾番邸之内二在ル建物絵図面	明治29年10月23日	美・豎	仮1冊	建物譲渡人大橋寿 後見人名越為吉 親族伯父大橋長蔵 親族従兄難波昇二 建物譲受人大橋高之	
21-1-85	地所并二建物価格見込	年月日未詳	半・豎	仮1冊	地所・建物の各々の代金及び合計金額書上	罫紙
21-1-86	建物変更登記願扣	明治29年9月18日		1綴	窪屋郡倉敷町字新川埋出し千番地千七拾七番邸之内二在ル建物及び窪屋郡倉敷町字油屋敷九百九拾八番地五百四拾番邸之内二在ル建物の異動に付き変更登記願い 願人大橋寿・後見人名越為吉→玉島区裁判所倉敷出張所	
21-1-87	売仕切	寅年3月23日	豎継紙	1通	米・糯米・黒豆・砂糖代 小豆島土庄 しほや定助→清助・柳右衛門	
21-1-88	[小作証券類]			1括り(20通)		22-1-88-1~20紙綴りで一括り
21-1-88-1	小作証券	明治21年3月	豎紙	1通	窪屋郡富久村之内甲乙式百貳番 田壹畝拾八歩 畑四畝拾八歩 預ケ米七斗四升四合 子位庄村小作人坂井文次郎・証人酒井善松→窪屋郡倉敷村大橋寿	(端裏書)「富久村之分」西村坂井文次郎 台紙刷物
21-1-88-2	小作証券	明治	豎紙	1通	窪屋郡小位庄村之内百七拾六番字中樋 田貳反壹畝廿七歩 預ケ米貳石九斗五升六合五勺他2筆 子位庄村小作人中村石平・証人中村元次郎→窪屋郡倉敷村大橋寿	(端裏書)「子位庄村分 西村 中村石平」台紙刷物
21-1-88-3	小作証券	明治21年3月	豎紙	1通	窪屋郡子位庄村之内貳百三拾番 田貳反三畝廿四歩 預ケ米三石三斗三升六合八勺他3筆 子位庄村小作人中村定松・証人中村仲平→窪屋郡倉敷村大橋寿	(端裏書)「子位庄村分 西村 中村定松」台紙刷物
21-1-88-4	小作証券	明治21年3月	豎紙	1通	窪屋郡富久村之内貳百三番字築田 畑壹反九歩 預ケ米壹石貳斗三升六合 小作人中村久八・証人中村位八→窪屋郡倉敷村大橋寿	(端裏書)「富久村分 西村 中村久八」台紙刷物
21-1-88-5	小作証券	明治21年3月	豎紙	1通	窪屋郡子位庄村之内六百五拾番之内字西村畑貳反壹畝九歩之内畑貳反壹畝壹歩 預ケ米壹石六斗六升八合式勺 子位庄村小作人中村熊太郎・証人中村伝三郎→窪屋郡倉敷村大橋寿	(端裏書)「子位庄村分 西村 中村常松」台紙刷物
21-1-88-6	小作証券	明治15年4月3日	豎紙	1通	窪屋郡富久村貳百四拾番番字三本木 畑壹畝廿四歩 預納八斗壹升六合 窪屋郡子位庄村小作人塚岡源吉・富久村証人横山久次郎→窪屋郡倉敷村大橋秀太郎	(端裏書)「塚岡源吉」台紙刷物
21-1-88-7	借用証券	明治26年3月	豎紙	1通	金六円三拾銭 利息壹ヶ月壹歩五厘 窪屋郡菅生村大字子位庄借用主中村元八・同所証人川崎力造→窪屋郡倉敷町大橋寿・後見人名越為吉	(端裏書)「廿五年分証券 西村 中村元八」台紙刷物
21-1-88-8	小作証券	明治26年4月	豎紙	1通	窪屋郡菅生村三百六拾八番字城ノ内 田壹段三畝廿壹歩 預ケ米貳石壹斗九升貳合 窪屋郡菅生村大字子位庄小作人足守広吉・証人岡田才太郎→窪屋郡倉敷町大橋寿	(端裏書)「小作証書 西村 足守廣吉」台紙刷物
21-1-88-9	小作証券	明治26年5月	豎紙	1通	窪屋郡菅生村三百拾九番字五反田 田九畝拾八歩 預リ米納壹石貳斗 子位庄村小作人岡本篤五郎・証人岡本武士→大橋寿	(端裏書)「小作証券 岡本篤五郎」台紙刷物
21-1-88-10	小作証券	明治21年3月	豎紙	1通	窪屋郡子位庄村千六拾三番字薬師前 畑壹反七畝廿四歩之内畑四畝拾六歩 預ケ米六斗三升六合式勺 小作人白髪嘉平・証人白髪友吉→倉敷村大橋寿	(端裏書)「子位庄村分 本村 白髪嘉平」台紙刷物
21-1-88-11	小作証券	明治21年3月	豎紙	1通	窪屋郡子位庄村之内千五百拾六番字薬師前 畑八畝六歩 預ケ米壹石壹斗五升貳合壹勺 小作人山本菊治・証人同村山本政治→倉敷村大橋寿	(端裏書)「子位庄村之分 本村 山本菊治」台紙刷物
21-1-88-12	小作証券	明治21年3月	豎紙	1通	窪屋郡富久村之内貳百四拾四番字三本木 畑壹反壹畝歩 預ケ米壹石三斗貳升 子位庄村足守広吉・証人北見平三郎→窪屋郡倉敷町大橋寿	(端裏書)「富久村分 西村 足守広吉」刷本
21-1-88-13	小作証券	明治21年4月25日	豎紙	1通	窪屋郡小位庄村之内貳百九番字城之内 田壹反三畝廿壹歩 預ケ米貳石壹斗九升貳合 子位庄村小作人塚岡源治・証人北見治平→大橋寿	(端裏書)「源吉分」台紙刷物
21-1-88-14	小作証券	明治21年3月	豎紙	1通	窪屋郡濱村之内千七百四十七番字河原畑貳反八畝九歩之内畑五畝廿三歩 預ケ米五斗七升七合他1筆 小位庄村小作人野田道三郎・証人岡田才一郎→窪屋郡倉敷村大橋寿	(端裏書)「西村 野田道三郎 浜分 西村 定平」台紙刷物
21-1-88-15	小作証券	明治26年5月	豎紙	1通	万寿村大字富久八百四拾八番字三本木 畑四畝歩 預リ米五斗他1筆 窪屋郡菅生村大字子位庄小作人岡本惣八・同証人岡本鉄五郎→窪屋郡倉敷町大橋寿	(端裏書)「小作証券 ウメ西村 岡本惣八」台紙刷物
21-1-88-16	小作証券	明治21年3月	豎紙	1通	窪屋郡富久村之内貳百四拾五番字三本木 畑貳反壹畝廿壹歩 預ケ米貳石六斗四合 子位庄村小作人中本阪三郎・証人足守広吉→大橋寿	(端裏書)「富久村分 西村 中本坂三郎」台紙刷物
21-1-88-17	小作証券	明治	豎紙	1通	子位庄村之内百廿壹番字藪ノ下 田七畝九歩 預ケ米壹石八勺他3筆 子位庄村小作人高原治平・証人足守広吉→窪屋郡倉敷村大橋寿	(端裏書)「子位庄村分 西村 利平事高原治平」台紙刷物
21-1-88-18	小作証券	明治21年3月	豎紙	1通	窪屋郡子位庄村之内千貳百三番字姫宮前田貳反三畝九歩之内田壹反壹畝拾九歩五厘 預米壹石四斗壹升五石 窪屋郡子位庄村小作人柴田若治郎・証人同村柴田吉治郎→倉敷村大橋寿	(端裏書)「子位庄村分 祐安 若松」台紙刷物

21-1-88-19	小作証書	明治38年3月12日	縦紙	1通	備中窪屋郡菅生村大字子位庄字太方式百七拾五番 田壹反壹畝拾五歩 預米壹石五斗他1筆 子位庄村小作人石井勘平・引受人小玉儀平→大橋寿	
21-1-88-20	小作証券	明治21年3月	縦紙	1通	窪屋郡子位庄村之内千七百拾三番字川東 田貳畝歩 預ケ米貳斗四升 子位庄村小作人岡本篤五郎・同村証人野田駒治郎→窪屋郡倉敷村大橋寿	(端裏書)「子位庄村分 西村 岡本篤五郎」台紙刷物
21-1-89	借用証券	明治26年3月	縦紙	1通	金八円の借用証券 借用主窪屋郡菅生村大字子位庄北見平三郎・証人同郡同村大字同所川本鹿造→窪屋郡倉敷町大橋寿・後見人名越為吉	(端裏書)「廿五年分証券 西村 北見平三郎」台紙刷物
21-1-90	借用証券	明治26年3月	縦紙	1通	金三円五拾銭の借用証券 借用主窪屋郡菅生村大字小位庄中村定五郎・証人同郡同村大字同町中村石平→窪屋郡倉敷町大橋寿・後見人名越為吉	(端裏書)「廿五年分証券 西村 中村定五郎」台紙刷物
21-1-91	借用証券	明治26年3月	縦紙	1通	金六円三拾銭の借用証券 借用主窪屋郡菅生村大字子位庄中村久八・証人同郡同村大字同所中村信八→窪屋郡倉敷町大橋寿・後見人名越為吉	(端裏書)「廿五年分証券 西村 中村久八」台紙刷物
21-1-92	借用証文之事	明治17年2月7日	縦切紙	1通	金貳円拾九銭九厘の借用証書 負債主子位庄村坂井文十郎→窪屋郡倉敷村大橋秀太郎	(端裏書)「西村 坂井文十郎五月消し」台紙刷物
21-1-93	小作証券	明治24年11月20日	縦紙	1通	窪屋郡子位庄村之内字仏念講二百二拾九番 田貳反三歩 預ケ米貳石七斗貳升三合五勺 窪屋郡子位庄村小作人藤田源蔵・同郡同村証人川崎幸吉→窪屋郡倉敷村大橋秀太郎	(端裏書)「西村 藤田源蔵」台紙刷物
21-1-94	借用証券	明治18年3月10日	縦紙	1通	金拾貳円五拾銭の借用証券 借用主野田利三郎・証人高森和二郎→窪屋郡倉敷町大橋秀太郎	(端裏書)「十八年十月切 野田利三郎」台紙刷物
21-1-95	裂地御許可願扣	明治24年5月28日		1綴	備中国窪屋郡倉敷村五百六拾六番字川入 反別壹反三畝廿五歩の裂地許可願 後に裂地絵図面あり 持主大橋寿・後見人名越為吉→岡山県令千坂高雅	罫紙
21-1-96	[印鑑証明願・建物証明願・建物登記済証下附願]			1纏め(仮3冊1通)		21-1-96-1~4まで重ねて一纏め
21-1-96-1	印鑑証明願	明治26年1月6日	縦紙	1通	窪屋郡倉敷村大橋長蔵→窪屋郡倉敷村戸長植田年	罫紙 窪屋郡倉敷村戸長植田年の決済あり(明治21年1月6日付)
21-1-96-2	建物証明願	明治20年12月27日	半・縦	仮1冊	窪屋郡倉敷村四百四拾九番地内建物計5点について、所有者死亡の為相続の上登記請願の為に証明を願う 大橋俊太郎相続人大橋寿・後見人名越為吉・親族大橋長蔵・親族大森藤次郎→窪屋郡倉敷村戸長植田年	罫紙 窪屋郡倉敷村戸長植田年の決済あり(明治20年12月28日付)
21-1-96-3	建物登記済証下附願	明治20年12月29日	美・縦	仮1冊	窪屋郡倉敷村六百貳拾六番地五百四拾番邸瓦葺二階造本屋壹棟他24筆 窪屋郡倉敷村五百四拾番邸大橋俊太郎相続人大橋寿・後見人名越為吉→窪屋郡倉敷登記所	罫紙
21-1-96-4	建物登記済証下附願	明治20年12月29日	美・縦	仮1冊	窪屋郡倉敷村六百貳拾四番地千七拾七番邸瓦葺二階造本屋壹棟他7筆 窪屋郡倉敷村五百四拾番邸大橋俊太郎相続人大橋寿・後見人名越為吉→窪屋郡倉敷登記所	罫紙
21-1-97	[建物坪数抜翠]			1袋(3通)		21-1-97-1~3一袋 (袋上書)「建物坪数抜翠入」袋保護の為SILティッシュで包む
21-1-97-1	[建物坪数・価格書上]	年月日未詳	横継紙	1通	九百九十八番地五百四拾番邸字油屋敷建物二階造本屋壹棟他15筆の坪数書上	
21-1-97-2	[建物坪数・価格書上]	年月日未詳	横継紙	1通	千番地千七拾七番邸字新川埋出し建物二階造本屋壹棟他11筆の坪数書上	
21-1-97-3	[建物坪数・価格書上]	年月日未詳	横継紙	1通	七拾五番地字阿知庄立道南七百七十三番邸他4軒の坪数書上	
21-1-98	[見積・予算書・記など]			1袋(仮1冊1通1袋)		21-1-98-1~3一袋 (袋上書)「明治25年5月調見積書扣」
21-1-98-1	見積り 廿九年六月ヨリ三十一年一月迄予算	年月日未詳	半・縦	仮1冊	盆季支出予算及び歳暮支出書上	
21-1-98-2	[予算書他]			1袋(6通1纏め)		21-1-98-2-1~7一袋
21-1-98-2-1	記(借り入れ金勘定書)	年月日未詳	横継紙	1通	軍事公債・児島鉄道・生命保険・西大寺紡績・大橋五郎へ取かへなど出金	
21-1-98-2-2	三十年新旧対照表	年月日未詳	横切紙	1通	新暦旧暦対照表	
21-1-98-2-3	[支払予算書付書類]			1纏め(5通)		21-1-98-2-3-1~5まで重ねて折りたたまれている SILティッシュで括る
21-1-98-2-3-1	記(廿七年年分・廿八年年分米勘定書)	年月日未詳	横切紙	1通	廿八年年分百六十三石貳斗貳升七合三勺、廿七年年分壹石六斗壹升五合七勺の内訳 売出し分、定価出米分など	
21-1-98-2-3-2	記(反別内訳書上)	年月日未詳	横切紙	1通	反別拾九町七反九畝八歩につき地価・地租等書上	
21-1-98-2-3-3	記(盆季迄予算書付)	年月日未詳	横継紙	1通	一金 貳百四拾円 諸払 一金 拾円 日雇賃など	
21-1-98-2-3-4	記(廿九年納予定盆前分)	年月日未詳	横切紙	1通	田租・地方税・町税戸別割など書上	
21-1-98-2-3-5	記(地方税ほか予算書付)	年月日未詳	横継紙	1通	地租・町村税・地方税など書付	
21-1-98-2-4	記(廿九年五月調べ人別取替金書上)	(明治)29年5月	横折紙	1通		
21-1-98-2-5	廿九年盆後上納予算	年月日未詳	横継紙	1通	畑租・町税など 廿九年九月分から三十年一月分まで書上	
21-1-98-2-6	[廿九年五月納分・八月納分予算]	年月日未詳	横継紙	1通	倉敷村・菅生村・万寿村・平田村への地方税・村税書上	
21-1-98-2-7	記(倉敷町・子位庄分反別地価書付)	年月日未詳	横切紙	1通		



21-1-98-3	賃借差引扣	年月日未詳	横切紙	1通	総計金千三百八拾円 軍事公債・児島鉄道・西大寺紡績などへの出金	
21-1-99	[建物絵図面]	明治18年6月	美・豎	仮1冊	備中国窪屋郡倉敷村六百廿四番地四百九十五番戸大橋秀太郎他9人分の建物絵図面	
21-1-100	地所証明願	年月日未詳	美・豎	仮1冊	浅口郡鶴新田四拾四番寛政開闢ノ割畑壹反五畝拾五歩他119筆の地所証明願	罫紙
21-1-101	[地価反別書上]	年月日未詳	半・豎	仮1冊	倉敷村六百廿六番字油屋敷 宅地六畝拾貳歩 地価九拾貳円八拾銭他134筆	罫紙
21-1-102	委任状	明治21年11月20日	豎紙	1通	西原勘三郎を代理人として大橋寿所有の土地を日笠哲夫へ売買する件について委任のこと 大橋寿・後見人名越為吉→(宛名なし)	罫紙
21-1-103	地所証明願	明治21年1月7日	美・豎	仮1冊	相続につき地所登記書換のため 大橋俊太郎相続人大橋寿・後見人名越為吉他2名→児島郡中疇村戸長布施虎雄	罫紙
21-1-104	[地所証明及び地所登記済証下附願扣]	明治20年12月27日 ～21年1月		1綴	相続につき地所登記書換のため 地所証明願:大橋寿他3名→倉敷村戸長植田年・都宇郡前湯村戸長大森孫九郎計2冊、地所登記済証下附願:大橋寿他1名→倉敷登記所・下撫川登記所・味野登記所計3冊、以上5冊が一綴になっている	罫紙
21-1-105	[文政開二ノ割耕地反別氏名書付]	年月日未詳	豎紙	1通	文政開二ノ割三百拾八番 耕地壹段五畝廿壹歩 大崎金森代吉他4筆	
21-1-106	印鑑証明願	明治21年1月6日	豎紙	1通	印鑑の証明依頼 備中国窪屋郡倉敷村六百三拾番邸大橋長蔵→窪屋郡倉敷村戸長植田年	罫紙 証明済 押印の付紙あり 窪屋郡倉敷村戸長植田年の決済あり(明治21年1月6日付)
21-1-107	委任状	明治20年12月29日	豎紙	1通	遺産相続の件について三宅為四郎へ委任のこと 岡山県備中国窪屋郡倉敷村五百四拾番邸大橋寿 同県同国同郡同村同番邸寄留名越為吉	罫紙
21-1-108	[荒地等書上]	(明治17カ)年	半・豎	仮1冊	浅口郡鶴新田村字弘化開闢割 荒地壹反壹畝貳拾歩 明治拾七年ヨリ同式十三年迄七年季他 合反別七町貳反五畝拾歩	罫紙
21-1-109	明治廿年十二月中代替リ二付価格之扣 明治貳拾壹年壹月中譲与及ヒ売渡二付価格ノ扣	明治20年12月	半・豎	仮1冊	鶴新田村分・前湯村分・倉敷村分・児島郡中疇村分・西阪村分など	罫紙
21-1-110	[遺産相続登記願扣]	明治21年1月	半・豎	仮1冊	備中国都宇郡前湯村他4カ所の田畑を大橋秀太郎死亡につき大橋寿の遺産相続登記願 相続人大橋寿・後見人名越為吉・親族大橋長蔵・親族大橋藤次郎→下撫川登記所・玉島登記所・味野登記所	罫紙
21-1-111	[小作地書上]	(明治)	半・豎	仮1冊	文化開・文政開・寛政開分 人別・畝・代価・預ケ米書上	罫紙
21-1-112	[所有地所上]	年月日未詳	半・豎	仮1冊	倉敷村大橋寿・亡大橋秀太郎部分の反別・地価書上	罫紙
21-1-113	[地所書上]	年月日未詳	半・豎	仮1冊	菅生村ノ内大字生阪分及び万寿村ノ内大字浜分の地番・地目・反別・預ケ米・姓名書上	綴り紐のよりが解けている為SILティッシュで包む
21-1-114	[地所書上]	年月日未詳	半・豎	仮1冊	菅生村大字子位庄分の地番・地目・反別・預ケ米・姓名書上	罫紙
21-1-115	[地所書上]	年月日未詳	半・豎	仮1冊	万寿村大字富久分の地番・地目・反別・預ケ米・姓名書上	罫紙
21-1-116	[山田氏取引書類]			1袋(2通2纏め)		21-1-116-1～4一袋(袋上書)「山田氏取引書類入」
21-1-116-1	[鶴新田村分地方税・村費領収証]			1纏め(5通)		21-1-116-1-1～5まで重ねて四ツ折にされている
21-1-116-1-1	[鶴新田分地方税・村費領収書]	明治21年10月18日	16.8×12.0	1通	戸長脇本愛侶・戸長代理用掛間野静三郎→山田玉五郎	
21-1-116-1-2	[鶴新田分第二期地租領収書]	明治21年10月18日	16.4×11.0	1通	金9円67銭7厘 戸長脇本愛侶・戸長代理用掛間野静三郎→山田玉五郎	
21-1-116-1-3	[鶴新田分第四期地租領収書]	明治23年1月19日	16.5×11.3	1通	戸長三宅千萬人→山田玉五郎	
21-1-116-1-4	[鶴新田分第三期地租領収書]	明治21年12月12日	16.8×10.9	1通	戸長三宅千萬人→山田玉五郎	
21-1-116-1-5	[公儲后期分領収書]	明治22年12月12日	16.6×12.3	1通	浅口郡西之浦村鶴新田村戸長三宅千萬人→山田玉五郎	
21-1-116-2	[地方税地租割第一期分領収書]	明治23年3月12日	16.2×11.2	1通	鶴新田村収入役安原清平→山田玉五郎	
21-1-116-3	[領収証類]			1纏め(4通)		21-1-116-3-1～4まで巻かれて一纏め
21-1-116-3-1	記(廿貳年度地租地価勘定書)	(明治)10月23日～ 12月19日	横継紙	1通		
21-1-116-3-2	[田租第五期分領収書]	明治23年3月29日	16.3×11.2	1通	鶴新田村収入役安原清平→山田玉五郎	
21-1-116-3-3	証(地方税地租割第三期分領収書)	明治22年12月19日	横切紙	1通	金79銭4厘 鶴新田村村長三宅千萬人→山田玉五郎	
21-1-116-3-4	[第四期田租領収書]	明治23年1月24日	16.3×11.1	1通	鶴新田村収入役安原清平→山田玉五郎	
21-1-116-4	山田差引覚	明治22年4月17日 ～5月8日	横折紙	1通	差引金2円49銭8厘ノ過	
21-1-117	[窪屋郡倉敷村大橋寿分反別・地価・地租書上]	年月日未詳	半・豎	仮1冊		罫紙(端書)「登記番号帳百貳拾四丁目二記載アリ」
21-1-118	[窪屋郡倉敷村名越分反別・地価・地租書上]	年月日未詳	半・豎	仮1冊		罫紙(端書)「廿貳年四月廿八日寿へ譲与之登記済」
21-1-119	[万寿村の内反別・地価・地租書上]	年月日未詳	半・豎	仮1冊		罫紙(端書・朱筆)「此分新番ニテ登記簿記載アリ 鉄道へ売却ノ分訂正上願候事」
21-1-120	[倉敷村大橋寿分反別・地価・地租書上]	(明治)	半・豎	仮1冊		罫紙(端書・朱筆)「朱書登記簿之通り照合ス」
21-1-121	[本生坂村分反別・地価・地租書上]	年月日未詳	半・豎	仮1冊		罫紙
21-1-122	[子位庄村分反別・地価・地租書上]	年月日未詳	半・豎	仮1冊		罫紙

21-1-123	後見人証明願	明治20年12月27日	縦紙	1通	名越為吉が大橋寿の後見人であることの証明を願う 名越為吉外2人→窪屋郡倉敷村戸長植田年	窪屋郡倉敷村戸長植田年の決済あり(明治20年12月27日付)
21-1-124	借入金証	明治17年10月21日	縦紙	1通	金五拾円の借用証書 井上信一郎→大橋俊太郎	
21-1-125	[取替金証文]			1袋(4通)		21-1-25-1~4一袋(封筒上書)「北新宅とり渡し証券」(中包上書)「北新宅取替金証文在裡」
21-1-125-1	記(明治三年七月より十一年二月までの借用元金の内へ返済金書付)	明治12年7月8日	横切紙	1通	新宅大橋徳蔵→本家大橋秀太郎	
21-1-125-2	記(明治三年七月より十一年二月までの借用元金の内へ返済金書付)	明治13年1月2日	横切紙	1通	新宅大橋徳蔵→本家大橋秀太郎	
21-1-125-3	記(明治三年七月より十一年二月までの借用元金の内へ返済金書付)	明治14年4月7日	横切紙	1通	新宅大橋徳蔵→本家大橋秀太郎	
21-1-125-4	記(明治三年七月より十一年二月までの借用元金の内へ返済金書付)	明治15年3月10日	横切紙	1通	新宅大橋徳蔵→本家大橋秀太郎	
21-1-126	[良介宛三右衛門用状]	年月日未詳	横切紙	1通	さん用残証文持参の事	(上書)「良介様 三右衛門」
21-1-127	金子借用仮証券	明治14年5月31日	縦切紙	1通	金拾円の借用仮証券 借用主古城権二郎→大橋俊太郎	袋あり(袋上書)「明治十五年十二月 証書 古城権二郎」(包紙上書)「一金三拾円 来ル拾九年迄 山川仲蔵 証人庄次郎 立入世話人高畑亀次郎・同五阿弥嘉吉→大橋秀太郎」
21-1-128	年賦借用証文之事	明治13年1月31日	縦継紙	1通	金拾円の借用証文 借用主山川仲蔵・証人同庄次郎・立入世話人高畑亀次郎・同五阿弥嘉吉→大橋秀太郎	21-1-129-1~2一袋(袋上書)「一金三百円并先取替へ三百円 救援之受取 大森藤次郎」
21-1-129	[証書類]			1袋(2通)		
21-1-129-1	借用申金子証	明治16年1月3日	縦紙	1通	金百五拾円の借用証 大森藤次郎→大橋俊太郎	
21-1-129-2	請取証	明治15年5月12日	縦紙	1通	金三百円 2件及び旧借証書式通受取のこと 大森藤次郎・負債取片付方担当水谷亥孝太→大橋秀太郎	
21-1-130	証(金貳拾円の借用証)	明治15年1月	縦紙	1通	佐藤佐吉→大橋	罫紙
21-1-131	[登記変更願]	明治29年10月14日	縦継紙	1通	雪隠・物置・平納屋の登記変更願 願人大橋寿・後見人名越為吉→玉島区才判処倉敷出張	罫紙 地番及び建物の反別の書かれた罫紙が貼られている
21-1-132	金子借用証書之事	明治14年1月29日	縦紙	1通	金拾円の借用証文 借用主稲田己一・証人池上新二郎→大橋俊太郎	
21-1-133	借用証券	(明治)15年10月10日	縦紙	1通	金拾円の借用証券 新町綱四郎・証人吉次→東大橋	
21-1-134	証(仕法講半口分加入金受取)	明治19年4月	横切紙	1通	講主大久保尚平→大橋俊太郎	封筒あり(封筒上書)「領収証 大久保尚平分 但 仕法講加入金之分」
21-1-135	記(金三拾壹円及び添書の受取)	(明治)17年1月5日	横切紙	1通	西江源一渡の金三拾壹円及び添書書通の受取証 石井又三郎→大橋秀太郎	
21-1-136	[荒畑地反別書付]	年月日未詳	横切紙	1通	大橋俊太郎名義の荒畑反別書付 荒畑壹反拾八歩	
21-1-137	[証書類]			1袋(2通)		21-1-137-1~2一袋(封筒表書)「貸付金証書 金三百円也 難波景二」
21-1-137-1	金借用証	明治15年8月26日	縦紙	1通	金貳拾五円の借用証 金借用主難波景二・酒津村証人三宅璋平・毛利富三→倉敷村大橋俊太郎	罫紙
21-1-137-2	金預証券	明治14年1月4日	縦紙	1通	金四百円の預証 平田村金預主難波景二・証人難波昇二→倉敷村大橋秀太郎	罫紙
21-1-138	借用証文之事	明治14年7月10日	縦紙	1通	金貳拾円の借用証文 毛利富三→大橋俊太郎	封筒あり(封筒上書)「七月十日 一金貳拾円也 毛利富三 証人安田升蔵」
21-1-139	記(代銀勘定書)	明治23年3月31日	横折紙	1通	かんざし・市松人形・針・現代など	封筒あり(封筒上書)「三宅取引書類入」
21-2-1	[大橋俊太郎宛大森武三書状]	年未詳6月4日	横継紙	1通	過日利吉へ御伝言の五拾円の外「今貳拾円丈々拝借」を願う	
21-2-2	金円借用之証	明治17年6月4日	縦切紙	1通	金五拾円の借用証書 借主大森武三→大橋俊太郎	封筒あり(封筒表書)「大橋俊太郎様 貴下 親展 証書在中」(封筒裏書)「大森武三」
21-2-3	嘉永三庚戌年四月 弘化開預ヶ畝控	嘉永3年	半・横長	1冊		
21-2-4	借地証文之事	明治17年10月14日	縦紙	1通	窪屋郡倉敷村字立道の内の宅地の借用について 借地人木村米吉・証人木村三蔵→地主大橋秀太郎	(端裏書)「木村米蔵借地証文」
21-2-5	小作証券	明治19年12月10日	縦紙	1通	窪屋郡倉敷村田畝段三畝貳拾八歩の小作証文 窪屋郡倉敷村小作人守安久平・同郡同村証人守安閑蔵→窪屋郡倉敷村大橋俊太郎	(端裏書)「若松平吉跡小作証 守安久平」
21-2-6	借用証券	明治26年3月	縦紙	1通	金六円五拾銭の借用証券 窪屋郡菅生村大字子位庄借用主坪井音市・同郡同村大字同所証人坪井茂平→窪屋郡倉敷町大橋寿・後見人名越為吉	(端裏書)「廿五年分証券 西村 西田音一」
21-2-7	[借用証書類]			1括り(11通1括り)		21-2-7-1~12紙綴りで一括り
21-2-7-1	借用申米之事	明治3年2月	縦紙	1通	米2俵借用証 瀧本屋卯三郎→東大橋	封筒あり(封筒上書)「東大橋様 瀧本屋卯三郎」
21-2-7-2	覚(取替金借用受取)	年未詳9月25日	縦切紙	1通	金札2両の受取 松林→東大橋	
21-2-7-3	借用手形之事	明治3年7月	縦紙	1通	金札貳両請取 笹沖屋定次郎→東大橋	(包紙上書)「手形 壹通」
21-2-7-4	覚(金札受取)	慶応2年12月8日	縦紙	1通	金札拾貳両(井上宮再建寄付)・貳百疋(上棟祝儀)の受取 世話方鋸屋佐吉・西屋鯛介→東大橋	
21-2-7-5	覚(拝借金受取証文)	明治2年10月13日	縦紙	1通	金貳両の拝借証文 拝借主六蔵→大橋	(包紙上書)「証書 壹通」
21-2-7-6	拝借仕米之事	慶応2年5月	縦紙	1通	米貳石壹俵の借用証文 借用主瀧本屋卯三郎→東大橋	(包紙上書)「証書 壹通」
21-2-7-7	借用申金子之事	明治3年10月	縦紙	1通	金貳両の借用証文 戎屋辰吉→東大橋	
21-2-7-8	記(金子借用証文)	明治7年3月20日	縦紙	1通	金三円の借用証文 大工与平→東大橋勘定所	(包紙上書)「証文 大工与平」

21-2-7-9	記(借入金借用証文)	(明治)10月30日	横切紙	1通	金三円の借用証文 松林→東大橋	(包紙上書)「請取書 壺通」 罫紙
21-2-7-10	借用申証文之事	明治10年2月12日	縦紙	1通	金5円の借用証文 借用主岡部常吉・証人大橋弥一→東大橋	(包紙上書)「証文」 罫紙 台紙は証券界紙を使用
21-2-7-11	記(金借用証文)	明治6年11月1日	縦切紙	1通	金三拾円の借用証文 大橋屋弥一→東大橋	(包紙上書)「証書 大橋屋弥一」
21-2-7-12	[借用証書類]			1括り(3通)		21-2-7-12-1~3紙綴りで一括り
21-2-7-12-1	覚(泊り賃指入)	午年10月28日	横切紙	1通	宗津屋二兵衛→綱島	
21-2-7-12-2	証文(金子借用証文)	明治8年4月	横切紙	1通	金貳両の借用証文 綱島恭輔→大橋徳蔵	
21-2-7-12-3	[大橋徳蔵宛綱島恭助書状]	年未詳4月30日	横切紙	1通	足痛で入費がかかってしまったので金貳両を借用したい 丸亀まで行けば貸付金があるので、すぐに返金する	(上書)「大橋徳蔵様 綱島恭助 願要用」(裏書)「略封御免可被下候」
21-2-8	[風評上納金軒別割合書付]	嘉永6年10月	横継紙	1通	異国船渡来のため、防御費用にあてる上納金の割付 一 金千両 大橋平右衛門 一 金三百両 植田武右衛門など	
21-2-9	[大橋寿宛倉敷町役場催促状]	大正7年8月28日	縦切紙	1通	菅生村役場より送付の通知書の請書提出の催促	「至急」の朱印あり
21-2-10	[金割付]	年月日未詳	横継紙	1通	金貳百両の割り当てについて 一 金貳拾八両貳歩 植田 一同五拾両 大橋平右衛門など	
21-2-11	領収書	大正6年4月2日	17.2×12.9	1通	三越呉服店→大橋高之	台紙は専用紙
21-2-12	小作証券	明治24年	縦紙	1通	窪屋郡倉敷 田貳反七歩 預り米貳石貳斗壹舂五合五勺 小作人窪屋郡倉敷町斎藤多平・証人同郡同町斎藤卯吉→窪屋郡倉敷町大橋寿	(端裏書)「小作証書 ナタ サイト ナタ 斎藤多平」
21-2-13	[福嶋亀之助借用関係書類]	弘化3年2月		1袋(2括り2包)		21-2-13-1~4が紙綴りで括られて封筒に入られている(封筒貼紙上書)「弘化三丙午年二月 金六拾両 福嶋亀之介」袋に入らないのでSILティッシュで包む
21-2-13-1	[書状・書付類]			1括り(1包4通)		21-2-13-1-1~5紙綴りで一括り
21-2-13-1-1	[田地書抜井地図]			1包(2通1枚)		21-2-13-1-1-1~3が紙綴りで括られ包紙に包まれている(包紙上書)「田地書抜井地図」
21-2-13-1-1-1	[田地略図]	年月日未詳	縦紙	1枚	宮山後及び八間樋所	
21-2-13-1-1-2	[小作地書上]	年月日未詳	横継紙	1通	沢下貳畝他	
21-2-13-1-1-3	覚(田地書上)	年月日未詳	横切紙	1通	道免見面壹反九畝他2筆	
21-2-13-1-2	[大橋金平宛秋岡惣五郎書状]	年未詳正月15日	横継紙	1通	福島一条掛合の次第	封筒あり(封筒上書)「大橋金平様 要用書 秋岡惣五郎」
21-2-13-1-3	[大橋源介宛江口勝良書状]	年未詳10月朔日	横継紙	1通	金子六、七両借用のこと	封筒あり(封筒上書)「大橋源介様 極内御用机下 江口勝良」
21-2-13-1-4	[大橋父子宛江口勝良・安之助書状]	年未詳12月6日	横継紙	1通	当年はいかが成行やと昼夜心痛のこと	封筒あり(封筒上書)「大橋様 内用机下 江口」(上書)「大橋御父子様 机下 江口勝良・安之助」
21-2-13-1-5	[大橋宛江口用状]	年未詳10月3日	横継紙	1通	金子借用のこと	包紙あり(包紙上書)「大橋様 用書 江口」(上書)「大橋様 江口より」
21-2-13-2	[質地関係書類]			1包(3通)		21-2-13-2-1~3が包紙に包まれている(包紙上書)「福島一件二付彦右衛門より書抜受取候写し入」
21-2-13-2-1	講主質地書抜	年月日未詳	横折紙	1通	福島亀之助分 講金百九拾両代銀引当	
21-2-13-2-2	[大橋宛まつみ口上]	年月未詳11日	横継紙	1通	講本質入証文畝高書抜差上のこと	(上書)「大橋様 まつみ写し」
21-2-13-2-3	[畝高書付]	年月日未詳	横継紙	1通	沢下貳畝他	
21-2-13-3	[大橋金平宛松井彦左衛門書状]			1括り(1通1包)		21-2-13-3-1~2紙綴りで一括り
21-2-13-3-1	[大橋金平宛松井彦左衛門書状]	年未詳閏月13日	横継紙	1通	講銀扱いにつき講の主旨	封筒あり(封筒上書)「大橋金平様 内用貴答書 松井彦左衛門」(上書)「大橋様へ まつみ」
21-2-13-3-2	[大橋金平宛松井彦左衛門書状]			1包(2通)		21-2-13-3-2-1~2が包紙に包まれている(包紙上書)「大橋金平様 貴下平安要用 松井彦左衛門」
21-2-13-3-2-1	[大橋宛まつみ口上]	年未詳閏月11日	横継紙	1通	講本質入証文預りのこと	(上書)「大橋様 まつみ」
21-2-13-3-2-2	講主質地書抜	年月日未詳	横折紙	1通	福島亀之助分 講金百九拾両代銀引当	
21-2-13-4	[福島亀之助借入金関係書類]			1包(1包2通)		21-2-13-4-1~3が包紙に包まれている(包紙上書)「証文 壺通」
21-2-13-4-1	[大橋宛福島亀之助書状]			1包(2通)		21-2-13-4-1-1~2が包紙に包まれている(包紙上書)「大橋様 銀札添 福島亀之助」
21-2-13-4-1-1	[大橋金平宛江口亀之助口上]	年未詳2月18日	横継紙	1通	銀子并書付差上げについて	
21-2-13-4-1-2	[借用申金子証文之事ひな形]	年月日未詳	横継紙	1通		
21-2-13-4-2	借用申金子証文之事	弘化3年2月	横継紙	1通	金百貳拾両の借用 借用主福島亀之介・証人川入惣五郎→金平	
21-2-13-4-3	借用申金子証文之事	弘化3年2月	縦継紙	1通	金百貳拾両の借用証文 借用主福島村亀之助・証人川入村惣五郎→倉敷中嶋屋金平	
21-2-14	借用証券	明治26年2月	縦紙	1通	金四円四拾銭の借用証券 借用主窪屋郡菅生村大字子位庄野田道三郎・証人同郡同村大字同所岡本定平→窪屋郡倉敷町大橋寿・後見人名越為吉	(端裏書)「廿五年分証券 西村 野田道三郎」
21-2-15	記(本堂再建の寄附金受取)	明治11年4月8日	横切紙	1通	地蔵院口務仁井谷高恭→大橋秀太郎	
21-2-16	[大橋高之宛近藤敬次郎書状]	年未詳12月25日	横切紙	1通	教子の縁談先の調査について「一段進テ」の調査を依頼 又預っている当人の写真・約書返却のこと	
21-2-17	[江田伯母宛大橋寿書状]	年未詳2月18日	横継紙	1通	ちり紙代金今日送付のこと 一の宮へ養子の件について、先方は「大変進み居候よし」豊さんも「約束が出来本月廿五日のし入四月頃引受のよし」	(封筒表書)「備前御都」

21-2-18	[封筒]	7年9月2日	19.5×7.8	1枚		封筒のみ(封筒表書)「備中倉敷町新川 大橋高之様」(封筒裏書)「九月二日 大阪市東区北浜式丁目 加藤千代」
21-2-19	[封筒]	年月日未詳	20.7×8.0	1枚		封筒のみ(封筒表書)「大橋高之殿」(封筒裏書)「岡山県都窪郡倉敷町役場」
21-2-20	[封筒]	年月日未詳	20.7×8.0	1枚		封筒のみ(封筒表書)「大橋寿殿」(封筒裏書)「岡山県都窪郡倉敷町役場」
21-2-21	[封筒]	年未詳3月19日	19.5×8.0	1枚		封筒のみ(封筒表書)「都窪郡倉敷町 大橋高之様 念書」(封筒裏書)「菅生村生坂 貝原定次郎 三月十九日」
21-2-22	明治十一年 去丑歳 小作米代書抜	明治11年	美・横長	1冊		(裏表紙)「東大橋」
21-2-23	小作証券	明治24年12月	縦紙	1通	窪屋郡倉敷三千式百六拾五番字未新田三ノ割 田九畝拾八歩 預り米石九舛の小作証券 小作人窪屋郡倉敷町内田岩蔵・証人全郡倉敷町中山初三郎→大橋寿	(端裏書)「小作証券 新田 内田岩蔵」
21-2-24	小作証券	明治21年3月	縦紙	1通	窪屋郡富久村百廿八番字表末 畑六畝廿四歩 預ケ米八斗 舛六合の小作証券 窪屋郡子位庄村岡本徳平・証人北見平三郎→大橋寿	(端裏書)「友平分」
21-2-25	小作証文事	庚亥(明治13)年1月17日	縦紙	1通	窪屋郡生坂村千九百四十九番字入樋 田壹段貳畝歩 預ケ米納三斗五舛俵二テ四俵の小作証文 小作人窪屋郡生坂村黒瀬利源太・証人同郡子位庄村大角万作・同郡富久村横山久次郎→大橋秀太郎	罫紙
21-2-26	[小作証券・借用証券類一括]			1括り(39通3丁)		21-2-26-1~42紙綴りで一括り
21-2-26-1	小作証券	明治21年3月	縦紙	1通	窪屋郡子位庄村之内九百五拾貳番 田壹反四畝三歩他2筆 預ケ米合計三石四斗三舛合四勺の小作証券 小作人窪屋郡子位庄村長山愛蔵・証人同郡平田村貝原又七→窪屋郡倉敷村大橋寿	(端裏書)「子位庄村分 本村 長山愛蔵」台紙は木版印刷
21-2-26-2	小作証券	明治21年3月	縦紙	1通	窪屋郡子位庄村之内三百五拾貳番 畑五畝廿七歩他1筆 預ケ米合計貳石壹斗貳升式合の小作証券 小作人窪屋郡子位庄村白髪友吉・証人同郡同村白髪嘉平→窪屋郡倉敷村大橋寿	(端裏書)「子位庄村分 本村 白髪友吉」台紙は木版印刷
21-2-26-3	小作証券	明治21年3月	縦紙	1通	窪屋郡子位庄村之内三百廿番字一ノ樋 田壹反五畝廿七歩 預ケ米貳石壹斗貳升九合八勺の小作証券 子位庄村小作人友野寿吉・証人友野哉次→窪屋郡倉敷村大橋寿	(端裏書)「子位庄村分 西岡 友野寿吉」台紙は木版印刷
21-2-26-4	小作証券	明治26年5月	縦紙	1通	窪屋郡菅生村五百四番字宮地 畑七畝廿壹歩 預り米石壹斗八合八勺の小作証券 都窪郡菅生村大字子位庄小作人小野虎吉・証人小野徳松→大橋寿	(端裏書)「小作証券 本村 小野」台紙は木版印刷
21-2-26-5	小作証券	明治26年5月	縦紙	1通	窪屋郡菅生村大字子位庄三百貳拾番字五反田 田四畝拾八歩他1筆 預ケ米合計石五斗六舛八合六勺の小作証券 都窪郡清音村大字黒田小作人近藤代吉・同郡同村大字同所証人大熊光太郎→大橋寿	(端裏書)「小作証券 黒田 近藤代吉」台紙は木版印刷
21-2-26-6	小作証券	明治15年4月	縦紙	1通	窪屋郡子位庄村三百貳拾番一ノ樋 田四畝廿七歩他1筆 納米石九斗三舛八合三勺の小作証券 窪屋郡酒津村小作人三宅国次郎→窪屋郡倉敷村大橋秀太郎	(端裏書)「酒津 国次郎」台紙は木版印刷
21-2-26-7	小作証券	明治21年3月	縦紙	1通	窪屋郡子位庄村之内八百廿九番字念仏講 田三畝歩 畑壹反七畝三歩 預ケ米貳石七斗貳舛三合五勺の小作証券 小作人子位庄村友野幾治・証人友野寿吉→窪屋郡倉敷村大橋寿	(端裏書)「子位庄村分 西岡 小野幾治」台紙は木版印刷
21-2-26-8	小作証券	明治21年3月	縦紙	1通	窪屋郡子位庄村之内千五百五拾五番字薬師前 畑四畝廿四歩 預ケ米七斗三舛三合四勺の小作証券 小作人子位庄村小橋初吉・証人同村松田友太郎→窪屋郡倉敷村大橋寿	(端裏書)「子位庄村分 本村 小橋初吉」台紙は木版印刷
21-2-26-9	小作証券	明治24年	縦紙	1通	窪屋郡倉敷三千百九拾九番字未新田六割 田壹反廿五歩 預り米石九舛の小作証券 小作人記載なし・証人記載なし→窪屋郡倉敷村大橋寿	(端裏書)「小作証券 藤原次三郎分」台紙は木版印刷
21-2-26-10	小作証券	明治21年3月	縦紙	1通	窪屋郡生坂之内千貳百九拾七番字下伝田 田地壹段壹畝四歩五厘 預ケ米石壹斗の小作証券 小作人窪屋郡生坂村山川義蔵・証人同山川松蔵→大橋寿	(端裏書)「生坂村 山川義蔵」台紙は木版印刷
21-2-26-11	小作証券	明治23年2月	縦紙	1通	窪屋郡菅生村之内大字生坂七百九拾八番字山神 田壹段五畝廿壹歩 預ケ米貳石三斗の小作証券 小作人窪屋郡菅生村大字生坂間野清八・証人守屋柳蔵→大橋寿	台紙は木版印刷
21-2-26-12	小作証券	明治21年3月	縦紙	1通	窪屋郡生坂之内千六百廿番字見之元 壹段三畝歩 預ケ米石九斗七舛合四勺の小作証券 小作人窪屋郡生坂村貝原徳三郎・証人尾崎常次郎→大橋寿	(端裏書)「生坂村 貝原徳三郎」台紙は木版印刷
21-2-26-13	小作証券	明治21年3月	縦紙	1通	窪屋郡生坂之内千五百六拾九番字八反坪 田七畝歩 預ケ米七斗五舛合四勺の小作証券 小作人窪屋郡生坂村貝原徳太郎・証人貝原文作→窪屋郡倉敷村大橋寿	(端裏書)「生坂市 貝原徳太郎」台紙は木版印刷

21-2-26-14	小作証券	明治21年3月	縦紙	1通	窪屋郡生坂村之内千六百廿番・千六百廿二番字松ヶ鼻 田舎段壹畝拾五歩 預ケ米壹石六斗四升合九勺の小作証券 小作人窪屋郡生坂村間野重吉・証人同郡同村山田京蔵→窪屋郡倉敷村大橋寿	(端裏書)「生坂村 間野重吉」 台紙は木版印刷
21-2-26-15	小作証券	明治18年2月10日	縦紙	1通	備中国窪屋郡生坂村千六百廿番・千六百廿三番 壹反壹畝拾五歩 預ケ米壹石六斗四升合九勺の小作証券 預り人同郡生坂村山砥武吉・証人山砥光造→大橋秀太郎	(端裏書)「小作証 山磨武吉 弥太郎事」(朱書)「反古同様」 台紙は木版印刷
21-2-26-16	小作証券	明治15年7月8日	縦紙	1通	備中国窪屋郡西坂村千九百五拾八番入樋 田六畝廿七歩 預ケ米九斗の小作証券 窪屋郡生坂村小作人山本惣七→大橋秀太郎	(端裏書)「生坂村 山本惣七」(朱書)「反古同様」 台紙は木版印刷
21-2-26-17	小作証券	明治15年5月12日	縦紙	1通	備中国窪屋郡生坂村之内千九百六拾貳番字永田 田壹反壹畝15歩 預ケ米壹石三斗三升三合の小作証券 窪屋郡生坂村小作人目黒時平・同郡同村証人江国元次郎→大橋秀太郎	(端裏書)「生坂村 目黒時平」(裏・朱書)「反古同様」 台紙は木版印刷
21-2-26-18	小作証文之事	明治14年5月22日	縦紙	1丁	備中国窪屋郡生坂村字松ヶ鼻 田壹段壹畝拾五歩 預米壹石七斗式升五合の小作証文 生坂村小作人川野千代吉・同村保証人貝原清吉→大橋秀太郎	罫紙 綴じ穴跡あり
21-2-26-19	小作証文之事	明治14年5月22日	縦紙	1丁	備中国窪屋郡西坂村 田壹畝四歩半 預ケ米壹斗八升四合の小作証文 小作人山砥梶吉・保証人同弥十郎・扱人子位庄村大角萬作→大橋秀太郎	罫紙 綴じ穴跡あり
21-2-26-20	小作証文之事	明治14年5月22日	縦紙	1丁	備中国窪屋郡西坂村字亀ノ甲 田壹反四畝廿四歩 預米式石壹斗八升四合の小作証文 生坂村小作人尾崎藤太郎・保証人貝原岩吉・扱人子位庄村大角萬作→大橋秀太郎	罫紙 綴じ穴跡あり
21-2-26-21	小作証券	明治21年3月	縦紙	1通	窪屋郡生坂村之内千八百拾貳番字小立花 田壹段貳畝六歩 預ケ米壹石九斗式升の小作証券 小作人窪屋郡生坂村目黒弥四郎・証人江国末次郎→大橋寿	(端裏書)「生坂村 目黒弥四郎」 台紙は木版印刷
21-2-26-22	小作証券	明治21年3月	縦紙	1通	窪屋郡生坂之内千八百拾四番見之元 田壹段三畝歩 預ケ米式石壹斗の小作証券 小作人窪屋郡生坂村間野友太郎・証人黒瀬利源太→大橋寿	(端裏書)「生坂村 間野友太郎」 台紙は木版印刷
21-2-26-23	小作証券	明治21年3月	縦紙	1通	窪屋郡生坂村之内千八百拾五番見之元 田壹反廿七歩 納合九斗の小作証券 小作人窪屋郡生坂村江国末次郎・証人目黒弥四郎→大橋寿	(端裏書)「生坂村 江国末次郎」 台紙は木版印刷
21-2-26-24	小作証券	明治24年3月	縦紙	1通	窪屋郡菅生村大字生坂七百九拾七番字山神 田壹反九畝三歩 小作定米式石五斗三升五勺の小作証券 窪屋郡菅生村大字三田七拾八番邸守屋喜三郎・証人同村大字三百八十番邸平松弁蔵→大橋寿・後見人名越為吉	台紙は木版印刷
21-2-26-25	小作証券	明治24年2月	縦紙	1通	窪屋郡菅生村大字生坂六百七拾九番字下田 田壹反壹畝四歩五厘 小作定米壹石壹斗壹升五合の小作証券 窪屋郡菅生村大字生坂尾崎彦太郎・同郡同村大字同所尾崎馬吉→窪屋郡倉敷村大橋寿・後見人名越為吉	台紙は木版印刷
21-2-26-26	小作証券	明治20年4月	縦紙	1通	備中国窪屋郡生坂村千三百七拾三番字地藏後 田壹段貳畝拾貳歩 預ケ米壹石五斗式升三合八勺の小作証券 預り小作人窪屋郡生坂村今宮留太郎・小作証人同郡同村今宮仙之介→窪屋郡倉敷村大橋寿	(端裏書)「生坂村 今宮留太郎 小作証」 台紙は木版印刷
21-2-26-27	小作証券	明治21年3月	縦紙	1通	窪屋郡生坂村之内千貳百四拾九番字山之神 田七畝廿壹歩 預ケ米壹石式斗三升三合三勺の小作証券 小作人窪屋郡生坂村山磨彦三郎・証人同郡同村古屋野利吉→窪屋郡倉敷村大橋寿	(端裏書)「生坂村 山磨彦三郎」 台紙は木版印刷
21-2-26-28	小作証券	明治21年3月	縦紙	1通	窪屋郡生坂村之内千五百三拾六番字東中田山 田壹段貳畝廿七歩 預ケ米壹石九斗式升の小作証券 窪屋郡生坂村小作人江国音松・証人江国吉太→窪屋郡倉敷村大橋寿	(端裏書)「生坂村 江国音松」 台紙は木版印刷
21-2-26-29	小作証券	明治21年3月	縦紙	1通	窪屋郡生坂村之内千貳百九拾二番字南佃 田貳段貳畝六歩 預ケ米式石三斗三升三合三勺の小作証券 小作人窪屋郡生坂村国神芳蔵・証人同村白神周太郎→大橋寿	(端裏書)「生坂村 国神芳蔵」 台紙は木版印刷
21-2-26-30	小作証券	明治21年3月	縦紙	1通	窪屋郡生坂村之内字松ヶ鼻 田壹畝拾歩他2筆 預ケ米四斗式升三合三勺の小作証券 小作人生坂村間野源太郎・証人安藤俊吉→大橋寿	(端裏書)「生坂村 間野源太郎」 台紙は木版印刷
21-2-26-31	小作証券	明治21年3月	縦紙	1通	窪屋郡生坂村之内千四百拾壹番地藏前 田壹段拾五歩 預ケ米壹石壹斗六升六合六勺の小作証券 窪屋郡生坂村小作人諏訪辰蔵・小作人三宅花作→大橋寿	(端裏書)「花作之内 生坂村 諏訪辰蔵」 台紙は木版印刷
21-2-26-32	小作証券	明治21年3月	縦紙	1通	窪屋郡生坂村之内千六百貳拾四番松ヶ鼻 田壹段貳畝六歩 預ケ米壹石六斗壹升九合の小作証券 小作人窪屋郡生坂村三宅花咲・証人諏訪辰蔵→窪屋郡倉敷村大橋寿	(端裏書)「生坂村 三宅花咲」 台紙は木版印刷
21-2-26-33	小作証券	明治21年3月	縦紙	1通	窪屋郡生坂村千八百廿四番見之元 田三畝歩 預ケ米四斗八升の小作証券 窪屋郡生坂村小作人黒瀬利源太・証人間野友太郎→窪屋郡倉敷村大橋寿	(端裏書)「生坂村 黒瀬利源太」 台紙は木版印刷
21-2-26-34	米借用証券	明治24年5月5日	縦紙	1通	米三五入壹俵の借用証券 窪屋郡菅生村大字生坂百貳拾六番邸白神芳蔵→窪屋郡倉敷村大橋寿	(端裏書)「米貸付証券 生坂村 白神芳蔵」

21-2-26-35	借用証券	明治18年2月10日	縦紙	1通	金貳円九拾八錢四厘 但し利息壹ヶ月式歩の借用証券 借用主窪屋郡生坂村目黒定吉・証人同郡同村日上光蔵→窪屋郡倉敷村大橋秀太郎	(端裏書)「十月限り 目黒定吉」台紙は木版印刷
21-2-26-36	借用証券	明治18年3月	縦紙	1通	明治十七年分小作米代残金金壹円六拾五錢の借用証券 借用主窪屋郡生坂村山本惣七・証人同郡同村山本作平→大橋秀太郎	(端裏書)「生坂村 山本惣七 旧九月切」台紙は木版印刷
21-2-26-37	借用証券	明治18年2月10日	縦紙	1通	明治17年分小作米代残金金五円四拾錢の借用証券 借用主目黒時平・証人目黒若三郎→大橋秀太郎	(端裏書)「十月限り 目黒時平」台紙は木版印刷
21-2-26-38	借用証券	明治20年4月25日	縦紙	1通	金六円の借用証券 債主窪屋郡生坂村間野七郎・証人同郡同村山砥光蔵→窪屋郡倉敷村大橋秀太郎	(端裏書)「廿年六月限り 生坂村 間野七郎」
21-2-26-39	小作証券	明治21年3月	縦紙	1通	窪屋郡生坂村之内千貳百三拾八番字山之神 田壹段九畝三步 預ケ米貳石五斗三舂五勺の小作証券 小作人窪屋郡生坂村山砥幾太郎・証人山砥権吉→窪屋郡倉敷村大橋秀太郎	(端裏書)「生坂村 山砥幾太郎」台紙は木版印刷
21-2-26-40	小作証券	明治21年3月	縦紙	1通	窪屋郡生坂村之内千四百九番字地藏前 田壹段壹畝三步 預ケ米壹石壹斗貳舂の小作証券 小作人窪屋郡生坂村林藤次郎・証人林與五郎→窪屋郡倉敷村大橋秀太郎	(端裏書)「生坂村 林藤次郎」台紙は木版印刷
21-2-26-41	小作証文之事	明治29年12月	縦紙	1通	備中国窪屋郡菅生村大字生坂七百九拾八番字山神 一田壹反五畝廿壹歩 預リ米貳石三斗の小作証券 小作人窪屋郡菅生村大字三ツ田山上九三郎・証人同郡同村山上与太郎→大橋秀太郎	台紙は邦文タイプで打たれてもの
21-2-26-42	印鑑証明願	明治30年1月9日	縦紙	1通	窪屋郡菅生村大字三田五拾八番邸山上九三郎 全郡全村五拾九番邸山上与太郎→窪屋郡菅生村長高尾仙作	窪屋郡菅生村長高尾仙作の決済印あり
21-2-27	鉄鉋譲渡願	明治16年11月22日	半・縦	仮1冊	譲渡人酒津村三宅弥平太・譲受人倉敷村大橋俊太郎・窪屋郡酒津村・水江村・中島村戸長藤野宇一・倉敷村戸長不在代理用掛石川龜太郎→岡山県令高崎五六代理高津暉	(奥書)窪屋郡長戸川晚香 岡山県令高崎五六代理高津暉の決済あり(明治16年11月29日)
21-2-28	小作証券	明治24年3月16日	縦紙	1通	窪屋郡倉敷町六百四拾貳番字山之後三ノ割 田壹段貳畝廿五歩 預リ米壹石九斗貳舂五合の小作証券 窪屋郡倉敷町五百貳番邸小作人小林松太郎・証人神谷要太郎→窪屋郡倉敷町大橋秀太郎	(端裏書)「小作証書 川下 小林松太郎」台紙は木版印刷
21-2-29	鶴新田未進之書拔	年月日未詳	美・横半折	1冊	利喜蔵取立不都合之人名書上	
21-2-30	[伊勢守殿御沙汰二付申渡]	丑年10月	横継紙	1通	異国船渡来二付上納金相願可申事	
21-2-31	借用証券	明治21年3月8日	縦紙	1通	金三円の借用証券 窪屋郡富久村借用主鳥越駒之介・証人鳥越元次郎→窪屋郡倉敷村大橋秀太郎	(端裏書)「(朱筆)富久村 (墨書)大内村鳥越駒之介」台紙は木版印刷
21-2-32	以書付御願申上候	子年8月	横継紙	1通	当村向市場万吉が負う生魚代銀支払いにつき、十ヶ年賦の初年より延滞し再度の裁定を求める願い書き 小山安右衛門代召任多吉→村役人中	
21-2-33	頼母子講証文之事	弘化3年12月	縦紙	1通	懸銀百目受取 講主前瀧村秀太郎・市三郎→源助	包紙あり(包紙上書)「午十二月廿四日 銀百目 講主前瀧村秀太郎 同世話方惣代市三郎 但来未年より辰年迄拾ヶ年間拾匁払込之約束」(中包上書)「頼母子講証文壹通」
21-2-34	[封筒]	年月日未詳	36.0×6.5	1枚		無字封筒
21-2-35	明治十六癸未年十一月 中疇分見取り書出し帳 東大橋	明治16年11月	美・横半折	1冊	河合勝次部分他21人分	
21-2-36	覚(地藏院勸化につき金額書上)	弘化2年	横折紙	1通	金拾五兩 大橋 他11筆	
21-2-37	[金子取かへ証入封筒]	亥年11月		1枚		封筒のみ(封筒上書)「亥十一月取かへ 金八拾兩 初午六拾俵引当 津田源右衛門」紙縫りで結んである
21-2-38	[証文類]			1括り(4通1枚2袋)		21-2-38-1~7紙縫りで一括り
21-2-38-1	借用申金子証文之事	慶応3年10月	縦継紙	1通	金百兩の借用 借用主備州家中津田源右衛門・伊藤佐五衛門・佐谷嘉太夫→大橋秀太郎	封筒あり(封筒表書貼紙)「丁卯十月取替金百兩 戊辰三月取かへ同四拾兩 初平三拾俵引当 津田源右衛門」(中包上書)「証文 津田源右衛門様 壹通」
21-2-38-2	[証文・書状]			1袋(2通)		21-2-38-2-1~2一袋 (封筒表書貼紙)「卯十二月金五拾兩卯五月取かへ 大久保岡右衛門 卯貳拾俵引当」(中包上書)「証文 御平方返輪 御平受取切手 大久保岡右衛門様」
21-2-38-2-1	[大 岡右衛門宛丸川近右衛門・沖久太夫書状]	卯年12月	横継紙	1通	知行米から毎年貳拾俵を大黒屋甚介に渡す件について	
21-2-38-2-2	借用金子之事	慶応3年12月	縦継紙	1通	金五拾兩の借用証文 備洲家中大久保岡右衛門→大黒屋甚介	(奥書)丸川近右衛門
21-2-38-3	借用申金子証文之事	慶応3年12月27日	縦紙	1通	金三拾兩の借用証文 京都留守川口左衛門・代判舟戸弾之丞→大橋良介	封筒あり(封筒上書)「一金三拾兩 後平貳拾四俵引当 川口嶋之介」(中包上書)「証文 舟戸弾之丞」
21-2-38-4	借用申金子証文之事	慶応3年11月	縦紙	1通	金三拾五兩、但利足1ヶ月壹歩二朱の借用証文 榎並十大夫・親類加判田坂辰三郎→大黒屋甚介	封筒あり(封筒表書貼紙)「卯十一月取替金三拾兩 初平貳拾俵引当 榎並十大夫」
21-2-38-5	[証文・書状]			1袋(2通)		21-2-38-5-1~2一袋 (封筒表書貼紙)「卯十二月 金三拾兩 後平貳拾俵引当 秋田十左衛門」(中包上書)「証文」
21-2-38-5-1	[秋田十左衛門宛丸川近右衛門・沖久太夫書状]	卯年12月	横継紙	1通	知行米から貳拾俵を大黒屋甚介に渡す件について	
21-2-38-5-2	借用金子証文之事	慶応3年12月	縦継紙	1通	金三拾兩、利足月壹分半の借用証文 備洲家中秋田十左衛門・同親類加判澤原源左衛門・同証人秋田定之丞→大橋秀太郎	

21-2-38-6	借用申金子証文之事	慶応3年12月	縦紙	1通	金六拾両、利一ヶ月割半の借用証文 借用主備前家中加藤伝兵衛・親類加判堀惣右衛門・証人村六郎→大橋秀太郎	封筒あり(封筒表書貼紙)「卯十二月金六拾両 後平三拾俵引当 加藤伝兵衛」(中包上書)「証文書通 加藤伝兵衛」
21-2-38-7	[封筒]	辰年正月	35.5×7.7	1枚		封筒のみ(封筒表書貼紙)「辰正月金三拾両 初平式拾俵引当 笠井平右衛門」
21-2-39	[地価反別書上]	丑年12月8日	横切紙	1通	田舎反三畝拾畝分 収穫式石式斗六升 地価九拾式円四拾銭他3筆	
21-2-40	小作証券	明治24年12月20日	縦紙	1通	窪屋郡倉敷三千畝番字東五割 田舎反式畝式歩他1筆の小作証券 窪屋郡倉敷小作人松尾千次郎・証人松尾鹿次郎→窪屋郡倉敷町大橋寿	(端裏書)「小作証券 松尾千次郎」 台紙は木版印刷
21-2-41	小作証券	明治21年3月	縦紙	1通	窪屋郡子位庄村千七百番字川東 畑舎反三畝歩 預ケ米石六斗九升の小作証券 子位庄村小作人小山長次郎・証人中本坂三郎→窪屋郡倉敷村大橋寿	(端裏書)「子位庄村分 西村 長治郎」 台紙は木版印刷
21-2-42	借用証券	明治21年2月7日	縦紙	1通	金百九拾銭の借用証券 倉敷村借用主武部藤十郎・同村証人建部六五郎→倉敷村大橋寿	(端裏書)「六月限り 倉敷村武部藤十郎」
21-2-43	請切証書事	明治17年1月14日	縦切紙	1通	定米納三石三斗九升請切 浅口郡鶴新田小作人三宅虎吉・証人三宅植吉→窪屋郡大橋秀太郎	罫紙(証券界紙)
21-2-44	[御門普請銀納入書付]	丑年6月8日	横切紙	1通	金拾両 金平 丑六月八日納	
21-2-45	[書状類]			1包(3通)		21-2-45-1~3が二重の包紙に包まれている(外包紙上書)「嘉永元申年 福田新田沖新開場 入用銀書付入」(内包紙上書)「大橋金平様 三島治郎右衛門 急内用」
21-2-45-1	[大橋金平宛三島治郎右衛門書状]	年未詳12月24日	横継紙	1通	義三の式両取替について	
21-2-45-2	[三嶋治郎右衛門宛大橋金平書状]	年未詳12月20日	横継紙	1通	割符銀引渡の事について	
21-2-45-3	覚(入用銀書付)	申年12月	横継紙	1通	一拾六匁九歩 飛脚 他8筆 秀介→治郎右衛門・半十郎	
21-2-46	借用証券	明治25年2月26日	縦紙	1通	金式円廿銭 月利五歩五厘 明治廿四年分小作米代残金の借用証券 窪屋郡倉敷町借用主藤原彦一・同郡同町証人藤原多平→窪屋郡倉敷町大橋寿	(端裏書)「廿五年六月三十日限り 新田藤原彦一」 台紙は木版印刷
21-2-47	小作証券	明治21年3月	縦紙	1通	窪屋郡子位庄村千四百九二、千四十四字薬師東 田畑合八畝九歩 預ケ米六斗六升六匁六分の小作証券 子位庄村小作人川崎清八・証人川崎園五郎→窪屋郡倉敷村大橋寿	(端裏書)「西村 清右衛門」 台紙は木版印刷
21-2-48	借用証券	明治21年3月	縦紙	1通	三円拾銭五厘 利息月五厘 明治廿年分小作米代残金の借用証券 借用主子位庄村溝内勝平・証人足守廣吉→大橋寿	(端裏書)「六月限り 溝内勝平 勝平分」 台紙は木版印刷
21-2-49	小作証券	明治24年	縦紙	1通	窪屋郡倉敷三千式百四拾三番字未新田四割 田舎反六畝三歩 預リ米石八斗三升五合の小作証券 窪屋郡倉敷小作人中山鶴蔵・証人応武栄吉→大橋寿	(端裏書)「小作証券 新田 中山鶴蔵」 台紙は木版印刷
21-2-50	小作証券	明治24年	縦紙	1通	窪屋郡倉敷三千三百拾番字未新田式割 田式反五畝拾七歩 預リ米石九斗五升四合式勺の小作証券 小作人倉敷町応武栄吉・証人中山窪三→大橋寿	(端裏書)「小作証券 新田 応竹栄吉」 台紙は木版印刷
21-2-51	小作証券	年月日未詳	縦紙	1通	窪屋郡子位庄村之内千六百八十三番字鹿爪前 畑七畝廿五歩他3筆 預ケ米五石五斗式升合八匁の小作証券 子位庄村小作人野田駒次郎・証人岡田才一郎→窪屋郡倉敷村大橋寿	(端裏書)「子位庄村分 西村 野田駒次郎」 台紙は木版印刷
21-2-52	[証書]			1括り(1通1袋)		21-2-52-1~2紙紙で一括り
21-2-52-1	[証文]			1袋(1通1包)		21-2-52-1-1~2一袋(袋表書貼紙)「子十二月取かへ 金イラ 後平百俵引当 船戸八郎左衛門」
21-2-52-1-1	[証文]			1包(4通)		21-2-52-1-1-1~4一包 包紙あり(包紙上書)「巳十二月 証文并請取書類 船戸八郎左衛門」
21-2-52-1-1-1	覚(後平切手書枚請取)	巳年11月~未年11月	横継紙	1通	船戸八郎左衛門→平方用所	巳十一月~未十一月まで三件の後平切手書枚請取の覚が書き連ねてある
21-2-52-1-1-2	覚(切手書枚請取)	午年~戌年	横継紙	1通	船戸八郎左衛門→平方用所	午年から戌年まで五件の切手請取の覚が書き連ねてある
21-2-52-1-1-3	覚(後平切手書枚請取)	年月日未詳	横継紙	1通		六件の切手受取の覚が書き連ねてある 年月日の記載はなし
21-2-52-1-1-4	覚(後平切手請取)	戌年11月	横切紙	1通	船戸八郎左衛門→平方用所	
21-2-52-1-2	借用申金子証文之事	元治元年12月	縦紙	1通	金百四拾両の借用証 備州家中借用主船戸八郎左衛門・同親類加判服部頼母→備中倉敷大橋良介	包紙あり(包紙上書)「証文書通」
21-2-52-2	借用申金子証文之事	元治元年12月	縦紙	1通	金六拾両の借用証 備州家中借用主江戸留守水野於義太郎・代判松本永之丞・親類加判野崎又平→備中倉敷大橋良介	(袋貼紙)「子十二月取かへ 金ア 初平四拾八俵引当 水野於義太郎 江戸留守代判松本永之丞」(中包上書)「証文 水野於義太郎」
21-2-53	小作証券	明治24年12月	縦紙	1通	窪屋郡倉敷三千三百拾三番字未新田式割 田九畝廿九歩半他1筆 預リ米合計三石三斗四升七合式勺の小作証券 小作人藤原文次郎・証人藤原弥太郎→大橋寿	(端裏書)「小作証券 新田 藤原文次郎」 台紙は木版印刷
21-2-54	小作証券	明治21年3月	縦紙	1通	窪屋郡子位庄村之内千六百六拾八番字上河原 田舎反五畝歩他1筆 預ケ米合計三石五斗三升三合三勺の小作証券 子位庄村小作人塚岡甚作・証人岡本武七・高原治平→窪屋郡倉敷村大橋寿	(端裏書)「西村 甚作分」 台紙は木版印刷
21-2-55	[大島屋次郎右衛門に銀式貫目貸借関係書類]			1袋(1包1通)		21-2-55-1~2一袋(袋上書貼紙)「戌八月廿四日 銀式貫目 当十一月四日取かへ 大島屋次郎右衛門」

21-2-55-1	[大橋源介宛次郎右衛門書状]			1包(2通)		21-2-55-1-1~2一包 包紙は大橋源介宛大島次郎右衛門書状の包紙を転用
21-2-55-1-1	[大橋宛大島書状]	年未詳8月23日	横継紙	1通	無心を申し上げた件について証書を認めたから明朝渡してほしいとのこと 又用向が済んだら晩刻にも会所へ出勤してほしい	(上書)「大橋様 大島拝 内用」
21-2-55-1-2	[大橋源介宛次郎右衛門書状]	年未詳8月24日	横切紙	1通	銀貳貫目をこのものに渡してくれ	(上書)「大橋様 大島 内用」
21-2-55-2	借用申銀子之事	天保9年8月	縦紙	1通	銀貳貫目借用 借用主大島屋次郎右衛門・証人新田助右衛門→中島屋源介	包紙あり(包紙上書)「証書」
21-2-56	覚(借用銀札請取書付)	天保10年3月	横切紙	1通	桜屋常五郎・証人沖新田三番敏介→中島屋源介・金平	(袋上書貼紙)「天保十亥年 新札壹貫目 拾ヶ年可成形二払 岡山 桜屋常五郎 証人沖新田三番敏助」(中包上書)「証書壹通 桜屋常五郎」
21-2-57	[借用証書類]			1括り(3通)		21-2-57-1~3紙綴りで一括り 虫損のため紙綴りが切れたのでSILティッシュで包み、SILティッシュで一括した
21-2-57-1	銀札借用仕証文之事	嘉永5年12月	縦紙	1通	銀札九百五拾目、小作銀残銀の借用証文 借主連島村七蔵・証人西阿知村伝治郎→倉敷村中嶋屋金平	(包紙上書)「証文手形一通 七蔵」虫損あり 要注意
21-2-57-2	裏毛代借用証文之事	嘉永6年3月26日	縦継紙	1通	天保開北七ノ割 小作畝三反貳拾歩 裏毛代壹貫目他1筆 借用主鶴新田夏次郎・証人同村石松→倉敷中嶋屋金平	(包紙上書)「丑三月取かへ 利息月八朱定 一銀札壹貫三百目 鶴新田夏次郎 但此返済は五月切五百目 十月切八百目払込候約束」包紙は「証文壹通」の包紙を転用してある
21-2-57-3	借用申銀札証文之事	嘉永7年10月	縦継紙	1通	銀札貳百五拾目の借用証文 借用主鶴新田村栄吉・証人西原村利七→倉敷中嶋屋金平	(包紙上書)「寅十月元月 月八朱定 銀札貳百五拾目 鶴新田栄吉 来卯十一月切取かへ」包紙は「天保十四卯年より興除新田検見帳」の表紙を転用してある
21-2-58	[金銭貸借関係書類]			1括り(3通)		21-2-58-1~3帯封で一括り (帯封上書)「此分可返口分」帯封が破損の恐れがある為SILティッシュで包む
21-2-58-1	[名寄帳面書替のこと]	年月日未詳	縦切紙	1通	地所の名寄帳面の名前を書替える様に指示 御役人→(宛名なし)	
21-2-58-2	手形之事	寅年12月15日	横継紙	1通	金五拾兩借用のこと 長尾屋重兵衛→大橋	
21-2-58-3	[東大橋宛文介書状]	寅年11月21日	横継紙	1通	金百兩借入れの件	(上書)「東大橋様 文介 口上書書付在中」
21-2-59	借用申銀之事	嘉永5年正月	縦継紙	1通	銀札壹貫目の借用証文 借主西原村三郎右衛門・証人同村俊吉→倉敷中島屋金平	(包紙上書)「銀札壹貫目 子正月取かへ 但三月十八日所へ付ル 西原三郎右衛門」(内包上書)「手形一通 にし原 三郎右衛門」
21-2-60	借用申銀札証文之事	嘉永7年10月	縦継紙	1通	銀札壹貫五百目 利息壹ヶ年八朱定の借用証文 借用主田之上村喜次郎・証人西原村利七→倉敷中島屋金平	(袋上書)「寅十月取かへ 利息壹ヶ年八朱定 銀札壹貫五百目 田之上喜次郎 証人西原利七 但此返済口来卯年より来ル未年迄五ヶ年之間毎年元銀内三百目并借用銀高 利息共九月晦日切払入之約束」(中包上書)「証文壹通」
21-2-61	小作証文之事	安政2年12月	縦継紙	1通	興除新田中疇分字二十八割八舛之内上田三反九畝拾八歩他1筆 小作人中疇浅次郎の小作証文	(包紙上書)「質地証文壹通 外二小作証文添」(奥書)倉敷大橋源介・証人親類忠之丞→講御引受大庄屋岡谷友野鉄太郎・同浅原秋庭五一兵衛・同宿守安慎介・同西原守屋多喜介
21-2-62	[留吉借用証文]			1袋(2通)		21-2-61-1~2が包紙に包まれて袋に入っている (袋上書)「戌十二月取かへ 銀札貳貫目 藤屋富吉」(中包上書)「西十一月廿八日 銀札貳貫目 藤屋留吉」
21-2-62-1	借用申銀札証文之事	嘉永6年11月	縦紙	1通	銀札貳貫目の借用証文 藤屋留吉→井上町中嶋屋	包紙あり(包紙上書)「証文壹通 藤屋留吉」
21-2-62-2	借用申銀札証文之事	嘉永6年10月	縦紙	1通	銀札八百八拾目の借用証文 藤屋留吉→井上町中嶋屋	包紙あり(包紙上書)「証文壹通 ふじ屋留吉」
21-2-63	借(銀力)子借用証文之事	天保8年12月	縦紙	1通	銀札貳百目の借用証文 銀子借用主西之浦戸城屋伝右衛門・証人鶴新田広島屋忠平→倉鋪中嶋屋金平	(袋上書貼紙)「申十二月 貳百目 西ノ浦伝右衛門」(中包上書)「書付壹通」
21-2-64	譲り請申夫銭手形一札之事	嘉永3年12月	縦継紙	1通	夫銭手形五貫目受取証 譲受和泉屋藤右衛門・証人弥吉→中島屋金平	(袋上書)「嘉永三庚戌年十二月夫銭手形五貫目 右者此方引請拾貫目之内五貫目譲請証文壹通入 新川和泉屋藤右衛門 証人新川弥吉」(中包上書)「書付壹通」
21-2-65	[借用証書類]			1括り(1通2袋)		21-2-65-1~3紙綴りで一括り
21-2-65-1	[借銀関係書類]			1袋(2包3通)		21-2-65-1-1~5が封紙に入り、さらに封筒に入る (封筒上書)「己八月取かへ 銀拾三貫七百目 初平請取候筈 小畑新左衛門丑年 死去 悴東兵衛 知行所寺山村より払込候約定 但し毎年十一月晦日払入候約束 酉年正月より証文改メ型 成年より平方二而受取候筈」(中包上書)「証文壹通并受取手形添 平方書状添 小畑新左衛門」
21-2-65-1-1	[小島新左衛門借銀関係書類]			1包(1纏め5通)		21-2-65-1-1-1~6一包 (包紙上書)「書付 此分己前之銀子滞り懸合之節 金平罷越塾(ママ)談二相成候時之書類 小島新左衛門」
21-2-65-1-1-1	[大黒屋文介宛小島新左衛門書状]	年未詳8月14日	横継紙	1通	金の無心、勘弁下さらなければ、運のつきと思うしかない	(上書)「大黒屋文介様 小島新左衛門」
21-2-65-1-1-2	[覚書]			1纏め(2通)		21-2-65-1-1-2-2が21-2-65-1-1-2-1に巻きこまれて一纏め
21-2-65-1-1-2-1	覚(俟約の家計内訳勘定書)	年未詳8月15日	横継紙	1通	新左衛門→弥右衛門	
21-2-65-1-1-2-2	[書付]	年月日未詳	横切紙	1通	過分の扶持方米について	
21-2-65-1-1-3	[文介宛弥右衛門書状]	年月未詳16日	横継紙	1通	別紙案文を承知してもらった礼	
21-2-65-1-1-4	[文介宛弥右衛門書状]	年未詳8月13日	横切紙	1通	新左衛門へ懸け合つたが考え通りに行かず困っているが、別紙の通りに少々訳立を御覧にいれるので御勘弁いただきたい	(上書)「文介様 弥右衛門」
21-2-65-1-1-5	[弥右衛門宛新左衛門書状]	(辰)年12月24日	横継紙	1通	文介へ直々掛合の際は此書付を見せる様に 1年分入用等の書付あり	(上書)「弥右衛門様 新左衛門 用事」



21-2-65-1-1-6	覚(借銀高米払込数・自分沓ヶ年入用米書付)	巳年8月	横継紙	1通	覚として書上げたので相談してくれる様に依頼 新左衛門→弥右衛門	
21-2-65-1-2	[瀧川弥右衛門宛中島屋金平書状案文]	(辰)年8月23日	横継紙	1通	小島新左衛門取替銀御立用の件について	
21-2-65-1-3	[文介宛小島新左衛門書状]	辰年8月15日	横切紙	1通	十二日までに工面できた約定の米を指上げる	(上書)「備中倉敷大黒屋文介様 小島新左衛門 用事書」
21-2-65-1-4	[中島屋金平宛小島新左衛門書状類]			1包(3通)		21-2-65-1-4-1~3一包 (包紙上書)「倉敷中島屋金平様 岡山家中小島新左衛門 要用」
21-2-65-1-4-1	[中島屋宛小島新左衛門書状類]	(辰)年12月	横継紙	1通	小島の窮状についてと「よふよふ銀札六百目」が出来たので「先六百目払込」、来春からの払込みの参段について考えを述べる	
21-2-65-1-4-2	古代	年未詳8月16日	横切紙	1通	別紙が出来たので判形して差出す	(上書)「金平様 文介様 弥右衛門」
21-2-65-1-4-3	[大黒屋文介宛小島新左衛門書状類]	年未詳8月16日	横継紙	1通	証文ができたので持っていく	(上書)「大黒屋文介様 小島新左衛門 貴答不及」
21-2-65-1-5	覚(平切手一枚請取)	戌年~卯年	横継紙	1通	安藤忠七郎→平方用所	(包紙上書)「平受取手形拾枚入 安東」紙片あり「此分返ス分」戌年から卯年まで六件の切手請取の覚が書き連ねてある
21-2-65-2	[借用証書類]	弘化2年8月~安政元年12月		1袋(1包1通)		21-2-65-2-1~2一袋 (袋上書貼紙)「寅十二月取かへ 一銀札七百目 小畑東兵衛」
21-2-65-2-1	[借用証文]			1包(2通)		21-2-65-2-1-1~2一包 (包紙上書)「証文 沓通 小島」
21-2-65-2-1-1	借用申銀子証文之事・継書儀定証文之事	弘化2年8月及び嘉永2年12月	縦継紙	1通	銀拾三貫七百目の借用証文と払入の儀定証文 借用主備前家中小島新左衛門・親類加判瀧川弥右衛門・証人小島四郎右衛門→備中倉敷中島屋金平	
21-2-65-2-1-2	借用申銀子証文之事	弘化2年8月	縦紙	1通	銀拾三貫七百目の借用証文 借用主備前家中小島新左衛門・親類加判瀧川弥右衛門・証人小島四郎右衛門→備中倉敷中島屋金平	
21-2-65-2-2	借用申銀子証文之事	安政元年12月	縦紙	1通	銀札七百目 利息沓ヶ月沓歩の借用証文 借主小島東兵衛・請人森忠左衛門→大黒屋文助	(包紙上書)「証文沓通 小島東兵衛」
21-2-65-3	借用申銀札之事	嘉永6年12月	縦継紙	1通	銀札九貫目の借用証文 備前家中借用主小島新左衛門・同親類加判森半左衛門・同証人榎並万吉→中島屋金平	(袋上書)「五十二月取かへ モ 初平七拾俵引当 小畑東兵衛 平方書状なしし請取手形なし」(中包上書)「証文 小島東之丞様 沓通」
21-2-66	[金子借用関係書類]			1括り(2袋)		21-2-66-1~2紙紐で一括り
21-2-66-1	[金子借用関係書類]			1袋(2包)		21-2-66-1-1~2まで紙紐で括られ袋に入っている (袋貼紙)「当戌十二月取かへ 金八拾両 後平拾五俵引当 近藤七郎右衛門」
21-2-66-1-1	[金子借用書類]			1包(2通)		21-2-66-1-1-1~2一包 (包紙上書)「証文一通 近藤七郎右衛門」
21-2-66-1-1-1	借用申金子証文之事	文久2年12月29日	縦紙	1通	金拾八両の借用証文 備前家中借用主大坂留主近藤七郎右衛門・代判加判同萬之丞→備中倉敷中島屋良介	
21-2-66-1-1-2	[近藤萬之丞宛見垣泰右衛門・岡本善蔵書状]	戌年12月	横継紙	1通	来る亥年より知行米七郎右衛門様分の内後平十五俵を大黒屋甚介へ渡すことを承知したこと	(上書)「近藤萬之丞様 見垣泰右衛門 岡本善蔵」
21-2-66-1-2	[近藤七郎右衛門貸借関係書類]			1包(3通1纏め)		21-2-66-1-2-1~4一包 (包紙上書)「証文 一通 近藤七郎右衛門」
21-2-66-1-2-1	覚(平物成切手受取)	亥年12月~申年12月	横切紙	1纏め(8枚)	近藤七郎右衛門→平方用所	8枚が重ねておられている
21-2-66-1-2-2	覚(平物成切手受取)	亥年12月	横切紙	1通	近藤七郎右衛門→平方用所	
21-2-66-1-2-3	[近藤七郎右衛門宛竹野市兵衛・中山仁右衛門書状]	午年12月	横継紙	1通	七郎右衛門が年々、備中倉敷大黒屋文介へ後平の内拾俵をおさめる様依頼の件は承知のこと	(上書)「近藤七郎右衛門様 竹野市兵衛 中山仁右衛門」
21-2-66-1-2-4	[大黒屋文介宛近藤七郎右衛門書状]	午年12月26日	横継紙	1通	旧借の分は無利年賦に取向、新株沓貫目を取継いでくれたことへの礼状 及び証文一通・添書二通・平方役人返書受取切手式十枚差出しのこと	(上書)「文介様 七郎右衛門」
21-2-66-2	[金子借用関係書類]			1袋(2包)		21-2-66-2-1~2が紙紐で括られて袋に入っている 紙紐に付紙あり(付紙)「此分己前之分不用」(袋上書貼紙)「巳十二月取かへ 銀貳貫三百七拾五匁 後平五俵引当 近藤七郎右衛門 但此返済ハ無利息二而年々五俵ツハ払入之約束」
21-2-66-2-1	[書状・証書類]			1包(1包3通1纏め)		21-2-66-2-1-1~5一包 (包紙上書)「証文 近藤 沓通」
21-2-66-2-1-1	覚(平物成切手受取)	未年12月~戌年12月及び午年12月	横切紙	1纏め(5枚)	近藤七郎右衛門→平方用所	5枚が重ねて折られている
21-2-66-2-1-2	[大黒屋文助宛福家四郎左衛門書状]	年未詳4月3日	横継紙	1通	近藤借用銀返済の事について如何御示談下さったか尋ねる	(包紙上書)「備中倉敷大黒屋文助様 福家四郎左衛門 要用」(包紙裏書)「岡山ヨリ」
21-2-66-2-1-3	[大黒屋文介宛福家四郎左衛門書状]	年未詳9月19日	横継紙	1通	近藤氏一条の事につき内談の件	(包紙上書)「備中倉敷大黒屋文助様 福家四郎左衛門 急用事」(包紙裏書)「從岡山」
21-2-66-2-1-4	[議定書]			1包(2通)		21-2-66-2-1-4-1~2一包 (包紙上書)「議定書 沓通」
21-2-66-2-1-4-1	[大黒屋文助宛福家四郎左衛門書状]	年未詳12月29日	横継紙	1通	約束の覚書一通差出しのこと	(上書)「大黒屋文助様 福家四郎右衛門 用事」
21-2-66-2-1-4-2	覚(近藤七郎右衛門借用銀返済についての議定一札指入れについて)	巳年12月	横継紙	1通	福家四郎左衛門→大黒屋文助	
21-2-66-2-1-5	借用申銀子証文之事	弘化2年12月	縦継紙	1通	銀沓貫三百五拾目の借用 借用主備前家中近藤七郎右衛門・親類同福家四郎左衛門→備中倉敷中島屋金平	
21-2-66-2-2	[証文]			1包(2通)		21-2-66-2-2-1~2一包 (包紙上書)「証文 一通 近藤七郎右衛門」

21-2-66-2-2-1	差入申添証文之事	安政4年12月	竪紙	1通	銀三貫三百七拾五匁の借用証文 備前家中近藤七郎右衛門→備中倉敷中島屋良介	
21-2-66-2-2-2	[近藤七郎右衛門宛竹野市兵衛・中山仁右衛門書状]	午年12月	横継紙	1通	知行米後平之内五俵分当年暮より大黒屋文介へ渡してくれる様にとの件は承知のこと	
21-2-67	[小作米関係書類]			1括り(仮3冊2通)		21-2-67-1~5一括り
21-2-67-1	[人別俵数勘定書]	年月日未詳	横切紙	1通	浅吉・長次・菊次郎分	
21-2-67-2	[説諭依頼]	明治9年5月12日	横折紙	1通	人別に小作米の不足高を書き出し訳付する様説諭を願う 倉敷村大橋秀太郎→中疇村戸長山本省三	
21-2-67-3	[人別取替米書上]	年月日未詳	美・横半折	仮1冊		
21-2-67-4	[人別米勘定書付]	年月日未詳	美・横半折	仮1冊		
21-2-67-5	[子年分人別取替米書上]	年月日未詳	美・横半折	仮1冊		
21-2-68	借用申銀子之事	弘化3年7月	竪紙	1通	銀七百目の借用証文 阿波屋市右衛門→大橋新宅	包紙あり(包紙上書)「証文一通 阿波屋市右衛門」
21-2-69	借用申金子之事	弘化4年7月	竪紙	1通	金三両の借用証文 阿波屋市右衛門→大橋新宅	包紙あり(包紙上書)「市右衛門」 虫損大につき開巻注意
21-2-70	乍恐書置奉申上候	年未詳7月	竪紙	1通	他行にあたり諸事願上げ 市右衛門→大橋新宅	包紙あり(包紙上書)「大橋東御新宅様」(包紙裏書)「阿波屋市右衛門」
21-2-71	建家書入質之証文	明治10年9月	竪紙	1通	金拾円 窪屋郡倉敷村八百拾七番の建物 建物持主栢谷房吉・証人木村理吉→小山通平・地主大橋秀太郎	罫紙 (奥書)備中国第拾五大区七小区 地主大橋秀太郎
21-2-72	借用証券	明治21年3月	竪紙	1通	明治二十年分小作米代残金貳円九拾九錢七厘の借用証券 窪屋郡子位庄村中村小太郎・証人中村熊太郎→倉敷村大橋寿	(端裏書)「六月限之 西村 中村小太郎」 台紙は木版印刷
21-2-73	借用証券	明治25年3月	竪紙	1通	金拾円六拾錢、利息壹ヶ月三歩五厘の借用証券 窪屋郡菅生村大字子位庄借用主中村定松・同郡同村大字同所証人中村仲右衛門→窪屋郡倉敷町大橋寿	(端裏書)「西村 中村定松」 台紙は木版印刷
21-2-74	[小作関係証文類]			1括り(22通)		21-2-74-1~22紙綴りで一括り
21-2-74-1	借用証券	明治25年3月	竪紙	1通	金五円七拾錢、利息壹ヶ月三歩五厘の借用証券 借用主倉敷町保津千代吉・証人同町田中宇三郎→窪屋郡倉敷町大橋寿	(端裏書)「保津千代吉」 台紙は木版印刷
21-2-74-2	小作証券	明治21年3月	竪紙	1通	窪屋郡富久村之内貳百四拾貳番字三本木 畑七畝歩 預け米八斗四升の小作証券 子位庄村小作人岡本茂作・証人小玉利平→窪屋郡倉敷村大橋寿	(端裏書)「富久村分 西村 茂作」 台紙は木版印刷
21-2-74-3	借用証券	明治22年4月1日	竪紙	1通	明治廿一年分小作米代残金三円八拾貳錢九厘の借用証券 倉敷村中山仲蔵・証人中山初三郎→大橋寿	台紙は木版印刷
21-2-74-4	借用証券	明治25年3月	竪紙	1通	明治廿四年分小作米代残金三円六拾錢の借用証券 窪屋郡菅生村大字子位庄借用主野田道三郎・証人岡本定平→窪屋郡倉敷町大橋寿	(端裏書)「野田光三郎」 台紙は木版印刷
21-2-74-5	借用証券	明治25年3月	竪紙	1通	明治廿四年分小作米代残金五円五拾錢の借用証券 窪屋郡菅生村大字子位庄借用主西田音一・同郡同村大字同所証人坪井茂平→窪屋郡倉敷町大橋寿	(端裏書)「西田音一」 台紙は木版印刷
21-2-74-6	借用証券	明治25年3月	竪紙	1通	明治廿四年分小作米代残金三円六拾錢の借用証券 借用主菅生村大字子位庄岡本やく・証人北見平三郎→大橋寿	(端裏書)「岡本やく」 台紙は木版印刷
21-2-74-7	小作証券	明治24年12月	竪紙	1通	窪屋郡倉敷 田二反九歩 預り米貳石三斗壹升の小作証券 小作人児嶋郡粒江村三浦林吉・証人三浦宗太郎・香川為吉→大橋寿	(端裏書)「小作証書 八軒屋 三浦林吉」 台紙は木版印刷
21-2-74-8	小作証券	明治21年3月	竪紙	1通	窪屋郡富久村字森末 田壹段三畝拾貳歩他2筆 預け米合計三石九斗六合の小作証券 小作人富久村坪井小四郎・証人同松蔵→大橋寿	(端裏書)「富久村分 大内 坪井小四郎 大内 若松」 台紙は木版印刷
21-2-74-9	小作証券	明治21年3月	竪紙	1通	窪屋郡子位庄村之内千六百七拾三番字河原 畑壹反拾五歩他1筆 預け米合計壹石六斗九舛五合の小作証券 (差出人なし)→窪屋郡倉敷村大橋寿	(端裏書)「子位庄村分 川入 林今太郎」 台紙は木版印刷
21-2-74-10	小作証券	明治21年3月	竪紙	1通	窪屋郡濱村字上河原 田五畝廿七歩他1筆 預け米合計貳石貳斗四舛四合の小作証券 富久村小作人荒木弥平治・証人荒木弥惣治→大橋寿	(端裏書)「濱分 川入 弥平二請分」 台紙は木版印刷
21-2-74-11	小作証券	明治15年3月22日	竪紙	1通	窪屋郡富久村貳百四拾三番字三本木 畑壹反五畝歩 預り米壹石八斗の小作証券 同郡子位庄内小作人吉田徳太郎・同郡富久村証人横山久次郎→窪屋郡倉敷村大橋寿	(端裏書)「富久村 吉田徳太郎」 台紙は木版印刷
21-2-74-12	小作証券	明治19年2月	竪紙	1通	窪屋郡富久村百五拾九番字森末 田壹反九畝拾貳歩 預り米貳石三斗九舛七合六勺の小作証券 預小作人富久村永山愛三郎・証人永山常太郎→窪屋郡大橋俊太郎	(端裏書)「十九年二月小作証 永山愛三郎」 台紙は木版印刷
21-2-74-13	小作証券	明治26年1月	竪紙	1通	窪屋郡万寿村大字富久 田四畝八歩他1筆 預け米壹石八斗八舛七合の小作証券 窪屋郡万寿村大字富久小作人鳥越治三郎・証人鳥越勇次→倉敷町大橋寿	(端裏書)「大内 鳥越治三郎」 台紙は木版印刷
21-2-74-14	小作証券	明治21年3月	竪紙	1通	窪屋郡富久村字森末 田三畝歩他2筆 預け米合計三石貳合七勺の小作証券 富久村小作人荒木弥平治・証人同村荒木弥惣治→窪屋郡倉敷村大橋寿	(端裏書)「富久村分 川入 弥右衛門分」 台紙は木版印刷
21-2-74-15	小作証券	明治21年3月	竪紙	1通	窪屋郡濱村千貳百拾八番字床田 田貳段三歩他計1筆 預け米合計三石六斗の小作証券 小作人平田村池上米蔵・証人日岡元太郎→大橋寿	(端裏書)「濱分 皇太神宮 米三」 台紙は木版印刷

21-2-74-16	小作証券	明治21年3月	縦紙	1通	窪屋郡富久村分百四拾四番字森末 田七畝廿壹歩他1筆 預ケ米合計壹石貳斗八舛七合の小作証券 小作人富久村鳥越駒之助・証人鳥越元吉→窪屋郡倉敷村大橋寿	(端裏書)「富久村分 鳥越駒之助」台紙は木版印刷
21-2-74-17	小作証券	明治21年3月	縦紙	1通	窪屋郡濱村之内千貳百八拾三番字三本木 田壹畝拾五歩他1筆 合納貳斗九舛四合の小作証券 小作人富久村荒木藤五郎・証人荒木千代蔵→窪屋郡倉敷村大橋寿	(端裏書)「川入 荒木藤五郎」「濱分 川入 藤吉」台紙は木版印刷
21-2-74-18	小作証券	明治21年3月	縦紙	1通	窪屋郡子位庄村之内千六百八拾五番 田八畝廿壹歩 預ケ米壹石壹斗三舛壹合 預ケ米壹石壹斗三舛壹合の小作証券 窪屋郡富久村林保五郎・証人林幸吉→大橋寿	(端裏書)「子位庄村分 川入 林安五郎」台紙は木版印刷
21-2-74-19	小作証券	明治21年3月	縦紙	1通	窪屋郡富久村之内百七拾壹番字森末 田壹段九歩 此預ケ米壹石貳斗貳升壹合の小作証券 富久村小作人鳥越丈吉・証人鳥越周次郎→窪屋郡倉敷村大橋寿	(端裏書)「富久村分 大内 鳥越丈吉」「大内 清十郎」台紙は木版印刷
21-2-74-20	小作証券	明治21年3月	縦紙	1通	窪屋郡濱村 田壹段壹畝五歩他1筆 合納壹石七斗九舛六合八勺の小作証券 富久村小作人荒木千代蔵・証人荒木藤五郎→窪屋郡倉敷村大橋寿	(端裏書)「濱村分 川入 荒木千代蔵」「濱分」台紙は木版印刷
21-2-74-21	小作証券	明治21年3月	縦紙	1通	窪屋郡濱村之内七百三拾八番字河原 田壹段壹畝廿三歩他2筆 預ケ米合計三石四斗九舛四合六勺の小作証券 富久村小作人宮本善二郎・証人宮本良太郎→窪屋郡倉敷村大橋寿	(端裏書)「字川入 宮本善二郎」「濱 富久分」台紙は木版印刷
21-2-74-22	小作証券	明治26年3月	縦紙	1通	窪屋郡万寿村大字富久七百四拾四番字森末 田三畝廿五歩他1筆 預ケ米合計壹石三斗七舛八合の小作証券 窪屋郡万寿村大字富久小作人堀茂三郎・証人堀惣吉→大橋寿・後見人名越為吉	(端裏書)「富久屋 小作証券」台紙は木版印刷
21-2-75	[備前家中長谷川務右衛門借銀関係書物一括]			1袋(2通)		21-2-75-1~2一袋 (袋上書貼紙)「亥十二月取かへ ヤ 後平五拾俵引当 長谷川務左衛門 平方書状添 請取手形壹枚」(中包上書)「証文壹通 長谷川務右衛門」
21-2-75-1	[長谷川務右衛門宛草野才助・武田源三郎書状]	戊午2月	横継紙	1通	大黒屋文介より河田万吉が借用した銀札の返済のため、知行米御蔵納分を年々大黒屋へ渡すようにとの依頼に対し、承知した旨を返答したもの	(端裏上書)「長谷川務右衛門様 草野才助・武田源三郎」
21-2-75-2	借用申銀子之事	嘉永4年12月	縦紙	1通	銀五貫目の借用証文 備前家中長谷川務右衛門・同親類加判河田左右衛門・同証人山縣忠左衛門→備中倉敷中島屋金平 窪屋郡富久之内百八拾貳番字築田他2筆 預ケ米合計貳石壹斗八舛四合六勺の小作証券 小作人子位庄村中村仲治郎・証人小玉利作→窪屋郡倉敷村大橋寿	(端裏書)「富久村分 浜村分 西村 中村仲治郎」台紙は木版印刷
21-2-76	小作証券	明治21年3月	縦紙	1通		
21-2-77	[人別取米勘定書]	年月日未詳	半・横半折	1冊		
21-2-78	竹山先生蒙養篇	年月日未詳	美・縦	1冊	養生書	
21-2-79	明治八年亥十月 濱村 小子位村 子位庄村 高免割控	明治8年10月	半・横半折	1冊		
21-2-80	天保十五辰歳 勘定帳	天保15年正月17日 ~安政2年7月4日	半・横半折	1冊	新札・銀札等勘定書上	
21-2-81	[大橋亀治郎名乗]	嘉永4年4月	横折紙	1包(1通)	撰名字為大橋亀次郎 長齡伯亀 鴨井西銘具	(包紙上書)「大橋亀治郎名乗」(端裏書)「大橋亀次郎」
21-2-82	[名案二件]			1纏め(2通)		21-2-82-1の中に21-2-82-2が包まれる
21-2-82-1	[大蔵名案]	年月日未詳	横折紙	1通	「大蔵」	
21-2-82-2	[代蔵名案]	年未詳2月29日	横折紙	1通	「二月廿九日生代蔵」	21-2-82-1に包まれる
21-2-83	借用証券	明治26年3月	縦紙	1通	金拾五円九拾銭の借用証券 窪屋郡菅生村大字子位庄借用主中村常松・証人中村仲右衛門→窪屋郡倉敷町大橋寿・後見人名越為吉	(端裏書)「廿五年分証券 西村 中村定松」台紙は木版印刷
21-2-84	借用証券	明治16年4月29日	縦紙	1通	金壹円七拾五銭の借用証券 借用主岡本徳蔵・証人岡田弥吉→大橋秀太郎	(裏書)「反古タルベシ」台紙は木版印刷
21-2-85	借用証券	明治18年3月7日	縦紙	1通	金七円の借用証券 窪屋郡子位庄村借用主岡本忠衛門・証人岡本友平→凹屋郡倉敷村大橋秀太郎	(端裏書)「岡本忠衛門 旧九月限り」台紙は木版印刷
21-2-86	借用証券	明治18年2月14日	縦紙	1通	借用主常見豊太郎・証人江国元次郎→窪屋郡倉敷村大橋秀太郎	(端裏書)「常見豊太郎 十八年九月限分」
21-2-87	小作米請切証文之事	明治15年2月14日	縦切紙	1通	小作米壹石壹斗七舛六合の小作米請切証文 小作人宮本金三郎・証人横山久次郎→大橋秀太郎	(端裏書)「川入 金三郎」「証券界紙」を使用
21-2-88	借用証券	明治19年2月3日	縦紙	1通	金壹円、利壹ヶ月歩五分の借用証券 借用主岡本文四郎・証人岡本平作・加判人岡本莊三郎→大橋俊太郎	(裏端書)「十九年四月限 岡本文四郎」台紙は木版印刷
21-2-89	小作証文之事	明治13年1月20日	縦紙	1通	窪屋郡倉敷村字末新田二割千九百六拾六番 田二反五畝三歩他1筆 預米合五石一斗一舛壹合の小作証券 窪屋郡倉敷村小作人藤原銀次郎・証人中山浅治良→大橋秀太郎	
21-2-90	小作証券	明治24年12月	縦紙	1通	窪屋郡倉敷三千三百七拾七番字末新田屋敷割 田貳反廿七歩 預米貳石貳斗の小作証券 小作人中山初三郎・証人内田岩蔵→大橋寿	(端裏書)「小作証券 新田 中山初次郎」台紙は木版印刷 端裏と本文の中山初三郎・中山初次郎氏名異なる
21-2-91	[証書類]			1包(2通)		2-2-91-1~2一包 (包紙上書)「証書通」
21-2-91-1	引請証書之事	明治13年6月12日	縦紙	1通	西岡久松戦獄の間、作地を引請る件 中疇村親睦社総代妹尾嘉衛・亀高坂衛→大橋秀太郎	

21-2-91-2	証(土地売却代金請取)	明治13年3月8日	縦紙	1通	田九反九畝九歩の売渡金貳百圓の請取と残金は本証文調え次第引渡しのこと 倉敷村向市場売主藤原甚四郎・証人松屋仙治郎→大橋秀太郎	
21-2-92	[東大橋宛甚介書状]	年未詳正月15日	横切紙	1通	受取書を指上げるので銀札を此者に渡してほしい	(上書)「東大橋様 甚介 口上書」
21-2-93	[借米返済の方法についての書付]	年未詳5月30日	横切紙	1通	利太郎他7人	封紙
21-2-94	小作証券	明治24年12月	縦紙	1通	窪屋郡倉敷式千九百六拾三番字東四割 田壹反壹畝廿八歩 預り米壹石四斗式舛壹合の小作証券 窪屋郡倉敷町小作人藤原多平・同郡倉敷証人藤原彦市→窪屋郡倉敷町大橋寿	(端裏書)「小作証券 新田 藤原多平」 台紙は木版印刷
21-2-95	小作証券	明治21年3月	縦紙	1通	窪屋郡子位庄村之内百九拾七番字馬場 田六畝拾貳歩 預ケ米八斗三舛貳合の小作証券 子位庄村小作人坪口米十良・証人坪口三代吉→窪屋郡倉敷村大橋寿	(端裏書)「子位庄村分」 台紙は木版印刷
21-2-96	[幸蔵銀子借用証文一括]			1括り(3通)		21-2-96-1~3一括り
21-2-96-1	借用申銀子証文之事	弘化4年12月	縦紙	1通	銀五百目の借用 借用主西中 幸蔵・証人同村嘉十郎→中島屋	
21-2-96-2	借用申銀子証文之事	弘化3年12月	縦紙	1通	銀三百八拾目の借用 借用主西中 幸蔵→中島屋金平	
21-2-96-3	借用申銀子証文之事	弘化4年12月	縦紙	1通	銀八百目の借用 借用主西中 幸蔵→中島屋金平	
21-2-97	借用申銀子証文之事	嘉永4年7月	縦紙	1通	銀五百目の借用証書 借用主布屋太郎左衛門・証人親類庄兵衛→中島屋金平	袋あり(袋上書)「亥七月取替無利息五ヶ年賦払之約束 銀五百目 太郎左衛門」
21-2-98	[村瀬金右衛門借用銀関係書類]			1括り(1通1袋)		21-2-98-1~2紙紐で一括り
21-2-98-1	借用申銀札証文之事	嘉永5年12月	縦紙	1通	銀札百拾四匁の借用証 借用主村瀬金右衛門・証人沖田之■ →中島屋金平	(包紙上書)「子十二月利分不足取かへ 新札百拾四匁 村瀬金右衛門 来丑七月切麦成を以払入候証文巻通入」(中包上書)「証文 巻通 村瀬金右衛門」
21-2-98-2	[平切手受取覚]			1袋(1通1包)		21-2-98-2-1~2までが紙紐で括られて袋に入っている 袋あり(袋貼紙)「西十二月取替 子 初年式拾俵引当 村瀬金右衛門 請取手形并二平方書状添 子三月四日渡し」
21-2-98-2-1	[受取手形]			1包(8通)		21-2-98-2-1-1~8一包 包紙あり(包紙上書)「午十二月 受取手形 村瀬金右衛門 平方返書」
21-2-98-2-1-1	覚(平切手受取)	酉年10月	横紙	1通	村瀬金右衛門→平方用所	
21-2-98-2-1-2	覚(平切手受取)	申年10月	横切紙	1通	村瀬金右衛門→平方用所	
21-2-98-2-1-3	覚(平切手受取)	未年10月	横切紙	1通	村瀬金右衛門→平方用所	
21-2-98-2-1-4	覚(平切手受取)	辰年10月	横切紙	1通	村瀬金右衛門→平方用所	
21-2-98-2-1-5	覚(平切手受取)	卯年10月	横切紙	1通	村瀬金右衛門→平方用所	
21-2-98-2-1-6	覚(平切手受取)	寅年10月	横切紙	1通	村瀬金右衛門→平方用所	
21-2-98-2-1-7	[大黒屋文介宛村瀬金右衛門書状]	年未詳12月26日	横紙	1通	証文書類の不調法をわび、今晚迄に銀札をよこしてくれる様頼む	(上書)「大黒屋文介様 村瀬金右衛門 不及御報二」
21-2-98-2-1-8	[村瀬金右衛門宛竹野才助・武田源三郎書状]	午年11月	横紙	1通	大黒屋文介より銀札借用につき「知行米御蔵納御平初渡拾貳石八斗ツハ」を来未暮より文介へ渡す件について承知した旨を伝える	
21-2-98-2-2	借用申銀子証文之事	嘉永2年12月25日	縦紙	1通	銀貳貫目の借用証文 借用主村瀬金右衛門・親類加判瀧太左衛門・証人井上左平太→中島屋金平	包紙あり(包紙上書)「証文巻通 村瀬金右衛門」
21-2-99	[箕島村地所売渡関係書類]			1袋(2通1包)		21-2-99-1~3までが包まれて袋に入っている 袋あり(袋貼紙)「丑八月 箕島村地所売渡候端書入」
21-2-99-1	[東大橋店近蔵宛源介書状]	年未詳12月26日	横切紙	1通	是非共取引を願う	
21-2-99-2	御依頼書	明治11年1月	横切紙	1通	買受地所を畑信三郎に譲り渡すに付き証書并に地券の書換を依頼 都宇都箕島村大橋淳平→窪屋郡倉敷村大橋秀太郎	包紙あり(包紙上書)「証書」
21-2-99-3	[田地売渡関係書類]			1包(4通)		21-2-99-3-1~4一包 包紙は近蔵宛源介書状の包紙を転用
21-2-99-3-1	[証書雛形]	年月日未詳	横切紙	1通	地所売渡につき名面書換の示談におよび入金として金拾圓の受取と残金については月壹五の利子とすることの証文雛形	
21-2-99-3-2	[東大橋近蔵宛源介書状]	年未詳6月7日	横切紙	1通(2枚)	箕島田地について取引したいと申す人があることを知らせる 別紙は「旦那様」への見舞状	別紙尚々書あり
21-2-99-3-3	[書付]	年未詳9月2日	横切紙	1通	売渡約束の田地の代金取引が終了したので田地引渡のこと	
21-2-99-3-4	[東大橋店御苗近蔵宛佐藤五三郎書状]	年未詳7月22日	横紙	1通(2枚)	示談の結果九拾五圓に定役(ママ)し壹圓は手数料ということになったことを知らせる	(上書)「東大橋店御苗近蔵様 佐藤五三郎 云源介事 要用書」 別紙尚々書あり
21-2-100	頼母志講銀借用証文之事	安政4年7月	縦紙	1通	講主西丸綱介・証人長浜丸五郎介→東大橋	包紙あり(包紙上書)「証書 巻通 綱介」
21-2-101	借用証券	明治25年3月	縦紙	1通	金拾圓の借用証 借用主窪屋郡菅生村大字小位庄中村熊太郎・証人同郡同村大字同所中村小太郎→大橋寿	(端裏書)「西村 中村熊太郎」
21-2-102	[瀧川弥次郎(カ)宛中島屋金平書状ひかへ]	年未詳5月	横切紙	1通	小島新左衛門取替銀及び立用米の返済方法について決答を願う	
21-2-103	借地証券	明治19年12月	縦紙	1通	借地人窪屋郡倉敷村松尾長蔵・証人同郡同村高野平太郎→大橋俊太郎	(端裏書)「本村借地人松尾長蔵 十九年十二月差入」
21-2-104	借用証券	明治26年3月	縦紙	1通	金貳圓七拾錢の借用証 借用主窪屋郡菅生村大字小位庄中村小太郎・後見同郡同村大字同所証人中村熊太郎→窪屋郡倉敷町大橋寿・後見人名越為吉	(端裏書)「廿五年分証書 西村 中村小太郎」
21-2-105	借用証券	明治24年3月11日	縦紙	1通	金貳圓の借用証 借用主窪屋郡菅生村大字子位庄中村小太郎・証人同郡同村中村熊太郎→窪屋郡倉敷村大橋寿	(端裏書)「西村 中村小太郎」

21-2-106	借用証券	明治26年3月	縦紙	1通	金拾四円の借用証 借用主窪屋郡菅生村大字小位庄中村熊太郎・証人同郡同村大字同所中村小太郎→窪屋郡倉敷町大橋	(端裏書)「廿五年分証書 西村 中村熊太郎」
21-2-107	覚(銀勘定書)	年月日未詳	横継紙	1通		
21-2-108	借用証券	明治25年3月	縦紙	1通	金四円五拾銭の借用証 借用主窪屋郡菅生村大字子位庄北見平三郎・証人同郡同村大字同所川本鹿蔵→窪屋郡倉敷町大橋	(端裏書)「北見平三郎」
21-2-109	小作証券	明治21年3月	縦紙	1通	窪屋郡子位庄村之内字一ノ樋 田吉反廿三步 預ヶ米吉石四斗五舛三合壹勺の小作証券 子位庄村北見平三郎・証人足守	(端裏書)「子位庄持之分 西村 北見平三郎」 台紙は木版印刷
21-2-110	覚(銀勘定書)	酉年11月12日	横切紙	1通	広吉→窪屋郡倉敷村大橋	包紙あり(包紙上書)「文久元酉年 御冥加銀請取書」
21-2-111	[大橋徳蔵宛片山頼吉書状]			1袋(2通)		21-2-111-1~2一袋 (封筒表書)「大橋徳蔵様 玉座下 金子在裡」
21-2-111-1	[大橋徳蔵・大橋長蔵宛片山頼吉書状]	年未詳2月20日	横切紙	1通	新年のあいさつと御年玉進上のごと 先年の借金のうち今般三拾金差上げのごと	罫紙
21-2-111-2	借用申金子之事	慶応3年10月1日	横切紙	1通	金三拾両借用の証 借用主片山頼助(ママ)→大橋徳蔵	
21-2-112	覚(高掛りの半方上納のごと)	文久3年4月	横切紙	1通	来ル八月皆上納の節に本証文を認め此書付と引替える旨を記す 高沼村庄屋三木之助→中島屋源助	
21-2-113	先納銀借用証文之事	文久3年8月	縦継紙	1通	銀五拾九匁貳分四厘の借用証 高沼村庄屋三木之助→源助	
21-2-114	[普請銀受取他]			1括り(5通)		21-2-114-1~5紙紐で一括り
21-2-114-1	覚(金五両請取)	未年7月	横切紙	1通	松江名主味野村武三郎・塩生村栄之介→倉敷村大橋源介	包紙あり(包紙上書)「未七月十二日取 金五両 松江名主 栄之介 武三郎」
21-2-114-2	覚(汐貫六筋堀貫受取)	安政6年5月	縦紙	1通	銀札六拾目の受取 中畝改治郎→大橋	
21-2-114-3	地普請銀	未年2月22日	縦紙	1通	地普請銀合計壹貫目受取 中畝改次郎→大橋	
21-2-114-4	[普請銀受取]	安政6年4月	横切紙	1通	地普請及び杭木代 中畝改次郎→東大橋	
21-2-114-5	借用申手形之事	安政6年5月	縦紙	1通	銀札三百三拾目の借用証 借用主松江周蔵・源七・大嶋岩蔵・呼松吉郎右衛門・引請人中畝改治郎→倉敷大橋	
21-2-115	[中村金之丞借用銀関係書類]			1袋(3通1枚1包)		21-2-115-1~5一袋 袋あり(袋上書)「子十月取かへ ヤ 初平五拾俵引当 中村金之丞 請取手形添并平方書状添 (中包上書) 「子十月二日 証書壹通 中村金之丞様」
21-2-115-1	借用申銀子証文之事	嘉永5年10月	縦継紙	1通	銀五貫目借用の証文 借用主備前家中村金之丞・親類加判	
21-2-115-2	覚(平切手壹枚受取)	子年10月	横継紙	1通	田中真吉・証人津田源之丞→備中倉敷中島屋金平	帯封あり(帯封上書)「巳前之分」
21-2-115-3	[包紙]	年月日未詳		1枚	中村金之丞→平方用所	(包紙上書)「初渡平請取手形五枚」
21-2-115-4	[大黒屋文介宛中村金之丞書状]	年未詳12月26日	横継紙	1通	「御役介之証文相調差出」しのごと	
21-2-115-5	[書状]			1包(2通)		21-2-115-5-1~2一包 包紙あり(包紙上書)「平方返翰 中村金之丞様」
21-2-115-5-1	[中村金之丞宛草野才助・武田源三郎書状]	酉2月	横継紙	1通	「知行米御蔵納御年初渡之分」を当酉年より年々大黒屋文介へ	
21-2-115-5-2	[久介宛金之丞書状]	年未詳2月25日	横継紙	1通	渡すことを承知したことを知らせる 別紙返書送附のごと	(上書)「文介様 金之丞」
21-2-116	二ヶ年割払借用証書之事	明治9年4月	縦継紙	1通	元金貳拾六円貳拾五銭の借用証 借用主西阿知村松井租平・証人同村阿部隆延・上成村牧鶴平→小野延太・中原耕蔵・三宅	(奥書)戸長丸川延郎 岡俊治
21-2-117	[夫銭手形入用出銀関係書類]			1袋(2通)	甚蔵・大橋良助・板谷嘉右衛門	21-2-117-1~2一袋 袋あり(袋貼紙)「戌十二月廿日 金六両壹歩 式朱永七拾四文壹分 右夫銭手形入用出銀之分控置 会所」(中包)「袋貼紙と同文」
21-2-117-1	[金子勘定書]	戌年12月9日	横切紙	1通		
21-2-117-2	覚(金三両受取)	戌年5月14日	横切紙	1通	会所→中島屋	包紙あり(包紙上書)「金三両 会所 雑費受取書入」
21-2-118	[中疇益右衛門借用銀関係書類]			1袋(3通)		21-2-118-1~3までが紙紐で括られて袋に入っている 袋あり(袋表書)「卯三月廿一日 金ヒ 中疇 増右衛門」(全文に見消)
21-2-118-1	覚(俵数算用書)	年月日未詳	横切紙	1通		
21-2-118-2	覚(銀子借用のごと)	卯年3月21日	横切紙	1通	中疇 益右衛門→大橋	
21-2-118-3	覚(丑年算用差引残金受取)	寅年12月26日	横切紙	1通	中疇 益右衛門→大橋	
21-2-119	借用申金子之事	安政5年12月28日	縦紙	1袋(1通)	金八拾両の借用 銭屋惣左衛門→大橋良助	袋あり(袋貼紙)「丑十一月書かへ 一. 金八拾両 午五月切取かへ 一金百五拾両 辰十月切取かへ 一同百両 此分受取済 来寅十月切約束 銭屋惣左衛門」(名前以外に見消) (中包)「証文壹通」
21-2-120	借用申証文之事	嘉永6年11月1日	縦紙	1通	新札貳拾貫目の借用 借用主植田武右衛門・証人広田屋紋右衛門・同取次西屋鯛助→中島屋亀次郎	袋あり(袋貼紙)「丑十一月書かへ 新札チ 植田武右衛門 来寅十月切約束 辰十一月十四日甚介へ取かへ 但左ノ十四日甚介へ相渡広田屋より先方へ預り書遣し置候分引替被呉候様被申候二付相口置候得共其俣二相成候二付良介売立 申五月廿日夕惣介持参 慥二受取候」(中包上書)「借用証文壹通」
21-2-121	[袋]	未年12月		41.0×8.8		袋のみ(袋貼紙)「未十二月取かへ 銀イ 池田丑次郎」 袋に紙紐が括られている
21-2-122	[差入証書]			1袋(13通3包)		21-2-122-1~16一袋 袋あり(袋上書)「小作人より差入候証書数通入」

21-2-122-1	記(借入金返済期限について)	明治8年12月	縦紙	1通	借入金拾円の返済期限について 西之浦借主浅右衛門・岡崎・引受人伝次郎→大橋	罫紙
21-2-122-2	未進米借用証券	明治9年5月18日	縦紙	1通	借主小作人中疇村増成竹治郎・請人石井○吉→倉敷村大橋秀太郎	
21-2-122-3	[小作米代未進借用について]			1包(5通)		21-2-122-3-1~5一包 包紙あり(包紙上書)「中疇書類 中疇長右衛門」
21-2-122-3-1	差入申証文之事	明治7年12月	縦紙	1通	未進米借用について 小作人中疇長治・証人安吉→大橋秀太郎	
21-2-122-3-2	差入申証文之事	明治7年12月	横継紙	1通	未進米借用について	
21-2-122-3-3	[小作米代残金借用証書案文]	明治11年5月4日	横切紙	1通	組合桑田善三郎・親類山本庄吉→大橋秀太郎	
21-2-122-3-4	証書	明治11年5月3日	横切紙	1通	小作米代未進借用について 組合桑田善三郎・親類山本庄吉→大橋秀太郎	
21-2-122-3-5	証	年月日未詳	横継紙	1通	小作米代未進借用について 小野長二郎→大橋秀太郎	
21-2-122-4	記	年未詳5月21日	横切紙	1通	借入金書付 大工権七→東大橋	
21-2-122-5	三月廿三日出張之節返分	年月日未詳	横切紙	1通	人別取替米書上	
21-2-122-6	記	明治11年6月	縦紙	1通	家賃残金払入れについて証文 借主高見定吉→大橋秀太郎	
21-2-122-7	[横山儀平建物書入金子借用関係書類]			1包(6通)		21-2-122-7-1~6一包 包紙あり 案内の書付を転用(内包上書)「横山儀平一札并印鑑入」
21-2-122-7-1	記	明治9年10月8日	横切紙	1通	実印失念につき前頭の分使用の許可証 窪屋郡日吉荘村横山儀平→同村副戸長横山富太郎	
21-2-122-7-2	差入申一札之事	明治9年10月	縦切紙	1通	借用地子米代支払いについて 日吉庄村借主横山儀平→大橋徳蔵	罫紙
21-2-122-7-3	建物書入金子借用証書	明治9年1月23日	縦紙	1通	日吉庄村借主横山儀平・同村証人白神忠次郎→白神孫三郎	(奥書)十五大区小七区倉敷村地主大橋徳蔵
21-2-122-7-4	[横山富太郎宛大橋徳蔵書状]	年未詳2月22日	横切紙	1通	横山儀平建物書入証書への奥書は認め同人に渡した旨の報知	
21-2-122-7-5	[横山儀平へ地所貸渡証書案文]	明治9年1月	縦切紙	1通		
21-2-122-7-6	[大橋徳蔵宛横山富太郎書状]	年未詳2月22日	横継紙	1通	横山儀平の住居を白神孫三郎方へ書入にすることについて奥書を依頼	
21-2-122-8	[証書差返し分氏名書上]	子年12月20日	横切紙	1通		
21-2-122-9	[人別小作米書上]	子年11月30日	横継紙	1通		
21-2-122-10	借用申手形之事	明治8年5月	縦切紙	1通	米借用のこと 中疇 嘉藤与吉・赤木秀太→大橋	
21-2-122-11	証	明治8年	縦切紙	1通	米借用のこと 中疇作人藤野浅次郎→大橋秀太郎	
21-2-122-12	書附差上手形事	明治9年4月16日	縦紙	1通	米借用のこと 中疇小作人借主西岡弥三→倉敷大橋秀太郎	
21-2-122-13	小作証文之事	明治8年2月	縦紙	1通	字茶屋後見面七畝分請米三斗五升入三俵の小作証文 子位庄村小作人窪津豊吉→倉敷村大橋秀太郎	罫紙 包紙あり(包紙上書)「小作証文巻通 小作人 本村 豊吉」
21-2-122-14	借用申手形之事	明治9年4月	縦切紙	1通	米借用のこと 興除新田中疇小作人借主仁科鹿三・取次赤木秀太→倉敷大橋	
21-2-122-15	[小作代金不足につき差入証書類]			1包(3通1括り)		21-2-122-15-1~4一包 証文の案文の書かれた用紙を転用
21-2-122-15-1	差入申証書之事	明治10年6月7日	縦紙	1通	小作金未進に付き借用証文案文 証人某→大橋秀太郎	罫紙
21-2-122-15-2	差入申証書之事	明治10年5月25日	横切紙	1通	小作代金不足に付き払入期日の証文 矢柄村佐平→大橋秀太郎	
21-2-122-15-3	六月十六日 差入申証書之事	年未詳6月16日	横切紙	1通	未進に付き地所返却及び借入金返済期限についての証文案文 証書差入主安原半左衛門・証人阪田重三郎→(宛名なし)	
21-2-122-15-4	[差入申証書之事]			1括り(2通)		21-2-122-15-4-1~2紙紐で一括り
21-2-122-15-4-1	差入申証書之事	年月日未詳	横切紙	1通	未進に付き地所差返し及び借入金返済期限についての証書 証書差入主安原半左衛門・証人坂田重三郎→大橋秀太郎	
21-2-122-15-4-2	差入申証書之事	明治10年5月25日	横切紙	1通	小作米代不足に付き借用証書 矢柄村佐平→大橋秀太郎	罫紙
21-2-122-16	記	明治9年5月	縦切紙	1通	米借用手形 中疇借主与四郎→大橋	
21-2-123	[小作畝小作米勘定書]	年月日未詳	美・横長	仮1冊	小作引受人西原村油屋俊吉・証人上成村作太郎→長尾村小野忠兵衛	包紙あり(包紙上書)「長尾へ遺す書抜控」
21-2-124	[大塚源内借入金関係書類]			1袋(6通1包)		21-2-124-1~7一袋 袋あり(袋貼紙)「金拾両 地頭村 庄屋源内 当十月晦日切 取かへ」貼紙保護の為SILティッシュで包む 四ヶ所紙紐で括られて袋に入っていた様であるが紙紐二本は切れて袋に在中
21-2-124-1	[大橋金平宛大塚源内書状]	年未詳7月19日	横継紙	1通	自分の持病の経過について 拝借金がその俵になっていることの詫状	包紙あり(包紙上書)「倉敷 大橋金平様 地頭 大塚源内 尊報」
21-2-124-2	[大橋金平宛大塚源内書状]			1包(2通)		21-2-124-2-1~2一包 包紙あり(包紙上書)「大橋金平様 大塚源内 尊報」
21-2-124-2-1	[大橋金平宛大塚源内書状]	年未詳正月29日	横継紙	1通	拝借金の返済が遅れていることの詫状	
21-2-124-2-2	[大橋金平宛大塚源内書状]	年未詳正月29日	横折紙	1通	新年のあいさつ状及び御年玉の美紙の礼	
21-2-124-3	[大橋金平宛大塚源内書状]	年未詳9月10日	横継紙	1通	拝借金返済が遅延になっている詫と節季迄の猶余を願う	包紙あり(包紙上書)「倉敷 大橋金兵衛様 地頭 大塚源内 尊下内要用」
21-2-124-4	[大橋金平宛源内書状]	年月未詳11日	横継紙	1通	拝借金の返済を「下咄引取迄御高免」を願う	包紙あり(包紙上書)「戊二月十一日返書入 但良太郎帰宅次第返済之断書状入」(上書)「大橋金平様 源内 尊報 戊二月十一日返書」

21-2-124-5	[大橋金平宛大塚源内書状]	年未詳10月3日	横継紙	1通	年貢銀不足につき「当月末比迄金子拾両」の拝借を願う	包紙あり(包紙上書)「大橋金平様 戸田屋より大塚源内 尊下要用」
21-2-124-6	金子預り手形之事	嘉永元年10月	縦紙	1通	地頭村源内→中島屋金平	包紙あり(包紙上書)「手形書通」
21-2-124-7	[大橋金平宛源内書状]	年未詳10月3日	横切紙	1通	手形書通を差上げるがもし悪しき所があれば「点作」してくだされば「認替」をする旨を伝える	包紙あり(包紙上書)「大橋金平 戸田屋二而源内 要用 手形在中」(上書)「大橋金平様 戸田屋より源内 内事」
21-2-125	[証書類一括]			1括り(4通2包)		21-2-125-1~6紙紐で一括り
21-2-125-1	覚(借替願い)	子年4月11日	横切紙	1通	会所増蔵→東大橋	包紙あり(包紙上書)「上」
21-2-125-2	覚(銀札五拾目の借用証書)	天保13年12月29日	横切紙	1通	平野屋多左衛門→中島屋源助	包紙あり(包紙上書)「証文」
21-2-125-3	覚(借用証文)	天保午年12月	縦紙	1通	和氣屋藤兵衛→中島屋源助	包紙あり(包紙上書)「書附書通 和氣屋藤兵衛」
21-2-125-4	[講懸銀請取関係書類]			1包(2通)		21-2-125-4-1~2一包 包紙あり(包紙上書)「亥十二月廿四日 銀札式百目 庭瀬平の屋松三郎 郡屋多介」
21-2-125-4-1	覚(庭瀬平野屋松三郎講銀請取)	嘉永4年12月24日	横切紙	1通	郡屋多助→東大橋	
21-2-125-4-2	[東主人宛郡屋多助書状]	嘉永4年12月24日	横継紙	1通	庭瀬平野屋松三郎分講銀請取送付添状	
21-2-125-5	借用申銀子之事	弘化3年12月3日	横切紙	1通	金七両の借用 松葉屋友助→東大橋	包紙あり(包紙上書)「午十二月十一日 金七両 松葉屋友介 当十一月四日取かへ」
21-2-125-6	[借用証文]			1包(2通)		21-2-125-6-1~2一包 包紙あり(包紙上書)「証文二通 房松古証文 吉之状証文」
21-2-125-6-1	借用申銀札証文之事	嘉永7年5月	縦継紙	1通	銀札壹貫目の借用証文 借用主鶴新田吉之丞・証人同村石松→倉敷中島屋金平	
21-2-125-6-2	裏毛代借用申証文之事	嘉永6年12月	縦紙	1通	銀札六百目の借用証文 借用主西之浦房松・証人鶴新田石松→倉敷中島屋金平	
21-2-126	[金子借用関係書類]			1包(2通)		21-2-126-1~2一包 包紙あり(包紙上書)「寅十二月 一金六両壹歩永百拾三文六歩 卯十一月切取かへ 沖村婦一」
21-2-126-1	金子借用申証文之事	嘉永7年2月	縦紙	1通	金六両壹歩永百十三文六歩の借用 借用主沖村婦一・証人西阿知村伝次郎→倉敷中島屋金平	
21-2-126-2	覚(勘定銀の確認及び証文式通送付添状)	年月日未詳	横切紙	1通	沖村婦一→西阿知伝次郎	
21-2-127	借用手形一札之事	丑年5月	縦紙	1通	銀札八百目の借用 借用主西阿知村伝次郎・証人西原村俊吉→倉敷村大橋亀次郎	包紙あり(包紙上書)「丑五月取かへ 銀札八百目 西阿知 伝次郎」(中包上書)「証文書通 西阿知 伝次郎」
21-2-128	[頼母子関係書状]			1包(2通1包)		2-21-128-1~3一包 包紙あり(包紙上書)「寅十二月 頼母子講連衆書尻海 竹三郎」
21-2-128-1	覚(人別講口数書付)	年月日未詳	横折紙	1通		
21-2-128-2	[大橋金平宛三宅甚蔵書状]			1包(2通)		2-21-128-2-1~2一包 包紙あり(包紙上書)「大橋金平様 三宅甚蔵 要書 受取書」
21-2-128-2-1	[大橋金平宛三宅甚蔵書状]	酉年12月23日	横継紙	1通	弘化開入用銀割当分受取のこと	
21-2-128-2-2	覚(弘化開入用割当出銀の内振り合の分請取)	年未詳12月21日	横切紙	1通	久右衛門→金平	
21-2-128-3	[大橋源介宛河野喜兵衛・竹三郎書状]	年未詳12月19日	横継紙	1通	先般御役介をかけた件について取締りをしてもらい安堵したこと及び鴨二羽を贈る旨の礼状	包紙あり(包紙上書)「大橋源介様 河野喜兵衛 玉座下」
21-2-129	差入置申一札之事	嘉永7年11月	縦紙	1通	銀札貳貫目の借用証書 西原村利七→倉敷村中島屋金平	袋あり(袋貼紙)「嘉永七甲寅年十一月 銀札貳貫目 西原利七 但寅年より来ル酉年迄貳拾ヶ年之間無利息二而毎年銀札百目宛払入約束」(中包上書)「書付書通」貼紙保護の為SILティッシュで包む
21-2-130	[証文一括]			1括り(5袋)		2-21-130-1~5紙紐で一括り
21-2-130-1	[証文]			1袋(2包)		2-21-130-1-1~2一袋 袋あり(袋貼紙)「卯五月金ヤ・未三月九日 同ヨ・申二月 同チ 本家大橋平右衛門」
21-2-130-1-1	[平蔵宛借用証文関係書類]			1包(2通)		2-21-130-1-1-1~2一包 包紙あり(包紙上書)「証文書通 新宅」
21-2-130-1-1-1	借用申金子証文之事	明治8年1月24日	縦切紙	1通	金三百円の借用証書 新宅大橋秀太郎→本家大橋平蔵	
21-2-130-1-1-2	[平蔵宛徳蔵書状]	年未詳4月6日	横切紙	1通	三百円証文差出しのこと	(上書)「徳蔵様 平蔵」 罫紙
21-2-130-1-2	[預り証文]			1包(2通1包)		2-21-130-1-2-1~3一包 包紙あり(包紙上書)「預り証文二通 大橋平蔵代理友蔵」
21-2-130-1-2-1	証(百五拾円預証券)	明治9年4月9日	縦切紙	1通	大橋平蔵代理大橋友蔵→大橋徳蔵	罫紙
21-2-130-1-2-2	預り証	明治9年3月22日	縦紙	1通	三百五拾円の預り証 大橋友蔵→大橋長蔵	
21-2-130-1-2-3	[請書]			1包(2通)		2-21-130-1-2-3-1~2一包 包紙あり(包紙上書)「御請書」
21-2-130-1-2-3-1	[徳蔵宛平蔵書状]	年未詳11月晦日	横切紙	1通	預り金が若し入用であれば御返しするかどうか尋ねる	(上書)「徳蔵様 平蔵」
21-2-130-1-2-3-2	記(西橋千之甫預ケ金元利受取)	明治11年12月25日	横継紙	1通	大橋五郎→大橋長蔵	
21-2-130-2	[田地及び普請代金受取関係書類]			1袋(1通1袋)		21-2-130-2-1~2一袋 (袋上書)「壬四月元 金チ 片山米吉」
21-2-130-2-1	[大橋徳蔵宛片山米吉書状]			1袋(3通)		21-2-130-2-1-1~3一袋 封筒あり(封筒表書)「大橋徳蔵様 片山米吉 要用 無事」

21-2-130-2-1-1	[大橋徳蔵宛片山米吉書状]	年未詳1月27日	横継紙	1通	田地売買に付き取極めの報知	
21-2-130-2-1-2	仕切写し・永代売渡し申田地規定書之事	明治7年1月18日	横切紙	1通	田地売主山辺伊曾八・証人森常蔵→片山米吉	
21-2-130-2-1-3	記(田畑代金受取)	明治7年3月31日	横切紙	1通	片山米吉→大橋徳蔵・同秀太郎	
21-2-130-2-2	記(普請の加勢金受取)	明治10年3月24日	横切紙	1通	中新宅良貸七跡相続の為居宅普請の加勢金受取 小田郡東三成村片山本家片山類吉→大橋秀太郎	包紙あり(包紙上書)「受取証 片山類吉」
21-2-130-3	[借用証文]			1袋(3通)		21-2-130-3-1~3までが紙紐で括られて袋に入っている(袋上書)「申十二月取かへ 金イヤ 巳四月十一日 同チヤ 勝之丞」
21-2-130-3-1	借用申金子之事	明治4年4月晦日	縦紙	1通	金百五拾円の借用 大橋十蔵→大橋徳蔵	包紙あり(包紙上書)「証文」
21-2-130-3-2	借用申証文之事	明治3年11月28日	縦紙	1通	金百五拾円の借用 大橋勝之丞→大橋徳蔵	包紙あり(包紙上書)「証文」
21-2-130-3-3	借用申金子之事	明治2年3月晦日	縦紙	1通	金百五拾円の借用 借用主大橋勝之丞→大橋徳蔵	包紙あり(包紙上書)「証文書通」
21-2-130-4	[金子借用関係書類]			1袋(1括り1包)		21-2-130-4-1~2一袋(袋上書)「子十二月取かへ 金子 大森増次郎」
21-2-130-4-1	[井上信一郎金借用関係書状]			1包(3通)		21-2-130-4-1-1~3一包(包紙上書)「倉敷 大橋長蔵様 井上信一郎 貴下要用」
21-2-130-4-1-1	[大橋長蔵宛井上信一郎書状]	明治6年6月14日	横継紙	1通	借金の返済が「滞延」になっていることの詫と今一度助勢を頼む 庄右衛門を差向けられ示談した件については五拾両の証券を差越されたが三拾円を差上げる	罫紙
21-2-130-4-1-2	[大橋長蔵宛井上信一郎返書之写]	明治6年6月14日	横継紙	1通		罫紙
21-2-130-4-1-3	券	明治6年6月	縦紙	1通	金五拾円の借用証 井上信一郎→大橋長蔵	
21-2-130-4-2	[大森増次郎金借用関係書類]			1括り(2通)		21-2-130-4-2-1~2紙紐で一括り
21-2-130-4-2-1	[大橋良介宛大森増次郎書状]	年未詳12月16日	横継紙	1通	手形を差上げるので金子の借用を頼む	包紙あり(包紙上書)「大橋良介様 大森増次郎 要用」
21-2-130-4-2-2	覚(金子貳百両の借用証)	元治元年12月16日	横継紙	1通	大森増次郎→大橋良介	包紙あり(包紙上書)「手形 大森増次郎」
21-2-130-5	[大森藤三郎借用金関係書類]			1袋(2通)		21-2-130-5-1~2まで包紙に包まれて袋に入っている(中包上書)「証文 書通」(袋上書)「酉四月取かへ 金イ 借用主中井村大森藤三郎 証人同村同鹿太」
21-2-130-5-1	借用仕金子之事	文久元年4月	縦継紙	1通	金百両の借用証書 借主備前上道郡中井村大森藤三郎・証人同村大森鹿太→備中倉鋪大橋勝之丞・大橋良介	
21-2-130-5-2	[大橋良介宛大森藤三郎口上]	戌年正月12日	横継紙	1通	延引になっていた利分拾両指出しのこと	封筒あり(封筒表書)「大橋良介様 大森藤三郎 金子在中」
21-2-131	職獵願	明治20年9月2日	縦紙	1通	備中国窪屋郡酒津村貳百三十壹番地平民三宅璋平の職獵願	罫紙(奥書)戸長藤野宇→岡山県知事千坂高雅
21-2-132	[久右衛門旧離関係書類]			1包(4通1包)		21-2-132-1~5一包 包紙あり(包紙上書)「角店一条書類 入」包紙の上から紙紐で括ってある
21-2-132-1	[角屋久右衛門不心得につき助勢金関係書類]			1包(2通)		21-2-132-1-1~2一包 包紙あり(包紙上書)「此分大切之書類」
21-2-132-1-1	覚(角店久右衛門助勢金書付)	嘉永7年12月20日	横継紙	1通	久右衛門不心得につき広江屋へ渡した助勢金書付	
21-2-132-1-2	覚(角店久右衛門助勢金書付)	年月日未詳	横継紙	1通		
21-2-132-2	覚(角店銀札員数取調書抜)	年月日未詳	横継紙	1通		
21-2-132-3	乍恐以書付奉願上候	嘉永7年4月	縦継紙	1通	久右衛門不心得につき旧離のこと 亀次郎・大橋平右衛門→倉敷役所	
21-2-132-4	覚(永代賃渡銀受取写)	嘉永10年4月	縦継紙	1通	中島屋久右衛門・証人広江屋丈平→大橋平右衛門・中島屋亀次郎	「但本紙本家二有之候」の書付あり
21-2-132-5	覚(備前札六拾貫目引渡し覚)	寅年4月11日	横継紙	1通	亀次郎・大橋平右衛門→庄屋丈平	「広江屋へ出候書付控」の書付あり
21-2-133	覚(村辻入用当借用)	亥年5月3日	横切紙	1通	金貳拾両借用 西原後吉→金平	包紙あり(包紙上書)「亥五月三日 金貳拾両 西原後吉 民介 当十一月四日 取かへ すミ」包紙に抹消の墨書あり
21-2-134	管理者之義二付始末書上	明治19年11月5日	縦紙	1通	墓地及び管理者の届けを延引した件についての始末書 大橋俊太郎→倉敷警察署	
21-2-135	証(金六円受取)	17年12月3日	横切紙	1通	金取次ノ石井増太郎分世話料 早島新田村金光小八→大橋秀太郎	
21-2-136	[人別裏毛代金書上]	申年8月3日~戌年7月15日	半・横長	仮1冊	一 申八月三日 金三両 鶴 ■蔵他13筆	
21-2-137	[物成切手受取覚]			1括り(3通)		21-2-137-1~3帯封で一括り(帯封書付)「己前之分 池田造酒」
21-2-137-1	覚(物成切手受取)	酉年11月	横継紙	1通	池田造酒→平方用所	包紙あり(包紙上書)「受取書付 書通」
21-2-137-2	覚(平物成切手受取)	酉年12月	横継紙	1通	池田造酒→平方用所	包紙あり(包紙上書)「受取手形 書通」
21-2-137-3	覚(平物成切手請取)	申年12月	横継紙	1通	池田造酒→平方用所	包紙あり(包紙上書)「受取手形 池田造酒」
21-2-138	借用申金子証文之事	文久2年12月	縦紙	1通	金百両の借用証文 備前家中借主主大坂留守小堀右衛門兵衛・同代判佐谷鉄之介・同親類加判安東四郎大夫→備中倉敷大橋良介	(袋上書)「寅十二月 金イ 小堀右兵衛門兵衛(ママ)」(内包上書)「証文一通 小堀」
21-2-139	借用申金子証文之事	慶応2年12月	縦紙	1通	金百両の借用証文 備前家中借主安藤幾之介・親類加判佐分利弥一左衛門→備中倉敷大黒屋甚介	(袋貼紙)「寅十二月取かへ 金百両 来卯十一月切返済約束 安藤幾之介」(内包上書)「証文 備前家中 安藤幾之介」
21-2-140	借用申金子証文之事	安政3年12月	縦紙	1通	金五拾両の借用証文 借主備前家中池田波門・加判小堀右衛門兵衛→備中倉敷大橋源介	(袋貼紙)「辰十二月 金五拾両 池田波門」(内包上書)「辰十二月証文 池田波門様」



21-2-141	借用申銀子証文之事	嘉永6年12月	縦紙	1通	銀三貫目の借用証文 備前家中借用主江戸留守片山宇兵衛・同親類代判堀甚兵衛・同親類加判森本与惣兵衛・同証人青地東兵衛→備中倉敷中島屋金平	(袋貼紙)「丑十二月 銀三貫目 片山宇兵衛」(内包上書)「丑十二月 証文書通 片山宇兵衛」
21-2-142	小作証券	明治24年	縦紙	1通	窪屋郡倉敷町小作人堀役蔵・証人武部藤十郎→大橋寿	(端裏書)「小作証券 新田 堀役蔵」
21-2-143	借用申銀札之事	天保10年12月	縦紙	1通	壹貫目の借用証文 水原八右衛門・親類加判水原久吉→備中倉敷中島屋源介	(袋貼紙)「亥十二月取かへ イ 来子三月切取かへ 水原八右衛門」(内包上書)「亥十二月取かへ イ 来子三月切返済ノ約束 水原八右衛門 十二月四日 文助取かへ此俣二渡ス 十二月二日大黒屋文助へ渡 四日受取」証文書通 水原八右衛門
21-2-144	[借用関係書類]			1括り(2通1袋1括り)		21-2-144-1~4紙紐で一括り
21-2-144-1	[野村藤右衛門宛草野才助・武田源三郎書状]	申年12月	横継紙	1通	「御知行米御蔵納御平浚渡之内五拾俵書分」を来西暮より大黒屋文介へ渡すことを承知した旨を知らせる	(上書)「野村藤右衛門様 草野才助・武田源三郎」
21-2-144-2	[五拾俵受取覚]			1括り(2通)		21-2-144-2-1~2一括り 帯封あり(帯封上書)「此分受取手形」
21-2-144-2-1	覚(五拾俵受取)	巳年12月	横切紙	1通	野村藤右衛門→平方用所	
21-2-144-2-2	覚(五拾俵受取)	午年12月	横切紙	1通	野村藤右衛門→平方用所	
21-2-144-3	借用申金子証文之事	文久3年正月	縦紙	1通	金六拾五両の借用証 借用主備前家中野村藤右衛門・親類加判同芳賀五郎左衛門・証人同中村忠左衛門→備中倉鋪大橋良介	袋あり(袋上書)「亥正月取かへ 金七 六拾五両 後平五拾俵引当 野村藤右衛門 請取手形添 平方書状なし」 中包あり(中包上書)「亥正月元 証書 野村様 書通」
21-2-144-4	[証文]			1袋(1通1括り)		21-2-144-4-1~2まで包紙に包まれて袋に入っている 袋あり(袋上書)「未十月取かへ 金七拾五両 初後六拾俵引当 稲葉源之丞」 中包あり(中包上書)「証文書通 稲葉源之丞」
21-2-144-4-1	借用申金子証文之事	安政6年10月	縦紙	1通	金七拾五両の借用証 借用主備前家中稲葉源之丞・同親類加判橋本玄六・同証人荻田勝左衛門→備中倉鋪中島屋良介	
21-2-144-4-2	[請取手形他]			1括り(1通1枚)		21-2-144-4-2-1~2紙紐で一括り 括り紐に付紙あり(付紙書付)「此分己前之分」
21-2-144-4-2-1	[包紙]	年月日未詳		1枚		包紙のみ(包紙上書)「初御平請取手形 拾枚 稲葉」
21-2-144-4-2-2	[大橋金平宛大黒屋文介書状]	年未詳12月20日	横継紙	1通	稲葉四郎右衛門様当暮三貫目分借返しについて他	包紙あり(包紙上書)「大橋金平様 大黒屋文介 拝答」
21-2-145	[安藤千賀之介関係書類]			1袋(3通1括り1枚)		21-2-145-1~5一袋 袋あり(袋上書)「亥十月取替 イア(見消アリ) 初平拾六俵引当 安藤千賀之介 請取手形 平方書状添」袋の上から紙縫りが結ばれている
21-2-145-1	[借用関係書状]			1括り(2通)		21-2-145-1-1~2紙紐で一括り
21-2-145-1-1	[水野助三郎宛草野才助・武田源三郎書状]	申年12月	横切紙	1通	「御知行米御蔵納御平後渡之内六拾俵書分」を未西暮より大黒屋文介へ渡すことを承知した旨を知らせる	
21-2-145-1-2	[大黒屋甚介宛西村茂左衛門口上]	年未詳4月3日	横継紙	1通	案文の通り認め指し出すので古証文を戻してほしい	
21-2-145-2	覚(初平御切手請取)	丑年10月~辰年10月	横継紙	1通	安藤千賀之介→平方用所	
21-2-145-3	[安藤千賀之介宛草野才助・武田源三郎書状]	午年10月	横切紙	1通	「御知行米御蔵納御平初渡之内拾六俵ツハ書分」を来未暮より大黒屋文介へ渡すことを承知した旨を知らせる	(上書)「安藤千賀之介様 草野才助・武田源三郎」
21-2-145-4	覚(初平御切手受取)	未年10月~申年10月	横切紙	1通	安藤千賀之介→平方用所	
21-2-145-5	[包紙]	年月日未詳		1枚		(包紙上書)「平請取手形 五枚 安藤千賀之介」
21-2-146	[借用証文一括]			1袋(3通)		21-2-146-1~3一袋 袋あり(袋上書)「証文書通 西中幸蔵 惣八分入」
21-2-146-1	借用申銀子証文之事	弘化2年12月	縦紙	1通	銀八百目の借用証文 借用主西中幸蔵・証人同村嘉十郎→倉敷中島屋金平	
21-2-146-2	借用申銀子証文之事	弘化2年12月	縦紙	1通	銀五百目の借用証文 借用主西中幸蔵・証人同村嘉十郎→倉敷中島屋金平	
21-2-146-3	借用申銀子証文之事	弘化2年12月	縦紙	1通	銀三百四拾目の借用証文 借用主西中幸蔵→倉敷中島屋金平	
21-2-147	[三宅直吉借用金関係書類]			1袋(2通)		21-2-147-1~2まで包紙に巻かれて袋に入っている 袋あり(袋上書)「嘉永六癸丑年十二月 銀札貳貫目 西之浦庄屋直吉」(中包上書)「仮受取書 書通」
21-2-147-1	差入申済口証文之事	天保10年正月	横継紙	1通	養父弥平次借用銀壹貫貳百目の済口証文 西之浦庄屋直吉・世話人請人芳屋清次郎他6名→倉敷中島屋金平	
21-2-147-2	覚(銀札貳貫目の借用証文)	嘉永6年12月	縦切紙	1通	借用主三宅直吉→倉敷大橋亀次郎	
21-2-148	[改次郎年賦関係書類]			1袋(4通)		21-2-148-1~4まで紙縫りで括られて袋に入っている 袋あり(袋貼紙)「戌四月元 銀札五貫目也 外二大切之書類三通入 無利足拾ヶ年賦 中畝改次郎 証人卯三郎」
21-2-148-1	覚(金銭算用書)	年月日未詳	横継紙	1通		付紙2枚あり
21-2-148-2	覚(金銭算用書)	年月日未詳	横切紙	1通		
21-2-148-3	改次郎算用凡控	年未詳2月22日	横継紙	1通		
21-2-148-4	年賦証文之事	文久2年3月	縦紙	1通	改次郎・倉敷卯三郎→大橋良介	

21-2-149	覚(金請取)	天保13年12月	縦紙	1通	天保十年乙島村新開場見分の節の入用金のうち役所よりの出金受取 乙島村十左衛門→中島屋源助	袋あり(袋上書)「卯十二月九日 金六兩永四文六分 植田武右衛門但乙島新田目論見入用割合出金 卯七月十八日出金之分 乙島村十左衛門より請取書指越し候旨二而卯十二月九日植田武右衛門より指越し候」(中包上書)「請取書」(中包貼紙・朱筆)「新宅 中島屋」
21-2-150	[案文]			1包(3通)		21-2-150-1~3一包 包紙あり(包紙上書)「案文 式通」
21-2-150-1	[売渡申田地証文之事案文]	年月日未詳	縦継紙	1通		
21-2-150-2	[小作証文之事案文]	年月日未詳	縦継紙	1通		
21-2-150-3	[永代売渡畑之事・耕地御預り証案文]	年月日未詳	横継紙	1通		
21-2-151	[地券預り証]			1袋(4通)		21-2-151-1~4一袋 袋あり(袋上書)「村々地券交換二付村吏預り手形入」
21-2-151-1	証(地券五枚証印税・同受取費受領証)	(明治)10年7月	横切紙	1通	帯高村事務所→大橋秀太郎	
21-2-151-2	記(地券預り証)	年末詳8月11日	横切紙	1通	小区保長林熊吉→大橋秀太郎	
21-2-151-3	記(地券預り証)	明治10年5月29日	縦切紙	1通	中疇村佐藤重郎→倉敷村大橋秀太郎	
21-2-151-4	[地券状三枚・改正地券印税受取]	(明治)13年7月9日	横切紙	1通	保長佐藤徳太郎→大橋秀太郎	
21-2-152	[包紙]	年月日未詳		1枚		(上書)「酉十二月廿一日 新札七貫百目 弘化開入用拾八貫七百弍拾目 此方出銀之内書面之員数七貫百目角へ渡請取書入 酉十二月廿三日 銀札拾壹貫六百弍拾目 右同断入用之内残銀西之浦酒屋甚蔵二相渡又請取書入 角 久左衛門 西之浦酒屋甚蔵」
21-2-153	壹ヶ年切売渡申証文之事	安政2年12月	縦継紙	1通	鶴新田天保開中畑12筆 弍町壹畝廿壹歩 代金三百五拾兩 倉敷村大橋源介・証人西原村油屋後吉・同上成村佐太郎→長尾村小野忠兵衛	包紙あり(包紙上書)「証文書通」
21-2-154	恩借仕一札之事	万延元年7月	縦紙	1通	銀札三百目の借用証文 拝借主惣津屋仁兵衛・世話人島屋万平・本吉→東大橋	包紙あり(包紙上書)「申六月取かへ 銀札三百目 惣津屋 仁兵衛 来酉年より来ル午年迄拾ヶ年之間[ ]日ツゝ払入候約束」(中包上書)「拝借証文書通入 東大橋様 惣津屋 仁兵衛」
21-2-155	[借用銀関係書類]			1包(2通)		21-2-155-1~2一包 袋あり(袋上書)「嘉永四亥年十二月廿九日 銀八貫弍百四拾目 西田 島屋 義八郎 西阿知 大和屋 伝次郎 西原 油屋 後吉 右者下村橋屋雲岫取替銀差引不足銀借用度三人より頼二付取かへ」(中包上書)「証文書通 三人組」
21-2-155-1	借用申一札一札之事	嘉永4年11月29日	縦紙	1通	銀八貫弍百四拾目の借用証文 西原村油屋後吉・西阿知村山と屋伝次郎・西田村島屋儀八郎→倉敷村中島屋金平	
21-2-155-2	[大橋金平宛下村直之丞書状]	年末詳11月13日	横継紙	1通	「借用銀切月相過且兼而御配意」の一条については早々片付ける様に添書を差し上げる	包紙あり(包紙上書)「大橋金平様 下村直之丞 貴下要用」
21-2-156	[為替証文]			1袋(2通)		21-2-156-1~2まで包紙に包まれて袋に入っている 袋あり(袋上書)「為替証文入 連島 但シ此袋之内へ周平より櫻之書付指越し候分入置」中包あり(中包上書)「周平より櫻之書付指越し候分入」
21-2-156-1	覚(櫻代及運賃外入用銀書付)	亥年7月	横切紙	1通	服部屋万→新開周平	
21-2-156-2	[木伐形状書付]	年月日未詳	横切紙	1通		
21-2-157	[庄吉借用銀関係書類]			1括り(2通)		21-2-157-1~2一括り 括り紐が切れている為SILティッシュで包む
21-2-157-1	借用申銀子証文之事	弘化4年12月	縦紙	1通	銀札五百目の借用証文 借主子位庄西村庄吉→倉敷中島屋	包紙あり(包紙上書)「未十二月 銀札五百目 西村庄吉」
21-2-157-2	借用申銀子手形之事	嘉永3年12月	縦紙	1通	銀札七百目の借用証 借主子位庄村庄吉→倉敷中島屋	包紙あり(包紙上書)「戌十二月廿九日 証文書通 西村庄吉 銀札七百目株之分」
21-2-158	議定証文之事	弘化3年2月	縦紙	1通	鶴新田地先海面開発について「極秘内談」したことについては「堅口外致間敷」事及び入用の節は「歩方ニ割合出銀」のこと 金平・延太郎・俊吉・治郎右衛門・彦左衛門・佐市郎の署名あり	包紙あり(包紙上書)「弘化三丙午年二月十七日 議定証文書通 西阿知村菅田屋二而為取替置此方書通 上成延太二書通 此分二者書印無之候 菅田屋二者控有之候」
21-2-159	借用申金子証文之事	安政2年12月	縦紙	1通	金弍拾兩の借用証文 借用主西原村利七→未詳	(袋上書貼紙)「卯十二月取かへ 金弍拾兩 西原利七 来辰十一月切取かへ」(中包上書)「証文書通」後半は虫損の為開くことできず
21-2-160	[西原利七田畑売渡関係書類]			1袋(3通1包)		21-2-160-1~4まで紙紐で括られて袋に入っている (袋上書)「嘉永六癸丑年十二月 銀六百七拾弍匁 川入村孫右衛門 証人久次郎 川入分畑壹反四畝廿歩求之」
21-2-160-1	孫右衛門			1包(2通)		21-2-160-1-1~2一包 (包紙上書)「川入孫右衛門書拔」
21-2-160-1-1	覚(代銀請取)	嘉永6年12月	横切紙	1通	上畑売主川入村孫右衛門・親類伊八・証人久次郎→中島屋源介	
21-2-160-1-2	覚(地利米勘定書)	年月日未詳	横切紙	1通		
21-2-160-2	売渡申畑証文之事	嘉永6年12月	縦継紙	1通	売主川入村孫右衛門・親類判株親伊八・証人久次郎→中島屋源介	(奥書)川入村名主惣五郎
21-2-160-3	小作証文之事	弘化3年12月	縦継紙	1通	川入村之内字角地上畑四畝廿八歩他1筆 小作米合計壹石七斗六舂の小作証文 小作人川入村孫右衛門・伊八・証人久次郎→中島屋源介	

21-2-160-4	小作証文之事	嘉永6年12月	縦継紙	1通	川入村之内字角地上畑四畝廿八歩他1筆 小作米石七斗六 舛が相違ないこと証文 売主川入村孫右衛門・親類判株親伊 八・証人久次郎→中島屋源介	
21-2-161	借用申金子証文之事	万延元年閏3月	縦継紙	1通	金式拾八兩永三百六拾四文四分の借用証文 借用主西原油屋 後吉・証人利七→中島屋良介	(袋上書貼紙)「寅十二月十五日 金ヤ 長尾屋金蔵」(全体に見消 あり)
21-2-162	[田地売買関係証文一括]			1袋(4通)		21-2-162-1~4一袋 (袋上書)「安政五年六月買取候証文并小 書付式通案文共入一見面畝壹町三反七畝歩 但福田新田中畝ノ内 代金百八拾兩也 菅田屋彦左衛門」(中包上書)「証文書通 外二 書付式通入」
21-2-162-1	差入申一札之事	安政5年6月	縦継紙	1通	福田新田中畝ノ内見面畝凡壹町三反七畝歩 地代金百八拾兩 の売渡証文 西阿知村彦左衛門→中島屋良介	
21-2-162-2	[差入申一札之事案文]	安政5年6月	縦継紙	1通	21-2-162-1の案文	
21-2-162-3	覚(金八拾兩の受取)	戊午年11月晦日	横切紙	1通	よだ屋彦左衛門→中島屋良介	
21-2-162-4	覚(新開地代金百兩の受取)	戊午年7月8日	横継紙	1通	西阿知彦左衛門→大橋良介・勝之丞	
21-2-163	[村辻への借用銀関係書類]			1袋(4通)		21-2-163-1~4まで紙紐で括られ包紙にまかれて袋に入っている (袋上書貼紙)「未十二月取替銀式割払入八年済約束ヲ 占見新田 名主慎次郎」(中包上書)「式割八年賦証文書通」
21-2-163-1	[大橋金平宛占見新田村名主慎治郎書状]	未年12月8日	横継紙	1通	今年は兩作「不宜」、御年貢取立が六ヶ敷なつたので又々式割 八年賦拾貫目の借用を願う	包紙あり(包紙上書)「倉舗大橋金平様 占見新田村 名主慎治郎 要用書」
21-2-163-2	[大橋金平宛占見新田村名主慎治郎書状]	年未詳9月20日	横継紙	1通	辻入用が嵩み借入等で凌いできたが「不都合二付」当季式割八 年賦の相談を申上げる	包紙あり(包紙上書)「倉舗大橋金平様 占見新田村 名主慎治郎 要用書」
21-2-163-3	添証文之事	嘉永2年12月	縦継紙	1通	別紙七貫目の返済については「近来金相場区々之取引二而通 用不全」に付き壹兩二付き銀七拾七匁九分と定めて払入れのこ と 占見新田村名主慎治郎他6人→倉舗中島屋金平	(包紙上書)「金相庭極メ証文入」
21-2-163-4	村辻江借用申銀子証文之事	弘化4年12月	縦継紙	1通	当未年貢皆済銀差支に付き文銀七貫目の借用証文 浅口郡占 見新田村名主慎治郎他15人→中島屋金平	(奥書)大庄屋兼帯 田中夫介
21-2-164	[福田新開仁左衛門開買取関係書類]			1袋(2包1括り)		21-2-164-1~3までが紙紐で括られて袋に入っている (袋上書貼 紙)「福田新開仁左衛門開買取二付証文式通并小作証文寄抜共入 寅十二月廿五日金子渡候」
21-2-164-1	[書付一括]			1包(12通)		21-2-164-1-1~12一包 (包紙上書)「書付 数通」
21-2-164-1-1	[福田仁左衛門開仲間地辻より此方江請取可申立替 金書付]	年月日未詳	横折紙	1通		
21-2-164-1-2	覚(福田新開地代金勘定書)	嘉永7年12月25日	横継紙	1通	倉敷村大橋平右衛門・代判親類中島屋亀次郎→西原村俊三 郎・証人水江村礼介・八重村順右衛門・粒江村定之介	
21-2-164-1-3	借用申金子之事	安政2年12月	縦切紙	1通	金五百兩の借用証文 借用主大橋源介・加判大橋平右衛門→ 角屋忠兵衛	
21-2-164-1-4	覚(福田新開中畝地所売渡代金受取ひかへ)	安政2年12月4日	横切紙	1通	倉敷大橋平右衛門・代判大橋源介→矢田妹尾半十郎	
21-2-164-1-5	覚(福田新開中畝ノ内田地売渡代金受取ひかへ)	安政2年12月22日	横切紙	1通	倉敷大橋源介→妹尾半十郎	
21-2-164-1-6	覚(福田新開中畝之内質地地代預り証)	嘉永7年12月	横継紙	1通	金百兩の預り書 倉敷村大橋平右衛門・代判親類中島屋亀次 郎→八重村順右衛門・粒江村定之介	
21-2-164-1-7	覚(角屋利金振替分請取)	安政2年12月22日	横切紙	1通	多助→東大橋	
21-2-164-1-8	[東大橋宛文介書状]	年未詳7月朔日	横切紙	1通	為替差引を済ませたので順右衛門へ受取書を認めさせて差上 げる	
21-2-164-1-9	覚(去暮預りの金百兩は新開差引のこと)	安政2年9月	縦切紙	1通	西原村俊三郎→大橋平右衛門	
21-2-164-1-10	差入申添証文之事	安政6年9月	縦継紙	1通	質地差入の「見面預畝四町八反」を流地にする旨の添証文 西 原村俊三郎・証人西阿知村彦左衛門→大橋平右衛門	
21-2-164-1-11	覚(金百兩受取)	卯年10月28日	横継紙	1通	俊三郎→彦左衛門	
21-2-164-1-12	御年貢米請取	安政2年12月18日	横切紙	1通	中畝名主→倉敷村大橋平右衛門	
21-2-164-2	[借入金請取覚]			1包(2通)		21-2-164-2-1~2一包 (包紙上書)「卯三月廿七日 金五兩式朱永 七拾五文 大黒屋文介 右者同人より仁左衛門開歩戻之内金五兩 粒江定之介江去 日取替之由二付元利相渡候」
21-2-164-2-1	覚(仁左衛門地所歩戻の内へ立替金受取)	卯年3月27日	横継紙	1通	大黒屋文介→新宅	
21-2-164-2-2	覚(借入金五兩請取)	嘉永7年12月	横切紙	1通	借用主粒江村定之介→大黒屋文介	
21-2-164-3	[田地売買関係書類]			1括り(4通)		21-2-164-3-1~4まで紙紐で括られている
21-2-164-3-1	[大橋宛彦右衛門書状]	卯年12月5日	横継紙	1通(2枚)	西原へ十月切渡し金の分落手のことについて 別紙卯年より午 年迄の銀高書付の覚書同封 (覚は西阿知彦左衛門→中嶋屋 良介 日附は午十一月晦日)	(包紙上書)「大橋源介様 松井彦左衛門 平安 貴答書」
21-2-164-3-2	覚(土地代金請取)	嘉永7年12月4日	横継紙	1通	福田新田中畝之内見面四町式反歩他1筆の代金の内金式拾兩 請取 売主西原村俊三郎・証人水江村礼介・粒江村定之介・八 重村順右衛門・道口太介→倉舗大橋平右衛門	(包紙上書)「手形書通」
21-2-164-3-3	覚(見面六町余売渡のこと)	嘉永7年12月	横切紙	1通	売主道口仁左衛門・証人粒江村定之介・水江村礼介・八重村順 右衛門・道口太介→大黒屋文介	(包紙上書)「手形書通」
21-2-164-3-4	[東大橋宛文介書状]	卯年12月22日	横継紙	1通(2枚)	仁左衛門田地買代金残り百兩指上げのこと 矢田半十郎からの 金百兩の添状も同封されている	包紙あり(包紙上書)「倉敷大橋源介様 貴下用 金子添」(上書) 「東大橋様 文介 金子相添」
21-2-165	[袋]	年月日未詳	22.9×7.5	1枚		(袋上書)「預り証書一通 木村和吉」
21-3-1	壬午[ ]五[ ]正口吉口 日記	(文政5年カ)	美・横列	1冊		(小口書付)「文 壬」後欠
21-3-2	口巳 正月吉口 日記	年月日未詳	美・横列	1冊		(裏表紙)「大福入 [ ]」

21-3-3	口(庚カ)辰 宝曆拾年正月吉日 日記	宝曆10年	美・横列	1冊		(裏表紙)「大福入 中島屋 久兵衛」
21-3-4	小作証券	明治21年3月	縦紙	1通	窪屋郡浜村之内字河原 畑三畝三步 預ケ米三斗壹舂 子位庄村小作人塚岡甚作・証人塚岡源吉→倉敷村大橋寿	(端裏書)「浜村之分 甚作」 台紙は木版印刷
21-3-5	覚(銀札壹貫目受取)	辰年正月15日	横継紙	1通	大黒屋文介→東大橋	
21-3-6	[案文]			1包(4通)		21-3-6-1~4一包 包紙あり(包紙上書)「質地之案文武通 本紙二相添御返し可被下候」
21-3-6-1	[質入申田地証文之事案文]	年月日未詳	縦継紙	1通	名当は「倉敷 大橋徳蔵殿」となっている	
21-3-6-2	[売渡申田畑(貼紙)「田地」証文之事案文]	年月日未詳	縦継紙	1通	名当は「倉敷 大橋徳蔵殿」となっている	
21-3-6-3	[小作預証文之事案文]	年月日未詳	縦紙	1通	名当は「倉敷 大橋徳蔵殿」となっている	
21-3-6-4	[質入申田畑証文之事案文]	年月日未詳	縦継紙	1通		
21-3-7	[横山幸平小作地関係書類]			1纏め(2通)		21-3-7-1~2が重ねて折られ纏められている
21-3-7-1	小作証文之事	明治31年4月	縦紙	1通	窪屋郡万寿村大字富久字森末 田畑合計壹反壹畝拾貳歩 預り米壹石三斗六舂八合の小作証文 窪屋郡万寿村大字富久拾五番邸横山幸平・証人堀茂三郎→大橋高之	台紙は邦文タイプで打たれている
21-3-7-2	印鑑証明願	明治31年6月4日	縦紙	1通	窪屋郡万寿村大字富久拾五番邸堀茂三郎 全郡全村大字全番九拾七番邸横山幸平→窪屋郡万寿村戸長村長古屋野惣七郎	万寿村長古屋野惣七郎の決済あり(明治31年6月4日付)
21-3-8	小作証券	明治21年3月	縦紙	1通	窪屋郡浜村之内字河原 畑壹段貳畝廿六歩他1筆 預ケ米合計壹石五斗五舂七合の小作証券 子位庄村中村定五郎・証人中村熊太郎→大橋寿	(端裏書)「浜村分 西村 中村定五郎」「浜村」 台紙は木版印刷
21-3-9	小作証券	明治21年3月	縦紙	1通	窪屋郡小位庄村之内字鹿爪前 畑壹反壹畝三步他1筆 預ケ米合計貳石三斗壹合の小作証券 子位庄村高岡常太郎・証人高岡荒治郎→大橋寿	(端裏書)「子位庄村之分」「西村 常太郎」 台紙は木版印刷
21-3-10	[証書類]			1括り(4通1包)		21-3-10-1~5紙紐で一括り
21-3-10-1	借用申証文之事	明治7年10月	縦紙	1通	質物上田見面三反歩を差し入れ金百六拾円を借用の証文 借主中疇赤木秀太・証人親類赤木柳平→大橋秀太郎	
21-3-10-2	差入申一札之事	年月日未詳	横継紙	1通	天保七ノ割貳百廿八番壹反六畝拾壹歩の内八畝六歩の小作預り地面の普請について取除きを猶予してほしい 小作人買蔵・梓長次郎・証人善右衛門・同与之助→大橋秀太郎	包紙あり(包紙上書)「案文」
21-3-10-3	小作証文之事	明治8年6月	縦紙	1通	弘化開拾三ノ割 有畝七反歩 預米九石八斗の小作証文 小作人乙島村瀧澤半九郎・証人中野孝郎→倉敷村大橋秀太郎	包紙あり(包紙上書)「小作証書壹通 半九郎」
21-3-10-4	[山田才次郎差入一札について]			1包(2通)		21-3-10-4-1~2一包 包紙あり(包紙上書)「鶴 才次郎 一札入」 包紙は大橋徳蔵宛和栗二三の書状の包紙を転用
21-3-10-4-1	記	明治7年12月	縦紙	1通	大橋よりの金六円の助成に対し拾三割良道西及び拾壹割大道東の合計七反差入れのこと 一札差入主山田才次郎→高見金蔵・坂田寿重郎	
21-3-10-4-2	[差入申一札之事案文]	明治8年	横切紙	1通	名当は「金蔵」となっている	
21-3-10-5	差入申一札之事	明治7年5月	縦紙	1通	天保七割貳百廿八番壹反六畝拾壹歩の内八畝六歩の小作預り地面の普請について取除きを猶予してほしい 鶴新田小作人買造・梓長治郎・証人森善八郎・同児島与之助→大橋秀太郎	(袋上書)「明治七年 鶴新田 買造誤一札入」(中包上書)「差入一札 壹通」
21-3-11	[荒尾猪左衛門借用銀関係書類]			1括り(1通1袋)		21-3-11-1~2紙紐で一括り
21-3-11-1	[荒尾猪左衛門借用銀関係書類]			1包(1通1包)		21-3-11-1-1~2が紙紐で括られて袋に入っている(袋上書貼紙)「戌十二月取かへ ヤ 荒尾猪左衛門 後平拾五俵宛来亥年より来ル丑年迄拾五ヶ年之間払入 都合貳百廿五俵払入皆済之約束 平方書状并請取手なし」
21-3-11-1-1	[大黒屋文介宛荒尾猪左衛門書状]	年未詳12月15日	横継紙	1通	甚介殿の鹿答は自分が行届かなかつた為で御申上げたい 決て甚介殿への御立腹は用捨下さる様に	(包紙上書)「丑十二月文介より甚介ヲ以及掛合候処甚不束返答ニ付其後文介江断之書面在中 嘉永六癸丑年十二月」(中包上書)「大黒屋文介様 荒尾猪左衛門 要用」
21-3-11-1-2	[荒尾猪左衛門借用銀関係書類]			1包(2通)		21-3-11-1-2-1~2一包 (包紙上書)「証文 荒尾猪左衛門」
21-3-11-1-2-1	借用銀子証文之事	嘉永3年12月	縦継紙	1通	銀五貫目の借用証文 備前家中借用主荒尾猪左衛門・親類加判大野清左衛門→備中倉鋪中島屋金平	
21-3-11-1-2-2	覚(後御平切手請取)	巳年11月	横切紙	1通	後御平切手壹枚請取 荒尾了三→用所	包紙あり(包紙上書)「受取手形 荒尾了三」
21-3-11-2	借用申銀子証文之事	嘉永5年10月	縦継紙	1通	銀壹貫五百目の借用証文 備前家中借用主荒尾猪左衛門・同新類加判大野清左衛門→備中倉鋪中島屋金平	袋あり(袋上書貼紙)「子十月取かへ 銀壹貫五百目 初平拾五俵引当 荒尾猪左衛門 請取手形并二平方書状なし」(中包上書)「証文一通 荒尾猪左衛門」
21-3-12	[神田替地・天保埋出地関係書類]			1括り(2袋)		21-3-12-1~2紙紐で一括り
21-3-12-1	神田替地为取替証文			1袋(3通1枚)		21-3-12-1-1で21-3-12-1-2~4が巻かれている(袋上書)「明治六癸酉十月三十日 神田替地为取替証文壹通」(中包上書)「明治六癸酉十月三十日受取 神田替地为取替証文壹通」
21-3-12-1-1	[絵図面]	年月日未詳	46.7×15.5	1枚		
21-3-12-1-2	神田替地二付為心得記置 酉十月也	酉年10月	横切紙	1通	有畝・坪数など記載	罫紙
21-3-12-1-3	[大橋徳三宛三島官平書状]	年未詳4月3日	横継紙	1通	社頭前替地の取かわせ儀定に付き戸長奥印当年番押印指上の件について 鯉山にて取替の金壹両三分を此人にわたしてほしい	(上書)「大橋徳三様 三島官平 要用書」

21-3-12-1-4	神田替地为取替証文之事	明治6年10月	縦継紙	1通	鶴新田氏神寅崎宮社内拡張に付き替地为替取証文 譲渡人白神相一郎 三宅正平 中原耕蔵 譲受人大橋秀太郎	戸長有元晨吉の決済あり
21-3-12-2	[天保埋出地関係書類]			1袋(仮1冊7通2包)		21-3-12-2-1~10まで包紙に包まれ紙紐で括られて袋に入っている(袋上書)「天保埋出地代金請取書并右租税金請取書入 但公畝高書附并租税金元利算用書添則 取嚙人三島官平持参也」(中包上書)「受取書 弐通」
21-3-12-2-1	[大橋徳蔵宛三島官平書状]			1包(5通)		21-3-12-2-1-1~5一包 包紙あり(包紙上書)「大橋徳蔵様 御几下三島官平」
21-3-12-2-1-1	[小野小十郎宛大橋徳蔵書状案文]	年未詳1月23日	横切紙	1通	天保八ノ割埋出し地についての問合せ	
21-3-12-2-1-2	[三島官平宛大橋徳蔵書状案文]	年未詳1月22日	横切紙	1通	埋地の義、今朝の紙面にては甚迷惑 取嚙を任せている別の三家同様宜敷取計ってくれる様依頼	
21-3-12-2-1-3	[書状案文]	年月日未詳	横切紙	1通	埋地の件については取嚙を任せている別三家同様宜敷取計ってほしい	
21-3-12-2-1-4	[書状案文]	年月日未詳	横継紙	1通	埋地の義、今朝の紙面にては甚迷惑	
21-3-12-2-1-5	[書状]	年未詳1月22日	横継紙	1通	天保埋地新検地に付き是迄惣辻に受けていた年貢もあつたが、当年より割賦御年貢として銘々で受ける様地券も書上げる件について	宛名・差出人不詳
21-3-12-2-2	[大橋秀太郎宛惣代書状]	年未詳1月23日	横切紙	1通	天保辻地の件について恒屋始め外三家は三島官平立入済方になったが貴家は呑込ならずとのことについての掛合	包紙あり(包紙上書)「大橋秀太郎様 古寄方 惣代 用々書」
21-3-12-2-3	[大橋徳三宛三島官平書状]			1包(2通)		21-3-12-2-3-1~2一包 (包紙上書)「大橋徳三様 三島官平 要用書」
21-3-12-2-3-1	[大橋徳三宛三島官平書状]	年未詳1月24日	横継紙	1通	天保埋地の取嚙が済方になり安心のこと 天保埋地代金他七拾円落掌のこと	
21-3-12-2-3-2	[大橋秀太郎分租税米算用書]	年月日未詳	横折紙	1通	鶴新田会所→大橋秀太郎	
21-3-12-2-4	[長尾小野へ渡す反別高書上]	年月日未詳	縦紙	1通		
21-3-12-2-5	[長尾小野へ渡す反別高書上]	年月日未詳	縦紙	1通		罫紙
21-3-12-2-6	請取之事	明治6年1月	縦紙	1通	「天保開仲間持余地貴家御埋出し御開発」の場所について金六拾両受取引渡のこと 古歩方惣代大野八十太・同三島静八郎・取嚙人三島官平→大橋秀太郎	
21-3-12-2-7	請取之事	明治6年3月	縦紙	1通	天保余地の租税上納については村役場の立替分三拾両を受取り夫々へ引渡のこと 歩方惣代大野八十太・三島静八郎・取嚙人三島官平→大橋秀太郎	
21-3-12-2-8	[見面・地代書付]	年月日未詳	横折紙	1通		
21-3-12-2-9	[銀算用書]	年月日未詳	横折紙	1通	古庄屋 上金屋 伏見屋分	
21-3-12-2-10	天保辰年天保開之内追開御検地	年月日未詳	半・横長	仮1冊		
21-3-13	[包紙]	年月日未詳		1枚		(上書)「先納銀御用証文 壹」
22-1	宝暦五年乙亥正月吉日 日記	宝暦5年正月吉日	美・横列	1冊		(裏表紙)「大福入 中嶋屋 久兵衛」
22-2	宝暦六年丙子正月吉日 日記	宝暦6年正月吉日	美・横列	1冊		(裏表紙)「大福入 中嶋屋 久兵衛」
22-3	明和三年丙戌正月吉日 日記	明和3年正月吉日	美・横列	1冊		(裏表紙)「大福入 中嶋屋 久兵衛」
22-4	安永三年甲午正月吉日 日記	安永3年正月吉日	美・横列	1冊		(裏表紙)「大福入 中嶋屋 久兵衛」
22-5	文化十年癸酉正月吉日 日記	文化10年正月吉日	美・横列	1冊		(裏表紙)「大福入 中嶋屋 源介」張面に紐がかけられている(小口書)「文化十西歳」
22-6	文政二年己卯正月吉日 日記	文政2年正月吉日	美・横列	1冊		(裏表紙)「大福入」(小口書)「文政二歳己卯」
22-7	文政十年丁亥正月吉日 日記	文政10年正月吉日	美・横列	1冊		(裏表紙)「大福入」(小口書)「文政十丁亥」
22-8	自天保二辛卯口日 至天保八酉年八月晦日 渡帳	天保2年~8年8月晦日	美・横列	1冊		(裏表紙)「中嶋屋」
22-9	天保五年甲午正月吉日 日記	天保5年正月吉日	美・横列	1冊		(裏表紙)「大福入 中嶋屋 源助」(小口書)「天保五甲午」
22-10	天保六年乙未正月吉日 日記	天保6年正月吉日	美・横列	1冊		(裏表紙)「大福入」(小口書)「天保六乙未」
22-11	天保十年己亥正月吉日 日記	天保10年正月吉日	美・横列	1冊		(裏表紙)「大福入 中嶋屋 源介」(小口書)「天保十己亥」
22-12	天保十三年壬寅正月吉日 日記	天保13年正月吉日	美・横列	1冊		(裏表紙)「大福入 中嶋屋 源介」(小口書)「天保十三壬寅年」
22-13	嘉永二年己酉正月吉日 日記	嘉永2年正月吉日	美・横列	1冊		(裏表紙)「大福入 中嶋屋 源介」(小口書)「嘉永二己酉年」
22-14	安政六年己未正月吉日 日記	安政6年正月吉日	美・横列	1冊		(裏表紙)「大福入 中嶋屋 源介」(小口書)「安政六己未年」
22-15	文久二壬戌正月吉日 渡帳	文久2年正月吉日	美・横列	1冊		(裏表紙)「東大橋」
23-1	[代価書上・本暦]			1纏め(2冊1綴)		23-1-1~3一纏め 23-1-3に23-1-2と23-1-2が巻き込まれている文書保護の為SILティッシュで包む
23-1-1	明治四十三年略本暦	明治42年	15.9×11.0	1冊		(裏表紙)「明治四十二年頒行 神部署」綴り紐が切れている
23-1-2	明治四十一年略本暦	明治40年	16.0×11.0	1冊		(裏表紙)「明治四十年頒行 神部署」綴り紐が切れている
23-1-3	[代価書上]	大正2年12月~3年12月		1綴	食品・着物・表具等の代価書上	
23-2	[土地・物成関係書付]			1括り(1纏め仮1冊2通2枚)		23-2-1~6紙綴りで一括り
23-2-1	廻状(神事手当預り銀利足についての廻状)	酉(明治6)年11月19日	横折紙	1通	石井・和栗・山川・三宅・古城・本家・安田・小松原・木村への廻状	
23-2-2	[物成等書付]			1纏め(2通)		23-2-2-1~2一纏め 23-2-2-2が23-2-2-1にはさまれていた
23-2-2-1	[畝高取米書上]	年月日未詳	横折紙	1通	山後一ノ割 十六内 一田四畝五歩 高六斗二升五合 御取米 三斗五升 他10筆	

23-2-2-2	[物成書付]	年月日未詳	横切紙	1通	口米・御伝馬・六尺・横役	
23-2-3	[田畑面積・高・地代米書付]	年月日未詳	横折紙	1通	百五十番 埋出し屋敷字新川 他2筆	
23-2-4	[的当代価書付]	年月日未詳	半・横長	仮1冊	山之後一ノ割 一田四畝五歩 高六斗二升五合など 小七区持主大橋秀太郎が13筆 小七区持主大橋徳蔵分1筆	
23-2-5	油屋敷埋出シ屋敷溝ヨリ南荒見取図	明治5年11月7日	17.3×24.4	1枚		
23-2-6	[土地測量絵図]	年月日未詳	横切紙	1通		
23-3	[田畑反別・人名書上]	年月日未詳	縦継紙	1通	百卅五番 文化南割 一田八畝廿七歩 茂介など書上	
23-4	[的当代価書付]			1纏め(仮1冊1通)		23-4-1～2まで重ねて二ツ折
23-4-1	[的当代価書付]	年月日未詳	縦紙	1通	小七区倉敷村大橋秀太郎所有の都宇郡塩津村之内前湯拾ノ割下田式反歩的当代価書付	
23-4-2	[的当代価書上]	年月日未詳	半・縦	仮1冊	小七区倉敷村大橋秀太郎所有の窪屋郡帯高村之内前湯西ノ内拾丁分堀切替下田式畝式拾四歩他7筆的当代価書上	
23-5	[畝当代価書上]	壬申年11月		1纏め(仮2冊1通1纏め)		23-5-1～4一纏め 23-5-1に23-5-2～4までをはさんで二ツ折
23-5-1	[的当代価書上]	年月日未詳	美・縦	仮1冊	小七区大橋秀太郎所有の土地的当代価書上 小七区地主大橋秀太郎所有の窪屋郡倉敷村之内の土地的当代価書上	
23-5-2	[的当代価書上]	壬申年11月	美・縦	仮1冊	小七区西深六郎所有の窪屋郡倉敷村之内の水主屋敷の代価書上	
23-5-3	[代価書上]	年月日未詳	縦切紙	1通		
23-5-4	[的当代価書上]			1纏め(2通)		23-5-4-1～2一纏め 23-5-4-1の中に23-5-4-2が包まれている
23-5-4-1	[的当代価書上]	年月日未詳	縦紙	1通	窪屋郡倉敷村之内十六内字山ノ後一之割 一田四畝五歩 持主大橋秀太郎的当代価書上	
23-5-4-2	[的当代価書上]	年月日未詳	縦紙	1通	窪屋郡倉敷村之内水夫屋敷壹畝三歩 持主大橋秀太郎的当代価書上	
23-6	明治十九年鶴新田取立帳	明治20年1月4日	美・横長	1冊		(裏表紙)「東大橋」
23-7	明治二十一年より 鶴新田検見帳	明治21年～	美・横長	1冊		(裏表紙)「東大橋」
23-8	明治三十九年旧五月 廿八年度小作米代金未進書出帳	明治39年旧5月	美・横長	1冊		
23-9	明治卅四年十一月 卅三年小作米未進書出帳	明治34年11月	美・横長	1冊		
23-10	明治廿有八年乙未一月吉日 金銭算用帳	明治28年1月	美・横長	1冊		(裏表紙)「大橋寿」
23-11	明治卅三年十一月 卅貳年度小作半代金滞書出帳	明治33年	美・横長	1冊		
23-12	明治四十三年壹月拾日 年々小作米代金滞書出帳	明治43年1月10日	美・横長	1冊		
23-13	明治卅八年五月 卅七年度小作米未進書出帳 東大橋	明治38年5月	美・横長	1冊		
23-14	[書状・証文他]			1袋(44通4袋1冊2枚1丁仮7冊7纏め)		23-14-1～66一纏め(袋上書)「田畑買取証文 祖叔父徳蔵宅後見買求相成候証文在裡」
23-14-1	[東大橋宛柳の琴造書状]	年未詳9月20日	縦紙	1通	竹魚呈上のこと	封筒あり(封筒表書)「倉敷阿知町 東大橋様 竹魚相済 岡山より」(封筒裏書)「九月廿日 紙屋町桐の琴造 竹魚二さより」 罫紙
23-14-2	[向地丈量書類]			1袋(5通)		23-14-2-1～5一袋(袋上書)「向地丈量書類」
23-14-2-1	[柚木吉平住所書付]	年月日未詳	横切紙	1通	「小田郡笠岡村八軒屋町四百八十四番地 柚木吉平」	
23-14-2-2	記(謝儀請取)	年未詳2月8日	横切紙	1通	小川村謝儀として一荷請取 笠岡村藤井芳太郎・代り柚木吉平→大橋俊太郎	
23-14-2-3	証書(測量金百貳拾六円来11月中まで用捨願い)	明治11年8月	縦紙	1通	三小区東山村請人藤本辰蔵・同区屋間村証人高木清太郎→備中国後月郡川相村小田平八郎・同国田辺俊太郎	罫紙
23-14-2-4	地引絵図議定証	明治8年2月2日	縦継紙	1通	三好郡東山村藤本辰蔵・同郡屋間村引請証人高木清太郎→備中小田県御測量方小田平八郎	
23-14-2-5	記(丈量代金算用書付)	年月日未詳	横継紙	1通	明神木村→田辺	
23-14-3	[桑田彦三郎縁談関係書状一括]			1袋(4通)		23-14-3-1～4一袋(封筒表書)「■屋郡倉敷村 大橋俊太郎様 大至急平信」(封筒裏書)「賀陽郡美袋村 田辺安八郎」
23-14-3-1	[大橋俊太郎宛田辺安八郎書状]	年未詳8月4日	横継紙	1通	備後横尾三南屋事桑田三郎助長男彦三郎と娘さんとの結婚について相談する	
23-14-3-2	[大橋俊太郎宛田辺母書状]	年月日未詳	横切紙	1通	縁談については「先方しんたいハ大き成ことのよし何よりの事」と思うがどう思われるか相談する件他	(上書)「大橋俊太郎殿 田辺母より 参る」
23-14-3-3	[桑田彦三郎家筋書付]	年未詳8月4日	横切紙	1通		23-14-3-1の文面にある桑田家の親類書
23-14-3-4	家勢向	年未詳8月4日	横切紙	1通	酒造家で本年の清酒醸造高が1,500石余、有金およそ8万位で所々へ貸付があることなど	23-14-3-1の文面にある桑田家の家勢向の書抜
23-14-4	[大橋俊太郎宛井上信一郎書状]	年未詳5月26日	横継紙	1通	本人も帰坂の上は月俸二十円余は請る筈なので「決而損金ハ相掛ケ不申」故、借金を依頼	封筒あり(封筒上書)「大橋俊太郎様 井上信一郎 貴下親展」 罫紙
23-14-5	[大橋俊太郎宛大森武三書状]	年未詳6月1日	横継紙	1通	借金の返済猶予について	封筒あり(封筒表書)「大橋俊太郎様 親展乞貴酬」
23-14-6	[大橋宛成審書状]	年月未詳11日	横継紙	1通	売却したいとさる方より大幅をよこしたので評定依頼	(上書)「大橋様 成審」
23-14-7	[新川大橋両君ほか11名宛大橋俊太郎廻章]	年未詳10月2日	縦紙	1通	久しく中絶していた講法会を夜会として開催したい旨を伝達する	罫紙 封筒あり(封筒上書)「講法会廻章 大橋俊太郎」
23-14-8	[大橋俊太郎宛赤木朴齋書状]	年未詳10月3日	横継紙	1通	亀山氏より流地の世話人はどうなったか	罫紙 封筒あり(封筒上書)「倉敷大橋俊太郎様 御親展 赤木朴齋」(封筒裏書)「惣社村」

23-14-9	[大橋俊太郎宛片山敬一書状]	年未詳3月15日	縦紙	1通	過日依頼していた金子拾円を落掌したこと、弟幸次郎と倉敷原との縁談が調ったことなどを伝える	封筒あり(封筒表書)「岡山県備中国窪屋郡倉敷邨 大橋俊太郎様 至急貴酬」(封筒裏書)「東京神田錦町荅丁目拾番地 飯田屋片山敬一 三月十五日」
23-14-10	[大橋俊太郎・沢三郎宛山田玉五郎書状]	年未詳8月31日	横継紙	1通	不在中に下付された「各位尊名薄謝会長」と記されたものは、講法会の目的・性格からしても、会場費が足りていない現状を考えても、自分が受け取ることはできない旨、返答する	封筒あり(封筒表書)「東位 大橋俊太郎様 膝下」(封筒裏書)「八月三十一日 山田玉五郎」
23-14-11	[大橋俊太郎宛三宅半平書状]	年未詳5月26日	横継紙	1通	岡田弥介・永山徳一郎・藤原ショウの借入金の済方について報告する	封筒あり(封筒表書)「窪屋郡倉敷村 大橋俊太郎様 御報知書 玉島三宅半平」(封筒裏書)「五月廿六日 岡田弥介 藤原ショウ 老人前廿銭ノ勘解印紙代 御取立置被下候」
23-14-12	[児島屋一条済口関係書類]			1袋(5通)		23-14-12-1~5一袋 (封筒表書)「平川氏ヨリ児島屋 一條為済口書類在裡」(中封筒表書)「平川土居 平川貞五郎 倉敷 岡田義平」
23-14-12-1	覚(金受領証)	明治10年3月10日	横継紙	1通	金貳円五拾銭の受取 児島屋岡田義平→平川貞五郎	
23-14-12-2	[平川貞五郎宛岡田義平はがき]	年未詳1月17日	はがき	1通	過日代人を差出した節、一切金貳円にて滞り無く済ます様に、と仰せられた件について	(葉書表書)「川上郡[ ]土井 平川貞五郎殿 倉敷 岡田義平 一月十七日発ス」
23-14-12-3	[岡田儀平宛平川貞五郎口演]	年未詳3月28日	縦紙	1通	払入残金については当節柄大不融通につき調金出来難く悪しからず承諾願いたい	罫紙(備中国川上郡会議所専用紙)
23-14-12-4	預り申金子之事	明治7年7月30日	縦紙	1通	金壹円貳拾八銭の預り証文 川上郡平川村武部元次郎→倉敷 岡田義平	罫紙(第十五大区窪屋郡の専用紙)
23-14-12-5	[岡田儀平宛平川貞五郎書状]	年未詳1月3日	横切紙	1通	先の飛札の四円口の件については大難渋しており半額で勘弁してくれる様に願う	(表書)「岡田儀平様 平川貞五郎」(裏書)「差急キ 単封御仁免期毫」
23-14-13	[大橋俊太郎宛片山類吉書状]	(明治カ)9月9日	横継紙	1通	天変被害甚大、貧困、病流行の折柄、将来の方向決定延期などについて	(封筒表書)「備中窪屋郡倉敷 大橋俊太郎様 至急平信御報」(封筒裏書)「小田郡東三成村 片山類吉 九月九日投函」
23-14-14	[大橋俊太郎宛田辺母書状]	年月日未詳	横継紙	1通	つら嶋新開の入用多く「ほ助金の義ハ御むつかしくよし」の件について おさとの縁談については桑田の方へ断ったことの報知	封筒あり(封筒表書)「窪屋郡倉子城 大橋俊太郎様 至急平信」(封筒裏書)「自美袋 田辺安八郎」
23-14-15	[大橋宛井 源十書状]	年未詳3月22日	横継紙	1通	老山・晴湖・北島柳圃などの書画に対する東京での評価を伝える	井源十二井上源十郎の略カ
23-14-16	記(金受領証)	(明治)17年6月10日	横切紙	1通	西江氏利子金不足分の受領証 石井又三郎→大橋秀太郎	
23-14-17	記(元利受領証)	(明治)17年5月31日	横切紙	1通	元利百八円の請取 本家代三宅吉道→東御新宅	
23-14-18	換舌	年未詳5月27日	横継紙	1通	大審院一条につき、想像に反して裁判になったことを報せ、とりあえず裁判状とその他書類を送る旨伝える 大橋又四郎→大橋俊太郎	
23-14-19	[大橋俊太郎宛高木清太郎書状]	年未詳旧正月20日	横継紙	1通	東山村の測量の手数料の件について	
23-14-20	[大橋俊太郎宛藤井芳三郎書状]	年未詳9月13日	横切紙	1通	当国地租改正方事業の際勤務日当金の件について懸合った柚木吉平への附与金について	封筒あり(封筒表書)「備中窪屋郡倉敷 大橋俊太郎殿 閣下」(裏書)「伊予宇摩郡新宮村石川襄方ニテ 藤井芳三郎 九月十三日午前十二時発ス」
23-14-21	証	明治11年3月9日	縦紙	1通	名東縣下阿波国三好郡東山村において諸差引本金受取ったので貴殿と膝談するつもりはないとのこと 後月郡川相村小田平八郎→倉敷村大橋俊太郎	
23-14-22	証	明治10年11月	縦紙	1通	測量金申談相調のこと 高木清太郎→小田平八郎・田辺俊太郎	罫紙
23-14-23	[難波景二関係裁判文書一括]			1袋(3通1纏め)		23-14-23-1~4一袋 封筒入り
23-14-23-1	[大橋俊太郎宛古城弥太郎書状]	年未詳9月30日	縦紙	1通	大審院への上告事件につき経過を報告し、上告状の写しを送ったこと、大審院からの呼び出しで暫時木更津へ赴くことを伝える	罫紙
23-14-23-2	[大橋俊太郎宛大橋又四郎書状]	年未詳8月9日	横継紙	1通	大審院への上告につき古城氏に相談したところ、終審の判決書と原被の書類一覧がなければ、すぐに請け負うことは出来ないと回答されたことを伝える	
23-14-23-3	難波景二二関スル取引上の手順決局	年月日未詳	縦紙	1通(2枚)	難波景二が明治14年1月に金400円を借りたまま返済しない件について、玉島区裁判所の勘解によって示談に至った経緯などを記す	
23-14-23-4	[大審院への上告関係書類他]			1纏め(仮1冊4通1袋)		23-14-23-4-1~6まで折り込み一括
23-14-23-4-1	[大橋俊太郎宛難波景二書状一括]			1袋(2通)		23-14-23-4-1-1~2一袋 封筒あり(封筒表書)「大橋俊太郎様 難波景二 内事 別紙在中」
23-14-23-4-1-1	[大橋俊太郎宛難波景二書状]	年未詳9月3日	横切紙	1通	入手済の書類を預ってくれるよう伝える	
23-14-23-4-1-2	[難波景二宛大橋栄太郎代上口口一郎書状]	年未詳9月1日	縦紙	1通	兼て依頼されていた原基太郎上告の件については上告届をして置いたことの報知	罫紙
23-14-23-4-2	難波景二へ関ス取引上之手順	年月日未詳	縦紙	1通	玉島区裁判所の勘解によって、借金を返済しない難波景二の所有田地を買い取ることで示談に応じたこと、その田地は既に転売して寸地も残っていないことなどを記す	罫紙(備中国窪屋郡の専用紙)

23-14-23-4-3	上告御届写	明治16年9月1日	縦紙	1通	原甚太郎よりの預り金をめぐる裁判判決に承服できないので大審院に上告する 岡山県備中国窪屋郡平田村平民難波景二・代言人福岡県土族被告代言人石橋栄太郎→大阪控訴裁判所長代理判事田中春風	罫紙(訴訟文通用専用紙)
23-14-23-4-4	[原甚五郎・原甚太郎身上書付]	年月日未詳	縦紙	1通	原甚五郎(嘉永4年生、家賃渡世)、原甚太郎(弘化4年生、男髪結渡世)	罫紙
23-14-23-4-5	[大橋俊太郎宛高口弥平太書状]	年未詳8月16日	縦紙	1通	東京よりの書面と答按をみて、大審院での裁判政策について意見を述べ、書類一切を東京へ送って古城氏に研究を乞うことを提案する	封筒あり(封筒表書)「大橋俊太郎様 高尾(カ)弥平太 貴酬」(封筒裏書)「八月十五日」
23-14-23-4-6	建具敷場立木〇〇共売渡証券	明治15年4月15日	半・縦	仮1冊	戸・障子・襖・石灯笼などを金200円で売り渡す 窪屋郡平田村売渡人山本元吉・同倉敷村証人毛利富三→本郡倉敷村大橋俊太郎	罫紙 (封筒表書)「大橋俊太郎様 貴下 親展乞貴答」(封筒裏書)「大森武三 拝」
23-14-24	[大橋俊太郎宛大森武三書状]	年月日未詳	横継紙	1通	百五十圓の拝借を願う	
23-14-25	[倉敷村にて名田・新田分裂関係書類]			1纏め(仮4冊1通1纏め)		23-14-25-1~6まで重ねて二ツ折にして一纏め
23-14-25-1	倉敷村二而名田新田分裂見込理由上申之義二付御覧	明治13年11月4日	半・縦	仮1冊	倉敷村小民小松原謙吉・大橋俊太郎・大久保尚平→窪屋郡長林孚一	
23-14-25-2	[白紙]	年月日未詳	縦紙	1纏め(2丁)		
23-14-25-3	[新田・灘分村につき照会書]	明治13年10月9日	半・縦	仮1冊	岡山県地理課→窪屋郡役所	
23-14-25-4	分村可否上申之義二付御覧	明治14年4月13日		1通(2丁)	窪屋郡倉敷村平民大橋俊太郎→窪屋郡長林孚一	
23-14-25-5	本月十一日付御指令ニ依り再伺	明治13年11月18日	半・縦	仮1冊	「分村ノ可否村会ニ問フヘシ」との趣旨の達書について 倉敷村小松原謙吉・大橋俊太郎・大久保尚平→窪屋郡長林孚一	
23-14-25-6	[本月十一日付御指令ニ依り再伺控]	明治13年11月18日	半・縦	仮1冊	「分村ノ可否村会ニ問フヘシ」との趣旨の達書について 倉敷村大橋俊太郎・小松原謙吉→窪屋郡長林孚一	
23-14-26	[金子借用証券・預り証・委任状案文]			1纏め(7通)		23-14-26-1~7まで重ねて三ツ折
23-14-26-1	[金子借用証券之事案文]	年月日未詳	縦紙	1通		罫紙
23-14-26-2	[預り証券案文]	年月日未詳	縦紙	1通		罫紙
23-14-26-3	[委任状之事案文]	年月日未詳	縦紙	1通		罫紙
23-14-26-4	[金子借用証券之事案文]	年月日未詳	縦紙	1通		罫紙
23-14-26-5	[金子借用証券之事案文]	年月日未詳	縦紙	1通		罫紙
23-14-26-6	[金子借用証券之事案文]	年月日未詳	縦紙	1通		罫紙
23-14-26-7	[金子借用証券之事案文]	年月日未詳	縦紙	1通		罫紙
23-14-27	[白紙]	年月日未詳	縦切紙	1纏め(2枚)		罫紙
23-14-28	[封筒]	年月日未詳	17.7×7.7	1纏め(2枚)		新聞を転用して作る 中身なし 2枚重ねてSILティッシュで包む 包紙あり(包紙上書)「やまのぬし日 三りんぼう覚」
23-14-29	やまのぬし日嫁取り大悪日也	年月日未詳	横切紙	1通		
23-14-30	地所売買之儀二付御伺	明治17年1月10日	縦紙	1通	地券名義書換二付委任代理の事について 倉敷村大橋友蔵→窪屋郡長戸川晚香	罫紙
23-14-31	[告訴状扣]	明治16年9月18日	17.0×12.0	仮1冊	預け金催促一件について、岡山県平民古城輔太郎が大坂控訴裁判所での裁判を不当とし、改めて倉敷村平民原甚太郎を上告し、事件の経緯や不当とする理由について述べている 古城輔太郎→大審院長判事玉乃世履	罫紙
23-14-32	代人御願	明治17年2月	横切紙	1丁	原甚太郎にかかる預け金催促の代人願い 岡山県備中国窪屋郡平田村難波景二→大審院長判事玉乃世履	罫紙
23-14-33	[届書下書]	年月日未詳	縦紙	1纏め	1枚目に「御届」の記載あり 残3枚は白紙	罫紙を4枚重ねて折り畳みである
23-14-34	盆栽記録 小鬘	年月日未詳	半・横半折	1冊		
23-14-35	[大橋俊太郎宛大森武三書状]	年未詳5月3日	縦紙	1通(2枚)	中濱氏の転地云々は決定になったかを尋ねる 百円ばかりの負債の調達について	罫紙
23-14-36	建家売渡之証	明治15年5月5日	半・縦	仮1冊	土蔵売渡り渡し 代金百貳拾七圓 売渡人窪屋郡平田村山本元吉・証人山田音平→買受人倉敷村小原有一	(奥書)地主大橋俊太郎
23-14-37	[田地・耕宅地売渡証券]			1纏め(2通)		23-14-37-1~2一纏め SILティッシュで包んだ
23-14-37-1	耕宅地売渡証券	明治15年4月30日	横折紙	1通	窪屋郡平田村四百六拾六番字傘 田四畝廿四歩他6筆 売渡代金合計三百七圓拾貳銭 倉敷村売渡人大橋俊太郎・子位庄村作人大角万作→植田寿夫	
23-14-37-2	田地売渡証券	明治15年	横折紙	1通	窪屋郡平田村三百壹番字三反田 田九畝九歩他2筆 代価合計百六拾八圓七拾七銭 倉敷村売渡人大橋俊太郎・証人毛利富三→本郡平田村山本元吉	
23-14-38	請取証	(明治カ)15年8月26日	縦切紙	1通	金貳拾五圓也の請取 平田村難波様御事件につき三宅・仁科・毛利3名の日当ならびに入費請取 三宅半平・仁科辰三郎代毛利富三→東大橋	
23-14-39	証(出頭日及び出頭人名書上)	年未詳5月27日	横切紙	1通	毛利富三→難波	罫紙
23-14-40	[金銭請取証]			1纏め(4通1丁)		23-14-40-1~5まで重ねて折り畳みである
23-14-40-1	証(金銭請取)	(明治カ)15年4月28日	横切紙	1丁	金拾五圓難波様入費 毛利富三→東大橋	罫紙
23-14-40-2	請取証(金銭請取)	(明治カ)15年6月14日	横切紙	1通	金拾圓(平田村)難波様事件につき三宅半平日当 毛利富三→東大橋	



23-14-40-3	請取証(金銭請取)	(明治カ)15年6月2日	横切紙	1通	金拾円 平田村難波様事件日当 毛利富三→大橋俊太郎	
23-14-40-4	請取証(金銭請取)	明治15年8月	縦切紙	1通	金四拾円 玉島三宅半平定約金井二仁科辰三郎日当 毛利富三→平田村難波	
23-14-40-5	請取証(金銭請取)	(明治15カ)年5月7日	縦切紙	1通	金貳拾円 難波様事件につき三宅半平日当 金拾円 同毛利富三日当 毛利富三→東大橋	
23-14-41	記(取替金額接続計算書)	14年8月23日	横切紙	1通	大橋→難波	
23-14-42	[金銭算用書]	年月日未詳	横継紙	1通	地所代金受取・三宅半平日当見込代金等算用書	
23-14-43	請取証	明治16年1月14日	縦切紙	1通	原甚太郎よりかかる民事書付入費定約金請取 金貳拾円の請取 橋本代人毛利富三→平田村難波	
23-14-44	証(田地売買条件謝金残額受取)	14年3月24日	縦紙	1通	金百五拾円受取 石黒徳一郎→難波景二	(奥書)十四年三月廿四日 松本一郎
23-14-45	[人別出銀日書付]	年月日未詳	半・縦半	仮1冊	国富太三郎定約金請求 国富太三郎立替金請求 大橋様御分・酒津三宅様分・森栄蔵貸金滞請求・梶谷敬太郎貸金滞請求分など	
23-14-46	記(金五拾円受取)	(明治カ)14年2月15日	縦紙	1通	石黒徳一郎→毛利富三	
23-14-47	証(借入金受取)	(明治カ)14年1月4日	横切紙	1通	借主難波景二→大橋俊太郎	
23-14-48	記(大橋分費用書上)	年未詳4月27日	縦切紙	1通	三宅半平→(宛名なし)	
23-14-49	記(物品取調べ書上ケ他)	年未詳7月22日	横継紙	1通	五銭五厘 文通用罫紙十一枚 壹円拾銭 代書など 最後に「外二最初ヨリ御約束之成功金之儀宜敷」の記載あり 毛利富三→平田村難波	罫紙
23-14-50	証(地券検証印税受取証)	明治15年4月25日	横継紙	1通	金貳円拾五銭、又貳厘の手数料 平田村戸長役場→倉敷村大橋俊太郎	
23-14-51	[大橋俊太郎宛大橋又四郎書状]	年未詳8月18日	横継紙	1通	暴風雨による連島鶴新田の損害などへの見舞状	(封筒表書)「岡山県備中倉敷 大橋俊太郎様 平信」(封筒裏書)「東京麻布坂下町七番地 大橋又四郎」
23-14-52	[封筒]	年月日未詳	17.5×7.7	1枚		山陽新報を転用して作る 中身なし
23-14-53	[東大橋宛山田大一書状]	年未詳9月10日	横切紙	1通	本日帰村後参館致すべきこと	封筒あり(封筒表書)「東大橋様 雅前」(封筒裏書)「九月十日 山田大一拝」
23-14-54	[大橋俊太郎宛片山重範書状]	年未詳6月7日	横継紙	1通	近日中旬大阪出張、留守中は三郎に申付けらるべきこと	封筒あり(封筒表書)「岡山県備中倉敷村 大橋俊太郎殿 (朱印)東京富士見街四丁目九番地 片山重範」(封筒裏書)「六月六日発」
23-14-55	[入用金書上]	年月日未詳	半・横半折	仮1冊	一金壹円 岡田鱒二謝議金三拾銭 外二菓子料済	
23-14-56	各村反別請渡比較表	年月日未詳	縦紙	1通(2枚)	明治十一年及び明治十六年の比較表 小作定米についても比較されている	
23-14-57	記(金受取)	明治17年5月31日	横継紙	1通	金三拾貳円五拾銭 西江源一渡の分として受取 石井又三郎→大橋秀太郎	
23-14-58	[大橋俊太郎宛林孚一書状]	年未詳4月16日	横継紙	1通	花見の為の花の借用の依頼	
23-14-59	[白紙]	年月日未詳	縦切紙	1枚		「証券界紙」と印刷されている
23-14-60	代人御願	年月日未詳	22.7×15.5	1通	岡山県備中国窪屋郡平田村貳拾四番地居住平民難波景二 書きかけ	
23-14-61	監約書之事	明治16年1月12日	縦切紙	1通	地標の件、松本万五郎らに関する小作米代貸付金催促、入費の義等 毛利富三→大橋秀太郎	「証券界紙」を使用
23-14-62	覚(滞り代銀書付)	年月日未詳	横継紙	1通	滞りの麦代・靴代書付 入船屋要三→東大橋	
23-14-63	[暴行・脅迫等による不当契約の解除について]	年月日未詳	23.4×31.4	1通		罫紙
23-14-64	記(差引過金引渡)	明治9年8月19日	美・縦	仮1冊	差引過金貳拾六円四拾四銭七厘引渡のこと 第二大区十五小区事務取扱所→田辺俊太郎	罫紙
23-14-65	[窪屋郡倉敷村字新田及び灘分村裁定]	明治13年10月9日	半・縦	仮1冊	岡山県地理課→窪屋郡役所	
23-14-66	分村可否上申之義二付伺	明治14年4月13日	半・縦	仮1冊	倉敷村平民大橋俊太郎・戸長植田鶴次郎→窪屋郡長林孚一	明治十四年四月廿二日付窪屋郡長林孚一の裁定の書付あり
23-15	[反故巻紙]	年月日未詳	縦継紙	1通	貸物台帳 日付、銀額、品物、名前書上	25丁貼り合せて卷子にしてある
23-16	[反故巻紙]	年月日未詳	縦継紙	1通	「文化六年巳之冬 冬物流書出の表紙」や大橋源介宛綱嶋三蔵書状などを貼りあわせて巻かれている	
23-17	明治廿六年一月改田畑・宅地台帳 持主大橋寿	明治26年1月	美・縦	1冊		罫紙 挟み込み文書あり SILティッシュで包んだ
23-18	[納税通知書・受領書]	明治40年9月21日	縦切紙	1通	倉敷町役場徴税掛書記藤原満太→大橋高之	
23-19	[倉敷町役場通知書]	明治38年3月23日	縦切紙	1通	万寿村分の土地所有の納税管理人の届出を為すこと 倉敷町役場→大橋高之	
23-20	[倉敷町役場通知書]	明治38年3月23日	縦切紙	1通	万寿村分の土地所有の納税管理人の届出を為すこと 倉敷町役場→大橋寿	
23-21	明治四十一年度第貳拾号議案	明治41年12月20日	縦切紙	1通	明治四十一年度第十九号議決の本町徴税督促手数料条件について第一条を変更することについて 倉敷町長植田年→議員大橋高之	
23-22	明治四十一年度第貳拾壹号議案	明治41年12月20日	縦切紙	1通	倉敷町長植田年 本町大原孫三郎本町教育費教員給料の内へ金百二十一円五十銭寄附出願は採納のこと	
23-23	土地の移動其の他の権利及び処分制限等の届出について	昭和32年5月6日	25.5×18.3	1通	駅西土地区画整理施行者 倉敷市長高橋勇雄→各位	
23-24	地代家賃改正について	昭和27年12月4日	18.0×25.5	1通	倉敷市長高橋勇雄→大橋幹一	

23-25	借地証書	明治44年7月7日	縦切紙	1通	備中国窪屋郡倉敷町字新川埋出シ千壹番地 地子米壹石四斗八舛參合 窪屋郡倉敷町六拾九番地借主木村和吉・窪屋郡倉敷町九百七拾貳番地引受人高戸猷→窪屋郡倉敷町大橋平右衛門	
23-26	売渡証	大正12年6月5日	縦紙	1通	窪屋郡倉敷町千三番地上にある木造二階建瓦葺壹棟及び平屋建壹棟を代金壹千円で売渡のこと 倉敷基督教會監理者木村和吉・林源十郎→大橋高之	罫紙
23-27	[大橋幹一宛農地委員会通知]	昭和22年7月8日	半・縦	1綴	自作農創設特別措置法第三条第一項の規定による大橋家の万寿地区内所有地の買収の通知と農地内訳 岡山県倉敷市万寿地区農地委員長→新川町大橋幹一	右肩で糊付けされている
23-28	[土地測量図]			1纏め(2通)		23-28-1~2まで重ねて一纏め
23-28-1	[倉敷市川西町貳百六拾番の六土地測量図]	年月日未詳	27.2×39.0	1枚	[此面積四拾貳坪五合九勺]の記載あり	
23-28-2	[倉敷市川西町貳百六拾番の六土地測量図]	年月日未詳	27.2×39.0	1枚	[此面積四拾貳坪五合九勺]の記載あり	
23-29	[土地分筆届・地目変換届]	大正5年	縦紙	1綴	土地分筆届:倉敷町字東五割田 持主倉敷町大橋高之1通 地目変換届:倉敷町字日吉庄境 持主同上他3通 倉敷税務署長宛	クリップをはずしてSILティッシュで包む 届4通 各届は2枚重ねて折り畳んである
23-30	名義人表示変更登記申請書	大正13年10月24日	半・縦	仮1冊	申請人大橋高之・代人牧弁吉→玉島区裁判所倉敷出張所	登記用紙
23-31	不動産抵当年賦償還金借用証	昭和11年2月12日		1綴	大橋高之→債権者株式会社岡山農工銀行取締役頭取星島義兵衛	
23-32	記(糸代受取証)	年未詳10月15日	横継紙	1通	代金円十五銭五厘 作州かも井[ ](判読不可)→備中倉敷黒石や加え	
23-33	記(旧藩札引換願)	(明治8年カ)	半・縦	仮1冊	旧福山藩札拾七枚・旧高梁藩札三百三拾五枚・旧成羽藩札六拾枚・旧岡田藩札貳拾八枚・旧庭瀬藩札三拾六枚・旧足守藩札五拾三枚・旧浅尾藩札廿八枚他5筆合七百枚金五円九拾七銭六厘 第十五大区窪屋郡倉敷村木村和吉→倉敷出張出納課	朱筆で訂正あり 第十五大区窪屋郡用箋(罫紙)
23-34	[土地関係書類]			1括り(1纏め6冊1通1枚仮4冊)		23-34-1~13紙綴りで一括り
23-34-1	松江村地価書上仕出シ	年月日未詳	半・縦	仮1冊	松江村地価書上仕出シ13筆 松江村所持地々価書上記35筆	綴じ紐が切れている為SILティッシュで包む
23-34-2	明治八亥年十一月 改正反別等級記簿 大橋分	明治8年11月	半・縦	1冊		
23-34-3	鶴新田古地弘化所持地代価書上記	壬申年11月	半・縦	1冊		
23-34-4	[地図]	年月日未詳	縦紙	1枚	アセリ・内尾・曾根・中疇・西疇などの記載あり	
23-34-5	[新畝取箇・検見・定免書付]	年月日未詳	横折紙	1通		
23-34-6	[土地高・地租書上]			1纏め(3通)		23-34-6-1に23-34-6-2と23-34-6-3が挟まれて一纏め
23-34-6-1	[田方・畑方高書付]	年月日未詳	縦紙	1通	上々~最下までの10段階	第十七大区浅口郡罫紙
23-34-6-2	[土地高書付]	年月日未詳	横折紙	1通	反二付 旧貳斗五升四合四勺 改四斗三升貳合 他1筆	
23-34-6-3	[地租書上]	年月日未詳	横折紙	1通	川入村 地租七拾九円五銭八厘など	
23-34-7	中疇所持地収穫綱領	年月日未詳	半・縦	1冊	中疇所持地収穫綱領・本家分中疇地税村費綱・新宅分中疇地税村費綱・興除新田中疇	罫紙
23-34-8	[子位庄村田方畑方・川入村分田方畑方等級別収穫書上]	年月日未詳	半・縦	仮1冊	子位庄村田方収穫 上々一 貳石壹斗六升八合貳勺 八拾五円六拾壹銭八厘他32筆など	罫紙
23-34-9	所持地代価書上記 北大橋	年月日未詳	半・縦	1冊	大橋徳蔵所持地窪屋郡倉敷村・川入村・子位庄村・日吉村分代価書上	
23-34-10	亥九月 見面畝書抜 大橋秀太郎 同徳蔵	亥年9月4日	半・縦	1冊	五百貳拾貳番 字井上屋敷 一畑拾五歩 他大橋秀太郎分15筆 三百貳番 字井上後 一屋敷七畝歩 大橋徳蔵分	
23-34-11	鶴新田古地弘化所持地代価書上記	壬申年11月	半・縦	仮1冊	持主倉敷村大橋秀太郎→戸長	付紙保護の為SILティッシュで包む
23-34-12	近村所持地代価書上	壬申年10月~11月	半・縦	1冊	持主倉敷村大橋秀太郎 箕嶋村・都宇郡塩津村・濱村・浅口郡西原村・窪屋郡帯高村・窪屋郡倉敷村・窪屋郡川入村・窪屋郡子位庄村	
23-34-13	亥十一月十四日 副長三宅正平工出ス控 古地弘化畝札畝歩引合簿 大橋	亥年11月14日	半・縦	仮1冊	四拾四番 字寛政開式ノ割 一畑壹反五畝拾五歩 倉蔵など	(上書)「亥十一月十四日副長三宅正平工出ス控 古地弘化畝札畝歩引合簿 大橋 朱〇印分再調不必願候 弘化反之 無印分再調御願申候 但化政分預畝下ニ記候畝歩古写也 上ニ記候分ハ新開也」
23-35	[土地測量図]	年月日未詳	半・縦	仮1冊	田畑畝数改の測量図	保護の為SILティッシュで包む
23-36	[番地・字・田畑・宅地・小作人書上]	年月日未詳	半・縦	仮1冊		綴じ紐が切れた為SILティッシュで包む
23-37	[土地測量図]	年月日未詳	半・縦	1冊	畝数改の測量図	
23-38	[地番・字・田畑面積・小作人書上]	年月日未詳	半・縦	仮1冊	田畑畝数改の測量図	
23-39	記(旧藩札引換願)	(明治)8年9月3日	半・縦	仮1冊	旧福山藩札・旧足守藩札他6筆 合百七拾八銭九厘 第十五大区窪屋郡洪江村林覚年→倉舗出張出納課	罫紙
23-40	記(旧藩札引換願)	明治8年10月4日	半・縦	仮1冊	旧高梁藩札貳百三拾八枚・旧浅尾藩札貳拾貳枚・旧成羽藩札三拾三枚他8筆 合計三円三拾壹銭六厘 第十五大区窪屋郡小七区倉敷村吉木安次郎→倉敷出張小田県出納課	第十五大区窪屋郡用箋(罫紙) 朱筆で訂正あり
23-41	[白紙]	年月日未詳	縦紙	1枚		罫紙

23-42	記(旧藩札引換願)	(明治)8年10月3日	半・豎	仮1冊	旧福山藩札・旧高梁藩札・旧鴨方藩札・旧新見藩札他8筆 惣計拾六円七十九銭八厘 第拾五大区窪屋郡小七区倉敷村河本辰三郎→倉敷出張出納課	朱筆で訂正あり
23-43	記(旧藩札引換願)	明治8年10月	半・豎	仮1冊	旧福山藩札・旧高梁藩札・旧倉敷県札・旧新見藩札他8筆 〆拾壹円八拾八銭三厘 倉敷村世良伝吉→倉敷出張所小田県出納課	罫紙 朱筆で訂正あり
23-44	記(旧藩札引換願)	明治8年10月4日	半・豎	仮1冊	旧福山藩札拾六枚・旧高梁藩札百六枚・旧庭瀬藩札九枚・旧旗本妹尾枚九枚他7筆 合貳円三拾八銭六厘 第十五大区窪屋郡四十瀬新田村大内毅一郎→倉敷出張出納課	第十五大区窪屋郡用箋(罫紙) 朱筆で訂正あり
23-45	記(旧藩札引換願)	明治8年9月14日	半・豎	仮1冊	旧松山藩札三百七拾貳枚・旧足守藩永銭札三百廿壹枚・旧福山藩札拾四枚他9筆 惣合八円三拾六銭八厘 第拾六大区下道郡小六区下原村副戸長今在太作→倉敷出張出納課	第十六大区下道郡用箋(罫紙) 朱筆で訂正あり
23-46	記(旧藩札引換願)	年月日未詳	半・豎	仮1冊	旧福山藩札・旧高梁藩札他11筆 合七円卅銭壹厘 第十七大区小廿七区浅口郡上成村浅野彦蔵→倉敷出張出納課	罫紙 朱筆で訂正あり
23-47	[旧藩札書上]	年月日未詳	豎紙	1通(2枚)	旧福山藩札・旧足守藩札他7筆 藩札の種類・枚数・金額が書いている	一続きのものであると思われるのでSILティッシュで包んだ
23-48	記(旧藩札引換願)	明治8年10月4日	豎紙	1通	旧倉敷県札・鴨方・福山・松山札など〆四拾貳銭五厘 渡辺藤三郎→小田県出納課	罫紙
23-49	記(旧藩札引換願)	明治8年9月15日	半・豎	仮1冊	旧福山藩札・旧高梁藩札・旧新見藩札・旧庭瀬藩札・旧足守藩札他6筆 合拾五円八十三銭六厘 賀陽郡八田郡村副戸長藤田一作・同大森寿夫・戸長池上直治→倉敷出張出納課	朱筆で訂正あり
23-50	記(旧藩札引換願)	明治8年10月4日	半・豎	仮1冊	旧福山藩札・旧足守藩札・旧岡田藩札他9筆 合三円廿四銭三厘 第十五大区窪屋郡小七区倉敷村佐々木広蔵→倉敷出張小田県出納課	罫紙 朱筆で訂正あり
23-51	記(旧藩札引換願)	明治8年9月16日	半・豎	仮1冊	旧福山藩札貳枚・旧新見藩札貳枚・旧庭瀬藩札四枚他7筆 第拾五大区小七区窪屋郡倉敷村平松貞之→倉敷出張小田県出納課	
23-52	記(旧藩札引換願)	明治8年10月4日	半・豎	仮1冊	旧高梁藩・旧庭瀬藩・倉敷県札他8筆 倉敷村佐々木広蔵→小田県出納課	
23-53	記(旧藩札引換願)	明治8年10月	半・豎	仮1冊	旧福山藩札四拾五枚・旧岡田藩札貳拾貳枚・旧高梁藩九拾七枚他9筆 合計三円三十四銭四厘 第十五大区會議所→倉敷出張小田県出納課	第十五大区窪屋郡用箋(罫紙) 朱筆で訂正あり
23-54	記(旧藩札引換願)	明治8年10月6日	半・豎	仮1冊	旧高梁藩札九百四拾枚・旧福山藩札九拾貳枚・旧倉敷県銭札貳百七拾枚他9筆 合貳拾円三拾四銭七厘 第拾七大区小三十二区佐々木受三→倉敷出張小田県出納課	罫紙 朱筆で訂正あり
23-55	[旧藩札引換願]	亥年9月2日	半・豎	仮1冊	旧松山藩札貳百八拾八枚・旧足守札六拾壹枚・旧鴨方札四拾五枚他10筆 合四円八拾三銭三厘 都宇郡小十二区古新田村事務扱所→倉敷出張出納課	朱筆で訂正あり
23-56	記(百壹円六拾銭受取)	年月未詳5日	豎紙	1通	西橋千之甫→出納課	罫紙
23-57	記(旧藩札別枚数書上)	年月日未詳	半・豎	仮1冊	旧岡田藩札・旧庭瀬藩札他10筆	罫紙 朱筆で全て書かれている
23-58	[旧藩札引換関係書類]			1纏め(2通)		23-58-1と23-58-2が重ねて折り畳んであった 朱筆で訂正あり
23-58-1	[旧藩札引換金額書上]	(明治8カ)年	豎紙	1通	都宇郡古新田村事務所 一九銭三厘 備後五拾三枚 一銭新見一匁札拾貳枚他6筆 〆貳拾壹銭七厘	罫紙 朱筆で訂正あり
23-58-2	記(旧藩札引換願)	(明治8カ)年9月16日	豎紙	1通	岡田五匁札壹枚 四銭五厘他12筆 〆貳拾七銭八厘 都宇郡古新田村吉田兼吉→倉敷出張出納課	朱筆で訂正あり
23-59	記(旧藩札引換願)	明治8年10月6日	半・豎	仮1冊	倉敷県札四百五十枚・旧妹尾旗下札三百廿五枚他10筆 〆三拾七円九十壹銭 倉敷村鴨井和平→倉敷出張出納課	罫紙 朱筆で訂正あり
23-60	記(旧藩札引換願)	明治8年10月5日	半・豎	仮1冊	旧高梁藩札千五百九枚・旧福山藩札五拾八枚・旧倉敷県札百四拾六枚他9筆 〆貳拾四円七拾三銭七厘 第十七大区浅口郡小三拾六区大江連島村三宅貫一→倉敷出張小田県出納課	罫紙 朱筆で訂正あり
23-61	記(旧藩札引換願)	年未詳10月6日	半・豎	仮1冊	旧高梁藩札・旧福山藩札他10筆 合七円拾九銭九厘 足守村岡崎光義→倉敷出張小田県出納課	罫紙 朱筆で訂正あり 第十三大区賀陽郡用箋
23-62	記(旧藩札引換願)	明治8年10月	半・豎	仮1冊	旧松山藩札七百枚・旧足守藩札貳百拾八枚他10筆 〆拾貳円四拾八銭七厘 賀陽郡生石村林久之助→倉敷出張小田県出納課	罫紙 朱筆で訂正あり
23-63	記(旧藩札引換願)	明治8年10月5日	半・豎	仮1冊	旧高梁藩札・旧福山藩札他6筆 〆三拾銭六厘 倉敷村森源三郎→倉敷出張小田県出納課	罫紙 朱筆で訂正あり
23-64	記(旧藩札引換願)	明治8年10月6日	半・豎	仮1冊	旧福山藩札・旧倉敷県札・旧鴨方藩札・旧足守藩札他8筆 合貳円四拾五銭九厘 第拾五大区窪屋郡小七区倉敷村土井恵太→倉敷出張小田県出納課	罫紙 朱筆で訂正あり
23-65	記(旧藩札引換願)	年月日未詳	半・豎	仮1冊	旧高梁藩札千百九拾貳枚・旧岡田藩札百拾六枚他10筆 合廿四円八銭九厘 倉敷村川崎佐次郎→倉敷出張所小田県出納課	罫紙 朱筆で訂正あり
23-66	記(旧藩札引換願)	明治8年10月8日	半・豎	仮1冊	旧福山藩札三百八拾七枚・旧高梁藩札四千百三枚他10筆 〆八十五円六十壹銭三厘 第拾五大区小七区窪屋郡倉敷村小松原善平→倉敷出張出納課	罫紙 朱筆で訂正あり

23-67	記(旧藩札引換願)	明治8年9月14日	半・竪	仮1冊	旧松山藩札貳百五拾枚・旧庭瀬藩札三拾枚・旧鴨方藩札拾五枚他9筆 合五円貳拾壹錢壹厘 第十四大区都宇郡大内田村坪井文三郎→倉敷出張出納課	第十四大区都宇郡用箋(罫紙) 朱筆で訂正あり
23-68	記(旧藩札引換願)	明治8年10月3日	半・竪	仮1冊	旧高梁藩札六十一枚・旧倉敷県錢札十五枚他7筆 合五円五十六錢六厘 都宇郡鳥羽村戸長八木嘉伝治→倉敷出張出納課	罫紙 朱筆で訂正あり 第十四大区都宇郡用箋
23-69	[旧藩札枚数及び新貨書上]	年月日未詳	竪紙	1通	旧福山藩札壹朱札貳枚 七錢四厘他9藩の札別枚数及び新貨書上	朱筆で訂正あり
23-70	記(旧藩札引換願)	亥(明治8)年9月15日	半・竪	仮1冊	旧倉敷県札七拾枚・旧福山藩札四拾七枚他9筆 〆三円八拾九錢五厘 倉敷村若林四郎→倉敷出張出納課	罫紙 朱筆で訂正あり
23-71	記(旧藩札引換願)	明治8年9月24日	半・竪	仮1冊	旧高梁藩札貳千三百五拾三枚・旧足守藩札千貳百八拾貳枚・旧福山藩札拾七枚・旧鴨方藩札百九拾九枚・旧成羽藩札百六拾六枚・旧新見藩札百四拾參枚・旧岡田藩札七拾貳枚・旧倉敷県札百八拾枚・旧浅尾藩札百六拾貳枚・旧庭瀬藩札百貳拾四枚・旧撫川幣幣八枚・旧妹尾幣幣四拾八枚 〆三拾九円貳十五錢貳厘 第十三大区賀陽郡小廿四区大井村萱野石三郎→倉敷出張小田県出納課	朱筆で訂正あり
23-72	記(旧藩札引換願)	明治8年9月24日	半・竪	仮1冊	旧足守藩札九枚・旧高梁藩札拾六枚・旧成羽藩札三枚他3筆 〆拾五錢七厘 第十三大区小二十四区大井村難波民之助→倉敷出張小田県出納課	第拾三大区賀陽郡用箋(罫紙) 朱筆で訂正あり
23-73	記(旧藩札引換願)	亥8年10月	半・竪	仮1冊	旧倉敷藩札・旧福山藩札・旧岡田藩札・旧宮原藩札・旧成羽藩札・旧新見藩札・旧浅尾藩札・旧鴨方藩札・旧足守藩札・旧庭瀬藩札・旧妹尾藩札 〆貳拾八円七拾錢七厘 倉敷村田村卯吉→倉敷出張出納課	罫紙 朱筆で訂正あり 第十五大区窪屋郡用箋
23-74	記(旧藩札引換願)	明治8年9月14日	半・竪	仮1冊	福山藩札貳拾三枚・松山藩札六拾五枚他9筆 合式円貳拾九錢四厘 大内田村副戸長中野又八→倉敷出張出納課	罫紙 第十四大区都宇郡用箋
23-75	記(金銭受取証)	年末詳10月11日	竪紙	1通	西橋千之甫→出納	罫紙 朱線で横に棒引してある
23-76	[旧藩札枚数及び新貨書上]	年月日未詳	半・竪	仮1冊	旧足守藩札・高梁藩札・福山藩札・鴨方藩札・撫川札・浅尾藩札・岡田藩札・成羽藩札・新見藩札・倉敷県札・妹尾札	第十五大区窪屋郡用箋(罫紙) 倉敷村瀬良伝吉→倉敷出張小田県出納課宛文書の裏紙を使用している
23-77	記(旧藩札引換願)	明治8年9月14日	半・竪	仮1冊	旧福山藩札九拾七枚・旧松山藩札千七百四拾五枚・旧岡田藩札貳百六拾貳枚他8筆 合金貳拾八円四拾九錢八厘 第十六大区小一区下道郡服部村瀬崎清次郎→倉敷出張出納課	罫紙 朱筆で訂正あり
23-78	記(旧藩札引換願)	明治8年10月4日	半・竪	仮1冊	旧高梁藩札・旧成羽藩札他9筆 合式円四錢貳厘 倉敷村尾崎得寿郎→倉敷出張小田県出納課	罫紙 朱筆で訂正あり
23-79	人員書上	明治8年6月	竪紙	1通	戸主大橋千之甫家族書上 大橋千之甫→戸長	罫紙 第十五大区窪屋郡用箋
23-80	[金銭差引書上]	年末詳10月1日~8日	半・竪	仮1冊	金壹円三拾貳錢六厘 吉岡村内田尚太郎他 日毎に金高・人名書上	罫紙
23-81	記(旧藩札引換願)	明治8年9月12日	半・竪	仮1冊	旧福山藩札五十五枚・旧倉敷県札四百枚・高梁藩札千貳百四十九枚・旧足守札六十三枚・旧鴨方札九十枚・旧岡田藩札百十九枚・旧庭瀬札八十九枚・旧新見藩札百八枚・旧浅尾札九十三枚・旧成羽札百二十七枚・旧旗下妹尾札百二十三枚・旧旗下撫川札 合二十壹円八十錢七厘 第十五大区窪屋郡倉敷村塩飽徳三郎→倉敷出張小田県出納課	罫紙 朱筆で訂正あり
23-82	記(旧藩札引換願)	明治8年9月12日	半・竪	仮1冊	旧倉敷県錢札貳百三拾六枚・旧松山藩札千三百拾七枚他11筆 合式拾六円四拾五錢九厘 窪屋郡倉敷村内藤仲二→小田県出納課出張中	罫紙 朱筆で訂正あり
23-83	記(旧藩札引換願)	明治8年9月	半・竪	仮1冊	旧高梁藩札六百五拾八枚・旧岡田藩札三拾七枚他7筆 合七円七拾八錢四厘 倉敷村大高熊造→倉敷出張出納課	罫紙 朱筆で訂正あり
23-84	記(旧藩札引換願)	明治8年9月9日	半・竪	仮1冊	旧福山藩札千五拾五枚・旧足守藩札千五百五拾六枚他9筆 合金八拾七円九拾六錢五厘 第十五大区窪屋郡小七区倉敷村渡辺東三郎→倉敷出張小田県出納課	罫紙 朱筆で訂正あり
23-85	記(旧藩札引換願)	明治8年9月13日	半・竪	仮1冊	旧倉敷県札貳拾枚・旧松山藩札貳百九拾八枚・旧新見藩札三十四枚・旧成羽藩札廿八枚・旧浅尾藩札四拾枚・旧足守藩札十九枚・旧福山藩札十四枚・旧鴨方藩札三十枚・旧岡田藩札拾壹枚・旧庭瀬藩札十五枚・旧撫川旗下札・旧妹尾旗下札十四枚 惣計四円七拾貳錢三厘 第十五大区窪屋郡倉敷村中藤常吉→倉敷出張小田県出納課	朱筆で訂正あり
23-86	[旧藩札引換願]			1綴(仮4冊)		23-86-1~4紙縫りで綴られている 綴り紐が切れている為SILティッシュで包む
23-86-1	記(旧藩札引換願)	明治8年9月15日	半・竪	仮1冊	旧新見藩拾四枚・旧庭瀬藩八枚・旧岡田藩五枚他9筆 合五円四錢五厘 第十五大区窪屋郡小三区福井村小河原多賀蔵→倉敷出張小田県出納課	罫紙 朱筆で訂正あり
23-86-2	記(旧藩札引換願)	年月日未詳	半・竪	仮1冊	旧福山藩札拾四枚・旧倉敷県札八枚・旧高梁藩札四枚他8筆 合三拾六錢四厘 窪屋郡大区小拾九区古地村吉沢作重→倉敷出張出納課	罫紙 朱筆で訂正あり

23-86-3	記(旧藩札引換願)	明治8年9月15日	半・竪	仮1冊	旧高梁藩百壹枚・旧浅尾藩札九枚・旧福山藩札貳枚他7筆 合 壹円六拾壹錢壹厘 第十五大区窪屋郡小七区倉敷村佐々木広 蔵→倉敷出張小田県出納課	罫紙 朱筆で訂正あり
23-86-4	記(旧藩札引換願)	明治8年9月14日	半・竪	仮1冊	旧高梁藩札百九拾六枚・旧倉敷県札拾六枚・旧成羽藩札拾四 枚他9筆 〆貳円九拾四錢四厘 第十五大区窪屋郡小十九区古地 村友杉藤市→倉敷出張小田県出納課	罫紙 朱筆で訂正あり
23-87	記(旧藩札引換願)	明治8年9月	半・竪	仮1冊	旧福山札・旧庭せ札・旧高梁札他6筆 〆三拾六錢八厘 第拾五 大区小七区窪屋郡倉敷村山亀十郎→倉敷出張小田県出納 課	罫紙 朱筆
23-88	記(旧藩札引換願)	明治8年9月13日	半・竪	仮1冊	高梁藩・鴨方銀札他6筆 〆七円四拾五錢五厘 倉子城村岡和 三郎→倉敷出張小田県出納課	朱筆で訂正あり
23-89	記(旧藩札引換願)	明治8年9月18日	半・竪	仮1冊	旧福山藩札六拾五枚・旧高梁藩札四百六枚他10筆 合八円五 拾五錢貳厘 窪屋郡倉敷村高原伊吉→倉敷出張小田県出納課	朱印で訂正あり
23-90	白紙	年月日未詳	竪紙	1枚		罫紙
23-91	[旧藩札引換願]			1綴(仮2冊)		23-91-1~2一綴 綴り紐が切れている為SILティッシュで包む
23-91-1	記(旧藩札引換願)	明治8年9月14日	半・竪	仮1冊	旧福山藩札七拾枚・旧高梁藩札四百拾六枚・旧岡田藩札拾五 枚・旧成羽藩札四拾四枚・旧新見藩札四拾壹枚・足守藩札四拾 貳枚・旧鴨方藩札廿枚・旧浅尾藩札四拾六枚・旧庭瀬藩札五拾 六枚・旧撫川札八枚・旧妹尾札九枚・旧倉敷県札三拾五枚 第 十五大区小七区窪屋郡倉敷村高原伊吉→倉敷出張小田県出 納課	
23-91-2	[旧藩札引換願]	亥年9月14日	半・竪	仮1冊	一旧新見藩札 壹匁札貳枚 三分札三枚 貳分札壹枚 一旧浅 尾藩札 壹匁札貳枚 五分札三枚他3筆 窪屋郡洪江村林覚平 →倉敷出張出納課	第十五大区窪屋郡用箋(罫紙)
23-92	記(旧藩札枚数及び新貨書上)	年月日未詳	竪紙	1通	旧福山藩札廿枚他3筆	罫紙 第十五大区窪屋郡用箋
23-93	記(旧藩札引替願)	明治8年9月	竪紙	1通	旧高梁札 銀壹匁十六枚 新貨拾六錢七厘 片岡春吉→小田 県出納課	罫紙 朱筆で訂正あり
23-94	記(旧藩札引換願)	年月日未詳	竪紙	1通	旧福山藩札・旧倉敷県札他3筆 合四拾貳錢三厘 倉敷村木 村理吉→倉敷出張出納課	
23-95	[旧藩札引換願]			1綴(仮13冊)		23-95-1~13まで紙綴りで一綴にしてある 一綴の為SILティッシュで包む
23-95-1	記(旧藩札引換願)	明治8年9月	半・竪	仮1冊	旧福山藩札拾壹・旧高梁藩札三百九拾七枚他10筆 合九百拾 貳枚 合計七円貳拾壹錢三厘 第十四区都宇郡小廿二区下撫 川村太田龍治→倉敷出張小田県出納課	罫紙 朱筆で訂正あり
23-95-2	記(旧藩札引換願)	明治8年9月12日	半・竪	仮1冊	旧高梁藩札三百五十枚・旧成羽藩札五十五枚他10筆 合計六 百十枚 合計金五円六拾壹錢 第十四区都宇郡小廿貳区下撫 川村山口貞造→倉敷出張小田県出納課	罫紙 朱筆で訂正あり
23-95-3	記(旧藩札引換願)	明治8年9月12日	半・竪	仮1冊	旧高梁藩札三百九拾七枚・旧成羽藩札四拾九枚他10筆 枚数 〆七百拾枚 合金六円四拾壹錢貳厘 第十七大区浅口郡小三 十六区西之浦村谷野鶴次郎→倉敷出張小田県出納課	罫紙 朱筆で訂正あり
23-95-4	記(旧藩札引換願)	明治8年9月8日	半・竪	仮1冊	旧高梁藩札百八拾壹枚・旧倉敷県札貳拾六枚他8筆 合貳百八 拾六枚 合金貳円四拾九錢九厘 第十四区都宇郡帯江新田村 石井逸三→倉敷出張小田県出納課	罫紙 朱筆で訂正あり
23-95-5	記(旧藩札引換願)	明治8年9月13日	半・竪	仮1冊	旧福山藩札十四枚・旧高梁藩札三百五十五枚他10筆 合計六 百八拾五枚 〆六円四拾七錢五厘 第十五大区小峯区中島 村藤田常次郎→倉敷出張出納課	第十五大区窪屋郡用箋(罫紙) 朱筆で訂正あり
23-95-6	記(旧藩札引換願)	明治8年9月13日	半・竪	仮1冊	旧高梁藩札四拾七枚・旧福山藩札四枚他5筆 合計七拾三枚 合金七拾三錢五厘 第十四大区都宇郡小三区帯江新田村石井 逸三→倉敷出張小田県出納課	罫紙 朱筆で訂正あり
23-95-7	記(旧藩札引換願)	(明治8年カ)	半・竪	仮1冊	倉敷旧県札三拾四枚・浅尾旧藩札拾壹枚他9筆 合計貳百五枚 貳円三十六錢七厘 第拾五大区窪屋郡小七区倉敷村平松藤三 郎→倉敷出張出納課	朱筆で訂正あり
23-95-8	記(旧藩札引換願)	明治8年9月8日	半・竪	仮1冊	旧高梁藩札三百卅七枚・旧福山藩札七拾壹枚他10筆 合計九 百七拾四枚 拾円廿八錢三厘 第十六大区小拾四区下道郡秦 下村河西金平→倉子城出張出納課	罫紙(一部第十六大区下道郡用箋) 朱筆で訂正あり
23-95-9	記(旧藩札引換願)	明治8年9月8日	半・竪	仮1冊	旧福山藩札三拾枚・旧高梁藩札貳百五拾六枚他10筆 合計八 百三拾六枚 七円七拾五錢三厘 第拾七大区小廿四区浅口郡 阿賀崎村荒木文平→倉敷出張小田県出納課	朱筆で訂正あり
23-95-10	記(旧藩札引換願)	明治8年9月13日	竪紙	1通	旧福山藩札三百六拾六枚他2筆 合計千七百六拾六枚 廿五円 九拾七錢六厘 第十五大区窪屋郡小七区倉敷佐々木広蔵→倉 敷出張小田県出納課	罫紙
23-95-11	記(旧藩札引換願)	明治8年9月	半・竪	仮1冊	旧高梁藩札六拾七枚・旧新見藩札七枚・旧成羽藩札拾貳枚他7 筆 合計百四拾九枚 壹円八拾錢壹厘 第拾五大区窪屋郡倉 敷村森芳二→倉敷出張出納課	第十五大区窪屋郡用箋(罫紙) 朱筆で訂正あり

23-95-12	記(旧藩札引換願)	明治8年9月13日	半・縦	仮1冊	旧高梁藩札百四拾枚・旧成羽藩札貳拾貳枚他10筆 合計三百廿壹枚 貳円八拾貳錢五厘 第三十七区壹番小区児島郡福田古新田村前田鹿松→倉敷出張小田県出納課	罫紙 朱筆で訂正あり
23-95-13	記(旧藩札引換願)	明治8年9月13日	半・縦	仮1冊	旧倉敷県札三拾八枚・旧新見藩札拾八枚他9筆 合計五百廿枚 四円五拾錢八厘 第37区壹番小区児島郡福田古新田梶田岩太→倉敷出張小田県出納課	罫紙 朱筆で訂正あり
23-96	[旧藩札書上]	年未詳9月13日	半・縦	仮1冊	旧高梁藩札・旧福山藩札他10筆 合計八千四百四拾八枚 八拾五円五拾六錢八厘	罫紙 朱筆
23-97	記(旧藩札引換願)	明治8年9月11日	半・縦	仮1冊	旧高梁藩札三百壹枚・旧庭瀬藩札四拾三枚他10筆 合金六円九拾三錢 浅口郡西阿知村事務取扱所→倉敷出張出納課	罫紙 第十七大区浅口郡用箋
23-98	誌(旧藩札引換願)	明治8年9月11日	半・縦	仮1冊	旧松山藩札貳百九拾六枚・旧新見藩札五拾五枚他10筆 合金五円八拾七錢貳厘 第拾七大区小三拾三区浅口郡西阿知村事務取扱所→倉敷出張出納課	第十七大区浅口郡用箋(罫紙)
23-99	記(旧藩札引換願)	明治8年9月12日	半・縦	仮1冊	旧高梁藩札三百九拾九枚・旧成羽藩札五拾枚他10筆 西之浦村谷野鶴次郎→倉敷出張小田県出納課	罫紙
23-100	記(旧藩札引換願)	年月日未詳	半・縦	仮1冊	旧高梁藩札百八拾六枚・旧倉敷県札貳拾七枚札他8筆 帯江新田村石井逸三→倉敷出張小田県出納課	罫紙
23-101	記(旧藩札引換願)	明治8年9月	半・縦	仮1冊	旧福山藩札拾壹枚・旧高梁藩札三百九拾五枚他11筆 合計九百拾四枚 七円貳拾六錢三厘 第十四区都宇郡小廿二区下撫川村太田龍治→倉敷出張小田県出納課	罫紙
23-102	[旧藩札引換願]	年未詳9月2日	半・縦	仮1冊	旧成羽藩札七拾七枚・旧庭瀬藩札五拾七枚他7筆 合計千八拾壹枚 拾八円貳拾三錢九厘 第十五大区窪屋郡小七区倉敷村佐々木広蔵→倉敷出張小田県出納課	前欠と思われる 紙縫りが外れたのでSILティッシュで包む
23-103	記(旧藩札引換願)	明治8年9月23日	半・縦	仮1冊	旧福山藩札七拾三枚・旧足守藩札千九百三拾四枚他10筆 合計八千七百六拾八枚 七拾壹円廿六錢三厘 倉敷村吉澤熊吉→倉敷出張小田県出納課	朱筆で訂正あり
23-104	誌(旧藩札書上)	明治8年9月11日	半・縦	仮1冊	旧高梁藩札三百壹枚・旧庭瀬藩札四拾三枚他10筆 合計六円九十三錢 「第拾七大区小三拾三区」以下後欠に付引換願人の氏名不詳	罫紙 後欠 第十七大区浅口郡用箋
23-105	記(旧藩札引換願)	明治8年9月	半・縦	仮1冊	旧浅尾藩札二十枚・旧高梁藩札拾六枚他7筆 合金貳円八十四錢壹厘 窪屋郡倉敷村毛利富之→倉敷出張小田県出納課	罫紙
23-106	誌(旧藩札引換願)	(明治)8年9月12日	半・縦	仮1冊	旧福山藩札拾九枚・旧足守藩札六拾九枚他12筆 合四百四拾五枚 三円七拾九錢三厘 第拾五大区窪屋郡小六区洪江村井唯治→倉敷出張出納課	第十五大区窪屋郡用箋(罫紙)
23-107	記(旧藩札引換願)	明治8年9月7日	半・縦	仮1冊	旧高梁藩札二千三百貳拾八枚・旧福山藩札百八拾五枚他10筆 合計四千七百七拾枚 四拾貳円八拾三錢 倉敷村赤沢竹蔵→小田県出納課	朱筆で訂正あり
23-108	昭和八年五月調製 所有土地台帳 倉敷市倉敷東大橋家	昭和8年5月	27.2 × 21.2	1冊	倉敷市大字倉敷数字日吉庄境貳壹番 田壹反六畝拾七歩他、田・畑・宅地98筆 所有地周辺の見取り図もあり	洋紙台帳 9丁に挟み込みも文書あり 封筒入りで土地払下による移転登記についての文書と土地払下代金の領収書の2点在中
23-109	覚(代金受取証)	辰年11月	横継紙	1通	宴会代金受取 時前屋→藤屋	(上書)「藤屋様 御客様 時前屋」
23-110	献立	年月日未詳	横切紙	1通		
23-111	献立	年未詳4月26日	横継紙	1通		
23-112	[測量略図]	年月日未詳	縦紙	1枚		虫損の為SILティッシュで包む
23-113	[土地面積・高・物成書付]			1纏め(2纏め)		23-113-1~2まで重ねてニツ折にして一纏め
23-113-1	[土地面積・高・租税米書上]	壬申年11月	半・縦	1纏め(5丁)	持主倉敷村大橋秀太郎→戸長	罫紙 前欠 綴り紐が切れている為SILティッシュで包む
23-113-2	[土地面積・高・物成書付]	年月日未詳	半・縦	1纏め(2丁)	持主倉敷大橋源介 下々畑壹畝廿四歩 高壹斗八合などの記載あり	綴り紐が切れている為SILティッシュで包む
23-114	[書付・書状類]			1纏め(仮1冊7通)		23-114-1~8一纏め 23-114-1に23-114-2~8までが挟まれてニツ折にされている
23-114-1	[田畑反当たり地価算定書付]	年月日未詳	半・横長	仮1冊	野崎武吉郎他23名の氏名書付あり	
23-114-2	[見面壹反に付代金書付]	年月日未詳	横切紙	1通	上中下に分けて記す	
23-114-3	記(当て米屋書雛形)	年月日未詳	横切紙	1通	松江副戸長北岡文吾宛となっている	
23-114-4	[大橋宛松江庄作書状]	年未詳2月3日	横切紙	1通	地券代価書出し甚だ「指急」のこと	(上書)「大橋様 松江庄屋 尊下安」
23-114-5	地券目的	年月日未詳	横継紙	1通	高懸り平均米貳斗目的のこと 昨日福田般若寺二而区内集会二而上々田壹反二付三拾七八両又八四拾両位	
23-114-6	[田一反二付地価金算定書]	年月日未詳	横継紙	1通	下田・上田・下々田別に記載	
23-114-7	記(当て米書付雛形)	年月日未詳	横切紙	1通		
23-114-8	[当米届書付雛形]	明治6年1月	横継紙	1通	松江副戸長北岡文吾宛 上田・中田・下田・下々田・下畑別に記載	
23-115	[反故巻紙]	年月日未詳	横継紙	1通	人名書上・衣類書上・口上・大橋源介宛北屋五兵衛書状・扶持方についての書上・大嶋宛源介書状・中嶋屋源介宛山内官左衛門書状その他、大橋源介宛書状や覚、口上など多数	23丁を貼り合わせて卷子にしている
23-116	[反故巻紙]	年月日未詳	横継紙	1通	質物台帳を半裁し裏面を再利用して、質入代銀差引勘定書上巳年・午年・未年、6月17日~8月25日の記載あり	帳面をはずして貼り合わせて巻紙にしてある 丁数多数 継目外れ2箇所あり
23-117	[反故巻紙]	年月日未詳	横継紙	1通	片山米吉書状・大橋源介宛渡辺養順書状・大橋源介宛高山新右衛門書状・大橋源介宛原口寿介書状など大橋源介宛書状多数 金銀貸借、品物への御礼、近況報告などの私信多数	書状を貼り合わせて卷子にしてある

24-1	明治口貳年七月吉祥 町通	(明治22)年7月～ (明治23)年8月6日	美・横列	1冊		(裏表紙)「東大橋」
24-2	明治廿三年七月一日初メ 金受取通	明治23年7月～26 年6月28日	美・横列	1冊		(裏表紙)「東大橋」
24-3	明治廿貳年七月吉祥日 金受取通	明治22年7月吉祥 日～23年6月	美・横列	1冊		(裏表紙)「東大橋」
24-4	明治拾九年一月十二日以降 荷物送帳 倉敷阿知町 東大橋様	明治19年1月10日 ～20年2月11日	半・横列	1冊		
24-5	明治十八年九月 請取帳	明治18年9月1日～ 19年8月	美・横列	1冊		(裏表紙)「大橋秀太郎」
24-6	戊明治廿壹年子七月ヨリ 金銭受取帳	明治21年7月～22 年6月	美・横列	1冊		(裏表紙)「東大橋」
24-7	明治廿壹年壹月吉日 町通	明治21年1月1日～ 22年6月	美・横列	1冊		(裏表紙)「大橋」
24-8	[高之宛敏夫書状]	年未詳9月4日	横継紙	1通	退院の知らせ、お見舞の御礼、粗品を送ったということ	継ぎ目がはがれている為SILティッシュで包む
24-9	亥御年貢米受取之事 鶴新田庄屋三宅直吉 後見源 藏	天保10年12月15日	横切紙	1通		裏が「亀次郎凍瘡見舞」に使われている
24-10	[大橋高之宛大橋五郎書状]	年未詳10月4日	横継紙	1通	上野に於て行業の美術などへの案内 三島翁への揮毫依頼の 件について	
24-11	明治十六年癸未口月吉日 日記	明治16年	美・横列	1冊		(小口書)「明治十六癸未年」(裏表紙)「大福入 大橋秀太郎」
24-12	自明治廿四年 至 町通	明治24年8月～27 年12月晦日	美・横列	1冊		(裏表紙)「東大橋」
24-13	[習字用下敷]	年月日未詳	縦継紙	1枚		紙面に柘目が書かれている
24-14	[白紙]	年月日未詳	35.5×48.5	1纏め(2枚)		
24-15	[白紙]	年月日未詳	31.7×110.0	1纏め(7枚)		
24-16	キ(12月7日玉島行き入用書付)	年未詳12月7日	横切紙	1通	赤澤 汽車代二十二銭他 朝食、昼食代など	
24-17	[水墨画]	己丑年晩春	135.0×42.5	1枚		秋雪の賛あり
24-18	[印刷絵画]	年月日未詳		1纏め(2枚)		24-18-1～2一纏め
24-18-1	駿州田子の浦之真景	明治21年6月13日 印刷	37.0×49.0	1枚	印刷人小島幸作	活版
24-18-2	京都嵐山三軒家之面	明治21年11月6日 印刷	37.0×49.0	1枚	井村真太郎画	活版
24-19	困碁見立鏡	明治24年1月	36.5×57.0	1通		
24-20	明治十五年壬午十月吉祥日 日記	明治15年10月	美・横列	1冊		(小口書)「明治十五壬午年」(裏表紙)「大福入 大橋秀太郎」
24-21	天保九戊戌二月廿三日 律賢童子葬式覚	天保9年2月23日	半・横長	1冊	律賢童子は大橋金平重尚の嫡子 天保四年十一月十六日出生 天保九年二月廿三日卒	
24-22	[往来]	年月日未詳	半・縦	1冊	「凡商売持扱文字員数取遣之日記証文注文請取質入…」	
24-23	楽志論	延享3年7月	27.0×19.0	1冊	烏石山人楷書	
24-24	大橋三蹟集	文政8年2月中旬	31.0×21.0	1冊	大橋重政先生 大橋重雅先生 西村重幸先生 江都 花屋久次 郎板	
24-25	奥御祐筆口屋代[ ]	年月日未詳	折本 30.5 ×7.5	1冊		
24-26	摩島松南先生月勝王閣序 乾	年月日未詳	折本 30.0 ×11.0	1冊		
24-27	摩嶋松南先生月勝王閣序 坤	年月日未詳	折本 31.0 ×11.5	1冊		
24-28	[法帖]	年月日未詳	折本 34.5 ×8.0	1冊		
24-29	加藤迪山書	年月日未詳	折本 35.0 ×8.0	1冊		
24-30	[法帖]	年月日未詳	折本 18.5 ×6.0	1冊		
24-31	文化改正 新增細見京絵図 全	文化10年正月	69.0×50.0	1冊	文化8年辛未2月御免 京三条通麩屋町西北角 女叢堂竹原好 兵衛板元	木版 表紙付
24-32	広益 問答新聞 第九十五号	明治10年1月16日	18.0×12.0	1冊		活版
24-33	広益 問答新聞 第一百号	明治10年2月3日	18.0×12.0	1冊		活版
24-34	大阪文昭堂書籍出版方法書	明治16年3月	18.5×12.0	8丁		活版 綴じ紐が切れている為SILティッシュで包む
24-35	[名刺]	年月日未詳	8.8×4.8	1枚	植田年	
24-36	広益 問答新聞 第九十六号	明治10年1月19日	18.0×12.0	1冊		活版
24-37	広益 問答新聞 第九十七号	明治10年1月22日	18.0×12.0	1冊		活版
24-38	広益 問答新聞 第九十四号	明治10年1月13日	18.0×12.0	1冊		活版
24-39	中外評論 第十五号	明治9年9月	18.0×12.0	1冊		活版
24-40	名譽新誌 第三十三号	明治10年3月13日	18.5×12.5	1冊		活版
24-41	広益 問答新聞	年月日未詳	18.0×12.0	9丁		活版 綴じ紐が切れている為SILティッシュで包む 前欠・後欠

24-42	広益 問答新聞 第九十八号	明治10年1月25日	18.0×12.0	1冊		活版
24-43	広益 問答新聞 第九十九号	明治10年1月28日	18.0×12.0	1冊		活版
24-44	明治十四年辛巳正月吉日 日記	明治14年正月	美・横列	1冊		(小口書)「明治十四辛巳年」(裏表紙)「大福入 [ ]太郎」 (表紙張紙)「記入方趣意ニ付検査官江必ズ出スヘカラス 念ノ為メ 記し置候事」
24-45	明治二十年丁亥七月吉日 金銭受取	明治20年7月	美・横列	1冊		包紙あり(包紙上書)「名越御うもし様 御祝申之 早瀬松より」
24-46	[名越うもし宛早瀬松書状]	年月日未詳	横折紙	1通	平産御祝 産品進上	包紙に転用している (上書)「函甫猿廻し横物」
24-47	時事新報	明治20年3月8日	50.8×39.1	1通		(袋上書)「備中窪屋郡倉敷村東大橋二而 名越為吉殿 福山近藤 一次 近藤氏抱」
24-48	袋	年月日未詳	22.5×15.0	1枚		
24-49	[諸書付類一括]			1袋(2袋1冊1 包6纏め2枚50 通)		24-49-1~62一袋 (袋表書)「明治十二年四月廿日 居間掛硯之掛 子并引出し二有之候諸書付類 悉皆在裡」
24-49-1	覚(銀札の高人別書付)	年月日未詳	横継紙	1通		
24-49-2	[預米高書上]			1纏め(2通)		24-49-2-1~2一纏め 24-49-2-2は24-49-2-1の挟み込み文書
24-49-2-1	[預米高書上]	年月日未詳	横切紙	1通		
24-49-2-2	[公畝預米書上]	年月日未詳	横継紙	1通		
24-49-3	[大橋良介宛精一書状]	年未詳正月7日	横継紙	1通	新年の挨拶 旧秋厄介をかけた礼	包紙あり(包紙上書)「倉子城大橋良介様 精一 参人々御中」(包 紙裏書)「自讃州高松」
24-49-4	[内室書上]	年月日未詳	横継紙	1通	(書出)三宅定太郎内室玉嶋新町三宅安八郎姉(末尾)其次備 後福山片山吉兵衛内室	
24-49-5	[中嶋屋源介名札]	年月日未詳	横切紙	1包(20通)	「中嶋屋源介」(11枚)「倉敷村年寄源助(介)」(8枚)「源助」 (1枚)	包紙あり(包紙上書)「東 中」
24-49-6	[反物代金覚]			1纏め(2通)		24-49-6-1~2までが紙に巻かれている 巻紙は大橋衛之丞宛書状 の包紙を転用
24-49-6-1	覚(反物代金請求書)	未年12月30日	横継紙	1通	百八拾八匁三分の請求 岡山吉田屋喜介→倉敷西大橋	
24-49-6-2	覚(反物代金受取)	(未)年12月28日	横継紙	1通	百八拾三匁三步の受取 吉田屋喜介→備中倉敷大橋	
24-49-7	春日訪反人山荘	年月日未詳	横切紙	1通	五言絶句の漢詩	
24-49-8	沸騰散	年月日未詳	12.8×9.1	1袋	薬が2包在中	(袋上書)「沸騰散」
24-49-9	灸之図	年月日未詳	横切紙	1通	灸、まじないの効能	
24-49-10	証(診察料他受取)	年未詳5月11日	横継紙	1通	竹中庄吉→大橋良介	
24-49-11	覚(新見講合落札割賦控)	丑年3月21日	横切紙	1通		
24-49-12	[書付]			1纏め(4通)		24-49-12-1に24-49-12-2~4まで挟まれて一纏め
24-49-12-1	覚(祝儀人別書付)	年月日未詳	横折紙	1通		
24-49-12-2	[試し書き]	年月日未詳	縦紙	1通	数字や単位の試し書き	
24-49-12-3	大森進物扣	年月日未詳	横切紙	1通	大森氏への贈り物の覚書	
24-49-12-4	痛風妙薬	年月日未詳	横継紙	1通	痛風に効く山シャクヤクの服用方法	
24-49-13	[安政六己未歳運勢書]	安政6年	横折紙	1通		
24-49-14	[北・伯父宛良介書状]	年未詳4月2日	横継紙	1通	昨晚到着の報知と留守中を宜敷頼むとの依頼	
24-49-15	[材木段取書付]	年月日未詳	横継紙	1通		
24-49-16	[天保六年曆]	天保6年	35.5×6.0	1通	正月~十二月の大小、朔日の甲支、節氣を記す 齊政館都講鈴 木図書世孝題	木版刷
24-49-17	[氏名書上]	年月日未詳	横折紙	1通(2枚)		墨ですべての名前が抹消されている 良介宛増次郎書状を転用して いる 元は横継紙
24-49-18	[御厨子・棚・台寸法書付]	年月日未詳	縦切紙	1通		図入り 前欠
24-49-19	[大橋宛常太郎書状]	年未詳7月3日	横継紙	1通	贈呈品添状	(上書)「大橋老君 常太郎 玉机下」
24-49-20	[十二律書付]	年月日未詳	横切紙	1通		
24-49-21	廿四日献立	年月日未詳	横継紙	1通		
24-49-22	覚(丸薬製法書付)	年月日未詳	横切紙	1通		
24-49-23	記(旧十月朔日吉辰の段取書付)	年月日未詳	横継紙	1通		
24-49-24	[書状他]			1纏め(2通)		24-49-24-1~2一纏め 24-49-24-1に24-49-24-2が巻き込まれて いる
24-49-24-1	連名	年月日未詳	横継紙	1通	屋号・氏名34人分書付	
24-49-24-2	[大橋良助宛勇兵衛書状]	年未詳5月朔日	横継紙	1通	昨日の初穂について如何したらよいかなど	(上書)「大橋良助様北二而勇兵衛 貴下内意用事」
24-49-25	禁灸日并食合之事	年月日未詳	横継紙	1通	御免長崎東濱町灸点所再弘福壽院	
24-49-26	[鏡餅・餅数量書上]	年月日未詳	横継紙	1通		
24-49-27	[氏名書上]	年月日未詳	横切紙	1通	倉次・仲蔵他7人	
24-49-28	口上(熨斗・志たみ借用願)	年月日未詳	横切紙	1通		
24-49-29	[内用書付]	年月日未詳	横継紙	1通	「夏目様 五千疋 御新造江羽二重壱端」など 文中に「病躰も 追々御快方の由」との文言あり	
24-49-30	[地積勘定覚]	年月日未詳	横継紙	1通	はじめの部分に「貳町九反五畝貳拾六歩」とある	
24-49-31	[大橋良介宛大岡喜源太書状]	年未詳5月18日	横継紙	1通	竹中氏一昨十六日乗船にて帰京 薬は真島屋方へ出し置いこと 酒一樽贈与の礼	
24-49-32	己亥正月より 別段用向控	己亥年正月元日~ 2月29日	美・横半折	1冊	別段雑費控	
24-49-33	記(代金書付)	卯年1月11日	横切紙	1通	三山屋徳三→東大橋	



24-49-34	[中嶋屋源助宛井上よし書状]	年未詳11月18日	横継紙	1通	江戸神田より 女ろう屋吉原へ引いたこと 白米安値のことなど	包紙あり(包紙上書)「中嶋屋源助様 江戸神田山本[ ]井上より用事 十一月十八日認み」
24-49-35	[大橋徳蔵宛井上類吉書状]	年未詳10月18日	横継紙	1通	養子に入ることについて取り計らいや段取を依頼する	封筒あり(封筒表書)「備中国窪屋郡倉敷村大橋徳蔵様 大至急」(封筒裏書)「備中小田郡矢掛ニテ片山類吉 十月十八日発ス」
24-49-36	[畑主人別地価引合せ]	年月日未詳	横継紙	1通		
24-49-37	[代銀勘定請取状]	年未詳7月7日	横切紙	1通	(書出)一.金百疋 き物料 一.〃百疋 わきさし料 一.〃五十疋 もめん料 他代銀勘定書 (奥筆)「七月七日渡ス」	
24-49-38	覚(材木代銀書付)	年未詳6月24日	横切紙	1通	新屋佐平二→東大橋	
24-49-39	[名前書上]	年月日未詳	横切紙	1通	直吉他13名の名前書上	
24-49-40	[義倉集会所案内]	丑年6月	横切紙	1通	来ル十日日本栄寺に於て集会のこと 義倉会所→各位	
24-49-41	[屋号氏名書上]	年月日未詳	横切紙	1通		
24-49-42	[中嶋屋金平宛内山新兵衛書状]	年未詳6月6日	横継紙	1通	洪水の見舞及び白米少々送付のこと	包紙あり(包紙上書)「中嶋屋金平様 庭瀬内山新兵衛」
24-49-43	[吉凶占い書付]	弘化4年	横継紙	1通		
24-49-44	[東大橋割当地書上]	年月日未詳	横継紙	1通	(書出)ホニばん ツ四ばん他	
24-49-45	[大橋金平宛内山新兵衛書状]	年未詳12月13日	横継紙	1通	靱料御入用につき銀札を拝借なされたい件については今年ハ米穀綿その他出入多く所々よりの拝借願いにより銀札不自由につきお断り申上げる	
24-49-46	[大橋金平宛間野権蔵他2名書状]	年未詳8月2日	横継紙	1通	旦那初めて面会につき日時・場所の打合せ	
24-49-47	証(新旧銭価換算書上)	年月日未詳	横継紙	1通	新貨1円に付 金 銭札壹貫文 百文札 貳拾文札 天保銭 寛永四文銭 文久四文銭 銅銭の枚数書付	
24-49-48	[大橋源助宛大和屋小兵衛書状]			1纏め(2通)		24-49-48-1~2一袋 (封筒表書)「倉敷大橋源助様 貴下 大和屋小兵衛」
24-49-48-1	[大橋源助宛大和屋小兵衛書状]	年未詳8月18日	横継紙	1通	浅原五一兵衛様今般出府の件について 大和屋小兵衛→大橋源助・喜久太・金平	
24-49-48-2	[享保・寛政之度々町々触渡写]	年未詳10月12日	横継紙	1通		
24-49-49	覚(代銀請求書)	年未詳6月25日	横切紙	1通	新屋左平二→東大橋	
24-49-50	連名	年月日未詳	横折紙	1通	惣介・仲蔵他17名の氏名書上	
24-49-51	御請(銀札壹封金壹封領収のこと)	丑年7月12日	横継紙	1通	地藏院→大橋執事	
24-49-52	[献立書上]	年月日未詳	横継紙	1通	(冒頭)翌日朝 火鉢 たばこほん せんし茶 菓子 御茶漬 四五人前 (末尾)拾貳三人前	
24-49-53	覚(糸類調査)	年月日未詳	横継紙	1通	西大寺掛之町 浅越屋平四郎娘 年十七才他	
24-49-54	[仙積散引札]	年月日未詳	横切紙	1通		
24-49-55	連名	年月日未詳	横切紙	1通	大坂屋源介他14名	
24-49-56	閏月廿九日金毘羅様御祈禱連中	年月未詳29日	横折紙	1通	弥吉・久兵衛等25名の氏名書上	
24-49-57	[婚礼に付人足差出状]	年月日未詳	横切紙	1通	人足十六人 才料とも 他に里付壱人 下女貳人	
24-49-58	[書付と書状]			1纏め(2通)		24-49-58-1に24-49-58-2が巻き込まれて一纏め
24-49-58-1	蘭方火縄木入之伝	年月日未詳	横切紙	1通	火縄の製法について	
24-49-58-2	[大橋良介宛三嶋治衛門書状]	年未詳10月13日	横継紙	1通	葉進上について	(上書)「大橋良介様 貴下 三嶋治衛門」
24-49-59	安政四丁巳年略歴	安政4年	16.2×18.4	1枚	節分・土用・入梅などの日付が地球の絵の上に書かれている	摺物
24-49-60	記(代金請取)	卯年2月29日	横切紙	1通	尾張綿代銀請取 熊野屋庄次郎→東大橋	
24-49-61	銀壹匁 備中早嶋畳表売買通用手形	宝暦壬申(12)年秋	16.6×3.8	1纏め(3枚)	銀札 引替会所 以此手形銀可相渡者也	木版刷
24-49-62	[台見取図]	年月日未詳	33.7×24.5	1枚		
24-50	明治十九年丙戌正月吉日 金銭受取帳	明治19年正月吉日	美・横列	1冊		(裏表紙)「東大橋」
24-51	明治十七年甲申口月口日 日記	明治17年	美・横列	1冊		(小口書付)「明治十七甲申年」(裏表紙)「大福入 大橋秀太郎」
24-52	広益 問答新聞 第百号	明治10年1月31日	18.0×12.0	1冊		活版
24-53	広益 問答新聞 第百五十五号	明治10年7月18日	18.0×12.0	1冊		活版
24-54	東雲新聞附録 第百十三号	明治21年6月2日	18.0×24.0	1枚		
24-55	広益 問答新聞 第百四十九号	明治10年6月28日	18.0×12.0	1冊		活版 表紙がはずれているのでSILティッシュで包む
24-56	[大内田畑略図]	年月日未詳	横切紙	1枚	東大橋分6筆	
24-57	[名越宛江村松波書状]	年未詳5月1日	横切紙	1通	囲碁について	封筒あり(封筒上書)「名越殿閣下撰ニ相添」(封筒裏書)「五月一日 査検処江村拜」
24-58	明治十六年略本曆	明治15年	15.5×11.5	1冊	神宮司庁頒曆局	「備前岡山弘通所 石井安平衛」の朱印あり
24-59	明治16年略本曆	明治15年	15.5×11.5	1冊	神宮司庁頒曆局	「備前岡山弘通所 石井安平衛」の朱印あり
24-60	明治17年略本曆	明治16年	15.5×11.5	1冊	神宮司庁頒曆局	(朱書)「東大橋」
24-61	広益 問答新聞 第百五十七号	明治10年7月24日	18.0×12.0	1冊		
24-62	[通]	年月日未詳	美・横半折	仮1冊		表紙欠(裏表紙)「倉敷中嶋屋 西大寺屋殿」列帖綴であったものの前部が欠けたものカ
24-63	白紙	年月日未詳	半・横折	3枚		
24-64	明治十八年略本曆	明治17年	15.5×11.5	1冊	神宮司庁	
24-65	明治十九年略本曆	明治18年	16.0×11.0	1冊	神宮司庁	活版
24-66	明治二十年略本曆	明治19年	16.0×11.0	1冊	神宮司庁	活版
24-67	乍恐以書附御歎奉申上候	弘化3年9月	縦継紙	1通	鶴新田開発取掛り、来春まで御猶予の願ひ 開発人道平他8名→役所	(奥書)「請負人庄屋預り三宅直吉」
24-68	[通り手形]	丑年正月8日~	縦継紙	1通	倉敷村年寄月番大橋良介より備前番所役人中宛の通り手形他57通	58通を貼り継いで巻物状にしている

24-69	[通り手形]			1纏め(4通)		24-19-1~4までが重ねて折られていた
24-69-1	通り手形之事(備中倉敷戎町中屋慶助分)	丑年正月22日	堅継紙	1通	倉敷村年寄月番大橋良介→備前番所役人中	
24-69-2	通り手形之事(備中倉敷御崎小倉屋為吉)	丑年正月21日	堅継紙	1通	倉敷村年寄月番大橋良介→備前番所役人中	
24-69-3	通り手形之事(備中倉敷東町宝来屋吉十郎)	丑年正月	堅継紙	1通	倉敷村年寄月番大橋良介→備前番所役人中	
24-69-4	通り手形之事(備中倉敷浜田町池田屋光蔵)	丑年正月22日	堅紙	1通	倉敷村年寄月番大橋良介→備前番所役人中	
24-70	乍恐以書附御款申上候	弘化3年9月	堅継紙	1通	鶴新田開癸来春まで取掛について、しばし猶予願 開癸人道平他8名→役所	下書
24-71	乍恐以書付原上奉候	弘化3年9月	堅継紙	1通	鶴新田開癸来春まで取掛について、しばし猶予願	下書
24-72	[語義註書]	年月日未詳	横切紙	1通	官商角微羽・十二律・八音・蔡氏の語義について	
24-73	[画草]	年月日未詳	堅紙	1纏め(4枚)	花の水墨画	4枚重ねられて折られている 虫損
24-74	永々曆	明治20年3月28日		1通		時事新報を包紙に転用している 時事新報の劣化が激しい為括り紐ともSILティッシュで包む
24-75	東海経済新報	明治13年9月15日	25.0×17.0	1冊	東海社	活版
24-76	広益 問答新聞 第百廿三号	明治10年4月10日	18.0×12.0	1冊		活版
24-77	好事雑報 第十一号	明治11年10月31日	20.0×13.5	1冊		活版・表紙欠
24-78	大日本私立衛生会雑誌 第七号	明治16年12月20日	20.0×14.0	1冊		活版
24-79	学事申報 第四号	明治15年6月15日	19.0×14.0	1冊		活版
24-80	岡山県尋常師範学校規則	明治20年4月30日	21.0×14.0	1冊	発行所 山陽新聞社	活版
24-81	広益 問答新聞	明治10年2月12日	18.0×12.0	1冊		活版
24-82	明治廿一年略本曆	明治20年	16.0×11.5	1冊	神宮司庁	活版
24-83	明治廿一年略本曆	明治20年	16.0×11.5	1冊	神宮司庁	活版
24-84	明治廿三年略本曆	明治22年10月25日	15.5×11.5	1冊	神宮司庁	
24-85	明治廿四年略本曆	明治23年10月25日	16.0×11.5	1冊	神宮司庁	活版
24-86	萩は江都(画稿)	丙戌年	135.0×28.0	1枚	竹霞	
24-87	[白紙]	年月日未詳	横継紙	1枚		3枚にちぎれた
24-88	[白紙]	年月日未詳	堅継紙	1枚		
24-89	画草	年月日未詳	堅紙	1枚		虫損
24-90	熊沢先生三社託宣解	文化11年	87.0×31.5	1包(3枚)	備前国伊部天満宮祠官日幡主鈴記	包紙入り 刷本
24-91	画草	年月日未詳	絹布	1枚	峨山 牛が絹布に描かれている	虫損甚し サイズは劣化が激しく展開できず測ることができない
24-92	画草	年月日未詳	60.5×31.3	1枚		
24-93	広益 問答新聞 第百四十四号	明治10年6月13日	18.0×12.0	1冊		活版
24-94	広益 問答新聞 第百四十五号	明治10年6月16日	18.0×12.0	1冊		活版
24-95	広益 問答新聞 第百三号	明治10年2月9日	18.0×12.0	1冊		活版
24-96	[白紙]	年月日未詳		1枚		表・治の朱印あり
24-97	大日本私立衛生会雑誌 第三十号	明治18年11月28日	20.0×14.0	1冊		活版
24-98	広益 問答新聞 第百十四号	明治10年3月14日	18.0×12.0	1冊		活版
24-99	広益 問答新聞 第百十五号	明治10年3月17日	18.0×12.0	1冊		活版
24-100	学事申報 第2号	明治15年5月25日	19.0×13.5	1冊		活版
24-101	広益 問答新聞 第百十号	明治10年3月2日	18.0×12.0	1冊		活版
24-102	広益 問答新聞 第百九号	明治10年2月27日	18.0×12.0	1冊		活版
24-103	広益 問答新聞 第百六号	明治10年2月18日	18.0×12.0	1冊		活版
24-104	広益 問答新聞 第百七号	明治10年2月21日	18.0×12.0	1冊		活版
24-105	広益 問答新聞 第百八号	明治10年2月24日	18.0×12.0	1冊		活版
24-106	画草(水墨画)	年月日未詳	34.0×34.0	1枚		
24-107	広益 問答新聞 第百五号	明治10年2月15日	18.0×12.0	1冊		活版
24-108	東海経済新報 第一号 明治十三年八月二十一日	明治13年8月21日	24.5×17.5	1冊	発行 東海社	後欠
24-109	団々珍聞 第百五十九号	明治13年5月8日	24.0×17.0	1冊	発行 団団社	前欠
24-110	喜の音 第壹卷第六号 明治十五年八月一日	明治15年8月1日	22.0×15.5	1冊	編輯兼印刷人 三浦徹	
24-111	喜の音 第壹卷第七号 明治十五年九月一日	明治15年9月1日	22.0×15.5	1冊	編輯兼印刷人 三浦徹	
24-112	喜の音 第壹卷第五号 明治十五年七月一日	明治15年7月1日	22.0×15.5	1冊	編輯兼印刷人 三浦徹	
24-113	東海経済新報 第四号 明治十三年九月二十五日	明治13年10月15日	24.5×17.5	1冊	発行 東海社	
24-114	東海経済新報 第六号 明治十三年十月十五日	明治13年10月15日	24.5×17.5	1冊	発行 東海社	
24-115	好事雑報 第十三号	明治11年11月30日	20.0×13.5	1冊	発売所 備前国岡山山東中山下 弘文社	活版 中に帯封(上書)「御役所二而 大橋俊太郎様」が挟まれている
24-116	聖得朗波爾 葡萄酒 功能書	年月日未詳	21.0×13.5	1冊	発捌元 横浜本町通五拾七番館 西洋酒問屋 ワーケン兄弟	後欠
24-117	明治十八年五月廿四日山陽新報第壹千八百八号乙 附録	明治18年5月24日	20.0×14.5	1冊		活版 前欠
24-118	広益 問答新聞 第百十六号	明治10年3月20日	18.0×12.0	1冊		活版

24-119	広益 問答新聞 第二百十号	明治10年4月1日	18.0×12.0	1冊		活版
24-120	広益 問答新聞 第一百七号	明治10年3月23日	18.0×12.0	1冊		活版
24-121	広益 問答新聞 第二百十二号	明治10年4月7日	18.0×12.0	1冊		活版
24-122	広益 問答新聞 第百廿一号	明治10年4月4日	18.0×12.0	1冊		活版
24-123	稚児新聞 明治十四年四月十九日	明治14年4月19日	19.0×13.0	1冊	時習社発行	
24-124	好事雑報 第拾二号	明治11年11月18日	20.0×13.5	1冊		活版
24-125	好事雑報 第六号	明治11年8月31日	20.0×13.5	1冊		活版
24-126	[時習社の新聞]	年月日未詳	18.5×12.5	1冊		活版
24-127	稚児新聞 第三号	明治14年4月13日	18.6×13.5	1冊		活版
24-128	好事雑報 第三号	明治11年7月24日	20.0×13.5	1冊		活版
24-129	好事雑報 第壹号	明治11年6月23日	20.0×13.5	1冊		活版
24-130	好事雑報 第二号	明治11年7月10日	20.0×13.5	1冊		活版
24-131	好事雑報 第四号	明治11年7月31日	20.0×13.5	1冊		活版
24-132	広益 問答新聞 第百廿七号	明治10年4月22日	18.0×12.0	1冊		活版
24-133	学事申報 第三号	明治15年6月5日	19.0×13.5	1冊		活版
24-134	広益 問答新聞 第百四十三号	明治10年6月10日	18.0×12.0	1冊		活版
24-135	岡山県報 第四号 明治十九年十一月分	明治19年12月5日	21.5×14.0	1冊	発行 山陽新報社	
24-136	岡山県報 第四号 明治二十年四月分	明治20年5月5日	21.5×14.0	1冊	発行 山陽新報社	
24-137	[書状・書付類]			1括り(3冊6通6枚 仮1冊1袋3纏め6括り)		24-137-1~26が包紙で包まれ紐で括られている 包紙は反物包紙(上書)「大広黒地紫本寄糸新織」を転用
24-137-1	[孝経解説]	年月日未詳	半・縦	1冊	孝経の章ごとの解説	
24-137-2	[覚・反古類]			1纏め(2通)		24-137-2-1~2を一纏めに巻いてある
24-137-2-1	[覚・反古]	戌年1月~2月	横継紙	1通(5枚)	高田屋他より東大橋あて覚類5枚をひと巻に貼継	
24-137-2-2	[覚・反古]	酉(明治18)年12月~ 戌(明治19)年2月	横継紙	1通(55枚)	東大橋あて「記」「覚」の反古をひと巻に貼継 東京表より画工壱人・書家壱人「拙地」に「降居」に付き明後日集りを催すことの案内	
24-137-3	[梅園集い招待の某書状]	年月日未詳	横切紙	1通	無類三升の代金書付 宗津屋元次→東大橋	罫紙 宛名・差出人未詳
24-137-4	記	年未詳2月11日	横切紙	1通	小学教則之改正について	印刷 後欠
24-137-5	七情雑誌第一号 社説	年月日未詳	18.5×25.0	1通		
24-137-6	[塩浜開発関係書類]			1纏め(1袋1通)		24-137-6-1~2一纏め 24-137-6-1に22-137-6-2が挟まれている
24-137-6-1	[塩浜開発関係積書類]			1袋(仮1冊2冊 1通2舗)		24-137-6-1-1~6一袋 (袋上書)「積書」
24-137-6-1-1	積書	年月日未詳	半・縦	1冊	備前邑久郡小津村沖塩干潟御公益の爲め塩浜開発普請入用について	
24-137-6-1-2	[乙嶋土地見取図及び壱間あたりの代銀積書]	年月日未詳	横折紙	1通		
24-137-6-1-3	[小津村奥浦村沖塩浜見取図]	年月日未詳	58.0×36.5	1舗		
24-137-6-1-4	鹿忍村積書	年月日未詳	半・縦	1冊	備前邑久郡鹿忍村沖塩干潟開発普請入用について	
24-137-6-1-5	国頭安倉沖新開永久無犯石手投込堤仕法荒積	年月日未詳	美・横長	仮1冊		
24-137-6-1-6	[鹿忍村塩浜見取図]	年月日未詳	55.5×37.5	1舗		
24-137-6-2	覚(ぬし屋払取替書付)	酉年旧12月	横継紙	1通	和気屋升蔵→東大橋	
24-137-7	[大橋金平重朝嫡女通世墓碑銘案文]	年月日未詳	縦継紙	1通	「大橋金平重朝嫡女名通世母秋庭氏入片山友三衛門秀久四男謙為婿に嗣家今茲文政八年乙酉九月廿三日没 享年四十」	
24-137-8	[尻海塩濱関係書類]	天保8年		1括り(1舗1枚4通2包)		24-137-8-1~8紙綴りで一括り 紙綴りはSILティッシュに括りかえる 包紙あり(包紙上書)「邑久郡尻海村新開塩濱畝置絵図 喜左衛門扣」
24-137-8-1	邑久郡尻海村新開塩濱畝置絵図	天保8年2月	54.0×78.2	1舗	着色している 壱番濱~三番濱までである	(端裏書)「中山尚次郎宿 岡山西中嶋町嶋屋清兵衛 但京橋より下川手」
24-137-8-2	[干潟浜見取図]	年月日未詳	18.8×24.0	1枚	邑久郡尻海村新開塩濱の見取図力 弁天嶋・溜という記載あり	
24-137-8-3	[大橋金平宛喜左衛門書状]	年未詳10月8日	横継紙	1通	塩濱、石工について 川野屋喜左衛門→大橋金平	
24-137-8-4	[大橋金平宛河野喜左衛門書状]	年未詳9月12日	横継紙	1通	塩濱一条に付松屋文左衛門申す値段の件	包紙あり(包紙上書)「大橋金平様 河野喜左衛門 急内要用」(包紙裏書)「九月十二日発書」
24-137-8-5	[大橋金平宛河野喜左衛門書状]	年未詳10月2日	横継紙	1通	塩濱検分の人物をさしむけるということについての件	包紙あり(包紙上書)「大橋金平様 河野喜左衛門 岡山より急要用」(包紙裏書)「十月二日発書」
24-137-8-6	[大橋金平宛河野喜左衛門書状]	年未詳10月19日	横継紙	1通	喜左衛門の体調報告及び十日過ぎの出府、話し合いの予定についての件他	包紙あり(包紙上書)「大橋金平様 河野喜左衛門 貴下要用書」
24-137-8-7	[書状類]			1包(3通)		24-137-8-7-1~3包紙一括り (上書)「大橋金平様 河野喜左衛門 大急要用引合」(裏書)「申八月廿九日発書 あみ塩辛少相添」
24-137-8-7-1	[大橋金平宛河野喜左衛門書状]	申年8月29日	横継紙	1通	菓子一折の謝礼 仰聞一条については立寄り先の岡山より廿七日朝帰って早速内談、別紙差出しのこと他	
24-137-8-7-2	[某書状]	申年8月29日	横継紙	1通(2枚)	別紙内訳書付送状	追而書1紙巻き込みあり

24-137-8-7-3	[松屋文右衛門宛炭屋忠三郎書状]	年未詳8月28日	横継紙	1通	塩浜三軒前覚書、諸懸りもの、問屋株、賃銀定の書付	
24-137-8-8	[尻海塩浜関係書付]			1包(仮1冊1冊3通)		24-137-8-8-1~5包紙一包 (上書)「奉大橋金平様 喜左衛門拝内要用」
24-137-8-8-1	尻海塩浜一件書類 東大橋扣	年未詳5月16日~27日	美・横長	1冊	炭屋忠三郎より指出申書附写し 尻海塩浜三軒前公敵御年貢仕出など	
24-137-8-8-2	[尻海塩浜について書付写]	年月日未詳	美・横長	仮1冊	24-137-8-8-1の炭屋忠三郎より指出申書附写しと同文 付札あり	
24-137-8-8-3	[大橋金平宛川野喜左衛門書状]	年未詳6月19日	横継紙	1通	塩浜一件につき種々掛合をしたが忠三郎は出席しなかったことについて	(上書)「大橋金平様 川野喜左衛門 内急要用」
24-137-8-8-4	[大橋金平宛河野喜左衛門書状]	年未詳8月9日	横継紙	1通	塩浜一條炭屋忠三郎の義について	包紙あり(包紙上書)「奉大橋金平様 河野喜左衛門 急内要用」
24-137-8-8-5	[東ノ大橋大将宛喜左衛門書状]	年未詳6月29日	横継紙	1通	御噂の書付拝見につき後刻参上申上	(上書)「東ノ大橋大将様 喜左衛門拝」
24-137-9	弘化三年丙午正月吉日 覚帳	弘化三年正月吉日	美・横列	1冊		(裏表紙)「大福入 中嶋屋金平」綴紐破損のため紐で括られている
24-137-10	[裏表紙]	年月日未詳	13.5×21.7	1枚		「東大橋」と書かれている
24-137-11	[銀請取帳]	年月日未詳	美・横半折	仮1冊	酢・醤油代銀請取	
24-137-12	[表紙]	年月日未詳	18.1×12.8	1枚		「新選詩学自由自在並門照編輯 玄」の書付あり
24-137-13	[白紙]	年月日未詳	縦紙	1枚		
24-137-14	[表紙]	明治9年6月	15.3×11.5	1枚		「明治九年丙子六月 薬種染艸御通」の書付あり
24-137-15	[裏表紙]	年月日未詳	21.5×13.5	1枚		「東大橋」の書付あり
24-137-16	戌十一月 木綿屋徳一郎 酒御通 大橋様	明治19年11月~20年10月	美・横半折	1冊		
24-137-17	[雅楽音取・拍子書付]			1纏め(1冊1通)		24-137-17-1に24-137-17-2が挟まっている
24-137-17-1	[雅楽の音取及び拍子]	年月日未詳	美・横切半折	1冊		
24-137-17-2	[音取]	年月日未詳	横折紙	1通	雅楽の音取分力(楽器不明)	
24-137-18	[大館流折形]			1袋(2冊4通52枚1纏め)		24-137-18-1~59一袋 (袋表書)「大館流折形 初段三十八枚 二段十二枚 大橋氏」
24-137-18-1	差上申御請証文事	天保13年12月~嘉永3年7月	横継紙	1通	困糲預り置く請書 水沢常太郎他19名→役所	
24-137-18-2	[漢字練習]	年月日未詳	横折紙	1通		
24-137-18-3	義家公御流儀男礼儀威儀拔要集真之初段目録案文付タリ入門謝義之覚書	天保5年3月28日写	半・横長	1冊	入門時の儀礼のまとめ	
24-137-18-4	男 大館流食礼本二三之膳向詰雑煮三献引渡三汁七菜中酒五献通法喰法之伝	天保5年4月	半・横長	1冊	客人との食事の際の礼儀作法	
24-137-18-5	源義家之御流儀礼儀威儀兼備之礼法男拔要集真之初段免許	天保5年	横折紙	1通	鎮守府將軍陸奥守源義家十一代大館中務大輔満氏 伊勢守氏冬 閑心齋氏義 満氏十五代孫好問齋氏晴→大橋金平	
24-137-18-6	[大館家系図]	年月日未詳	横折紙	1通		
24-137-18-7	[免許包紙]	年月日未詳	縦紙	1纏め(2枚)		(上書)「進上 免許」
24-137-18-8	[折形]	年月日未詳		1枚		折形保護の為SILティッシュで包む (包表書)「単のしつゝミ 第一大橋」(包裏書)「中水引 紙貳枚」
24-137-18-9	[折形]	年月日未詳		1枚		(包表書)「正月串柿包 第二十五 大橋」(包裏書)「中水引にて候ふ 紙二枚にて」
24-137-18-10	[折形]	年月日未詳		1枚		(包表書)「くさ花つゝミ 第二十四 大橋」(包裏書)「もと水引 紙二枚」
24-137-18-11	[折形]	年月日未詳		1枚		(包表書)「行の志つゝみ 第二 大橋」(包裏書)「中水引にてゆふ 紙二枚にて折也」
24-137-18-12	[折形]	年月日未詳		1枚		(包表書)「真のしつゝミ 第三 大橋」(包裏書)「中水引 紙二枚」
24-137-18-13	[折形]	年月日未詳		1枚		(包表書)「たとう紙包 第二十九 大橋」(包裏書)「中水引」
24-137-18-14	[折形]	年月日未詳		1枚		24-137-18-14~27までが紙紐で括られている(折形がまとめられている為枝番をつけずに連続で番号を付しまとめられているものは備考のみに注記する) (包表書)「婚礼用 羽子板包 第三十九 大橋」
24-137-18-15	[折形]	年月日未詳		1枚		(包表書)「婚礼用 綿ぼうし包 第四十 大橋」(包裏書)「中水引」
24-137-18-16	[折形]	年月日未詳		1枚		(包表書)「婚礼用 巻上下包 四十一 大橋」(包裏書)「中水引 紙二枚」
24-137-18-17	[折形]	年月日未詳		1枚		(包表書)「婚礼用 つゝミ綿包 四十二 大橋」(包裏書)「中水引 紙二枚」
24-137-18-18	[折形]	年月日未詳		1枚		(包表書)「単婚礼用 染小袖包 四十三 大橋」(包裏書)「中水引 紙二枚 おもてうら地共二用ゆ」
24-137-18-19	[折形]	年月日未詳		1枚		(包表書)「婚礼用 かけ帯包 四十四 大橋」(包裏書)「中水引 紙二枚」
24-137-18-20	[折形]	年月日未詳		1枚		(包表書)「三方長のしつゝミ 此けん先を三方の先へ立ゆらずべく 第四十五 大橋」(包裏書)「中水引一わにてゆふ 婚礼の時八十二筋にてゆふ 但し閏月ある時八十三筋」

24-137-18-21	〔折形〕	年月日未詳		1枚		(包表書)「くけさるおひつゝミ 第四十六 二段婚礼用 大橋」(包裏書)「中水引 紙二枚」くげざる帯
24-137-18-22	〔折形〕	年月日未詳		1枚		(包表書)「婚礼用 綿ほうし包 二段 四十七 大橋」(包裏書)「中水引」
24-137-18-23	〔折形〕	年月日未詳		1枚		(包表書)「婚礼用 四十八 大橋」(包裏書)「みきへいじの口 花形の下へさす」
24-137-18-24	〔折形〕	年月日未詳		1枚		(包表書)「婚礼雌蝶 第五十二 おもて 大橋」(包裏書)「大サ かねさし六寸四方二切て折也 めてう奉書二枚」
24-137-18-25	〔折形〕	年月日未詳		1枚		(包表書)「婚礼雄蝶 第五十一 おもて 大橋」(包裏書)「をてう奉書二枚にて金ざし六寸四方二切て折也」
24-137-18-26	〔折形〕	年月日未詳		1枚		(包表書)「神酒瓶子の口にさす花形 第四十九 女の座のかたにさす 大橋」(包裏書)「うらのかた 奉書紙二枚」
24-137-18-27	〔折形〕	年月日未詳		1枚		24-137-18-14~27一括り (包表書)「神酒瓶子の口にさす 花形 男の座のかたにさす也 第五十 大橋」(包裏書)「奉書紙二枚にて折也」
24-137-18-28	〔折形〕	年月日未詳		1枚		(包表書)「沈香包 薫物に用也 第廿七 大橋」(包裏書)「中水引」
24-137-18-29	〔折形〕	年月日未詳		1枚		24-137-18-29~38までが紙紐で括られている (包表書)「おしろいつゝミ 第十五 大橋」(包裏書)「中水引」
24-137-18-30	〔折形〕	年月日未詳		1枚		(包表書)「羽織紐つゝミ 第十四 大橋」(包裏書)「中水引」
24-137-18-31	〔折形〕	年月日未詳		1枚		(包表書)「行 こましほ包 第十一 大橋」(包裏書)「中水引」
24-137-18-32	〔折形〕	年月日未詳		1枚		(包表書)「墨筆包 第十三 大橋」(包裏書)「中水引」
24-137-18-33	〔折形〕	年月日未詳		1枚		(包表書)「直 こましほ包 第十二 大橋」(包裏書)「中水引」
24-137-18-34	〔折形〕	年月日未詳		1枚		(包表書)「きぬ糸包 第十九 大橋」(包裏書)「中水引」
24-137-18-35	〔折形〕	年月日未詳		1枚		(包表書)「きんちゃくつゝミ 第十七 大橋」(包裏書)「中水引」
24-137-18-36	〔折形〕	年月日未詳		1枚		(包表書)「紅ちよく包 第十六 大橋」(包裏書)「中水引」
24-137-18-37	〔折形〕	年月日未詳		1枚		(包表書)「守袋包 第十八 大橋」(包裏書)「中水引」
24-137-18-38	〔折形〕	年月日未詳		1枚		24-137-18-29~38までが紙紐で括られている (包表書)「はな紙袋包 第二十 大橋」(包裏書)「中水引」
24-137-18-39	〔折形〕	年月日未詳		1枚		(包表書)「琴の爪包 第二十三 大橋」(包裏書)「中水引」
24-137-18-40	〔折形〕	年月日未詳		1枚		(包表書)「つかいとさけをつゝミ 第二十一 大橋」
24-137-18-41	〔折形〕	年月日未詳		1枚		(包表書)「こしやうのこ さんしやうのこ包 おもて 第廿八 大橋」(包裏書)「うらのかた 大橋」
24-137-18-42	〔折形〕	年月日未詳		1枚		(包表書)「洗米包 二十二 大橋」(包裏書)「うらのかた あらひよね也」
24-137-18-43	〔折形〕	年月日未詳		1枚		袋の上に紙紐がかけられている (包表書)「壊紙包 第三十 大橋」(包裏書)「中水引」
24-137-18-44	〔折形〕	年月日未詳		1枚		24-137-18-44~50まで紙紐で一括り (包表書)「真扇子包 第九 大橋」(包裏書)「もと水引 紙二枚」
24-137-18-45	〔折形〕	年月日未詳		1枚		(包表書)「行扇子包 第八 大橋」(包裏書)「もと水引にて 紙二枚」
24-137-18-46	〔折形〕	年月日未詳		1枚		(包表書)「草扇子包 第七 大橋」(包裏書)「もと水引にて 紙二枚」
24-137-18-47	〔折形〕	年月日未詳		1枚		(包表書)「草ごましほ包 第十 大橋」(包裏書)「中水引」
24-137-18-48	〔折形〕	年月日未詳		1枚		(包表書)「真昆布包 第六 大橋」(包裏書)「中水引 紙二枚」
24-137-18-49	〔折形〕	年月日未詳		1枚		(包表書)「行こんぶつゝミ 第五 大橋」(包裏書)「中水引 紙二枚」
24-137-18-50	〔折形〕	年月日未詳		1枚		24-137-18-44~50まで紙紐で一括り (包表書)「草こんぶつゝミ 第四 大橋」(包裏書)「中水引 紙二枚」
24-137-18-51	〔折形〕	年月日未詳		1枚		(包表書)「万用包 第廿六 大橋 何にても手かるき品を包みてよし依て万用といふ」(包裏書)「中水引」
24-137-18-52	〔折形〕	年月日未詳		1枚		24-137-18-52~59まで紙紐で一括り (包表書)「たんざく包 三十一 大橋」(包裏書)「中水引」
24-137-18-53	〔折形〕	年月日未詳		1枚		(包表書)「歌書たる時の短冊つゝミ 第三十二 大橋」
24-137-18-54	〔折形〕	年月日未詳		1枚		(包表書)「歌かゝる時の色紙つゝミ 第三十三 大橋」(包裏書)「中水引」
24-137-18-55	〔折形〕	年月日未詳		1枚		(包表書)「歌書たる時の色紙包 大橋 水引なし 第三十四 大橋」
24-137-18-56	〔折形〕	年月日未詳		1枚		(包表書)「茶の湯ふくさ 長手ぬくひ たはこ入にも 第三十五 大橋」(包裏書)「中水引 紙二枚」
24-137-18-57	〔折形〕	年月日未詳		1枚		(包表書)「豆のこつゝミ 第三十六 大橋」(包裏書)「中水引 紙二枚」
24-137-18-58	〔折形〕	年月日未詳		1枚		(包表書)「亥猪餅包 第三十七 大館」(包裏書)「中水引 大橋」
24-137-18-59	〔折形〕	年月日未詳		1枚		24-137-18-52~59までが紙紐で一括り (包表書)「木の花包 第三十八 大橋」(包裏書)「もと水引 紙二枚」
24-137-19	川入分 東大橋	年月日未詳	横継紙	1通	東大橋の川入分、北大橋の川入分、日吉分の地番書付	

24-137-20	[白紙]	年月日未詳	縦紙	1枚		
24-137-21	[書付・書状類]			1括り(1通6括り)		24-137-21-1~7まで紙紐で一括り
24-137-21-1	[金銭受取・村費関係書類]			1括り(17通2纏め)		24-137-21-1-1~19まで紙紐で一括り
24-137-21-1-1	[金銭請取覚]	年未詳1月24日	横切紙	1通	高橋→大橋	
24-137-21-1-2	[金銭受取]	年未詳1月25日	横切紙	1通	謝義・肴料受取 神崎原堂→(宛名なし)	
24-137-21-1-3	[書状]	年月日未詳	横切紙	1通	飯費・塾費差引貳円六拾六錢七厘返却の事	罫紙 追伸カ(本文なし)
24-137-21-1-4	[記(利子請取)]	年未詳12月29日	横切紙	1通	利子を受け取ったが自分に覚えがないので後刻詳細を承りたい	罫紙
24-137-21-1-5	[証券受取書付]	年未詳10月21日	横切紙	1通	大橋又四郎→大橋秀太郎	
24-137-21-1-6	[代金書付類]			1纏め(2通)	大橋三蔵→大橋徳蔵	24-137-21-1-6-1~2まで重ねて折りたたまれている
24-137-21-1-6-1	[記(粉乳代金請取)]	年未詳10月20日	縦切紙	1通	渡邊太蔵(カ)→(宛名なし)	
24-137-21-1-6-2	[記(散葉代金書付)]	子年1月	横切紙	1通	自然堂→大橋	
24-137-21-1-7	[記(金銭請取書付)]	年月日未詳	横切紙	1通	飯費・塾費請取 会計掛り→(宛名なし)	
24-137-21-1-8	[村費丈量書付]	年月日未詳	横切紙	1通		
24-137-21-1-9	[戌年分未進米書付]	年月日未詳	横継紙	1通	猿次郎ほか9名の未進米書上	
24-137-21-1-10	[永代売渡畑証文之事雛形]	年月日未詳	横継紙	1通		罫紙
24-137-21-1-11	[地券書上の節の高懸り勘定覚]	(戌年)	横切紙	1通		
24-137-21-1-12	当亥年分不作之分	年月日未詳	横切紙	1通(2枚)	東様分・北様分の畑綿	
24-137-21-1-13	[記(旧公畝田畑の面積・高の書付)]	明治8年10月	横継紙	1通		
24-137-21-1-14	西原仮書抜	亥年11月13日	横継紙	1通	字新屋敷・天神脇・天神ノ前・西の端について田畑畝高物成の書上勘定	
24-137-21-1-15	町波	年月日未詳	横継紙	1通	金相場書上	
24-137-21-1-16	三十七区惣計	年月日未詳	横切紙	1通	三十七区の収穫の惣計書付	
24-137-21-1-17	[松江地価・村費勘定書付]	年月日未詳	横切紙	1通		
24-137-21-1-18	[記(租税・村費勘定)]	明治9年1月21日	横切紙	1通	秀太郎分・徳蔵分の村税・村費額勘定	
24-137-21-1-19	[窪津質殿講落札文書]			1纏め(2通)		24-137-21-1-19-1に24-137-21-1-2が巻き込まれて一纏め
24-137-21-1-19-1	[講落札二付書入証書]	明治9年1月	横継紙	1通	落札金百六拾円(差出人)講落札主川入村秋岡李平 証人同村秋岡修平(受取人)窪津質殿講 御引受平田村難波景二同西坂高尾仙作	(奥書)田ノ上副戸長木村専一 子一月十七日写
24-137-21-1-19-2	[明治八年落札結果書付]	子年1月17日	横切紙	1通	金百六拾円秋岡李平落札 内拾五円は講元払出	24-137-21-1-19-1の挟み込み文書
24-137-21-2	現金酒直段	明治9年	横切紙	1通	日光水・菊乃露・生諸白の手札お預けのこと 黒金屋助四郎→東大橋	
24-137-21-3	[酒手札]	年月日未詳	11.2×5.0	1括り(16枚)	白光水五合10枚、一升6枚 黒金屋助四郎→東大橋	紙紐一括り
24-137-21-4	[酒手札]	年月日未詳	13.5×6.0	1括り(10枚)	菊乃露一升10枚 黒金屋助四郎→東大橋	紙紐一括り
24-137-21-5	[酒手札]	年月日未詳	13.5×6.0	1括り(4枚)	白光水一升4枚 黒金屋助四郎→東大橋	紙紐一括り
24-137-21-6	[御好用之手札]	年月日未詳	8.0×5.0	1括り(10枚)	金黒屋助四郎→東大橋	紙紐一括り
24-137-21-7	[酒手札]	年月日未詳	11.2×5.0 13.5×6.0	1括り(20枚)	生諸白五合10枚、一升10枚 黒金屋助四郎→東大橋	紙紐一括り
24-137-22	[書状・証文類]			1括り(1冊26通 2枚1包)		24-137-22-1~30紙縫りで一括り 紙縫りが切れたのでSILティツシュで括った
24-137-22-1	[記(代価・印税・手数料書付)]	年未詳7月23日	横切紙	1通	大橋徳蔵分	罫紙
24-137-22-2	[銀算用書]	年月日未詳	横折紙	1通	西原弁蔵分銀札29匁3分5厘他	
24-137-22-3	[覚(飛龍頭・あげなど代銀書付)]	年未詳3月29日	横切紙	1通	帯江屋久平→東大橋	
24-137-22-4	[覚(岩あられ代銀書付)]	申年3月	横継紙	1通	紙屋弥平→東大橋	
24-137-22-5	[覚(未極月分代銀書付)]	申年2月晦日	横切紙	1通	釘や芳太郎→かと中嶋屋	
24-137-22-6	[覚(白酒代銀書付)]	申年5月	横切紙	1通	広田屋甚三郎→東大橋	
24-137-22-7	[覚(岩あられ代銀書付)]	年未詳5月	横切紙	1通	かみや弥平→東大橋	
24-137-22-8	[覚(着物・蒔絵手箱など数量書付)]	年月日未詳	横継紙	1通		
24-137-22-9	[取米書上]	年未詳9月1日	横継紙	1通	屋敷五百廿二ノ内畑拾五歩他	(上書)「九月一日誓願寺午前十時年番木山精一・林亨一」
24-137-22-10	御布令写	壬申(明治5)年9月	横折紙	1通	天長節休業の布達(9月15日付、小田県庁)他	
24-137-22-11	[地利算用米]	年月日未詳	横継紙	1通	古屋敷上田四畝九歩他	

24-137-22-12	阿知神社石檀揃控	年月日未詳	横継紙	1通	金五両 大橋徳之丞他65名の氏名及び金額書上	
24-137-22-13	[大橋宛庄作書状]	年未詳5月晦日	横切紙	1通	米貳拾石売払のこと	(上書)「大橋様 当用書 庄作」
24-137-22-14	[慶応元丑年分不足他につき書付]	年月日未詳	横継紙	1通	慶応元年より明治2年までの分不足銀 財吉他	
24-137-22-15	[三宅正平他4名宛戸長農吉・副戸長三宅紋五郎廻状]	明治5年6月24日	横継紙	1通	当二十日出頭した折の県庁からの別紙通達を廻状する	「六月廿六日写」の書付あり
24-137-22-16	[小作地略図]	年月日未詳	縦紙	1枚		
24-137-22-17	[受取証下書]	年月日未詳	横継紙	1通		裏に返答書下書が書かれている
24-137-22-18	[田畑売取代金書付案文]	年月日未詳	横折紙	1通		「岡山備前御用藩江永納与唱指出御預ヶ金」の紙背を利用
24-137-22-19	御布令条々	酉年4月	横折紙	1通	「祭礼二付年番ト唱へ相寄飲食之事」他16条に「相背候ハ、厳罰可申付事」	
24-137-22-20	[東大橋宛忠吉書状]	年未詳5月12日	横継紙	1通	岡山札取替指上のこと	(上書)「東大橋様 口上書金相添 忠吉」
24-137-22-21	覚(蔵米・加地子米代金書付)	年未詳5月10日	横切紙	1通	浅草ヤ 三平→東大橋	
24-137-22-22	記(円札三拾円差出し証)	年未詳5月25日	横切紙	1通	本家内吉造→新宅	
24-137-22-23	記(金60円差出し証)	年未詳6月12日	横継紙	1通	吉造→御東	
24-137-22-24	[大橋徳蔵宛大橋長蔵書状]	年未詳10月10日	横継紙	1通(3枚)	木村君とともに会社会所へ出向き、本家友三君と対談、干にては居合わず千五百にて居合 裏の分も百にて居合わず百五拾両と申され迷惑しているとのこと	追伸2枚同封 包紙あり(包紙上書)「倉敷井上町大橋徳蔵様 必急用 笠岡近清二而 同長蔵 十月九日一字発ス」
24-137-22-25	[大橋徳蔵宛大橋友三書状]	年未詳6月1日	横切紙	1通	岡山県調達金早速出納課へ指し出すべきこと	包紙あり(包紙上書)「大橋徳蔵様 貴報 岡山三而大橋友三」
24-137-22-26	[大橋家宛書状類]			1包(10通1包)		24-137-22-26-1~11一包 包紙あり(包紙上書)「大橋秀太郎様 モ・案下 菅波常三郎・岡金三郎」
24-137-22-26-1	[綱島泰助・大橋徳蔵往復書状]			1包(3通)		24-137-24-26-1-1~3一包 包紙あり(包紙上書)「備中倉敷大橋徳蔵様 貴下 綱島泰助 京不明五条上ル所より発」
24-137-22-26-1-1	[大橋徳蔵宛綱島泰助書状]	年未詳正月11日	横切紙	1通	御地にて医業仕りたく、路金十両拝借の願い	
24-137-22-26-1-2	[大橋徳蔵宛綱島泰助書状]	年未詳正月11日	横切紙	1通	一同無事加年のあいさつ	
24-137-22-26-1-3	[綱島泰助宛大橋徳蔵書状案文]	年未詳正月23日	横切紙	1通	金子拾両の借用願には応じられないが病氣御見舞として金札壹円送ること	下書
24-137-22-26-2	[大橋徳蔵・秀太郎宛菅波愛五郎書状]	年未詳9月16日	横継紙	1通	伯母様篋分として時服恵贈御礼	
24-137-22-26-3	[某書状]	年未詳正月13日	横折紙	1通	鏡餅御肴祝納の御礼	
24-137-22-26-4	[大橋秀太郎宛西念寺西阿書状]	年未詳9月15日	横継紙	1通	御老人御逝去御見舞、回向料御礼	
24-137-22-26-5	[大橋徳蔵宛菅波五郎書状]	年未詳9月15日	横継紙	1通	小生および母より皆々様へ御礼申し上げ奉ること	
24-137-22-26-6	[大橋徳蔵・同秀太郎宛同金三郎・菅波常三郎書状]	年未詳9月15日	横切紙	1通	伯母様篋分として時服兩種御恵贈御礼	
24-137-22-26-7	[大橋徳蔵・同長之丞宛片山義太郎書状]	年未詳正月10日	横折紙	1通	年甫御祝儀として扇子・鏡餅・小肴進上のこと	(上書)「大橋徳蔵様 御同長之丞様 参人々御中」
24-137-22-26-8	[大橋徳蔵・同長之丞宛片山曾平書状]	年未詳正月9日	横折紙	1通	年始祝詞	
24-137-22-26-9	[大橋徳蔵宛片山栄吉書状]	年未詳正月6日	横折紙	1通	年甫御祝儀として鏡餅兩種呈上のこと	
24-137-22-26-10	[大橋秀太郎宛菅波序平・同杖書状]	年未詳3月22日	横折紙	1通	心荘宜体尊位一周忌に御菓子・白檀香御供のこと	
24-137-22-26-11	[大橋秀太郎宛同金三郎・菅波常三郎書状]	年未詳3月24日	横折紙	1通	心荘宜体大姉一周忌につき粗菓一折御供のこと	
24-137-22-27	壬申七月 児嶋郡興除新田中疇地内分地并売買二付名寄帳書抜	壬申(明治5)年7月	美・横長	1冊	大橋秀太郎分赤木秀太七月十六日に持参	
24-137-22-28	[包紙]	年月日未詳	縦紙	1枚		中身なし「金百拾疋」の書付あり
24-137-22-29	[大橋徳蔵・同秀太郎宛菅波愛五郎・同常三郎書状]	年未詳正月5日	横折紙	1通	年頭のあいさつ	
24-137-22-30	[大橋秀太郎宛小川兵之進書状]	年未詳7月22日	横継紙	1通	御祖母様へ贈った遺物を受納下さり忝きこと 又「厚御挨拶」を下さり汗顔の至のこと	(上書)「大橋秀太郎様 小川兵之進 御報」
24-137-23	[書状・書付類]			1括り(3括り1袋)		24-137-23-1~4紐で一括り 紐をSILティッシュにかえた
24-137-23-1	[書状類]			1纏め(20通1枚1括り)		24-137-23-1-1~22紙縫りで一括り
24-137-23-1-1	[大橋徳蔵宛片山栄吉書状]	年未詳正月21日	横継紙	1通	追福の弔を欠席するにつき白檀進上及び来月の回忌法要の案内	封筒あり(封筒表書)「大橋徳蔵様 片山栄吉 玉座下」
24-137-23-1-2	[大橋徳蔵宛片山新吉書状]	年未詳2月12日	横継紙	1通	香典への返礼	封筒あり(封筒表書)「大橋徳蔵様 片山新吉 貴下拝啓」
24-137-23-1-3	[人名書付断簡]	年月日未詳	横折紙	1枚	(書出し)八月 一人増吉 引合せの墨丸印あり	
24-137-23-1-4	[大橋秀太郎宛三宅正平書状]	年未詳12月22日	横切紙	1通	乙嶋与五郎兵衛・今泉友三郎の入用方申立皆済の件につき大庄屋・陣屋の動きを報ず	(上書)「倉敷 大橋秀太郎様 西之浦 三宅正平 貴下用書」略封御免可被下候」
24-137-23-1-5	[大橋徳蔵宛片山栄吉書状]	年未詳12月23日	横切紙	1通	病氣快方に向かうことを報じ歳尾の印として小肴壱尾を僉菓呈上のこと	封筒あり(封筒表書)「大橋徳蔵様 片山栄吉 玉座下」

24-137-23-1-6	覚(巳年分利米受取)	明治2年12月	横切紙	1通	中嶋屋良介→(宛名なし)	墨書抹消(端裏書)「九斗五升九合七勺」
24-137-23-1-7	[鶴新田開発関係書類]			1括り(8通)		24-137-23-1-7-1~8紙紐で一括り
24-137-23-1-7-1	[屋号氏名書付]	年月日未詳	横切紙	1通	坂田屋他の屋号・氏名書付	
24-137-23-1-7-2	覚(代金書付)	年未詳6月27日	横切紙	1通	栗四尺杭廿本の代金 新屋佐平次→東大橋	
24-137-23-1-7-3	覚(代銀勘定書)	年未詳8月22日	横切紙	1通	金巾友仙他代銀合計百九拾五匁 長谷屋千代吉→東大橋	
24-137-23-1-7-4	覚(栗五尺杭代銀書付)	年未詳8月4日	横切紙	1通	新屋佐平次→井上町東大橋	
24-137-23-1-7-5	覚(栗五尺杭代銀書付)	年未詳9月29日	横切紙	1通	新屋佐平次→東大橋	
24-137-23-1-7-6	奉差上御受書之事	明治2年7月	横継紙	1通	黒忠村寺一件の郡中割掛銀について 昨辰年大割入用多分に付き巨細帳面一見の上出銀のこと 及び以後割賦の節立会のことについて 鶴新田開発人小野忠兵衛・原佐一郎他5人→渡辺文平・信原徳太郎	
24-137-23-1-7-7	[請書奥書]	年月日未詳	横切紙	1通	鶴新田庄屋預り後見小野小十郎・同庄屋預り三宅紋五郎	
24-137-23-1-7-8	[人足より立替願いにつき出銀依頼]	年未詳7月11日	横継紙	1通		
24-137-23-1-8	[大橋徳蔵宛片山栄吉・新助書状]	年未詳9月20日	横切紙	1通	見舞として菓子進上	封筒あり(封筒表書)「大橋徳蔵様 片山栄吉 玉座下」
24-137-23-1-9	[大橋徳蔵・長之丞宛片山栄吉書状]	年未詳8月12日	横継紙	1通	幣村祭礼への招待及び両品進上のこと 来月三日・四日の廻忌法要案内	封筒あり(封筒表書)「大橋賢兄君様 片山曾兵衛 玉座下」
24-137-23-1-10	[某書状]	年月日未詳	横切紙	1通	戒屋忠八講前取出金の寅年から辰年迄の預り分御渡依頼状 尚当年は満講になるので当年分も一緒に渡してもらえないか	
24-137-23-1-11	[大橋徳蔵・同長之丞宛片山曾兵衛書状]	年未詳8月11日	横継紙	1通	祭への招待	
24-137-23-1-12	[綱嶋泰輔宛某書状]	年未詳9月晦日	横継紙	1通	金札一封百五拾疋時下御見舞に進上	
24-137-23-1-13	[大橋徳蔵・同長之丞宛片山義太郎書状]	年未詳9月20日	横継紙	1通	先日御来の際の肴恵贈の謝礼 当節は諸品高値、米はとりわけ高値	封筒あり(封筒表書)「大橋徳蔵様 片山義太郎 貴下用書」
24-137-23-1-14	[大橋宛片山曾兵衛書状]	年未詳2月22日	横切紙	1通	先に来訪の節に頂いた土産の礼	裏に片山曾祖母様死去につき形見分の小袖を贈られたことへの礼 及び百ヶ日の香料として壱封金百疋・菓子進上のこと(宛名・差出人不詳7月19日付)
24-137-23-1-15	[大橋徳蔵宛桜屋園平書状]	年未詳7月21日	縦紙	1通	鮮魚を贈られた返礼物の添状	(上書)「大橋徳蔵様 桜屋 園平」
24-137-23-1-16	[大橋徳蔵・同長之丞宛片山義太郎書状]	年未詳12月21日	横継紙	1通	歳末御祝に烏・干柿を進上 寒中見舞	封筒あり(封筒表書)「大橋徳蔵様 片山義太郎 貴下用書」
24-137-23-1-17	[大橋徳蔵・長之丞宛片山義太郎・仲造書状]	年未詳11月22日	横切紙	1通	母長逗留及び土産贈答に対する礼状	封筒あり(封筒表書)「大橋徳蔵様 片山義太郎 貴下用書不及御答」
24-137-23-1-18	[徳蔵宛某書状]	巳年12月9日	横継紙	1通	利足送付の添状	
24-137-23-1-19	[大橋徳蔵宛秋山素平書状]	年未詳12月12日	横継紙	1通	先頃来臨の際兩種御恵投を謝し、魚を呈上の事	封筒あり(封筒表書)「大橋徳蔵様 綱介事秋岡素平 尊下」
24-137-23-1-20	[大橋徳蔵宛大塚壽衛門書状]	年未詳12月16日	横継紙	1通	たばこ買い整え送るに付、代金通知	封筒あり(封筒表書)「倉敷大橋徳蔵様 地頭大塚壽衛門 貴下要用」
24-137-23-1-21	[大橋徳蔵宛勘介書状]	年未詳12月15日	横継紙	1通	不納米の川入村切手について中買に相談したところ前以て噂をしておかねば調いがたいため差紙を返上するので川入村の名主へ相談してほしい	包紙あり(包紙上書)「大橋徳蔵様 岡山二而勘介 急要用 無異」
24-137-23-1-22	[催合講算用]	年月日未詳	横継紙	1通	講の銀積立を募る口上、銀の利息計算表	封筒あり(封筒表書)「穿窓軒先生 大新板催合講算用全 海大無双」(封筒裏書)「三百部限不許売買」摺物
24-137-23-2	[書状・入塾者氏名書付]			1括り(15通)		24-137-23-2-1~15一括り
24-137-23-2-1	[大橋徳蔵・長之丞宛片山義太郎書状]	年未詳8月24日	横継紙	1通	祭礼の案内と肴并に麴を贈られた礼状	封筒あり(封筒表書)「大橋徳蔵様 片山義太郎 貴下御答」
24-137-23-2-2	[大橋徳蔵宛片山栄吉書状]	年未詳8月24日	横継紙	1通	祭礼近づくにつき招待	封筒あり(封筒表書)「大橋徳蔵様 片山栄吉 拜復」
24-137-23-2-3	倉敷県官員	年月日未詳	横切紙	1通	伊勢知事、島田少参事、三原少参事他租税、出納土木、書記など	
24-137-23-2-4	[古城基介宛大橋徳蔵書状]	年未詳12月21日	横継紙	1通	返納の川入村刺紙受取のこと 永納米半減について	封筒あり(封筒表書)「岡山真嶋屋二而 大黒屋基介様 くらしき大橋徳蔵 用事」
24-137-23-2-5	[年別割当氏名書上]	年月日未詳	横切紙	1通		
24-137-23-2-6	[金額書付]	年月日未詳	横切紙	1通	一五拾両 一四拾八両 一三百両	
24-137-23-2-7	[大橋徳蔵宛片山義太郎書状]	年未詳2月29日	横継紙	1通	出産祝と玉子進上の事	封筒あり(封筒表書)「大橋徳蔵様 片山義太郎 貴下用書」
24-137-23-2-8	[作高書付]	巳年12月3日	横継紙	1通	弘化綿作之事 稲作事 古地綿作之事 鶴新田会所→東大橋	
24-137-23-2-9	奉和	年月日未詳	横継紙	1通	高明五位縣君瑤韻以供餐正(漢詩文)	
24-137-23-2-10	[入塾生氏名書付]	年月日未詳	横折紙	1通	都宇郡沖新田村庄屋良作倅次郎他	
24-137-23-2-11	[大橋先生宛木村光太郎書状]	午年2月1日	横継紙	1通	家来の藤吉が学校へ出席の由につき教訓を依頼	(上書)「学校二而大橋先生研北木村光太郎」



24-137-23-2-12	定(出席日と担当書付)	年月日未詳	横継紙	1通	一六は休日、三八は犬飼・小学、五十は大橋・孟子、二ノ日は犬飼・小学、七ノ日は大橋・孟子	
24-137-23-2-13	[大橋母上・伯父宛片山新吉書状]	年未詳3月28日	横継紙	1通	幸蔵の件について心配をかけた礼及びその後の病状について	封筒あり(封筒表書)「大橋母上様 大橋伯父様 貴下 片山新吉」
24-137-23-2-14	[丑年～巳年分不足代銀札元利勘定書上(前欠)]	年月日未詳	横継紙	1通		墨線にて全文抹消
24-137-23-2-15	[入塾者名書付]	年月日未詳	横折紙	1通	浅口郡勇崎村長五郎悴入塾富山栄太郎他	
24-137-23-3	[書状・請求書類]			1括り(29通1枚)		24-137-23-3-1～30紙綴りで一括り
24-137-23-3-1	[乍恐奉願上御事案文]	巳年6月	縦切紙	1通	上道郡中井村藤左衛門妹ともを中島屋徳蔵倅長ノ丞の妻に引き受けたい旨の願い 願人(名前無し)→倉敷県御役所	
24-137-23-3-2	[葬送関係書状]			1包(4通1枚)		24-137-23-3-2-1～5一包 (包紙上書)「矢掛 三成村片山栄吉様 口中小川兵之進 急用」
24-137-23-3-2-1	別啓	年未詳4月21日	横切紙	1通	大橋氏へも本書の趣について御役介になる 小川兵之進→片山栄吉	(上書)「片山様 小川」
24-137-23-3-2-2	[大橋徳蔵宛片山新助・同栄吉書状]	年未詳4月5日	横継紙	1通	店伯父が去る2日に老病にて死去し、昨日西新宅において葬式を行った	
24-137-23-3-2-3	[封筒]	年月日未詳		1枚	三成片山類助→倉敷大橋徳蔵	(封筒表書)「倉敷 大橋徳蔵様 三成片山類助 要用無異」
24-137-23-3-2-4	[大橋徳蔵宛片山栄吉書状]	年未詳4月5日	横継紙	1通	成羽の伯母が死去したという知らせが今届いたので、明早朝新助を遣わす積りであること	(上書)「大橋徳蔵様 片山栄吉 凶事」前後はあるが中の部分は破れて不詳 破損の為SILティッシュで包む
24-137-23-3-2-5	[片山栄吉宛小川兵之進書状]	年未詳4月5日	横継紙	1通	伯母様死去につき、明六日夕酉ノ刻に葬送を行うつものこと	
24-137-23-3-3	[大橋徳蔵宛大森藤左衛門書状]	年未詳6月6日	横継紙	1通	先般より御不快につき見舞の品を送る 加賀・筑前八十匁、薩州七十匁、芸州六十匁など藩札の流通相場を定めたもの	(包紙上書)「大橋徳蔵様 大森藤左衛門 拝答」
24-137-23-3-4	[二歩判流通相場につき取極]	年未詳3月晦日	横切紙	1通	西籍概論他六点を差し上げる事 仁左衛門→大橋徳蔵	
24-137-23-3-5	覚(書籍差上のこと)	年未詳5月19日	横継紙	1通	来月中頃迄七十両ばかり拝借願ひ	封筒あり(封筒表書)「大橋徳蔵様 片山栄吉 同類助 貴下要用」
24-137-23-3-6	[大橋徳蔵・同長之丞宛片山栄吉・同類助書状]	年未詳閏月20日	横継紙	1通	御上より急銀談について	封筒あり(封筒表書)「大橋徳蔵様 侍史用 片山栄吉」
24-137-23-3-7	[大橋徳蔵宛片山栄吉書状]	年未詳閏4月3日	横切紙	1通	洪水御見舞ぐら十五呈上のこと	封筒あり(封筒表書)「大橋徳蔵様 三島治郎右衛門」
24-137-23-3-8	[大橋徳蔵宛三島治郎右衛門書状]	年未詳7月8日	横切紙	1通	洪水御見舞	(上書)「大橋徳蔵様 貴下 原直郎」(裏書)「略封御免」
24-137-23-3-9	[大橋徳蔵宛原直郎書状]	年未詳7月8日	横継紙	1通	濁水につき所々で出入公用があり無音となったことを詫びる 取集めの品々を中元として送るのでご笑納願ひたい	
24-137-23-3-10	[大橋伯父・長之丞宛大森藤左衛門書状]	年未詳7月7日	横継紙	1通	大水御見舞干菓子四呈上のこと	包紙あり(包紙上書)「大橋徳蔵様 御報 片山曾兵衛」
24-137-23-3-11	[大橋徳蔵宛片山曾兵衛書状]	年未詳7月9日	横継紙	1通	大水の見舞 明日上納金入用に付き白銀を貳朱金に引替えてほしい	封筒あり(封筒表書)「大橋長之丞様 貴下御頼用書金子添 片山義太郎」
24-137-23-3-12	[大橋長之丞宛片山義太郎書状]	年未詳7月10日	横継紙	1通	大水御見舞 瓢箪壹包・玉ご十五進上のこと	封筒あり(封筒表書)「大橋徳蔵様 貴下用書 片山義太郎」
24-137-23-3-13	[大橋徳蔵・御調長之丞宛片山義太郎書状]	年未詳7月10日	横継紙	1通	三尺杭卅本代 新屋佐平次→東大橋	
24-137-23-3-14	覚(代銀書付)	年未詳2月3日	横切紙	1通	中疇益右衛門→倉敷大橋	
24-137-23-3-15	覚(久治郎への銀送状)	巳年6月22日	横切紙	1通		
24-137-23-3-16	[三黄丸処方書]	年月日未詳	横切紙	1通		
24-137-23-3-17	覚(代金書付)	年未詳5月8日	横切紙	1通	栗五尺杭代金 新家佐平次→東大橋	
24-137-23-3-18	覚(請求書)	年未詳3月11日	横切紙	1通	栗一丈丸太十三本及び中せ代 新屋佐平次→東大橋	
24-137-23-3-19	覚(請求書)	年未詳2月27日	横切紙	1通	栗一丈丸太六本・中せ代 新屋佐平次→東大橋	
24-137-23-3-20	覚(代銀書付)	年未詳3月30日	横切紙	1通	田楽・マキ・あけ代他 帯江屋久兵衛→東大橋	
24-137-23-3-21	狛金未進之事	年月日未詳	横切紙	1通	卯・辰年十五郎分	
24-137-23-3-22	[東宛弥介用状]	年未詳2月16日	横切紙	1通(2枚)	2月12日付け金相場につき触書を写し送ること	別紙写しが折り込まれている (上書)「御東様 書付在中 弥介」
24-137-23-3-23	覚(代金書付)	年未詳3月11日	横切紙	1通	杉一丈丸太三拾本 貳百四匁 橋本屋虎吉→東大橋	
24-137-23-3-24	覚(算用書)	年未詳6月20日	横切紙	1通	納三拾貳俵 不足は一兩日以内にさし出し申し上げ候 大橋→東大橋	
24-137-23-3-25	[味野武三郎・塩生栄之介書状]	年未詳6月8日	横切紙	1通	松江登堤取繕入用割賦四ヶ村異存一件につき来る十一日九ツ時松江庄介方にて出会申談のこと	
24-137-23-3-26	[小野小十郎宛大橋徳蔵書状]	年未詳7月5日	横継紙	1通	衆評の上は書付廻り次第調印仕るとのこと	

24-137-23-3-27	[村役人謹慎につき書付]	年未詳6月5日	横継紙	1通	無宿人賭突、村役人取締方不埒につき	
24-137-23-3-28	[大橋徳蔵宛小野小十郎書状]	年未詳7月5日	横継紙	1通	調印の依頼	(上書)「大橋徳蔵様 用書 小野小十郎」
24-137-23-3-29	[書付形状写図]	年月日未詳	横切紙	1枚	「西村紋介」の記載あり	
24-137-23-3-30	[漢詩・和歌]	年月日未詳	横継紙	1通	「花山歎」「春夜聴雨」「鶯の声きゝて」	
24-137-23-4	[丸薬]	年月日未詳	11.0×9.0	1袋		(袋上書)「大橋様 丸薬」 未開封で袋内に薬あり
24-137-24	[書状・書付類]			1括り(3纏め15通1枚)		24-137-24-1～19紙綴りで一括り
24-137-24-1	[書状・書付類]			1纏め(7通)		24-137-24-1-2～7が24-137-24-1-1に巻き込まれている
24-137-24-1-1	[里開キ吉凶書付]	申年正月14日	横切紙	1通	二月十日御里開上々大吉 円明院大闇→大森	
24-137-24-1-2	[大橋宛謙次用状]	年月未詳26日	横切紙	1通	結構の釜、有難く拝納のこと	
24-137-24-1-3	[代金請求書付]	年月日未詳	横切紙	1通	酔月之式幅対代金請求	
24-137-24-1-4	[東大橋宛吉沢口上書]	年月未詳28日	横切紙	1通	贈答品指上げのこと	
24-137-24-1-5	[講金割付]	年月日未詳	横切紙	1通	一から十四まで	
24-137-24-1-6	[講金書付]	年月日未詳	横切紙	1通	酉から丑年まで前取五口沢高五貫目拾式人割	
24-137-24-1-7	天城講巳年差引・午年差引	年月日未詳	横継紙	1通	銀三貫四百式拾目講元払出 以下算用	
24-137-24-2	[書状・書付類]			1纏め(2通)		24-137-24-2が24-137-24-1に包まれている
24-137-24-2-1	[大黒屋より借用物ひかえ及び大黒屋より買取候へ共代銀不渡居分]	年月日未詳	横折紙	1通	炭・すみとり・釜・香合・水指など	
24-137-24-2-2	[大橋長蔵宛片山蘇兵衛書状]	年未詳6月13日	縦切紙	1通	祭典案内、惠贈品御礼	包紙あり(包紙上書)「大橋長蔵様 東三成事務所二而 片山曾平衛」
24-137-24-3	[大橋宛唯介書状]	年未詳5月19日	横切紙	1通	小魚到来に付き呈上のこと	(上書)「大橋君 上 唯介」
24-137-24-4	[大橋良介宛唯介書状]	年未詳6月17日	横切紙	1通	時下御見舞として両種贈呈のこと	(上書)「大橋良介様 尊下 唯介」
24-137-24-5	[某追啓]	年月日未詳	横切紙	1通	両種贈呈の事	本文なし
24-137-24-6	[金銭書付]	慶応元年閏5月	横切紙	1通	「一金貳両三分叁朱 大橋良介 当八日切」の書付あり	
24-137-24-7	[大橋宛唯介書状]	年未詳3月6日	横切紙	1通	珍魚惠贈の礼	(上書)「大橋君 唯介 奉渡」
24-137-24-8	[大橋良介宛小山安右衛門書状]	年未詳6月23日	横継紙	1通	昨晩は酩酊して失敬したことへの詫び、追々御普請が成就することへの祝いなど	
24-137-24-9	[大橋良介宛大森藤三郎書状]	年未詳6月23日	横継紙	1通	先ごろ男子が産まれたので直ちに来館するつもりだったが諸用が重なり延引していたので、この秋に来館させてもらう 又魚品を飲の験として呈上のこと	封筒あり(封筒表書)「大橋良介様 大森藤三郎 玉案下」
24-137-24-10	[諸関係書類]			1纏め(2通)		24-137-24-10-2が24-137-24-10-1に巻き込まれている
24-137-24-10-1	講加入連名	年月日未詳	横切紙	1通	倉敷源助他12名	
24-137-24-10-2	[講金書付]	年月日未詳	横継紙	1通	金百両割付	巻の最後は虫損展開不能
24-137-24-11	[算用書]	年月日未詳	横切紙	1通	壹割五分の算用	
24-137-24-12	覚(人別米代金及び残金書付)	年月日未詳	横継紙	1通	一米貳升九合五勺 代銭貳百六拾三文 藤吉 三月廿八日相添 他12筆	線で内容が消されている
24-137-24-13	覚(古鈿・唐金代金受取)	亥年11月14日	横切紙	1通	代金受取 今出屋和吉→東大橋 藤屋栄三郎→東大橋	今出屋和吉と藤屋栄三郎二人の「覚」が一枚に書かれている
24-137-24-14	[金銭書付]	年月日未詳	横切紙	1通	元金100両 六年分利算用	
24-137-24-15	覚(石高及び代銀算用書)	年月日未詳	横継紙	1通	喜代次郎・半三郎・万之丞・役次郎分の石高及び代銀算用書	
24-137-24-16	[白紙]	年月日未詳	縦切紙	1枚		
24-137-24-17	覚(元利及び不足銀書上)	丑年5月	横継紙	1通	藤屋文平・浜之道喜代介他15人分	
24-137-24-18	覚(元利及び不足銀書上)	子年12月	横継紙	1通	西原好蔵他5人分	
24-137-24-19	[勝之丞・良介宛藤三郎書状]	年未詳正月16日	横継紙	1通	賀入りと里帰りの日程についての連絡 増次郎参館は当月廿九日及び人足の人数貳人増・賀入り里開二月十一日	
24-137-25	[通り手形・大根代銀書付等一括]			1括り(12通3綴)		24-137-25-1～15紙綴りで一括り 文書保護の為SILティッシュで包む
24-137-25-1	通り手形之事	子年9月2日～30日		1綴	備中倉敷桜屋尚介召仕芳蔵など倉敷村の住人が備前領内・岡山城下へ通行する際に発行した通行証の綴り 年寄月番大橋良介→備前御番所	139通を合綴
24-137-25-2	[こま丁数書上]	年月日未詳	横切紙	1通	こま九丁ほか	
24-137-25-3	通り手形之事	子年9月2日～晦日		1綴	年寄月番大橋良介→備前番所	11通の通り手形が綴られている
24-137-25-4	通り手形之事	子年12月	縦紙	1綴	年寄月番大橋良介→備前番所	18通の通り手形が綴られている
24-137-25-5	[大根本数及び代銀書付]	文久3年	横折紙	1通	大根〆七千八百七拾本 代銀百七拾目四分五厘	横折紙を継いでいる
24-137-25-6	[大根本数及び代銀書付]	文久2年	横折紙	1通	大根〆七千四百七拾本 代銀貳百四拾八匁四分四厘	横折紙を継いでいる
24-137-25-7	[大根本数及び代銀書付]	文久元年	横折紙	1通	大根〆六千四百貳拾五本 代銀百三拾八匁四分四厘	横折紙を継いでいる
24-137-25-8	[大根本数及び代銀書付]	万延元年	横折紙	1通	大根〆八千七百五拾五本 代銀貳百拾壹匁四分六厘	横折紙を継いでいる
24-137-25-9	[大根本数及び代銀書付]	嘉永6年	横折紙	1通	大根〆五千貳百五拾本 代銀八拾六匁四分	
24-137-25-10	[大根本数及び代銀書付]	嘉永7年	横折紙	1通	大根〆五千百七拾本 代銀百三拾八匁四分七厘	
24-137-25-11	[大根本数及び代銀書付]	安政2年	横折紙	1通	大根〆四千九拾本 代銀八拾目四分壹厘	
24-137-25-12	[大根本数及び代銀書付]	年月日未詳	横折紙	1通	大根〆三千六百拾本 代銀七拾壹匁四分八厘	「子年小作米書拔 鶴新田分」と書かれた紙裏を転用

24-137-25-13	[大根本数及び代銀書付]	安政4年	横折紙	1通	大根ノ四千二百六拾本 代銀八拾目三分三厘	末尾に継紙を貼り継いでいる
24-137-25-14	[大根本数及び代銀書付]	安政5年	横折紙	1通	大根ノ四千六百四拾本 代銀百七匁三分三厘	
24-137-25-15	[大根本数及び代銀書付]	安政6年	横折紙	1通	大根ノ五千三百五拾本 代銀百五拾目四厘	
24-137-26	[大橋徳蔵・同賢兄宛白神佐一郎書状]	年未詳12月13日	横継紙	1通	今日人遺すにつき風呂釜掛物三ツ古箱御渡し下されたきこと	虫損
24-138	大日本私立衛生会雑誌 第五号	明治16年10月25日	20.0×14.0	1冊		活版
24-139	広益 問答新聞 第四百十八号	明治10年6月25日	18.0×12.0	1冊		活版
24-140	広益 問答新聞 第四百十三号	明治10年3月11日	18.0×12.0	1冊		活版
24-141	広益 問答新聞 第四百五十二号	明治10年7月9日	18.0×12.0	1冊		活版
24-142	広益 問答新聞 第四百五十三号	明治10年7月12日	18.0×12.0	1冊		活版
24-143	広益 問答新聞 第四百廿四号	明治10年4月13日	18.0×12.0	1冊		活版
24-144	広益 問答新聞 第四百七十七号	明治10年6月22日	18.0×12.0	1冊		活版
24-145	名譽新誌 第三十四号	明治10年3月23日	18.5×12.5	1冊		活版
24-146	大日本私立衛生会雑誌 第十五号	明治17年8月30日	20.0×14.0	1冊		活版
24-147	大日本私立衛生会雑誌 第二十九号	明治18年10月31日	20.0×14.0	1冊		活版
24-148	大日本私立衛生会雑誌 第三十二号	明治19年1月30日	20.0×14.0	1冊		活版
24-149	大日本私立衛生会雑誌 第三十一号	明治18年12月19日	20.0×14.0	1冊		活版
24-150	七情雑誌 第一号	年月日未詳	18.5×12.5	12丁		表紙欠 活版 綴りがとれているのでSILティッシュで包む
24-151	広益 問答新聞 第四百五十六号	明治10年7月21日	18.0×12.0	1冊		活版
24-152	広益 問答新聞 第九十三号	明治10年1月10日	18.0×12.0	1冊		活版
24-153	広益 問答新聞 第九十号	明治10年1月7日	18.0×12.0	1冊		活版
24-154	[小笠原流札法書]	年月日未詳	美・豎	1冊	中根平馬 日向野矢柄 小笠原式部長富考旧案を新たに細作したもの	表紙欠 黒棚・御厨子棚の絵が書かれたものが挟み込まれている
24-155	[帳簿類]			1括り(21冊)		24-155-1~21紙綴りで一括り
24-155-1	東大橋様 橋下八郎	年未詳8月11日~9月15日	半・横長	1冊	代金書付及び受取 かしわ・酒代・牛乳代・人足賃など 菅波梅五郎 菅波序平 菅波久治郎 菅波常治郎 作配人作兵衛→(宛名なし)	
24-155-2	文久三年亥三月 戌秋中屋地利米勘定帳	文久3年3月	半・横長	1冊	菅梅五郎 菅波愛五郎 菅波常三郎 菅波扶助→(宛名なし)	
24-155-3	慶応四年辰三月 中屋地利米勘定帳	慶応4年3月	半・横長	1冊	菅梅五郎 菅波扶助 菅波愛五郎 菅波常三郎→(宛名なし)	
24-155-4	元治二年丑三月 子年中屋地利米勘定帳 年番菅波常三郎	元治2年3月	半・横長	1冊	菅梅五郎 菅波扶助 菅波愛五郎 菅波常三郎→(宛名なし)	
24-155-5	慶応二年寅三月 丑年中屋地利米勘定帳 年番菅波愛五郎	慶応2年3月	半・横長	1冊	菅梅五郎 菅波扶助 菅波愛五郎 菅波常三郎→(宛名なし)	
24-155-6	慶応三年卯三月 寅年中屋地利米勘定帳 年番菅波常三郎	慶応3年3月	半・横長	1冊	菅梅五郎 菅波扶助 菅波愛五郎 菅波常三郎→(宛名なし)	
24-155-7	従文久三亥秋元治元年甲子三月二改 中屋田畑下作・貸家賃 米銀勘定帳 亥年番尾道屋	元治元年9月27日	半・横長	1冊	年番尾道屋→中屋・中島屋 菅梅五郎 菅波序平 菅波常治郎 当番菅波久治郎→(宛名なし)	(裏表紙)「辛」
24-155-8	文久元年酉三月 申秋中屋地利米勘定帳 年番菅波久治郎	文久元年3月	半・横長	1冊	菅梅五郎 菅波序平 菅波久治郎 当番菅波常治郎→(宛名なし)	
24-155-9	文久二年戌三月 酉秋中屋地利米勘定帳 年番菅波常治郎	文久2年3月	半・横長	1冊	菅梅五郎 菅波序平 菅波久治郎 当番菅波常治郎→(宛名なし)	
24-155-10	明治三年午五月 中屋分銀指引勘定帳 菅波常三郎	明治3年5月	半・横長	1冊	菅波常三郎→(宛名なし)	
24-155-11	明治三年午三月 巳年中屋地利米勘定帳 菅波常三郎	明治3年3月	半・横長	1冊	菅波常三郎・同愛五郎→(宛名なし)	
24-155-12	明治三年午三月 辰年中屋地利米勘定帳 菅波常三郎	明治3年3月	半・横長	1冊	菅波常三郎→(宛名なし)	
24-155-13	文久元辛酉十月朔日 莊誓浄厳居士五十回忌追善諸入用帳 年番菅波常次郎	文久元年10月	半・横長	1冊		
24-155-14	元治元甲子九月廿二日 皆誓妙説信女霊三十三回忌追善諸入用帳 年番菅波常三郎	元治元年9月22日	半・横長	1冊		
24-155-15	慶応三丁卯四月晦日 緑羅軒東橋居士三十三回忌追善諸入用帳 年番菅波常次郎	慶応3年4月晦日	半・横長	1冊		
24-155-16	安政六年未三月 中屋分田畑家賃諸入用指引勘定帳	安政6年3月	半・横長	1冊	年番本庄屋勘蔵→(宛名なし)	
24-155-17	安政七年申三月 未歳中屋分田畑家賃諸入用指引勘定帳	安政7年3月	半・横長	1冊	年番菅波序平→(宛名なし)	
24-155-18	安政五年午三月 巳年中屋地利米勘定帳控	安政5年3月	半・横長	1冊	菅三郎 菅波序平 菅波次郎 当番菅波常次郎→(宛名なし)	
24-155-19	亥歳ヨリ辰歳マデ中屋下作米銀諸指引勘定帳	嘉永4年~安政3年	半・横長	1冊	尾道屋→中屋中島屋	
24-155-20	慶応三年卯六月 買入田地書抜帳	慶応3年6月	半・横長	1冊		
24-155-21	安政六年己未七月 中屋仏事諸記録 序 世話掛り年番菅波序平	安政6年7月	美・横長	1冊		
24-156	[大倉組鉄砲店広告他]			1括り(8通2枚)		24-156-1~10紙紐で一括り 括り紐がゆるみバラバラになるので一括してSILティッシュに包んで紐をかけた

24-156-1	東京市京橋区銀座二丁目九番地大倉組鉄砲店広告	明治24年1月	41.0×60.0	1通		
24-156-2	東京市京橋区銀座二丁目九番地大倉組鉄砲店広告	明治23年10月	39.0×50.0	1通		
24-156-3	東京市京橋区銀座二丁目九番地大倉組鉄砲店広告	明治24年1月	39.0×50.0	1通		
24-156-4	東京市京橋区銀座二丁目九番地大倉組鉄砲店広告	明治24年1月	26.0×46.0	1通		
24-156-5	東京市京橋区銀座二丁目九番地大倉組鉄砲店広告	明治24年1月	26.0×47.0	1通		
24-156-6	東京市京橋区銀座二丁目九番地大倉組鉄砲店広告	明治24年1月	39.0×50.0	1通		
24-156-7	〔東京市京橋区銀座二丁目九番地大倉組鉄砲店広告〕	明治24年11月1日	20.0×27.0	1通		
24-156-8	〔罫紙〕	年月日未詳	罫紙	1枚		「大日本帝国岡山県尋常中学校試験答按用紙」
24-156-9	〔囲碁板写し〕	年月日未詳	40.5×44.0	1枚		
24-156-10	〔名越為吉宛大倉組鉄砲店書状〕	年月日未詳	縦切紙	1通(3枚)	村田銃と元折銃の支援はできなくはないが御地にて売却の上、当店でお買い求め下さるべし	大倉組鉄砲店所用罫紙使用
24-157	明治二己巳曆	明治元年	16.0×11.5	1冊	弘曆所 大阪内平野町明神前 松浦善右衛門	摺物
24-158	明治十三年略本曆	明治12(力)年	16.0×11.5	1冊	東京・大阪領曆商社	摺物
24-159	明治十四年略本曆	明治13(力)年	16.0×11.5	1冊	東京・大阪領曆商社	摺物
24-160	明治十五年略本曆	明治14(力)年	16.0×11.5	1冊	領曆社	摺物
24-161	明治廿五年略本曆	明治24年10月24日	16.0×11.5	1冊	神宮司庁	摺物
24-162	明治廿六年略本曆	明治25年10月25日	16.0×11.5	1冊	神宮司庁	摺物
24-163	〔帳簿類・絵図〕			1包(仮4冊3通8冊1袋)		24-163-1～16が風呂敷に包まれている
24-163-1	古地亥ノ年御蔵計リ人別書抜	年月日未詳	美・横長	仮1冊	鶴倉蔵米壹斗他	
24-163-2	覚(銀札書上)	戌年12月	横継紙	1通	西原好蔵銀札百拾五匁他	
24-163-3	〔酉年分見取米書上〕	年月日未詳	横継紙	1通	見取米壹石三升の内訳	
24-163-4	覚(銀札書付)	亥年12月	横継紙	1通	西原好蔵銀札百拾五匁他	
24-163-5	文久三亥年九月 去戌年古地小作米不足書抜	文久3年9月	美・横長	1冊		
24-163-6	子年御蔵計リ俵数并内計リ人別共書抜	年月日未詳	美・横長	仮1冊	鶴倉蔵米貳斗他	
24-163-7	戌年古地検見引人別書抜	年月日未詳	美・横長	仮1冊		
24-163-8	元治元子年九月 去亥年小作米不足并取替銀共書抜	元治元年9月	美・横長	1冊		
24-163-9	文久三亥年十二月 当亥年分小作米代銀書抜	文久3年12月	美・横長	1冊		
24-163-10	明治十二年四月 霧新田寅小作米代書抜 東大橋	明治12年4月	美・横長	1冊		
24-163-11	〔絵図・書類〕			1袋(1冊2通1枚仮3冊1纏め7舗)		24-163-11-1～15一袋(袋上書)「小津村之内粟里郷三平新田并直嶋絵図其外書類入 絵図数通入 大橋通護扣」(端裏貼紙)「直嶋之内新潟沖略図写 但此分ハ外方より廻り候分 戌年写置候分」
24-163-11-1	直嶋新開絵図	戌年	縦紙	1枚		
24-163-11-2	〔塩浜御検地御高入書付〕	年月日未詳	横継紙	1通	小津村・尻海村分	
24-163-11-3	〔小津村塩浜分間書上〕	年未詳3月18日	美・横長	仮1冊	立会人大庄屋大ヶ嶋村常次郎他6名 〆8町9反8畝5歩	
24-163-11-4	邑久郡尻海村前干潟西ハ鼻いな迄略絵図	年月日未詳	52.5×118.8	1舗		「大手一文字貳百七拾間 地方貳百間 横百五拾間 此凡畝拾壹町五反」と書かれた貼紙あり
24-163-11-5	讚州直嶋新潟沖塩浜新開絵図	天保10年11月	38.1×55.1	1舗	新開築立人讚州直嶋庄屋見習源左衛門・右同断備中倉敷村年寄平右衛門・右同断年寄源助一倉舗役所	
24-163-11-6	邑久郡尻海村之内字舗并入江干潟絵図	年月日未詳	38.8×53.9	1舗		「大手一文字凡百四拾間 横凡百間 此見面凡畝四町六反」と書かれた貼紙あり
24-163-11-7	邑久郡小津村之内三平新田地先国庄干潟新塩浜絵図	年月日未詳	76.3×79.7	1舗		「但分間にて壹歩丈間の積調之」の書付あり
24-163-11-8	直嶋ノ内小嶋取洲絵図	天保7年2月16日	78.7×80.9	1舗	讚岐国直嶋庄屋兵右衛門他2名・同直嶋之内男木嶋庄屋又兵衛他2名・同直嶋之内女木嶋庄屋又左衛門他2名 「天保七申年二月十六日二御役所江差上候扣」	(端裏貼紙)「直嶋ノ内小嶋取洲絵図」
24-163-11-9	天保十一年子正月 小津村新塩浜御見分之節書類写し 大ヶ嶋村常次郎	天保11年正月～9月	半・横長	1冊		
24-163-11-10	〔帳簿類〕			1纏め(仮4冊)		24-163-11-10-1～4が帯封で纏められている(帯封上書)「此分粟里郷榜示を入不申内凡間数ニ積書いたし候分」
24-163-11-10-1	〔板坪等作事仕様書〕	年月日未詳	半・横長	仮1冊		
24-163-11-10-2	〔釜屋壺軒分入用等書付〕	年月日未詳	半・横長	仮1冊		
24-163-11-10-3	仕様書	年月日未詳	半・横長	仮1冊		

24-163-11-10-4	粟里郷入江反別凡普請仕様書	天保10年3月15日	美・横長	仮1冊	天保10年3月15日喜左衛門方においてあが屋治太郎方へ年来立入候浜師赤穂かり町2丁目積屋芳介仕立に御座候	
24-163-11-11	天保十亥年 邑久郡小津村之内粟里郷入江干潟新塩浜絵図	天保10年	54.8×79.3	1舗		「但分間にてき歩忒間の積調之」の書付あり
24-163-11-12	粟里郷入江凡積	年月日未詳	美・横長	仮1冊		
24-163-11-13	当座勘定控	年未詳正月26日～2月17日	半・横長	仮1冊		
24-163-11-14	邑久郡尻海村小津村奥浦村牛窓村之内師楽右四ヶ村沖入海見取(絵図)	年月日未詳	55.2×79.2	1舗		
24-163-11-15	為取替申請定証文之事	天保10年11月	縦継紙	1通	讃州直嶋庄屋見習源左衛門・備中倉敷年寄平右衛門・同年寄源介 直嶋海面干潟字新潟沖塩浜新開につき仲間議定	
24-163-12	元治元子年五月 去亥年分小作米不足并取替銀書抜	元治元年5月	美・横長	1冊		
24-163-13	[すしや通い]	年月日未詳	半・横長	仮1冊		
24-163-14	亥五月 去戌年小作米不足書抜	亥年5月	美・横長	1冊		
24-163-15	[小作米に関する帳簿]	文久2年12月	美・横長	1冊		表紙の下半分が欠損 「文久二戌十二月 古地当成年小作」のみ残っている
24-163-16	安政二乙卯年九月 鶴新田古開所持地書抜	安政2年9月	美・横長	1冊		
24-164	[表紙]	万延元年11月15日～文久3年11月25日	36.0×14.0	1枚		「万延元庚申年十一月十五日ヨリ 万延二年[ ]文久元年二改ル至文久三癸亥年十一月廿五日 小作米取立場帳」の書付あり 表紙のみ
24-165	[表紙]	年月日未詳	19.0×12.8	2枚		白紙
24-166	[表紙]	年月日未詳	37.0×14.0	1枚		「中嶋屋」の書付あり
24-167	[表紙]	明治5年3月吉日	31.5×11.5	1枚		「明治五年申正月吉日ヨリ日雇人足帳」の書付あり
24-168	[表紙]	年月日未詳	32.0×11.7	1枚		「東大橋」の書付あり
24-169	[表紙]	年月日未詳	21.5×14.0	1枚		「通」の書付あり
25-1	[大橋源助宛大橋徳蔵書状類]			1括り(3纏め4包34通仮1冊)		25-1-1～42紙紐で一括り(神紐の紙紐書付)「未十月より申十二月迄徳蔵書状入」紙紐が切れそうなのでSILティッシュで結ぶ
25-1-1	[大橋源助宛大橋徳蔵書状]	年未詳5月18日	横継紙	1通(2枚)	近況報告	包紙あり(包紙上書)「備中倉敷大橋源助様 摩嶋内大橋徳蔵 要用無事」(包紙裏書)「五月十八日認出 自京師」
25-1-2	[大橋源助宛大橋徳蔵書状]	年未詳9月5日	横切紙	1通(3枚)	金子拾両・衣類共拝受、仁科先生後日廿七八日頃帰郷の件、本家貞蔵子死去の件について	(包紙上書)「備中倉敷二て大橋源助様 摩嶋内大橋徳蔵 要用無事」(包紙裏書)「京都東洞院通四条上ル処 九月五日発」裏表共早飛脚の印あり
25-1-3	[大橋源助宛大橋徳蔵書状]	年未詳4月3日	横継紙	1通	近況報告 鶴新先生へ持病の見舞を伝えてほしい	(包紙上書)「倉子城二て大橋源助様 自京都大橋徳蔵 要用無事」
25-1-4	[大橋源介宛徳蔵書状]	年未詳10月22日	横継紙	1通	仁科先生京都出立の件、前漢書差上の件、三国志は明春になるかもしれないことなど	「端裏書」「十一月三日 板屋船ヨリ相達ス」
25-1-5	[大橋源助宛大橋徳蔵書状]	年未詳2月17日	横継紙	1通	旧獵の金子三両到着のこと 此次は三国史を求める積りであること 夏物の紋付一枚他を送ってほしい	(包紙上書)「備中倉敷大橋源助様 大橋徳蔵 拝復」(包紙裏書)「自京師」
25-1-6	覚(支出・借用書上)	年月日未詳	横継紙	1通	筆・紙墨之類・飯料・書籍・仁科先生ノ口入など	
25-1-7	[大橋宛同徳蔵書状]	年未詳7月15日	横継紙	1通	雷首翁石碑出来二付き取かえ銀について	(端裏書)「勘定書添 申七月晦日達ス」
25-1-8	覚(金受取)	年月日未詳	横切紙	1通		
25-1-9	[大橋源助宛大橋徳蔵書状]			1纏め(2通)		25-1-9-1の中に25-1-9-2が巻き込まれている
25-1-9-1	[大橋宛大橋徳蔵書状]	年未詳4月10日	横継紙	1通	夏衣類受取のこと、三国史を巻両三歩式朱にて求めたこと、高野山参詣は暑気が甚しいので延引されてはどうかなど	(端裏書)「五月十一日 板屋船より達ス」
25-1-9-2	覚(衣類品数書付)	年未詳4月10日	横切紙	1通	綿入常着并寝衣・古袴・古羽織・半てんの五品送付添状	
25-1-10	[大橋金平宛大橋徳蔵書状]	年未詳12月13日	横継紙	1通(2枚)	松南先生の「御手跡」を依頼したところ早速承知 唐紙十枚に認めてもらって五両、表具料が十両程懸るとの由 しかし先生も御繁多なので「何れ年内ノ事」になるのではないか	(上書)「大橋金平様 同徳蔵 奉復」 追伸は別紙に記されている
25-1-11	[大橋源助宛大橋徳蔵書状]	年未詳6月3日	横継紙	1通	無事勤学のこと、芝輔放蕩のこと、前漢書売払いの件など近況報告	包紙あり(包紙上書)「備中倉敷井上町大橋源助様 摩嶋内大橋徳蔵 要用無事」(包紙裏書)「六月三日出 自京都東洞院四条上ル」(端裏書)「六月十九日 板屋舟ヨリ達ス」
25-1-12	[大橋源助宛大橋徳蔵書状]	年未詳6月22日	横継紙	1通	逸見一太郎、鴨明神にて西科先生・足立敬治と避暑などについて	(包紙上書)「備中倉敷大橋源助様 摩嶋塾大橋徳蔵 貴下」(包紙裏書)「六月廿二日認 從京都」
25-1-13	[大橋金平宛大橋徳蔵書状]	年未詳正月20日	横継紙	1通	衣類送付依頼	(包紙上書)「備中倉敷大橋金平様 大橋徳蔵 要用無事」(包紙裏書)「從京師大坂迄済 正月廿六日 四月朔日着ス」
25-1-14	[大橋源介宛綱島丙吉書状]	年未詳12月18日	横継紙	1通	京都への金子入書状落手、大鴨頂戴の御礼などについて	(包紙上書)「倉敷大橋源介様 綱島丙吉 貴下」(包紙裏書)「自三本木旅宿」
25-1-15	[大橋源助宛大橋徳蔵書状]	年未詳11月朔日	横切紙	1通	袴を急ぎ送ってほしいが別に南部綿位の羽織をよこしてほしい 書物については貸本がなかったので困っている	(包紙上書)「備中倉敷大橋源助様 大橋徳蔵 要用無事 自京都東洞院四条上ル」(包紙裏書)「十一月朔日出 十二月五日着」
25-1-16	[大橋源助宛大橋徳蔵書状]	年未詳12月15日	横継紙	1通(3枚)	袴羽織拝受のこと、酒津敬太郎播州より不快にて帰郷のこと、史記抜筆の件他	(包紙上書)「備中倉敷大橋源助様 大橋徳蔵 要用平安」(包紙裏書)「從京都 申正月五日 早島船達ス」
25-1-17	[尊大人(源助)宛徳蔵書状](追伸)	年未詳8月25日	横切紙	1通(2枚)	松南先生の書1枚・扇子2本・猪飼先生の書1枚など差上げのこと	1枚は中に挟み込まれている
25-1-18	覚(京都への荷物受取証)	戌年8月17日	横切紙	1通	井田屋船→新宅中嶋屋	
25-1-19	[大橋源介宛大橋徳蔵書状]	申年8月24日	横継紙	1通	仁科先生消息	(端裏書)「申八月廿五日出 九月四日板屋舟より達ス」

25-1-20	[大橋源助宛大橋徳蔵書状]	年未詳10月21日	横継紙	1通	仁科先生同伴にて御所・加茂宮など遊樂などについて	(包紙上書)「備中倉敷大橋源助様 大橋徳蔵 賃先払要用無事」 (包紙裏書)「京都東洞院四条上ル 摩嶋内」(端裏書)「十二月五日着」
25-1-21	[書状類]			1包(2通)		25-1-21-1~2-1包 (包紙上書)「備中倉敷大橋源助様 從京都大橋徳蔵 要用無事」(包紙裏書)「十二月四日」(端裏書)「申正月五日 早島船より達ス」
25-1-21-1	[大橋源介宛綱島泰輔書状]	年未詳12月2日	横継紙	1通	金五両送付の依頼などについて	(包紙上書)「備中倉敷大橋源介様 綱島泰輔 無事 内要用書在中」
25-1-21-2	[大橋源助宛大橋徳蔵書状]	年未詳12月4日	横継紙	1通	金子綱島より受取、袴購入などの件について	
25-1-22	[大橋源助宛徳蔵書状]	年未詳10月9日	横継紙	1通	塾中の様子、足立敬治のこと、詩経集注、玉篇のこと	(包紙上書)「備中倉敷井上町大橋源助様 尊下 摩島内二而 同徳蔵」(包紙裏書)「京都四条通東洞院 十月二十八日 大黒屋文助より来ル」
25-1-23	覚(洪紙包壱ツ受取)	申年2月27日	横継紙	1通	いた店→新宅中島屋	
25-1-24	[大橋源助宛大橋徳蔵書状]	年未詳3月19日	横切紙	1通(2枚)	猪飼老先生の壮健なる御様子ほか	(包紙上書)「倉敷大橋源助様 自京師大橋徳蔵」(包紙裏書)「三月十九日認出 四月八日本家より達ス」
25-1-25	[大橋源助宛綱島泰輔書状]	年未詳2月23日	横切紙	1通	大橋尊大人宛徳蔵書状にて、綱島氏宅丙吉役介の儀につきお礼申上げの件	(包紙上書)「備中倉敷大橋源助様 九条屋鋪内綱島泰輔 要用無事」(包紙裏書)「二月廿三日認出 自京師 同廿九日着」
25-1-26	[大橋源助宛大橋徳蔵書状]	年未詳3月21日	横継紙	1通	夏衣類受取他	(包紙上書)「備中倉敷大橋源助様 要用無事 大橋徳蔵」(包紙裏書)「從京師 三月廿三日 四月九日 川入より達ス」
25-1-27	[大橋源助宛大橋徳蔵書状]	年未詳9月29日	横継紙	1通(2枚)	三国史卒業、詩経、東北史纂等の勉学状況、京中諸色高値につき食生活のこと、祇園宮祭礼のこと	(包紙上書)「備中倉敷阿知町大橋源助様 摩島内大橋徳蔵 要用無事」(包紙裏書)「九月廿九日認出 改廿日受取 從京都東洞院四条上ル処」
25-1-28	[大橋源助宛大橋徳蔵書状類]			1包(2通)		25-1-28-1~2包紙一包 (包紙上書)「備中倉敷大橋源助様 大橋徳蔵 急要用無事」(包紙裏書)「自京師東洞院四条上ル所 二月八日認 四月九日来ル」
25-1-28-1	[大橋尊大人(源助)宛大橋徳蔵書状]	年未詳2月6日	横継紙	1通	寒中見舞の事 赤石先生倉敷にお越しとの事	(上書)「尊大人様 貴下 徳蔵拜」
25-1-28-2	覚(三月節句頃迄に送付してもらいたい衣類書上)	年未詳2月8日	横継紙	1通	大橋徳蔵→大橋源助	
25-1-29	[大橋金平宛大橋徳蔵書状]	年未詳9月29日	横継紙	1通	金子入用の件	(上書)「倉敷にて大橋金平様 貴下 自京師 同徳蔵」
25-1-30	[大橋源助宛大橋徳蔵書状]	年未詳2月10日	横切紙	1通	2月8日の源助書状に対する返礼など近況報告	(包紙上書)「備中倉敷井上町大橋源助様 大橋徳蔵 要用無事」 (包紙裏書)「自京師 三月十日認出」 (端裏書)「西阿知新見店屋より達ス」 (包紙裏書)「自京城 三月十日認出 四月朔日 西阿知新見庄屋より達ス」
25-1-31	[大橋尊大人宛大橋徳蔵書状]	年未詳7月28日	横継紙	1通	近況報告、春斎先生への見舞、衣類の送付についてなど	(包紙上書)「倉子城にて大橋源助様 自京師 同徳蔵 要用無事」 (包紙裏書)「七月廿八日夕出」(端裏書)「八月五日達ス 父上」
25-1-32	[大橋源助宛大橋徳蔵書状]	年未詳正月5日	横切紙 横折紙	1通(3枚)	尊大人と兄上への新春年賀、呂羽織、紗羽織、紋付袴送付依頼	(包紙上書)「備中倉敷大橋源助様 自京師大橋徳蔵 無事要用」 (包紙裏書)「二月朔日出」 大黒屋文助宛綱島泰輔書状の包紙を転用
25-1-33	[徳蔵書状](追伸)	年月日未詳	横切紙	1通	勝之丞学僕出奔の件につき報告	包紙・本文なしの追伸のみ 「月日」のみ記載 宛所なし
25-1-34	[大橋源助宛徳蔵書状]			1包(3通)		25-1-34-1~3までが同じ包紙に包まれている (包紙上書)「備中倉敷大橋源助様 摩島内 同徳蔵 平安要用」(包紙裏書)「五月十四日認出」 包紙破損の為SILティッシュで包む
25-1-34-1	[大橋源助宛大橋徳蔵書状]	年未詳5月14日	横継紙	1通(2枚)	貞治、良平出奔の事について 東坂法帖購入のこと	
25-1-34-2	[大橋源助宛大橋徳蔵書状]	年未詳5月14日	横切紙	1通	金比羅参詣無事帰郷の祝い 安田敬太郎京都来訪のこと	(上書)「大橋源助様 大橋徳蔵拜 要用無事」(裏書)「十四日 自京都」
25-1-34-3	覚(東坂法帖代銀受取)	申年5月	横切紙	1通	巽善右衛門→大橋徳蔵	
25-1-35	[大橋源助宛大橋徳蔵書状]	年未詳2月朔日	横継紙	1通	年明けても書状が一本も来ないことについて安否問い合わせ	(包紙上書)「大坂安治川備中屋源市様 備中倉敷大橋徳蔵 急要用無事」(包紙裏書)「從京師東洞院四条上ル処 摩島内 二月十八日認出」 大橋徳蔵宛綱島丙吉書状の包紙を転用
25-1-36	[大橋源介宛大橋徳蔵書状]			1包(2通)		25-1-36-1~2-1包 (包紙上書)「備中倉敷大橋源助様 從京都大橋徳蔵」(包紙裏書)「十二月念一日 十二月廿七日元吉より届」 大橋徳蔵宛大橋喜久太書状の包紙を転用
25-1-36-1	[大橋源助宛大橋徳蔵書状]	年未詳12月21日	横継紙	1通(2枚)	榊原殿借入証文の件 三本木依頼の件	(包紙上書)「備中倉敷大橋源助様 自京都大橋徳蔵 要用平安」 (包紙裏書)「十二月廿一日出」
25-1-36-2	[大橋源介宛大橋徳蔵書状]	年未詳12月20日	横切紙	1通	綱嶋氏に袴調度の依頼 諸先生の動向 学業の報告など	
25-1-37	[大橋金平宛大橋徳蔵書状]	年未詳11月20日	横継紙	1通(2枚)	前漢書貳両、飯料三歩その他雑費がかかり当暮の飯料は足りないと思うので綱島まで送ってほしい 南部嶋位の羽織、紋付袴とともに送付依頼	(包紙上書)「備中倉敷大橋金平様 大橋徳蔵 奉復要用 平安」 (包紙裏書)「十一月廿日」(端裏書)「十一月廿八日 藤屋留吉持帰ル」
25-1-38	[大橋源助宛徳蔵書状]	年未詳11月4日	横継紙	1通(2枚)	白谷先生の役介により漢書を二両にて求めること 別紙は十一月十七日付、井汲松平より大橋源介宛書付	(包紙上書)「備中倉敷大橋源助様 大橋徳蔵 從京都四条東洞院大橋徳蔵 要用無事」(包紙裏書)「十一月五日認出 十一月十七日井汲松平ヨリ達ス」
25-1-39	[書状類]			1纏め(2通)		25-1-39-1に25-1-39-2が挟み込まれている (端裏書)「申十一月廿四日 大坂屋庄右衛門より達ス」 虫損のため一部欠落の恐れあり
25-1-39-1	[大橋源助宛同徳蔵書状]	申年11月7日	横継紙	1通	京都二条辺出火につき仁科先生見舞などについて	
25-1-39-2	覚(荷物の問い合わせ)	(申年11月カ)	横切紙	1通	漢書50巻、衣類2枚発送の問い合わせ	
25-1-40	覚(肴包式ツ書状壱通受取)	年未詳5月18日	横切紙	1通		

25-1-41	[書状]			1纏め(2通)		25-1-41-2に25-1-41-1が巻き込まれている
25-1-41-1	[独鶴兄宛白谷書状]	年未詳11月17日	横継紙	1通	徳蔵勤学の件につき	
25-1-41-2	[大橋源介宛丈介書状]	年未詳11月17日	横継紙	1通	仁科から別紙の通り「徳蔵様御出精」の様子を知らせてきたことを伝える	(上書)「大橋源介様 丈介」
25-1-42	覚(支払い書上)	未年11月19日	美・横長	仮1冊	舟入用・きせる・宿払いほか代銀書上 忠八→新宅	綴っていない一紙「覚」も折り込む
25-2	御初出入 御献立	年未詳10月22日	横継紙	1通		(端裏書)「脇坂氏分」
25-3	献立	年月日未詳	縦継紙	1通		(端裏書)「桑田氏養子引請献立」
25-4	[大橋源介宛備前治兵衛書状]	子年正月22日	横継紙	1通	飛脚駄賃の覚	(包紙上書)「備中倉敷阿知町大橋源介様 備前屋治兵衛 貴答急用書」(包紙裏書)「正月廿三日 手渡賃済」
25-5	[大橋尊大人宛大橋徳蔵書状](追啓)	年未詳8月朔日	横継紙	1通	西新宅不幸の儀勢州に参るにつき、下着、夜具のこと 船便の賃残り算用願上	包紙なし 本文なく追啓のみ
25-6	[大橋源介宛井上寺仮宿坊書状]	年未詳2月7日	横継紙	1通	御品種々受取につき礼状	(上書)「大橋源助様 貴下 井上寺仮宿坊」未開封であったが調査の際開封
25-7	[大橋源介宛綱嶋泰輔書状]	年未詳12月朔日	横継紙	1通	金七両預り並び入用子細の件	(包紙上書)「大橋源介様 綱嶋泰輔 要用」
25-8	[大橋金平宛大橋徳蔵書状]	酉年10月2日	横継紙	1通	返信督促	(端裏書)「酉十月二日出候書状」
25-9	[大橋源介宛大橋徳蔵書状]	年未詳2月16日	横切紙	1通(3枚)	お金の無心、養生大事のこと、鼠損のことわり	(包紙上書)「備中倉敷阿知町大橋源介様 猪飼塾 大橋徳蔵 急要用無事」(包紙裏書)「二月十七日発 三月四日大坂備治より出ス 賃済 從津東町」(内包紙上書)「備中倉敷阿知町大橋源介様 猪飼塾 大橋徳蔵 急要用無事」(包紙裏書)「二月十六日発 從津東町」
25-10	[大橋源介宛備前屋治兵衛書状]	年未詳3月27日	横継紙	1通	勢州行きに金子六両の儀、急ぎ入用の件につき	(包紙上書)「備中倉敷井上町大橋源介様 備前屋治兵衛 貴答急用書」(包紙裏書)「三月廿七日 賃相済」
25-11	[大橋金平宛大橋徳蔵書状]	年未詳12月4日・5日	横継紙	1通(4枚)	和気屋藤兵衛上京に付き贈ってもらった皮足袋の礼 綱島氏より薬をもらうなど世話になっているので対面の節は礼を言っておいてほしい 金子の無心 近思録四巻の恵贈を願う	(包紙上書)「倉敷二而大橋金平様 摩島塾 同徳蔵 要用無事」(内包紙上書)「大橋金平様 自京都 大橋徳蔵」包紙保護の為SILティッシュで包む
25-12	[大橋源助宛大橋徳蔵書状]	年未詳正月5日	横折紙	1通(2枚)	新年御慶び、金子五両か六両下され度きこと、大坂の備前屋治兵衛方の受取を願うこと、別紙にて返信、飛脚便延引のこと	(包紙上書)「備中倉敷阿知町大橋源介様 大橋徳蔵 急要用無事」(包紙裏書)「正月十五日着 自津東町」
25-13	[大橋源介宛大橋徳蔵書状]	年未詳12月20日	横継紙	1通(2枚)	勢州着後、父よりの手紙なき事心配の件 塾号、尚志塾の件 別紙には「津東町猪飼承所内」の書付	(包紙上書)「備中倉敷阿知町大橋源介様 大橋徳蔵 正月十日着 急要用無事」(包紙裏書)「十二月二十日発 從津東町猪飼塾中」
25-14	[大橋源助宛大橋徳蔵書状]	年未詳12月5日	横継紙	1通(2枚)	漢籍など書物購入費の催促 正月は多忙のために帰郷できない旨 家族の病氣見舞い 詩文も読解しているため帰郷できない旨	(包紙上書)「備中倉敷阿知町大橋源介様 大橋徳蔵 要用無事」(包紙裏書)「十二月六日 從勢州津東町 同十八日大坂より出ス 賃済 十二月廿三日着」包紙保護の為SILティッシュで包む
25-15	[大橋尊大人・大橋金平宛大橋徳蔵書状]	年未詳5月2日	横継紙	1通	紛失したと思っていた金子入を昨日京師飛脚より受取ったこと 直島への出張に際しては海上往來の為悪天候の折には延引する様に	(端裏書)「子五月十四日着」
25-16	[大橋源介宛大橋徳蔵書状]	年未詳5月18日	横継紙	1通	大橋尊大人・大橋兄上様宛 金子入書状の受取のこと 源蔵死去のお悔み 祭礼 消息 金子十両受取のこと	(包紙上書)「備中倉敷大橋源介様 大橋徳蔵」(包紙裏書)「口津在町 五月廿日認出」
25-17	[書状]			1纏め(2通)		25-17-1~2一纏め (包紙上書)「備中倉敷井上町にて大橋源助様 摩島塾中 大橋徳蔵 急要用無事平安」(包紙裏書)「四月四日認 大坂迄賃済 從京都東洞院四条上ル所 四月十日着」
25-17-1	[大橋源助宛大橋徳蔵書状]	年未詳4月3日	横継紙	1通	京都で兄治療の件について	
25-17-2	[大橋源介宛大橋金平書状]	年未詳4月3日	横継紙	1通(2枚)	自らの病氣について (追伸)養生專一にすれば全快は疑いないと思う	(内包紙上書)「大橋源介様 綱島二而同金平 用事」
25-18	[大橋源介宛大橋徳蔵書状]	年未詳9月14日	横継紙	1通(2枚)	猪飼先生帰京の件 文介にもたせし書状落掌下されたきこと 金子のことなど 追信別紙にて猪飼先生の京での予定	(包紙上書)「倉敷大橋源介様 大橋徳蔵 御答平安」(包紙裏書)「九月十四日発 自京師 九月廿二日飛脚太助より達ス」
25-19	[大橋源介宛大橋徳蔵書状]	年月日未詳		1通		(包紙上書)「倉敷大橋源介様 要用無事 摩島塾 大橋徳蔵」虫損のため展開不能
25-20	[大橋源助宛大橋徳蔵書状]	戌年11月24日	横継紙	1通(2枚)	文章一編、詩六首差上の事 高松より届く衣類の送付依頼 (追伸)上下書具送付依頼	(端裏書)「戌十二月二日着」
25-21	[大橋尊大人宛徳蔵書状]	年未詳5月24日	横継紙	1通	近況報告、綱嶋へ品の届、姉の安産、金六両の受とり、縮緬羽織の受けとりなど	
25-22	[徳蔵書状追伸]	年月未詳朔日	横切紙	1通	ご養生の励し	本文なし
25-23	[大橋源助宛大橋徳蔵書状]	年未詳7月15日	横継紙	1通	大原先生が児島郡浦々に来られた際の宿を依頼する	(包紙上書)「倉敷二而大橋源助様 自京師大橋徳蔵 無事」
25-24	[詠草]	年月日未詳	17.5×22.5	1通	かねかなるふとめさむればあけいろの旭かよわきりに浮へり 尊人	二ツ折
25-25	[喜右衛門新年のあいさつ]	年未詳正月	横折紙	1通		
25-26	[白紙]	年月日未詳	横折紙	1枚		
25-27	[書状・下書・地図類]			1纏め(5通1纏め)		25-27-2~6までが25-27-1で巻かれている
25-27-1	[大橋源介宛地蔵院書状]	年月未詳11日	横切紙	1通	開帳の件は落着しなかった事	(上書)「大橋源介様 地蔵院拝 梧下」
25-27-2	乍恐以書付奉申上候(案文)	年月日未詳	縦紙	1通	酒造稼聞済願下書	
25-27-3	[源介宛次郎右衛門役用書]	年未詳12月17日	横切紙	1通	野生病気をしておして出勤すること	(上書)「源介様 次郎右衛門 役用書」
25-27-4	[地図下書]			1纏め(2枚)		25-27-4-1~2一纏め SILティッシュで包む
25-27-4-1	[地図下書]	年月日未詳	横切紙	1枚	東通・宮崎屋ほかの書付あり	
25-27-4-2	[地図下書]	年月日未詳	横切紙	1枚	西観龍寺・東五左衛門ほかの書付あり	

25-27-5	以書付御願申上候	年月日未詳	横継紙	1通(2枚)	定右衛門悴栄吉が打擲を受け傷を負った事件についての歎願下書	
25-27-6	乍恐以手付御歎奉申上候	年月日未詳	横継紙	1通	倉敷村役人一同の歎願 大坂での酒商買について	
25-28	[書状一括]			1括り(21通3包)		25-28-1~24紙綴りで一括り 括り紐に付箋あり(付箋書付)「徳蔵書札」
25-28-1	[大橋源助宛大橋徳蔵書状]			1包(4通)		25-28-1-1~4一包 包紙あり(包紙上書)「備中倉子城大橋源助様 摩島塾中 大橋徳蔵」(包紙裏書)「五月廿一日着」「京都東洞院四条上ル処 五月四日認」包紙が破損の為SILティッシュで包む
25-28-1-1	[大橋尊大人宛大橋徳蔵書状]	年未詳5月4日	横継紙	1通	書状及び金子受納のこと 安産を祝す 綱島氏預りの五両を受取差出したところ明廿六日金六両が届いたので、そのうち一両を又々差出し残りは綱島へ預けたこと他	
25-28-1-2	[大橋尊大人宛大橋徳蔵書状]	年未詳4月21日	横継紙	1通	生鯖巻尾・鯛一尾の礼状 仁科先生は当四日御地へ下向のこと 今便着の額地書枚は大黒屋啓次郎へ、半切は良太郎君へ贈る ように依頼	
25-28-1-3	[徳蔵追伸]	年月未詳22日	横切紙	1通		
25-28-1-4	[追伸]	年月日未詳	横切紙	1通	兄上様からの書状が届いたが宜敷伝えてほしい	
25-28-2	[大橋源助宛大橋徳蔵書状]	年未詳2月5日	横継紙	1通	三月の法事執行を承知し、船便ではなく歩行で帰郷する旨を伝える また、帰郷までに唐書を一覧する心積りであったこと、返金に対する御礼などを伝える	包紙あり(包紙上書)「備中倉敷大橋源助様 摩島塾 大橋徳蔵 急要用無事平安」(包紙裏書)「京都東洞院四条上ル処 二月十四日着 先済」大橋徳蔵の「口上」が同封されている
25-28-3	[大橋源助宛大橋徳蔵書状]	年未詳4月12日	横継紙	1通	兄上の病気について 当六日発足高野山を参詣し今朝京着のことなど	(包紙上書)「大橋源助様 自京都大橋徳蔵 要用無事」
25-28-4	[大橋源介宛綱島丙吉書状]	年未詳4月15日	横継紙	1通	金平様上京のところ何の風情もなく帰国なられ残念	(包紙上書)「備中倉敷大橋源介様 綱島丙吉 貢下」(包紙裏書)「自京都発」
25-28-5	[大橋源介宛金平他書状]			1包(2通)		25-28-5-1~2一包 (包紙上書)「備中倉子城大橋源介様 大坂より同金平 用事」
25-28-5-1	[大橋源介外2人宛金平・徳蔵書状]	年未詳3月28日	横継紙	1通	明朝京都へ屋船にて行く積りであること 三井であつらえものを見合新調すること	
25-28-5-2	[大橋源介宛金平書状]	年未詳3月28日	横切紙	1通	三井方の店で越後かすりなどを買い正札の通渡したこと	
25-28-6	[大橋源介宛大橋徳蔵書状]	年未詳6月23日	横切紙	1通(4枚)	疫病が流行しているが、自分も摩島塾の連中も町内の人々も無事穏やかに過ごしていること 帰郷については差し障りなさそうなこと 京都の米価は高騰しているが納涼床など賑っていること 鶴鶴春齋死去の報に対するお悔み等を伝え、書画ダンスの引出に入っている摩島松南翁の手跡の送達を依頼する	包紙あり(包紙上書)「備中倉敷二而大橋源介様 摩島塾中 大橋徳蔵 要用無事」(包紙裏書)「従京師東洞院通四条上ル処」大坂より賃銭先払「六月廿三日認出 七月十七日来ル」
25-28-7	[大橋源助宛徳蔵書状]	年月日未詳	横継紙	1通		包紙あり(包紙上書)「倉敷二而大橋源助様 同徳蔵 自京師 無事要用」(包紙裏書)「七月十五日 本家より来」虫損甚しく展開不能(端裏書)「酉正月十八日 川下元吉より届来ル」
25-28-8	[大橋尊大人宛徳蔵書状]	年未詳正月9日	横継紙	1通	新春挨拶 指上げの算用付についての説明	
25-28-9	[大橋尊大人宛大橋徳蔵書状]	年未詳12月13日	横継紙	1通	前漢書その他書画合作が到着したとの報せを受け安心したことを伝え、高価な唐書の購求について相談をもちかけたもの 追伸として、これから少々詩作もやってみる心積りであること 乞食人の餓死者が大量発生していることを伝える	(端裏書)「十二月廿七日 元吉より達ス」
25-28-10	[大橋源助宛大橋徳蔵書状]	年未詳7月16日	横継紙	1通	竹洞山水一幅を求めたこと 仲右衛門より依頼の額地を求めた大原先生が御地へ御越しになると思うので取はからいを依頼	包紙あり(包紙上書)「備中倉敷二而大橋源助様 摩島塾中 大橋徳蔵 要用無事」(包紙裏書)「京都東洞院四条上ル処 七月十九日出」ちん先払
25-28-11	[大橋源助宛大橋徳蔵書状]	年未詳7月25日	横継紙	1通	失礼があつたのを許して何かいってほしいとのこと 京都・大坂の米価について二白あり	包紙あり(包紙上書)「備中倉敷大橋源助様 摩島塾 大橋徳蔵 ちん先払 要用無事」(包紙裏書)「従京都東洞院四条上ル処 七月廿五日発」
25-28-12	[大橋源助宛大橋徳蔵書状]	年未詳8月15日	横継紙	1通(2枚)	仲右衛門お頼みの額地出来に付き差上げのこと 無地羽織一枚御越し願ひ 松原先生一行書拝受のこと	包紙あり(包紙上書)「備中倉敷二而 井上町大橋源助様 東洞院四条上摩島口 大橋徳蔵 書状在中」
25-28-13	[大橋喜久太・大橋金平宛大橋徳蔵書状]	年未詳12月20日	横継紙	1通(2枚)	帰郷が延引になり七日の書状の答もなく鬱々としている 綱島が帰京しても何の沙汰もなければ迎え旁々東都に行くつもりであることを知らせ、もし行く様なことになれば人足を一人よこしてほしい	包紙あり(包紙上書)「大橋喜久太様 大橋金平様 大橋徳蔵 要用無事」(包紙裏書)「自京師」
25-28-14	[大橋源助宛大橋徳蔵書状追伸]	年月未詳25日	横切紙	1通	2階の書画たんすの引出の中にしまつてある摩島松南翁の手跡 横幅1聯を盆前に好便にて送達してくれるよう依頼する	「二白」とあり 別文書の追伸と思われる 虫損あり
25-28-15	[大橋金平宛大橋徳蔵書状]	年未詳12月9日	横切紙	1通	綱島氏父子が6日に発足して倉敷に向かったことを伝え、金平の状況を尋ねたもの	包紙あり(包紙上書)「倉敷大橋金平様 大橋徳蔵 要用無事」(包紙裏書)「十二月九日 自京師」
25-28-16	[大橋源助宛大橋徳蔵書状]	年未詳10月10日	横継紙	1通(2枚)	拾両受取のこと 仁科先生東武御出立に付き自分も大津まで見送りのこと 常松の麻疹見舞 別紙に漢詩の書付あり	包紙あり(包紙上書)「備中倉敷大橋源助様 摩島塾中 大橋徳蔵 要用無事」(包紙裏書)「京都東洞院四条上ル処 十月十一日発」「十月十七日朝 受取 賃済」
25-28-17	[大橋源助・金平宛大橋徳蔵書状]			1包(2通)		25-28-17-1~2包紙一包 (包紙上書)「備中倉敷井上町大橋源助様 摩島塾中 大橋徳蔵 急要用無事平安」(包紙裏書)「従京師東洞院通四条上ル処」



25-28-17-1	[大橋源助・金平宛大橋徳蔵書状]	年未詳7月3日	横切紙	1通(4枚)	両3日以前の上京した大原先生に拝眉のこと 疫邪による病氣から身を守るには麗食を避け、鯛などの魚や酒の類を少しづつ食べるのがよいことなどを伝え、身体の弱い兄上様によく話すよう依頼する 伊藤長胤先生筆の孔明賛画の購求について述べた「二白」と不用になった綿入・袴・古袴などを差し上げる旨記した「覚」が附属する	
25-28-17-2	[大橋伯父・同金平宛綱島丙吉書状]	年未詳7月3日	横切紙	1通	暑中見舞を兼ねて、「此手紙巻通」を新庄中村留二郎方へ届けてくれるよう依頼したもの	25-28-17-1に添えられている
25-28-18	[某書状]	年月日未詳	横継紙	1通	長三郎より委細お聞きのことと思う 先頃帰郷の積りで須磨迄帰り尊大人に会った	虫損の為途中より展開不能
25-28-19	[大橋金平宛大橋徳蔵書状]	年未詳11月8日	横継紙	1通	送られた漬餅の礼 尊大人の留守中の繁多をねぎらう	包紙あり(包紙上書)「大橋金平様 摩島内大橋徳蔵 要用無事」(包紙裏書)「従京師東洞院四条上処 十一月八日認」
25-28-20	[大橋源助宛大橋徳蔵書状]	年未詳6月15日	横継紙	1通	先日角店長三郎立寄られ送って下さった帯などを落手した 其節五月下旬の頃安産の由と聞いたが後便にて委細を知らせてほしい	包紙あり(包紙上書)「倉敷二而 大橋源助様 自京都 大橋徳蔵 要事平安」
25-28-21	覚(徳蔵諸費用書付)	年未詳正月9日	横継紙	1通	飯料・先生謝義・諸雑費他	
25-28-22	覚(綱島より借用金書付)	年未詳正月9日	横継紙	1通		虫損甚しくSILティッシュで包む
25-28-23	[某宛徳蔵書状追伸]	年未詳正月9日	横継紙	1通	歳末祝儀として煙草入、その外さよりを贈られたことに対する礼	
25-28-24	[大橋源助宛大橋徳蔵書状]	年月日未詳		1通		虫損甚しく展開不能(上書)「倉敷二而 大橋源助様 自京師 大橋徳蔵 無事」 虫損甚だしい為SILティッシュで包む
25-29	[地券掛り吉田氏廻村之節書取]	年未詳10月21日	半・縦	仮1冊	地券下ヶ渡に付管内同一御主意説諭	
25-30	[算用書類]			1括り(19通2纏め)		25-30-1~21紙綴りで一括り
25-30-1	[定米見取米算用書]	元治元~明治3年	横折紙	1纏め(3丁)	重五郎分 巳年~未年 定米五石六斗 乙島半九郎分 元治元年~明治三年 見取米拾石三斗七升など	3丁重ねて折り畳みである
25-30-2	[田反別地代書上]	年月日未詳	縦紙	1通	壱ノ割は中田有畝五反七畝廿六歩半他7筆	
25-30-3	[物成書上]	年月日未詳	横切紙	1通	地高・物成・ぬかわら代算用方法書付	
25-30-4	[御林諸遺米・ぬかわら代書付]	明治4年12月	横切紙	1通	標題書のみ	
25-30-5	[当作稲毛畝見取米之内御蔵納人別書出]	明治4年11月	横折紙	1通	地主倉敷村大橋源介 箕嶋より子位庄分迄五千七百四拾六五歩 永拾貳匁五分など書付あり	
25-30-6	[重五郎小作料計算]	年月日未詳	横継紙	1通		破れがあったためSILティッシュで包む
25-30-7	[文化開・寛政開畝算用書]	年月日未詳	横折紙	1通	公畝壱反三畝廿七歩にて算用など	一部欠損
25-30-8	覚(相場七百三拾匁午年分残銀算用書付)	年月日未詳	横切紙	1通		
25-30-9	[戸長仕出・秀太仕出書付]	年月日未詳	横切紙	1通	戸長・秀太仕出し高書付	
25-30-10	[地券公畝割合算用書上]	年月日未詳	横継紙	1通	田畑反別物成書上	継目はがれあり
25-30-11	覚(銀請取書付)	天保10年11月晦日	横切紙	1通	中島屋→郡屋直吉	
25-30-12	[借用証]			1纏め(2通)		25-30-12-1~2一纏め
25-30-12-1	[借用証文雛形]	年月日未詳		1通	中疇小作人某→倉敷大橋秀太郎	
25-30-12-2	記(拾四円の借用証)	亥年9月5日	横切紙	1通	中疇赤木秀太→大橋	
25-30-13	[福田村未年申年米綿相場書付]	年月日未詳	横継紙	1通	明治4年~明治5年における米綿相場	
25-30-14	[米代金等書付]	年月日未詳	横折紙	1通		
25-30-15	[等級別反別収穫米代金勘定覚]	年月日未詳	折紙	1通	上等~下々等 収穫米・小作米・税費の収支勘定	
25-30-16	[弘化開反別人別書上]	明治6年9月	横継紙	1通(4枚)	元割大道西、壱割四道西貳反他	4枚が折り畳まれている
25-30-17	[人別屋敷耕地高書上]	年月日未詳	縦折紙	1通		
25-30-18	[小作地書上]	年月日未詳	横折紙	1通	小作地書上	
25-30-19	[小作地書上]	年月日未詳	横折紙	1通	小作地書上	
25-30-20	[段別見取米算用書上]	年月日未詳	縦紙	1通	個人ごとの見取米を納める量	小作証文の背紙に書き付けてある 貼り紙をして補足・訂正している
25-30-21	[地主連印書付]	明治8年12月	横折紙	1通	税法改政につき地価反別代価等取調 備前国児島郡内尾百姓惣代岩崎益次他4名	
25-31	昭和三拾五年一月 家賃其他雑記 東大橋	昭和35年1月	美・横列	1冊		
25-32	[田宅地面積価格書上]	年月日未詳	19.5×25.7 13.0×25.7	1纏め(4丁)	禎四郎・幹一・寿分	4通重ねて折り畳みである クリップを外してSILティッシュで包む
25-33	明治三十六年二月一日 当座帳	明治36年2月1日	美・横列	1冊		(裏表紙)「大福入」
25-34	覚(渋紙包壱ツ受取)	子年9月3日	横切紙	1通	板屋船→東新宅中島屋	
25-35	[大橋源介宛備前屋治兵衛書状]	年月日未詳	横切紙	1通		(包紙上書)「備中倉敷阿知町大橋源介様 急用書無異 備前屋治兵衛」(端裏書)「七月廿八日 自大坂賃相済」 虫損のため展開不能
25-36	[大橋源介宛備前屋治兵衛書状]	年未詳5月25日	横継紙	1通	勢州行金六両入書状、其後二度の書状取次の件	(包紙上書)「備中倉子城大橋源介様 備前屋治兵衛 貴答用書」
25-37	[大橋源助宛大坂備前屋治兵衛書状]	年未詳6月25日	横継紙	1通	金六両入書状延引の件	(包紙上書)「備中倉敷大橋源介様 備前屋治兵衛」 虫損甚し 包紙保護の為SILティッシュで包む
25-38	[大橋源介宛大橋徳蔵書状]	年未詳8月20日	横継紙	1通(2枚)	先生の帰京は明三月迄延引に付き自分も其節迄滞留のこと 追啓芸州大水の由、備中の様子をたずねる	(包紙上書)「備中倉敷大橋源介様 大橋徳蔵 要用平安」(包紙裏書)「従津東町[ ] 全賃済」 包紙保護の為SILティッシュで包む
25-39	[定米等書付一括]			1括り(5通)		25-39-1~5紙綴りで一括り

25-39-1	[公畝内訳書付]	年月日未詳	横切紙	1通		
25-39-2	[南四ノ割七十八番之内打添の高・定米・村費書付]	年月日未詳	横切紙	1通		
25-39-3	[畝高・定米書付]	年月日未詳	横切紙	1通		
25-39-4	[畝高・定米・村費書付]	年月日未詳	横切紙	1通		
25-39-5	[大橋秀太郎の定米・村費書付]	年月日未詳	横切紙	1通		
25-40	[預畝・預米書付他]			1括り(5通)		25-40-1～5紙綴りで一括り
25-40-1	[村費・預畝・預米書上]	年月日未詳		1通		虫損のため展開不能 SILティッシュで包む
25-40-2	[子位庄村の内東様分などの田畑書上]	年月日未詳	横継紙	1通	東様分・角様分・北様分	
25-40-3	[預畝及び預米書付]	年月日未詳	横継紙	1通		
25-40-4	[人別田畑石数書付]	年月日未詳	横継紙	1通	川入村内東様及び日吉村之内北様分	
25-40-5	[人別田畑石数書付]	年月日未詳	横継紙	1通	浜村分	
25-41	[質入証文]	年月日未詳	縦継紙	1通		
25-42	[書付類]			1纏め(2通)		25-42-1～2は重ねて折り畳んであった
25-42-1	覚(手本古文など書付)	年月日未詳	横切紙	1通		
25-42-2	[古文差上通知]	年月日未詳	横切紙	1通	勝王閣序など古文差上について	
25-43	[大橋源介宛大橋徳蔵書状]	年月未詳18日	横継紙	1通		(包紙上書)「備中倉敷大橋源介様 大橋徳蔵 要用平安」(包紙裏書)「[ ]月十八日発 自津東町」虫損の為展開不能 SILティッシュで包む
25-44	覚(金子入壺通受取)	子年正月12日	横切紙	1通	板屋船→新宅中嶋屋	
25-45	[大橋源介宛大橋徳蔵書状]	年未詳7月22日	横継紙	1通		(包紙上書)「備中倉敷阿知町 大橋源介様 猪[ ] 大橋徳蔵 急要用平安」(包紙裏書)「七月廿二日 從津東町」虫損の為展開不能 SILティッシュで包む
25-46	総目録	年月日未詳	縦継紙	1通	御当家様・元大橋様・北大橋様・西大橋様・大橋賢之甫様・大橋信吉様・大橋祥介様・亀山玄十二郎様・立石様・名越様・田辺様・宮家様・間野様宛へのそれぞれの贈物目録	包紙あり(包紙上書)「総目録」(端裏書)「二口橋初当入」
25-47	目録	年月日未詳	縦継紙	1通	大橋御祖母様・御御母上様・大橋良助様・同御内室様・同御児供様他への贈物目録	包紙あり(包紙上書)「目録」
25-48	茂久録	年月日未詳	縦継紙	1通	末広一函・上下一具・小袖一重他、進上品目録	包紙あり(包紙上書)「茂久録」 礼紙あり
25-49	[大橋尊大人・大橋兄上宛大橋徳蔵書状]	亥年3月6日	横継紙	1通	送金の御礼と新たな送金の御願い	(端裏書)「亥三月十八日着」
25-50	目録	年月日未詳	縦紙	1通	熨斗一連・帯一筋・家内喜多留一荷他進上品目録	包紙あり(包紙上書)「目録」 礼紙あり
25-51	道具目録	年月日未詳	縦紙	1通	筆筒式棹・化粧筆筒棹他道具目録	包紙あり(包紙上書)「道具目録」
25-52	目録	年月日未詳	縦紙	1通	御上下一具・鯛一折・寿留女一連・こんぶ一折・御樽一荷 已上	包紙あり(包紙上書)「目録」 礼紙あり
25-53	目録	年月日未詳	縦紙	1通	熨斗一連・御扇子一箱・行器一荷・御多留一荷・鯛一折 以上	包紙あり(包紙上書)「目録」 礼紙あり
25-54	目録	年月日未詳	縦紙	1通	大橋秀太郎様・御祖母様・お寿様宛進上品目録	包紙あり(包紙上書)「目録」 礼紙あり
25-55	茂久録	年月日未詳	縦継紙	1通	大橋原蔵様・大橋五良様・大橋仙之介様・大橋又四郎様・大森藤四良様・片山義太郎様・片山類吉様宛進上品目録	包紙あり(包紙上書)「茂久録」
25-56	目録	年月日未詳	縦紙	1通	本箱式箱・下駄箱一箇他	包紙あり(包紙上書)「目録」
25-57	目録 明治廿七年五月十七日 旧四月十三日 引受ヶ之節 目録 四通	明治27年5月17日	縦継紙	1通	大橋長蔵様・片山敬一郎様・田辺弘三様・井上信一郎様宛進上品目録	包紙あり(包紙上書)「目録」(包紙貼紙)「明治廿七年五月十七日 旧四月十三日引受ヶ之節目録 四通」
25-58	目録	年月日未詳	縦継紙	1通	田辺御老人様・名越為吉様・名越御令閨様・名越豊様宛進上品目録	包紙あり(包紙上書)「目録」
25-59	茂久録	年月日未詳	縦継紙	1通	長熨斗壹連・御扇子壹箱・御樽壹荷他進上品目録	包紙あり(包紙上書)「茂久録」
25-60	茂久録	年月日未詳	縦継紙	1通	大橋俊太郎様・御同御内室様・御同於寿様宛進上品目録	包紙あり(包紙上書)「茂久録」 礼紙あり
25-61	[大橋源介宛片山栄吉書状]	年未詳正月11日	横継紙	1通	年賀の挨拶と年玉の祝儀御礼状	包紙あり(包紙上書)「大橋源介様 拝復 片山栄吉」
25-62	[大橋源介・同金平宛片山善右衛門書状類]			1包(2通)		25-62-1～2包紙一包 (包紙上書)「大橋源介様 同金平様 片山善右衛門 貴答」
25-62-1	[大橋源介宛片山善右衛門書状]	年未詳正月11日	横継紙	1通	七十歳のお祝いは儉約中につき、二月に内々で祝儀をしようかと思っている	
25-62-2	[大橋源介・同金平宛片山善右衛門書状]	年月日未詳	横折紙	1通	年玉の品と自分への端物に対する礼状	
25-63	[大橋源介宛性徳院書状]	年未詳12月20日	横継紙	1通	足衣・広島海苔への礼状	包紙あり(包紙上書)「大橋源介様 性徳院 貴答」
25-64	[成光院書状]	年月日未詳	横切紙	1通	歳末の祝儀受取について	
25-65	[断簡]	年月日未詳	57.3×2.5	1枚		「油不引亀屋」の印あり
25-66	[大橋源介・金平宛片山良太郎書状]	年未詳2月27日	横継紙	1通(2枚)	長逗留の謝礼	包紙あり(包紙上書)「大橋伯父様 同金平様 中村片山良太郎 尊下要用」
25-67	[銀札勘定書上]	辰年4月3日～巳年3月22日	縦継紙	1通	辰五月五日銀札式拾五匁他	
25-68	[大橋金平宛玉承院書状]	年未詳正月22日	横継紙	1通	珍敷菓子と玉承院より普請につき祈禱の旨を記したもの	
25-69	[大橋源助宛篠崎九一郎書状]	年未詳12月7日	横継紙	1通	登坂し船奉行本多大膳に召し抱えられて件の報告	封筒あり(封筒表書)「大橋源助様 尊下 篠崎九一郎」
25-70	[大橋源介宛真田可平書状]	年未詳12月14日	横切紙	1通	見事な鯉魚一尾の礼	封筒あり(封筒表書)「大橋源介様 真田可平 貴酬」
25-71	[大橋伯父宛片山仲右衛門書状]	年未詳2月21日	横継紙	1通	年玉の謝礼と造作の見舞	
25-72	[大橋源助宛片山栄吉書状]	年未詳2月3日	横継紙	1通	彼岸頃迄御光駕を延引いたたく事	(上書)「倉敷中嶋屋大橋源助様 尊下 東三成片山栄吉」
25-73	[一件書類書上]	年月日未詳	横切紙	1通(2枚)	「浜田屋一件 瀬介一件 御役所詰一件 定右衛門願米屋一件」の書付と「すくひ金指出しをせり込可申候事」の書付	挟み込み文書一紙
25-74	[大橋源介・金平宛片山仲右衛門書状]	年未詳12月20日	横継紙	1通	お登和様の男子出生に対するお祝い状	
25-75	[舞時習会プログラム]	年月未詳25日	横切紙	1通		包紙あり(包紙上書)「新宅 大橋御氏様」

25-76	[大橋源助宛備前屋治兵衛書状]	年未詳正月2日	横折紙	1通	新年の挨拶	包紙あり(包紙上書)「備中倉敷大橋源助様 参人々御中 備前屋治兵衛」(包紙裏書)「正月二日 自坂」
25-77	[銀札勘定書上]	年月日未詳	縦継紙	1通		前後欠
25-78	[大橋源介・同金平宛片山善右衛門書状]	年未詳正月6日	横折紙	1通	年始の挨拶と鏡餅他進上のごこと 追啓として歳末の祝義の礼	包紙あり(包紙上書)「大橋源介様 同金平様 座下 片山善右衛門」
25-79	[大橋源助・同金平宛片山栄吉書状]	年未詳正月6日	横折紙	1通	年始の挨拶と鏡餅進上のごこと	虫損の為SILティッシュで包む
25-80	[大橋源介・大橋金平宛片山栄吉書状]	戊年12月20日	横継紙	1通(2枚)	年賦銀や取替金などの差引については年明に委しくするので別紙の通り受取ってほしい 別紙として「金拾八両」と「札百目」の式包の覚あり	(上書)「大橋源介様 御同金平様 片山栄吉 用事 金子添」
25-81	[大橋金平宛喜久太書状]	年月未詳19日	横継紙	1通	臺右衛門の行動や近況報告	(上書)「大橋金平様 喜久太 用事」
25-82	[大橋源介・同金平宛片山栄吉書状]	年未詳4月12日	横継紙	1通	先日の供物の礼とお返しとして小肴を進呈する旨を記したもの	封筒あり(封筒表書)「大橋源介様 机下 片山栄吉」
25-83	[大橋源介宛片山栄吉書状]	年未詳2月25日	横継紙	1通	小肴・御棚・初尾・鏡餅などの品物の送付について 徳玄居士の法事日程について	包紙あり(包紙上書)「大橋源介様 片山栄吉」
25-84	[大橋源助宛中原周介書状]	年未詳2月7日	横継紙	1通	勸法妙寿十七回忌のお知らせ	封筒あり(封筒表書)「くらしき大橋源助様 かたしま中原周介」
25-85	[大橋源助宛篠崎九一郎書状]	年未詳正月5日	横折紙	1通	新年の挨拶	包紙あり(包紙上書)「大橋源助様 篠崎九一郎」
25-86	[大橋源助宛為介書状]	年月未詳16日	横継紙	1通	浅口村々への出張の取次を依頼	(上書)「大橋源助様 貴下 為介」
25-87	[婚礼関係書類一括]			1袋(6通3括り)		25-87-1~9-1袋 (上書)「明治廿七年五月十七日吉祥 大橋高之引受二付祝儀書類入 高松園」袋破損に付きSILティッシュで包む
25-87-1	[婚礼関係書類]			1括り(仮4冊4通1括り)		25-87-1-1~9紙綴りで一括り
25-87-1-1	[明治廿七年午旧四月献立]	明治27年旧4月	美・横長	仮1冊		
25-87-1-2	[お幸引受之砌入用臨時費書付]	年月日未詳	美・横長	仮1冊		
25-87-1-3	記(氏名書付)	年月日未詳	半・縦	仮1冊	大原孝四郎・大橋平右衛門他81名の名が罫紙に 横切紙に6名の名が書かれている	
25-87-1-4	重之内送り先人名覚	年月日未詳	半・縦	仮1冊		
25-87-1-5	[氏名書付]	年月日未詳	横切紙	1通	おとい・おさと・おたかなど女性の名前及び家号書付	
25-87-1-6	記(代銀受取)	年未詳5月15日	横切紙	1通	干菓子代他 清太郎→上	
25-87-1-7	[氏名書付]	年月日未詳	横切紙	1通	白井芝石・大原孝四郎他51名	
25-87-1-8	初御来光	年月日未詳	横継紙	1通	接待の要領についての書付	
25-87-1-9	[婚礼関係書類]			1括り(仮3冊2冊)		25-87-1-9-1~5紙綴りで一括り 括り紐が切れている為SILティッシュで包む
25-87-1-9-1	献立	年月日未詳	美・横長	仮1冊	三宝熨斗鮑・初献引渡・雑煮・鮎子・本膳など	綴り紐はなく5丁が重ねられている
25-87-1-9-2	廿五日人足凡三拾式人分献立	年月日未詳	美・横長	仮1冊	熨斗・盃3つ組・雑煮・大硯蓋・吸物・鉢肴など	
25-87-1-9-3	重之内配り先	年月日未詳	半・横長	仮1冊	纏内井親類、懇意先、町内、雑など計143軒	
25-87-1-9-4	吉事手ひか恵	年月日未詳	美・横半折	1冊	料理人ほか雇入人の名簿、本家などからの借入品覚など	
25-87-1-9-5	歓到来物ひか恵	年月日未詳	美・横長	1冊		
25-87-2	[婚礼祝に関する書状類]			1括り(4通)		25-87-2-1~4紙綴りで一括り
25-87-2-1	[名越宛武志書状]	(明治27)年5月20日	横継紙	1通(2枚)	明21日の招待に対し、部内巡視の仕事があるため遅刻することを報す 別紙品々を進上	鯛・きすなど品々を書上げた別紙あり 封筒あり(封筒表書)「大橋氏方名越様 武志 別品相添」
25-87-2-2	[大橋宛高橋紀・佐藤武平書状]	(明治27)年5月19日	横継紙	1通	結婚挙行の祝い	封筒あり(封筒表書)「大橋様 高橋紀 佐藤武平拝」
25-87-2-3	[名越為吉宛片山義一郎書状]	(明治27)年5月21日	横切紙	1通	御婚儀相整い御案内をもらったことに対し祝意を告げ、案内をもらったが公務多用に付き欠席の旨を知らせる	(封筒表書)「窪屋郡倉敷町大橋寿殿二而 名越為吉様」(封筒裏書)「小田郡笠岡町片山義一郎」
25-87-2-4	[名越為吉宛梶谷伊平治書状]	(明治27)年5月22日	横切紙	1通	昨日饗応の御礼と「粗肴一尾」進上のごこと	包紙あり(包紙上書)「倉敷名越為吉様 梶谷伊平治 御礼書」
25-87-3	[祝宴関係書類]			1括り(9通)		25-87-3-1~9紙綴りで一括り
25-87-3-1	記(代金請取)	午年8月	横継紙	1通	新米なら萬→東大橋	
25-87-3-2	記(献上樽代金請求)	(明治)27年6月11日	横切紙	1通	岡山より倉敷までの献上樽・配達賃とも 白井英太郎→東大橋	
25-87-3-3	[各様宛名越為吉廻状]	年未詳5月18日	横継紙	1通	来たる21日、大原氏別荘にて酒宴の招待 宛先人はそれぞれ参否の意向の記入	封筒あり(封筒表書)「各様 名越為吉拝」
25-87-3-4	[各様宛名越為吉廻状]	年未詳5月18日	横継紙	1通	来たる21日に大原氏別荘で行われる酒宴の招待 宛先人はそれぞれ参否の意向の記入	封筒あり(封筒表書)「各様 名越為吉拝」
25-87-3-5	[各様宛名越為吉廻状]	年未詳5月18日	横継紙	1通	来たる21日、大原氏別荘にて酒宴の招待 宛先人はそれぞれ参否の意向の記入	封筒あり(封筒表書)「各様 名越為吉拝」
25-87-3-6	[各様宛名越為吉廻状]	年未詳5月18日	横継紙	1通	来たる21日に大原氏別荘で行われる酒宴の招待 宛先人はそれぞれ参否の意向の記入	封筒あり(封筒表書)「各様 名越為吉」
25-87-3-7	[各様宛名越為吉廻状]	年未詳5月18日	横継紙	1通	来たる21日に大原氏別荘で行う酒宴の招待 宛先人はそれぞれ参否の意向の記入	封筒あり(封筒表書)「各様 名越為吉」
25-87-3-8	[各様宛名越為吉廻状]	年未詳5月18日	横継紙	1通	来たる21日、大原氏別荘にて酒宴の招待 宛先人はそれぞれ参否の意向の記入	封筒あり(封筒表書)「各様 名越為吉」
25-87-3-9	[各様宛名越為吉廻状]	年未詳5月18日	横継紙	1通	来たる21日、大原氏別荘にて酒宴の招待 宛先人はそれぞれ参否の意向の記入	封筒あり(封筒表書)「各様 名越為吉」
25-87-4	[名越為吉・大橋寿宛井上信一郎書状]	(明治)27年5月16日	横切紙	1通	明日の結婚祝いとして小魚壺籠の送信状	封筒あり(封筒表書)「名越為吉様 大橋寿様 貴下」(封筒裏書)「井上信一郎」封筒が破損の為SILティッシュで包む

25-87-5	記(代金勘定書上)	午年7月	横継紙	1通	新米なら万→東大橋 一筆ごとに「○(○の中に合)」の印を捺す
25-87-6	証(代銀勘定書上)	年未詳5月15日	横継紙	1通	かちくり・昆布・つけなすび他代金勘定 大藤→口
25-87-7	[人名書上]	年月日未詳	横継紙	1通	(書出)大原孝四郎 大原順次郎他 人名に朱・墨書で合点及び
25-87-8	[金額別人名書上]	年月日未詳	横切紙	1通	○△の符号を記す
25-87-9	[人名書上]	年月日未詳	横切紙	1通	3円、弥一、吉造、富三他金額別に人名書上
25-88	明治廿一年八月廿六日 廿七日 旧七月十九日 廿日 俊操良瑩大姉七回忌 義光照道居士三回忌 如實覚道大姉三回忌 追福記録 東大橋	明治21年8月26日 ~27日	美・横長	1冊	(書出)大原孝四郎 大原順次郎 瀬尾又玄 (末尾)ノ七十人
25-89	明治三十六年五月廿一日 旧四月廿五日ヨリ 諦然玄鏡大姉様二十五回忌 心荘宜体大師様三十三回忌 清容知妍大姉様二十五回忌 音物到来帳	明治36年5月21日	美・横長	1冊	
25-90	明治廿三年三月十一日 十二日 旧正月廿一日 廿二日 瓊英自薫大姉三十三回忌 追福記録 東大橋	明治23年3月11日 ~12日	美・横長	1冊	
25-91	大正三年四月十二日 十三日 俊操良瑩大姉卅三回忌 諦観玄応居士五十回忌 音物到来帳 東大橋	大正3年4月12日~ 13日	美・横長	1冊	
25-92	明治三十四年十月一日 得脱覚理居士様十七回忌 弔祭記	明治34年10月1日	美・横長	1冊	
25-93	明治十八年十月二日 陰曆八月二十四日 得脱覚理居士様凶事覚	明治18年10月2日	美・横長	1冊	
25-94	明治廿五年十一月十六日 十七日 陰曆九月廿七日 廿八日 義光照道居士七回忌 如實覚道大姉七回忌 取越弔祭記	明治25年11月16日 ~17日	美・横長	1冊	
25-95	大正七年十二月壹日 貳日 義光照道居士様 如實覚道大師様 卅三回忌弔記	大正7年12月1日~ 2日	美・横長	1冊	
25-96	昭和九年十月 得脱覚理居士様五拾回忌 仏事扣帳 昭和拾壹年十一月十五日 十六日 義光照道居士様 如實覚道大姉様 五拾回忌音物帳 拾年十月九日 十日 当り壹年延期弔	昭和9年10月及び 昭和11年11月15・ 16日	美・横長	1冊	
25-97	明治三拾年五月九日 十日 旧四月八日 九日 諦観玄応居士様三拾三回忌 得脱覚理居士様三拾三回忌 弔祭記	明治30年5月9日~ 10日	美・横長	1冊	
25-98	明治三十一年日 義光照道居士十三回忌 如實覚道大師 十三回忌 俊操良瑩大姉十七回忌 音物到来帳	明治31年	美・横長	1冊	
25-99	明治貳拾貳年四月廿六日 廿七日 旧三月廿七日 廿八日 堯倫義浄居士三十三回忌 諦観玄応居士廿五回忌 純光童子五十回忌 追福記録 東大橋	明治22年4月26日 ~27日	美・横長	1冊	
25-100	[膳部仕度勘定覚]	年月日未詳	美・横長	1冊	SILティッシュで綴っている
25-101	明治四拾年三月五日 六日 旧正月廿一日 廿二日 瓊英自薫大姉様五拾回忌弔記	明治40年3月5日~ 6日	美・横長	1冊	
25-102	明治四拾貳年十月二日 三日 得脱覚理居士様貳拾五回忌音物帳	明治42年10月2日 ~3日	美・横長	1冊	
25-103	明治廿八年新五月十八日 十九日 旧四月廿四日 廿五日 心荘宜体大師廿五回忌 諦然玄鏡大姉十七回忌 清容智妍大姉十七回忌 弔祭記	明治28年5月18日 ~19日	美・横長	1冊	
25-104	明治四拾四年四月七日 八日 諦然玄鏡大姉様卅三回忌 清容知妍大姉様卅三回忌 音物到来帳	明治40年4月7日~ 8日	美・横長	1冊	
25-105	明治廿年一月廿一日 陰曆明治十九年十二月二十八日 義光照道居士様凶事覚	明治20年1月21日	美・横長	1冊	
25-106	明治廿七年三月廿八日 廿九日 陰曆二月廿二日 廿三日 哲翁紹完居士五拾回忌 俊操良瑩大姉十三回忌 弔祭記	明治27年3月28日 ~29日	美・横長	1冊	
25-107	大正六年五月拾貳日 拾参日 得脱覚理居士卅三回忌	大正6年5月12日~ 13日	美・横長	1冊	
25-108	昭和参年十二月八日 九日 諦然玄鏡大姉様 清容智妍大姉様五拾回忌音物帳	昭和3年12月8日~ 9日	美・横長	1冊	
25-109	明治四拾壹年五月廿七日 旧四月廿七日ヨリ 嵩岳弘秀清信士様百回忌音物到来帳	明治41年5月27日	美・横長	1冊	
25-110	明治卅九年二月廿日 旧正月廿七日 廿八日 俊操良瑩大姉廿五回忌 堯倫義浄居士五拾回忌音物帳	明治39年2月20日	美・横長	1冊	

25-111	明治廿四年五月廿二日 廿三日 旧四月十六日 十七日 諱然玄鏡大姉十三回忌 清容智妍大姉十三回忌 得脱覚理居士七回忌 弔祭記録	明治24年5月22日～23日	美・横長	1冊		
25-112	明治十九年十一月四日 旧曆十月九日 如実覚道大姉凶事覚	明治19年11月4日	美・横長	1冊		
25-113	[婚礼に関する書状勘定書類]			1袋(1冊18通1枚2袋)		25-113-1～22一袋 (袋上書)「吉事入用書類」
25-113-1	[大橋俊太郎・秀太郎宛片山類吉書状]	年未詳1月30日	横継紙	1通	眼病についての診察と費用について	
25-113-2	記(代銀勘定書)	年未詳1月30日	横折紙	1通		封筒あり(封筒表書)「備中窪屋郡倉敷村大橋俊太郎様 至急静信」(封筒裏書)「小田郡東三成村片山類吉 第一月三十日投ス」
25-113-3	[大橋秀太郎宛森田弘道書状]	年未詳3月10日	横切紙	1通	大橋が尋ねて来たが不在にしていたので用件について尋ねている	封筒あり(封筒表書)「大橋秀太郎様 侍史」(封筒裏書)「森田弘道」
25-113-4	[大橋俊太郎宛片山類吉書状]			1袋(2通)		25-113-4-1～2一袋 封筒あり(封筒表書)「備中窪屋郡倉敷村大橋俊太郎様 至急平信」(封筒裏書)「小田郡東三成村片山類吉 十二月十七日投ス」
25-113-4-1	[片山賢伯宛土屋十三郎書状]	年未詳12月15日	横継紙	1通(2枚)	結納送りの日限について	
25-113-4-2	[大橋俊太郎宛片山類吉書状]	年未詳12月17日	横継紙	1通	結納送りの儀について	
25-113-5	[大橋俊太郎・秀太郎宛片山類吉書状]	年未詳3月12日	横継紙	1通	扇子・下帯地など歎の験として進上のごと	封筒あり(封筒表書)「大橋俊太郎様 机下」(封筒裏書)「片山類吉」
25-113-6	[引越し祝儀・人足勘定覚]	年月日未詳	横継紙	1通		
25-113-7	[東大橋宛植田孫太郎書状]	年未詳3月11日	横継紙	1通	御膳部送恵に付謝礼	封筒あり(封筒表書)「東大橋君 侍坐御中 植田孫太郎」
25-113-8	[大橋俊太郎・秀太郎宛土屋長左衛門書状]	年未詳3月13日	横折紙	1通	樽肴等を進上、祝詞の証とす	包紙あり(包紙上書)「大橋俊太郎様 御同秀太郎様 梧右 土屋長左衛門」
25-113-9	[土屋長左衛門宛大橋俊太郎・同秀太郎書状]	年未詳3月14日	横折紙	1通	祝詞として樽肴他「御恵投」の礼状	
25-113-10	覚(代銀勘定書)	16年1月3日	横継紙	1通	千代平→東大橋 大振袖縫代・糸代等 二月四日付領収の書付あり	
25-113-11	記(代金請取)	年未詳5月8日	横切紙	1通	土屋源治郎→上 酒肴代金他	
25-113-12	記(代金勘定書)	年未詳5月1日	横継紙	1通	四十瀬屋文平→東大橋 糸米沢立横松白奉正代他	罫紙
25-113-13	記(人件費勘定書)	年月日未詳	横継紙	1通		
25-113-14	記(代金勘定書)	年未詳5月10日	横切紙	1通	土屋源治郎→上 酒肴代他勘定 計三円貳拾四銭	
25-113-15	[大橋俊太郎宛片山類吉書状及同封書状]			1袋(2通)		25-113-15-1～2一袋 封筒あり(封筒表書)「大橋俊太郎様 至急要用」(封筒裏書)「片山類吉」
25-113-15-1	[大橋俊太郎宛片山類吉書状]	年未詳2月23日	横継紙	1通	縁談引渡日限の件について 別紙書簡を同封	
25-113-15-2	[片山宛土屋十三郎書状]	年未詳2月22日	横継紙	1通(2枚)	小道具阪府より下らぬため、日限延引の状況を報ず	別啓一通を添える
25-113-16	[代金勘定覚]	年月日未詳	横折紙	1通	茶代・酒肴代・車夫他	
25-113-17	[大橋俊太郎宛片山類吉書状]	年未詳1月10日	横継紙	1通	結納の引渡しが無事に終了したことについて報ず	封筒あり(封筒表書)「備中窪屋郡倉敷大橋俊太郎様 至急平信 書留」(封筒裏書)「小田郡東三成村片山類吉 一月十日二投下」
25-113-18	記(錦代金書上)	年未詳旧11月17日	横切紙	1通	中屋嘉助→東大橋	
25-113-19	[大橋俊太郎・同秀太郎宛土屋重三郎書状]	年未詳3月13日	横継紙	1通	祝盃かたがた列席の謝礼	包紙あり(包紙上書)「大橋俊太郎様 御同秀太郎様 土屋重三郎 相働御礼書」
25-113-20	記(進上品目録)	年月日未詳	横継紙	1通	土屋御祖父様・御同父上様・御同母上様・御同鹿太郎への品物目録 扇子・表地など	
25-113-21	到来物記	年月日未詳	半・横半折	1冊	襟地・たこ・小鯛・酒など	
25-113-22	[包紙]	年月日未詳	縦紙	1枚		(包紙上書)「大橋俊太郎様 御同秀太郎様 土屋長左衛門 几下拝改」
26-1	弘化四年丁未九月吉日 両替控日記	弘化4年9月	半・横列	1冊		(裏表紙)「中島屋」
26-2	安政五年戊午盆後 諸入用勘定帳	安政5年	半・横列	1冊		(小口)「安政七庚申年潤三月より萬延元改ル 同二年三月より文久元年二改ル」(裏表紙)「東大橋」
26-3	文久三年癸亥年十月吉日 岡山控日記	文久3年10月～明治7年3月1日	半・横列	1冊		(裏表紙)「東大橋」
26-4	自文久三癸亥年十二月より明治二己巳年六月迄 諸入用勘定帳	文久3年12月～明治2年6月	半・横列	1冊		(挟み込み文書)「是迄之分毎年入用付込急情二相成申追而取調書出し之積」
26-5	元治二年乙丑正月吉日 日記	元治2年正月	美・横列	1冊		(小口)「元治二乙丑年同正月より慶応元改ル」(裏表紙)「大橋良介 大福入」挟み込み文書あり
26-6	慶應四年戊辰口月吉日 日記	慶応4年	美・横列	1冊		(小口)「慶應四戊辰年同九月より明治元改ル」(裏表紙)「大福入 大橋秀太郎」中に挟み込み文書3通あり
26-7	自明治二己巳年七月 至明治八乙亥年三月 諸入用勘定帳	明治2年7月～8年3月	美・横列	1冊		(裏表紙)「東大橋」
26-8	明治三年庚午口月吉日 日記	明治3年	美・横列	1冊		(小口)「明治三庚午年」(裏表紙)「大福入 大橋口太郎」綴じ紐が切れている為SILティッシュで包む
26-9	明治四年辛未正月吉日 日記	明治4年正月	美・横列	1冊		(小口)「明治四辛未年」(裏表紙)「大福入 大橋秀太郎」
26-10	明治六癸酉年八月 (貼紙)「請取帳」	明治6年8月	半・横列	1冊		表題も「渡帳」とあるところに貼紙で「請取帳」とす
26-11	明治七甲戌年五月ヨリ 請取帳	明治7年5月	半・横列	1冊		(裏表紙)「大橋秀太郎」
26-12	明治八年乙亥正月吉日 日記	明治8年正月	美・横列	1冊		(小口)「明治八乙亥年」(裏表紙)「大福入 大橋秀太郎」
26-13	明治十二年己卯一月吉日 日記	明治12年1月	美・横列	1冊		(小口)「明治十二己卯年一」(裏表紙)「大福入 大橋秀太郎」

26-14	明治十四年口十月より 小作貸付帳	明治14年10月	半・横列	1冊		(裏表紙)「東大橋」
27-1	天保二年辛卯正月 控帳	天保2年	美・横列	1冊		(小口)「天保二辛卯ヨリ同十五年弘化元二改 控帳」(裏表紙)「大福入 中島屋源介」「卯年初後渡り米書出ひかへ」1冊が挟み込まれている
27-2	天保十四年卯九月 興除新田中疇分御年貢并横役納帳 明治元辰年迄	天保14年9月	美・横列	1冊		(裏表紙)「倉敷中嶋屋源介」
27-3	慶応元乙丑年 鶴新田小作米定帳	慶応元年	美・横長	1冊		(裏表紙)「東大橋」
27-4	慶応二丙寅年 弘化開小作米定帳 福田新開見取米定帳	慶応2年	美・横長	1冊		(裏表紙)「東大橋」 括り文書あり
27-5	慶応三丁卯年 弘化開小作米定帳 福田新開見取米定帳	慶応3年	美・横長	1冊		(裏表紙)「東大橋」
27-6	明治元年九月吉日 戊辰小作米定帳	明治元年9月	美・横長	1冊		(裏表紙)「東大橋」
27-7	明治二年九月吉日 小作米定帖	明治2年9月	美・横長	1冊		(裏表紙)「東大橋」
27-8	慶應二年丙寅正月吉日 日記	慶応2年正月	美・横列	1冊		(小口)「慶応二丙寅年」(裏表紙)「大福入 大橋秀太郎」
27-9	慶應三年丁卯正月吉日 日記	慶応3年正月	美・横列	1冊		(小口)「慶応三丁卯年」(裏表紙)「大福入 大橋秀太郎」
27-10	明治五年壬申正月吉日 日記	明治5年正月	美・横列	1冊		(小口)「明治五壬申年」(裏表紙)「大福入 大橋秀太郎」
27-11	明治六年癸酉正月吉日 日記	明治6年正月	美・横列	1冊		(小口)「明治六癸酉年」(裏表紙)「大福入 大橋秀太郎」
27-12	明治七年甲戌正月吉日 日記	明治7年正月	美・横列	1冊		(小口)「明治七甲戌年」(裏表紙)「大福入 大橋秀太郎」
27-13	明治九年丙子正月吉日 日記	明治9年正月	美・横列	1冊		(小口)「明治九丙子年」(裏表紙)「大福入 大橋秀太郎」
27-14	明治十年丁丑正月吉日 日記	明治10年正月	美・横列	1冊		(小口)「明治十丁丑年」(裏表紙)「大福入 大橋秀太郎」
27-15	明治四辛未年十二月ヨリ 渡帳	明治4年12月	美・横列	1冊		(裏表紙)「東大橋」
28-1	[大橋徳蔵宛甚介書状]	年未詳11月12日	横継紙	1通	銀札不勝手、正金入用のこと	
28-2	記(請求書)	年未詳4月5日	横継紙	1通	高見和平次→大橋 加藤政次郎分他	
28-3	記(地券八通預り証)	明治14年1月24日	横継紙	1通	西坂村戸長役場→大橋秀太郎	
28-4	[証書類]			1括り(15通1包)		28-4-1~16紙綴りで一括り
28-4-1	覚(引渡し依頼状)	申年6月13日	横継紙	1通	倉敷東大橋→鶴新田長尾屋金蔵 納米百拾俵の手形	傍線で抹消
28-4-2	覚(受取証)	巳年8月5日	横継紙	1通	升造→東大橋 拾六両貳歩貳朱	
28-4-3	覚(土蔵作料請取証)	巳年8月24日	横切紙	1通	中疇増右衛門→東大橋 土蔵作料25両	
28-4-4	覚(杭木代請取証)	巳年8月24日	横切紙	1通	中疇増右衛門→東大橋 貳百拾九匁五分	
28-4-5	覚(両替割直し)	巳年8月5日	横切紙	1通	大津屋利助→東大橋	
28-4-6	覚(米代金支払書)	年未詳6月27日	横切紙	1通	木屋秀右衛門→大橋 米五石代金	
28-4-7	覚(米残金送り状)	巳年6月25日	横切紙	1通	出店→新宅 米残金渡し	
28-4-8	覚(米代金送り状)	巳年4月7日	横切紙	1通	中疇益右衛門→東大橋 米拾石代金渡し	
28-4-9	[見取米書付]	年月日未詳	横切紙	1通	上地三俵半他	
28-4-10	[御立合分人名書付]	年月日未詳	横継紙	1通	野崎代文左衛門他6名	
28-4-11	覚(算用書)	巳年8月	横継紙	1通	上地三俵半他	
28-4-12	[新宅宛勝之丞用状]	年未詳2月13日	横切紙	1通	持合金貳拾四両この人に渡されたしとのこと 弘化開会所→倉敷中嶋屋 古地出作掛り割り戻り銀八拾八匁六分四厘	(上書)「御新宅様 要用 出店」
28-4-13	覚(出作掛り割り戻り銀送り状)	丑年12月27日	横継紙	1通		
28-4-14	[定米・見取米書上]	年月日未詳	横継紙	1通	寛政開貳反壹畝九歩他	
28-4-15	覚(算用書付)	年月日未詳	横切紙	1通	七貫貳百拾匁貳分五厘	
28-4-16	[請求書類]			1包(2通)		28-4-16-1と28-4-16-2が包紙に入っている 包紙あり(包紙上書)「請求書 壹通」
28-4-16-1	覚(預ヶ金受取証)	明治2年11月晦日	横切紙	1通	小野寅之助・三宅正平・松井彦左衛門→大橋徳蔵 当三月預ヶ金金札拾両	
28-4-16-2	覚(追割銀受取証)	明治2年12月23日	横切紙	1通	三宅正平・松井彦左衛門・小野小十郎→大橋秀太郎 追割銀三貫目	
28-5	乍恐御歎願奉申上候	子年4月朔日	縦継紙	1通	銀札金相庭引き下げの願い	
28-6	覚(取立計算用)	辰年2月27日	横切紙	1通	増右衛門→大橋 残三百俵	
28-7	[書付・証書類]			1括り(3通)		28-7-1~3紙綴りで一括り
28-7-1	地蔵院縁側天井入用書付	年月日未詳	横折紙	1通	木屋分百四拾匁六分他	
28-7-2	覚(木材代・手間代・中セ代書上)	年未詳3月3日	横継紙	1通	八王寺新屋→嘉助 縦四歩板四間他	
28-7-3	覚(材木代銀書付)	巳年2月20日	横切紙	1通	西屋忠八→大工嘉兵衛 銀七匁	
28-8	離縁復籍御願	明治17年8月22日	縦紙	1通	大橋秀太郎→倉敷村戸長植田甚三郎 大橋秀太郎妻コウ	罫紙
28-9	乍恐御歎願奉申上候(案文)	子年4月朔日	縦紙	1通	銀札引替金相場高直につき引き下げの願い	
28-10	神田替地証文之事	明治6年	横継紙	1通	鶴新田氏神惣代・年番計5人→大橋秀太郎 鶴新田氏神寅崎宮社をこの度広げるので、替地を行うことについて	(端裏書)「控」
28-11	[金銭受取・書状類]			1括り(5通1纏め)		28-11-1~6紙綴りで一括り
28-11-1	[口上]			1纏め(2通)		28-11-1-1に28-11-1-2が巻き込まれて一纏め
28-11-1-1	[金平宛久右衛門口上]	年未詳9月8日	横継紙	1通	岡山での役人衆との交渉・29日に岡山から播州に出足する予定など	(上書)「金平様 久衛門 岡山より」
28-11-1-2	[金平・徳蔵宛久右衛門口上]	年未詳7月晦日	横継紙	1通	役人との交渉のことなどについて	(上書)「金平様 徳蔵様 久右衛門」
28-11-2	八月十五日文介より廻文面控	年未詳8月15日	横継紙	1通	倉敷文介→三島次郎右衛門・原古一郎・妹尾半十郎・大橋亀次郎 福田新開破損による普請入用について	

28-11-3	覚(銀受取)	己卯年2月15日	横継紙	1通	三嶋→東大橋 銀六拾七匁六分七厘の受取	
28-11-4	[金平宛久右衛門書状]	年未詳7月9日	横継紙	1通	福田新開損地の普請入用について壱口あたりの金額を連絡している	(上書)「金平様 久衛門 大急用要」
28-11-5	[金平宛久右衛門書状]	年月日未詳	横継紙	1通	金子受取のこと	(上書)「金平様 久衛門」
28-11-6	[金平宛久右衛門書状]	年月日未詳	横継紙	1通	福田新開入用割のことなど	(上書)「金平様 久衛門」
28-12	[通類]			1括り(仮2冊8括り)		28-12-1~10紙綴りで一括り
28-12-1	[通]	安政6年		1括り(2通)		28-12-1-1~2紙綴りで一括り
28-12-1-1	安政六未年 反別掛銀差引通 弘化開年番 中原道平 大橋源助 大橋源助殿	安政6年12月	横折紙	1通		包紙あり(包紙上書)「安政六己未年十二月 反別懸差引通 弘化開会所」
28-12-1-2	安政六未年 辻借銀請取通 弘化開年番 三宅定太郎 大橋源介 中原道平 大橋源助殿	安政6年	横折紙	1通		包紙あり(包紙上書)「未年辻借通 会所 中島屋」
28-12-2	[通]	安政5年		1括り(2通)		28-12-2-1~2紙綴りで一括り
28-12-2-1	安政五午年 反別懸差引通 弘化開年番 三嶋次郎 右衛門 小野達吉 三宅甚蔵 大橋源助殿	安政5年	横折紙	1通	午四月廿五日 貳貫三百目 右弘化開普請入用割銀儘二受取申候以上 他1筆	包紙あり(包紙上書)「通 弘化開 会所 大橋源助殿」
28-12-2-2	安政五午年 反別懸銀差引通 弘化開年番 三宅甚蔵 小野小十郎 三嶋次郎右衛門 大橋源介殿	安政5年	横折紙	1通	拾貳町四反八畝廿歩 一 六貫四百八拾壹匁九分六厘 他	包紙あり(包紙上書)「安政五午年通 弘化開会所 東中嶋屋」
28-12-3	[通]	安政4年		1括り(2通)		28-12-3-1~2紙綴りで一括り
28-12-3-1	安政四年丁巳年四月 辻銀取替通 年番 松井彦左衛門 中原堯助 大野八十六 倉敷大橋源助殿	安政4年4月	横折紙	1通	一 金拾壹兩 四月晦日請取 他2筆	包紙あり(包紙上書)「安政四年丁巳四月 通 東中嶋屋」
28-12-3-2	安政四巳十一月 反別懸差引通 弘化開会所 源介殿	安政4年11月	横折紙	1通	拾九町五反五畝廿歩半 一 拾貳貫七百七拾匁六分壹厘など	包紙あり(包紙上書)「安政四巳十一月 反別通 弘化開会所 源介殿」
28-12-4	[覚・通類]	安政3年		1括り(3通)		28-12-4-1~3紙綴りで一括り
28-12-4-1	覚(取替金受取証)	年未詳12月18日	横切紙	1通	弘化開会所→大橋源助 辻取替金 金拾九兩壹分壹朱永廿五文	
28-12-4-2	安政三丙辰正月 反別懸銀差引通 年番 中原道平 原左一郎 三宅正平 大橋源介様	安政3年正月	横折紙	1通		包紙あり(包紙上書)「安政三丙辰正月 反別懸銀差引通 弘化開会所」
28-12-4-3	安政三年辰正月 取替銀通 年番 中原道平 原左一郎 三宅正平 大橋源助様	安政3年正月	横折紙	1通		包紙あり(包紙上書)「通 弘化開会所 中島屋様」
28-12-5	[覚・通類]			1括り(3通1包)		28-12-5-1~4紙綴りで一括り
28-12-5-1	覚(銀札受取証)	卯年2月8日	横切紙	1通	弘開(化)開会所→中島屋 銀札三百目	
28-12-5-2	覚(関東路用金割合受取証)	卯年2月8日	横切紙	1通	弘化開→中嶋屋 金八両	
28-12-5-3	[通]	安政2年		1包(2通)		28-12-5-3-1~2一包 包紙あり(包紙上書)「安政二卯年 通 東中嶋屋」
28-12-5-3-1	安政二卯年 辻借受取通 松井滝右衛門 年番三島次郎右衛門 同板谷嘉右衛門	安政2年	横折紙	1通	松井滝衛門・三嶋次郎衛門・板谷加衛門→大橋源助	
28-12-5-3-2	安政二卯年 江戸入用通 弘化開元方	安政2年	横折紙	1通	弘化開 元方 金八両	
28-12-5-4	安政二卯十一月 反別差引通 弘化開会所 倉敷大橋源助殿	安政2年11月	横折紙	1通	弘化開→源助 銀札拾五貫貳百五拾六目	包紙あり(包紙上書)「安政二乙卯十二月 反別懸差引通 弘化開元方」
28-12-6	[通]	嘉永7年		1括り(2通)		28-12-6-1~2紙綴りで一括り
28-12-6-1	嘉永七寅三月 辻借通 小野小十郎 三宅甚蔵 松井滝右衛門 大橋亀次郎殿	嘉永7年3月	横折紙	1通		包紙あり(包紙上書)「嘉永七寅四月 通 東中嶋屋」
28-12-6-2	嘉永七寅十二月 反別懸差引通 弘化開会所 亀次郎	嘉永7年12月	横折紙	1通		包紙あり(包紙上書)「嘉永七甲寅年十二月 反別懸差引通 弘化開元方」
28-12-7	[通]	嘉永6年		1括り(2通)		28-12-7-1~2紙綴りで一括り
28-12-7-1	嘉永六丑四月 辻借通 小野忠兵衛 三宅定太郎 松井彦左衛門 同滝右衛門 大橋金平殿	嘉永6年4月	横折紙	1通		包紙あり(包紙上書)「通 東中嶋屋」
28-12-7-2	嘉永六丑 反別懸差引通 弘化開会所 金平	嘉永6年12月26日	横折紙	1通		包紙あり(包紙上書)「嘉永六癸丑年十二月 反別懸差引通 弘化開元方」
28-12-8	[覚・通類]			1括り(4通)		28-12-8-1~4紙綴りで一括り
28-12-8-1	覚(立替銀利分請取)	嘉永6年正月	横継紙	1通	倉敷中島屋金平→瀧右衛門 銀札八貫目立替	
28-12-8-2	覚(銀算用書)	年未詳12月17日	横継紙	1通		
28-12-8-3	嘉永五年子閏二月 辻借通 大野八十六 中原堯助 松井滝右衛門 原左一郎 大橋金平殿	嘉永5年閏2月	横折紙	1通		包紙あり(包紙上書)「通 東中嶋屋」
28-12-8-4	嘉永五子十二月 反別懸差引通 弘化開元方 金平	嘉永5年12月	横折紙	1通		包紙あり(包紙上書)「嘉永五子年十二月 反別懸差引通 弘化開元方」
28-12-9	嘉永四亥三月 弘化開反別懸銀 辻借通 年番三嶋次郎右衛門 同松井滝右衛門 同三宅正平 同中原道平 大橋金平殿	嘉永4年3月	美・横長	仮1冊	元利書上	袋あり(袋上書)「辛亥三月 通 東中嶋屋」
28-12-10	弘化開入用 御出銀請取通 松井滝右衛門 小野応介 三宅定太郎 三宅甚蔵 大橋金平殿	弘化5年3月	美・横長	仮1冊		袋あり(袋上書)「弘化五年申三月 弘化開入用銀渡通 東中嶋屋」
28-13	[証書類]			1括り(15通)		28-13-1~15紙綴りで一括り
28-13-1	売渡申畑証文之事	安政4年6月	縦継紙	1通	倉敷村大橋源介→船穂村熊蔵 福田新開中畝い割式番三四ノ一下畑三反六畝拾八歩 他4筆売渡証文	
28-13-2	借用申銀子証文之事	嘉永7年閏7月	縦継紙	1通	銀貳貫目 借用主船尾村岩蔵・加判利七→倉敷村中島屋金平	(端裏書)「判消」(奥書)「中畝名主弥一郎 嘉茂治」

28-13-3	売渡申田畑証文之事	安政4年6月	縦継紙	1通	福田新開中畝い割二番三四ノ一 下畑三反口畝拾八歩 他4筆 大橋源介他2人→船尾村熊蔵	
28-13-4	売渡申田畑証文之事	安政5年2月	縦継紙	1通	倉敷村売主中島屋源助他証人4名→八田部村油屋源左衛門 鶴新田弘化開拾ノ割豊道上際一貳反 他4筆	(奥書)「鶴新田庄屋三宅直吉」(端裏書)「安政五年午二月七日調印 午ノ壹番」
28-13-5	売渡申田畑証文之事	安政5年3月	縦継紙	1通	倉敷村売主中島屋源助他証人4名→八田部村油屋源左衛門 鶴新田弘化開拾ノ割良道東際一四反九畝三歩 他2筆	(奥書)「庄屋三宅直吉」(端裏書)「安政五年三月廿四日調印 午四番」
28-13-6	売渡申畑証文之事	安政4年12月	縦継紙	1通	倉敷村大橋源介他証人3名→西之浦塩飽屋作吉 鶴新田弘化開五ノ割田道面一・三反及び乙島水溜り伝蔵宛鶴新田弘化開拾吉ノ割西詰一・四反八畝拾五歩の2通の証文が貼り継がれている	(奥書)「庄屋三宅直吉」(端裏書)「安政四巳十二月十七日調印 巳拾六番」
28-13-7	売渡申畑証文之事	安政4年12月	縦継紙	1通	倉敷村大橋源介他証人3名→西之浦中屋熊蔵 鶴新田弘化開三ノ割西詰一四反七畝廿貳歩	(奥書)「庄屋三宅直吉」(端裏書)「安政四巳十二月四日調印 巳六番」
28-13-8	売渡申田証文之事	安政4年12月	縦継紙	1通	鶴新田弘化開三ノ割大道西一壹反 他2筆 倉敷村大橋源介他証人2人→飛崎徳太郎・大梵弥平・大梵沢吉宛の3通が貼り継がれている	
28-13-9	売渡申田証文之事	安政5年2月	縦継紙	1通	中島屋源介他証人3人→山本屋乙蔵 鶴新田弘化開拾ノ割豊道下際一四反	(奥書)「鶴新田庄屋三宅直吉」(端裏書)「安政五年二月七日調印 午ノ貳番」
28-13-10	売渡申畑証文之事	安政4年10月	縦継紙	1通	倉敷村大橋源介他証人2人→西之浦勘四郎 鶴新田弘化開拾割良道一五反	
28-13-11	売渡申田畑証文之事	安政4年11月	縦継紙	1通	倉敷村大橋源介他証人2人→舟尾村丈太郎 鶴新田弘化開貳割大道際東一貳反	(奥書)「庄屋三宅直吉」(端裏書)「安政四巳十二月四日調印 巳七番」
28-13-12	売渡申田証文之事	安政4年11月	縦継紙	1通	大橋源介他証人3人→西之浦渡辺道郎 鶴新田弘化開貳割豊道西一貳反 他1筆	(奥書)「庄屋三宅直吉」(端裏書)「安政四巳十二月四日調印 巳八番」
28-13-13	質入申家屋敷証文之事	安政5年5月	縦継紙	1通	質入主中島屋良介他証人2人→大坂屋源介 本町南側一水夫屋敷壹畝拾歩 他1筆	(奥書)「庄屋助右衛門 丈平」
28-13-14	覚(質地が流屋敷になった為名寄帳面の書替願い)	安政5年8月	縦継紙	1通	中嶋屋良介→庄屋助右衛門・丈平	
28-13-15	売渡申田畑証文之事	安政5年11月	縦継紙	1通	倉敷村売主中島屋源助他証人3人→片島村中屋道平 鶴新田弘化開拾吉ノ割新道上際一五反 他1筆	
28-14	[控及び通類一括]			1括り(2冊2通 仮5冊)		28-14-1～9までまとめて紙綴りで一括り
28-14-1	秀太郎病氣中見舞之控	年月日未詳	半・横半	1冊	見舞いのための品物・見舞人などの書上 一大元大神宮大木札 小松原慶太郎・木村利平・大橋良平など	
28-14-2	[通]	(明治カ)16年6月29日～8月10日	半・横長	1冊	品物と代金の書上 〆貳百拾七円拾銭三厘 内百円八十四銭受取	(表紙)「東大橋様 橋本八郎」
28-14-3	諸道具	年月日未詳	半・横長	仮1冊		
28-14-4	田地方入用	年月日未詳	半・横長	仮1冊	一金五拾銭 鶴新田八百蔵 右者検見之節両日雇ひ日等他	
28-14-5	十六年正月十二日ヨリ十七年正月十日迄 諸雑費	(明治カ)16年正月12日～17年正月10日	半・横長	仮1冊	〆千拾三円六拾五銭九厘 代金・品物の書上	
28-14-6	秀太郎病氣ニ就入用	年未詳7月3日～(明治カ)17年正月11日	半・横長	仮1冊	発病から17年正月11日迄の雑費	
28-14-7	臨(金銭書上)	年月日未詳	横折紙	1通	一金拾五円 金刀毘羅参詣入用 他2筆	
28-14-8	追膳	(明治16年カ)	横折紙	1通	一金拾壹銭 立花代 他2筆	
28-14-9	講金	年月日未詳	美・横長	仮1冊	末広講・窪津質講などの講の掛け金・人について書上	
28-15	[書状・書付類]			1包(1括り1纏め1包7通)		28-15-1～10が包紙に包まれている 包紙の上からSILティッシュの紐で包む
28-15-1	[中島屋十蔵宛西村次介書状]	年未詳3月18日	横継紙	1通	尻海村名主喜兵衛の出自書上	
28-15-2	[尻海村名主喜兵衛家内書上]	年月日未詳	横継紙	1通	妻・二男・三男・四男	
28-15-3	[順番名札]	年月日未詳	横切紙	1通	えんばり名主藤四郎壱番郡屋	
28-15-4	[覚・書付類]			1括り(10通)		28-15-4-1～10紙綴りで一括り
28-15-4-1	[人名書付]	年月日未詳	横切紙	1通	村木屋藤市女他	
28-15-4-2	[女の歳書付]	年月日未詳	横折紙	1通	中戎屋鉄五郎 女十五六 新戎屋惣兵衛 女十五六	
28-15-4-3	[帯江亀山之内拾之割庄屋是吉家内について]	年月日未詳	横切紙	1通		
28-15-4-4	[羽賀長五郎家内書上]	年月日未詳	横切紙	1通		
28-15-4-5	[六条院中村庄屋平井重次郎家内書上]	年月日未詳	横切紙	1通	平井重次郎男子書上	
28-15-4-6	[某書状二啓]	年未詳11月24日	横継紙	1通	口溝与三兵衛について問合の答書	(端裏書)「大口伝右衛門」本文なし
28-15-4-7	[長尾番屋小野次平女の身上書]	年月日未詳	横切紙	1通		
28-15-4-8	覚(岡田領分有井村庄屋三宅順助弟の年令書付)	年月日未詳	横切紙	1通		
28-15-4-9	覚(以世屋与七郎倅について)	年未詳4月24日	横切紙	1通	早島町庄屋佐平多→倉敷中島屋源助	
28-15-4-10	[家内書上]	年月日未詳	横継紙	1通	備後市村土屋次兵衛左衛門家内書上	
28-15-5	[川野喜兵衛家内書上]	年月日未詳	横切紙	1通	嫡子竹二郎他5人	
28-15-6	[大橋源助宛片山善右衛門書状]	年未詳6月朔日	横継紙	1通	縁談二付姫井の所聞き合わせ	
28-15-7	[治介よりの書状]			1包(2通)		28-15-7-1～2一包 包紙あり(包紙上書)「中嶋屋十蔵様 西村治介 貴報 西村治介様 中島屋十蔵 貴報」
28-15-7-1	[十兵衛宛治介書状]	年未詳4月21日	横切紙	1通	田原問合之義について	



28-15-7-2	[十蔵宛治介書状]	年未詳4月19日	横継紙	1通	警梨郡田原下村治左衛門方の家柄、婚姻関係、治左衛門の人物について	
28-15-8	[中島屋十蔵宛橋本屋三郎兵衛書状]	年未詳3月22日	横継紙	1通	隣家きくや元次郎の家柄・人筋お尋ねにつき返答 橋本屋三郎兵衛→中島屋十蔵	
28-15-9	[書状類]			1纏め(2通)		28-15-9-1で28-15-9-2を巻き込んで一纏め
28-15-9-1	正五日罷越間合之次第	年月日未詳	横継紙	1通	六条院中村吉井家・野方村姫井家などの歴代の婚姻について妻の出身村などを記している	
28-15-9-2	[片山喜右衛門宛三宅武右衛門書状]	年未詳5月2日	横継紙	1通	野方・省叔方へ聞き合わせたことなど	
28-15-10	[大橋源介宛山逸次書状]	年未詳3月9日	横継紙	1通	病気見舞い	(上書)「倉敷井ノ上町 大橋源介様 矢掛駅 片山逸次 要用無意」
28-16	[書付類]			1括り(13通2括り1纏め)		28-16-1~16紙綴りで一括り
28-16-1	[算用書付]			1括り(4通)		28-16-1-1~4紙綴りで一括り
28-16-1-1	[算用書付]	年月日未詳	横継紙	1通	元本六貫目 利年九歩	
28-16-1-2	[算用書付]	年月日未詳	横継紙	1通	六貫目 年七歩七朱の利	
28-16-1-3	[算用書付]	年月日未詳	横継紙	1通	元本六貫目について年八歩八朱の利	
28-16-1-4	[算用書付]	年月日未詳	横継紙	1通	元本六貫目について年九歩の利	
28-16-2	[譲り証文]			1括り(2通)		28-16-2-1~2紙綴りで一括り
28-16-2-1	譲り受申夫銭手形一札之事	嘉永3年12月	横継紙	1通	譲り受和泉屋藤右衛門 証人大工屋弥吉 夫銭手形五貫目	
28-16-2-2	譲り受申夫銭手形一札之事	嘉永4年3月	横切紙	1通	譲り受主和泉屋藤右衛門・証人大工屋弥吉→中島屋金平 夫銭手形拾貫目之内壱貫五百目のこと	包紙あり(包紙上書)「夫銭手形譲り受一札入 但藤右衛門より可受取分」
28-16-3	[年頭御礼廻り書付]	年月日未詳	横継紙	1通	勝手方役人・下役人	
28-16-4	四組御村辻取替銀五ヶ年賦請取通	嘉永5年	横切紙	1通	倉敷村中島屋金平→大庄屋岡谷村友野鉄太郎・同西原村守屋友太郎・同浅原村秋庭五一兵衛・同宿村守安慎介	
28-16-5	賞(返済証)	酉年9月29日	横切紙	1通	内山新兵衛→大橋金平 金三百兩元利共	
28-16-6	添証文之事(案文)	嘉永2年12月	縦継紙	1通	某→倉敷中島屋金平 年貢皆済銀差支につき 何村判頭惣代誰他4名→倉敷中島屋金平 年貢皆済差支につき村辻借用	包紙あり
28-16-7	借用申金子証文之事(雛形)	嘉永2年12月	縦紙	1通	倉敷中島屋金平→中疇役人衆中 小作人中疇富太郎去未年預米辻	包紙あり(包紙上書)「案文式通 本紙二御添御返し可被下候」
28-16-8	賞(預米辻算用書)	嘉永元年5月	横切紙	1通		
28-16-9	賞(上納引受証文)	嘉永元年5月	横切紙	1通	借用請主同村判頭吉五郎→倉敷中島屋金平 銀札三百九拾五匁四分四厘富太郎分	包紙あり(包紙上書)「中疇富太郎一件二付、村役人中へ届出候所、名主周作五人組頭菊太郎評義之上、判頭吉五郎より書付差越し候書類入 五月十六日世話人猪之丞持参」
28-16-10	譲り受申夫銭手形一札之事(後欠)	年月日未詳	横継紙	1通	夫銭手形拾貫目の内壱貫五百目のこと 倉敷中島屋源介→道越村名主占見新田新右衛門・道越村坂太郎	
28-16-11	御村辻取替銀年賦請取通	文政12年	横継紙	1通		傍線で抹消
28-16-12	借用申銀子証文之事(雛形)	年月日未詳	縦紙	1通		
28-16-13	建物質入銀札借用証文之事	嘉永4年12月	横継紙	1通	借主千介他3名→中島屋金平 新川横町瓦葺建家ヶ所及び土蔵ヶ所	
28-16-14	[名前付紙]	年月日未詳	6.0×2.2	1纏め(2枚)	大橋秀太郎	
28-16-15	[地所売渡証文]	年月日未詳	縦切紙	1通		前欠・後欠と思われる
28-16-16	村辻借用銀証文之事(雛形)	嘉永4年12月	縦継紙	1通	某→倉敷中島屋金平 一 銀貳拾五貫目 当亥年貢金差支につき	
28-17	明治四未年辻借銀受取之通 年番小林素十郎(カ) 三宅忠吉 白神左一郎 大橋秀太郎殿	明治4年	横折紙	1通	未七月八日×六貫四百目受取・未八月九日×貳貫貳百目受取	包紙あり(包紙上書)「未年 通 鶴新田会所 くらしき 東大橋」 28-18-1~6一包 包紙あり(包紙上書)「明治九丙子年 通 鶴新田大橋様」
28-18	[通類]			1包(6通)		
28-18-1	[租税金納入書付]	年月日未詳	横切紙	1通		
28-18-2	記(元利算用書)	年月日未詳	横切紙	1通		
28-18-3	記(租税請取)	明治9年7月17日	横切紙	1通	鶴新田副戸長安木願明・同矢部逸次郎→大橋秀太郎	
28-18-4	請取証(明治八年・九年分租税請取)	明治9年9月28日	横切紙	1通	副戸長安木願明・矢部逸次郎→大橋秀太郎	
28-18-5	[地租算用書付]	年月日未詳	横折紙	1通	十月三十日算用書付を矢部逸次郎へ渡した	
28-18-6	明治九丙子年 辻借金差引通 鶴新田年番 三宅静太郎 中原耕蔵 大野芳郎 大橋秀太郎様	明治9年	横折紙	1通	三島静太郎他2名→大橋秀太郎 金七拾円也	
28-19	[通]			1包(6通)		28-19-1~6一包 包紙あり(包紙上書)「明治八年亥五月より 御通 鶴新田 大橋様」
28-19-1	乙亥新租之内仮請取書	明治9年6月25日	横切紙	1通	金百四拾円貳拾銭の受け取り 鶴新田戸長有元農吉・同副戸長矢部逸次郎→大橋秀太郎	
28-19-2	[亥改租二納金書付]	年月日未詳	横切紙	1通	二百六拾八円貳拾四銭 大橋秀太郎	
28-19-3	記(割後出金受取証)	年未詳2月7日	横切紙	1通	三宅忠吉・中原照雄→大橋秀太郎	
28-19-4	証(鶴新田二納金預り証)	酉年3月27日	横切紙	1通	三宅龍吉→大橋秀太郎	
28-19-5	明治八亥年 代金受取通 鶴新田年番 中原照雄 同三宅忠吉 大橋秀太郎殿	明治8年	横折紙	1通	五月五日 金拾円受け取り 他8筆	
28-19-6	亥年御租税半納并諸掛受取事	年未詳2月27日	横折紙	1通	鶴新田年番三宅忠吉・中原照雄→大橋秀太郎	
28-20	慶応三卯年 辻借銀受取通 鶴新田年番 中原道平 三島治右衛門 三宅甚蔵 大橋源助殿	慶応3年7月11日	横折紙	1通		包紙あり(包紙上書)「卯年通 鶴新田会所 中島屋」

28-21	慶応四辰年 辻借金請取通 鶴新田年番 大野八十太 原左市郎 大橋秀太郎様	慶応4年	横折紙	1通	辰六月十三日 三貫五百五拾式勿請取 他2筆	包紙あり(包紙上書)「辰年通 鶴新田会所 くらしき中島屋」
28-22	[分地証文]	安政2年12月~万延元年4月		1括り(7通)		28-22-1~7紙綴りで一括り
28-22-1	分地分銀引渡申証文之事	万延元年6月15日	縦継紙	1通	本家中島屋良介→分家徳蔵・おかの・貴之丞	
28-22-2	譲り渡分地証文之事	万延元年4月	縦継紙	1通	中島屋本家源介・証判大橋平右衛門→分家徳蔵	(奥書)「川入村・八王寺村名主当分請持大島村庄兵衛」
28-22-3	譲り渡分地証文之事	万延元年4月	縦継紙	1通	中島屋本家源介・証判大橋平右衛門→分家徳蔵	(奥書)「中疇名主文兵衛・同藤戸村武一郎」 村諸懸り書付の挟み込み文書あり
28-22-4	譲り渡分地小作証文之事	万延元年4月	縦継紙	1通	本家良介→分家徳蔵	川入分の懸りを書付けた挟み込み文書あり
28-22-5	譲り渡分地小作証文之事	万延元年4月	縦継紙	1通	本家良介→分家徳蔵	
28-22-6	催合講落札質地証文之事	安政2年12月	縦継紙	1通	倉敷大橋源介・証人親類忠之丞→講御引受大庄屋岡谷友野鉄太郎外3人	(奥書)「中疇名主勝左衛門・同藤戸村武一郎」
28-22-7	譲り渡分地証文之事	万延元年4月	縦継紙	1通	本家中島屋良介・加判人中疇益右衛門→分家徳蔵	(奥書)「中疇名主文兵衛・同藤戸村武一郎」
28-23	[証書類]	文化4年12月~安政2年12月		1括り(2通4包)		28-23-1~6紙綴りで一括り
28-23-1	借用仕銀子之事	文化4年12月	縦紙	1通	備前津高郡西辛川村祥輔→倉敷中島屋源助 文銀五百目	包紙あり(包紙上書)「証文書通 辛川田中町」
28-23-2	乳母奉公請状之事	天保5年12月	縦紙	1通	乳母親浜村直助他1名→中島屋源助 忝弥曾右衛門妻おしゆう	
28-23-3	[往來手形]	天保4年2月~弘化3年2月		1包(2通)		28-23-3-1に28-23-3-2が折り込まれている 包紙あり(包紙上書)「往來手形書通」
28-23-3-1	宗門往來之事	天保4年2月	縦切紙	1通	地蔵院→国々御閑所御役人衆 中島屋源介忝金平 四国霊場拜礼	
28-23-3-2	宗門往來手形之事	弘化3年2月	縦切紙	1通	備中国窪屋郡倉鋪地蔵院→国々御番所御役人中 相生町嘉兵衛 四国遍路	(奥書)「庄屋丹右衛門」
28-23-4	[証書類]	嘉永5年6月~8月		1包(2通)		28-23-4-1~2一包 (上書)「案文書通 本紙二相添御返し可被下候」
28-23-4-1	質入申家屋敷証文之事(雛形)	嘉永5年6月	縦継紙	1通	質入主何屋誰他→中島屋金平 水夫屋敷壹畝拾歩	
28-23-4-2	覚(質流通知証雛形)	嘉永5年8月	縦紙	1通	何屋誰→庄屋助左衛門・同丈平 水夫屋敷壹畝拾歩	
28-23-5	[証書類]	嘉永7年11月~12月		1包(6通)		28-23-5-1~6一包 (上書)「案文書通 本紙二添御直し可被下候」
28-23-5-1	売渡申田地証文之事(雛形)	嘉永7年11月	縦継紙	1通	売主箕島村桑三郎他1名→倉敷村中島屋金平	
28-23-5-2	小作証文之事(雛形)	嘉永7年11月	縦紙	1通	売主箕島村桑三郎他1名→倉敷村中島屋金平	
28-23-5-3	質入申田地証文之事(雛形)	嘉永7年12月	縦継紙	1通	質入主何村誰→倉敷大橋平右衛門	
28-23-5-4	小作証文之事(雛形)	嘉永7年12月	縦継紙	1通	何村誰→倉敷大橋平右衛門	
28-23-5-5	覚(地所売渡代銀請取証文)	嘉永7年11月	横継紙	1通	売主箕島村桑三郎他1名→倉敷中島屋金平	下書
28-23-5-6	覚(質地証文雛形)	年月日未詳	縦継紙	1通		
28-23-6	[借用証書類]	嘉永5年12月~安政2年12月		1包(3通)		28-23-6-1~3一包 (上書)「案文書通 本紙二御添御直し可被下候」
28-23-6-1	借用申銀子証文之事	嘉永5年12月	縦継紙	1通	借用主船尾村岩蔵他2名→倉敷村中島屋金平 銀三貫目、利壹ヶ月壹歩式朱	
28-23-6-2	借用申金子証文之事(下書)	安政2年12月	縦紙	1通	借用主誰→倉敷村金平 金貳拾両、利壹割壹歩	
28-23-6-3	添証文之事	嘉永6年12月	縦継紙	1通	質入主何村桑三郎他3名→倉敷村中島屋金平 壹畝四反九歩質地、質銀五貫五百五拾目	
28-24	[大橋秀太郎租税関係等雑書類]	明治6年7月8日~19年10月8日		1括り(22袋26通俵1冊1枚3纏め)		23-24-1~53が罫紙で包まれ紐で括られている (上書)「受取書類入」
28-24-1	[受取証類]	明治13年12月11日~14年5月31日		1袋(1纏め21通)		28-24-1-1~22一袋 (袋上書)「〆式人 此日当四拾銭 奈良屋安吉」
28-24-1-1	[東橋俊宛西橋子書状]	年未詳8月2日	横継紙	1通	過刻の尋問の取計らいについて 下男下女の給金について	(上書)「東橋俊君 貴酬 西橋子より」
28-24-1-2	記(礼状)	年未詳旧7月9日	縦紙	1通	浴衣と寿金をもらった礼 川合乗邦→大橋小湾	
28-24-1-3	記(金銭書付)	年月日未詳	横切紙	1通	(差出人なし)→東大橋	
28-24-1-4	記(中元の礼状)	年未詳9月1日	横切紙	1通	神崎庸平→大橋	
28-24-1-5	[受取証]			1纏め(2通)		28-24-1-5-1~2まで重ねて一纏め
28-24-1-5-1	記(受取証)	年月日未詳	横切紙	1通	五円受取 神崎愿堂→大橋	
28-24-1-5-2	[金封受取]	年未詳8月5日	横切紙	1通	金壹封など受け取り 高橋→東大橋	
28-24-1-6	記(代金受取証)	年未詳6月20日	横切紙	1通	井汲十郎→大橋 大坂日報経済雑誌代金受け取り	罫紙
28-24-1-7	記(借入金返済証)	明治14年5月27日	横切紙	1通	新宅大橋徳蔵→本家大橋秀太郎 合金四拾円三拾貳銭	
28-24-1-8	[金子受取報知]	年未詳12月31日	横切紙	1通	元内藤→東大橋 金子貳百円受け取り	
28-24-1-9	記(土地売渡証)	明治13年12月28日	横継紙	1通	売渡人藤原甚一郎→大橋秀太郎	
28-24-1-10	記(領収証)	明治14年4月12日	横切紙	1通	厳島神社社務所→大橋秀太郎 金壹円	
28-24-1-11	覚(金銭受取証)	辰年12月15日	横継紙	1通	和泉屋升造→東大橋 金銭受取	
28-24-1-12	[大橋秀五郎宛井汲省十郎はがき]	(明治)13年12月29日	はがき	1通	お礼の品受け取り	(はがき表書)「備中倉敷村ア子町 大橋秀五郎様 岡山区丸亀町 井汲省十郎」
28-24-1-13	記(借入金返済証)	明治14年3月29日	横切紙	1通	分家大橋徳蔵→本家大橋秀太郎 〆百五拾壹円六拾銭	罫紙

28-24-1-14	記(借入金返済証)	明治13年12月11日	横切紙	1通	新宅大橋徳蔵→本家大橋秀太郎 貳拾円貳拾四銭	
28-24-1-15	記(米売渡代金受取証)	明治14年4月7日	横切紙	1通	北新宅→東本家 金百四拾貳円六拾九銭五厘	
28-24-1-16	記(金銭受取)	年月日未詳	横切紙	1通	神埼愿堂→(宛名なし) 一金九円也 外二壹円	
28-24-1-17	記(借入金返済証)	明治14年5月31日	横継紙	1通	井上滝一郎→大橋 金百五拾円 此利足貳円四拾銭	
28-24-1-18	記(借入金返済証)	明治14年2月26日	横切紙	1通	新宅大橋徳蔵→本家大橋秀太郎 〃九拾七円貳拾銭	罫紙
28-24-1-19	証(代金書付)	年未詳1月30日	横継紙	1通	金九拾銭 鞘仕立賃	
28-24-1-20	覚(車賃等達告)	辰年6月16日	横継紙	1通	安田升造→大橋秀太郎	
28-24-1-21	記(米・金渡状)	明治14年6月6日	横切紙	1通	北新宅→東本家 賄料・世話料の米金相渡し	
28-24-1-22	記(金子請取証)	辰年4月10日	横切紙	1通	北新宅→東本家 買物代払帳面前其他入用共式ツ割ツツ分御出金取被下請取	
28-24-2	[租税分領収証類]	明治19年8月23日 ~27日		1袋(仮1冊1袋 7纏め)		28-21-2-1~9が包紙に包まれている 袋あり(袋上書)「十九年八月廿五日地租第壹期并二地方税第二期其他領収証在中」
28-24-2-1	[大橋俊太郎分租税領収証]			1袋(3通)		28-21-2-1-1~3一袋 封筒に閉じてあったが開封した(封筒上書)「金五円六銭九厘 難波分有之」
28-24-2-1-1	[大橋俊太郎分租税領収証第六五号]	明治19年8月25日	横切紙	1通	戸長窪津大紀→大橋俊太郎	
28-24-2-1-2	[大橋俊太郎分租税領収証第六七号]	明治19年8月25日	横切紙	1通	戸長窪津大紀→大橋俊太郎	
28-24-2-1-3	[大橋俊太郎分租税領収証第九六号]	明治19年8月25日	横切紙	1通	戸長窪津大紀→大橋俊太郎	
28-24-2-2	[大橋俊太郎分租税領収証]	明治19年8月23日	横切紙	1纏め(4通)	戸長窪津大紀→大橋秀太郎	
28-24-2-3	[大橋秀太郎代納林醇平分租税領収証]	明治19年8月23日	横切紙	1纏め(7通)	戸長植田年→大橋秀太郎跡及び大橋秀太郎跡代納林醇平	
28-24-2-4	[亡大橋秀太郎代納林醇平分租税領収証]	明治19年8月25日	横切紙	1纏め(4通)	戸長矢部逸次郎→亡大橋秀太郎代納者林醇平	
28-24-2-5	[大橋秀太郎代納林醇平分租税領収証]	明治19年8月26日	横切紙	1纏め(3通)	戸長畠田頭佐→大橋秀太郎代納林醇平	
28-24-2-6	[大橋秀太郎代納林醇平分租税領収証]	明治19年8月26日	横切紙	1纏め(2通)	戸長役場→大橋秀太郎代納林醇平	
28-24-2-7	[大橋秀太郎及び大橋秀太郎代納林醇平分租税領収証]	明治19年8月27日	横切紙	1纏め(2通)	戸長大森孫九郎→大橋秀太郎及び大橋秀太郎代納林醇平	
28-24-2-8	[大橋秀太郎代納林醇平分租税領収証]	明治19年8月23日	横切紙	1纏め(4通)	戸長高尾仙作→大橋秀太郎代納林醇平	
28-24-2-9	[明治十八年度・十九年度分租税書上]	年月日未詳	美・横長	仮1冊	倉敷村・西坂村・生坂村・宮久村・濱村・鶴新田・前潟・中疇分	
28-24-3	[人別高反別書上]	年月日未詳	横継紙	1通	生坂分・西坂分	
28-24-4	記(地蔵院御時米受取)	(明治)17年7月23日	横切紙	1通	小松原善平→東大橋	
28-24-5	記(地蔵院への御時米受取)	(明治)18年2月26日	横切紙	1通	小松原善平→東大橋	
28-24-6	証(寄付金受取)	明治13年10月	横切紙	1通	担当人大久保尚平・黒瀬道二郎・木山精一→大橋秀太郎 阿知神社新築修繕費などとして寄付金拾五円を受け取り 生坂村売渡人黒瀬喜太郎・同証人江国礪吉→倉敷村大橋秀太郎 合段別式反八畝九歩 此代金貳百拾五円 内金三拾円 入金受取	
28-24-7	記(土地売渡代金受取)	明治13年12月7日	縦紙	1通		
28-24-8	記(供養料寺納のこと)	明治8年12月20日	横切紙	1通	地蔵院住職仁井谷高恭→東大橋 米三俵を供養料として納める	罫紙
28-24-9	契証(御齋米寺納のこと)	明治15年12月30日	縦紙	1通	地蔵院住職兼務仁井谷高恭→大橋 米三俵 片山類吉→大橋俊太郎・同秀太郎 福頼神社社連石の費用・人夫賃金などについて	罫紙
28-24-10	福頼神社社連石奉南大費	明治12年9月29日	横継紙	1通		
28-24-11	記(霊奠料として米三俵寺納のこと)	明治9年12月30日	横切紙	1通	地蔵院→大橋	
28-24-12	証(勤物神納のこと)	亥年10月2日	横切紙	1通	巡行口人河寄大炊・谷一馬→(宛名なし) 金廿五疋 京六孫丑御宮役所	
28-24-13	記(代金受領書)	年未詳9月19日	横切紙	1通	神埼愿堂→(宛名なし) 薬礼書封 診察料書封 香料書封	
28-24-14	[請取礼状]	年未詳9月18日	横切紙	1通	高橋→東大橋 金九円・八円・五拾銭	
28-24-15	証(霊前御齋米寺納のこと)	午年12月6日	横切紙	1通	地蔵院→東大橋	
28-24-16	記(御齋米受納)	明治8年2月	横切紙	1通	地蔵院→東大橋	
28-24-17	証(齋米寺納)	明治元年12月晦日	横切紙	1通	地蔵院→大橋	
28-24-18	譲証	明治17年5月21日	縦紙	1通	大橋秀太郎→山田玉五郎 殖産商社入社金の仮請取証を譲渡 窪屋郡倉敷村平民大橋秀太郎・戸長植田甚三郎→岡山県令高崎五六代理岡山県少書記官高津暉 金七円	印紙(朱書)
28-24-19	寄附金願(暴風激浪被害者救助費として)	明治17年9月14日	縦紙	1通		(奥書)「窪屋郡長 戸川晚香」 聞届の旨の朱筆付紙あり 罫紙
28-24-20	記(御齋米寺納のこと)	明治12年12月29日	縦紙	1通	地蔵院住職兼務仁井谷高恭→東大橋 米三俵を奉納	罫紙
28-24-21	[村費関係書類]	明治19年10月8日		1袋(2通)		28-24-21-1~2一袋 (封筒表書)「十九年十月八日収メ 前瀧村ヒ并二中疇年賦返納」
28-24-21-1	[明治十八・十九年度前瀧村々費領収書]	明治19年10月8日	横切紙	1通	戸長大森孫九郎→大橋秀太郎	刷物
28-24-21-2	[旱災年賦一時返納金受取]	明治19年10月8日	横切紙	1通	戸長畠田頭佐→大橋秀太郎	刷物
28-24-22	[十九年度地価割村費関係書類]	明治19年9月29日		1袋(2通)		28-24-22-1~2一袋 (封筒表書)「倉敷村 村費地価割り 後同戸別等級割り 九月廿九日 収メ」
28-24-22-1	[十九年度村費戸別等級割後期受取証]	明治19年9月29日	横切紙	1通	戸長植田年→大橋秀太郎代納者林醇平 金拾七円五銭	刷物
28-24-22-2	[十九年度地価割村費後期領収証]	明治19年9月29日	横切紙	1通	戸長植田年→大橋秀太郎代納者林醇平 金六円拾五銭壹厘	刷物

28-24-23	[高反別書上]	年月日未詳	美・横長	仮1冊	大橋源介 百九十四番つ之割四升一 一下々田壺反七畝六歩 安政二卯歳久右衛門文介与入 他34筆	
28-24-24	[小作帳手残り分人名書上]	年月日未詳	横切紙	1通	子・丑・寅年小作帳手残り之分	朱書
28-24-25	会員之証(大橋秀太郎)	年月日未詳	10.7×7.8	1枚	大日本私立衛生会会員之証	
28-24-26	明治十三年度地方税受領証 帯高村	明治13年	折紙	1通	戸長小原延 納人大橋秀太郎 地価五百廿四円九拾五銭	
28-24-27	受取之証(第四期公租并地方税)	明治14年1月31日	横切紙	1通	一金拾円貳拾五銭也 藤原甚四郎→大橋秀太郎	
28-24-28	[明治十三年地租金受取通]	明治13年	横折紙	1通	西坂村戸長高尾仙作→納人大橋秀太郎 地租・地方税・協議費	
28-24-29	[領収証類]	明治18年1月11日 ~2月14日		1袋(4纏め3通)		28-24-29-1~7一袋(封筒表書)「明治十八年第一月廿五日収メ各 郡地方税并ニ非常費村費収メ領収書在中」
28-24-29-1	[大橋秀太郎分村費領収証]	明治18年2月14日	横切紙	1纏め(2通)	中疇村用掛佐藤年太→大橋秀太郎	
28-24-29-2	[大橋秀太郎分村費領収証]	明治18年1月26日	横切紙	1纏め(5通)	西坂村分・生坂村・富久村・濱村・子位莊村分 戸長高尾仙作→ 大橋秀太郎	
28-24-29-3	[大橋秀太郎分地方税領収証]	明治18年1月25日	横切紙	1纏め(3通)	戸長植田年→大橋秀太郎	
28-24-29-4	[大橋秀太郎分租税領収証]	明治18年1月25日	横切紙	1通	窪屋郡第四部戸長西山澄→大橋秀太郎	
28-24-29-5	[大橋秀太郎分地方税領収証]	明治18年1月25日	横切紙	1纏め(2通)	児島郡中疇村・内尾村・東疇村戸長畠田頭佐→大橋秀太郎	
28-24-29-6	[大橋秀太郎分租税領収証]	明治18年1月22日	横切紙	1通	戸長大森孫九郎→大橋秀太郎	
28-24-29-7	[大橋秀太郎分地租及び非常土木費領収証]	明治18年1月11日	横切紙	1通	西ノ浦村・鶴新田村戸長山本鎮→大橋秀太郎	
28-24-30	[大橋秀太郎分年賦返納金領収証]	明治18年4月20日	横切紙	1纏め(2通)	中疇村・内尾村・東疇村戸長畠田頭佐→大橋秀太郎	
28-24-31	[領収証類]			1袋(2纏め)		28-24-31-1~2一袋(袋表書)「明治十七年十月廿四日収メ 子位 庄 富久 西坂 生坂 濱 受領証在中」
28-24-31-1	[大橋秀太郎分租税領収証]	明治17年10月24日	横切紙	1纏め(3通)	西坂村分・子位莊村分・生坂村分 子位莊村・西坂村・三田村・ 生坂村・浅原村戸長高尾仙作→大橋秀太郎	
28-24-31-2	[大橋秀太郎分租税領収証]	明治17年10月24日	横切紙	1纏め(2通)	窪屋郡第五部戸長窪津大紀→大橋秀太郎	
28-24-32	[領収証類]	明治18年4月5日~ 18日		1袋(1通1纏め)		28-24-32-1~2一袋 封筒あり(封筒表書)「補充地方税」
28-24-32-1	[大橋秀太郎分租税領収証]	明治18年4月18日	横切紙	1通	中疇村・内尾村・東疇村戸長畠田頭佐→大橋秀太郎	
28-24-32-2	[大橋秀太郎分租税領収証]	明治18年4月5日	横切紙	1纏め(6通)	戸長植田年→大橋秀太郎 2通 帯高村戸長役場→大橋秀太郎 1通 子位莊村・西坂村・三田村・生坂村・浅原村戸長高尾仙作 →大橋秀太郎 3通	
28-24-33	[大橋秀太郎分租税領収証]	明治18年7月29日	横切紙	1纏め(4通)	戸長大森孫九郎代用掛松尾九十郎→大橋秀太郎 窪屋郡第四 部戸長役場→大橋秀太郎名代人小原延漸 窪津郡富久村・浜 村・平田村・大島村・福島村戸長窪津大紀→大橋秀太郎	封筒あり(封筒表書)「七月九日収メ 濱 富久 帯高 前潟村費領収 証二通在中」
28-24-34	[領収証類]	明治6年7月6日~ 18年7月15日		1袋(2通1纏め)		28-24-34-1~3一袋 封筒あり(封筒表書)「領収証在中」
28-24-34-1	[大橋秀太郎分租税領収証]	明治6年7月6日	横切紙	1通	戸長畠田頭佐→大橋秀太郎	
28-24-34-2	[大橋秀太郎分租税領収証]	明治8年7月15日	横切紙	1纏め(2通)	浅口郡西ノ浦村・鶴新田村戸長岡本泰吾→大橋秀太郎	
28-24-34-3	[大橋秀太郎分租税領収証]	明治18年7月15日	横継紙	1通	戸長尾高久六→大橋秀太郎	
28-24-35	[領収証類]	明治18年2月6日~ 5月13日		1袋(1通3纏め)		28-24-35-1~4一袋 封筒あり(封筒表書)「五月十一日収め十八年 度地方税第一期并地価割協議ヒ村費受取在中」
28-24-35-1	[大橋秀太郎分租税領収証]	明治18年5月14日	横切紙	1通	中疇村・内尾村・東疇村戸長畠田頭佐→大橋秀太郎	
28-24-35-2	[大橋秀太郎分租税領収証]	明治18年5月13日	横切紙	1纏め(2通)	戸長植田年→大橋秀太郎	
28-24-35-3	[大橋秀太郎分租税領収証]	明治18年5月11日	横切紙	1纏め(6通)	西坂村・子位莊村・浅原村・生坂村・三田村戸長高尾仙作→大 橋秀太郎 5通 戸長役場→大橋秀太郎 1通	
28-24-35-4	[大橋秀太郎分租税領収証]	明治18年5月13日	横切紙	1纏め(2通)	戸長大森孫九郎→大橋秀太郎	
28-24-36	[大橋秀太郎分租税領収証]	明治17年10月24日	横切紙	1袋(1纏め9通)	戸長植田甚三郎→大橋秀太郎	刷物(上書)「十七年十月廿四日収メ受領証 倉敷村 拾通在中」
28-24-37	[大橋秀太郎分租税領収証]	明治17年8月25日 ~9月1日		1袋(1通2纏め)		28-24-37-1~3一袋 袋あり(袋上書)「村々年貢受取証」
28-24-37-1	[明治17年度地租第1期受領証]	明治17年8月25日	横切紙	1通	戸長植田甚三郎→大橋秀太郎	
28-24-37-2	[明治17年度地租第1期等受領証]	明治17年8月25日	横切紙	1纏め(2通)	戸長窪津大紀→大橋秀太郎	
28-24-37-3	[明治17年度地租第1期等受領証]	明治17年9月1日	横切紙	1纏め(4通)	子位莊村・西坂村・三田村・生坂村・浅原村戸長高尾仙作→大 橋秀太郎 西坂村・生坂村・子位莊村分 3通 窪屋郡第六部戸 長役場→大橋秀太郎 1通	印刷物
28-24-38	[受領証]	明治16年	横折紙	1通	窪屋郡帯高村戸長西山澄 納人大橋秀太郎 明治十六年度地 方税 公儲金	刷物
28-24-39	[受領証]	明治16年	横切紙	1通	都宇郡前潟村戸長大森孫九郎 納人大橋秀太郎 明治十六年 度地方税 地租税	
28-24-40	[明治十八年度地租第2期受領証]	明治18年9月10日	横切紙	1通	戸長植田年→大橋秀太郎	
28-24-41	[明治17年度地方税収入不足補充金受領証]	明治18年9月28日	横切紙	1通	戸長植田年→大橋秀太郎	刷物
28-24-42	[大橋秀太郎分租税収入通]	(明治15年~18年)		1纏め(3丁)		28-24-42-1~3が重ねて折られている
28-24-42-1	明治十四年度税金収入通	(明治14年)	縦紙	1丁	生坂村戸長目黒直衛→大橋秀太郎	印刷物
28-24-42-2	明治十五年諸税請取通	(明治15年)	縦紙	1丁	西坂村戸長高尾仙作→大橋秀太郎	印刷物
28-24-42-3	明治十五年地租収入通	(明治15年)	縦紙	1丁	生坂村戸長目黒直衛→大橋秀太郎	印刷物

28-24-43	[大橋秀太郎分租税領収証]	明治13年7月28日 ～17年8月1日		1袋(1綴7通14 纏め)		28-24-43-1～22一袋 袋あり(袋上書)「地租二係ル領収証」
28-24-43-1	[協議費前期受領証]	明治17年8月1日	横切紙	1通	戸長畠田頭佐→大橋秀太郎	
28-24-43-2	[明治17年度地方税第1期受領証]	明治17年5月13日	横切紙	1纏め(2通)	戸長窪津大紀→大橋秀太郎	
28-24-43-3	[明治17年度地方税地租割第1期受領証]	明治17年5月13日	横切紙	1綴(3通)	戸長高尾仙作→大橋秀太郎 西阪村・生坂村・子位庄村分	印刷物
28-24-43-4	[明治17年度地方税受領証]	明治17年5月11日	横切紙	1纏め(2通)	戸長植田甚三郎→大橋秀太郎	刷物
28-24-43-5	[明治16年度地租第4期等受領証]	明治17年3月26日	横切紙	1纏め(2通)	戸長窪津大紀→大橋秀太郎	刷物
28-24-43-6	[明治16年度田税第4期等受領証]	明治17年3月23日	横切紙	1纏め(3通)	戸長高尾仙作→大橋秀太郎 西阪村・生坂村・子位庄村分	印刷物
28-24-43-7	[明治16年第3期地方税等受領証]	明治17年1月22日	横切紙	1纏め(5通)	戸長高尾仙作・戸長窪津大紀→大橋秀太郎	印刷物
28-24-43-8	[田税第1期受領証]	明治16年12月11日	横切紙	1纏め(2通)	戸長窪津大紀→大橋秀太郎	刷物
28-24-43-9	[明治16年第三期田税領収証]	明治16年12月10日	横切紙	1纏め(3通)	戸長高尾仙作→大橋秀太郎 西阪村・生坂村・子位庄村	
28-24-43-10	[明治16年地租第1期等領収証]	明治16年8月23日	横切紙	1纏め(2通)	戸長窪津大紀→大橋秀太郎	刷物
28-24-43-11	[明治16年第2期地租受領証]	明治16年10月22日	横切紙	1纏め(3通)	戸長高尾仙作→大橋秀太郎 西阪村・生坂村分	印刷物
28-24-43-12	[明治16年第1期地租受領証]	明治16年8月22日	横切紙	1纏め(3通)	戸長高尾仙作→大橋秀太郎 西阪村・生坂村・子位庄村分	印刷物
28-24-43-13	[地租第二期等受領証]	明治16年10月24日	横切紙	1纏め(2通)	戸長窪津大紀→大橋秀太郎 浜・富久村分	刷物
28-24-43-14	[明治16年地方税第1期等受領証]	明治16年5月23日	横切紙	1纏め(3通)	戸長高尾仙作→大橋秀太郎 西阪・生坂・子位庄村分	印刷物
28-24-43-15	[明治16年第1期地方税等受領証]	明治16年5月18日	横切紙	1纏め(2通)	戸長窪津大紀→大橋秀太郎 浜・富久村分	
28-24-43-16	[大橋秀太郎分租税受領証]	(明治15)年6月1日	横切紙	1通	明治15年第1期地方税他 高尾→大橋秀太郎	
28-24-43-17	受領証	年月日未詳	横切紙	1通	前潟村戸長佐藤禎太郎→大橋秀太郎 高梁川堤防修築費 明治14年5月15日納～明治15年3月21日納までの印あり	
28-24-43-18	明治十四年諸税受取通	明治14年	縦紙	1通	西阪村戸長高尾仙作→大橋秀太郎	印刷物
28-24-43-19	[地籍費受領証]	明治15年1月28日	横切紙	1通	戸長役場→大橋秀太郎	刷物
28-24-43-20	記(受領証)	明治15年7月23日	横切紙	1通	戸長役場→大橋秀太郎 盗獄費貳円三拾九銭壹厘	
28-24-43-21	[大橋秀太郎分租税受領証]	明治13年7月28日 ～14年7月25日	横切紙	1纏め(4通)		
28-24-43-22	[地籍費第二期領収書]	明治15年1月25日	横切紙	1通	子位庄村戸長役場→大橋秀太郎	刷物
28-24-44	[明治十七年度大橋秀太郎分租税領収証]	明治17年10月27日		1袋(3通)		28-24-44-1～3一袋 封筒あり(封筒表書)「明治十七年十月廿七日収メ中疇帯高前受領証在中」印刷物
28-24-44-1	[受領証]	明治17年10月27日	横切紙	1通	明治十七年度地租第二期 前潟村分 明治十七年度公儲金前期分 戸長大森孫九郎→大橋秀太郎	
28-24-44-2	[受領証]	明治17年10月27日	横切紙	1通	明治十七年度地方税第二期 帯高村分 同非常費 窪屋郡第四部戸長西山澄→大橋秀太郎	
28-24-44-3	[受領証]	明治17年10月27日	横切紙	1通	明治十七年度畑宅地租第二期 中疇村分 同備荒公儲金前期他 中疇村・内尾村・東疇村戸長畠田頭佐→大橋秀太郎	
28-24-45	[大橋秀太郎分租税領収証]			1袋(3纏め4通)		28-24-45-1～7一袋 袋あり(袋上書)「十九年度地方税領収証」
28-24-45-1	[租税領収証]	明治19年正月14日 ～2月25日	横切紙	1纏め(3通)	大橋秀太郎分	
28-24-45-2	[大橋秀太郎分租税領収書]	明治19年2月23日	横切紙	1纏め(3通)	戸長高尾仙作→大橋秀太郎 生坂村・子位庄村分・西阪村分	刷物
28-24-45-3	[大橋秀太郎分租税領収書]	明治19年2月23日	横切紙	1纏め(2通)	戸長窪津大紀→大橋秀太郎 富久村・浜村分	刷物
28-24-45-4	[大橋秀太郎分租税領収書]	明治19年2月22日	横切紙	1通	戸長大森孫九郎 前潟村分	刷物
28-24-45-5	[大橋秀太郎分租税領収書]	明治19年2月23日	横切紙	1通	戸長畠田頭佐→大橋秀太郎 中疇村分	刷物
28-24-45-6	[大橋秀太郎分租税領収書]	明治19年2月23日	横切紙	1通	戸長植田年→大橋秀太郎	刷物
28-24-45-7	[大橋秀太郎分租税領収書]	明治19年2月23日	横切紙	1通	戸長西山澄→大橋秀太郎 帯高村分	刷物
28-24-46	[明治十八年度地租等領収証]			1袋(9纏め1通)		28-24-46-1～10一袋 袋あり(袋上書)「明治十八年三月廿三日 各村地租第四期并公儲金村費受取証在中」
28-24-46-1	[大橋秀太郎分租税領収証]	明治18年3月25日	横切紙	1通	戸長山本鎮→大橋秀太郎	
28-24-46-2	[大橋秀太郎分租税領収証]	明治18年3月23日	横切紙	1纏め(2通)	児島郡第十四部戸長畠田頭佐→大橋秀太郎	
28-24-46-3	[大橋秀太郎分租税領収書]	明治18年3月23日	横切紙	1纏め(2通)	窪屋郡第五部戸長窪津大紀→大橋秀太郎	印刷物
28-24-46-4	[大橋秀太郎分租税領収書]	明治18年3月23日	横切紙	1纏め(2通)	戸長窪津大紀→大橋秀太郎 浜村・富久村分	印刷物
28-24-46-5	[大橋秀太郎分租税領収書]	明治18年3月23日	横切紙	1纏め(2通)	戸長高尾仙作→大橋秀太郎 生坂村分	印刷物
28-24-46-6	[大橋秀太郎分租税領収証]	明治18年3月23日	横切紙	1纏め(2通)	戸長高尾仙作→大橋秀太郎 西阪村分	
28-24-46-7	[大橋秀太郎分租税領収証]	明治18年3月23日	横切紙	1纏め(2通)	戸長高尾仙作→大橋秀太郎 子位庄村分	
28-24-46-8	[大橋秀太郎分租税領収証]	明治18年3月24日	横切紙	1纏め(2通)	戸長植田年→大橋秀太郎	
28-24-46-9	[大橋秀太郎分租税領収証]	明治18年3月25日	横切紙	1纏め(2通)	窪屋郡第四部西山澄→大橋秀太郎	
28-24-46-10	[大橋秀太郎分租税領収証]	明治18年3月25日	横切紙	1纏め(2通)	戸長大森孫九郎→大橋秀太郎	
28-24-47	[大橋秀太郎分租税領収証]			1袋(1通1纏め)		28-24-47-1～2一袋 袋あり(袋上書)「明治十九年第一月廿日 田租 第四期受取証 当春料」
28-24-47-1	[村別租税額書上]	年月日未詳	横継紙	1通	「金拾九円三拾銭八厘 倉敷」など	

28-24-47-2	[大橋秀太部分租税領収証]	明治19年1月20日	横切紙	1纏め(10通)	戸長高尾仙作→大橋秀太郎 3通 戸長畠田顯作→大橋秀太郎 2通 戸長大森孫九郎→大橋秀太郎 1通 戸長西山澄→大橋秀太郎 1通 戸長窪津大紀→大橋秀太郎 2通 戸長植田年→大橋秀太郎 1通	
28-24-48	[明治十八年度第一期地租等領収証]	明治18年8月26日 ~27日		1袋(5纏め)		28-24-48-1~5一袋 袋あり(袋上書)「明治十八年八月廿六日収地租第一期地方税第二期公儲経費領収書在中」
28-24-48-1	[大橋秀太部分租税領収証]	明治18年8月26日	横切紙	1纏め(4通)	戸長高尾仙作→大橋秀太郎 子位庄村分・生阪村分・西坂村分	
28-24-48-2	[大橋秀太部分租税領収証]	明治18年8月27日	横切紙	1纏め(5通)	戸長植田年→大橋秀太郎	刷物
28-24-48-3	[大橋秀太部分租税領収証]	明治18年8月27日	横切紙	1纏め(2通)	戸長窪津大紀→大橋秀太郎 浜村・富久村	印刷物
28-24-48-4	[大橋秀太部分租税領収証]	明治18年8月27日	横切紙	1纏め(2通)	戸長窪津大紀→大橋秀太郎 浜村・富久村	
28-24-48-5	[大橋秀太部分租税領収証]	明治18年8月26日	横切紙	1纏め(4通)	戸長畠田顯佐・戸長西山澄・戸長大森孫九郎→大橋秀太郎	刷物
28-24-49	[明治18年度田租第5期領収書]			1袋(2纏め)		28-24-49-1~2一袋 袋あり(袋上書)「十八年度田租第五期領収証在中」
28-24-49-1	[大橋秀太部分租税領収書]	明治19年3月24日	横切紙	1纏め(2通)	戸長岡本泰吾→大橋秀太郎	刷物
28-24-49-2	[大橋秀太部分租税領収証]	明治19年3月22日 ~23日	横切紙	1纏め(9通)	戸長大森孫九郎→大橋秀太郎 1通 戸長西山澄→大橋秀太郎 1通 戸長畠田顯佐→大橋秀太郎 1通 戸長高尾仙作→大橋秀太郎 3通 戸長窪津大紀→大橋秀太郎 2通 戸長植田年→大橋秀太郎 1通	印刷物
28-24-50	[明治18年度第3期地方税并村費領収書]			1袋(5纏め3通)		28-24-50-1~8一袋 袋あり(袋上書)「明治十八年十一月廿五日収地方税第三期并村費領収証在中」
28-24-50-1	[大橋秀太部分租税領収証]	明治18年11月25日	横切紙	1纏め(4通)	戸長植田年→大橋秀太郎	刷物
28-24-50-2	[大橋秀太部分租税領収証]	明治18年11月25日	横切紙	1通	戸長大森孫九郎→大橋秀太郎 前湯村分	印刷物
28-24-50-3	[大橋秀太部分租税領収証]	明治18年11月25日	横切紙	1纏め(2通)	戸長畠田顯佐→大橋秀太郎 中疇村分 戸長西山澄→大橋秀太郎	印刷物
28-24-50-4	証(租税領収証)	明治18年11月26日	横切紙	1纏め(2通)	戸長窪津大紀→大橋秀太郎 富久村・浜村分	印刷物
28-24-50-5	[大橋秀太部分租税領収証]	明治18年11月26日	横切紙	1纏め(3通)	戸長高尾仙作→大橋秀太郎 西坂村・生阪村・子位庄村分	印刷物
28-24-50-6	[大橋秀太部分租税領収証]	明治18年11月28日	横切紙	1纏め(2通)	戸長岡本泰吾→大橋秀太郎	
28-24-50-7	[大橋秀太部分租税領収証]	明治18年11月24日	横切紙	1通	戸長岡本泰吾→大橋秀太郎	
28-24-50-8	[送り状]	年月日未詳	縦切紙	1通	金三拾円貳拾七銭四厘	罫紙
28-24-51	[大橋秀太部分明治18年第2期地租領収証]			1袋(4通2纏め)		28-24-51-1~6一袋 袋あり(袋上書)「十八年十月廿六日収メ地租第二期領収証」
28-24-51-1	[大橋秀太部分租税受領証]	明治18年10月27日	横切紙	1通	戸長畠田顯佐→大橋秀太郎 中疇村分	印刷物
28-24-51-2	[大橋秀太部分租税受領証]	明治18年10月26日	横切紙	1通	戸長植田年→大橋秀太郎	刷物
28-24-51-3	[大橋秀太部分租税受領証]	明治18年10月26日	横切紙	1通	戸長高尾仙作→大橋秀太郎 子位庄村分	印刷物
28-24-51-4	[大橋秀太部分租税受領証]	明治18年10月26日	横切紙	1纏め(2通)	戸長窪津大紀→大橋秀太郎 富久村分	印刷物
28-24-51-5	[大橋秀太部分租税受領書]	明治18年10月26日	横切紙	1纏め(2通)	戸長窪津大紀→大橋秀太郎 浜村分	印刷物
28-24-51-6	[大橋秀太部分租税受領証]	明治18年10月27日	横切紙	1通	用掛間野静太郎→大橋秀太郎	刷物
28-24-52	[大橋秀太部分租税受領証]			1袋(1通1纏め)		28-24-52-1~2一袋 袋あり(袋上書)「明治十八年十二月十日収メ地租第三期并公儲金在裡」
28-24-52-1	[大橋秀太部分租税受領証]	明治18年12月12日	横切紙	1通	戸長岡本泰吾→大橋秀太郎	刷物
28-24-52-2	[大橋秀太部分租税受領証]	明治18年12月10日	横切紙	1纏め(13通)	戸長植田年・戸長畠田顯佐・戸長大森孫九郎・戸長西山澄・戸長高尾仙作→大橋秀太郎	刷物
28-24-53	[大橋秀太部分租税受領書類]			1包(3通4纏め)		28-24-53-1~7一袋 袋あり(袋上書)「明治十七年十二月八日収メ受領証在中 各部」
28-24-53-1	[大橋秀太部分租税受領証]	(明治17年)12月29日	横切紙	1通	戸長役場→大橋秀太郎	
28-24-53-2	[大橋秀太部分租税受領証]	明治17年12月29日	横切紙	1纏め(4通)	戸長植田甚三郎→大橋秀太郎	刷物
28-24-53-3	[大橋秀太部分租税受領証]	明治17年12月14日	横切紙	1纏め(2通)	戸長山本鎮	刷物
28-24-53-4	[大橋秀太部分租税受領証]	明治17年12月8日	横切紙	1纏め(6通)	戸長高尾仙作	印刷物
28-24-53-5	[大橋秀太部分租税受領証]	明治17年12月8日	横切紙	1纏め(8通)	戸長植田甚三郎・戸町畠田顯佐・第4部戸長西山澄・第5部戸長窪津大紀	刷本

28-24-53-6	[受領証]	明治17年11月9日	横切紙	1通	戸長植田甚三郎→大橋秀太郎 寄付金7円	刷物
28-24-53-7	[納税証]	明治17年12月9日	横切紙	1通	戸長大森孫九郎代用掛大森二吉→大橋秀太郎 前湯村租税計八円拾三銭外五り	印刷物
28-25	[鶴新田耕地絵図]	年月日未詳	28.3×36.0	1枚	全体図、文化開、文政開、天保開の4点が描かれている	資料保護の為SILティッシュで包む
28-26	[書付・書状類]			1包(1包3通)		28-26-1~4一包 包紙あり(包紙上書)「弘化開借用銀頼越し候書付在中 瀧右衛門」
28-26-1	[大橋亀次郎宛書状類]			1包(3通)		28-26-1-1~3一包 包紙あり(包紙上書)「倉敷 大橋亀次郎様 小野延太 三宅甚蔵 貴下要用」
28-26-1-1	[大橋亀次郎宛滝右衛門書状]	年未詳11月3日	横継紙	1通	調金受取と酒屋への手紙は封をしたまま酒屋へ渡したことを知らせる	(上書)「大橋亀次郎様 元家滝右衛門 貴下要用」
28-26-1-2	[大橋亀次郎宛小野延太・三宅甚蔵書状]	年未詳11月2日	横継紙	1通	頼んでいた調金の催促状	
28-26-1-3	[大橋亀次郎宛小野延太・三宅甚蔵書状]	年未詳10月29日	横継紙	1通	入用金貳百五拾両之内残金五拾両と江戸廻金五拾両の合計百両の工面願	
28-26-2	覚(借用銀書付)	亥年12月24日	横切紙	1通	弘化開元方→大橋金平	
28-26-3	[大橋金平他9人宛年番惣代滝右衛門廻状]	年未詳12月23日	横継紙	1通	新開諸入用の不足が多分であり掛合中であるが年内余日がないのでひとまず年番中の相談の上振りかえてもらいたい	虫損あり
28-26-4	[大橋金平宛滝右衛門書状]	年未詳12月24日	横継紙	1通	昨日廻状で連絡した振替銀について差支があっても差向てくれる様依頼	(上書)「大橋金平様 もと分家滝右衛門 貴下要用」
28-27	[大橋徳蔵宛甚介書状]	年未詳10月22日	横継紙	1通	米相庭が大下落し困っているが能々人を遣されたので取集めた五拾両を御渡しする 見舞の菓子壱折の礼	
28-28	明治十六癸未年十月記 神事諸入用控 東大橋	明治16年10月	美・横半折	1冊		
28-29	[十八年分人別元利算用覚]	年月日未詳	美・横長	仮1冊		
28-30	[催合講関係書類]			1包(2通)		28-30-1~2一包 (包紙上書)「催合講落札証文壱通 大橋」
28-30-1	[大橋宛鷺江小文太書状]	年未詳1月7日	横継紙	1通	催合講証文返上の知らせ	(上書)「大橋様 鷺江小文太」
28-30-2	催合講証文之事	明治9年1月4日	横継紙	1通	合金百三拾六円 備前国児嶋郡興除新田中疇字式割仁升四拾八番 田三反式拾五歩を書入 得番主備前国窪屋郡倉敷村大橋秀太郎→中疇村鷺江小文太引請催合講渡取連中	(奥書)「戸長山本省三 副戸長伊東三輪三」
28-31	田地書入趣法講落札証文之事	明治10年1月8日	縦継紙	1通	大橋秀太郎・証人大橋徳蔵→窪津賢・高尾仙作・難波景二	(奥書)「子位庄村戸長窪津大紀」
28-32	[書状類・高反別書上]			1包(8通)		28-32-1~8一包 (包紙上書)「大橋良助様 用事 年番小野小十郎 松井彦左衛門」 書状の包紙を転用
28-32-1	[大橋源助宛小野忠兵衛書状]	年月未詳12日	横継紙	1通	明十三日別紙の通り鶴新田元小屋へ年貢持参のこと	
28-32-2	覚(井路敷・米引渡しのこと)	酉年12月13日	横切紙	1通	三宅甚蔵→大橋金平	
28-32-3	[酉・戌年反別掛取]	戌年12月9日	横継紙	1通	鶴新田 拾壹町壹反三畝八歩半 一三貫五百拾七匁九分七厘 酉歳反別掛取など	
28-32-4	[石高書上]	年月日未詳	横切紙	1通	七斗六升九合壹匁 井路敷	
28-32-5	[定米算用書]	文久元年12月12日	横継紙	1通	正平→大橋金平	
28-32-6	覚(古地御年貢受取)	酉年12月13日	横継紙	1通	弘化開会所→大橋金平	
28-32-7	覚(鶴新田古地御年貢之事)	戌年12月18日	横切紙	1通	弘化開会所→金平	
28-32-8	酉御年貢米之事	酉年13日	横継紙	1通	金平 鶴新田元小屋へ持参の年貢算用書	
28-33	[願金書付]	年月日未詳	横継紙	1通	荒木惣十郎他二人分	
28-34	覚(出銀書付)	酉年12月20日	美・横長	1冊	弘化開元方→(宛名なし) 合百三拾貳貫百八拾目 新開入用割当についての廻文控あり	
28-35	[書状・金銭書付]			1括り(1袋4通)		28-35-1~5一括り
28-35-1	[書状類]			1袋(2通)		28-35-1-1~2一袋 (袋上書)「大橋徳蔵様 江山類介 玉座下」
28-35-1-1	[伯父・長之丞宛類介書状]	年未詳12月朔日	横継紙	1通	秋に無心した金子の返済について 婚姻が滞りなく行われたことへの祝い、種々のもてなしへの礼などの内容	
28-35-1-2	[大橋徳蔵宛大森増次郎書状]	年未詳11月20日	横継紙	1通	荷物前請繰入のこと	
28-35-2	借家手形之事	天保4年正月	縦継紙	1通	行川横町瓦葺長借家之内 此家賃通用四拾目 借主四十瀬屋十六→中嶋屋源介	
28-35-3	[高反別代銀書上]	年月日未詳	横切紙	1通	壹反四畝歩 一壹石壹斗貳升七合 代銀札四百壹匁五分七厘 六兵衛 他6筆	
28-35-4	[大橋徳蔵宛片山栄吉・同類助書状]	年未詳8月26日	横切紙	1通	神事の際、品物をご恵贈下さったことへの礼 証文の利分についてなどの内容	(封筒表書)「大橋徳蔵様 片山栄吉 貴報」(封筒裏書)「昨日認之 俣差遣し申候」
28-35-5	[借用銀之事]	年未詳8月29日	横切紙	1通	上用金300両を長谷川五郎大夫・片山栄吉・福武市大夫に貸し、利分は月壹歩、十一月切りとするといった内容など	全体を抹消
28-36	[証文雛型類]			1括り(4通1包)		28-36-1~5一括り
28-36-1	何ヶ月切壹ヶ年切売渡申証文之事(雛型)	年月日未詳	縦紙	1通	売主何某→倉敷村中嶋屋源介	
28-36-2	壹ヶ年切売渡申証文之事(雛型)	年月日未詳	縦継紙	1通	売主何某→倉敷中嶋屋源介	
28-36-3	小作証文之事(雛型)	年月日未詳	縦継紙	1通		
28-36-4	質入田畑証文之事(雛型)	年月日未詳	縦継紙	1通	質主何村何某→中嶋屋良介	
28-36-5	[証文案文]			1包(2通)		28-36-5-1~2一包 包紙あり(包紙上書)「案文式通本紙相添御返し可被下候」
28-36-5-1	小作証文之事(案文)	年月日未詳	縦継紙	1通	右小作人何村誰→倉敷中嶋屋金平	

28-36-5-2	小作証文之事(案文)	年月日未詳	縦継紙	1通	何某→倉敷中嶋屋源介	
28-37	記(受取証)	明治12年5月15日	横切紙	1通	一.地券四通 此書控証印税壹円八拾四錢四厘 他に二厘 手数料 生坂村戸長役場→大橋秀太郎	
28-38	記(受取証)	明治12年5月15日	横切紙	1通	旧組一時差別金三拾八錢八厘 生坂村戸長役場→大橋秀左郎	
28-39	記(義倉金受取)	明治10年9月2日	横切紙	1通	一金貳百貳拾四円 年番大橋五郎・木村光太郎→大橋秀太郎	
28-40	[人足賃書付]	年月日未詳	横折紙	1通	〆貳円三拾壹錢 壹人拾錢定	裏面に略絵図あり
28-41	記(地券書換証印税受取証)	(明治)12年3月9日	横切紙	1通	戸長役場→大橋徳蔵 金五拾壹錢七厘	罫紙
28-42	記(積金請取証)	年未詳12月20日	横切紙	1通	中野屋茂吉→東大橋 積金貳円五十錢	
28-43	証書(所在地売渡証)	明治10年9月2日	縦紙	1通	倉敷村売主大橋秀太郎・妹尾村証人佐藤五三郎→箕島村大橋淳平	包紙あり(包紙上書)「証書壹通」
28-44	記(金銭渡証)	明治11年12月	横切紙	1通	一金三拾六錢三厘 池敷預り米七升五合五勺代 富久村戸長役場→大橋秀太郎	
28-45	記(代金受取証)	明治12年5月12日	横切紙	1通	此本米貳石五斗九升五勺 代金拾六円八拾三錢八厘受取 北新宅→東本家	
28-46	記(金銭請取証)	年未詳2月3日	横切紙	1通	佐藤伊三吉→長保草次郎 〆五円四拾三錢三厘請取	
28-47	記(地代不足金等書付)	年月日未詳	横切紙	1通	地代不足金拾八円他 長尾屋→東大橋	
28-48	記(元利金受取証)	明治11年1月	横継紙	1通	児原常三→東大橋	
28-49	記(村借入金返済のこと)	明治11年1月5日	縦紙	1通	木村光太郎・屋草富太郎→大橋秀太郎 元利金百四円八拾錢	罫紙
28-50	覚(手紙受取証)	年月日未詳	横切紙	1通	佐藤文太郎→(宛名なし)	罫紙
28-51	覚(御用金請取)	巳年4月20日	横切紙	1通	中疇善右衛門→東大橋 金50両	(包紙上書)「御引替金手形入 此分済 中疇名主印」
28-52	記(鷹蒔絵硯箱等代金受取)	明治6年9月27日	横継紙	1通	大森保→大橋秀太郎	
28-53	[三餘塾費用領収書]	年未詳閏4月	横切紙	1通	三餘塾會計掛→大橋秀太郎	
28-54	記(三餘塾飯費・塾割受取証)	明治9年1月24日	横切紙	1通	三餘塾→大橋秀太郎	
28-55	仮受書	明治10年11月27日	15.8 × 17.4	1通	福島双平→大橋秀太郎 催合講払出金丑年分 金貳拾円受取	罫紙
28-56	覚(掛金受取書)	辰年12月9日	横切紙	1通	木陰秀右衛門→東大橋 金三拾七両貳朱永五拾七文〇四請取	
28-57	[代金書付]	年未詳旧3月7日~6月24日	横切紙	1通	宛名・差出人なし 旧3月7日より6月24日迄出入 日数66日 此代3円96錢 1日に付6錢	
28-58	記(料金受取証)	明治11年11月28日	横切紙	1通	子位庄村副戸長窪津大紀→(宛名なし) 大橋秀太郎地券証用紙并手数料56錢 他2筆	
28-59	記(米預手形)	明治11年12月30日	横切紙	1通	東大橋→黒瀬重平 米三五入九拾俵	
28-60	記(戸別賦課金受取書)	明治11年8月3日	横切紙	1通	副戸長内藤忠右衛門→大橋秀太郎 戸別賦課金14円50錢 前半分	
28-61	記(米代金引渡証)	寅年5月26日	横切紙	1通	長尾屋和平次→東大橋	
28-62	記(森末新池敷・溝敷共預米引渡証)	(明治)10年1月31日	横切紙	1通	川入村取扱所→大橋秀太郎	
28-63	記(地租返却)	(明治)10年12月4日	横継紙	1通	西之浦村残務掛り→大橋秀太郎	
28-64	記(代金引渡書)	年未詳4月18日	横切紙	1通	谷野多郎右衛門→東大橋 米20石 代金105円60錢	
28-65	記(金銭受取書)	寅年旧正月28日	横切紙	1通	長尾屋金造→東大橋 金拾五円五十三錢四厘	
28-66	記(上納米代金引渡書)	寅年7月17日	横切紙	1通	高見和平次→東大橋 上納米五十五俵 他に四升	
28-67	[口上書]			1纏め(2通)		28-67-1に28-67-2が挟み込まれている
28-67-1	口上(代金受取書)	丑年旧11月14日	横切紙	1通	長尾屋→東大橋 弘化貳割田道上4反歩 代金188円	
28-67-2	[口上](反別代金書付)	年月日未詳	横切紙	1通	弘化貳割反別代金書付	
28-68	記(飯代金受取書)	年未詳旧正月15日	14.8 × 27.9	1通	犬養正介→大橋秀太郎	罫紙
28-69	[証書受取]	年未詳9月22日	横切紙	1通	大橋五郎→大橋長蔵 百円証書の受取を証明	
28-70	記(金銭受取書)	卯年2月7日	横継紙	1通	長尾屋常蔵→東大橋	
28-71	[地租領収書]	明治12年2月9日	横切紙	1纏め(2通)	守屋希一→大橋秀太郎	
28-72	記(米代金引渡証)	明治6年9月26日	横折紙	1通	赤木秀太→大橋	
28-73	[本米算用書]	酉年9月25日	横切紙	1通		赤字で訂正してある部分がある
28-74	[借用証書類]			1括り(3通)		28-74-1~3紙纏りで一括り
28-74-1	借用申銀子証文之事	文政11年12月	縦切紙	1通	借用主備前家中河崎丑右衛門他2名→備中倉敷中嶋屋源介	(袋表貼紙)「文政十一年十二月後渡七キ半日当証文一通 河崎丑右衛門」(包紙上書)「子十二月之銀子借用証文 河崎丑右衛門」
28-74-2	借用申銀札之事	文政6年12月	縦切紙	1通	借用主備前家中荒木弥右衛門→倉敷中嶋屋源介	(袋表貼紙)「文政六未十二月取かえ 四百目 証文壹通 荒木弥右衛門 但し春秋両度二都合六俵宛入替」(包紙上書)「未十二月取かえ荒木弥右衛門 証文一通 毎年春秋両度二六俵入替」大黒屋文助宛荒木弥右衛門内用書の包紙を転用してある



28-74-3	借用申銀子証文之事	天保9年4月	縦継紙	1通	借用主備前家中河原権之丞・同鉄五郎→備中倉敷源介 文政12丑年借用銀巳年まで元利新銀札753匁2分9厘 年賦払の約束	(袋表貼紙)「戌年より年賦払の約束 銀四百目 川原藤矢衛」(包紙上書)「証文書通 河原様」(包紙端裏書)「河原様」
28-75	[覚・質入証文之事]	慶応3年12月	縦継紙	1通	日吉庄村地主・質主栄三郎・川入村証人久次郎→川入村万蔵	(奥書)「日吉庄村庄屋横山嘉兵衛」
28-76	[小作証文類]			1括り(8通)		28-76-1~8紙綴りで一括り
28-76-1	小作証文之事	安政5年11月	縦継紙	1通	倉敷村中嶋屋源助→片嶋村中屋道平 小作人乙嶋和吉鶴新田弘化開拾壹ノ割新道上際壹反 他八筆	
28-76-2	小作証文之事	安政5年2月	縦継紙	1通	倉敷村中嶋屋源介→西之浦山本屋乙蔵 小作人鶴新田孫吉鶴新田弘化開拾ノ割豊道下際壹反 他二筆	
28-76-3	小作証文之事	安政4年12月	縦継紙	1通	倉敷大橋源介→西之浦渡辺道齋 小作人大梵松之介鶴新田弘化開貳ノ割豊道西貳反 他一筆	
28-76-4	小作証文之事	安政5年2月	縦継紙	1通	倉敷村中嶋屋源介→八田部村油屋源左衛門 小作人西原村藤三郎鶴新田弘化開拾ノ割豊道上際貳反 他二十一筆	
28-76-5	小作証文之事	安政5年3月	縦継紙	1通	倉敷村中嶋屋源介→八田部村油屋源左衛門 小作人片島愛介鶴新田弘化開拾ノ割良道東際貳反 他九筆	
28-76-6	小作証文之事	安政4年12月	縦継紙	1通	倉敷村大橋源介・中嶋屋徳蔵・西原村利七→舟尾村文太郎 小作人大梵平四郎鶴新田弘化開貳ノ割大道際東貳反 他一筆	
28-76-7	小作証文之事	安政4年12月	縦継紙	1通	倉敷村大橋源介→西之浦塩飽作吉 小作人西原柳吉鶴新田弘化開五ノ割田道西貳反 他一筆	
28-76-8	小作証文之事	安政4年12月	縦継紙	1通	倉敷村大橋源介・中嶋屋徳蔵・西原村利七→西之浦中屋熊蔵 小作人西之浦久松鶴新田弘化開三ノ割西詰壹反 他三筆	
28-77	[東大橋家田畑絵図]	年月日未詳	縦継紙	1舗		
28-78	興除新田之内中疇分絵図	年月日未詳	縦紙	1枚		
28-79	以書付御願申上候			1纏め(3通)		28-79-1~3一纏め 28-79-1と28-79-2が28-79-3で巻かれている
28-79-1	以書付御願申上候	年月日未詳	横継紙	1通	伴蔵より村役人への願書 娘志も(15才)を家内帳に書入れるようにとの願い	
28-79-2	以書付取替御願申上候(案文)	年月日未詳	横継紙	1通	伯父久蔵より村役人への願書 姪ま川(19才)を家内帳に書入れるようにとの願い(父親は死亡のため)	
28-79-3	以書付御願申上候(案文)	年月日未詳	横継紙	1通	亡吉彦の娘まき并に忝末吉をを家内帳に書入れてくれる様にとの願書	
28-80	[証文案書類]			1括り(1括り4包)		28-80-1~5紙綴りで一括り
28-80-1	小作証文之事(案文)	年月日未詳	縦継紙	1通	小作請負人→倉敷中嶋屋金平	(包紙上書)「案紙二通 本紙と一緒に二御返被下候」二通のうち一通を貼り付けてある
28-80-2	[証書類]			1包(2通)		28-80-2-1~2一包 (包紙上書)「案文二通 本紙二添御返可被下候」
28-80-2-1	小作証文之事(案文)	天保13年12月	縦継紙	1通	伝蔵他8人→倉敷中嶋屋源介	(奥書)小野名前 印
28-80-2-2	売渡申田地証文事(案文)	天保13年3月	縦継紙	1通	売主→倉敷中嶋屋源介	(奥書)村役人中奥書
28-80-3	[証文案書類]			1包(2通)		28-80-3-1に28-80-3-2が挟み込まれている
28-80-3-1	借用申銀子証文之事(案文)	嘉永5年正月	横継紙	1通	借用主→倉敷村中嶋屋金平 利息1ヶ月1歩2朱 金返済の約束	(包紙上書)「案文書通 本紙御添御返し可被成候」(奥書)村御役人中
28-80-3-2	[請取証案文]	年月日未詳	横切紙	1通	宛名・差出人なし 引当差入銀請取未完	
28-80-4	[証文案書類]			1包(2通)		28-80-4-1~2一包 (包紙上書)「案文三通 本紙二相添御返し可被下候」
28-80-4-1	質入申田畑証文之事(案文)	年月日未詳	横切紙	1通	質入主→倉敷村中嶋屋金平	(包紙上書)「案文三通 本紙二相添御返し可被下候」(奥書)村御役人→(宛名なし)
28-80-4-2	小作証文之事(案文)	年月日未詳	横継紙	1通	小作請負人→倉敷村中嶋屋金平	
28-80-5	[証文案書類]	嘉永4年12月~明治11年5月16日		1括り(2通1纏め)		28-80-5-1~3紙綴りで一括り
28-80-5-1	村辻借用銀証文之事(案文)	嘉永4年12月	縦継紙	1通	何郡何村名主他→倉敷中嶋屋金平当 銀貳拾五貫目 利息1ヶ年1割3歩	(奥書)大庄屋御衆中御名前
28-80-5-2	地券御書替願	明治11年5月16日	縦紙	1纏め(3通)	売渡人備中国窪屋郡倉敷村大橋秀太郎・買受人同国浅口郡西之浦吉岡民次郎→岡山県令高崎五六 西之浦村弘化開屋敷割宅地1畝27歩売買	野紙 3通同文 重ねて折り畳んである
28-80-5-3	小作証文之事(案文)	嘉永5年正月	縦継紙	1通	借用主何村誰他3名→倉敷中嶋屋金平当	(包紙上書)「案文書通 本紙二御添御返し可被下候」
28-81	[借銀関係書類]			1袋(3通)		28-81-1~3一袋 袋が紙綴りで結ばれている (袋上書)「巳十二月取替 イチヤ 新田方渡り但午より成迄五ヶ年の内米六拾五俵宛払入 翌亥年元より元利皆済米百俵宛払入候約定 岸織部子十二月廿四日 甚介へ取かへ丑正月廿九日渡し」(内包上書)「備中倉敷中嶋屋源介 石原権平 岡崎来吉 高田慶之進」
28-81-1	[中嶋屋源助宛高田慶之進・岡崎来吉・石原権平書状]	年未詳12月21日	横継紙	1通	岸藤太の内談による用米返済方法の件	
28-81-2	[文介宛本吉書状]	年未詳12月27日	横継紙	1通	別紙の証文并証書証文送付添状	(上書)「文介様 七郎右衛門」
28-81-3	覚(用米返済方法について)	天保10年12月	横継紙	1通	岸藤太借銀拾貫目返済方法の件 高田慶之進・岡崎来吉・石原権平→中嶋屋源介	(包紙上書)「書付一通」 帯封あり(帯封書付)「此分巳前之分」

28-82	[取替銀関係書状]			1袋(2通)		28-82-1~2一袋 (袋上書)「丑三月取替ヨ請取手形 書状添 俊平三拾俵引当 片山宇兵衛」
28-82-1	[文介宛堀甚兵衛書状]	年未詳12月27日	横切紙	1通	証文と引替にして銀札をお渡し下さる様に 証案は返済する	
28-82-2	[片山宇兵衛宛武田源三郎・竹野市兵衛書状]	亥年10月	横継紙	1通	蔵入の知行米を全部中島屋金平に引渡すこと、手形と引替に	
28-83	覚(銀札三百目請取)	卯年12月29日	横切紙	1通	古嶋屋民蔵→大黒屋文介	(袋上書)「辰七月取かへライ受取手形なし子十一月廿日文介へ取かへ」
28-84	[証書類]			1袋(5括り1纏め)		28-84-1~6一袋 (袋上書)「安政二乙卯年より書替証文并地所売渡証文控共数通入 外ニ嘉永五年子年証文長尾より戻り之分入」袋に入らなくなったのでSILティッシュで包んだ
28-84-1	[金子借用証書類]	安政2年		1括り(3通)		28-84-1-1~3紙綴りで一括り 紙綴りが破損しているのでSILティッシュに替えた
28-84-1-1	借用申金子証文之事	安政2年12月	縦継紙	1通	大橋源介→児島屋与兵衛 金350両借用	(包紙上書)「証文書通 東大橋入 辰十一月限」一つ書上の割印と差出名・印を墨で抹消してある
28-84-1-2	借用申金子証文之事	安政2年12月	縦紙	1通	借用主大橋源介→角屋忠兵衛 金450両借用	(包紙上書)「証文書通」一つ書上の割印・利息割合の印・差出人名・印を墨で抹消してある
28-84-1-3	借用申金子之事	安政2年12月	縦継紙	1通	借用主大橋源介・加判大橋平右衛門→角屋忠兵衛 金500両借用	(包紙上書)「証文一通」金額確認の印・差出人名印・紙継印など押印を全て墨で抹消してある
28-84-2	[証書類]	嘉永7年12月~安政2年12月		1纏め(5通)		28-84-2-1~5を重ねてニツ折りにして一纏め
28-84-2-1	借用申金子証文之事	嘉永7年12月	縦継紙	1通	新宅亀次郎→本家大橋平右衛門 金二百四十両借用	人名下の印・金額確認印を抹消
28-84-2-2	借用申金子之事	安政2年12月	縦紙	1通	新宅大橋源介→本家大橋平右衛門 金三百両借用	人名下の印・金額確認印を抹消
28-84-2-3	借用申金子証文之事	嘉永7年12月	縦継紙	1通	西阿知菅田屋宗左衛門・中島屋亀次郎・証人大黒屋文介→大橋平右衛門 金五百両借用	人名下の印・人名を抹消
28-84-2-4	借用申金子証文之事	安政5年6月	縦切紙	1通	中島屋良介→角屋忠兵衛 金五十両借用	人名下の印・金額確認印を抹消
28-84-2-5	借用申金子証文之事	安政5年7月	縦紙	1通	中島屋良介→角屋忠兵衛 金貳拾五両借用	人名下の印・金額確認印を抹消
28-84-3	[証書類]			1括り(2通1包)		28-84-3-1~3紙綴りで一括り
28-84-3-1	[差入書類]			1包(3通)		28-84-3-1-1~3一包 (包紙上書)「差入書書通」
28-84-3-1-1	差入申一札之事(案文)	安政5年2月	横切紙	1通	(差出人なし)→中島屋良介 返済の金子元利は受け取ったが古証文を紛失しているのだからとえその証文が残っていても反古とすること	(包紙上書)「案文一通」
28-84-3-1-2	覚(預証文)	壬子(嘉永5カ)年12月14日	横切紙	1通	本篠屋→東中島屋 証文一通預りの事	(包紙上書)「長尾小野忠兵衛より返り証文一通受取候分」(内包紙上書)「子十二月十五日 天保開証文書通預置候請取書入 篠屋番頭才吉」
28-84-3-1-3	差入申一札之事	安政5年2月	縦切紙	1通	長尾村小野忠兵衛・証人西原村俊吉→倉敷村中島屋良助 返済の金子元利は受け取ったが古証文を紛失しているのだからとえその証文が残っていても反古とすること	
28-84-3-2	壹ヶ年切売渡申証文之事	嘉永5年12月	縦継紙	1通	畑引渡主倉敷村中島屋金平・証人西原村油屋俊吉・同上成村佐太郎→長尾屋小野忠兵衛	(包紙上書)「証文書通 東中島屋」(端裏書)「安政五年午二月七日消印済 嘉永五年子十二月十四日調印」印が黒く塗りつぶされている
28-84-3-3	小作証文之事	嘉永5年12月	縦継紙	1通	小作引受人西原村油屋俊吉・証人上成村佐太郎・地持主金平→長尾村小野忠兵衛	(包紙上書)「小作証文書通 東中島屋」
28-84-4	[金子受取証類]			1括り(4通)		28-84-4-1~4紙綴りで一括り
28-84-4-1	覚(金百両借用証)	安政5年11月24日	横切紙	1通	新宅良介→本家	人名下の印・金額確認印を墨で抹消
28-84-4-2	覚(金貳拾両請取証)	安政3年7月10日	横切紙	1通	新宅源介→本家 金二十両	人名下の印・金額確認印を墨で抹消
28-84-4-3	覚(金四拾両請取証)	安政3年9月25日	横切紙	1通	新宅→本家	人名下の印・金額確認印を墨で抹消
28-84-4-4	覚(金六拾両請取証)	安政3年7月15日	横切紙	1通	源介→本家	(上書)「本家様 源介 要用書」人名下の印・金額確認印を墨で抹消
28-84-5	[借用金子証文一括]			1括り(5通)		28-84-5-1~5紙綴りで一括り
28-84-5-1	借用申金子証文之事	安政4年12月	縦紙	1通	借用主中島屋良介・証人大橋平右衛門→児島屋和吉 四百両借用	
28-84-5-2	借用申金子証文之事	安政5年12月	縦継紙	1通	借用主中島屋良助・証人中島屋勝之丞→児島屋和吉 四百両借用	
28-84-5-3	借用申金子之事	万延元年7月13日	縦紙	1通	新宅良介→本家大橋平右衛門 五拾両借用	本文・印は墨線で抹消してある
28-84-5-4	借用申金子証文之事	安政6年12月	縦切紙	1通	借用主中島屋良介・証人中島屋勝之丞→児島屋和吉	本文・印は墨線で抹消してある
28-84-5-5	預申金子証文之事	万延元年6月	縦継紙	1通	本家中島屋良介→分家徳蔵 七百五拾両預り証	印は墨で抹消してある
28-84-6	[借銀証文]			1括り(4通)		28-84-6-1~4紙綴りで一括り
28-84-6-1	借用申金子証文之事	安政3年12月	縦継紙	1通	借用主大橋源介→角屋忠兵衛 金四百五拾両借用	(包紙上書)「証文書通」(添書)「巳十二月元利相渡済」
28-84-6-2	借用申金子証文之事	安政4年12月	縦紙	1通	借用主中島屋良介→児島屋与兵衛 金貳百両借用	(包紙上書)「証文書通 東大橋 午十一月限」(添書)「午年六月十六日元利相渡済」紙背に児島屋の元利合計貳百拾両の請取書付あり
28-84-6-3	借用申金子証文之事	安政3年12月	縦継紙	1通	借用主大橋源介→児島屋与兵衛 金二百両借用	
28-84-6-4	借用申金子之事	安政3年12月	縦継紙	1通	借用人大橋源介・親類加判大橋平右衛門→角屋忠兵衛 金五百両借用	(包紙上書)「証文書通」
28-85	[受取書類]			1袋(35通3袋1括り4纏め2綴)		28-85-1~45一袋 (袋上書)「明治十二年卯五月 受取書類在裡」

28-85-1	[奇特ノ義二付木盃下賜候事]	明治18年10月30日	22.8×31.0	1通	岡山県令従五位勲四等千坂高雅→大橋秀太郎 岡山県医学校修繕費として拾円差出し奇特に付木盃一個下賜のこと	
28-85-2	証(医料費受取)	辰年2月4日	横切紙	1通	坂田雅吉→大橋秀太郎	
28-85-3	証(産土神修繕義捐金領収証)	明治21年2月9日	19.0×26.5	1通	修繕発起総代児原常三他7人→大橋秀	
28-85-4	[領収書他諸書類]			1袋(20通)		28-85-4-1~20一袋(袋上書)「有用書状」
28-85-4-1	記(領収書)	年未詳2月9日	横継紙	1通	銘仙他呉服代領収 児島屋忠七→東大橋	
28-85-4-2	証(年中演説費寄附金受取)	年未詳3月31日	横切紙	1通	地藏院→東大橋	
28-85-4-3	記(大豆代金引渡証)	年未詳旧正月27日	横継紙	1通	和平次→東大橋	
28-85-4-4	記(大橋よりの利足として立替金請取)	戌年1月4日	横切紙	1通	嘉介→安田舛蔵	
28-85-4-5	記(つまみ代金書付)	年未詳1月11日	横切紙	1通	宮本屋多介→東大橋	
28-85-4-6	[明治十八年度田租第四期分納入証]	明治19年1月20日	横切紙	1通	大橋秀太郎→用掛中畑覚次	
28-85-4-7	記(代金書付)	(明治)19年正月6日	横切紙	1通	むしろ・大工作料・針代他 和平次→大橋	
28-85-4-8	[医料費指上のこと]	年未詳1月30日	横切紙	1通	源十郎→大橋	
28-85-4-9	記(米三拾石代金受渡証)	(明治)19年1月25日	横切紙	1通	東大橋→中田市蔵	全体を墨で抹消
28-85-4-10	記(餅米代金請取証)	明治18年旧12月26日	横継紙	1通	油屋芳太郎→東大橋	
28-85-4-11	覚(仙代平代金受取)	年未詳旧12月	横切紙	1通	松屋金吉→東大橋	
28-85-4-12	覚(金銭受取)	戌年2月1日	横切紙	1通	和気屋舛蔵→東大橋	
28-85-4-13	記(時米受取)	(明治)18年旧12月晦日	横切紙	1通	地藏院→東大橋	
28-85-4-14	記(朝日新聞代金請取)	年未詳2月3日	横切紙	1通	西阪村高尾佐大治→大橋	
28-85-4-15	記(予約代金請取)	年未詳2月3日	横切紙	1通	小松原慶太郎→東大橋	
28-85-4-16	記(綿ケツト代金受取)	年未詳11月15日	縦切紙	1通	佐藤猪三郎→上	
28-85-4-17	記(薬代金受取)	年未詳8月20日	横切紙	1通	林源十郎→東大橋	
28-85-4-18	記(酉年年貢米払入証)	明治18年12月26日	横切紙	1通	高見和平二→大橋	
28-85-4-19	[三宅講割戻請求]	年未詳12月9日	横切紙	1通	大橋長蔵→大橋俊太郎	
28-85-4-20	[弘化開分・古地分田畑米相場金額書付]	年未詳旧12月10日	横切紙	1通	高見和平二→大橋	
28-85-5	[賞状]			1括り(4通)		28-85-5-1~4紙紐一括り
28-85-5-1	[児島郡道路改築費寄附奇特二付木盃下賜候事]	明治21年7月9日	22.8×31.0	1通	岡山県知事正五位勲四等千坂高雅→大橋俊太郎	「賞盃ハ追テ下渡スヘシ 岡山県」の書付がはさまれている
28-85-5-2	[奇特ノ義二付木盃下賜候事]	明治19年5月12日	22.8×31.0	1通	岡山県令従五位勲四等千坂高雅→大橋秀太郎 窮民救助として玄米七俵差出し奇特に付木盃一個下賜のこと	「賞盃ハ追テ下渡スヘシ 岡山県」の書付がはさまれている
28-85-5-3	[奇特ノ義二付木盃下賜候事]	明治19年4月5日	22.8×31.0	1通	岡山県令代理岡山県大書記官従六位高津暉→大橋秀太郎 玉島警察署倉敷分署新築井地頭片山交番所修繕費六拾五円差出し奇特に付木盃一個下賜のこと	「賞盃ハ追テ下渡スヘシ 岡山県」の書付がはさまれている
28-85-5-4	[暴風海嘯被害者救助費七円差出奇特候事]	明治20年12月20日	22.8×31.0	1通	岡山県知事正五位勲四等千坂高雅→大橋秀太郎	
28-85-6	[書状]			1袋(3通)		新聞を転用した袋に28-85-6-1~3まで入っている(袋上書)「請取書」
28-85-6-1	[東大橋宛林醇平書状]	年未詳9月1日	横継紙	1通	過刻三宅君来光 委細は今朝来の山田から聞いてほしい 大久保の講帳はお調べの上此ものに渡してほしい	(上書)「東大橋様 親展」(裏書)「林醇平」
28-85-6-2	[大橋俊太郎宛名越為吉書状]	年未詳3月21日	横継紙	1通	彼の事件はどうなったか 後の景況を拝承したい	封筒あり(封筒表書)「窪屋郡倉敷村 大橋俊太郎殿 急平信」(封筒裏書)「小田郡走出村 名越為吉」
28-85-6-3	[大橋俊太郎宛三宅樟平書状]	年未詳3月29日	横切紙	1通	過日は不在で失礼したが自分も対面したいと思っていたので銃獵を兼ねて遊びにおいで頂きたい	封筒あり(封筒表書)「大橋俊太郎君 宝卓下」(封筒裏書)「三宅樟平」
28-85-7	[地方税第二期分受取]	(明治)13年10月24日	横切紙	1通	西坂戸長代理山王直衛→大橋秀太郎	
28-85-8	[小学入費納入書類]			1纏め(3通)		28-85-8-1~3一纏め 28-85-8-1が二ツ折にされその中に28-85-8-2~3が挟まれている
28-85-8-1	記(小学校入費請取)	明治8年2月	横切紙	1通	小学事務→大橋秀太郎	罫紙
28-85-8-2	記(小学校入費請取)	年未詳8月	横切紙	1通	小学事務→大橋秀太郎	
28-85-8-3	記(小学入費請取)	明治7年3月	横切紙	1通	小学事務→大橋秀太郎	
28-85-9	[大橋俊太郎宛日光山保晃会書状]			1袋(2通1枚)		28-85-9-1~3一袋(封筒表書)「岡山県備中国窪屋郡倉敷 大橋俊太郎殿」(封筒裏書)「野州 日光山保晃会」
28-85-9-1	[大橋秀太郎宛日光山保晃会書状]	明治19年2月21日	縦切紙	1通	秀太郎君死去に付き返却の証票受取のこと 今後は俊太郎君後継に付き別票送付のこと	罫紙(日光山保晃会便箋)
28-85-9-2	[会員証発行に付き注意書]	明治19年2月21日	13.3×17.0	1通	日光山保晃会→大橋俊太郎	
28-85-9-3	保晃会々員之証	年月日未詳	12.3×8.7	1通	大橋俊太郎分	包紙あり
28-85-10	[大橋秀太郎宛岡山県通知]	明治13年11月19日	縦紙	1通	「賞盃之儀ハ追テ下渡候事」の書付	罫紙
28-85-11	記(伽藍管理料受取)	年未詳3月9日	横切紙	1通	西京東寺柳井快応・西岡惣徳→大橋秀太郎	
28-85-12	証(代金受取)	明治13年10月11日	11.5×13.9	1通	大雅堂ノ双幅代 林源十郎→東大橋	

28-85-13	[寄附金請取]	明治17年2月5日	15.5×19.0	1通	日光山神社仏閣名勝保存の寄附金 保晃会→大橋俊太郎	
28-85-14	記(綴通八畳敷壹枚代金受取)	(明治)13年6月10日	縦紙	1通	盛産社織物場→(宛名なし)	
28-85-15	記(金銭差上のこと)	年月日未詳	横切紙	1通	善屋→東大橋	
28-85-16	仮証(警察倉敷分署新築費寄附金受取)	明治17年6月4日	横切紙	1通	発起人惣代林醇平・木山精一・黒瀬道次郎・木村光太郎→大橋秀太郎	
28-85-17	[医学校修繕費寄附関係書類]			1纏め(2通)		28-85-17-1~2一纏め
28-85-17-1	寄付金御願	明治17年5月	縦紙	1通	医学校修繕費として寄付をお願い出る 大橋秀太郎・戸長植田甚三郎→岡山県令高崎五六	罫紙 「書面之趣奇特ニ付聞届候事」の朱筆の貼紙あり
28-85-17-2	[医学校寄附金受取]	明治17年6月5日	横切紙	1通	戸長植田甚三郎→大橋秀太郎	
28-85-18	記(米代金受取証)	明治13年10月13日	横継紙	1通	北新宅→東本家	罫紙
28-85-19	小学校へ寄附御願	明治13年9月	半・縦	1綴	寄附願と寄附受取が綴られている (寄附願)大橋秀太郎・戸長植田鶴次郎→窪屋郡長林孚一 (受取証)学校委員木村光太郎・戸長植田鶴次郎→大橋秀太郎	罫紙
28-85-20	小学校新築寄附関係書類	明治13年9月	半・縦	1綴	寄附願と寄附受取が綴られている (受取証)学校委員木村光太郎・戸長植田鶴次郎 (寄附願)大橋秀太郎・戸長植田鶴次郎→窪屋郡長林孚一	
28-85-21	仮証(倉敷分署新築費寄附金残半額受取)	明治17年1月	横切紙	1通	発起人惣代林醇平・木山精一・黒瀬道二・木村光太郎→大橋秀太郎	
28-85-22	記(飯費請取)	年末詳8月25日	横継紙	1通	秀太郎・祐太分飯費 犬養正介→大橋俊太郎	
28-85-23	記(寅年取米直相金立返し請取)	明治12年8月29日	横切紙	1通	鶴新田小作人三宅助三郎→東大橋	
28-85-24	記(興除米貳拾石売渡代金請取)	明治12年12月12日	横切紙	1通	北新宅→東本家	
28-85-25	記(興除地利米貳拾石売渡約定の代金請取)	明治12年12月12日	横切紙	1通	北新宅→東本家	
28-85-26	記(元利清算書)	明治12年12月13日	横切紙	1通	北新宅→東本家	
28-85-27	記(興除米貳拾石売渡代金請取)	明治12年12月23日	横切紙	1通	北新宅→東大橋	
28-85-28	記(興除地利米貳拾石売渡約定の代金請取)	明治12年12月11日	横継紙	1通	北新宅→東本家	
28-85-29	記(納米・稲米代金引渡証)	辰年旧2月7日	横継紙	1通	長尾屋和平二→東大橋	
28-85-30	[賞木盃下賜のこと]	明治13年11月29日	26.5×39.2	1通	学校費として金拾八円差出しは奇特に付き木盃下賜のこと	岡山県罫紙使用
28-85-31	記(納銀覚)	辰年1月19日	横切紙	1通	北新宅→来本家	
28-85-32	記(人夫代の請求書き)	辰年3月28日	横継紙	1通	北新宅→東本家	
28-85-33	記(借入金返済証文)	明治13年4月9日	横継紙	1通	新宅大橋徳蔵→本家大橋秀太郎	
28-85-34	覚(興除米代金請取)	年末詳4月1日	横切紙	1通	北新宅→東本家	
28-85-35	証(代金受取証)	明治13年4月11日	11.5×14.0	1通	倉敷本町林源十郎→大橋俊太郎 新報代金93銭5厘	
28-85-36	[受取書類]			1纏め(2通)		28-85-36-1~2一纏め
28-85-36-1	記(金銭受取書)	明治13年9月28日	13.9×15.9	1通	北新宅→東本家 入用折半のこと 金八円七十六銭八厘	罫紙
28-85-36-2	記(金銭受取書)	明治13年9月28日	14.0×16.0	1通	北新宅→東本家 小作人へ杭木を渡したお金の不足分を引きわたした事 金一円二銭九厘	罫紙
28-85-37	記(代金受取証)	年末詳12月29日	横継紙	1通	林源十郎→東大橋 山陽新報・郵便税代金1円30銭5毛受取	
28-85-38	[大橋俊太郎宛林醇平書状]	年末詳6月9日	横切紙	1通	段通代受取証送付について	(封筒表書)「大橋俊太郎様 侍史」(封筒裏書)「林醇平」
28-85-39	証(招魂祭費受取証)	明治14年3月	12.0×14.7	1通	幹事→大橋秀太郎 七十銭	
28-85-40	[大橋秀太郎宛岡山県賞状]	明治13年3月24日	横切紙	1通	岡山県→大橋秀太郎 流行病予防に壺円寄付について	
28-85-41	[大橋秀太郎宛保晃会書状]	17年2月27日	横継紙	1通	第廿二銀行より会費五円の領収書が届いたことを伝え感謝している。	(封筒表書)「備中倉敷大橋秀太郎様 親展」(封筒裏書)「東京下谷区上野桜木町一番地保晃会出張所」の印あり
28-85-42	[大橋俊太郎宛岡山県賞状]	明治13年11月29日	縦紙	1通	学校資金二円寄付について	罫紙
28-85-43	[大橋秀太郎宛岡山県令高崎五六賞状]	明治16年10月26日	横切紙	1通	倉敷村汐川浚鑿費四拾五円差出し奇特ニ付き賞木盃下賜のこと	「賞盃ハ追テ下渡スヘシ 岡山県」との文書が差し込まれていた
28-85-44	[受取証類]			1纏め(2通)		25-85-44-1~2一纏め
28-85-44-1	[受取証]	明治12年6月	横切紙	1通	戸長木村光太郎→大橋秀太郎 コレラ予防施薬壺円受取	罫紙
28-85-44-2	記(代金受取証)	年末詳11月	横継紙	1通	林源十郎→大橋 山陽新報・郵便税〆三十四銭	
28-85-45	証(雑誌代領収書)	明治13年4月25日	11.5×14.0	1通	倉敷本町林源十郎→大橋 東京雑誌二円九十五銭	
28-86	[倉敷会所銀壺匆札]	嘉永3年5月	16.0×4.2	1枚		
28-87	[土地番台帳]	年月日未詳	半・横長	仮1冊	地主大橋俊太郎	
28-88	明治十九年旧十二月 歳暮勤向控 富春軒	明治19年12月	美・横長	1冊	本家・北新宅・出店・茶園の歳暮の送付先を留守を含めて書付けている	
28-89	明治十二己卯年十二月記入 神事入用飛加恵	明治12年12月	美・横半折	1冊		
28-90	明治十丁丑年十月記 神事入用飛加恵	明治10年10月	美・横半折	1冊		
28-91	明治十八年旧十二月 歳暮勤向控 富春軒	明治18年12月	美・横長	1冊		

28-92	明治十八年八月旧七月 歳暮并二中元勤向控 富春軒	明治18年8月	美・横長	1冊		
28-93	換舌	明治15年2月9日	横切紙	1通	目黒寿太郎→大橋秀太郎 趣法講落札金の件について 見舞の御着言籠の礼と病状報告 銀札五貫目使へ差上げのこと	
28-94	[大橋徳蔵宛甚介書状]	年未詳11月29日	横継紙	1通		(封筒表書)「大橋徳蔵様 国府二而甚介 貴答銀札相添」
28-95	[借銀関係書類]			1括り(仮1冊2通3括り)		28-95-1~6紙綴りで一括り
28-95-1	為取替通意左之通 為取替議定之事	子年6月	半・横長	1冊	各用水分配についてのとり決め	
28-95-2	元治元子年 辻借銀受取通	元治元年7月8日	横折紙	1通	鶴新田年番大野八十太・小野小重郎・中原亮助→大橋良助	(包紙上書)「元治元子年通 鶴新田会所 中島屋」
28-95-3	文久三亥年 辻借銀受取通	文久3年	横折紙	1通	弘化開年番原左一郎・中原〇平→大橋良助	(包紙上書)「通鶴新田会所 倉鋪中嶋屋」
28-95-4	[通]			1括り(2通)		28-95-4-1~2紙綴りで一括り
28-95-4-1	文久二戌年 辻借銀請取通	文久2年6月26日~7月10日	横折紙	1通	弘化開年番大野八十太・三島治郎右衛門・小野忠兵衛→大橋良助	(包紙上書)「文久二戌年 通 弘銀開会所 中嶋屋」
28-95-4-2	反別懸銀差引通	文久2年12月9日	横折紙	1通	弘化開年番大野八十太・三島治郎右衛門・小野忠兵衛→大橋良助	(包紙上書)「戌年通 会所 中嶋屋」
28-95-5	[通]			1括り(2通)		28-95-5-1~2紙綴りで一括り
28-95-5-1	文久元酉年 辻借銀請取通	文久元年	横折紙	1通	弘化開年番三宅正平・松井藤左衛門・小野小重郎→大橋源助	(包紙上書)「酉年通 弘銀開会所 中島屋」
28-95-5-2	文久元年酉ノ十二月 反別懸銀指引通	文久元年12月	横折紙	1通	弘化開年番三宅正平・小野小重郎・松井藤左衛門→大橋源助	(包紙上書)「文久元酉年通 弘銀開会所 中島屋」
28-95-6	[通]			1括り(2通)		28-95-6-1~2紙綴りで一括り
28-95-6-1	万延元申年 辻借銀請取通	万延元年4月29日~7月5日	横折紙	1通	弘化開年番板谷嘉右衛門・原左市郎・中原亮助→大橋源助	(包紙上書)「申年通 弘銀開会所 中嶋屋」
28-95-6-2	万延元年申十二月 反別懸銀差引通	万延元年12月	横折紙	1通	弘化開年番板谷嘉右衛門・原左市郎・中原亮助→大橋源助	(包紙上書)「万延元申年通 弘銀開会所 中嶋屋」
28-96	明治十四辛巳年十月記 神事入用飛加恵	明治14年10月	美・横半折	1冊	神事の時の買物の控え	
28-97	明治十三庚辰年第十月記 神事入用飛加恵	明治13年10月	美・横半折	1冊	東大橋より前神町・向市場町・東町・新町・稲荷町神輿太鼓御衆中へ進上する祭酒料他神事費用書付控帳面	
28-98	[瓦請取控・瓦枚数書付]			1纏め(1冊1通)		28-98-1~2一纏め 28-98-1が二ツ折にされその間に28-98-2が挟まれている
28-98-1	瓦請取飛かへ	年月日未詳	美・横半折	1冊		
28-98-2	記(瓦枚数書付)	年未詳旧3月28日	横切紙	1通	山田屋孫太郎→東大橋	
28-99	記(荷受証明書)	年未詳8月20日	横継紙	1通	土屋藤井経治郎→大橋	差出人の名前の下方に印が押してある (封筒表書)「大橋徳蔵様 片山敬介 拜復」(封筒裏書)「乱筆口口口」虫損につきSILティッシュで包む
28-100	[大橋徳蔵宛片山敬介書状]	年未詳8月27日	横継紙	1通	無心につき証文送付の事	
28-101	明治十三年 盆裁御通 毛利富三 東大橋様	明治13年	半・横長	仮1冊		
28-102	[平切手請取覚]			1括り(2包)		28-102-1~2紙綴りで一括り
28-102-1	[御平切手請取覚]			1包(2通)		28-102-1-1~2一包 (包紙上書)「受取手形十枚 小堀又次郎」
28-102-1-1	覚(御平切手請取)	年月日未詳	横継紙	1通	覚9件分を書き連ね 小堀又次郎→御平方御用所	
28-102-1-2	覚(御平切手請取)	年未詳11月	横継紙	1通	覚7件分を書き連ね 小堀又次郎→平方御用所	
28-102-2	[御蔵納平切手請取覚]			1包(3通)		28-102-2-1~2包紙一包 (包紙上書)「御米請取切手 丹波蔵人様」包紙は「大黒屋文介様 木村長五郎」とある書状包紙を転用
28-102-2-1	覚(御蔵納平切手受取)	年未詳12月	横継紙	1通	丹波蔵人→平方御用所	
28-102-2-2	覚(御蔵納平切手受取)	年未詳12月	横切紙	1通	丹波蔵人→平方御用所	
28-102-2-3	覚(御蔵納平切手受取)	年未詳12月	横切紙	1通	丹波蔵人→平方御用所	
28-103	文政五壬午年 別段入用書抜三冊入			1括り(2冊仮1冊)		28-103-1~3紙綴りで一括り
28-103-1	文政五年年中冬 念三・四 お津与 快気祝ひ 諸雑費 ひかえ	文政5年11月23日・24日	美・横半折	1冊		裏表紙に「文政五壬午年 別段入用書抜三冊入」と記され28-103-1~3までが括られて纏められている
28-103-2	午春別段入用	文政5年	美・横半折	仮1冊		
28-103-3	文政五年午ノ夏 店造作入用控	文政5年	美・横半折	1冊		
28-104	覚(新開普請入用割賦銀請取)	文政4年12月24日	縦切紙	1通	請負人西ノ浦弥平治→中島屋源介	
28-105	[田畑売却書類]			1袋(仮2冊)		28-105-1~2一袋 (袋上書)「天保十三寅年化政北割田畑売却之書類入」
28-105-1	[入済銀勘定書上]	年月日未詳	美・横長	仮1冊		
28-105-2	壹年切売渡申畑之事	天保13年11月	半・縦	仮1冊	畑7筆の売渡証文控	挟み込み文書1通あり
28-106	[田地検地覚之書]	卯年2月24日	横切紙	1通	田地の面積と配管を取り決めたもの	
28-107	覚(天瀬切手拾五俵請取)	寅年12月5日	横切紙	1通	川入惣五郎→源助	
28-108	[地価預米書上書類]			1括り(仮7冊1通)		28-108-1~8紙綴りで一括り
28-108-1	記(諸入用勘定書上)	年月日未詳	横継紙	1通		
28-108-2	[林醇平・山田玉五郎宛大橋俊太郎約定之証]	明治19年1月25日	美・縦	仮1冊	大橋秀太郎の借入金十八項弁済の為め耕地宅地等引き渡しの約定書	罫紙
28-108-3	[生坂村地価預米書上]	年月日未詳	半・縦	仮1冊		罫紙
28-108-4	[鶴新田地価預米書上]	年月日未詳	半・縦	仮1冊		罫紙
28-108-5	[子位庄村地価預米書上]	年月日未詳	半・縦	仮1冊		罫紙
28-108-6	[鶴新田地価預米書上]	年月日未詳	半・縦	仮1冊		罫紙
28-108-7	[富久村之内川入地価預米書上]	年月日未詳	半・縦	仮1冊		罫紙
28-108-8	[鶴新田・富久・生坂・子位庄分地価預米]	年月日未詳	半・縦	仮1冊		罫紙

28-109	[印形関係書類]			1袋(8通2纏め)		中包に28-109-1~10まで一袋(中包上書)「印鑑」(袋上書)「嘉永三庚戌年 所々印鑑入」
28-109-1	[紋・光・勇・三部分印鑑証明]	年月日未詳	横切紙	1通		
28-109-2	[定七郎印鑑証明]	年月日未詳	横切紙	1通		(包紙上書)「印鑑 生坂村酒屋定七郎」中包あり(中包上書)「印鑑」
28-109-3	[半次郎印鑑証明]	年月日未詳	横切紙	1通	備前国児島郡福田沖御新開掛り惣代名主田之口村半次郎	
28-109-4	[弥太郎印鑑証明]	年月日未詳	横切紙	1通	御新開掛り名主上村弥太郎	
28-109-5	[大江村庄屋他二人印鑑証明]	年月日未詳	縦切紙	1纏め(3通)		包紙あり(包紙上書)「印鑑 大江村三人」
28-109-6	[大橋金平宛鎌田弥太郎書状]	年未詳12月28日	横切紙	1通	仁左衛門開之内質物に受取についての奥印の件について証文の奥書依頼については自分と半次郎の両人がして違わしたことを報知	(上書)「大橋金平様 貴下 鎌田弥太郎」
28-109-7	[大橋金平宛鎌田弥太郎書状]	年未詳12月5日	横継紙	1通	にし屋鯛助より銀子拝借についてははまだ印形を持っていないので調えた上指し出す旨を知らせる	包紙あり(包紙上書)「大橋金平様 貴下 鎌田弥太郎」
28-109-8	[大橋金平宛岡熊之助書状]	年未詳12月10日	横切紙	1通		封筒あり(封筒表書)「大橋金平様 奉答 岡熊之助」
28-109-9	[惣左衛門印鑑証明]	年月日未詳	横切紙	1通		
28-109-10	[懐右衛門・大橋桑三郎印鑑証明]	弘化2年12月6日		1纏め(2通)		包紙あり(包紙上書)「印鑑」
28-110	[東大橋宛庄介書状]			1包(2通)		28-110-1~2一包 包紙あり(包紙上書)「東大橋様 檜江庄介 当用書」
28-110-1	[東大橋宛庄介書状]	年未詳7月12日	横継紙	1通	大雨や高水堤破壊の見舞	
28-110-2	[掛銀算用書付]	慶応4年7月	横継紙	1通	名主栄之介→大橋源介	
28-111	覚(出銀高勘定書上)	子年~巳年	横継紙	1通	出銀元利勘定	
28-112	[出銀元利勘定覚]			1袋(2冊)		28-112-1~2一袋(袋上書)「おほへ」
28-112-1	とらのとし 覚(小作銀勘定)	寅年	美・横半折	1冊	中疇分	
28-112-2	ひかへ(出銀元利勘定書上)	子年~辰年	美・横半折	1冊		挟み込み文書(小作請取通)1通あり
28-113	[月番会所受領書類]			1括り(12通1纏め1括り)		28-113-1~14紙綴りで一括り
28-113-1	[大橋金平宛年番書類]			1括り(3通)		28-113-1-1~3紙綴りで一括り
28-113-1-1	[大橋金平宛年番書状]	年未詳閏2月26日	横継紙	1通	痔にて難渋の由、保養なさる様に	(上書)「大橋金平様 貴報 年番」(裏書)「略封御免可被下候」
28-113-1-2	[惣方宛年番惣代滝右衛門書状]	子年6月22日	横継紙	1通	新開諸入用方割当銀当月廿六日迄に出銀を願う	
28-113-1-3	覚(割当銀請取)	子年閏2月26日	横切紙	1通	年番三人→大橋金平	
28-113-2	[大橋金平宛瀧右衛門書状]	子年9月3日	横継紙	1通	病気見舞及び子八月割当銀受取の件	(上書)「大橋金平様 貴報 元ふ屋瀧右衛門」
28-113-3	覚(割当銀の受取)	亥年5月28日	横継紙	1通	元方→大橋金平	封筒あり(封筒表書)「大橋金平様 貴報 もとふ屋瀧右衛門」
28-113-4	[大橋金平宛瀧右衛門書状]	年未詳12月17日	横継紙	1通(2枚)	算用決算が遅延していることについて「出銀元利入込」の書付がはさまれている	(上書)「大橋金平様 貴下 瀧右衛門」
28-113-5	[大橋金平宛瀧右衛門書状]	年未詳5月3日	横継紙	1通	地割出銀決算は出来たか尋ねる	(上書)「大橋金平様 貴答 新開瀧右衛門」
28-113-6	[大橋金平宛瀧右衛門書状]	年未詳4月	横継紙	1通	反別辻借銀の受領と残銀について	(上書)「大橋金平様 貴報 新開瀧右衛門」
28-113-7	[大橋金平宛瀧右衛門書状]	年未詳4月12日	横継紙	1通	割当残銀旅宿にて受取のため仮の受領	
28-113-8	[大橋亀次郎宛瀧右衛門書状]	嘉永7年11月23日	横継紙	1通	反別懸銀の受領 文書奥に東中嶋屋宛会所の請取覚を記す	(上書)「大橋亀次郎様 要用御報 元ふ家瀧右衛門」
28-113-9	覚			1纏め(2通)		28-113-9-1~2まで重ねて一纏め
28-113-9-1	覚(新開地目別斗代書付)	寅年10月	横継紙	1通	弘化開会所→東中嶋屋 稲作・綿作・田道など	(上書)「東中嶋屋」
28-113-9-2	覚(御勘弁高書付)	年月日未詳	横切紙	1通		
28-113-10	[大橋亀次郎宛瀧右衛門書状]	寅年8月11日	横継紙	1通	江戸表廻金の受取 奥に請取覚を記す	(上書)「大橋亀次郎様 貴報 元ふ家瀧右衛門」
28-113-11	覚(江戸御用廻金の受取)	寅年7月28日	横切紙	1通	弘化開会所→倉敷中島屋	
28-113-12	[大橋金平宛瀧右衛門書状]	年未詳11月5日	横継紙	1通	西原一条済入用借用の銀受取	(上書)「大橋金平様 貴下 御報 元ふ家瀧右衛門」
28-113-13	[大橋宛瀧右衛門書状]	年未詳11月7日	横切紙	1通	昨日受け取り今日御通に記入の上渡すことを報ず	(上書)「大橋様 貴報 新開瀧右衛門」
28-113-14	[大橋金平宛瀧右衛門書状]	年未詳11月6日	横継紙	1通	差越の銀子について相場が違うことを説明する	(上書)「大橋金平様 貴下要用 新開瀧右衛門」
28-114	[源介養育料に付訴え一件書類]			1袋(11通)		28-114-1~11一袋(上書)「午八月十五日与 文右衛門一件書類入」
28-114-1	乍恐書付ヲ以奉願上候	午年8月	縦継紙	1通	願主平左衛門→倉敷御役所 源介が倉敷中嶋屋金平養子となるにあたりそれまで養育した平左衛門取替銀の返済を願う	(端裏書)「八月廿四日昼下ル同日夜写ス」
28-114-2	[大橋源介宛片山善右衛門書状]	年未詳8月24日	横継紙	1通	甲怒村直次郎の源介養育一件で役所へ不届至極の訴えについて 綿御検見役拙宅にて支度に付き取込んでいたため即答できなかった	
28-114-3	[大橋源介宛片山善右衛門書状]	年未詳8月27日	横継紙	1通	祭礼への案内の礼 文右衛門一件について委細承知	
28-114-4	[大橋源介宛片山道碩書状]	年未詳8月16日	横継紙	1通	御恵投の肴への礼 先便依頼の件で面倒をかけた礼 山口文右衛門義について	
28-114-5	[大橋源助宛広井彦右衛門書状]	年未詳11月23日	横継紙	1通	頼母子講加入の依頼	包紙あり(包紙上書)「倉舗大橋源助様 貴下要用書 山口村広井彦右衛門」
28-114-6	覚(享和二年分銀子勘定)	午年8月	横継紙	1通	(28-114-1)末尾の勘定書と同一 小田郡甲怒村百姓平左衛門→(宛名なし)	
28-114-7	[倉敷村庄屋七太夫宛甲奴村山方庄屋孫市書状]	年未詳8月12日	横継紙	1通	甲奴村平左衛門が困窮につき、中嶋屋源介養育一件で役所へ訴えたこと	
28-114-8	[尋義有に付出張通知]	年未詳8月23日	横切紙	1通	御役所→窪屋郡倉敷中島屋源介・村役人	
28-114-9	[某書状]	年未詳8月24日	横継紙	1通	拝眉のため郷宿などへ罷越せぬか また本家への一条について報ず	宛名・差出人なし
28-114-10	別啓(諸霊年忌書付)	年月日未詳	横継紙	1通	諸霊年忌について報ず 霊徳院寛政7.7.29 桂香院文政3.正.14 見光院文化6.9.28 智道光貞文化12.6.18	

28-114-11	〔祖父母養育期間等覚〕	年月日未詳	横継紙	1通	祖父母・叔父死去時の拙者年令及び祖母養育期間についての記録	
28-115	〔諸入用勘定書類〕			1括り(仮1冊2纏め)		28-115-1～3紙綴りで一括り
28-115-1	〔諸入用勘定帳〕	明治16年	横折紙	1纏め(14丁)	薪炭油・修繕費用・寄附金他	
28-115-2	〔諸入用勘定帳〕	年月日未詳	横折紙	1纏め(6丁)	日雇足役・薪炭油・諸雑費他	
28-115-3	〔人別高書上〕	年月日未詳	半・横長	仮1冊		
28-116	〔大黒屋甚介より差越候書類〕			1袋(仮1冊1冊6通1纏め)		23-116-1～9一袋(袋上書)「文久元辛酉年 大黒屋甚介より差越候書類入」
28-116-1	酉年初後渡米書出ひかへ	酉年	美・横半折	1冊		
28-116-2	文久元酉年 取立銀差引算用帳 大黒屋甚介 御新宅様	文久元年	半・横長	仮1冊		
28-116-3	覚(切手差上げのこと)	酉年3月13日	横切紙	1通	甚介→東大橋	
28-116-4	〔東大橋宛甚介書状〕			1纏め(2通)		28-116-4-1～2まで巻かれて一纏め
28-116-4-1	〔東大橋宛甚介書状〕	年未詳2月16日	横切紙	1通	岡山証文五通落手のこと 田中氏の分は去暮受取っており不調法をわびる	(上書)「東大橋様 甚介 御受」
28-116-4-2	〔東大橋宛甚介書状〕	年未詳2月16日	横継紙	1通	古証文の引き渡し依頼	(上書)「東大橋様 甚介 用事」
28-116-5	〔東大橋宛甚介書状〕	年未詳11月18日	横継紙	1通	岡山取立金延引、漸々今日差上げのこと	(上書)「東大橋様 金子相添 甚介」
28-116-6	〔東大橋宛甚助書状〕	年月未詳9日	横切紙	1通(2枚)	算用書式通落手のこと	
28-116-7	覚(備中山南川入村年貢米切手書替願い)	酉年11月26日	横継紙	1通		
28-116-8	〔東大橋宛甚介書状〕	年未詳11月27日	横継紙	1通	新田方の御受取書式通落手のこと 講割合金報知	(上書)「東大橋様 拝答 甚介」
28-116-9	覚(酉年岡山取立不足金元利受取)	壬戌年6月2日	横継紙	1通	大黒屋甚介→東大橋	
28-117	〔算用書所々請取書類〕			1袋(11括り2通)		28-117-1～13までが紙綴りで一括りで袋に入っている(袋上書)「嘉永四辛亥年 算用書所々請取書入」
28-117-1	〔金並びに銀札受取証書〕			1括り(1纏め16通)		28-117-1-1～17紙綴りで一括り
28-117-1-1	覚(加地子米差引過銀受取証)	万延2年2月18日	横切紙	1通	分家徳蔵→本家良介	
28-117-1-2	覚(申十二月取替金元利受取証)	万延2年正月27日	横切紙	1通	中島屋徳蔵→本家良介	
28-117-1-3	〔万延元年十二月の借用証並びに受取証〕			1纏め(3通)		28-117-1-3-1～3が巻かれて一纏め
28-117-1-3-1	覚(嘉永七年四月無利息借用元銀引渡しのこと)	万延元年12月12日	横切紙	1通	中島屋徳蔵→本家良介	
28-117-1-3-2	覚(金受取証)	万延元年12月15日	横切紙	1通	中島屋徳蔵→本家良介 預け金の内へ金50両を受け取ったということ	
28-117-1-3-3	覚(預け金申年利分受取証)	万延元年12月7日	横切紙	1通	中島屋徳蔵→本家良介 金75両を受け取ったということ	
28-117-1-4	覚(子年暮諸入用割銀受取証)	元治2年正月13日	横切紙	1通	北新宅→東本家	
28-117-1-5	覚(銀札受取証)	元治元年7月29日	横切紙	1通	北新宅→東本家 五百式匁式分九厘	
28-117-1-6	覚(銀札受取証)	文久2年正月12日	横切紙	1通	徳蔵→東本家 銀札12口65匁4分6厘を受け取り過銀は返上したということ	
28-117-1-7	覚(銀札受取証)	文久3年正月5日	横切紙	1通	新宅徳蔵→東本家 銀札六百匁	
28-117-1-8	覚(元利金受取証)	癸亥年2月26日	横継紙	1通	分家徳蔵→本家良介 四拾壹両永六百匁	
28-117-1-9	覚(預け金酉年利分受取証)	文久元年12月4日	横切紙	1通	新宅徳蔵→本家良介	
28-117-1-10	覚(酉年加地子米差引過銀受取証)	文久2年2月9日	横切紙	1通	分家徳蔵→東家良介 銀札壹貫九百八拾目五分六厘	
28-117-1-11	覚(預け金戌年利分受取証)	文久2年12月9日	横切紙	1通	新宅徳蔵→本家良介 金66両2歩を受け取ったということ	
28-117-1-12	覚(戌年加地子米差引過銀受取証)	文久3年3月20日	横切紙	1通	分家徳蔵→本家良介 銀札1貫890目	
28-117-1-13	覚(預け金亥年利分受取証)	文久3年12月15日	横切紙	1通	新宅徳蔵→本家大橋良介 金66両2歩を受け取ったということ	
28-117-1-14	覚(銀札受取証)	元治元年3月29日	横継紙	1通	新宅徳蔵→本家良介 拾五両三歩永六拾四匁七分	
28-117-1-15	覚(預け金子年利分受取証)	元治元年12月25日	横切紙	1通	新宅徳蔵→本家良介 金66両2歩を受け取ったということ	
28-117-1-16	覚(預け金利息並びに加地子米差引過銀受取証)	慶応元年12月27日～3年2月28日	横継紙	1通	新宅徳蔵→本家秀太郎	4通書きつらね
28-117-1-17	覚(預け金卯年利分受取証)	慶応3年11月25日	横切紙	1通	新宅徳蔵→本家秀太郎 金六拾六両式歩受取	
28-117-2	〔金子受取証〕			1括り(3通)		28-117-2-1～3まで帯封で一括り 帯封が切れている為SILティッシュで包む(帯封上書)「午年分」
28-117-2-1	覚(借入金元利引渡しのこと)	安政5年正月13日	横切紙	1通	倉敷大橋源介→長尾小野忠兵衛	
28-117-2-2	覚(返済金受取証)	戊午年2月12日	横切紙	1通	小野忠兵衛→大橋源助	
28-117-2-3	覚(借入金元利請取証)	安政5年正月13日	横切紙	1通	小野忠兵衛→大橋源介	
28-117-3	〔金子請取覚〕			1括り(2通)		28-117-3-1～2まで帯封で一括り(帯封上書)「丑年分」
28-117-3-1	覚(元利請取証)	嘉永6年12月29日	横切紙	1通	長尾小野忠兵衛→金平 金貳百五両請取	
28-117-3-2	覚(取替金利息請取証)	癸丑年12月朔日	横継紙	1通	角屋忠兵衛→亀次郎	
28-117-4	〔金子請取証〕			1括り(5通)		28-117-4-1～5まで帯封で一括り(帯封上書)「卯年分」
28-117-4-1	覚(利足差上のこと)	卯年11月5日	横継紙	1通	銭屋→東大橋	
28-117-4-2	覚(金子請取証)	乙卯年11月28日	横切紙	1通	忠兵衛→大橋源助	
28-117-4-3	覚(利足受取証)	卯年12月朔日	横継紙	1通	児島屋与兵衛→大橋源介	
28-117-4-4	覚(卯年利足請取証)	安政2年11月7日	横切紙	1通	小野忠兵衛→大橋源助	
28-117-4-5	覚(証文請取手形)	安政2年12月	横切紙	1通	片しま俊輔→倉敷大橋	
28-117-5	〔借用証文他〕			1括り(11通)		28-117-5-1～11紙綴りで一括り

28-117-5-1	借用申金子証文之事	万延元年12月5日	竪紙	1通	中嶋屋良介→角屋忠兵衛	印文・全文墨線で抹消
28-117-5-2	覚(金子受取証)	辛酉年正月29日	横切紙	1通	加登屋→東大橋	
28-117-5-3	覚(金子請取証)	万延元年12月15日	横切紙	1通	中嶋屋良介→中嶋屋徳蔵	印文・全文墨線で抹消
28-117-5-4	覚(代金請取清算書)	未年11月18日	横切紙	1通		宛名・差出人とも記載なし
28-117-5-5	覚(利足受取証)	万延元年12月3日	横切紙	1通	良介→本家大橋平右衛門	
28-117-5-6	覚(預け金受取証)	万延元年12月2日	横切紙	1通	良介→本家大橋平右衛門	印文・全文墨線で抹消
28-117-5-7	覚(年賦金受取証)	年末詳3月朔日	横切紙	1通	占見新田村慎次郎→大橋金平	
28-117-5-8	覚(借用金御渡証)	万延元年11月23日	横切紙	1通	平右衛門→良介	
28-117-5-9	[良介宛平右衛門書状]	年末詳12月2日	横継紙	1通	金子は何分延引になるので一先づ金子百四十九両だけを指し出す	(上書)「良介様 平右衛門」
28-117-5-10	[中嶋屋勝之丞宛光右衛門書状]	申年12月2日	横継紙	1通	預け金四百両の元利受取のこと	
28-117-5-11	覚(金借用証)	未年7月11日	横切紙	1通	中嶋屋→新宅 覚が同一紙上に2つあり、1つは金40両借用のこと、もう1つは金20両借用のことについて記してある	
28-117-6	[金並びに銀・米受取証等]			1括り(13通)		28-117-6-1~13紙綴りで一括り
28-117-6-1	金子指おくり申候	年末詳6月6日	横切紙	1通	中畝西阿知屋林吉→倉敷東大橋内久治郎	
28-117-6-2	覚(借用金返済証)	丑年7月11日	横切紙	1通	勝之丞→新宅 金百両	
28-117-6-3	覚(銀子差出証)	寅年12月	横継紙	1通	高沼村庄屋三木之助→倉敷中島屋源助 銀拾壹匁八分五厘	
28-117-6-4	覚(借入金の利分引渡し証)	丑年11月晦日	横切紙	1通	西浦正平→大橋徳蔵	
28-117-6-5	覚(預米代引渡し証)	卯年10月6日	横継紙	1通	益右衛門→久治郎	
28-117-6-6	覚(割戻銀引渡し証)	寅年12月26日	横切紙	1通	鶴新田会所→倉敷中島屋 貳百六拾壹匁分壹厘	
28-117-6-7	覚(閏五月取かへ銀札受取証)	年末詳6月26日	横切紙	1通	勝之丞→徳蔵	
28-117-6-8	覚(年貢受取証)	丑年11月晦日	横切紙	1通	鶴新田会所→大橋良介	
28-117-6-9	覚(粉種扶持米受取証)	寅年2月28日	横継紙	1通	中島屋→大橋内久治郎	
28-117-6-10	覚(粒江夏割掛銀請取証)	年末詳7月12日	横切紙	1通	松江喜平→東大橋	
28-117-6-11	[定米勘定書]	慶応2年12月	横継紙	1通	松江名主栄之介→大橋源介	
28-117-6-12	覚(丑年利分受取証)	慶応2年2月	横切紙	1通	出店今津→新宅秀太郎 金壹両貳歩八匁八分	
28-117-6-13	覚(利足金受取証)	元治2年2月2日	横切紙	1通	大橋良介→中島屋おたつ	
28-117-7	覚(金四百拾貳両請取の事)	安政5年2月20日	横継紙	1通	角屋忠兵衛→中島屋良助	
28-117-8	[大橋源介宛忠左衛門書状]	乙卯年12月23日	横継紙	1通	西原守屋より差上げの金子振替について	(上書)「大橋源介様 松井忠左衛門 金子添」
28-117-9	[金受取書類]			1括り(3通)		28-117-9-1~3まで帯封一括り (帯封上書)「巳年分」
28-117-9-1	覚(利金受取証)	年月日未詳	横切紙	1通	児島屋与兵衛→大橋良介	
28-117-9-2	覚(利金不足分受取証)	安政4年12月27日	横切紙	1通	角屋忠兵衛→中島屋源助	
28-117-9-3	覚(金請取証)	安政4年12月朔日	横継紙	1通	角屋忠兵衛→大橋源助	
28-117-10	[請取覚]			1括り(4通)		28-117-10-1~4まで帯封一括り (帯封上書)「辰年分」
28-117-10-1	覚(辰年利金請取証)	丙辰年12月4日	横切紙	1通	郡屋多助→東大橋	
28-117-10-2	覚(取替の利金請取証)	安政3年12月19日	横切紙	1通	長尾小野忠兵衛→大橋源助	
28-117-10-3	覚(金子請取証)	丙辰年11月29日	横切紙	1通	角屋忠兵衛→大橋源助	
28-117-10-4	覚(金請取皆済の事)	安政3年12月朔日	横継紙	1通	児島屋与兵衛→大橋源助	
28-117-11	[請取覚・算用書]			1括り(9通)		28-117-11-1~9まで帯封一括り (帯封上書)「寅年分」
28-117-11-1	覚(四組辻借用銀利銀引渡し証)	寅年12月	横切紙	1通	守屋多喜介→大橋亀次郎	
28-117-11-2	覚(受取証)	寅年12月24日	横切紙	1通	西原村守屋多喜介→大橋亀治郎 中勢様南北講元掛三貫目の利銀三百目	
28-117-11-3	覚(送り状)	寅年10月20日	横切紙	1通	沖村婦一→守谷俊吉 銀八貫五百目	
28-117-11-4	覚(金銭算用書)	寅年12月13日	横継紙	1通	水沢頼母→中嶋屋亀次郎	
28-117-11-5	覚(金銭算用書)	年末詳11月29日	横切紙	1通	茂兵衛→鯛介	
28-117-11-6	覚(元利金請取証)	寅年12月朔日	横切紙	1通	児島屋与兵衛→中島屋亀次郎	
28-117-11-7	覚(金子請取証)	寅年11月27日	横切紙	1通	忠右衛門→中嶋屋亀次郎 金四拾五両	
28-117-11-8	覚(寅年利金受取証)	嘉永7年12月9日	横切紙	1通	小野忠兵衛→大橋亀治郎	
28-117-11-9	覚(金子御渡しの事)	寅年12月朔日	横継紙	1通	文左衛門・権吉→取次伝次郎	
28-117-12	[金受取証類]			1括り(5通)		28-117-12-1~5まで帯封一括り (帯封上書)「子年分」
28-117-12-1	覚(金受取証)	壬子年11月30日	横切紙	1通	金貳百廿三両 日野屋孫兵衛→井上町中島屋	
28-117-12-2	覚(金算用証)	嘉永5年12月16日	横継紙	1通	小野忠兵衛→大橋金平	
28-117-12-3	覚(利金受取書)	壬子年11月晦日	横切紙	1通	小野忠兵衛→大橋金平 金六拾両を受け取ったということ	
28-117-12-4	覚(元利受取証)	子年11月30日	横切紙	1通	児島屋与市衛門→中島屋金平	
28-117-12-5	覚(金受取証)	嘉永5年11月29日	横切紙	1通	角屋忠兵衛→中島屋金平	
28-117-13	[金銀受取書]			1括り(3通)		28-117-13-1~3まで帯封一括り (帯封上書)「亥年分」
28-117-13-1	覚(利息受取証)	辛亥年11月18日	横切紙	1通	日野屋孫兵衛→井上町中島屋	(上書)「井上町中島屋様」
28-117-13-2	覚(利息銀受取証)	亥年11月27日	横継紙	1通	中島屋→東中島屋	
28-117-13-3	覚(金請取)	嘉永4年11月18日	横切紙	1通	角屋忠兵衛→中島屋金平	
28-118	[受取書類]			1括り(5通2包)		28-118-1~7紙綴りで一括り
28-118-1	[請取書]			1包(3通)		28-118-1-1~3一包 包紙あり(包紙上書)「請取書 鶴新田」
28-118-1-1	覚(高掛御用金半方請取)	明治2年6月晦日	横切紙	1通	鶴新田会所→大橋秀太郎	



28-118-1-2	覚(会所割当銀請取)	明治2年7月11日	横継紙	1通	鶴新田年番三宅正平・同小野寅之助・同松井彦左衛門→大橋秀太郎	
28-118-1-3	覚(会所割当銀請取)	明治2年7月12日	横継紙	1通	鶴新田年番三宅正平・同小野寅之助・同松井彦左衛門→大橋秀太郎	
28-118-2	覚(会所割当金請取)	明治5年7月9日	横切紙	1通	鶴新田年番中原道平・三島静八郎・大越八十太→大橋秀太郎	包紙あり(包紙上書)「受取書 壺 鶴新田」
28-118-3	記(諸高請入用荒割金受取)	癸酉年8月30日	横切紙	1通	年番三宅正平・同中原耕蔵・同白神左一郎→大橋秀太郎	包紙あり(包紙上書)「請取書 壺通 鶴新田」
28-118-4	記(金五拾円請取)	亥年3月18日	横切紙	1通	鶴新田集会所→大橋秀太郎	包紙あり(包紙上書)「受取書 壺通 鶴新田」
28-118-5	記(鶴新田高請入用割当金請取)	明治7年8月19日	横継紙	1通	鶴新田年番小野九一郎・板谷九郎→大橋秀太郎	包紙あり(包紙上書)「請取書 壺通」
28-118-6	[受取書]			1包(2通)		28-118-6-1~2一包 包紙あり(包紙上書)「受取書 壺通 鶴新田 会所」
28-118-6-1	記(租税半納請取)	明治8年1月14日	横切紙	1通	鶴新田会所→大橋秀太郎	
28-118-6-2	[鶴新田掛金書上]	亥年1月28日	横切紙	1通		
28-118-7	記(租税皆済金引渡し証)	明治8年3月17日	横切紙	1通	大橋秀太郎→戸長有元晨吉・同三宅正平	
28-119	借用之証	明治14年旧3月29日	縦紙	1丁	瓦注文之内前借金四拾円請取 御野郡七日市村孫太郎→東大橋	罫紙
28-120	[勘定書類]			1括り(3通)		28-120-1~3紙綴りで一括り
28-120-1	[借用銀元利勘定書上]	年月日未詳	横折紙	1通	亥年~申年	
28-120-2	覚(止宿入用銀勘定書)	卯年2月9日	横継紙	1通	去丑桑田様・石川様御廻浦御用の節止宿入用銀 中島屋・大嶋屋・八浜屋	
28-120-3	覚(講銀請取)	亥年7月26日	横切紙	1通	銀札百目 中島屋源助より御出札 安藤与一左衛門→大黒屋文助	
28-121	[大黒屋文介よりの書類]			1袋(2冊8通)		28-121-1~10一袋 (袋上書)「安政五戊午年 大黒屋文介より差越候書類入」
28-121-1	午年初後渡り米書出ひかへ	午年	美・横半折	1冊		
28-121-2	安政五年 午十二月取立勘定帳 文介	安政5年12月	半・横長	1冊	→東大橋	
28-121-3	[大橋良介宛文介書状]	年未詳12月20日	横継紙	1通	過日、使者が送った銀札御請取の趣、安心したこと 天神山講のことなど	包紙あり(包紙上書)「大橋良介様 岡山より文介 拝答」
28-121-4	[別宅宛文介書状]	年未詳10月17日	横切紙	1通	証文書替の件について	(上書)「御別宅様 要用 文介」
28-121-5	[東大橋宛甚介書状]	年未詳5月9日	横切紙	1通	大庄屋組御落札金指上のこと	(上書)「東大橋様 金子相添 甚介」
28-121-6	[東大橋宛甚介口上]	年未詳11月17日	横切紙	1通	初平取立の内へ金子拾両を差上ること	(上書)「東大橋様 金子相添 甚介」
28-121-7	[東大橋宛甚介書状]	年未詳8月11日	横切紙	1通	算用書を受領した旨を報知	(上書)「東大橋様 御請 文介」
28-121-8	覚(過銀元利請取)	午年8月1日	横継紙	1通	大黒屋文介→東大橋	
28-121-9	[大 良介宛文介書状]	年未詳9月29日	横継紙	1通	岡山算用の詳細について	(上書)「大 良介様 文介 拝」
28-121-10	覚(取立銀渡状)	午年12月14日	横切紙	1通	銀札四貫目 大黒屋文介→東大橋	
28-122	[婚礼関係書類]			1包(5通)		28-122-1~5一包 (包紙上書)「大橋源助様 河野喜兵衛 貴下」(包紙端裏書)「喜久太引請之節書類」
28-122-1	歎人覚	年月日未詳	横継紙	1通	十一月十七日~十二月朔日迄日ごとに氏名書上	
28-122-2	[和歌]	年月日未詳	縦切紙	1通	縁談のかけたる橋のあきらかて 順にわたりてすへの鶴亀	
28-122-3	[婚礼の祝い歌]	年月日未詳	横継紙	1通		
28-122-4	[大橋源介・同喜久太宛西村源介書状]	年未詳11月23日	横折紙	1通	婚儀の祝い生鯛一折進越のこと	
28-122-5	[大橋源助宛河野喜兵衛書状]	年未詳11月23日	横折紙	1通	悴喜久太の婚調の祝に行器二荷着一籠進上すること	
28-123	[京都政情通知書]			1包(2通)		28-123-1~2一包
28-123-1	[京都における処断人書上]	年未詳3月8日	横継紙	1通	転職・蟄居人・揚忌人・入牢人の書上(尊攘派処置カ)	
28-123-2	封廻状	年未詳2月13日	横継紙	1通	水戸殿家来・松平飛騨守家来へ御預々など評定所において申渡し記録	
28-124	[大橋俊太郎宛三宅弥平次書状]	年未詳12月30日	横継紙	1通	金子借用の件	袋あり(袋上書)「倉敷 大橋俊太郎様 御用」(袋裏書)「三宅弥平次」
28-125	覚(返上金受取)	明治15年4月23日	横継紙	1通	和氣屋外造→東大橋	
28-126	請取証(頼母子講半口加入に付き掛除金受取)	明治11年11月5日	縦紙	1通	講主小橋嘉吉・世話方毛利富造→東大橋	罫紙
28-127	[大黒屋文介よりの書類]			1袋(1冊仮1冊 1包5通)		28-127-1~8一袋 (上書)「安政六己未年 大黒屋文介より差越候書類入」
28-127-1	未年初後渡り米書出ひかへ	未年	美・横半折	1冊		
28-127-2	安政六年 未取立算用帳 大黒文介	安政6年	半・横長	仮1冊	→新宅	
28-127-3	[東大橋宛文介書状]			1包(2通)		28-127-3-1~2一包 包紙あり(包紙上書)「大橋良介様 岡山より文介」
28-127-3-1	[大橋良介宛文介書状]	年未詳12月27日	横継紙	1通	納米は大不景気で千五百俵ばかりは春期になるので大不融通であること 式貫目差出すので請取ってほしい	
28-127-3-2	覚(証文七通他落手のこと)	未年3月28日	横切紙	1通	文介→東大橋	
28-127-4	覚(算用書書上)	年未詳3月19日	横継紙	1通(2枚)	文介→新宅 伴小太郎殿算用書他3点の書上	挟み込み書付1紙あり
28-127-5	覚(講割戻銀渡状)	未年12月	横継紙	1通	大黒屋文介→新宅 谷田氏講当未年分割戻銀三口分	
28-127-6	[東大橋宛甚介書状]	年未詳12月7日	横継紙	1通	金子六拾両指上のこと	(上書)「東大橋様 金子添上 甚介」
28-127-7	[東大橋宛文介書状]	年未詳3月11日	横継紙	1通	昨夕帰村 算用之内金20両指上げのこと	(上書)「東大橋様 文介 金相添」
28-127-8	[大橋良介宛大黒屋文介書状]	年未詳11月3日	横継紙	1通	兼て噂にあった金子の件について算用の状況を報ず	包紙あり(包紙上書)「大橋良介様 岡山より文介 御請」
28-128	[難波氏関係書類]			1袋(仮7冊3纏め4通)		28-128-1~14一袋 (袋上書)「難波二係ル書類」

28-128-1	借家証文之事	明治15年2月21日	半・縦	仮1冊	窪屋郡平田村廿四番屋敷難波景二→本郡倉敷村大橋俊太郎 家賃四円五拾銭	罫紙
28-128-2	地所家屋売渡証	明治15年4月15日	半・縦	仮1冊	窪屋郡平田村売渡人山本元吉・同郡倉敷村証人毛利富三→本 郡倉敷村大橋俊太郎 備中国窪屋郡平田村七百拾番字村中 一宅地壹反八畝拾四歩 他12筆	(奥書)戸長貝原郁太
28-128-3	[証書類]			1纏め(1通2丁)		28-128-3-1~3までが重ねて折りたたまれて一纏め
28-128-3-1	建物売渡証券	明治18年3月	縦紙	1丁	一土蔵 但シ瓦葺 窪屋郡倉敷村売渡人大橋俊太郎→浅口郡 玉島村林元三郎	罫紙
28-128-3-2	建物売渡証券	明治18年3月	縦紙	1丁	一土蔵 但シ瓦葺 窪屋郡倉敷村売渡人大橋俊太郎→窪屋郡 平田村山本元吉	罫紙
28-128-3-3	抵当物貸与之証	明治18年	縦紙	1通	一納屋一棟 此坪数拾五坪 倉敷村大橋俊太郎→酒津村梶谷 八藤太	罫紙
28-128-4	[屋敷売渡関係書類]			1纏め(1纏め1 通1枚)		28-128-4-1~3が重ねて折りたたまれている
28-128-4-1	[平田村二十四番屋敷図]	年月日未詳	縦紙	1枚	所有主山本元吉	
28-128-4-2	[平田村廿四番屋敷土蔵図]	明治18年5月	縦紙	1纏め(2枚)	所有主大橋俊太郎	
28-128-4-3	記(買取証)	明治17年10月6日	横継紙	1通	難波清助→東大橋 金貳拾円	
28-128-5	記(平田村田地金請取)	(明治)15年6月21 日	横切紙	1通	窪津大紀代山本元吉→大橋俊太郎 金二百五拾円	
28-128-6	[地所売渡証券]			1纏め(仮1冊1 綴)		28-128-6-1と28-128-6-2が重ねて折られている
28-128-6-1	地所売渡証券	明治15年4月	半・縦	仮1冊	平田村売渡人難波景二他1名→倉敷村大橋俊太郎 10筆計484 円72銭	罫紙 (奥書)戸長貝原郁太
28-128-6-2	建物売渡証券	明治18年9月		1綴	証人平田村難波景二→林元三郎 証人平田村難波景二→山本 元吉 土蔵一梁	(奥書)大橋俊太郎
28-128-7	[大橋兄宛しまだ書状]	年未詳9月17日	縦紙	1通(2枚)	元吉へ売渡しの地を五年切にすることを願い、その代金で支払 いを行うこと、戸長役場に提出した蔵売渡証のことについてなど	
28-128-8	記(抵当品貸与之証)	明治17年1月26日	横継紙	1通	倉敷村大橋俊太郎→酒津村梶谷八藤太 納家壱棟・土蔵壱棟 売渡人難波景二・買請人大橋俊太郎・戸長貝原郁太→窪屋郡 長林孚一	罫紙
28-128-9	地券名前御書換願	明治15年4月	半・縦	仮1冊		
28-128-10	地所売渡証券	明治15年5月3日	半・縦	仮1冊	窪屋郡子位庄村売渡人窪津大紀→本郡倉敷村大橋俊太郎 備 中国窪屋郡平田村字村中七百九番 一宅地七畝九歩 他5筆	罫紙 (奥書)貝原郁太
28-128-11	売買地券御書換願(扣)	明治16年1月	半・縦	仮1冊	売渡人窪津大紀・買請人大橋俊太郎→窪屋郡長戸川晚香 備 中国窪屋郡平田村第六百九拾番字城之西 田廿四歩 他6筆 大橋俊太郎→酒津村梶谷八藤太 納屋壱棟・土蔵壱棟貸与え る	罫紙
28-128-12	抵当物貸与之証	明治17年1月26日	縦紙	1通		罫紙
28-128-13	建具敷場立木其他六つ売渡証券	明治15年4月15日	半・縦	仮1冊	売渡人山本元吉・証人毛利富三→大橋俊太郎 代金二百円 備中国窪屋郡平田村六百九拾番字城ノ西 一田廿四歩 皆畑 成 願人大橋俊太郎・保証人員原松次郎・難波復二・戸長貝原 郁太→窪屋郡長林孚一	罫紙
28-128-14	地目変換願	明治15年12月	半・縦	仮1冊		
28-129	[大黒屋文介よりの書類]			1袋(1冊10通 仮1冊)		28-129-1~12一袋 28-129-1、2に28-129-3~12が包まれている (袋上書)「万延元庚申年 大黒屋文介より差越候書類入」
28-129-1	申年初後渡り米書出ひかへ	申年	美・横半折	1冊		
28-129-2	万延元申年 取立銀差引勘定帳 大黒屋文介	万延元年	半・横長	仮1冊	→新宅	
28-129-3	[東大橋宛甚介書状]	年未詳9月8日	横継紙	1通	岡山算用にとり掛つたが分り兼ねる所があるので算用書を遣わし てくれる様に依頼	(上書)「東大橋様 内用 甚介」
28-129-4	[東大橋宛甚介書状]	年未詳9月9日	横継紙	1通	池田丑次郎・伴六右衛門名前問い合わせについて 池田村吉跡 目丑次郎・伴小太郎六右衛門と改名	(上書)「東大橋様 甚介 拝答金子相添」
28-129-5	[算用書付書上]	年月日未詳	横切紙	1通	津田源右衛門様 元利口算用書付 他3筆	
28-129-6	覚(人別内訳入用書上)	年月日未詳	横継紙	1通	津田源右衛門他12名	
28-129-7	[大橋良介宛甚助書状]	年未詳10月15日	横継紙	1通	金子入用と文介に御沙汰があったが米の相庭が下落し代銀が 今以って集り兼ねているので一両日のうちに差し上げる	(包紙上書)「大橋良介様 岡山ニテ甚助 要用書」大黒屋文介宛 須々木定之丞・吉田亀之進書状の包紙転用
28-129-8	[大橋良介宛甚介・文介書状]	年未詳12月4日	横継紙	1通	川入村切手差上、廻金送付延引のことわりなどについて	(包紙上書)「大橋良介様 岡山より甚介 貴答内用」大黒屋文介・ 同甚介宛中嶋屋良介要用書の包紙を転用してある
28-129-9	[大橋良介宛甚助書状]	年未詳12月7日	横継紙	1通	甚不廻りであるが差支のことなので振替銀札三貫目を御使へ 渡す	(包紙上書)「大橋良介様 大黒屋甚介 貴答銀札相添」文介・甚介 宛中嶋屋良介書状包紙転用
28-129-10	[大橋良介宛甚介書状]	年未詳10月17日	横継紙	1通	初平殿立之内廻金送付、金50両送付、大橋郷右衛門証文ノ通 受取のことなどについて	(袋上書)「大橋良介様 岡山ニ而甚介 貴答金子相添」
28-129-11	[東大橋宛甚介・文介口上]	年未詳正月14日	横継紙	1通	御年玉一封惠投について	
28-129-12	覚(年貢米切手書替について)	申年11月	横切紙	1通	川入村名主大嶋村庄兵衛→蔵奉行 御蔵払米御年貢米切手書 替について 米五十俵 代官香川七太夫	

28-130	[預ヶ金催促上告関係書類]				1袋(1冊3通仮3冊5纏め)		28-130-1~12一袋(包紙上書)「預ヶ金催促上告」の訴について書類を袋にしている
28-130-1	[裁判書類・諸税受取通]				1纏め(1冊1通)		18-130-1-1に28-130-1-2がはさまれ二ツ折にして一纏め
28-130-1-1	明治十六年十二月編製 難波景二ヨリ原甚太郎へ係ル一件上告書類 古城輔太郎	明治16年12月	半・縦		1冊		
28-130-1-2	明治十五年平田村諸税受取通 戸長貝原郁太 収入大橋俊太郎	明治15年	横折紙		1通		台紙は刷物 罫紙
28-130-2	[森谷久三郎預ヶ金催促の訴状下書]	明治15年11月18日	半・縦		仮1冊	森谷久三郎→岡山始審裁判所長判事小林蕩 借金取次人難波景二を提訴	罫紙
28-130-3	[裁判関係書類]				1纏め(1冊1通)		28-130-3-1に28-130-3-2がはさまれ二ツ折にして一纏め
28-130-3-1	明治十六年二月廿八日 預ヶ金催促之控訴状 岡山県備中国窪屋郡倉敷村平民原甚太郎代人大坂府東区高麗橋巷丁目三番地寄留岡山県土族尾形兵太郎	明治16年2月28日	半・縦		1冊	原告原甚太郎、被告難波景二、原告代理人尾形兵太郎による大坂控訴裁判所長への控訴状	
28-130-3-2	[中橋宛書状]	年未詳4月19日 (明治)16年3月15日	横切紙		1通(3枚)	代人古城輔太郎死去につき大審院上告一件につき代人の願書并委任状差出について	罫紙
28-130-4	[預金催促之控訴状]		半・縦		仮1冊	原告原甚太郎代理人尾形兵太郎 被告依頼人難波景二	
28-130-5	[預金催促一件控訴不当ノ上告訴状下書]	明治16年9月18日	半・縦		仮1冊	上告人古城輔太郎→大審院長判事玉乃世履	
28-130-6	明治十六年二月廿八日 原告第壹号乃至第四号記証拠物写 原告代理人尾形兵太郎	明治16年2月28日	半・縦		1冊	原告原甚太郎と被告難波景二との預り金裁判に関する証拠書類写し 原告代理人尾形兵太郎→大坂控訴裁判所長判事清岡公張	罫紙
28-130-7	[大橋俊太郎宛片山健吉書状]	年未詳10月5日	横継紙		1通封書	大橋又四郎氏より頼まれた封書を送った件	封筒あり(封筒表書)「備中倉敷大橋俊太郎様 平信」(封筒裏書)「十月五日投函 東京芝浜松町巷丁目拾五番地 蜂屋内片山健吉」
28-130-8	[中橋宛大橋俊太郎書状]	年未詳2月11日	横継紙		1通	代人願委任状并に為替金拾円手形とも差出しのこと 控訴中の件につき示談努力への依頼	封筒あり(封筒表書)「東京麻布坂下町7番地 大橋又四郎様 至急要旨 備中窪屋郡倉敷 大橋俊太郎」(封筒裏書)「二月十二日投函」
28-130-9	[岡山始審裁判所と大阪控訴裁判所の判決書三通]				1纏め(仮2冊)		28-130-9-1~2まで重ねて二ツ折にして一纏め
28-130-9-1	[岡山始審裁判所判決書]	明治15年12月25日	美・縦		仮1冊	原甚太郎が甚五郎の債券のため提訴することは無致 原告倉敷村原甚太郎 被告平田村難波景二	罫紙
28-130-9-2	[大阪控訴裁判所判決書]	明治16年7月3日	美・縦		仮1冊	原告(原甚太郎)の勝訴判決 被告の元金利返戻し、訴訟費用も負担とする	罫紙
28-130-10	[預ヶ金催促裁判関係書類]				1纏め(仮2冊)		28-130-10-1~2まで重ねて二ツ折にして一纏め
28-130-10-1	[大阪控訴裁判所判決書]	年月日未詳	半・縦		仮1冊	原告原甚太郎が勝訴し、被告難波景二が敗訴の判決文写し	罫紙 28-130-9-2の写し
28-130-10-2	[岡山県始審裁判所判決書]	明治15年12月25日	半・縦		仮1冊	原告原甚太郎が敗訴	罫紙 28-130-9-1の写し
28-130-11	委任状之事	明治17年2月21日	縦切紙		1通	原甚太郎よりの預ヶ金催促の大審院へ上告については解訴に至るまで大沢利成を代人と定める 岡山県備中国窪屋郡平田村難波景二→(宛名なし)	罫紙
28-130-12	[訴訟関係書類]				1纏め(仮3冊1通)		28-130-12-1~4まで重ねて折り畳みである
28-130-12-1	[引合人上申書・参考証・証拠物写]	明治16年5月23日	半・縦		仮1冊		罫紙(朱書)「第三百五十四控訴引合人上申書写参考証写証拠物写」
28-130-12-2	[保証書・戸籍略写]	明治15年3月17日	半・縦		仮1冊	原甚五郎→大橋俊太郎 難波景二への貸金預ヶ金がないことを保証する	罫紙 大阪控訴裁判所判事の印及び署名あり
28-130-12-3	[訴状案]	(明治)15年12月7日	縦紙		1通	原告原甚五郎 被告難波景二	罫紙
28-130-12-4	[預ヶ金催促控訴の答下書]	明治16年4月20日	半・縦		仮1冊		罫紙
28-131	[直島御恵浜釜家売渡関係書類]				1袋(1括り4通1纏め2包1舗)		28-131-1~9一袋(袋上書)「嘉永四辛亥年六月 直嶋御恵浜ノ内七番八番塩浜両釜家下村橋屋雲岫江売渡候証文式通并二一切書類在中」
28-131-1	[塩浜絵図面]	年月日未詳	38.5×81.5		1舗		包紙あり(包紙上書)「塩浜絵図面書抜 此絵図面之通下村橋屋へ遣し有之候」
28-131-2	借用申銀子証文之事	嘉永4年6月	縦継紙		1通	銀五拾三貫貳百目の借用 借用主下村高田雲岫・証人西原村油屋俊吉・西阿知村伝次郎・下津井村常八・下村熊吉→中島屋金平	(端裏書)「案文控」
28-131-3	[添証文]				1纏め(2通)		28-131-3-1~2一纏め 28-131-3-2が巻き込まれている
28-131-3-1	添証文之事	嘉永4年8月	縦継紙		1通	塩浜式軒前并建物諸道具共質流ではあるが当年中は是迄通り稼置く約束のこと 譲主中島屋金平・証人惣代下津井村西屋常八→西原村油屋俊吉	(端裏書)「亥八月十二日 西屋常八へ渡置」
28-131-3-2	覚(釜屋道具書上)	亥年8月	横継紙		1通		(端裏書)「亥八月十二日 西屋へ渡置控」
28-131-4	[直島御恵浜の内七番・八番質入関係書類]				1包(2通)		28-131-4-1~2一包 包紙あり(包紙上書)「証文式通 控」

28-131-4-1	質入申塩浜証文之事	嘉永4年正月	縦継紙	1通	直島御恵浜ノ内七番・八番釜家質入証文 質入主中島屋金平・証人西阿知村伝次郎・下津井村常八・下村熊吉・直島年寄又兵衛・同善兵衛→西原村油屋俊吉	(奥書)「直島庄屋三宅源左衛門」後に継添証文が継がれ買取の氏名を下村高田雲岫にする旨の嘉永4年6月付の証文あり
28-131-4-2	覚(直島御恵浜の内七番・八番見面歎書付)	嘉永4年正月	縦継紙	1通	質入主中島屋金平・証人西阿知村伝次郎・下津井村常八・下村熊吉→西原村油屋俊吉	(端裏書)「控」
28-131-5	御頼申一札之事	嘉永4年6月	横切紙	1通	直島御恵浜の内七番・八番両釜買請について 証文の名前を「無余儀訳柄」により西原村油屋俊吉宛としてくれる様依頼 下村直之丞・雪岫→中島屋金平	包紙あり(包紙上書)「頼書書通 下村橋屋雲岫 直之丞」
28-131-6	覚(直島御恵浜ノ内七番・八番釜屋分売付銀受取)	嘉永4年6月12日	横継紙	1通	売主倉敷村中島屋金平→下村高田雲岫	包紙あり(包紙上書)「請取書控書通」
28-131-7	[金平宛直之丞書状]			1包(2通)		28-131-7-1~2一包 包紙あり(包紙上書)「倉敷金平様 下村直之丞 貴下要用」
28-131-7-1	[金平宛下村直之丞書状]	年未詳12月12日	横継紙	1通	昨日譲られた直島塩浜の昨年分の間屋益之割をこの人に渡してほしい	
28-131-7-2	[直之丞宛中島屋金平書状]	年未詳12月13日	横切紙	1通	昨年塩浜は売渡したが間屋株を譲ったことはなく、その節の書類にも一切認められてはいない	(上書)「下村橋屋直之丞様 倉敷中島屋金平 御報」 包紙あり(包紙上書)「亥十一月十一日 西原油屋二而 西阿知村伝次郎持参之書付写ス」
28-131-8	塩浜商内二立入受合規定之事	嘉永4年6月11日	縦紙	1通		
28-131-9	[讃州直島御恵浜七番八番売却関係書類]			1括り(2包4通)		28-131-9-1~6まで紙綴りで一括り
28-131-9-1	[七番・八番の塩浜書抜]			1包(2通)		28-131-9-1-1~2一包 包紙あり(包紙上書)「書抜 此書抜之通下村橋屋へ遣し有之」
28-131-9-1-1	覚(七番・八番の公歎・高・年貢書上)	戌年11月	横継紙	1通		
28-131-9-1-2	覚(七番・八番の公歎・高・年貢書上)	年月日未詳	横切紙	1通		
28-131-9-2	覚(年貢米見込)	年月日未詳	横切紙	1通		包紙あり(包紙上書)「塩浜値段書付入 下村橋屋より出分 嘉永四辛亥年六月三日下津井西屋常八持参」
28-131-9-3	永代売渡申証文之事	年月日未詳	横継紙	1通	田井村横瀧十番浜	(端裏書)「亥八月十二日 西屋常八持参書付控」
28-131-9-4	塩浜商内二立入受合規定之事	嘉永4年6月11日	縦紙	1通	讃州直島御恵浜七番八番	
28-131-9-5	[金銀算用書]	亥年10月	横切紙	1通		紙綴りで巻かれている
28-131-9-6	[大橋金平宛高田直之丞書状]			1包(2通)		28-131-9-6-1~2一包 (包紙上書)「大橋金平様 浜屋二而直之丞 尊下要用」(中包上書)「大橋金平様 直之丞 尊下」
28-131-9-6-1	[大橋金平宛浜屋之内直之丞書状]	年未詳6月14日	横継紙	1通	願書一通指出すので一応御覧下さい	
28-131-9-6-2	[高田直之丞宛大橋金平返書控]	年未詳6月14日	横切紙	1通	預った包を使者へ渡したので落手くださいとのこと	
28-132	[覚書類]			1括り(2括り6通4包)		28-131-1~12紙綴りで一括り
28-132-1	覚(家賃書付案文)	嘉永5年6月	縦継紙	1通	某→中島屋金平	
28-132-2	差入申添証文之事	嘉永5年7月	縦継紙	1通	売主庭瀬屋茂介親類同清吉他2人→中島屋金平	下書
28-132-3	[覚書類](案文)			1括り(3通)		28-132-3-1~3帯封で一括り (帯封上書)「案文控三通」
28-132-3-1	覚(名寄帳面書替について)(案文)	嘉永5年8月	横継紙	1通	質地質流れにつき名寄帳面書替 御庄屋助右衛門・同文平宛 本町南側水夫屋敷1畝10歩 他1筆	
28-132-3-2	覚(家賃書上)(案文)	嘉永5年6月	横継紙	1通	(差出人なし)→中嶋屋金平 本町南側水夫屋敷1畝10歩他家賃銀1貫目	
28-132-3-3	質入申家屋敷証文之事(案文)	嘉永5年6月	横継紙	1通	質入主(人名なし)他4名→中島屋金平 本町南側水夫屋敷1畝10歩 「御庄屋中御奥書」の書付あり	
28-132-4	[借用関係書類]			1括り(1括り1通)		28-132-4-1~2紙綴りで一括り
28-132-4-1	[借用関係書類]			1括り(3通)		28-132-4-1-1~3帯封で一括り (帯封上書)「新田方役人添書ひかえ」
28-132-4-1-1	新田方役人三人之添書ひかえ	年未詳12月27日	横切紙	1通	借用品返済の約条について	
28-132-4-1-2	覚(銀子借用返済について)	年月日未詳	横継紙	1通	高田慶之進他2名→中嶋屋源介 岸藤太借用銀取替について	
28-132-4-1-3	[中嶋屋源介宛高田慶之進書状]	年未詳12月21日	横切紙	1通	外用無判高田慶之進他2名→中嶋屋源介 銀子10貫目取替、知行米をもって取立のことについて	
28-132-4-2	借用申銀之事(案文)	年月日未詳	縦紙	1通	長崎弥次兵衛・湯原清太夫・雀部猪之介→(宛名なし) 銀拾貫目の借用	
28-132-5	乍恐以上書奉伺上候(案文)	年月日未詳	縦継紙	1通	文郎→御用番中村御役場 証文下書 「御屋敷様近来不勝手之趣二而御立用口差滞種々御掛合申上候得共難訳立二付」出訴のこと	
28-132-6	乍恐以書付御訴奉申上候(下書)	年月日未詳	縦継紙	1通	御知行米引当貸銀差滞出入 訴訟人(墨で抹消してある) 相手大久保大吉他2名	
28-132-7	借用申銀子証文之事	弘化4年正月	縦継紙	1通	借用主備前家中池田材吉他2名→倉敷中島屋金平	(包紙上書)「案文書通 本紙に御添御返し可被下候」
28-132-8	[借用証文案書類]			1包(6通)		28-132-8-1~6一包 (包紙上書)「案文数通入」
28-132-8-1	借用申銀子証文之事(案文)	嘉永元年12月	縦継紙	1通	金四貫四百目 借主備前家中伴大介・同悻善次郎	
28-132-8-2	借用申銀子証文之事(案文)	年月日未詳	縦継紙	1通	借用主備前家中雀部六左衛門・安藤善太夫→備中倉敷中島屋源介	
28-132-8-3	借用申銀子証文之事(案文)	弘化2年12月	縦継紙	1通	金一貫一百目 借用主備前家中近藤七郎左衛門・親類福家四郎左衛門→中島屋金平	
28-132-8-4	借用申銀子証文之事(案文)	弘化4年正月	縦継紙	1通	銀九貫目 借用者備前家中津田八左衛門・親類田中真吉→中島屋金平	(端裏書)「此案文之方宜敷様存候 津田八左衛門殿 案文控」

28-132-8-5	借用申銀子証文之事(案文)	天保9年4月	横継紙	1通	元利 新銀札七百五拾三匁式分九厘 借用入備前家中河原藤兵衛→中島屋源助	(端裏書)「河原証文 ひかへ」
28-132-8-6	[石原権平他2名宛中島屋源介書状]	年未詳4月23日	横継紙	1通	岸織部様借用銀滞りについての催促状	
28-132-9	[覚書類案文]			1包(4通)		28-132-9-1~4一包
28-132-9-1	乍恐以書付御訴訟奉申上候	弘化2年6月	竖継紙	1通	金平→備前御役所 相手松平内臈頭様御家中小畑新左衛門御知行米引当取替銀分限不似合不実出入	(奥書)倉敷村金平→倉敷御役所
28-132-9-2	[人名書上]	年月日未詳	横切紙	1通	伊木李・池田蔀・岸織部・丹波広人・服部図書	
28-132-9-3	覚(元利銀書上)	寅年12月	横継紙	1通	銀10貫目寅十二月取替利息壹ヶ月壹歩定	
28-132-9-4	覚(切手受取)	年未詳10月	横切紙	1通	小畑新左衛門→御平方御用所 初平の切手を一枚受けとった	
28-132-10	[借用証文案文]			1包(3通)		28-132-10-1~3一包 (包紙上書)「案文書通 本紙二相添御返し可被下候」
28-132-10-1	借用申銀子証文之事(ひかへ)	弘化4年正月	竖継紙	1通	借用主備前家中池田材吉・親類加判田中真吉・証人小堀又次郎→倉敷中島屋金平 銀九貫四百目借用	(端裏書)「池田材吉殿 案文控此文証文調越之節見及候処親類加判之文言無之二付此案文不全ス」
28-132-10-2	借用申米年賦証文之事(案文)	弘化3年2月	竖紙	1通	備前家中某→中島屋金平 米百俵借用	(端裏書)「大久保へ遣ス控」
28-132-10-3	借用申米年賦証文之事(案文)	弘化3年2月	竖継紙	1通	備前家中誰→中島屋金平 米百俵借用	
28-132-11	借用申金子証文之事(案文)	嘉永元年12月	竖継紙	1通	備前家中借用主伴大介→備中倉敷中島屋金平 金63両借用	(包紙上書)「案文書通 本紙二相添御返し可被下候」
28-132-12	[借用証文・案文]			1包(2通)		28-132-12-1~2一包 (包紙上書)「案文書通 本紙二相添御返し可被下候」
28-132-12-1	差入申証文之事	弘化2年8月	竖紙	1通	小畑新左衛門様御知行所備前何群寺山村名主誰他2名→備中倉敷中島屋金平 小畑新左衛門様御知行米御物成引当銀借用銀について	
28-132-12-2	借用申銀子証文之事	弘化2年6月	竖紙	1通	借用主備前家中小畑新左衛門他2名→備中倉敷中島屋金平 銀13貫700目借用	
28-133	明治二年巳七月 興除新田中疇村御年貢并横役納通	明治2年7月	美・横列	1冊		(裏書)「倉敷中島屋源介」 (封筒表書)「大橋俊太郎 親展」(封筒裏書)「大森家二而認 平井好太郎」
28-134	[大橋俊太郎宛平井好太郎書状]	年未詳11月26日	横継紙	1通	過日相談の件について問合せ	
28-135	慶応元年 辻借銀受取通 鶴新田年番 三島治郎 右衛門 中原道平 三宅正平 大橋良助殿	慶応元年7月9日	横折紙	1通		(包紙上書)「鶴新田会所 丑年通 中島屋」
28-136	慶応二年 辻借銀受取通 鶴新田大野八十太 原左市郎 中原堯助 大原源助殿	慶応二年7月4日	横折紙	1通		(包紙上書)「鶴新田会所 寅年通 中島屋」
28-137	年々租税金上納帳 大橋秀太郎	明治8年~	美・横列	1冊		
28-138	申年与梨 裏毛金受取簿 東大橋	申年~	美・横半折	1冊		
28-139	明治十二年ヨリ 倉敷村地券税受取通 納人大橋秀太郎	明治12~16年	美・横半折	1冊		
28-140	明治九年ヨリ 西原村歳々御租税金上納簿 窪屋郡倉敷村大橋秀太郎	明治9年~	美・横半折	1冊		
28-141	弘化四丁未年十二月ヨリ 御恵浜御年貢通	弘化4年12月	美・横列	1冊		(裏表紙)「倉敷中島屋金平」
28-142	明治十二年ヨリ 生阪村地券税受取通 納人大橋秀太郎	明治12年~	美・横半折	1冊		
28-143	明治十二年ヨリ 富久村地券税受取通 納人大橋秀太郎	明治12年~	美・横半折	1冊		
28-144	明治十二年改 租税金諸掛共受取通	明治12~15年	美・横半折	1冊		(裏表紙)「子位莊村戸長役場 大橋秀太郎殿」
28-145	歳々鶴新田■金上納簿 (朱)「百六拾四」窪屋郡倉敷村大橋秀太郎	年月日未詳	美・横半折	1冊		
28-146	明治十二年ヨリ 浜村租税村費受取通 納人大橋秀太郎	明治12~15年	半・横半折	1冊		
28-147	嘉永五壬子年ヨリ 此方小作取立米預ヶ帳 同土蔵地子米渡帳	嘉永5年~	美・横半折	1冊	挟み込み文書2通は市屋庄兵衛へ渡す俵数書付	覚書2通挟み込み (裏表紙)「倉敷村中島屋」
28-148	明治十五年ヨリ 西阪村地券税并諸掛受取通 収入大橋秀太郎	明治15年~	美・横半折	1冊		
28-149	[大橋俊太郎宛風早雲嶂書状]	年未詳12月21日	横継紙	1通	貴兄見舞の事	(封筒表書)「大橋俊太郎様 親展ヲ乞」(封筒裏書)「風早雲嶂」
28-150	明治十三年ヨリ 領取簿 前湯帯高 納人大橋秀太郎	明治13~17年	美・横半折	1冊	帯高村十三年度地方租第一期、前湯村明治十七年度地方租地租など 明治17年6月2日付受取証1通挟み込み	
29-1	[年貢請取通]			1括り(仮10冊17通)		29-1-1~27紙綴りで一括り 紙綴りをSILティッシュにかえた
29-1-1	天保四巳浜村御年貢請取	天保4年	美・横長	仮1冊	高合八石九斗五升七合他 庄屋富太郎・金平	(端裏書)「巳 金平」
29-1-2	天保三辰浜村御年貢請取	天保3年	美・横長	仮1冊	高合八石九斗五升七合 庄屋富太郎・金平	(端裏書)「辰 金平」
29-1-3	天保二卯浜村御年貢請取	天保2年	美・横長	仮1冊	高合八石九斗五升七合 庄屋富太郎・金平	(端裏書)「卯 金平」
29-1-4	文政十一戊子濱村御年貢請取	文政11年	美・横長	仮1冊	高合八石九斗五升七合 庄屋富太郎・金平	(端裏書)「子 金平」
29-1-5	文政甲申浜村御年貢受取	文政7年	美・横長	仮1冊	高合八石九斗五升七合 庄屋富太郎・源介	(端裏書)「申 源介」
29-1-6	文政六癸未濱村御年貢請取	文政6年	美・横長	仮1冊	高合八石九斗五升七合 庄屋富太郎・源介	(端裏書)「未 源介」
29-1-7	文政九丙戌濱村御年貢請取	文政9年	美・横長	仮1冊	高合八石九斗五升七合 庄屋富太郎・源介	(端裏書)「戌 中源介」
29-1-8	文政八酉年浜村御年貢請取	文政8年	美・横長	仮1冊	高合四石七斗式升式合 庄屋富太郎・源助	(端裏書)「酉 源助」
29-1-9	文政五壬午浜村御年貢請取	文政5年	横折紙	1通	高合八石九斗五升七合 庄屋富太郎・源介	(端裏書)「午 源介」
29-1-10	文政四辛巳濱村御年貢請取	文政4年	横折紙	1通	高合八石九斗五升七合 庄屋富太郎・源助	(端裏書)「巳 源助」

29-1-11	文政三庚辰濱村御年貢請取	文政3年	横折紙	1通	高合八石九斗五升七合 庄屋富太郎・源介	(端裏書)「辰 源介」
29-1-12	文政二巳卯濱村御年貢請取	文政2年	横折紙	1通	高合八石九斗五升七合他 庄屋富太郎・源介	(端裏書)「卯 源助」
29-1-13	文政元戊寅濱村御年貢請取	文政元年	横折紙	1通	高合八石九斗五升七合 庄屋富太郎・源助	(端裏書)「寅 源介」
29-1-14	文化十四丁丑濱村御年貢請取	文化14年	横折紙	1通	庄屋富太郎・源介	(端裏書)「丑 源介」
29-1-15	文化十三丙子濱村御年貢請取	文化13年	横折紙	1通	高合八石五斗壹升七合 庄屋富太郎・源助	(端裏書)「子 源助」
29-1-16	文化十二乙亥濱村御年貢請取	文化12年	横折紙	1通	庄屋富太郎・源介	(端裏書)「亥 源助」
29-1-17	文化八未濱村御年貢請取	文化8年	横折紙	1通	庄屋富太郎・金平	(端裏書)「未 金平」
29-1-18	文化七午年濱村御年貢請取	文化7年	横折紙	1通	高合八石五斗壹升七合 庄屋富太郎・金平	(端裏書)「午 金平」
29-1-19	文化五辰濱村御年貢請取	文化5年	横折紙	1通	高合八石五斗壹升七合 立会庄屋染次・五左衛門・庄屋仮役四郎右衛門・金平	(端裏書)「辰 金平」
29-1-20	文化六巳濱村御年貢請取	文化6年	横折紙	1通	高合八石五斗壹升七合 立会庄屋染次・同五左衛門・庄屋仮役理右衛門・金平	(端裏書)「巳 金平」
29-1-21	文化四卯濱村御年貢請取	文化4年	横折紙	1通	高合七石八斗五升七合 立会庄屋染次・同五左衛門・庄屋仮役四郎右衛門・金平	(端裏書)「卯 金平」
29-1-22	文化三年寅濱村御年貢請取	文化3年	横折紙	1通	立会庄屋染次・五左衛門・庄屋仮役四郎右衛門・金平	(端裏書)「寅 金平」
29-1-23	文化元子濱村小子位村御年貢請取	文化元年	美・横長	仮1冊	高合七石六斗六升七合 庄屋仮役四郎右衛門・善右衛門・金平	(端裏書)「子 金平」
29-1-24	享和三亥濱村御年貢請取	享和3年	美・横長	仮1冊	御取米〆三石七斗三合 庄屋恵戎八・金平	(端裏書)「亥 金平」
29-1-25	文化十一戌濱村御年貢請取	文化11年	横折紙	1通	高合八石五斗壹升七合 庄屋富太郎・源助	(端裏書)「戌 中島屋源助」
29-1-26	文化十年酉濱村御年貢請取	文化10年	横折紙	1通	高合八石五斗壹升七合 庄屋富太郎・源助	(端裏書)「酉 中島屋源助」
29-1-27	文化九壬申濱村御年貢請取	文化9年	横折紙	1通	高合八石五斗壹升七合 庄屋富太郎・源助	(端裏書)「申 中島屋源助」
29-2	[年貢通類]			1括り(仮4冊1通1纏め)		29-2-1~6紙紐で一括り
29-2-1	[年貢書類]			1纏め(仮1冊1通)		29-2-1-1に29-2-1-2が挟み込まれている
29-2-1-1	[年貢通綴]	安永7年~天明5年 年未詳6月24日	美・横長	仮1冊	浅原村名主勘次郎	虫損
29-2-1-2	[大橋源介宛秋庭五一兵衛書状]	寛政6年~文化13年	横切紙	1通	去暮加地子米延引、此分せり立払入さすべきこと	(上書)「大橋源介様 貴下 秋庭五一兵衛」
29-2-2	子位庄村御年貢米請取通	天明8年~文化11年	美・横長	仮1冊	名主忠蔵・同浅原村五一兵衛・倉敷中嶋屋源介	
29-2-3	当御年貢米請取通	寛政10年~文政11年9月	美・横長	仮1冊	子位庄村名主浅原村五一兵衛・倉敷中嶋屋久兵衛跡	
29-2-4	川入村当御年貢米請取通	文化8年~文政12年	美・横長	仮1冊	名主恵五郎→倉敷中嶋屋源介 中嶋屋源介分 高合三石三斗壹升九合五勺 庄屋栄三郎(のち謙蔵)	
29-2-5	高沼村御年貢米請取通	安永7年~文政9年12月	横継紙	1通	浅原村名主茂左衛門→倉敷源助	
29-2-6	当御年貢米請取通	辰年正月15日	美・横長	仮1冊	「辰正月十五日 銀札壹貫目 大黒屋文介 右者金返済之約束ニ而取かへ」の書付あり	
29-3	[包紙]	天保13年	縦切紙	1通	文政十三庚寅立春再刻 天保十三壬寅季秋三刻 村上勤兵衛 浪華書林 柳原喜兵衛 松林九兵衛	前欠 虫損の為SILティッシュで包む
29-4	[字典]		折本	1冊		29-5-1~11一袋 (袋上書)「文久二壬戌三月 金銀取引書類在中 徳製」
29-5	[金銀取引書類]			1袋(仮1冊10通)		
29-5-1	覚(金引渡し覚)	戊年12月26日	横継紙	1通	一金三両壹分 中島与右衛門 他2筆	
29-5-2	覚(小作預り銀差出しのこと)	戊年11月18日	横切紙	1通	弥介→(宛名なし) 一金五歩 田之上富三四郎 他6名	
29-5-3	覚(引き渡し銀勘定書)	戊年12月24日	横切紙	1通	一八拾八匁 酉年未進 浜 嘉次郎 他6筆	
29-5-4	覚(返済借銀勘定書)	年未詳12月23日	横切紙	1通	弥介→若主人	
29-5-5	覚(引渡し銀書付)	戊年12月28日	横切紙	1通	銀札壹貫五拾四匁八分七厘 嘉兵衛	
29-5-6	預り置候分	年月日未詳	半・横長	仮1冊	去申年分未進之内金屋松五郎金貳両他	
29-5-7	覚(金取引について)	年月日未詳	横切紙	1通	十一月廿七日そのや常蔵金六両他	
29-5-8	覚(代金受取証)	戊年12月	横継紙	1通	礮屋店→大橋	
29-5-9	[去酉年未進銀分覚]	年月日未詳	横切紙	1通	十一月廿二日中島与右衛門金四両壹歩他	
29-5-10	[引渡し銀書付]	戊年12月28日	横切紙	1通	銀札壹貫四百五拾六匁八分六厘 嘉兵衛	
29-5-11	[辰年皆済]	巳年12月29日	横切紙	1通	金二匁 未十月廿七日他	
29-6	[詠草]	年月日未詳	半・縦	13丁		
29-7	古文孝経 写本 単	年月日未詳	半・縦	1冊		(裏表紙)「大梁姓」
29-8	記(旧泉・藩札の引替願)	年月日未詳	半・縦	仮1冊	五百四拾六番平松藤三郎→小田泉出張	
29-9	[畑高書付他]			1纏め(1通1枚)		29-9-2が29-9-1に挟まれている
29-9-1	[畑高書付]	年月日未詳	横折紙	1通	に 一舛 壹番 一畑壹反拾八分他	
29-9-2	[下敷]	年月日未詳	横切紙	1枚		
29-10	[要用書類]			1袋(30通2纏め)		29-10-1~32一袋 包紙の反故4枚に包まれ、袋に入れられていた(袋上書)「安政四巳年十一月 要用書類在中 横金」袋が破損している為SILティッシュに包みかえる
29-10-1	[恵吉宛助右衛門書状]	年未詳7月8日	横継紙	1通	はなはだ困り入っているので、家々で不用の分をお借りしたい	上部が欠けている

29-10-2	[大橋敬之介宛木村光太郎書状]	年未詳7月26日	横継紙	1通	剣術道具未だ出来ず、剣術試合のため早く帰宅願う件について	
29-10-3	[金銭書付]			1纏め(3通)		29-10-3-1~3まで3通が重ねて折りたたまれている
29-10-3-1	覚(金銭受取書)	丑年3月2日	横継紙	1通		上部破損
29-10-3-2	覚(銀勘定書)	年月日未詳	横継紙	1通		
29-10-3-3	覚(銀札勘定書)	年月日未詳	横切紙	1通		
29-10-4	[大橋宛熊之介書状]	年月未詳2日	横切紙	1通	今夕七ツに御在宿で、さし合がなければ先日の義について伺うため参上したい	(上書)「大橋君 熊之介 拝 机下」 (上書)「大橋恵吉君 寛栄 拝 貴下」(上書)「大略御捨免可被下候」
29-10-5	[大橋恵吉宛寛栄書状]	年未詳7月29日	横継紙	1通	春のころ一杯催した際の花酒代について	
29-10-6	[恵吉宛与兵衛書状]	年未詳9月2日	横継紙	1通	立石氏引受けのことについて	
29-10-7	[恵吉宛助右衛門書状]	年未詳正月21日	横継紙	1通	昨日江戸の大庄屋から飛脚が参り、八丈嶋に異国船が流れ来たと申ししてきた 大庄屋2人、郷中の夫役、家中のもの半ばが近日出立することになり、私も来年はいずれも一度は江戸表に行くつもりである 御大人の気障りになってはいけなないので、お礼のため参上することをやめるなどの内容	
29-10-8	[立石伯父宛恵吉書状]	未年12月23日	横継紙	1通	私が当月18日に倉敷村年寄役をおおせつけられた 当村は先年の村公事以降、高持百姓の惣入札にて入札の多い者へ役をおおせつけられるようになっており、当月5日の入札では一番植田孫太郎、二番私、三番勝之丞、四番児嶋屋におおせつけられた	
29-10-9	手形之事	安政4年12月23日	縦紙	1通	大橋恵吉→大■勝之丞 金拾五両借用	(包紙上書)「手形 一」
29-10-10	[大橋敬之介宛前田愛三郎口上書]	年未詳7月22日	横切紙	1通	江戸出立の際に心よりの饞別をいただいたことへの礼 無事帰藩したことの報告 その内参上したいといった内容	(包紙上書)「大橋敬之助様 前田愛三郎 貴下口上書」
29-10-11	[恵吉宛助右衛門書状]	年未詳2月8日	横継紙	1通	小子の惣社行きのことについて 旅行の用意のため金3、4両貴様持ち合せ分を下されたい 下ヶ物の小子持合がないため、清助より買っても貸してもらいたい	
29-10-12	[恵吉宛熊之介書状]	年月日未詳	横継紙	1通	三宅先生ご伝言の件につきご光来を願う	(上書)「恵吉様 熊之介 拝 梧下」
29-10-13	[口上書]	年未詳3月2日	横切紙	1通	平右衛門へお手紙をいただき、ありがたく拝見した 只今は屋敷より帰宅して当方には指し支えもないので、お出で下されたい	宛名・差出人とも不詳
29-10-14	[大橋恵吉宛金持借助書状]	年未詳7月13日	横継紙	1通(2枚)	酒肴代金支払の取計いを願う 飲食代金明細書付の別紙あり 備後東條町田辺新平妹との縁談について極内々に聞合せを依頼する	(上書)「大橋恵吉様 金持借助 侍史用書」(裏書)「封略御汲取被下可候」
29-10-15	[立石伯父宛大橋恵吉書状]	年未詳2月17日	横継紙	1通	引越後無音であったことの詫びと出業一条についての報告	
29-10-16	[大橋恵吉宛難波正平書状]	丑年2月2日	横継紙	1通	岡山山田屋娘との縁談一条についての報告	
29-10-17	[大橋父上宛恵吉書状]	年未詳8月5日	横切紙	1通	肴代の半銀拾壹匁を使いこわたしてくれる様依頼	(上書)「大橋恵吉様 金持借助 侍史用書」
29-10-18	[大橋恵吉宛金持借助書状]	年未詳8月8日	横切紙	1通		
29-10-19	[大橋敬之介宛郡屋多助書状]	年未詳7月27日	横継紙	1通	立石様の始末と御尊所様の儀について相談するため、少し御逗留手延になること、二日三日迄には是非とも帰宅なさるということについて承知した ご勘定の儀はたとえ別条がなくとも、外間にかかわることであるので、出立の朝に主人へ都合よく取合い、先日その通りとなった 早々ご帰府してほしいといった内容など 今十二日に発足して藩州へ行く 縁談の件について咄をしたいので帰路同伴したい	
29-10-20	[立石助右衛門宛大橋恵吉書状]	年未詳4月12日	横継紙	1通	三月ヨリ 一百五拾五匁五分九厘 大黒屋文介 他1筆	
29-10-21	覚(金銭書付)	年月日未詳	横切紙	1通	面会の悦びとその後の様子を聞かせてほしい 干柿・山いもなど進上のごこと	(上書)「恵吉殿 父」
29-10-22	[恵吉宛父書状]	年未詳11月12日	横継紙	1通	立石の縁談の相手として、松山領分久代村の福田喜作の娘に年ごろ21、2歳の者がいると、喜作が福田宿の分宅であること、三人兄弟であり、惣領は岡谷村に参って大庄屋役を勤め、二男は医師であることなどの内容	宛名・差出人とも不詳
29-10-23	[書状下書]	年月日未詳	横継紙	1通	過日願っていた金子については落握した 御枡米代金については承知のこと 明後日より忠八が出府するのでよろしくお取り計らい頂きたい	(上書)「入用書類」
29-10-24	[大橋恵吉宛文介書状]	年未詳12月24日	横継紙	1通	先に金川へ出て養生していた際に、見事な肴を送ってくれたことへの礼を述べる	
29-10-25	[大橋恵吉宛田辺新平書状]	年未詳8月28日	横継紙	1通		
29-10-26	[見舞関係書状]			1纏め(2通)		29-10-26-1に29-10-26-2が巻き込まれている
29-10-26-1	[武藤武右衛門他1名宛書状下書]	年月日未詳	横継紙	1通	この間の御地辺の洪水と山崩れについて承って驚き入り「賤价」を送ってお見舞するといった内容	
29-10-26-2	[見舞への礼状・挨拶状]	年月日未詳	横切紙	1通	お見舞いの品を下されたことへの礼 御無音してしまったことを真平ご任免してほしい 魚肴を進上させていただく	
29-10-27	[大橋恵吉宛三宅借助書状]	年未詳正月20日	横折紙	1通	ご馳走の礼 蔵書五巻拝借の礼	
29-10-28	[大橋宛竹前荒太書状]	年未詳5月6日	横継紙	1通	過日御尊来の際には作事につき失敬を仕った 稽古道具の代銀を三五日之内に立ち寄り下さればその節に御勘定申し上げる	

29-10-29	[恵吉宛助右衛門書状]	年未詳9月18日	横継紙	1通	目録の通りのものを頂いたことに対する礼状	
29-10-30	[大橋宛岡義之丞書状]	年月未詳28日	横継紙	1通	金子受取礼状	(上書)「大橋大人様 岡義之丞 拝答」
29-10-31	[大橋恵吉宛林文甫書状]	子年29日	横切紙	1通	池田炭をご面倒ですがこの者にいただけるようお願い申し上げます	(上書)「大橋恵吉様 林文甫様 口上書」
29-10-32	[大橋恵吉宛書状]	年未詳9月1日	横継紙	1通	品物をご恵投下さったことへの礼状	差出人不詳
29-11	[小学生名札]	明治6年2月13日入学	9.0×6.0	1枚	(表)「小学生徒 大橋正吉 明治六年癸酉二月十三日入学」 (裏)「小学校」	木札
29-12	[書状・書付・下書類]			1括り(109通9枚1袋仮1冊1冊)		29-12-1~121麻紐で一括り 形状が変わったのでSILティッシュで包む
29-12-1	[大橋恵吉宛永富六郎兵衛書状]	年未詳3月29日	横切紙	1通	悴の長逗留・饗応に対する礼状	(上書)「大橋恵吉様 永富六郎兵衛」
29-12-2	覚(子年分扶持米送状)	丑年正月5日	横継紙	1通	浜田屋→大橋	
29-12-3	[三宅先生宛大橋恵吉・大橋平右衛門書状下書]	年未詳7月9日	横継紙	1通	金貳疋他謝義進上のこと	
29-12-4	[永富伯父・同勇吉宛大橋恵吉書状]	年未詳5月21日	横切紙	1通	此書通、上月に御届を願う	
29-12-5	[大橋恵吉宛良左衛門書状]	年未詳正月19日	横継紙	1通	塩鯛送付の礼 伯母にもよろしく	(上書)「大橋恵吉様 良左衛門」
29-12-6	[大橋勝之丞宛金持借介書状]	年月未詳朔日	横切紙	1通	至急呼出し	(上書)「大橋勝之丞様 金持借介 貴下」 包紙あり(包紙上書)「花道家元末生流入門算形 即生齋南甫法橋大橋英甫君」
29-12-7	[花道家元入門算形]	年月日未詳	10.9×10.9	1枚	即生齋南甫法橋→大橋英甫	
29-12-8	[大橋宛治左衛門書状]	年未詳6月26日	横継紙	1通	粗品進上	
29-12-9	[某書状]	年月日未詳	横切紙	1通	鷹、恵送に対する謝礼	後欠 写頭部に「一二三七五 七〇六七三」
29-12-10	[松井宛大橋書状]	年月日未詳	横切紙	1通	道口一件について下書の通り認め指出した	
29-12-11	[駒井峰太郎宛大橋平右衛門書状]	年未詳9月20日	横継紙	1通	洪水・山崩など破損御見舞	
29-12-12	[大橋哲兄宛伊左衛門書状]	年未詳12月18日	横切紙	1通	進物状	
29-12-13	[某書状]	年未詳正月28日	横継紙	1通	明日、御釜日の故、出直す	
29-12-14	[駒井峰太郎宛大橋恵吉書状]	年未詳12月27日	横継紙	1通	借入銀返済の件 歳末の祝儀としての鶏卵及び自然薯の礼など 田中夫介米代覚書を指越してくれたことへの礼状と間違いがなく安心したこと	
29-12-15	[塩田宛大橋平右衛門書状]	年未詳正月晦日	横継紙	1通	田中夫介米代指越しの礼状	
29-12-16	[塩田宛大橋平右衛門書状]	年月日未詳	横継紙	1通	此書包を作州の客に渡してほしい もし立ち寄らなければそのまま預かってほしい	前欠
29-12-17	[足袋屋亭主宛倉敷恵吉書状]	年未詳2月15日	横継紙	1通	御寮人様お供延引のこと 道具は諸事出店主人と相談の上調べ指上げのこと 悴房次郎差上のこと	
29-12-18	[立石様二而御本家若旦那宛戎屋忠八書状]	年未詳8月21日	横継紙	1通	大坂相場を飛脚へ届け申したので大橋様へ通達してほしい	
29-12-19	[彦七宛有年氏口上]	年未詳6月18日	横継紙	1通	①間野権蔵・前田常助宛及び②前田常助宛書状2通の下書 ①お見舞の鷹に対する謝礼 ②御子息御婚の祝意	
29-12-20	[前田常助宛大橋平右衛門書状下書]	年月日未詳	横継紙	1通		
29-12-21	[包紙]	年未詳6月18日	16.5×19.0	1枚		(包紙上書)「備中蔵鋪 大橋恵吉様 上月大谷熊吉 要用書 無異」(包紙裏書)「六月十八日朝」「備中撫川 諸国飛脚 佐伯屋藤四郎」の印あり
29-12-22	[大橋御兄宛大谷熊吉書状]	年未詳6月15日	横継紙	1通	使を差しむけるのは農事繁用のため盆前迄、延引になることと時候の見舞	
29-12-23	[書状下書]	年月日未詳	横切紙	1通	別紙の通、指出しを報じ御賢察を願う	宛名・差出人とも不詳
29-12-24	[銀子勘定覚]	年未詳7月6日~8日	横継紙	1通	扇子・下男・下女等の代銀・給銀勘定	
29-12-25	[駒井峰太郎宛大橋恵吉書状]	年未詳9月21日	横継紙	1通	大洪水・山崩の見舞	
29-12-26	[江田伯父宛大橋恵吉書状]	年未詳9月21日	横継紙	1通	私人別引請の儀に付、当村役人手元にて立石の苗字、故障の件	
29-12-27	[大橋恵吉宛良左衛門書状]	年未詳8月12日	横切紙	1通	当年、長々照続き早損の所多し 先に戻した忠八義について差向催促	封筒あり(封筒表書)「大橋恵吉様 良左衛門」
29-12-28	[書状下書]	年月日未詳	横切紙	1通	品物、御恵送に対する礼状	宛名・差出人とも不詳
29-12-29	[書状下書]	年月日未詳	横継紙	1通	謝礼として金三百疋、巻紙・塩鯛進上のこと	宛名・差出人とも不詳
29-12-30	[書状下書]	年月日未詳	横継紙	1通	謝礼として金三百疋、巻紙・塩鯛を送進	宛名・差出人とも不詳
29-12-31	[駒井峰太郎宛大橋平右衛門書状](下書)	年月日未詳	縦紙	1通	大洪水・山崩の見舞	
29-12-32	覚(呉服物納品書)	年月日未詳	横継紙	1通	きい→若旦那 上下袴1枚つゝ袖袷付1枚他計14品	後欠 模様紙
29-12-33	覚(品名書上)	年月日未詳	横継紙	1通	小風呂敷1ツ・唐さらさ2ツ・花生道具など6品書上	後欠カ
29-12-34	[書状下書]	年月日未詳	横切紙	1通	年頭の挨拶・扇子一箱進呈のことなど	宛名・差出人とも不詳
29-12-35	[大橋恵吉宛いさ書状]	年月日未詳	横切紙	1通	三軒茶屋まで籠で来るときに金川から福渡まで籠に乗ることをすすめる	
29-12-36	[大橋平右衛門・同恵吉宛春名文太郎書状]	年未詳正月5日	横折紙	1通	改暦の祝詞・歳暮の御礼	(包紙上書)「大橋平右衛門様 同恵吉様 参人々御中 春名文太郎」
29-12-37	[大橋恵吉宛三宅借助書状封筒]	年月日未詳	封筒	1枚		(封筒表書)「大橋恵吉様 侍史書籍相添 水江三宅借助」 (封筒裏書)「作州津山安井喜市様 急要用 備中倉布大橋恵吉 平安」
29-12-38	[安井喜市宛大橋恵吉書状]	年未詳6月11日	横継紙	1通	お供の御礼・払金の追金依頼	
29-12-39	[三宅借助宛大橋恵吉書状下書]	年未詳10月14日	横切紙	1通	来訪日、日延への依頼	裏に福嶋氏煎薬の服用記録あり
29-12-40	[大橋敬之助宛柿寺書状]	年月未詳20日	横切紙	1通	面談のため井上方へ来訪依頼	(上書)「大橋敬之助様 貴下 柿寺」切封あり
29-12-41	[書状追伸]	年月日未詳	横切紙	1通	出店へ別紙証文引渡し依頼	宛名・差出人とも不詳



29-12-42	[西田植附人足人名書上]	年月日未詳	横折紙	1通	里次郎・宇之介他17名 屋出とも 牛 里次郎 常八 平介	横折紙をのばしてある
29-12-43	[早川勇次宛大橋平右衛門書状下書]	年未詳11月22日	横継紙	1通	先日の来訪や土産に対する礼	
29-12-44	[大橋恵吉宛江田良左衛門書状]	年未詳8月3日	横継紙	1通	立石氏縁談整い近日熨斗入のこと 立石氏社家中出入のこと 菅村新田地利朱金川村武左衛門へ同村より納めることについて 郡奉行齋木三之丞願出などについて	(封筒表書)「大橋恵吉様 江田良左衛門」
29-12-45	[書状追伸]	年月日未詳	横切紙	1通	浅治が用向があり御地へ罷越すが同人の無体は兼て御承知と 思うので万一頼み事しても御頓着のない様に 忠八の見送り ができなかったことについて	
29-12-46	[塩田宛大橋平蔵書状下書]	年未詳正月晦日	横継紙	1通	田中夫介米代を遣わしてくれたことへの礼	
29-12-47	[書状下書]	年月日未詳	横切紙	1通	書状書出しの下書	
29-12-48	[書状下書]	年月日未詳	横切紙	1通	書状書出しの下書	
29-12-49	[某書状]	年月日未詳	横継紙	1通	書き出し「田中夫介」の件	後欠
29-12-50	[某書状下書]	年未詳正月28日	横継紙	1通	池田炭入用の由ながら指支があり昨日貳俵差上げのこと	
29-12-51	[銀札高勘定覚]	年月日未詳	横継紙	1通		
29-12-52	[代銀書付覚]	年未詳4月23日	横切紙	1通	三井八郎右衛門→大橋 白越後彦反及び染代	
29-12-53	[人名書付]	年月日未詳	横切紙	1通	前かた 仙介 西田 夕吉 卯之介 又五郎 八百八	
29-12-54	[大橋恵吉宛良左衛門書状]	年未詳3月朔日	横継紙	1通	菅村普請並びに牛銀のことについて執りなおしをお願いしたい 昨日より普請に取りかかっていること、銀札前借りにつき勝之丞 君と話し合っており取りはからって欲しい等 この間大谷の代を引き受けて播州上月へ行き、滞りなく用を済ま せ、15日に帰ってきたこと他	(上書)「大橋恵吉様 良左衛門」
29-12-55	[良吉宛助右衛門書状]	年未詳正月16日	横継紙	1通		端裏に「入用書類 数々入」と書付がある
29-12-56	[大橋恵吉宛地蔵院書状]	年未詳8月2日	横継紙	1通	石印調達の件について	(上書)「大橋恵吉宛地蔵院 貴下」
29-12-57	[三宅偕助宛恵吉書状下書]	年月日未詳	横切紙	1通	今朝から調子が悪いのでこちらへおいでになるのは後日に延引 してほしい	
29-12-58	覚(代銀請取証)	巳年2月29日	横切紙	1通	三井金太郎・源四郎→栄吉 紺青羅せ板 代銀157匁8分 他1 筆	
29-12-59	覚(茶わん・菱形井・ふた物他代銀書付)	未年12月12日	横継紙	1通	和氣屋舁造→元大橋	
29-12-60	[恵吉宛助右衛門書状]	年月日未詳	横継紙	1通	染物出来差上のこと 人足に安井遣すこと 木綿代五反126匁・ 染代67匁書上 他7筆	(上書)「恵吉様 別要用 助右衛門」
29-12-61	[大橋恵吉宛立石助右衛門書状]	年未詳正月10日	横継紙	1通	旧冬に送進の品に対し謝すとともに染物を年詞旁人差し出しの こと 旧冬年寄役になったことを祝す おろく縁談について他	
29-12-62	[立石助右衛門宛大橋恵吉書状包紙]	年未詳12月23日	縦紙	1枚		(包紙上書)「作劔ニノ宮立石助右衛門様 要用書 備中倉鋪大橋恵 吉」(包紙裏書)「十二月廿三日 燈下認出ス」
29-12-63	[呉服物及び代金書上]	年月日未詳	半・横長	仮1冊	夏之部 一越後 代金三両 貳枚他 冬之部 一紋服 伯老木 綿 代金貳両 貳枚他	
29-12-64	[川入伯母宛恵吉書状]	年未詳11月26日	横継紙	1通	縁談についてお話したいので後日伺う	
29-12-65	覚(銀高書付)	年未詳正月30日	横切紙	1通	しをや七十郎→元大橋若旦那	
29-12-66	覚(代銀書上)	巳年12月	横切紙	1通	うを屋長十郎→元大橋若旦那 おこふぜ五ツ 貳百五拾匁 他3 筆	
29-12-67	[大橋恵吉宛駒井峯太郎書状]	年未詳10月25日	横継紙	1通	養母死去の悔みに対する謝意 お部屋様、他界の見舞として 鹿 菓・魚香霊前に御供えのこと	前欠
29-12-68	[おけい宛敬之介書状]	年未詳8月14日	横継紙	1通	留宅を案じていること 出産の節には早速帰って子供の世話 をするので、くれぐれも心配しないでほしい 品物の受け取り もめんどの綿入、れいふく、嶋乃きものなど衣類を送ってもらう よう願っている	前欠
29-12-69	[おいそ宛恵吉書状]	年未詳9月3日	横継紙	1通		
29-12-70	[宮内町役人中宛代次郎書状]	亥年6月	横折紙	1通	吉蔵弟繁之助を九ヶ年以前に私の養子とし、家名相続のために 商事をさせていたが、次第に悪事が増長してきた そのため吉 蔵方へ引き渡し置き、人別送り帰しの儀を種々掛け合ったが不 当のことばかり申し迷惑している 何卒吉蔵を呼び出して送り帰 りの儀について理解をおおせつけてほしい	
29-12-71	[十八日の葬式手伝いにつき書付]	年月日未詳	横切紙	1通	葬式の手伝いに人を出すことについて	
29-12-72	[村役人中宛代次郎書状下書]	年月日未詳	横切紙	1通	前書一件の義について、宮内村御役人中へお願いしたいの で、何卒添書を下さるようお願い申し上げます	下書
29-12-73	覚(大文庫代銀受取)	未年7月8日	横切紙	1通	金貳分貳朱 大島屋庄右衛門→大橋恵吉	
29-12-74	[米屋嘉五郎宛おね書状]	年月未詳9日	横切紙	1通	おつき様・およね様からの文をそれぞれ受け取るのが私の本意 ではあるが症心は筆決につしがたい	(上書)「米屋嘉五郎様 おねヨリ」
29-12-75	[某書状]	年未詳正月28日	横継紙	1通	池田炭入用とのことで直様人を差立るべきところ少々差支があり 失敬してしまつた 明日釜日なので人を御越し下さるべく	
29-12-76	[助右衛門宛平右衛門書状]	年未詳9月6日	横継紙	1通	当月廿九日のことについてご案内を下さつたことへの礼 恵吉 のことについては、当月廿九日迄留主のことを承知した 来月は 当方も世話敷なので来月早々返して下さる様に	
29-12-77	[大橋恵吉宛書状]	年未詳9月23日	横切紙	1通	差出人判読不可 立石縁談正式な返答なし 私方作廻執合依 頼などについて	上書墨書で抹消 判読困難
29-12-78	[大橋恵吉宛川入おば書状]	年月日未詳	横切紙	1通	助右衛門の様子、父と多助相談のことなど	(上書)「大はし恵吉様 [ ]川入おばより」
29-12-79	[書状下書]	年月日未詳	横継紙	1通	御心配下された金子、此の者へ御渡し願う 大庄屋も武芸をす る様に仰せ出された 剣術道具があれば今年中貸してほしい	

29-12-80	[大橋平右衛門書状]	年未詳4月朔日	横継紙	1通	徳田御氏講会当月六日の所、差支えにつき当月十四日となったことを承引してほしい	
29-12-81	[先生宛恵吉書状]	年未詳正月4日	横継紙	1通	御光来を願う	
29-12-82	[森常介宛大橋恵吉書状封筒]	年月日未詳	封筒	1枚		(封筒表書)「森常介様 梧下 大橋恵吉」
29-12-83	[書状下書]	年月日未詳	横切紙	1通	書状冒頭の挨拶文下書	宛名・差出人とも不詳
29-12-84	[書状下書]	年月日未詳	横切紙	1通	冒頭の挨拶文のみ	宛名・差出人とも不詳
29-12-85	[難波立願宛大橋平右衛門書状]	年未詳4月26日	横継紙	1通	講会延引 来月下旬に相催す 生海苔の礼	余白に習書あり
29-12-86	[恵吉宛平右衛門書状封筒]	年月日未詳	封筒	1枚		封筒のみ((封筒表書)「恵吉様 平安 平右衛門」)
29-12-87	[大橋勝之丞・恵吉宛難波立願書状]	酉年11月8日	横継紙	1通	御地大地震別条ないこと 作州立石宅一宿のこと 峯太郎延引御案内の銀札一件心配のことなどについて	
29-12-88	[恵吉書状]			1袋(2通)		29-12-88-1~2一袋 (封筒表書)「川入吉蔵様 貴答 倉敷恵吉」
29-12-88-1	[吉蔵宛恵吉書状]	年未詳4月5日	横継紙	1通	足守様講加入不承知について	
29-12-88-2	[伯母宛恵吉書状]	年未詳4月5日	横継紙	1通	母宛の手紙について掛合いを申し入れたいが忌中につき延引すること	(上書)「御伯母様 恵吉」
29-12-89	[難波立原宛大橋平右衛門書状]	年未詳2月26日	横継紙	1通	「延引に相成候一条」は福島氏に委細報知のこと	前欠
29-12-90	[大橋恵吉宛武藤左衛門書状]	年未詳3月2日	横継紙	1通	以前訪問した際もてなしてもらった事に対する御礼	
29-12-91	[助右衛門宛平右衛門書状封筒]	年月日未詳	封筒	1枚		(封筒表書)「助右衛門様 平安 平右衛門」
29-12-92	[某書状]	年月日未詳	横継紙	1通	昨日の一条は平右衛門が申し上げた様に立会ってもよろしいかどうか知らせてほしい	
29-12-93	[書状下書]	年月日未詳	横継紙	1通	書状冒頭部のみの書きさし	
29-12-94	[米屋宛あち町書状]	年未詳5月16日	横継紙	1通	いまだ津藩人不参 別紙返書は春名の所へ遣してほしい	
29-12-95	[某書状]	年月日未詳	横継紙	1通	田中夫介米代を遣わしてくれた礼と間違いなく引合い安心した旨を伝える 又「通」は手元に預っておいてもらい「渡銀」と一緒に下さる様に願う	
29-12-96	[帯江札銀高書付]	年月日未詳	横切紙	1通		
29-12-97	[伯父・伯母宛大橋恵吉書状]	年未詳3月8日	横継紙	1通	過日お話一条について祖母・父と相談 忠八へは咄さず	(上書)「川入大橋吉蔵様 貴下 阿知湯恵吉」
29-12-98	[難波正平宛大橋恵吉書状]	年未詳正月5日	横折紙	1通	新年の挨拶状 伯父並びに松山御三人に対し館へ来るよう誘う	
29-12-99	[某書状下書]	年月日未詳	横継紙	1通	児島味乃野崎武左衛門が大門酒宗との銀談の添書依頼について	後半なし
29-12-100	[恵吉宛良左衛門書状]	年未詳11月5日	横切紙	1通	立石氏縁談のし入日延べ承知の知らせ	(上書)「恵吉様 良左衛門」
29-12-101	[某書状下書]	年月日未詳	横継紙	1通	昨日の葉師庵については平右衛門に話した所よろしいとのことなので御越の節知らせてほしい	
29-12-102	[春名伯父宛大橋恵吉書状]	年未詳8月11日	横継紙	1通	当年早魃のところ浜方は塩風により稲・綿に被害 呑水児島辺までもらいに 当地の状況を伝え、相手の状況伺い	
29-12-103	子十一月ヨリ 良用記 章	子年11月	半・横半折	1冊	嶋田氏煎薬服用書付 大坂渡海屋羽織の緒代 銀札8匁7分 亀山村地所見分の節茶代など書上	
29-12-104	[永富伯父・同男吉宛大橋恵吉書状]	年未詳8月11日	横継紙	1通	当年の稲の作柄について、当辺は早魃となって水論に一同迷惑している 風雨が少々あったが何分濱方のことであり塩風によって稲綿が害を受け、新開筋は甚だ迷惑している	
29-12-105	[大橋恵吉宛小原千座書状封筒]	年月日未詳	封筒	1枚		裏の模様あり 封筒のみ(封筒表書)「備中倉敷 大橋恵吉様 大坂舟越町 小原千座 貴答 平安」
29-12-106	[大橋恵吉宛江田太左衛門書状]	年未詳正月16日	横折紙	1通	この間は彼是您役介になり、ありがたき仕合せである 家内の者共はもとより本家皆々大いにお祝いしている 万事よろしき様にお執り成しをお願いしたい	
29-12-107	[大谷五左衛門宛大橋恵吉書状]	年未詳8月11日	横継紙	1通	剣のことを立石より申し上げておいたが伏して一腰頂戴いたしたい 当辺が日照で迷惑しており、稲綿が塩風で痛み半作位であること 福田新開の堤が切れたため入用が嵩むこと 東部に異国船が渡来し大いに凶作であることなど	
29-12-108	[恵吉宛千座書状]	年未詳12月19日	横継紙	1通	立石の縁談の義について大いに安堵大慶申し上げる 上々木綿一端御恵投下されかたじけなく受納のこと	
29-12-109	鎌倉節	年月日未詳	横折紙	1通		
29-12-110	[大橋宛難波基之助・森庄太夫書状]	年未詳11月26日	横継紙	1通	高野山覚證院より依頼の土砂加持請実施について 同所大徳院御役人上田忠次郎が下向 先年よりその他に日光山御役人平間志津馬住込の事など	
29-12-111	[大橋恵吉宛駒井峯太郎書状]	年未詳3月1日	横継紙	1通	作州へお越しの節結構の扇子頂戴の礼状	前欠
29-12-112	[恵吉宛忠吉他2名書状]	年未詳10月24日	横継紙	1通	忠吉・熊吉・五左衛門→恵吉 この間は遠路のところご養父様貴兄様がおいでくださりありがたく存じます 何の風情もなく早々にお引き取りになられたことを残念に思います またその後、大いにごぶさたしたことをお許しください 今般時氣お訪ねの使いとともにそまつであるけれど焼ば山のいもを送らせていただくのでお納めください	
29-12-113	[某書状]	年未詳6月4日	横切紙	1通	忠八同道来訪依頼 峯太郎出店へ金子7両2歩指出につき受取のことなど	宛名・差出人とも不詳 前欠
29-12-114	[永富伯父宛大橋恵吉書状下書]	年月日未詳	横継紙	1通	当春面倒を依頼した件について早速上月へ御届に対する御礼	

29-12-115	[立石助右衛門宛大橋恵吉書状包紙]	年未詳9月21日	縦紙	1枚		(包紙上書)「作州二宮 立石助右衛門様 備中倉敷 大橋恵吉 急 要用」(包紙裏書)「九月廿一日」
29-12-116	[某書状下書]	年月日未詳	横継紙	1通	書状冒頭部下書書きさし	
29-12-117	[某書状下書]	年月日未詳	横継紙	1通	過日、勇吉様来訪に付、土産の御礼など挨拶	
29-12-118	[恵吉宛恒介書状]	年月未詳10日	横切紙	1通	金毘羅宮参詣についての問い合わせ	(上書)「恵吉様 貴下 恒介」
29-12-119	[敬御主人宛甚介書状]	年月未詳18日	横継紙	1通	唯今一品得物があるので御来駕を乞う	(上書)「敬御主人様 内用 甚介」
29-12-120	[三宅僂助宛恵吉書状下書]	年未詳10月14日	横継紙	1通	昨日の念書の御礼と明日15日の御出を願う	
29-12-121	[白紙]	年月日未詳	横切紙	1通		29-12-39の後に重ねられていた
29-13	[用箋]	年月日未詳	縦切紙	1枚		罫紙(松と竹の絵入り) 印刷物
29-14	[新貨引替え願書]			1纏め(1纏め仮 1冊)		29-14-1に24-19-2が挟まれていた
29-14-1	記(旧藩札の新貨引替えの願)	明治8年9月13日	半・縦	仮1冊	第十五大区小倉区中島村式百拾六番屋敷 藤田常三郎→倉敷 御出張出納課	罫紙
29-14-2	[かるた]	年月日未詳	3.7×2.2	1纏め(5枚)	うじよりそだち他	
29-15	[書付一袋]			1袋(3通)		29-15-1~3一袋
29-15-1	覚(宅地銀高勘定)	年月日未詳	横折紙	1通	大嶋幸松→大橋	
29-15-2	会所詰之者へ	年月日未詳	横折紙	1通	厘吉他13名 人別金高書付	
29-15-3	[備後国住民徳蔵等人名書付]	年月日未詳	横折紙	1通	疵の状況等	
29-16	[内済願下書]	年月日未詳	縦継紙	1通	綱四郎・金介・ふて・無宿秀五郎と無宿勘六他三名内済願の下 書	
29-17	記(会社貸付規則等)	壬申年9月	縦紙	1通	当申十月中に一步通出銭、来酉年に九歩通に出銭、酉年より子 年まで4年間8回出残し、毎年4月と9月に証書を発行する 金利 は月八朱とある 田畑など物品との引変えでの貸付金利につい て、その他会社規則は別途発行	
29-18	[千之介宛竹軒書状]	年未詳11月9日	縦紙	1通(2枚)	清龍寺へ行つたが院主は留守であったこと 師塾の儀は相談の ことについて	
29-19	[人別高勘定]	年月日未詳	美・横長	仮1冊		
29-20	[助右衛門宛恵吉書状]	年未詳9月23日	横継紙	1通	過日来の一条は急場ということにはならないので気長に思召し て下さる様に	
29-21	[孫屋清介宛大橋恵吉書状]	丑年11月25日	横継紙	1通	たばこ入・丸羽織が出来たかどうかについての問合せ	
29-22	拝借仕銀子証文之事	万延2年正月	縦継紙	1通	借入人泉山村栢五郎他12人・証人小次郎他2人→大橋平右衛 門 申年分小作米残米代銀借用願	
29-23	[書状他一括]			1括り(1括り3冊 1纏め29通6枚 仮1冊)		29-23-1~41紐で一括り SILティッシュで包む SILティッシュで紐を つくった
29-23-1	[大橋御両君宛阿知湯恵吉書状封筒]	年月日未詳	封筒	1枚		封筒のみ((封筒表書)「川の大橋御両君様 貴答 阿知湯阿知湯恵 吉」(封筒裏書)「大橋様 善五」
29-23-2	[大谷五左衛門宛大橋敬之介書状封筒]	年月日未詳	封筒	1枚		封筒のみ((封筒表書)「備中倉敷村二而大谷五左衛門様 要用口 作州二宮村より大橋敬之介」
29-23-3	万延二酉年春 諸色高直二付村内手当貯穀いたし置 候控	万延2年	半・縦	1冊		
29-23-4	[大橋貞蔵宛兎島満三書状]	年未詳7月4日	横折紙	1通	暑中見舞として氷砂糖壺箱進上添状	
29-23-5	[栄吉宛助右衛門書状]	年未詳7月2日	横継紙	1通(2枚)	先達て忠八を差向けられ内済した件は「訳立いたし」安心した 送ってもらった羽織の礼 もとゆいを送ってほしいなど 別紙に 大庄屋への進物にする為「かめ」に「きせんの茶壺斤」を程よくつ めて送ってほしい	
29-23-6	[三宅諸助宛大橋恵吉書状封筒]	年月日未詳	封筒	1枚		封筒のみ((封筒表書)「小水江三宅諸助様 阿知湯大橋恵吉」
29-23-7	小学読本卷之四 第五回	年月日未詳	半・縦	仮1冊	天文のこと	
29-23-8	[断簡]	年月日未詳	横切紙	1枚	書状の書き出し	
29-23-9	[大橋恵吉宛立石助右衛門書状]	年未詳9月6日	横継紙	1通	夏方より流行の悪病も此頃は治まってきたこと ぼん(盆)後の 出役がまだないことにつて	(包紙上書)「倉敷大橋恵吉様 自金川立石助右衛門 要用書」(包 紙裏書)「村入用書類」
29-23-10	[覚一括]			1括り(8通)		29-23-10-1~8紙綴りで一括り
29-23-10-1	覚(江戸張きせる手間代他書上)	年未詳9月7日	横切紙	1通	有城屋→大橋	
29-23-10-2	覚(酒代・宿料他書上)	未年10月11日	横切紙	1通	島酒屋豊兵衛→旦那	
29-23-10-3	覚(薬代受取)	年未詳12月18日	横切紙	1通	大坂屋孚一→大橋	
29-23-10-4	覚(芸子代)	未年12月	横継紙	1通	米屋嘉五郎→大橋若旦那	
29-23-10-5	覚(上之花色羅紗柄袋代請取)	年未詳9月8日	横継紙	1通	加と屋佐十郎→河口屋深介	
29-23-10-6	覚(古今集代受取)	年未詳9月13日	横切紙	1通	近江屋平介→酒津屋利吉	
29-23-10-7	覚(鎌代他代銀勘定書)	年未詳5月3日	横継紙	1通	かし屋→大橋若旦那	
29-23-10-8	覚(博多織子供帯・地代受取)	未年4月22日	横切紙	1通	取次所山岸屋→大橋	
29-23-11	[某書状]	年未詳11月14日	横切紙	1通	「丹波様御講」について父は一向承知していない様子であること	
29-23-12	覚(代銀勘定書)	年月日未詳	横切紙	1通	煙草入代銀他	
29-23-13	[勝之丞宛長左衛門書状]	年未詳4月22日	横継紙	1通	新田井堰普請の出水により「損所相増」一件について相談した い	
29-23-14	[借用申金子証文之事雛形]	年月日未詳	横切紙	1通	借用主川入村某・証人倉敷戎屋某→こしま屋和吉	

29-23-15	[某書状]	年未詳9月18日	横切紙	1通	茶をもらったことへの礼状	
29-23-16	[寸法書付]	年月日未詳	横切紙	1通		
29-23-17	[富田宛恵吉書状]	年未詳6月10日	横継紙	1通	帆足先生の文、昨日差返しの件について	
29-23-18	[大谷宛敬之介書状]	年未詳7月22日	横継紙	1通	本日出立し倉敷へ御越しの旨、帰路二宮廻ってほしい	
29-23-19	座本 伽羅先代萩 尾上友助	年月日未詳	19.5×13.5	1冊		刷本
29-23-20	[大橋恵吉宛勝之丞書状]	年未詳3月11日	横継紙	1通	帰宅を待つ	
29-23-21	[大橋千之甫宛毛利多作書状]	年未詳12月17日	横継紙	1通	本家の方向角一円混雑に付き「入湯日足り不申共」早々の御帰宅を祈念する	(封筒表書)「大橋千之甫様 倉敷毛利多作 御内々急用書 無異」 (封筒裏書)「十二月十七日認 熊仕立」
29-23-22	覚(江戸小倉筒付たばこ入の仕様について)	年月日未詳	横切紙	1通		
29-23-23	癸丑嘉永六年五月二日出立 阿部伊勢守様御加増被為在候二付為御歎ノ御出座記録 大橋恵吉	嘉永6年5月3日~4日	18.0×12.0	1冊		
29-23-24	覚(手形札三貫四百目受取)	寅年4月26日	横切紙	1通	大橋平右衛門→植田助右衛門	裏面は足守講会は延引になったが来月下旬に取究る予定であることを知らせる書状の下書き
29-23-25	覚(力モ井・たふ代受取)	寅年12月	横切紙	1通	和田屋多助→元大橋	
29-23-26	[大橋恵吉宛綱島宗甫書状]	年未詳10月7日	横継紙	1通	病人への見舞と御馳走御礼 痰の御薬を差上げのこと	
29-23-27	[駒井蜂太郎宛大橋恵吉書状]	年未詳正月5日	横折紙	1通	新年あいさつ	包紙あり(包紙上書)「金川駒井蜂太郎様 倉敷大橋恵吉」
29-23-28	[緋取粕代金盗難一件について]	年月日未詳	横折紙	1通	阿賀崎新田村井手屋藤助の売荷緋取粕八拾壹俵の代金を盗取られた一件について次第書付	後欠
29-23-29	[所々来状包紙]	未年4月朔日~	縦紙	1枚		
29-23-30	願酒	年月日未詳	縦紙	1通	足痛につき禁酒のこと 大橋恵吉→奉祈所々神社仏格(ママ)	
29-23-31	[平右衛門書状]	年月日未詳	横切紙	1通	今日の八濱からの案内にはおいでになる様に	
29-23-32	[金銭勘定書]	年月日未詳	横切紙	1通		
29-23-33	[大橋恵吉宛林文作書状]	年未詳正月28日	横切紙	1通	兼而約定の池田炭十二三俵の配分を願う	(上書)「大橋恵吉様 林文作 口上書」
29-23-34	[某書状]	年未詳2月16日	横継紙	1通	先日逗留した礼と角店一条はどうなったかと尋ねる 23日迄には小作方より催促につきおいでいただきたい	
29-23-35	[地名及び氏名書付]	年月日未詳	横切紙	1通		
29-23-36	[某書状]	年月日未詳	横継紙	1通	畳表を廿枚は先達で調え置き追加の七枚も承知のこと 又この畳表の送り方について	前欠 後欠
29-23-37	[福松と市蔵争論一件]	年月日未詳	横折紙	1通	福松と市蔵が酔った上で、福松がきずを受けたが和融内済した借地片付方は当月十五六日迄には双方居合うと思うので十日過頃には人を指し上げる	
29-23-38	[大橋勝之丞・大橋恵吉宛長左衛門書状]	年未詳11月5日	横切紙	1通		(上書)「大橋勝之丞様 大橋恵吉様 長左衛門」
29-23-39	[福松・惣爪村市蔵争論一件案文]	年月日未詳	横切紙	1通		
29-23-40	[難波正平宛大橋恵吉書状包紙]	年月日未詳	縦紙	1枚		包紙のみ
29-23-41	[手習いの練習]	年月日未詳	縦紙	1纏め(25枚)		
29-24	[手習]	年月日未詳	縦紙	40枚		
29-25	[覚一括り]			1括り(3通)		29-25-1~3紙縫りで一括り
29-25-1	覚(仕出し・酒代銀勘定書)	午年7月	横切紙	1通	ならや万吉→元大橋若旦那	
29-25-2	覚(仕出し代銀勘定書)	午年7月	横切紙	1通	ならや万吉→元大橋若旦那	
29-25-3	覚(仕出し代銀勘定書)	午年7月	横継紙	1通	ならや万吉→元大橋若旦那	
29-26	[俵数書上]	年月日未詳	横切紙	1通		
29-27	覚(掛銀書上)	午年12月	横継紙	1通	大橋兵右衛門分 高懸り浦益懸り諸遣米共 福田古新田保太郎→廣江村鉄右衛門	
29-28	下算当	年月日未詳	横切紙	1通		
29-29	[高懸り銀書付]			1纏め(2通)		29-29-2が29-29-1に包まれていた
29-29-1	覚(高懸り銀書付)	午年12月	横継紙	1通	広江村名主繁太郎→大橋平右衛門	
29-29-2	覚(高懸り銀請求)	午年12月	横継紙	1通	呼松村名主五一兵衛→大橋平右衛門	
29-30	覚(返金送付添状)	年未詳7月13日	横継紙	1通	店→出店	
29-31	[房十郎自刃未遂一件について]			1括り(4通)		29-31-1~4紙縫りで一括り
29-31-1	[倉敷村役人惣代年寄敬之介・房十郎女房けい他8人の氏名及び年令書上]	年月日未詳	横継紙	1通		(端裏書)「和吉」
29-31-2	御見分書	酉年9月10日	縦継紙	1通	房十郎の自刃未遂の見分書 房十郎女房けい他8人→大草左馬太郎様手代森脇尚平	(奥書)「文平 敬之介」
29-31-3	[房十郎女房けい申口]	酉年9月11日	縦継紙	1通	房十郎の自刃未遂について けい→倉敷役所	(奥書)「当御代官所 備中国窪屋郡倉敷村役人惣代年寄敬之介」
29-31-4	[神職薩摩他6名申口]	酉年9月11日	横継紙	1通	薩摩他6名→倉敷役所 見知らざる男が突然やってきて脇差をとり自刃した件について	
29-32	[書状類]			1括り(48通8枚)		29-32-1~56が重ねて巻かれている 紙縫りをSILティッシュにかえた
29-32-1	[恵吉宛父書状]	年未詳12月25日	横継紙	1通	お慶出産の女子を勝之丞へ養女に出す事について 立石との縁談が調談になり同慶のこと	(表書)「恵吉殿 父 忠吉代筆故御推量可被下候」
29-32-2	[恵吉宛五左衛門書状]	年未詳10月25日	横継紙	1通	老女死去についてのお悔やみ 立石との縁談不調につき復縁依頼他	(上書)「恵吉殿 五左衛門」
29-32-3	[支払代金書付]	年月日未詳	横切紙	1通	めんひもの代他	
29-32-4	[人名書付]	年月日未詳	横切紙	1通	「倉敷村 宮吉後家せん 善三郎 右村役人 敬之介」	
29-32-5	覚(粥焚出日数及び石数書付)	酉年11月	横継紙	1通	焚出合わせて米壹石壹斗壹升五合 鉄蔵→(宛名なし)	
29-32-6	[大橋敬之介宛太郎兵衛書状]	年未詳8月15日	横切紙	1通	御音物に対する礼状	

29-32-7	[村役人挨拶向につき書付]	年月日未詳	横折紙	1通	有城村之内灘庄屋友太郎他	
29-32-8	覚(妙見宮拝殿屋根替入用町内より寄付分受取雛形)	文久2年8月5日	横切紙	1通	庄屋年寄→(宛名なし)	
29-32-9	借用証文之事	文久元年12月	縦切紙	1通	借用主新田屋東助・証人天城屋定右衛門→吉村屋光之介	
29-32-10	[大橋敬之介宛岡義三郎書状]	年未詳4月15日	横継紙	1通	道具拝借につき遠三郎よりも御礼	
29-32-11	[大橋道兄宛光太郎書状]	年月日未詳	横切紙	1通	「御うつり」としてもらった「見事之御品」の礼状	(端裏書)「大橋道兄 光太郎拜」
29-32-12	以書付御歎願申上候	年月日未詳	横折紙	1通	戒町咲次郎・新助・卯助・義助御法度筋催しにつき差押に格別の御勘弁を願う	裏に兵賦差出しについての書付あり
29-32-13	[宮内村役人江之添書案文]	年未詳6月29日	横継紙	1通	人別送り返し一件についての添書要求について	(端裏書)「宮内村役人江之添書下夕」
29-32-14	[大橋敬之介宛光太郎書状]	年未詳10月2日	横継紙	1通	今日中嶋祭へ参り帰り次第早々最寄りへ噂致し置くこと	(上書)「大橋敬之介様 光太郎拜 机下内用」
29-32-15	[大橋平右衛門・敬之介宛小磯錠助書状]	年未詳27日	横切紙	1通	町方木戸締方嚴重のこと	(上書)「大橋平右衛門殿 敬之助殿 小磯錠助 御用向」
29-32-16	[倉敷役人中宛天城村名主安兵衛・常太郎書状]	申年正月29日	横切紙	1通	佐知蔵の刃傷事件について懸合申したい	
29-32-17	[大橋宛善吉書状]	年月日未詳	横継紙	1通	刀拝見のことなど	
29-32-18	[和歌書付]	年月日未詳	縦切紙	1通	「明石かた 絵しまをかけて みはたせば 霞のうへも奥津白波」	
29-32-19	[某書状断簡]	年月日未詳	横継紙	1通	昨夜苦勞をかけたこと 今朝の稽古のことについて	
29-32-20	[書状下書]	年月日未詳	横継紙	1通	石馬の金子を廻す様願う口上下書	
29-32-21	[包紙]	年未詳7月9日	縦紙	1枚		「大橋若御旦那様 楽屋嘉五郎 七月九日」
29-32-22	[旦那宛まつ書状]	年月日未詳	横継紙	1通	かきつけ御こし下されたく	
29-32-23	[包紙]	年月日未詳	縦紙	1枚		「大橋啓之助様 尾張屋[ ] 別帳在中」
29-32-24	覚(預り証)	年月日未詳	横切紙	1通	松木屋佐平より送られた重箱色紙箱他を向店で預りのこと	
29-32-25	[包紙]	年月日未詳	横切紙	1枚		「証文之写」
29-32-26	[大橋敬之介宛光太郎書状]	年未詳6月11日	横継紙	1通	内話一条につき岡本良作へ来てくれる様申し遣したが留主の為明朝岡山へ人遣すことについて	(上書)「大橋敬之介様 研下 光太郎」
29-32-27	[大橋若主人宛甚介書状]	年月未詳13日	横継紙	1通	煎茶は元方払底の由、聊ながら配分申し上げる 又新茶も少々岡山より持ち帰った分があるので差上げる	切封 (上書)「大橋若主人様 御請 甚介」
29-32-28	[包紙]	年月日未詳	24.3×6.6	1枚		(上書)「大橋若旦那様 三郎兵衛」
29-32-29	[某書状]	年月未詳25日	横切紙	1通	吾妻屋弥介一件について 本人趣意相談次第加筆之事	
29-32-30	[包紙]	年月日未詳	縦紙	1通		「大橋若旦那様 [ ] 川忠五郎」
29-32-31	[某書状断簡]	年月日未詳	横継紙	1通	吾妻屋弥介一件について	後欠
29-32-32	覚(引渡し金の金子添状)	亥年12月	横切紙	1通	清右衛門→三宅屋宇助	
29-32-33	[包紙]	年月日未詳	縦切紙	1枚		「大橋若旦那様 御書付入 万屋文次郎」
29-32-34	[包紙]	年月日未詳	横切紙	1枚		「上 小豆島屋 清左衛門書付之写」
29-32-35	[おけい宛石書状]	年月日未詳	横切紙	1通	きんちゃく、たばこ入れはでき次第差し上げる	(上書)「おけい殿 石より」
29-32-36	[某書状下書]	年月日未詳	横折紙	1通	十日より稽古始につき、御滞留御引立のこと	
29-32-37	[大橋敬之介宛光太郎書状]	年未詳10月	横切紙	1通	小豆島にて鍛術修行者がやって来るので、みにきてほしい	(上書)「大橋敬之介様 光太郎 研下」
29-32-38	[某書状]	年月日未詳	横継紙	1通	井波より英名録井別封を廻してきたので廻してほしい	
29-32-39	[某書状下書]	年月日未詳	横切紙	1通	先般昇堂した際の礼 大和一条其外御書取拝見と恐入候形勢の由 当月二日備前下津井浜より船上りにて川辺駅へ同夜八ツ時頃着の六人についての風聞など	
29-32-40	[薬の調合及び服用について]	年月日未詳	横切紙	1通		
29-32-41	[大橋栄之丞宛安藤与四郎書状]	年未詳5月6日	横継紙	1通	綿屋お栄死去の報知と残った娘一人は自分が引受けるので相変わらずの懇意を願う	
29-32-42	[包紙]	年月日未詳	縦切紙	1枚		「大橋敬之介様 植月謙口 要用平安」
29-32-43	稽古連名	年月日未詳	横切紙	1通	一、銀札貳百目 大橋三人前他	
29-32-44	[大橋宛惣吉書状]	年未詳12月18日	横継紙	1通	御用の兩人を夜前に取り逃がしたが、八ツ頃に一人召捕えもう一人も今晚迄には召捕様取計らっている旨を伝える	
29-32-45	[大橋敬之介宛尚介書状]	年月日未詳	横切紙	1通	返却物體に落手の事	(端裏書)「大橋敬之介様 拜復 尚介」
29-32-46	[大橋おけい宛小原すま書状]	年月日未詳	横切紙	1通	先日下さるよろしき下駄御礼、たばこ入れはでき次第立石へさし出すこと	(端裏書)「お桂様」
29-32-47	[手習]	年月日未詳	縦継紙	1枚		
29-32-48	手続書ヲ以御願申上候	元治元年6月	縦継紙	1通	願人宇介→大橋若檀那 橋本屋源左衛門に懸る為替金返済について	
29-32-49	[大谷宛大橋恵吉書状]	年未詳2月3日	横継紙	1通	春名氏親子・永富親子同伴の上、十三日に出掛け十四日着位の予定を依頼	
29-32-50	未九月廿五日有銀勘定	未年9月25日	横継紙	1通	他に「差出し銀扣」	
29-32-51	覚(銀札書付)	年月日未詳	横切紙	1通	扣帳ノ高七貫七百貳拾貳匁六厘他	
29-32-52	[恵吉宛五右衛門書状]	年未詳12月25日	横切紙	1通	東新宿春名老母死去につき悔状御越し下さるべし	(上書)「恵吉殿 用書 五左衛門」
29-32-53	覚(巳午両年庭帳面請取銀算用書)	未年9月20日	横継紙	1通		
29-32-54	[大橋恵吉宛大谷五左衛門書状]	年未詳4月22日	横継紙	1通	初端午の祝として昇式本他進呈のこと 大酒は止め自愛堅固御家用第一にする様に	(上書)「大橋恵吉殿 平安用 大谷五左衛門」
29-32-55	[大橋伯母・恵吉宛峯太郎書状]	年未詳10月21日	横継紙	1通	亀山芳太郎妹、藤田の家老中嶋伝次郎嫁出戻りとの縁談のこと	
29-32-56	[某書状]	年月日未詳	横切紙	1通	伯父・伯母へのお礼の手紙	
29-33	[小作米関係書付]			1括り(仮2冊16通5纏め)		29-33-1~23紙綴りで一括り

29-33-1	[午十二月利七・久次郎小作米取立候分書付]	午年12月	美・横長	仮1冊	浅浦多三郎分銀札百五拾五匁他	
29-33-2	[銀書付]	安政6年正月25日	半・横長	仮1冊	弁才天芳兵衛九十匁九分不足他	
29-33-3	[書状・書付]			1括り(3通)		29-33-3-1に29-33-3-2～3が折り込まれている
29-33-3-1	[利七宛勘四郎書状]	年未詳5月14日	横継紙	1通	先日依頼の金子、いまだ持参なきにつき催促	(上書)「西原新屋敷利七様 急用書 乙しま中屋勘四郎」
29-33-3-2	覚(受取証)	年未詳3月16日	横切紙	1通	中屋勘四郎→西原村利七 三百五拾目	
29-33-3-3	覚(受取証)	年未詳5月14日	横切紙	1通	中屋勘四郎→利七 三百七拾目	
29-33-4	覚(銀札書付)	未年2月8日	横切紙	1通	西原利七→大橋 銀札百九拾五匁三りにつき勘弁引算用	
29-33-5	[書付類]			1纏め(3通)		29-33-5-1～3が重ねて折られている
29-33-5-1	覚(塩ぬき等書付)	年月日未詳	横折紙	1通	の一升壱町他	
29-33-5-2	覚(塩ぬき等書付)	年月日未詳	横折紙	1通	の一升式反残り他	
29-33-5-3	年貢取立覚	年月日未詳	横折紙	1通	中畝市之丞他	
29-33-6	覚(米書付)	年月日未詳	横切紙	1通	藤次郎米七升五合他	
29-33-7	覚(田地書付)	年月日未詳	横折紙	1通	天保三ノ割忠蔵上地西之浦西町長次郎他	
29-33-8	[代金書付]	年月日未詳	横継紙	1通	壱町式反あせぬり・水かき等	
29-33-9	覚(代金書付)	年未詳7月10日	横切紙	1通	忠吉→西原や 板書枚代他	
29-33-10	覚(銀札書付)	年月日未詳	横折紙	1通	七月朔日柏嶋金蔵小作銀銀札七拾目他	
29-33-11	麦覚	年月日未詳	横折紙	1通	乙治郎五斗他	
29-33-12	覚(銀書付)	年月日未詳	横継紙	1通	廿九日分百八拾目西浦八右衛門他	
29-33-13	覚(米書付)	年月日未詳	横切紙	1通	鶴米吉計四斗他	
29-33-14	[こより]	年未詳12月28日～29日		1纏め(2枚)	「十二月廿八日鶴ノ品右衛門米四斗入 相すみ」「十二月廿九日鶴ノ勘四郎米六斗」	2枚が括られている
29-33-15	覚(銀書付)	年月日未詳	横継紙	1通	浅浦多三郎分百拾五匁他	
29-33-16	[書付類]			1纏め(2通)		29-33-16-1に29-33-16-2が折り込まれている
29-33-16-1	覚(米書付)	年未詳12月11日	横継紙	1通	西原利七→東大橋 十月廿四日鶴弥吉米八斗他	
29-33-16-2	覚(米書付)	午年12月	横切紙	1通	利七→大橋 十月十一日品右衛門八斗	
29-33-17	覚(金銀木綿等書付)	年月日未詳	横折紙	1通	上成健蔵三百七拾目他	
29-33-18	覚(銀書付)	年月日未詳	横継紙	1通	鶴代五郎百四拾匁他	
29-33-19	[書付類]			1纏め(2通)		29-33-19-1に29-33-19-2が折り込まれている
29-33-19-1	覚(代金書付)	年月日未詳	横折紙	1通	岩蔵大豆壱俵他	
29-33-19-2	覚(代金書付)	未年2月12日	横継紙	1通	福嶋屋治右衛門→西原や政次郎 大豆四俵他	
29-33-20	覚(銀札書付)	未年正月13日	横切紙	1通	利七→大橋 正月十一日利七名当御預り分他	
29-33-21	覚(金銀銭米書付)	年月日未詳	横継紙	1通	弁才天芳兵衛巳ノ年不足元リ九十匁九分一リ他	
29-33-22	覚(銀米書付)	年月日未詳	横折紙	1通	うね彦太百三拾式匁他	
29-33-23	覚(銀札書付)	未年11月26日	横切紙	1通	鶴万吉銀札七拾六匁他	
29-34	[書状・諸書類]			1括り(1括り26通6枚9纏め)		29-34-1～42紙綴りで一括り
29-34-1	[大助・亭左衛門宛敬之介書状]	年未詳8月27日	横継紙	1通	御食に預った礼	
29-34-2	[雑書まとめ]			1纏め(15通1枚)		29-34-2-1～16一纏め SILティッシュで包む
29-34-2-1	[地利米不納関係書付]	年月日未詳	縦紙	1通	当村石蔵が児島郡福田沖新開のうち中畝へ出作し、年々地利米不納のこと	
29-34-2-2	[大橋敬之介宛仁左衛門書状]	年未詳10月1日	横切紙	1通	大貞へ添書のことをお伺い下され委細仰せ付けられ承知	(上書)「大橋敬之介様 仁左衛門」
29-34-2-3	[大助・亭左衛門宛敬之介書状]	年未詳8月27日	横継紙	1通	昨夜御食に預った礼	
29-34-2-4	[書状案文]	年月日未詳	横継紙	1通	大坂掛り一件については平右衛門へ申置のこと 御政事向御改革につき諸事取計、八十歳以上の者持高・家内人数等取調など 倉敷役所→窪屋郡倉敷村5カ村役人	
29-34-2-5	[倉敷役所布令]	戌年7月26日	横継紙	1通		
29-34-2-6	[包紙]	年月日未詳	縦切紙	1枚		「廻状」
29-34-2-7	[地利米不納関係書付]	年月日未詳	縦切紙	1通	当村証次郎所持の中畝の畑地を石蔵へ小作させていたところ地利米不納	
29-34-2-8	[祖父の面へ疵付一件]	年月日未詳	横切紙	1通	祖父の面へ御幣方預の霧松より、阿知町の内井上町において疵付一件	
29-34-2-9	乍恐以書付内願奉申上候	年月日未詳	縦紙	1通	庄屋大原与兵衛が疵を受けたまま出勤することを差留願	
29-34-2-10	[庄屋大原与兵衛出勤見合命令願案文]	年月日未詳	縦紙	1通	近国までも高評になった事件なので、出勤されると村方治り方にもかわるので出勤を見合わせるよう命じてほしい 仁左衛門・敬之介・勝之丞・大橋良介→小磯	
29-34-2-11	[大橋敬之介宛奥村昇平書状]	年未詳11月13日	横継紙	1通	井汲先生旅宿につき相伴に出てくるよう案内を下されたが、出ていかれないとのこと	
29-34-2-12	[船尾村役人中宛阿賀崎新田村庄屋安八郎・倉敷村年寄敬之助書状]	戌年10月27日	横継紙	1通	船尾村文五が小田郡北木島細屋清次郎へ金子貸渡のことについて事実を取調の上回答してくれとのこと	
29-34-2-13	[大橋敬之介宛横山民三郎書状]	年未詳11月15日	横切紙	1通	たんす桐油ひんじ桐油、拝借願	
29-34-2-14	[書状下書]	年月日未詳	横継紙	1通		裏面には卯八他8人の氏名書付
29-34-2-15	[太郎蔵運賃積一件]	年月日未詳	縦紙	1通	倉敷村太郎蔵が阿賀崎新田村井手出屋藤助の鮮取粕を運賃積の際水島沖にて難船した件についての案文	
29-34-2-16	[大橋平右衛門外5人宛敬之介書状]	戌年8月8日	横継紙	1通	太郎蔵より阿賀崎新田村藤助へ相掛一件につき始末書と出願書を廻すとのこと 敬之介→大橋平右衛門・大原与兵衛・仁左衛門・勝之丞・大橋良介・唯介	

29-34-3	[大橋敬之介関連書状外一括]				1纏め(6通)		29-34-3-1~6まで折り込み一括
29-34-3-1	[古城甚介宛大橋敬之介書状]	年未詳10月19日	横継紙	1通	敬之介の知人江村氏(日置様御医師)が和気郡内の某より金談を依頼され、そのことで古城甚介に面談したがっていることを伝えたもの 追而書に中畝一件について記述あり	封筒あり(封筒上書)「岡山中ノ町真嶋屋二而 古城甚介様 倉敷大橋敬之介 要用書」未開封状態のものを2011年4月2日開封	
29-34-3-2	[三門屋太助宛升屋惣吉書状]	年未詳11月5日	横継紙	1通	大橋敬之介を通じて送付を依頼していた板倉一件に関する書類を受け取ったので、披見した上ですぐに返却する旨伝えたもの	封筒あり(封筒上書)「宮内三門屋太助様 倉敷升屋惣吉 書物九通添」未開封状態のものを2011年4月2日開封	
29-34-3-3	[大橋敬之介宛平城和兵衛書状]	年未詳閏月5日	横継紙	1通	自分は明日帰郷の予定を報知 壱両の拝借願	(上書)「大橋敬之介様 平城和兵衛 大京并絵図持参」未開封状態のものを2011年4月2日開封	
29-34-3-4	[風説書]	(文久2)年	横継紙	1通	江戸より到来した飛脚が目撃した島津三郎(久光)従士による英人殺害事件(生麦事件)の状況を伝えたもの	29-34-11に関連	
29-34-3-5	乍恐以書付御歎願奉申上候	年月日未詳	縦折紙	1通	窪屋郡倉敷村忠八が同村金蔵代光蔵に金子横領の廉で訴えられた事件に関する書類草案 訴訟中に忠八の病気が悪化してしまつたことについて		
29-34-3-6	[乍恐以書付御歎願奉申上候]	年月日未詳	縦折紙	1通	金子取込横領に関する訴訟で郷宿預りとなっている窪屋郡倉敷村忠八が重病になったため、家族が宿元下げ戻しを要求した書類の草案	29-34-3-5に関連	
29-34-4	[願書草案外一括]				1纏め(仮2冊1通)	29-34-4-1~3まで巻き込み一括	
29-34-4-1	[願書草案書留]	年月日未詳	半・縦	仮1冊	備前国児島郡福田村沖御新開所々内松江にある倉敷村百姓亡久右衛門ほかの所持地に関する願書案と、備中国窪屋郡軽部村の内字柿木ふで宅にて倉敷村孫四郎・金助・岡山無宿秀五郎が下道郡矢田村岩五郎ほか竹鎗で襲撃された事件に関する書類の草案(または写し)を綴つたもの		
29-34-4-2	[済口証文草案]	年月日未詳	半・縦	仮1冊	備中国窪屋郡軽部村字柿木のふで宅にて、倉敷村孫四郎・金助・ふで・秀五郎らが下道郡矢田村岩五郎・佐賀野村惣兵衛らに襲撃された事件に関する証文の草案		
29-34-4-3	[大橋敬之介宛光太郎書状]	年未詳9月24日	横継紙	1通	水江の岡本氏が訪ねてきて敬之介の剣道道具(面・小手)を三步で譲ってほしいと言つたので、自分の裁量で譲つたことを報せたもの	(上書)「大橋敬之介様 光太郎 研北」	
29-34-5	[敬之助宛書類]				1括り(17通2枚1纏め)	29-34-5-1~20紙綴りで一括り	
29-34-5-1	[敬之介宛宗兵衛書状]	年未詳2月6日	横継紙	1通	中間中は度々御尋申遣由 東大橋講会催しについて		
29-34-5-2	覚(上田面積・免・物成等書上)	年月日未詳	横切紙	1通			
29-34-5-3	[書付]	年月日未詳	横切紙	1通	「有城村当春小作米皆済成替銀・貸附金之之内江西六月晦日入世話人甚之介」		
29-34-5-4	[付紙]	年月日未詳	横切紙	1通	「金武歩 浜村音八」	SILティッシュで包む	
29-34-5-5	[乍恐以書附御願奉申上候案文]	年月日未詳	横継紙	1通	帯江早島御蔵米買請入銀について(差出人)→庄屋助右衛門・文平		
29-34-5-6	[敬之介宛宗兵衛書状断簡]	年月日未詳	18.0×4.5	1枚		封筒のみ	
29-34-5-7	[敬之介宛文介書状]	年未詳正月14日	横継紙	1通	金子拾両持上るので替り銀札を渡してくれとのこと	(上書)「敬之介様 文介 金子相添」	
29-34-5-8	[敬之介宛熊之介書状]	年月未詳29日	横継紙	1通	急入用につき金拝借願	(上書)「敬之介様 熊之介 玉机下」	
29-34-5-9	覚(郡中入用割銘々出銀額書上)	年月日未詳	横継紙	1通			
29-34-5-10	[敬之助宛小磯書状封筒]	年月日未詳	20.5×4.5	1通		(封筒表書)「敬之助様 さし置 小磯」	
29-34-5-11	万延元庚申年小作米請取通 大橋	年未詳11月27日	横切紙	1通	大橋→小橋屋弥吉		
29-34-5-12	[書付]	年月日未詳	横切紙	1通	「備中倉敷 大橋敬之介様 二宮立石助右衛門」		
29-34-5-13	[書状書き止し]	年月日未詳	横継紙	1通			
29-34-5-14	[差出申済口書訴之事案文]	万延2年正月	縦折紙	1通	下津井屋寿太郎より戎屋忠八へ掛かる米代銀滞出入内済について		
29-34-5-15	[某書状]	年未詳2月6日	横継紙	1通	夕刻山田屋にて一献進たくお待ち申す		
29-34-5-16	覚(午未兩年分四月晦日皆済約定)	申年正月12日	横切紙	1通	伊勢野屋伊三郎差添利吉		
29-34-5-17	覚(米代当札書付)	申年12月	横継紙	1通	水沢→大橋		
29-34-5-18	乍恐以書付御届奉申上候	年月日未詳	横切紙	1通	倉敷村水沢遠三郎母頼母行衛不明		
29-34-5-19	[人別反書上]	年月日未詳	横切紙	1通			
29-34-5-20	[絵図下書]				1纏め(2枚)	29-34-5-20-1~2一纏め	
29-34-5-20-1	[絵図下書]	年月日未詳	縦紙	1枚	「屋敷」「新屋敷地」他書入れあり		
29-34-5-20-2	[絵図下書]	年月日未詳	縦紙	1枚			
29-34-6	[みつ家内書付]	年月日未詳	縦切紙	1通	昨年中に智直介に先出たれ後家となつたみつの家内三人について記したもの		
29-34-7	[大原与兵衛傷害事件に関する書類草案]	年月日未詳	縦紙	1通	「大原与兵衛役前取計向之儀」につき容易ならざる遺恨により今般の所業に及んだことについて述べた書類の草案		
29-34-8	[書類草案]	年月日未詳	縦紙	1通	文吾という者が「紀州様御貸附金取次」と称して北木島の清次郎に金を貸し渡した件などに関する書類の草案		
29-34-9	[納米書付]	年未詳11月21日	横切紙	1通	11月21日付で納入した米の明細を記したもの		
29-34-10	[蔵納米書付]	年未詳11月25日	横切紙	1通	11月21日付で蔵に納められた米の明細を記したもの		

29-34-11	[大橋平右衛門宛石阪堅操書状]	年未詳閏月3日	横継紙	1通	江戸表より到来した飛脚が目撃した島津三郎(久光)従士による英人殺害事件(生麦事件)の状況を報じたもの	端裏部に上書を記した地紋入りの紙を貼付(上書)[ ]大橋平右衛門様 石阪堅操 □□□ 保護の為SILティッシュで包む
29-34-12	[大橋宛尚介(カ)書状]	年未詳10月初日	横継紙	1通	御退屈の節にでもお出で下されば大幸の至(追伸)大橋氏が訪問してきた際、他出で会えなかったことなどを謝したもの	(上書)「大橋様 尚介(カ)」
29-34-13	請札証文之事	文久元年	縦継紙	1通	倉敷戎町新田屋未介・引請証人庭瀬中田村友太郎ほか4名→二階堂御手形札引請元請藤戸村油屋善作・支配人芳太郎 西9月より11ヶ月の間、倉敷新田屋にて二階堂手形札の引替を行う旨を約束したもの	日付の部分に「九月モ有、十月モ有」とある
29-34-14	[某書状案文]	年月日未詳	横継紙	1通	「当人」の受領が済んで甲斐守に任じられたこと 今年の祭礼に本束帯を着て供奉すること 京都・江戸に騒がしい風説があり恐怖していることなどを述べたもの	
29-34-15	[御預ヶ金関係草案一括]			1纏め(5通)		29-34-15-1~5まで折り重ね巻き込み一括 SILティッシュで包む
29-34-15-1	[金預ヶ証文草案]	年月日未詳	横切紙	1通	「右者去ル未年十二月中金百五拾兩致取次御預ヶ申候処」とのみある	
29-34-15-2	[書状書き止し]	年月日未詳	横切紙	1通	「昨日者御苦勞奉存候…」と書き出し部のみ記して墨で打ち消してある	
29-34-15-3	[御預ヶ金返済関係書状草案]	年月日未詳	縦折紙	1通	去る未年12月中に貸した金150兩の利息返済について	
29-34-15-4	[金受領証草案]	文久2年9月	横切紙	1通	貸し出していた金の返済時期のずれで生じた1ヶ月分の利息の受領証草案	
29-34-15-5	[御預ヶ金返済関係書状草案]	年月日未詳	横切紙	1通	去る12月中に貸し出され、翌申年4月までに元利とも返金が済んだ金150兩について、金主が貸与期間を1ヶ月延長し、5月まで預ってくれるよう言い出したために生じる利息につき述べたもの	
29-34-16	[大助宛大橋敬之介書状案文]	年未詳9月30日	横継紙	1通	書面加筆の件についての問い合わせを承知し、御同氏様と内田様に伺った上で加筆を依頼したらどうかと提案したもの	前欠
29-34-17	[かし網漁をめぐる紛争下書]			1纏め(3通)		29-34-17-1~3一纏め
29-34-17-1	[かし網漁をめぐる紛争下書]	年月日未詳	縦折紙	1通		
29-34-17-2	乍恐以書付奉願上候	年月日未詳	縦折紙	1通	かし網漁をめぐる紛争下書	
29-34-17-3	[かし網漁をめぐる紛争下書]	年月日未詳	縦折紙	1通		
29-34-18	[備中国窪屋郡倉敷村高反別石盛書上帳]	年月日未詳	縦折紙	1纏め(10丁)	文禄年中御検地の本田高404石4斗4升5合および古後新田・未辰新田・午新田・寅新田について明細を記したもの	丁番号が付してある 未成状態の縦帳カ
29-34-19	[伺書及び願書下書]			1纏め(1纏め2通)		29-34-19-1~3一纏め SILティッシュで包む
29-34-19-1	[龜山村吉平作株売渡について]			1纏め(2通)		29-34-19-1-1~2一纏め SILティッシュで包む
29-34-19-1-1	[伺書]	年月日未詳	横切紙	1通	龜山村吉平夫婦が疹麻にて死去につき作株売渡しの重五郎に未進等はないかたずねる	
29-34-19-1-2	[書付]	年月日未詳	横切紙	1通	「龜山村世話人參候少し御伺申上候義御座候二付罷出申候」	
29-34-19-2	以書付御願申上候	年月日未詳	縦紙	1通	今野屋弥平次へ掛り銀子請取滞一件下書	(端裏書)「他国より売買物積来候入船」
29-34-19-3	以書附御願申上候	年月日未詳	縦紙	1通	今野屋弥平次へ掛る銀子受取滞一件について下書	
29-34-20	[大原与兵衛傷害事件関係草案一括]			1纏め(4通)		29-34-20-1~4まで折り重ね巻き込み一括
29-34-20-1	[大原与兵衛負傷一件について]	年月日未詳	縦折紙	1通	大庄屋大原与兵衛が同村百姓宗兵衛の心得違いで負傷させられた事件について述べたもの 与兵衛が近日出勤との風聞に接し、今は出勤を差し留めるべきではないかと意見する内容	端部破損
29-34-20-2	[大原与兵衛傷害事件関係書類草案]	年月日未詳	縦折紙	1通	与兵衛を傷つけた宗兵衛が、仮に同類の者の指図で動いたのだとしても、遺恨もなくこうした事件を起こすわけがなく、「取計向不行届」のためこのようなことが発生したとも考えられるのではないかと、との内容	紙の表裏を使用し、墨消し・訂正が多くなされている
29-34-20-3	乍恐以書附奉願上候	年月日未詳	縦折紙	1通	窪屋郡倉敷村百姓宗兵衛が8月15日に庄屋大原与兵衛を出逢いざまに傷つけ、その場から逃亡した事件に関する書類の草案	紙の表裏を使用
29-34-20-4	[大原与兵衛傷害事件関係書類草案]	年月日未詳	縦紙	1通	宗兵衛に襲われて負傷した与兵衛が出勤するのは「村内治り方二も抱」わるので、今は出勤を差し留めた方がよいと述べたもの	紙の表裏を使用
29-34-21	[包紙]	年月日未詳	縦紙	1通	「作州院庄旧跡 石橋扇面 敬之介様」の書付及び書状下書に転用されている	
29-34-22	[大橋平右衛門宛二宮中岡六右衛門書状]	年未詳閏月14日	横継紙	1通	瀬右衛門殿祖母死去の報知	包紙あり(包紙上書)「備中倉舗 大橋平右衛門様 二宮 中岡六右衛門」
29-34-23	[片島君宛徳聚書状]	年未詳29日	横切紙	1通	今日桜屋へ御預にお出候てはいかが、御相談申し上げ返答依頼	(上書)「片島君 徳聚」
29-34-24	[大橋敬之助宛高原為時書状包紙]	年月日未詳	横切紙	1枚		包紙のみ(上書)「大橋敬之助様 高原為時 急内用書」
29-34-25	[白紙]	年月日未詳		1枚		
29-34-26	[屋号・人名書上]	年月日未詳	横切紙	1通	川下入船屋森助・井藤屋万次郎・阿波屋卯之助	
29-34-27	[書状下書]	年月日未詳	縦紙	1通	油屋善作義二階堂手形札引替元請であるので当村新田屋未助へ印札を頼んだ趣について	
29-34-28	[敬之助宛広助書状]	年未詳8月29日	横継紙	1通	見舞の品恵投への礼 祖母の病気について報告	裏面に太郎蔵より藤助へ懸る一件についての書付あり
29-34-29	[飛脚目撃]	年月日未詳	横継紙	1通	昨日江戸表飛脚到来、適中にて目撃の事項書止し	
29-34-30	[大橋敬之介宛光太郎書状]	年未詳1月3日	横継紙	1通	手紙が小川から来た 御手透もあるか御尋ねする	(上書)「大橋敬之介様 光太郎 机下」



29-34-31	〔大橋敬之介宛児島屋光太郎書状〕	年未詳閏8月4日	横継紙	1通	手製の味噌を進呈	(上書)「大橋敬之介様 児島屋光太郎 呈(カ)貴下」
29-34-32	〔包紙〕	年月日未詳	縦紙	1枚		(上書)「倉敷 大橋恵吉様 二宮二而小原千助 無異」
29-34-33	〔仁左衛門・勝之丞宛敬之介書状〕	年未詳10月15日	横継紙	1通	関戸村へ掛合に及ぶにつき、村役人への添書については別紙の通りに認めてはどうか	
29-34-34	〔願書案文〕	年月日未詳	縦紙	1通	新田千次郎が千歳楽に加わり吟味中村預けになっている件について	
29-34-35	〔敬之介宛光太郎書状〕	年月日未詳	横継紙	1通	見舞品への礼状及び病状報知	
29-34-36	〔案文〕	年月日未詳	縦折紙	1通	・油屋善蔵引替元請の二階堂手形札印札についての一件について取調依頼 ・売荷緋取粕八拾壹俵をつんだ太郎蔵船へ盗賊云々(以下不詳)など	
29-34-37	〔案文〕	年月日未詳	縦折紙	1通	油屋善蔵引替元請の二階堂手形札印札についての一件取調依頼	
29-34-38	〔案文〕	年月日未詳	縦折紙	1通	関戸村へ掛合に及ぶにつき村役人への添書については別紙の通りに認めてはどうかなど	
29-34-39	〔書状書き止し〕	年月日未詳	横継紙	1通	末助より差出しの書面について三四日の猶予を願出	後欠
29-34-40	〔手習い〕	年月日未詳	縦紙	1枚		
29-34-41	〔手習い〕	年月日未詳	縦紙	1枚		
29-34-42	〔案文・書状〕			1纏め(6通)		29-34-42-1~6まで重ねて折りたたまれて一纏め
29-34-42-1	〔案文〕	年月日未詳	縦折紙	1通	以書附御願申上候他書さしの案文	紙面の下半分が破損している
29-34-42-2	〔案文〕	年月日未詳	縦紙	1通	嘆願書案文	
29-34-42-3	〔乍恐以書付御歎願奉申上候案文〕	年月日未詳	縦紙	1通	浅右衛門外三人が粒浦地内において芝居興行に加わっていた一件について	
29-34-42-4	〔内蔵頭宛忠香書状〕	年未詳8月16日	横継紙	1通	一層の周錠依頼	
29-34-42-5	〔某書状〕	年未詳8月晦日	横継紙	1通	老人は来月中旬迄は「もちかね候趣」 自分も当年は罷出ること	
29-34-42-6	〔某書状〕	年月日未詳11日	横切紙	1通	はできないので五六日の内に人を差出す 内藤忠兵衛・日野屋平兵衛先納金延引について	
29-35	〔反古類〕			1括り(49枚1括り1丁20通)		29-35-1~71が重ねて折られている
29-35-1	〔包紙〕	年月日未詳	縦紙	1枚		(上書)「麩果 御あね様 お徳さま なつより」
29-35-2	〔封筒〕	年月日未詳	17.2×5.0	1枚		(上書)「児島荘左衛門様 侍史 倉敷 敬之介」
29-35-3	〔往來手習い〕	年月日未詳	横切紙	1枚		おまき宛書状の書き止しに手習い
29-35-4	〔某書状案文〕	年月日未詳	横継紙	1通	先頃送ってもらった「こんへいとふ」と伯母様から送ってもらった「こうやとふ」の礼状 又祖母様の近況をたずねる	書状の下書きに手習い
29-35-5	〔往來手習い〕	年月日未詳	横切紙	1枚		
29-35-6	〔手習い〕	年月日未詳	横切紙	1枚		
29-35-7	〔手習い〕	年月日未詳	横切紙	1枚		
29-35-8	〔手習い〕	年月日未詳	横切紙	1枚		
29-35-9	〔包紙〕	年月日未詳	縦紙	1枚		(上書)「御団扇 五風堂」(刷物)
29-35-10	〔往來手習い〕	年月日未詳	横切紙	1枚		2枚に破れている
29-35-11	〔白紙〕	年月日未詳	縦紙	1枚		
29-35-12	〔往來手習い〕	年月日未詳	横継紙	1枚		2枚に破れている
29-35-13	〔包紙〕	年月日未詳	縦紙	1枚		「大橋正吉」
29-35-14	〔戯文〕	年月日未詳	横切紙	1通		
29-35-15	〔添状〕	年月日未詳	縦切紙	1通	「上 是ハ到来候有合もの御道すがらにて御用可被遊候 多作西橋様」	
29-35-16	覚(代金書上)	申年4月晦日	横切紙	1通	福又→西大橋 めんたい代金	
29-35-17	〔付札〕	年月日未詳	縦切紙	1枚	「進上 麩品 正吉どのへ 中大橋より」	
29-35-18	〔包紙〕	年月日未詳	縦紙	1枚		(上書)「御手本 大橋正吉」
29-35-19	〔手習い〕	年月日未詳		1括り(11枚)		
29-35-20	〔包紙〕	年月日未詳	横切紙	1枚		「進上 御足袋 御子供様」
29-35-21	〔手習い〕	年月日未詳	横継紙	1通	祭礼への招待	
29-35-22	〔手習い〕	年月日未詳	縦紙	1通	祭礼への招待	
29-35-23	〔手習い〕	年月日未詳	横切紙	1枚		
29-35-24	〔手習い〕	年月日未詳	縦紙	1通	招待状	
29-35-25	〔手習い〕	年月日未詳	横折紙	1通	招待状	
29-35-26	〔往來手習い〕	年月日未詳	縦紙	1通	祭礼への招待	
29-35-27	〔手習い〕	年月日未詳	縦紙	1通	祭礼への招待	
29-35-28	〔手習い〕	年月日未詳	横切紙	1枚		
29-35-29	〔手習い〕	年月日未詳	横折紙	1枚		
29-35-30	〔手習い〕	年月日未詳	横折紙	1枚		
29-35-31	〔手習い〕	年月日未詳	横切紙	1枚		
29-35-32	〔手習い〕	年月日未詳	横切紙	1枚		
29-35-33	〔通牒断簡〕	年月日未詳	横折紙	1丁		
29-35-34	〔白紙〕	年月日未詳	縦紙	1枚		
29-35-35	〔立石御伯父宛大橋千之介書状〕	年未詳正月5日	縦紙	1通	年始挨拶及び袴地一反進上之事	
29-35-36	〔手習い〕	年月日未詳	縦切紙	1枚		

29-35-37	[包紙]	年月日未詳	縦紙	1枚		(上書)「西新宅 おひち殿 御寿 大はしとよより」(裏書)「西新宅 おひち殿 御寿 大はしとよより」
29-35-38	[手習い]	年月日未詳	縦紙	1枚		
29-35-39	[手習い]	年月日未詳	縦紙	1枚		
29-35-40	[手習い]	年月日未詳	縦紙	1枚		
29-35-41	[手習い]	年月日未詳	縦紙	1枚		
29-35-42	[手習い]	年未詳正月1日	縦紙	1枚	新年挨拶	
29-35-43	[包紙]	年月日未詳	縦紙	1枚		「粗品」
29-35-44	[出店おとよ宛西橋ひろ書状]	年未詳9月12日	横折紙	1通	おとよ様来訪ながら、あいそなきにつきお詫び	(表書)「返事下され候 菊月十二月 出店おとよ様 人々参候 西橋ひろより」
29-35-45	[手習い]	年月日未詳	縦紙	1枚		
29-35-46	[手習い]	年月日未詳	縦紙	1枚		
29-35-47	覚(薬書付)	年未詳8月11日~22日	縦紙	1通	妹尾 八月十一日 一.丸薬 五ふく 他	
29-35-48	[往來手習]	年月日未詳	縦紙	1枚		横折紙をのばしている
29-35-49	覚(寸法書付)	年月日未詳	縦切紙	1通	丈三尺二寸 他	横折であったものをのばしている
29-35-50	ゑちごしし	年月日未詳	縦紙	1通		横折紙をのばしている
29-35-51	ゑちごしし	年月日未詳	縦紙	1通		横折紙をのばしている
29-35-52	[大橋千之介・同正吉宛尊瀧院隆興書状]	年未詳旧8月3日	横継紙	1通	八月七日・八日の祭礼への招待及び内祝進上のごと	
29-35-53	[手習い]	年月日未詳	横切紙	1枚		
29-35-54	[手習い]	年月日未詳	横継紙	1枚		
29-35-55	[往來手習]	年月日未詳	横継紙	1通	暑中見舞	
29-35-56	[手習い]	年月日未詳	横切紙	1枚		
29-35-57	[出店姉宛西橋ひろ書状]	年月日未詳	横継紙	1通	天城先生へ返事のごと	(上書)「出店 御姉様 西橋ひろより 御返事二而下され候」
29-35-58	[手習い]	年月日未詳	横切紙	1枚		
29-35-59	[札紙]	年月日未詳	横切紙	1枚	丑八百八十式 文ハス 高田山イモ	
29-35-60	[書付]	年月日未詳	縦切紙	1枚		「ぎほといえども」
29-35-61	[某書状下書]	年月日未詳	横切紙	1通	中元の祝美失礼のおわび	前欠
29-35-62	[手習い]	年月日未詳	横継紙	1枚		
29-35-63	[手習い]	年月日未詳	横切紙	1枚		
29-35-64	[手習い]	年月日未詳	縦紙	1枚		横折紙を縦にのばしている
29-35-65	[手習い]	年月日未詳	横切紙	1枚		
29-35-66	[手習い]	年月日未詳	縦紙	1枚		
29-35-67	[手習い]	年月日未詳	縦紙	1枚		
29-35-68	[手習い]	年月日未詳	横切紙	1枚		
29-35-69	[往來手習]	年月日未詳	縦紙	1枚		横折紙をのばしている
29-35-70	[手習い]	年月日未詳	横切紙	1枚		
29-35-71	[白紙]	年月日未詳		1枚		29-35-1~70を巻くための上紙カ
29-36	[大橋敬之介関係書状等]			1括り(9通1枚1纏め)		29-36-1~11紙綴りで一括り
29-36-1	[立石助右衛門宛大橋敬之介書状]	年未詳6月19日		1通		袋がのりづけされていて開けない(包紙上書)「作州二宮 立石助右衛門様 備中倉敷 大橋敬之介 無異」
29-36-2	[敬之介関係書類]			1纏め(4通)		29-36-2-1~4一纏め
29-36-2-1	[光太郎宛敬之介書状]	年月未詳2日	横切紙	1通	金五十両を二十五両ずつに包替えて遣すよう依頼	(上書)「光太郎様 敬之介」
29-36-2-2	[中村様よりの倉敷村宿御尋について]	年月日未詳	横切紙	1通	御普請役様・戸田屋喜三郎宅では臨時止宿ができないので最寄村役人宅で御宿	
29-36-2-3	[半紙拝借願]	年月日未詳	横切紙	1通		
29-36-2-4	[助右衛門他5人宛月番敬之介回章]	酉年11月20日	横継紙	1通	村方難波人へ米銀助精を取計うものがある哉に承るので、夫々漏れの無い様認め差し出す件について 昼後に出勤願いたい	
29-36-3	[包紙]	年月日未詳	横切紙	1枚		「御印判」の書付あり
29-36-4	[大橋敬之介宛光太郎書状]	年月日未詳	横継紙	1通	内話の趣夫々伊藤氏へ相申した処委細承知の旨	(上書)「大橋敬之介様 光太郎 研比」後半欠
29-36-5	乍恐御返答書奉申上候	年月日未詳	横折紙	1通	倉敷村百姓光蔵より同村忠八へ掛る金子取込横領出入について下書	
29-36-6	[池田内匠守様勘定所への借金について下書]	年月日未詳	横折紙	1通		
29-36-7	[下書]	年月日未詳	横折紙	1通	久右衛門が江戸へ行ったとき甚左衛門差入の証文を私手前へ渡すよう久右衛門へ申聞かせたところ、水沢頼母方へ預け置いている旨を申し聞いたこと	
29-36-8	[下書]	年月日未詳	横折紙	1通	弘化3年11月中備前国御野郡大供村甚左衛門より年寄久右衛門へ金談したところ、同人手前差支にて池田内匠様勘定所で拝借の件	
29-36-9	[下書]	年月日未詳	横折紙	1通	弘化3年11月中村内年寄久右衛門存生中、借替のため池田内匠様勘定所で借用したことについて	
29-36-10	乍恐御尋附奉申上候	酉年11月	横切紙	1通	身元の者より難波人へ助精につき米銀員数千人別書上るよう命令につき届書ひな型 窪屋郡倉敷村年寄庄屋→倉敷役所	
29-36-11	[下書]	年月日未詳	横切紙	1通	村方難波人へ身元よりの者より助精の件下書	

29-37	[婚礼次第他]			1括り(仮1冊4通)		29-37-1に29-37-2～5が包まれ紙縫りで括られている
29-37-1	御献立	嘉永4年11月16日	美・横長	仮1冊		
29-37-2	御婚礼次第	年月日未詳	横折紙	1通	御嫁取之式他	
29-37-3	式三献之次第・御坐鋪之次第	年月日未詳	横折紙	1通		
29-37-4	[婚礼次第]	年月日未詳	横折紙	1通	御結盃之次第他	
29-37-5	[婚礼次第]	文政9年9月	横折紙	1通	土産もの披露他 作成者:小笠原流式者辻莊三郎	
29-38	全體新論譯解 卷之一	年月日未詳	半・豎	仮1冊		
29-39	天文畧説	年月日未詳	半・豎	仮1冊		
29-40	[控帳]			1纏め(仮2冊)		29-40-2が29-40-1に挟まれている
29-40-1	日かへ長 三月廿七日	年未詳3月27日	美・横長	仮1冊		(裏表紙)「西橋氏」
29-40-2	控帳	年月日未詳	半・横長	仮1冊		(裏表紙)「控於鶴」
29-41	[帳簿類]			1纏め(仮1冊8冊)		28-41-1～9一纏め 纏まっている為SILティッシュで包む
29-41-1	明治十四年八月 盆払書出シ帳 西はし	明治14年8月	半・横半折	1冊		
29-41-2	明治十五年二月十七日 十二月払書上帳	明治15年2月17日	美・横半折	1冊		(裏表紙)「西はし」
29-41-3	明治十四年巳一月 節季払書抜総計 旧曆明治十三年辰十二月	明治14年1月	美・横長	1冊		(裏表紙)「西はし」
29-41-4	明治九年八月卅一日 盆前諸払并勘定控帳 又四郎請	明治9年8月31日	半・横長	1冊		
29-41-5	辛未年七月 おぼへ帳	辛未年7月	美・横長	1冊		
29-41-6	[銭書付帳]	年月日未詳	半・横長	仮1冊	銭九貫三百文 いなり町たるみや他	
29-41-7	明治四年未十二月 日雇人足并医師薬札区々通 〆書出し帳 西橋雑掌方	明治4年12月	美・横長	1冊		
29-41-8	明治八年亥正月廿七日 注文 〆上帳	明治8年正月27日	半・横長	1冊		(裏表紙)「西橋」
29-41-9	明治十年丑二月日 諸払書出シ帳	明治10年2月12日	美・横長	1冊		(裏表紙)「諸払書出シ帳 明治十年丑二月日新可論西はし」
29-42	明治三年未五月吉日 日記帳	明治3年5月	半・横長	1冊		(裏表紙)「西 大橋」
29-43	[帳簿]			1纏め(2冊)		29-43-1で29-43-2を挟んでいる
29-43-1	文久三癸亥年 小作米銀納書抜算用帳 徳聚手元	文久3年	半・横長	1冊		
29-43-2	安政六未年十一月 濱田米廻し帳 大橋	安政6年11月	半・横長	1冊		
29-44	御勘定様 御先触写	(文久元)酉年7月19日～文久元年11月8日	半・豎	1冊		
29-45	[年貢出納帳類]			1纏め(3冊仮1冊)		29-45-1～4まで重ねて一纏め 虫損がある為SILティッシュで包む
29-45-1	当酉検見仕出帳 大橋	酉年	美・横長	1冊		
29-45-2	元治元甲子九月改之 亀山村御年貢計人別調扣	元治元年9月	美・横長	仮1冊		
29-45-3	元治紀元甲子年亀山有城両村小作人 御蔵米納取調帳 維敬改之	元治元年	美・横長	1冊		
29-45-4	文久三癸亥年 検見仕出帳	文久3年	美・横長	1冊		
29-46	御用向 安政六未十二月ヨリ 聴来記 壺番	安政6年12月	18.5×11.6	仮1冊		
29-47	文久二壬戌年 萬事日記 徳聚	文久2年	美・横列	1冊		
29-48	文久三癸亥年諸日記 并元治元甲子年諸日記用之	文久3年1月1日～元治元年7月	美・横列	1冊		
29-49	万延元年申十二月十三日 西茶園棟上欽到来物帳 安政五戊午年九月 廣江呼松古新田 前村新開見取 帳	万延元年12月13日	美・横長	1冊		
29-50		安政5年9月	美・横長	仮1冊		
29-51	[控帳類]			1括り(仮1冊2冊1通)		29-51-1～4まで重ねて二ツ折にして紙縫りで括られている 括り紐に付紙あり「嘉永二酉年書類 扇屋元太郎」
29-51-1	酉年濱日記より写之 直嶋御恵濱七番八番 八月廿日差越候分 引受元蔵(ママ)	酉年	半・横長	1冊		
29-51-2	酉十一月十二日 直嶋扇屋元太郎持参帳面控	酉年11月12日	半・横長	仮1冊		
29-51-3	賞(塩代雑用差引残り元太郎手前二有之分)	年未詳11月13日	横切紙	1通		
29-51-4	酉十一月より同十二月濱算用帳 直嶋御恵濱七番八番 引受元太郎	酉年11月～12月	半・横長	1冊		
29-52	[大橋恵吉宛大橋勝之丞書状]	年未詳8月21日	横継紙	1通(2枚)	婚礼済み次第、祭礼も近づいている為早々の帰宅を願う	包紙あり(包紙上書)「大橋恵吉様 貴下 同勝之丞」
29-53	[諸書付]			1括り(2纏め)		29-53-1と29-53-2が紙縫りで括られている
29-53-1	[書状・書付類]			1括り(31枚22通1冊)		29-53-1-1～54が重ねて巻かれている SILティッシュで括った
29-53-1-1	[包紙]	年月日未詳	横切紙	1枚		(上書)「備中倉敷 大橋栄吉様 玉下 藤沢二太」(裏書)「自岡山」
29-53-1-2	[包紙]	年未詳3月5日	豎紙	1枚		(上書)「倉敷阿知町 大橋恵吉様 要用 岡山河東 青石新兵衛」
29-53-1-3	[白紙]	年月日未詳	豎切紙	1枚		(裏書)「三月五日認 同十六日着」
29-53-1-4	[包紙]	年月日未詳	豎紙	1枚		(上書)「上」

29-53-1-5	[御役所宛窪屋郡倉敷村年寄敬之介書状下書き]	申年11月22日	竪紙	1通	印鑑摩滅につき改印届	横折を竪紙にのばしている
29-53-1-6	[手習い]	年月日未詳	竪紙	1枚		
29-53-1-7	廣江邑 御新開古地境 見分仮控	安政6年6月17日	横切紙	1通		横折をのばしている
29-53-1-8	[大森栄吉宛鶴太郎口演]	年未詳8月12日	横継紙	1通	昨日内談のこと決して損亡かけ申すまじきこと	(上書)「大森栄吉様 尊下要用 従本町御泊 鶴太郎」
29-53-1-9	覚(代銀勘定書)	午年12月	横継紙	1通	惣社屋万吉→大橋若旦那 車えび・わさび・鯛他代銀勘定	
29-53-1-10	[指上申一札之事案文]	年月日未詳	横継紙	1通	播州西野山村順平より備中国倉敷村勝五郎外吉人へ懸る預ヶ金出入一件について 某→倉敷役所	
29-53-1-11	[包紙]	年未詳12月6日	竪紙	1枚		(上書)「播州上月村大谷忠吉殿 備中倉敷 大橋敬之介 平安要用書」
29-53-1-12	[大谷御父上他二名宛大橋敬之介書状]	年未詳12月6日	竪紙	1通	普請も漸く「内身事」に取懸ったので出来の上は御案内申し上げる 白米壹升につき八十八匁金の銀札式匁四分が式匁壹分余になったこと等 大橋敬之介→大谷父上・五兵衛・忠吉	横折を竪紙にのばしてある
29-53-1-13	[大橋恵吉宛赤井記一郎書状]	年未詳3月14日	横継紙	1通	今度の御用事につき遠方よりの御入来皆様満足のこと 御筆三人へ御恵投につき礼状	
29-53-1-14	[包紙]	年月日未詳	竪切紙	1枚		(上書)「御薫物 京師香舖鳩居堂 熊谷鈞瑛製」 刷物
29-53-1-15	[包紙]	年月日未詳	竪紙	1枚		(上書)「のし 手遊 一」
29-53-1-16	[往來手習]	年月日未詳	横継紙	1枚		
29-53-1-17	[手習い]	年月日未詳	横継紙	1枚		
29-53-1-18	[手習い]	年月日未詳	横折紙	1枚		
29-53-1-19	[手習い]	年月日未詳	横切紙	1枚		
29-53-1-20	[手習い]	年月日未詳	竪紙	1枚		
29-53-1-21	[敬之介宛安右衛門書状]	年未詳7月22日	横切紙	1枚	留主中臨時用向受持依頼	(上書)「敬之介様 安右衛門」
29-53-1-22	覚(代銀書付)	年月日未詳	横切紙	1通	一. 越後白一反	
29-53-1-23	[反物書付]	年未詳3月5日	横折紙	1通	藤茶・無地など	
29-53-1-24	[包紙]	年月日未詳	竪紙	1枚		(上書)「倉敷 大橋勝之丞様」(裏書)「自大坂 内用書 良兵衛」
29-53-1-25	[手習い]	年月日未詳	横切紙	1枚		破れて2枚になっている
29-53-1-26	[手習い]	年月日未詳	横切紙	1枚		
29-53-1-27	[往來手習]	年月日未詳	横継紙	1枚		
29-53-1-28	[手習い]	年月日未詳	横継紙	1枚		
29-53-1-29	[手習い]	年月日未詳	横切紙	1枚		
29-53-1-30	[往來手習]	年月日未詳	横継紙	1枚		
29-53-1-31	[往來手習]	年月日未詳	横継紙	1枚		
29-53-1-32	[往來手習]	年月日未詳	横継紙	1枚		
29-53-1-33	[某書状]	年月日未詳	横継紙	1通	喜介今一ヶ年稼ぎたく頼み拙宅に留置事	
29-53-1-34	乍恐以書附御届奉申上候(下書)	年月日未詳	横折紙	1通	備中窪屋郡倉敷村水沢遠三郎母頼母家出につき届出	
29-53-1-35	[手習い]	年月日未詳	横継紙	1枚		
29-53-1-36	[手習い]	年月日未詳	横継紙	1枚		
29-53-1-37	[往來手習]	年月日未詳	横切紙	1枚		
29-53-1-38	[手習い]	年月日未詳	竪切紙	1枚		
29-53-1-39	[手習い]	年月日未詳	竪折紙	1枚		
29-53-1-40	[手習い]	年月日未詳	横継紙	1枚		
29-53-1-41	[某書状案文]	年月日未詳	横継紙	1通	時候の挨拶	
29-53-1-42	乍恐御尋二付奉申上候(下書)	年月日未詳	横折紙	1通	みつ無宿仲蔵止宿一件につき親類組合隣家申口	後欠
29-53-1-43	鎮火五龍円(のぼせさげごれうゑん)	年月日未詳	半・竪	1冊	表紙「御免御薬所 鎮火五龍円 大坂心齋橋筋順慶町南大西口 本家浮田法眼桂造五福遺方」 平蔵は兼々私宅出入の正路者であるので、御取計御頼み申すとのこと	本文なし
29-53-1-44	[某書状追書]	年月日未詳	横切紙	1通		
29-53-1-45	[手習い]	年月日未詳	横折紙	1枚		
29-53-1-46	[手習い]	年月日未詳	竪紙	1枚		
29-53-1-47	[手習い]	年月日未詳	横切紙	1枚		
29-53-1-48	[無宿人止宿に付わび状]	年月日未詳	竪折紙	1通		
29-53-1-49	[若主人宛甚介書状]	年月未詳18日	横切紙	1通	大嶋よりの魚魚軽少ながら呈上のこと	(上書)「若御主人様 甚介」
29-53-1-50	[稲生につき書付]	年月日未詳	横切紙	1通	早稲は少タツへ穂出かけ、中稲・晩稲はいまだ穂出ず	
29-53-1-51	[某書状(断簡)]	年月日未詳	横継紙	1通	結構の牛皮所持のよし柄草壹本配分願ひ	後欠
29-53-1-52	[田地所持出入につき願書下書]	年月日未詳	竪紙	1通	裏面に手習い	竪折が広げられている
29-53-1-53	[某書状(断簡)]	年月日未詳	横継紙	1通	結構なる牛皮配分のこと	後欠
29-53-1-54	覚(通行触)	申年12月5日	横継紙	1通	美作国勝北郡大岩から備中国窪屋郡陣屋迄囚人六人差遣す件について 大竹左馬太郎手代内田邦治→宿村役人中	
29-53-2	[諸書類・書付]			1纏め(1纏め1 舗飯1冊1丁14 枚37通)		29-23-2-1~55が重ねて巻かれている SILティッシュで括った
29-53-2-1	[某書状]	年月日未詳	横継紙	1通	当村光太郎と庄屋又三郎との係争につき、内済を取り計らって られている人物に返答したもの	
29-53-2-2	[包紙]	年月日未詳	横切紙	1枚		(上書)「大橋御旦那様」

29-53-2-3	以書附申上候	年月日未詳	横切紙	1通	去月他行の水澤遠三郎母頼母が未だ帰村しないことについて届の猶予を願う	
29-53-2-4	[某書状]	年月日未詳	横継紙	1通	百姓光太郎と庄屋又三郎との係争について 又三郎へ始末を問合せ内済の取計を依頼	
29-53-2-5	[某書状]	年月日未詳	横継紙	1通	「当村百姓光太郎より其御庄屋又三郎殿江相掛り候一件」について 以前より配慮してもらっているが、熟談できない状況で、やむなく「差出」する外なくなった旨伝えたもの	
29-53-2-6	[某書状案文]	年月日未詳	横切紙	1通	新田より借請の野取帳差上げの添状	全体を抹消
29-53-2-7	差上申済口証文之事	年月日未詳	縦紙	1通	「窪屋郡百姓光太郎より浅口郡勇崎村庄屋又三郎江相掛り貸金滞出入」につき、相対熟談した結果を記したもの	縦折紙をのばしている
29-53-2-8	差上申済口証文之事	年月日未詳	縦紙	1通	倉敷村光太郎、勇崎村庄屋又三郎へ掛る貸金一件についての済口証文	
29-53-2-9	差上申済口証文之事	年月日未詳	横切紙	1通	倉敷村光太郎、勇崎村庄屋又三郎へ掛る貸金一件についての済口証文	
29-53-2-10	差上申済口証文之事	年月日未詳	横継紙	1通	「窪屋郡倉敷村百姓光太郎より浅口郡勇崎村庄屋又三郎江相掛り貸金滞出入御訴訟」について	書きさしの草案カ
29-53-2-11	[某書状]	年月日未詳	横継紙	1通	光太郎及び又三郎へ掛る一件については願人が納得しないのでしかたなく差し出すほかはないと思うので承引してほしい	
29-53-2-12	[留太郎宛大橋敬之介書状]	申年9月17日	横切紙	1通	倉敷村年寄敬之介→浜村庄屋留太郎 御村弥太郎と当村平蔵との係争につき、取調べ中噂人を立てて別紙の通り解決したことを伝え、承認を求めたもの	
29-53-2-13	[書状案文]	年月日未詳	横切紙	1通	贈答品への礼状	
29-53-2-14	[氏名書付]	年月日未詳	横継紙	1通	新田権四郎悻順助他3人	
29-53-2-15	[書状書さし]	年月日未詳	横切紙	1枚		
29-53-2-16	以書附申上候	年月日未詳	横継紙	1通	水沢遠三郎の母(頼母)が去月中に他行したまま帰村していない件について、届け出の期日を29日まで猶予してくれたことを謝したものの	
29-53-2-17	[役所への差出し書]	万延元年12月	縦紙	1通	窪屋郡倉敷村百姓光太郎他3人→倉敷御役所	前欠の為内容不詳
29-53-2-18	[借用申金子証文之事案文]	年月日未詳	縦紙	1通	金貳拾五両の借用について	
29-53-2-19	[敬之介宛基左衛門書状]	年月未詳23日	横切紙	1通	別紙一通を届けさせてくれる様依頼	
29-53-2-20	[大橋敬之介宛寺尾基左衛門書状]	年未詳10月23日	横継紙	1通	先日参上した際に御馳走を頂いた上、帰りに結構なる品物をもたらしたことに對する礼状	
29-53-2-21	以書付御願申上候	年月日未詳	縦継紙	1通	源助への売渡代銀の返済願一件	
29-53-2-22	[疵付人はな・疵請人三津の人別について]	年月日未詳	横折紙	1通		
29-53-2-23	[書付]	年月日未詳	横折紙	1通	人名(四軒屋秀助・同人母きぬほか)と手形の金額を記したものの伊平次舟に積み込んであった瓦を下肥を積込んで新田へ帰掛けていた小山安右衛門預りの順助ら三人が口論から川中へ四五枚投込んだ一件について	
29-53-2-24	[川中へ瓦投込みの次第]	年月日未詳	横継紙	1通	弥右衛門悻虎之丞・組合友右衛門・親類芳之助ほかの人名を列記	
29-53-2-25	[人名書付]	年月日未詳	横切紙	1通		
29-53-2-26	[書状書さし]	年月日未詳	横切紙	1通		
29-53-2-27	[贈答品添状]	年月日未詳	横切紙	1通		後欠
29-53-2-28	[差出申書附之事案文]	年月日未詳	縦紙	1通	新川町壮助ほか5名が壮助宅において「御法度筋」を開催し、差し押さえられたことなど	縦折紙を縦紙にのばしている
29-53-2-29	[差出申書附之事案文]	年月日未詳	縦紙	1通	新川町壮助・要蔵他が壮助宅において御法度筋を催した一件について	縦折紙を縦紙にのばしている
29-53-2-30	差入申建物之事	嘉永2年12月	横継紙	1通	小坂屋佐五郎治・証人長尾屋久助→頼母子講御連中 備前屋元蔵が講の掛銀の引当てに差し入れた瓦葺建家1ヶ所について	
29-53-2-31	[贈品添状]	年月日未詳	横切紙	1通		
29-53-2-32	[差入申証文之事案文]	年月日未詳	縦切紙	1通	借主又三郎・証人年寄亮平→(宛名なし) 滞辻三拾両について年限中に支払いのこと	
29-53-2-33	[包紙]	年月日未詳	縦紙	1枚		(上書)「備中倉舗 大橋敬之介様 貴下要用」(裏書)「六月廿九日 発ス 自作州」
29-53-2-34	算法書	年月日未詳	縦紙	1通		横折紙を縦紙にのばしている
29-53-2-35	[差許しの書付]	年月日未詳	縦紙	1通	武器其外誂ものに銅を加えることについて	
29-53-2-36	午七月初日三目番	年月日未詳	縦紙	1通	十七ノ四、十六ノ三などの数字が列記されている 用途不詳	
29-53-2-37	七月朔日二ツ番証(朱筆)	年月日未詳	縦紙	1通	「十九ノ七 十八ノ八 十八ノ七 十九ノ一 十三ノ六 十五ノ七」が朱書きされている	
29-53-2-38	[包紙]	年月日未詳	縦紙	1枚		(上書)「千之介様」
29-53-2-39	[包紙]	年月日未詳	縦紙	1枚		(上書)「千之介様」
29-53-2-40	[六月廿三日仰せ渡しの書付]	年未詳6月23日	半・縦	仮1冊		
29-53-2-41	[包紙]	年月日未詳	横切紙	1枚		(上書)「大小千之介様」
29-53-2-42	[白紙]	年月日未詳	横切紙	1枚		
29-53-2-43	[白紙]	年月日未詳	縦紙	1枚		

29-53-2-44	[包紙]	年月日未詳	縦紙	1枚		(上書)「大橋敬之介様 戸部喜惣治」
29-53-2-45	[手習い]	年月日未詳	縦紙	1枚		
29-53-2-46	[手習い]	年月日未詳	縦紙	1枚		
29-53-2-47	[手習い]	年月日未詳	縦紙	1枚		
29-53-2-48	[包紙]	年月日未詳	縦紙	1枚		(上書)「大橋敬之介様 立石助右衛門 要用」
29-53-2-49	[包紙]	年月日未詳	縦紙	1枚		(上書)「粗物」
29-53-2-50	乍恐以書付御届奉申上候	年月日未詳	縦紙	1通	紀州高野山からの帰院中病気に付き全快まで帰院延引の届書案文 地藏院高恭留主中兼帯清鏡寺→(宛名なし)	
29-53-2-51	[石高書付]	年月日未詳	縦紙	1丁	「八十三川入 十一反七畝六歩 一同武石七斗六升六合 亀次郎」など3筆	綴穴あり もと横帳の一部カ 横折紙を縦紙にのばしている
29-53-2-52	岡田松山論出入済口証文写	嘉永元年5月	半・縦	1冊	訴訟方板倉周防守領分備中国下道郡久代村九郎兵衛他3人・相手方伊東播磨守領分備中国下道郡水内村庄屋良一郎他3人→寺社奉行	
29-53-2-53	七月六日兎島屋より相手取願出	年月日未詳	横継紙	1通	浜屋基吉 銀札200目の取替について	奥に西の屋三蔵・因播屋嘉蔵の著名あり こちらが差出カ
29-53-2-54	[写本]	年月日未詳	縦紙	1纏め(19丁)	「東論語林巻之一」「東論語林巻之三」「公要内評録巻壹」などの写本部分	
29-53-2-55	[屋敷平面図]	年月日未詳	縦継紙	1舗		
29-54	[役用書類]			1括り(61通4枚)		29-54-1~65紙紐で一括り 紙綴りで括れないのでSILティッシュで括る
29-54-1	以書附御款申上候	酉年2月	縦紙	1通	親猿蔵博奕による仕置仰付 中気の疵故親にかわって御仕置を申請 猿蔵悱忠次郎・組合喜代蔵→村役人中	紙背に「申分共役用反紙 酉五月八日」 29-54の包紙に転用
29-54-2	以書附御願申上候	年月日未詳	縦折紙	1通	広江村の新開地について、これまでは自普請を行っていた 時節柄恐れ多いことであるが、御見分の上溜池ご普請を成し下さるよう、お願い申し上げます 倉敷村大橋平右衛門→(宛名なし)	29-54-3と同内容
29-54-3	以書附御願申上候	年月日未詳	縦継紙	1通	広江呼松古新田村の新開地について、これまでは自普請を行っていた 時節柄であるが、御見分の上溜池ご普請を成し下さるよう、お願い申し上げます 倉敷村大橋平右衛門→(宛名なし)	29-54-2と同内容
29-54-4	[書類下書]	申年	縦紙	1通	倉敷村無高百姓「いの」にご法度筋があり、当月十六日ごろに役人方が踏み込んだところ当人は逃げていたが今日廿六日に帰村した 倉敷村百姓真助・文三郎・作蔵・栄吉が博奕を行って召し捕えられ、入牢を命じられたが農業肝要の時節であるので入牢をお許しいただいた	縦折紙を縦紙にのばしている
29-54-5	[嘆願書下書]	年月日未詳	縦紙	1通	大雨や冷害によって不作になったので村の貯穀拝借願	他にもメモ書きあり
29-54-6	差出申書付之事	年月日未詳	縦継紙	1通	与三郎が武兵衛から借りている借屋の明け渡し請求	
29-54-7	覚(利金残額勘定書)	申年5月	横切紙	1通		
29-54-8	覚(代銀引渡証)	年未詳11月朔日	横継紙	1通	手形方→板屋 正金30両2歩2朱他6筆 合金204両1分永197匁2分5厘	
29-54-9	[質物出入一件]	年月日未詳	横継紙	1通	ミツのかんざし2本の質入れをめぐっての出入り 新川七三郎悱増吉作領野へ村ミツ	後欠
29-54-10	[銀高勘定覚]	巳~申年	横継紙	1通	川辺村忠五郎より銀札	
29-54-11	差出申書附之事	年月日未詳	縦紙	1通	新川町壯助・要蔵・喜和蔵・源助・新助・寅蔵賭博開催につき取調用捨に対する親類組合連印書付	縦折紙をのばしている 墨線で抹消 下書
29-54-12	[江戸屋弥兵衛貸家明渡願]	年月日未詳	横切紙	1通	願人江戸屋弥兵衛	
29-54-13	[西辛川~宇甘道筋書上覚]	年月日未詳	縦切紙	1通	金川境目少し東より入る 宇甘~日応寺、西辛川~日応寺	
29-54-14	[人名書上]	年月日未詳	横切紙	1通	川西町万吉悱定吉 同人弟政之介 組合吉田屋定蔵	
29-54-15	覚(御止宿入用金請取)	申年7月12日	横切紙	1通	御交代の砌御引請御止宿入用金受取 敬之介→與兵衛	全文墨線にて抹消
29-54-16	差出申書附之事	年月日未詳	縦折紙	1通	壬申12月26日夜村内時計場仁平宅にて催合銀掛金差支のため争論 取調用捨に対する親類・組合連印書附	下書
29-54-17	覚(宗門手形・放手形請取雛形)	年月日未詳	横継紙	1通	倉敷年番月番恵吉→何村何所殿	
29-54-18	[書状下書]	年月日未詳	横切紙	1通	孫太郎より差し越した包を茶園にて失念したので今日差上げのこと	(上書)「代舌書」
29-54-19	[人名・品物書上]	年月日未詳	横切紙	1通	倉敷新川町木の屋増吉・同人妻みつ・嘉三郎 かんざしを岡谷江五本、惣社江四本など	
29-54-20	乍恐以書付奉願上候	申年	横切紙	1通	倉敷村地藏院高恭が当九月十日に紀州高野山へ罷り越し、滞院していたが、法務につき来酉三月まで滞山したく願っているので何卒お聞き届いたいただきたい	
29-54-21	乍恐以書付奉願上候	申年12月	横継紙	1通	窪屋都倉敷村地藏院尊恭、高野山での滞在延長につき願	
29-54-22	[ふとんお返し願]	申年10月14日	横切紙	1通	願人恒助 相手田中屋十次郎	
29-54-23	[作次郎小児遺骨のこと]	年月日未詳	横切紙	1通	分家願人作蔵 本家相手与市 作次郎の小児が相果て、与市分墓の隣へ葬った遺骨が掘り出され、捨て置かれていたので、与市が拾い上げ作次郎宅へ持参し、預け置いた一件	
29-54-24	[稻荷町すえ酔狂のこと]	年月日未詳	横切紙	1通	稻荷町すえが酔狂ものであること 同町松蔵がすえの親類であり、養子にする積りであること	後欠
29-54-25	[人名書付]	年未詳7月9日	横継紙	1通	「久米蔵、親類治作、組合善蔵当病二付代平次郎、隣家弁太郎」	

29-54-26	手扣(口論取曖について)	年月日未詳	堅切紙	1通	中島村万吉女房きくと同村美之介女房せん口論によりきく東町 悪水川飛び込み救助について	下書
29-54-27	差出申書付之事(下書)	年月日未詳	堅継紙	1通	倉敷村百姓与三郎、地面借請け燈油紋小屋を営む 地所明け 渡しについて	
29-54-28	差出申書付之事	年月日未詳	堅継紙	1通	倉敷与三郎法位につき一件の書出しのみ	下書
29-54-29	[帰村家出人預置に付書付]	年未詳7月9日	横切紙	1通	家出人桑蔵が帰村に付、親類・組合・隣家へ預け置	
29-54-30	[人名書付]	年月日未詳	横切紙	1通	「綱四郎、組合嘉平、同瀧蔵、同源次郎、隣家安助」	
29-54-31	[人名書付]	年月日未詳	横継紙	1通	「御崎熊次郎、新川馬之助、舟倉梅吉、二反治平、唐戸代吉」	
29-54-32	[米売渡代銀書付]	年月日未詳	横切紙	1通	福嶋村直次郎3月20頃より閏3月中米売渡代銀滞について 1貫 613匁3分2厘	
29-54-33	[人名書付]	年月日未詳	横継紙	1通	松山領分美袋利吉梓豊蔵 同人弟政吉 庄屋和右衛門 真言 宗薬福寺	
29-54-34	[人名書付]	年月日未詳	横切紙	1通	「安蔵梓虎之助 親類和吉 組合代五郎」	
29-54-35	[書付]	年月日未詳	横切紙	1通	「津寺 多田一」	
29-54-36	[手当人書付]	年未詳12月15日	横切紙	1通	川西町万吉梓常助(手当) 願人万吉病氣二付常助弟政之助 組合吉田屋定蔵	
29-54-37	[地蔵院高恭滞山猶予願]	申年11月	横切紙	1通	倉敷村地蔵院の高恭が九月十日に紀州高野山へ罷り越し、去 月中に帰院する予定であったが、病気の趣を申し越し、全快する まで日延猶予を願ってきたので恐れながら書付を差し出した 地 蔵院旦那惣代大橋平右衛門・津鏡寺→(宛名なし)	
29-54-38	[封紙]	年月日未詳	横切紙	1枚		(上書)「敬之介様 直右衛門 金五両与言勿渡」
29-54-39	[人名書付]	年月日未詳	横切紙	1通	相生町茂吉 親類利作 組合庄助 老母へ当りあしく由を承り、 七月三日呼出し手当の上、理害申し聞かせ同月七日免し遣す	
29-54-40	[人名書付]	年月日未詳	横切紙	1通	享平代多郎右衛門 噯人幸平	
29-54-41	覚(口論取曖一件について)	年月日未詳	堅紙	1通	播州赤穂中村出生中嶋村美之介女房せん、中島村万吉女房き くと口論の一件引渡しについて	下書
29-54-42	以書附御歎申上候	万延2年12月	堅紙	1通	申年12月26日村内時計場仁平宅にて御法度筋催の節口論、多 人数集会に対する取調用捨につき歎願	下書 堅折紙をのばしてある 他にメモ書あり
29-54-43	[歎願書下書]	年月日未詳	堅紙	1通	倉敷村大橋平右衛門申上、広江呼松古新田前新開地代金差 上、田地水掛り不足につき見分の上溜池普請願 広江小作人耕 作意欲喪失を嘆く書付あり	堅折紙をのばしてある
29-54-44	[畑反別石盛書上]	年月日未詳	堅紙	1通	下々畑貳拾石七斗壹升 石盛三斗五升代 他6筆	
29-54-45	以書附御願申上候(下書)	年月日未詳	堅紙	1通	倉敷村大橋平右衛門、広江村・呼松村・古新田村新開地抱える も用水不足で耕作難渋 反古・習書あり	堅折紙をのばしてある
29-54-46	差出申書付之事	年未詳閏8月	堅継紙	1通	与三郎が三ヶ年地面を借り請け、小屋を建てていたが年限明に なっても小屋を取り払い、地所をあげわたしたさず延引に及んで いた 今回の一件につき、急速に取り払うよう仰せ聞かされ承知 したので来る八月五日限りで明け渡すこととし、書付を差し出し た 与三郎・証人長之助・組合沢助→(宛名なし)	
29-54-47	[白紙]	年月日未詳	横切紙	1枚		
29-54-48	[大橋宛治右衛門書状]	年未詳2月21日	横切紙	1通	約束の品を指出したので、落手くだされたい	(上書)「大橋様 治右衛門 指送書」
29-54-49	[掛合請取状雛形]	年月日未詳	横継紙	1通		
29-54-50	[養子書付]	年月日未詳	横切紙	1通	三宅次郎兵衛弟貫一郎於江戸表二浪人、当時岡谷江養子参り 候之事	
29-54-51	[一ノ口御普請に付立替代銀書付]	年未詳7月7日~8 日	堅切紙	1通	一ノ口御普請出来二付酒津連中に取計物代銀など庄屋立替30 両、敬之介立替5両1歩など	
29-54-52	[人名書付]	年未詳7月6日	横切紙	1通	船倉桑蔵 組合善蔵 隣家弁太郎 七月七日近辺迄罷越居候 旨届出二付呼二遣し候	
29-54-53	[寸法書付]	年月日未詳	横切紙	1通	横巻尺五歩 深六寸巻歩五厘 六万七千八百〇三七五 巻 斗四合九匁壹式	
29-54-54	[人名書付]	年未詳7月8日	横切紙	1通	甚吉 組合源吉 取曖人三蔵・喜之助 貸銀相滞届出候一件	
29-54-55	[人名書付]	年月日未詳	横切紙	1通	児島郡周天村庄兵衛	
29-54-56	[包紙]	年月日未詳	堅紙	1枚		(上書)「上」
29-54-57	[包紙]	年月日未詳	堅紙	1枚		(上書)「上」
29-54-58	[年貢米俵確認札]	(申年11月)	堅切紙	1通	大竹左馬太良御代官所 手代西村安助 備中国窪屋郡倉敷村 米主弥介・辰六 米見二作 舛取理吉 庄屋助右衛門	上部中央に綴穴あり
29-54-59	[年貢米俵確認札]	(申年11月)	堅切紙	1通	大竹左馬太郎御代官所 手代西村安助 備中国窪屋郡倉敷村 米主辰六 米見二作 舛取理吉 庄屋助右衛門	上端部中央に綴穴1つあり
29-54-60	[年貢米俵確認札]	(申年11月)	堅切紙	1通	大竹左馬太良御代官所 手代西村安助 備中国窪屋郡倉敷村 米主辰六 米見二作 舛取理吉 庄屋助右衛門	上端部中央に綴穴1つあり
29-54-61	[年貢米俵確認札]	(申年11月)	堅切紙	1通	大竹左馬太良御代官所 手代西村安助 備中国窪屋郡倉敷村 米主辰六 米見二作 舛取理吉 庄屋助右衛門	上部中央に綴穴あり
29-54-62	[年貢米俵確認札]	(申年11月)	堅切紙	1通	大竹左馬太良御代官所 手代西村安助 備中国窪屋郡倉敷村 米主辰六 米見二作 舛取理吉 庄屋助右衛門	上部中央に綴穴あり
29-54-63	[年貢米俵確認札]	(申年11月)	堅切紙	1通	大竹左馬太良御代官所 手代西村安助 備中国窪屋郡倉敷村 米主辰六 米見二作 舛取理吉 庄屋助右衛門	上部中央に綴穴あり

29-54-64	[年貢米俵確認札]	(申年11月)	堅切紙	1通	大竹左馬太良御代官所 手代西村安助 備中国窪屋郡倉敷村米主辰六 米見二作 舛取理吉 庄屋助右衛門	上端部中央に綴穴1つあり
29-54-65	[年貢米俵確認札]	(申年11月)	堅切紙	1通	大竹左馬太良御代官所 手代西村安助 備中国窪屋郡倉敷村米主弥介・辰六 米見二作 舛取理吉 庄屋助右衛門	上部中央に綴穴あり
29-55	文久元酉年十二月 富五郎国松日吉庄村二おみて疵請御一件書類在中	文久元年12月		1袋(2通)		29-55-1~2紙紐で一括りの上、袋に納める(上書)「文久元酉年十二月 富五郎 国松 日吉村二おみて疵請候一件書類在中」
29-55-1	差出申済口書付之事	文久元年12月	堅継紙	1通	倉敷村富五郎他19人→倉敷村・酒津村・日吉庄村役人中 当月19日夜、酒津村実蔵外4人と倉敷村富五郎らが日吉庄村にて喧嘩の一件について	
29-55-2	[差出申済口仮証文之事]	文久元年12月	堅継紙	1通	倉敷村国松他19人→倉敷村政蔵他・酒津村・日吉庄村役人中 19日の夜、倉敷村国松らが日吉庄村において、酔った酒津村実蔵らと喧嘩を行った末に疵を負った件について	
29-56	熊野屋定五郎より西坂村庄平江相掛り候売掛滞一件			1袋(3通1包)		29-56-1~4が紙袋に一纏め(紙袋上書)「熊野屋定五郎より西坂村庄平江相掛り候売掛滞一件 戌十一月」
29-56-1	[西坂村庄平の倉敷村熊野屋定五郎への生魚代銀滞納について]			1包(4通)		29-56-1-1~4一包(包紙上書)「上 願人定五郎」
29-56-1-1	差入申一札之事	天保3年8月	堅紙	1通	引請人西坂村庄平・証人同村常吉→倉敷村熊野屋定五郎 西坂村友吉の生魚商売の仕入代銀の支払いについて	
29-56-1-2	覚(取替銀書付)	年月日未詳	堅切紙	1通	生魚代の取替 錢三百三拾七貫五百三拾貳文	
29-56-1-3	乍恐以書附奉御願上候	天保9年12月	堅継紙	1通	定五郎→村役人中 西坂村庄平に生魚代銀の皆済を命じてほしい	
29-56-1-4	[西坂村名主金次郎宛倉敷年寄源助書状]	年未詳12月4日	横切紙	1通	友吉への生魚代銀滞納の事情取り計らいについて	
29-56-2	[乍恐以書附奉御願上候案文]	天保9年12月	堅継紙	1通	倉敷村熊野屋定五郎→西坂村名主金治郎 庄平・友吉の生魚の代金滞納につき、西坂村名主金治郎へ口添え願い書付案文	
29-56-3	覚(請取証)	戌年12月4日	横切紙	1通	西坂村名主金次郎→倉敷御年寄源助 御状巻封	
29-56-4	[倉敷御年寄月番源介宛西坂名主金次郎書状]	年未詳12月12日	横継紙	1通	友吉への生魚仕送り代銀滞納一件について取計願い	(包紙上書)「倉敷御年寄月番源介様 西坂名主金次郎 役用答」
29-57	以書付御願申上候	酉年11月	堅継紙	1通	京八→舒太郎 京八が買った古手帯を倉敷本町の弥介方に置いていた所、佐次郎と申す者が持ち出したまま戻らないので役場へ願上げる為に添簡を願う	
29-58	借用仕銀子証文之事	万延2年正月	堅継紙	1通	有城村借用人新介他8名・証判組頭源右衛門他1名・同世話人庄次郎→大橋平右衛門 銀札壹貫四百三拾目	
29-59	以書附御願申上候	文久2年8月	堅継紙	1通	大供屋茂兵衛→村役人中 大供屋茂兵衛が小倉兵部衛に金を貸したが長く戻って来ないので筋立を仰せ付け下さる様に願う	
29-60	[庄屋役入札]			1纏め(2綴)		29-60-1~2一纏め 纏まっている為SILティッシュで包む
29-60-1	[庄屋役入札]	文久元年12月		1綴(18通)	庄屋役として大橋平右衛門・与兵衛・丹右衛門の入札	(端裏貼紙)「東町」
29-60-2	[庄屋役入札]	文久元年12月		1綴(15通)	庄屋役として与兵衛・小山安右衛門・大橋平右衛門の入札	(端裏貼紙)「戎町」
29-61	[庄屋役入札]	文久元年12月		1綴(11通)	庄屋役として与兵衛・大橋平右衛門・丹右衛門、助勤として敬之助・恭平の入札	(端裏書)「新川町」 焼跡あり SILティッシュで包む
29-62	[庄屋役入札]	文久元年12月		1綴(8通)	庄屋役として年寄大橋平右衛門・小山安右衛門・与兵衛・丹右衛門、助勤として敬之介の入札 御会所・倉敷御役所宛	(端裏貼紙)「前神町」 焼跡あり SILティッシュで包む
29-63	[庄屋役入札]	文久元年12月		1綴(16通)	庄屋役として与兵衛・大橋平右衛門・丹右衛門・小山安右衛門、助勤として敬之介の入札	(端裏書)「向市場」 二通に「無高」の付紙あり 焼跡あり SILティッシュで包む
29-64	[庄屋役入札]	文久元年12月		1綴(26通)	庄屋役として大橋平右衛門・丹右衛門・与兵衛・仁左衛門・敬之介の入札 倉敷御役所、村町役人宛	(端裏書)「阿知町」 焼跡あり SILティッシュで包む
29-65	[庄屋役入札]	文久元年12月		1綴(15通)	庄屋役として大橋平右衛門・丹右衛門・植田孫太郎・児島屋与平・敬之介、庄屋助勤として敬之介の入札	(端裏貼紙)「新田」 SILティッシュで包む
29-66	[庄屋役入札]	文久元年12月		1綴(16通)	庄屋として与兵衛・大橋平右衛門、助勤として丹右衛門・敬之介の入札	(端裏書)「本町」 焼跡あり SILティッシュで包む
29-67	[庄屋役入札]	文久元年12月		1綴(11通)	庄屋役として大橋平右衛門・与兵衛・敬之介、助勤として与兵衛・敬之介の入札	(端裏書)「村役人」「百姓代」 SILティッシュで包む
29-68	下津井屋寿太郎ヨリ戎屋忠八相掛候願書一・ふじや文平より弟善太郎江相掛り候口上書巻入	年月日未詳				開封が難しいため、詳細未詳(後日開封するか否か判断すること)
29-69	乍恐以書付奉願上候	戌年2月	堅継紙	1通	窪屋郡倉敷村年寄敬之介→倉敷役所 脚気のため役儀を免除して欲しい	
29-70	[済口書類]	文久元年12月		1包(1通2包)		29-70-1~3一包(袋上書)「文久元酉年十二月 川西町山本屋源三郎より相生町大供屋弥三郎江相掛候一件済口其外書類在中 敬之介」
29-70-1	差出申済口書付の事	文久元年12月4日	堅継紙	1通	山本屋源三郎より大供屋弥三郎へ相掛る印札先金渡過立ち戻り一件について村会所において取り調べ今般取戻人が立ち入り、内済したことについて 源三郎他5人→村役人中	
29-70-2	[返済金算用関係]			1包(2通)		29-70-2-1~2一包 包紙あり(包紙上書)「上」
29-70-2-1	以書附御願申上候	辛酉年11月	堅継紙	1通	願人山本屋源三郎→村役人中 弥三郎取調の上引込の過金井印札の訳立を願う	
29-70-2-2	覚(弥三郎への取替金勘定書)	辛酉年11月	堅紙	1通	願人山本屋源三郎→村役人中 〃金貳拾六兩ト銀札貳百五拾目也	



29-70-3	[大供屋弥三郎から当村役人への書付]			1包(1通1包)		29-70-3-1~2一包 包紙あり(包紙上書)「上」(包紙端裏書)「大供屋弥三郎」
29-70-3-1	御書付手続申上候	文久元年11月	横継紙	1通	大供屋弥三郎→当村役人中 川西町山本屋源三郎より大供屋弥三郎へ懸る金談1件出願二付御取調の上手続書を差遣わず件について	
29-70-3-2	金百両受取書写			1包(2通)		29-70-3-2-1~2一包 包紙あり(包紙上書)「金百両受取書写」
29-70-3-2-1	覚(先金金百両受取書付)	酉年3月6日	横切紙	1通	西浦富嶋屋→大供屋弥三郎	
29-70-3-2-2	覚(先金金百両受取書付)	酉年3月6日	横切紙	1通	西浦富嶋屋→大供屋弥三郎	
29-71	[書付類]			1袋(1冊33通1枚1包)		29-71-1~36一袋 (袋上書)「万延元申七八両月書類 徳聚」袋破損の為SILティッシュで包む
29-71-1	差出申書付之事	万延元年8月3日	縦継紙	1通	佐之吉・組合弁五郎→村役人中 地子米代銀滞一件について利息を勘弁し、元本だけ返すようにすることを申請する内容	
29-71-2	[当村源吉身分問合につき返答]	年月日未詳	横切紙	1通	当春以来村内へ盗賊が忍入っており、その盗品を当村の源吉が売り捌いているということ、酒津村安蔵が差し押さえられた際、自分が盗賊に及んでいたこととともに白状した 源吉の身分については問合があったが、当村の人別には載っていない者であった	
29-71-3	乍恐以書附御届奉申上候	酉年5月16日	縦継紙	1通	倉敷村無高徳蔵とその男子2名が、当四月廿五日ふと家出し、行衛がわからない 右の者は借財が嵩んで難儀していたわけでも、悪事に携わっていたわけでもないことの届書 徳蔵親類と市他3人→倉敷役所	(貼紙)「音吉 実印印」
29-71-4	差出申御預り書付之事	文久元年9月10日	縦継紙	1通	大坂出生の病人房十郎と女房、倅を私共へ預り、療養させることについての承諾書 国蔵組合惣代弥五郎・親類伝吉→村役人中	
29-71-5	[倉敷御年寄年番敬之介宛福嶋村名主市右衛門・金吉書状]	申年7月29日	横継紙	1通	倉敷村源左衛門より当村直次郎へ掛かる白米ならびに八百屋物売掛代滞の一件について、源左衛門の代わりに常右衛門が納得せず、直次郎と引合人勘蔵を呼び出して理解するよう申し聞かせた	(包紙上書)「倉敷御年寄月番敬之介様 福嶋村名主市右衛門 金吉 役用答」
29-71-6	[江良村庄屋宗兵衛宛倉敷村年寄年番敬之介書状]	申年8月13日	横継紙	1通	浅口郡南之浦吉蔵代人の当村武吉、鶴吉より御村森蔵へ懸かる一件について、鶴吉が当村の人別にない者であること、引合人当村音五郎へ森蔵が差紙を出してきたが、落着かないことなど	
29-71-7	差出申書付之事	万延元年8月3日	縦継紙	1通	阿知町組の内字相生町藤四郎は先代より大黒屋文助所持地の預け米七斗壹升式合三勺の場所を借りていたが、去る弘化四年から昨年末まで地子米代銀が滞っており、この度その分の利足を勘弁することとなった 藤四郎・組合金五郎→村役人中	
29-71-8	以書付御下ヶ願上候	酉年11月23日	縦継紙	1通	七介の従兄である保太郎が七介の留守中に不埒を行った その件についても詫びたので取計井に取締を免じてくれるよう願う 淀屋七介・組合直田屋仁平→村役人中	
29-71-9	以書付申上候	万延元年10月8日	縦継紙	1通	阿智町戎屋忠八より新川町源助へ掛かる白米代、売事仕入銀滞りの一件について源助が難洪の身分の者であるので、余儀なく返済を一部勘弁すること 源助他4名→村役人中	
29-71-10	[倉敷御年寄年番敬之助宛日吉庄村民三郎書状]	年未詳7月28日	横継紙	1通	当春村方へ盗人が度々忍入っており、手懸りがなかったが先般十明村下役安蔵を召し捕らえ、吟味したところ、御地川西町の源吉と申す者が、盗品を売り捌いていることを白状したので沙汰を待っている	(包紙上書)「倉敷御年寄月番敬之助様 日吉庄村庄屋民三郎 役用書」
29-71-11	[紋吉勘当のこと]	年月日未詳	横継紙	1通	倉敷村無高百姓の紋吉は、幼少のころより伯父次平の厄介になっていた 生長して別宅したが、心行がよろしくなく、家業を打ち捨てて大酒を好み、度々異見しても用いないので、この度勘当し、帳外しとすることをお願いしたい	
29-71-12	差出申以書付之事	万延元年9月16日	縦継紙	1通	新川町組の内字稲荷町市之丞が、他所出生の鍛冶職人を引き請けて貸家を借り請け稼ぎを行わせていた このことが村会所の聞き込みとなり厳しく取り計らわれるところだったが、今回は格別に勘弁された 市之丞他3名→村役人中	
29-71-13	借用金証文之事	安政5年5月	縦継紙	1通	借用主阿賀郡部村茂兵衛→窪屋郡倉敷村小山安右衛門	
29-71-14	覚(船積石高書上)	文久元年6月11日	縦継紙	1通	一、百八拾石積船壹艘 船主惣左衛門 他31筆 〆積石千貳百六拾五石 廣助→村役人中	
29-71-15	[山地村御庄屋光三郎宛倉敷村年寄仁左衛門書状]	年未詳12月	横継紙	1通	当村勝五郎より御村年寄多吉へ掛る金子催促について 倉敷村年寄仁左衛門→山地村庄屋光三郎	
29-71-16	[向市場吉五郎不当の行いについて]	年月日未詳	横継紙	1通	向市場荒木屋吉五郎が、当月十一日夕の奥倉出火の際各方相手取り不当の義を申ししたことについての用捨を願う	
29-71-17	乍恐以書付御届奉申上候	申年7月	縦継紙	1通	千吉の息子である市蔵が家出したので180日に限って、心当たりの場所を探したが見つからなかったとする内容 市蔵親千吉他3人→倉敷役所	
29-71-18	以書付御願申上候	万延元年8月	縦継紙	1通	清八・三十郎→村役人中 心願あり、祭礼に挟箱持たせ御供仕りたき願ひ	(奥書)「当番与右衛門」

29-71-19	[地所略図]	万延元年7月26日	縦紙	1枚	万延元年申年七月廿六日聞濟ミ 七蔵隣見分所	
29-71-20	差出申一札之事	万延元年9月	縦継紙	1通	すへ、組合佐兵衛、同吉次郎、歎人喜之助→村役人中 すへが当七月中に他所出生の鍛冶職人を貸家に差置いて稼がせたことについて詫言申し、御用捨になったことについて	
29-71-21	[差出申書附之事案文]	年月日未詳	縦継紙	1通	稲荷町すへ方へ他同出生の鍛冶職人差し置くについて	
29-71-22	[以書付申上候案文]	年月日未詳	縦継紙	1通	浜田町平蔵より浜村源次郎へ払入方について	
29-71-23	[地子滞書付]	年月日未詳	横継紙	1通	瓦葺家式ヶ所、藁葺家式ヶ所	
29-71-24	覚(地子代銀滞算用書)	申年7月	横継紙	1通	文介→(宛名なし) 相生町又四郎地子代銀滞、弘化4年から安政6年まで	
29-71-25	差出申書付之事	万延元年12月	縦継紙	1通	壯助他15名→村役人中 新川町壯助・要蔵・喜和蔵・源助・新助・留蔵ら子供翫の花合紙打勝負仕ること	
29-71-26	[差出申書付之事案文]	申年	横継紙	1通	相生町佐吉大黒屋文介より借地分につき天保8年より弘化4年まで9年分地代滞りのこと	
29-71-27	覚(地子代滞算用書)	申年7月	横継紙	1通	文介 新丁雪吉地子代滞、天保八年～安政六年	
29-71-28	[熊野屋又四郎・豊屋雪吉地子代]	年月日未詳	横継紙	1通	又四郎分元利×通用百四拾七匁分売り 雪吉分元利×通用七百廿三匁分売り	
29-71-29	差出申書付之事	万延元年7月28日	縦継紙	1通	与三郎・組合治助・加判長之助→村役人中 三ヶ年に地面借請、燈油絞小屋相建て候ところ、年限明けにつき小屋払いのこと	
29-71-30	覚(盗品書上)	申年6月晦日	縦継紙	1通	延村出生元吉申口 廿七才 当申正月七日夕清水村字兵衛方ニ而盗取品他	
29-71-31	乍恐以書付御訴奉申上候	申年7月19日	半・縦	1冊	窪屋倉敷村林右衛門→倉敷役所 盗品届	(奥書)「庄屋丈平 年寄敬之介」
29-71-32	[丈平・敬之介宛嘉兵衛書状]	酉年正月15日	横継紙	1通	年貢成替金滞出入につき小山人右衛門殿出格の御勘弁にて済方相成るようお願い	包紙あり(包紙上書)「倉敷村御庄屋丈平様・同御年寄敬之介様 役用答 下皆部村年寄嘉兵衛」
29-71-33	[書状類]			1包(4通)		29-71-33-1～4一包 包紙あり(包紙上書)「倉敷村御年寄大橋敬之介様 御答御書付在中 山地村庄屋光三郎」
29-71-33-1	覚(受取証)	酉年12月28日	横継紙	1通	山地村庄屋→大橋 書状書通・案文書通の受取	
29-71-33-2	差出申書附之事	文久元年12月27日	縦継紙	1通	山地村年寄多吉・同村庄屋代たれ→倉敷村役人中 勝五郎より掛る預り金滞一件につき、来る戌三月まで延引の願い聞き届けられたこと	付紙あり
29-71-33-3	[山地村庄屋光三郎宛敬之介書状]	酉年12月28日	横継紙	1通	勝五郎より多吉に掛る預金一件につき下書の通り取り計るべきこと	
29-71-33-4	[倉敷村年寄大橋敬之介宛山地村庄屋光三郎書状]	年未詳12月29日	横継紙	1通	勝五郎より多吉に掛る預り金一件取扱いについて	
29-71-34	差出申書付之事	申年7月29日	縦継紙	1通	松兵衛・組合徳松→村役人 遅延の年貢并諸掛り上納物代銀来る八月十五日まで延引の願い	
29-71-35	以書付奉申上候	酉年12月	縦継紙	1通	戸田屋喜三郎→月番村役人中 養父幸兵衛より平川村真八郎へ取替金并飯料滞りのこと	
29-71-36	覚(地子書付)	年未詳7月	横切紙	1通	新丁・雪吉・同又四郎分 文介→(宛名なし)	
29-72	文久元酉年四月当郡西坂村岩吉より当村吟次郎江相掛候一件済口書入			1袋(2通1包)		29-72-1～3一袋(袋上書)「文久元酉年四月 当郡西坂村岩吉より当村吟次郎江相掛候一件済口書入」
29-72-1	差出申済口書付之事	文久元年4月	縦継紙	1通	岩吉・吟次郎他噯人2名→倉敷村役人中 生魚代銀滞一件和解のこと	
29-72-2	[西坂村名主金吉宛倉敷年寄敬之介書状]	西(文久元)年4月20日	横継紙	1通	岩吉より当村吟次郎に相掛一件について別紙写の通り内済が整ったことを報ず	
29-72-3	[岩次郎魚代滞りに付願い書類]			1包(3通)		29-72-3-1～3一包(上書)「願書 西坂岩次郎」
29-72-3-1	[倉敷村役人中宛西坂名主金次郎書状]	年未詳12月17日	横継紙	1通	西坂村岩次郎農業の暇に小ざこ商い渡世をするも魚代銀滞納に付御役介願い	包紙あり(包紙上書)「倉敷村御役人中様 役用 西坂名主金次郎」
29-72-3-2	乍恐口上	万延元年12月	縦継紙	1通	西坂岩次郎→倉敷村役人中 農業手透の節、雑喉売で渡世するも、魚代滞納に付願書	
29-72-3-3	四十瀬屋銀蔵殿取引之覚	申年12月	横継紙	1通	西坂岩次郎→(宛名なし) 寅年～未年までの取引額勘定の覚	
29-73	[掛合一件書類]			1袋(5通)		29-73-1～5一袋(袋上書)「万延元年九月十七日 浜村孫次郎より当村平蔵江相掛候一件書類在中」紙縫りの一部が破損したのでSILティッシュで包む
29-73-1	以書付御願申上候	万延元年8月	縦継紙	1通	浜村百姓孫次郎→倉敷村役人中 松山町新屋清助酒代金横領について願い出で浜村役人宛滞書依頼とも	
29-73-2	覚(酒代書付)	万延元年8月	縦紙	1通	酒10挺で代金が10両であるということ 浜村百姓孫次郎→(宛名なし)	
29-73-3	差出申済口書付之事	万延元年9月	縦継紙	1通	浜村の百姓の孫次郎から倉敷村平蔵へ掛る酒代金滞納についての済口証文 願人浜村百姓孫次郎・相手倉敷村平蔵他3名→倉敷村役人中	
29-73-4	[倉敷庄屋丈平宛浜村庄屋富太郎書状]	年未詳8月23日	横切紙	1通	孫次郎から平蔵に掛る一件の内済について	(包紙上書)「倉敷丈平様 役用書 浜富太郎」
29-73-5	[浜村庄屋富太郎宛倉敷村年寄敬之介書状]	申年9月17日	横継紙	1通	浜村孫次郎より倉敷村平蔵へ相掛る一件 別紙の通り済方について 庄屋平蔵病気のため敬之介返答	

29-74	[訴訟一件書類]			1袋(4通1包)		29-74-1~5一袋 (袋上書)「武八印形紛失届書在中 浜田町武八より江良村森蔵江相掛り候一件書類 申八月十三日 月番敬之介」
29-74-1	[江良村庄屋宗兵衛宛倉敷年寄月番敬之介書状]	申年8月13日	横継紙	1通	倉敷村武吉(武八)・鶴吉が南之浦吉蔵の依頼により江良村森蔵へ掛る一件についての扱いについて	
29-74-2	差出申書付之事	万延元年8月12日	縦継紙	1通	武八・親類善太郎・組合良介・同菊蔵→村役人 戎町組字浜田町武八・浅口郡南之浦吉蔵の依頼により代人として小田郡江良村森屋へ掛る論判について	
29-74-3	以書付御届申上候	万延元年8月12日	縦継紙	1通	武八・親類善太郎・組合良助・同菊蔵→村役人 戎町組字浜田町武八印形紛失届	
29-74-4	[倉敷村役人中宛江良村庄屋宗兵衛書状]			1包(2通)		29-74-4-1~2一包 (包紙上書)「倉敷村御役人中様 役用書 江良村庄屋宗兵衛」
29-74-4-1	覚(銀札拝借について)	子年7月9日	横継紙	1通	尾坂惣右衛門・証人音五郎他2名→長沢御役所御掛り衆中御用達南浦中屋吉蔵 長沢札20貫目拝借 備前札500目差入内銀札1貫目受取	29-74-4-1に29-74-4-2が挟み込まれていた
29-74-4-2	覚(銀札拝借について)	子年7月9日	横継紙	1通	尾坂惣右衛門・証人音五郎他2名→長沢御役所御掛り衆中御用達南浦中屋吉蔵 長沢札20貫目拝借 備前札500目差入内銀札1貫目受取	29-74-4-1に挟み込まれていた
29-74-5	[倉敷村役人中宛江良村庄屋宗兵衛書状]	年未詳8月11日	横継紙	1通	倉敷村浜野町武吉・鶴吉、浅口郡南之浦吉蔵代人として南之浦森蔵へ去り7月長沢銀札1貫目借用につき催促申掛りの一件について証人取調依頼	
29-75	[大橋宛書状及び願書]			1袋(1冊16通1枚)		29-75-1~18一袋 袋破損の為SILティッシュで包む
29-75-1	覚(桐草摺他送付添状)	年未詳10月24日	横切紙	1通	北山泰[ ]助→倉敷大橋	
29-75-2	[大橋敬之介宛寿(カ)左衛門書状]	年月日未詳	横継紙	1通	板介(カ)一件について納得の上は村役人加印の上書面差出しの手はずについて	(包紙上書)「大橋敬之介様 寿(カ)左衛門 急用」
29-75-3	[大橋宛孚一書状]	年未詳10月27日	横継紙	1通	晩前の集会の場を妨げたとの詫及び福松一件については惣方寄って談合することを願っている	
29-75-4	乍恐以書附奉申上候	子年10月12日	縦紙	1通	半吉他1名→村役人中 板倉村地内の変死人について吟味願	
29-75-5	覚(味噌・大豆・梅干・香之物の割賦・召出)	子年10月	横継紙	1通	松山領・高松領之分	
29-75-6	福田古新田樋之輪疵附一件済口証文控	安政7年2月18日(写)	半・縦	1冊	倉敷村千蔵他15人→(宛名なし) 千蔵らが岡山町徳蔵らに出会い傷害事件及び所持金紛失についての済口証文	(表紙書付)「広江屋より借り請安政七申年二月十八日写し」 (上書)「若大橋様 尚介」(端裏書)「敬ノ助様へ御序之節御遣し可被下奉願上候」
29-75-7	[若大橋宛尚介書状]	年未詳正月朔日	縦紙	1通	稽古後の立寄の誘い	
29-75-8	乍恐以書附奉願上候	元治元年10月	縦継紙	1通	桑七→倉敷役所 板倉村地内にて負傷及び同村久兵衛伊三郎変死一件 吉備津宮社地芝居小屋にて喧嘩	包紙あり(包紙上書)「上」
29-75-9	乍恐以書付奉願上候	元治元年	縦紙	1通	親類文蔵・組合惣代伊代吉→役所 現在入牢している兄勇蔵との対談を求める嘆願	
29-75-10	[大橋敬之介宛高左衛門書状]	年未詳10月28日	横継紙	1通	備中屋三川屋熱談の報告	(上書)「大橋敬之介様」
29-75-11	乍恐以書付御歎願奉申上候	子年10月	縦継紙	1通	倉敷村生魚仲買惣代長十郎他5人→村役人中 河手屋健助から迫川屋磯平が借り受けた生魚問屋株を長十郎が借り受け、生魚売捌方を相談することの願上	
29-75-12	[包紙]	年月日未詳	縦紙	1枚		(上書)「上 新川町竹五郎」
29-75-13	[七番問屋布屋長蔵覚書]	年月日未詳	横切紙	1通	越後新潟南部屋曾左衛門船、船頭弁吉へ七番問屋布屋長蔵の申入れ書	
29-75-14	乍恐以書付御願申上候	子年9月	縦継紙	1通	善太郎→村役人中 善太郎所持の田が兄嫁のみかに横領されているため村役人にどうにかしてほしいという嘆願	(包紙上書)「上 藤屋善太郎」
29-75-15	口上	年未詳10月16日	横切紙	1通	太助→上 陣屋へ差上申す手拍持参のこと	(上書)「上」
29-75-16	覚(味噌他数量書上)	子年10月	横切紙	1通	味噌・大豆・梅干・糖・蒲団・香之物など品目・量数書上	
29-75-17	[大橋敬之介宛尚介書状]	年月未詳27日	横継紙	1通	御来入願いの用状	(上書)「大 敬之介様 尚介 内々」
29-75-18	乍恐以書付御吟味下奉願上候	文久2年10月	縦継紙	1通	倉敷村綱四郎他21名及び取喰人4名→倉敷役所 倉敷村綱四郎・軽部村後家ふてら疵負一件の吟味願	
29-76	村役人江差出候諸願書案文			1袋(1冊22通1纏め)		29-76-1~24一袋 (袋上書)「村役人江差出候諸願書案文在中」袋が破損しているのでSILティッシュで包む
29-76-1	高持百姓所成暮候者并惣作地有無書上帳 窪屋郡倉敷村一上書之写	文久2年8月	半・縦	1冊	窪屋郡倉敷村年寄唯介他6名・庄屋大原与兵衛・大橋平右衛門→倉鋪役所 高274石9斗9合7勺 植田武右衛門 他9筆	
29-76-2	乍恐以書附奉願上候案文	年月日未詳	縦継紙	1通	倉敷村百姓榎次郎幼年に付、代理として伯父甚介が申上 亡父文介所持地について名前書替による横領を訴える	
29-76-3	差上申一札之事	文久元年4月	縦継紙	1通	本丸普請入用の年割上納金差出しのこと 備中国窪屋郡倉敷村長百姓植田武左衛門外四百貳人・惣代年寄仁左衛門→大竹左馬太郎・倉敷役所	(端裏書)「上納金御聞済請証文」
29-76-4	[美濃屋鉄蔵白米小売不正一件済書下書]	年月日未詳	縦継紙	1通	十吉他2名・組合3名→村役人 美濃屋鉄蔵白米小売不正一件については組合のもの立入り掛合の上済方の届	(端裏書)(朱書)「美濃屋鉄蔵白米小売升違一件済方書写し」
29-76-5	以書付御届申上候	万延元年9月16日	縦継紙	1通	吟味中、水沢遠三郎母頼母を村方で預るが、同人が他出行方不明になったことを届ける 水沢遠三郎他2名→村役人	(端裏書)「村預々もの家出届」(奥書)「窪屋郡倉敷村役人惣代年寄敬之介→倉敷役所」
29-76-6	差出申御請書付之事	文久元年5月15日	縦継紙	1通	久蔵親類宇吉他1名→村役人中 加陽郡間倉村に罷越、帰村しない東町沢田屋久蔵を連れもどすことを請合う	

29-76-7	覚(宗門手形并放手形受取雛形)	年月日未詳	縦継紙	1通	倉敷年寄月番何兵衛→何村庄屋誰右衛門	(端裏書)(朱書)「人別送り越候節此方より遣し候受取書写し」
29-76-8	差出申書付之事	万延2年2月	縦継紙	1通	村内にて御法度節を相催し、摘発をうけ御勘弁を願う 多助親類惣九郎他18名→村役人中	(端裏書)「口蜜之一札扣」
29-76-9	乍恐以書附奉願上候	文久元年5月	縦継紙	1通	窪屋郡倉敷村惣吉→(宛名なし) 郷足輕政蔵の不行届につき、惣吉に郷足輕仰付の願上	
29-76-10	[利助出職のことについての書類]	安政3年6月	縦継紙	1通	「宗門請状之事」「差出申一札之事」からなる 都宇郡早島頓行村から倉敷へ出職の利助一家3人についての書類	
29-76-11	差上申済口証文之事	安政5年6月2日	縦継紙	1通	備中国窪屋郡倉敷村年寄大橋平右衛門煩二付代親類百姓多介(訴訟人)・同国浅口郡連嶋村之内字茂浦百姓春次郎他89人・惣代大江村元庄屋六郎右衛門→評定所 小作米未納の件	(端裏書)「文久元酉年八月十九日写 大橋より茂浦庄屋六郎右衛門江相掛り候江戸出訴一件済口証文」
29-76-12	差上申済口書付之事	万延元年9月	縦継紙	1通	勇崎村音吉親類組合・倉敷村定吉親類組合→倉敷村・黒崎村・勇崎村役人中 農間に生魚渡世の定吉、勇崎村にて傷害一件の済口	(端裏書)「疵付一件済口願書扣」
29-76-13	[某書状下書]	年未詳10月24日	横切紙	1通	当村百姓光太郎より庄屋又三郎に相掛候一件について内済の手はずを調整	文章訂正の貼紙あり
29-76-14	[以書付御願申上候案文]	年月日未詳	縦継紙	1通	倉敷村百姓源左衛門代親類常右衛門が当村直次郎への白米売渡代銀滞り一件について	(上書)(朱書)「売掛代銀滞一件之願出写并添書入」
29-76-15	以書付御歎申上候	年月日未詳	横継紙	1通	戒町髪結渡世源十郎・兵十郎・定吉らが泥酔し御法度筋を催したことに對しての用捨歎願	(端裏書)「村役人手元迄差出候歎願書扣」
29-76-16	以書付御願申上候(案文)	年月日未詳	縦継紙	1通	源介→堺中之丁役人中 願の添書依頼 源介→村役人中 堺中之丁小西屋又七薬種商内中間への支払のため売掛代金回収に備前・備中へ出かけ、回収できず、倉敷村大坂屋源介に金30両借用後、未返済のため返済請求の願い	(端裏書)「貸金滞掛合添書願 すミ 写し済」 貼紙あり
29-76-17	以書付御願申上候	年月日未詳	縦継紙	1通	羽嶋村為右衛門他6名→倉敷村・羽嶋村役人中 倉敷村無高百姓惣五郎・羽嶋村往来端にて同村百姓為右衛門へ傷害を与えた一件について内済を願う	(端裏書)(朱書)「他村者へ疵付一件 御上様へ差出猶予願之書面写し」
29-76-18	[差出申済口書附之事案文]	万延元年9月	縦継紙	1通	浜村百姓願人孫次郎・倉敷村相手平蔵・親類清吉・組合半十郎・噯人理吉→倉敷村役人中 孫次郎から平蔵に滞っている酒代金の内済について	(奥書)「倉敷村年寄敬之介→浜村御庄屋富太郎」(端裏書)「すミ」
29-76-19	[醤油株関係書類]			1纏め(2通)		29-76-19-1~2一纏め 29-76-19-1に29-76-19-2が巻き込まれている
29-76-19-1	醤油造株譲手形之事	弘化3年7月	縦紙	1通	譲主内田屋左右次・証人川入屋友吉→兎嶋屋利吉	(端裏書)「うつし」
29-76-19-2	以書付申上候	年月日未詳	横切紙	1通	仁右衛門→村役人中 醤油造高十五石、冥加銀五両の醤油株を嘉永五年に大村屋徳太郎から譲り受けのこと	
29-76-20	借用証文之事	万延元年7月	縦切紙	1通	借主立石助右衛門→大橋平右衛門 急入用に付き、金五拾両を借用するということ	
29-76-21	借用申証文之事	万延元年4月	縦紙	1通	立石助右衛門→大橋平右衛門 急要用に付き、金百三拾両を借用するということ	
29-76-22	金子借用之事	文久2年閏8月	縦切紙	1通	立石助右衛門→大橋平右衛門 臨時入用に付き、金七拾両を借用するということ	
29-76-23	覚(金子請取証)	文久2年正月16日	縦継紙	1通	市兵衛→村役人中 播州多可郡岡村生右衛門より当村川西町利助へ相掛り一件につき村役人代として大坂表へ出張の入用金三両請取	(包紙上書)「上 市兵衛」
29-76-24	差出申済口書付之事	万延元年7月	縦継紙	1通	為右衛門他9名→倉敷村・羽島村役人中 倉敷村の惣五郎が羽島村往来端にて同村百姓為右衛門に疵を負わせた件についての済口書付	(端裏書)(朱書)「他村者江疵付一件 済口証文写し扣」
29-77	[書付類]			1袋(仮1冊22通1纏め)		29-77-1~24一袋 (袋上書)「御役所江差出候諸願案文中」
29-77-1	乍恐以返答書奉申上候	安政5年8月	横継紙	1通	窪屋郡倉敷村布屋善三郎→倉敷役所 米代金滞出入につき米十五石差戻し願	(端裏書)「御役所江之返答書扣」
29-77-2	乍恐以書付御届奉申上候	申年2月12日	横継紙	1通	正月六日に桑蔵が家出した 親類組合らが心あたりを探したが見つからなかった 桑蔵親類利助他3名→加藤餘十郎役所	(端裏書)(朱書)「家出人御届書写し」
29-77-3	[出火に関する訴状]			1纏め(2通)		29-77-3-1~2一纏め 29-77-3-1に29-77-3-2が巻き込まれている
29-77-3-1	乍恐以書付御訴奉申上候	年月日未詳	縦継紙	1通	窪屋郡倉敷村植田武右衛門貸家無高百姓徳太郎が心付方不行届きで、今朝仏檀の内より出火させたことについて	(端裏書)(朱書)「出火御訴書新形之分下書写し 但し焼失二無之分」
29-77-3-2	[継添証文について]	年月日未詳	横切紙	1通	継添証文によって相済んだこと	
29-77-4	乍恐以書附御届奉申上候	万延元年11月23日	縦継紙	1通	倉敷村年寄敬之介が印鑑摩滅のため新しい印鑑に改めた届 窪屋郡倉敷村年寄敬之介→倉敷役所	(奥書)「庄屋丈平 年寄仁左衛門」(端裏書)「印鑑届書扣」
29-77-5	乍恐以書附奉申上候	申年6月	横継紙	1通	御法度筋催しの為召捕られる折柄、逃げ去っていた倉敷村無高百姓いのが今朝帰村したため差し出しのこと いの親類兵次郎他2名→倉敷役所	(端裏書)「御役所江之歎願書 付御召捕先二而家出届とも」
29-77-6	乍恐以書付御願奉申上候	戌年9月	横切紙	1通	まつの神子職継目願及び吉田殿への添翰願 まつ悴鶴之助他1名→倉敷役所	(端裏書)「神子官職継目願扣」

29-77-7	乍恐以書付奉申上候・差上申済口証文之事	寅年12月	竪継紙	1通	窪屋郡倉敷村野田において、十人ほどが博奕を行っていたが逃去ってしまったこととその場に落ちていたものの覚 倉敷村百姓清三郎親武平より同村無高百姓定蔵へあいかかる質流地と流家の一件についての済口証文 村役人惣代年寄光右衛門・庄屋文平→倉敷役所	(端裏書)「博奕指押御役所江差出候書面扣」
29-77-8	乍恐以書付奉願上候	年月日未詳	竪継紙	1通	博奕催の為、入牢中の真助他3名を村下げにしてほしいとの願い扣 真助親類某→倉敷役所	(端裏紙)「御役所之歎願書扣」
29-77-9	乍恐以書付御願奉申上候	安政5年6月10日	竪紙	1通	備中国窪屋郡倉敷村無高百姓松蔵の弟である藤五郎を勘当帳外れとすることを願い出る 松蔵他4名→役所	(端裏書)「勘当帳外願扣」
29-77-10	乍恐以書付奉願上候	年月日未詳	竪継紙	1通	備中国窪屋郡倉敷村百姓柳助甥種吉の勘当帳外れ願 柳助他4人→(宛名なし) 倉敷村佐一郎後家わか悴勝五郎の勘当帳外れ願	(端裏書)「勘当帳外願書扣」
29-77-11	乍恐以書付御願奉申上候	年月日未詳	竪継紙	1通	勘当帳外れ願の雛形 誰他4人→倉敷役所	(端裏書)「勘当帳外願扣」
29-77-12	乍恐以書付奉願上候	年月日未詳	横継紙	1通	これまで家出をしており、護国神社・仏閣の拝礼や九州などへ行っていたという倉敷村達右衛門について、村役人に告げず他行したことを後悔しているので、どうか帰住をお許しいただけるようお願いしている 右達右衛門親類栄作他3名→倉敷役所	(端裏書)(朱書)「帰住願写し」
29-77-13	乍恐以書附奉願上候	年月日未詳	竪継紙	1通	御門前において、十五・十六日の両夕、当村の若もの共が盆踊りをすることをお許しいただきたいと願っている 雛形 郷宿4名→倉敷役所	(端裏書)「郷宿四人より盆踊届書扣」
29-77-14	奉差上済口証文之事	安政7年3月	横継紙	1通	戸川伊豆守知行所窪屋郡有城村百姓甚四郎他1名・相手倉敷水沢遠三郎他3名→倉敷役所 安政5年9月中金百両他	(端裏書)(朱書)「貸金滞不法出入済口証文写し」 (端裏書)(朱書)「盗難届写し」(端裏書)「但し是ハ半紙立帳ニ而相認メ差上可申候事」
29-77-15	乍恐以書付御訴奉申上候(雛形)	年月日未詳	竪継紙	1通	倉敷村庄助→倉敷役所 脇指巻腰他盗難届	(端裏書)(朱書)「盗難届写し」(端裏書)「但し是ハ半紙立帳ニ而相認メ差上可申候事」
29-77-16	乍恐以書付御訴奉申上候	午年正月6日	横継紙	1通	窪屋郡倉敷村年寄仁左衛門他4名→倉敷役所 明王院福次宅灰置場より出火した火事の被害状況	(端裏書)(朱書)「出火之備届申上候書面之写し」
29-77-17	乍恐以書付御訴奉申上候	午年正月6日	竪継紙	1通	仁左衛門他4人→倉敷役所 倉敷村本町組明王院福次宅灰置場から出火の被害状況の届	(端裏書)「出火御訴書案文扣」
29-77-18	乍恐以書付奉願上候	年月日未詳	竪継紙	1通	倉敷村無高百姓千吉悴市兵衛四国霊場巡拝途中石鏡山別当前神寺に療治、岡山へ渡海帰村帰住願	(端裏書)(朱書)「家出人帰村願 但し日限日延願上置候間 写し」
29-77-19	[家出人帰住願](下書)	年月日未詳	竪折紙	1通	西国三十三ヶ所順拝途中病氣、紀州若山にて療治	(端裏書)(朱書)「家出人尋方被仰付日限中帰村願書附写し」 貼紙あり
29-77-20	乍恐以書付奉願上候(案文)	年月日未詳	竪継紙	1通	桑蔵親類利助他3名→倉敷役所 倉敷村無高百姓桑蔵三十八才、家出人帰村につき帰住願	(端裏書)(朱書)「家出人尋方被仰付日限中帰村願書附写し」 貼紙あり
29-77-21	乍恐以書付御届奉申上候(雛形)	年月日未詳	横継紙	1通		(端裏書)(朱書)「百八十日限り尋方被仰付立帰不申候段届出写し」
29-77-22	乍恐以書附奉願上候	年月日未詳	半・竪	仮1冊	倉敷村無高百姓桑蔵三十八才、家出人帰村につき帰住願	
29-77-23	差上申一札之事	文久元年5月16日	竪継紙	1通	倉敷村無高百姓徳蔵四十六才、繁太郎十才、好太郎七才欠落徳蔵親類与市・組合長吉→大竹左馬太郎役所	(端裏書)「家出人届出候処請書被仰付差上申候写」
29-77-24	乍恐以書付御訴訟奉申上候	万延元年8月	竪継紙	1通	訴訟人倉敷村百姓和吉跡光太郎 相手勇崎村庄屋又三郎 貸金滞出入	(端裏書)「すミ」
29-78	[済口書付他関係書類]			1袋(10通)		29-78-1~10一袋 (袋上書)「文久元酉年四月当村七三郎外式人より当郡岡谷村貫一郎江相掛候一件済口書付入」 紐がとれている為SILティッシュで包む
29-78-1	差出申済口書付之事	文久元年4月	竪継紙	1通	七三郎他5名→倉敷村役人中・岡谷村役人中 倉敷村七三郎悴増吉を岡谷村貫一郎が召捕え候処人違に付噯人倉敷村卯三郎・宇之吉仲介による済口書付	(端裏書)「当村」
29-78-2	覚(書付請取)	酉年2月28日	横切紙	1通	岡谷村名主西郡村兼帯共静太郎→倉敷年寄敬之介 御状吉通及び御地新川町七三郎他式人共願筋書付書通	(包紙上書)「倉鋪御年寄敬之介様 岡谷村名主西郡村兼帯共静太郎」
29-78-3	[掛り合一件願書](案文)	年月日未詳	横継紙	1通	当村七三郎外より岡谷村貫一郎其外盗賊番共へ掛る一件 取調間違、無宿同様の扱いに対する異議申立	宛名・差出人なし
29-78-4	口上書(岡谷村貫一郎不審者取調について)	酉年3月	横継紙	1通	岡谷貫一郎→(宛名なし) 4月5日安右衛門持参につき写取 井出村の婦人近村へ入込不正の品、かんざしなど売込の取調べに対する岡谷村貫一郎妻子への恐喝など出入一件	(端書)「四月五日亀右衛門持参二付写取」
29-78-5	[倉敷年寄敬之介宛岡谷村静太郎・寿一郎書状]	酉年4月16日	竪継紙	1通	倉敷村七三郎外2人より岡谷村貫一郎へ相掛候一件御厄介が出来しない様に両村より、噯人を立入らせ、下済相成る様取計らいを願う	(包紙上書)「倉敷御年寄敬之介様 岡谷名主静太郎 同寿一郎 役用」
29-78-6	[倉敷年寄敬之介宛岡谷名主静太郎・同寿一郎書状]	年未詳4月21日	横継紙	1通	倉敷村七三郎・同村悴増吉・親類音五郎の3名より岡谷村貫一郎其外に掛る出入一件内済につき済口書付差出について	(包紙上書)「倉敷御年寄敬之介様 役用書 岡谷名主静太郎 同寿一郎」
29-78-7	[人名書上]	年月日未詳	横継紙	1通	岡谷村名主寿一郎殿・同静太郎殿他6名	
29-78-8	口上	酉年4月11日	横切紙	1通	当村貫一郎と貴村七三郎の一件、明後13日に差向う予定を16日に延引したいとのことを承知した	宛名・差出人なし
29-78-9	以書付御願申上候	万延2年2月	竪継紙	1通	願人七三郎・悴増吉・親類音五郎→岡谷村名主寿一郎・静太郎他2名 村役人添書依頼とも 増吉と貫一郎にかかる一件について増吉の身分が立ち行くよう取計らいを願う	
29-78-10	手扣	酉年4月11日	横継紙	1通	当村七三郎と岡谷村貫一郎の一件、明後13日に差向う予定を16日に延引したい旨を伝える	

29-79	[書付類]			1袋(9通1纏め)		29-79-1~10一袋(袋上書)「万延元年申年七月 水沢遠三郎改助本分出入聞書入」
29-79-1	以書付御届申上候	万延元年10月9日	横継紙	1通	水沢遠三郎の母頼母の儀について、吟味中旧宅に差し置いて療養させていたが、去月五日夜から行衛が分らなくなっていること の届 水沢遠三郎・親類午七郎・番人理吉→村役人中	
29-79-2	以書付申上候	申年9月23日	横継紙	1通	午七郎代人の欣兵衛が江戸表飯代の滞金の弁納を仰せ付けられたが、差し支えの段を申し上げた 弁納については、今廿三日より来る廿八日まで猶予をいただきたい 水沢遠三郎代召仕計作・午七郎代信郎・同人組合長十郎→村役人中	
29-79-3	乍恐以書付御届奉申上候	万延元年10月21日	横継紙	1通	水沢遠三郎の母頼母について、吟味中村方へ預けとし、同人方の旧宅に差し置き、番人をつけておいた しかし、去月五日夜にふと家出し、今もって行衛がわからないこと の届 右村役人惣代年寄敬之介・庄屋丈平→倉敷役所	
29-79-4	[差紙・着到状]	申年7月17日・18日	縦紙	1通	倉敷役所→倉敷村改助・水沢遠三郎母頼母他3人	(端裏書)「御差紙之写し」
29-79-5	差上申御預り証文之事	申年7月19日	縦継紙	1通	窪屋郡倉敷村役人惣代年寄敬之介・庄屋丈平→倉敷役所 窪屋郡倉敷村の惣左衛門と熊之助を吟味中村預りにすることについての証文	
29-79-6	覚(改助・頼母・惣左衛門・熊之介吟味中の措置について)	申年8月11日・28日	横継紙	1通		
29-79-7	[頼母病気につき書付]	年未詳7月18日	縦継紙	1通	水沢遠三郎母頼母呼び出しにつき容鉢取り調べについて	
29-79-8	乍恐以書付御届奉申上候	年月日未詳	縦継紙	1通	敬之介→倉敷役所 水沢遠三郎の母頼母、村預り中に他行の届	
29-79-9	[水沢遠三郎母頼母関係書類]			1纏め(2通)		29-79-9-1に29-79-9-2が挟まれて一纏め
29-79-9-1	乍恐以書附御届奉申上候	申年11月22日	縦継紙	1通	頼母親類午七郎病気二付代欣兵衛他2名→倉敷役所 水沢遠三郎の母頼母、捜索したが行方知れずの届	
29-79-9-2	[三十日限り尋方致すべきことにつき書付]	申年11月22日	縦継紙	1通	水沢遠三郎母頼母を11月22日より12月21日まで30日限り尋方すべきこと	
29-79-10	以書付御届申上候	年月日未詳	縦継紙	1通	午七郎病気に付代欣兵衛他2名→村役人中 水沢遠三郎の母頼母、村預り中に他行の届	
29-80	[二階堂銀札一件書類]			1袋(3通1包)		29-80-1~4一袋(袋上書)「文久二壬戌年十月 戒町秀太郎より末助江相掛り候二階堂手形札一件書類 掛り仁左衛門・敬之介・勝之丞」紙紐が切れている為SILティッシュで包む
29-80-1	[二階堂手形一件]			1包(7通2枚1包)		29-80-1-1~10が包紙2枚で包まれている 包紙あり(包紙上書)「上倉敷村願人秀太郎」(内包上書)「上」
29-80-1-1	[倉敷村年寄勝之丞他2名宛関戸村庄屋廣右衛門他1名書状]	年未詳10月25日	横継紙	1通	二階堂手形引請元請の関戸村喜作から倉敷村新田屋末介へ印札を頼み、同人より倉敷村秀太郎と申す者へ印札を致させた一件について 関戸村庄屋廣右衛門・常二→倉敷村御年寄勝之丞・敬之介・仁左衛門	(封紙上書)「倉敷村御役人中様 関戸村庄屋常二 広右衛門 役用御請書在中」
29-80-1-2	[名前書付]	年月日未詳	横切紙	1通	「末助 親類 八百蔵 組合 喜兵衛代忠吉」	
29-80-1-3	[玉屋秀太郎宛新田屋末助書状写し]	年未詳正月25日	横継紙	1通	二階堂手形札の義につき、元請関戸芳太郎の居所について早嶋・妹尾・三嶋・高松辺りまで尋ねたがいまだわからないこと そのために入用が多くかかったことなど	
29-80-1-4	[銀札]	年月日未詳	16.7×4.3	1枚	摂津国二階堂手形 忝刃 引替 中屋 備中 大西屋 新屋 岡本屋	
29-80-1-5	[銀札]	年月日未詳	16.7×4.3	1枚	摂津国二階堂手形 忝刃 引替 中屋 備中 大西屋 新屋 岡本屋	
29-80-1-6	[関戸村役人中宛倉敷村年寄勝之丞他2名書状]	戌年10月16日	横継紙	1通	二階堂手形札引替元請の善作が当村新田屋へ印札を頼み、同人が村内の秀太郎と申す者へ印札をさせた一件について取調依頼 倉敷村勝之丞・敬之介・仁左衛門→関戸村役人	
29-80-1-7	覚(掛書一通受取)	戌年10月16日	横継紙	1通	関戸村庄屋常二→倉敷村年寄仁左衛門・敬之介・勝之丞	
29-80-1-8	[仁左衛門・勝之丞宛敬之介書状]	年未詳10月15日	横継紙	1通	秀太郎より関戸村へまかり越して掛け合いに及びたいので、村役人へ添書の義を願い出てきた この添書について別紙の通り認めては如何か相談したい	
29-80-1-9	[仁左衛門・勝之丞宛敬之介廻状]	年未詳10月17日	横継紙	1通	末助より書面を差し出す義について三・四日猶予を願い出てきたので、ご両所様と相談して沙汰すると達し置いた 右のことについては今一日の用捨を遣わしてはいかがだろうか	
29-80-1-10	[書状書付類]			1包(3通)		29-80-1-10-1~3一包(包紙上書)「関戸村芳太郎証書写并二末介手紙之写入 秀太郎」
29-80-1-10-1	[玉屋秀太郎宛新田屋末助書状]	年未詳正月25日	横継紙	1通	関戸芳太郎行方知れず、必ず尋ね出し掛合う積りのこと	(上書)「倉敷蛭子町玉や秀太郎様 貴下要用書 新田屋末介 庭瀬町御治花屋二而」
29-80-1-10-2	一札之事	文久2年6月	縦継紙	1通	二階堂札の印札について、新田屋末助が口入とする予定が破談となったことなど、二階堂札の引き請けの変更の経過について 関戸村芳太郎→玉屋秀太郎	
29-80-1-10-3	請札証文之事(案文)	文久元年9~10月	縦継紙	1通	倉敷戒町新田屋末助他5名→二階堂御手形札引受元請関戸村油屋善作・支配人芳太郎 十一ヶ年(文久元年)の間毎年九月切 冥加銀手形札拾貫目につき金壹両宛上納	

29-80-2	乍恐以書附奉願上候	年月日未詳	縦継紙	1通	倉敷村秀三郎より銀札引き替え金子掠取につき吟味依頼	
29-80-3	以書附始末申上候	文久2年10月	横継紙	1通	末助→村役人中 二階堂銀札引請ども不融通に付取調べの要望	
29-80-4	以書附御歎願申上候	文久2年8月	縦継紙	1通	願人秀太郎→村役人衆中 二階堂手形札の義につき、末助より申聞候発端已来の始末申上	
29-81	[緋取粕売払代金盗難一件書類]			1袋(9通1包)		29-81-1~10一袋(袋上書)「文久元酉年十一月ヨリ 阿賀崎新田村藤助より倉敷村太郎蔵江相掛り、倉敷村太郎蔵より阿賀崎新田村藤助江相掛り一件書類入 月番敬之介」
29-81-1	口上手扣	年月日未詳	横継紙	1通	太郎蔵より藤助にかかる一件の書付を文字が読取りがたい為今一度差し出す様催促	
29-81-2	[敬之介宛安八郎書状]	戊年8月16日	横継紙	1通	当村藤助へあいかかる太郎蔵の一件について 藤助代人の和一郎、手続き引合人の喜左衛門から、委細をお聞き取り下され、今一応太郎蔵を取り調べてくださりたい	(包紙上書)「倉敷村御年寄 敬之介様 阿賀崎新田村 庄屋安八郎 役用書」
29-81-3	[大橋平右衛門他5名宛敬之介廻章]	戊年8月8日	横継紙	1通	太郎蔵より阿賀崎新田村の藤助へ相かかる一件について添書をつかわすつもりであること 敬之介→大橋平右衛門・大原与兵衛・仁左衛門・勝之丞・大橋良介・唯介	
29-81-4	[阿賀崎新田村庄屋安八郎宛倉敷村年寄敬之介書状案文]	戊年8月10日	横継紙	1通	阿賀崎新田村藤助の売荷売捌代金が倉敷村太郎蔵の船にて盗み取られた一件について、濟方が成るように取り計らいを願う	
29-81-5	[倉敷村役人中宛阿賀崎新田村庄屋安八郎書状]	戊年閏8月	横継紙	1通	倉敷村卯助役介人太郎蔵より阿賀崎新田村藤助へ船を差し戻してほしいと申し出た一件について太郎蔵に実意に済み方を致すよう、申し聞かせてほしい	(包紙上書)「倉敷村御役人中 阿賀崎新田村庄屋安八郎 役用書」
29-81-6	[倉敷村役人中宛阿賀崎新田村庄屋安八郎書状]			1包(2通)		29-81-6-1~2一包(包紙上書)「倉敷村御役人中様 阿賀崎新田村庄屋安八郎 役用」
29-81-6-1	[阿賀崎新田村庄屋安八郎宛倉敷村年寄月番敬之介書状]	年未詳12月14日	横継紙	1通	阿賀崎新田村井出屋藤助の売荷代金が倉敷村太郎蔵に下津井湊において盗み取られた一件について、願人の意思の通り、御上様へ申し出るほかないと述べている	
29-81-6-2	[倉敷村役人中宛阿賀崎新田村庄屋安八郎書状]	年未詳11月10日	横継紙	1通	井出屋藤助の売荷代金八拾四両が太郎蔵の船から盗まれた一件について、藤助の代人として百姓代和一郎がまかり出るので、委細を聞き取りの上、太郎蔵にとくと糺していただきたい	
29-81-7	乍恐以書付奉願上候	年月日未詳	縦継紙	1通	積荷売上代金盗難において疑念により、船并に船道具横領につき、藤助を呼び出し吟味の依頼	
29-81-8	乍恐以書付奉願上候	年月日未詳	縦継紙	1通	太郎蔵・長三郎→倉敷役所 船并に船道具横領につき、藤助呼び出し吟味依頼	
29-81-9	以書付御願申上候	戊年8月	縦継紙	1通	卯助役介人太郎蔵→阿賀崎新田村庄屋安八郎 積荷売上代金盗難につき取調依頼	
29-81-10	以書附手続申上候	戊年閏8月	縦継紙	1通	阿賀崎新田村百姓藤助代人百姓代輪一郎→倉敷村役人中 太郎蔵を召出し北木嶋網屋への取次金の出所疑わしきにつき、取糺し願ひ	
29-82	[御用書類]			1袋(2纏め2包2袋21通)		29-82-1~27一袋(袋上書)「万延元申年七月 御用書類願書并済口証文写入 外二諸掛合添書之類も在中 徳聚所蔵」
29-82-1	[津寺銀札一件書類]			1包(3通2纏め)		29-82-1-1~5が包紙に包まれている 未開封であったものを開封した(包紙上書)「津寺庄屋国蔵より頼越銀札一件書類在中 但七三郎喜三郎申口共入 申十二月」
29-82-1-1	[喜三郎・七三郎申口]	年月日未詳	横切紙	1通	両替およびしんちうかんざし商内のこと	(端書)「喜三郎申口」
29-82-1-2	覚(札書付)	年月日未詳	横切紙	1通	備前岡山春日丸代次郎	
29-82-1-3	[覚書・手形]			1纏め(2通1纏め)		29-82-1-3-1に29-82-1-3-2と29-82-1-3-3が折り込まれている
29-82-1-3-1	覚(札書付)	年月日未詳	横切紙	1通	備前岡山春日丸代三郎取かへ	
29-82-1-3-2	[添紙]	年月日未詳	横切紙	1通	都宇郡津寺村庄屋国蔵	
29-82-1-3-3	[津寺通用手形・巻匂]	年月日未詳	14.9×3.7	1纏め(2枚)	大坂引請田村屋	
29-82-1-4	[倉敷大橋恵吉宛津寺村庄屋国蔵書状]	年未詳12月10日	横継紙	1通	喜三郎外貳人の者を今夕に引き取ること 段々ご役介になったことへの礼	(包紙上書)「倉敷村御年寄恵吉様 津寺村庄屋国蔵 要用」
29-82-1-5	[喜三郎・七三郎取調申口]			1纏め(2通)		29-82-1-5-1に29-82-1-5-2が巻き込まれている
29-82-1-5-1	[喜三郎・七三郎取調内容]	年未詳12月11日	横継紙	1通	濱田町喜三郎と新川町七三郎を取り調べた内容について、作州福渡村此兵衛から同村新蔵が受け取り、喜三郎が去月廿日ごろに両替を頼まれたと申し、七三郎は笠岡村へかんざしを商内に行った際、岡山町松蔵と申す者からかんざし代銀として請け取ったと申し	
29-82-1-5-2	[津寺札所持・引請内訳]	年月日未詳	横切紙	1通	津寺札 一銀札八百八拾目 但大坂引請田村屋 内訳 四百四拾目 喜三郎所持 四百四拾目 七三郎所持	
29-82-2	[敬之介宛岡熊之介書状]	年月未詳27日	横継紙	1通	相場に付利右衛門返事埒明かぬこと	(上書)「敬之介様 指上置玉机下 岡熊之介」
29-82-3	[倉敷村上納金割賦書付]	文久元年4月17日(写)	横継紙	1通	万延元年から慶応元年までの倉敷村上納金の割賦 一 三千六百六拾七両 窪屋郡倉敷村	(端裏書)「上納金割納扣 文久元酉年四月十七日写 写」
29-82-4	[済口証文類]			1纏め(2通)		29-82-4-1と29-82-4-2が重ねて折られている

29-82-4-1	差上申済口証文之事	万延元年12月	縦折紙	1通	窪屋郡倉敷村百姓光太郎他3名→倉敷役所 窪屋郡倉敷村百姓光太郎から浅口郡勇崎村庄屋又三郎へかかる貸金一件の済口証文	
29-82-4-2	差入申金子証文之事	万延元年12月	縦折紙	1通	借用主浅口郡勇崎村庄屋又三郎他1名→窪屋郡倉敷村光太郎滞込金三十両の年賦返済の約定	
29-82-5	[倉敷村年寄月番敬之介書状]	年月日未詳	横継紙	1通	倉敷村年寄月番敬之介→(宛名なし) 直次郎の源三郎よりの白米売掛滞り一件につき、願人から委細を聞き済方に取計らいのこと	(端裏書)(朱書)「売掛代銀滞一件済書写し」
29-82-6	[大庄屋川入村惣五郎宛倉敷村庄屋丈平書状]	申年7月	横継紙	1通	黒崎村にある倉敷村小右衛門の所持地を黒崎村半助に預けていたが、小作米が滞っている件について、願人を差し出すこととしたので、半助を取り調べて済み方いたすよう取り計らってほしい 倉敷村庄屋丈平→大庄屋川入村惣五郎	(端裏書)(朱書)「小作米滞一件備前領大庄屋へお願いいたし候添書之写」
29-82-7	[倉敷村年寄月番恵吉書状]	年月日未詳	縦折紙	1通	当村の佐和蔵という者が御地礪吉と他所の婦人を疵付けた一件につき、御名前の者は当村の人別にはいないとの連絡 倉敷村年寄月番恵吉→(宛名なし)	(端裏書)(朱書)「当村帳外天城村二而疵付候一件先方与懸合来参付返書写し」(端裏書)「当所無宿於天城村二同所并備前もの江疵付一件掛合口越候書面并返書遣し候扣入」
29-82-8	乍恐以書附内願奉申上候	年月日未詳	縦継紙	1通	倉敷村百姓宗兵衛が庄屋大原与兵衛に傷をおさせた一件に付、この件が片付くまで大原与兵衛の出勤を差控えていただきたいこと	(端裏紙)「骨書敬之介余書 仁左衛門其外合作」
29-82-9	[藤助紛失金補償規定書]	亥年7月9日	縦継紙	1通	藤助の紛失金について、弥助は藤助のところで奉公することで補償し、太郎蔵は船ができれば藤助の商荷を運び、船賃で弥助に合力すること	
29-82-10	[藤助売荷盗難一件始末]	年月日未詳	横継紙	1通	藤助売荷が太郎蔵の船にて盗み取られた一件につき、弥助・太郎蔵ともに困窮人であるので、弥吉は藤助方へ奉公し、太郎蔵は船作事が出来次第合力すること	
29-82-11	[変死人につき申口]	酉年2月17日	縦継紙	1通	欣兵衛他9名→大竹左馬太郎手代内田郁次・森脇尚平 下皆部村準兵衛倉敷村七介方にて変死につき死骸引渡しを願う	
29-82-12	差上申一札之事	年月日未詳	横継紙	1通	倉敷村庄屋大橋平右衛門他3名→倉敷役所 村中入札により大橋平右衛門・与兵衛に庄屋仰せ付けられたことにつきその心得請書	
29-82-13	[安八郎宛敬之介書状]	戌年8月20日	横継紙	1通	盗難一件につき藤助呼び出し吟味依頼	
29-82-14	[笠岡庄屋小十郎宛倉敷月番年寄小山安右衛門・庄屋丈平書状]	年未詳9月17日	横継紙	1通	藤助後家はつ娘はる奉公取り次ぎ一件について	
29-82-15	[泉州堺中之丁役人宛備中国窪屋郡倉敷村年寄月番恵吉書状]	申年(万延元)正月14日	横継紙	1通	倉敷村大坂屋源介より泉州中之丁北横町小西屋の又七へ相掛かる貸金滞りの一件につき、願人より始末など聞きとりの上、済方になるように取りはからの願い	(端裏書)「貸金滞 添書」(端裏書)(朱書)「泉州界之もの江貸金滞一件口扱書并添書扣」
29-82-16	以書付御願申上候	万延元年7月	横継紙	1通	倉敷村百姓源左衛門より当村直次郎へ白米売渡代金滞り一件について 常右衛門→福嶋村名主金吉・亀之助	(奥書)常右衛門→村役人 虫損の為SILティッシュで包む
29-82-17	差出申済口書附之事	文久2年12月	縦継紙	1通	願人秀太郎8名→村役人中 戎町秀太郎と末助との二階堂手形札滞一件に付内済のこと	
29-82-18	[太郎蔵船始末覚書]	年月日未詳	横継紙	1通	太郎蔵の船を七介の手元へ先請け取り、太郎蔵が船稼ぎに差し支えがないようにいたした上で、七介から太郎蔵へ渡すべきこと 然る上は太郎蔵から藤助その外へ申分、願い筋は無いこと	
29-82-19	[藤介一件継添印形差出しのこと]	亥年7月10日	横継紙	1通	前書済口趣意書に申し分なく納得し、然るべく取り計らうようお頼み申し上げる これにより、継添印形いたし差し出す 阿賀崎新田村藤介代喜右衛門→(宛名なし)	
29-82-20	[清三郎書状]			1包(2通1枚)		29-82-20-1~3が包紙に包まれている 包紙あり(包紙上書)「西四月 中畝清三郎より尋越書状入并返書と入」包紙は熊之介入牢猶予願(万延元年10月16日付)を転用している
29-82-20-1	[大橋栄吉宛中畝清三郎書状]	年未詳4月23日	横継紙	1通	家屋売払と申すは政次郎偽りカ	
29-82-20-2	[清三郎宛敬之介書状]	年未詳4月23日	横継紙	1通	平右衛門地面売払いにつき政次郎より相談のこと	(端裏書)「扣へ」
29-82-20-3	[包紙]	年月日未詳	横切紙	1枚		29-82-20-1の包紙カ(上書)「倉敷大橋栄吉様 尊下急用 福田新田中畝清三郎」
29-82-21	[書状下書]	年月日未詳	横継紙	1通	貴所様当地への御越しをお待ち申し上げます	宛名・差出人とも不詳
29-82-22	申合(風俗矯正・俵約)	年月日未詳	縦継紙	1通	吉事の際の品物、客を呼ぶ際の食事、衣類などについての規定	
29-82-23	乍恐以書付奉願上候	年月日未詳	縦折紙	1通	倉敷村無高百姓千吉俵市蔵が当正月中家出した件につき、当十八日に備前岡山より市蔵が罷り帰り、先非を後悔しているので、帰住をお許しいただきたいとの願い出	下書
29-82-24	[貯穀拝借証文下書]	万延2年	縦切紙	1纏め(2丁)	大雨にて諸作違作の為貯穀拝借のこと	
29-82-25	[年貢不納取調書類]			1袋(5通)		29-82-25-1~5一袋(袋上書)「万延元申年八月川西町代蔵新川増蔵洪江村御年貢筋不納取調書類 但増蔵不納之儀一札請取置候分在中」
29-82-25-1	[丈平宛亀之介・和一郎・七郎治書状]	万延元年8月4日	横継紙	1通	川西村代蔵へ高掛り元利の支払いを請求 倉敷政吉への年貢元利支払請求	包紙あり(包紙上書)「倉鋪村御庄屋丈平様 洪江村名主亀之介 同田之上和一郎 同加り四十瀬村名主七郎治」
29-82-25-2	[洪江村亀之介・和一郎・七郎治宛年寄月番敬之介書状]	万延元年8月8日	横継紙	1通	代蔵政吉事増蔵昨未年分上納物延引について	



29-82-25-3	差出申書付之事	万延元年4月7日	縦継紙	1通	他所出生の者を貸家に差し置に対し勤弁の願い 増蔵・茂吉・初吉→村役人	
29-82-25-4	覚(増蔵預りのこと)	申年7月10日	縦継紙	1通	会所混雑につき増蔵預りのこと 茂平・藤吉・初吉→倉敷役人中	
29-82-25-5	差出申書付之事	万延元年8月7日	縦継紙	1通	増蔵未年年貢并諸役不納に付き所持地差入れ納入のこと 増蔵・茂吉・初吉→村役人中	
29-82-26	[御交代のときの止宿入用立替渡請取書]			1袋(8通)		29-82-26-1~8一袋(袋上書)「万延元申年七月十二日 当春御交代之砌御止宿入用立替渡請取書入」袋に入らなくなったのでSILティッシュで包む
29-82-26-1	覚(郷宿の入用を植田武右衛門が立替えた記録)	申年7月	縦継紙	1通	淀屋 郡屋 戸田屋 直田屋分	
29-82-26-2	覚(止宿入用等を植田が立替えた記録)	申年7月25日	横継紙	1通	植田→大橋	付紙あり
29-82-26-3	覚(銀勘定書)	年未詳7月16日	横継紙	1通		
29-82-26-4	覚(小林権六様当五止宿入用)	申年7月12日	縦切紙	1通	戸田屋善三郎→年寄敬之介	
29-82-26-5	覚(辻荘一郎外二人止宿入用)	申年7月12日	縦切紙	1通	郡屋清太郎→年寄敬之介	
29-82-26-6	覚(止宿入用振替受渡し書付)	申年7月12日	縦継紙	1通		
29-82-26-7	覚(辻・遠藤御両方の止宿入用引渡し添書)	申年11月28日	横継紙	1通		
29-82-26-8	覚(役人五人止宿入用立替分受取)	申年12月28日	横継紙	1通	敬之介→植田	
29-82-27	差上申済口証文之事	万延元年12月	縦紙	1通	窪屋郡倉敷村光太郎他3人→倉敷役所 窪屋郡倉敷村百姓光太郎より浅口郡勇崎村庄屋又三郎にかかる貸金滞出入済口証文差上げのこと	
29-83	[品物書上類]			1袋(2通2括り1包)		29-83-1~5一袋(袋上書)「文久元酉年口月廿五日 海賊市蔵盗取候品物之内於当村口居候分取立平田村名主江引度候書類在中当時掛り口之介」
29-83-1	覚(品物書付)	酉年12月25日	縦継紙	1通	守袋巻の他	(端裏付紙)「酉十二月廿五日 勇作へ引渡品物の覚」
29-83-2	[盗品取捌き目録]			1括り(4通)		29-83-2-1~4紙紐で一括り
29-83-2-1	[盗品処理売却目録]	年月日未詳	縦継紙	1通	長襦袢・山蚕紬綿入他	(端裏書)「卯七」
29-83-2-2	[市蔵盗取品取捌口書]	酉年8月	縦継紙	1通	倉敷村出生繁次郎申口 衣類・鉄瓶・大蒲団など売却 市蔵より米代として逗留中に銀札賞請く	
29-83-2-3	[繁次郎方へ持込品書上]	年月日未詳	縦継紙	1通	綿入・半天・羽織など7品目	(端裏書)「繁次郎」
29-83-2-4	[市蔵より繁次郎への遣し品書上]	年月日未詳	縦継紙	1通		
29-83-3	覚(品物書付)	年月日未詳	横継紙	1通	守袋などの品物書上	
29-83-4	[覚書類]			1括り(14通)		29-83-4-1~14紙綴りで一括り
29-83-4-1	[御差図次第品物差出しの覚]	年月日未詳	縦継紙	1通	おざきふみ女単物1枚卯七より代銀15匁5分で売り渡しの品は指図次第差出しのこと	
29-83-4-2	[品物なき為代銀にて差出しの覚]	年月日未詳	縦継紙	1通	卯七より売渡の品がないので代銀にて差出しのこと	
29-83-4-3	[森次郎質物書上]	酉年3月5日	縦継紙	1通	広瀬屋新五郎 白綸子裕1枚他9品 森次郎より質入金2両ほか	(端裏書)「新五郎」
29-83-4-4	[卯七より買取品書上覚]	酉年10月	縦継紙	1通	祐安屋万助 銀札三拾匁五分 山本屋源助 三十七匁五分	(端裏書)「兩人」
29-83-4-5	[御差図次第品物差出しの覚]	年月日未詳	縦継紙	1通	森次郎女房とみ 浅黄縮緬申ぐ1つ 市蔵より森次郎女房へ遣したものを指図次第差出す	
29-83-4-6	[御差図次第品物差出しの覚]	年月日未詳	縦切紙	1通	舟倉ぬいより長浜屋五郎助への質入れ品	
29-83-4-7	[品物なき為代銀にて差出しの覚]	年月日未詳	縦切紙	1通	卯七より売渡し紺格子縞女単物 惣社屋吉蔵→(宛名なし)	
29-83-4-8	[品物なき為代銀にて差出しの覚]	年月日未詳	縦切紙	1通	生壁縞1反、森次郎より代銀13匁5分で売り渡し、品物が無いため代銀にて差出し	
29-83-4-9	[品物なき為代銀にて差出しの覚]	年月日未詳	横切紙	1通	油屋政兵衛 玉結城男裕1枚、森次郎より代銀13匁にて売渡す小紋男裕代銀15匁、計2品代銀にて差出す	
29-83-4-10	[品物なき為代銀にて差出しの覚]	年月日未詳	縦切紙	1通	せんさい綿女帯帯筋を卯七が代銀三拾九匁で滝本屋平次郎に売渡したが品物がないので代銀にて差出す	
29-83-4-11	[差図次第品物や代銀にて差出しの覚]	年月日未詳	縦継紙	1通	繁次郎女房よりの衣類・結城洗張り代銀書上げ 長妻屋弥助→(宛名なし)	
29-83-4-12	[御差図次第品物差出しの覚]	年月日未詳	縦継紙	1通	繁次郎女房よりの品物書上(縞女半てん・裕) 迫川屋基之助→(宛名なし)	
29-83-4-13	[御差図次第品物差出しの覚]	年月日未詳	縦切紙	1通	明石屋孫右衛 きぬ男羽織1枚 船倉ことより質銀5匁 指図次第差出す	
29-83-4-14	[品物なき為代銀にて差出しの覚]	年月日未詳	縦継紙	1通	絹継合襦袢を卯七より代銀拾匁で買ったがその品物がないので代銀を前神町喜三郎が差出す	
29-83-5	[請取書]			1包(2通)		29-83-1~2一包(包紙上書)「請取書 巻通」
29-83-5-1	覚(請取書)	文久元年12月25日	縦継紙	1通	盗賊番役子位庄村仲助→酒津村弁作 平田村外一ヶ村での紛失物の内、倉敷村において無宿者から取立てた品物の請取書	
29-83-5-2	[書付]	酉年12月25日	横継紙	1通	盗賊番へ品物の引渡しと請取書のことについては平田村役人代立会の上で取り計らった	
29-84	[願書・書状扣]			1袋(2括り40通2包2枚)		29-84-1~46一袋(袋上書)「村役人場合差出候願書并取遣書状扣共入」袋破損の為SILティッシュで包んで一括した
29-84-1	[倉敷村百姓宗兵衛が庄屋大原与兵衛に傷を負わせた一件について]	年月日未詳	縦継紙	1通	一件の次第を述べて与兵衛の庄屋役御免の仰せ付けを願う	

29-84-2	[書状下書]	年月日未詳	横切紙	1通	小作人石蔵の小作米不納一件につき征次郎代伯父甚介の出願について	
29-84-3	乍恐以書付奉申上候	文政13年9月	横継紙	1通	窪屋郡倉敷村年寄源介他8名→古橋新左衛門役所 倉敷村庄屋・年寄・百姓代の袴着用の由緒・来歴を記す	
29-84-4	[大橋敬之助宛仁右衛門書状]	年月未詳9日	横切紙	1通	政蔵痴痛のため増蔵を以て銀をもらい受けたことを知らせる	(上書)「大橋敬之助様 仁右衛門 内用御直披」
29-84-5	[倉敷村年寄敬之介宛松江名主亀之介書状]	年未詳8月8日	横切紙	1通	返書受取りの報知	
29-84-6	[倉敷村年寄敬之介・庄屋丈平書状]	申年12月	横継紙	1通	年貢取替金滞出入訴状差出についての相談	宛名なし
29-84-7	[某書状]	年月日未詳	横切紙	1通	当地東町庄助役人しげ、逗留中に死去 彼地にて尋いたいと親類より申し出たので然るべく取計らいを願う	(端裏書)(朱書)「当村人別之者他村ニ而死去致候節、先方ニ而葬致度願出之砌先方役場へ遣し候書状写し」 宛名・差出人なし
29-84-8	[歎願書下書]	年月日未詳	縦継紙	1通	山後三蔵方にて治三郎・伊之助・軍七法度筋を行う旨の聞込あり、御足輕出張取押えについて酌量による仕業故用捨歎願の下書	宛名・差出人なし
29-84-9	万延元年申年浜蔵計取調	万延元年12月24日	横折紙	1通	「八斗 直吉 四斗 寅松」他	包紙あり(包紙上書)「小作筋二付極入用書類 申十二月廿四日」
29-84-10	乍恐以書付奉願上候	年月日未詳	横継紙	1通	窪屋郡倉敷村庄屋大原与兵衛親類年寄唯介他2名 浅口郡片嶋村庄屋伊蔵他1名→倉敷役所 倉敷村庄屋大原与兵衛より同村百姓宗兵衛に掛る一件内済について	
29-84-11	[覚書扣]	年未詳12月27日	横継紙	1通	和泉屋嘉兵衛に相掛候一件 広島御城下本川筋船宿	
29-84-12	乍恐以書付奉願上候	戌年3月	横継紙	1通	倉敷村卯介役介人太郎蔵→倉敷役所 太郎蔵より浅口郡阿賀崎新田村藤介へ懸る一件 紀州様御名目銀赤松文五より小田郡北木嶋網屋後次郎へ貸渡しの金子疑念掛ける件 魚嶋中出買稼のため船差返しの件など	
29-84-13	[大橋宛二作書状]	酉年2月23日	横継紙	1通	醤油造御冥加銀納人の御尋ねにつき、西屋代二郎他6名の書上	
29-84-14	[福嶋村御名主金吉・同亀之介宛倉敷村年寄月番敬之介書状下書]	年未詳7月	横継紙	1通	倉敷村百姓源左衛門代親類常右衛門と福嶋村直次郎との白米売掛代金滞一件について	
29-84-15	[添書案文]	年月日未詳	横継紙	1通	倉敷村源左衛門代親類常右衛門より直次郎へ掛る白米売掛代滞一件についての添書案文	(端裏書)(朱書)「売掛ヶ代銀掃一件添書写」
29-84-16	覚(村方貯金貸付の証書預りについて)	酉年12月29日	横切紙	1通	敬之介→小山安右衛門 金14両也 村方貯金の内安右衛門預り金種蔵他13人へ貸し渡しの証書手前へ預りのこと	
29-84-17	[社地用水川関係書類]			1括り(2通)		29-84-17-1~2紙綴りで一括り
29-84-17-1	[社地用水川中等承り候心覚留]	年月日未詳	縦折紙	1通	才能田但式本松の辺地名、惣本宮社地など3ヶ所書上	(端裏書)(朱書)「社地用水川中等承り候心覚留」 宛名・差出人なし
29-84-17-2	[社地用水川土上ヶ間数書上]	年月日未詳	横継紙	1通	二本松辺古字才能田 惣堂宮社地三畝歩古来除地など3ヶ所用水土上げについて	宛名・差出人なし
29-84-18	記(受取証)	年未詳6月11日	横継紙	1通	仁左衛門→大橋敬之介 秘先書・袖扣各一冊お返しにつき落手	
29-84-19	以書付申上候	年月日未詳	横継紙	1通	醤油株を大村屋徳太郎より譲受のこと 仁左衛門→村役人中	
29-84-20	[倉敷役人中・庄屋丈平宛大畠村組頭久兵衛書状]	年未詳10月12日	横切紙	1通	大畠村次介が出職のため、引き続き倉敷に滞在することを願う	包紙あり(包紙上書)「倉舗御役人中様 尊下 与頭久兵衛」(包紙裏書)「從備前児嶋郡大畠村」
29-84-21	[大橋栄吉宛大畠村名主松本紋左衛門書状]	年未詳10月19日	横切紙	1通	村方弁吉の御役介について頼み上げ	(包紙上書)「大橋栄吉様 大畠村名主松本紋左衛門 役用」
29-84-22	年寄入札数	年月日未詳	横継紙	1通	28名それぞれの枚数を列挙	
29-84-23	[書状類]			1包(2通)		29-84-23-1~2一包 (包紙上書)「倉敷村御役人中様 役用 間倉村庄屋琳左衛門書状」
29-84-23-1	[倉敷村役人中宛間倉村庄屋琳左衛門書状]	年未詳5月12日	横継紙	1通	倉敷村沢田屋久兵衛が間倉村菊八地内へ参り年々地所年貢未納につき引取依頼	29-84-23-1に29-84-23-2が挟み込まれていた
29-84-23-2	[人名書付]	年月日未詳	横継紙	1通	人名・年齢・組頭名書上 久蔵年63才他4名 組頭栄次他3名	宛名・差出人なし
29-84-24	[黒崎村名主藤兵衛宛倉敷村年寄敬之介書状扣]	年月日未詳	横継紙	1通	倉敷村小右衛門より黒崎村半助に相掛る小作米滞一件について大庄屋惣五郎へ願う	(端裏書)(朱書)「大庄屋惣五郎へ添書遣し候前黒崎村名主問合いたし候書状扣」
29-84-25	[黒崎村御名主藤兵衛宛倉敷村年寄月番敬之介書状扣]	年月日未詳	横継紙	1通	倉敷村小右衛門の黒崎村半助に対する小作米滞り一件につき藤兵衛への問い合わせ	
29-84-26	[敷地略図]	年月日未詳	縦紙	1枚	「水沢」「板屋」「鉄蔵」	
29-84-27	[敬之介宛助左衛門書状]	年未詳2月23日	横継紙	1通	醤油造高及び運上銀について	封筒あり(封筒表書)「敬之助様 助右衛門」
29-84-28	覚(役用状請取)	申年7月30日	横切紙	1通	日吉庄屋→倉敷会所	
29-84-29	[屋号・人名書付]	年月日未詳	横切紙	1通	西屋代次郎・内田屋丈右衛門・児嶋屋光太郎他4名書上	宛名・差出人なし
29-84-30	以書附御届申上候	嘉永5年5月	横切紙	1通	徳太郎親族尚七郎・松太郎→村役人中 大村屋徳太郎から板屋松太郎へ醤油株譲渡につき帳面の名前書替願う	
29-84-31	[大橋敬之介宛仁左衛門書状封筒]	年月日未詳	18.5×4.5	1枚		(封筒上書)「大橋敬之介様 仁左衛門 内用書」
29-84-32	[大橋敬之介宛仁左衛門書状]	年未詳5月18日	横継紙	1通	一条について伝えることが延引になったがあまり延引になるのも恐れ入るので今晚御供する旨を知らせる	
29-84-33	[差出書類扣]			1括り(仮1冊9通)		29-84-33-1~10一括り SILティッシュの紐に替えた
29-84-33-1	乍恐以書附御届申上候	年月日未詳	縦折紙	1通	倉敷村無高百姓利助が以前の家出の件で大坂町奉行所より召出につき、利助親類七三郎の登坂の届け出	
29-84-33-2	差出申御詫一札之事	年月日未詳	縦切紙	1通	先代よりの預り田地・病によって不作の詫び	
29-84-33-3	差出申御請証文之事	文久元年4月23日	縦紙	1通(2枚)	倉敷村長百姓水沢遠三郎親類計作・倉敷村役人惣代年寄敬之介→倉敷役所 遠三郎養祖母頼母行衛不明の届出	

29-84-33-4	[取調覚]	年月日未詳	横継紙	1通	民右衛門梓茂助・戎町樋松の病名について 二軒茶屋で平吉より金沓両請取のこと	
29-84-33-5	乍恐以書付奉願上候	申年5月9日	横切紙	1通	敬之介→倉敷役所 倉敷村年寄敬之介、昨日より作州津山へ出国の許可を願出	(奥書)倉敷村役人惣代年寄与三兵衛→(宛名なし)
29-84-33-6	以書付御願申上候	万延元年6月24日	竖折紙	1通	羽島村為右衛門親類・倉敷村宗五郎・噯人ら7人→倉敷村羽嶋村役人中 倉敷村無高百姓宗五郎が羽島村往来端にて同村為右衛門に疵を負わせた一件について内済の願い	
29-84-33-7	乍恐以書附奉願上候(扣)	年月日未詳	半・竖	仮1冊	亡父文介所持高への年貢・余分之取立などについて 証次郎幼年に付伯父甚介の申立て	
29-84-33-8	[願書下書]	年月日未詳	横切紙	1通	借銀かさみ家出した人物の帰住願い 出雲国市畑薬師参詣途中で病氣 作州湯本村にて療養	宛名・差出人なし
29-84-33-9	乍恐以書付奉願上候	申年6月5日	竖折紙	1通	願書2件の下書 倉敷役所宛 ①倉敷村新田用水一之樋の儀(庄屋丈平・役人惣代年寄・百姓代) ②倉敷村無高百姓真助ら3人が博奕にて召捕の儀(村役人惣代・庄屋及び真助他2名)	
29-84-33-10	差上申御預り証文之事	文久元年9月10日	竖紙	1通	窪屋郡倉敷村役人惣代年寄敬之介・庄屋丈平→出役森脇尚平大坂出生の疵人房十郎とその妻子を村方で預る証文の扣	
29-84-34	[敬之介宛民三郎書状]	年未詳7月21日	横切紙	1通	返却された書類入手のこと及び「見事之品」への礼状	封筒あり(封筒上書)「敬之介様 同庄屋民三郎 貴座下」
29-84-35	以書付御願申上候	戌年閏8月	竖継紙	1通	河手屋健介及び船倉廻川屋磯平との魚類売捌莫加銀上納問屋株賃借差縫れについて 願人健介→村役人	
29-84-36	[書状類]			1包(2通)		29-84-36-1~2一包 (包紙端裏書)(朱書)「帯江村引取頼来候書状入」 倉敷村役人宛二日市村庄屋六郎右衛門役用書の包紙を転用
29-84-36-1	[二日市村庄屋六郎右衛門宛高沼村庄屋西山三木之助書状]	年未詳閏3月15日	横継紙	1通	高沼村藤作より二日市村平松多平次へかかる一件に対する藤作の口述について通知 倉敷村前髪室屋仙吉所持の乾粕を徳房村三左衛門へ売込、その代銀回収についてのやりとり	
29-84-36-2	[倉敷村役人宛二日市村庄屋六郎右衛門書状]	年未詳閏3月15日	横継紙	1通	高沼村藤作・新田屋喜三郎外三人が二日市村多平次方へ不能を申出迷惑、引取り依頼について 多平次親類徳房村三左衛門にかかる一件で多平次はかかわりなし	
29-84-37	[勇崎村年寄紀三郎宛倉敷村年寄敬之介書状]	亥年7月晦日	横継紙	1通	倉敷村光太郎より勇崎村庄屋又三郎への貸金滞り出入内済後の戌年分の年賦金滞りの件についての取計依頼	
29-84-38	以書付御願申上候	文久元年12月	竖継紙	1通	定八→村役人中 瀧本屋平治郎から借り受けていた薪問屋の名目を私の名目にしたいことについての願い	(包紙上書)「上 板屋店召仕 定八 願書」
29-84-39	[某書状]	年月日未詳	横継紙	1通	井汲先生の事は益後に上京して相談するということ	宛名・差出人なし
29-84-40	覚(役用書請取)	文久2年8月11日	横切紙	1通	阿加崎新田村庄屋安八郎→倉敷村年寄敬之介	
29-84-41	義倉銀預証文之事	万延元年12月	横切紙	1通	敬之助・小山安右衛門・仁左衛門→植田武右衛門・又五郎 銀12貫123匁6分1厘預りのこと	
29-84-42	[大橋宛光太郎書状]	年月未詳30日	横継紙	1通	菅の礼状及び先生の宿料外雑用割符について一覽の上、外連中へ回覧を依頼	
29-84-43	以書附御届申上候	文久2年正月	竖継紙	1通	卯助厄介人太郎蔵→村役人中 他国へ商売の際、印判無く取引不弁利の為印鑑届	(包紙上書)「上 入船屋卯助厄介人太郎蔵印鑑届書」
29-84-44	百姓代入札	年月日未詳	横継紙	1通	人別札数書付	
29-84-45	[歩合書付]	年月日未詳	横切紙	1通	拾貳貫百貳拾三匁六分壹厘の金及び銀札の歩合	
29-84-46	[願書下書]	年月日未詳	竖継紙	1通	倉敷村百姓宗兵衛が庄屋大原与兵衛に傷を負わせた件につき、内済を承った後、与兵衛方の不当の取計や他の悪事により、与兵衛の庄屋役の御免願い	29-84-1と同内容
29-85	[御用書類]			1袋(9通1袋1纏め)		29-85-1~11一袋 (袋上書)「文久三亥四月廿七日改 御用向書類品々在中」
29-85-1	[御用書類]			1袋(29通1枚1纏め)		29-85-1-1~31一袋 (袋上書)「申十一月廿日 御用書入 徳聚」
29-85-1-1	乍恐以書付奉願上候(下書)	年月日未詳	竖折紙	1通	無高百姓桑蔵正月六日家出 今後帰村につき帰住願	
29-85-1-2	[勘当帳外願]	年月日未詳	横切紙	1通	倉敷村無高百姓紋吉	
29-85-1-3	[人名書付]	年月未詳8日	横切紙	1通	すへ代人金助他6名	
29-85-1-4	[差出申書付之事下書]	年月日未詳	竖継紙	1通	当月廿二日夜、舟倉親介宅において、博奕を行っていた禮助と常吉が差し押さえられた件につき、先非を後悔しているので、格別のご勘弁をもってご用捨てされたいとの願い下書	
29-85-1-5	覚(代金書付)	万延元年10月3日	竖継紙	1通	戎屋忠八 白米七斗代他	
29-85-1-6	[人名書付]	年月日未詳	横切紙	1纏め(2通)	いなり町すへ、作兵衛について	
29-85-1-7	[乍恐以書付奉願上候案文]	年月日未詳	竖切紙	1通	光太郎から又三郎にかかる滞金出入について	
29-85-1-8	[貸金滞り出入につき願書下書]	年月日未詳	竖折紙	1通	金百両の返済方約定と違い不実につき	
29-85-1-9	[届書下書]	申年9月11日	竖継紙	1通	窪屋郡倉敷村の水沢遠三郎母の頼母が吟味中に村預けとされ、同人方の旧宅に差し置いて療養させていたが、当月五日の夜にふと他行した件についての届け書 窪屋郡倉敷村役人惣代年寄敬之介→倉敷役所	
29-85-1-10	乍恐以書付御届奉申上候	年月日未詳	竖継紙	1通	窪屋郡倉敷村の水沢遠三郎母の頼母が吟味中に村預けとされ、同人方の旧宅に差し置いて療養させていたが、当月五日の夜にふと他行した件についての届け書 敬之介→倉敷役所	

29-85-1-11	以書付御届申上候	年月日未詳	縦継紙	1通	午七郎病氣二付代欣兵衛他2名→村役人中 水沢遠三郎母頼母吟味中預りのところ他行方知れずとの届け	
29-85-1-12	差入申詫書一札之事	年月日未詳	縦継紙	1通	向市場荒木屋吉五郎が当月十一日船倉出火の場所で各方に不当の義を申し掛けた件について、村役人へ差し出す義については用捨いただけるようお願い	
29-85-1-13	[大橋宛米屋新蔵書状]	年未詳10月11日	横継紙	1通	二日の夕に、津山立石様の内蔵へ盗賊が入り、筆筒書本の品物が盗まれた件について、御地へ代る物が廻ってくると思われるので、もし手掛りがあればお知らせいただきたい 米屋新蔵→大橋	
29-85-1-14	[金子借用一件につき願書(下書)]	年月日未詳	縦切紙	1通	光太郎から又三郎にかかる借入金について	
29-85-1-15	[除屋書付]	年月日未詳	横継紙	1通	隣家官蔵他4名	
29-85-1-16	[身元書付]	年月日未詳	横継紙	1通	戎町万屋元吉、商売不繁盛、一子出生、女房里方引取、里親と音信義絶のこと	
29-85-1-17	[以書付申上候 下書]	年月日未詳	縦継紙	1通	親類政介江戸表飯代弁納不能につき容赦願	
29-85-1-18	覚(弁金差上げのこと)	申年10月18日	縦紙	1通	丈平→敬之介 金拾貳両貳朱 銀札九十匁八分差上げのこと	
29-85-1-19	覚(貸金書付)	年未詳7月8日	横継紙	1通	児島召使下男式人下女四人分金三百疋他	
29-85-1-20	乍恐以書附御届奉申上候	年月日未詳	横継紙	1通	家出人の届け及び勘当帳外れ願いの雛形	
29-85-1-21	以書付申上候	年月日未詳	縦継紙	1通	改助の江戸表飯代滞金の弁納を仰せつけられた件につき、本家水沢遠三郎、午七郎の双方が納得しないため、今廿三日より来廿八日まで猶余を下されたいとの願い出	(端裏書)「下書」
29-85-1-22	[返答書]	年月日未詳	横継紙	1通	代蔵及び政吉事増蔵の延引している昨未年分上納物決算について	宛名・差出人不詳
29-85-1-23	乍恐以書付奉願上候	万延元年	横継紙	1通	借金返済違約につき召出し始末吟味願 光太郎→倉敷役所	
29-85-1-24	乍恐以書附御訴訟奉申上候	年月日未詳	横継紙	1通	貸金滞出入一件訴状下書 訴訟人百姓光太郎、相手南崎村庄屋又三郎	(上書)(朱書)「貸金滞出入下書致見ノ分」
29-85-1-25	[包紙]	年月日未詳	縦切紙	1枚		包紙のみ(包紙上書)「敬之介様 丈平」
29-85-1-26	御書付申上候	申年9月23日	縦継紙	1通	滞納金支払猶予願 水沢遠三郎代召仕斗蔵他2人→村役人	
29-85-1-27	以書付御答 申上候	年月日未詳	縦継紙	1通	改助江戸表飯代滞金につき、午七郎代人平吉を江戸につかわす願い	(端裏書)「下書」
29-85-1-28	以書付御答申上候	年月日未詳	縦継紙	1通	午七郎親類政助の江戸表飯代滞り金弁納仰せ付けらるる件に付、江戸に代人平吉を遣わす願	
29-85-1-29	[包紙]	申年11月20日	縦紙	1通		(包紙上書)「申十一月廿日 御用古反入」
29-85-1-30	[人名書付]	年月日未詳	横切紙	1通	壱人病氣二付、金助他3人の氏名書付	
29-85-1-31	覚(銀札書付)	年月日未詳	横継紙	1通	一銀札六百七十四匁 御宿引請 敬之助 与兵衛 一同六百六十四匁 御宿引請 勝之丞 与兵衛	
29-85-2	差出申済口書付之事	申年7月29日	縦継紙	1通	源左衛門他1名→村役人中 東町源左衛門より西七月中に福嶋村直次郎へかかる白米代銀滞り一件につき、当村祝助の嘆いにより、内済した返済内容	
29-85-3	乍恐以書付御届奉申上候	申年9月10日	縦継紙	1通	村役人惣代年寄敬之介→倉敷役所 村預けになっていた窪屋郡倉敷村水澤遠三郎母頼母が計らずもした一件の届け	
29-85-4	差出申書付之事	万延元年7月28日	縦継紙	1通	与三郎・組合治助→村役人中 四十瀬屋与三郎が大供屋茂兵衛からの借家を十二月に明渡すことを承知したことについて	
29-85-5	[與八借入金返済一件書類]			1纏め(2通)		29-85-5-2が29-85-5-1に折り込まれている
29-85-5-1	以書付御願申上候	文久元年12月	縦継紙	1通	善兵衛→天城村役人 喜之介へ貸した金子の引請人と八の取調べ願	
29-85-5-2	借用申手形之事	万延元年11月	縦紙	1通	借用主天城村竹田屋喜之介→(宛名なし) 金三拾両	(包紙上書)「手形書返り 天城村竹田屋喜之介 同紙屋与八」(奥書)引受人同所紙屋与八→墨屋源五郎取次備中倉敷加茂屋善兵衛
29-85-6	[天城村名主安兵衛宛倉敷村年寄敬之介書状]	酉年12月27日	横継紙	1通	倉敷村加茂屋善兵衛より天城村竹田屋喜之介・紙屋与八への貸金滞り一件につき、取調べの上、済方相成候様願	
29-85-7	以書付奉申上候	酉年12月	横継紙	1通	養父幸兵衛在生中より平川村真八郎への取り替金并に飯料滞り一件についての始末 戸田屋善三郎→番村役人中	
29-85-8	覚(土地面積・代銀書付)	酉年5月6日	縦継紙	1通	土橋吐出之分他一筆について、長さ、坪数、代銀の書付 大嶋幸松より積書差し出しの控	
29-85-9	差出申書付之事	年月日未詳	横継紙	1通	去申十二月廿六日夜、村内明斗場仁平の宅において、繁蔵らのご法度筋を催していた件につき、格別のご勘弁によって、取り調べをこれまでに用捨して下さったことへの礼	
29-85-10	乍恐以書付奉願上候	万延元年8月	縦継紙	1通	次平外3名→倉敷役所 倉敷村無高百姓治平甥紋吉勘当帳外願	
29-85-11	差出申一札之事(下書)	年月日未詳	縦継紙	1通	稲荷町貸家に他所出生鍛冶職人稼のことについて	破損の為SILティッシュで包む
29-86	[諸願書類]			1袋(仮2冊13通1纏め)		29-86-1~16一袋 (袋上書)「御役所江差出候諸願案文中」
29-86-1	差出申一札之事	万延元年7月12日	縦継紙	1通	衆蔵が申二月六日の家出し、昨十一日に立ち帰ってきた件につき、先非を後悔しているので帰住を許してもらえようお願い出て許されたこと 衆蔵他3名→大竹左馬太郎役所	(端裏書)(朱書)「帰村御願申上候節帰住被仰付差出候御請証文写し」

29-86-2	乍恐以書付御訴訟奉申上候	安政6年2月	豎継紙	1通	倉敷村吉左衛門が賀陽郡庭瀬銀札場へ金子を納め、銀札を遣い捌く義につき、九月五日に札が不融通となり難渋しているの で、撰津守様御役人中を召し出し、私よりの出金千両をもって札 を引き替えるよう仰せ付けてほしい 倉敷村百姓吉左衛門→奉 行所	(端裏書)(朱書)「銀札引替滞出入江戸御奉行所へ御訴訟申上候写 し」(奥書)倉敷村百姓吉左衛門→倉敷役所
29-86-3	乍恐以書付御届奉申上候	申年7月	豎継紙	1通	倉敷村無高百姓千吉倅市蔵が当二月中にふと家出し、心当たり の場所を尋ねたが今もって行衛が分からないことの届け書 市 蔵親千吉他3名→倉敷役所	(端裏書)「家出届書之扣」
29-86-4	乍恐以書付御訴申上候	文久2年5月28日	豎継紙	1通	大坂町奉行に呼び出された無高百姓利助の失踪に関する届書 利助親族七三郎他4名→倉敷役所	
29-86-5	乍恐以書付奉願上候	万延2年2月	豎継紙	1通	運上銀を以って跡請を仰せ付けられる様願う訴状 借金返済滞 りのため年貢成替金滞りのための訴状	(端裏書)「運上物年季願」3通内容無関連の物のはりあわせ
29-86-6	乍恐以書附奉願上候	年月日未詳	半・豎	仮1冊	児嶋郡八浜浦の者ともが、近浦秀天沖へ棒枕を建て、魚獵を行 い、船の通行の邪魔になり、御用船にも狼籍を行っている 倉敷 村の船持をはじめ村方、隣村も難渋しているので棒枕を取り除 き、狼籍をしないよう八浜村ご領主、役場へ掛け合っしてほしい	
29-86-7	[倉敷役所宛惣代信郎書状]	戊年5月	豎折紙	1纏め	児嶋郡八濱浦の者どもが、近浦関天沖へ棒枕を建て、魚獵を行 い、船の通行の邪魔になっており、御用船にも狼籍を行っている 棒枕を取り除き、狼籍をしないよう八浜村ご領主、役場へ掛け 合っしてほしい	(端裏書)「願書下 作人仁左衛門 下書」
29-86-8	乍恐以書付御訴訟奉申上候	安政5年7月 安政5 年8月14日	豎継紙	1通	浅右衛門から善三郎にかかる米代金滞出入一件について訴状 と呼出状	(端裏書)「すみ」
29-86-9	乍恐以書付御訴訟奉申上候	万延元年12月	豎継紙	1通	去々午年、阿賀郡部村茂兵衛・準兵衛が年貢上納に差し支え たため、訴訟人弥三郎から三百両を借りたが返済しないため、 彼らを召し出して金を返すよう仰せ付けていただきたいとの願 い書 小山安右衛門代弥三郎→倉敷役所	(端裏書)「御役所 願面 小山ノ分」
29-86-10	乍恐以書付御届奉申上候	万延元年10月22日	豎継紙	1通	村役人惣代年寄敬之介・庄屋丈平→倉敷役所 水沢遠三郎母 頼母村方預け中に行方不明に付届出	(端裏書)「御役所より村預ケ相成居り候もの家出」
29-86-11	差上申一札之事	年月日未詳	豎継紙	1通	勝五郎他2名→倉敷役所 播州西野山村の順平より備中国倉敷 村勝五郎外売人へかかる預金出入につき、当六月二十一日ま で登坂し、奉行所で対決するようおおせ渡され、承知したこと	(端裏書)「大坂掛り請証文一札之扣」
29-86-12	乍恐以書付奉願上候	年月日未詳	豎継紙	1通	窪屋郡倉敷村無高百姓綱四郎、清六厄介人金助ら2名、柿木村 ふて宅の秀太郎に遺恨有りてふて宅に乱入、ふて、秀太郎に傷 を負わせた件に付、綱四郎、金助を取り調べるようお願いするこ と	付紙あり
29-86-13	乍恐以返答書奉申上候	年月日未詳	豎継紙	1通	倉敷村光蔵より忠八へかかる金子取込み横領出入一件につき 去月廿六日召出され仰せつけられた返答書	(端裏紙)「御役所江差上申御返答書下々」
29-86-14	乍恐以書附奉願上候(下書)	万延2年2月	半・豎	仮1冊	百姓代・年寄・庄屋→倉敷役所 不作夫食差支につき村貯穀拜 借願	
29-86-15	乍恐以書付奉願上候	年月日未詳	豎継紙	1通	通船差支えにつき、水尾筋に建て置かれた棒枕を取り除いてほ しいとの願い	
29-86-16	乍恐以書付御訴状奉申上候	万延元年12月	豎継紙	1通	貸金滞納の訴状 訴訟人倉敷村百姓光太郎・相手勇崎村庄屋 又三郎→倉敷役所	
30-1	岡山のことわざ 12か月 立石憲利著	平成3年11月5日発 行	18.3×12.8	1冊	絵はがきが二枚はさみ込まれている	
30-2	拓本集覧 吉備の石仏 井上雄風著	昭和55年10月6日 発行	18.3×12.8	1冊		
30-3	倉子城 第二号 倉敷史談会	昭和44年7月1日発 行	21.5×15.3	1冊		
30-4	倉子城 第三号 倉敷史談会	昭和44年9月1日発 行	21.5×15.3	1冊		
30-5	倉子城 第四号 倉敷史談会	昭和45年2月1日発 行	21.5×15.3	1冊		
30-6	倉子城 第五号 倉敷史談会	昭和45年6月15日 発行	21.5×15.3	1冊		
30-7	義麦等録	天明6年	25.1×17.5	1冊		印刷本
30-8	義麦等録	天明6年	25.1×17.5	1冊		印刷本
30-9	義麦等録	天明8年	25.1×17.5	1冊		印刷本
30-10	義麦等録	天明8年	25.1×17.5	1冊		印刷本
30-11	義倉記	明和6年6月	25.3×17.8	1冊		印刷本
30-12	義倉記	明和6年6月	25.3×17.8	1冊		印刷本
30-13	続義倉記	明治3年10月	25.1×17.5	1冊		印刷本
30-14	続義倉記	明治3年10月	25.1×17.5	1冊		印刷本
30-15	昭和40年頃・昭和49年頃 旧倉敷地図 美観地区の こと等			1袋(1冊5枚)		30-15-1~6一袋

30-15-1	倉敷都市計画図	昭和44年9月印刷	78.0×18.5	1枚		
30-15-2	最新倉敷市全図	昭和41年10月	53.8×38.8	1枚		
30-15-3	最新倉敷全図・旧倉敷市街図・水島工業地帯図	昭和41年9月	54.2×76.5	1枚		
30-15-4	旧倉敷市街図	昭和41年9月	39.0×27.0	1枚		
30-15-5	倉敷市伝統的建造物群保存地区関係例規集 倉敷市教育委員会	昭和55年1月	25.5×18.2	1冊		
30-15-6	倉敷川畔美観地消火器設置予定場所	昭和49年11月	25.5×36.2	1枚		
30-16	[絵ハガキ 倉敷スケッチ]	年月日未詳	ハガキ	1袋(5枚)	倉敷民芸館 倉敷千本格子の美しい民家 倉敷考古館裏路地にて 今橋より倉敷大原美術館 中橋より倉敷考古館とその附近	
30-17	おかでん七十年の歩み 岡山の電車とバス	昭和55年1月1日発行	30.0×21.5	1冊	岡山電気軌道株式会社発行	
31-1	天明七年丁未正月吉日 日記	天明七年正月吉日	美・横列	1冊	納米・貸金などの記録	(裏表紙)「大福入 中嶋屋久兵衛」
31-2	文政九年丙戌正月吉日 日記	文政九年正月吉日	美・横列	1冊	貸付・取替金・新開出銀および預米等の記録	(裏表紙)「大福入 中嶋屋源介」(小口書)「文政九丙戌」
31-3	嘉永四年辛亥正月吉日 日記	嘉永四年正月吉日	美・横列	1冊	金銀取引控・貸付・取替および田地・板敷新開等の入用などの記録	(裏表紙)「大福入 中嶋屋源介」(小口書)「嘉永四辛亥年」
31-4	[長借屋普請関係書類]			1袋(2冊1枚)		31-4-1~3-1袋(袋上書)「弘化五戊申年二月より 川西町長借家建替普入用書類入」
31-4-1	弘化五年申正月吉日 借家見横帳	弘化五年正月吉日	美・横列	1冊	借屋の建材代、大工・左官・人足への支払など諸経費見積	(裏表紙)「大工屋弥吉」
31-4-2	弘化五戊申年 川西町長借家普請入用控	弘化五年	美・横列	1冊	普請用・瓦・石・左官人足賃等諸経費書上の控 銀札合8貫683匁8分4厘	5月19日棟上の節の魚・酒代書付が綴り紐に結いつけられている
31-4-3	[長屋普請図]	年月日未詳	29.2×74.0	1枚	柱間の平面図	31-4-1~2に関連
31-5	[秋岡誠戯書]	年月日未詳	堅紙	1通	散らし書で四季折々を歌い込む	
31-6	[年始挨拶状文例]	年月日未詳	横折紙	1通		宛名・差出人なし
31-7	[礼状文例]	年月日未詳	横折紙	1通		宛名・差出人なし
31-8	[礼状文例]	年月日未詳	横折紙	1通		宛名・差出人なし
31-9	[礼状文例]	年月日未詳	横折紙	1通		宛名・差出人なし
31-10	[書状類一括]			1纏め(2通)		31-10-1に31-10-2が挟み込まれていた
31-10-1	[片山お代千宛某書状]	年月日未詳	横折紙	1通	祝い状	差出人なし
31-10-2	[七夕和歌二十首]	年月日未詳	横折紙	1通	「天の川あかつきゆミのかへるさよまたさとらるゝあさせ白なミ」 「七夕の心のうちやいかならん待こしけふのたくれのそら」など	
31-11	[年始挨拶状文例]	年月日未詳	横折紙	1通		宛名・差出人なし
31-12	[習書]	年月日未詳	横折紙	1通	「ゑん段相すみ」「何寄」「松魚」「大橋」などの文字を練習したもの	
31-13	諸家学要 世話萬字文 全	天保7年2月	半・堅	1冊	阿州和田耕斎(述)、浪華藤原徳風(関)、浪速河内戸主三寶書堂(梓)(書林)京都三条通御幸町吉野屋仁兵衛ほか4名	天保7年版の書札文例集
31-14	卯十一月講取引控并金子取引控	年月日未詳	横折紙	1通	銀三貫五百四拾七匁 佐野貞蔵他	
31-15	[中嶋屋源介宛千田圓之介書状]	年未詳正月9日	横折紙	1通	年頭の挨拶	包紙あり(包紙上書)「倉敷中嶋屋源介様 千田圓之介 御答」
31-16	[中嶋屋源介宛千田圓之介書状]	年未詳正月15日	横折紙	1通	千田圓之介信(花押)→中嶋屋源介 年始の祝詞として扇子一箱惠贈の御礼	包紙あり(包紙上書)「中嶋屋源介様 千田圓之介」
31-17	[中嶋屋源介宛岡源左衛門書状]	年未詳正月	横折紙	1通	岡源左衛門充■(花押)→中嶋屋源介 正月年頭の挨拶、扇子一箱惠贈に対する御礼	包紙あり(包紙上書)「中嶋屋源介様 岡源左衛門」
31-18	[中嶋屋源介宛石原権平書状]	年未詳正月15日	横折紙	1通	石原権平元■(花押)→中嶋屋源介 新年の祝いのあいさつ、中嶋屋源介に扇子を一箱もらったことの礼	包紙あり(包紙上書)「中嶋屋源介様 石原権平」
31-19	[中嶋屋源助宛かつさや内書状]	年月日未詳	横継紙	1通	土産御礼	(上書)「中嶋や源助様 人々申上候 かつさや内より」
31-20	[新大橋宛惣平書状]	年月未詳23日	横切紙	1通	はま田か紋四郎が知らせるまで出かけるのを待ってくれと頼んでいる	(上書)「新大橋様 不及口同人遣 想平」(裏書)「略封御高免可被下」
31-21	[大橋源介様三宅武右衛門書状]	年月未詳10日	横継紙	1通	母上様病状の報告など	(上書)「大橋源介様 三宅武右衛門」虫損
31-22	[大橋源助宛玉泉寺書状]	年未詳9月20日	横切紙	1通	本家土砂器ノ料物および貴宅本尊修覆料等落手のことなど	虫損あり
31-23	[大橋源助様三宅武右衛門書状]	年未詳4月16日	横継紙	1通	母上へ漢方薬投薬、病状の報告など	略封(上書)「大橋源助様 三宅武右衛門」虫損
31-24	[大橋源介宛書状]			1括り(3通)		31-24-1~3-1括り 縫紐で括る
31-24-1	[大橋源助・喜久太・佐助宛大和屋与兵衛書状]	亥年11月25日	横継紙	1通	状賃銭支払のことなど	包紙あり(包紙上書)「倉敷大橋源介様 貴下 小伝馬町大和屋与兵衛」
31-24-2	[大橋源助宛木村庄兵衛書状]	年未詳11月26日	横継紙	1通	近況の報告など	包紙あり(包紙上書)「備中倉敷大橋源助様 尊下 江戸従 木村庄兵衛」
31-24-3	[中嶋屋源助外三名宛上総屋権平・井上権十郎書状]	亥年11月28日	横継紙	1通	代官など役替まらの通知	包紙あり(包紙上書)「備中倉敷中嶋屋源助様 阪本屋八郎左衛門様 茜屋惣平様 大津屋源之介様 御報 上野[ ]上総屋[ ] 下部破損」(裏書)「亥十一月廿八日 権兵衛」
31-25	[大橋源助宛宅源寺書状]			1包(5通1纏め)		31-25-1~6-1包 包紙に包まれている(包紙上書)「倉敷阿町大橋源助様 新本邑宅源寺」
31-25-1	[大橋源助宛行願院深証書状]	寅年11月2日	横継紙	1通	金子五両借用、十一月迄に返済申し上げるつもりである	包紙あり(包紙上書)「倉子城大橋源介様 貴酬 行願院」(裏書)「従西阜山」
31-25-2	[福嶋屋文吉宛佐々市左衛門書状]	寅年10月23日	横継紙	1通	借用銀子の件確認 年々七俵払込みの件重ねて依頼	
31-25-3	[文助宛市左衛門書状]	年未詳3月14日	横継紙	1通	元銀壹貫目に取向七俵つゝ8年に済ませたきこと	
31-25-4	覚(借用証)	文政元年7月	横切紙	1通	新本邑宅源寺→中嶋屋源助 京都の玉泉寺へ送る銀百五十目の借用証	

31-25-5	覚(銀子・銀札書付)	年未詳9月15日	横切紙	1通	宅源寺→中島屋源助 南鐐26片・札ノ百目	
31-25-6	[大橋源助宛宅源寺書状]			1纏め(3通)		31-25-6-1に31-25-6-2と31-25-6-3が折り込まれている
31-25-6-1	[大橋源助宛宅源寺書状]	年未詳9月13日	横折紙	1通	京都玉泉寺へ銀子を届けるため貴家より万屋へ相談、為替に してもらいたい	
31-25-6-2	[再啓]	年月日未詳	横切紙	1通	依頼していた位牌受取、文字彫料遣すこと	
31-25-6-3	口代	年月日未詳	横切紙	1通	(差出人なし)→中嶋屋源助 梨壺つと届の口上代	
31-26	[大橋源助宛玉泉寺書状]	年未詳6月27日	横継紙	1通	京都玉泉寺が源助に円尾寺と本家への届け物を託したことへの 礼 ならびに送付賃線の支払について相談	包紙あり(包紙上書)「備中倉敷中嶋屋大橋源助様 用事 玉泉寺」 (包紙裏書)「従京都智積院方丈より出」
31-27	[大橋源助宛宅源寺書状]	年未詳9月23日	横継紙	1通	病中不快の由承り祈念申し上げる 京都玉泉寺への送金はお 申し越の予定では間に合わないので万屋本店へ預けてほしい	
31-28	[展開不能]	年月日未詳		1通	上口父上様 口大介 徳口 口蔵	包紙虫損
31-29	[宛名なし某書状]	年未詳8月11日	横継紙	1通	石堤の義につき、下台が中陰の中には完成しないと石工が申し ていること、角台の造営方法についてなど	
31-30	[大橋源助宛宅源寺書状](宅源寺より大橋源助)	年未詳12月27日	横切紙	1通	無心の札と牛蒡・阿波いも送付 本家と観音院へ届けてほしい	虫損大 中に口上一通あり
31-31	[大橋賢兄宛三宅武右衛門書状]	年未詳10月4日	横継紙	1通	銀子について当年も元銀を借り延べしたいこと、当年稲作不熟 で当家も悪作を心配していることなど	(上書)「大橋賢兄 膝下内用 宅武右衛門様」
31-32	[宛名なし某書状]	年未詳3月27日	横継紙	1通	母上様の病状の報告など	宛名・差出人なし 封なし
31-33	記	18年9月18日	横切紙	2枚	小作賃他、商品代金受取の書付	罫紙 虫損
31-34	[植田文四郎宛中島屋源介書状]	卯年4月1日	横継紙	1通	掛銀新札三拾目を入掌頂きたい	(上書)「植田文四郎様 中島屋源介 要用銀札添」 四月朔日の文 四郎から源助に宛てた裏書きがある
31-35	記(人名・金額書付)	年月日未詳	横切紙	1通	一金壹円貳拾三銭 ツル 坂田重三郎 皆済ほか3筆 ノ拾三 円五十三銭	罫紙
31-36	[大橋源助宛三宅武右衛門書状]	年未詳12月1日	横継紙	1通	銀子を指し上げたことにつき、手形に賢兄の名前を認めたので 加判願いたい	
31-37	百人一首	年月日未詳	18.0×14.0	1冊		SILティッシュで包む
31-38	[白紙]	年月日未詳	横折紙	1枚		
31-39	寛政十年戊午正月吉日 田地帳	寛政10年正月吉日	美・横列	1冊	村別田地高の書上	(裏表紙)「新宅 中嶋屋」
31-40	[大橋源助宛三宅武右衛門書状]	年未詳3月14日	横継紙	1通	母上様病状の報告、見舞の鮮魚への返礼	虫損あり
31-41	金子借用証書	明治14年2月12日	縦継紙	1通	借主長次・加判証人阪田重三郎→大橋秀太郎 金九円五拾壹 銭六厘を入用に付き借用	虫損
31-42	[某書状尚々書]	年月日未詳	横継紙	1通	婦女の玉章を田町通に買い求める様に依頼する文 西大寺町 通の病院で見た品「婦女の玉章」という書物を求めてほしいと依 頼	
31-43	[金子請取証]			1袋(6通)		31-43-1~6一袋 (袋上書)「請取書類」
31-43-1	記(金受納証)	明治5年2月	横切紙	1通	武守泰治→東大橋	
31-43-2	請取証	年未詳3月29日	横継紙	1通	三宅半平→大橋秀太郎	
31-43-3	記(借入金・米の返済)	明治16年2月4日	横切紙	1通	新宅徳蔵→本家秀太郎 借りました金・米を返した	
31-43-4	記(借入金返済)	明治14年11月29日	横切紙	1通	新宅徳蔵→本家秀太郎 借りていた金を元利とともに返した	
31-43-5	記(借入金返済)	明治15年3月20日	横継紙	1通	新宅徳蔵→本家秀太郎 借りました金を元利とともに返した	
31-43-6	[銀受取証]	明治15年8月20日	横切紙	1通	大橋秀太郎	
31-44	[大橋源助宛宅源寺書状]	年未詳7月3日	横継紙	1通	智積院にて珍書写取の代銀150目送付依頼 公儀2歩金出来に つき上方では小判相場殊外下値のこと 讃州渡海の借銀行願 院より返済のことなど	包紙あり(包紙上書)「倉子城阿知町大橋源助様 新本邑宅源寺」 (裏書)「京都行御状書通」
31-45	[大橋源介宛書状等]			1括り(1纏め15 通)		31-45-1~16紙紐で一括り
31-45-1	[源介宛善五郎書状]	年未詳6月30日	横継紙	1通	銀子・口米のことについて本家にとりなしてほしい	(上書)「倉敷源介様 貴下 川入善五郎」
31-45-2	[大橋源助宛秋庭五一兵衛書状]	年未詳7月10日	横継紙	1通	中元の御礼、春方借用銀返済猶予願いなど	(上書)「大橋源介様 内用答 秋庭五一兵衛」
31-45-3	[中嶋屋源助宛龍昌院書状]	年未詳閏月7日	横継紙	1通	宅源寺願いの五経、受取りについて	(上書)「中嶋屋源助様 用書 龍昌院」
31-45-4	[中源宛浅五書状]	子年2月4日	横継紙	1通	分家の買い求めにつき、銀壺貫目の無心	
31-45-5	[中島屋源助宛浅原治左衛門書状]	子年11月21日	横継紙	1通	切手代766匁8分の受け取り証	(上書)「中島屋源助様 浅原治左衛門 用答」
31-45-6	口上	年未詳12月大晦日	横継紙	1通	浅原後左衛門→中嶋屋源介 百五十目を届ける口上	(上書)「中島屋源介殿 貴下 浅原後左衛門」
31-45-7	覚(年貢不足銀書込について)	酉年12月大晦日	横切紙	1通	子位庄村名主治左衛門→中嶋屋金平 銀札48匁8分8厘 子位 庄御年貢不足差出請求	
31-45-8	[中嶋屋金平宛子位庄村名主治浅原次左衛門書状]	戌年3月14日	横継紙	1通	子位庄村年貢不足銀受取書の送付について	
31-45-9	寛政十二申暮切手状差引	寛政12年12月~享 和2年3月11日	横継紙	1通	浅原治左衛門→中嶋屋金平 寛政12年暮切手米差引勘定銀14 匁8分6厘取かえ、享和元年子位庄村年貢通知不足差引勘定銀 札13匁8分七厘不足	
31-45-10	口上	子年2月13日	横継紙	1通	五一兵衛→源介 先日願出の銀子をこの人物に渡してほしい	(上書)「中嶋屋源介様 内用 浅原五一兵衛」
31-45-11	[中嶋屋金平宛浅原治左衛門書状]	年未詳3月5日	横継紙	1通	子位庄御所地年貢の未済について	(上書)「中嶋屋金平様 用事 浅原治左衛門」
31-45-12	覚(畑預り分皆済について)	文化7年12月大晦 日	横継紙	1通	浅原後左衛門→中嶋屋源介 36匁去已畑方預り分	
31-45-13	[仲嶋屋源介宛川入嘉一郎書状]	年未詳12月19日	横継紙	1通	年貢納入の延引願い	(上書)「仲嶋屋源介様 川入嘉一郎 急用答」
31-45-14	[中嶋屋源介宛浅原村弥左衛門書状]	年未詳12月27日	横継紙	1通	年貢納入のことなどについて	(上書)「中嶋屋源介様 浅原村弥左衛門 要用」
31-45-15	覚(銀子送付願)	文化4年正月12日	横継紙	1通	本家→新宅 銀子送りの覚	
31-45-16	[出入内済関係書類]	文化13年7月		1纏め(2通)		31-45-16-1と31-45-16-2が重なって折りたたまれていた

31-45-16-1	差上申済口之事	子(文化13カ)年7月	横継紙	1通	松平上総介様御領分窪屋郡軽部村中嶋百姓利忠太より大原四郎右衛門様御代官所同郡倉敷村百姓平蔵へ掛る質入畑地返還の一件について 安永4年亡父平右衛門へ利忠太所地の畑質入銀子借用以来40年前流地になる返還内済御届	宛名・差出人なし
31-45-16-2	出入内済取替し証文之事	文化13年7月	横切紙	1通	伝次兵衛・義次郎→(宛名なし) 内済した事に相違ないこと	
31-46	[源助宛玉泉寺口上]	年月未詳26日	横継紙	1通	徳寿庵へ世話を依頼する文面カ	上部虫損の為文意不詳 SILティッシュで包む
31-47	[大橋源助宛三宅武右衛門書状]	年未詳11月29日	横継紙	1通	利銀送付のこと 手形への加判を願う他	(上書)「大橋源助様 玉案下内用 三宅武右衛門」
31-48	[書状他]			1括り(4通1括り)		31-48-1~5紙綴りで一括り
31-48-1	覚(支払銀勘定書)	年月日未詳	横切紙	1通		
31-48-2	[中嶋屋源介宛浅屋五一兵衛口上]	亥年12月27日	横切紙	1通	借用の六百目、この人にお渡し下されたい 手形は追而差上げのこと	包紙あり(包紙上書)「中嶋屋源介様 浅原五一兵衛 内用」
31-48-3	覚(取替銀受取)	文政10年11月4日	横切紙	1通	平右衛門→源介	
31-48-4	[大黒屋文助宛綿屋清五郎書状]	年未詳10月13日	横継紙	1通	先達而御入来の折、何の「風勢」もなかったことを詫ひる 一条については色々相談におよび心配している 追伸として鳥越氏・石井氏などの釣書あり	
31-48-5	[苗字御免の節取計関係書類他]			1括り(6通)		31-48-5-1~6紙綴りで一括り
31-48-5-1	[苗字覚御免の節陣屋内役人らへの取計い]	安政2年正月	横継紙	1通	一縮緬壹疋 御代官様 一金拾両 下様他 大橋亀次郎より改名大橋源介	
31-48-5-2	[書付](人別金子額書上)	年月日未詳	横継紙	1通		
31-48-5-3	覚	申年	横継紙	1通		(端裏書)「申年歳暮勘割合書付」
31-48-5-4	覚(永納米代銀引渡証)	文政9年8月	横切紙	1通	本家平右衛門→新宅源介	
31-48-5-5	けむかくあんとか口伝	年月日未詳	横折紙	1通	油ぬき鍋釜の金気抜き等の方法	(端裏書)「醤油ぞぶ々々取る法」
31-48-5-6	[大橋源介宛三宅弥平衛門書状]	年未詳正月25日	横切紙	1通	御歎としての贈答品への礼状 一件について状況報告 吉市の件についても「皆様御相談之上」遠からず片づくことを希んでいる他	(上書)「大橋源介様 御報 三宅弥平衛門」(裏書)「略封御免被下候」
31-49	[大橋源助宛上総屋権兵衛・井上権十郎連署書状]	亥年8月11日	横継紙	1通(2枚)		包紙あり(包紙上書)「備中倉敷村大橋源助様 要用 上野広小路上総屋[ ]権兵衛」(包紙裏書)「亥八月十一日認」
31-50	天保改正大増補道中独案内図	天保14年5月	29.0×110.0	1枚	書林江戸日本橋通南一丁目須原屋茂兵衛・大坂九之助橋一丁目秋田屋良助 板元京都六角堂前丁子カ屋源次郎	
31-51	子十一月出入内考	年月日未詳	横継紙	1通	子十一月の取立金、出金の書上 済一銀五拾貫目取立入銀之償十一月迄分等	
31-52	[荷物請取方書類]			1袋(仮1冊3通1枚)		31-52-1~5一袋(封筒上書)「戌十月十一日 綱島氏之分 高松小嶋治郎兵衛より荷物請取方書類入」
31-52-1	覚(諸道具代銀の書付)	年未詳10月11日	横切紙	1通	長刀・三味線・重箱など諸品代銀の書付	封紙あり(上書)「十月十一日中嶋より与彦右衛門へ相渡書付壱通」
31-52-2	綱島書付之内請取残之分書出	年月日未詳	横継紙	1通	長刀・三味線など品々の書付	
31-52-3	諸入用控	年未詳9月8日 10月11日	横折紙	1枚	人足賃の書付	
31-52-4	綱嶋江指返諸道具覚	戌年10月8日	横折・横長	仮1冊	小嶋治郎兵衛→綱島 乗物・長持などの品々引渡し書付	
31-52-5	覚(長刀・長持など諸道具の書付)	年月日未詳	横継紙	1通	綱島泰輔→大橋源助	包紙あり(包紙上書)「書付 綱島より差越候壱通」
31-53	[大橋源介宛的場復斎書状]	年未詳5月11日	横切紙	1通	そちらの一件も落着し、秋には上京なさるとうかがっている	包紙あり(包紙上書)「大橋源助様 用事 的場復斎」(端裏書)「東橋」
31-54	[中嶋屋源介宛海印寺書状]	年未詳6月5日	横継紙	1通	先の参上の際の厚情への礼、遠来の品を恵投下さったことへの礼など	包紙あり(包紙上書)「倉敷中嶋屋源介様 貴下 浪花生玉社内 地藏院」(裏書)「備前并瓦井山 萬徳院出」
31-55	[書状]	年月日未詳	横継紙	1通	母上様の病気について江長武右衛門のすすめにより、琥珀出の熊胆を試すこと	前欠
31-56	覚(代銀受取証)	亥年5月19日	横継紙	1通	坂本屋一川入屋 札150目	
31-57	[大橋源介宛宇山道碩書状]	年未詳3月21日	横継紙	1通	お母上様の病状、全快を祈ることなど	(上書)「大橋源介様 玉机下 宇山道碩」
31-58	[役場への出頭要請]	年未詳6月10日	横切紙	1通	鶴新田村戸長中原熙雄→三島他5名 井路敷米代納入の件協議のため役場へ出頭要請	罫紙
31-59	[大橋源介宛三宅武右衛門書状]	年未詳11月29日	横継紙	1通	銀子三貫五百目を届けるので入掌下されたい	(上書)「大橋源介様 玉机下内用 三宅武右衛門」
31-60	[大橋源介宛宇山道碩書状]	年未詳卯月10日	横継紙	1通	母上病状の報告 それにつき相談があるのでお越し下されたい	(上書)「倉敷大橋源介様 玉机下 江長二而認宇山道碩」
31-61	[大橋源介宛三宅武右衛門書状]	年未詳4月12日	横継紙	1通	母上の体調が快方に向かっていること、お咄の薬を試してみること	(上書)「大橋源介様 拝具 三宅武右衛門」
31-62	[大橋源介宛三宅武右衛門書状]	年未詳卯月25日	横継紙	1通	母上様が船中何事もなく御帰館されたことをおよろこび申し上げます	(上書)「大橋源介様 拝復 三宅武右衛門」 別紙尚書が挟まれている
31-63	[大橋源助宛三宅武右衛門書状]	年未詳3月24日	横継紙	1通	母上様の病状が快方に向かっており、この間は少々ご飯を召し上がったこと、すすめられた薬を試してみることなど	(上書)「大橋源助様 拝復 三宅武右衛門」
31-64	[大橋源助宛宇山道碩書状]	年未詳8月2日	横継紙	1通	母上病状のこと、地藏尊立長石のことなど	(上書)「大橋[ ] 玉机下 宇山道碩」(破損)
31-65	[大橋源助宛宇山道碩書状]	年未詳4月2日	横継紙	1通	母上様が序々に快方に向かっていること、心配事の一件が早く解決するようお祈り申し上げます	(上書)「大橋源助様 宇山道碩 奉酬」
31-66	[大橋源介宛宇山道碩書状]	年未詳7月4日	横継紙	1通	茶漬茶碗・まくらを送ってほしい 母上様の病状のこと	
31-67	口七月御前病氣之節見舞	年月日未詳	横継紙	1通	見舞人と品物の書上	
31-68	[大橋源助宛井上拈十郎書状]	年未詳正月5日	横継紙	1通	村役要用につき依頼	
31-69	[中嶋屋源助宛上総屋権兵衛書状]	年未詳正月	横折紙	1通	年始の挨拶	包紙あり(包紙上書)「倉敷村中嶋屋源助様 参人御中 上総屋権兵衛」(包紙裏書)「亥三月十五日応」



31-70	[大橋源介宛植田利右衛門書状]	年月未詳29日	横継紙	1通	昨七月貸付五両返金御礼	(上書)「大橋源介様 貴答 植田利右衛門」
31-71	[大橋源助・同喜久太・同金平宛大和屋小兵衛書状]	年未詳正月2日	横折紙	1通	年始の挨拶	包紙あり(包紙上書)「大橋源助様 同金平様 参人々御中 大和屋小兵衛」(包紙裏書)「小伝馬町三丁目」
31-72	[大橋源助宛三宅武右衛門書状]	年未詳4月8日	横継紙	1通	母上病状すぐれず大灸を試みたい	(上書)「大橋源助様 拜復 三宅武右衛門」
31-73	[目録](金千疋)	年月日未詳	横折紙	1通	御賀儀 進上 金千疋	
31-74	明治十二己卯十一月記ス 鶴新田亥子丑寅年分小作米書出し帳 東大橋	明治12年11月	横・横半	1冊	小作未進分の書き出し	
31-75	[源介宛女手紙類]			1括り(5通)		31-75-1~5紙紐で一括り
31-75-1	口上	年月未詳14日	縦紙	1通	うたすはは→中しまや源介 うたすに無事到着など旅先の様子を報ず	(上書)「中しまや源介との 用事 うたすははより」(裏書)「十四日九つ」
31-75-2	[十そう源介宛はは書状]	年月日未詳	横切紙	1通(3枚)	先日世話になったことへの礼状	(上書)「十そうとの源介との はは」
31-75-3	[大橋源介・おうめ宛徳次郎母書状]	年未詳2月19日	横切紙	1通	四国参詣されたこと一筆およろこびを申し上げる	(上書)「大はし源介様 おうめ殿 中原徳次郎ははより」(裏書)「二月十九日」
31-75-4	口上	年月日未詳	縦折紙	1通	二郎左衛門はは→源介・代介 旅の報告	(上書)「くらしき源介との 代介との 二郎左衛門ははより」
31-75-5	[大はし旦那宛つ世書状]	年月日未詳	縦紙	1通	四国への船旅の報告・礼状	(上書)「大はし旦那様 まひらせ候 徒世より」
31-76	[覚]			1括り(4通)		31-76-1~4紙綴りで一括り
31-76-1	覚(救恤他出金の書上)	(天保14年カ)	横継紙	1通	金600円 文化7年米値段引立差出分他天保4年~同10年救恤の出金など15筆書上 外に讃岐国直島塩浜新開に出金について	宛名・差出人なし(端裏書)「扣」
31-76-2	覚(上納銀などについて)	辰年6月	横継紙	1通	中嶋屋源介 銀113貫672匁 浅口郡鶴新田普請入用銀出銀辻など3筆書上	(端裏書)「辰六月十四日広田様へ差出候控」
31-76-3	覚(貸銀・小作米棄損分書上)	辰年6月	横継紙	1通	中嶋屋源介→上 銀42貫898匁 文政元年より去卯年まで貸銀滞納により棄損の分57筆分など3筆書上	
31-76-4	覚(献納金・救恤金・新田開発など書上)	亥年5月	横継紙	1通	倉敷村源介→(宛名なし) 米4斗入40俵 文政4年稲作豊熟冥加献納、銀2貫500目 天保6年村方教諭所備金差出など7筆合金235両、銀3貫826匁 米40俵(但4斗入) 浅口郡西之浦前新田開発などについて書上	
31-77	[大橋源介宛惣平書状]	年月日未詳	横継紙	1通	出入勘定についての願い入れ	(表書)「大橋源介様 口口口 惣平」(裏書)「略封御免可下候」
31-78	[書状]			1包(2通)		31-78-1~2一包 包紙で一包(包紙上書)「直嶋役用所二而 大橋源介様 同喜久太 急要用 口共入」
31-78-1	[大橋父上・徳之介宛喜久太書状]	年未詳6月25日	横継紙	1通	直嶋御檢地帳下ゲ渡しについて	包紙あり(包紙上書)「直嶋役所二而 大橋源介様 急要用 全喜久太」(包紙裏書)「口共入」
31-78-2	[脇谷良右衛門宛丹右衛門他3名書状写]	年未詳3月22日	横継紙	1通	丹右衛門にかかる喜久太・平右衛門との銀9貫目のやりとりの出入り一件について	
31-79	[源助宛十蔵書状]	年月未詳27日	横切紙	1通	急入用につき借用依頼	(上書)「源助様 用事 十蔵」
31-80	覚(品物書付)	年月日未詳	横継紙	1通	粕油・くじら油・米・ろうそくなどの品物について	後半部展開不能 虫損多
31-81	[書付]	年月日未詳		1纏め(3通)	畝高書付カ	虫損激しく展開不能
31-82	覚(元大橋・東大橋出金分金高書付)	年月日未詳	横継紙	1通	金拾両 夏目慎一郎他32人 合百四拾五両三歩	虫損甚し
31-83	[覚](出金書付)	年月日未詳	横継紙	1通	元大橋・東大橋出金分	虫損甚し
31-84	[大橋源助宛三宅伝左衛門書状]	丑年4月21日	横継紙	1通	道中遅れ今暮ようやく猶田屋に着いた 軽少の品だが騎一本を追るのでお受け取り下されたい	(上書)「大橋源助様 尊下 三宅伝左衛門」(裏書)「丑四月廿一日 自猶田屋」
31-85	[書付](地場数書上)	年月日未詳	横継紙	1通	合五百七十三	虫損甚し
31-86	[和歌詠草下書]	年月日未詳	横継紙	1通	和歌作成のための下書、添削	虫損多し
31-87	覚	年月日未詳		1纏め(2通)	畝高書付カ	展開不能
31-88	寄(高反別書上)	年月日未詳	縦紙	1通	高合せて反別六町六反十五歩	(端裏書)「石間御内積御書取ノ由」 虫損甚し
31-89	[書状]	年月日未詳		1通		宛名・差出人不詳 展開不能
31-90	[年貢受取証類]			1纏め(11通)		31-90-1~11一纏め
31-90-1	覚(年貢受取証)	子年9月晦日	横切紙	1通	長尾屋金蔵→大崎安吉 亥年貢五拾五匁	
31-90-2	記(年貢受取証)	卯年閏9月11日	横切紙	1通	東大橋→大崎安吉	
31-90-3	記(年貢受取証)	丑年12月4日	横切紙	1通	東大橋→大崎安吉	
31-90-4	記(年貢米受取証)	丑年12月5日	横切紙	1通	東大橋→大崎安吉	
31-90-5	記(年貢受取証)	亥年10月30日	横切紙	1通	東大橋→西の浦安吉	
31-90-6	記(下作売却代金勘定覚)	亥年8月3日	横切紙	1通	長尾屋金蔵→大崎安吉	
31-90-7	覚(年貢受取証)	亥年1月7日	横切紙	1通	東大橋→西大崎安吉	
31-90-8	記(年貢受取証)	丑年9月29日	横切紙	1通	東大橋→大崎安吉	
31-90-9	覚(年貢受取証)	丑年12月29日	横継紙	1通	長尾屋金蔵→大崎安吉	
31-90-10	覚(下作代受取証)	亥年9月29日	横切紙	1通	長尾屋金蔵→大崎安吉	
31-90-11	記(年貢受取証)	子年正月8日	横切紙	1通	長尾屋金蔵→大崎安吉	
31-91	[大橋源助宛宅源寺書状]	年未詳8月4日	横切紙	1通	木綿不熟のため下作入方計り難く、当暮皆済覚東なく、念のため申上置くこと	前欠 虫損甚し SILティッシュで包む
31-92	[大橋源介宛宅源寺書状]	年未詳正月20日	横継紙	1通	牛蒡差上げのこと	(上書)「中嶋屋源介様 宅源寺 外風呂敷包壱牛蒡一添」 虫損 SILティッシュで包む
31-93	[取替元銀書付]	辰年6月		1括り(2通)		31-93-1~2紙綴りで一括り
31-93-1	覚(取替元銀書付)	辰年6月	横継紙	1通	中嶋屋源助 享和年中より 川入名主嘉一 部分四百五拾貳匁 他	虫損 (端裏書)「辰六月十[ ] [ ]代官藤方彦市郎[ ]」

31-93-2	覚(取替元銀書付)	辰年6月	横継紙	1通	中嶋屋源介 享和年中より 西尾弥平分五百八拾五匁他	虫損
31-94	[容跡のうかがい書]	年月日未詳	横継紙	1通	食事・病気の症状について記入	
31-95	[大橋源助宛三宅武右衛門書状]	年未詳3月17日	横継紙	1通	母上様の病状お尋ねにつき、少しは快方に向かっていること、今日はご老人様とおます女がお出でになられ、母人様も喜んでいこと、お土産を下されたことへの礼など	(上書)「大橋源助様 口 三宅武右衛門」
31-96	[大橋源介宛福島春作書状]	年未詳3月朔日	横継紙	1通	借金返済上の出入についての助言	(上書)「大橋源介様 内用答 福島春作」
31-97	口上	年未詳6月29日	横継紙	1通	この僧は新本西明寺弟子で当寺へ滞在中であるが、やはり目が治らず難儀している ご覧の上、良い薬があれば与えてほしい	(上書)「中嶋屋新宅大橋源助様 玉泉寺」 虫損
31-98	[源助宛健書状]	年未詳2月28日	堅切紙	1通	金子を届ける 薪代書付も添えたので、しかるべく御算用下されたい 今日時間があればお越し頂けないか	
31-99	[大橋源助宛玉泉寺書状]	年未詳5月26日	横継紙	1通	観音様再興に付、仏師より五十目にて了承のこと	虫損あり
31-100	覚(米麦買切手)			1包(8通)		31-100-1~8一包 包紙で一包(袋上書)「年々板定取次ニ而米麦買切手有之候得共当分又々此方書付ニ而売払候故此分」(袋裏書)「出入無之候故此方売切手先方ニ残し居申口付此書付控置候」 破損大
31-100-1	覚(帯江米買切手)	文化14年7月3日	横継紙	1通	西原屋良右衛門→板屋定八 帯江御蔵米百五拾俵	包紙あり(包紙上書)「帯江蔵米五拾石買切手 板谷定八取次 十月晦日請取管」(包紙裏書)「此米五拾石売戻し立用相済候」
31-100-2	覚(新麦買切手)	寅年3月9日	横切紙	1通	太田屋→板屋定八 新麦式拾石	包紙あり(包紙上書)「寅三月九日 中買定八 麦安式拾石 買仕切入銀渡し置」
31-100-3	覚(麦売付)	丑年3月7日	横切紙	1通	西原屋良右衛門→板屋定八 麦安式拾石	
31-100-4	覚(早嶋御蔵米買切手)	丑(文化14)年8月9日	横継紙	1通	西原屋良右衛門→板屋定八 早嶋御蔵米百五拾俵	包紙あり(包紙上書)「早嶋蔵米五拾俵買切手 取次板屋定八 十月晦日限請取管」(包紙裏書)「此米売渡し立用相添候」
31-100-5	覚(帯江御蔵米買切手)	亥年8月22日	横継紙	1通	西原屋良右衛門→板屋定八	包紙あり(包紙上書)「帯江御蔵米五拾石買場書入 亥八月廿二日 板屋定八取次 当十月晦日限り」(包紙裏書)「此米売払相添候」
31-100-6	覚(帯江御蔵米買切手)	丑年8月7日	横切紙	1通	西原屋良右衛門→紋内屋新兵衛 帯江御蔵米百五拾俵	包紙あり(包紙上書)「帯江米五拾石買切手 備中より新兵衛取次 本家重蔵半分持 但し銀八此方より取替置 十月晦日切請取管」(包紙裏書)「此米売戻し立用相済候」
31-100-7	覚(帯江新御蔵米買切手)	文政3年8月14日	横切紙	1通	武路屋千蔵→板屋定八 帯江新御蔵米 先麦御切手五拾石	(封紙上書)「当帯江御蔵米五拾石切手 辰六月十四日 板屋定八 十一月切取引」
31-100-8	覚(帯江御蔵米買切手)	卯年7月28日	横継紙	1通	西原屋良右衛門→板屋定八 帯江御蔵米百五拾俵	包紙あり(包紙上書)「帯江蔵米五拾石買切手 卯十月晦日取引之約束 卯十月廿七日 取次板屋定八」
31-101	[大橋源介外二名宛大和屋国兵衛書状]	年未詳12月21日	横継紙	1通	来春は高利相場にて惣平重蔵共故障もなきこと	包紙あり(包紙上書)「大橋源介様 机下 大和屋国兵衛」(端裏書)「源介様」
31-102	山形富次郎足下二答フ	年月日未詳	半・縦	1冊	新報第三百八号掲載の山形富次郎の地方税・地価等に関する論文への意見(山陽新報社(カ)への寄稿と思われる)	罫紙
31-103	回章(浅口郡鶴新田村地持条約書決議)	明治13年6月27日	半・縦	1冊	地価千円以上の所有地持集条約	罫紙
31-104	売買地券御書換願	明治14年1月	半・縦	1冊	大橋秀太郎他3名→児島郡長尾形蔵彦 土地売買による地券の書換之願 売渡人 大橋秀太郎 買受人 前田善作・多賀鹿太郎・小寺元三郎等三人	罫紙
31-105	差出金いたすもの書面帳	年月日未詳	半・縦	1冊	諸書類の雛型	
31-106	回状	年未詳9月	半・縦	1冊	倉敷役所→倉敷村外六ヶ村役人 質素節検を促す条々	
31-107	口達之趣意	年月日未詳	半・縦	1冊	街道筋助郷村への救済について	
31-108	売渡申地所之事	天保3年3月	縦紙	1通	鶴新田庄屋弥平次・同後見源助→金平 反別ノ九反畝廿七歩 代銀ノ三貫貳百拾貳匁	包紙あり(包紙上書)「辻地証文書通 金平」 質入証文を包紙にしている
31-109	乍恐以書付奉申上候	亥年7月	縦紙	1通	倉敷村源助→大草太郎右馬役所 西川御銀札員数取調につき報告	(端裏書)「亥七月十九日差出ス」
31-110	諸願窺届	明治12年10月	半・縦	1冊	大橋秀太郎・石原兼吉→児島郡長尾形蔵彦 「荒地起返地券御書換願」	とじ紐がゆるみ表紙がはがれている為SILティッシュで包む 留帳であるが内容は一件のみ 罫紙
31-111	御触書写			1袋(4冊)		31-111-1~4一袋(袋上書)「御触書写」
31-111-1	御触書写	辰年正月	半・縦	1冊	倉敷役所→各村庄屋 近年諸向困窮につき金銭貸借・利足などのあつかいにつき在町方への触の廻状写し	
31-111-2	讃岐国御恵浜開発人御賞美願書	寅年5月	半・縦	1冊	倉敷村年寄源介三名の永々苗字帯刀御免の願い出 讃岐国直嶋庄屋源左衛門・倉敷村年寄大橋平右衛門	本文標題「讃岐国直嶋源左衛門外式人御賞美願書」
31-111-3	[讃岐国直嶋源左衛門外式人御賞美願書写]	天保13年6月5日	半・縦	1冊	教諭所相続方・新田開発・貧民救済・西丸御普請に金百七拾五両上納など実直の者である 年寄源助寅五拾九匁	31-111-2の源介の項の写し
31-111-4	[讃岐国直嶋源左衛門外式人御賞美願書写]	年月日未詳	半・縦	1冊		31-111-2の平右衛門・源介の項の写し
31-112	[ ]人分差越候書類			1袋(仮1冊55通6纏め)		31-112-1~62一袋(袋上書)「巳年 口人分差越候書類」 虫損甚し
31-112-1	[人別金額書付]	年未詳5月29日 6月1日	14.8×38.5	1通	旧五月廿五日 一金五円八拾四銭 ツル 藤井菊介他	罫紙
31-112-2	証(金銭精算書)	年未詳旧2月22日	横切紙	1通	高見和平次→東大橋	
31-112-3	記(金銭書付)	14年10月5日	横切紙	1通	十三郎→東大橋	
31-112-4	[巳年分不足金書付]	午年3月27日	13.9×3.3	1通	西村芳五郎の巳年分不足金書付	罫紙
31-112-5	記(証書入之内へ入)	午年11月16日	13.6×14.0	1通		罫紙
31-112-6	記(金銭精算書)	午年11月12日	13.6×10.4	1通		罫紙

31-112-7	[元金書上]	午年10月17日	13.6×5.9	1通	西村元次郎	罫紙
31-112-8	証(領収書)	年未詳7月22日	横切紙	1通	志っ屋伊郎蔵→(宛名未詳)	上部破損
31-112-9	山畑年貢	年月日未詳	13.6×6.7	1通	三斗久次郎預り置	罫紙
31-112-10	[鶴蔵上り地分裏毛代金]	年月日未詳	13.6×6.4	1通	西村諸作入多次郎	罫紙
31-112-11	記(巳年分山畑麦年貢不足利分書付)	午年8月26日	13.7×10.6	1通	西村広之介分	罫紙
31-112-12	記(山畑麦年貢代金)	年月日未詳	13.8×6.5	1通	西村広之介	罫紙
31-112-13	記(引渡し代銀明細書)	明治15年3月15日	横折紙	1通	高見和乎次→東大橋	罫紙
31-112-14	記(巳年不足金書付)	年月日未詳	13.7×13.5	1通	西村常太郎及び同役介分	罫紙
31-112-15	[四月十八日勘市取立帰りの書抜]	年月日未詳	横切紙	1通		
31-112-16	記(巳年分金銭精算書)	午年4月6日	13.7×27.0	1通	西村庄三郎分他4筆	罫紙
31-112-17	記(代金請取)	明治15年3月16日	横切紙	1通	北新宅→東本家	
31-112-18	記(北大橋様江渡分の金銭書付)	年月日未詳	13.7×7.0	1通		罫紙
31-112-19	記(巳年分不足金勘定書付)	午年3月13日	13.7×18.8	1通	川西町佐吉分他2筆	罫紙
31-112-20	記(巳年分入金勘定書付)	午年3月3日	13.7×19.2	1通	西村鶴蔵分他3筆	罫紙
31-112-21	記(金銭勘定書)	年月日未詳	横切紙	1通	一金拾五円 鶴渡辺林之丞他5筆	
31-112-22	記(巳年分入済金勘定書付)	午年2月24日	13.7×16.2	1通	本村幸吉他2筆	罫紙
31-112-23	記(土蔵修繕二付買物代銀及び夫役人数書付)	年月日未詳	横継紙	1通		
31-112-24	[人別巳年済金書付]	明治15年2月17日	半・横長	仮1冊		
31-112-25	[明治十五年二月一八日横山久次郎ヨリ取立差越証券面]	年月日未詳	横継紙	1通		
31-112-26	記(入済金書上)	年月日未詳	14.0×56.8	1通		罫紙
31-112-27	記(巳年分入済金・辰年分不足金勘定書)	午年2月17日	13.7×53.5	1通	西村文十郎分他13筆	罫紙
31-112-28	記(巳年分入済金勘定書)	午年2月16日	13.7×34.0	1通	西村源介分他7筆	罫紙
31-112-29	証(巳年不足入済にお願申上金書上)	午年12月14日	13.7×15.3	1通		罫紙
31-112-30	記(巳年分入済金勘定書)	午年2月12日	13.7×34.2	1通	西村幸吉分他7筆	罫紙
31-112-31	[辰・卯年不足関係書類]			1纏め(5通)		31-112-31-1~5一纏め SILティッシュで包む
31-112-31-1	記(辰年不足の内へ入金)	年月日未詳	14.6×11.6	1通	川入千代蔵・大内光太郎	罫紙
31-112-31-2	記(辰年不足御勘弁入済に願)	年月日未詳	14.6×8.4	1通		罫紙
31-112-31-3	記(拝借金子の内へ受取願)	巳年10月18日	14.6×12.2	1通	川入久次郎→東大橋	罫紙
31-112-31-4	記(辰・卯年不足入済銀)	年月日未詳	14.6×26.5	1通		罫紙
31-112-31-5	記(辰年不足御歎申上)	年月日未詳	14.5×21.3	1通		罫紙
31-112-32	[巳年分入金書付]	年月日未詳	13.7×5.9	1通	大内庄九郎分	罫紙
31-112-33	記(辰年分不足金書付)	巳年12月7日	13.7×10.9	1通	大内為介分	罫紙
31-112-34	記(辰年分不足金勘定書)	巳年10月31日	13.7×12.0	1通	西村与三兵衛分他1筆	罫紙
31-112-35	証(済金勘定書)			1纏め(2通)		31-112-35-1~2まで重ねて巻かれている
31-112-35-1	証(卯年・辰年分済金勘定書)	年未詳10月29日	横継紙	1通	大梵栄吉分他9筆	
31-112-35-2	証(卯年・辰年分済金勘定書)	年未詳10月29日	横継紙	1通	大梵幸四郎分他12筆	
31-112-36	倉夫役覚	年月日未詳	横切紙	1通		
31-112-37	記(巳年分入済金勘定書)	年未詳1月30日	13.7×18.6	1通	川入長五郎分他2筆	罫紙
31-112-38	記(巳年分入金書付)	午年1月15日	13.7×5.5	1通	川入虎吉分	
31-112-39	記(辰年分入済金勘定書)	年未詳1月21日	横切紙	1通	矢柄年松分他6筆	
31-112-40	証(辰年分相済金書上)	年未詳11月23日	横継紙	1通	利光蔵	
31-112-41	[人別稲・綿量書付]	年月日未詳	横折紙	1通		
31-112-42	[作田畑不足につき勘弁願など]			1纏め(2通)		31-112-42-1~2一纏め SILティッシュで包む
31-112-42-1	証(御役介様になる残金元利共請取願)	巳年11月30日	13.7×16.6	1通	川入久次郎→東大橋	罫紙
31-112-42-2	記(作畑綿不作につき勘弁願)	年月日未詳	13.5×10.6	1通	川入久次郎	罫紙
31-112-43	記			1纏め(3通)		31-112-42-1~3まで重ねて巻かれている
31-112-43-1	記(卯年分・辰年分入済金勘定書)	年月日未詳	横継紙	1通	西之浦多郎松分他9筆	
31-112-43-2	記(辰年分不足金書付)	巳年12月22日	13.7×10.5	1通	西村友平分	
31-112-43-3	記(巳年分入金書付)	巳年12月20日	13.7×13.1	1通	川入久次郎→東大橋 子位庄村元次郎分	
31-112-44	記(巳年分の内へ入)	年月日未詳	13.6×7.2	1通	川入弥右衛門より	罫紙
31-112-45	証(納米書上)	年未詳1月13日	横切紙	1通	高見和乎二→大橋	上部破損
31-112-46	小作人名前切替願	巳年4月	14.6×45.5	1通		罫紙
31-112-47	[間杭百本代ほか]			1纏め(3通)		31-112-47-1~3一纏め SILティッシュで包む
31-112-47-1	記(証書入の内へ入)	午年11月26日	横切紙	1通	大内若松・西村元次郎	
31-112-47-2	記(間杭百本代)	年未詳4月24日	横切紙	1通	大黒屋伊兵衛→長保栄次郎	
31-112-47-3	覚	年月日未詳	横切紙	1通	中口屋岩吉→長安	
31-112-48	[午年分入金書付]	未年1月13日	13.7×5.7	1通	川入弥右衛門分	罫紙
31-112-49	記(人別納石数勘定書)	年月日未詳	横切紙	1通		虫損甚しく人名不祥な箇所多し SILティッシュで包む
31-112-50	[午年分入済金書付]	未年1月25日	13.7×5.0	1通	大内李四郎分	罫紙
31-112-51	[午年分入済金書付]	未年1月29日	13.7×5.2	1通	川入長五郎分	罫紙
31-112-52	[午年分入済願金書付]	年未詳3月20日	13.7×6.6	1通	西村坂右衛門分	罫紙
31-112-53	[裏毛地株代金書付]	丑年1月27日	13.7×6.3	1通		罫紙 上部破損
31-112-54	証(午年分入金勘定書及び米俵数書付)	年月日未詳	横折紙	1通	西村庄三郎分他10筆	
31-112-55	記(入済精算書)	年月日未詳	13.6×19.2	1通	未二月廿日入 本村幸吉分金式円他	罫紙

31-112-56	記(入済精算書)	年月日未詳	13.6×14.7 13.6×4.7	1纏め(2通)	未二月十七日入 本村幸吉分金貳円他	罫紙
31-112-57	記(入金書付)	年月日未詳	横継紙	1通	ツル加藤亀十郎分金七円税七銭八厘他	上部破損
31-112-58	[記(不足金書付)]	年月日未詳	13.6×7.3	1通	未三月十四日西村徳太郎分金四円	罫紙
31-112-59	記(入金書付)	年月日未詳	12.1×5.2	1通	未一月三十一日入 川入虎吉分金拾七円	罫紙 下部破損
31-112-60	記(受取証)	年月日未詳	横切紙	1通	大黒屋伊蔵→[ ]菊治郎 五寸釘五拾本代金他	上部欠損
31-112-61	記(入金書付)	年月日未詳	13.6×12.1	1通	午十二月八日大内松蔵金八円他	罫紙
31-112-62	[記(入金書付)]	年月日未詳	13.8×5.6	1通	午二月六日 大内小右衛門より入金七円	罫紙
31-113	[沖新開堤築入用銀請取]			1包(1冊2通)		31-113-1~3一包 (包上書)「辰三月 辻地算用書付并掛御請取書金平分式通入」
31-113-1	覚	天保3年3月1日	美・横長	仮1冊	鶴新田庄屋弥平次・同後見源助→開発人金平 沖新開堤築立入用銀の受取	
31-113-2	覚	天保3年4月	横折紙	1通	鶴新田庄屋弥平次・後見源助→金平 沖新開堤・延太・金平請負の内為替受取	
31-113-3	覚	天保3年4月	横折紙	1通	鶴新田庄屋三宅弥平次・同後見源助→開発人金平 沖新開堤築立入用銀の受取	
31-114	天保十二辛丑年七月 中須賀貸家普請入用控	天保12年7月	美・横長	1冊	石工・大工賃他入用書上 惣合貳貫貳匁貳分五厘 嘉永四年貸家裏に庶付入用を記す	
31-115	[大橋源助宛秋岡半左衛門書状]	年未詳10月11日	横継紙	1通	徳次郎と山北宿名主の娘との縁談について	(上書)「大橋源助様 貴下御要用 秋岡半左衛門 不許他見」
31-116	本堂修繕願書之写 御庵室五流尊瀧院	明治15年1月19~31日	19.0×14.0	1冊	尊瀧院住職宮家隆興他3人→児島郡長尾形蔵彦	
31-117	本堂再建募縁 御庵室五流尊瀧院	年月日未詳	19.0×14.0	1冊	御庵室五流尊瀧院法主宮家隆興	
31-118	[米納入書上]	年未詳11月	美・横長	仮1冊	柏原捨松式儀三斗式升他	
31-119	[証書類]	天保3年3~4月		1袋(2包)	地所譲渡のこと	31-119-1~2一袋 (封筒表書)「天保三辰年 天保開延太金平兩人持地所村辻より買取候証文書通 米屋伊左衛門より買取候分書通」封筒の虫損甚しいためSILティッシュで包む
31-119-1	[証書類]	天保3年4月		1包(2通)	新堤築立の入用につき地所売払	31-119-1-1~2一包 包紙に一包 (包紙上書)「証文書通」
31-119-1-1	引渡申地所之事	天保3年4月	縦継紙	1通	鶴新田庄屋弥平次・同後見源助・開発人惣代後吉他2名→延平・金平 新堤築立入用のため地所三町貳反九畝三步売渡し	
31-119-1-2	引渡申地所之事	年月日未詳	縦切紙	1通		31-119-2の下書
31-119-2	[証書類]	天保3年3月		1包(2通)	地所譲渡について	31-119-2-1~2一包 包紙に入っている (包紙上書)「天保三年辰三月 西ノ浦伊左衛門」
31-119-2-1	譲渡申地所之事	天保3年3月	縦継紙	1通	譲主西之浦伊右衛門→倉敷金平・上成延太 四町七畝拾六歩(鶴新田之内沖新開字四之割より八之割迄辻地之外不浅) 代銀拾三貫二百四拾四匁八分二厘	
31-119-2-2	覚(譲渡代銀書付)	辰年3月	横継紙	1通	西之浦伊左衛門→上成延太・倉敷金平 四町七畝拾六歩 代銀拾三貫二百四拾四匁八分二厘	31-119-2-1に挟まれている
31-120	土木規則	明治16年4月~17年9月4日	縦折紙	仮1冊	明治16年4月当県甲第貳十七号土木規則及び明治17年9月4日第十四条追加	罫紙
31-121	[中疇土蔵入用請取書類]			1袋(1冊5通1括り)		31-121-1~7一袋 (上書)「嘉永五壬子年十一月十六日 中疇土蔵入用増右衛門後工請取書入 外二岡山瓦師注文并河五岩石工仙吉注文入 此分増右衛門屋敷二建置候土蔵入用請取書故後年迄入用二御座候」
31-121-1	嘉永五子六月より 土蔵諸入用書出し帳 中疇木屋益右衛門	嘉永5年6月	美・横長	1冊	人夫賃・諸道具代の書上	
31-121-2	覚(瓦入用銀)	子年5月25日	横継紙	1通	瓦師源二郎→倉敷大橋 瓦入用銀の書上	
31-121-3	[瓦数書上]	子年4月2日	横切紙	1通	佐野屋久吉→(宛名なし) 平式千枚・丸千枚・からくさ90枚・丸千枚	
31-121-4	[覚(瓦みがき賃)]	年月日未詳	横切紙	1通	中屋蔵平丸千枚二付みがき百目 辺唐草百枚二付廿五匁	宛名・差出人なし
31-121-5	覚(瓦代銀)	子年4月4日	横継紙	1通	瓦師源太郎→東大橋 納品瓦書上	
31-121-6	[石請取書類]			1括り(4通)		31-121-6-1~4紙紐で一括り
31-121-6-1	覚(石請取)	年未詳4月5日	横切紙	1通	川五岩石工→くらしき中島屋 石請取状	
31-121-6-2	覚(石請取)	年未詳5月13日	横切紙	1通	増右衛門→岡本屋源吉 長石請取状	
31-121-6-3	覚(石代銀)	子年5月17日	横切紙	1通	川五岩千吉→くらしき中島屋	
31-121-6-4	覚(石請取)	年未詳5月2日	横切紙	1通	木屋増右衛門→岡本屋源吉 九十二石、割石四十六を請取	
31-121-7	覚(土蔵普請諸道具)	子年11月12日	横継紙	1通	益右衛門→源助	
31-122	本堂再建募縁	年月日未詳	19.0×14.0	1冊	尊瀧院の本堂再建に際して寄付を求める 御庵室五流尊瀧院法王宮家隆興の書	
31-123	[年貢米通類]			1袋(12通)		31-123-1~12一袋 (袋上書)「小作米金受取 大橋 鶴児島銀次郎殿」(袋裏書)「巳歳暮請取」
31-123-1	[十六年未之分年貢受取通]	(明治)16年	美・横長	1冊	金5円90銭 申1月28日入 大内文介 未年分入済他22筆 合67円84銭6厘	宛名・差出人なし
31-123-2	記(年貢米皆済金)	明治17年2月18日	横切紙	1通	高見和平二→東大橋 金2円森長重太郎 未年貢米皆済他4筆 合25円93銭	
31-123-3	[覚(金銭書付)]	年月日未詳	横切紙	1通	3円 永田慶一郎他1筆	宛名・差出人なし
31-123-4	[覚(金銭書付)]	年月日未詳	横継紙	1通	2円85銭 三宅豊蔵他4筆 〆15円86銭	宛名・差出人なし

31-123-5	証(材木間数・本数・人名書上)	年月日未詳	横継紙	1通	四間4本・八尺7本小寺相治郎、四間5本・八尺5本松浦周吉など 27筆書上	宛名・差出人なし
31-123-6	[覚(畑方小作米代金)]	年月日未詳	横切紙	1通	畑分7斗2升6合6勺 次平他1筆 〆6円30銭	罫紙 宛名・差出人なし
31-123-7	[覚(年貢米代金)]	年月日未詳	横切紙	1通	金4円 申4月10日入 未年分之内 西村甚五郎より入	
31-123-8	記(年貢米支払いについて)	申年閏4月10日	横切紙	1通	高見和平治→東大橋 金9円21銭八厘 他1筆 〆10円71銭8厘	
31-123-9	証(年貢米代金納入)	年未詳旧閏5月8日	横切紙	1通	高見和平次→東大橋 見持兼三郎他2名 計5円50銭	
31-123-10	記(年貢米代金書付)	申年12月7日	13.6×10.8	1通	川入惣十郎 金10円 他1筆 〆12円	罫紙
31-123-11	[年貢米代金書付]	年月日未詳	14.7×5.1	1通	西村文四郎 金1円70銭	罫紙
31-123-12	[年貢米代金書付]	年月日未詳	14.7×4.8	1通	本村幸吉 金1円88銭9厘	罫紙
31-124	譲り渡申地所之事	天保3年10月	縦紙	1通	上成小野延太・証人同所佐太郎→倉敷中島屋金平 鶴新田庄 屋三宅弥平次後見源介の奥書あり	袋あり(袋上書)「沖新開買取証文書通 上成村延太」
31-125	[定米納入勘定覚]	年月日未詳	美・横長	仮1冊	大崎・鶴など見ゆ	
31-126	鶴新田 子丑両年分未進抜粋 東大橋	年月日未詳	半・横長	1冊		破損甚し
31-127	[小作地高反別書上]			1袋(仮1冊3通)		31-127-1~4一袋 (袋上書)「口四卯年 口分本帳下帳式冊入 口寛政開并化政共巻冊 天保開分巻冊 此分写シ相済不用之分」袋破損大のためSILティッシュで包む
31-127-1	覚(小作地高反別・小作米書上)	年月日未詳	横継紙	1通	8筆の小作地の預ヶ畝・小作米の書上 預ヶ畝合壹町五反五畝 拾壹歩 小作米合拾八石三斗壹升貳合	上部破損大
31-127-2	[小作高書上]	年月日未詳	横切紙	1通		上部虫損
31-127-3	[懸り米金書上]	年月日未詳	横継紙	1通	卯・辰年の懸り金・米の書上	上部破損
31-127-4	[天保開分高反別小作米書上]	年月日未詳	美・横長	1冊	天保開分之土地について、高反別・小作畝・小作米の書上	破損大
31-128	[証券類]			1袋(1冊12通)		31-128-1~13一袋 (袋上書)「明治十五年分小作米代金 堀井安太郎へ証金取立候小作人書類在中」
31-128-1	[小作米代金不足分書上]	16~17年	美・横長	1冊	川西町富篠庄平外 16-17年不足金書上	
31-128-2	小作証券	明治15年5月31日	縦紙	1枚	新田小作人松尾利三郎・証人松尾此三郎→大橋秀太郎 窪屋 郡倉敷村未新田六ノ割壹反廿五歩を預り米壹石九升にて小作 のこと	
31-128-3	借用証文之事	明治17年2月15日	27.8×19.6	1通	負債主岡本武吉・証人岡本忠右衛門→窪屋郡倉敷村大橋秀太 郎 金五円四拾七銭四厘を月利貳歩にて借用	罫紙 (端裏書)「旧五月切 岡本武吉」
31-128-4	借用証券	明治16年5月16日	縦紙	1通	窪屋郡子位庄村借用主中村又八・証人加判同村中村元次郎→ 窪屋郡倉敷村大橋秀太郎 金貳円を月利貳歩にて借用のこと 窪屋郡子位庄村小作人大角泰次郎・証人大角萬作 畑九畝二 十七歩 御預ヶ米壹石壹斗三升八合五勺	(端裏書)「旧七月切 口村中村又八」
31-128-5	小作証券	明治15年4月4日	縦紙	1通	子位庄村負債主岡田紋介・証人同村岡田紋次郎→窪屋郡倉敷 村大橋秀太郎 金貳円五拾三銭を月利貳歩にて借用のこと	(端裏書)「子位庄村大角泰次郎」
31-128-6	借用証文之事	明治17年3月7日	27.8×19.6	1通	窪屋郡子位庄村借主岡田紋助→窪屋郡倉敷村大橋秀太郎 金 九円七拾三銭	罫紙 (端裏書)「西村岡田紋介 旧五月切」
31-128-7	借用証	明治17年5月24日	27.8×13.6	1通	子位庄村借用主川崎力松・証人井笹元吉→窪屋郡倉敷村大橋 秀太郎 金三円	罫紙
31-128-8	金子借用証券	明治16年5月1日	27.8×13.6	1通	子位庄村小作人中村多二郎・証人岡本茂作→倉敷村大橋秀太 郎	罫紙 (端裏書)「川崎力松 証人元吉」
31-128-9	小作請切証文之事	明治16年3月	27.8×13.6	1通	小作人藤原彦市・証人藤原多平→大橋秀太郎 備中窪屋郡倉 敷村東四割田壹反貳拾貳歩	罫紙 (端裏書)「西村多二郎」
31-128-10	小作証券	明治18年4月7日	縦紙	1通	借用主齋藤庄平他1名→大橋秀太郎 一金六円五拾銭を月利 二歩にて借用のこと	(端裏書)「十八年小作証券」
31-128-11	借用証券	明治16年5月4日	縦紙	1通	貳円五拾銭 新田徳一郎他 金受取の覚	(端裏書)「齋藤庄平 旧五月限」
31-128-12	金受取記	年月日未詳	横切紙	1通	児島郡粒浦村藤原治三郎 田壹反廿五歩 預り米壹石九升	
31-128-13	小作証券	明治16年4月	縦紙	1通		(端裏書)「十八年 小作証券 児島郡粒浦村藤原治三郎」
31-129	神事預り金			1袋(9通1纏め)		31-129-1~10一袋 (袋上書)「神事預り金」
31-129-1	覚(十二ヶ郷一係関係費用の受取)	(明治)16年1月12日	横継紙	1通	鷺江勝六→大橋秀太郎 〆六拾七銭九厘	
31-129-2	[賃銭書付(照明・母衣子仕立代他)]	年月日未詳	横継紙	1通		
31-129-3	覚(松木代金)	年未詳10月30日	横切紙	1通	酒津大石屋松吉→東大橋 松木十八 三百 代五円四拾銭	
31-129-4	[証書類]			1纏め(2通)		31-129-4-1~2一纏め 31-129-4-1に31-129-4-2が折り込まれている
31-129-4-1	記(初穂料受取)	明治14年10月23日	横切紙	1通	神官小野尉→阿知町当番御衆 金貳拾五銭	
31-129-4-2	記(金銭受取証)	午年10月4日	横切紙	1通	小松屋慶太郎→大橋秀太郎 金拾三円拾壹銭六厘	
31-129-5	記(杭木・抜木代)	明治15年7月	横継紙	1通	新宅大橋徳蔵→本家大橋秀太郎	
31-129-6	[書付(畑方地券税)]	年月日未詳	13.5×26.0	1通		罫紙
31-129-7	記(一貫社済合講落札金)	明治14年12月2日	横切紙	1通	年番幹事大橋吉蔵→大橋秀太郎 一貫社済合講落札金御渡	
31-129-8	記(品物代金送付書付)	年未詳10月29日	横継紙	1通	松洞→徳蔵 書画・筆代等立替分 計七拾五銭送付について	
31-129-9	記(受取証)	(明治)15年4月8日	22.8×31.0	1通	幹事羽栗純次→大橋秀太郎 汐川浚鑿費への寄付金	罫紙
31-129-10	汐川浚鑿費寄附御願	明治5年3月	25.0×34.8	1通	大橋秀太郎・戸長植田鶴治郎→窪屋郡長林孚一	罫紙

31-130	[裏隠居普請関係]			1袋(1冊1括り)		31-130-1~2一袋 (袋上書)「天保十四癸卯年 裏隠居普請入用書類入」虫損
31-130-1	天保十四卯年七月より 裏隠居普請入用ひかへ	天保14年7月	美・横長	1冊	金額・費目の書上 三貫三百四匁九分三厘を弥吉に渡す 惣合五貫四百三拾八匁六分三厘	
31-130-2	[代金書上・間取図]			1括り(4通)		31-130-2-1~4紙紐で一括り
31-130-2-1	[間取図]	年月日未詳	縦紙	1通		
31-130-2-2	覚(費用書上)	卯年12月	縦紙	1通	庄吉→東中嶋屋 〆五百三拾貳匁貳分(人足・つち・わら代他)	
31-130-2-3	覚(代金書上)	卯年6月14日	横折紙	1通	しやくわん庄屋→東中嶋屋 惣〆四百六拾目(人足・なわ・らら他代)	
31-130-2-4	覚(代金受取)	卯年12月	縦切紙	1通	大工弥吉→東中嶋屋 惣〆貳貫七百七拾貳匁七分三厘	
31-131	天保十五辰年五月改 於保恵	天保15年5月~嘉永5年	美・横半折	1冊	銀出入書付	
31-132	[夫銭手形書類関係]			1括り(3冊1括り)		31-132-1~4一袋 (袋上書)「嘉永三庚戌年 夫銭手形書類一切入」
31-132-1	嘉永三戌年十二月 夫銭手形摺立其外小入用割賦帳	嘉永3年12月	半・横長	1冊		(帳面裏)「引替会所」
31-132-2	夫銭手形引請方 当分申定書	嘉永3年11月	半・縦	1冊	夫銭手形貳百貫目摺立につき27軒へ割合の規定	植田武右衛門・大橋平右衛門他25人連署
31-132-3	夫銭手形質物議定	嘉永3年11月	半・縦	1冊	手形引請人の質物書上と議定書	植田武右衛門他26名連署
31-132-4	[手形引替相談関係]			1括り(3通)		31-132-4-1~3紙綴りで一括り
31-132-4-1	相談書	年月日未詳	縦継紙	1通	銘々手形請持之分の引替方について	
31-132-4-2	[夫銭手形割賦の書付]	(嘉永3)年	横継紙	1通	銭屋他26筆	
31-132-4-3	[書付(夫銭手形割付)]	(嘉永3)年	横切紙	1通	手形三貫五百目 東大橋	
31-133	嘉永四辛亥年正月ヨリ 小作方未進書抜	嘉永4年正月~嘉永6年正月	美・横半	1冊	子位庄・川入・前湯他未進分の書上	
31-134	天保十二丑年 新座敷入用ひかへ	(天保)12年	美・横長	1冊	大工弥吉への渡し分等 惣合八貫五百三拾九匁壹厘	表紙虫損大
31-135	[帳面類]			1袋(4冊2通1袋)		31-135-1~6一袋 (袋上書)「弘化二巳年五月吉日 酒買取書類袋」袋虫損大
31-135-1	明治五申年四月廿七日記ス 店久次郎発病ヨリ死後迄一切入用扣	明治5年4月5~11日	美・横半	1冊	入用金の書上	
31-135-2	[小作書上帳]	丑~辰年	半・横長	仮1冊	藤屋丈平他不足分等書付	
31-135-3	[立用米関係書類]			1袋(1冊1通)		31-135-3-1~2一袋
31-135-3-1	午十二月 藩廩米請取通 備中倉敷中島屋良介・作州古城柁郎	明治3年12月	美・横半	1冊	藩廩米出来の通	
31-135-3-2	記(藩廩米受取の写)	壬申(明治5)年5月21日写し	縦折紙	1通	中嶋屋事大橋良介→御蔵 御立用六俵八升	
31-135-4	[貫目書付]	巳年5月11日	半・横長	仮1冊	供市屋政吉→越屋房吉 樽三拾九丁壺分四り	
31-135-5	[貫目書付]	巳年5月17日	縦折紙	1通	樽48挺42 松屋より受取	
31-135-6	巳年5月より おほへ	巳年5月	美・横半	1冊	道口中屋房吉分酒三拾九挺他	
31-136	[小作米金請取通類]			1袋(1冊20通1袋3纏め)		31-136-1~25一袋 (袋上書)「小作米金請取通 大橋」(袋裏書)「十六年書抜一〇六銭籠に入」
31-136-1	記(小作金受取)	年月日未詳	13.7×12.0	1通	西村仲蔵・大内教之介より各2円 申十二月三十一日	罫紙
31-136-2	記(小作米金書付)	年月日未詳	横継紙	1通	金壹円四拾五銭 矢守浅一郎他16名 合八拾円六十三銭	
31-136-3	記(小作米金請取)	年月日未詳	14.7×11.6	1通	西村役介 金壹円七拾七銭 川入金三郎 三拾三銭 計貳円拾銭 申二月廿八日	罫紙
31-136-4	記(小作米金受取)	年月日未詳	14.7×17.6	1通	西村甚作他 金1円57銭7厘 申二月十五日	罫紙
31-136-5	覚(貸付金返済)	年月日未詳	横切紙	1通	川入山本役五郎 金三円八拾銭 岡崎平井八百蔵 貳円廿五銭	
31-136-6	記(小作米金受取)	年月日未詳	14.8×22.2	1通	西村幸吉他3名 川入千代蔵 合15円56銭 申二月十八日	罫紙
31-136-7	記(小作米金受取)	年月日未詳	14.8×28.0	1通	金三円五拾銭 西村庄三郎他9人 合七円九拾九銭五文 申二月十日	罫紙 西村源吉分の罫紙が挟み込まれている
31-136-8	記(小作米金受取)	年月日未詳	横切紙	1通	三村清八他3名 合計12円99銭	
31-136-9	記	年未詳1月4日	15.0×22.0	1通	長保菊松→大橋秀太郎 米売渡代金お受取下されたい	罫紙 封筒あり(封筒表書)「倉敷東大橋秀太郎殿」(封筒裏書)「一月四日 児島郡中疇村長保菊松より」
31-136-10	[納米通]			1袋(8通)		31-136-10-1~8一袋 (封筒表書)「鶴新田取立米之送り」
31-136-10-1	記(納米送り状)	明治16年旧12月7日	横継紙	1通	高見和平二→倉敷東大橋 納米通75俵	
31-136-10-2	記(納米)	明治16年旧12月9日	横切紙	1通	高見和平次→倉敷東大橋 納米25俵	
31-136-10-3	記(納米)	明治16年旧12月10日	横切紙	1通	高見和平次→倉敷東大橋 納米40俵	
31-136-10-4	記(納米)	16年旧12月11日	横切紙	1通	高見和平次→倉敷東大橋 納米44俵	
31-136-10-5	記(納米)	16年旧12月16日	横切紙	1通	高見和平次→倉敷東大橋 納米15俵	
31-136-10-6	記(納米)	年未詳旧12月14日	横切紙	1通	高見和平次→倉敷東大橋	
31-136-10-7	記(納米)	年未詳旧12月13日	横継紙	1通	高見和平次→倉敷東大橋 納米14俵	

31-136-10-8	記(納米)	年月日未詳	横継紙	1通	納入米俵勘定書	宛名・差出人なし
31-136-11	証(金受取証)	(明治)15年8月25日	堅切紙	1通	毛利富蔵→東大橋 松尾利三郎他分金五円を受け取った 子位庄村戸長役場→大橋 字田五畝廿壹歩 代価三拾六円七十銭他3枚	
31-136-12	記(地券証預り証)	(明治)4月26日	横継紙	1通		
31-136-13	記(地券預書)	明治15年7月23日	13.8×15.4	1通	濱戸長役場→大橋秀郎 地券六枚預りのこと	罫紙
31-136-14	記(小作米金納付)	(明治)17年正月2日	横継紙	1通	高見和平次→東大橋 四拾八円貳拾七銭五厘	
31-136-15	記(地券証預り書)	明治15年4月16日	横切紙	1通	浜村戸長役場→倉敷村大橋秀太郎 地券証15枚	
31-136-16	[書付類]			1纏め(2通)	小作人切替等について	31-136-16-1~2一纏め
31-136-16-1	記(小作人切替)	年月日未詳	13.6×23.2	1通	畑7畝8歩 西村武七作分之当主人利介へ切替願ひ 他3件の切替願ひ	罫紙
31-136-16-2	[書付]	年未詳8月3日	横切紙	1通	水通引の場思い違ひにつき	
31-136-17	[受取書類]			1纏め(2通)		31-136-17-1と31-136-17-2は重ねて折りたたまれていた
31-136-17-1	契証(齋米受取書)	(明治)14年12月31日	24.6×33.8	1通	地藏院兼務仁井谷高恭→大橋執事 玄米三俵奉納	罫紙
31-136-17-2	記(受取証)	明治15年2月12日	13.4×16.0	1通	神崎愿堂→東大橋 謝儀1封・肴料1封受取	
31-136-18	[金受取証]	年未詳2月12日	横切紙	1通	高橋→大橋秀太郎 金2円	
31-136-19	[地券預り証]	明治15年8月19日	縦紙	1通	戸長浅野真蔵→大橋秀太郎 裂地変換につき地券差出し 浅口郡鶴新田大字弘化閏五ノ割地券二枚 堀井安治郎→大橋 金10円、阪田重三郎事件に対する礼金受取について	
31-136-20	証(礼金受取証)	(明治)15年3月6日	横切紙	1通		
31-136-21	覚(宇津神社神像初尾受取)	明治17年1月15日	横切紙	1通	菊池儀郎→大橋俊太郎 金1円50銭	
31-136-22	記(受取証の扣)	明治17年1月13日	横切紙	1通	倉敷北大橋→難波利三郎 米売渡代金57円7銭3厘の請取	
31-136-23	記(納米目録)	年未詳旧12月13日	横切紙	1通	高見和平二→東大橋 納米3石2斗 旧11月28日 亀高千代造 他15筆 〆22石2斗9升8合	
31-136-24	[書付類]			1纏め(仮1冊1通)	小作米納高、小作人人名の書上	31-136-24-1~2一纏め
31-136-24-1	[小作米納高・人名書上]	年未詳12月25~26日	美・横長	仮1冊	「納四斗 ツル 水田慶次郎」他9筆	
31-136-24-2	[人名書付]	年月日未詳	横折紙	1通	「ツル 監物 兼三郎」他12筆	
31-136-25	明治十六年未十二月 鶴新田小作米控	明治16年	半・横長	1冊	納2石4斗大崎松次郎、同8斗西浦矢森常次郎など書上	
31-137	[筆箋(ひちりき)免状他]			1包(2通)		31-137-1~2一包
31-137-1	平調 五常楽急 早八拍子 拍子八	文政4年4月14日	横折紙	1通	讃岐守太奏倫美→大橋源介 大橋源介へ伝授のこと	破損大
31-137-2	口上覚(筆箋(ひちりき)代金受取)	辰年10月18日	横継紙	1通	大川清右衛門→太田但馬 金三百疋	
31-138	申渡(写)	明治2年4月24日(写)	半・縦	仮1冊	上納金に対する褒美 一代苗字許可 金平他4名	付紙保護の為SILティッシュで包む
31-139	弘化二乙巳十二月 貯穀書上写 東大橋	弘化2年12月	半・縦	1冊	困米差出人別書上	綴り紐が切れている為SILティッシュで包む
31-140	養子引請之次第	文化	半・縦	1冊	養子引請の心得箇条書	破損大の為SILティッシュで包む
31-141	[蔵入用控]			1袋(1冊1通)		31-141-1~2一袋(袋上書)「弘化四丁未年 六間蔵 五間蔵 入用控 中蔵 内蔵造作 弘化二乙巳年之分」袋虫損の為SILティッシュで包む
31-141-1	弘化二乙巳年五月吉日 納屋造作井中蔵普請 両所入用控	弘化2年5月	美・横長	1冊	大工・左官への支払等	
31-141-2	弘化四丁未年四月七日ヨリ 桑園拵候入用控	弘化4年4月7日	横折紙	1通	人夫賃銭等の書上	
31-142	[裏表紙]	年月日未詳	18.0×13.5	1枚		(裏表紙)「宝来山 中島屋」
31-143	文政十一戊子年より 別段入用書抜控 富長軒	文政11~嘉永3年	美・横半	1冊	諸入用金の書上	
31-144	天保元年寅十二月より 角店普請方職人并人足諸事当時日記	天保元年12月~	美・横長	1冊	大工・人足賃等の書上	
31-145	弘化三丙午年正月吉日 貸銀勘定帳	弘化3年正月	美・横列	1冊	銀書付の書上	(裏表紙)「東大橋」
31-146	明治十二己卯八月記ス 鶴新田亥子丑寅年分小作未進書出し帳 東大橋	明治12年8月	美・横半折	1冊	鶴新田藤作他未進分の書上	
31-147	嘉永五壬子年六月建ル 興除新田中疇土蔵入用控	嘉永5年6月	美・横長	1冊	瓦・石・材木代等の書上	
31-148	[講関係書類]			1纏め(1冊5通1括り)		講帳の間に紙縫りで括られた文書他が挟まれていた為一纏めとして取った 31-148-1の間に31-148-2及び31-148-7が挟まれている 挟み込み文書保護の為SILティッシュで包む
31-148-1	文化三年 講帳	文化3年	美・横列	1冊	講金書上	
31-148-2	[講銀勘定書]			1括り(仮2冊3通)		31-148-2-1~5紙紐で一括り 紙背は「嘉永七甲寅年 倉敷中島屋 見取米請取通」の書付あり 下部破損あり
31-148-2-1	庭瀬講割戻り二付掛銀利息見積書	年月日未詳	横継紙	1通		
31-148-2-2	[出銀利銀勘定書]	年月日未詳	半・横長	仮1冊		
31-148-2-3	[出銀利銀勘定書]	年月日未詳	半・横長	仮1冊		
31-148-2-4	子十一月講差引控	子年11月	横折紙	1通		
31-148-2-5	金壹兩二付七拾五匁定金取引之約束 ひかへ	年月日未詳	横折紙	1通		
31-148-3	御預方御講元り積り書	年月日未詳	横継紙	1通		

31-148-4	口上(済合講の案内)	巳年11月	横切紙	1通	谷嘉伝太→東大橋 大庄屋引講済合講の案内	
31-148-5	[手取銀書付]	年月日未詳	横切紙	1通	一手取三貫三百八十目 ひかへ	
31-148-6	[天城屋敷嘉永五子年取立融通講巳年取引書付]	年月日未詳	横継紙	1通		前半に年番人からの書状の書止しあり
31-148-7	安政六年未五月 玉泉講銀受取通	安政6年5月	横折紙	1通	講主林文甫他3名→大橋良介 講金受取の通	
31-149	備忘録	(明治17)年8月25日 9月21日	15.0×12.0	1冊	明治17年8月25日の大津波の状況を記す	罫紙
31-150	天保十四癸卯 地利勘定帳	天保14~嘉永4年	美・横列	1冊	地利米突合勘定	表紙保護の為SILティッシュで包む
31-151	口中諸算用控帳	文政元年12月~文政13年	半・横列	1冊		(裏表紙)「中島屋」
31-152	戌年分未進書抜	戌年	美・横長	仮1冊	西ノ浦吉之介 残米菘石四升六合他	
31-153	文政六癸未年正月吉日 古貸銀口代控帳	文政6年正月~明治6年	美・横列	1冊		表紙保護の為SILティッシュで包む
31-154	享和三癸亥年正月吉日 日記	享和3年	美・横列	1冊		(裏表紙)「大福入 中島屋金平」
31-155	[諸算用帳]	文化8年9月21日~文久4年	半・横列	1冊		
31-156	[諸算用帳]	天保14年正月19日 嘉永5年正月29日	半・横列	1冊		
31-157	弘化二乙巳年十一月十一日ヨリ 至嘉永五壬子年十二月廿九日 手元当座帳	弘化2年11月11日~嘉永5年12月29日	美・横長	1冊		(裏表紙)「宝来山 中島屋金口」
31-158	嘉永六癸丑年正月口日ヨリ 慶応三丁卯年十二月晦日迄 手元当座帳	嘉永6年正月~慶応3年12月晦日	美・横長	1冊		(裏表紙)「宝来山 中島屋金平」
32-1	天保三年九月吉日 壬辰小作米定帳	天保3年9月	美・横長	1冊		(裏表紙)「中島屋」
32-2	文化八年九月吉日 辛未小作米取立座帳	文化8年9月	美・横長	1冊		(裏表紙)「中島屋」
32-3	文政五年正月吉日 家内音信贈答日記	文政5年正月	半・横長	1冊		(裏表紙)「[ ]春軒」
32-4	自文政十丁亥年 雑事録	文政10年 文久2年	半・横長	1冊		(裏表紙)「大橋氏」
32-5	自天保十一庚子年十二月吉日 小作米取立場帳	天保11年12月	美・横長	1冊		(裏表紙)「中島屋」
32-6	明治七甲戌年十二月ヨリ 同十一年寅十二月迄 新開三所小作米取立場帳	明治7年12月~11年12月	美・横長	1冊		(裏表紙)「東大橋」
32-7	嘉永三かのえいぬ年正月吉日 当座帳	嘉永3年	美・横長	1冊		(裏表紙)「宝来山 なかしま屋金平」 綴り紐が切れている為SILティッシュで包む
32-8	弘化三丙午年七月より安政三丙辰年七月迄 毎年益暮勤方控 富春軒	弘化3~安政3年	美・横長	1冊		
32-9	文政七甲申年八月吉祥日 留守中諸事ひかへ帳	文政7年8月	半・横長	1冊		(裏表紙)「なか島や 見世」
32-10	文化十年九月吉日 癸酉小作米取立場帳	文化10年9月	美・横長	1冊		(裏表紙)「中島屋」
32-11	天保九戌ノ年六月 御用村用諸願日記 月番 同七月廿八日高山様江御引渡二相成候	天保9年6月	美・横長	1冊		綴り紐が切れている為SILティッシュで包む
32-12	文化五年九月吉日 戊辰小作米取立庭帳	文化5年9月	美・横長	1冊		(裏表紙)「中島屋 新宅」
32-13	文化四年九月吉日 丁卯小作米并翌辰麦年貢取立帳	文化4年9月	美・横長	1冊		(裏表紙)「中島屋 新宅」
32-14	文化三年九月吉祥日 丙寅小作米請取庭帳	文化3年9月	美・横長	1冊		(裏表紙)「中島屋 新宅」
32-15	文化五辰年 川入村預ヶ米算用帳 中島屋源介殿 川入嘉一郎	文化5年	美・横長	1冊		
32-16	文化三寅年 川入邑預米算用帳 中島屋源介殿 川入嘉一郎	文化3年	美・横長	1冊		
32-17	文化二丑年 川入邑預米算用帳 中島屋源介様 川入嘉一郎	文化2年	美・横長	1冊		
32-18	文化元子年 川入邑預米算用帳 中島屋源介様 川入嘉一郎	文化元年	美・横長	1冊		
32-19	寅暮小作取立差引覚 江長村分	寅年	美・横長	仮1冊		
32-20	文化十一年九月吉日 甲戌小作米取立場帳	文化11年	美・横長	1冊		後欠 綴り紐が切れている為SILティッシュで包む
32-21	文化七年九月吉日 庚午小作米取立庭帳	文化7年9月	美・横長	1冊		(裏表紙)「井上町中島屋」 綴り紐が切れている為SILティッシュで包む
32-22	嘉永二つちのととり年正月吉日 当座帳	嘉永2年正月	美・横長	1冊		(裏表紙)「宝来山 なかしま屋金平」
32-23	弘化二きのとミ正月吉日 当座帳	弘化2年正月	美・横長	1冊		(裏表紙)「宝来山 なかしま屋源介」
32-24	天保十二かのとうし年正月吉日 当座帳	天保12年正月	美・横長	1冊		(裏表紙)「宝来山 なかしま屋源介」
32-25	子十二月廿三・四日出銀 久次郎 仲蔵 鶴新田小作米代銀取立候人別	子年12月23・24日	美・横長	1冊		綴り紐が切れている為SILティッシュで包む
32-26	[裏表紙]	年月日未詳	美・横長	3丁		「中島屋」の書付あり 綴り紐が切れている為SILティッシュで包む
32-27	文化九年九月吉日 壬申小作米取立庭帳 中島屋店	文化9年9月	美・横長	1冊		
32-28	文化六年九月吉日 己巳小作米取立庭帳	文化6年9月	美・横長	1冊		(裏表紙)「井上町 中島屋」
32-29	[小作米取立帳]	年月日未詳	美・横長	10丁		前欠 綴り紐が切れている為SILティッシュで包む
32-30	[畝高物成書上帳]	年月日未詳	美・横長	仮1冊		



32-31	文化十三ひのえ子年正月吉日 当座帳	文化13年正月	美・横長	1冊		(裏表紙)「宝来山 なかしまや源介」
32-32	天保十一かのえね年正月吉日 当座帳	天保11年正月	美・横長	1冊		(裏表紙)「宝来山 なかしま屋源介」
33-1	文化二年九月吉日 乙丑小作米納帳	文化2年9月	美・横長	1冊		(裏表紙)「中島屋 新宅」
33-2	文化四年口月口日 丁卯小作帳	文化4年	美・横長	1冊		(裏表紙)「中島屋 新宅」
33-3	文化三年口月吉日 寅小作米納帳	文化3年	美・横長	1冊		
33-4	文政九年九月吉日 丙戌小作米定帳	文政9年9月	美・横長	1冊		綴り紐が切れている為SILティッシュで包む
33-5	文政十二年九月吉日 己丑小作米定帳	文政12年9月	美・横長	1冊		(裏表紙)「中島屋」
33-6	文化七年九月吉日 庚午小作帳	文化7年9月	美・横長	1冊		(裏表紙)「中島屋」
33-7	文政十年九月吉日 丁亥小作米定帳	文政10年9月	美・横長	1冊		(裏表紙)「中島屋」 裏表紙破損大
33-8	文政十一年九月吉日 戊子小作米定帳	文政11年9月	美・横長	1冊		(裏表紙)「中島屋」
33-9	文化八年九月吉日 辛未小作米定帳	文化8年9月	美・横長	1冊		
33-10	文政六年九月吉日 癸未小作米定帳	文政6年9月	美・横長	1冊		(裏表紙)「中島屋」
33-11	文政二年九月吉日 己卯小作米定帳	文政2年9月	美・横長	1冊		(裏表紙)「中島屋」
33-12	文政三年九月吉日 庚辰小作米定帳	文政3年9月	美・横長	1冊		(裏表紙)「中島屋」
33-13	文政四年九月吉日 辛巳小作米定帳	文政4年9月	美・横長	1冊		(裏表紙)「中島屋」
33-14	文政元年九月吉日 戊寅小作米定帳	文政元年9月	美・横長	1冊		(裏表紙)「中島屋」
33-15	文政五年九月吉日 壬午小作米定帳	文政5年9月	美・横長	1冊		(裏表紙)「中島屋」
33-16	文化十三年九月吉日 丙子小作米定帳	文化13年9月	美・横長	1冊		(裏表紙)「中島屋」
33-17	文化十四年九月大吉日 丁丑小作米定帳	文化14年9月	美・横長	1冊		(裏表紙)「中島屋」
33-18	文政九丙戌十月吉日 小作米取立場帳	文政9年10月	美・横長	1冊		(裏表紙)「中島屋」
33-19	文政十三年九月吉日 庚寅小作米定帳	文政13年9月	美・横長	1冊		(裏表紙)「中島屋」
33-20	文政七年九月吉日 甲申小作米定帳	文政7年9月	美・横長	1冊		(裏表紙)「中島屋」
33-21	文政八年九月吉日 乙酉小作米定帳	文政8年9月	美・横長	1冊		(裏表紙)「なか島屋」
33-22	[ ]九月吉日 戊辰小作帳	戊辰年9月	美・横長	1冊		(裏表紙)「中島屋」 表紙破損大
33-23	文化六年九月吉日 己巳小作帳	文化6年9月	美・横長	1冊		(裏表紙)「中島屋」
33-24	文化元年九月吉日 甲子小作米納帳	文化元年9月	美・横長	1冊		(裏表紙)「中島屋 新宅」
33-25	文化九年九月吉日 壬申小作米帳	文化9年9月	美・横長	1冊		(裏表紙)「中島屋」
33-26	文化十二年九月吉日 乙亥小作米定帳	文化12年9月	美・横長	1冊		(裏表紙)「中島屋」
33-27	文化十一年九月吉日 甲戌小作米定帳	文化11年9月	美・横長	1冊		(裏表紙)「中島屋」
33-28	文化十年九月吉日 癸酉小作米定帳	文化10年9月	美・横長	1冊		(裏表紙)「中島屋」
33-29	嘉永五年九月吉日 壬子小作米定帳	嘉永5年9月	美・横長	1冊		(裏表紙)「中島屋」
33-30	安政三丙辰年[ ]万延元申年十二月[ ]〔毎年益暮勤方控〕	安政3～万延2年	美・横長	1冊	年五・中元・歳暮などの控	表紙虫損 文書保護の為SILティッシュで包む
33-31	天保八ひのととり年正月吉日 当座帳	天保8年正月	美・横長	1冊		(裏表紙)「宝来山 なかしまや源介」
33-32	天保八年酉正月吉日 日雇人足扣	天保8年正月	美・横長	1冊		(裏表紙)「中島屋」
33-33	天保七丙申年七月より 毎歳益暮勤方控 富春軒	天保7年7月	美・横長	1冊		
33-34	[日記]	文化13年	美・横列	1冊	貨利・地利などの書付	小口に「文化十三 丙子歳」の書付あり 表紙がすれて判読できず 綴り紐が切れている為SILティッシュで包む (裏表紙)「大福入 中島屋 [ ]」
33-35	寛政六甲寅年正月日記	寛政6年正月	美・横列	1冊		(裏表紙)「大福入 中島屋久兵衛」
33-36	宝暦五乙亥年正月吉日 万貫帳	宝暦5年正月	美・横列	1冊		綴り紐が切れている為SILティッシュで包む (裏表紙)「大福入 中島屋 [ ]」
33-37	宝暦八戊寅年正月吉日 日記	宝暦8年正月	美・横列	1冊		
33-38	[買物控帳]	明治14年2月10日～	美・横列	1冊		虫損激しく中性紙袋へ入れる
33-39	[金銭受取控帳]	年月日未詳	美・横列	1冊		虫損激しく中性紙袋へ入れる
33-40	[ ]吉日 日記	文化15～文政元年	美・横列	1冊		小口に「文化拾五戊寅歳 文政元」(裏表紙)「大福入 口(中)島屋 口(源)介」
33-41	宝暦九己卯年口月吉日 日記	宝暦9年	美・横列	1冊		(裏表紙)「大福入 中島屋久兵衛」
33-42	享和三歳九月吉日 癸亥歳小作米取立場帳并子麦取立	享和3年9月	美・横半折	1冊		(裏表紙)「角 中島屋」
33-43	安永乙未四年正月吉日 日記	年月日未詳	美・横列	1冊		(裏表紙)「大福入 中島屋久兵衛」 綴り紐が切れている為SILティッシュで包む
33-44	寛政十戊午年正月吉日 日記	寛政10年正月	美・横列	1冊		(裏表紙)「大福入 中島屋口口口」
33-45	明治二十丁亥年一月吉日 日記	明治20年1月	美・横半折	1冊		後欠
33-46	[ ]丑正月吉日 日記	年月日未詳	美・横列	1冊		(裏表紙)「大福入 中[ ]」 表紙がすれて年月日の判読できず
33-47	寛政九丁巳年十月吉日 日記	寛政9年正月	美・横列	1冊		(裏表紙)「大福入 中島屋金平」
33-48	金証	明治12年11月6日	縦紙	1通	借主林善・証人北村九一郎→大橋俊太郎 金拾貳円也の借用証文	包紙あり(包紙上書)「証書 壱通」
33-49	[断簡]	年月日未詳				中性紙袋へ入れる
34-1	明治六酉年 村々御年貢通入			1袋(25通5纏め)		34-1-1～30一袋 (袋上書)「明治六酉年 村々御年貢通入」 袋右下破損
34-1-1	前湯村大橋秀太郎分 癸酉御租税通	(明治6)年	横継紙	1通	前湯村大橋秀太郎分 癸酉御租税通 田高壱石二斗 取米六斗壺升九勺 合四円五十三銭九厘八毛	下部破損あり
34-1-2	[金子書付](帯高村酉石代)	年未詳1月15日	横切紙	1通	大橋秀太郎 金子受取書付	
34-1-3	[道路修築献納金書付]	年未詳7月10日	横切紙	1通	金貳拾円 大橋秀太郎	

34-1-4	証(帯江村米代受取)	年未詳1月30日	横継紙	1通	米六斗壺升式合壺勺 代金壺円七拾三錢四厘 〆五円拾錢五厘	
34-1-5	[金銭書付](帯高村石代)	年未詳3月5日	横切紙	1通	金壺円七拾五錢 帯高村→大橋秀太郎	
34-1-6	記(石代受取)	戊(明治7)年1月16日	横切紙	1通	帯高村→大橋秀太郎	
34-1-7	[金銭書付]	年月日未詳	横切紙	1通	〆四拾錢四毛 甲戌六月迄税金	
34-1-8	[金銭書付]	年月日未詳	横切紙	1通	〆拾貳錢貳毛 甲戌六月迄税金 大橋徳蔵	
34-1-9	[貢米算用書上]	年月日未詳	横継紙	1通	本家・北分・角分 合四拾壺円七十七錢壺厘六毛	
34-1-10	[金銭書付]			1纏め(2通)		34-1-10-1~2-纏め 34-1-10-1の中に34-1-10-2を内包
34-1-10-1	[金銭書付]	年月日未詳	15.5×13.7	1通	〆六十七円六十錢六厘五毛	罫紙 34-10-1-2を内包
34-1-10-2	[金銭書付]	年月日未詳	横切紙	1通	本家分・新宅分他	
34-1-11	記(借入金渡)	明治6年10月17日	横切紙	1通	鶴新田会所→大橋秀太郎 金四拾三円	
34-1-12	[高掛書付]	年月日未詳	横切紙	1通	壺斗三升 高掛り 三升 口米引	
34-1-13	[高掛書付]	年月日未詳	横切紙	1通	四円廿四錢 川入村	
34-1-14	[金子書付]	年未詳1月16日	横切紙	1通	酉初納并村費仮割共 金拾五円 大橋秀太郎	
34-1-15	[金銭書付]	年未詳10月26日	横切紙	1通	癸酉半季取仕六人分税金 新賃五拾貳錢五厘 大橋秀太郎	
34-1-16	[金子書付]	戌年3月10日	横切紙	1通	癸酉御租税二納 金拾円 大橋秀太郎	
34-1-17	[金子書付](役代入用)	年未詳10月24日	横切紙	1通	貳百八拾六文 負債一軒再願に付、役代入用	
34-1-18	[金銭払込証書]			1纏め(2通)	濱村会所→大橋秀太郎	34-1-18-1~2-纏め 34-1-18-1の中に34-1-18-2を内包
34-1-18-1	[金子書付](納金請取)	戌年1月17日	横切紙	1通	濱村会所→大橋秀太郎 金拾壺円 癸酉初納請取の事	
34-1-18-2	[金子書付](納金受取)	戌年2月24日	横切紙	1通	濱村会所→大橋秀太郎 五円五拾錢 癸酉二納請取 大橋秀太郎→(宛名なし) 帳面印税 御印税壺銭又貳錢九厘五毛 計三錢九厘五毛	34-1-18-1に内包
34-1-19	[金銭書付](印税)	年未詳9月20日	横切紙	1通		
34-1-20	[金銭書付]			1纏め(2通)		34-1-20-1~2-纏め
34-1-20-1	[金銭書付](笠岡役代入用)	年未詳2月14日	横切紙	1通	大橋長蔵 金拾五錢 笠岡役代入用	
34-1-20-2	[金銭書付](蔵前入用)	年未詳2月20日	横切紙	1通	大橋秀太郎 金七錢 蔵前入用	
34-1-21	[金銭書付](引戸駕籠税)	年未詳1月21日	横切紙	1通	大橋秀太郎 明治六年十月願出 引戸駕籠税 金五拾錢 手数料 五毛	
34-1-22	[金銭書付](僕婢税)	年未詳1月21日	横切紙	1通	大橋秀太郎 丙十二月分 僕婢税金 金五拾貳錢五厘	
34-1-23	[金銭書付](租税皆済金)	癸酉(明治6)年4月18日	横切紙	1通	大橋秀太郎→(宛名なし) 癸酉御租税皆済金 金壺円七拾錢 四月十八日納	
34-1-24	西原村正租税請取通	(明治7)年1月23日	横折紙	1通	戸長中原貞四郎・同守屋竹四郎→倉敷大橋秀太郎 八円八十錢三厘壺毛 明治六年十二月分の皆済	
34-1-25	[箕島村租税請取証類]			1纏め(2通)		34-1-25-1~2-纏め
34-1-25-1	明治六癸酉年 御租税請取通	明治7年9月24日	横折紙	1通	都宇郡箕島村戸長→窪屋郡倉敷村大橋秀太郎 八斗七升六合壺勺皆済	
34-1-25-2	御租税村費受取通	明治9年1月29日	横切紙	1通	箕島村事務取扱所→大橋秀太郎 米三斗八升七合五勺の内九升四合は米納、残米代金貳円五錢四厘五毛	
34-1-26	[帯高村米金受取証類]			1纏め(2通)		34-1-26-1~2-纏め
34-1-26-1	明治六年帯高村御租税受取証	明治6年	横折紙	1通	戸長有木源一・副戸長西山次郎→大橋秀太郎 納合壺石四斗八升八合六勺、此金六円三拾六錢六厘、納入用金六厘、〆六円三拾七錢貳厘皆済	
34-1-26-2	癸酉年帯高村費受取通	明治7年1月30日	横折紙	1通	戸長有木源一・副戸長西山次郎→大橋秀太郎 米六斗壺升式合壺勺・金壺円七拾三錢八厘	
34-1-27	明治六癸酉年御租税村費受取通之事	明治6年	横折紙	1通	戸長原唯一・同植田孫太郎・副戸長大原孝四郎→大橋秀太郎 金貳拾六円七拾錢六厘七毛皆済	
34-1-28	明治六西濱村御年貢請取	(明治6)年	横折紙	1通	戸長葺恒衛→大橋秀太郎 金貳拾壺円拾五錢貳厘壺毛	(端裏書)「西 大橋秀太郎」
34-1-29	川入村租税米請取通	明治6年	横折紙	1通	副戸長秋岡素平→倉敷村大橋秀太郎 〆五拾四円八拾四錢四厘四毛	
34-1-30	当御貢米請取通	明治6年	横折紙	1通	子位庄村戸長窪津大紀・同副戸長・同賢→倉敷大橋秀太郎 〆六石七斗八合九タ 代金貳拾八円五拾壺錢貳厘	中央に破損
34-2	[租税通類]			1袋(9通1括り1包2纏め)		34-2-1~13-袋 (袋上書)「明治九子年分御租税通入」(「唐物・太物呉服御通 瀧本屋弥兵衛」の袋を転用してある)
34-2-1	[租税書上類]			1括り(6通1纏め)		34-2-1-1~7紙綴りで一括り
34-2-1-1	記(米買請証)	明治15年5月30日	横切紙	1通	赤木増六→倉敷大橋 米24俵3斗4升1合 貳拾四俵三斗四升壺合	
34-2-1-2	[租税書付]	年月日未詳	横切紙	1通	区内費・新店費見附割・地租改正残費	宛名・差出人なし
34-2-1-3	[租税書上]			1纏め(2通)		34-2-1-3-1に34-2-1-3-2が挟み込まれていた
34-2-1-3-1	記(租税算用書付)	年月日未詳	横継紙	1通	304円5厘本家分、37円87錢4厘新宅分 子9月、丑2月、当3月納、拝借金差引合102円35錢9厘など	宛名・差出人なし
34-2-1-3-2	[租税書付]	年月日未詳	横切紙	1通		宛名・差出人なし
34-2-1-4	誌(公税・村費差引算用通知)	年未詳1月20日	横切紙	1通	第36区6番小区→赤木秀太 大橋秀太郎・大橋徳三分 田8反4畝7歩、地価315円90錢、地租9円47錢7厘 明治9年ヨリ3ヶ年免租他5筆	(上書)「赤木秀太殿」
34-2-1-5	[地租書上]	(明治9年カ)	横継紙	1通		
34-2-1-6	記(地価書上)	年月日未詳	横切紙	1通	大橋 明治十年一月分 地価千六百四十二円三拾錢	

34-2-1-7	口上(拝借金各村割当について)	年月日未詳	15.0×23.3	1通	信一郎→伯父 千六拾八円 中疇 三百五拾四円 松江	罫紙
34-2-2	倉敷村明治九年地租金受取通	(明治10年カ)	横折紙	1通	戸長植田孫三郎→大橋秀太郎 地租金五拾五円拾四銭六厘皆済	
34-2-3	明治九年租税金請取	(明治10年カ)	横折紙	1通	副戸長屋葺恒衛・秋岡素平→大橋秀太郎 金六拾貳円五拾壹銭七厘皆済	
34-2-4	当御租税并村費受取通	(明治10年カ)	横折紙	1通	子位庄村戸長窪津大紀→倉敷村大橋秀太郎 租金百拾三円拾八銭八厘皆済	
34-2-5	明治九年九月 丙子御租税取立通	(明治10年カ)	横折紙	1通	副戸長秋岡素平・同横山富太郎→大橋秀太郎 地租七拾九円五銭八厘 3月21日皆済	
34-2-6	[金銭書付](明治九年村費追割)	年未詳7月25日	横切紙	1通	大橋秀太郎 金拾貳円六拾五銭四厘四毛	
34-2-7	記(租税二納について)	年月日未詳	横切紙	1通		宛名・差出人なし 大窪尚平宛明治9年11月講金請取証の紙背使用
34-2-8	明治九年帯高村地券税受取証	(明治10カ)年3月22日	横折紙	1通	副戸長西山次郎→倉敷村大橋秀太郎 地券税金拾五円七拾四銭九厘皆済	
34-2-9	明治九年帯高村民費受取証	(明治10カ)年1月30日	横折紙	1通	副戸長西山次郎→倉敷村大橋秀太郎 金5円25銭民費拾分一、金1円78銭1厘民費別割皆済 金七円三銭壹厘	
34-2-10	第百六十号 明治九年地券税村費受取証 都宇郡前潟村	(明治10年カ)	横折紙	1通	副戸長浮田治一郎・同林慎七郎→納人大橋秀太郎 地租金拾貳円貳拾五銭皆済	
34-2-11	[地租金請取通類]			1纏め(2通)		34-2-11-1に34-2-11-2が挟み込まれている
34-2-11-1	明治九年地租金村費請取通	明治10年3月27日	横折紙	1通	都宇郡七小区箕島村事務取扱所→窪屋郡倉敷村大橋秀太郎 田地租金五円六十三銭他1筆 十年三月廿七日納	
34-2-11-2	記(米代金支払書)	丑(明治10)年4月5日	横切紙	1通	磯屋伊三郎→東大橋 米貳俵 代金貳円七拾貳銭	
34-2-12	[租税関係書類]			1包(19通3纏め)		34-2-12-1~22一包
34-2-12-1	[金銭書付](村費)	年月日未詳	横切紙	1通	村費1歩之外金五円廿五銭六厘 大橋秀太郎宛 (米の合点あり)	
34-2-12-2	[金銭書付](租税納入)	丑(明治10)年3月22日	横切紙	1通	倉敷村大橋秀太郎宛 窪新田 金百五拾円四拾四銭 三納	
34-2-12-3	[金銭書付](地券証証印税)	年月日未詳	横切紙	1通	五拾壹銭貳厘 地券証二通証印税手数料共	宛名・差出人なし
34-2-12-4	[金銭書付](地租受取)	年未詳3月22日	横切紙	1通	倉敷村大橋秀太郎宛 前潟百六十 金三円六十七銭六厘(渡辺印あり)	(朱書)「三月廿四日限」の記載あり
34-2-12-5	[金銭書付](地租受取)	年未詳3月22~23日	横切紙	1通	帯高村→大橋秀太郎 金壹円三拾九銭六厘(小林喜作印あり)	
34-2-12-6	[租税請取書類]			1纏め(2通)		34-2-12-6-1~2重ねて折りたたんである
34-2-12-6-1	[金銭書付](村費受取)	(明治)10年1月11日	横切紙	1通	帯高村→大橋秀太郎 金七円三銭壹厘 内五円貳拾七銭請取(小林喜作印あり)	
34-2-12-6-2	[金銭書付](地租受取)	丑(明治10)年1月11日	横切紙	1通	帯高村集会所→大橋秀太郎 金九円四拾七銭(小林喜作印あり)	(朱書)「一月拾日限り」の記載あり
34-2-12-7	記(村費追割請取書)	年未詳2月8日	横切紙	1通	西原村事務所→倉敷村大橋秀太郎	
34-2-12-8	[金銭書付](地租金)	年未詳3月23日	横切紙	1通	大橋秀太郎宛 拾八円七拾六銭七厘(朱の合点あり)	
34-2-12-9	[金銭書付](地租受取)	(明治10カ)年3月21日	横切紙	1通	大橋秀太郎宛 金拾六円四拾八銭三厘貳毛	
34-2-12-10	[地租受取書]			1纏め(2通)		34-2-12-10-1に34-2-12-10-2が挟み込まれている
34-2-12-10-1	[金銭書付](村費受取)	年未詳1月20日	横切紙	1通	大橋秀太郎宛 前潟百六十 金四円八銭四厘(佐藤印あり)	
34-2-12-10-2	[金銭書付](地租金受取)	年未詳1月20日	横切紙	1通	倉敷大橋秀太郎宛 金七円三拾五銭 内三円四銭拜借 四円三十銭受取 朱の合点あり	
34-2-12-11	[金銭書付](地租二納金)	年月日未詳	横切紙	1通	大橋秀太郎宛 金三拾七円五拾銭 外貳拾円八拾三銭九厘村費 二納一月廿三日限の記載あり	
34-2-12-12	[金銭書付](地租金・村費受取)	(明治10)年1月13日	横切紙	1通	大橋秀太郎宛 明治九年地租金第二期并村費 金五拾壹円五拾銭	
34-2-12-13	[金銭書付](租税金)	年月日未詳	横切紙	1通	大橋秀太郎宛 中新田分 九拾六円四拾五銭八厘 八年分不五拾円四拾五銭 九年分十分一	(朱書)「廿八日切」の記載あり
34-2-12-14	[金銭書付](租税初納金受取)	(明治9年カ)年9月25日	横切紙	1通	倉敷村→大橋秀太郎 明治九子年租税初納金 金五円八拾銭	
34-2-12-15	[金銭書付](地租金受取)	(子カ)年9月28日	横切紙	1通	前潟村→大橋秀太郎 百五十八 金壹円廿貳銭	
34-2-12-16	[租税納入書類]			1纏め(2通)		34-2-12-16-1~2重ねて折りたたんである
34-2-12-16-1	[金銭書付](地租金預)	明治10年1月10日	横切紙	1通	大橋秀太郎宛 箕島村九年地租金第二期 金三円三拾八銭	
34-2-12-16-2	[金銭書付](地租税金受取)	(明治9年カ)年9月26日	横切紙	1通	箕島村事務所→大橋秀太郎 金五拾六銭三厘	
34-2-12-17	[金銭書付](地租金受取)	明治9年9月28日	横切紙	1通	帯高村事務扱所→大橋秀太郎 金壹円五十七銭	
34-2-12-18	[金銭書付](村費受取)	(明治)10年2月15日	横切紙	1通	倉シキ大橋秀太郎宛 前潟百六十 九年村費 金壹円廿七銭(渡辺印あり)	
34-2-12-19	[金銭書付](地租金・村費)	年月日未詳	横切紙	1通	西浦事務所→大橋秀太郎 租三百壹円三拾三銭八厘六毛 三百拾八円八銭村費 一月廿三日切の記載あり	
34-2-12-20	[近蔵宛佐藤源介書状]	丑年1月10日	横切紙	1通	税金差引残り納入催促	
34-2-12-21	[金銭書付](地租金)	年月日未詳	横切紙	1通	本家分・新宅分 拾壹円九拾九銭三厘	

34-2-12-22	[金銭書付](つり銭)	年月日未詳	横切紙	1通	31銭2厘 早嶋つり(墨で抹消) 14銭1厘 中嶋つり	
34-2-13	[書付類]			1纏め(4通)		34-2-13-1と34-2-13-2が重ねて折りたたまれ、34-2-13-4と34-2-13-4を重ねて折りたたんだ中に挟まれている
34-2-13-1	[地価勘定書上]	年月日未詳	横折紙	1通	秀太郎分 〆九拾三円三拾銭	
34-2-13-2	[地価勘定書付]	年月日未詳	横折紙	1通	地価に対する拝借金・貸附金の勘定 三宅辰太郎他4名書上	
34-2-13-3	義定書	明治10年4月	縦紙	1通	中嶋村 興除新田養水欠乏につき賀陽郡・都宇郡地内の井手から取水の普請入用負担の議定書案文 岩崎益次・佐藤分太郎他8名宛	
34-2-13-4	金拝借之証	明治10年1月	縦紙	1通	合金1066円、明治10年7月より20年6月まで10ヶ年賦 金90円30銭 倉敷村大橋秀太郎 金13円60銭 大橋徳蔵 明治9年旱災につき納税差支への貧民に貸与	宛名・差出人なし 案文
34-3	[年貢通類]			1袋(1括り4纏め7通)		34-3-1~12一袋 封筒あり(封筒上書)「慶応二丙寅年 村々御年貢通入」
34-3-1	[書付類]			1括り(3纏め)		34-3-1-1~3一纏め 34-3-1-1と34-3-1-2が紙縫りで括られている 紙縫りあり「不用品」
34-3-1-1	[書付]			1纏め(2通)		34-3-1-1-2が34-3-1-1-1に包まれている
34-3-1-1-1	[銀子書付](米代金)	年月日未詳	横切紙	1通	相庭三俵二付 銀七百七拾五匁六分八リ 銀拾貫七百九拾壹匁九分九リ 壹石二付 銀八百八匁	
34-3-1-1-2	[書付](年貢米)	年月日未詳	横切紙	1通	三斗五升二付 川入 八朱餅米合米	
34-3-1-2	[高書付]			1纏め(3通)		34-3-1-2-1に34-3-1-2-2・34-3-1-2-3が包まれている
34-3-1-2-1	[書付](年貢米)	年月日未詳	横切紙	1通	壹石二付 八百九匁五分	
34-3-1-2-2	[書付](米高)	年月日未詳	横切紙	1通	中嶋屋源助 正米三拾貳俵 内拾貳俵入 〆貳拾俵	
34-3-1-2-3	[書付](米高)	年月日未詳	美・横切	1通	一. 三斗四升 徳兵衛 他5筆	
34-3-1-3	[銀子書付類]			1纏め(4通)		34-3-1-3-1に34-3-1-3-2~4が包まれている
34-3-1-3-1	覚(銀子買上)	年月日未詳	横切紙	1通	貳貫七百六拾五匁八分九厘 此金三拾壹兩壹歩貳朱 札四匁八分貳厘	
34-3-1-3-2	[銀子書付](庄屋払分)	年月日未詳	横切紙	1通	川入九次郎→(宛名なし)	
34-3-1-3-3	[書付](仮割銀札)	丙寅(慶応2)年	横切紙	1通	一銀札九匁九分 他3筆	
34-3-1-3-4	覚(銀子書付)	年月日未詳	横切紙	1通	子位庄村 一割相庭三俵二付 銀七百六拾壹匁九分 銀札七百七拾七匁四分四リ	
34-3-2	[納金書付]			1纏め(2通)		34-3-2-1~2一纏め
34-3-2-1	[書付](銀札受取)	丙寅年	横切紙	1通	大橋秀太郎 銀札七拾三匁五分六リ 他3筆	
34-3-2-2	[書付](銀札受取)	丙寅年	横切紙	1通	中嶋屋徳蔵 銀札貳匁七分七厘 他3筆	
34-3-3	[銀子書付]			1纏め(2通)		34-3-3-1~2一纏め
34-3-3-1	[書付](銀子受取)	丙寅年	横切紙	1通	中嶋屋徳蔵 郡中大割銀三分五厘 他2筆	
34-3-3-2	[書付](銀子受取)	丙寅年	横切紙	1通	大橋秀太郎 郡中大割銀九匁二分九厘 他2筆	
34-3-4	[書付](銀子受取)	年月日未詳	横継紙	1通	一. 拾九匁五分 他4筆	
34-3-5	[年貢銀書付]			1括り(4通)		34-3-5-1~4紙縫りで一括り
34-3-5-1	[銀子書付](初納銀)	丙寅(慶応2)年	横切紙	1通	中嶋屋徳蔵 銀壹匁 廿七日切	
34-3-5-2	[銀子書付](初納銀)	丙寅(慶応2)年	横切紙	1通	銀拾九匁五分 大橋秀太郎 廿七日切	
34-3-5-3	[銀子書付](埋出屋敷役)	丙寅(慶応2)年	横切紙	1通	銀六拾三匁四分四厘 大橋秀太郎	
34-3-5-4	[銀子書付](水夫屋敷役)	丙寅(慶応2)年	横切紙	1通	銀六匁五分二厘 大橋秀太郎	
34-3-6	慶応貳寅年 御年貢通 箕島村	慶応2年	横折紙	1通	箕島庄屋→東大橋 九斗壹升三合を皆済	
34-3-7	御年貢請取通	慶応2年	横継紙	1通	庄屋佐藤秀太郎→大橋源助 年貢米皆済	「帯江前湯」の朱印あり
34-3-8	高沼村御年貢受取通	慶応2年12月8日	横切紙	1通	庄屋三木三助→源助 貳石六斗三升壹合貳匁を皆済	
34-3-9	[年貢請取証書類]			1纏め(1纏め1通)		34-3-9-1に34-3-9-2が包まれている
34-3-9-1	慶応二寅浜村御年貢請取	慶応2年	横折紙	1通	庄屋富太郎→大橋秀太郎 高合九石八斗七升二合	(端裏書)「寅 大橋秀太郎」
34-3-9-2	[年貢米銭渡]			1纏め(2通)		34-3-9-2が34-3-9-1に包まれている
34-3-9-2-1	[金銭書付](米代金)	年月日未詳	横切紙	1通	東大橋 米壹石八斗八升八合 代金八兩壹分永百五拾貳文五歩 内六兩三分渡し	
34-3-9-2-2	[金銭書付](年貢米代)	年月日未詳	横切紙	1通	一. 金六兩三分 大橋秀太郎	
34-3-10	西原村当御年貢米受取通	慶応2年11月25日	横折紙	1通	名主請持利左衛門→大橋良介 壹石六斗貳升貳匁 代壹貫貳百九拾六匁四分六厘	
34-3-11	川入村当御年貢請取通	慶応2年12月26日	横折紙	1通	名主綱助・添役大嶋村庄兵衛→大橋源助 〆七石五斗六升七合四匁 代銀〆六貫三百四拾八匁四分四厘を皆済	
34-3-12	当御年貢米請取通	慶応2年3月25日	横折紙	1通	子位庄村名主延助→倉敷大橋源助 〆拾三石八斗四升壹合六匁 代銀札五貫四百四拾四匁三分三厘皆済	
34-4	[地所二係ル受取書類]			1袋(13通1纏め)		34-4-1~14一袋 (袋上書)「明治十二年卯五月ヨリ地所二係ル受取書類」
34-4-1	記(材木代金書付)	年未詳5月24日	横切紙	1通	中嶋村佐藤伊平治→長保菊治郎 八尺杭百本他2筆 〆六円七十五銭	
34-4-2	[受取証類]			1纏め(2通)		34-4-2-1~2一纏め
34-4-2-1	証(普請代金受取)	年月日未詳	縦切紙	1通	宮本作介外6名→東大橋 普請代金拾四円四拾銭	
34-4-2-2	記(土積代金受取)	年未詳閏旧3月25日	縦切紙	1通	宮本作介外2名→大橋 四百貳拾艘分の土積賃代金六円三拾銭	

34-4-3	明治十二年度地方税 帯高村受領証	明治12年	横折紙	1通	第四十七号 納人大橋秀太郎 名代人小原延衛 地価五百廿四円九十五銭 金貳円四拾六銭七厘	
34-4-4	第五十一号 明治十二年地租受領証 帯高村	明治12年	横折紙	1通	戸長小原延衛・納人大橋秀太郎・名代人小原延衛 地価五百廿四円九拾五銭 一金拾三円拾貳銭四厘皆済	
34-4-5	百五十九号 受領之証	(明治)12年	横折紙	1通	都宇郡前潟村戸長佐藤禎太郎 納人倉敷村大橋秀太郎 十二年地券税 拾円廿銭九厘	
34-4-6	記(税金受取)	明治14年3月27日	横切紙	1通	西阪村戸長役場→大橋秀太郎 地券書換証印税五十五銭一厘	
34-4-7	記(税金受取)	明治14年3月27日	横切紙	1通	西阪村戸長高尾仙作→大橋秀太郎 十三年度地稅貳円十七銭四厘 他1筆	
34-4-8	記(税金受取)	明治13年3月2日	横継紙	1通	生坂村戸長役場→大橋秀次郎 地券四通・証印税 壹円六拾壹銭三厘	
34-4-9	[大橋秀太郎宛鷺江小文太書状]	年未詳7月26日	横継紙	1通	お願い申し上げた役分の儀について後日参館して具状したい	封筒あり(封筒上書)「倉敷大橋秀太郎様 奉酬 中疇鷺江小文太」
34-4-10	[金銭書付](協議費受取)	(明治)13年3月19日	横切紙	1通	帯高村→大橋秀太郎 十三年度協議費 貳円廿九銭四厘	
34-4-11	[金銭書付](税金受取)	明治13年1月19日	横切紙	1通	生坂村戸長役場→黒瀬利源太入大橋秀太郎 地券書通証印税四拾七銭	
34-4-12	[金銭書付](税金受取)	明治13年3月19日	横切紙	1通	西阪戸長高尾仙作→大橋秀太郎 地券書換証印税四通分	
34-4-13	右等下其舛小作人名事	年月日未詳	横折紙	1通	中時字九ノ割小作河合万作・賀藤利喜三・妹尾仲次良 他8筆	
34-4-14	記(人夫書付)	年月日未詳	横切紙	1通	米升ふれ・年貢ふれほか人足の書上	
34-5	[年貢取立関係書類]			1袋(9袋)		34-5-1~9一袋 (袋上書)「村々御年貢通并小作通共不用之分入置又同人より差出候小書付共入」袋の継ぎ目がはがれたためSILティッシュで包む
34-5-1	[年貢通・勘定書付類]			1袋(7通6纏め)		34-5-1-1~13一袋 (袋上書)「村々御年貢通入」
34-5-1-1	御年貢受取通	文久元年12月8日	横切紙	1通	庄屋佐藤秀太郎(印)→倉敷源助 〆壹石九升四合四勺皆済	
34-5-1-2	[年貢通類]			1纏め(2通)		34-5-1-2に34-5-1-2-1~2が挟み込み
34-5-1-2-1	高沼村御年貢米請取通	文久元年11月29日	横継紙	1通	庄屋西山三木之助→中嶋屋源助 〆貳石五斗四升四合七勺皆済	
34-5-1-2-2	覚(拝借米返納)	年月日未詳	横切紙	1通	米三升七合七勺 万延元年拝借米五ヶ年賦	
34-5-1-3	[年貢通類]			1纏め(2通)		34-5-1-3に34-5-1-3-1~2が挟み込み
34-5-1-3-1	文久元年辛酉御年貢米銀請取之事	年月日未詳	横折紙	1通	庄屋助右衛門・同文平・同大橋平右衛門・同大原與兵衛→大橋良介 成高五石貳斗九升壹合の内訳等につき	
34-5-1-3-2	覚(年貢銀勘定)	年月日未詳	横切紙	1通	〆銀3匁1分9厘の内訳	
34-5-1-4	[年貢通類]			1纏め(2通)		34-5-1-4-1に34-5-1-4-2が挟み込み
34-5-1-4-1	川入村御年貢米請取通	文久元年 辛酉(文久元)年12月14日	横折紙	1通	名主大嶋村莊兵衛→大橋源介 〆九百拾五石七分八厘、十一月廿二日皆済	
34-5-1-4-2	覚(受取証)		横切紙	1通	川入村名主庄兵衛→倉敷大橋源介 切手一枚受取の事	
34-5-1-5	箕島村御年貢通	文久元年12月14日	横折紙	1通	箕嶋庄屋→倉敷大橋 〆米7斗5升2合7勺皆済	
34-5-1-6	西原村御年貢米請取通	西(文久元)年12月	横折紙	1通	名主除左衛門(印あり)→良介 〆三石四斗七升	
34-5-1-7	当御年貢米請取通	文久元年12月25日	横折紙	1通	西京村名主除左衛門→倉敷良介 三石四斗九合 代銀五百五拾三匁六分六厘皆済	
34-5-1-8	[年貢通類]			1纏め(3通)		34-5-1-8-1に34-5-1-8-2~3が挟み込み
34-5-1-8-1	[金銭書付](年貢銀算用)	年月日未詳	横切紙	1通	八拾九匁四分六厘内訳	
34-5-1-8-2	[金銭書付](初納銀)	年未詳9月19日	横切紙	1通	中嶋屋徳蔵 銀壹匁 9月19日納	
34-5-1-8-3	[金銭書付]	年未詳9月19日	横切紙	1通	中嶋屋良介→埋出屋敷六拾三匁四分四厘 9月19日納 水夫屋敷六匁五分二厘 9月19日納 初納銀拾九匁五分 9月19日納	3通が糊でとじられている
34-5-1-9	[書付類]			1纏め(2通)		34-5-10-1~2折り込み一括
34-5-1-9-1	[金銭書付](年貢銀)	年月日未詳	横切紙	1通	中嶋屋良介 辛酉二納銀 郡中割 御廻米割銀	
34-5-1-9-2	[金銭書付](年貢銀)	年月日未詳	横切紙	1通	中嶋屋徳蔵 辛酉二納銀 郡中割 御廻米割銀	
34-5-1-10	[金銭書付](受取証)	西(文久元)年12月	縦切紙	1通	粒江用場→大橋源介 貳貫貳匁貳分九厘	
34-5-1-11	文久元西濱村御年貢請取	文久元年	横折紙	1通	庄屋富太郎→金平 高合9石8斗7升2合につき	(端裏書)「西 金平」
34-5-1-12	[金銭書付](銀札受取)	酉年7月	横切紙	1通	粒江用場→倉敷村大橋源介 高三拾石貳斗壹升貳合 代銀札三百七拾七匁六分五厘	
34-5-1-13	[年貢類]			1纏め(3通)		34-5-1-13-1に34-5-1-13-2~3が挟み込み
34-5-1-13-1	当御年貢米請取通	文久元年	横折紙	1通	子位庄村名主禎介・延助→倉敷中嶋屋源助 高貳拾貳石貳斗三合四勺の年貢銀皆済	
34-5-1-13-2	[金銭書付](年貢銀受取)	酉年12月28日	横切紙	1通	子位庄村→(宛名なし) 貳拾四匁九厘 大豆成代	
34-5-1-13-3	[金銭書付]	年月日未詳	横切紙	1通	小作武助・要吉 大豆貳百四匁	
34-5-2	[年貢通書類]			1袋(8通5纏め)		34-5-2-1~13一袋 (袋上書)「文久二壬戌年 村々御年貢通入」

34-5-2-1	西原村西御年貢米請取通	文久2年12月26日	横折紙	1通	受持名主利左衛門→大橋良介 〆三石四斗壹升五合 12月26日皆済	34-5-2-1で34-5-2-2~13を包み込み
34-5-2-2	[勘定書付]			1纏め(2通)		34-5-2-2-1に34-5-2-2-2を挟み込み
34-5-2-2-1	文久二壬戌御年貢米銀請取通之事	文久2年1月28日	横切紙	1通	庄屋大橋平右衛門・大原与兵衛→大橋良介 成米五石貳斗九升壹合四勺皆済	
34-5-2-2-2	[金子書付](年貢勘定)	壬戌年	横切紙	1通	人足割 他4筆	
34-5-2-3	文久二成濱村御年貢請取	文久2年	横折紙	1通	庄屋富太郎→大橋良介 年貢米・銀皆済	(端裏書)「戌 大橋良介」
34-5-2-4	当御年貢米請取通	文久2年	横折紙	1通	子位庄村名主延助・禎介→倉敷大橋源助 年貢皆済証	
34-5-2-5	[年貢受取書類]			1纏め(2通)		34-5-2-5-1に34-5-2-5-2を挟み込み
34-5-2-5-1	川入村御年貢米請取通	文久2年12月21日	横折紙	1通	名主大嶋村庄兵衛→倉敷村大橋源介 年貢皆済証	
34-5-2-5-2	覚(切手請取)	壬戌年1月14日	横切紙	1通	庄兵衛→大橋源介	
34-5-2-6	[書付類]			1纏め(4通)		34-5-2-6-1~4折り込み
34-5-2-6-1	[金子書付](年貢銀)	年月未詳28日	横切紙	1通	大橋良介 壬戌年二納・郡中割・御廻米割書上	
34-5-2-6-2	[金子書付](年貢銀)	年月未詳28日	横切紙	1通	中島屋徳蔵 28日納の壬戌年二納・郡中割・御廻米割書上	
34-5-2-6-3	[金子書付](年貢銀)	年月日未詳	横切紙	1通	大橋良介 28日切の壬戌年二納・郡中割・御廻米割書上	
34-5-2-6-4	[金子書付](年貢銀)	年月日未詳	横切紙	1通	中島屋徳蔵 28日切の壬戌年二納・郡中割・御廻米割書上	
34-5-2-7	[年貢銀関係書類]			1纏め(1通1括り)		34-5-2-7-1に34-5-2-7-2を包む
34-5-2-7-1	覚(年貢銀渡証)	年月日未詳	横切紙	1通	水夫役・埋出し銀などの支払	34-5-2-7-1に34-5-2-7-2を包み込み 宛名・差出人なし
34-5-2-7-2	[年貢銀書付]			1括り(4通)		34-5-2-7-2-1~4紙綴りで一括り
34-5-2-7-2-1	[金子書付](年貢銀)	壬戌年	横切紙	1通	大橋良介 壬戌初納銀拾九匁五分	
34-5-2-7-2-2	[金子書付](年貢銀)	年月日未詳	横切紙	1通	大橋良介 壬戌水夫屋敷 銀6匁5分2厘	
34-5-2-7-2-3	[金子書付](年貢銀)	年月日未詳	横切紙	1通	大橋良介 壬戌年分埋出屋敷 銀63匁4分4厘	
34-5-2-7-2-4	[金子書付](年貢銀)	年月日未詳	横切紙	1通	中嶋屋徳蔵 壬戌年初納銀 銀壹匁	
34-5-2-8	[書付](大豆相庭)	年月日未詳	横切紙	1通	二石に付銀札306匁替	
34-5-2-9	高沼村御年貢請取通	文久2年11月2日	横切紙	1通	庄屋三木之助→中嶋屋源助 貳石五斗九升壹合七勺皆済	
34-5-2-10	御年貢受取通	文久2年11月晦日	横切紙	1通	庄屋佐藤秀太郎→倉敷大橋源助 〆壹石壹斗壹升貳合四勺皆済	「帯江・前湯」の朱印あり
34-5-2-11	覚(年貢掛り当預証)	文久(文久2)年12月24日	横切紙	1通	松屋喜平→東大橋 金七両	
34-5-2-12	文久二成二年御年貢	文久2年	横継紙	1通	松江名主武三郎・栄之介→倉敷村大橋源介 残五百六拾四匁七分八厘	
34-5-2-13	[年貢関係書類]			1纏め(1通1括り)		34-5-2-13-1に34-5-2-13-2を挟み込み
34-5-2-13-1	覚(年貢銀受取)	文久(文久2)年間8月9日	横切紙	1通	会所→東大橋 申年年貢残銀ほか	
34-5-2-13-2	[年貢銀書付]			1括り(2通)		34-5-2-13-2-1と34-5-2-13-2-2を重ねて紙紐で束ねる
34-5-2-13-2-1	[金子書付](年貢銀)	年月日未詳	横切紙	1通	申御年貢残銀六分三厘 徳蔵	
34-5-2-13-2-2	[金子書付](年貢銀)	年月日未詳	横切紙	1通	申御年貢残銀拾壹匁貳分五厘 大橋良介	
34-5-3	[文久三年年貢通]			1袋(16通1括り)		34-5-3-1~17一袋 (袋上書)「文久三癸亥年 村々御年貢通入」
34-5-3-1	西原村当御年貢米受取通	文久3年12月22日	横折紙	1通	名主請持利左衛門→大橋良介 年貢米皆済	34-5-3-1で34-5-3-2~17を包む
34-5-3-2	御年貢通文久三亥歳 箕嶋村	文久3年12月14日	横折紙	1通	箕嶋村庄屋→倉敷東大橋 辻七斗五升貳合七勺皆済	
34-5-3-3	覚(銀札受取)	亥年9月20日	横継紙	1通	元大橋店→(宛名なし) 水夫・埋出屋敷銀他の受取	
34-5-3-4	[銀子勘定覚]	年月日未詳	横切紙	1通		
34-5-3-5	[金子書付](年貢銀)	年月日未詳	横切紙	1通	癸亥年横役割・人足割・米方割銀	
34-5-3-6	[金子書付](年貢銀)	癸亥(文久3)年	横切紙	1通	中島屋徳蔵宛癸亥年貢銀切手	
34-5-3-7	[金子書付](年貢銀)	癸亥(文久3)年	横切紙	1通	大橋良介宛年貢銀切手	
34-5-3-8	当御年貢米請取通	文久3年	横折紙	1通	子位庄村名主禎介・延助→大橋源助	文書奥に「覚(亥12月29日本家大橋良介宛新宅徳蔵)」1通を貼継
34-5-3-9	[年貢銀切手]			1括り(4通)		34-5-3-9-1~4紙紐で一括り
34-5-3-9-1	[年貢銀切手]	癸亥年	横切紙	1通	大橋良介 癸亥年初納銀拾九匁五分	
34-5-3-9-2	[年貢銀切手]	癸亥年	横切紙	1通	大橋良介 水夫屋敷六匁五分貳厘	
34-5-3-9-3	[年貢銀切手]	癸亥年	横切紙	1通	大橋良介 埋出屋敷役銀六拾三匁四分四厘	
34-5-3-9-4	[年貢銀切手]	癸亥年	横切紙	1通	中嶋屋徳蔵 癸亥初納銀壹匁	
34-5-3-10	覚(金子受取)	子年1月10日	横切紙	1通	福田新田喜平→東大橋 金八両の受取証	
34-5-3-11	覚(切手受取)	亥年12月18日	横切紙	1通	川入村名主庄兵衛→倉敷大橋源介	
34-5-3-12	文久三亥浜村御年貢請取	文久3年	横折紙	1通	庄屋富太郎 大橋良介 高9石8斗7升2合	(端裏書)「亥 大橋良介」
34-5-3-13	[米高書付](浜村年貢勘定)	年月日未詳	横切紙	1通	高合9石8斗7升2合の内訳を勘定	34-5-3-12と関連深し
34-5-3-14	御年貢受取通	文久3年12月10日	横切紙	1通	庄屋佐藤秀太郎→倉敷源助 〆壹石壹斗四勺皆済	(朱印)「帯江・前湯」
34-5-3-15	高沼村御年貢請取通	文久3年12月2日	横切紙	1通	庄屋三木之助→中嶋屋源助 12月2日請取金皆済	
34-5-3-16	文久三癸亥御年貢米請取通之事	年未詳12月29日	横折紙	1通	庄屋大橋平右衛門・同大原与兵衛→大橋良介 成米合5石2斗9升1合4勺	
34-5-3-17	川入村御年貢米請取通	文久3年	横折紙	1通	庄屋庄兵衛→倉敷大橋源介	
34-5-4	[年貢関係書類]			1袋(13通1括り1纏め)		34-5-4-1~15一袋 (袋上書)「元治元甲子年 村々御年貢通入」

34-5-4-1	元治元甲子御年貢米銀請取通之事	元治元年12月28日	横折紙	1通	庄屋大橋平右衛門・大原與兵衛→大橋良介	
34-5-4-2	御年貢受取通	元治元年12月12日	横切紙	1通	莊屋佐藤秀太郎→倉敷大橋源助 〆 壹石八升貳合四勺皆済	(朱印)「帯江・前湯」
34-5-4-3	高沼村御年貢受取通	元治元年12月15日	横繼紙	1通	庄屋三木之助→中島屋源介 〆 2石5斗7升2合皆済	
34-5-4-4	[年貢銀関係書類]	元治元年		1纏め(9通)		34-5-4-4-1~9紙紐で一括り
34-5-4-4-1	[銀子書付](年貢銀受取)	年未詳12月12日	横切紙	1通	大橋良介宛御廻米割銀 他2筆	(角印)「役用」
34-5-4-4-2	[銀子書付](年貢銀受取)	年未詳12月12日	横切紙	1通	中嶋屋徳蔵宛郡中大割銀 他2筆	(角印)「役用」
34-5-4-4-3	[銀子書付](年貢算用)	年月日未詳	横切紙	1通		
34-5-4-4-4	[銀札書付](年貢銀)	年月日未詳	横切紙	1通	横役割七勺貳分三厘壹毛 他4筆	
34-5-4-4-5	覚(年貢銀算用)	年月日未詳	横繼紙	1通		
34-5-4-4-6	[銀子書付](年貢銀受取)	年未詳9月6日	横切紙	1通	大橋良介宛銀19匁5分の受取	
34-5-4-4-7	[銀子書付](年貢銀受取)	年未詳9月16日	横切紙	1通	大橋良介宛甲子年水夫役銀六匁五分貳厘	
34-5-4-4-8	[銀子書付](年貢銀受取)	甲子年9月16日	横切紙	1通	大橋良介宛甲子年埋出屋敷役銀六拾三匁四分四厘	
34-5-4-4-9	[銀子書付](年貢銀受取)	年未詳9月6日	横切紙	1通	中嶋屋徳蔵宛甲子年初納銀壹匁	
34-5-4-5	[銀子書付](年貢高銀)	元治元年7月	横切紙	1通	名主武三郎・同栄之介→大橋源介 高三拾石貳斗壹升貳合 掛銀札四百九拾貳匁四分六厘	
34-5-4-6	覚(年貢銀書付)	元治元年12月	横切紙	1通	松江→大橋	
34-5-4-7	覚(年貢銀渡)	子(元治元)年12月28日	横切紙	1通	高沼村庄屋三木之助→倉敷中嶋屋源助 銀11匁8分5厘	
34-5-4-8	[銀子書付](年貢銀渡)	年月日未詳	横切紙	1通		
34-5-4-9	元治元子浜村御年貢請取	元治元年	横折紙	1通	庄屋富太郎→大橋良介	(端裏書)「子 東大橋」
34-5-4-10	[年貢関係書類]			1纏め(3通)		34-5-4-10-1に34-5-4-10-2~3を挟み込む
34-5-4-10-1	覚(高掛銀受取証)	年未詳9月24日	横切紙	1通	小野小十郎他2名→大橋金平 銀札四百目三分	
34-5-4-10-2	[銀子書付](高掛切手)	年月日未詳	横切紙	1通	鶴新田会所→大橋金平 高掛銀400目3分	
34-5-4-10-3	[銀子書付](高掛銀切手)	年月日未詳	横切紙	1通	金平宛 銀札800目6分	
34-5-4-11	覚(銀札受取証)	子(元治元)年4月21日	横切紙	1通	会所→倉敷金平 銀札400目3分	
34-5-4-12	当御年貢請取通	元治元年12月25日	横折紙	1通	名主請持利左衛門→大橋良介 〆 三石五斗壹升五合皆済	
34-5-4-13	元治元甲子歳 御年貢通	元治元年	横折紙	1通	箕嶋村→倉敷東大橋 九斗四升五合五勺皆済	
34-5-4-14	当御年貢米請取通	元治元年12月25日	横折紙	1通	子位庄村名主禎介・同延助→大橋源助 貳拾三石三斗八升九合四勺皆済	
34-5-4-15	川入村御年貢米請取通	元治元年	横折紙	1通	名主大嶋村庄兵衛→倉敷村大橋源介 六石八斗九合貳勺皆済	
34-5-5	[小作銀関係書類]			1袋(1冊7通1纏め)		34-5-5-1~9一袋 (袋上書)「文久二壬戌年久次郎仲蔵より差出候書類一切并庄屋より差越候蔵斗り書抜共入」
34-5-5-1	[鶴新田小作米出張取立人別帳]	戌(文久2)年10月26日	美・横長	1冊	〆 四貫六百六拾九匁貳分貳厘を取立	
34-5-5-2	覚(銀札勘定)	年月日未詳	横切紙	1通	すへ政右衛門 銀札三百目 他8筆 〆 1貫244匁	
34-5-5-3	覚(銀札勘定)	年月日未詳	横切紙	1通	西浦万吉 銀札拾四匁 他6筆	
34-5-5-4	覚(小作米代銀勘定)	年月日未詳	横繼紙	1通	〆 2貫441匁6分6厘	
34-5-5-5	覚(小作代銀勘定)	戌(文久2)年12月28日	横切紙	1通	靄 庄九郎 銀札300目 他4筆	
34-5-5-6	[掛銀書付]			1纏め(3通)		34-5-5-6-3に34-5-5-6-1~2を包み込む
34-5-5-6-1	[掛銀書付]	年月日未詳	横切紙	1通	金平 定米10石9斗5合	
34-5-5-6-2	[銀子書付](掛銀)	年月日未詳	横切紙	1通	古池懸り 三拾目九分 他3筆	
34-5-5-6-3	覚(蔵払米)	年月日未詳	横折紙	1通	蔵払米 〆 壹石六斗貳升	
34-5-5-7	覚(小作銀勘定)	年月日未詳	横繼紙	1通	靄 庄吉 銀札348匁 他14筆	
34-5-5-8	覚(小作代銀)	年月日未詳	横切紙	1通	代銀 福田米亥四月分 代銀札貳貫貳百拾四匁三分五厘	
34-5-5-9	覚(小作代銀勘定)	年月日未詳	横繼紙	1通	西浦久四郎 銀札百三拾貳匁 他19筆 〆 十三貫六百九拾六匁八分	
34-5-6	[年貢関係書類]			1袋(1冊2通1包2括り1纏め)		34-5-6-1~7一袋 (袋上書)「文久元辛酉年ヨリ福田新開喜平保右衛門ヨリ差越候書類入」
34-5-6-1	文久元年酉九月日 諸入用足役覚帳 倉敷大橋氏	文久元年9月	美・横長	1冊		
34-5-6-2	覚(小作米・銀納入勘定)	年月日未詳	横折紙	1纏め	松江栄之介 米一俵他	2枚からなる
34-5-6-3	[年貢米銀納入書付類]			1包(8通)		34-5-6-3-1~8一包 (封筒上書)「文久元酉ノ年福田新開喜平保右衛門ヨリ差越候書類入」
34-5-6-3-1	覚(年貢銀勘定)	年未詳8月	横繼紙	1通	新田喜平	
34-5-6-3-2	覚(戌年貢米勘定)	亥年8月	横切紙	1通		
34-5-6-3-3	覚(年貢米代金支払)	酉(文久元)年12月28日	横切紙	1通	中畝保右衛門・松江喜平→大橋	
34-5-6-3-4	覚(諸入用書付)	亥年正月	横切紙	1通	喜平→東大橋 酒・肴・夜番賃など	
34-5-6-3-5	覚(米代渡状)	戌年3月5日	横繼紙	1通	松江喜平→東大橋	
34-5-6-3-6	覚(年貢米勘定)	年未詳正月20日	横切紙	1通	喜平 〆 四拾壹俵壹斗六升五合	

34-5-6-3-7	覚(御年玉・御肴料・諸入用の受取)	年未詳正月17日	横切紙	1通	福田新田松屋喜平→大橋	
34-5-6-3-8	覚(年貢米代払上)	年未詳7月	横継紙	1通	福田喜平→東大橋	
34-5-6-4	覚(実綿・米渡状)	乙丑年4月晦日	横継紙	1通	松江喜平→東大橋 代人久治郎 実綿60貫650匁 米42俵	
34-5-6-5	覚(銀子受取)	丑年2月23日	横切紙	1通	福田松江喜平→倉敷大橋 名前入違分百拾匁	
34-5-6-6	[小作米銀書付類]			1括り(2通)		34-5-6-6-1~2紙紐一括り(紙綴り端書)「子ノ年分」
34-5-6-6-1	小作寄米銀書抜附	子年12月22日	横折紙	1通	松江喜平→倉敷東大橋	
34-5-6-6-2	覚(綿米寄銀勘定)	丑年正月	横切紙	1通	中嶋屋喜平→大橋	
34-5-6-7	[納入米銀勘定書類]			1括り(5通)		34-5-6-7-1~5紙綴りで一括り(紙綴り端書)「亥年分一切」
34-5-6-7-1	亥かし子米差引	年未詳8月晦日	横切紙	1通	松屋喜平→大橋御内久次郎 加地子米渡状	
34-5-6-7-2	覚(納入銀書付)	年未詳正月10日	横継紙	1通	喜平→東大橋 国七松次郎 他8筆	
34-5-6-7-3	覚(亥年中入用銀書付)	年未詳正月	横継紙	1通	喜平→東大橋 〆56匁6分	
34-5-6-7-4	覚(亥年分寄米銀勘定)	亥年12月	横切紙	1通	喜平→東大橋 寄銀1貫68匁3分6厘	
34-5-6-7-5	[米綿寄銀書付]	子年正月4日	横折紙	1通	福田新田松江喜平→大橋	
34-5-7	[年貢関係書類]			1袋(1纏め2括り)		34-5-7-1~3一袋(袋上書)「文久二壬戌年ヨリ鶴新田金蔵周平兩人より差越候書類一切入」
34-5-7-1	[覚書類]			1括り(9通1纏め)		34-5-7-1-1~10紙綴りで一括り(紙綴り書付)「戌年分」
34-5-7-1-1	覚(納入銀札書上)	亥年6月7日	横切紙	1通	銀札88匁 上竹常右衛門 他2筆 〆297匁	宛名・差出人なし
34-5-7-1-2	覚(納入銀札書付)	亥年4月3日	横切紙	1通	金蔵より差越分 酉年不足分24匁3歩 大梵光太郎 他2筆 〆134匁3歩5厘	
34-5-7-1-3	覚(納入銀札書付)	年月日未詳	横継紙	1通	亥正月十六日分 52匁 浅浦多吉 他5筆 〆455匁5分	宛名・差出人なし
34-5-7-1-4	[耕地・作人書上]			1纏め(2通)		34-5-7-4-2に34-5-7-4-1を挟み込み
34-5-7-1-4-1	[耕地書上]	年月日未詳	横折紙	1通	拾三割壺町三反ノ内 道より壺壺反 綿下々無毛 他3筆	
34-5-7-1-4-2	[耕地・作人名書上]	年月日未詳	横切紙	1通	岡崎美之吉 他10筆	
34-5-7-1-5	[人足・役用銀書上]	年月日未詳	横折紙	1通	長尾金蔵 八月廿三日 昼したく2人他	
34-5-7-1-6	覚(人別高書上)	年月日未詳	横継紙	1通	三反八斗 増吉 他20筆	
34-5-7-1-7	覚(納米書上)	年月日未詳	横切紙	1通	戌十一月十五日金蔵より差越分 十一月三日 米3石2斗 ツル常吉 他6筆	
34-5-7-1-8	覚(代銀書上)	戌年12月23日	横切紙	1通	金蔵 1斗 もみたね 代銀12匁 他6筆 〆110匁2分 戌12月23日渡ス	
34-5-7-1-9	覚(納入銀札書上)	年月日未詳	横折紙	1通	十吉より差越分 銀札44匁 鶴八百蔵 他3筆	
34-5-7-1-10	覚(納入銀札書上)	亥年2月7日	横切紙	1通	長尾屋分 銀札33匁 鶴松兵衛 他4筆 〆239匁	
34-5-7-2	[会所作事入用書類]			1纏め(2通)		34-5-7-2-1に34-5-7-2-2を挟み込み
34-5-7-2-1	入用覚	年月日未詳	横切紙	1通	一貳拾目 大工作料五人 一拾匁 やねや貳人半 他10筆 〆貳百拾三匁	
34-5-7-2-2	覚(受取書)	丑年2月15日	横切紙	1通	長尾屋金蔵→東大橋 一札貳百拾三匁 会所作次入用	
34-5-7-3	[覚書類]			1括り(8通2纏め)		34-5-7-3-1~10紙綴り一括り(紙綴り書付)「亥年分」
34-5-7-3-1	[納銀書付]	子年10月5日	横切紙	1通	五拾五匁 大崎安蔵吉 他2筆 〆百七拾目	
34-5-7-3-2	覚(米・大豆代銀書上)	子年4月29日	横継紙	1通	米六拾三石三斗九升四合壺匁 内五斗六升五合ねきり 残六拾貳石八斗貳升九合壺匁 代十貫五拾貳匁六分六厘 他2筆	
34-5-7-3-3	覚(納銀書付)	子年4月5日	横切紙	1通	九拾壺匁 大梵竹松 寅年分相済 他1筆	
34-5-7-3-4	覚(納銀書付)	年未詳2月6日	横継紙	1通	六拾貳匁 大梵光太郎 他2筆	
34-5-7-3-5	覚(納銀書付)	亥年正月16日	横切紙	1通	百拾匁 大梵光太郎 他1筆	
34-5-7-3-6	覚(納銀書付)	亥年12月29日	横継紙	1通	百六拾七匁四分 勇崎藤五郎 六割三反分 他4筆	
34-5-7-3-7	[納銀・米高書付]			1纏め(2通)		34-5-7-3-7-1に34-5-7-3-7-2を包む
34-5-7-3-7-1	覚(米高書付)	年月日未詳	横切紙	1通	米壺石 和泉谷 他1筆	
34-5-7-3-7-2	覚(納銀書付)	年月日未詳	横切紙	1通	六拾八匁相済 上竹常右衛門	
34-5-7-3-8	[覚書類]	亥年12月4日		1纏め(2通)		34-5-7-3-8-2に34-5-7-3-8-1が挟み込まれている (包紙上書)「亥十二月四日久次郎持帰り金蔵へ米預ヶ置候俵数同人より書付差越候分入此分大切之書類」
34-5-7-3-8-1	覚(俵数書上)	(亥年12月4日カ)	横切紙	1通	65俵 他4筆	
34-5-7-3-8-2	覚(納入米書上)	亥年12月4日	横継紙	1通	亥十二月四日差越分 103匁 西大崎安吉 他9筆	
34-5-7-3-9	[代銀受取証]	亥年12月晦日	縦切紙	1通	36匁3分 くるまなをし代 市三郎	
34-5-7-3-10	覚(代銀受取)	子年12月晦日	横継紙	1通	三拾貳匁五分 車代 他3筆	
34-5-8	[年貢関係書類]			1袋(1冊3通俵1冊)		34-5-8-1~5一袋(袋上書)「元治元甲子年 久次郎・仲蔵より差出候書類一切并蔵斗り書抜共内斗共入」
34-5-8-1	[鶴新田小作米取立人別帳]	子年11月27日	美・横長	1冊		
34-5-8-2	[人足役銀算用帳]	子(元治元)年正月	美・横長	俵1冊	長尾屋金蔵 正月朔日・二日 貳人 久次郎他 〆八拾八匁 御蔵入 中嶋屋 ツル 喜代蔵 壺斗 他17筆 〆拾貳石貳斗八升	
34-5-8-3	[蔵入米人別書上帳]	年月日未詳	横折紙	1通		
34-5-8-4	御蔵斗覚	年月日未詳	横継紙	1通	米貳斗 鶴 倉蔵 他21筆	上部虫損あり
34-5-8-5	覚(年貢米書付)	子(元治元)11月23日	横切紙	1通	米正三斗 鶴 全六 他2筆	
34-5-9	[年貢関係書類]			1袋(2冊4通)		34-5-9-1~6一袋(袋上書)「文久三癸亥年 久次郎仲蔵より差出候書類一切并蔵斗り書抜共入」



34-5-9-1	[鶴新田小作米取立人別帳]	年未詳11月23日	美・横長	1冊	亥十一月廿三日廿四日出張鶴新田小作米取立候人別 切米4斗2升 中浜元吉他	
34-5-9-2	[作人名前書上]	年月日未詳	横折紙	1通	大梵金四郎 統作人他	
34-5-9-3	[作人名前書上]	子(元治元)年10月	横切紙	1通	西浦源次郎他8名	
34-5-9-4	御蔵入覚	年月日未詳	横切紙	1通	浅浦多吉→大橋 新 芳松斗 壹石貳斗 他6筆 米相庭貳百拾三匁	
34-5-9-5	覚(地代銀入別書上)	年月日未詳	横継紙	1通	地代銀 爪崎右兵衛 三拾目 他20筆 米4貫315匁5分	
34-5-9-6	飯覚帳	年未詳12月28日	半・横	仮1冊	長尾屋金蔵 正月十日より十六日迄 7人 久次郎分他	
34-6	文政九戌年ヨリ 地利勘定帳	文政9年	美・横列	1冊		(裏表紙)「中島屋」
34-7	自天保三壬辰年 当座帳 弘化二乙年十一月迄	天保3~弘化2年11月	美・横列	1冊		(裏表紙)「富春軒」
34-8	[東様分納金書付類]			1袋(1冊3纏め 52通仮4冊)		34-8-1~60一袋 (袋上書)「西十二月十二日ヨリ川入久次郎 鶴新田金蔵 其外口入ヨリ差越候書附入 申年差越分トモ」
34-8-1	[納金書付類]			1纏め(2通)		34-8-1-1~2一纏め 34-8-2-1が34-8-1-1に挟み込まれている
34-8-1-1	[書付](酉年分納金)	酉年	横切紙	1通	米四円七拾六銭 西村清右衛門 酉年分入済	
34-8-1-2	[書付](酉年分納金)	酉年	横切紙	1通	六拾八銭 西村紋介 入	34-8-1-1に挟み込まれていた
34-8-2	記(酉年分入済)	戌年8月18日	横継紙	1通	一金壹円 酉年分ノ不足之内口入 西村代吉 他8筆 米拾五円四拾三銭七厘	
34-8-3	記(酉年分入済)	戌年7月10日	横切紙	1通	東様ノ分 壹円九拾七銭入 林蔵	
34-8-4	記(申年分入済)	戌年7月10日	横切紙	1通	東様ノ分 一金壹円九拾五銭 西村幸吉	
34-8-5	記(租税石代納入)	年未詳2月1日	横切紙	1通	赤木秀太→大橋 一金拾円也	
34-8-6	覚(納金書上)	戌(明治7)年	横継紙	1通	東大橋あて 7筆	覚2枚が継がれている 1枚目の末に朱筆の書入あり (朱筆)「明治七戌一月十四日 仲蔵持帰ル」
34-8-7	明治六年 小作預ヶ畝数名寄毛見帳 赤木秀太	年月日未詳	半・横半	1冊	畝数書上 一. 七反廿八歩 勝二郎 他	
34-8-8	[書付](未年分入済)	年月日未詳	横切紙	1通	東様分 一. 金三円三拾銭 西村勝次郎	
34-8-9	[書付](納金書上)	年月日未詳	横折紙	1通	貳円 吉次郎 他11筆 米四拾貳円七十七銭貳厘	
34-8-10	覚(年貢等書上)	酉年10月23日	美・横長	1冊	一. 永百九拾目 大梵幸次郎他 米三貫六百目	
34-8-11	[書付](納入金書上)	戌年4月17日	横継紙	1通	寿三郎→東大橋 ツル 仁兵衛 百三拾五匁他	
34-8-12	記(納金書上)	戌年3月19日	縦切紙	1通	泉三郎→東大橋 黒崎 常三郎 他4筆 米拾七円	
34-8-13	記(納金書上)	年未詳4月2日	縦切紙	1通	東様分 金壹円 西村紋介 他5筆 米六円六拾四銭五厘七毛	
34-8-14	[納金書付]	年未詳3月1日	半・横長	仮1冊	弁才天芳兵衛 五円廿五銭他	
34-8-15	戌二月廿五日差越分書附	年月日未詳	半・横長	仮1冊	一壹貫五百目 岩吉他	(朱筆)「癸酉年分相場 一. 金四円貳拾銭 切米壹石二付 一. 同五円也 実綿壹俵二付」
34-8-16	記(納金書上)	戌(明治7)年2月29日	横切紙	1通	浜桑屋栄吉 金壹円 他8筆 米貳拾八円貳拾銭	(朱書)「明治七戌年三月一日」
34-8-17	[東大橋宛庄作書状]	年未詳12月25日	横切紙	1通	小作寄金指上げるので受取下されたい 当年は米納なく金納ばかりである もっとも相庭壹石二付四百貳拾匁にて取立てた 東様分濱村分 金壹円 酉年分内口入 西村藤九郎 他2筆 米五円	包紙あり(包紙上書)「東大橋様 尊下要用 松江庄作」
34-8-18	[書付](納金書上)	年月日未詳	横切紙	1通	一金壹円 酉年分内江入 大門利喜蔵 他2筆 米五円貳拾貳銭	
34-8-19	覚(納金書上)	年月日未詳	横継紙	1通	四拾五銭 申年分入済 川入藤吉分 壹円七拾銭 酉年分口入 同富吉分 他8名 米三拾五円三拾銭	
34-8-20	覚(納金書上)	戌年1月30日	横継紙	1通	一六拾八銭 未年分入済 西村藤之丞 他4筆 米三円八拾七銭	
34-8-21	覚(納金書上)	年未詳2月6日	横継紙	1通	金三円 酉年分内口入 大門小左衛門 五円 酉年分内口入 濱桑屋栄吉 他6人 米拾九円六拾五銭	
34-8-22	[書付](納金)	戌年2月1日	横継紙	1通	東様分 金三円五拾銭 西村鶴蔵他 米八拾九円七拾七銭六厘八毛	
34-8-23	[書付](納金)	年月日未詳	美・横長	仮1冊	金五円 酉年分内口入 鹿爪長五郎 他3筆 米貳拾円五拾銭	
34-8-24	覚(納金書上)	年月日未詳	横切紙	1通	赤木秀太→大橋 金三拾円	
34-8-25	記(小作租税金送り状)	年未詳1月25日	横切紙	1通	貳円四拾銭 忠兵衛 他15筆	
34-8-26	[書付](納金)	年未詳7月15日	横折紙	1通	鶴口屋泉重郎→東大橋 黒崎 弥助 貳円 他2筆	
34-8-27	記(金子書上)	戌年6月2日	横切紙	1通	東様分 申年分内口入 金貳円 西村紋介 申年分内口入 同六円 大門庄九郎 他5筆 米三拾三円壹歩	(朱書)「戌一月廿四日 川入久次郎持参」
34-8-28	記(納金書付)	年月日未詳	横切紙	1通	東様分 申年分入済 金六円七拾銭 惣十郎 他2筆	
34-8-29	[書付](納金)	戌年1月25日	横切紙	1通	銭札百目 川入善五郎	
34-8-30	[書付](納金)	年月日未詳	横切紙	1通	矢がら 善之丞 永五拾目 他3筆 米五百目	(朱書)「戌一月廿一日」
34-8-31	覚(年貢書付)	酉年12月4日	横切紙	1通	金貳円六拾五銭 本村勇次郎 他1筆 米貳円九拾銭	
34-8-32	記(納金書上)	年月日未詳	横継紙	1通	金三円 東様分 金三円 西村又吉 他3筆 酉年分内口入	
34-8-33	記(納金書上)	戌年3月21日	横継紙	1通	申年分入済 一永百拾匁 西村平三郎 他2筆 米六百拾匁	
34-8-34	[書付](納金)	年月日未詳	横切紙	1通	金三円 西村万之丞 入	
34-8-35	[書付](納金)	年月日未詳	横切紙	1通	鶴本屋重三郎→東大橋	(朱書)「五月二日 和泉谷清介持参之分」
34-8-36	記(地代書上)	年未詳4月30日	横継紙	1通		

34-8-37	[書付](納金)	年月日未詳	横折紙	1通	鶴 敬次郎 金拾円他	
34-8-38	記(東・北大橋分納金)	年未詳4月17日	横切紙	1通	西村定平 金五円 他4筆 二口合 拾円四拾九銭	
34-8-39	記(東・北大橋分納金)	戌年8月26日	横継紙	1通	西村久四郎 貳拾銭 他7筆 六円拾五銭	
34-8-40	覚(金子書付)	戌年2月24日	横切紙	1通	赤木秀太→大橋 拾五円	
34-8-41	[書付](酉年分納金)	戌年8月26日	横切紙	1通	壹円 幸七 他4筆	
34-8-42	記(金五拾円送状)	年未詳4月13日	横切紙	1通	赤木秀太→大橋旦那 大工定吉→久治郎 三匁七分 しんかね代 他6筆 合三拾三匁 貳歩	
34-8-43	覚(大工作料分書上)	戌年7月29日	横継紙	1通	一金四拾五円 赤木秀太→大橋旦那	
34-8-44	記(金代金送り状)	年未詳4月16日	横切紙	1通	申年分不足入済 永七拾五匁 西村甚三郎 他1筆	
34-8-45	[書付](納金)	戌年1月12日	横切紙	1通	重三郎→東大橋 三百三拾目 鶴吉 貳百四拾壹匁四分 重蔵 東様分 七拾四銭 川入弥右衛門 他2筆 酉年分入済 四円 七拾貳銭	(朱書)「戌一月十二日」
34-8-46	覚(申年分納金書付)	酉年11月24日	横切紙	1通		
34-8-47	記(東・北大橋分納金)	年未詳4月7日	横切紙	1通		
34-8-48	[納米書付]			1纏め(2通)		34-8-48-1~2一纏め 34-8-48-2が34-8-48-1に挟み込まれている
34-8-48-1	[書付](納米)	年月日未詳	横切紙	1通	西十二月十二日納米貳石四斗八升 他4筆 六拾四石八斗七升 八合六匁	
34-8-48-2	[書付](納米)	年月日未詳	横継紙	1通	西之浦 浅右衛門斗り	34-8-48-1に挟み込まれている
34-8-49	米覚	酉年11月29日	横継紙	1通	十月廿四日納米三斗壹升貳合 鶴茂十郎 他15筆 六拾壹石 壹斗壹升貳合 長尾屋近藤渡	(朱書)「明治七年戌一月十二日」
34-8-50	覚(年貢米代銀書上)	戌年2月10日	横継紙	1通	長尾屋→東大橋 一永百四拾五匁 金蔵 申年貢米相済 他10 筆 三貫七百壹匁六分	(朱書)「明治七年戌二月十一日」
34-8-51	[納銀書付]			1纏め(2通)		34-8-51-1~2一纏め 34-8-51-2が34-8-51-1に挟み込まれている
34-8-51-1	[書付](年貢銀)	年月日未詳	横切紙	1通	北様分 一銭札四百目入 西村小太郎	
34-8-51-2	[書付](納年貢銀)	年月日未詳	横切紙	1通	川入 留吉 入 銀札百九匁貳分九厘	34-8-51-1に挟み込まれていた
34-8-52	覚(納年貢銀書上)	酉年12月21日	横継紙	1通	岡崎美之吉 貳百貳拾匁 他10筆 合貳貫百三拾目三分	
34-8-53	不作之分(田畑不作引分書上)	酉年12月30日	横継紙	1通	大内 駒之介 田斗弍引 他12筆	(朱書)「酉十二月三十日」
34-8-54	覚(年貢米送り状)	戌年1月3日	横継紙	1通	三斗五升入 三俵 三斗二升五合入 壹俵 西村勝次郎 入	
34-8-55	覚(納米書付)	酉年1月26日	縦切紙	1通	納米貳石 鶴 関蔵 同四斗 岡崎弥助	(朱書)「戌一月廿六日 金蔵 入 受取」
34-8-56	[書付](納年貢銀書上)	年月日未詳	横切紙	1通	銭札三百六拾九匁三分五厘 川入伊八 内作人百介 入 他1 筆	
34-8-57	覚(年貢書上)	酉年11月26日	横切紙	1通	永七拾五匁 西浦 平吉 11筆 惣 六貫五百拾目	(朱書)「明治七戌一月十四日」
34-8-58	覚(年貢代銀書上)	酉年9月10日	横継紙	1通	西浦 久松 永七拾三匁 他15筆 惣 六貫八百四拾三匁 長 尾屋金蔵	
34-8-59	[書付](納年貢銀)	年月日未詳	横切紙	1通	浜茶屋 栄吉 銀札貳百五拾匁 他1筆 六銀札貳百七拾五匁 八拾九銭 西村栄八 入	
34-8-60	[書付](年貢金書付)	年月日未詳	横切紙	1通		
34-9	文政十三年かのえとら正月吉日 当座帳	文政13年正月吉日	美・横長	1冊		(裏表紙)「宝来山 なかしまや 源介」
34-10	享和三年癸亥年正月吉日 当座帳	享和3年正月吉日	美・横長	1冊		(裏表紙)「宝来山 なかしまや 金平」
34-11	享和四年甲子正月吉日 当座帳	享和4年正月吉日	美・横長	1冊		(裏表紙)「宝来山 なかしまや 金平」
34-12	天明八年つちのえさる正月吉日 当座帳	天明8年正月吉日	美・横長	1冊		(裏表紙)「宝来山 なかしまや 久兵衛」
34-13	寛政十一年つちのとひつじ正月吉日 当座帳	寛政11年正月吉日	美・横長	1冊		(裏表紙)「宝来山 なかしまや 金平」
34-14	寛政十三年かのとり 享和二年壬戌正月吉日 当座帳	寛政13年正月吉日 ~享和2年正月吉日	美・横長	1冊		(裏表紙)「宝来山 なかしまや 金平」
34-15	文政六年みずのとひつじ正月吉日 当座帳	文政6年正月吉日	美・横長	1冊		(裏表紙)「宝来山 なかしまや」
34-16	文政五歳壬午正月吉日 当座帳	文政5年正月吉日	美・横長	1冊		(裏表紙)「宝来山 中嶋屋 源介」
34-17	文政四歳辛巳正月吉日 当座帳	文政4年正月吉日	美・横長	1冊		(裏表紙)「宝来山 中嶋屋 源介」
34-18	文政三年かのえたつ正月吉日 当座帳	文政3年正月吉日	美・横長	1冊		(裏表紙)「宝来山 なかしまや 源介」
34-19	文政二年つちのとら正月吉日 当座帳	文政2年正月吉日	美・横長	1冊		(裏表紙)「宝来山」
34-20	文政十二年つちのとうし正月吉日 当座帳	文政12年正月吉日	美・横長	1冊		(裏表紙)「宝来山 (なかしまや) 源介」
34-21	文政八年きのととり正月吉日 当座帳	文政8年正月吉日	美・横長	1冊		(裏表紙)「宝来山 なかしまや 源介」
34-22	文政九年ひのえいぬ正月吉日 当座帳	文政9年正月吉日	美・横長	1冊		(裏表紙)「宝来山 なかしまや 源介」
34-23	文政十年ひのとい正月吉日 当座帳	文政10年正月吉日	美・横長	1冊		(裏表紙)「宝来山 なかしまや 源介」
34-24	文政十一年つちのえね正月吉日 当座帳	文政11年正月吉日	美・横長	1冊		(裏表紙)「宝来山 源介」
34-25	文政七年きのえさる正月吉日 当座帳	文政7年正月吉日	美・横長	1冊		(裏表紙)「宝来山 なかしまや 源介」
34-26	[書付類]			1袋(7纏め86通 仮2冊)		34-26-1~95一袋 (袋上書)「明治十二年四月廿二日ヨリ 各村名 代人ヨリ差越候書抜在裡」断簡をSILティッシュで包んで入れた
34-26-1	[書付]			1纏め(3通)		34-26-1-1~3一纏め 34-26-1-1に34-26-1-2~3が挟まれていた
34-26-1-1	記(金銭勘定書付)	巳(明治14カ)年1月 24日	14.8×19.3	1通	金九円 大内松蔵 卯年分不足入済 他3筆 六三拾四円	罫紙
34-26-1-2	[書付](納年貢金)	年月日未詳	14.9×5.6	1通	金壹円八拾銭 西村忠左衛門 去卯年分之不足入済	罫紙

34-26-1-3	記(戸井渡し願)	卯(明治12カ)年5月12日	横切紙	1通	川入久次郎→東大橋 五尺戸井壺本お渡し下されたい	
34-26-2	[書付](土地)	年月日未詳	横切紙	1通	十三郎→大橋 公地書付 石蔵 他3筆	
34-26-3	記(納米・代金書上)	年月日未詳	横折紙	1通	長尾屋→東大橋 納米壺石式斗 鶴庄九郎 他8筆 〆拾壺石式斗四升 弁財天勝蔵 式円九拾錢 他1筆 〆式拾円九拾錢	
34-26-4	記(納米書上)	年月日未詳	横折紙	1通	長尾屋→東大橋 一. 納米四斗 鶴栄吉 他9筆	
34-26-5	記(納米書上)	卯年旧12月1日	横折紙	1通	長尾屋→東大橋 納米八斗 鶴長次郎 他12筆 〆拾式石六斗	
34-26-6	[書付](米高)	年月日未詳	横切紙	1通	米八斗 鶴卯人 他1筆	
34-26-7	記(道具類代金書付)	年未詳6月11日	横切紙	1通	佐藤真平→東大橋 碧山牡丹掛物壺幅 壺円 他3筆 〆四円	
34-26-8	[金子書付]	年月日未詳	14.6×6.7	1通	一金壺円也 川西町佐吉	罫紙
34-26-9	記(納年貢金書上)	年月日未詳	横切紙	1通	金式円六拾六錢 濱村藤九郎 他5筆 〆拾六円五拾六錢	
34-26-10	[金銭書付類]			1纏め(2通)		34-26-10-1~2一纏め 34-26-10-1が34-26-10-2に挟み込まれていた
34-26-10-1	[書付](水利渡米代)	年月日未詳	横切紙	1通	子位之荘 八錢 西村清右衛門 他1筆	
34-26-10-2	記(納年貢金)	年月日未詳	横継紙	1通	金拾六円 鶴新田 新蔵 他13筆 〆九拾三円七拾錢	
34-26-11	記(納年貢米金)	辰年2月7日	横切紙	1通	金七円也 西村多次郎 他4筆 〆三拾五円四拾七錢	
34-26-12	記(納年貢米金書上)	辰年2月8日	横継紙	1通	金四円八拾九錢 西村常平跡作人定松方入 他11筆 〆六拾五円五拾三錢八厘	
34-26-13	[納年貢米代金書上帳]	辰年2月10日	美・横長	仮1冊	金三円五拾六錢 西村武七 他25筆 〆百拾八円七拾六錢	
34-26-14	[書付]			1纏め(3通)		34-26-14-1~3一纏め 3通を重ねて巻きこんでいる
34-26-14-1	記(入用書付)	辰年正月12日	横切紙	1通	粒江多賀鹿治郎→東大橋 壺円五拾錢 卯年入用 拾三度支度	
34-26-14-2	[書付](入用金銭)	年月日未詳	横切紙	1通	支度拾三度 他4筆 〆五十四円三錢	
34-26-14-3	記(地価田地売買代金書上)	年月日未詳	横切紙	1通	田壺町壺反三畝九歩 内四畝廿一步 塩抜敷 地価貳百九拾九円七拾錢 他2筆	
34-26-15	記(金銭書付)	年月日未詳	14.6×5.2	1通	金三円五拾錢 川入弥右衛門方入 去辰年分之不足入済	罫紙
34-26-16	辰年畑綿不作二付願出之分	年月日未詳	14.8×15.3	1通	畑壺斗 大内貞次郎 他6筆	罫紙
34-26-17	[書付](納年貢米綿)	年月日未詳	14.3×38.9	1通	壺石七斗九升六合八勺 川入千代蔵 内三斗五升勘定引 此分下々 他10筆	罫紙
34-26-18	[金銭書付書類]			1纏め(2通)		34-26-18-1~2一纏め 34-26-18-1の中に34-26-18-2に挟み込まれていた
34-26-18-1	記(年貢米代書上)	年月日未詳	14.8×16.5	1通	金八円 川入惣十郎 他2筆 〆拾八円	罫紙
34-26-18-2	[書付](年貢米代)	年月日未詳	14.9×5.3	1通	金壺円也 川入千代蔵 卯年分不足之内江入	罫紙
34-26-19	田畑内訳之事	年月日未詳	14.8×7.4	1通	式石七斗式升三合五勺分 西村源蔵 内田三畝歩 畑二而御座候	罫紙
34-26-20	田畑内訳之事	年月日未詳	14.8×68.0	1通	久次郎→(宛名なし) 川入分預ヶ米〆三石七斗三升九合 川入弥右衛門 内壺石八合畑分 残而田分二而御座候 他12筆	罫紙
34-26-21	記(納米書上)	辰年12月30日	横継紙	1通	阪田重次郎→東大橋 納壺石六斗 岡崎傳治郎 他18筆 〆三拾式石七斗九升八合	
34-26-22	小作人名前御切替願上候事	明治13年10月	14.8×54.0	1通	川入久次郎→東大橋 濱村分田 西村廣蔵作分 当作人 川入金三郎御切替 他13筆	罫紙
34-26-23	御券見御願申事	年月日未詳	14.8×16.6	1通	川入千代蔵 他8筆	罫紙
34-26-24	記(納年貢米代)	年月日未詳	14.8×21.6	1通	金三円八拾錢 西村常太郎 他3筆 〆拾四円	罫紙
34-26-25	記(金銭書付)	年未詳11月3日	横切紙	1通	十三郎→大橋 金拾円七拾錢 辰蔵 他1筆	
34-26-26	記(代金受取証)	年未詳5月7日	13.7×22.3	1通	大黒屋伊平治→長保菊次郎 四円五拾錢 八尺杭百本 他3筆 〆七円九拾五錢	罫紙
34-26-27	記(納年貢代金)	年月日未詳	14.8×20.7	1通	金八拾錢 西村庄三郎 他3筆 〆拾式円貳拾錢	罫紙
34-26-28	記(納年貢米代金)	年月日未詳	14.8×15.0	1通	金五円也 西村忠蔵上り地 他1筆 〆六円貳拾錢	罫紙
34-26-29	[金銭書付書類]			1纏め(2通)		34-26-29-1~2一纏め 34-26-29-1が34-26-29-2に挟み込まれていた
34-26-29-1	記(金銭送り状)	年未詳1月27日	13.6×13.2	1通	多賀鹿治郎→東大橋 金三拾円 定約書壺通	罫紙
34-26-29-2	記(金銭書付)	巳年1月27日	14.8×9.8	1通	金拾壺円也 西村栄左衛門 卯年分之不足段々御勘弁之如御願申上入済二御願申上候	罫紙
34-26-30	記(納年貢代金)	年月日未詳	横切紙	1通	金五円三拾錢 鶴新田 為作 他7筆 〆四拾六円貳十錢	
34-26-31	[書付](反別高書上)	年月日未詳	横切紙	1通	高見金蔵・坂田重三郎→東大橋 鶴新田 秀三 壺反分壺石定五ヶ年 他4筆	差出部分から二ツ折で宛名部分から別紙が貼られている (付紙)「(朱筆)「八割菊蔵 (他3筆)」」
34-26-32	記(納金書付)	年月日未詳	横継紙	1通	辰十一月三日 金24円70錢 卯年分相済 西浦文四郎 他4筆	宛名・差出人なし
34-26-33	記(納金書付)	年月日未詳	14.8×15.5	1通	辰十二月四日 金4円80錢 西村多四郎 去卯年分之不足入済 他2筆 〆八円七拾五錢	宛名・差出人なし 罫紙
34-26-34	記(納金書付)	年月日未詳	14.6×15.2	1通	巳三月十九日 金六円 川入虎吉 去辰年分不足入済に願上 他2筆 〆九円七拾錢	宛名・差出人なし 罫紙
34-26-35	[納金書付類]			1纏め(2通)		34-26-35-1~2一纏め 34-26-35-2に34-26-35-1を挟み込み

34-26-35-1	記(納金書付)	明治14年3月30日	横切紙	1通	坂田重三郎→東大橋 金2円 矢がら 伊助 他5筆 〆48円50銭	
34-26-35-2	誌(納金書付)	年月日未詳	横切紙	1通	三月三十日 金5円 辰年分内入 鶴信吉 他3筆 〆19円80銭	宛名・差出人なし
34-26-36	記(納金書付)	辰年12月3日	横切紙	1通	重三郎→東大橋 金2円 西ノ浦 石松 卯相濟 他6筆 〆金23円10銭	
34-26-37	[納金書付]	年月日未詳	14.8×6.3	1通	辰十二月十三日 金50銭 川入虎吉 去卯年分不足入済願上	宛名・差出人なし 罫紙
34-26-38	記(納金書付)	年月日未詳	14.8×15.4	1通	辰十二月七日 金6円30銭 鹿爪林蔵 去卯年分不足入済 他2筆 〆27円40銭	宛名・差出人なし 罫紙
34-26-39	記(納米書上)	巳年1月13日	横継紙	1通	十三郎→東大橋 十二月廿日 納米壹石六斗 菊三郎 天保式割相濟六斗八合割入 他11筆	
34-26-40	記(納金書上)	明治14年1月30日	美・横長	仮1冊	川入久次郎→東大橋 巳一月三十日 金1円40銭 本村秀次郎 寅年分不足入済 他49筆 〆253円15銭	
34-26-41	記(石高書付)	年月日未詳	14.8×10.7	1通	久次郎→(宛名なし) 2石5斗4升2合 西村与三兵衛分 間違ひ 辰一月十五日 金2円 西村栄八 寅年分不足入済 他1筆 〆3円20銭	罫紙
34-26-42	[納金書付]	年月日未詳	横切紙	1通		宛名・差出人なし
34-26-43	記(納金書上)	卯年10月1日	横継紙	1通	長尾屋金蔵→東大橋 金5円50銭 大崎栄吉 寅年貢相濟 他6筆 〆27円	
34-26-44	記(納金書付)	年月日未詳	14.7×15.9	1通	巳四月六日 金7円 西村紋十郎 去寅年分不足之内江入 他2筆 〆12円30銭	宛名・差出人なし 罫紙
34-26-45	記(納金書付)	年月日未詳	14.9×10.4	1通	辰十二月三十一日 金10円 西村与三兵衛 去卯年分不足入済 他1筆 〆15円	宛名・差出人なし 罫紙
34-26-46	記(納金書付)	年月日未詳	横継紙	1通	金7円 鶴新田 石右衛門 卯年分相濟 他2筆 〆18円40銭 内12銭小づかい	宛名・差出人なし
34-26-47	記(納金書付)	年月日未詳	14.7×14.0	1通	巳一月十一日 金3円也 西村住蔵 去辰年分之内江入 他2筆 〆13円	宛名・差出人なし 罫紙
34-26-48	記(納金書上)	年月日未詳	14.8×22.5	1通	巳一月五日入 金1円20銭 西村数太郎 寅年分不足入済 他3筆 〆15円70銭	宛名・差出人なし 罫紙
34-26-49	不作二付御券見願出候事	年月日未詳	14.8×10.5	1通	川入分田九畝廿壹歩分 大内若松 内壹斗御勘弁 他1筆	宛名・差出人なし 罫紙
34-26-50	[書付](納年貢金)	年月日未詳	横切紙	1通	一月十五日 金14円 川入惣十郎 寅年不足入済に願上	宛名・差出人なし
34-26-51	記(納金書付)	卯年12月4日	横切紙	1通	金貳円七拾八銭 西村清右衛門 内六銭貳厘 山田水番米壹升代渡 残貳円七拾壹銭八厘 寅年分不足入済 他5筆 〆貳拾壹円拾三銭八厘	
34-26-52	記(納金書付)	卯年3月2日	横継紙	1通	長尾屋→東大橋 五拾銭 西浦建蔵 丑年貢米相濟 他5筆 〆拾六円四拾銭	
34-26-53	記(納金書付)	年月日未詳	14.6×6.2	1通	金貳円七拾銭 西村新吉 去卯年分不足入済 他1筆	罫紙
34-26-54	[書付](納年貢金)	年月日未詳	14.6×6.2	1通	四月十九日 金四円也 本村小三郎 去辰年分不足御歎申上入済二御願申上候	罫紙
34-26-55	記(納金書付)	年月日未詳	14.8×7.5	1通	巳一月十九日入 金七円也 川入惣十郎 卯年分不足段々御歎申上候 入済二御願申上候	罫紙
34-26-56	記(納年貢金書上)	卯年5月6日	横継紙	1通	金四円五拾銭 西村文太郎 寅年濱村分不足入済 他1筆 〆六円四銭	
34-26-57	[納金書付類]			1纏め(3通)		34-26-57-1~3一纏め 3通重ねて巻き込まれていた
34-26-57-1	記(納金書付)	辰年4月14日	横切紙	1通	鶴本屋重三郎→東大橋 金壹円五拾銭 西之浦 傳次郎 他4筆 〆貳拾三円	
34-26-57-2	記(納金書付)	辰年3月2日	横切紙	1通	長尾屋→(宛名なし) 金貳円 西浦定吉 卯年貢米内へ入 他7筆 惣〆三拾七円七拾五銭	
34-26-57-3	[書付](納金)	年月日未詳	横折紙	1通	金九円 西之浦 松太郎 卯年分相濟 他16筆 〆百三拾八円拾銭 実綿壹本代 六円七拾銭 合百四十四円八十銭	
34-26-58	[書付](納年貢金)	年月日未詳	横切紙	1通	辰八月廿三日 金壹円也 西村幸吉 入 去卯年分之内江入	
34-26-59	誌(納金書付)	年月日未詳	横切紙	1通	七月廿八日 金拾壹円也 弁財天 芳兵衛 辰年分相濟 他7筆	
34-26-60	[書付](山畑年貢預り)	年月日未詳	14.6×4.6	1通	麦切三斗入 西村廣吉 山畑年貢久次郎預り置申候	罫紙
34-26-61	[書付](納年貢金)	年月日未詳	14.6×5.1	1通	巳八月七日 金貳円也 西村源蔵 去辰年分不足之内江入	罫紙
34-26-62	記(納金書付)	辰年7月13日	横継紙	1通	長尾屋→東大橋 金壹円五拾銭 矢がら 伊助 卯年貢米内へ入 他3筆 〆拾三円五拾銭	
34-26-63	[書付](納年貢金)	年月日未詳	横切紙	1通	十一月十八日 金貳円也 西村住蔵 寅年分不足り分段々御歎申上候 入済御願申上候	
34-26-64	記(納金書付)	年月日未詳	横継紙	1通	辰三月十六日 金貳拾五銭 西村庄三郎 卯年分不足入済 他2筆 〆六円八拾五銭	
34-26-65	記(納金書付)	年月日未詳	横継紙	1通	辰三月六日 金七拾銭 川入幸十郎 卯年分不足入済 他3筆 〆七円九拾銭	
34-26-66	記(納金書上)	辰年2月4日	横継紙	1通	金2円67銭 西村林蔵 寅年分不足入済 他6筆 〆39円40銭	宛名・差出人なし 付紙2枚あり
34-26-67	[書付](納年貢金)	年月日未詳	横切紙	1通	十二月十五日 金3円 西村鶴蔵 寅年分不足入済願上	宛名・差出人なし
34-26-68	[書付](納年貢金)	年月日未詳	横切紙	1通	五月五日 金1円80銭 西村芳五郎 卯年不足入済	宛名・差出人なし

34-26-69	記(金引渡証)	(明治)13年7月6日	横切紙	1通	坂田重三郎→東大橋 金20円 岡崎文吉・幾右衛門	
34-26-70	記(納金書上)	辰年3月12日	横継紙	1通	長尾屋金蔵→東大橋 金12円 大崎役五郎 卯年分 他13筆 合83円30銭	
34-26-71	記(納金書上)	年月日未詳	横継紙	1通	金14円20銭 うで茂介 卯年分 他18筆 合140円75銭	宛名・差出人なし
34-26-72	記(納金書上)	年月日未詳	横切紙	1通	金5円 鶴新田 石右衛門 卯年分 他4筆 〆11円30銭	宛名・差出人なし
34-26-73	記(納金書上)	年月日未詳	横継紙	1通	金3円 鶴新田 杉吉 卯年分 他4筆 〆45円20銭など	宛名・差出人なし
34-26-74	記(納金書上)	年月日未詳	横切紙	1通	辰八月廿一日 金3円 川入虎吉 去卯年分不足之内江入 他1筆 〆4円20銭	宛名・差出人なし
34-26-75	[書付](納金)	年月日未詳	横折紙	1通	白木綿2反代1円 杉吉 寅年済 他9筆	宛名・差出人なし
34-26-76	[書付](納年貢金)	年月日未詳	横切紙	1通	辰九月五日 金6円 西村利喜松 去卯年分不足入済願上	宛名・差出人なし
34-26-77	記(納金書上)	年月日未詳	横切紙	1通	辰三月三十日 金2円10銭 大内忠蔵 卯年分不足入済願 同3円50銭 西村跡作人忠之介より入 上り地分地株代金 他1筆 〆9円10銭	宛名・差出人なし
34-26-78	記(納金書上)	年月日未詳	横切紙	1通	辰三月廿六日 金1円40銭 大内清次郎 卯年分不足 上り地地株代金など3筆 〆9円40銭	宛名・差出人なし
34-26-79	記(納金書付)	明治13年3月12日	横切紙	1通	坂田重三郎→東大橋 金貳円八拾三銭五厘 和介 卯年相済 他3筆 〆拾九円九拾三銭五厘	
34-26-80	記(納金書付)	年未詳7月26日	横折紙	1通	重三郎→東大橋 三円廿銭 清十郎 卯相済 他2筆	
34-26-81	小作人名前御書替願上候	(明治)12年9月	横継紙	1通	川入久次郎→(宛名なし) 濱村分 畑三斗壺升他 西村久四郎 作分 当主人西村甚作江切替 他17筆	
34-26-82	記(金銭書付)	年月日未詳	横切紙	1通	相場 田八円 留久村之内 他3筆	
34-26-83	記(納金書上)	辰(明治13カ)年1月13日	横切紙	1通	金三円也 大内為介 丑年分不足入済 他5筆 〆拾八円廿銭 金三円貳十五銭 大崎藤作 寅年貢相済 他4筆 〆拾壹円三十五銭	
34-26-84	記(納金書付)	年月日未詳	横切紙	1通	田二畝 鹿爪林蔵 他7筆 当年不作二付御勘弁御願申上候事 川入虎吉 貳斗 他8筆	
34-26-85	田畑内訳	年月日未詳	横継紙	1通	長尾屋→東大橋 卯四十月廿三日 矢から 納米壺石貳斗 淺次郎 弘化五割分入 他10筆 〆拾三石五斗九升三合	
34-26-86	記(納米書上)	年月日未詳	横折紙	1通	坂田重三郎→東大橋 金七円八拾銭 矢がら 善之丞 相済 他7筆 〆七拾壹円五銭	
34-26-87	記(納金書付)	明治14年6月29日	横切紙	1通	辰四月十二日 金1円 川入千代蔵 寅年分不足勘弁入済願 他3筆 〆15円47銭	宛名・差出人なし
34-26-88	記(納金書上)	年月日未詳	横切紙	1通	重三郎→東大橋 金4円50銭 半九郎 丑年相済 他2筆	
34-26-89	記(納金書上)	明治14年7月13日	横切紙	1通	辰一月廿九日 金7円50銭 大内庄九郎 卯年分之内江入 他2筆 〆18円	宛名・差出人なし
34-26-90	記(納金書上)	年月日未詳	横切紙	1通	辰七月廿二日 子位庄村小三郎方入 金四円廿銭 卯年分之内不足入済	
34-26-91	記(納金書付)	年月日未詳	横切紙	1通	巳七月七日 金3円 西村数太郎より入 卯年分不足之内江入	宛名・差出人なし 罫紙
34-26-92	[書付](納年貢金)	年月日未詳	14.6×4.5	1通	長尾屋→東大橋 金五円五拾銭 鶴 庄九郎 寅年貢米内へ入 他4筆 〆拾八円四拾五銭	
34-26-93	記(納金書付)	卯年7月13日	横切紙	1通	十二月廿八日 金貳円也 西村住蔵 当卯年分之内江入	
34-26-94	[書付](納年貢金)	年月日未詳	横切紙	1通	巳二月三日入 金10円 西村紋十郎 去辰年分之内江入 他4筆 〆25円50銭	宛名・差出人なし 罫紙
34-26-95	記(納金書上)	年月日未詳	14.8×18.5	1通		34-27-1~11一袋 袋の糊付がはがれている (袋上書)「慶応三丁卯年 村々御年貢通入」
34-27	[慶応三年年貢通類]			1袋(11通)		
34-27-1	箕嶋村御年貢通	慶応3年	横折紙	1通	(箕嶋庄屋)→倉敷中嶋屋金平 高貳石壺斗四升貳合、成辻九斗七升七合三夕、御給方田基十郎弁	
34-27-2	[年貢算用状]	卯(慶応3)年12月19日	横切紙	1通	箕嶋久米三郎→妹尾伊三郎 貳石八斗壺升七合七夕を米にて渡すので承知下されたい	
34-27-3	御年貢受取通	慶応3年12月9日	横切紙	1通	(庄屋)佐藤秀太郎→大橋源介 壺石壺斗四勺を皆済	「帯江前湯」の朱印あり (朱書)「皆済十日切」
34-27-4	高沼村御年貢受取通	慶応3年12月5日	縦継紙	1通	庄屋西山三木之助→中嶋屋源助 払〆貳石六斗貳升三合七夕 全て皆済	
34-27-5	慶応三丁卯 御年貢米銀請取通之事	慶応3年	横折紙	1通	大橋平右衛門・大原与兵衛宛	
34-27-6	[銀子書付]			1纏め(2通)		34-27-6-1~2一纏め 34-27-6-1と34-27-6-2が重ねて折られている
34-27-6-1	[銀子書付](年貢受取)	年月日未詳	横切紙	1通	中嶋屋徳蔵 貳分七リ 他2筆	
34-27-6-2	[銀子書付](年貢銀受取)	丁卯(慶応3)年11月27日	横切紙	1通	大橋秀太郎 銀三匁六分九リ 他2筆	
34-27-7	覚(人別俵数書付)	年月日未詳	横切紙	1通	十郎分壺俵他合十貳俵 他5筆 〆十二俵 此米四石貳斗	
34-27-8	西原村当御年貢米請取通	丁卯(慶応3カ)年12月27日	横折紙	1通	名主利右衛門→倉敷大橋良介	
34-27-9	慶応三卯浜村御年貢請取	慶応3年12月23日	横折紙	1通	庄屋富太郎→大橋秀太郎 〆四石七斗八升九合	(端裏書)「卯 大橋秀太郎」
34-27-10	川入村当御年貢米請取通	慶応3年9月	横折紙	1通	名主綱助→大橋源助 高拾五石三斗四升八合、定米六石四斗貳升貳合	

34-27-11	当御年貢米請取通	慶応3年	横折紙	1通	子位庄村名主延助→大橋源介 高三拾六石九斗三合、定米拾四石八斗四升	
34-28	[年貢通等書付類]			1袋(3纏め22通)		34-28-1~25一袋(袋上書)「明治三庚午年 村々御年貢通入并小書附共」
34-28-1	明治三午浜村御年貢請取	明治3年	横折紙	1通	庄屋屋葺恒右衛門→大橋秀太郎	
34-28-2	[新小作地申付事と租税請取通]			1纏め(2通)		34-28-2-1~2一纏め 重なっている
34-28-2-1	明治三庚午歳 箕島村御租税請取通	未(明治4)年2月20日	横折紙	1通	倉敷大橋金平→庄屋大橋壽次郎 高式石壹斗四升貳合 納合九斗五升八合三勺 給方田	
34-28-2-2	覚(小作地二付書付)	未年2月	横継紙	1通	小作人困窮に付、改めて新小作地を申付の事 四方田に預米11俵半 4斗4升入	
34-28-3	明治三午年 高沼村御貢米請取通	明治3年	横継紙	1通	庄屋見習西山治郎→大橋源介	
34-28-4	[銀子書付](年貢納証)	年月未詳晦日	横切紙	1通	庚午理出役 永634文4分 大橋秀太郎 晦日納	
34-28-5	[銀子書付](年貢納証)	庚午年朔日	横切紙	1通	庚午水夫役 永65文2分 大橋秀太郎 朔日納	
34-28-6	覚(借入金返済)	午年12月28日	横切紙	1通	高沼村庄屋→源介 永480文を返済	
34-28-7	辛未 御蔵代金割掛受取通	年未詳7月晦日	横切紙	1通	前湯村→倉敷源介 20匁6分4厘を銀札にて受取	
34-28-8	[相場書付]			1纏め(2通)	庚午年村相場 割相場	34-28-8-1~2一纏め 重なっている
34-28-8-1	[割相場書付]	年月日未詳	横切紙	1通	割相場 六兩歩永三百文 浜村	
34-28-8-2	[庚午年村相場書付]	庚午年	横切紙	1通	庚午年村相場 錢66貫300文 此金六兩貳分貳朱 永5文 倉敷村	
34-28-9	[子位庄村分村相場等書付]	年月日未詳	横切紙	1通	村相場足石二付 錢札730匁他	中央部虫損あり
34-28-10	[西原村小作相場書付]	年月日未詳	横切紙	1通	田畑屋敷二ならび 六百七拾匁 金相庭壹兩二付百匁	中央部虫損あり
34-28-11	[書付](年貢割)	庚午年	横切紙	1通	錢2貫411文6匁4横役割 他3筆	
34-28-12	西原村当御年貢請取通	年未詳3月24日	横折紙	1通	里正竹四郎→良介 永三石貳斗五升四合九勺 皆済	
34-28-13	[銀子書付](納入証)	年未詳6月29日	横切紙	1通	錢七貫貳百五拾五文 大橋秀太郎 巳御検見入用	
34-28-14	[納入証]			1纏め(2通)	庚午畑御年貢納入証 庚午年横役割等納入証	34-28-14-1~2一纏め 重なっている
34-28-14-1	[金子書付](納入証)	庚午年12月16日	横切紙	1通	庚午畑御年貢 大橋秀太郎 皆済金四兩永百五拾六文 郡中割永百貳文六分 永金四兩永貳百五拾八文七分	
34-28-14-2	[金錢書付](納入証)	庚午年27日	横切紙	1通	錢拾七貫九百拾八文 他2筆 永三拾貫九百九十四文 大橋秀太郎	
34-28-15	明治三庚午御年貢米金請取之事	明治3年	横折紙	1通	庄屋大橋平右衛門→大橋秀太郎 成米合5石2斗9升1合4勺	
34-28-16	覚(銀札受取証)	午(明治3)年9月29日	横切紙	1通	前湯村庄屋→倉敷源介 西大川堤御普請入用 高懸り 銀札36匁 庄屋佐藤分	
34-28-17	[金子書付](納入証)	年月未詳晦日	横切紙	1通	庚午畑年貢 金永7貫66文 大橋秀太郎	
34-28-18	[金子書付](納入証)	庚午年晦日	横切紙	1通	堤普請入用割 永2貫657文8分 大橋秀太郎	
34-28-19	覚(金受取証)	庚午(明治3)年閏10月24日	横切紙	1通	川入村里正素平→倉敷村大橋源介 年貢米代金50兩	
34-28-20	高沼村御年貢金請取仮通	庚午(明治3)年10月	横切紙	1通	庄屋見習治郎→中嶋屋源助 金永198文4分 初納 貳納	
34-28-21	覚(金請取証)	午(明治3)年11月26日	横切紙	1通	高沼村庄屋→大橋源介 畑方金三納 金永100文	
34-28-22	庚午十一月 西川堤修覆入用懸銀	庚午(明治3)年11月晦日	横切紙	1通	帯江郷高沼村庄屋見習治郎→源介 高合3石9斗4升9合 1石に付31匁4分 懸銀札百貳拾四匁の受取証	
34-28-23	前湯村御貢米請取通	明治3年	横折紙	1通	庄屋佐藤秀太郎→倉敷大橋源助 田高1石2斗 取米6斗4合4勺	
34-28-24	当御年貢米受取通	明治3年12月25日	横折紙	1通	子位庄村里正窪津俊平・同幅嶋村江口金吉→倉敷村源介 高36石9斗3合 定米14石8斗4升	
34-28-25	川入村当御年貢米請取通	明治3年9月	横折紙	1通	里正素平→大橋源介 高19石7斗2升5合 定米8石6斗9升2合	
34-29	安政六己未年十二月吉辰 献立 東大橋	安政6年12月	半・豎	1冊		
34-30	文久四甲子年三月八日吉辰 献立 東大橋	文久4年3月8日	半・豎	1冊	上分拾五六人 下方拾貳三人	
34-31	[納金証類]			1袋(1括り4纏め74通仮2冊)		34-31-1~81一袋(袋上書)「明治九子年十月後久次郎・金蔵・平三郎・秀太・庄作ヨリ取立差越送書附入」
34-31-1	記(年貢納入金)	明治10年11月10日	横継紙	1通	長尾屋→東大橋 金壹円五拾錢 霧佐五郎 子年分内に入他	2通が貼り合わせてある
34-31-2	記(納年貢金)	年未詳11月9日	横継紙	1通	西村元次郎 金五円五十錢 他7筆 永拾六円五拾三錢	
34-31-3	記(納年貢金)	年未詳10月30日	横切紙	1通	東様分 金貳円五拾錢 西村代吉 他1筆 永五円也	
34-31-4	記(納年貢金)	丑(明治10)年9月23日~10月28日	横継紙	1通	才次郎他から納金 長尾屋から東大橋へ総めて貳拾八円三拾五錢納金 十三郎から東大橋へしめて五円納金	3通が貼り付けられている
34-31-5	記(年貢納金)	年未詳10月24日	横切紙	1通	西村住蔵 金壹円 他2筆 永五円三十錢上納	
34-31-6	記(納年貢金)	年月日未詳	横切紙	1通	鶴 菊蔵 金壹円 他2筆	
34-31-7	記(納年貢金)	年未詳10月6日	横継紙	1通	金五円 西村栄左衛門 他1筆 永五円九拾五錢	
34-31-8	記(年貢納金)	年未詳9月9日	横切紙	1通	本村豊吉 他3筆 永三元七錢	
34-31-9	記(納金)	明治10年9月20日	横継紙	1通	十三郎→大橋 泰助 金三元 他1筆	
34-31-10	[書付](納金)	丑(明治10)年9月8日	横切紙	1通	卯八 壹円 他8筆	
34-31-11	記(納金書)	年未詳9月1日	横切紙	1通	金拾錢 本村勇次郎 他3筆 永六円六拾八錢	
34-31-12	記(納金書)	年未詳8月26日	横切紙	1通	東様分 金壹円 西村祐十郎 他1筆 永貳円七拾錢	

34-31-13	覚(納金書)	年月日未詳	横切紙	1通	義三郎 五拾貳錢 他4筆 合壹円八十四錢	
34-31-14	記(納金書)			1纏め(2通)	大橋家に対する納金について	34-31-14-1~2一纏め 34-31-14-1の中に34-31-14-2が包まれている
34-31-14-1	記(納金書)	丑(明治10)年7月20日	横切紙	1通	金貳円 西村文太郎 他2筆 〆拾円八拾錢を大橋へ納金	
34-31-14-2	[書付](納金)	年月日未詳	横切紙	1通	代吉 貳円五拾錢 他1筆	
34-31-15	記(納金書)	丑(明治10)年8月22日	横切紙	1通	西村茂平 金壹円 他7筆 合六円三拾三錢	
34-31-16	記(納金書)	丑(明治10)年8月19日	横継紙	1通	東様分 金三拾五錢 大内太郎右衛門 子年分不息入済 他2筆 〆三円廿五錢	
34-31-17	記(納金書)	丑(明治10)年7月14日	横継紙	1通	川入 弥右衛門 三円廿錢 他13筆 合貳拾六円四拾錢	
34-31-18	[書付類]			1纏め(3通)		34-31-18-1~3一纏め 34-31-18-1が他2つを包んでいる
34-31-18-1	[書付](納金)	丑(明治10)年7月13日	横切紙	1通	新太郎 三拾錢 他20筆 〆四十九円四十四錢を	
34-31-18-2	記(納金書)	年未詳6月2日・7月13日	横切紙	1通	十三郎→東大橋 鶴新田 庄九郎 金壹円 他6筆 〆貳拾貳円拾錢	朱書で日付が新曆に書き替えられている
34-31-18-3	記(納金書)	丑(明治10)年6月3日・7月13日	横折紙	1通	西浦 甚次郎 金貳円 他6筆 〆拾貳円六拾錢	朱書で日付が新曆に書き替えられている
34-31-19	記(納金書)	丑(明治10)年7月7日	横切紙	1通	金壹円 川入常三次 他1筆	
34-31-20	[書付](納金)	年月日未詳	横切紙	1通	多吉 四円 他	
34-31-21	[納年貢米書付]	年月日未詳	美・横長	仮1冊	子旧十月廿日 納米壹石貳斗 鶴 常吉 他	
34-31-22	[書付](納金書)	年月日未詳	横切紙	1通	六月九日 金六拾錢 川入 幸十郎	
34-31-23	記(納金書)	年未詳3月21日	横切紙	1通	金壹円五拾錢 川西町 佐吉 他1筆 〆三円七拾錢	
34-31-24	[書付](納金書)	年月日未詳	横切紙	1通	西村茂作から五十錢を東様ノ分へ上納する件について	
34-31-25	記(納金書)	年未詳5月14日	横継紙	1通	金四拾錢 西村 常八 他1筆 〆貳円四拾錢	
34-31-26	記(納金書)	年未詳4月17日	横継紙	1通	西村 孫八 壹円五拾錢 他4筆 合六円拾八錢	
34-31-27	記(納金書)	年未詳3月12日	横切紙	1通	東様分 金壹円 西村栄左衛門 他2筆 合六円	
34-31-28	記(納金書)	丑(明治10)年3月19日	横継紙	1通	金四円 西村林蔵 他5筆 〆拾四円三拾錢を納金	
34-31-29	[書付](納金)	丑(明治10)年2月晦日・3月3日	横継紙	1通	長尾屋→東大橋 〆八円貳拾八錢 十三郎→(宛名なし) 〆金六円拾錢 他1通	3通が貼り合わせてある
34-31-30	井戸堀立小作人中	年月日未詳	横切紙	1通	大内為介 他4名	
34-31-31	記(納金証)	丑(明治10)年4月3日・5月15日	横継紙	1通	金蔵→東大橋 六円五拾錢 長尾屋→東大橋 〆九円五十錢 十三郎→東大橋 〆五円五十錢	3通が貼り付けられている
34-31-32	記(納金書)	子(明治9)年11月5日	横継紙	1通	川入久次郎→(宛名なし) 西村 鶴蔵 金貳円五拾五錢 他7筆 合貳拾三円七拾五錢	
34-31-33	[書付](年貢納金)	子(明治9)年10月13日	横切紙	1通	金四円 西村 栄左衛門ノ入	
34-31-34	[書付](年貢納金)	年月日未詳	横切紙	1通	金五円 西村 紋十郎	
34-31-35	記(納金書)	子(明治9)年11月1日	横切紙	1通	金三円 西村 栄左衛門 他1筆 合六円	
34-31-36	記(納米・納金書)	子(明治9)年10月	横継紙	1通	長尾屋→東大橋 米壹石四斗九升五合 吉之介 他2筆 〆四石壹斗壹升を納米 その他、人足・なわ・あさ代等	
34-31-37	[書付](年貢米)	年月日未詳	横切紙	1通	西村仲蔵作分 米切升二石三斗八升五合他 北大橋分	
34-31-38	[書付](納米書)	年月日未詳	横切紙	1通	米切升貳石壹斗八升 東大橋分	
34-31-39	記(納金書)	子(明治9)年12月31日	横継紙	1通	東様分 金壹円廿錢 川入 惣十郎 他3筆 〆五円貳拾八錢	
34-31-40	記(納金書)	子(明治9)年12月21日	横継紙	1通	東様分 西村 安之介 金壹円五拾錢 他6筆 東様分 西村 文太郎 金九拾錢	2通が貼り合わせてある
34-31-41	記(納米・納金書)	子(明治9)年11月27日・丑年1月29日	横継紙	1通	長尾屋金蔵→東大橋 金四円八拾五錢五リ 他5通	6通が貼り合わせてある
34-31-42	記(納金・納米書)	子(明治9)年12月28日	横切紙	1通	長尾屋→東大橋 鶴 繁次郎 納米五斗八升七合 他6筆	
34-31-43	記(納年貢金)	子(明治9)年10月25日	横継紙	1通	東様分 金貳円廿錢 西村 多四郎 他9筆 合貳拾壹円四拾三錢	
34-31-44	記(納金書)	年未詳11月26日	横切紙	1通	東様分 金三拾貳錢 西村 廣蔵 他3筆 〆拾壹円六拾貳錢	
34-31-45	[書付](年貢納金)	年月日未詳	横切紙	1通	東様分 金四円三拾錢 大内 小四郎	
34-31-46	[納金書]			1纏め(3通)		34-31-46-1~3一纏め 34-31-46-1が他の2つを包んでいる
34-31-46-1	記(納金書)	子(明治9)年11月18日	横切紙	1通	十三郎→東大橋 ツル 卯八 金貳円三拾錢 他6筆 〆拾八円七拾錢	
34-31-46-2	記(納金書)	年月日未詳	横折紙	1通	矢から 善之丞 金三円四拾錢 他12筆	
34-31-46-3	[書付](年貢納金)	子(明治9)年11月17日	横継紙	1通	ツル 卯八 金五円三十錢 他14筆	

34-31-47	記(納金書)	子(明治9)年11月30日	横継紙	1通	東様分 金壹円拾五銭 西村 栄八 他3筆 〆三円八拾銭	
34-31-48	記(納金書)	子(明治9)年12月8日	横継紙	1通	東様分 金壹円四拾五銭 西村 武七 他4筆 〆七円廿銭	
34-31-49	記(納金書)	丑(明治10)年1月19日	横切紙	1通	東様分 金五拾銭 大内忠蔵 他1筆 〆壹円五拾銭	
34-31-50	記(納金書)	子(明治9)年12月17日	横継紙	1通	十三郎→東大橋 金貳円四拾銭 岡ざき 幾次郎 他5筆 金拾七円九拾五銭	
34-31-51	記(納金証)	丑(明治10)年2月21日	横継紙	1通	東様分 金壹円九拾七銭 西村 幸吉 他3筆 合六円五拾七銭	
34-31-52	記(納金書)	子(明治9)年11月2日・12月17日(新)	横折紙	1通	金貳円九拾銭 鶴 菊蔵 他8筆 〆貳拾四円九拾銭	朱書で新曆に直してある
34-31-53	[書付](年貢納金)	子(明治9)年12月17日	横切紙	1通	由利松 壹円八拾銭 〆三拾三円廿銭	朱書で日付を記入
34-31-54	[書付](年貢納金)	年月日未詳	横切紙	1通	金壹円 西村 祐十郎 亥年分不息之内に入	
34-31-55	記(納金証)	年未詳3月31日	横切紙	1通	金貳円 川入 虎吉 他6筆 合拾三円五拾八銭	付紙あり
34-31-56	[書付](稲茹人夫賃)	丑(明治10)年1月10日	横切紙	1通	久次郎→北大橋 六人五夫 壹人二付拾五銭立 〆九拾七銭五厘 稲茹上・こぎ立夫	
34-31-57	記(納金書)	丑(明治10)年1月10日	横切紙	1通	東様分 金四円拾銭 西村林蔵 他3筆 〆拾八円拾銭	
34-31-58	[書付](人夫賃)	丑(明治10)年1月10日	横切紙	1通	久次郎→東大橋 八人夫 〆壹円貳拾銭 稲茹上・こぎ立夫	
34-31-59	記(年貢送り状)	年月日未詳	横切紙	1通	川入久次郎→東大橋 米三五入貳俵 西村林蔵作り分、受取り下されたい	
34-31-60	記(納金書)	丑(明治10)年1月22日	横切紙	1通	金四円 大内小右衛門 他2筆 〆拾壹円四拾五銭	
34-31-61	記(納金証)	丑(明治10)年1月27日	横継紙	1通	東様分 金五円 西村芳五郎 他5筆 合拾三円六拾銭	
34-31-62	記(納金書)	丑(明治10)年2月2日	横継紙	1通	東様分 金七円四拾五銭 川入藤吉 他1筆 〆七円八拾壹銭三厘	
34-31-63	[書付](納金書)	丑(明治10)年2月3日	横切紙	1通	北様分 金五円 川入常之次	
34-31-64	記(繰綿代金)	丑(明治10)年2月4日	横継紙	1通	川入久次郎→東大橋 繰綿五貫目 相場六二俵八円	
34-31-65	記(年貢納金)	丑(明治10)年2月6日	横切紙	1通	東様分 金五円 大内庄九郎 他1筆 〆八円	
34-31-66	記(納金証)	丑(明治10)年2月9日	横継紙	1通	東様分 金四円 西村源八 他3筆 合拾五円六拾銭	
34-31-67	記(納金書)	丑(明治10)年2月12日	横折紙	1通	東様分 金六円拾銭 西村定平 他15筆 合四拾五円八拾八銭	
34-31-68	[納金書類]			1纏め(2通)		34-31-68-1~2一纏め 重ねて折られている
34-31-68-1	記(納金書)	明治10年2月18日	横切紙	1通	口次郎→大橋 寄綿九貫三百目代金 他1筆 〆三円九十四銭八厘	
34-31-68-2	記(納金書)	明治10年2月18日	横切紙	1通	粒江多賀鹿次郎→大橋 明治九年分三拾八銭壹ヶ年入用 他4筆	
34-31-69	記(納金書)	年未詳1月23日	横切紙	1通	粒江多賀鹿次郎→大橋 貳貫貳百目 仁科岩吉 他5筆	
34-31-70	記(納金書)	丑(明治10)年2月11日	横折紙	1通	東様分 金九円 川入長五郎 他10筆 〆四拾四円五拾八銭	
34-31-71	記(納金書)	丑(明治10)年2月29日	横切紙	1通	東様分 金壹円 西村林蔵 他11筆 合拾七円貳拾貳銭	
34-31-72	[俵数書上帳]	明治10年1月21日	半・横長	仮1冊	赤木秀太→(宛名なし) 為十郎 壹俵 他25筆 〆五拾俵貳斗九升壹合	
34-31-73	記(納金書)	年未詳8月13日	横切紙	1通	北様分 五円六拾貳銭五厘 川入定吉郎 他2筆 合八円九拾貳銭五厘	
34-31-74	記(納米書)	年月日未詳	横折紙	1通	米壹俵 勝太郎 十一月廿八日入 他13筆 合拾五俵壹斗五升七合八勺	
34-31-75	[納金証類]			1括り(7通)		34-31-75-1~7紙綴りで一括り
34-31-75-1	記(納金書)	丑(明治10)年2月4日	横切紙	1通	長尾屋金蔵→東大橋 米五斗七升八合代金渡シ	
34-31-75-2	記(米代金送り状)	丑(明治10)年2月8日	横切紙	1通	長尾屋金蔵→東大橋 糯米代金拾七円八拾三銭壹り	
34-31-75-3	覚(銀子書上)	丑(明治10)年正月30日	横切紙	1通	十三郎→東大橋 酒八升 八拾八銭也	
34-31-75-4	覚(泊り人夫数書上)	年月日未詳	横継紙	1通	旧正月十日方十三日迄四人 千賀三泊り他 〆五拾六人半	
34-31-75-5	記(諸経費算用書)	子(明治9)年	横折紙	1通	長尾屋→東大橋 人夫数・酒代・なわ代等	



34-31-75-6	記(金子請取証)	丑(明治10)年2月5日	横切紙	1通	坂田重三郎→東大橋 貳円三拾貳錢七厘請取	
34-31-75-7	記(金子受取証)	丑(明治10)年2月8日	横切紙	1通	長尾屋金蔵→東大橋 金八円三拾四錢壹厘受取	
34-31-76	記(納金書)	年未詳10月16日	横切紙	1通	東様分 金壹円五拾五錢 西村住蔵 他5筆 〆拾三円四拾錢	
34-31-77	記(納金書)	明治10年11月13日	横継紙	1通	金五円 西村定平 他1筆 〆七円三拾四錢	
34-31-78	記(納金書)	年月日未詳	横切紙	1通	金拾円也 大内為介	
34-31-79	記(納金書)	明治10年12月7日	横継紙	1通	東様分 金四円三拾三錢 西村与三兵衛 他4筆 〆拾六円七拾三錢	
34-31-80	記(納金書)	丑(明治10)年11月3日・12月8日(新)	横継紙	1通	長尾屋→東大橋	3通が貼り継がれている
34-31-81	記(納金書)	年未詳12月15日	横切紙	1通	東様分 金壹円 西村弁作 他2筆 〆七円八拾錢	
34-32	[明治元年村々年貢通類]			1袋(3纏め17通)		34-32-1~20一袋(袋上書)「明治元戊辰年 村々御年貢通」
34-32-1	慶応四辰濱村御年貢請取	年月日未詳	横折紙	1通	庄屋留太郎→大橋秀太郎 高合九石八斗七升貳合	(端裏書)「辰 東大橋」
34-32-2	当御年貢米請取通	明治元年12月20日	横折紙	1通	子位莊村名主延助・生坂村禎介→大橋源介 定米十四石八斗四升 代銀貳貫四拾四匁八分七厘を皆済	
34-32-3	御年貢受取通	明治元年12月21日	横継紙	1通	庄屋佐藤秀太郎→倉敷大橋源介 米三俵、壹斗四升貳合四勺皆済	(朱印)「帯江・前湯」
34-32-4	明治元戊辰御年貢米銀請取通之事	明治元年12月29日	横折紙	1通	庄屋大橋平右衛門→大橋秀太郎 成米合五石貳斗九升壹合四勺 横役・人足・米方割とも皆済	
34-32-5	覚(納銀算用書)	年月日未詳	横継紙	1通	入過五匁六分八厘を返す	
34-32-6	覚(年貢米代銀)	年月日未詳	横切紙	1通	田米九歩、畑米七歩をそれぞれ代銀四百貳拾目で納金	
34-32-7	[書付類]			1纏め(2通)		34-32-7-1~2一纏め 34-32-7-2が34-32-7-1に包まれている
34-32-7-1	[書付](年貢米)	年月日未詳	横切紙	1通	取立相場四百貳拾目 他6筆	
34-32-7-2	[書付](金子)	年月日未詳	横切紙	1通	大橋秀太郎 金三兩永六十壹文壹歩渡	(朱書)「内三分金札」
34-32-8	[書付](米代)	年月日未詳	横切紙	1通	足石二付四百四拾目他	
34-32-9	元治元辰年御年貢	年月日未詳	横継紙	1通	名主栄之介→大橋源介 〆六貫八百七拾九匁六分五厘	
34-32-10	[書付](年貢割付銀)	年月日未詳	横切紙	1通	戊辰年 銀札六匁壹分貳厘六八三 横役割 他3筆	
34-32-11	覚(米代銀書上)	辰(明治元)年12月	横切紙	1通	栄之介→庄や 貳石八斗八升代 壹貫貳百九拾六匁 大橋氏より払上代	
34-32-12	覚(請取証)	辰(明治元)年11月晦日	横切紙	1通	川入村名主綱介→倉敷大橋秀太郎 銀札五貫目 当年貢半之内	
34-32-13	覚(請取証)	辰(明治元)年12月晦日	横切紙	1通	子位庄村名主延助→倉敷大橋秀太郎 銀拾貳貫目、当御年貢并高掛り銀之内	
34-32-14	[辰二納書付類]			1纏め(2通)		34-32-14-1と34-32-14-2が重ねて折られている
34-32-14-1	[書付](年貢納証)	(明治元)年12月29日	横切紙	1通	中嶋屋徳蔵 辰二納 永百廿壹文八分 他2筆	(端裏書)「十貳匁壹分六リ」
34-32-14-2	[書付](年貢納証)	(明治元)年12月29日	横切紙	1通	大橋秀太郎 郡中割 銀廿四匁五分 他2筆	(端裏書)「貳百十四匁九分三リ、合貳百三十七匁九リ」
34-32-15	覚(請取証)	辰(明治元)12月16日	横継紙	1通	子位庄村名主延助→倉敷大橋秀太郎 銀札七百目、当辰御年貢米并高掛り銀として	
34-32-16	高沼村御年貢金請受通	明治元年12月28日	横継紙	1通	庄屋見習次郎→中嶋屋源助 〆貳石六斗八升貳合九勺皆済	
34-32-17	[箕嶋村御年貢通]			1纏め(2通)		34-32-17-1に34-32-17-2が折り込まれている
34-32-17-1	明治元辰 箕嶋村御年貢通	明治元年	横折紙	1通	箕嶋村庄屋→倉敷中嶋屋金平 高貳石壹斗四升貳合、成辻九斗七升七合三勺 御給方田	
34-32-17-2	覚(納銀相庭)	辰(明治元)年12月	横切紙	1通	妹尾伊三郎→東大橋 銀納相庭 箕嶋村 壹石二付四百拾八匁	
34-32-18	覚(預米代金)	巳(明治2)年3月26日	横切紙	1通	伊三郎→東大橋 〆貳石壹斗九升六合七勺 此金拾兩壹歩壹朱 札四匁壹分壹厘	
34-32-19	川入村当御年貢米請取通	明治元年9月	横折紙	1通	名主綱介→大橋源介 高拾六石四斗五升三合、定米六石八斗六升三合 〆三貫九百四拾八匁八分皆済	
34-32-20	西原村当御年貢米受取通	明治元年12月14日	横折紙	1通	名主竹四郎→大橋良介 畝四反貳畝拾四歩半、高四石壹斗四升、定米壹石九斗五升七合 〆百九十五匁分三厘皆済	虫損あり
34-33	[租税関係書類]			1袋(2纏め36通)		34-33-1~38一袋(袋上書)「明治七戌年 村々御年貢通入」
34-33-1	明治七甲戌年御租税村費受取通之事	年月日未詳	横折紙	1通	学区取締兼戸長木村光太郎・戸長原唯七・同植田孫太郎→大橋秀太郎 成米合五石壹斗四升九合	
34-33-2	[米高書付]	年月日未詳	横切紙	1通	八斗六升七合、大橋秀太郎	
34-33-3	[書付](年貢米代金)	年月日未詳	横切紙	1通	帯高村 金四円貳錢七リ 三月廿四日限 大橋秀太郎	
34-33-4	[地券税納入証]	明治7年2月13日	縦切紙	1通	箕嶋村戸長→倉敷村大橋秀太郎 金三十八錢 地券税	
34-33-5	記(金銭書付)	年月日未詳	横切紙	1通	東大橋 〆五十六円八拾九錢貳毛	
34-33-6	[甲戌年租税二納金納入証]	年未詳3月10日	横切紙	1通	大橋秀太郎 金拾円	

34-33-7	[甲戌後半年僕婢税金納入証]	年未詳1月22日	横切紙	1通	大橋秀太郎 金六拾貳錢六毛	
34-33-8	[甲戌租税金半納等納入証]	年未詳1月7日	横切紙	1通	大橋秀太郎 金貳拾三円三拾錢 水夫役金井村費割共	
34-33-9	[書付](納米俵)	年未詳12月1日	横切紙	1通	福田松江分 米三五入 四俵 岩吉 他9筆 〆貳拾三俵二	
34-33-10	御収納覚	年月日未詳	横切紙	1通	日吉村 役次郎 米壹俵 他14筆	
34-33-11	[当戊成年子位庄村正米割書付]	年月日未詳	横切紙	1通	大橋秀太郎 八俵	
34-33-12	[田米五分通正納村費書付]	年月日未詳	横切紙	1通	帯高村→水沢・板屋・東大橋・八浜屋・宮崎屋 凡壹斗五升(旧高壹石二付)	
34-33-13	誌(年貢米書付)	亥(明治8)年1月6日	横折紙	1通	米四斗 小泉孫四郎 他4筆 〆壹石六斗 貢金仮値段金七円也	
34-33-14	[戊成年石代地子代書付]	年月日未詳	横切紙	1通	倉敷村分 石代七円貳拾五錢 地子米代六円五拾錢	
34-33-15	[子位庄村分高掛り書付]	年月日未詳	横切紙	1通	壹斗壹升	
34-33-16	記(仮相場書付)	年月日未詳	横繼紙	1通	川入村 高掛り壹石二付壹斗四升四合掛	
34-33-17	[倉敷阿知町租稅書付]	年月日未詳	横切紙	1通	大橋秀太郎 一月廿四日限	
34-33-18	[戊秋分駕籠税金納入証]	年未詳13日	横切紙	1通	大橋秀太郎 金廿五錢	
34-33-19	[鶴新田租税金書付]	年月日未詳	横切紙	1通	大橋秀太郎 金八拾貳円 亥一月十四日限	
34-33-20	記(税金領収証)	明治8年1月10日	横切紙	1通	川入村副戸長秋岡素平→倉敷村大橋秀太郎 金五拾四円五拾壹錢七厘三毛を村費の内へ領収 小三拾五区事務取扱所→倉敷三大橋 貳拾八錢九厘壹毛、蔵入費	
34-33-21	記(請取証)	年未詳2月7日	横切紙	1通		
34-33-22	[上納米書付]	年月日未詳	15.5×15.5	1通	貳俵半 梅吉 他7筆 〆拾三俵半	罫紙
34-33-23	当村蔵斗り控	年月日未詳	横切紙	1通	十二月十二日 壹俵 文平斗り 他7筆	
34-33-24	[物成代金書付]	年月日未詳	横折紙	1通	川入 高貳拾石九斗六升三合他	
34-33-25	[租稅算用日限書付]	年月日未詳	横切紙	1通	西原村戸長〆申来 一月十三日より十五日限	
34-33-26	[米代書付]	年月日未詳	15.5×2.1	1通	西山、金壹円七拾壹錢	罫紙
34-33-27	[租税金書上]	年月日未詳	横繼紙	1通	租税金半納 五拾三円七拾壹錢四り他	
34-33-28	[租稅勘定日限書付]	年月日未詳	横切紙	1通	子位庄村 九日・十日・十一日限	
34-33-29	[金錢書付]	年月日未詳	横切紙	1通	新宅・本家・角分 〆百拾七円六拾五錢四厘六毛	
34-33-30	[租稅皆済証]	(明治7)年4月26日	横切紙	1通	大橋秀太郎 金五円八拾四錢六厘三毛	
34-33-31	小作米請取通			1纏め(2通)		34-33-31-1~2一纏め 重ねて纏められている
34-33-31-1	明治七甲戌年 小作米請取通	明治7年	横切紙	1通	本家 拾貳石八斗五升壹合九勺 代金八拾九円九拾六錢三厘三毛 他2筆	
34-33-31-2	明治七甲戌年 小作米請取通	明治7年	横切紙	1通		標題のみで内容なし
34-33-32	明治七戊寅村御租稅請取	明治7年3月22日	横折紙	1通	戸長屋葺恒勝→大橋秀太郎	(端裏書)「戊 秀太郎」
34-33-33	当御租稅請取通	明治7年	横折紙	1通	子位庄村戸長窪津大紀他→倉敷大橋秀太郎 田米・畑米 〆六石五斗壹升壹合代金を皆済	
34-33-34	川入村租稅請取通	明治7年3月18日	横折紙	1通	副戸長秋岡素平→大橋秀太郎 貢米九石五斗三升九合他代金として三十三円三十八錢六厘五毛を皆済	
34-33-35	正租稅請取通	明治7年1月15日	横折紙	1通	戸長守屋竹四郎他→大橋秀太郎 税金として拾壹円十九錢七厘八毛を皆済	
34-33-36	[租稅・村費等受取証]			1纏め(3通)		34-33-36-1~3一纏め 34-33-36-2で他の文書を包んでいる
34-33-36-1	[貢金請取証]	年未詳1月7日	横切紙	1通	帯高村→大橋秀太郎 金四円廿五錢を請取	
34-33-36-2	明治七年帯高村租稅受取証	明治7年3月23日	横折紙	1通	戸長有木源一・副戸長西山次郎→大橋秀太郎 貢米壹石四斗五升壹合八勺を皆済	
34-33-36-3	明治七年帯高村費受取証	明治8年1月24日	横折紙	1通	戸長有木源一・副戸長西山次郎→大橋秀太郎 米四斗六升六合 金壹円七拾壹錢を皆済	
34-33-37	御貢租勘定通	年月日未詳	横切紙	1通	副戸長佐藤和策→倉敷村大橋秀太郎 前湯村年貢米・村費とも皆済	
34-33-38	七年 御租稅郵費受取通	明治9年1月	横折紙	1通	箕嶋村事務取扱所→大橋秀太郎 米三斗八升七合五勺他を皆済	
34-34	[納金書付類]			1袋(仮1冊14通5纏め)		34-34-1~20一袋 (袋上書)「明治八年亥 村々御租稅村費皆済通入」
34-34-1	明治八乙亥年租稅村費受取証	明治8年	横折紙	1通	植田孫太郎・原唯七・木村光太郎→大橋秀太郎 地価千八百三拾八円廿三錢 地租五拾五円を皆済	
34-34-2	明治八亥浜村租税金請取	明治8年7月12日	横折紙	1通	戸長屋葺恒勝→大橋秀太郎 四石八斗八升三合 代貳拾四円六拾六錢九厘皆済	(端裏書)「亥 秀太郎」
34-34-3	仮請取	子(明治9)年6月24日	横切紙	1通	戸長屋葺恒勝→大橋秀太郎 金拾六円	
34-34-4	[書付](租税金)	子(明治9)年1月21日	横切紙	1通	金八円 大橋秀太郎納 乙亥租稅	
34-34-5	[書付](租税金)	年月日未詳	横切紙	1通	地租之内二百四拾円貳拾錢 大橋秀太郎 六月六日限り 金三円六拾三錢 明治八年七月後ノ分 大橋秀太郎 地所買受祝賀金	
34-34-6	[書付](納金証)	年未詳4月9日	横切紙	1通		
34-34-7	[書付](税金受取証)	年未詳1月23日	横切紙	1通	貳拾貳円廿錢 大橋秀太郎 他1筆 〆廿四円三拾六錢	
34-34-8	[書付](税金受取証)	年未詳3月26日	横切紙	1通	金廿五円 大橋秀太郎	
34-34-9	[書付](税金納入証)	年未詳1月19日	横切紙	1通	金三拾円 大橋秀太郎	貼紙あり「明治八年 横役割 一七拾七錢七厘五毛 一繰七二八」

34-34-10	[書付](税金納入証)	年未詳7月10日	横切紙	1通	明治八年宅地村費 一金壹円七拾壹錢 大橋秀太郎	
34-34-11	[書付](税金納入証)	年未詳6月29日	横切紙	1通	一金拾六円五拾壹錢四厘四毛 明治八年租税金 大橋秀太郎	
34-34-12	[書付](納税金・人名書上)	丙子(明治9)年6月23日	横継紙	1通	戸長屋葺恒勝→大橋秀太郎他7名 倉敷会議所へ出頭差出しのこと 一拾円 三宅弥平太 他8筆	
34-34-13	当御租税米請取通	明治9年7月5日	横折紙	1通	子位庄村戸長窪津大紀他1名→倉敷大橋秀太郎 貳拾三石七斗壹合五勺 代金百拾八円五拾錢七厘五毛皆済	
34-34-14	[川入村租税請取通]	明治9年3月・6月24日	美・横長	仮1冊	川入村副戸長秋岡素平→大橋秀太郎	通2通・書付1通が紙綴りで綴られている
34-34-15	[納税書類]			1纏め(2通)		34-34-15-1~2一纏め 34-34-15-1に34-34-15-2が包まれている
34-34-15-1	正租税請取通	明治8年3月21日	横折紙	1通	戸長中原貞四郎・守屋竹四郎→大橋秀太郎 米代・村費・学費等 〆拾貳円四拾七錢貳毛皆済	
34-34-15-2	八年二高正租 増税内納証	年未詳7月9日	横切紙	1通	事務所詰合→岡敏次郎 金四円五拾錢也	
34-34-16	明治八年貢租并村費請取目録	明治8年12月3日	横折紙	1通	戸長中原貞四郎・同守屋竹四郎→大橋秀太郎 地価金・地租金・村費他 〆拾六円六拾六錢四厘貳毛	
34-34-17	[税金受取書類]			1纏め(3通)		34-34-17-1~3一纏め 34-34-17-1に34-34-17-2~3が包まれている
34-34-17-1	帯高村八年村費受取証	明治9年11月18日	横折紙	1通	副戸長西山治郎→大橋秀太郎 高三石九斗四升九合 一金三円八拾七錢 他1筆 〆四円五拾六錢七厘	
34-34-17-2	[税金請取証]	明治9年1月18日・3月25日	横継紙	1通	帯高村事務取扱所→大橋秀太郎 一月十八日 金四円 三月廿五日 三円五拾五錢	2通が貼り継いだである
34-34-17-3	[税金書付]	年月日未詳	横切紙	1通	帯高郷→大橋秀太郎 村入費 金四円五十六錢七厘	
34-34-18	[納税書類]			1纏め(2通)		34-34-18-1~2一纏め 34-34-18-1に34-34-18-2が包まれている
34-34-18-1	明治八年地租受取証	明治8年	横折紙	1通	帯高村副戸長西山次郎→大橋秀太郎 地価五百廿四円九拾五錢 地租拾五円七拾四錢九厘 他細入用	
34-34-18-2	[書付](地租三納金)	年未詳7月30日	横切紙	1通	帯高村事務取扱所→大橋秀太郎 金八円拾九錢九厘外	
34-34-19	[納税書類]			1纏め(3通)		34-34-19-1~3一纏め 34-34-19-1に34-34-19-2~3が包まれている
34-34-19-1	乙亥村費受取通	年月日未詳	横継紙	1通	前潟村→大橋秀太郎 合米三斗八升九合九勺 合金壹円六錢七厘八毛	
34-34-19-2	乙亥地租仮通 前潟村	年未詳7月23日	横切紙	1通	前潟村→大橋秀太郎 一金拾貳円廿五錢一厘皆済	
34-34-19-3	[税金請取証]	年未詳1月20日~6月25日	横継紙	1通	前潟村→大橋秀太郎 貢金初納貳円四十錢 他2通	3通が貼り継がれている
34-34-20	[納金書付類]			1纏め(3通)		34-34-20-1~3一纏め 34-34-20-1に34-34-20-2~3が包まれている
34-34-20-1	御租税郵費受取通	年月日未詳	横折紙	1通	箕嶋村事務取扱所→大橋秀太郎 〆貳円六十三錢壹厘貳毛 米三斗貳升壹合三勺	付紙あり 丙子(明治9)五月廿六日の受取証
34-34-20-2	[書付](納米金)	明治9年5月26日	横切紙	1通	租税・村費・丈量費等の書上	
34-34-20-3	[納金書付]	年未詳9月26日	横継紙	1通	五拾六錢三厘 九月廿六日納	
34-35	覚(川入村分亥年納米書付)	丙子年正月24日	横継紙	1通	十蔵→新宅 納金石三斗壹升九合 苗代他 代七勺貳分 他9筆	虫損あり
34-36	[納金等書付類]			1袋(1纏め仮1冊39通)		34-36-1~41一袋 (袋上書)「明治十一年寅八月ヨリ 村々世話人ヨリ差越候書付入」
34-36-1	記(納金書上)	年月日未詳	横継紙	1通	嶋こうし壹反貳尺 代壹円也 他3筆 大内忠蔵方入	
34-36-2	[納金書付]			1纏め(2通)		34-36-2-1~2一纏め 34-36-2-1の中に34-36-2-2が纏められている
34-36-2-1	記(納金書付)	卯(明治12)年3月28日	横切紙	1通	金壹円也 川入 兵蔵 他3筆 〆八円七拾五錢	
34-36-2-2	[書付](年貢納金)	年月日未詳	横継紙	1通	金三拾七錢 西村 小太郎	
34-36-3	記(納金書付)	卯(明治12)年2月7日・2月27日(新)	横継紙	1通	長尾屋→東大橋 金拾円 西浦 仙吉 他13筆 〆六拾貳円八拾錢	日付の横に朱書で新暦の日付を記入している
34-36-4	記(納金書付)	卯(明治12)年3月3日	横切紙	1通	東様分 金壹円五拾四錢 川西町佐吉 他4筆 合貳拾壹円三拾八錢	
34-36-5	記(入用書上)	卯(明治12)年2月26日	横折紙	1通	人夫賃・酒・肴代等 旧寅正月十一日卯正月十二日迄	
34-36-6	記(杭木代算用書)	年月日未詳	横折紙	1通	八尺貳拾本 間拾本 河合萬作他6名分 〆五円四十三錢三厘	
34-36-7	記(納金書付)	卯(明治12)年2月21日	横切紙	1通	金六拾九錢九厘 川入 幸十郎 他6筆 合貳拾三円六拾五錢九厘納金	
34-36-8	記(納金書付)	卯(明治12)年2月4日	横継紙	1通	東様分 金貳円也 川入 幸十郎 他15筆 合三拾貳円三拾三錢五厘	
34-36-9	[納米・納金書付]	年未詳12月29日(寅年1月26日)	横切紙	1通	多賀鹿次郎→大橋 米貳斗九升 小野文平 他3筆 〆七俵と二升六合 金四円五十錢 田中成造	
34-36-10	記(納金書付)	卯(明治12)年1月26日	横切紙	1通	東様分 金五拾錢 西村 常平 他1筆 〆貳円	

34-36-11	[納金書付]	卯年1月22日	美・横長	仮1冊	川入久次郎→(東大橋) 東様分 金七円六拾銭 西村 代吉 他39筆 合百四拾五円五銭	
34-36-12	記(納金書付)	卯(明治12)年1月21日	横継紙	1通	川入久次郎→(東大橋) 東様分 金貳円四拾八銭 西村 役介 他11筆 〆四拾壹円五拾五銭	
34-36-13	記(納米書付)	年未詳12月26日(新曆1月18日)	横継紙	1通	高見金蔵→東大橋 旧十二月廿日 米壹斗八石 周平 他7筆 〆七石五斗八升八合	
34-36-14	記(納金書付)	卯(明治12)年1月18日	横継紙	1通	東様分 金八円四拾銭 西村 栄左衛門 他4筆 〆三拾三円九拾銭	
34-36-15	記(納金書付)	卯(明治12)年1月16日	横継紙	1通	東様分 金四円四銭 川入元広右衛門作分跡作人西村庄三郎 他2筆 合拾円六拾九銭三厘	
34-36-16	記(納金書付)	卯(明治12)年1月14日	横継紙	1通	東様分 金七円 西村 利喜松 他1筆 〆拾円	
34-36-17	記(納米書付)	寅年12月19日(新曆卯年1月11日)	横継紙	1通	長尾屋→東大橋 旧十二月五日納米貳石四升 ツル 亀十郎 他22筆 他3通	4通が貼り継がれている
34-36-18	記(納米書付)	寅年12月9日(新曆卯年1月1日)	横継紙	1通	多賀鹿治郎→東大橋 米貳拾俵 斎藤林吉 他11筆	2通が貼り継がれている
34-36-19	記(納金書付)	卯(明治12)年1月12日	横継紙	1通	東様分 金五拾銭 西村 林蔵 他4筆 合拾六円貳銭	
34-36-20	記(納米等書付)	寅(明治11)年12月3日	横継紙	1通	松江多賀鹿次郎→東大橋 米拾壹俵 仁科岩吉 他13筆	
34-36-21	記(納金書付)	卯年1月8日	横継紙	1通	東様分 金拾三円 川入 長五郎 他3筆 合三拾壹円五拾銭	
34-36-22	記(納金書付)	卯(明治12)年1月4日	横切紙	1通	東様分 金拾五円 川入 虎吉 他1筆 合貳拾三円	
34-36-23	記(納米書付)	寅年12月5日(新曆12月28日)	横継紙	1通	長尾屋→東大橋 旧十一月八日 納米壹石貳斗七合 宇兵衛 他12筆	
34-36-24	記(納金書付)	寅年12月30日	横切紙	1通	東様分 金四円 大内為介 他5筆 〆貳拾七円三拾五銭	
34-36-25	記(納金書付)	寅年12月26日	横切紙	1通	東様分 金七円貳拾銭 川入 藤吉 他4筆 合貳拾円七拾銭	
34-36-26	記(納金書付)	(明治)11年12月14日	横切紙	1通	鶴新田重三郎→(宛名なし) 貳円五拾銭 乙しま 半治郎 他3筆 〆拾八円五拾銭	
34-36-27	記(納金書付)	年月日未詳	横切紙	1通	重三郎→東大橋 金壹円六拾銭 岡崎菊三郎 他4筆 〆拾六円六拾銭	
34-36-28	[納金書付]	年未詳12月8日	横継紙	1通	七十五銭 定八 他16筆	2通が貼り継がれている
34-36-29	[書付](納金)	年月日未詳	横切紙	1通	北様分 金壹円八拾銭 西村 小太郎	
34-36-30	記(納金書付)	寅(明治11)年12月5日	横切紙	1通	東様分 金五円拾五銭 西村 与三兵衛 他3筆 〆拾貳円拾六銭	
34-36-31	記(納金書付)	寅(明治11)年10月3日(新曆10月28日)	横継紙	1通	長尾屋→東大橋 金三円七銭 大梵常吉他	2通が貼り継がれている
34-36-32	記(納金書付)	寅(明治11)年11月26日	横継紙	1通	東様分 金六円八拾銭 大内忠蔵 他6筆 合貳拾六円三拾八銭	
34-36-33	[書付](納金)	年月日未詳	横切紙	1通	寅一月廿九日入金六円 西村孫八作上り地跡作人西村力作 他1筆	
34-36-34	覚(納金書付)	寅(明治11)年10月31日	横折紙	1通	鶴重三郎→(宛名なし) 北新宅之分 金三円五十銭 長次郎 他4筆	
34-36-35	記(納金書付)	寅年11月11日	横継紙	1通	東様分 金貳円四拾銭 西村住蔵 他8筆 〆貳拾貳円七拾八銭	
34-36-36	記(納金書付)	寅(明治11)年10月27日	横継紙	1通	東様分 金三円四拾銭 西村清右衛門 他4筆 〆拾壹円六拾銭	
34-36-37	[納金書付]	年月日未詳	横切紙	1通	金四円 鶴 与茂三 他1筆	
34-36-38	記(納金書付)	年未詳10月16日	横切紙	1通	東様分 金三円五拾銭 西村 久左衛門 他1筆 〆六円七拾銭	
34-36-39	[書付](納金)	年未詳8月28日	横切紙	1通	角様分 金貳円廿銭 西村 久四郎	
34-36-40	記(納金書付)	寅年8月11日	横継紙	1通	東様分 金壹円 西村 紋介 他6筆 合拾貳円七拾銭 金四拾銭 西村 祐十郎	2通が貼り継がれている
34-36-41	記(納金書付)	卯年3月8日(新曆3月31日)	横切紙	1通	長尾屋→東大橋 金三円五拾銭 鶴 繁次郎 他7筆 〆三拾七円九拾銭	
34-37	[年貢納金書付類]			1袋(3纏め仮1冊1括り43通)		34-37-1~48一袋(袋上書)「明治十丑十二月十八日後 村々世話人方差越ス書付入」袋が破損しているためSILティッシュで包む
34-37-1	記(納金書付)	年未詳4月15日	横切紙	1通	東様分 金壹円 川入 弥右衛門 他1筆 〆壹円七拾五銭	
34-37-2	記(受取証)	寅(明治11)年4月9日	横継紙	1通	川入久次郎→北大橋 繰綿代金八円二拾銭の受取	
34-37-3	記(実綿代金)	寅(明治11)年4月11日	横切紙	1通	川入惣十郎→(宛名なし) 実綿代金拾四円九拾銭四厘	
34-37-4	[納金書付]	年未詳4月8日	横切紙	1通	東様分 金三円 祐安 栄作 丑年分不足之内江入	
34-37-5	[納金書付]	年未詳4月9日	横切紙	1通	東様分 金三円 川入 弥右衛門 丑年分不足之内江入	
34-37-6	記(納金書付)	丑年4月6日	横継紙	1通	東様分 金壹円也 川入 虎吉 他1筆 〆貳円	

34-37-7	[納金書付]	年月日未詳	横切紙	1通	東様分 三月廿五日入 金四円 川入 長五郎 丑年分不足之内江入	
34-37-8	記(請取証)	年未詳11月6日	横切紙	1通	赤木秀太→長保菊次郎 米貳拾貳俵 倉敷大橋地利子米として請取	
34-37-9	[納金書付]	年月日未詳	横切紙	1通	北様分 金壹円七拾銭 川入 佐太郎 丑年分不足入済	
34-37-10	記(納金書付)	寅(明治11)年3月22日	横切紙	1通	東様分 金貳円五拾銭 川入 幸十郎 丑年分不足入済 他5筆 合拾円五拾八銭九厘	
34-37-11	記(納金書付)	年未詳12月15日	横継紙	1通	赤木秀太→北大橋 十二月四日 一斗七升 光三 他2筆 赤木秀太→東大橋 旧十一月二十六日 米三俵 伝四郎 他9筆	2通の文書が貼り継がれている
34-37-12	記(納米書付)	年未詳12月29日(新暦1月31日)	横切紙	1通	赤木秀太→倉敷東大橋 十二月十九日 米拾三俵 浅五郎 他5筆 新二月十四日場帳工入	
34-37-13	記(納米金書付)	明治11年正月22日	横切紙	1通	赤木秀太→倉敷大橋 十二月廿九日 米拾俵 彦三郎 他6筆	
34-37-14	[納金書付]	年月日未詳	横切紙	1通	東様分 金七円七拾銭 川入 藤吉 子年分之不足入済	
34-37-15	記(納金書付)	寅(明治11)年1月11日	横切紙	1通	東様分 金三円 西村 祐十郎 子年分不足之内江入 他1筆 〆六円	
34-37-16	[納金書付]	年月日未詳	横切紙	1通	寅一月十七日 金六円拾五銭 川入 庄吉 丑年分江入済	
34-37-17	記(納金書付)	寅(明治11)年1月4日	横継紙	1通	東様分 金拾五円 川入 虎吉 丑年分之内江入 他4筆 〆貳拾壹円五拾七銭貳厘	
34-37-18	記(納米書付)	年未詳12月20日	横切紙	1通	川入久次郎→東大橋 西村 藤介 上り分 貳石八斗八升 他1筆 外小米五升 合三石八斗一升五合	
34-37-19	記(納金書付)	年未詳12月29日	横継紙	1通	東様分 金六円五拾銭 西村 藤井 上り地分 石右衛門より入田畑貳反壹畝廿七步分 裏毛代金入済 他4筆 〆貳拾壹円五拾銭	
34-37-20	記(塩害地反別地価書上)	年月日未詳	横継紙	1通	明治九年塩害地 6筆 〆三町六反廿三步 千三百五十壹円	別筆「丑十二月廿九日持参」
34-37-21	記(納米書付)	年月日未詳	横切紙	1通	明治十年塩害地 3筆 〆五反歩 貳百六円四十銭	(朱筆)「丑十二月二十九日 多賀鹿次郎持参」
34-37-22	[納金書付]	年月日未詳	横切紙	1通	小寺六三郎 米代金拾七円五拾八銭八厘皆済 他4筆 金九拾銭 西村 平三郎 子年分之不足入済	
34-37-23	記(納金書付)	寅(明治11)年1月29日	横継紙	1通	川入久次郎→(宛名なし) 東様分 金八円 川入 長五郎 丑年分之内江入 他12筆 北様分 金五円 川入 常三次 丑年分之内江入 合四拾壹円拾銭	
34-37-24	[納金書付]	年月日未詳	横切紙	1通	北様分 金四円 川入 佐太郎 丑年分之内江入	
34-37-25	記(納金書付)	寅(明治11)年1月25日	横切紙	1通	東様分 金五拾銭 本村 豊吉 子年分不足入済 他4筆 〆拾貳円九拾銭	
34-37-26	記(納金書付)	寅(明治11)年1月27日	横切紙	1通	重三郎→東大橋 金四円九拾四銭貳厘 乙しま 仁右衛門 右過子年相済 他6筆 〆貳拾九円七拾七銭一厘	
34-37-27	記(納米書付)	丑(明治10)年12月25日(新暦寅年1月27日)	横切紙	1通	長尾屋→東大橋 納米四石 岡崎松蔵 他1筆 〆四石四斗	
34-37-28	[納金書付]	明治11年1月27日	横切紙	1通	白木綿武刃 代壹円 吉蔵 子年済 他5筆 〆拾九円四拾銭	余白に土地区割図が書かれている
34-37-29	[入用・納米書付類]			1纏め(2通)		34-37-29-1~2一纏め 34-37-29-1が34-37-29-2に包まれている
34-37-29-1	記(入用書付)	年月日未詳	横切紙	1通	多賀鹿次郎→大橋 一. 五度支度 一. 七拾銭 小作触夫其外浅吉大橋様へ参ル日当共 明治十年壹ヶ年入用	
34-37-29-2	記(納米書付)	年未詳2月7日	横切紙	1通	多賀次郎→倉敷大橋 齋藤梅吉 米拾三俵壹斗七舂八合九夕 他5筆 寄米総計〆貳拾貳俵壹斗五升八合九夕	
34-37-30	記(納金書付)	寅(明治11)年2月16日	横切紙	1通	東様分 金八円 川西町 佐吉 丑年分之内江入 他4筆 〆拾壹円三拾貳銭	
34-37-31	[納金書付]	寅(明治11)年2月2日	美・横長	仮1冊	川入久次郎→(宛名なし) 東様分 金四円 西村 紋十郎 子年分不足之内江入 他45筆 合百貳拾四円九拾四銭三厘	
34-37-32	記(納金書付)	(明治)11年2月1日	15.9×22.9	1通	守屋希一→東大橋 金八円 明治十年分小作米	罫紙
34-37-33	[口上・書付類]			1括り(4通)		34-37-33-1~4紙綴りで一括り
34-37-33-1	口上	年未詳1月30日	横切紙	1通	久次郎→(宛名なし) 取立相場につき秋岡氏へも相談したところ、相場は当区内は畑分相場壹石につき四円八拾壹銭に取極た	
34-37-33-2	[悪水抜銭書付]	年月日未詳	横切紙	1通	悪水抜 一. 壹銭五厘 西村 藤介 上り地分 他1筆 毎年小作人方出し来り 広蔵江渡分	
34-37-33-3	田分記	年月日未詳	横継紙	1通	東様分 子位庄 西村 林蔵他 田米不足の者書出し	
34-37-33-4	記(納金書付)	寅(明治11)年2月10日	横継紙	1通	北様分 金八円 若松屋百介 丑年分之内江入 他1筆 〆八円拾四銭	
34-37-34	記(納金書付)	年未詳2月23日	横継紙	1通	東様分 金壹円也 西村 数太郎 子年分不足之内江入 他1筆 〆貳円八拾銭	
34-37-35	[納金書付]	年月日未詳	横切紙	1通	四拾五銭 祐安 若松 丑年不足入済	
34-37-36	[人足書付類]			1纏め(2通)		34-37-36-1~2一纏め 34-37-36-2が34-37-36-1に包まれている

34-37-36-1	記(人足・酒肴代書付)	年月日未詳	横折紙	1通	酒四斗 代四拾錢 肴代五拾錢他	
34-37-36-2	記(人足書付)	年月日未詳	横継紙	1通	四人半 千賀蔵 他18筆 〆七拾九人半	
34-37-37	[納金書付]	年月日未詳	横切紙	1通	金壹円五拾錢 西村 紋十郎 子年分不足段々歎二付御勘弁御願申上候	
34-37-38	記(納金書付)	寅年旧2月2日～新3月6日	横継紙	1通	長尾屋→東大橋 金六円 大崎役十郎他 十三郎→東大橋 金五円 留三郎他 四拾錢 文吉他 〆四拾四円三拾三錢	3通の文書が貼り継がれている
34-37-39	記(納米・納金書付)	丑(明治10)年11月14日～12月20日(新曆12月18日～寅年1月23日)	横継紙	1通	長尾屋→東大橋 納米壹石六斗 長尾屋分 卯三衛門他	12通の文書が貼り継がれている
34-37-40	記(納金書付)	寅年3月1日(新曆4月3日)～4月3日	横継紙	1通	長尾屋→東大橋 金六円八拾五錢 矢から 淺次郎他 丑年貢米相済	4通の文書が貼り継がれている
34-37-41	記(納金書付)	寅(明治11)年4月1日(新曆5月1日)～4月21日	横継紙	1通	長尾屋→東大橋 金六円 ツル 倉蔵 丑年貢米相済他 〆三円四拾錢 他2通	前欠 3通の文書が貼り継がれている
34-37-42	記(納金書付)	寅年5月4日	横継紙	1通	東様分 金貳円也 西村 久四郎 川入分丑年不足入済 他3筆 〆四円三拾四錢	
34-37-43	記(納金書付)	年未詳5月13日	横切紙	1通	東様分 金七円 西村 紋十郎 丑年分不足之内江入 他3筆 〆拾七円也	
34-37-44	記(納金書付)	寅年6月25日	横切紙	1通	東様分 金四円 西村 芳五郎 丑年分足之内江入 他2筆 〆六円八拾錢	
34-37-45	記(納金書付)	寅(明治11)年6月4日～7月3日	横継紙	1通	長尾屋→東大橋 金壹円四拾五錢 三郎兵衛他	4通の文書が貼り継がれている
34-37-46	記(納金書付)	寅(明治11)年7月8日	横切紙	1通	東様分 金貳円也 鹿爪 林蔵 他1筆 丑年不足之内江入 〆貳円三拾三錢	
34-37-47	記(納金書付)	寅(明治11)年7月18日	横切紙	1通	十三郎→東大橋 金貳円 西町 寅一 他1筆 〆五円五十錢	
34-37-48	[納金書付類]			1纏め(2通)		34-37-48-1～2一纏め 34-37-48-1に34-37-48-2を包んでいる
34-37-48-1	記(納金書付)	寅(明治11)年7月4日	横継紙	1通	長尾屋→東大橋 五拾錢 矢から 伊助 丑年貢米内へ入 他3筆 〆九円八拾錢	
34-37-48-2	[納金書付]	年月日未詳	横切紙	1通	芳蔵 廿錢 他7筆	
34-38	[書付・証書類]			1袋(仮1冊3纏め47通)		34-38-1～51一袋(袋上書)「明治四辛未年鶴新田金蔵重三郎福田新田庄作中疇秀太川入久次郎より差越候書類一切入 申年差越分トモ」
34-38-1	[賄料書付]	年月日未詳	半・横長	仮1冊	長尾屋分・仲蔵分・重三郎分 〆五十一人の賄料 銀札六百拾貳匁 申正月十日渡他	
34-38-2	米覚(納米書付)	年月日未詳	横折紙	1通	西浦 甚七 納米四斗 乙島 半九郎 八斗 未12月25日切出	
34-38-3	覚(納年貢代金書上)	年月日未詳	横折紙	1通	なわ代他 〆三拾四匁 12月26日渡済 浅浦 乙吉 五百拾五匁 他9筆	
34-38-4	御蔵納(納米書付)	年月日未詳	横折紙	1通	岩吉 五俵 他7筆 〆廿三俵 寄米 岩吉 拾四俵 他20筆 〆凡九拾四俵貳斗五升 呼松 多郎吉 実綿 貳貫八百目	
34-38-5	[書付](土地)	年月日未詳	横切紙	1通	十三割七両地 乙島 清介 十壹割拾両地	(朱筆)「重三郎」
34-38-6	覚(納札書付)	年月日未詳	横継紙	1通	鶴 代五郎 銀札八百十匁 他1筆 〆壹貫四百四拾目 他3通	4通の覚が貼り継がれている
34-38-7	[送金通知]			1纏め(2通)		34-38-7-1～2一纏め 34-38-7-1が34-38-7-2に折り込まれている
34-38-7-1	[和平次宛会所書状]	未(明治4)年12月28日	横切紙	1通	大橋氏差引過分の送金について	(略封上書)「和平次様 会所」
34-38-7-2	覚(年貢銀納付書)	辛未(明治4)年12月25日	横切紙	1通	鶴新田会所→大橋 七百五拾四匁	
34-38-8	覚(納金書付)	申年2月20日	横折紙	1通	長尾屋→東大橋 金札九八両 札二百目 〆拾両 儀右衛門下作代	
34-38-9	覚(納金書上)	申年3月10日	横切紙	1通	長尾屋→大橋 金拾両 もめん・米代銀	
34-38-10	覚(年貢納金)	申年正月18日	横切紙	1通	西浦 金兵衛 〆四百三拾四匁他	
34-38-11	覚(納札書付)	申年2月7日	横切紙	1通	大崎・伊勢吉 銀札百五拾目 他2筆 〆五百目	
34-38-12	覚(納米書付)	申年正月22日	横切紙	1通	長尾屋→東大橋 乙嶋 半次郎 納米四斗	
34-38-13	[書付](東大橋・北大橋分上り地)	年月日未詳	横切紙	1通	東様分 上り地 西村 伊介 他4筆	
34-38-14	覚(納米書付)	未(明治4)年12月晦日	横継紙	1通	長尾屋→(東大橋) 納米壹石九斗七升 あふき清五郎 銀札 ツル 役平 百九拾目 他6筆	
34-38-15	覚(年貢米算用書)	年月日未詳	横切紙	1通	高三拾三石六斗七升六合 定米八石六斗六升貳合八匁 内七石四升御蔵納 残而壹石五斗七升貳合八匁	
34-38-16	覚(送金状)	未(明治4)年12月26日	横切紙	1通	過金壹貫七百三拾目四分三厘	(朱書)「中疇」
34-38-17	[小宮太講懸金書付]	年月日未詳	横切紙	1通	壱口二付四両壹歩与七分七リ四毛	
34-38-18	[納金書付]	年月日未詳	横切紙	1通	高壱石二付貳拾六匁懸り	
34-38-19	覚(納札書付)	申年正月2日	横継紙	1通	長尾屋→(東大橋) 銀札三百四匁 浅浦乙吉 他3筆 〆壹貫拾五匁	2通が貼り継がれている

34-38-20	米受取覚	未(明治4)年11月13日	横継紙	1通	長尾屋金蔵→大橋 未九月廿三日 納米壹石 ツル 倉蔵 他19筆 〆拾七石四斗壹升三合	
34-38-21	米受取覚	未(明治4)年12月5日	横継紙	1通	十一月十三日 納米八斗 大崎其之吉他	
34-38-22	覚(納金書付)	未(明治4)年11月9日	横継紙	1通	長尾屋金蔵→久次郎 六拾目 大梵栄吉他	
34-38-23	覚(相庭書付)	年月日未詳	横切紙	1通	子位庄村 相庭壹石 銀札四百拾五匁	
34-38-24	租税取立相庭	年月日未詳	横切紙	1通	四百廿匁	
34-38-25	覚(納札書付)	未年12月17日	横切紙	1通	重三郎→東大橋 銀札五拾五匁 万石代他	
34-38-26	[代銀書付]	(朱書)未(明治4)年11月18日	横切紙	1通	北様分 実綿壹本 川入伊八内作人百介	
34-38-27	覚(納米書付)	年月日未詳	横切紙	1通	西村 治郎吉分 東様分上り地分三斗五升入四俵	
34-38-28	覚(納銀書付)	未(明治4)年12月1日	横継紙	1通	貳百貳拾五匁 西浦 仙吉他	
34-38-29	覚(納銭書付)	未(明治4)年12月5日	横継紙	1通	三百六拾目 栄吉他	
34-38-30	[相場書付]	年月日未詳	横切紙	1通	浜村分 村割相場金三両貳分 蔵米相場金三両三分	
34-38-31	[納米書付]	年月日未詳	横切紙	1通	日吉庄屋払入分 三俵 大内恵吉 他3筆 〆七俵	
34-38-32	覚(納札書付)	年月日未詳	横継紙	1通	くり綿壹本代金 大内駒之介 〆入他	
34-38-33	[納札書付]	年月日未詳	横継紙	1通	東様分 午年分不足入済 銭札四百三拾目 川入藤吉 〆入他	
34-38-34	[高掛書付]	年月日未詳	横継紙	1通	川入分 来年高掛壹石二付壹斗四升	
34-38-35	[米相場書付類]			1纏め(2通)		34-38-35-1~2一纏め 34-38-35-1に34-38-35-2が折り込まれている
34-38-35-1	[米相場書付]	年月日未詳	横切紙	1通	倉敷分 米村相場三両三分貳朱	
34-38-35-2	[米相場書付]	年月未詳17日	横切紙	1通	日吉村分 村米相場金四両永百文	
34-38-36	[納札書付]	年月日未詳	横継紙	1通	東様分 未年分入済 銀札四拾目 川入 幸十郎 〆入他	
34-38-37	[耕地書上]	年月日未詳	横切紙	1通	川入分不作分北様分田分石三斗地 大内駒之介他	
34-38-38	口上	未(明治4)年7月10日	横切紙	1通	中疇赤木秀太→倉敷大橋 高懸り金辻通出願依頼	
34-38-39	覚(米送状)	未(明治4)年9月4日	横継紙	1通	長尾屋金蔵→東大橋 米貳拾四石貳斗六升八合五匁	
34-38-40	覚(米代受取証)	未(明治4)年5月17日	横切紙	1通	中疇秀太→東大橋 米六拾俵	
34-38-41	覚(引替手形)	明治4年7月8日	横切紙	1通	倉敷東大橋→中疇木屋秀太 米三五入九拾俵 大橋十蔵へ売付につき	
34-38-42	[受取証類]			1纏め(2通)		34-38-42-1~2一纏め 34-38-42-1に34-38-42-2が折り込まれている
34-38-42-1	覚(受取証)	辛未年10月11日	横切紙	1通	松江庄作→東大橋 五百三拾八匁八分貳リ 呼松水門普請入田割	
34-38-42-2	覚(銭札受取証)	未(明治4)年10月8日	横切紙	1通	銀札貳貫目	
34-38-43	[納銀依頼状]	未年12月28日	横継紙	1通	地普請銀 五百三拾八匁七分	(端裏書)「庄作便浅吉ニ渡ス」
34-38-44	米覚(納米書付)	未年12月29日	横継紙	1通	十二月六日 納米八斗 乙嶋 半九郎他	
34-38-45	[算用送状]	未年12月24日	横継紙	1通	松江庄作→東大橋 高三拾三石六斗七升六合 定米八石六斗壹升貳合八匁	(上書)「東大橋様 要用 松江庄作」
34-38-46	覚(納金書付)	酉年7月9日	横切紙	1通	鶴本屋重三郎→東大橋 百目 鶴新田 富蔵他	
34-38-47	[東大橋宛松江庄作書状]	申年4月24日	横継紙	1通	去暮年貢通割割賦落につき、割賦次第付込差上げ申すべきこと 普請賃銀聞済し下されたきこと	
34-38-48	覚(代金書)	申年11月16日	横切紙	1通	実綿壹本 川入惣十郎 〆入 十六貫四	(朱筆)「申十一月十六日」
34-38-49	覚(納銀札書付)	酉年9月5日	横継紙	1通	東様分 申年分入済 銀札三拾五匁五分 川入幸十郎他	
34-38-50	覚(納銀書付)	酉年7月10日	横切紙	1通	長尾屋 百目 鶴ノ伊勢松他	
34-38-51	[見積書]	年未詳10月11日	横継紙	1通	松江庄作→東大橋 横三間、長六拾間、平坪百八拾坪、本坪三拾六坪	
34-39	[納銭札等書付類]			1袋(2纏め36通)		34-39-1~38一袋 (袋上書)「申十一月前ヨリ明治六酉一月後江向差越候金蔵久次郎等書付之」
34-39-1	[書付](川入久次郎納銭札)	酉(明治6)年1月29日	横継紙	1通	銭札百五拾匁 西村 文太郎 他24筆 合五貫三百拾九匁 川入 久次郎	
34-39-2	覚(納銭札書付)	酉(明治6)年2月10日	横切紙	1通	銭札四百貳拾匁 本村 秀次郎 他10筆 合貳貫七百四拾六匁	
34-39-3	[銭札書付]			1纏め(2通)		34-39-3-1~2一纏め 34-39-3-1と34-39-3-2が重なっている
34-39-3-1	覚(銭札書付)	年未詳2月23日	横切紙	1通	銭札三百目 西村 林蔵 他2筆 〆六百五拾目	
34-39-3-2	[銭札書付]	年月日未詳	横切紙	1通	銭札五百目 西村 瀧右衛門 他2筆 〆壹貫目	
34-39-4	覚(納銭札書付)	酉(明治6)年2月12日	横継紙	1通	銭札三百六拾目 大崎伊勢吉 他20筆 〆六貫七百三匁	
34-39-5	覚(納銭札・米書付)	酉(明治6)年1月20日	横折紙	1通	銭札貳百目 鶴 茂十郎 他6筆 〆貳貫貳百拾五匁 納米壹石六斗 鶴 周平 他3筆 〆貳石八斗壹升四合	

34-39-6	覚(納錢札書付)	酉(明治6)年2月4日	横継紙	1通	錢札四百六拾匁 大内忠蔵 他11筆 東様・北様分 合貳貫三百拾八匁	
34-39-7	[納錢札書付]	年未詳1月23日	横継紙	1通	錢札八拾匁 川入 惣十郎 他6筆 〆壹貫四百四拾四匁	
34-39-8	[送金状]	年未詳4月1日(新曆4月27日)	横継紙	1通	庄作→大橋 金四兩指立 米払相庭の相談	(上書)「大橋様 当用書 庄作」
34-39-9	[納錢札書付]	年未詳1月25日	横継紙	1通	錢札百目 川入 藤吉 他4筆 東様・北様分 〆壹貫六百九匁	
34-39-10	覚(納銀書付)	酉(明治6)年3月10日(新曆4月6日)	横継紙	1通	永四百目 鶴 善之丞 他5筆 〆四百三拾三匁 西浦 金兵衛 拾七匁	
34-39-11	覚(納銀書付)	申(明治5)年11月13日	横切紙	1通	鶴丸屋重三郎→大橋 札百三拾目 岡季 清右衛門 他2筆 〆壹貫五百四拾五匁	
34-39-12	覚(納錢札書付)	酉(明治6)年3月4日	横継紙	1通	錢札百五拾目 鶴 榮吉 他27筆 合〆五貫七拾九匁貳分と重三郎分・金蔵分の書付	2通が貼り合わせてある
34-39-13	[納錢札書付]	申(明治5)年11月3日	横継紙	1通	弁才天 勝蔵 錢札六拾五匁 他15筆 〆五貫七百六拾目 長尾屋金蔵より差越分	
34-39-14	口上	酉(明治6)年1月27日	横継紙	1通	久次郎→東主人 子位庄村御蔵過米貳拾壹俵を預け置くことなど	
34-39-15	地普請見積附	年未詳4月朔日(新曆4月27日)	横継紙	1通	松江庄作→東大橋 上口壺間壺合、根敷六合、深か七合	
34-39-16	[書付](納金過分)	年月日未詳	横切紙	1通	大内庄九郎分 他2筆	
34-39-17	口上書取	午年10月	横切紙	1通	収納のときは籾米等が入りまじらないよう、縄俵を粗末にしないよう申し付けるべき事	
34-39-18	覚(納錢札書付)	年月日未詳	横継紙	1通	錢札百拾目 鶴 忠兵衛他	
34-39-19	覚(納金書付)	申(明治5)年11月晦日	横切紙	1通	長尾屋→東大橋 米惣〆九拾九石貳斗四合 金貳兩三步永拾五匁貳分五リ渡済	
34-39-20	米覚(納米書付)	申(明治5)年12月1日(申11月30日朱筆)	横継紙	1通	納米壺石 鶴 倉蔵他 〆五拾壺石貳斗五升七合	
34-39-21	覚(納金札書付)	申(明治5)年11月晦日	横切紙	1通	鶴重三郎→東大橋 鶴 泰助作 金札拾六兩 他2筆 〆四拾九兩貳歩	
34-39-22	[書付](納錢札)	年月日未詳	横切紙	1通	東様へ未年分 一銀札三百七拾五匁 川入 伊八より入る	
34-39-23	[書付](納錢札)	年月日未詳	横切紙	1通	東様分 未年分へ入 銀札五百目 大内小四郎	
34-39-24	[書付](納錢札)	年月日未詳	横切紙	1通	北様分 未年分内に入る 一銀札四百目 川入 伊八内江 内作人百介より入り	
34-39-25	[納金書上]			1纏め(2通)		34-39-25-1~2一纏め 34-39-25-1に34-39-25-2が挟み込まれている
34-39-25-1	[書付](納年貢金)	申(明治5)年11月晦日	横切紙	1通	鹿爪長五郎 金五兩 他1筆 合拾兩 川入久次郎〆差越分	
34-39-25-2	[書付](納金)	年月日未詳	横継紙	1通	金拾兩 大内 庄九郎〆入	
34-39-26	覚(納繰綿代銀)	年月日未詳	横切紙	1通	東様分 繰綿三貫四百五拾匁代 大内 敬之介〆入	
34-39-27	[書付](納繰綿代)	年月日未詳	横継紙	1通	北様分 繰綿三貫四百五拾目代 大内 敬之介〆入	
34-39-28	覚(納米書上)	申(明治5)年12月16日(酉1月14日朱筆)	横折紙	1通	納米八斗 乙嶋 半次郎 他14筆 〆九拾九石五斗八升貳合	(朱筆)「〆拾七石九斗八升貳合」
34-39-29	覚(納札書上)	申(明治5)年12月16日	横継紙	1通	錢札百拾五匁 弁財天 好兵衛 他3筆 〆壹貫八拾目	(朱書)「酉一月十四日」
34-39-30	去未取立米之内	年月日未詳	横切紙	1通	壹俵 源三 他7筆 〆八俵	
34-39-31	覚(納札書上)	申(明治5)年10月16日	横切紙	1通	錢札四百目 大梵幸七 他1筆 〆錢札六百目	
34-39-32	覚(納錢書上)	申(明治5)年9月晦日~10月3日	横継紙	1通	長尾屋金蔵→千嘉蔵	2通が貼り継がれている
34-39-33	覚(納銀書上)	酉(明治6)年4月18日	横切紙	1通	ツル十三郎→東大橋 乙嶋 石三郎 あげ地 一拾四匁 地代 岡崎瀧次郎	
34-39-34	覚(納米書上)	年未詳1月30日	横切紙	1通	林定吉郎 五俵 他9筆	
34-39-35	覚(納札書上)	酉(明治6)年3月7日	横継紙	1通	銀札百目 大内忠蔵 他2筆 〆七百九拾匁	
34-39-36	覚(納札書上)	年月日未詳	横切紙	1通	川入 弥右衛門 銀札百五拾九匁 他2筆 〆五百拾九匁	
34-39-37	覚(納錢書上)	酉(明治6)年6月7日	横継紙	1通	永貳百貳拾五匁 鶴 庄九郎 他9筆	
34-39-38	覚(納年貢代書上)	酉(明治6)年1月30日	横継紙	1通	浅浦新田 乙吉 三百七拾貳匁他 〆拾貫貳百貳拾八匁七分	
34-40	[書付・切手・証書類]			1袋(仮6冊2纏め74通)		34-40-1~82一袋 (袋上書)「明治七戌十二月ヨリ鶴新田金蔵寿重郎川入久次郎三人ヨリ差越候書類入」 SILティッシュで包む
34-40-1	[杭木代銀書上]	亥年11月10日	半・横長	仮1冊	仲二郎ほか→赤木秀太 四拾五匁 間杭三十	
34-40-2	記(米錢預証)	明治8年11月10日	横継紙	1通	赤木秀太→大橋 空豆壹俵半 菊二郎 他2筆	



34-40-3	[書付](納米代錢)	亥(明治8)年11月10日	横継紙	1通	仲次郎 米切升 壹斗七升五合 代壹円拾六錢六六六毛他	
34-40-4	記(納金書付)	年未詳11月3日	横継紙	1通	西村 元次郎 金三円拾錢 他8筆 合拾五円廿錢	継部分に虫損あり
34-40-5	記(納金書付)	年未詳11月30日	横継紙	1通	重三郎→東大橋 儀平 金壹円也	3枚が貼り継がれている (朱筆)「十月廿日」
34-40-6	[書付](納金)	年月日未詳	横切紙	1通	西村茂作 東様分 金五十錢	
34-40-7	記(納金書付)	亥(明治8)年10月26日	横切紙	1通	川入 弥右衛門 金貳円拾錢 他3筆 合八円八拾錢	
34-40-8	記(納金書付)	年未詳9月18日	横切紙	1通	松江鹿治郎→大橋 呼松 十五郎 貳円五拾錢 他1筆 〆三円	
34-40-9	記(納金書付)	年未詳5月6日	横切紙	1通	西村 芳五郎 金四円 他1筆 〆七円	
34-40-10	記(納金書付)	亥(明治8)年5月6日	横継紙	1通	石右衛門 紺かすり三反代 壹円 他3筆	
34-40-11	記(納金書付)	亥(明治8)年8月3日	横切紙	1通	鶴本屋十三郎→東大橋 ツル 泰助 壹円 他3筆	
34-40-12	[書付](反物代)	年月日未詳	堅切紙	1通	嶋壹反代 壹円拾錢 鶴 庄九郎 壹円 〆貳円拾錢	
34-40-13	[書付](木綿代等)	亥(明治8)年8月3日	横切紙	1通	秀吉 白木綿貳反代 壹円金拾錢五錢 他2筆	
34-40-14	覚(金銭書付)	年月日未詳	横継紙	1通	卯八 金貳円 他15筆	
34-40-15	[書付]	亥(明治8)年6月4日	横切紙	1通	長尾屋→東大橋 鶴 菊蔵 金貳円 他2筆	(朱筆)「新曆七月六日也」
34-40-16	[納金書付]	年未詳7月6日	横継紙	1通	鶴新田十三郎→東大橋 鶴 長次郎 金壹円 他2筆	
34-40-17	覚(納米書付)	明治8年1月21日 (旧曆12月14日)	横継紙	1通	黒崎 滝蔵 納米壹石貳斗 他6筆	
34-40-18	覚(納米書付)	戌(明治7)年12月7日	横継紙	1通	ツル 役平 納米七斗九升貳合 他3筆 〆三石五斗九升貳合	(朱筆)「亥一月十四日也」
34-40-19	記(納米書上)	明治8年2月10日	横切紙	1通	岩吉 三斗五升 他11筆	(朱書)「本左衛門皆済」(他11名皆済分記入)
34-40-20	覚(人夫・酒肴代等書上)	明治8年3月4日	横折紙	1通	戌正月九日 〆十三日迄 近藤五人他	
34-40-21	記(納金書上)	亥(明治8)年1月31日	横切紙	1通	大内 小左衛門 金貳円五拾錢 他2筆 〆八円八拾八錢	新曆2月1日
34-40-22	覚(納米書上)	戌(明治7)年11月27日	横切紙	1通	鶴 泰助 納米四斗 他12筆	(朱筆)「則亥一月四日 金助受取帰候分」
34-40-23	記(納金書付)	明治8年1月9日	横継紙	1通	記 久松 四十五錢 他7筆 他4通	5通(「記」「覚」「米覚」「記」「覚」が貼り継がれている)
34-40-24	記(耕地書付)	年月日未詳	横切紙	1通	十四之割 田壹反歩 乙しま 役治郎作黒崎金蔵 他5筆	
34-40-25	記(実綿代受取)	亥(明治8)年1月15日	横切紙	1通	実綿壹本 拾貫五百目 代五円七拾錢 大内 忠蔵 〆入	
34-40-26	[書付](納金)	戌(明治7)年12月21日	横切紙	1通	金四円七拾錢 大内 小四郎 他1筆 〆五円七拾錢	
34-40-27	記	戌(明治7)年12月17日	横継紙	1通	重三郎→東大橋 金拾円 岡崎半左衛門 他6筆 〆拾八円四拾四錢	
34-40-28	[書付](納金書上)	戌(明治7)年12月15日	横切紙	1通	日吉村 鹿之介 八拾六錢五厘七毛 他1筆	
34-40-29	[書付](納金書上)	亥(明治8)年1月4日	横切紙	1通	西村 甚三郎 金壹円貳拾五錢 他1筆 〆壹円八拾錢	
34-40-30	記(納金書付)	戌(明治7)年11月12日	横継紙	1通	二口合 拾壹円拾四錢 西村 小太郎 金貳円七拾八錢 他5筆	
34-40-31	記(納金書上)	戌(明治7)年11月13日	横切紙	1通	木綿貳反代二円拾錢 大崎米吉 他4筆 〆九円三錢	
34-40-32	記(金額書上)	亥(明治8)年1月23日	横切紙	1通	東様ノ分 北様ノ分 川入 広右衛門 他4筆	
34-40-33	記(金額書上)	亥(明治8)年1月27日	横切紙	1通	東様ノ分 西村 幸吉 金五円 他1筆 〆五円七拾五錢	
34-40-34	記(金額書上)	亥(明治8)年3月7日	横切紙	1通	東様ノ分 川入長五郎・大内小四郎 〆五円	
34-40-35	証(納米)	年未詳3月18日	横切紙	1通	粒江鹿治郎→東大橋 小寺山三郎 貳俵 他1筆	
34-40-36	覚(年貢米代金等書上)	明治8年3月8日	横継紙	1通	鶴新田重三郎→東大橋	3通が貼り継がれている
34-40-37	記(納金書上)	亥(明治8)年3月12日	横切紙	1通	東様ノ分 北様ノ分 西村 藤介 他1筆 〆六円三拾五錢 八拾五錢 万作 〆入 他14筆 〆拾三円三拾五錢七リ九毛 壹 円八拾六錢 豊平 〆入 他9筆 〆拾壹円九拾壹錢	
34-40-38	記(石代金書上)	亥年3月12日・14日	横切紙	1通	長尾屋金助殿二相渡シ分 西浦西町 百松 金五円 他7筆 〆 金拾九円	(朱筆)「亥三月十七日也」
34-40-39	記(年貢米代金書上)	亥(明治8)年2月10日	横折紙	1通	金蔵持参 西浦爪崎 石兵衛 金貳円 他9筆 〆貳拾五円五拾 五錢	
34-40-40	記(年貢米代金書上)	明治8年3月5日	横切紙	1通	川入久次郎→東大橋 東様ノ分 北様ノ分 祐安 若松 金貳円 他4筆 〆拾三円七拾四錢	
34-40-41	記(金額書上)	亥年2月17日	横継紙	1通	六三郎 七俵他 〆三十壹俵八升五勺	(朱筆)「亥一月十九日 千賀蔵受取帰ル」
34-40-42	記(米俵書上)	亥(明治8)年1月19日	横継紙	1通		

34-40-43	記(金額書上)	年未詳2月20日	横切紙	1通	東様ノ分 同田分江 本村和市 西村藤九郎 〆貳円	
34-40-44	記(年貢代金書上)	戌(明治7)年11月10日	横切紙	1通	長尾屋→(宛名なし) 西浦西町 常吉 白もめん壹反代六拾錢 他7筆 〆貳拾貳円四錢	(朱筆)「戌十二月十八日也」
34-40-45	覚(本米代金等書上)	戌(明治7)年12月18日	横継紙	1通	千賀蔵→(宛名なし) 鶴 倉蔵 金拾壹円五十錢 他17筆 〆貳拾七円七拾錢	
34-40-46	記(小作より取立金)	年未詳1月27日	横継紙	1通	赤木秀太→大橋 小作より取立金受取下されたきこと 石代金ならびに懸り金ともに明早朝持参願いたきこと	
34-40-47	覚(納年貢金書上)	戌(明治7)年12月26日	横切紙	1通	角はま善兵衛 白もめん貳反代壹円五十錢 他2筆 金助相渡シ長尾屋	(朱筆)「新曆亥二月二日也」
34-40-48	覚(納米書上)	戌(明治7)年12月26日	横切紙	1通	ツル 千代蔵 他8筆 〆五石四斗壹升	(朱筆)「新曆亥二月二日也」
34-40-49	記(納金書付)	亥(明治8)年2月2日	横切紙	1通	川入 惣十郎 壹円九拾九錢壹厘 繰綿五百目	
34-40-50	記(納金書上)	亥(明治8)年3月25日	横切紙	1通	大内 為介 金六円四拾四錢 他2筆	
34-40-51	記(納金書付)	亥(明治8)年3月19日	横切紙	1通	西村 瀧右衛門 金六円	
34-40-52	記(納金書付)	亥(明治8)年3月28日	横切紙	1通	西村 勝次郎 金八円七拾七錢 他1筆 〆拾円	
34-40-53	記(納金書付)	亥(明治8)年3月28日	横継紙	1通	北様ノ分 金四円八拾八錢 胡吟次郎 他1筆 〆六円	
34-40-54	覚(納金書付)	亥(明治8)年2月25日	横切紙	1通	長尾屋使常吉→(宛名なし) 金四円 鶴ノ慶次郎 他3筆 〆拾貳円	(朱筆)「新亥四月二日也」
34-40-55	記(納金書付)	亥(明治8)年4月6日	横切紙	1通	鶴本屋重三郎→東大橋 金壹円 力松 岡崎美之吉受 他5筆 〆拾六円七拾錢	
34-40-56	覚(納金書付)	亥(明治8)年3月1日	横切紙	1通	長尾屋→(宛名なし) 金蔵渡シ 金壹円五十錢 鶴ノ新蔵 他4筆	
34-40-57	覚(納金書付)	年未詳4月6日	横切紙	1通	金四円七拾五錢 弁財天 芳兵衛 他7筆	
34-40-58	[金銭書付]			1纏め(2通)		34-40-58-1~2一纏め 34-40-58-2が34-40-58-1に挟み込まれている
34-40-58-1	記(納金書上)	年未詳4月13日	横切紙	1通	川入 庄吉 金五拾錢 他2筆	
34-40-58-2	[書付](杭代)	年月日未詳	横切紙	1通	四尺杭6本 庄屋ノ借用	
34-40-59	[納金書付]	亥(明治8)年3月8日	半・横半	仮1冊	鶴 千賀蔵 三月四日 金四円 才次郎他	
34-40-60	[納米書付]	亥年1月3日	横折紙	1通	赤木秀太→倉敷大橋 勝太郎 一月廿四日入 四俵他	
34-40-61	[納米金書付]	亥(明治8)年2月14日	横折紙	1通	赤木秀太→(宛名なし) 千賀蔵持歸ル 引合壹俵壹斗貳升 万平他	
34-40-62	記(納米書付)	明治7年12月17日	横継紙	1通	赤木秀太→倉敷大橋 拾俵 豊平 他9筆	(朱筆)「則八月亥一月廿四日也」
34-40-63	[納金書付]	年月日未詳	半・横長	仮1冊	二月五日 五拾五錢 鶴新田 倉蔵他	
34-40-64	記(納金書付)	亥(明治8)年2月11日	横切紙	1通	東様ノ分 金三円 本村 幸吉 他3筆	
34-40-65	[金高書付]	年月日未詳	横切紙	1通	貳百貳拾貳円拾貳錢六リ 金蔵分他	
34-40-66	記(納金書付)	亥(明治8)年3月16日~18日	横継紙	1通	東様ノ分 金壹円八拾錢 大内 小左衛門他	2通が貼り継がれている
34-40-67	記(納金証)	亥(明治8)年5月30日	横切紙	1通	長尾屋金蔵→東大橋 もち米七斗貳升貳合代	
34-40-68	記(納金書付)	亥(明治8)年6月2日	横切紙	1通	東様ノ分 金六円五拾錢 川入 虎吉 他1筆	
34-40-69	記(納金切手)	亥(明治8)年6月2日	横切紙	1通	北様分 金三円廿錢 日吉庄村常太郎ノ入	
34-40-70	[納金書付]	年月日未詳	美・横長	仮1冊	東様ノ分 金貳円五拾錢 大内 利喜蔵他	
34-40-71	記(納金書付)	亥(明治8)年3月18日	横切紙	1通	鶴新田重三郎→東大橋 貳円七拾五錢 岡崎常蔵 他1筆	
34-40-72	記(納金書付)	亥年3月9日	横切紙	1通	長尾屋→(宛名なし) 金貳円 中はま 倉蔵 他5筆	(朱筆)「新曆四月十四日同人持参」
34-40-73	記(納金書付)	年未詳5月18日	横切紙	1通	松江鹿治郎→東大橋 綿貳貫七百日 呼松来造ノ入	
34-40-74	記(納金書付)	亥(明治8)年4月27日	横切紙	1通	東様分 金四円四拾錢 大内 十蔵他	
34-40-75	記(納金書付)	戌年5月15日	横切紙	1通	長尾屋→東大橋 金五円五錢 大梵幸四郎他	(朱筆)「新六月十九日也」
34-40-76	記(納金書付)	年未詳7月2日	横切紙	1通	赤木秀太→東大橋 壹円三十錢九リ 晴太郎 他10筆	
34-40-77	記(納金書付)	亥(明治8)年7月8日	横切紙	1通	東様分 金壹円 西村 清右衛門 他7筆	
34-40-78	[納金切手類]			1纏め(2通)		34-40-78-1~2一纏め 34-40-78-1と34-40-78-2が重ねて折られている
34-40-78-1	[納金切手]	年月日未詳	横切紙	1通	東様分 金貳円六拾五錢 川入 長五郎	
34-40-78-2	[納金切手]	年月日未詳	横切紙	1通	北様分 金五円六拾錢 川入 常之次ノ入	
34-40-79	記(納金書付)	年未詳8月14日	横切紙	1通	東様分 金六拾錢 川入 幸十郎 他3筆	

34-40-80	記(納金書付)	亥(明治8)年10月12日	横切紙	1通	東様分 金貳円三拾錢 西村 鶴蔵 他3筆	
34-40-81	[納金書付]	年月日未詳	横切紙	1通	東様分 金壹円六拾五錢 西村 甚三郎	
34-40-82	覚(納米書付)	亥(明治8)年8月28日	横折紙	1通	半俵 弥三他 世話人秀太取替	
34-41	出面表	年月日未詳	横継紙	1通	七月~正月 久吉・武兵衛	通の表紙の裏を使っている
34-42	[年貢米関係書付類]			1纏め(1袋1通)		34-42-1~2-纏め SILティッシュで包む
34-42-1	[年貢米書付類]			1袋(仮1冊30通2纏め)		34-42-1-1~33-袋(袋上書)「慶応三丁卯年 鶴新田金蔵 重三郎 福田新田庄介 川入久次郎 庄久次郎共指越候書付入」
34-42-1-1	[納米書付]	年月日未詳	半・横長	仮1冊	鶴 才次郎 納米壹石貳斗他	
34-42-1-2	覚(納年貢米代)	年月日未詳	横継紙	1通	一金三兩貳歩 矢から 伊助他	
34-42-1-3	覚(納米代書付)	辰年5月26日	横継紙	1通	米貳拾五俵壹斗五升 庄久次郎福田残受取書付	
34-42-1-4	覚(納銀札書付)	辰年11月21日	横継紙	1通	銀札百三拾目 大梵 円吉 他4筆 久次郎	
34-42-1-5	覚(納銀書上)	辰年11月4日	横切紙	1通	貳百三拾目 浅浦 多三郎 他5筆 久次郎指越分	
34-42-1-6	覚(納金書付)	辰年11月9日	横切紙	1通	一兩三朱 大崎安吉	
34-42-1-7	覚(納米代書付)	辰年6月18日	横折紙	1通	弁才天 万吉 五升他	
34-42-1-8	[覚・書付類]			1纏め(仮1冊4通)		34-42-1-8-1~5-纏め 34-42-1-8-1に34-42-1-8-2~5が挟まれている
34-42-1-8-1	[人夫数書上]	(慶応3)年	半・横長	仮1冊	慶応三年卯ノ春 長尾や金蔵 久次郎 二月三日ノ八日迄六人他	
34-42-1-8-2	覚(油・麦代書付)	卯年8月3日	横切紙	1通	長尾屋金蔵→東大橋 油壹斗六升 麦四十三俵	
34-42-1-8-3	[書付](代金催促)	辰年3月12日	横継紙	1通	長尾屋金蔵→東大橋 上口巻壹本 代金貳兩貳歩	
34-42-1-8-4	覚(品代)	年月日未詳	横切紙	1通	鶴本屋重三郎→大橋 酒肴・米代 九拾目	
34-42-1-8-5	覚(諸入用書上)	卯年12月	横継紙	1通	松江庄介→大橋 芳吉 油代 八拾目 他6筆	
34-42-1-9	覚(人別書付)	卯年12月晦日	横継紙	1通	一三拾五匁貳分 川入惣九郎 一四百四拾目 同惣九郎他	(上書)「卯十二月晦日夜 川入久次郎取立来り候人別書附」
34-42-1-10	覚(納米書付)	年月日未詳	横切紙	1通	一納米壹石貳斗 弁財天 礪石衛門 他5筆	
34-42-1-11	[人別勘定書上]	卯年12月5日	横切紙	1通	鶴本屋重三郎→大橋内久次郎 一六百貳拾七匁 岡ざき 美之吉 他5筆	(端裏書)「卯十二月五日差越候分」
34-42-1-12	覚(銀子書上)	卯年12月晦日	横継紙	1通	西浦 八右衛門 銀札四百目 他6筆	
34-42-1-13	[年貢米書付類]			1纏め(2通)		34-42-1-13-1~2-纏め 34-42-1-13-1が34-42-1-13-2に挟み込まれている
34-42-1-13-1	覚(年貢米書付)	年月日未詳	横切紙	1通	一米壹石九斗五升貳合 片嶋 鶴吉 〆壹石四斗三升九合 卯年貢米入	
34-42-1-13-2	覚(年貢米書付)	卯年12月大晦日	横継紙	1通	銀九百目 大崎 伊勢松 他3筆	
34-42-1-14	[納金書付]	年未詳12月12日	横切紙	1通	鶴丸屋重三郎→大橋 八拾八匁 乙嶋 坂次郎	
34-42-1-15	覚(年貢米書上)	卯年12月6日	横継紙	1通	百七拾六匁 西浦 仙吉 他3筆	
34-42-1-16	覚(納年貢金)	年未詳2月19日	横継紙	1通	大内 為介 六拾五匁 他5筆	
34-42-1-17	覚(年貢米書上)	辰年4月12日	横切紙	1通	金蔵→(宛名なし) 金四兩 矢から 佐平 他2筆	
34-42-1-18	覚(年貢代書付)	年月日未詳	横継紙	1通	貳百六拾四匁 鶴 松兵衛 他13筆 卯十二月五日差越候分	
34-42-1-19	覚(納年貢米代)	年月日未詳	横継紙	1通	五百八拾六匁 浅浦新田葛五郎 他13筆 辰正月二日差越候分	
34-42-1-20	覚(納年貢米代)	辰年2月8日	横継紙	1通	銀札百拾目 浅浦 柳吉 他3筆	
34-42-1-21	覚(納金書付)	辰年3月14日	横切紙	1通	銀札貳百貳拾目 大梵 吉右衛門 他2筆 〆金八兩貳歩渡シ 金蔵分	
34-42-1-22	覚(納銭札書付)	年月日未詳	横折紙	1通	銀札百目 西浦 平吉 他5筆 十二月二日久次郎鶴新田ノ仲蔵遣候節差越候分	
34-42-1-23	覚(納銀札書上)	年月日未詳	横折紙	1通	一銀札百六拾五匁 鶴 羽右衛門 他5筆 卯十二月五日久次郎差越候分	
34-42-1-24	卯年納米覚	年月日未詳	半・横長	仮1冊	納米貳斗 西浦 助四郎他	
34-42-1-25	覚(納年貢米書付)	年月日未詳	横折紙	1通	米拾九俵壹斗九升 芳吉 他9筆	
34-42-1-26	覚(納米書上)	年月日未詳	横折紙	1通	納米壹斗 乙嶋 清介 他15筆 十二月十三日 久次郎帰候節 持参之分	
34-42-1-27	覚(年貢米代書付)	卯年12月13日	横折紙	1通	九拾目 大梵 円吉 他4筆	
34-42-1-28	覚(納金書付)	卯年12月25日	横継紙	1通	鶴新田会所→中島屋 卯年井路敷米代三百九匁四分三りを納金	
34-42-1-29	覚(納米書付)	年未詳3月14日	横継紙	1通	松江庄介→東大橋 〆七拾俵壹斗五升	
34-42-1-30	覚(納金書付)	辰年5月17日	横切紙	1通	金蔵→(宛名なし) 矢から 亀蔵 金三兩 他3筆	
34-42-1-31	[高掛り書付]	年月日未詳	横切紙	1通	高掛り 一貳斗壹升 川入 同 一壹斗九升 八王子 割相庭三 俵二付銀四百目	
34-42-1-32	買仕切之事	年未詳3月12日	横切紙	1通	長尾屋金蔵→倉敷大橋 地米貳拾石代 六拾貳兩貳歩受取済	
34-42-1-33	覚(米代書付)	年未詳3月18日	横切紙	1通	庄久次郎→東大橋 米六拾貳俵壹斗七升壹合 代金百四拾兩 一四斗 ツル 栄三分 一四斗 ツル 輕吉分他 〆貳拾七石貳斗六升	
34-42-2	[慶応三卯年西浦御蔵斗人別書付]	慶応3年	横折紙	1通		

34-43	[小作米引方書付]	年月日未詳	横継紙	1通	本年に限り旧十月晦日迄に白米を以て計り入れ皆済した者の引き方 田方壺石につき壺斗引など	
34-44	[出面表]	年未詳2~12月	横継紙	3通	七月~六月 弥吉・十吉他	
34-45	[納税受取証類]	明治11~12年		1袋(27通)		34-45-1~27-袋 (袋上書)「明治十一年寅分村々御年貢通入」
34-45-1	第五拾四号 明治十一年地租民費請取証 帯高村	明治11年3月20日	横折紙	1通	戸長西山次郎代理小原延衛→大橋秀太郎 金拾三円拾貳銭四厘の請取証	12年の拝借金年賦取立金請取証・協議費の領収証が貼り付けられている
34-45-2	明治十一年地租金受取証	明治11年1月21日	横折紙	1通	戸長木村光太郎・岸鼎・副戸長大橋俊太郎→大橋秀太郎 文別地価三百三拾貳円三拾七銭 一地租金八円三拾銭九厘他皆済	
34-45-3	明治十一年地租金受取証	明治11~12年	横折紙	1通	浜村戸長岸鼎・副戸長屋簷恒蔵→大橋秀太郎 地租金五拾貳円九銭八厘他皆済	
34-45-4	明治十一年子位庄村地租金請取通	明治11~12年	横折紙	1通	道長窪津大紀→倉敷村大橋秀太郎 畑地租税 一金貳拾三円五拾壹銭七厘他皆済	
34-45-5	明治十一年寅久村地券税受取通	明治11年	横折紙	1通	副戸長秋岡素平→大橋秀太郎 地租金三拾四円八拾貳銭他皆済	
34-45-6	記(受取証)	年未詳3月20日	横切紙	1通	□□□→大橋 不足金九銭六厘の受け取り	
34-45-7	[受取証]	年未詳3月20日	横切紙	1通	基三郎→(宛名なし) 金五円二拾銭	
34-45-8	[受取証]	明治11年1月31日	横切紙	1通	(前潟村)→大橋秀太郎 明治十一年地方税地租五分一残額地価百円二付金廿五銭金壹円貳銭壹厘を受け取った	
34-45-9	[受取証]	年未詳1月14日	横切紙	1通	(前潟村)→大橋秀太郎 明治十一年地券税 金五円十銭五厘	
34-45-10	[受取証]	年月日未詳	横切紙	1通	(差出人なし)→大橋秀太郎 一五厘 第四期納入用 受取候也(前潟村)→大橋秀太郎 明治十一年分民費 金貳円四銭貳厘他1筆	罫紙
34-45-11	[受取証]	年未詳1月15日	横切紙	1通	(前潟)→大橋秀太郎 樋据替費 金壹円拾七銭貳厘他	
34-45-12	[受取証]	年未詳8月2日	横切紙	1通	(生坂村)→大橋秀太郎・名代人黒瀬喜太郎 地方税民費 金九円四拾五銭三厘	(朱筆)「名代人黒瀬喜太郎」
34-45-13	[受取証]	寅(明治11)年12月20日	横切紙	1通	(差出人なし)→大橋秀太郎 金四拾円五拾五銭	
34-45-14	[納金書付]	年未詳11月14日	横切紙	1通	(差出人なし)→大橋秀太郎 廿七円九銭六厘 旧七月廿二日切	
34-45-15	[納金書付]	年月日未詳	横切紙	1通	西之浦村副戸長→倉敷大橋 井路敷立前代賃として拾三銭八厘を納める	
34-45-16	記(納金証)	明治11年8月10日	横切紙	1通	大橋秀太郎 鶴新田申元反割三拾九円三拾九銭	
34-45-17	[納金書付]	年月日未詳	横切紙	1通	帯高村→大橋秀太郎名代人小原延衛 地方税 金七拾六銭五厘	
34-45-18	[受取証]	年月日未詳	横切紙	1通	十二月廿九日限 一三拾壹円廿七銭貳厘	
34-45-19	[納金書付]	年月日未詳	横切紙	1通	(生坂村)→大橋秀太郎名代人黒瀬喜太郎 金拾銭受け取り	(朱筆)「名代人黒瀬喜太郎」
34-45-20	[受取証]	年未詳1月6日	横切紙	1通	備中国窪屋郡子位莊村→倉敷村大橋秀太郎 明治十一年地券税第一期 一金四円七拾銭三厘 右正二受取候也	
34-45-21	[受取証]	(明治12)年	横切紙	1通	窪屋郡子位莊村→大橋秀太郎 明治十一年地券税第二期 金拾壹円七拾五銭九厘	
34-45-22	[受取証]	年月日未詳	横切紙	1通	戸長木村光太郎→大橋秀太郎 金拾五円	
34-45-23	[受取証]	明治12年1月21日	横切紙	1通	窪屋郡帯高村戸長西山次郎→大橋秀太郎 地方税先納 金七拾六銭五厘	
34-45-24	[受取証]	明治11年12月27日	横切紙	1通	窪屋郡帯高村戸長西山次郎・代理用掛小原延衛→大橋秀太郎 地方税六ヶ月分 金壹円三拾壹銭貳厘	
34-45-25	[受取証]	明治12年1月21日	横切紙	1通	生坂村戸長貝原利久蔵→大橋秀太郎名代人黒瀬喜太郎 地価千八百九拾円六拾貳銭 地券税金 一畑宅地税金他皆済	
34-45-26	明治十一年地券税金収入通	(明治12)年	横折紙	1通	戸長佐藤禎太郎→大橋秀太郎 地租金拾円廿銭九厘他皆済	
34-45-27	都宇郡前潟村 明治十一年地租民費金請取之証	明治12年	横折紙	1通		
34-46	[銀高他書上類]	寅年11月14日~卯年11月8日		1袋(仮3冊11通2纏め)		34-46-1~16-袋 (袋上書)「慶応二寅年 卯三卯年春へかけ益右衛門・金蔵・庄介・久次郎等差越候書付一切入」
34-46-1	覚(小作料取立受取書)	卯(慶応3)年11月8日	横継紙	1通	久次郎取立帰り候分 鶴 与茂蔵銀札五百四拾三匁也 金蔵差越候分 乙島 半三郎銀札八拾八匁他	2通がつながっている
34-46-2	覚(年貢代銀書付)	卯(慶応3)年6月7日	横継紙	1通	銀札 三拾目 西大崎安吉 子年貢米相済 他6筆 〆壹貫八拾壹匁 金七兩 札三百目	
34-46-3	覚(年貢代銀書付)	卯(慶応3)年6月7日	横切紙	1通	一. 銀札貳百目 鶴 才次郎分 他11筆 庄久次郎差越候分	
34-46-4	[年貢代銀書上]	年未詳2月8日	美・横長	仮1冊	古池分 鶴 亀十郎 六百五拾四匁他	
34-46-5	[賄料書上類]			1纏め(仮1冊2通)		34-46-5-1に34-46-5-2と34-46-5-3がはさまっている
34-46-5-1	賄料控帳	年月日未詳	半・横長	仮1冊	正月二日 卯十五日迄 一. 五人 久次郎他	
34-46-5-2	覚(賄料書付)	年月日未詳	横切紙	1通	上酒九升他3筆	
34-46-5-3	覚(賄料書上)	年月日未詳	横切紙	1通	米・酒代他	
34-46-6	覚(年貢銀書付)	年月日未詳	横継紙	1通	八拾五匁 川入 惣九郎他	
34-46-7	[御年貢代銀書上]	卯(慶応3)年4月8日	横切紙	1通	一. 百九拾目 陶江政右衛門他	(端裏書)「四月八日之分」

34-46-8	覚(銀送り状)	卯年2月朔日	横継紙	1通	久次郎→(宛名なし) 一、拾八匁三分二厘 川入 庄左衛門他5筆	
34-46-9	覚(納銀書上)	年月日未詳	横切紙	1通	一、三百五拾貳匁 祐安若松他6筆	
34-46-10	覚(納年貢銀書付)	卯(慶応3)年正月14日	横切紙	1通	片島鶴吉 銀札五百八拾目他7筆 〆 壹貫三百六拾四匁	
34-46-11	庄九分 御蔵米計	年月日未詳	横継紙	1通	一、米八斗貳升 ツル役之助他5筆 〆 貳石貳斗貳升	
34-46-12	覚(米送り状)	寅(慶応2)年11月14日	横切紙	1通	久次郎→(宛名なし) 上り地ノ分 米 〆 壹石壹斗四升四合	
34-46-13	[御年貢銀書付]	卯年2月5日	美・横長	仮1冊	古池分 新池分 二口 〆 七貫九百貳拾六匁三分	
34-46-14	覚(納銀書付)	年未詳3月2日	横切紙	1通	貳百六拾四匁 乙島徳蔵他4筆 十三郎指越分	
34-46-15	[納年貢銀書付]	年未詳3月2日	半・横長	仮1冊	古池分 新池分 久次郎持帰候書付	
34-46-16	[受取証書類]	卯年正月13日~寅年		1纏め(仮1冊2通)		34-46-16-1に34-46-16-2と34-46-16-3がはさまっている
34-46-16-1	寅年諸入用書出候	寅年	半・横半	仮1冊	庄介→大橋 人夫賃他諸入用 〆 百六拾目七分	
34-46-16-2	[納米代銀書付]	卯(慶応3)年正月13日	横切紙	1通	米四拾六俵貳斗九升分 九百四拾五匁	
34-46-16-3	覚(受取証文)	卯年2月27日	横切紙	1通	松江庄介→大橋 百拾六匁七分 樋かに受取申上候	
34-47	[書付類]	明治元~2年		1袋(仮1冊19通)		34-47-1~20一袋 (袋上書)「明治元辰暮 〆 二年巳迄川入久次郎 鶴新田金蔵福田庄介庄久次郎 〆 差越候書付入」
34-47-1	覚(米代金送状)	辰(明治元)年7月5日	横切紙	1通	磯屋伊三郎→東大橋 御庭米貳石八斗壹升七合七匁	
34-47-2	覚(下作米・年貢米書上)	巳(明治2)年2月4日	横継紙	1通	鶴拜右衛門分四百目他 久次郎相渡シ	
34-47-3	覚(年貢米等書上)	年月日未詳	横切紙	1通	西浦文吉分 納米八斗外 久次郎渡し分	
34-47-4	覚(諸入用書上)	巳年3月20日	横継紙	1通	福田新田庄介→東大橋 三月十四日四匁五分 新蔵分他	
34-47-5	覚(米代金書付)	巳年6月5日	横切紙	1通	米四石 四兩貳歩貳朱かへ 亀島小十郎	
34-47-6	覚(取替証)	年月日未詳	横切紙	1通	松江庄助→東大橋 山三郎・岩吉分 七斗	(端裏書)「巳六月十日指越ス」
34-47-7	覚(米高書付)	年月日未詳	横切紙	1通	米三拾九石七升五合	
34-47-8	覚(算用状)	年月日未詳	横切紙	1通	辰ノ年貢米の算用 新地重吉分入	丸印で抹消
34-47-9	覚(年貢米等書上)	巳(明治2)年正月15日	横切紙	1通	大梵幸七分 銀札貳百六拾四匁他4筆 久次郎渡し分	
34-47-10	覚(年貢米等書上)	辰(明治元)年12月大晦日	横折紙	1通	鶴千代蔵納米六斗壹升他久次郎分 浅浦柳吉分銀札五拾目他 仲蔵分	
34-47-11	覚(年貢米等書上)	巳年4月19日	横切紙	1通	矢から佐次郎分銀札四百拾五匁他3筆	
34-47-12	[人数書上]	辰年春	半・横長	仮1冊	長屋や覚 二月十四日 〆 十六日迄三人他	
34-47-13	覚(米送り状)	年月日未詳	横継紙	1通	辰年不足貳俵 西村治作分	
34-47-14	覚(人数書上)	年月日未詳	横切紙	1通	三人常吉	
34-47-15	[年貢算用状]	明治2年正月19日	横継紙	1通		(朱筆)「明治貳年巳正月十九日庄介帳面持参写取候文」
34-47-16	覚(年貢銀送り状)	辰(明治元)年12月	横継紙	1通	庄介→大橋 年貢銀五貫五百八拾貳匁六分五厘他	
34-47-17	[米代銀書付]	年月日未詳	横切紙	1通	西村藤七上り分 五斗八升六合代 貳百拾三匁	
34-47-18	覚(年貢米等書上)	辰(明治元)年12月	横継紙	1通	弁才天勝蔵分 納米五斗他 12月朔日、12月6日、12月16日、12月18日、12月19日差し超す分	6通の覚が貼り継がれている
34-47-19	覚(銀高書付)	辰(明治元)年正月元日	横継紙	1通	西村紋十郎分 四百四拾目他	
34-47-20	覚(金代金書付)	辰(明治元)年12月24日	横切紙	1通	酒津源之丞・代人喜十郎→川入久次郎 仲蔵分壹石貳斗八升他 金拾三兩二歩二朱分 銀拾八厘	
34-48	[年貢米等書付類]	明治2年7月26日~3年7月6日		1袋(1纏め34通)		34-48-1~35一袋 (袋上書)「明治二巳年 〆 午年江金蔵・重三郎・増右衛門・庄介・久次郎 〆 指越候書付入」
34-48-1	覚(綿作・田作書付)	巳(明治2)年12月	横切紙	1通	会所→大橋	
34-48-2	覚(納年貢代銀書付)	午(明治3)年3月2日	横継紙	1通	長尾屋→久次郎 矢から佐平 木綿三反代他6筆 〆 壹貫百四拾貳匁(札三百三拾貳匁、金札九兩、木綿三反)	
34-48-3	[米相場算用書付]	年月日未詳	横継紙	1通	高壹石につき米貳拾貳合貳匁 銀札貳拾八匁 金札壹兩 御相場銀札八百八拾目 過不足壹貫目	
34-48-4	覚(米買取代書付)	午(明治3)年4月15日	横継紙	1通	中疇秀太→東大橋 米代百貳拾三兩壹歩永八百三歩の内貳拾兩を渡し済	
34-48-5	覚(送金状)	年未詳4月3日	横切紙	1通	中疇秀太→倉敷大橋 金札八拾兩ほかを久次へ渡すので受取るよう依頼	
34-48-6	[銀仮相場書付]	年月日未詳	横切紙	1通	巳年仮相庭七百八拾壹匁 九拾貳匁四分 古地懸り銀他1筆	
34-48-7	覚(年貢米代金書付)	年月日未詳	横継紙	1通	鶴新田分 午春入分 納米・餅米・もみ・ここめ代金	
34-48-8	[受取書]	明治3年7月26日		1纏め(2通)		34-48-8-1に34-48-8-2がくるまっていた
34-48-8-1	覚(銀受取証)	午(明治3)年7月26日	横切紙	1通	長尾屋金蔵→東大橋 百三拾三匁五分	
34-48-8-2	覚(銀受取証)	午(明治3)年7月26日	横切紙	1通	長尾屋金蔵→東大橋 拾五匁	
34-48-9	覚(年貢代銀送り状)	午(明治3)年3月5日	横切紙	1通	長尾屋→東大橋 大梵吉右衛門 貳百目他1筆 〆 銀札六百八拾目	

34-48-10	覚(納年貢代書付)	巳(明治2)年12月 大晦日	横折紙	1通	仲蔵→(宛名なし) 浅浦柳吉 百四拾目他7筆 〆 壹貫七百貳拾七匁貳分	
34-48-11	覚(諸入用書付)	年月日未詳	横切紙	1通	酒・白米・肴代他 金蔵へ午年相渡済	
34-48-12	[人別俵数書上]	年未詳12月8日	横切紙	1通	川下松五郎 壹俵他4筆 十二月八日会所方申越分	
34-48-13	覚(講銀受取証)	巳(明治2)年12月 20日	横切紙	1通	中疇秀太→東大橋 貳両壹歩 永八拾三文三歩	
34-48-14	[代銀書付]	年月日未詳	横切紙	1通	源介分 四貫七拾六匁壹分五厘他1筆	
34-48-15	覚(年貢代金書付)	午(明治3)年3月25 日	横継紙	1通	木綿代二口 〆 金札五拾三両貳歩 札貳匁六分	
34-48-16	差入申儀定之事	明治2年12月	縦紙	1通	当年洪水につき御毛見勘弁の訴え聞き届けられ感謝 以後は	案文
34-48-17	[年貢算用書付]	巳年12月	横切紙	1通	高巻石二付八拾匁 凡貳貫六百五拾四匁九厘 庄介	
34-48-18	覚(人別米高書上)	午(明治3)年4月2 日	横切紙	1通	二月六日 吉斗 浅之介他14筆 増右衛門方書附差越候小作 人江預ヶ米之内取替分	
34-48-19	覚(納年貢代金書付)	午(明治3)年6月11 日	横継紙	1通	長尾屋→久次郎 〆 金札五両 西浦山仙吉他3筆	
34-48-20	覚(納年貢代書付)	午(明治3)年正月 16日	横切紙	1通	(差出人なし)→久次郎「西之浦 磯吉 一 三百四拾目 右者 辰年貢米相済 作人瀬市郎」他2筆 〆 六百六拾目	
34-48-21	覚(諸入用書付)	年月日未詳	横切紙	1通	拾匁 かわら代外 秀吉小作米代納入分	
34-48-22	覚(人別年貢代銀等書上)	午(明治3)年2月8 日	横継紙	1通	長尾屋→久次郎 大崎伊勢吉 銀札百七拾目他8筆 〆 壹貫九 百九拾九匁	
34-48-23	覚(納金札書付)	年月日未詳	横切紙	1通	金札拾四両 備札四拾目	
34-48-24	[書付](人別俵数)	年月日未詳	横継紙	1通	貳俵半 百蔵 岩松事他	
34-48-25	覚(納年貢銀書付)	年月日未詳	横継紙	1通	川入広右衛門 銀札百目他11筆 東・北様分 安吉持参分	
34-48-26	覚(年貢代銀書付)	午(明治3)年正月2 日	横継紙	1通	大崎佐吉 木綿二反代 九拾五匁他6筆 〆 貳貫貳百五拾九匁 五分 久次郎渡分	
34-48-27	覚(年貢代算用書)	巳(明治2)年	横継紙	1通	芳吉 米五俵他 庄介差越分	
34-48-28	覚(年貢米算用書)	午(明治3)年正月 20日	横切紙	1通	中疇益右衛門→倉敷大橋 〆 七拾俵貳斗四升五合	
34-48-29	覚(辰年地利米算用書)	巳(明治2)年9月14 日	横切紙	1通	益右衛門→(宛名なし) 拾五俵	付箋あり「拾七俵壹斗八升六合」とあり
34-48-30	[覚](納金書付)	午(明治3)年6月11 日	横切紙	1通	西浦岩松 銀札八拾目他4筆 〆 貳貫三拾目	
34-48-31	覚(納年貢書付)	午(明治3)年7月6 日	横継紙	1通	西浦吉之介 麦四斗他6筆 金蔵差越分書附	
34-48-32	[覚](人夫数書付)	明治2年	美・横長	仮1冊		消し線あり
34-48-33	覚(納米算用書他)	巳(明治2)年11月 12日~12月4日	横継紙	1通	覚(普請用書上)巳十一月十七日 長尾屋→大橋 覚(受取証) 巳十一月廿一日 長尾屋金蔵→東大橋 覚(受取証)巳十二月 四日 重三郎・金蔵→東大橋	4通の文書が貼り継がれている
34-48-34	覚(納年貢書付)	巳(明治2)年10月4 日~12月17日	横継紙	1通	他4通 覚(人別年貢米等書上)巳十一月七日 久次郎・金蔵→ (宛名なし) 覚(人別年貢米等書上)巳十二月五日 長尾屋→ 久次郎 覚(人別年貢代銀書上)巳十月四日 久次郎→(宛名な し) 覚(人別納米書上)巳十二月十七日 金蔵→(宛名なし) ツル会所→倉敷大橋 ツル 松吉斗 壹石貳斗他21筆 〆 貳拾 三石四斗五升	5通の文書が継がれている 継目はがれ
34-48-35	御蔵斗覚	巳(明治2)年12月	横切紙	1通		
34-49	[年貢等書類]	明治3~4(カ)年8月		1袋(2括り仮1 冊18通)		34-49-1~21一袋 (袋上書)「明治三庚午年ヨリ未年八月迄 靄新 田金蔵重次郎并会所方差越候書付入」
34-49-1	[年貢等書類]			1括り(4括り5 通)		34-49-1-1~9紙綴りで一括り (紙綴書付)「午年分 川入久次郎 分」
34-49-1-1	小位庄村口米斗午十二月十六日 川入久次郎書拔 来候分	午(明治3)年12月 16日	横継紙	1通	西村藤五郎 壹俵他12筆	
34-49-1-2	[川入分田畑別人名書上]	年月日未詳	横切紙	1通	大内敬之介 (朱書)「北」田分他10筆	
34-49-1-3	覚(納年貢代銀書付)	年月日未詳	横切紙	1通	西村庄介 銀札貳百目他7筆	
34-49-1-4	覚(納年貢銀書付)	年月日未詳	横継紙	1通	川入留吉 銀札貳百七拾目他30筆	
34-49-1-5	覚(納年貢銀書付)	年月日未詳	横継紙	1通	川入弥右衛門 東分 銀札三百五拾匁他35筆	
34-49-1-6	[納年貢銀書付]			1括り(22通)		34-49-1-6-1~22紙綴りで一括り
34-49-1-6-1	[書付](納年貢銀)	年月日未詳	横切紙	1通	西村庄吉分 四人方入 銀札百目	
34-49-1-6-2	[書付](納年貢銀)	年月日未詳	横切紙	1通	西村栄左衛門方入 銀札貳百五拾目	
34-49-1-6-3	[書付](納年貢銀)	年月日未詳	横切紙	1通	西村紋吉方入 銀札三百目	
34-49-1-6-4	[書付](納年貢銀)	年月日未詳	横切紙	1通	西村久四郎方入 銀札百九拾五匁	
34-49-1-6-5	[書付](納年貢銀)	年月日未詳	横切紙	1通	西村藤久郎方入 銀札百五拾目	
34-49-1-6-6	[書付](納年貢銀)	年月日未詳	横切紙	1通	西村林蔵方入 錢札五百目	
34-49-1-6-7	[書付](納年貢銀)	年月日未詳	横切紙	1通	西村元次郎方入 錢札四百三拾三匁	
34-49-1-6-8	[書付](納年貢銀)	年月日未詳	横切紙	1通	西村祐十郎方入 錢札百目	
34-49-1-6-9	[書付](納年貢銀)	年月日未詳	横切紙	1通	西村伊介方入 錢札貳百目	

34-49-1-6-10	[書付](納年貢銀)	年月日未詳	横切紙	1通	西村久四郎方入 錢札五百目	
34-49-1-6-11	[書付](納年貢銀)	年月日未詳	横切紙	1通	西村茂作方入 錢札百目	
34-49-1-6-12	[書付](納年貢銀)	年月日未詳	横切紙	1通	西村栄左衛門方入 銀札百目	
34-49-1-6-13	[書付](納年貢銀)	年月日未詳	横切紙	1通	西村清右衛門方入 錢札百七拾目	
34-49-1-6-14	[書付](納年貢銀)	年月日未詳	横切紙	1通	西村伝七方入 錢札百目	
34-49-1-6-15	[書付](納年貢銀)	年月日未詳	横切紙	1通	胡栄次郎方入 錢札百七拾目	
34-49-1-6-16	[書付](納年貢銀)	年月日未詳	横切紙	1通	胡栄次方入 錢札五百四拾目	
34-49-1-6-17	[書付](納年貢銀)	年月日未詳	横切紙	1通	大内敬之介方入 錢札百目	
34-49-1-6-18	[書付](納年貢銀)	年月日未詳	横切紙	1通	大内十蔵方入 錢札五百目	
34-49-1-6-19	[書付](納年貢銀)	年月日未詳	横切紙	1通	大内忠蔵方入 錢札三百六拾目	
34-49-1-6-20	[書付](納年貢銀)	年月日未詳	横切紙	1通	大内忠蔵方入 錢札三百八拾目	
34-49-1-6-21	[書付](納年貢銀)	年月日未詳	横切紙	1通	川入庄吉方入 錢札三百六拾目	
34-49-1-6-22	[書付](納年貢銀)	年月日未詳	横切紙	1通	川入留吉方入 錢札三百七拾目	
34-49-1-7	[年貢銀書付類]			1括り(9通)		34-49-1-7-1~9紙綴りで一括り
34-49-1-7-1	[書付](納年貢銀)	年月日未詳	横切紙	1通	西村久次郎方入 銀札八百目	
34-49-1-7-2	[書付](納年貢銀)	年月日未詳	横切紙	1通	本村石五郎 錢札百五拾八目	
34-49-1-7-3	[書付](納年貢銀)	年月日未詳	横切紙	1通	本村石五郎方入 錢札八拾目	
34-49-1-7-4	[書付](納年貢銀)	年月日未詳	横切紙	1通	西村清右衛門方入 錢札百七拾目	
34-49-1-7-5	[書付](納年貢銀)	年月日未詳	横切紙	1通	本村勇次郎方入 錢札三百目	
34-49-1-7-6	[書付](納年貢銀)	年月日未詳	横切紙	1通	藤平方入 錢札百五拾目	
34-49-1-7-7	[書付](納年貢銀)	年月日未詳	横切紙	1通	大内敬之介方入 錢札六拾目	
34-49-1-7-8	[書付](納年貢銀)	年月日未詳	横切紙	1通	胡吟次郎方入 錢札七百目	
34-49-1-7-9	[書付](納年貢銀)	年月日未詳	横切紙	1通	日吉村役次郎方入 銀札三百七拾四目	
34-49-1-8	[年貢代銀納入関係書類]			1括り(11通)		34-49-1-8-1~11紙綴りで一括り
34-49-1-8-1	[書付](納年貢銀)	年月日未詳	横切紙	1通	川入常之治 錢札百五拾目	
34-49-1-8-2	[書付](納年貢銀)	年月日未詳	横切紙	1通	大内庄九郎入 八百五十目	
34-49-1-8-3	[書付](納年貢銀)	年月日未詳	横切紙	1通	大内恵吉方入 銀札百三拾五目	
34-49-1-8-4	[書付](納年貢銀)	年月日未詳	横切紙	1通	大内十蔵方入 錢札五百八拾五目	
34-49-1-8-5	[書付](納年貢銀)	年月日未詳	横切紙	1通	西村惣右衛門方入 錢札三百四拾目	
34-49-1-8-6	[書付](納年貢銀)	年月日未詳	横切紙	1通	日吉村三蔵方入 銀札三百七拾目	
34-49-1-8-7	[書付](納年貢銀)	年月日未詳	横切紙	1通	西村源八方入 錢札四百目	
34-49-1-8-8	[書付](納年貢銀)	年月日未詳	横切紙	1通	西村藤右衛門方入 三百八拾五目	
34-49-1-8-9	[書付](納年貢銀)	年月日未詳	横切紙	1通	西村元治郎 錢札五百目	
34-49-1-8-10	[書付](納年貢銀)	年月日未詳	横切紙	1通	西村瀧右衛門方入 錢札五百目	
34-49-1-8-11	[書付](納年貢銀)	年月日未詳	横切紙	1通	嘉作方入 錢札百五目 合壹貫目	
34-49-1-9	[年貢銀書付類]			1括り(26通)		34-49-1-9-1~26紙綴りで一括り 紙綴りに結ばれた紙綴りに「午年分 川入久次郎之分」とある
34-49-1-9-1	[書付](納年貢銀)	年月日未詳	横切紙	1通	源八方入 錢札八百目 二口合壹貫貳百目	
34-49-1-9-2	[書付](納年貢銀)	年月日未詳	横切紙	1通	鹿爪嘉作方入 錢札五百目	
34-49-1-9-3	[書付](納年貢銀)	年月日未詳	横切紙	1通	本村音次郎跡作人幸吉方入	
34-49-1-9-4	[書付](納年貢銀)	年月日未詳	横切紙	1通	西村栄八方入 錢札五百四拾目	
34-49-1-9-5	[書付](納年貢銀)	年月日未詳	横切紙	1通	藤平方入 錢札三百八拾目	
34-49-1-9-6	[書付](納年貢銀)	年月日未詳	横切紙	1通	西村甚三郎方入 錢札百目	
34-49-1-9-7	[書付](納年貢銀)	年月日未詳	横切紙	1通	西村茂作方入 錢札四百目	
34-49-1-9-8	[書付](納年貢銀)	年月日未詳	横切紙	1通	西村文太郎方入 錢札五百目	
34-49-1-9-9	[書付](納年貢)	年月日未詳	横切紙	1通	西村文太郎 錢札五百目	
34-49-1-9-10	[書付](納年貢銀)	年月日未詳	横切紙	1通	酒津村儀平方入 錢札三百八拾目	
34-49-1-9-11	[書付](納年貢銀)	年月日未詳	横切紙	1通	祐安栄作方入 錢札五拾目	
34-49-1-9-12	[書付](納年貢銀)	年月日未詳	横切紙	1通	濱村藤九郎方入 錢札貳拾貳目	
34-49-1-9-13	[書付](納年貢銀)	年月日未詳	横切紙	1通	大内十蔵方入 錢札七百目	
34-49-1-9-14	[書付](納年貢銀)	年月日未詳	横切紙	1通	川入弥右衛門方入 錢札三百五拾目	
34-49-1-9-15	[書付](納年貢銀)	年月日未詳	横切紙	1通	西村豊吉 銀札三百六拾目	
34-49-1-9-16	[書付](納年貢銀)	年月日未詳	横切紙	1通	西村文太郎方入 錢札百目	
34-49-1-9-17	[書付](納年貢銀)	年月日未詳	横切紙	1通	濱村藤九郎方入 錢札三百七拾八目	
34-49-1-9-18	[書付](納年貢銀)	年月日未詳	横切紙	1通	本村勇治郎方入 錢札三百目	
34-49-1-9-19	[書付](納年貢銀)	年月日未詳	横切紙	1通	鹿爪柳蔵方入 錢札四百七拾五目	
34-49-1-9-20	[書付](納年貢銀)	年月日未詳	横切紙	1通	鹿爪林蔵方入 錢札八百拾五目	
34-49-1-9-21	[書付](納年貢)	年月日未詳	横切紙	1通	鹿爪長五郎方入 錢札壹貫六百七拾五目	
34-49-1-9-22	[書付](納年貢銀)	年月日未詳	横切紙	1通	大内利喜蔵方入 錢札六百拾五目	
34-49-1-9-23	[書付](納年貢銀)	年月日未詳	横切紙	1通	本村秀次郎方入 錢札五百目	
34-49-1-9-24	[書付](納年貢銀)	年月日未詳	横切紙	1通	本村幸吉方入 錢札四百四拾目	
34-49-1-9-25	[書付](納年貢銀)	年月日未詳	横切紙	1通	西村治郎吉方入 錢札九拾目	
34-49-1-9-26	[書付](納年貢銀)	年月日未詳	横切紙	1通	大内利喜蔵方入 錢札百八拾目	
34-49-2	[年貢書上]	午年8~10月		1括り(3通)		34-49-2-1~3一括り 紙綴り帯には「木屋秀太 受取一通」
34-49-2-1	[書付](杭代受取)	午(明治3)年10月12・23日	横折紙	1通	木屋秀太→大橋 留太郎 間杭拾五本 貳拾五目他 〆四百拾貳目三分	

34-49-2-2	覚(麦代渡証)	午(明治3)年8月6日	横切紙	1通	いつみや多口→東大橋 麦四石壺斗九升五合 代拾八兩三步 式朱拾貳分貳厘	
34-49-2-3	[書付](年貢)	年月日未詳	横切紙	1通	五斗 浅之介方入他4筆	
34-49-3	米内取覚	年未詳10月11日~11月8日	横継紙	1通	弁才天勝蔵 納米三斗九升八合他25筆	名前下2ヶ所付箋あり
34-49-4	覚(納年貢銀)	午(明治3)年10月7日	横切紙	1通	長尾屋→(宛名なし) 浅浦柳吉 銀札四拾八匁他4筆 〆九百八拾八匁	
34-49-5	覚(納年貢書付)	午年12月23日	横切紙	1通	長尾屋金蔵・久次郎渡し分	
34-49-6	覚(納年貢代銀)	未(明治4)年正月2日	横継紙	1通	西浦清十郎 三拾目他11筆	
34-49-7	[銀札算用書上]	午(明治3)年	横切紙	1通	靄義平 銀札二百二拾五匁他2筆	
34-49-8	[書付](定米書上)	午(明治3)年	横切紙	1通	元割方九割迄 定米壺石四斗取	
34-49-9	[人別米高古地掛銀・弘化掛銀・米相場書上]	年月日未詳	横折紙	1通	倉敷中嶋屋 岡サキ半左衛門他48筆 〆三拾石七升	
34-49-10	[書付](年貢取高)	年月日未詳	横折紙	1通	中はま政太郎 綿十五貫目他26筆	
34-49-11	覚(納年貢代銀)	年月日未詳	横切紙	1通	未3月22日 長尾屋金蔵持参分 大崎伊勢吉 四百四拾目他5筆	
34-49-12	覚(年貢米等書上)	年月日未詳	横継紙	1通	長尾屋→(宛名なし) 役平 四百四拾目他4筆	
34-49-13	覚(納年貢代書付)	午年11月3日	横切紙	1通	大梵長蔵 銀札貳百九拾目他4筆 〆壹貫四百七拾七匁 久次郎殿へ相渡し	
34-49-14	米覚(年貢米受取)	午(明治3)年11月26日	横継紙	1通	金蔵→(宛名なし) 大崎良平 納米四斗他15筆	
34-49-15	覚(年貢納入)	午年10月20日	横継紙	1通	長尾屋→(宛名なし) 中はま千嘉蔵 銀札貳百七拾目他 久次郎殿へ相渡し申候	2通が貼り継がれている
34-49-16	覚(納銀書付)	年月日未詳	横切紙	1通	西浦喜代次 銀札三百二拾目他2筆 正月十八日 金蔵持参之分	
34-49-17	[書付](銀子納入)	午年閏10月19日	横切紙	1通	ツル重三郎→大橋 乙しま万三郎分 百七拾六匁他3筆	
34-49-18	[書付](取米・綿)	明治3年10月	横継紙	1通	靄新田重三郎→(宛名なし) 増吉 壺石八斗地貳反分 壺石式斗取他26筆	
34-49-19	覚(年貢米書上)	午年12月8日	横継紙	1通	年貢米を久次郎へ渡す覚 年貢米 広右衛門あと作人市太郎受取米覚	はじめに反故となった覚書があり、次に覚、最後に米覚が書かれている
34-49-20	覚(銀札納入)	年月日未詳	横継紙	1通	長尾屋→(宛名なし) 大崎安吉 銀札貳百三拾目他7筆 午閏10月9日相渡し	
34-49-21	[覚](人夫書上)	年月日未詳	半・横長	仮1冊	長尾屋分他 〆八拾三人 九百九拾六匁 未正月十四日相渡ス	
34-50	[請取証類]	明治9年6月1日~11年7月6日		1袋(5纏め13通)		34-50-1~18一袋 (袋上書)「明治十五年丑 邑々地券税受取通入」
34-50-1	明治十年帯高村地券税請取証	明治11年	横折紙	1通	戸長西山次郎・難波景二・副戸長佐々木正策→倉敷村大橋秀太郎 金拾三円拾貳錢四厘を皆済	佐々木正策→大橋秀太郎 請取証の付紙あり
34-50-2	第百六十二号 明治十年地租民費金請取之証 都宇郡前湯村	明治10年	横折紙	1通	戸長浮田治一郎他3名→大橋秀太郎 地租金拾円廿錢九厘他を皆済	
34-50-3	明治十年帯高村民費請取証	明治10年1月27日	横折紙	1通	戸長西山次郎・難波景二・副戸長佐々木正策→倉敷村大橋秀太郎 金三円拾七錢四厘を受取	
34-50-4	[明治十年地券税受取証]	明治10年3月23日~4月24日		1纏め(2通)		34-50-4-1~2一纏め SILティッシュで包む
34-50-4-1	[書付](地券税領収証)	明治10年4月24日	横切紙	1通	前湯村→大橋秀太郎 金貳円四錢九厘	
34-50-4-2	[書付](地券税領収証)	明治10年3月23日	横切紙	1通	前湯村→大橋秀太郎 金三円六錢	
34-50-5	[地券税・戸別賦課金受取証]	明治10年1月17日~11年2月26日		1纏め(3通)		34-50-5-1~3一纏め SILティッシュで包む
34-50-5-1	[書付](地券税領収証)	明治10年1月17日	横切紙	1通	前湯村→大橋秀太郎 明治10年地券税第四期 金五円拾錢	
34-50-5-2	記(戸別賦課金受取証)	明治10年10月25日	横切紙	1通	大久保尚平・屋葺富太郎→大橋秀太郎 金壹円四拾五錢	
34-50-5-3	記(戸別賦課金受取証)	明治11年2月26日	横切紙	1通	大橋長蔵・屋葺富太郎→大橋秀太郎 廿四円四十錢	
34-50-6	[金銭書付]	年月日未詳	横切紙	1通	靄 金三拾円九十五錢三厘 八月廿一日限	
34-50-7	[書付](地券税)	年月日未詳	横切紙	1通	西原村→倉敷村大橋秀太郎 明治十年地券税第二期 金八拾錢六厘	
34-50-8	[書付](地券税)	年月日未詳	横切紙	1通	玉嶋村→大橋秀太郎 十年十一期税 三拾四錢三厘	
34-50-9	[書付](地券税)	年月日未詳	横切紙	1通	濱村→大橋秀太郎 金拾貳円四錢	
34-50-10	[賦課金書付類]	明治10年12月24日		1纏め(2通)		34-50-10-1~2一纏め SILティッシュで包む
34-50-10-1	[書付](金請取証)	明治10年12月24日	横切紙	1通	戸長西山次郎・副戸長佐々木正策→倉敷村大橋秀太郎 帯高村伏越樋悪水樋新掘拡費 貳円四拾四錢六厘	
34-50-10-2	[書付](金請取証)	年月日未詳	横切紙	1通	帯高村→倉敷村大橋秀太郎 別途賦課金 金貳両四拾四錢六厘	
34-50-11	[地価地租物納書上・金額書上類]			1纏め(3通)		34-50-11-1~3一纏め SILティッシュで包む
34-50-11-1	[書付](地租初納金)	年月日未詳	横継紙	1通	秀太郎 畑地価六千九百九拾円五拾四錢 初納三拾円九拾五錢三厘他	
34-50-11-2	[書付](地租金)	年月日未詳	横切紙	1通	川入分 六円九拾六錢四厘 秀太郎分他2筆	



34-50-11-3	[書付](地租金)	年月日未詳	横切紙	1通	倉敷 壹円六拾六銭貳厘 秀太郎他1筆	
34-50-12	記(金請取証)	寅(明治11)年1月19日	横継紙	1通	子位庄村菅原寿太郎→倉敷大橋秀太郎 水道割掛り 廿三銭 壹厘	
34-50-13	浜村地券税第一期仮請取	明治10年8月24日	横切紙	1通	濱村→大橋秀太郎 金四円八拾壹銭六厘	
34-50-14	明治十年富久村地租金受取通	年月日未詳	横折紙	1通	戸長三宅染次他2名→大橋秀太郎 地租 三拾壹円六銭貳厘	
34-50-15	明治十年地券税受取通	年月日未詳	横折紙	1通	副戸長秋岡素平他1名→大橋秀太郎 地租 三拾四円八拾貳銭	
34-50-16	[請取書類]	明治11年7月26日		1纏め(2通)		34-50-16-1の中に34-50-16-2が挟まれている
34-50-16-1	明治十年地租金受取証	年月日未詳	横折紙	1通	子位荘村戸長木村光太郎・副戸長窪津大紀→大橋秀太郎 畑 金貳拾三円五拾壹銭七厘 田金七拾円八拾銭を皆済	
34-50-16-2	記(金請取証)	明治11年7月26日	横切紙	1通	子位庄村副戸長窪津大紀→倉敷大橋徳蔵 四円三拾銭四厘の領収証	
34-50-17	明治十年濱村地租請取通	年月日未詳	横折紙	1通	副戸長屋葺恒衛→大橋秀太郎 畑税貳拾四円八銭 田税貳拾八円壹銭八厘を皆済	
34-50-18	明治十年地租金請取通	年月日未詳	横折紙	1通	戸長屋葺富太郎・倉敷副戸長大久保尚平→大橋秀太郎 宅地 金八円三拾銭九厘他を皆済	
34-51	[年貢関係書類]	文久2年2月25日~ 明治6年7月25日		1袋(仮1冊28 通2纏め)		34-51-1-1~31一袋 (袋上書)「明治五申年 村々御年貢通入」
34-51-1	明治五壬申御年貢米金受取通之事	年月日未詳	横折紙	1通	戸長原唯七→大橋秀太郎 年貢米金皆済 金拾九両 銭七貫 五文	
34-51-2	[書付](村費中元払割徳金)	年月日未詳	横切紙	1通	松江→地主倉敷村大橋秀太郎 金8円41銭9厘	
34-51-3	[書付](金受領証)	年未詳5月25日	横切紙	1通	大橋秀太郎 地券証印税他 金三円七拾八銭三厘六毛	
34-51-4	[書付](金受領証)	癸酉(明治6)年	横切紙	1通	前湯村→倉敷大橋秀太郎 地券証税 金壹円	
34-51-5	[書付](金領収証)	年月日未詳	横切紙	1通	帯高村→大橋秀太郎 証印税 金1円41銭5厘	(裏書)「表書之通受取申候也」
34-51-6	[書付](金受領証)	年月日未詳	横切紙	1通	(差出人なし)→東大橋 壬申十月三日、四日の二日分 壹貫文 会社掛一条二付役代入用	
34-51-7	[書付](金受領証)	年未詳5月25日	横切紙	1通	(差出人なし)→大橋秀太郎 壬申租税皆済金三両 銭八貫七 百八十四文	
34-51-8	[書付](過金払分につき通知)	年月日未詳	横切紙	1通	過金分そのまま通帳へ書入	
34-51-9	[印税書付]	年月日未詳	横切紙	1通	大橋秀太郎 金六十両永三百六拾壹文三步	
34-51-10	記(石代等算用書上)	年月日未詳	横切紙	1通	(差出人なし)→大橋秀太郎 徳三 貳百四匁四分貳厘他3筆	
34-51-11	記(金銭差引算用書上)	年未詳1月25日	横継紙	1通	メ 貳両八匁四拾九文壹歩過	
34-51-12	[石代等受納証]	年未詳3月19日		1纏め(2通)		34-51-12-1と34-51-12-2は重ねて折り畳まれている
34-51-12-1	[書付](金受領証)	年未詳3月19日	横切紙	1通	(差出人なし)→大橋秀太郎 壬申石代二納 金4両	
34-51-12-2	[書付](納米受領証)	年未詳3月19日	横切紙	1通	(差出人なし)→大橋秀太郎 納米拾壹俵他1筆	
34-51-13	記(米相場書付)	年月日未詳	横継紙	1通	壹石に付き金二両分銭六百三拾文	(朱筆)「川入村分」
34-51-14	[石代相場書付]	年月日未詳	横切紙	1通	金三両分銭63文3分	(朱筆)「倉敷分」宛名・差出人なし
34-51-15	[書付](金受領証)	明治5年1月24日	横切紙	1通	石代金并横役割 金11両銭8貫文 大橋秀太郎分	
34-51-16	記(石代相場書付)	年月日未詳	横切紙	1通	相場石二付三円六厘三毛三絲	(朱筆)「早高分」
34-51-17	[書付](年貢米)	年月日未詳	横切紙	1通	川下 松五郎 四斗他1筆	
34-51-18	記(租税書上)	年月日未詳	横切紙	1通	鶴新田古地分・弘化分租税 三百貳匁取立	
34-51-19	[金子書付]	年月日未詳	横切紙	1通	金三両二文壹分三厘	
34-51-20	覚(金受取証)	酉年1月23日	横切紙	1通	帯高村副戸長→大橋秀太郎 金永七百文	
34-51-21	[金子書付]	年月日未詳	横切紙	1通	倉しき大橋秀太郎 八拾五銭二厘九毛	
34-51-22	[年貢米書付]	年月日未詳	横切紙	1通	嘉永元年→万延元年	
34-51-23	[書付](小作米受取)	年月日未詳	横継紙	1通	与佐衛門 米壹石八斗壹升他	
34-51-24	[書付](年貢代金算用書)	年月日未詳	横継紙	1通	桑吉 金五両永九百九拾四文他	
34-51-25	明治五申浜村御租税請取	明治5年	横折紙	1通	戸長屋葺恒衛→大橋秀太郎 税金受取の通	(端裏書)「申 秀太郎」
34-51-26	当御貢米受取通	明治5年	美・横長	仮1冊	子位庄村副戸長窪津質・同戸長同大紀→倉敷大橋源介 田貢 米拾三石四斗八升三合他	
34-51-27	川入村当租税米請取通	明治5年	横折紙	1通	副戸長秋岡素平→倉敷村大橋秀太郎 高20石9斗6升3合	
34-51-28	壬申租税請取通	西(明治6)年5月26日	横折紙	1通	守屋竹四郎・中原健三→倉敷村大橋秀太郎	
34-51-29	[租税受取通等]	明治6年4~5月		1纏め(2通)		34-51-29-1と34-51-29-2は重ねて折り畳まれている
34-51-29-1	壬申年帯高村御租税受取通	明治6年5月2日	横折紙	1通	戸長有木源一・副戸長西山次郎→大橋秀太郎 高合3石9斗4升 9合	
34-51-29-2	壬申年帯高村費米金請取通	明治6年5月2日	横折紙	1通	戸長有木源一・副戸長西山次郎→大橋秀太郎 高合3石9斗4升 9合	
34-51-30	壬申御租税通	壬申(明治5)年5月22日	横継紙	1通	前湯村→倉敷大橋秀太郎 金三両永六百拾三文八分	
34-51-31	明治五壬申年御租税請取通	明治5年	横折紙	1通	箕嶋村戸長→倉敷村大橋秀次郎 合高貳石壹斗四升貳合	
34-52	[年貢通類]	明治4年9月~5年6月		1袋(8通2纏め)		34-52-1~10一袋 (袋上書)「明治四年辛未 村々御年貢通入」
34-52-1	[税金請取証類]	明治4年9月29日~ 5年6月		1纏め(12通)		34-52-1-2~12が34-52-1-1に重ねて挟み込まれていた

34-52-1-1	覚(岡山取立金人別書上)	壬申(明治5)年6月	横継紙	1通	大黒屋甚吉→東大橋 取立金について 野村小三郎 金拾兩他5筆	
34-52-1-2	覚(金受領証)	年未詳8月13日	横切紙	1通	松江庄作→東大橋 仕度金など諸入用について 百弍拾八匁見取出張の節入用他4筆	
34-52-1-3	覚(金受領証)	年未詳7月12日	横切紙	1通	会所→東大橋 町役銭の受け取り	
34-52-1-4	記(鶴新田蔵入米書付)	未(明治4)年12月大晦日	横切紙	1通	鶴新田村庄屋→本大橋 十一月九日 鶴新田より八斗御蔵入	(付箋)「但清太郎二而入分」
34-52-1-5	[書付](金子書上)	年月日未詳	横切紙	1通	辛未年 横役割、人足割書上 錢七百十六文三毛他2筆	
34-52-1-6	覚(金受取証)	未(明治4)年10月14日	横切紙	1通	川入村里正秋岡素平→倉敷大橋源介 年貢米代錢札五百貫文を受けとったこと	
34-52-1-7	[書付](人別俵数書上)	年未詳11月29日	横切紙	1通	十一月二十九日会所へ聞き合わせ 浅平 三俵他6筆	
34-52-1-8	[書付](金請取証)	未年10月13日	横切紙	1通	帯高村→大橋源三 未租税金 永弍百拾文	
34-52-1-9	[書付](金領収証)	年未詳9月29日	縦切紙	1通	大橋秀太郎 辛未年納金 永四貫弍百五拾文	
34-52-1-10	[書付](金領収証)	(明治4)年9月29日	縦切紙	1通	(差出人なし)→大橋秀太郎 辛未年水夫役金 永六拾五文弍分を領収	
34-52-1-11	[書付](金領収証)	(明治4)年9月29日	縦切紙	1通	(差出人なし)→大橋秀太郎 辛未年水夫役金 永六百三拾四文四分	
34-52-1-12	[書付](金領収証)	(明治4)年12月24日	横切紙	1通	(差出人なし)→大橋秀太郎 郡中割 百四拾文他を領収	
34-52-2	明治四辛未御年貢米金受取通之事	(明治4)年	横折紙	1通	庄屋大橋平蔵・同助勤林孚一→大橋秀太郎 盛米合五石弍斗七升三合代金他を皆済	
34-52-3	明治四未浜村小位庄村御租税請取	明治4年	横折紙	1通	庄屋恒衛→秀太郎 米2石9升2合、4斗4升5合他を皆済	(端裏書)「未 秀太郎」
34-52-4	当御年貢米請取通	明治4年9月	横折紙	1通	子位庄村里正俊平・福島村金吉→倉敷源介 高42石5斗1升 定米17石1斗3升 12月25日入	
34-52-5	川入村当御年貢米請取通	辛未(明治4)年9月	横折紙	1通	里正秋岡素平→倉敷大橋源介 高19石7斗2升5合 定米8石6斗9升2合	
34-52-6	西原村租税請取通	明治4年12月	横折紙	1通	里正忍峽恵十郎→大橋良介 定米壹石九斗五升五合 代九百弍匁八厘皆済	
34-52-7	[書付](年貢米算用書)	年未詳12月朔日	横折紙	1通	書抜について仲蔵を遣し確認 1石に付代410匁 鶴 初次郎 米八斗他19筆 〆拾四石弍斗	宛名・差出人なし 人名に朱書の付箋あり
34-52-8	明治四年辛未十二月 帯高村御租税米金請取通	明治4年12月25日	横折紙	1通	庄屋西山治郎→大橋源三 〆米弍石八升六合四夕 畑米代金壹兩五百拾四文六分皆済	
34-52-9	[年貢米請取通など]	未年		1纏め(2通)		34-52-9-1に34-52-9-2が挟み込まれている
34-52-9-1	辛未前湯村御貢米請取通	申(明治5年)	横折紙	1通	立入庄屋木村弥三九郎→大橋日出太郎 田高合壹石弍斗	
34-52-9-2	未税金仮通	未年12月25日	横切紙	1通	前湯村→倉しき秀太郎 金永721文9分内金の請取	
34-52-10	御租税請取通	明治4年	横折紙	1通	箕嶋村庄屋大橋寿次郎→倉敷村大橋金平 合高弍石壹斗四升弍合	
34-53	[書付類]	明治8年11月30日～9年10月19日		1袋(仮3冊31通1纏め)		34-53-1～35-1袋 (袋上書)「明治八亥年十一月十九日後久次郎・金蔵・重三郎・秀太・庄作と取立差越送書付入」
34-53-1	記(納年貢代金書上)	亥年11月30日～子年6月28日	横継紙	1通	久次郎他→大橋	19枚が貼り継がれている
34-53-2	記(年貢代書付)	子(明治8)年5月21日	横切紙	1通	長尾屋金蔵・同村庄吉→東大橋 米代三拾九円拾九銭八厘	(朱筆)「新六月十三日」
34-53-3	[書付](年貢代金)	年月日未詳	横切紙	1通	西村芳五郎亥年不足分壹円七拾銭	
34-53-4	[書付](金高書上)	子年9月21日	横切紙	1通	新太郎亥年分四十銭他3筆 千賀三	
34-53-5	記(金銭書付)	子年5月2日	横切紙	1通	鶴新田坂田重三郎→東大橋 岡崎勢平 金弍円他1筆	
34-53-6	記(年貢米等書付)	明治9年新1月12日～新6月10日	横継紙	1通	赤木秀太→倉敷大橋 亡文兵衛親族尾崎得寿郎→大橋秀太郎 川西町文兵衛住家借地、今般私共借受に付皆納するのでお受取り下されたい	11通が貼り継がれている
34-53-7	記(借地料送り状)	乙亥年12月14日	横切紙	1通		
34-53-8	記(送り状)	子(明治9)年2月15日	横継紙	1通	松江多賀鹿治郎→倉敷東大橋 預り米拾四俵他	2通が貼り継がれている
34-53-9	覚(年貢代算用状)	子(明治9)年2月28日	横切紙	1通	一原屋清平→東大橋 四十四貫八百目の代金済	
34-53-10	[書付](年貢代)	年月日未詳	横継紙	1通	西岡与三郎分 金弍円五拾銭六厘七毛他5筆	6通が貼り継がれている
34-53-11	記(年貢代金等書付)	子年2月4日	横継紙	1通	松江鹿太郎→大橋 岩吉分 金三円他4筆 寄木金 四円八拾七銭他2筆 松江鹿太郎	
34-53-12	記(年貢米等書付)	子(明治9)年3月27日	横折紙	1通	金蔵 西浦延太郎分 金弍円四拾五銭他	(付紙)「金三円 庄九郎 亥内入 子三月二日 (朱筆)三月廿七日 十三郎」
34-53-13	[米預り証]	明治8年新12月30日	半・横長	仮1冊	興除中疇赤木秀太→東大橋 河合勝太分 2俵他 〆211俵ト弍斗弍合	
34-53-14	[年貢代金書上帳]	子(明治9)年1月26日	美・横長	仮1冊	西村役介分 金弍円五拾銭他 三口合 九拾壹円三拾九銭 壹銭過	
34-53-15	[年貢米等書上帳]	年未詳新12月29日	半・横長	仮1冊	鶴菊蔵分 金2円他 金蔵	
34-53-16	[納米書上]	亥(明治8)年12月9日	横折紙	1通	長尾屋→東大橋 ツル周平分 弍石他	(朱筆)「子一月五日」

34-53-17	記(年貢米代書上)	子(明治9)年4月4日	横折紙	1通	矢森村浅四郎分 金壹円五拾三銭五厘他6筆 〆 貳拾壹円三拾三銭五厘 近蔵相渡し	(朱筆)「新四月廿七日也 長尾屋金蔵」
34-53-18	[書付](年貢代金)	年月日未詳	竖折紙	1通	ツル栄吉分 五円廿銭他5筆	
34-53-19	記(納米代金書付)	年月日未詳	横切紙	1通	松江中江屋→東大橋 斎藤婦吉 入分米壹石壹斗他	付紙あり 子1月20日付租税金受取証(松江多賀鹿治郎→大橋)が貼り付けられている
34-53-20	記(米・実綿書上)	年未詳1月9日	横切紙	1通	多賀鹿治郎→大橋 小寺六三郎分 米五俵他9筆 〆 八俵三斗四升	
34-53-21	記(納米書付)	亥年12月29日~子 年4月27日	横継紙	1通	千賀三・重三郎・長尾屋 弥次郎分 本米壹石貳斗他	8通が貼り継がれている
34-53-22	記(納金書付)	亥年11月30日~子 年4月24日	横継紙	1通	近蔵・重三郎→(宛名なし) 金蔵分 金五円他	6通が貼り継がれている
34-53-23	[書付](御年貢代金)	子(明治9)年7月2日	横継紙	1通	大崎勝五郎分 金貳円他21筆 〆 四拾貳円三拾六銭	
34-53-24	記(納金書付)	子(明治9)年7月2日	横切紙	1通	重三郎→東大橋 岡ざき小市三郎分 金三円他4筆 〆 拾円五拾銭	
34-53-25	記(米代金送り状)	子年旧4月21日	横切紙	1通	塩屋喜十郎→大橋 米拾石代金四拾五円を渡す	
34-53-26	[書付類]	子年7月11日~8月 31日		1纏め(3通)		34-53-23-2と34-53-25-3が34-53-25-1に折り込まれている
34-53-26-1	記(納年貢代金書付)	子(明治9)年8月31日	横切紙	1通	大内為介 金貳円他4筆 〆 三円七拾銭	
34-53-26-2	[書付](納年貢代金)	年未詳8月29日	横切紙	1通	川入実吉郎 金四円	
34-53-26-3	[書付](金請取証)	年未詳7月11日	横切紙	1通	大内為介→川入久治郎 井金貳円	
34-53-27	記(納金書付)	子年10月19日	横切紙	1通	西村甚三郎亥年分不足金壹円六十銭他2筆 合五円六拾銭	
34-53-28	[納金書付]	子(明治9)年9月2日	横継紙	1通	由利松分貳円他11筆 〆 貳拾八円八拾銭	
34-53-29	記(納金書付)	子(明治9)年10月 15日	横切紙	1通	重三郎→東大橋 岡崎常三郎分 金貳円他2筆 〆 五円三拾銭	
34-53-30	[書付](納年貢代金)	子年新10月15日	横折紙	1通	矢から金蔵 亥年貢米金六拾銭他10筆 合〆 拾七円七拾銭	
34-53-31	記(納金書付)	子(明治9)年10月 15日	横継紙	1通	近蔵→(宛名なし) ツル敬次郎分 金三円他16筆 〆 三拾六円九拾貳銭	
34-53-32	[書付](諸入用算用書)	子年新2月22日	横切紙	1通	亥正月十日 〆 三人たんな様他 酒四斗・さかな代	
34-53-33	記(金受取証)	子(明治9)年正月 晦日	横切紙	1通	鶴新田重三郎→東大橋 金貳円拾八銭	
34-53-34	記(金受取証)	子(明治9)年正月 晦日	横切紙	1通	長尾屋金蔵→東大橋 金拾円九拾壹銭五厘	
34-53-35	覚(酒代・人足賃等書付)	子(明治9)年2月22日	横折紙	1通	十三郎→東大橋 亥旧十月九日 貳匁他	
34-54	[書付](小作米代)	年月日未詳	横切紙	1通	役平分 代金壹円四拾壹銭五厘	
34-55	[書付](税金書上)	年月日未詳	横切紙	1通	(差出人なし)→大橋秀太郎 第二期 地租 地方税	
34-56	[人名書付]	年月日未詳	横切紙	1通	岡崎清八他7筆	
34-57	[書付](納年貢米代)	年月日未詳	横切紙	1通	三反廿分 預米 代七円廿九銭八厘皆済	虫損大
34-58	[白紙]	年月日未詳	横切紙	1通		
34-59	[年貢代等書付類]	丑年12月~寅年2 月3日		1袋(仮2冊17 通3纏め)		34-59-1~22一袋(袋上書)「慶応元丑年 久次郎・仲蔵・金蔵・川入久次郎・福田喜平・中畝増右衛門 〆 差越書付入」袋虫損多し(端書)「慶応二寅年小作人替り喜平 〆 差越候書付」
34-59-1	覚(小作米・人名書上)	年月日未詳	横継紙	1通	宮吉分 越三郎へ越ス 一の五升三反歩他7筆	
34-59-2	[小作人替り名前書付]	慶応2年	横切紙	1通	一、乙嶋喜代次 壹反分 あと 大梵弥兵衛他6筆 慶応二寅年小作人替り金蔵分差越候書付	
34-59-3	[小作人替り名前書付]	慶応2年	横折紙	1通	小作人替り庄久次郎 〆 出候書付 古地分 鶴和吉分 跡作人鶴松他 新地分とも	
34-59-4	[銀高等書上類]	(寅)年正月晦日~ ~寅年2月3日		1纏め(4通)		34-59-4-1に34-59-4-2~4がはさまっている
34-59-4-1	覚(小作代金書上)	年未詳2月3日	横継紙	1通	一、銀札百拾匁 鶴 喜代蔵他8筆	虫損あり
34-59-4-2	[書付](小作代金)	年月日未詳	横継紙	1通	一、四百拾八匁 乙嶋万三郎他2筆	虫損あり
34-59-4-3	覚(納年貢代書上)	寅(慶応2)年2月3日	横折紙	1通	一、五百貳拾目 乙嶋半三郎分他6筆 〆 三貫百拾四匁相渡し	
34-59-4-4	覚(年貢代銀書付)	年月日未詳	横継紙	1通	代銀札 壹貫四百貳拾六匁五厘	付紙あり
34-59-5	覚(納年貢代金書上)	寅(慶応2)年正月 13日	横継紙	1通	浅浦柳吉 貳百貳拾目他3筆 金拾三両札六拾四匁相渡し	
34-59-6	覚(年貢銀書上)	年月日未詳	横継紙	1通	一、銀札九百目 西浦久四郎他12筆	
34-59-7	[年貢米代書付]	年月日未詳	横継紙	1通	宮吉 三五入三俵壹斗六升五合 代四百六匁三分皆済他11筆	
34-59-8	覚(年貢代払上書付)	寅(慶応2)年正月 12日	横切紙	1通	米・綿代 金拾四両貳歩三匁壹分払上候	
34-59-9	覚(納年貢代書付)	丑(慶応元)年12月	横継紙	1通	松江喜平→東大橋 一、銭貳拾貫貳百貳十 倉之丞 岩吉他	虫損多し
34-59-10	覚(納米書付)	年月日未詳	横切紙	1通	一、納米八斗 弁才天好兵衛他4筆	

34-59-11	覚(金受取証)	丑(慶応元)年12月4日	横切紙	1通	長尾屋金蔵→東大橋 一. 志の綿巻本 代金貳両壹歩貳朱	
34-59-12	覚(米高書上)	年月日未詳	横継紙	1通	一. 米貳斗 弁才天芳兵衛他4筆	
34-59-13	覚(代金送り状)	年未詳12月19日	横切紙	1通	川入久次郎→東大橋 一. 三百九拾五匁貳分五厘 畑分他1筆	
34-59-14	[米高書付]	年月日未詳	横継紙	1通	凡壹俵 倉之丞他7筆	
34-59-15	覚(年貢米代銀書上)	年月日未詳	横折紙	1通	金蔵分 五百三拾三匁 大梵常吉他2筆	虫損あり
34-59-16	覚(年貢代銀書上)	年月日未詳	横継紙	1通	一. 銀札百八拾五匁 柏嶋金蔵他14筆 〆四貫八百六拾壹匁	
34-59-17	[銀高書上類]			1纏め(2通)		34-59-17-1に34-59-17-2がはさまっている
34-59-17-1	覚(銀高書上)	年月日未詳	横継紙	1通	一. 四百八拾四匁 川入惣十郎他32筆 しめて八貫四百三拾八匁貳分	
34-59-17-2	年ふ銀	年月日未詳	横切紙	1通	五拾匁 西村庄吉方入他3筆 しめて百匁	
34-59-18	[銀高書上類]			1纏め(2通)		34-59-18-1に34-59-18-2がはさまっている
34-59-18-1	覚(銀高書上)	年月日未詳	横継紙	1通	銀札貳百八拾六匁 鶴 関蔵他20筆	
34-59-18-2	覚(銀高書上)	年月日未詳	横折紙	1通	大崎安吉 貳百拾目他8筆	
34-59-19	[諸入用書付]	年月日未詳	半・横長	仮1冊	五拾九人分賄料他	墨線で抹消されている
34-59-20	覚(銀高書付)	年月日未詳	横切紙	1通	大ほふ長蔵分 拾五匁他5筆	
34-59-21	覚(納年貢代銀書付)	年月日未詳	横折紙	1通	柳井勘十郎 九拾目他9筆	
34-59-22	[小作油代渡し他書付]	年月日未詳	半・横長	仮1冊	山三郎分 貳拾三匁四分他	
34-60	[年貢関係書類]	明治2年2月11日～(明治4)年4月14日		1袋(2纏め22通)		34-60-1～24一袋(袋上書)「明治二巳年 村々御年貢通入」
34-60-1	川入村当御年貢米請取通	明治2年9月	横折紙	1通	名主素平→倉敷大橋源助 高拾八石貳升六合 定米七石七斗	虫損あり
34-60-2	明治二巳巳御年貢米金受取通之事	明治2年	横折紙	1通	庄屋大橋平右衛門→秀太郎 定米三石五斗三升五合分	
34-60-3	[書付](金受領証)	未(明治4)年4月14日	横切紙	1通	庄屋見習西山治郎→大橋源助 高沼村年貢米の間欠金の受け取り	
34-60-4	[書付類]			1纏め(2通)		34-60-4-1が34-60-4-2に挟み込まれている
34-60-4-1	[検見引書付]	年月日未詳	横切紙	1通	(差出人なし)→源介 九斗五升九合七匁	
34-60-4-2	己巳十二月御年貢金納返通	己巳(明治2)年12月	横切紙	1通	庄屋見習治郎→源助 一米壹斗八升五合五匁代を皆済	
34-60-5	覚(年貢代銀受取証)	明治2年11月15日	横切紙	1通	川入村名主綱介→倉敷中嶋屋源介 金札五拾兩他	
34-60-6	[米代金書付]	年月日未詳	横切紙	1通	(差出人なし)→源介 米壹斗八升五合五匁の代金壹兩三百三十四分五歩四厘	
34-60-7	[米代金書付]	年月日未詳	横切紙	1通	米壹石につき代金七兩永百九拾四文三分	
34-60-8	[書付](相場・地子代)	年月日未詳	横継紙	1通	当巳村相場金拾兩 地子代六兩	
34-60-9	[西原田畑歩引書付]	年月日未詳	横切紙	1通	西原の田畑八百四拾目などを歩引	抹消線で消されている
34-60-10	[金銭書付](普請入用高懸)	年月日未詳	横切紙	1通	前潟村→倉敷村源助 大川堤普請諸入用高懸 銀札三拾六匁	
34-60-11	覚(金受取証)	午(明治3)年4月	横切紙	1通	高沼村庄屋→源介 金永四百八拾文の受け取り	
34-60-12	[納金書付](受領証)	午(明治3)年正月26日	横切紙	1通	(差出人なし)→大橋徳蔵 已皆済金永百八文壹分八厘他1筆	
34-60-13	[納金書付](受領証)	午(明治3)年正月26日	横切紙	1通	秀太郎分 永二貫百二文四分五厘他1筆	
34-60-14	覚(金預り証)	午(明治3)年2月11日	横切紙	1通	会所→秀太郎 惣金貳拾六兩貳分	
34-60-15	明治貳巳ノ年箕嶋村御年貢通	明治2年	横折紙	1通	箕嶋村→倉敷中嶋屋金平 高二石壹斗四升貳合	
34-60-16	[書付](納年貢銀)	己巳(明治2)年11月26日	横切紙	1通	(差出人なし)→秀太郎 己巳年埋出屋敷 一永六百三拾四文四歩	
34-60-17	[書付](納銀受領証)	己巳(明治2)年11月26日	横切紙	1通	(差出人なし)→秀太郎 己巳年水夫御役銀 永六拾五文貳歩子位庄村名主俊平・同生坂村徹太→源介 二十石五斗六升二合五匁を皆済	
34-60-18	当御年貢米請取通	明治2年	横折紙	1通	帯江・前潟庄屋秀太郎→倉敷大橋源介 九斗壹升三合四匁皆済	
34-60-19	御年貢請取通	明治2年11月25日	横切紙	1通	庄屋見習治郎→中嶋屋源助 高合三石九斗四升九合 御徳米壹石四斗六升壹合壹匁皆済	
34-60-20	高沼村御年貢請取通	明治2年12月28日	横継紙	1通	名主竹四郎→倉敷良介 三石壹斗八升貳合三匁他皆済	
34-60-21	西原村当御年貢米請取通	明治2年12月27日	横折紙	1通		
34-60-22	[納銀書付]			1纏め(2通)		34-60-22-1が34-60-22-2に包まれている
34-60-22-1	[金銭書付]	年月日未詳	横切紙	1通	貳拾八匁六分五厘 書付過	
34-60-22-2	[納銀書付](受領証)	(明治2)年12月大晦日	横切紙	1通	巳年分 横役割 銀札五匁貳分八厘他3筆の領収	同日付の別の書付が貼られている
34-60-23	覚(町役銀受取証)	巳(明治2)年12月晦日	横継紙	1通	会所二而理吉→北東大橋 〆壹貫百五拾五匁五分八厘	
34-60-24	明治二巳濱村御年貢請取	明治2年	横折紙	1通	庄屋垣右衛門→秀太郎 〆三石八斗九升貳合他皆済	(端裏書)「巳 秀太郎」
34-61	文政九戌年ヨリ 貸銀勘定帳 至弘化二乙巳年	文政9年～弘化2年	美・横列	1冊	人別貸付金の書上	(裏表紙)「中島屋」

34-62	[年貢通類]	慶応元年9月20日 ～12月27日		1袋(16通1括)		34-62-1～17-袋(袋上書)「慶応元乙丑年 村々御年貢通入」
34-62-1	御年貢受取通	慶応元年12月11日	横継紙	1通	庄屋佐藤秀太郎→倉敷大橋源助 〆 壱石四升六合四勺皆済 庄屋三木之助→源介 高合三石九斗四升九合 〆 貳石六斗九升四勺	
34-62-2	高沼村御年貢受取通	慶応元年12月11日	横継紙	1通	高沼村庄屋三木之助→倉敷源助 当巳年分 銀拾壱匁八分五	
34-62-3	覚(年貢代銀送り状)	丑(慶応元)年12月 26日	横切紙	1通	稲貳石壱石四斗取他8筆	
34-62-4	当丑年弘化開取箇之定	年月日未詳	横継紙	1通	秀太郎分 銀百匁四分他2筆 中島屋徳蔵分 銀六匁四分八	2枚が貼り合わされている
34-62-5	[年貢銀高書付]	年月日未詳	横切紙	1通	乙丑年分 横役割銀札八匁貳分壱り他3筆	
34-62-6	[割付銀書付]	年月日未詳	横切紙	1通	会所→東大橋 東大橋分 銀札百二十八匁四分四り他1筆	
34-62-7	[書付](金銭受取証)	丑(慶応元)年11月 9日	横切紙	1通	足石銀札七百目	
34-62-8	[大豆相庭凡取立書付]	年月日未詳	横切紙	1通	箕嶋村→倉敷村大橋金平 九斗四升五合五勺皆済	虫損あり
34-62-9	慶応元丑年 御年貢通 箕嶋村	慶応元年	横折紙	1通	松江名主武三郎・同米之介→倉敷村大橋源介 高三拾石貳斗 壱升貳合	
34-62-10	慶応元丑年御年貢	慶応元年	横継紙	1通	喜平→東大橋 三貫三百拾四匁壱分五	福田新田名入の印が押されている
34-62-11	覚(年貢代銀送り状)	丑(慶応元)年12月 27日	横切紙	1通		
34-62-12	[乙丑年書付切手類]	乙丑(慶応元)年9 月20日		1括り(5通)		34-62-12-1～5紙綴りで一括り
34-62-12-1	覚(納銀受領証)	年未詳9月20日	横切紙	1通	埋出屋敷 六拾三匁四分四り他3筆	
34-62-12-2	[乙丑年初納銀切手]	年月日未詳	横切紙	1通	大橋良介 銀拾九匁五分	
34-62-12-3	[乙丑年水夫屋敷銀切手]	年月日未詳	横切紙	1通	大橋良介 銀六匁五分貳	
34-62-12-4	[乙丑年埋出屋敷銀切手]	年月日未詳	横切紙	1通	大橋良介 銀六拾三匁四分四厘	
34-62-12-5	[乙丑年初納銀切手]	年月日未詳	横切紙	1通	中島屋徳蔵 銀壱匁	
34-62-13	川入村御年貢米請取通	慶応元年	横折紙	1通	名主大嶋村庄兵衛→大橋源介 六石四斗九升壱合壱匁他皆済 子位庄村名主延助・同生坂村禎介→倉敷村大橋源助 貳拾石 七斗九升六合他を皆済	
34-62-14	当御年貢米請取通	慶応元年	横折紙	1通	庄屋富太郎→大橋良助 四石六斗四升貳合他皆済	(端裏書)「丑 東大橋」
34-62-15	慶応元丑浜村御年貢請取	年月日未詳	横折紙	1通	庄屋大橋平右衛門・同大原与兵衛→大橋良介跡秀太郎 成米 合五石貳斗九升壱合四匁他を皆済	
34-62-16	慶応元乙丑御年貢米銀請取通之事	慶応元年12月17日	横折紙	1通		
34-62-17	西原村当御年貢米請取通	慶応元年12月29日	横折紙	1通	名主利左衛門→大橋良介 三石貳斗貳升六合	
34-63	覚(年貢米受取証)	子年11月27日	横切紙	1通	長尾屋金蔵→大崎安吉 納米五斗八升三合	
35-1	[帳面類]	文化2年正月～明 治17年1月		1括り(29冊)		35-1-1～29冊で一括り 縛はSILティッシュで包む
35-1-1	明治八亥年二月十六日ヨリ 日記帳	明治8年2月15日～ 9年12月13日	美・横長	1冊	明治八亥年效本家之例初而作日記帳 租税等の書付の他出来 事や書類の写等記されている	(裏表紙)「東大橋」
35-1-2	みつのとうし嘉永六年正月吉日 当座帳	嘉永6年正月	美・横長	1冊	年貢代銀等の付け込み帳	(裏表紙)「なかしま屋金平 宝来山」
35-1-3	きのえむま天保五年正月吉日 当座帳	天保5年正月	美・横長	1冊	年貢代銀等の付け込み帳	(裏表紙)「なかしま屋源介 宝来山」
35-1-4	みつのとう天保十四年正月吉日 当座帳	天保14年正月	美・横長	1冊	年貢代銀等の付け込み帳	(裏表紙)「なかしま屋源介 宝来山」
35-1-5	ひのえさる天保七年正月吉日 当座帳	天保7年正月	美・横長	1冊	年貢代銀等の付け込み帳	(裏表紙)「なかしま屋源介 宝来山」
35-1-6	乙口(亥カ)文化二年口(正カ)月吉日 当座帳	文化2年正月	美・横長	1冊	年貢代銀等の付け込み帳	(裏表紙)「宝来山(カ)」
35-1-7	きのえさる明治十七年正月吉日 当座帳	明治17年正月	美・横長	1冊	年貢代銀等の付け込み帳	(裏表紙)「大橋秀太郎 宝来山」
35-1-8	みつのえのね嘉永五年正月吉日 当座帳	嘉永5年正月	美・横長	1冊	諸代金付け込み帳	(裏表紙)「なかしま屋金平 宝来山」
35-1-9	庚辰明治十三年第一月吉祥日 当座帳	明治13年1月	美・横長	1冊	諸代金付け込み帳	(裏表紙)「大はし秀太郎 宝来山」 下部破損あり
35-1-10	文久四年子正月吉日ヨリ 日雇人足帳	文久4年正月	美・横長	1冊	人足賃書上	(裏表紙)「東大橋」
35-1-11	天保七年九月吉日 丙申小作米定帳	天保7年9月	美・横長	1冊	浜村・子位庄等地区別の書上	(裏表紙)「中嶋屋」
35-1-12	明治十四辛巳年第十月ヨリ 迄 小作米金貸付当座 帳	明治14年10月	美・横長	1冊	山ノ後 小野三蔵 金六円他	(裏表紙)「口口橋(東大橋カ)」
35-1-13	嘉永四年辛亥小作米定帳	嘉永4年	美・横長	1冊		(裏表紙)「中嶋屋」
35-1-14	安政五戊午年 弘化開見取米定帳	安政5年	美・横長	1冊	大梵 平四郎 壱反 貸取米 壱石壱斗他の書付	(裏表紙)「中嶋屋」
35-1-15	文久元年辛酉年 弘化開見取米定帳 万延二酉年三 月文久元二改ル	文久元年11月20日 ～12月22日	美・横長	1冊	見取米の書上	(裏表紙)「中嶋屋」
35-1-16	安政六己未年 弘化開見取米定帳	安政6年	美・横長	1冊	年貢の見取高書上	(裏表紙)「中嶋屋」
35-1-17	文久三癸亥年 弘化開福田新開見取米定帳	文久3年	美・横長	1冊	見取米の書上	(裏表紙)「東大橋」
35-1-18	文久二壬戌年 弘化開見取米定帳	文久2年	美・横長	1冊	見取米の書上	(裏表紙)「東大橋」
35-1-19	万延元庚申年 弘化開見取米定帳 安政七申年閏三 月万延元二改ル	万延元年	美・横長	1冊	見取米の書上	(裏表紙)「中嶋屋」
35-1-20	従明治十七年第一月 至 小作米金貸付帳	明治17年1月～	美・横長	1冊	貸付金の書上	(裏表紙)「東大橋」
35-1-21	嘉永元年九月吉日 戊申小作米定帳	嘉永元年9月	美・横長	1冊		(裏表紙)「中嶋屋」
35-1-22	嘉永二年九月吉日 己酉小作米定帳	嘉永2年9月	美・横長	1冊	小作米の書上	(裏表紙)「中嶋屋」
35-1-23	天保四年九月吉日 癸巳小作米定帳	天保4年	美・横長	1冊	小作米の書上	(裏表紙)「中嶋屋」

35-1-24	弘化三年九月吉日 丙午小作米定帳	弘化3年9月	美・横長	1冊	小作米の書上	(裏表紙)「中嶋屋」
35-1-25	癸未明治十六年十一月吉日 鶴新田興除新田小作米定帳	明治16年11月	美・横長	1冊	小作米の書上	(裏表紙)「東大橋」
35-1-26	壬辰天保三年三月 壱番 沖新開堤方人足帳	天保3年3月	半・横長	1冊	日別人足書上	(裏表紙)「宰番」
35-1-27	文久二壬戌年 福田新開見取米定帳	文久2年	美・横長	1冊	見取米の書上	(裏表紙)「東大橋」
35-1-28	つちのへ□□(とらか)文化十五年正月吉日 当座帳	文化15年	美・横長	1冊	諸代金支払・受取の付込帳	(裏表紙)「なかしま□(やか)源介 宝来山」
35-1-29	天保五年九月吉日 甲午小作米定帳	天保5年9月	美・横長	1冊	小作米の書上	(裏表紙)「中嶋屋」
35-2	[帳面類]	文化2年正月～明治16年		1括り(26冊)		35-2-1～26纏で一括り 縄はSILティッシュで包む
35-2-1	つちのえたつ文化五年正月吉日 当座帳	文化5年正月	美・横長	1冊	諸代金の付込帳	(裏表紙)「宝来山」
35-2-2	安政六己未年 福田新開見取米定帳	安政6年	美・横長	1冊	見取米の書上	(裏表紙)「中嶋屋」
35-2-3	万延元庚申年 福田新開見取米定帳 安政七申年閏三月万延元二改ル	万延元年	美・横長	1冊	見取米の書上	(裏表紙)「中嶋屋」
35-2-4	嘉永七甲寅年 弘化開見取米定帳	嘉永7年	美・横長	1冊	見取米の書上	(裏表紙)「中嶋屋」
35-2-5	安政三丙辰年 弘化開見取米定帳	安政3年	美・横長	1冊	見取米の書上	(裏表紙)「東大橋」
35-2-6	安政四丁巳年 弘化開見取米定帳	安政4年	美・横長	1冊	見取米の書上	(裏表紙)「中嶋屋」
35-2-7	庚午文化七年正月吉日 当座帳	文化7年正月	美・横長	1冊	諸支払・受取銀の付込帳	(裏表紙)「中嶋屋金平 宝来山」
35-2-8	□□□□文化十□年正月吉日 当座帳	文化 年正月	美・横長	1冊	諸支払・受取の付込帳	(裏表紙)「なかしまや源介 宝来山」
35-2-9	きのえいぬ文化十一年正月吉日 当座帳	文化11年正月	美・横長	1冊	諸支払・受取の付込帳	(裏表紙)「なかしまや源介 宝来山」
35-2-10	みつのととり文化十年正月吉日 当座帳	文化10年正月	美・横長	1冊	諸支払・受取の付込帳	(裏表紙)「なかしま屋源介 宝来山」
35-2-11	みつのとら天保十三年正月吉日 当座帳	天保13年正月	美・横長	1冊	諸支払・受取の付込帳	(裏表紙)「なかしま屋源介 宝来山」
35-2-12	きのとい文化十二年正月吉日 当座帳	文化12年正月	美・横長	1冊	諸支払・受取の付込帳	(裏表紙)「中しまや源介 宝来山」
35-2-13	ひのえむま弘化三年正月吉日 当座帳	弘化3年正月	美・横長	1冊	諸支払・受取の付込帳	(裏表紙)「なかしま屋金平 宝来山」
35-2-14	文久元辛酉年 福田新開見取米定帳 万延二酉年三月文久元二改	文久元年	美・横長	1冊	見取米の書上	(裏表紙)「中嶋屋」
35-2-15	嘉永二己酉年九月朔日ヨリ 至嘉永五壬子年九月晦日 小作米取立場帳	嘉永2年9月1日～5年9月30日	美・横長	1冊	小作米取立の書上	(裏表紙)「中嶋屋」
35-2-16	嘉永七年九月吉日 甲寅小作米定帳 嘉永七甲寅十二月ヨリ安政元年□改ル	嘉永7年～安政元年	美大・横長	1冊	小作米代銀の書上	(裏表紙)「中嶋屋」
35-2-17	つちのゑさる弘化五年正月吉日 当座帳	弘化5年正月	美・横長	1冊	諸支払・受取の付込帳	(裏表紙)「なかしま屋金平 宝来山」
35-2-18	つちのとい天保十年正月吉日 当座帳	天保10年正月	美・横長	1冊	諸支払・受取の付込帳	(裏表紙)「なかしま屋源介 宝来山」
35-2-19	ひのとつし弘化四年正月吉日 当座帳	弘化4年正月	美・横長	1冊	諸支払・受取の付込帳	(裏表紙)「なかしま屋金平 宝来山」
35-2-20	□の□ひ□し(かのとひつしか)文化八年正月吉日 当座帳	文化8年正月	美・横長	1冊	諸支払・受取の付込帳	(裏表紙)「中嶋屋源介 宝来山」
35-2-21	みつへのさる文化九年正月吉日 当座帳	文化9年正月	美・横長	1冊	諸支払・受取の付込帳	(裏表紙)「なかしま屋源介 宝来山」
35-2-22	ひのとう文化四年正月吉日 当座帳	文化4年正月	美・横長	1冊	諸支払・受取の付込帳	(裏表紙)「中嶋屋金平 宝来山」
35-2-23	つちのとみ文化六年正月吉日 当座帳	文化6年正月	美・横長	1冊	諸支払・受取の付込帳	(裏表紙)「なかしまや金平 宝来山」
35-2-24	嘉永五壬子年十月朔日ヨリ 至安政三丙辰年正月十四日 小作米取立場帳	嘉永5年10月朔日～安政3年正月14日	美・横長	1冊	小作米代銀取立帳	(裏表紙)「中嶋屋」
35-2-25	明治十一寅年十二月ヨリ明治十六未年十一月迄 新開三所小作米取立場帳	明治11～16年	美・横長	1冊	小作米取立の書上	(裏表紙)「東大橋」
35-2-26	戊申弘化五年正月吉日 当座帳	弘化5年正月	美・横長	1冊	石炭・酒店等諸経費の書上	(裏表紙)「倉敷中嶋屋金平 大福入」
36-1	み口のえいぬ 文久二年正月吉日 当座帳	文久2年正月	美・横長	1冊	金銀等の付込帳	(裏表紙)「宝来山 大はし良介」
36-2	きのえね 文久四年正月吉日 当座帳 文久四子年三月元治元年二改ル	文久4年正月	美・横長	1冊	金銀等の付込帳	(裏表紙)「宝来山 大はし良介」
36-3	明治元戌辰年 弘化開小作米定帳 福田新開見取米定帳 慶應四辰年九月明治元二改ル	明治元年	美・横長	1冊	請人別小作米書上	(裏表紙)「東大橋」
36-4	明治五年九月吉日 壬申小作米定帳	明治5年9月	美大・横長	1冊	村別小作米書上	(裏表紙)「東大橋氏」
36-5	明治四年九月吉日 辛未小作米定帳	明治4年9月	美大・横長	1冊	村別小作米書上	(裏表紙)「東大橋」
36-6	己卯明治十二年十一月吉日 鶴新田小作米定帳	明治12年11月	美大・横長	1冊	小作米書上	(裏表紙)「東大橋」
36-7	丙子明治九年十一月吉日 鶴新田小作米定帳	明治9年11月	美大・横長	1冊	小作米書上	(裏表紙)「東大橋」
36-8	明治十五年十一月吉日 壬午小作米定帳	明治15年11月	美大・横長	1冊	村別小作米書上	(裏表紙)「東大橋」
36-9	壬午明治十五年十一月吉日 鶴新田・興除新田小作米定帳	明治15年11月	美大・横長	1冊	小作米書上	(裏表紙)「東大橋」
36-10	安政四年九月吉日 丁巳小作米定帳	安政4年9月	美大・横長	1冊	村別小作米書上	(裏表紙)「中嶋屋」
36-11	安政三年九月吉日 丙辰小作米定帳	安政3年9月	美・横長	1冊	村別小作米書上	(裏表紙)「東大橋」
36-12	文久三年九月吉日 癸亥小作米定帳	文久3年9月	美大・横長	1冊	村別小作米書上	(裏表紙)「東大橋」
36-13	文久二年九月吉日 壬戌小作米定帳	文久2年9月	美大・横長	1冊	村別小作米書上	(裏表紙)「東大橋」
36-14	文久元年九月吉日 辛酉小作米定帳 万延二辛酉三月ヨリ文久元年二改ル	文久元年9月	美大・横長	1冊	村別小作米書上	(裏表紙)「中嶋屋」
36-15	慶応元年九月吉日 乙丑小作米定帳 元治二丑年慶応元二改ル	慶応元年9月	美大・横長	1冊	村別小作米書上	(裏表紙)「東大橋」
36-16	元治元年九月吉日 甲子小作米定帳 文久四年三月元治元二改ル	元治元年9月	美大・横長	1冊	村別小作米書上	(裏表紙)「東大橋」水損 展開不能
36-17	きのとう安政二年正月吉日 当座帳	安政2年正月	美・横長	1冊	金銀等の付込帳	(裏表紙)「宝来山 大はし金平」

36-18	ひのえたつ安政三年正月吉日 当座帳	安政3年正月	美・横長	1冊	金銀等の付込帳	(裏表紙)「宝来山 大はし金平」
36-19	みつのとい文久三年正月吉日 当座帳	文久3年正月	美・横長	1冊	金銀等の付込帳	(裏表紙)「宝来山 大はし良介」
36-20	つちのえむま安政五年正月吉日 当座帳	安政5年正月	美・横長	1冊	諸代金付込帳	(裏表紙)「なかしま屋 良介 宝来山」
36-21	かのえさる安政七年正月吉日 当座帳 安政七庚申年閏三月 <small>ふ</small> 万延元年改ル	安政7年1月	美・横長	1冊	諸代金付込帳	(裏表紙)「なかしま屋 良介 宝来山」
36-22	かのとみ安政四年正月吉日 当座帳	安政4年正月	美・横長	1冊	諸代金付込帳	(裏表紙)「大はし金平 宝来山」
36-23	かのとり万延二年正月吉日 当座帳 曼延二辛酉年三月 <small>ふ</small> 文久元年二改ル	万延2年正月	美・横長	1冊	諸代金付込帳	(裏表紙)「なかしま屋 良介 宝来山」
36-24	明治十四年十一月吉日 辛巳小作米定帳	明治14年11月	美大・横長	1冊	村別小作米書上	(裏表紙)「東大橋」
36-25	辛巳明治十四年十一月吉日 鶴新田興除新田小作米定帳	明治14年11月	美大・横長	1冊	小作米書上	(裏表紙)「東大橋」
36-26	庚辰明治十三年十一月吉日 鶴新田興除新田小作米定帳	明治13年11月	美大・横長	1冊	小作米書上	(裏表紙)「東大橋」
36-27	明治十三年十一月吉日 庚辰小作米定帳	明治13年11月	美大・横長	1冊	村別小作米書上	(裏表紙)「東大橋」
36-28	安政六年九月吉日 己未小作米定帳	安政6年9月	美大・横長	1冊	村別小作米書上	(裏表紙)「中嶋屋」
36-29	安政五年九月吉日 戊午小作米定帳	安政5年9月	美大・横長	1冊	村別小作米書上	(裏表紙)「中嶋屋」
36-30	嘉永三年九月吉日 庚戌小作米定帳	嘉永3年9月	美大・横長	1冊	村別小作米書上	(裏表紙)「中嶋屋」
36-31	弘化四年九月吉日 丁未小作米定帳 弘化五申年三月廿五日ヨリ嘉永元年二改ル	弘化4年9月	美大・横長	1冊	村別小作米書上	(裏表紙)「中嶋屋」
36-32	曼延元年九月吉日 庚申小作米定帳 安政七庚申閏三月ヨリ曼延元年二改ル	万延元年9月	美大・横長	1冊	村別小作米書上	(裏表紙)「中嶋屋」
36-33	慶応三年九月吉日 丁卯小作米定帳	慶応3年9月	美大・横長	1冊	村別小作米書上	(裏表紙)「東大橋」
36-34	文久三癸亥年十一月廿五日ヨリ至明治元戊辰年十二月廿七日 小作米取立場帳	文久3年11月25日 ～明治元年12月27日	美・横長	1冊	人別小作米取立書上	(裏表紙)「東大橋」
36-35	明治十二年十一月吉日 己卯小作米定帳	明治12年11月	美大・横長	1冊	人別小作米書上	(裏表紙)「東大橋」
36-36	明治十年十一月吉日 丁丑小作米定帳	明治10年11月	美大・横長	1冊	人別小作米書上	(裏表紙)「東大橋」
36-37	明治九年十一月吉日 丙子小作米定帳	明治9年11月	美大・横長	1冊	人別小作米書上	(裏表紙)「東大橋」
36-38	きのえとら嘉永七年正月吉日 当座帳	嘉永7年正月13日 ～安政2年正月11日	美・横長	1冊	諸代金書上	(裏表紙)「なかしま屋 金平 宝来山」
36-39	慶応二年九月吉日 丙寅小作米定帳	慶応2年9月	美大・横長	1冊	人別小作米書上	(裏表紙)「東大橋」
36-40	丁丑明治十年十一月吉日 鶴新田小作米定帳	明治10年11月	美大・横長	1冊	人別小作米書上	(裏表紙)「東大橋」
36-41	つちのとう明治十二年一月吉日 当座帳	明治12年1月12日	美・横長	1冊	諸代金付込帳	(裏表紙)「宝来山 大はし秀太郎」
36-42	つちのえとら明治十一年正月吉日 当座帳	明治11年2月13日 ～12年1月12日	美・横長	1冊	地租金等書上帳	(裏表紙)「宝来山 大はし秀太郎」
36-43	かのとうし明治十年正月吉日 当座帳	明治10年2月23日	美・横長	1冊	地租等の書上	(裏表紙)「宝来山 大はし秀太郎」
36-44	つちのとひつし安政六年正月吉日 当座帳	安政6年正月11日 ～7年正月12日	美・横長	1冊	小作米等の書上	(裏表紙)「宝来山 なかしま屋 良介」
36-45	ひのとう慶應三年正月吉日 当座帳	慶応3年正月16日 ～4年正月15日	美・横長	1冊	諸払金書上	(裏表紙)「宝来山 大はし秀太郎」
36-46	ひのえとら慶應二年正月吉日 当座帳	慶応2年正月16日 ～3年正月13日	美・横長	1冊	諸払金書上	(裏表紙)「宝来山 大はし秀太郎」
36-47	きのとうし元治二年正月吉日 当座帳 元治二丑年五月十二日 <small>ふ</small> 慶応元年与改ル	元治2年正月12日 ～慶応元年正月12日	美・横長	1冊	諸払書上	(裏表紙)「宝来山 大はし良介」
36-48	かのとたつ天保十五年正月吉日 当座帳	天保15年正月12日 ～弘化元年正月13日	美・横長	1冊	諸払金書上	(裏表紙)「宝来山 なかしま屋 源介」
36-49	明治三年九月吉日 庚午小作米定帳	明治3年9月	美・横長	1冊		(裏表紙)「東大橋」
36-50	明治七年十一月吉日 甲戌小作米定帳	明治7年11月	美・横長	1冊		(裏表紙)「東大橋」
36-51	明治六年十月吉日 癸酉小作米定帳	明治6年10月	美大・横長	1冊		(裏表紙)「東大橋」
36-52	明治十一年十一月吉日 戊寅小作米定帳	明治11年11月	美大・横長	1冊		(裏表紙)「東大橋」
36-53	戊寅明治十一年十一月吉日 鶴新田小作米定帳	明治11年11月	美大・横長	1冊		(裏表紙)「東大橋」
36-54	弘化二乙巳年十二月十二日ヨリ 小作米取立場帳	弘化2年12月12日	美・横長	1冊		(裏表紙)「中嶋屋」
36-55	明治八年十一月吉日 乙亥小作米定帳	明治8年11月	美大・横長	1冊		(裏表紙)「東大橋」
36-56	慶応元乙丑年 弘化開小作米定帳 福田新開見取米定帳 元治二丑年五月慶応元二改ル	慶応元年	美・横長	1冊		(裏表紙)「東大橋」
36-57	元治元甲子年 弘化開小作米定帳 福田新開見取米定帳 文久四子年三月元治元二改ル	元治元年	美・横長	1冊		(裏表紙)「東大橋」
36-58	明治二己巳年 弘化開小作米定帳 福田新開見取米定帳	明治2年	美・横長	1冊		(裏表紙)「東大橋」
36-59	明治四辛未年 弘化開小作米定帳 福田新開見取米定帳	明治4年	美・横長	1冊		(裏表紙)「東大橋」
36-60	明治三庚午年 弘化開小作米定帳 福田新開見取米定帳	明治3年	美・横長	1冊		(裏表紙)「東大橋」

36-61	ひのえね明治九年正月吉日 当座帳	明治9年正月～	美・横長	1冊		(裏表紙)「宝来山 大はし秀太郎」
36-62	きのとい明治八年一月吉日 当座帳	明治8年1月	美・横長	1冊		(裏表紙)「宝来山 大はし秀太郎」
36-63	きのえいぬ明治七年一月吉日 当座帳	明治7年1月～	美・横長	1冊		(裏表紙)「宝来山 大はし秀太郎」
36-64	みつのととり明治六年正月吉日 当座帳	明治6年正月	美・横長	1冊		(裏表紙)「宝来山 大はし秀太郎」
36-65	みつのえさる明治五年正月吉日 当座帳	明治5年正月	美・横長	1冊		(裏表紙)「宝来山 大はし秀太郎」
36-66	かのとひつし明治四年正月吉日 当座帳	明治4年正月	美・横長	1冊		(裏表紙)「宝来山 大はし秀太郎」
36-67	かのえむま明治三年正月吉日 当座帳	明治3年	美・横長	1冊		(裏表紙)「宝来山 なかしまや 秀太郎」
36-68	つちのとみ明治二年正月吉日 当座帳	明治2年正月	美・横長	1冊		(裏表紙)「宝来山 大はし秀太郎」
36-69	つちのえたつ慶應四年正月吉日 当座帳 慶應四辰 年九月十九日と明治元年二改ル	慶応4年正月	美・横長	1冊		(裏表紙)「宝来山 大はし秀太郎」
36-70	明治五壬申年 弘化開小作米定帳 福田新開見取米 定帳	明治5年	美・横長	1冊		(裏表紙)「東大橋」
36-71	明治六癸酉年 弘化開小作米定帳 福田新開見取米 定帳	明治6年	美・横長	1冊		(裏表紙)「東大橋」
36-72	明治七甲戌年 鶴新田小作米定帳 福田新開見取米 定帳	明治7年	美・横長	1冊		(裏表紙)「東大橋」
36-73	乙亥明治八年十一月吉日 鶴新田興除新田小作米 定帳	明治8年11月	美大・横長	1冊		(裏表紙)「東大橋」
36-74	庚辰明治十三年正月吉日 日記	明治13年正月	美大・横列	1冊		(裏表紙)「大福入 大橋秀太郎」(小口書)「明治十三庚辰年」 (裏表紙)「大福入 大橋良介 大福入」(小口書)「文久四甲子年間三月と 元治元二改ル」
36-75	甲子文久四年正月吉日 日記	文久4年正月	美大・横列	1冊		(裏表紙)「大福入 大橋秀太郎」(小口書)「明治十一戊寅年」
36-76	戊寅明治十一年正月吉日 日記	明治11年正月	美大・横列	1冊		(裏表紙)「大福入 大橋秀太郎」(小口書)「明治二巳己(マ)年」
36-77	己巳明治二年正月吉日 日記	明治2年正月	美大・横列	1冊		(裏表紙)「大福入 中島屋源介」(小口書)「天保七丙申」虫損甚 大
37-1	丙申天保七年正月吉日 日記	天保7年正月	美大・横列	1冊		(裏表紙)「大福入 中島屋久兵衛」甚だしく破損
37-2	癸酉宝暦三〇正月吉日 日記	宝暦3年正月	美大・横列	1冊		(裏表紙)「大福入 中島屋久兵衛」
37-3	甲戌宝暦四年正月吉日 日記	宝暦4年正月	美大・横列	1冊		(裏表紙)「大福入 中島屋源介」列帖のとじ紐がとれている
37-4	癸丑嘉永六年正月吉日 日記	嘉永6年正月	美大・横列	1冊		
37-5	天明八歳戊申正月吉日 日記	天明8年正月	美大・横半 折	1冊		後欠
37-6	[ ](破損のため読解不可)	(読解不可)	美・横列	1冊	個人ごとの金銭貸付記録	破損甚だしい 展開不可能
37-7	庚子天保十一年正月 〇〇本帳	天保11年正月	美・横列	1冊	個人ごとの金銭貸付記録	展開困難
37-8	壬辰明和九年正月〇〇 日記	明和9年正月	美大・横列	1冊		(裏表紙)「大福入 中島屋久兵衛」虫損甚大
37-9	壬辰 日記	天保3年	美大・横列	1冊		(裏表紙)「大福入」(小口書)「天保三壬辰」虫損大 (裏表紙)「大福入 中島屋源介」(小口書)「嘉永七甲寅年同十 二月と安政元二改ル」虫損大
37-10	甲寅嘉永七年正月吉日 日記	嘉永7年	美大・横列	1冊	福田新開仁左衛門開ほかの地所買取代銀等の金銭賃借を記録 したもの	
37-11	[大福帳]	年月日未詳	美大・横半 折	1帖	白米・麦代ほか代金の付込帳カ	(裏表紙)「大福入」列帖綴の外れたもの 虫損大
37-12	[銀貸付記]	享和3年～文化1年	美・横長	仮1冊		横長帳の断簡 綴じ穴あり SILティッシュで包む
37-13	[人足賃支払帳]	年月日未詳	美・横長	仮1冊	文平・亀吉など人足ごとに、人足に従事した月日・人足賃・夫役 の内容をまとめた帳簿	前欠 癒着により開巻に支障あり 37-17が前半に該当する可能性 あり (裏表紙)「中島屋」
37-14	[諸入用控帳]	年月日未詳	美・横長	仮1冊	出店関連の借銀支払、地藏院ほかへの年玉、本家への年賀な どの出費、奉公人への支払、取替銀などの記録	表紙および冒頭欠損 綴り紐も外れている SILティッシュで包む
37-15	[諸入用控帳]	年月日未詳	美・横長	仮1冊	撫川米六拾石油屋預け分賃銀の返済、本家借用、出店関連の 借用、諸勤メ小入用、医師・奉公人への支払などの記録	表紙および冒頭欠損 綴り紐も外れている SILティッシュで包む
37-16	享和元年九月吉日 酉下作預米納帳	享和元年9月	美・横長	1冊		癒着が激しく開巻困難 後欠
37-17	天保十三年寅正月吉日 日雇人足帳	天保13年正月	美・横長	1冊	嘉平・市蔵・松蔵など人足ごとに、人足に従事した月日・人足賃・ 夫役の内容をまとめた帳簿	癒着により開巻に支障あり 後欠 ただし37-13が後半に該当する可 能性あり
37-18	庚午文化七年正月吉日 日記	文化7年正月	美・横列	1冊	見出部分に町内・付込・本家・諸入用・田地・勘定などがみえる	癒着甚大 開巻困難
37-19	享和元年九月日 戊小作米請取庭帳同麦取立共 中 嶋屋出店	享和2年9月	美大・横長	1冊		綴り紐破損 癒着あり 後欠
37-20	[小作米定帳]	年月日未詳	美大・横長	仮1冊		綴り紐破損 癒着により開巻困難 前欠
37-21	[人足賃支払帳]	年月日未詳	美・横長	仮1冊	増吉・幸蔵など人足ごとに、人足に従事した月日・負担量・人足 賃・夫役の内容をまとめた帳簿	前後とも欠 綴り紐破損 癒着により開巻困難
37-22	弘化二年九月 乙巳小作米定帳	弘化2年9月	美大・横長	1冊		(裏表紙)「中島屋」
37-23	明治廿〇六年癸巳〇月吉日 金銭出納帳	明治26年	美大・横長	1冊		(裏表紙)「大橋寿」
37-24	明治廿四年十一月一日 小作米代金取立帳	明治34年11月	美・横長	1冊		
37-25	明治十二年己卯五月謄写 村々所有地券元簿 大橋 秀太郎	明治12年5月	美大・横長	1冊		虫損
37-26	明治廿三年分 諸勤記載簿 高松園	明治22年	美・横長	1冊		
38-1	浅田兄弟敵討出立申渡[ ]	文政3年8月21日	半・縦	1冊	敵討心得之事ほか	(裏表紙)「小田原三木為介写之」下部に大きな円形の破損あり
38-2	文久元酉年四月改記之当用諸扣	文久元年4月	半・縦	1冊	大坂屋源介から大坂北横町小西屋又七之掛る貸金滞り一件他 各種歎願書・済口証文等の写し	
38-3	御役所品々伺書録巻三	年月日未詳	半・縦	1冊	備中国大内田村御林二而御普請渡木過木伐探候一件吟味仕 候趣由土候書付他 寛政元年～二年の写し	和とじの帖面



38-4	御役所品々伺書録巻三	年月日未詳	半・豎	1冊	備中国大内田村御林二而御普請渡木過木伐採候一件吟味仕候趣申上げ候書付	
38-5	御役所品々伺書録巻壹	年月日未詳	半・豎	1冊	一備中国柏嶋邑さき変死倉敷村桑之助自害仕損候一件吟味伺書	巻頭に目次あり 虫損あり
38-6	安政五戊午年諸事日記 達郷	安政5年正月1日 12月24日	美・横列	1冊	金銭支払などの日記	
38-7	昭和三年十一月吉日 小作米納算用帳	昭和3年11月	美大・横長	1冊	村別小作米受取の算用	
38-8	昭和十五年 小作米及金納共勘定帳	昭和15年	半・横長	1冊	小作米代受取算用	
38-9	御役所品々伺書録巻貳	年月日未詳	美・豎	1冊	備中国大内田村源蔵身分之義二付申上候書付ほか	
38-10	昭和九年度十一月吉日 小作米納及金納算用帳	昭和9年11月吉日	美大・横長	1冊	小作米金納の算用・受取	
38-11	昭和八年度十一月吉日 小作米納及金納算用帳	昭和8年11月吉日	美大・横長	1冊	小作米代金の算用帳	
38-12	昭和七年十一月吉日 小作米納算用帳	昭和7年11月吉日	美大・横長	1冊		
38-13	昭和五年十一月吉日 小作米納算用帳	昭和5年11月吉日	美大・横長	1冊		
38-14	昭和四年十一月吉日 小作米納算用帳	昭和4年11月吉日	美大・横長	1冊		
38-15	大正七年十二月 小作米及代金取立帳	大正7年12月	美・横長	1冊		
38-16	[旭商店街の広告]	年月日未詳	26.0× 39.0(cm)	1枚	倉敷旭商店街の新築落成広告 協同組合旭商店街代理理事井木寿一郎	
39-1	[小作米関係書類]			1纏め(11冊)		39-1-1~1-纏め 新聞紙で包んであり紐で十字に縛ってあった SILティッシュの紐で一括
39-1-1	明治三十六年四月 租税地方税町村税上納扣帳 東大橋	明治36年4月	美・横長	1冊		39-1-1~3は水損及び虫損により展開不能 裏表紙判読不可
39-1-2	[帳面]	年月日未詳	美・横長	1冊		水損・虫損のため39-1-1と分離不可 判読不可
39-1-3	[小作米帳]	年月日未詳	美大・横長	1冊		水損・虫損のため39-1-2と分離不可 表紙判読不可 (裏表紙)「名越為吉」
39-1-4	明治二十年十一月吉日 丁亥小作米定帳	明治20年11月吉日	美大・横長	1冊		(裏表紙)「名越為吉」
39-1-5	大正拾貳年十一月吉日 小作米納算用帳	大正12年11月吉日	美大・横長	1冊		
39-1-6	大正拾年十一月吉日 小作米納算用帳	大正10年11月吉日	美大・横長	1冊		
39-1-7	大正十四年十一月吉日 小作米納算用帳	大正14年11月吉日	美大・横長	1冊		虫損大
39-1-8	大正十五年十一月吉日 小作米納算用帳	大正15年11月吉日	美大・横長	1冊		
39-1-9	大正七年十一月吉日 小作米納算用帳	大正7年11月	美大・横長	1冊		
39-1-10	大正拾参年十一月吉日 小作米納算用帳	大正13年11月吉日	美大・横長	1冊		
39-1-11	大正拾壹年十一月吉日 小作米納算用帳	大正11年11月吉日	美大・横長	1冊		
39-2	寛政十二年申九月吉日 申ノ下作口口	寛政12年9月	美・横長	1冊		水損及び虫損甚大のため判読不可
39-3	算法一読記 改乙之巻	年月日未詳	半・豎	1冊		虫損のため展開・判読不可
39-4	[絵下書約118枚]	年月日未詳	縦継紙など	118枚		再新墓口形紙等
39-5	明治四拾四年十一月吉日 小作米納算用帳	明治44年11月	美大・横長	1冊		裏表紙は虫損のため読解不可
39-6	口口口口(小作米納算)用帳	(明治)	美大・横長	1冊		水損・虫損甚大
39-7	[帳面]	年月日未詳	美大・横長	1冊		水損・虫損甚く判別不可
39-8	小口口口(作米)帳	年月日未詳	美大・横長	1冊		水損及び虫損甚大のため判読・展開不可
39-9	[帳面]	年月日未詳	美大・横長	1冊		虫損・水損甚しく判読・展開不能
39-10	[帳面]	年月日未詳	美大・横長	1冊		水損及び虫損甚大のため展開不可能
39-11	[帳面]	年月日未詳	美大・横長	3冊		水損・虫損甚大のため判読・展開不可 3冊が合体しているが分離不可 SILティッシュで包む
40-1	[所感「人ニ先ヅ勞ヲ犯サル可カラズ」]	年月日未詳	22.9×30.0	1通		罫紙
40-2	明和三歳戌八月廿日 西国しゅん札	明和3年8月20日	半・横半	1冊	西国三十三観音霊場の和歌	(上書)「中島屋口口へ」
40-3	[大橋高之宛木邨和吉書状]	(明治)7月25日	横切紙	1通	亡父光太郎五十日祭明日御永来下さるべし	(封筒上書)「大橋高之様 御案内」(封筒裏書)「木邨和吉」
40-4	奉歎願控	明治22年2月	25.4×36.2	仮1冊	岡山県備前国児島郡林村元運徳院住職亡内藤哲真長男内藤録三他4名→内務大臣伯爵松形正義 冷泉宮頼仁親王山稜取立てについて	罫紙
40-5	奉歎願(後欠)	年月日未詳	19.8×27.6	1通	冷泉宮頼仁親王山稜取立てについて	SILティッシュで包む
40-6	[納税証書]	大正2年11月	16.9×11.2	1袋(17通)	倉敷町・菅生村・万寿村の納税証書17枚 大橋高之・大橋寿分	(袋上書)「貳月十一月上納切付」
40-7	[納税証書]	明治37年10月28日	16.7×11.2	1袋(3通)	倉敷町・万寿村納税証書3通 大橋高之・寿	(袋上書)「廿七年十月上納切符 倉敷町万寿邨丈」
40-8	[納税証書]	明治30年9月27・28日	16.3×10.5	1袋(6通)	納税証書6枚 大橋高之・大橋寿分	(袋上書)「三十年九月份上納符」
40-9	[銭高書上・納税証書類]	明治44年		1袋(1通1纏め)		40-9-1~2一纏め 封筒に収められている (袋上書)「四十五年三月切符在中」
40-9-1	[金銭書付]	年月日未詳	18.0×19.0	1通		浜・東・安田分・本家 〆八十八円七十六銭五分内九十円渡ス

40-9-2	[納税証書]	明治45年3月29日	16.5×11.3	1纏め(8通)	納税明治8枚 大橋尚之・寿	
40-10	明治四拾参年小作米納算用記	明治44年4月28日	横切紙	1通	大橋→林藤四郎 定米壹石式斗五升三合の納米	
40-11	[大橋高之宛雲外書状]	年月未詳3日	横継紙	1通	厚情に対する礼 五日帰郷につき相談したいとのこと	封筒あり(封筒上書)「備中倉敷町 大橋高之様 拝復」(封筒裏書)「封兵庫県武庫郡東須磨二七屋敷 石井前子内雲外 三日」
40-12	[大橋高之宛雲外書状]	年月未詳20日	横継紙	1通	帰郷の際にはよろしく願いたい	封筒あり(封筒上書)「備中倉敷町 大橋高之様 親展」(封筒裏書)「封廿日 石山雲外」
40-13	[武田周治郎住所書付]	年月日未詳	横切紙	1通	岡山下石井備前紡績南大通りヲ西へ入	
40-14	[高之宛貞観書状]	年未詳12月22日	18.0×50.3	1通	縁談につき相手方の素状の報告 本人の年齢など委細申し越されたい	罫紙を次いでいる
40-15	[書状類]			3通		40-14-1~3が同封 封筒あり(封筒上書)「備中倉敷町大橋高之様 秘親展」(封筒裏書)「美作二宮立石岐」 消印は45年11月10日
40-15-1	[宛名・差出人不詳書状]	年月日未詳	横切紙	1通	結婚相手についての質問の解答 門地財産血統については申し分ないが、性格についてはいささか問題ありとの内容	40-15-2の別紙
40-15-2	[高之宛岐書状]	(明治45)年12月8日	横継紙	1通	見合の件、聞きあわせについて別紙の通り回答が届き本人に問題がある様なので見あわせてはいかが もし真相をお聞きになりたいくば藤井夏枝を遣す	
40-15-3	[晩翠宛活霜書状]	年未詳1月9日	横継紙	1通	昨年の12月来状の中で質問した内容を早々に解答してほしいとの内容 備前紡績でも倉敷紡績でもよいので御周施願う	
40-16	[大橋寿宛大橋雅子書状]	明治44年3月3日	横切紙	1通	二月分会計がすんだので見てほしい 早く帰省したいが今年卒業式の関係で少し遅れるかもしれないなど学校生活他近況を母親に伝える内容	封筒あり(封筒上書)「備中倉敷町 大橋寿様」(封筒裏書)「山陽高等女学校 大橋雅子」
40-17	[大橋高之宛近藤敬次郎書状]	明治44年1月24日	横継紙	1通	西大寺山口氏静子を所望されたが他よりも所望があり少々猶予頂きたい等、縁談の相談	封筒あり(封筒上書)「都窪郡倉敷町 大橋高之様 親展」(封筒裏書)「児島郡銚立村近藤敬次郎 一月二十四日」
40-18	[大橋高之宛太田一也書状]	年未詳12月27日	横切紙	1通	明日略式ながら拙宅にて挙式につきご臨席下されたい	封筒あり(封筒上書)「備中倉敷町阿知町 大橋高之様」(封筒裏書)「十二月二十七日 岡山市西中山下 太田一也」
40-19	[大橋高之宛永富立夫書状]	明治44年4月22日	横切紙	1通	入院中の見舞に対する礼、快方の報告など	封筒あり(封筒上書)「備中国倉敷町 大橋高之様」(封筒裏書)「封兵庫県揖保郡半田村 永富立夫 四月廿二日」
40-20	保険金支払予告	大正元年	縦切紙	1通	日本教育生命保険株式会社→大橋高之 期日が来たので被保険人昌子の生存証明を添え請求書を代理店へ差し出すようにとの件について	封筒あり(封筒上書)「備中国倉敷町千番地 大橋高之殿」(封筒裏書)「(印刷)大阪市東区高麗橋三丁目 日本教育生命保険株式会社 電話長本局一六五七番本局一六五八番 振替貯金口座大阪四八六九番」 消印は大正元年11月27日
40-21	領収証書	明治43・44年	11.5×16.2	1袋(18通)	運島村収入役佐々木忠友→大橋寿 地価割後期壹錢五厘 他17通	(袋上書)「鶴新田上約符 四十三年・四十四年三月まで」(袋裏書)「四月五日長平持参 五十二歩長平へ別二遣」
40-22	[奥様宛加藤千代書状]	年月日未詳	横継紙	1通	先般伴・参上の節は種々おもてなしに預り有難い 帰阪の際祥助への土産を頂き厚礼申し上げます 同人もこの頃はめつきり快方しているので休心下さい	封筒あり(表の表紙が剥離し表書なし) (封筒裏書)「六月十六日 大阪市東区谷町壱丁目十二番地 加藤千代」
40-23	領収証書	明治37年1月	16.3×11.0	1袋(5通)	菅生村収入役石井建三→大橋高之 田租壹円四拾壹錢 他4通の納税証	(袋上書)「廿七年一月上納切符在中貳封之中」
40-24	[円高書上・納税証書]			1袋(1通1纏め)		40-21-1~2一袋 封筒に収められている (封筒上書)「廿六年十一月上納」
40-24-1	[金銭書付]	年月日未詳	横継紙	1通	廿壹円九十九錢 生坂 廿五円七十五戰 万寿 〆四十七円七十四錢	
40-24-2	領収証書	明治36年11月	17.0×11.0	1纏め(6通)	納税証書6枚 大橋高之・寿 万寿村収入役秋岡喜太郎→大橋寿 畑租参円参拾錢 他5通	
40-25	[納税証書]	明治36年10月27日	17.0×11.5	1通	倉敷町収入役井上清太郎→大橋高之 貳拾参円参拾壹線 他2通	(封筒上書)「(抹消線)廿六年十月 上納切符」
40-26	領収証書	明治37年1月29日	16.3×11.0	1袋(9通)	領収証書2枚 大橋俊太郎・大橋寿 領収証書6枚 大橋尚之・大橋寿 納税通知書1枚 大橋高之	(封筒上書)「廿七年一月廿九日納 在中貳封之中」
40-27	領収証書	明治45年1月	16.5×10.2	1袋(11通)	貳拾貳円四拾八錢五厘 倉敷町収入役山本定太郎→大橋高之 他10通	(封筒上書)「四十五年一月上納」
40-28	領収証書	2131	14.0×9.0	1通	倉敷町収入役井上清太郎→大橋高之 拾四円五十七錢	(封筒上書)「廿八年十月 上納符」
40-29	領収証書	2008	17.0×10.8	1袋(3通)	倉敷町収入役井上清太郎→大橋高之 拾四円五拾八錢を領収 他2通	(封筒上書)「廿八年六月上納切符在中」
40-30	[銭高書上・納税証書類]	明治38年		1袋(1通1纏め)		40-30-1~2一袋 (袋上書)「廿九年二月上納切符在中」
40-30-1	[金銭書付]	年月日未詳	横切紙	1通	五十七円七十四錢 生坂他 〆八十貳円五十九錢 内八十五円相渡ス	
40-30-2	領収証書	明治39年2・3月	17.0×11.0	1通	納税証書5枚 倉敷町収入役井上清太郎→大橋高之 貳拾六円参拾八錢を領収 他4通	
40-31	証(受取証)	明治3年8月21日	横切紙	1通	世話掛久保田新次郎・宇野武助→東大橋 新川組火防器設置場新築費の受取証 貳円三拾壹錢	
40-32	領収証書	明治37年12月31日~38年1月	16.9×11.7	1袋(5通)	大橋高之・大橋寿分 菅生村収入役石川建蔵→大橋寿 四拾参円参拾四錢 他4通	封筒に5通が入っている (封筒上書)「廿七年十二月分倉敷丈け上納切符 廿八年一月分」
40-33	領収証書	明治37年6月30日	16.5×11.3	1袋(2通)	万寿村収入役秋岡喜太郎→大橋高之 八円六拾錢 他1通	(袋上書)「廿七年六月 上納切符 当月八万寿郵丈け」
40-34	領収証書	明治37年4月	16.5×11.1	1袋(5通)	倉敷町収入役井上清太郎→大橋高之 拾壹円七錢 他4通	(袋上書)「廿七年四月上納切符在中」

40-35	領収証書	明治37年7月30日	16.4×11.4	1袋(2通)	倉敷町収入役井上清太郎→大橋高之 拾七円四拾八銭 他1通	(袋上書)「廿七年七月上納 倉敷丈け」
40-36	[円高書上・納税証書類]	明治38~39年5月21日		1袋(2通1纏め)		40-36-1~3一袋 封筒に入っている (袋上書)「廿九年五月上納切符」
40-36-1	[金銭書付]	年月日未詳	横切紙	1通	五拾七円七十四銭 生坂 他3筆 八拾五円八銭	
40-36-2	領収証書	明治38~39年	16.5×11.0	1纏め(10通)	倉敷町農会長大原孫三郎→大橋高之 壹円六銭 他納税証書9通	
40-36-3	[日本赤十字社年釀金納額通知兼領収証]	明治39年5月21日	19.0×12.5	1通	金壹円 都窪郡委員長古沢義三郎→正社員大橋寿	
40-37	[絵葉書袋]	明治38年6月30日		1袋	津山名所絵葉書 照天堂発表	中身なし かわりに「登録商標 御城印」という札が入っている
40-38	[高之宛五左衛門書状]	年未詳10月20日	横継紙	1通	五左衛門→高之 申越の件承知 近日中、相談のためうかがいたくその時武田氏を差し向けてほしい	40-39の中身と思われる
40-39	[封筒]	(大正)1年10月21日		1枚		(封筒上書)「岡山県備中国倉敷町 大橋高之様 貴酬」(封筒裏書)「兵庫県佐用郡西庄村 大谷五左衛門」中身なし 40-38の封筒と思われる
40-40	[晩翠宛活霜書状]	(大正元)年10月15日	横継紙	1通	先日は岡山へ御足労が煩わせ御深切にお運び下さり厚謝するこの上ながら嫁の件をよろしく願いたい	(封筒上書)「岡山県備中国倉敷町 大橋高之様」(封筒裏書)「兵庫県佐用郡西庄村 大谷五左衛門」
40-41	[大橋高之宛山口とふ書状]	年未詳9月9日	横切紙	1通	四五日留守のため御返事大延引おわび 早速みせ知れ次第御返事のこと	(封筒上書)「備中国倉敷町 大橋高之[ ]」(封筒裏書)「九月九日 西大寺町 山口膳」破損大
40-42	[高之宛敏夫書状]	年未詳6月2日	横継紙	1通	新夫婦宜も稍調和の様に見受けられるがなるべく心添申す積りである 本家礼の件は貴兄と同感見合せに賛成だが今となっては致し方もない 岡田へ参ったところ三宅御内神戸より帰途立ち寄られ、小生は話ができ大いに満足である	
40-43	[大橋高之宛岡田市太郎書状]	年未詳12月2日	横切紙	1通	先日は突然お邪魔お世話になった 帰途永富氏へ罷り出て相談申し上げ万事同氏より委細申し上げるので、御面倒だがよろしく願いたい	
40-44	[大橋高之宛大谷五左衛門書状]	大正元年10月11日	横継紙	1通	申し越しの趣承知 君の御意志に任せるので然るべく御調談下されたし 両三日中に伺う	(封筒上書)「岡山県備中国倉敷町 大橋高之様 至急貴酬書」(封筒裏書)「兵庫県武庫郡須磨町ノ内西須磨宿之道大谷別邸内 大正元年拾月拾壹日 大谷五左衛門」
40-45	[大橋高之宛桑田富五郎書状]	明治45年3月31日	横継紙	1通	林仙之助氏の件に付 御家族協議の上小生等兩名へおまかせ直に帰縁に一決したので御安心下されたい	(封筒上書)「備中国倉敷町 大橋高之様 急親展」(封筒裏書)「三月廿一日朝 (印字)広島県沼隈郡鞆町四百六十三番地 桑田富五郎」
40-46	[封筒]	年月日未詳		1枚		中身なし (封筒上書)「大橋高之殿」(封筒上書)「(印字)備中国倉敷町参百八拾壹番地 株式会社中備銀行倉敷支店 電信略語(クラチ) 長電話番号(一六)」
40-47	[大橋高之宛高次郎書状]	(大正元)年9月28日	横切紙	1通	橋本氏娘の経歴について報告 見立て	(封筒上書)「備中国倉敷町 大橋高之様 親展」(封筒裏書)「岡山市石出高次郎拜 九月廿八日」*「神経病の家系の為…」等の記述あり
40-48	[大橋高之宛永富敏夫書状]	明治45年7月8日	横切紙	1通	龍野町長野氏の娘日下他家へ縁組の約束などなく女学校へ通学中 又鞆石井氏の件お世話下さるか否か	(封筒上書)「備中国倉敷町 大橋高之様」(封筒表印)「播磨国揖保郡半田村字新在家 永富敏夫」(封筒裏書)「七月八日発」
40-49	[封筒]	年月日未詳		1枚		中身なし (封筒上書)「新川大橋様 金子入」(封筒裏書)「木村 請」
40-50	払出通知票	大正元年12月2日	17.0×9.9	1通	三越呉服店大阪支店→大橋高之 六円参拾五銭	倉敷郵便局専用封筒入 (封筒上書)「備中国倉敷町 大橋高之様」
40-51	白紙	年月日未詳	横切紙	1通		
40-52	領収証書	大正2年4月10日	17.5×10.8	1通	備中国倉敷郵便局長 大正二年度第一期分電話交換料六円 大正二年度第一期分電話維持料貳円七拾貳銭	白紙と一緒に折りたたまれている
40-53	領収証書	大正元年10月20日	17.8×10.7	1通	備中国倉敷郵便局長 大正元年九月分電話料拾五銭	
40-54	精算通知書	大正元年9月27日	19.5×27.1	1通	阪上牡丹園商店→大橋高之 牡丹苗抜群品最上10他 九銭不足	40-55の中身カ
40-55	封筒	大正元年9月27日		1枚		40-54の封筒 (上書)「備中国倉敷町 大橋高之殿 営業書類」(裏書)「大正元年九月二七日 (印字)阪上牡丹園商店」
40-56	[大橋高之宛岡田市太郎書状]	年未詳3月18日	横継紙	1通	近頃矢跡の件お耳に入れ汗顔の至りにつき懇の御教示いただきありがたいこと 永富氏より聞き取りのことと存ずるが遠からず復旧すること信ずるので御休神下されたい	(封筒上書)「岡備中国倉敷町 大橋高之様 平信投郵」(封筒裏書)「ハリマ赤穂郡那羽村 岡田市太郎 三月十八日」
40-57	[大橋高之宛近藤敬次郎書状]	年未詳3月13日	横継紙	1通	送金通知 請求の金は郵便為替で送金したいので領収の上は一報頂きたい	(封筒上書)「備中国倉敷町 大橋高之様 親展」(封筒裏書)「三月十三日 備前国児島郡鉢立村大字番田 近藤敬次郎」
40-58	[金銭送り状]	年未詳12月12日	横継紙	1通	近藤敬次郎→大橋 金百拾五円 宮家補助金	(封筒上書)「大橋様 金壹百五拾円入」(封筒裏書)「近藤敬次郎」
40-59	[大橋高之宛名越為吉書状]	明治39年2月2日	横継紙	1通	ご厄介になったおかげで岡田先生が早速お下り岡山の病院へ入院することになった 高之様がお見舞いに来られると書面にあったが入院するので当方へはお見舞い下さる様にごこの所熱気も減り腹痛を減少しているので安心下されたい	(封筒上書)「都窪郡倉敷町 大橋高之様 返信」(封筒裏書)「小田郡北川村走出 名越為吉」
40-60	[東大橋宛高戸猷書状]	年未詳4月14日	横切紙	1通	岡山県伝道会合併に付、三月までの決算報告をしたいので一月~三月分三円願出金いたくこの者にお渡し下されても出会下されてもよろしい	(封筒上書)「東大橋様」(封筒裏書)「四月十四日 高戸猷」

40-61	[大橋高之宛大谷正吉書状]	明治40年7月13日	横継紙	1通	病氣療養の為当家へ参っているの延引ながら御通知申し上げる 席借の件、当家西隣長谷川という家の二階八畳二間を一月八円で仮り都合だが、立石へも相談状を出したので、いずれ君の所へも知らせがあると思われる ご承知下されたい	(封筒上書)「岡山県備中国窪屋郡倉敷町 大橋高之様」(封筒下書)「兵庫県武庫郡須磨村 藤田芳次郎方ニテ大谷正吉」
40-62	[大橋高之宛永富敏夫書状]	明治38年2月27日	横継紙	1通	お尋ねの雑誌の件につき回答 作詞参考書は沢山あるが愚見にて申上げる 時々御吟味拝見したい 近頃味野野崎へ客師として聘された高野竹隠という詩人を面識あれば紹介頂きたい	封筒あり(封筒上書)「備中国倉敷町 大橋高之様 (朱印)播州揖保郡半田新在家 永富敏夫」 (封筒表書)「大橋高之様」(封筒裏書)「(印字)衣笠豪谷先生追悼会主唱者」
40-63	[封筒]	年月日未詳		1通		(封筒表書)「倉敷町 大橋高之様 御依頼専使」(封筒裏書)「走出名越為吉」
40-64	記(依頼状)	年未詳5月17日	横継紙	1通	名越為吉→大橋高之 黄せんか菅株などの品々をこの人に渡すよう依頼	(封筒上書)「都窪郡倉敷[ ] [ ]高[ ]」(封筒裏書)「吉備郡日美村田辺 昌二出」 破損大のためSILティッシュで包む
40-65	[封筒断簡]	年月日未詳		1枚		40-66-1~2一袋 40-66-2が40-66-1に折り込まれている 封筒あり(封筒上書)「備中国倉敷町 大橋高之様」(封筒裏書)「兵庫県揖保郡半田町 永富敏夫」
40-66	[書状]	明治40年7月12日		1袋(2通)		
40-66-1	[大橋高之宛永富敏夫書状]	明治40年7月13日	横継紙	1通	(岡田氏が突然貴家を訪れ縁談のことを話された由だが)愚息は京都帝大にて勉学中に付、縁談のことは考えていない そのうち時機を見て又ご依頼したいと思う	
40-66-2	[大橋高之宛永富敏夫書状]	年月日未詳	横切紙	1通	酒津にて岡田氏と縁談ことを話したことはあるがとりとめのない事である 何分平穩に取計って頂きたい	40-60-1の追記が朱筆で書かれている
40-67	[大橋高之宛山陽高等女学校舎監葉書]	大正2年2月	葉書	1通	大正二年一月分の決算報告	
40-68	[大橋高之宛宮家のふ葉書]	大正2年3月11日	葉書	1通	送金拝受のこと	
40-69	[大橋高之宛桑田富五郎葉書]	大正2年3月12日	葉書	1通	満野は予定通り一昨日帰岡 滞りなく相済ませた 貴兄にもお立会頂きたかったが残念である	
40-70	[大橋宛川本勘太郎葉書]	(大正元)年12月5日	葉書	1通	丸亀歩兵第十二聯隊第十中隊第四班へ入隊の通知	
40-71	[東大橋宛名越文葉書]	大正元年11月1日	葉書	1通	父の贈り物の御礼、近況報告など	
40-72	[東大橋宛早瀬一二葉書]	年未詳11月13日	葉書	1通	播州大谷行の綿について問合せ	表に「備中連島湊 早瀬合名会社本工場」の印あり
40-73	[大橋高之宛武田三力葉書]	(大正元)年9月9日	葉書	1通	手紙を拝見し委細は承知したが今は留守にしているため、後で返事を書くということ	
40-74	[大橋高之宛頼母書状]	明治44年1月30日	葉書	1通	歳暮の礼状 頼母→都窪郡倉敷町大橋高之	
40-75	[大橋高之宛宮家濃婦葉書]	年月日未詳	葉書	1通	送付金受取の礼状 郷内村宮家濃婦→備中倉敷町大橋高之	
40-76	[大橋高之・幹一・励二宛立石政・岡新一葉書]	大正2年1月1日	葉書	1通	年賀状	
40-77	[大橋高之宛山口高次郎・同源次郎葉書]	大正2年4月11日	葉書	1通	先日は立寄り、饗応に預り高礼申し上げます	
40-78	[大橋高之宛外売係藤村千次郎葉書]	大正元年12月11日	葉書	1通	注文の石入指輪十八、十九日頃出来上るので出来次第お届けする	表に「大阪高麗橋三越呉服店」の印刷あり
40-79	[大橋高之宛頼母葉書]	明治44年4月2日	葉書	1通	本日末子同道参上の筈などの要件について	
40-80	[大橋高之宛近藤敬次郎書状]	明治44年10月13日	葉書	1通	宮家補助金は来る十八、九日頃幸便があるので送付の予定	
40-81	[大橋高之宛永富敏夫葉書]	明治45年1月7日	葉書	1通	縁談の件 本人の年齢など御通知願う ただしお見合せなら通知は不要である 揖保郡半田村永富敏夫→大橋高之	
40-82	[東大橋宛名越文葉書]	明治45年4月3日	葉書	1通	銀行預金の手続き不備について 北川むら名越文→都窪郡倉敷町字新川東大橋	
40-83	[佐用郡西庄村上月大谷事務所葉書]	(大正)元年10月25日	葉書	1通	日下主人留守中であるが近々参堂の件について	
40-84	[大橋高之宛谷田経太郎葉書]	年未詳12月3日	葉書	1通	渡辺君認知届の件に付、書類訂正のことなど	
40-85	[東大橋高旦那宛大野鳶造葉書]	明治44年4月18日	葉書	1通	宝物奉戴の礼と尊瀧院様御法事の件承知の件	
40-86	[大橋高之宛永富敏夫葉書]	(大正元年8月)	葉書	1通	見舞への礼状 本家病人の様子うかがい 岡山坂田病院永富敏八→大橋高之	
40-87	[大橋高之宛私立山陽高等女学校舎監葉書]	大正元年12月	葉書	1通	四年版大橋雅子分大正元年十一月分決算報告	
40-88	[大橋高之宛阪上牡丹園商店葉書]	大正元年9月24日	葉書	1通	振替送金受け取り種類書送付の依頼	
40-89	[大橋幹一宛林桂二郎書状]	(明治44)年4月1日	26.7×20.8	1通	岡山中学校の入試にむけての情報と一般受験者への注意条項	封筒あり(封筒表書)「備中倉敷町大字新川町 大橋幹一様 (封筒裏書)「岡山紙屋町口 林桂二郎 四月一日」
40-90	[大橋高之宛永富敏夫葉書]	明治40年1月1日	葉書	1通	播州揖保郡半田村ノ内新在家永富敏夫→大橋 年賀状	
40-91	[大橋高之宛増田于信葉書]	明治45年1月1日	葉書	1通	京都祇園小堀袋町増田于信→大橋 年賀状	
40-92	受領証	大正元年10月29日	23.1×13.9	1通	倉敷町分区委員→大橋寿 第三期分日本赤十字社正社員年賦金の受取り	
40-93	[大橋高之宛室又四郎・大橋矩葉書]	明治41年1月1日	葉書	1通	恭賀新年	
40-94	[東大橋宛西沢源造葉書]	(明治41)年1月1日	葉書	1通	年賀状	
40-95	[大橋高之宛三宅弥平太・璋平葉書]	年未詳1月1日	葉書	1通	年賀状	
40-96	[大橋高之宛寿量恵照書状]	年未詳1月1日	葉書	1通	年賀及び滞在所の通知 京都市上京区御幸町夷川上ル松本町三十四番地京都仁和教会支部長寿量恵照→備中窪屋郡倉敷町大橋高之	
40-97	[大橋高之宛大谷正吉葉書]	明治38年1月1日	葉書	1通	年賀状	

40-98	[大橋高之宛江田孫一郎葉書]	明治38年1月1日	葉書	1通	年賀状	
40-99	[大橋高之宛岡虎十郎葉書]	申辰(明治37)年正月元日	葉書	1通	年賀状	
40-100	[大橋高之宛山田貞芳葉書]	年月日未詳	葉書	1通	年賀状	
40-101	[大橋高之宛早瀬和乎次葉書]	明治38年1月1日	葉書	1通	年賀状 恭賀新年	
40-102	[大橋高之宛江田広太郎葉書]	年未詳1月1日	葉書	1通	年賀状	
40-103	[東大橋高之宛大橋精治葉書]	年未詳1月1日	葉書	1通	年賀状 大阪市南区清水町炭屋町南入団扇・添物商永井清治郎ニテ大橋精治→備中国窪屋郡倉敷町東大橋高之	
40-104	[大橋高之宛松井伯太郎葉書]	明治37年1月1日	葉書	1通	年賀状	
40-105	[大橋高之宛有井莊之助葉書]	明治37年1月1日	葉書	1通	年賀状	
40-106	[大橋高之宛寿量恵照葉書]	年未詳1月1日	葉書	1通	年賀状	
40-107	[大橋高之宛難波復二・景二葉書]	明治37年1月1日	葉書	1通	年賀状	
40-108	[大橋高之宛村上健葉書]	明治38年1月1日	葉書	1通	年賀状	
40-109	[大橋高之宛安部清蔵葉書]	年月日未詳	葉書	1通	年賀状	
40-110	[大橋高之宛難波虎一葉書]	明治37年1月1日	葉書	1通	年賀状	
40-111	[大橋高之宛江田孫一郎葉書]	明治37年1月1日	葉書	1通	年賀状	
40-112	[大橋高之宛山崎二郎葉書]	明治37年1月1日	葉書	1通	年賀状	
40-113	[大橋高之宛平川保葉書]	明治37年1月1日	葉書	1通	年賀状	
40-114	[大橋高之宛大森祐太葉書]	年未詳1月1日	葉書	1通	年賀状	
40-115	[大橋高之宛桑田富五郎葉書]	明治38年1月1日	葉書	1通	年賀状	
40-116	[封筒]	明治37年1月		1枚		封筒のみ(封筒表書)「日本備中倉敷町 大橋高之様 mr. T. Ohashi Kurashiki Japan」(封筒裏書)「大橋賢之甫」
40-117	[大橋高之宛永富敏夫葉書]	明治38年11月5日	葉書	1通	岡田の件に付御書状を下さり委細承知のこと	
40-118	[大橋高之宛某葉書]	年月日未詳	葉書	1通	早速同家へ通知した 調談になる様なら又御面倒かけるがよろしく	右三分の一破損 差出人は永富敏夫と思われる
40-119	[大橋高之宛早瀬秀五郎葉書]	明治38年1月2日	葉書	1通	年賀状	
40-120	[大橋高之宛立石鶴葉書]	明治38年5月11日	葉書	1通	訪問への礼 忘れ物を届けることのお知らせなど	
40-121	[大橋高之宛林秋平葉書]	明治35年8月10日	葉書	1通	8月8日無事桑港着 国元出発の際は結構な饞別を頂き有難いなどの報告、謝礼	一部分を除き印刷文 差し出し住所は北米桑港ヘイト街一ニ一 日本人基督教青年会
40-122	[大橋高之宛大橋賢之甫葉書]	明治36年	葉書	1通	渡米勉強中につき来る九月一日の故母の一周忌に帰国できないので皆様でよろしくお取扱い下されたいこと等近況報告	
40-123	[大橋高之宛佐野重三郎葉書]	明治37年11月7日	葉書	1通	遼東守備軍后備歩兵第四十一聯隊第一大隊本部より中国の婦人の足が小さく両手を振りながら歩行する様一笑 又雪が降って寒いなど戦地の近況報告	軍事郵便葉書 表に「後備歩兵第四十一聯隊第一大隊印」の朱印あり
40-124	[大橋高之宛山口源次郎葉書]	(明治38年)	葉書	1通	妻が退院し帰宅したという報告と見舞へのお礼	
40-125	[大橋高之宛永富敏夫葉書]	(明治38年4月)	葉書	1通	依頼した玉嶋三宅氏の一件につき至急諾否通知の願い	
40-126	[大橋高之宛立石岐葉書]	(明治38年4月)	葉書	1通	馬の病気見舞の礼 5月2、3日船穂の年祭に出向く節倉敷へ立寄るので面会依頼などについて	
40-127	[大橋高之宛幡中登葉書]	(明治38年5月)	葉書	1通	御注文の欄間ができたので兄(普)に托してお送りする 運賃・大工削の賃等余り高価で気の毒なので小生が支払った 残りの彫刻料十五円だけ送ってほしい	普・登・高之は兄弟
40-128	[大橋高之宛岡山金谷吾一葉書]	明治37年1月1日	葉書	1通	錦魚鯉種商金谷吾一からの年賀状	
40-129	[大橋高之宛中之町林禎示葉書]	巳年1月1日	葉書	1通	年賀状	右上部破損 「〇〇地に於ての見取画」と書かれた女学生の絵が描かれている
40-130	[大橋高之宛鹿田静士葉書]	(明治38年4月)	葉書	1通	ご注文の本につき問合せ	
40-131	[大橋高之宛白神真平・同藤太葉書]	明治38年1月1日	葉書	1通	年賀状	
40-132	[大橋高之宛大谷正吉葉書]	明治37年1月1日	葉書	1通	年賀状	
40-133	[大橋高之宛立石岐葉書]	(明治37)年1月1日	葉書	1通	年賀状	
40-134	[大橋高之宛片山敬一郎葉書]	明治37年1月	葉書	1通	年賀状	
40-135	[大橋高之宛早瀬和乎次・同秀五郎書状]	明治37年1月1日	葉書	1通	年賀状	
40-136	[大橋高之宛幡中のふ葉書]	明治37年1月1日	葉書	1通	年賀状	
40-137	[大橋高之宛平川保葉書]	明治38年1月1日	葉書	1通	年賀状	
40-138	[大橋高之宛毛利政多葉書]	年未詳1月1日	葉書	1通	年賀状	
40-139	[大橋高之宛永富奏三葉書]	明治38年1月1日	葉書	1通	年賀状	
40-140	倉敷紡績株式会社新株式の募集の知らせと申込書			1纏め(3通)		40-140-1~3一纏め
40-140-1	新株式引受申込書	大正元年	27.5×41.8	1通	倉敷紡績株式会社株式の引受申込書	印刷文 「中備銀行倉敷支店」の印あり
40-140-2	倉敷紡績新株募集	大正元年	27.5×41.8	1通	募集する旨、募集要項、募集取扱店など 募集金額参拾万円	印刷機
40-140-3	新株式引受申込書	大正元年	27.5×41.8	1通	募集株数六千株他 倉敷紡績株式会社株式の引受申込書	印刷物 40-140-1と同じもの
40-141	[大橋高之宛大谷了書状]	年未詳3月12日	横切紙	1通	過日御依頼した件は十八日頃迄にお願いしたい 正吉君が何れ参るとのことだが同君にはお見せにならぬ様に等の依頼	封筒あり(封筒上書)「備中国倉敷町 大橋高之様」(封筒裏書)「三月十日 播磨佐用郡西庄村大谷了」封筒の破損部分をSILティッシュで包む
40-142	[大橋高之宛名越仁三郎書状]	(大正)2年2月2日	横切紙	1通	ご機嫌伺い 秘蔵の茶器恵投のお礼	封筒あり(封筒上書)「都窪郡倉敷町 大橋高之様 侍史」(封筒裏書)「小田郡北川村名越仁三郎 二月二日」

40-143	[立石宛木山精一書状]	年未詳4月23日	横継紙	1通	お送り頂いた玉詠のみ拝受し、事情があって本年は受けとれないので年賀の祝品のお返しに伺うとの連絡	
40-144	[晩翠宛疎海山人書状]	年月日未詳	横継紙	1通	漢詩二首の是正を請う	晩翠(大橋高之)あて疎海山人(大森一治)
40-145	[大橋高之宛鎌田富太書状]	(大正)2年2月24日	横継紙	1通	下田町の借家を借りる事になり目下手入中 月末には移れる予定 この旨を序の節桑田氏へも伝えてほしい	封筒あり(封筒表書)「都窪郡倉敷町 大橋高之様 案下」(封筒裏書)「岡山市石閔町 鎌田富太」
40-146	[大橋高之宛近藤敬次郎書状]	(大正)元年8月25日	横継紙	1通	宮家同居人の調査依頼 本家伯父への見舞 浜店縁談などの件	封筒あり(封筒表書)「都窪郡倉敷町 大橋高之様 御答書」(封筒裏書)「児島郡鏡立村 近藤敬次郎 八月二十五日」
40-147	[大橋高之宛三越呉服店大阪支店書状]	大正元年11月4日	23.0×15.8	1通	御注文の紋付の寸法 御用命当時の担当者他行に付き再度伺いたいとの通知	罫紙 封筒あり(封筒表書)「備中倉敷町 大橋高之様」(封筒裏書)「(印刷)大阪高麗橋株式会社三越呉服店大阪支店」
40-148	[大橋高之宛永富敏夫書状]	明治44年10月24日	横継紙	1通	海老名との縁談は不調の件・貴家より山口氏へ御通知下されたい 又良い候補者があれば御通知する	封筒あり(封筒表書)「備中国倉敷町 大橋高之様」(封筒裏書)「封十月念四日 (印判)播磨国揖保郡半田村字新在家 永富敏夫」
40-149	[大橋高之宛永富敏夫書状]	(大正2)年5月6日	22.0×13.0	3枚	大森氏の書状拝受 本家老人病状うかがいなど	罫紙 封筒あり(封筒表書)「備中倉敷町 大橋高之様」(封筒裏書)「緘 (印判)播磨国揖保郡半田村新在家 永富敏夫」
40-150	[書状類]			1袋(2通)		40-150-1~2一袋 40-150-1と40-150-2が同封されている 封筒あり(封筒裏書)「(印刷)大阪市東区高麗橋 三越呉服店 大正二年三月六日」
40-150-1	[大橋高之宛三越呉服店書状]	大正2年3月6日	34.7×17.8	1通	別紙の通り初着の見積をお送りするので御了承願いたい	
40-150-2	記(呉服見積)	(大正2)年2月5日	18.0×28.0	1通	三越呉服店→大橋 四ツ身初着 金五拾八円貳拾貳銭位	
40-151	記(領収証)	(大正2)年2月22日	横切紙	1通	三浦吉三→大橋 襖三枚貳円他 〆拾貳円三拾銭を領収	
40-152	[大橋高之宛三宅璋平葉書]	年未詳3月23日	葉書	1通	母死去の節会葬御礼	
40-153	印鑑証明願	明治23年1月10日		1通	窪屋郡倉敷町千七拾七番邸寄留名越為吉一窪屋郡倉敷村村長植田年	罫紙 明治23年1月10日証明
40-154	[大橋兄上・姉上宛昌二書状]	年未詳3月28日	横継紙	1通	借入金返済延引の詫び 一部返済のこと 農事講習会のことなどについて	
40-155	[墓碑銘等仏事関係書類]			1袋(仮2冊4通2纏め)		40-155-1~8一袋 封筒入り
40-155-1	[墓碑銘]			1纏め		40-155-1-1~2一纏め
40-155-1-1	[義光照道居士墓碑銘]	年月日未詳		1通	義光照道居士(大橋秀太郎)の墓碑銘	罫紙
40-155-1-2	[義光照道居士墓碑銘]	年月日未詳		1通	大橋秀太郎の墓碑銘	罫紙 40-155-1-1の一部分のみを記す
40-155-2	記	年月日未詳	横切紙	1通	墓銘彫代金書上	「藤田」の印あり
40-155-3	御見積記	明治26年旧暦2月4日	横切紙	1通	藤田喜平→大橋 棹・猫足・中台等墓石の見積書	
40-155-4	記	年月日未詳	横切紙	1通	棹・猫足代金八円 他文字彫賃等 〆拾壹円五拾銭	
40-155-5	[碑銘草稿]	年月日未詳		1通	俊操良瑩大姉(大橋登輪)墓碑銘の草稿	罫紙
40-155-6	[墓碑銘]	年月日未詳		仮1冊	俊岳良祐居士之墓 堯倫義浄居士之墓 締観玄応居士之墓	罫紙 大橋金平・大橋源介・大橋良介・大橋熊・大橋仲の墓碑銘の写し
40-155-7	[墓碑銘]	年月日未詳		仮1冊	締然玄応大姉之墓 清容智妍大姉之墓	罫紙 大橋俊太郎・大橋多久・大橋秀太郎の墓碑銘写 とじ紐から
40-155-8	[墓碑銘]			1纏め(仮1冊1通)		40-155-8-1~2一纏め 40-155-8-2が40-155-8-1に挟まれている
40-155-8-1	大橋氏婦片山君墓誌銘	年月日未詳		仮1冊	大橋登輪の墓碑銘の写	罫紙
40-155-8-2	[書付](墓碑銘)	年月日未詳	横切紙	1通	俊操良瑩大姉・得脱覚理居士・義光照道居士・如実覚道大姉	
40-156	[封筒]	年月日未詳		1枚		封筒のみ(封筒表書)「都窪郡倉敷町 大橋高之様」(封筒裏書)「河内村役場 谷田経太郎」 破損大
40-157	領収証書	明治36~37年	16.8×11.5	1袋(9枚)	万寿村収入役秋岡喜太郎→大橋高之 雑地租 貳拾五円参拾貳銭 他8枚	(袋表書)「卅七年十一月上納切符在中」
40-158	[領収関係書類]			1袋(12枚)		40-158-1~2一袋 (袋表書)「卅七年二月上納切符」
40-158-1	[金銭書付]	年月日未詳	横切紙	1通	一拾六円拾七銭 濱 一四十四円貳十一銭 生坂 〆五十八円卅八銭	
40-158-2	領収証書	明治36~37年	16.8×11.5	11通	万寿村収入役秋岡喜太郎→大橋高之 田租 四円四拾七銭 他10枚	
40-159	領収証書	明治43年11月29日	16.8×11.3	1袋(20通)	倉敷町収入役井上清太郎→大橋高之 戸数割拾五円八銭 他19通	(封筒上書)「四十三年十一月切符在中」
40-160	[領収証書・納税証書類]			1袋(2通1纏め)		40-160-1~3一袋 同封されてある (封筒上書)「卅六年七月上納本町及万寿邸」
40-160-1	領収証書	明治36年7月30日	16.5×10.8	1纏め(3通)	倉敷町収入役井上清太郎→大橋高之 市街宅地租 金七円拾壹銭貳厘 他2通	
40-160-2	証	明治36年7月	横切紙	1通	新川町衛生組合副組長児嶋歆四→大橋高之 金貳円の寄付金領収証	
40-160-3	[金銭書付](税金)	年月日未詳	横切紙	1通	卅一円六十九銭 万寿村	
40-161	[領収証書]	明治43年5月		1袋		40-161-1~2一袋 同封されている (封筒上書)「四十三年五月分上納切付在中」
40-161-1	領収証書	明治43年	17.0×11.3	1纏め(17通)	菅生村収入役秋庭二郎→大橋寿 田租 六拾九円八拾参銭五厘 他16通	
40-161-2	[金銭書付](税金)	年月日未詳	横切紙	1通	本家分九拾貳銭他 〆貳百八円四十一銭	

40-162	[大橋高之宛本間貞観書状]	年未詳4月13日	横切紙	1通	桑田家婚儀につき脇坂家ニても調度整い近日荷物輸送の由御通知申し上げる	封筒あり(封筒上書)「備中倉敷町 大橋高之様」(封筒裏書)「播磨龍野 本間貞観」
40-163	[大橋高之宛山口高次郎書状類]			1袋(1通1枚)		40-163-1の中に40-163-2が入っている
40-163-1	[封筒]	年月日未詳		1枚		(封筒上書)「備中倉敷町 大橋高之様」(封筒裏書)「岡山市天瀬町 山口高二郎」
40-163-2	[山口高次郎宛石津昌書状]	年未詳2月14日	横継紙	1通	娘の縁談について御心配をおかけしていたが親族中より非常の所望があり嫁に出すことにしたのでご承引下されたい	封筒あり(封筒上書)「岡山市天瀬町 山口高次郎様 親展」(封筒裏書)「二月十四日 石津昌」
40-164	[大橋高之宛永富敏夫書状]	年未詳5月1日	横継紙	1通	人足への祝儀の金額相談 三宅様矢掛行費用の件承知 小生病気で困っているが本月は是非来播頂きお話できれば快心すると思う	封筒あり(封筒上書)「備中国倉敷町 大橋高之様」(封筒裏書)「五月一日投函 播州揖保郡半田村 永富敏」
40-165	領収証書	明治34年8月30・31日	16.9×11.5	1袋(7通)	大橋高之・大橋寿 万寿村・倉敷町 万寿村収入役秋岡喜太郎→大橋高之 地租割 拾円貳拾五銭六厘 他	(封筒上書)「廿四年八月上納切符在中記入済」
40-166	領収証書	明治34年10月31日	17.3×11.0	1袋(3通)	万寿村収入役秋岡喜太郎→大橋高之 地租割後期 他2通	(封筒上書)「廿四年十月分上納 記入済 倉敷及万寿丈け」
40-167	領収証書	明治34年7月29日	16.8×11.0	1通	市街宅地租七円拾銭六厘 倉敷町収入役大久保源太郎→大橋高之	(封筒上書)「廿四年七月分上納切符 倉敷町丈け 記入済」
40-168	領収証書	明治34年9月30日	17.0×11.0	1袋(8通)	万寿村収入役秋岡喜太郎→大橋寿 畑租 参円参拾銭五厘 他7通	(封筒上書)「廿四年九月上納切符 記入済」
40-169	領収証書	明治34年11月29日 ~12月20日	13.8×9.1	1袋(7通)	倉敷町収入役大久保源太郎→大橋高之 拾円八拾八銭貳厘 他6通	(封筒上書)「廿四年分 赤十字納 廿四年十一月上納切符 記入済」
40-170	[納税証書・領収証書]			1袋(1通1纏め)		40-170-1~2一袋 同封されている (封筒上書)「廿四年一月上納切符」
40-170-1	領収証書	明治33年9月10日 ~34年1月26日	16.2×11.2	1纏め(6通)	万寿村収入役堀量平→大橋寿 参円七拾八銭 他5通	
40-170-2	[金銭書付]	年月日未詳	横切紙	1通	拾貳円廿五〇八厘	
40-171	領収証書	明治35年7月30日	16.5×10.5	1通	領収証書1枚 倉敷町収入役井上清太郎→大橋高之 市街宅地租 七円拾六銭貳厘領収	(封筒上書)「廿五年七月分上納符」
40-172	領収証書	明治35年8月26日 ~30日	17.2×11.0	1袋(9通)	菅生村収入役石川建蔵→大橋高之 壹円七拾壹銭 地租割後期 他8通	(封筒上書)「廿五年八月分上納符在中」
40-173	領収証書	明治35年9月30日	16.6×11.0	1袋(8通)	地租領収書 1. 万寿村大橋寿 2. 倉敷町大橋高之 3. 倉敷町大橋寿 4. 倉敷町大橋高之 5. 大橋寿倉敷町 6. 菅生村大橋寿 7. 倉敷町大橋高之 8. 大橋高之万寿村	(封筒上書)「廿五年九月上納切符」
40-174	領収証書	明治35年10月30日	14.0×8.7	1綴(1通)	倉敷町収入役井上清太郎→大橋高之 明治三十五年度 町税 地価割後期分 貳拾円四拾八銭	(封筒上書)「廿五年上納 当月ハ倉敷丈け」
40-175	[領収証書類]			1袋(1通1纏め)		40-175-1~2一袋 同封 (封筒上書)「廿五年十一月上納切符在中」
40-175-1	領収証書	明治35年11月29日	16.3×10.8	1纏め(6通)	万寿村収入役秋岡喜太郎→大橋高之 地租 拾九円四拾壹銭 他5通	
40-175-2	[金銭書付]	年月日未詳	横切紙	1通	倉敷町 廿七円七拾五銭 他2筆 〳七十五円五十銭	
40-176	[領収証書類]			1袋(1通1纏め)		40-176-1~2一袋 同封されている (封筒上書)「廿六年一月上納」
40-176-1	領収証書	明治36年1月15日 ~27日	16.7×10.5	1纏め(14通)	万寿村収入役秋岡喜太郎→大橋寿 地租 七円拾貳銭 他13通	
40-176-2	[金銭書付]	年月日未詳	横切紙	1通	貳拾三円拾六銭 萬寿 〳八十九円七十七銭 他2筆	
40-177	[領収証書類]			1袋(1通1纏め)		40-177-1~2一袋 同封 (封筒上書)「卅六年二月上納」
40-177-1	領収証書	明治36年2月23日 ~27日	17.0×11.0	1纏め(10通)	菅生村収入役石川建蔵→大橋高之 地租割 拾参銭 他9通	
40-177-2	[金銭書付]	年月日未詳	横切紙	1通	廿八円七十六銭 生坂 他1筆 〳五十四円卅五銭	
40-178	[領収証書類]			1袋(2纏め)		40-178-1~2一袋 同封 (封筒上書)「卅六年三月上納」
40-178-1	領収証書	明治36年3月26日	16.3×10.5	1纏め(10通)	万寿村収入役秋岡喜太郎→大橋寿 田租 六円参拾八銭 他9通	
40-178-2	[書付]			1纏め(2通)		40-178-2-1~2一纏め
40-178-2-1	[金銭書付]	年月日未詳	横切紙	1通	廿四円六十六銭 菅生 他1筆 〳四十七円九十一銭	
40-178-2-2	[金銭書付]	年月日未詳	横切紙	1通	廿四年六十六銭 生坂 他2筆 〳七十九円七十銭	
40-179	[領収証書類]			1袋(1通1纏め)		40-179-1~2一袋 (上書)「廿六年五月上納切符在中」
40-179-1	領収証書	明治36年5月10日 ~29日	16.7×10.8	1纏め(10通)	万寿村収入役秋岡喜太郎→大橋寿 田租 六円参拾八銭 他9通	
40-179-2	[金銭書付]	年月日未詳	横切紙	1通	本町 五十六円九十九銭 他2筆 〳百四円九十銭	
40-180	[領収証書類]			1袋(1通1纏め)		40-180-1~3一袋 同封 (封筒上書)「廿四年五月分上納切符 記入済」
40-180-1	領収証書	明治34年5月27日・28日	16.0×11.0	1纏め(8通)	万寿村収入役秋岡喜太郎→大橋高之 田租 五円六拾七銭壹厘 他7通	
40-180-2	[金銭書付]	年月日未詳	横切紙	1通	廿四年六十六銭一厘 生坂他 〳五十一円四十八銭九厘	
40-180-3	督促状	明治34年5月	20.2×14.0	1通	日本赤十字社倉敷町分区分委員植田年→大橋高之 釀金三円の督促状	

40-181	領収証書	明治36年4月30日	16.0×10.5	1纏め(8通)	菅生村収入役石川建蔵→大橋高之 壹円七拾壹錢 地価割前期 他7通	(封筒上書)「廿六年四月上納」
40-182	領収証書	明治36年8月29日	16.0×10.5	1袋(10通)	菅生村収入役石川建蔵→大橋高之 田租 四十八円貳拾六錢 地租割後期 他9通	(封筒上書)「廿六年八月上納切符」
40-183	領収証書	明治38年9月	16.5×11.3	1袋(10通)	万寿村収入役秋岡喜代治→大橋高之 雑地租 五円五拾壹錢 他9通	(封筒上書)「倉敷町 大橋高之様 令書在中」(封筒裏書)「生坂貝原藻作 九月廿三日」
40-184	当選通知書	明治39年1月12日	23.0×31.5	1通	倉敷町農会→大橋高之 倉敷町農会の副会長当選の通知	郵便紙
40-185	領収証書	明治38年8月31日	16.8×11.0	1袋(1通)	倉敷町収入役井上清太郎→大橋高之 市街宅地租 二十八円四十三錢	(封筒上書)「廿八年七月上納切符」
40-186	[大橋高之宛山口高次郎・山口源次郎書状]			1袋(2通)		40-186-1~2一袋 同封 封筒あり(封筒上書)「中備倉子城町 大橋高之様 御見舞」(封筒裏書)「山口高次郎・山口源次郎」
40-186-1	[大橋高之宛山口高次郎書状]	年月未詳21日	横継紙	1通	病状経過その後如何 日増にご快方と拝察する	
40-186-2	[大橋高之宛山口源次郎書状]	年未詳6月21日	横継紙	1通	先日は御邪魔し失礼した その後お二方の病状はいかがであらうか お見舞に伺うべきだがかえって迷惑と伺い差しひかえている この上は看病専一に願う	
40-187	[大橋高之宛桑田富五郎書状]	(明治41)年1月14日	24.5×16.8	1通	熨入は来る廿一日に決り小生もその節は龍野へ行くが初めてのことなので貴兄にもお繰合せの上同道願いたい	郵便紙 封筒あり(封筒上書)「備中倉敷町 大橋高之様 親展」(封筒裏書)「(印刷)清酢花の香醸造元備後国沼隈郡町 桑田富五郎 商号升屋」
40-188	[中備倉敷故山田西湖居士追悼会案内状]	明治40年11月	18.0×33.5	1通	西湖居士の一周年追悼会と書画展の案内 主幹備中倉敷町鶴殿房太郎・藤井繁次郎・補助森江尚古堂他7名・賛助植田年・林醇平→大橋	
40-189	[書状]			1纏め(2通)		40-189-1~2一纏め
40-189-1	[脇坂寿宛大橋高之書状]	年未詳2月25日	横切紙	1通	結納の儀式も滞りなくすみ同慶である その節は丁重なる待遇にあずかりお礼申し上げます	礼状の下書
40-189-2	[大橋兄宛高二郎書状]	年未詳2月17日	横継紙	1通	神戸女学院卒業の25歳の令嬢の写真を送るのでよろしくお世話願ひ上げる	
40-190	[大橋高之宛本間貞親書状]	(明治41)年2月19日	横継紙	1通	桑田氏からの返書で来龍を辞退されたとのことだが脇坂家へ話したところおとり合せの上是非来龍頂きたいとの申し出である	(封筒上書)「備中倉敷町 大橋高之様 至急親展」(封筒裏書)「緘播磨龍野 本間貞親」
40-191	[大橋高之宛桑田富五郎書状]	明治41年1月30日	横継紙	1通	本間氏より本人の写真受け取りの件 来る三日、脇坂兵太氏聞合せのため来朝の由 拙宅へ御来駕下されたい	(封筒上書)「備中倉敷町 大橋高之様」(封筒裏書)「備後国鞆 桑田富五郎」
40-192	[大橋兩人宛前井利世・立石つる書状]	年未詳11月8日	横継紙	1通	葉書ならびにこち、さよりなどお送り頂き御礼申し上げます 岐からも御礼申し上げますべきところ大谷家へ出かけそこから西京に向い十日に帰る予定なので帰宅後御礼申し上げます	(封筒上書)「備中倉敷町 大橋高之様 (封筒上書)「吉田郡二之宮村 立石つる」封筒破損大
40-193	[大橋高之宛平川保書状]	年未詳8月26日	17.0×21.5	1通	養子がなかなか調談しない 都宇郡松島三宅某二男、養子に迎えたいとの相談	郵便紙 (封筒上書)「備中倉[ ]御依頼」(封筒裏書)「緘 川上郡平川村 平川保」破損大
40-194	[大橋高之宛宮家了書状]	(明治38年6月)	横継紙	1通	艦隊も吾海軍のためにほとんど全滅の有様で本師団は本日芝居興行が出来ている 林の母上は丈夫の事と存ずる等、戦地からの近況報告について(後欠)	(封筒上書)「大日本備中国倉敷町 大橋高之殿 軍事郵便親展」(封筒裏書)「出征第十師団管理部衛兵騎兵 宮家了」
40-195	[大橋高之宛大谷了書状]	年未詳3月14日	横継紙	1通	過日参上時は御馳走になった 本日、送金したので父宛の領収証を送ってほしい 過日借用した金も送ったので落掌願う 本家竜君慶應義塾へ入学、本日上京の由	(封筒上書)「岡山県備中国倉敷町 大橋高之様」(封筒裏書)「三月十四日 兵庫県佐用郡西庄村 大谷了」
40-196	[大橋高之宛河原宇平書状]	明治40年11月19日	24.3×17.0	1通	森江、荒木、吉村の三氏、地蔵院の件に付き来訪 協議したい件があるのでお出でいただけるかの伺	郵便紙 (封筒上書)「大橋高之様 河原宇平 親展」(封筒裏書)「備中国倉敷町 B備讃石油合名会社倉敷支店」このうち「備讃石油合名会社倉敷支店」は墨線抹消
40-197	[大橋晚翠宛大森一治書状]	年未詳12月27日	横切紙	1通	先生への謝儀よろしき様ご封金下されたい 随鴉集15冊を呈進することと鯉を子供の為に送るので庭に放してもらいたいこと等	(封筒上書)「東大橋様 大森」(封筒裏書)「十二月念七 小使尋行 随鴉詩集十五鯉魚相添」
40-198	[大橋高之宛桑田富五郎書状]	明治41年1月5日	横継紙	1通	当方に養子をさがしている家があるので貴兄の御舎弟を養子に出される方針なら好都合 お伺いして御意見をききたい	(封筒上書)「備中倉敷町 大橋高之様 急親展」(封筒裏書)「(印刷)清酢花の香醸造元備後国沼隈郡鞆町 桑田富五郎 商号升屋」
40-199	[領収証書類]			1袋(1通1纏め)		40-199-1~2一袋 同封 (封筒上書)「廿八年三月上納切符在中」
40-199-1	[金銭書付]	年月日未詳	横切紙	1通	四拾五円拾四銭 生坂 他 六十六円拾四銭	途中で分裂
40-199-2	領収証書	明治38年3月29日	16.5×11.5	1纏め(9通)	倉敷町収入役井上清太郎→大橋高之 拾壹円貳拾九銭 所得税 他8通	
40-200	[大橋高之宛大谷了葉書]	明治41年1月1日	葉書	1通	謹賀新年 年賀状	
40-201	[俳諧発句間巻案内]	明治39年	16.2×10.2	1通	牡丹外四題俳諧之発句目下各宗匠の撰評中につき五月十日午後一時より牡丹花壇に於て開巻するので出詠諸君に臨席のご案内申し上げます 阪上牡丹園→(宛名なし)	(印刷文)演芸報知第九号附録
40-202	[代金書付・領収証書類]			1袋(1通1纏め)		40~202-1~2一袋 同封 (袋上書)「廿五年五月上納及赤十字第貳期分」
40-202-1	[金銭書付]	年月日未詳	18.5×26.5	1通	五月上納七拾九円七十七錢一厘 生坂分 他 八十七円七錢八分	
40-202-2	領収証書	明治35年5月28~30日	16.5×11.0	1纏め(15通)	田租 壹円四拾壹錢 大橋高之←菅生村収入役石川建蔵 他14通	



40-203	[領収証類]			1袋(1通1纏め)		40-203-1~2一袋 同封 (封筒上書)「廿五年四月上納切符 本町及生坂子位庄丈」
40-203-1	[金銭書付]	年月日未詳	横切紙	1通	五円拾壹錢 安田分他 六拾円四拾五錢	
40-203-2	領収証書	明治35年4月29・30日	16.5×11.4	1纏め(3通)	壹円七拾壹錢 地価割前期 大橋高之←菅生村収入役石川建造 他2通	
40-204	[納税証書類]			1袋(1通1纏め)		40-204-1~2一袋 同封 (封筒上書)「廿四年四月上納切符 記入済」
40-204-1	[金銭書付]	年月日未詳	18.0×21.0	1通	六十三円六十四〇貳厘 生坂分 他3筆	
40-204-2	領収証書	明治34年4月26日	16.5×11.0	1纏め(9通)	金拾貳円拾貳錢壹厘他 大橋高之←万寿村収入役秋岡喜太郎 他 納税証書8通	
40-205	督促状	明治35年	20.3×14.0	1通	赤十字社正社員醸金金壹円の督促 倉敷町分区委員植田年→大橋高之	
40-206	[領収証書類]			1袋(1通1纏め)		40-206-1~2一袋 同封 (封筒上書)「廿五年上納切符」
40-206-1	[金銭書上]	年月日未詳	横切紙	1通	拾七円八拾六錢五厘 万寿村 他 六拾円五十一錢貳厘	
40-206-2	領収証書	明治35年3月28日	16.5×11.2	1纏め(14通)	大橋高之←倉敷町収入役大久保源太郎 六円九十八錢貳厘 他13通	
40-207	領収証書	明治35年1月11~29日	16.5×11.0	1袋(11通)	大橋高之←万寿村収入役秋岡喜太郎 地租割 八円拾九錢壹厘 他10通	(袋上書)「廿五年一月上納 記入済」
40-208	[領収証書類]			1袋(1通1纏め)		40-208-1~2一袋 同封 (封筒上書)「廿五年式月上納切符 記入済」
40-208-1	督促状	明治35年2月	20.0×14.0	1通	倉敷町分区委員植田年→大橋高之 正社員醸金壹円を納付するように督促	
40-208-2	領収証書	明治35年2月27・28日	16.0×10.5	1纏め(6通)	大橋高之←万寿村収入役秋岡喜太郎 田租 六年四拾壹錢五厘 他5通	
40-209	電燈料金大値下げ御披露	大正元年11月	19.2×46.2	1通	五燭光 軽減点灯料金五〇〇円(門燈街燈八五錢引ノ上器具 損料不申受候)他	(封筒上書)「大橋高之様」(封筒裏書)「(印刷)岡山県窪屋郡倉敷町倉敷電燈株式会社 電話(一五五)(二〇九)」
40-210	[大橋高之宛山田貞芳葉書]	明治44年2月19日	葉書	1通	病のため御依頼の件が延引していることの詫状	
40-211	[大橋高之宛大谷五左衛門書状]	大正元年12月9日	横継紙	1通	本日本家伯父へ手紙を出した その主意は、式場日取取きめ後ならば変更不可の事情があることを承知頂きたい 須磨別荘へ引取るべきところ歳末月なので上月へ引取こととした件など	(封筒上書)「岡山県備中国倉敷町 大橋高之様」(封筒裏書)「兵庫県武庫郡須磨町ノ内西須磨之道 大谷別邸内 大正元年拾貳月七日 大谷五左衛門」
40-212	[封筒]	年未詳12月25日		1枚		封筒のみ(封筒上書)「都窪郡倉敷町 大橋高之様 卓下」(封筒裏書)「岡山市石関町鎌田當太 十二月廿五日発」
40-213	[書状類]			1袋(2通)		40-213-1~2一袋 同封 (封筒上書)「備中国倉敷町 大橋高之様 大急キ用ス」(封筒裏書)「香川県高松市塩屋町中野内ニテ 武田周治郎先」
40-213-1	[大橋隆之宛武田周治郎書状]	明治45年1月10日	横継紙	1通	旧正月には御出高の旨中野氏へ話しているので承知頂きたい 申上げかねるが一月早々のお取きめを願う件など	
40-213-2	[書付]	年月日未詳	横折紙	1通	中野岩太郎の釣書	
40-214	[大橋高之宛桑田富五郎書状]	大正2年2月17日	横継紙	1通	石田氏、鎌田氏との交渉について	(封筒上書)「備中倉敷町 大橋高之様 親展」(封筒裏書)「封 備後鞆 桑田富五郎 二月十七日」
40-215	[大橋高之宛渡辺頼母書状]	未年20日	縦紙	1通	立替してもらった病気の治療代支払についてどの様にしたらよいかの伺い 田ノ口村近海にて鯛網を下しているので一度御来遊されてはいかが	(封筒上書)「都窪郡倉敷町 大橋高之様 要件」(封筒裏書)「五月二十日 渡辺頼母」
40-216	[大橋高之宛鎌田富太書状]	年未詳12月25日	横継紙	1通	御配慮頂いていた鞆の件確定の旨通知があった 一月に入ると要事も重なるので年内に御決定頂きたいとの事	
40-217	[保育証書授与式案内]	大正2年3月24日	縦紙	1通	倉敷[ ]高等小学校・幼稚園→保護者 来る25日の、男子校講堂においての保育証授与式を挙げるので午前9時半に出席してほしいとのこと	
40-218	[大橋高之宛高次郎書状]	明治45年1月24日	横継紙	1通	患息配意頂いたことへの礼ほか須磨行列車の件等	(封筒上書)「備中倉敷町 大橋高之様 御礼書」(封筒裏書)「朔廿四日 西大寺にて 高二郎拝」
40-219	領収証書	明治44年2月27日	17.0×11.3	1袋(7通)	菅生村収入役秋庭二郎→大橋高之 地租 貳円五厘 他6通	(封筒上書)「四十四年二月上納切符」
40-220	[領収証書類]			1袋(1通1纏め)		40-220-1~2一袋 同封 (封筒上書)「四十五年二月納」
40-220-1	[金銭書付]	年月日未詳	横継紙	1通	貳拾六円拾錢 濱 他3筆 九十壹円七十三錢	
40-220-2	領収証書	明治45年2月29日	17.0×10.5	1纏め(9通)	大橋高之←倉敷町収入役山本定太郎 金貳拾貳円四拾八錢五厘 田租 他8通	
40-221	領収証書	明治44年10月29日	17.0×11.0	1通	万寿村収入役秋岡喜太郎→大橋高之 貳拾七錢五厘 畑地租 他17通	(袋上書)「四十四年十一月分切符在中」
40-222	領収証書	明治43年10月31日	16.5×11.0	1袋(4通)	金拾円四拾七錢五厘 地租割后期 他3通 大橋高之←万寿村収入役秋岡喜太郎	(袋上書)「四十三年十月上納」
40-223	領収証書	明治44年8月28日	16.5×11.0	1袋(2通)	納税証書2通 大橋高之←菅生村収入役秋庭二郎 壹円四錢五厘 地価割後期	(袋上書)「四十四年八月上納」
40-224	領収証書	明治44年3月28日	17.0×11.5	1袋(10通)	大橋高之←万寿村収入役秋岡喜太郎 拾円四拾参錢五厘 田租 他9通	(袋上書)「四十四年三月上納切符」

40-225	領収証書	明治44年4月29日	17.0×12.0	1袋(6通)	金貳拾九円四拾五銭五厘 地租割 大橋高之←倉敷町収入役井上清太郎 他5通	(袋上書)「四十四年四月切符」
40-226	領収証書	明治44年10月30日	16.5×10.5	1袋(2通)	八円六銭五厘 地価割后期 他1通 大橋高之←万寿村収入役秋岡喜太郎	(封筒上書)「四十四年十月分 万寿村丈け」
40-227	[領収証書類]			1袋(1通1纏め)		40-227-1~2一袋 同封 (封筒上書)「四十四年五月分」
40-227-1	[金銭書付]	年月日未詳	18.0×24.0	1通	貳拾一円七十五銭 濱納 他3筆 〆八十九円六十五銭五厘	
40-227-2	領収証書	明治44年5月30日	17.0×11.0	1纏め(9通)	菅生村収入役秋庭二郎→大橋高之 貳円五厘 田租 他8通	
40-228	[領収証書類]			1袋(1通1纏め)		40-228-1~2一袋 同封 (封筒上書)「四十四年九月上納在中」
40-228-1	領収証書	明治44年9月30日	17.0×10.8	1纏め(10通)	菅生村収入役秋庭二郎→大橋高之 四円九拾参銭五厘 畑租 他9通	
40-228-2	[金銭書付]	年月日未詳	横切紙	1通	拾四円四拾銭 濱 他2筆 〆拾円八銭五厘	
40-229	領収証書	明治44年12月29日	16.5×11.0	1袋(2通)	壹円四拾九銭 所得割金額 万寿村収入役秋岡喜太郎→大橋高之 他1通	(封筒上書)「四十四年十二月分」
40-230	領収証書	明治44年1月2日~2月2日	15.5×11.0	1袋(16通)	菅生村収入役秋庭二郎→大橋高之 貳円五厘 田租 他15通	(封書上書)「四十四年一月上納」
40-231	[書付]			1袋(2通)		40-231-1~2一袋 同封 封筒あり(封筒表書)「備中倉敷町 大橋高之様 親展」(封筒裏書)「赤磐郡那波 岡田尚三郎 七月廿二日」
40-231-1	[大橋高之宛岡田尚三郎書状]	年未詳7月22日	横継紙	1通	海水浴のために利用する借屋をさがしてほしいとの依頼で坂越村長らに依頼していたところ別紙の様な回答があった 二階の分は至極宜敷家内も温かな人の由なのでお気に入られたらお申し越し下されたい	
40-231-2	[岡田尚三郎宛俊一郎書状]	年未詳7月13日	横切紙	1通	海水浴に適した借屋の紹介 一家全部壹ヶ月凡七円 二階借り壹ヶ月四円以下貳円位 等	
40-232	[大橋高之宛鎌田富太書状]	年未詳12月16日	24.7×16.6	1袋(3枚)	愚昧の縁談を断る内容 本人は特に希望はないがあまり僻地でなく身体が強健で多少の学歴があれば良い 門地、財産等は貴兄のお眼鏡に一任したい	便箋 (封筒表書)「都窪郡倉敷町 大橋高之様 親展」(封筒裏書)「御津郡宇甘西村 鎌田富太 十二月十六日発」
40-233	通知書	明治41年3月20日	23.6×21.5	1通	倉敷町農会長大原孫三郎→大橋高之 本町農会明治四十一年度収支予算額分賦収入法及役員改選等二関シ三月廿四日正午十二時ヨリ総会開設するので来会されたい	
40-234	[領収証書]			1袋(2通1纏め)		40-234-1~3一袋 封筒入 (封筒上書)「世六年九月分」
40-234-1	[金銭書上]	年月日未詳	横切紙	1通	貳拾五円七十七銭六厘 はま 貳拾貳円壹厘 生坂 〆四拾七円七十七銭七厘	
40-234-2	領収証書	明治36年9月26日	16.8×11.2	1纏め(8通)	万寿村収入役秋岡喜太郎→大橋高之 参円参拾壹銭 畑租 他7通	
40-234-3	日本赤十字社年釀金納額通知兼領収証	明治36年9月29日	18.6×12.2	1通	都窪郡委員長高木幸文→大橋高之 金壹円	
40-235	[領収証書]			1袋(1通1纏め)		40-235-1~2一袋 封筒入 (封筒上書)「卅九年八月上納切符」
40-235-1	領収証書	明治39年8月28日	16.4×11.0	1纏め(2通)	菅生村収入役石川建蔵→大橋高之 九拾銭 他1通	
40-235-2	[金銭書上]	年月日未詳	横切紙	1通	生坂 貳拾九円貳拾貳銭 安田分 貳円七拾銭 〆世壹円九拾貳銭	
40-236	[租税領収証書類]			1袋(1通1纏め)		40-236-1~2一袋 40-236-1と40-236-2は重ねて折り畳んであったが内容が異なるので分けた (封筒上書)「世九年九月上納切付」
40-236-1	領収証書	明治39年9月29日	16.7×11.5	1纏め(8通)	大橋高之4通 大橋高之4通 倉敷町収入役井上清太郎5通・万寿村収入役秋岡喜太郎2通・菅生村収入役石川建蔵1通計8通	40-236-1は8通重ねて折り畳まれている
40-236-2	[日本赤十字社年釀金納額通知書兼領収証]	明治39年9月10日	18.8×12.3	1通	都窪郡委員長古沢義三郎→正社員大橋高之 明治39年第3期分9月29日納	
40-237	[租税証書類]			1袋(9通)		40-237-1~2一袋 同封 (封筒上書)「世七年三月上納切符」
40-237-1	[金銭書付]	年月日未詳	横切紙	1通	世四円六十六銭 生坂 他2筆	
40-237-2	領収証書	明治36年3月28日	16.7×11.0	1纏め(8通)	大橋高之納5枚 大橋高之3枚 倉敷町収入役井上清太郎4枚 万寿村収入役秋岡喜太郎2枚 菅生村収入役石川建蔵2枚	合計8枚重ねられている
40-238	領収証書	明治44年6月30日	16.8×11.2	1袋(8通)	大橋高之4件 大橋高之4件 万寿村収入役秋岡喜太郎 万寿村農会長有安唯五郎 菅生村収入役秋庭二郎 菅生村農会長山内林七	(封筒上書)「大阪市東区北濱二丁目 大坂 四十四年六月分上納符」
40-239	領収証書	明治43年3月30日	16.8×11.0	1袋(15通)	菅生村収入役秋庭二郎→大橋高之 六拾九円八拾参銭五厘 田租 他14通	
40-240	園芸報知	明治40年4月23日	26.8×39.2	1通	洋種花卉類の値段や花壇の写真を掲載	臨時増刊第九号 発行所阪上牡丹園
40-241	[大橋高之宛永富敏夫葉書]	(明治38)年12月	葉書	1通	縁談の打診 加藤件は承知 伏て石井の件を願う このたびは誓って中止など申し出ないのでお頼み申し上げます	
40-242	領収証書	明治39年7月30日~8月9日	16.4×11.1	1袋(2通)	倉敷町収入役井上清太郎→大橋高之 貳拾八円四拾参銭 市街宅地租 他1通	(封筒上書)「世九年七月上納切符 倉敷町丈け」

40-243	領収証書	明治39年11月28日	16.8×11.0	1袋(15通)	万寿村収入役秋岡喜太郎→大橋寿 雑地租 参拾参銭 他14通	(封筒上書)「廿九年十一月上納切符在中」
40-244	[領収証類]			1袋(1通1纏め)		40-244-1~2-1袋 封筒入 (封筒上書)「卅七年五月上納切符在中」
40-244-1	[金銭書付]	年月日未詳	横切紙	1通	廿九円壹銭 生坂 拾貳円五銭 濱 〆五拾壹円六銭	
40-244-2	領収証書	明治37年5月31日	16.8×11.5	1纏め(9通)	菅生村収入役石川建蔵→大橋高之 田租 壹円四十壹銭 他8通	
40-245	領収証書	明治39年3月	16.6×10.9	1袋(10通)	倉敷町収入役井上清太郎 所得税 八円九十八銭 他9通	(袋表書)「廿九年三月上納切符」
40-246	領収証書	明治38年4月22日 ~12月1日	16.2×11.2	1袋(4通)	連島村収入役小松原国蔵→大橋寿 雑地租 八銭 他3通	(封筒上書)「廿八年分鶴田上納符在中」
40-247	領収証書	明治39年12月27日	17.3×11.0	1袋(2通)	万寿村収入役秋岡喜太郎→大橋寿 参円九拾銭 後期地価割他1通	(封筒上書)「廿九年十二月分 万寿邸丈け」
40-248	[領収証書類]			1袋(1通1纏め)		40-248-1~2-1袋 同封 (封筒上書)「四十年一月十五日納 三十日納」
40-248-1	領収証書	明治40年1月14日 ~31日	16.7×11.11	1纏め(9通)	倉敷町収入役井上清太郎→大橋高之 貳拾八円四拾貳銭 市街宅地租 他8通	
40-248-2	[金銭書付]	年月日未詳	横切紙	1通	貳拾壹円六十六銭 濱分 他	
40-249	[租税関係書類][領収証書類]			1袋(1通1纏め)		40-249-1~2-1袋 40-249-1で40-249-2を包んである (封筒上書)「廿九年四月上納切符在中」
40-249-1	[金銭書付]	年月日未詳	横切紙	1通	万寿邸 貳拾五円貳拾三銭 他 〆百貳拾壹円五十三銭	
40-249-2	領収証書	明治39年4月30日	16.8×11.3	1纏め(7通)	倉敷町収入役井上清太郎→大橋高之 拾九円四拾四銭 地租割 他6通	
40-250	[封筒]	明治38年1月7日		1袋		封筒のみ(封筒表書)「備中倉敷町 大橋高之様 平安」(封筒裏書)「小田郡矢掛町 石井源次郎」
40-251	[大橋寿宛宮家くすの書状]	(明治38年8月)	横継紙	1通	帰りの節中元の祝儀、祖父への御供など頂き有難い 父はこの頃楠木山へ参って留守なので、西橋の仏事には父が帰って来ぬ様なら私が参るつもりであること等	封筒あり(封筒表書)「都窪郡倉敷町新川 大橋高之様 御内ニテ同寿さま御許に」(封筒裏書)「封 児島郡福岡村林 宮家楠野」
40-252	[申請書類]			1袋(2通)		40-252-1~2-1袋 同封 封筒あり(封筒表書)「備中国窪屋郡倉敷町千七十七番邸 大橋寿殿 税支払」(封筒裏書)「高梁区裁判所」
40-252-1	申請書	明治34年5月31日		1通	大橋寿→高梁区裁判所 遠隔地病中を理由に美袋村田辺貞の親族会員を辞退したい旨の申請書	罫紙
40-252-2	[通達文字]	年月日未詳		1通	遠隔地を理由とする辞退申請は認めないが病氣理由は格別なので診断書をそえて申請する様に	罫紙
40-253	[大橋高之宛永富敏夫書状]	明治38年5月26日		1袋(2通)		40-253-1~2-1袋 40-253-2が40-253-1にはさまれ封筒に入っている (封筒上書)「備中国倉敷 大橋高之様」(封筒裏書)「糊」
40-253-1	[大橋高之宛永富敏夫書状]	明治38年5月26日	横切紙	1通	柳井原内藤寿彦第三女との縁談をお世話頂きたい 令嬢の写真郵送願ひ	
40-253-2	[大橋宛永富書状]	明治38年5月26日	横切紙	1通	第四女は第三女の縁談がまとまらなければもらい受けることはできないだろう 第三女の方を所望するので念のため申し上げます	43-251-1の追伸
40-254	[領収証書類]			1袋(1通1纏め)		40-254-1~2-1袋 (袋表書)「廿七年八月上納切符在中」
40-254-1	[金銭書付]	年月日未詳	横継紙	1通	生坂分・本家分・安田分・濱分 〆壹百参円九十貳銭	
40-254-2	領収証書	明治37年8月29日	16.1×11.4	1纏め(7通)	倉敷町収入役井上清太郎→大橋高之 地租割 拾円拾四銭	
40-255	[医療代金領収証類]			1纏め(4通)		40-255-1~4-1纏め
40-255-1	証(領収証)	明治41年2月1日	17.3×16.1	1通	瀬尾宗治郎→東大橋 薬価貳円八拾銭 診察料参円	
40-255-2	証(領収証)	明治41年1月31日	17.0×15.8	1通	備中倉敷町脇本医院薬堂→大橋 薬価金貳円五銭 謝儀金壹円	
40-255-3	証(領収証)	明治41年2月1日	16.1×16.0	1通	備中倉敷本町医士岡田柯一→東大橋 謝儀金壹封 薬価金壹封	
40-255-4	薬価表	明治41年1月30日	19.0×24.6	1通	岡田薬堂→大橋高之 散薬八拾四銭他 合計金貳拾円六拾四銭	
40-256	[領収証書類]			1袋(1通1纏め)		40-256-1~2-1袋 封筒に入っている
40-256-1	領収証書	大正2年9月30日	16.7×11.3	1纏め(5通)	万寿村収入役秋岡喜太郎→大橋高之 畑租 拾四円拾貳銭五厘 他4通	
40-256-2	[金銭書付]	年月日未詳	横切紙	1通	万寿邸 菅生分 安田分 〆五円三十五銭	
40-257	小作方損金	明治14~16年	美半・横列	1冊	明治十四年分貸付残り 明治十四年小作帳面上残り 明治十五年分貸付不足 明治十六年分	(裏表紙)「東大橋」虫損あり
40-258	領収証書	大正元年2月28日	16.8×11.2	1袋(10通)	万寿村収入役秋岡喜太郎→大橋高之 田租 九円六拾貳銭五厘 他9通	(封筒上書)「大正元年貳月納」
40-259	[書状]			1袋(2通)		40-259-1~2-1袋 同封 封筒あり(封筒上書)「備中倉敷町 大橋高之様」(封筒裏書)「緘 美作二宮 立石岐」

40-259-1	[大橋高之宛立石岐書状]	(明治38)年5月24日	横継紙	1通	私の知人で養子の先をさがしている太田一也君を原家の養子になされてはどうか 大原大人の思召にもかないご相談という事になれば御一報頂きたい 本人の親族については別紙を添える	
40-259-2	[太田一也親族書付]	年月日未詳	横継紙	1通	太田一也の祖父母・両親・兄弟の書上	
40-260	領収証書	大正2年11月10日	16.4×11.1	1袋(2通)	倉敷町収入役山本定太郎→大橋高之 1枚 所得税 拾貳円九銭 他1通	(封筒上書)「貳年拾月納」
40-261	領収証書	大正2年12月29日	17.0×11.7	1袋(2通)	万寿村収入役秋岡喜太郎→大橋高之 1通 所得税付加税 貳円貳拾九銭 他1通	(封筒上書)「貳年十二月貳九日納 万寿邨丈け」 2通は重ねて折り畳んである
40-262	領収証書	大正2年4月30日	17.0×11.2	1袋(8通)	菅生村収入役秋庭二郎→大橋高之 地租割 壹円八拾七銭五厘 他7通	封筒入り(封筒上書)「大正貳年四月上納」
40-263	[領収証書類]			1袋(1通1纏め)		40-263-1~2一袋 40-263-2が40-263-1に包まれている (封筒上書)「貳年五月納」
40-263-1	[金銭書付]	年月日未詳	横切紙	1通	万寿村 貳拾壹円拾三銭 菅生村 三拾壹円四十壹銭 安田分五円八十銭 本家 四十貳銭五厘 〆八十八円七十三銭五厘	破損 冒頭部欠損
40-263-2	領収証書	大正2年5月30・31日	16.6×11.3	1纏め(10通)	田租 貳円五厘 菅生村収入役秋庭二郎→大橋高之 他9通	
40-264	領収証書	大正元年8月31日	16.7×11.3	1袋(2通)	菅生村収入役秋庭二郎→大橋高之 地価割後期 九拾七銭五厘 他1通	封筒あり(封筒上書)「丹波国氷上郡相原町 大正元年八月分切符」(封筒裏書)「丹波国相原 難波升」
40-265	領収証書	明治45年4月30日	16.7×11.2	1袋(8通)	菅生村収入役秋庭二郎→大橋高之 地租割 貳円拾四銭五厘 他7通	(封筒上書)「四十五年四月切符」
40-266	領収証書	大正元年9月30日	16.2×10.9	1袋(4通)	大橋高之3軒、寿1件 倉敷町収入役→大橋高之 畑租 貳円五拾五銭五厘 他3通	(封筒表書)「大正元年九月納」
40-267	領収証書	大正元年10月30日	16.7×10.7	1袋(2通)	大橋寿1件、高之1件 万寿村収入役秋岡喜太郎→大橋高之 地価割後期 拾五円拾五銭五厘 他1通	(封筒表書)「大正元年十月上納付」
40-268	[領収書類]			1袋(1通1纏め)		40-268-1~2一袋 封筒入 (封筒上書)「四十五年五月切符」
40-268-1	[金銭書付]	年月日未詳	横切紙	1通	貳拾壹円拾参銭 濱 〆六十七円六十三銭五厘 生坂 六十壹円四十壹銭 〆八十八円七十三銭五厘 五円八十銭 安田 四十貳銭五厘 本家	
40-268-2	領収証書	明治45年5月30・31日	13.7×9.5	1纏め(9通)	倉敷町農会長大原孫三郎→大橋高之 貳円貳拾九銭 他8通	
40-269	[領収証書類]			1袋(1通1纏め)		40-269-1~2一袋 同封 (封筒上書)「大正元年九月上納切付」
40-269-1	[金銭書付]	年月日未詳	18.2×12.2	1通	拾四円四十銭 浜 他2筆 〆貳拾四円七十銭五厘	
40-269-2	領収証書	大正元年9月30日	16.9×11.2	1纏め(5通)	菅生村収入役秋庭二郎→大橋高之 拾七銭 所得割前期 他4通	
40-270	[大橋姉上宛大橋伴書状]	年未詳8月26日	横継紙	1通	御申越の二品をお送りする もし赤が御入用なら御申越し下されたい	封筒あり(封筒上書)「備中倉敷町 東大橋高之様 御許に」(封筒裏書)「八月廿六日 大坂北浜貳丁目十番やしき 大橋伴」
40-271	[書状類]			1括り(9通2袋1括り)		40-271-1~12紙綴りで一括り
40-271-1	[大橋高之宛名越為吉書状]	明治36年2月28日	横継紙	1通	田辺昌郎借用金支払いの猶予願い いよいよ明日衆院選挙となり御地辺は定て犬養氏と察す 当地は多分守屋氏になるだろう	封筒あり(封筒表書)「都窪郡倉敷町字新川 大橋高之様 親披」(封筒裏書)「小田郡北川村 名越為吉」
40-271-2	[大橋御二方宛田辺昌二書状]	(明治36)年2月27日	横継紙	1通	借入金返済の猶予願い	封筒あり(封筒表書)「都窪郡倉敷町 大橋高之様 急」(封筒裏書)「吉備郡日美村 田辺昌二拝」
40-271-3	[大橋姉宛中田貞子書状]	年月日未詳	横継紙	1通	近況報告等 帯にする黒朱子を安くて良いので買い替えてほしいこと等	
40-271-4	[大橋高之宛川上悠次書状]	明治36年4月1日	横継紙	1通	豚児出生への贈物に対する礼状 母子ともに健康なので安心してほしい	(封筒上書)「岡山県備中国倉敷町 大橋高之様 合展」(封筒裏書)「緘 四月一日 山形市新栄西通 川上悠次郎」
40-271-5	[大橋高之宛大原孝四郎書状]	年未詳9月4日	横切紙	1通	登坂のさそい	(封筒表書)「大橋高之様 貴下」(封筒裏書)「大原孝四郎」
40-271-6	[書状類]			1袋(2通)		40-271-6-1~2一袋 封筒入 (封筒上書)「備中倉敷町 大橋高之様 親剪」(封筒裏書)「苫田郡二宮村 立石岐」
40-271-6-1	[大橋高之宛藤井理太書状]	年未詳7月15日	横継紙	1通	先日お願いした墓所の儀につき松を寺に上るとの件は寺も貰ってくれないだろうと思うのでご承知頂きたい	
40-271-6-2	[大橋高之宛立石岐書状]	年未詳7月15日	横継紙	1通	病気見舞	
40-271-7	[大橋高之宛名越為吉書状]	明治36年3月28日	横継紙	1通	田辺昌郎借金の支払い猶予を再度願う 定て近日博覧会見物にはお越しのことと存ずる 拙夫もこのたびは繰合せぜひ見物したいが銀行事務多忙で代りの人もなく困却している	(封筒上書)「都窪郡倉敷町 大橋高之様 親展」(封筒裏書)「小田郡北川村 名越為吉」
40-271-8	[大橋高之宛立石岐書状]	明治36年4月	横継紙	1通	追善記念会の案内 祖父、道介居士五拾年、父、起雲居士(立石正介)廿五年、藤井茶仙蘇五年、義子、恭吉周年の記念会を五月五日に執行するのでお越し頂きたい	(封筒表書)「備中国倉敷町 大橋高之様 御案内」(封筒裏書)「美作二宮 立石岐」
40-271-9	[大橋高之宛大橋又四郎・同矩書状]	明治35年10月24日	横継紙	1通	愚妻せい死亡につき弔書・香典惠贈拝受の謝礼	封筒あり(封筒上書)「岡山県備中倉敷町 大橋高之様」(封筒裏書)「東京市小石川区戸崎町七十一番地 大橋又四郎」
40-271-10	[墓石見積表]	(明治)35年7月16日	横継紙	1通	倉敷土手町藤田用平→東大橋 大ノ部分・中石碑見積・小石碑の見積	(封筒表書)「東大橋様」(封筒裏書)「倉敷土手町 藤田用平 参拾五年旧七月十八日」

40-271-11	[書状]			1袋(2通)		40-271-11-1~2一袋 同封(封筒表書)「都窪郡倉敷町 大橋高之様 急」(封筒裏書)「吉備郡日美村 田渡昌二拜 二月式拾五日夕」
40-271-11-1	[大橋高之・お寿宛田渡太喜代書状]	年月日未詳	横切紙	1通	昌二の借金については種々ご迷惑をかけるが今しばらく待つてほしい	(封筒上書)「大橋御二方様 田渡老人より」
40-271-11-2	[大橋兄上・姉上宛田辺昌二書状]	明治36年2月25日	横切紙	1通	本月中に百円返金の約束のところ金策つかず今しばらくの猶予を願う	
40-271-12	[大橋高之関係書類]			1括り(4纏め1袋27通)		40-271-12-1~32紙綴りで一括り
40-271-12-1	証(領収証)	明治28年11月12日	14.9×15.7	1通	男爵高崎五六→大橋寿 台湾征討軍人慰労費寄贈金壹円の領収	
40-271-12-2	[日本赤十字社年釀金納付通知]	明治29年9月10日	16.8×24.6	1通	明治廿九年第三期分 日本赤十字社岡山支部都宇窪屋郡委員部委員長一山昌衛→大橋高之	
40-271-12-3	記(石碑代金算用書付)	明治24年6月	縦折紙	1通	藤田喜平→東大橋 金72円10銭のうち20円請取 残金52円10銭	
40-271-12-4	舌代	年未詳1月10日	横切紙	1通	一月十日 藤四郎→高之 お話し申し上げたいことがあるので御光来願う	
40-271-12-5	記(請取証)	明治31年1月2日	縦切紙	1通	林源十郎→大橋高之 金三円 井笠豪谷君建碑費の内へ寄贈の請けとり	
40-271-12-6	[大橋高之宛西毅一書状]	(明治31)年1月4日	横継紙	1通	新年のあいさつ並に閑谷覺一層の支援願う	(封筒表書)「備中倉敷町 大橋高之様」(封筒裏書)「緘 岡山県和気郡伊里村大字閑谷新田 西毅一」
40-271-12-7	[大橋高之宛豊造書状]	年未詳4月7日	横継紙	1通	入札算用の件 過日申し上げた通り催促願うたい	封筒あり(封筒表書)「大橋高之様 親展」(封筒裏書)「緘 四月七日 柳の豊造」
40-271-12-8	[大橋高之宛黒田長成書状]	明治31年4月1日	19.9×13.5	1通	豊太閣墳墓修理落成に付本月廿日三百年祭執行の案内状	封筒あり(封筒表書)「岡山県窪田郡倉敷町 大橋高之殿」(封筒裏書)「(印刷)豊国会会長侯爵黒田長成」(印刷文)式次第と出欠返信用葉書・招待券を同封
40-271-12-9	[大橋高之宛閑谷保覺會書状]	明治30年9月24日	24.4×16.8	1通	閑谷覺寄付金領収の件	便箋 封筒あり(封筒表書)「備中国倉敷町 大橋高之殿」(封筒裏書)「(印刷)閑谷保覺會」 領収証1通を同封
40-271-12-10	[大橋高之宛石橋雲来書状]	明治29年12月	横切紙	1通	季節のあいさつ 石橋雲来→晚翠明兄	封筒あり(封筒表書)「備中倉敷町 大橋高之様」(封筒裏書)「糊 十二月七日 (朱印)大阪北浜二丁目 石橋雲来」
40-271-12-11	領収証	明治30年1月13日	16.8×15.1	1通	軍人遺族救護義會費金一円 普通會員大橋高之←軍人遺族救護義會本部 取扱主任小林嬉次郎	
40-271-12-12	點晴吟社月次課題	丁酉(明治30)年	15.9×23.1	1通	一月蒼松紫久瑤池春宴など12ヶ月分課題一覧 雲来仙史撰定	
40-271-12-13	詩文添削潤儀票	年月日未詳	19.2×25.0	1通	束修 参拾銭他 絶句・律詩などの謝礼金の書付 江南友蘭吟社	印刷文
40-271-12-14	[詩吟関係書類]			1纏め(4通)		40-271-12-14-1~4一纏め 重ねて折り畳んである
40-271-12-14-1	點晴吟社々則	明治30年1月	18.6×38.4	1通	幹事吉田楠南他15名 社長大阪東区北浜2丁目206番邸 石橋雲来 入会案内	印刷文(端裏朱書)「井笠豪谷先生 尊下」
40-271-12-14-2	詩文添削潤儀票	年月日未詳	19.2×25.0	1通	江南友蘭吟社	40-271-12-13と同文書
40-271-12-14-3	點晴吟社月次課題	丁酉(明治30)年	15.9×23.1	1通	雲来仙史撰定	
40-271-12-14-4	入社申込書	明治	24.2×8.1	1通	點晴吟社幹事あて	印刷文 用紙のみ 記入なし
40-271-12-15	[點晴吟社関係書類]			1纏め(4通)		40-271-12-15-1~4一纏め 40-271-12-15-1に40-271-12-15-2~4が包まれていた
40-271-12-15-1	點晴吟社々則	明治30年1月	18.6×38.4	1通	幹事吉田楠南・奥田柳汀・発起人石尾松泉他13名→(宛名なし) 石橋雲来、社則十一ヶ条拝諾	(端裏書)「大橋独立雅兄」(朱筆)
40-271-12-15-2	詩文添削潤儀票	年月日未詳	19.2×25.0	1通	江南友蘭吟社→(宛名なし) 束修 参拾銭ほか添削料金書上	
40-271-12-15-3	點晴吟社月次課題	丁酉(明治30)年	15.9×23.1	1通	一月蒼松紫〇瑤池春宴ほか12ヶ月分一覧 雲来仙史撰定	
40-271-12-15-4	入社申込書	明治	24.2×8.1	1通	點晴吟社入社申込書	印刷文
40-271-12-16	點晴吟社社則	明治30年1月	18.6×38.4	1通	幹事吉田楠南・奥田柳汀・発起人石尾松泉他→(宛名なし) 社則11ヶ条、石橋雲来拝諾	
40-271-12-17	入社申込書	年月日未詳	24.2×8.1	1通	(記名なし)→天晴吟社幹事 社費半円相添申込	
40-271-12-18	[恭賀新禧 丁酉歳旦]	丁酉(明治30)年	15.3×11.4	1通	雲来仙史→大橋草秋大雅 詩吟	印刷
40-271-12-19	[大橋高之宛石橋雲来書状]	(明治30)年12月7日	横継紙	1通	詩題ができたのでご覧に入れる 御作の拝見をお待ちしている	(封筒表書)「備中倉敷町 大橋高之様」(封筒裏書)「糊 十二月三十一日 (朱印判)大阪北浜二丁目 石橋雲来」
40-271-12-20	[詩吟関係書類]			1纏め(2通)		40-271-12-20-1~2一纏め 40-271-12-20-1に40-271-12-20-2が包まれていた
40-271-12-20-1	江南友蘭吟社月課詩題	丁酉(明治30)年	15.9×23.1	1通	雲来仙史撰の詩吟課題十二ヶ月一覧	
40-271-12-20-2	[作詩寄贈依頼状]	明治30年	17.0×24.3	1通	京都府丹波国南桑田郡西別院村字犬甘野名倉宗太郎祖母屋尾女の米寿祝いの詩歌送付願う	印刷文 末尾に朱書「十二月廿日迄に菅首御投詠被下候 雲来 以上」

40-271-12-21	〔借家関連書類〕			1纏め(1通1纏め)		40-271-12-21-1~2-纏め 40-271-12-21-2が40-271-12-21-1に挟み込まれている
40-271-12-21-1	借家請状之事	明治22年4月	縦折紙	1通	備中国窪屋郡倉敷町九百九十八番地二有五百四拾番邸 瓦葺二階造本家吉棟借受の書類 家賃壹年百五拾円、壹ヶ月拾貳円五拾銭 家借主木尾豊三郎・引受人小松原慶太郎→大橋高之	
40-271-12-21-2	〔書付〕	年月日未詳		1纏め(2通)	貸家備品一覧及び賃貸契約 破損・紛失の節は修繕・新調すべし	
40-271-12-22	〔親族会招集決定通知書〕	明治34年5月28日		1袋(2通)	高梁区裁判所判事山川正澄→大橋高之 田辺昌二郎の申請により田辺貞婚姻のため親族会の申請得るために招集	本来一連のものカ 右肩に「4」「5」と番号が付されている 罫紙 罫紙 (封筒表書)「備中国窪屋郡倉敷町千七拾七番卸 大橋高之殿」(封筒裏書)「高梁区裁判所」郵便送達証書を同封
40-271-12-23	〔大橋御二方宛田辺昌二書状〕	明治35年10月22日	横切紙	1通	このたび追送の届書へ記名捺印の上名越叔父へ廻送下されたいこと等連絡	封筒あり(封筒表書)「窪屋郡倉敷町 大橋高之様 急」(封筒裏書)「吉備郡日美村 田辺昌二 拜」
40-271-12-24	〔大橋高之宛小島熊太郎書状〕	年未詳7月27日	横継紙	1通	御高配により良縁を得たことへの感謝 今だ住居が定まらず落ちつかないが来月三日頃には仮宅借受の手順などの近況報告	(封筒表書)「大橋高之様 侍史」(封筒裏書)「七月廿九日 山形連 隊小島熊太郎」
40-271-12-25	〔大橋高之宛雲来書状〕			1袋(3通)		40-271-12-25-1~3-一袋 同封 (封筒表書)「備中倉敷町 大橋高之様」(封筒裏書)「糊 六月九日 (朱印判)大阪市北区木幡町寺町西へ入南側 石橋雲来」
40-271-12-25-1	〔大橋高之宛石橋雲来書状〕	明治34年6月9日	横継紙	1通	詩集刻費送金請取った 返信が遅くなって申し訳ない 五郎に会えず残念 時候も良いので久しぶりに来阪されてはいかが	
40-271-12-25-2	〔漢詩書付〕	年月日未詳	横切紙	1通		色つき和紙
40-271-12-25-3	〔詩墳銘〕	年月日未詳	横切紙	1通	太融寺境内に建てた石碑の表文	色つき和紙 印刷文
40-271-12-26	詩文添削潤儀票	年月日未詳	18.2×24.9	1通	束修 参拾銭ほか添削料金書上 江南友蘭吟社より通知	
40-271-12-27	記(領収証)	明治29年12月9日	15.0×19.8	1通	総代小松原善平・石井又三郎・井上永蔵→大橋高之 地藏院修繕費寄附金五拾円	
40-271-12-28	決定(田辺貞親族会員辞任許可について)	明治34年6月11日	縦折紙	1通	高梁区裁判所判事山川正澄→大橋高之 備中国吉備郡日美村大字美袋田辺貞の親族会辞任	罫紙 高梁区裁判所用紙
40-271-12-29	〔大橋高之宛津田鍛雄書状〕	明治35年6月	横切紙	1通	総選挙立候補につき協力願ひ	封筒あり(封筒上書)「備中倉敷町 大橋高之様」(封筒裏書)「備中国児島郡味野村 津田鍛雄 明治三十五年六月」宛名以外は印刷文
40-271-12-30	〔大橋高之宛三井呉服店地方係書状〕	明治35年6月11日	24.4×17.4	1通	為替の送付について	便箋 (封筒上書)「備中備中倉敷町 大橋高之様 御案内」(封筒裏書)「(印刷)大阪高麗橋式丁目 三井呉服店地方係」
40-271-12-31	〔大橋高之宛大原孝四郎書状〕	年未詳8月7日	横切紙	1通	鮮魚を受けとったことへの礼と昼食への誘ひ	封筒あり(封筒表書)「大橋高之様 貴下」(封筒裏書)「大原孝四郎」
40-271-12-32	〔母宛ひさ書状〕	年未詳旧9月1日	横継紙	1通	逗留中手伝いの御礼、嫁の引越、本家石次郎の子ども御守願ひなどについて	
40-272	葉茶控	年月日未詳	半・縦半	1冊	内容の記述なし	罫紙 表紙に「不許他見、俊誌」とある
40-273	袖中撮要	明治18年4月21日	半・縦半	1冊	金三拾九円他金銭の書付	はずれた題箋をSILティッシュで包んだ 罫紙 綴じ目がはがれSILティッシュで包んだ
40-274	領収証書	大正元年12月	16.6×11.3	1纏め(3通)	万寿村収入役秋岡喜太郎→大橋高之 所得割金額金壹円六拾六銭領収他2通	(封筒表書)「香川県仲多度郡本島村 海野仁造」(封筒裏書)「大正元年十二月分」
40-275	〔大橋高之宛石橋雲来書状〕	年未詳5月22日	横切紙	1通	御地滞在中の画家蕪木秋雪に封中小説認方を願ひたく、潤筆料は制規があるので私の名で菓子料として壹円位を贈っておいてほしい	(封筒上書)「備中倉敷町 大橋高之様」(封筒裏書)「糊七月廿二日 (印刷)大阪市北区木幡町寺町西へ入 南側 石橋雲来」
40-276	〔大橋高之宛立石岐書状〕	明治37年7月8~20日		1袋(2通)		40-276-1~2-一袋 封筒に入っている (封筒上書)「備中倉敷町 大橋高之様」(封筒裏書)「二宮 立石岐」
40-276-1	〔大橋高之宛立石岐書状〕	(明治37年)7月20日	横継紙	1通	元大橋より注文の桜盆拾枚代金を送ったことなど	
40-276-2	〔大橋御両人宛立石つる書状〕	(明治37年)7月8日	横継紙	1通	餅を送って下さったことの御礼	
40-277	〔大橋高之宛永富敏夫書状〕	明治38年2月22日	横継紙	1通	縁談の件、岡田氏より断りあり、石井氏へ御断り下されたきこと	(封筒上書)「岡山県下備中国倉敷町 大橋高之様 親展」(封筒裏書)「播州揖保郡半田新在家 永富敏夫」
40-278	〔大橋高之宛加藤千代書状〕	明治37年7月8日	横継紙	1通	大戦争にて大阪もさびし、何とぞ天神まつりには子供お連れおこし下されし	(封筒上書)「備中倉敷町字新川町 大橋高之様」(封筒裏書)「七月八日 大阪市北浜式丁目十番 加藤千代」
40-279	〔代金書付・領収証書類〕	明治45年6月29日		1袋(6通1纏め)		40-279-1~2-一袋 同封されている (封筒上書)「備中小田郡 四十五年六月上納」
40-279-1	〔金銭書付〕	年月日未詳	17.5×23.5	1通	四〇貳円貳拾六銭五厘ほか 万寿村	
40-279-2	領収証書	明治45年6月29日	17.0×11.0	1纏め(6通)	金九円貳拾四銭五厘他5通 菅生村農会長山内林七→大橋高之 管生村収入役秋庭二郎→大橋高之 壹円拾六銭五厘 倉敷町収入役山本定太郎→大橋高之 貳拾壹円六拾貳銭五厘	(封筒上書)「大正貳年七月納」
40-280	領収証書	大正2年7月31日	16.5×11.0	1袋(2通)	倉敷町収入役山本定太郎→大橋高之 貳拾壹円六拾貳銭五厘	
40-281	領収証書	明治45年7月30~31日	16.5×11.0	1袋(2通)	倉敷町収入役山本定太郎→大橋高之 貳拾壹円六拾貳銭五厘 宅地租他1通	(封筒表書)「四十五年七月納」
40-282	領収証書	大正元年11月	16.0×11.0	1袋(18通)	倉敷町収入役山本定太郎→大橋高之 貳円貳拾九銭 ほか17通	(封筒上書)「大正元年十一月分」

40-283	[領収証書]	大正2年1月16日	16.5×10.5	1袋(4通)	倉敷町収入役山本定太郎→大橋高之 金貳円參拾四錢 他3通	(封筒上書)「三年一月納」
40-284	領収証書	大正2年3月20~31日	17.2×11.2	1袋(13通)	倉敷町収入役山本定太郎→大橋高之 拾參円八拾九錢 所得税他12通	(封筒上書)「大正貳年三月廿日納 同三十一日納在中」
40-285	領収証書	大正2年1月31日	16.5×11.0	1袋(8通)	管生村収入役秋庭次郎→大橋高之 壹円拾六錢五厘 宅地租他7通	封筒あり
40-286	領収証書	大正2年1月15日	16.5×11.0	1袋(5通)	倉敷町収入役山本定太郎→大橋高之 貳拾貳円四拾八錢五厘 田租 他4通	封筒あり
40-287	領収証書	大正3年1月31日		1袋(1通1纏め)		40-287-1~2一袋 同封 (封筒上書)「三年三年一月卅一日上納」
40-287-1	領収証書	大正3年1月31日	17.0×11.3	1纏め(4通)	管生村収入役秋庭二郎→大橋高之 貳拾壹錢 所得税附加税他3通	
40-287-2	[金銭書付]	年月日未詳	横切紙	1通	七円六十錢五厘	
40-288	[名越家小児死去に関する書類一括]	明治23年1月14~15日		1纏め(仮1冊2通1纏め)		40-288-1~4一袋 紙袋入り(袋上書)「廿三年一月十一日 小児死去二付書類入 名越」
40-288-1	[名越宛受領証一括]			1纏め(3通)		40-288-1-1~3一纏め 折り込み一括
40-288-1-1	証(金受領証)	明治23年1月14日	16.1×20.0	1通	岡田柯一→名越為吉 金20錢の受取証	印刷様式紙を使用
40-288-1-2	証(金受領証)	明治23年1月14日	14.8×19.3	1通	豊永強哉→名越為吉 謝金の受取書	印刷様式紙を使用
40-288-1-3	[金受領証]	明治23年1月14日	16.4×18.2	1通	佐藤薬局→名越 金30錢の受取書	印刷様式紙を使用
40-288-2	[名越為吉宛岡崎証二郎はがき]	(明治)23年1月14日	はがき	1通	御野郡芳田村岡崎証二郎→備中倉敷東大橋内にて名越為吉小児死亡の知らせを聞き、お悔みを述べたもの	付箋が貼付されている(葉書表書)「備中倉敷東大橋内ニテ名越為吉様 御野郡芳田村 岡崎証二郎」
40-288-3	記(金受領証)	(明治23カ)年1月15日	横継紙	1通	戎町神原→東大橋 代金15錢5厘の受取書	
40-288-4	[小児死去音物帳]	(明治23年1月)	半・横長	仮1冊	弔問者・野辺送り参加者の名簿および雑費を記録したもの	
40-289	[大橋高之宛西大寺紡績株式会社株主総代他はがき]	明治31年1月28日	はがき	1通	岡山株主総代委員・倉敷株主総代委員・西大寺株主総代委員→備中国倉敷町大橋高之 臨時総会への出席につき考えを述べたもの	(葉書表書)「備中倉敷町 大橋高之殿」印刷文
40-290	[大橋源助宛神辺菅波一門書状一括]			1括り(3通)		40-290-1~3紙綴りで一括
40-290-1	[大橋源助宛菅波維迪・菅波維廉連署書状]	年未詳2月15日	横折紙	1通	去秋吉辰につき婚儀が首尾よく整ったことを祝したもの	包紙あり(包紙上書)「倉敷大橋源助様 参人々御中 菅波武十郎 同久次郎」(包紙裏書)「従神辺」
40-290-2	[大橋源助宛菅良平書状]	年未詳1月5日	横折紙	1通	新春の祝詞を述べたもの	包紙あり(包紙上書)「大橋源助様 参人々御中 菅良平」
40-290-3	[大橋源助宛菅良平書状]	年未詳1月15日	横継紙	1通	去夏に患った風邪が長引き、九月に上京して福井・小石両家の診察を受け、養生している様子を伝え、不沙汰を詫言したもの	包紙あり(包紙上書)「大橋源助様 上 菅良平」
40-291	北京籠城者負傷者榎原氏の一族	年月日未詳	23.0×15.6	1枚	日本公使館二等書記官義勇兵榎原陳政および夫人政子・令息良一郎の肖像写真	印刷物 読売新聞第八千二百九十七号附録 虫損あり SILティッシュで包む
40-292	[大橋高之宛西大寺山口書状一括]	明治32年12月4~5日		1袋(2通)		40-292-1~2一袋 封筒入り一括 (封筒上書)「備中国倉敷町 大橋高之様 親剪」(封筒裏書)「西大寺町 山口源次郎」
40-292-1	[大橋高之宛山口源次郎書状]	明治32年12月	横継紙	1通	先日突然訪問して久々に高話を聞かせてもらったこと、庭園の菓物を恵贈してもらったことを謝し、依頼した件につき何かあれば遠慮なく至急連絡してくれるよう伝える また、細君の体調不快を見舞う	
40-292-2	[東大橋高之宛山口とふ書状]	年未詳12月5日	横継紙	1通	先日申した事柄を早々に先方に相談してくれるよう依頼したものの縁談の相談	追伸(一寸申上候……)が記された別紙が添付されている 封筒あり(封筒上書)「岡山県窪屋郡倉敷町大字阿智町元大橋御店にて 大橋高之進様 奉呈」(封筒裏書)「兵庫県神戸市上橋通六丁目二百五拾七番地 永野政信 明治廿六年二月廿六日投函ス」 罫紙3枚を使用
40-293	[大橋高之進宛中藤豊吉書状]	明治26年2月		1通	伯父夫婦死去を知って驚き、中藤家の相続ならびに後々の事がどうなったのか知っていたら教えてほしいと伝え、金子6円を恵んでくれるよう懇願したもの	
40-294	[諸入用帳面断簡]	年月日未詳	横折紙	1丁	出産の際授乳してくれた人に対する祝儀や、お波ら口入人に対する世話料支出などの書付	綴じ穴あり もと横長帳の一部と思われる 虫損多
40-295	[大橋源助宛井上権十郎・よし連署書状]	(天保9)年7月2日		1包(2通)		40-295-1~2一包 包紙あり(包紙上書)「備中倉敷中島屋大橋源助様 貴下平安 井上権十郎」(包紙裏書)「七月二日認 従江戸」
40-295-1	[大橋源助宛井上権十郎・よし書状]	(天保9)年7月2日	横継紙	1通	御状を受けとり両人様道中安全に至着の由大慶に存ずる この夏は雨天続きで諸色高値で困っている 植田武右衛門依頼の画幅を送ったが不事届いたか確認してほしい 五郎右衛門はこの節内田清介と改名し御料所手代見習に出役等の通知	
40-295-2	追啓御問二申上候	年月日未詳	横継紙	1通	同苗平右衛門様苗字帯刀願の儀について報告	
40-296	借用申金子証文之事	文久元年酉9月	縦継紙	1通	借主山科屋勝五郎・証人戸屋喜三郎→大橋高之 金10両を借用し 当月晦日までに返済する旨約束したもの	包紙あり(包紙上書)「証文一通」
40-297	[表彰状]	明治29年10月16日	23.0×30.5	1通	浄土宗管長大僧正野上運雲→大橋高之 忠魂祠堂建設賛金 壹円納付	
40-298	領収証書	明治30年4月15~25日	16.4×11.2	1袋(10通)	大橋高之←万寿村収入役員吹和一 金拾壹円拾九錢五厘 他9通	(封筒上書)「三十年四月分上納切符在中」
40-299	領収証書	明治30年1月9~25日	16.8×11.2	1袋(6通)	大橋高之←倉敷町収入役 金七拾五錢四厘 他5通	(封筒上書)「三十年一月上納」
40-300	[領収証書]	明治30年10月27日	13.7×9.0	1袋(1通)	大橋高之←倉敷町収入役高橋士郎 金拾八円六拾錢三厘	(封筒上書)「三十年十月分上納 但本月八倉敷町丈」

40-301	領収証書	明治31年11月28日	16.7×10.8	1袋(6通)	大橋高之←倉敷町収入役大久保源太郎 金壹円六拾九錢五厘他5通	(封筒上書)「卅一年十一月分上納切符」
40-302	領収証書	明治31年9月26~27日	16.8×10.8	1袋(5通)	大橋高之←倉敷町収入役大久保源太郎 金拾円四拾四錢 他4通	(封筒上書)「卅一年九月上納切符」
40-303	領収証書	明治29年11月26日	16.4×11.0	1袋(6通)	大橋寿←万寿村収入役貝吹和一 金四円貳拾貳錢壹厘 他5通	(封筒上書)「廿九年十一月廿六日上納」
40-304	領収証書	明治31年2月22~29日		1袋(11通)	大橋高之←倉敷町収入役高橋士郎 金貳拾六錢五厘 他10通	(封筒上書)「卅一年二月上納切符」
40-305	領収証書	明治31年3月26日	16.5×10.3	1袋(6通)	大橋高之←倉敷町収入役高橋士郎 金九円九拾錢七厘 他5通	(封筒上書)「卅一年三月上納切符」
40-306	領収証書	明治30年3月20~31日	16.7×10.8	1袋(6通)	大橋寿←倉敷町収入役高橋士郎 金九円七拾八錢七厘 他5通	(封筒上書)「卅一年三月納」 封筒が半分に切れているためSILティッシュで包む
40-307	領収証書	明治31年1月14~29日	16.0×10.0	1袋(8通)	大橋高之←倉敷町収入役高橋士郎 金六円五拾叁錢壹厘 他7通	(封筒上書)「三十一年一月上納」 8通が紙縫りで綴じられている
40-308	領収証書	明治31年12月25~27日	17.0×11.2	1袋(4通)	大橋寿←菅生村収入役山地佐五郎 金三拾壹円拾三錢三厘 他3通	(封筒上書)「卅一年十二月上納」 4通が紙縫りで綴じられている
40-309	領収証書	明治31年8月25~27日	16.1×10.2	1袋(7通)	大橋高之←倉敷町収入役大久保源太郎 金八円九拾貳錢九厘 他6通	(封筒上書)「卅一年八月上納切符在中」
40-310	領収証書	明治30年11月25~29日	16.1×11.0	1袋(6通)	大橋高之←倉敷町収入役高橋士郎 金壹円七拾四錢八厘 他5通	(封筒上書)「三十年十一月上納切符」 6通が紙縫りで綴じられている
40-311	領収証書	明治31年4月27日	17.2×11.2	1袋(10通)	大橋高之←倉敷町収入役大久保源太郎 金九円六十七錢 他9通	(封筒上書)「卅一年四月上納」(封筒裏書)「百三十三円七錢一厘」 10通がのりで貼り綴じられている
40-312	領収証書	明治30年8月19~30日	16.0×11.4	1袋(7通)	大橋高之←菅生村収入役山地佐五郎 金五拾貳錢七厘 他6通	(封筒上書)「三十年八円分上納」
40-313	領収証書	明治29年8月25日~9月25日	16.2×11.4	1袋(9通)	大橋寿←倉敷町収入役高橋士郎 金八円参拾貳錢五厘 他8通	(封筒上書)「廿九年八九月上納符」
40-314	領収証書	明治30年5月24~25日	17.4×11.0	1袋(7通)	大橋高之←倉敷町収入役高橋士郎 金壹円三十九錢四厘 他6通	(封筒上書)「三十年五月上納切符在中」 24日分3通・25日分3通がそれぞれのりで貼り綴じられている
40-315	領収証書	明治30年2月25日		1袋(5通)	大橋高之←倉敷町収入役高橋士郎 金拾四円六拾五錢貳厘 他4通	(封筒上書)「三拾年二月上納」 5通が紙縫りで綴じられている
40-316	[東大橋宛藤田用平書状]	明治31年旧2月2日~8月20日		1袋(6通)		40-316-1~6一袋 封筒に入っている(封筒上書)「御東大橋様 平信」(封筒裏書)「卅一年旧二月二日 土手町 藤田用平拜」
40-316-1	[東大橋宛藤田用平書状]	(明治31年)旧2月2日	横継紙	1通	石碑石材手付代のため金拾六円拝借の願いなど	
40-316-2	[東大橋宛藤田用平書状]	明治31年旧6月17日	横切紙	1通	石碑成工延引およびおよび受負金のうち五円借用願	
40-316-3	御石碑見積表	明治31年2月17日	横継紙	1通	倉敷土手町藤田用平→東大橋 石代・文字彫代金などの書上	
40-316-4	受取証	明治31年2月26日	22.9×31.0	1通	藤田用平→東大橋 金拾六円 石碑受負代金之内	罫紙
40-316-5	勘定書	明治31年8月20日	12.4×8.8	1通	中備銀行倉敷支店→守記石次郎	
40-316-6	記上(受取証)	明治31年旧7月9日	横継紙	1通	藤田用平→東大橋 残金五拾六円十六錢	
40-317	領収証書	明治31年10月28~29日	17.0×12.0	1袋(3通)	大橋高之←万寿村収入役秋岡修平 金三円五拾八錢五厘 他2通	(封筒上書)「卅一年十月分納 くら敷及万寿丈」
40-318	書	年月日未詳		1纏め(6通)		
40-319	[書付](縁談親族)	年月日未詳	横折紙	1通	本人十九才 弟妻龍野町今石他	
40-320	[大橋高之宛忠霊堂創立事務所書状]	明治31年4月11日		1纏め(2通)		40-320-1が40-320-2に包まれている
40-320-1	証(受領証)	明治31年4月11日	21.0×25.5	1通	真言宗忠霊堂創立事務所会計課→大橋高之 金壹円五拾錢受領	
40-320-2	[大橋高之宛忠霊堂創立事務所書状]	明治31年4月11日	22.0×27.0	1通	征清において戦死疫没した者のための忠霊堂創立に金壹円を寄付したことに対する感謝状 真言宗忠霊堂創立事務所→大橋高之	
40-321	[書付](田畑地価算用)	年月日未詳	横切紙	1通	総計金八千四百円五十一錢六厘	墨線で抹消されている
40-322	領収証	明治29年8月2日	14.5×14.0	1通	金壹円 忠魂祠堂の創建費を納付 浄土宗広島忠魂祠堂建設事務所→大橋高之	SILティッシュで包む
40-323	証(受領証)	明治44年2月11日	12.8×17.0	1通	児島郡鉾立村近藤敬次郎→倉敷町大橋 金五円拾錢他 玉龍壹挺地代	
40-324	[大橋寿宛名越為吉書状]	明治40年4月6日	横切紙	1通	過日訪問した際は厄介になった その時仕立を頼んだ袴は紐下二尺五分で仕立ててほしい	(封筒表書)「都窪郡倉敷町大橋高之殿内 大橋寿殿 平信」(封筒裏書)「小田郡北川村走出 名越為吉」
40-325	[書画類](捲り)			1まとめ(10枚)		40-325-1~40-325-10がまとめ
40-325-1	[書]	甲寅	32.4×108.6	1枚	心平壽自長	落款「大橋氏 支山仙史書」
40-325-2	[書]	年月日未詳	171.4×32.6	1枚	長松下富有清風	落款あり「支山道人」
40-325-3	[林孚一の書](和歌)	年月日未詳	135.5×34.5	1枚	「あしたよし夕へ亦よし屋も好夢にもふれすよしとこそきけ	落款「孚一」
40-325-4	[書](七言絶句)	年月日未詳	111×32	1枚	風挽飛客送冷声…	落款「金剛山下口城」
40-325-5	[花鳥画]	年月日未詳	134×29.8	1枚		落款「亀水山人」



40-325-6	[水墨画]	年月日未詳	135.5×34.5	1枚	山水図	鉄幹道人の画賛あり
40-325-7	[水墨画]	年月日未詳	111×32	1枚	松に霊芝の図	落款「可竹国直魯岳生」
40-325-8	[書](漢詩)	明治25年	136×17	1枚	長松夜雨奏龍吟	40-325-8と対
40-325-9	[書](漢詩)	明治25年	134×17	1枚	千里春風和帟嘯	落款「真月書」
40-325-10	[書](禅語一行書)	年月日未詳	133×33.6	1枚	独座大雄峯	落款「新邨書」
40-326	大橋幹一墓碑銘					40-326-1と40-326-2が一纏め
40-326-1	[墓石刻文字]	年月日未詳	87×36.5	1枚	東大橋家代々之墓	
40-326-2	[墓石刻文字]	昭和34年2月	56.5×25.5	1枚	昭和34年2月晩翠居士七周忌に迎り大橋幹一建之	
40-327	[書](捲り)			1まとめ(3枚)		40-327-1～40-327-4が一纏め SILで包む
40-327-1	[書](漢詩)	年月日未詳	110×63	1枚	螢雪照星新穿石多年…	落款「楠公遺跡口城書」 SILで包む
40-327-2	[林孚一の書](和歌)	年月日未詳	109.5×63.2	1枚	折にふれて ゆく水をたらひに汲みてなく子等をしはしかりとはと とめつるかな	捲り SILで包む
40-327-3	[書](漢詩)	年月日未詳	111×63.1	1枚	南朝古木鎖寒扉…	SILで包む
40-327-4	[漢文]	年月日未詳	縦継紙	3枚	母の病平癒を祈念し仏に祈る文章か？	三枚それぞれ下部の継ぎ目剥がれ。三通が重ねてある。SILで包む
40-328	[鯉之図]	年月日未詳		1枚	丸山応挙の絵の複製	「製作印刷発行人大阪南区伊織藤兵衛」の印字あり
40-329	[桐隠林翁旌徳之碑百分の一図]	年月日未詳	39×27.3	1枚	鶴形山公園に建立された林孚一旌徳碑の百分の一図	SILで包む
40-330	[書]	年月日未詳	130×35	1枚	夏雲多寄峰	捲り
40-331	[俳句]	年月日未詳	縦紙	1枚	きのふも今日も雪ハふりつつ年御神 大はしな女	
40-332	[俳句]	年月日未詳	縦切紙	1枚	秋はきの咲ちる野への夕露に	
40-333	[手習い書]	年月日未詳	縦紙	1枚	大橋なかの書	
40-334	[大橋なかの和歌]	年月日未詳	縦紙	1枚	千歳迄限れる松もけふより八君に引かれて万代やへむ 大橋なか女	
40-335	[大橋なかの和歌]	年月日未詳	縦紙	1枚	春霞たつるや何処みよしのの吉野の山に雪はふりつつ 大橋なか女	
40-336	[大橋なかの和歌]	年月日未詳	縦紙	1枚	朝日さす峯のしら雪むら消えてはるの霞ハたな引にけり 大橋なか女	
40-337	[徳蔵の書]	年月日未詳	縦紙	1枚	依松根而千年之翠 満年	
40-338	[大橋秀太郎吉書]	年月日未詳	縦紙	1枚	不老門前日月遅	
40-339	[大橋みつ吉書]	年月日未詳	縦紙	1枚	家中の八重山ふきハ一夏たに	
40-340	[大橋みつ吉書]	年月日未詳	縦紙	1枚		
40-341	[大橋なかの俳句]	年月日未詳	縦紙	1枚	七夕の衣のつまはこころして 大橋なか女	
40-342	[大橋なかの俳句]	年月日未詳	縦紙	1枚	時鳥なくや五月のみしか夜も 大橋なか女	
40-343	[書付](漢文)	年月日未詳	縦紙	1枚		
40-344	[書付](元旦祝い句)	年月日未詳	縦紙	1枚		
40-345	[消息]	年月日未詳	縦紙	16枚		SILティッシュで包む
40-346	[書画類]			1まとめ(13枚)		40-346-1～40-346-13が一纏め
40-346-1	[書]	年月日未詳	133.6×51.6	1枚	篆書	捲り 虫損大
40-346-2	[書]	年月日未詳	130.4×50.8	1枚	松北原南草色新	40-346-1と同じ作者 捲り 破損・虫損大
40-346-3	[書]	年月日未詳	102×29.4	1枚	花迎嘉宗仕志笑	捲り
40-346-4	[山水図]	年月日未詳	100.8×39	1枚		有隣の落款あり 捲り
40-346-5	[書]	年月日未詳	96.4×32.4	1枚	孝婦忠信	周山の印あり 捲り
40-346-6	[書]	年月日未詳	133.6×29.6	1枚	林花点竹粗成字山鳥呼 自有名	安斎の落款 捲り
40-346-7	[書]	年月日未詳	132.4×29.6	1枚	花間鳥自鳴	安斎の落款 捲り
40-346-8	[書]	年月日未詳	138.4×36.2	1枚	客散茶甘留舌本睡余書味在胸中	牧野雲洞の落款 付箋「第二百廿四号牧野雲洞」 捲り
40-346-9	[梅之図]	年月日未詳	135.2×29.6	1枚		台溪の落款
40-346-10	[和歌]	年月日未詳		1枚	昨日けふ降りしきりたる五月雨二なく音しめらぬ山郭公	
40-346-11	[書]	年月日未詳	66.6×28.6	1枚	江碧鳥逾白山青欲花燃	牛浦山人の落款
40-346-12	[梅に弓矢之図]	年月日未詳	33.2×47.2	1枚		秋雪の落款
40-346-13	[山水図]	年月日未詳	106.4×47.6	1枚		捲り
40-347	[書画類]			1包(7枚)		40-347-1～40-347-7が包紙にくるまれている
40-347-1	[野田笛浦の書]	年月日未詳	30×25	1枚		
40-347-2	[野田笛浦の書]	年月日未詳	25×12	1枚		
40-347-3	[野田笛浦の書]	年月日未詳	26×19	1枚		
40-347-4	[書]	年月日未詳	111×32.4	1枚		二枚が一纏め
40-347-5	[山水図]	年月日未詳	125×32	1枚		
40-347-6	[野田笛浦の書]	年月日未詳	26.5×54	1枚		
40-347-7	[雲来の書]	年月日未詳	44×131	1枚	香雲軒	大橋晩翠之宅前云々の款記あり

40-348	[大橋高之宛大橋千之甫書状]	年未詳3月8日	横継紙	1通	小生の訪問は十三日以降になるので持参したい品だけ先にする。山鳥三羽大橋伯父、妹尾先生、佐藤先生に他に杖を大橋伯父・三宅へ送りたい。	(封筒上書)「備中倉敷町 大橋高之様 要用」(封筒裏書)「作州二宮村大橋千之甫」継ぎ目が剥がれ三枚になっている
40-349	[大橋高之宛大谷正吉書状]			1袋(2通)		(封筒上書)「岡山県備中国窪屋郡倉敷町大橋高之様 貴酬」(封筒裏書)「播磨国佐用郡西庄村大谷正吉」
40-349-1	[大橋高之宛大谷正吉書状]	明治28年10月26日	横切紙	1通	二宮祭礼に罷り出るべきところ農繁中遺憾ながら無沙汰にしている。明春には伺いたいと思っている	
40-349-2	副伸	明治28年10月26日	横切紙	1通	御閑暇の節には出浮ください。宮家の皆様へもよろしく	40-349-1の追伸
40-350	[大橋源助宛井上権十郎書状]	年未詳5月16日	横継紙	1通	この度御一統様御出府と聞き楽しみにしていたが御不快にて代人出府の由残念である。ご依頼の米庵の書の扇面紙、永海の画は植田様へ頼んだので定めてご入手の事と存ずる	(包紙上書)「倉敷 大橋源助様 貴下平安 江戸 井上権十郎」(裏書)「五月十六日」
40-351	[中島屋源助宛井上よし書状]	年未詳2月23日	横継紙	1通	去年は久々に御目文字かない嬉しく存じました。扇と絹地をかど屋より差し上げた。届いていると思うが何の沙汰もないので心配している	(包紙上書)「備中倉敷 中島屋源助様 無別条 江戸 井上権十郎」(裏書)「二月廿三日 亥三月三日」
40-352	[大橋高之宛西大寺紡績専務取締役社長田中森太郎葉書]	明治30年8月15日	葉書	1通	株金払い込みの依頼	
40-353	[金助疵負候一件関係書類]			1袋(2冊・7通)		40-353-1~40-353-9が袋入り(袋表書)「柿木地内おみて倉鋪村綱太郎・清六厄介人金助疵請候一件書類在中」袋破損大。SILで包む
40-353-1	口演	年未詳	横継紙	1通	御願書面の手入れにつき写書の中村様・内田様へ差し出す。加筆の有無、中村様へ差し出して差し支えないか等病中のため口上で問い合わせ依頼する。	大助→大橋
40-353-2	容体書	年月日未詳	縦継紙	1通	金助の傷の状態説明。金創治療し創口を縫合し服薬を用いた。重症ではないが変症もあるかもしれない	島田方軒門人佐藤方栄 柿木村加藤杏齋→大竹左馬太郎・御出役内田邦治・同長谷川仙助
40-353-3	容体書	年未詳4月23日	縦継紙	1通	綱四郎今日の診察結果、傷の箇所、深さなど。絶食大患の上治療延引につき紫胡四物湯を投薬した	島田方軒門人佐藤方栄 柿木村加藤杏齋→倉敷村御役人
40-353-4	容体書	年未詳4月23日	縦継紙	1通	金助疵の状態と投薬について。	島田方軒門人佐藤方栄 柿木村加藤杏齋→倉敷村御役人
40-353-5	容体書	戊(文久2)年4月24日	縦継紙	1通	綱四郎創口に膿を生じ危篤になったので心配していたがお役人様出張内見の上投薬治療し服薬させた	島田方軒門人佐藤方栄 柿木村加藤杏齋→大竹左馬太郎・御出役内田邦治・同長谷川仙助
40-353-6	乍恐以書付御吟味下奉願上候	年月日未詳	横継紙	1通	備中国窪屋郡倉敷村綱四郎・同村正六厄介人金助・同郡軽部村の内柿木ふて達が下道郡矢田村岩五郎・同郡嵯峨野村長四郎・惣兵衛・常蔵・無宿助六・久太郎・石五郎らに傷を負わせた件の内済願の下書	文中貼書あり
40-353-7	文久二壬戌年四月廿二日夜当郡軽部村之内柿木於知内倉敷村綱四郎・金助并柿木ふて被為疵負候二付御検使願口書写	文久2年	半・縦半	1冊	倉敷代官手代・手付、松平内蔵頭家来、伊藤播磨家来、蒔田権左家来あて願書の写	
40-353-8	乍恐以書付御吟味下奉願上候	文久2年10月	縦継紙	1通	綱四郎・金助・ふてが疵を負わされた件の内済につき御下願	倉敷綱四郎ほか25名→大竹左馬太郎お役所(奥書)「綱四郎他二十五人」
40-353-9	文久二壬戌年四月廿二日 相生町綱四郎浜田町金助於柿木村疵被為疵負候一件手飛賀恵 窪屋郡倉敷村年寄敬之介	文久2年4月22日	美・横半	1冊	金助疵負一件についての年寄敬之介の手ひかえ帳。柿木村への出張、その後の十月十七日までの成り行きが記されている	
40-354	[大橋高之宛大橋賢之甫書状類]			1袋(1通・1纏め)		
40-354-1	岡山県尋常中学校児島行軍日記	明治23年11月11日~14日	23.6×32.1	3枚	16里の行軍記の概略	
40-354-2	[大橋高之宛大橋賢之甫書状]	明治23年11月16日	23.3×32.5	1通	この度の行軍は新聞紙上でもご承知のことと思うが行軍見聞記を通知するので御笑覧下されたい	
40-355	文久二戌年二月より諸ひかえ	文久2年2月20日~3月21日	美・横長	仮1冊	大橋敬之助が津山へ出かけた際の入用帳。駄賃・宿賃・酒代などの書付	藤本十兵衛ら津山藩士らとの交遊がわかる
40-356	[宛名不詳某書状]	年月日未詳	横継紙	1通	春以来混雑一件につき村々頭取の者庭瀬へ呼び出し吟味の事。庭瀬郡方等江戸表へ召し出しのことなど	
40-357	[御置米貯穀返納高書上]	年月日未詳	横切紙	1通	米三斗六升四合 久兵衛 他一筆	
40-358	去午高辻借差引	年月日未詳	横継紙	1通	銀六貫目 午十二月新注文渡	
40-359	[書付](仏具)	年月日未詳	横継紙	1通	位牌・竹経など	
40-360	記(諸支払算用書)	年月日未詳	横継紙	1通	足袋五足 米六升ほか	
40-361	[大橋源介宛綱島三蔵書状]	年未詳8月8日	横継紙	1通	一件は何の沙汰もなく日を送っている。その他近況報告など。	(包紙上書)「大橋源介様 貴下 綱島三蔵」(包紙裏書)「八月八日付 井上権十郎書状一通入 江戸外神田松永町紀伊国屋利八方方出ス」
40-362	[大橋源助宛菅良平・江原延次書状]	年未詳7月18日	横折り紙	1通	吉辰婚儀の祝儀送付について	(包紙上書)「大橋源助様 人々御中 菅良平・江原延次」
40-363	献立	年月日未詳	横継紙	1通	上下50人前など	
40-364	[袋]	明治19年11月4日		1枚		(袋表書)「明治十九年十一月四日如実覚道天姉凶事之節書書付在中陰曆十月九日死」袋のみ
40-365	[大橋伯母宛静子書状]	年未詳12月5日	横継紙	1通	荷物送付のお礼。桃割頭飾お送り下されたい	(封筒上書)「備中倉敷町新川 大橋寿様」(封筒裏書)「十二月十五日 児島郡郷内村 宮家末子」
40-366	[大橋叔父宛宮家末子書状]	年未詳11月26日	横継紙	1通	役場納金に困り拾円ほどご送金願いたい	(封筒上書)「都窪郡倉敷町 大橋高之様」(封筒裏書)「十一月二十六日 児島郡林 宮家末子」

40-367	[年賀状]	年未詳正月1日	9.0×12.4	1通	桑田富五郎から大橋高之宛の年賀状	(包紙上書)「備中倉敷町 大橋高之様 御一同様」
40-368	[大橋高之宛永富左右書状]	明治28年5月11日	20.6×14.9	1通	書留帳種々御配慮御礼など	便箋(封筒上書)「備中倉敷町 大橋高之様」(封筒裏書)「播州揖保西町半田村 永富左右」
40-369	[大橋高之立石鶴葉書]	明治29年3月7日	葉書	1通	昨年お出の節依頼した洗い張りをお送りくださりたい	葉書
40-370	[大橋高之宛永富敏夫葉書]	明治29年3月27日	葉書	1通	無沙汰の詫び。そのうち拝眉の上申し上げる	葉書
40-371	[大橋高之宛浦上春帆葉書]	明治24年11月12日	葉書	1通	地震は東京同様格別の事はなく、4、5分位の振動。御地も鉄道ができますます賑わしいことと存ず	(葉書表書)「岡山県備中国倉敷阿智町にて大橋高之様 埼玉県大宮町百廿九番地 尾熊森太郎方浦上春帆」
40-372	[大橋高之宛東久世執事葉書]	明治39年5月30日	葉書	1袋(1通)	主人へ揮毫依頼につき紙本でよければ近日認めるが紙本をお望みならば至急御廻送されたい	葉書(封筒上書)「備中国倉敷町 大橋高之殿」(封筒裏書)「七月廿九日 東京市麻布区本村町百八番地 東久世家扶」封筒の中に葉書入り
40-373	[大橋高之宛永富勉書状]	年未詳9月12日	25.5×18	1通	医学に対する思い。下宿を移転したいので心当たりがあれば紹介してほしい	罫紙(封筒上書)「岡山県備中倉敷町 大橋高之様」(封筒裏書)「九月十二日 大阪市中之島高等学校参学年生徒 江戸堀南通寺丁目十九地 平賀寿満方 永富勉 拝」
40-374	[大橋高之宛大谷章吉葉書]	明治38年3月14日		1通	病期見舞状の礼。今晚退院したので御安意下されたい	(葉書表書)「備中国都窪郡倉敷町 大橋高之様 岡山市内山下三松館 大谷正吉」
40-375	記(表装料書付)	大正時代		1通	玉枝女史雛之図表装料 軸代 送料等 拾余四円	罫紙 封筒あり(封筒上書)「大橋高之様 目録書在中」(封筒裏書)「(印刷)京都市間之町通姉小路上ル御表具師三浦信造」
40-376	[大橋高之宛小島正太郎書状]	大正3年10月4日	横継紙	1通	結納持参の日程につき貴家ご都合伺い	(封筒上書)「大阪市北浜浜通二丁目 大橋氏内大橋高之様 大急親展」(封筒裏書)「備後沼隈郡郷分村小島正太郎 十月四日朝」
40-377	領収証書(税金)	大正4年1月	16.7×10.9	1袋(11通)	大正3年度分 倉敷町・万寿村・菅生村→大橋高之・寿	(封筒上書)「大正四年一月納」
40-378	[大橋高之宛三越大阪支店書状]			1袋(4通)		40-378-1~40-378-4が封入(封筒上書)「備中倉敷町 大橋高之様」(封筒裏書)「(印刷)三越呉服店大阪支店藤村」
40-378-1	記(請求書)	大正2年4月27日	35.9×17.7	1通	八拾四円四銭 三越呉服店→大橋高之	
40-378-2	[請求書]	大正3年9月30日	26.4×17.7	1通	62円54銭呉服代 三越呉服店→大橋高之	
40-378-3	記(領収書)	年未詳12月16日	17.8×29	1通	八百円 三越呉服店→大橋高之	
40-378-4	記(請求書)	大正3年11月9日	19.4×21.6	1通	七円七十銭 布大 たかしまや飯田大阪呉服店→御上様	
40-379	[大橋高之宛津田周次郎葉書]	大正3年1月1日		1通	年賀状	葉書
40-380	[大橋高之宛立石岐書状]	大正3年8月31日	横継紙	1通	来月上旬参上予定。南瓜四個差し出すことなど	(封筒上書)「備中倉敷町大橋高之様」(封筒裏書)「美作二宮邨 立石岐」
40-381	[大橋高之宛本間貞郎書状]	大正3年11月20日	横継紙	1通	縁談につき原田に問い合わせのこと	(封筒上書)「備中倉敷町大橋高之様」(封筒裏書)「播磨龍野町 本間貞郎」
40-382	記(請求書)	大正3年11月9日	19.2×21.3	1通	たかしまや飯田大阪呉服店	
40-383	[大橋高之宛高柳仰之書状]	大正4年2月8日	23.8×16.5	1通	借家探しなど、近況報告	便箋(封筒上書)「岡山県備中国倉敷町 大橋高之様 親展」(封筒裏書)「二月八日夜 大阪市北浜二丁目勝本法律事務所 高柳仰之」
40-384	[大橋高之永富勝質書状]	大正3年5月6日	横継紙	1通	軸物四葉汽車便にて送付。表装の世話依頼	(封筒上書)「備中国倉敷町 大橋高之様」(封筒裏書)「(印刷)兵庫 県揖保郡半田村 永富勝質」
40-385	[大橋省三宛名越豊葉書]	年未詳8月14日	葉書	1通	別府からの絵葉書	
40-386	[大橋省三宛名越ノ兄サン葉書]	年未詳9月7日	葉書	1通	絵葉書	
40-387	[大橋励二宛名越豊葉書]	年未詳8月14日	葉書	1通	旅先別府の宿からの絵葉書 近々耶馬溪探勝のつもり	
40-388	[大橋高之宛桑田富五郎書状]	大正6年8月10日	横継紙	1通	娘松恵縁談につき片山健氏より紹介のこと	(封筒上書)「備中倉敷町 大橋高之様 親展」(封筒裏書)「八月十日 備後鞆町 桑田富五郎」
40-389	[大橋高之宛桑田富五郎書状]	年未詳12月27日	横継紙	1通	縁談の件につき横尾家親族書拝見の願い	(封筒上書)「備中倉敷町 大橋高之様 親展」(封筒裏書)「十二月廿七日 備後鞆町 桑田富五郎」
40-390	[大橋励二宛名越豊葉書]	明治43年9月17日	葉書	1通	東京からの絵葉書 返事を待っています	
40-391	証(謝儀受納)	19年11月14日	横切紙	1通	金拾円の受け取り 小川智彰→大橋	
40-392	[戸籍謄本手数料領収書]	明治34年5月18日	横切紙	1通	金拾銭 亡大橋秀太郎分 倉敷町収入役大久保源太郎→大橋高之	
40-393	[大橋高之宛小橋鉄男葉書]	年未詳7月10日	葉書	1通	有隣生命保険契約につき本社諾否不明の件	(表書)「備中窪屋郡倉敷町 有隣生命保険株式会社代理店 大橋高之殿」(差出人)「窪屋郡中島村大字水江 小橋鉄男」
40-394	貯蓄預金通帳(大橋寿)	明治28年12月29日 ~30年7月13日		1冊	株式会社岡山貯蓄銀行の預金通帳	
40-395	[書状類]	明治43年4月22日 ~大正6年5月20日		1括り9通1袋		40-395-1~40-395-10が一括り
40-395-1	[封筒]	年月日未詳		封筒	封筒のみ	(封筒上書)「倉敷市新川町 大橋高之殿 (揮毫物在中)」(封筒裏書)「久米郡稲岡南村誕生寺 三月廿九日」
40-395-2	[大橋高之宛立石岐書状]	(大正)5年 8月20日	横継紙	1通	小鯛たくさん贈与への礼。幹一君発熱その後全快。宮島へ同伴した際の旅費についてはご心配に及ばないこと	(封筒上書)「備中倉敷町 大橋高之様」(封筒裏書)「苫田郡二宮村 立石岐」
40-395-3	[大橋高之宛立石岐書状]	年未詳5月27日	横継紙	1通	先日は久しぶりにご光来下さったのに玉島へ行く約束があつて失礼した。その節は結構なお土産を頂き有難い。稚子様ら逗留下さり皆大喜びしている。小生は本日岡山で結婚式出席のため稚子様がお帰りになるのに同伴させて頂く	(封筒上書)「大橋高之様 貴下」(封筒裏書)「立石岐」
40-395-4	[大橋高之宛立石岐書状]	年未詳11月17日	横継紙	1通	先日訪問の際款待の礼。欽一へ鶏を贈与の礼。欽一の近況など	(封筒上書)「備中倉敷町 大橋高之様」(封筒裏書)「苫田郡二宮村 立石岐」
40-395-5	[大橋寿宛吉書状]	年未詳2月10日	横切紙	1通		

40-395-6	[大橋高之宛立石岐書状]	大正元年8月5日	横継紙	1通	可女子さんの見舞いに伺う積りでいたところ天皇崩御につきご無沙汰した。早く全快することを祈る。別封にお菓子・南瓜3個送るので一個は西大橋にお届け下さい	(封筒上書)「備中倉敷町 大橋高之様」(封筒裏書)「八月六日 美作二宮 立石岐」
40-395-7	[大橋高之宛立石岐書状]	明治43年4月22日	横継紙	1通	東京での婚儀が首尾よく整い目出度い。御宗家伯父様の具合が悪くなったがすぐ回復され安心。結納の日が決まった由、月末までには私も見舞いに参上する	(封筒上書)「備中倉敷町 大橋高之様」(封筒裏書)「苫田郡二宮村 立石岐」
40-395-8	[大橋高之宛立石岐書状]	明治43年2月6日	横継紙	1通	尊瀧院の件につき上京なされ好都合の趣。同慶の至りに存ず。ご相談の趣は至極宜しいと存じすぐ回答すべきところ郡会開会後ある問題で大紛争を起こし延引した。中旬までには伺う積りでいるが血統相続は他の決答次第と存ずる	(封筒上書)「備中倉敷町 大橋高之様」(封筒裏書)「二宮 立石岐」
40-395-9	[大橋寿子宛立石想書状]			1袋2通		4-395-9-1~40-395-9-2が封筒入り(封筒上書)「都窪郡倉敷町 大橋寿子様 御許へ」(封筒裏書)「五月廿日 苫田郡二宮村 立石想」
40-395-9-1	[まさこ宛立石想書状]	大正6年5月20日	横継紙	1通	お母様はじめ妹様方お越し下さり喜ばしい。先日省三様修学旅行で当地へお出になったが時間がなく少ししか話せなかった。久しぶりに会ったが大きくなっていて驚いた	
40-395-9-2	[大橋寿子宛立石想・鶴書状]	大正6年5月20日	横継紙	1通	先日は久しぶりに皆様にお越し頂きお土産を頂戴しありがたい。省三修学旅行で立ち寄ってくれたが時間がなくおもてなしできなかった。若芽少々送るので御笑味下されたい	
40-395-10	[大橋高之宛立石岐・想書状]			1袋2通		40-395-10-1~40-395-10-2が同封
40-395-10-1	[大橋高之宛立石岐書状]	(大正8年)5月21日	横継紙	1通	上京の際は欽一を訪問下さり所々召し連れ下さり有難い。宗家大人鞆の浦へ観光の由、喜ばしい	(封筒上書)「備中倉敷町 大橋高之様」(封筒裏書)「苫田郡二宮村 立石岐」
40-395-10-2	[大橋高之宛立石想書状]	(大正8年)5月21日	横継紙	1通	高之上京中欽一が世話になり有難い。雅子様近々東京にお住いの由、秋には幹一様も上京されるので心強いであろう	
40-396	[大橋高之宛大橋伴書状]	明治43年9月9日	横継紙	1通	先日守屋上京の節にお見舞いとして何よりの品をありがとう。病は次第によく今月中には床を離れることができそうなのでご安心下さい	(封筒上書)「備中倉敷町 大橋高之様」(封筒裏書)「九月九日 東京青山高樹町一ノ三 大橋伴」
40-397	[大橋高之宛大谷五左衛門書状]			1括り4通		40-397-1~40-397-4が一括り
40-397-1	[大橋晚翠宛大谷活泉書状]	明治43年8月26日	横継紙	1通	庄七郎縁談につき本人は三年ほど見合わせたいと言っているが 良い娘さんがおられたら気にかけて頂きたい	(封筒上書)「岡山県備中国都窪郡倉敷町 大橋高之様」(封筒裏書)「播磨国佐用郡西庄村大谷五左衛門」
40-397-2	[大橋高之宛大谷五左衛門書状]	(大正8年)2月22日	横継紙	1通	病氣見舞状ありがとう。快方に向かっているので安心してほしい。その他頭痛を急発し医師の診察を受けたことなどの報告	(封筒上書)「岡山県備中国倉敷町 大橋高之様」(封筒裏書)「二月廿二日午後認め 兵庫県武庫郡須磨町 大谷五左衛門」
40-397-3	[大橋高之宛大谷五左衛門書状]	年未詳11月14日	横継紙	1通	来月十九日より亡父の法事を執行するのでお越し頂きたい	(封筒上書)「岡山県備中国都窪郡倉敷町 大橋高之様」(封筒裏書)「兵庫県佐用郡西庄村 大谷五左衛門」
40-397-4	[大橋高之宛大谷五左衛門書状]	(大正6年)7月8日	横継紙	1通	結構な洋画をお送り頂き有難い。須磨遊園地より豹が脱走し付近の者は心配していたが奥山へ走り込み不明の次第ご承知下されたい	(封筒上書)「岡山県備中国倉敷町 大橋高之様 貴酬」(封筒裏書)「兵庫県佐用郡西庄村 大谷五左衛門」
40-398	[大橋高之宛宮家普書状]	明治32年8月	横継紙	1通	借入金につき依頼。井原井の決算書類は二、三日中こちらより送付	(封筒上書)「備中倉敷町字新川 大橋高之様」(封筒裏書)「宮家普」
40-399	[大橋高之宛木尾豊三郎書状]	明治32年9月5日	横継紙	1通	病氣見舞いへの礼。無事表記の所に宿泊中。風景の良い場所で暫く逗留の積りである。	(封筒上書)「備中倉敷町 大橋高之様」(封筒裏書)「九月五日備後国糸崎茶孫方 木尾豊三郎」
40-400	[大橋高之宛讓太郎書状]	明治30年8月21日	横切紙	1通	病氣回復につきご迷惑をおかけしたことについて。お送りした書面を御返送下されたい	(封筒上書)「岡山県窪屋郡倉敷町 大橋高之様 親展」(封筒裏書)「在東都 辱知之友 八月廿一日後后」
40-401	封筒	明治30年8月10日	封筒	1枚		封筒のみ(封筒上書)「岡山県窪屋郡倉敷町 大橋高之様 親展」(封筒裏書)「八月十日 在京 辱知之友」
40-402	[大橋高之宛柳一書状]	年未詳5月7日	横継紙	1通	亡父五年回忌への出席願い	(封筒上書)「大橋高之様 貴下」(封筒裏書)「五月七日 岡田拝」
40-403	[大橋高之宛大橋千之甫書状]	年未詳9月26日	横継紙	1通	金拾円借用願い	(封筒上書)「大橋高之様 懇配を乞」(封筒裏書)「大橋千之甫」
40-404	[大橋高之宛原邦三郎書状]	年未詳19日	横継紙	1通	冊子、長々拝借のお詫びと礼	(封筒上書)「大橋高之様 返趙」(封筒裏書)「(朱印)原邦三郎」
40-405	[大橋高之宛大橋平右衛門書状]	大正12年2月	横折紙	1通	家督相続襲名の挨拶文	(封筒上書)「大橋高之様」(封筒裏書)「岡山県倉敷町 大橋平右衛門」
40-406	[大橋高之宛石原徳次郎書状]	(大正)5年4月4日	横継紙	1通	縁談について問い合わせ。森氏は貴家の親族やあるいは片山氏の親族か参考までにお伺いする	(封筒上書)「窪屋郡倉敷町 大橋高之様 親展」(封筒裏書)「四月四日 玉島新町 石原徳次郎」
40-407	[大橋高之宛佐藤河合子書状]	(大正)4年7月6日	横切紙	1通	中州先生の書の代金送付が遅くなり申し訳ない。本日郵便小為替で金五円を送ったので落手下されたい	(封筒上書)「窪屋郡倉敷町 大橋高之様 親展」(封筒裏書)「児島郡琴浦村字下村 佐藤保孝」
40-408	[大橋高之・寿子宛名越豊・文書状類]	大正3年~大正11年		1括り 21通		40-408-1から40-408-17が一括り
40-408-1	[大橋寿子宛名越豊書状]	大正6年7月3日	横継紙	1通	かねてより東京に永住の積りなので笠岡北川の土地を売却したいと考えている。それについての相談に回答いただきたい	(封筒上書)「窪屋郡倉敷町 大橋高之様 親展」(封筒裏書)「小田郡笠岡町 名越豊 七月三日」
40-408-2	[大橋寿子宛名越文書状]			1袋2通		40-408-2-1+40-408-2-2が同封
40-408-2-1	[大橋高之・寿子宛名越文書状]	大正5年6月6日	20.7×26	1通	郷分一件についてお世話になったお礼を申し上げたいと思いながら延引したことへの詫びと近況報告	洋紙(封筒上書)「窪屋郡倉敷町 東大橋様 御内人」(封筒裏書)「北川むら名越文 六月五日」
40-408-2-2	[大橋寿子宛名越文書状]	大正5年6月6日	20.7×26	1通	豊の縁談。セルの服の拵え。台所勝手不便のことなど	40-408-2-1の二伸
40-408-3	[大橋寿子宛名越文書状]	大正 3月14日	横継紙	1通	高之の世話で婚姻が整ったことへの礼。先方土産物が取り紛れていたため叔母さまがお帰りの節にことづける	(封筒上書)「都窪郡倉敷町字新川 大橋寿子様 御許へ」(封筒裏書)「北川むら 名越文 三月十四日」
40-408-4	[大橋高之宛名越豊書状]	大正 3月14日	横継紙	1通	伴の幸田家から電報が届き松恵が分娩。女子誕生。母子ともに無事である	(封筒上書)「都窪郡倉敷町 大橋高之様」(封筒裏書)「小田郡笠岡町 名越豊 三月十四日」

40-408-5	[大橋寿子・雅子宛名越文書状]	大正7年12日5日	横継紙	1通	法事出席後の挨拶状。雅子様より結構な袋を頂戴したことへの礼、近況報告など	(封筒上書)「都窪郡倉敷村 大橋寿子様 御許へ」(封筒裏書)「小田郡北川村 名越文夫 十二月六日」
40-408-6	[大橋寿子宛名越文書状]	大正8年1日25日	横切紙	1通	米子復縁が俄かに決まった。二度目なので略式に済まず積り。お二方のうちどちらか一人御足労願いたい	(封筒上書)「都窪郡倉敷村 大橋寿子様 御許へ」(封筒裏書)「北川村 名越文夫 一月廿五日」
40-408-7	[大橋高之宛名越豊書状]	大正6年7月18日	横切紙	1通	先日相談の田地売却の件につき本家兄・佐藤伯母も異議なしとのことでいよいよ決心を固めた。いずれ明王院から意見を伺うことになるであろうから宜しく願いたい	(封筒上書)「都窪郡倉敷村 大橋高之様」(封筒裏書)「小田郡笠岡町 名越豊 七月八日」
40-408-8	[大橋寿子宛名越文書状]	大正4年3月29日	横継紙	1通	豊の縁談の事など。近況報告	(封筒上書)「都窪郡倉敷町字新川 大橋寿子様 御マイクロソフトへ」(封筒裏書)「小田郡北川村 名越文 三月廿九日」
40-408-9	[大橋寿子宛名越豊書状]	大正3年6月30日	横切紙	1通	父が逝き今は頼りない身なので何かとお世話になると思う。東京の仮住居は比較的便利。学校は休暇になったので来月中ごろには帰省したい。その時はお邪魔するつもりである	(封筒上書)「岡山県都窪郡倉敷町 大橋寿子様」(封筒裏書)「東京府豊島群巢鴨村宮仲二四九六 名越豊 六月三十日」
40-408-10	[大橋寿子宛名越文書状]	大正6年10月10日	15×21.6	1通	豊の縁談のことなど近況。	日記用紙二枚に記入(封筒上書)「都窪郡倉敷町 大橋寿子様 御返事」(封筒裏書)「北川村 名越文夫 十月十日」
40-408-11	[大橋寿子宛名越豊書状]	大正 3月14日	横継紙	1通	ご依頼の油画は寸法をお知らせ下さればお送りする。縁談についての報告。預かっている写真は一時お返しするのでお受け取り頂きたい	(封筒上書)「都窪郡倉敷町 大橋寿子様 親展」(封筒裏書)「小田郡笠岡町 名越豊 十月七日」
40-408-12	[大橋寿子宛名越文書状]	明治45年2月21日	横継紙	1通	仁三郎がそちらに伺い菓子や生け花についてご相談したいと言っているので差し支えないかお申し越してください。帰宅後何かと取り込んでいた事の報告など	(封筒上書)「都窪郡倉敷町 大橋寿子様 親展」(封筒裏書)「走出 名越文夫 二月廿四日」
40-408-13	[大橋寿子宛名越豊書状]			1袋3通		40-408-13-1~40-408-13-3が同封
40-408-13-1	[大橋寿子宛名越豊書状]	大正4年2月27日	横継紙	1通	前便封入し忘れた釣書を送ったこと。写真が届き容姿は大して良くないが人柄は確かなので家持するには最も適当で候補中最も気に入っている	40-408-13-2が40-408-13-3を内包
40-408-13-2	[大橋姉上宛名越豊書状]	大正4年2月27日	横継紙	1通	縁談につき中川横太郎親族大西家の分は家柄は岡山藩士だがいかがであろうか。別紙親族書をお送りするのでご覧頂きたい	
40-408-13-3	[大西道釣書]	年月日未詳	横継紙	1通	大西道の釣書 父は文学博士大西祝	
40-408-14	[大橋寿子宛名越文書状]	大正5年6月11日	20.5×28	1通	先日仁三郎参上の節は色々接待に預かりお礼申し上げます。郷分の一件は私も諦めているが米子の仕打ち腹立たしく又お伺いした節にお話したい	洋紙二枚(封筒上書)「都窪郡倉敷町 大橋寿子様 御許」(封筒裏書)「北川村 名越文 六月十一日」
40-408-15	[大橋寿子宛名越豊書状]	大正5年10月7日	横継紙	1通	縁談について色々ご配慮頂きたい。伯母の法要の帰途十五日頃お伺いし相談したい	(封筒上書)「都窪郡倉敷町 大橋寿子様 貴酬」(封筒裏書)「小田郡笠岡町 名越豊 十月七日」
40-408-16	[大橋幹一宛名越豊書状]	大正11年3月25日	横継紙	1通	名越豊の上京の件について日付を二十六日に定めていたが健康を害し延期する可能性があるが下宿はそのままにしておいてほしい。上京できぬ時は解約しお支払いをお願いします	(封筒上書)「東京市本郷区荻町十四吉澤館 大橋幹一様 至急親展」(附紙)「右宛名人八岡山倉敷町十五へ御廻送被下度候 直記」(封筒裏書)「岡山県笠岡町 名越豊 三月二十五日」
40-408-17	[大橋高之宛名越豊書状]	大正8年4月4日	横継紙	1通	禎四郎退院の祝いと産着を下されたことへの礼	(封筒上書)「都窪郡倉敷町 大橋高之様 侍史」(封筒裏書)「小田郡笠岡町 名越豊 四月四日」
40-409	[大橋高之宛書状類]	明治37年12月30日 ~大正12年2月14日		1括り37通		40-409-1~40-409-36が一括
40-409-1	[大橋高之宛永富敏夫書状]	大正元年8月8日	22.6×12.3	1通	縁談についての回答。龍野の方は名家でないのでこちらの方は自然消滅と考えることなど	絵入便箋(封筒上書)「都窪郡倉敷町 大橋高之様」(封筒裏書)「(朱印)播磨国揖保郡半田村字新在家 永富敏夫」
40-409-2	[大橋高之宛永富敏夫書状]	大正8年9月25日	横継紙	1通	縁談紹介について。この度ご照会の加東郡大門村の件は謝絶なさるが宜しいと存ずる	(封筒上書)「備中国倉敷町 大橋高之様 必親展(朱印)播磨国揖保郡半田村字新在家 永富敏夫」
40-409-3	[大橋高之宛永富敏夫書状]	年未詳2月13日	横継紙	1通	御実母様のお体の具合はいかがかお知らせ下さい。患息縁談の相手を求めているが良い人が見当たらない。良い人があればお知らせ下さい。例の女性は小生家風と合わない。農家の者が良い	(封筒上書)「備中国倉敷町 大橋高之様 平信」(封筒裏書)「播州揖保郡半田村 永富敏夫」
40-409-4	[大橋高之宛永富敏夫書状]	明治45年5月7日	横切紙	1通	疵も癒え快方に向かい一昨日より散歩など試みているのでご安心下されたい。その他縁談の進捗などの報告	(封筒上書)「岡山県下備中国倉敷町 大橋高之様 親展」(封筒裏書)「(朱印)播磨国揖保郡半田村字新在家 永富敏夫」
40-409-5	[大橋高之宛永富敏夫書状]	明治45年3月15日	横継紙	1通	赤穂西川氏の娘、縁談聞き合わせの回答ほか	(封筒上書)「岡山県下備中国倉敷町 大橋高之様 親剪」(封筒裏書)「封三月十五日(朱印)播磨国揖保郡半田村字新在家 永富敏夫」
40-409-6	[大橋高之宛永富とよ子書状]	大正11年4月9日	横継紙	1通	結納は無事受納。ご安心下されたい。下女の縁談をひとまず打切に願いたい	(封筒上書)「岡山倉敷町 大橋高之様」(封筒裏書)「四月九日揖保郡半田村新在家 永富とよ子」
40-409-7	[大橋高之宛永富勉書状]	大正5年9月19日	横切紙	1通	岡山阪田博士宅を辞し姫路赤十字病院へ転宅した。阪田病院では博士の懇切な治療で少し快方に向かった	(封筒上書)「岡山県備前倉敷町 大橋高之様 侍史」(封筒裏書)「封九月十九日 姫路赤十字病院外科 永富勉拜」
40-409-8	[大橋高之宛永富豊書状]	大正11年8月22日	横継紙	1通	病氣見舞いへの返礼。縁談聞き合わせの事取り計らい下された	(封筒上書)「岡山倉敷 大橋高之様」(封筒裏書)「岡山市阪田病(ハソ) 永富豊代 八月廿二日」
40-409-9	[大橋高之宛永富豊書状]	年未詳3月30日	横継紙	1通	自身の縁談辞退について。高橋様訪問で幹一・省三両兄にお会いし愉快に過ごした	(封筒上書)「岡山倉敷町 大橋高之様 御侍史」(封筒裏書)「三月三十日 東京本郷区蓬萊町六第一東洋館 永富守之助」
40-409-10	[大橋高之宛永富敏夫書状]	明治44年4月18日	横継紙	1通	立夫が病気で世話になり感謝する。岡山を引き上げ明石町の長春楼と申す宅へ出養生させている。お礼旁岡山へ行きたいが病人同伴のこととて思うに任せず失敬している	(封筒上書)「備中国倉敷町 大橋高之様」(封筒裏書)「四月十八日(朱印)播磨国揖保郡半田村字新在家 永富敏夫」

40-409-11	[大橋高之宛永富敏夫書状]	明治43年11月16日	横継紙	1通	四男守之助、去る十三日に中学より大演習拝観等につき御地へ出かけたので、そちらへ伺うかもしれず、その際はよろしく願う	(封筒上書)「備中国倉敷町 大橋高之様 平信 (朱印)播磨国揖保郡半田村字新在家 永富敏夫」 消印は6月9日(封筒上書)「備中国倉敷町 大橋高之様」(封筒裏書)「(朱印)兵庫県揖保郡半田村 永富勝質」
40-409-12	[大橋高之宛永富勝質書状]	大正8年	横切紙	1通	来月十五日正午、亡父(敏夫)七回忌法要の案内	(封筒上書)「備中国倉敷町 大橋高之様 親展」(封筒裏書)「三月廿日 堺市神明町西別院 永富子郷 拝」
40-409-13	[大橋高之宛永富子郷書状]	大正11年3月20日	横継紙	1通	縁談の事。いたって出来の良い富岡鉄斎の軸二幅がある。大原君は書画類を好んで集めていると聞くのでご照会願いたい。二幅一万五千円で売却するというがそれより安くできると思う	(封筒上書)「備中国倉敷町 大橋高之様 御依頼」(封筒裏書)「三月十六日 播州揖保郡半田村 永富せい」
40-409-14	[大橋高之宛永富せい書状]	大正11年3月16日	横継紙	1通	娘の縁談につき聞き合わせ	(封筒上書)「備中国倉敷町 大橋高之様」(封筒裏書)「(朱印)兵庫県揖保郡半田村 永富勝質」
40-409-15	[大橋高之宛永富勝質書状]	大正6年8月5日	横切紙	1通	阪田先生より高野先生へ依頼があった遺稿訂正について	前欠、書き出し部分欠損(封筒上書)「備中倉敷町 大橋高之様 御許」(封筒裏書)「播州揖保郡半田村 永富きよこ」
40-409-16	[大橋高之宛永富清子書状]	年未詳4月27日	横継紙	1通	縁談辞退と島津明子嬢の縁談依頼	(封筒上書)「備中国倉敷町 大橋高之様」(封筒裏書)「播磨揖保郡半田村 永富敏夫」
40-409-17	[大橋高之宛永富敏夫書状]	大正元年9月8日	横継紙	1通	岡山滞在中には見舞って頂き感謝する。手術の所は良くなっているが何分養生が大事である。本家のご病人への見舞いを申し上げてほしい	(封筒上書)「岡山県倉敷町 大橋高之様 侍史」(封筒裏書)「本郷区蓬萊町六第一東洋館 永富守之助」
40-409-18	[大橋高之宛永富守之助書状]	大正10年7月2日	横継紙	1通	妹の縁談聞き合わせ回答への礼	(封筒上書)「岡山県倉敷町 大橋高之様」(封筒裏書)「揖保郡半田村 永富勝質内」
40-409-19	[大橋高之宛永富勝質書状]	大正12年2月5日	横継紙	1通	聞き合わせについて	(封筒上書)「岡山県都窪郡倉敷町 大橋高之様」(封筒裏書)「十二月廿九日平信 播磨国揖保郡半田村字新在家 永富敏夫」
40-409-20	[大橋高之宛永富勝質書状]	明治43年12月29日	横継紙	1通	先日調査の縁談、不調のこと。石井氏の令嬢久山に約定のこと	(封筒上書)「備中国倉敷町 大橋高之様 御許二」(封筒裏書)「三月廿一日 揖保郡半田村 永富清子」
40-409-21	[大橋高之宛永富清子書状]	大正6年3月31日	横継紙	1通	縁談聞き合わせの依頼	(封筒上書)「備中国倉敷町 大橋高之様」(封筒裏書)「兵庫県揖保郡半田村 永富勝質」
40-409-22	[大橋高之宛永富勝質書状]	大正2年4月8日	横継紙	1通	父の病は大変事はないが衰弱する一方で困っている。守之助の方も別条なく快方に向かっている。掛物の切地紛失し申し訳ない。掛物が出来上がったら貴家へ置いておいてほしい。那波伯母への見舞いの事など	(封筒上書)「岡山県倉敷町 大橋高之様」(封筒裏書)「一月十五日 揖保郡半田村新在家 永富とよ」
40-409-23	[大橋高之宛永富とよ書状]	大正11年3月15日	横切紙	1通	静子の件も昨今片付き時候も良くなったので一度お礼に参上したいが未だ小学校に未就学のこととて月末までご予約いただきたい	(封筒上書)「備中国倉敷町 大橋高之様」(封筒裏書)「一月十日 (朱印)播磨国揖保郡半田村字新在家 永富敏夫」
40-409-24	[大橋高之宛永富敏夫書状]	明治43年1月9日	横継紙	1通	先日立夫が参上した際にはご懇情に預かりお礼を申し上げる。その際長男妻の儀につき備後の某家の話が出たとのことで、なんとという家かまたご本人の年齢などおうかがいしたい	(封筒上書)「備中倉敷町 大橋高之様」(封筒裏書)「岡山市阪田病院内 永富敏夫」
40-409-25	[大橋高之宛永富敏夫書状]	明治44年8月29日	横継紙	1通	病氣見舞いへの返礼。縁談聞き合わせの事取り計らい下されたい縁談聞き合わせ回答など	(封筒上書)「岡山県倉敷町 大橋高之様」(封筒裏書)「一月十五日 揖保郡半田村 永富内」
40-409-26	[大橋高之宛永富美能書状]	大正12年2月14日	横継紙	1通	縁談聞き合わせについての回答	(封筒上書)「備中国倉敷町 大橋高之様」(封筒裏書)「兵庫県揖保郡半田村 永富敏夫」
40-409-27	[大橋高之宛永富敏夫書状]	明治43年1月9日	横切紙	1通	戸籍抄本などお送りするので古城老人へ送ってほしい。先日守之助が参上する旨お伝えしたが十七日に帰宅した	(葉書表書)「備中国倉敷町 大橋高之様 (朱印)兵庫県揖保郡半田村 永富勝質」
40-409-28	[大橋高之宛永富敏夫葉書]	大正6年3月31日	葉書	1通	母は健康にしているのでご安心下さい。勉も変わりなく姫路病院におります。近日卓介君が伺うとの由、その節父の詩原稿を持ち帰らせてほしいとの母の伝言です	日付は消印の日(封筒表書)「備中国倉敷町 大橋高之様 (封筒裏書)「(朱印)兵庫県揖保郡半田村新在家 永富勝質」
40-409-29	[大橋高之宛永富勝質書状]	大正10年1月12日	横切紙	1通	守之助の嫁に竹原町頼鷹三郎の娘八重の縁談がある。その辺におつてがあれば気質・器量などお知らせ下さい。大橋平右衛門様より婚儀出席の案内を頂き喜ばしいが拙者関係のボロ会社が某会社と合併することとなりその総会があるので遺憾ながら欠席するので良しなお伝え下されたい	(封筒上書)「備中国倉敷町 大橋高之様 至急親展」(封筒裏書)「兵庫縣半田之内新在家 永富敏夫」
40-409-30	[大橋高之宛永富敏夫書状]	明治38年9月22日	横継紙	1通	来る24日と25日には在宅してほしい。岡田の縁談と別の縁談について面会の上申し上げる	(封筒上書)「備中国倉敷町 大橋高之様 平信」(封筒裏書)「播州揖保郡半田村 永富敏夫」
40-409-31	[大橋高之宛永富敏夫書状]	明治37年12月30日	横継紙	1通	岡田市太郎から矢掛の石井友次郎の娘をもらい受けたいとの相談を受けたが小生は石井家については不案内なので貴兄よりご照会願いたい	(封筒上書)「備中国倉敷町 大橋高之様」(封筒裏書)「播州揖保郡半田村 永富敏夫」
40-409-32	[大橋高之宛永富敏夫書状]	明治39年2月14日	横継紙	1通	縁談の諾否を早く知らせてほしい	(封筒上書)「備中倉敷町 大橋高之様」(封筒裏書)「播州揖保郡半田村之内新在家 永富敏夫」
40-409-33	[大橋高之宛永富敏夫書状]	明治39年1月15日	横継紙	1通	石井家との縁談について依頼	(封筒上書)「備中国倉敷町 大橋高之様」(封筒裏書)「播州揖保郡半田村 永富敏夫」
40-409-34	[大橋高之宛永富敏夫書状]	明治38年2月4日	横切紙	1通	石井始三郎氏の所有財産はいかほどか、また本末のご交情はいかがか、腹藏なくお知らせ頂きたい	(封筒上書)「備中国倉敷町 大橋高之様」(封筒裏書)「揖保郡半田村新在家 永富とよ」
40-409-35	[大橋高之宛永富とよ書状]	大正10年1月13日	横継紙	1通	16日に面談の上で相談したいことがあるので都合はかがが末記番号に電話してほしい	40-409-36-1~40-409-36-2が同封
40-409-36	[大橋高之宛永富せい書状]			1包2通		(封筒上書)「備中倉敷町 大橋高之様 親展」(封筒裏書)「十月廿六日 播州揖保郡半田村 永富せい」
40-409-36-1	[永富せい子宛木村盛太郎書状]	大正10年10月23日	横継紙	1通	御申し越しの縁談については他の方にされた方が宜しいかと思う	

40-409-36-2	[大橋高之宛永富せい書状]	大正10年10月26日	横継紙	1通	先日はご足労下さり誠に有難い。その節お申し越しの儀につき早速木村氏へ問い合わせた所別紙の通り姉の縁談に取り紛れている様子なのでまた幸時期がきたらお尋ねしたいと存ず	
40-410	明治十九年十一月五日 弐冊之内 買物帳 第弐号 東大橋	明治19年11月5日	半・横帳	1冊	加島屋弥三郎 手提げ 壺つ 五銭五厘ほかの買物書付	
40-411	[明治廿年儀光照道居士葬儀関係書類]	明治20年1月21日		1袋13通		40-411-1~40-411-14が袋入(袋表書)「明治廿年旧十二月廿七日 一月廿一日 義光照道居士死去之節務人名簿」
40-411-1	明治廿年一月廿日 買物帳 第一号 二冊之内	明治20年1月20日	半・横帳	1冊	酒・野菜・魚などの買物帳	(裏表紙)「日菓子大橋」項目ごとに「吉田」の朱印
40-411-2	菓のひかへ	年月日未詳	半・横帳	1冊	水菓・ぬり菓などの書上	内に明治二十年の大橋宛高橋薬局の請求書、葬式役配一通が挟まれている
40-411-3	明治廿年一月 買物代支払帳 東大橋	明治20年1月20日	美・横長	1冊	林源十郎 三百七拾七銭五厘 請取 ほか33筆	
40-411-4	明治廿年一月 音物帳	明治20年1月20日	美・横長	1冊	むらすずめ・調布・線香・生麩などお供え物書き上げ69筆	
40-411-5	明治廿年一月廿二日 野辺帳	明治20年1月22日	美・横長	1冊	本町小川儀八ほか人名書付	
40-411-6	[書付](葬式布施等)	年月日未詳	美・横長	仮1冊	壺円五拾銭 性法院 葬式同土勤めへの布施や香料の書上げ	
40-411-7	明治廿年一月廿日 音物帳 第弐号 二冊之内	明治20年1月20日	美・横半	1冊	晒木綿・野菜などの買物書上	
40-411-8	明治廿年一月廿一日 悔帳	明治20年1月21日	美・横長	仮1冊	鶯殿野平ほか96名書上	
40-411-9	明治廿年一月廿一日午前三時世分 仮葬野辺帳	明治20年1月21日	美・横長	仮1冊	山田玉五郎ほか12名書上	
40-408-10	明治廿年第一月廿一日 役帳	明治20年1月21日	美・横長	仮1冊	石井又三郎ほか9名書上	
40-411-11	明治廿年第一月廿日夕 見舞帳	明治20年1月20日	美・横長	仮1冊	林孚一ほか18名書上	
40-411-12	[書付](人名)	年月日未詳	横切紙	1通	入舟屋森蔵など人名・屋号の書付	横切紙を四分の一に折り裏表に記載
40-411-13	[書付](請求書)	明治20年1月		1括り33通	児島屋・入舟屋などから東大橋あて請求書	こよりで33通がひと括り
40-408-14	明治廿年一月廿二日 野辺帳	明治20年1月22日	美・横長	仮1冊	大西屋文吉ほか26名書上	
40-412	[書付](受取証)	明治19年11月12日 ~11月13日		1纏め3通		40-412-1~40-412-3が一纏め
40-412-1	記(受取証)	(明治19年)11月12日	横切紙	1通	多田与一→東大橋 金七円八銭の受け取り	
40-412-2	[書付](受取証)	明治19年11月13日	横切紙	1通	高橋→東大橋 金二拾五円惠贈の受取	
40-412-3	[書付](受取証)	年月日未詳	横切紙	1通	高橋→宛名なし 金二銭惠贈の受取	
40-413	記(薬書付)	年未詳11月11日	縦紙	1通	高橋薬局→東大橋 水菓四拾九日分ほか五筆	
40-414	[大橋源助宛菅きし書状]	年未詳6月	横切紙	1通	私事不仕合せにてこの元(菅波家)へ後妻に参り、今もって不安に暮らしている。お前様にも不仕合せにてこの度後妻をお貰いになるがこの方(菅波家)の娘を貰われるとこのことで嬉しく思う。娘をつれてうかがう積りだったが母がすぐれず出かけられない。この後はご縁も厚くなると思う。何事も御目文字の節いろいろお願いしたい	(包紙上書)「大橋源助様 参御元へ 伏見屋儀兵衛姉みつ事さし とも津方」
40-415	明治十三年庚辰一月二十二日陰曆明治十二己卯十二月十一日諦然玄鏡大姉葬式記	明治13年1月22日	美・横長	1冊	地蔵院への布施などの支払いや到来音物の書上げ	
40-416	明治四年辛未年六月念七日 心荘宜體大姉葬式覚	明治4年6月27日	美・横長	1冊	大橋源助の後妻・以登の葬儀の布施などの書上げ	
40-417	明治十五年九月二日陰曆同壬午年七月二十日 俊操良瑩大姉葬式覚	明治15年9月2日	美・横長	1冊	地蔵院への布施などの支払いや到来音物の書上げ	
40-418	明治十二年己卯七月廿二日 則旧曆六月三日也 清容智妍大姉葬式覚 俗名大橋仲	明治12年7月22日	美・横長	1冊	地蔵院への布施などの支払いや到来音物の書上げ	
40-419	文化二乙丑三月6日昌珠妙光葬式のおほえ	文化2年3月6日	美・横長	1冊	大橋おてる葬儀の際の布施や音物の書上げ	
40-420	嘉永六年癸丑年四月十七日 俊岳良祐居士葬式覚 俗名大橋金平重尚	嘉永6年4月17日	美・横長	1冊	大橋金平重尚葬儀の際の布施や音物の書上げ	
40-421	天保二辛卯歳十月初五日 松風了聴清信女葬式覚 重朝之室秋庭氏	嘉永2年10月5日	美・横長	1冊	大橋重朝の妻・戸羽の葬儀の際の布施や音物の書上げ	
40-422	安政四丁巳年正月廿八日 堯倫義浄居士葬式覚 俗名大橋源介	安政4年正月28日	美・横長	1冊	大橋源介葬儀の際の布施や音物の書上げ	
40-423	断筒	年月日未詳		1枚		SILで包む
40-414	[大橋源介・平右衛門宛小河良策書状]	年未詳2月19日	横切紙	1枚	ご一同様無事帰国の事大賀に存ず。留都中は大変お世話になった。私も三日に京都を発ち昨晚着坂した。いずれ帰国の積りである	(封筒上書)「大橋平右衛門様 梧下要用 小河良策」(封筒裏書)「自浪花」
40-425	封筒断筒	明治40年6月16日	断筒	1枚		(封筒上書)「備中倉敷町字新川 大橋寿子様 平信」(封筒裏書)「自浪花」
40-426	[孟子写]	年月日未詳		1括り3通		SILで包む
40-426-1	[孟子写]	年月日未詳	横折紙	1通	飛独り勇者之ヲ能クス…	40-426-1~40-426-3が一括り
40-426-2	[孟子写]	年月日未詳	横折紙	1通	第十一章 君子ノ道ハ取敢ズ聖人ノ道…	
40-426-3	[孟子写]	年月日未詳	横折紙	1通	第十七章 身ニ憂ノナキ人ハ文王カ…	
40-427	[書付類]			1袋3通		40-427-1~40-427-3が袋入(袋上書)「(印刷)御足袋売捌所 倉敷阿知町木屋吉造」
40-427-1	記(受取証)	年月日未詳	横切紙	1通	さらし、手ぬぐい代金の受取証	
40-427-2	[書付](品物等代金書上げ)	年月日未詳	縦紙	1通	火鉢・足袋・車代などの書上げ	

40-427-3	記(受取証)	明治20年5月20日	22.8×31	1通	大橋平右衛門→宛名なし 米代金三百七拾貳円のうち五拾円の受け取り	罫紙
40-428	[交友録](交友者の住所録)	年月日未詳	半・横帳	仮一冊	黄備中洲都宇郡山地邨犬飼源太郎他	
40-429	蒙求	年月日未詳	半・横帳	1冊	「蒙求」の書写	
40-430						
40-431	[漢詩下書]	年月日未詳		1纏		40-431-1~40-431-9が包紙に入れられている。(包紙表書)「(印刷)熱海独案内全 長三州先生題首 島田三郎先生序文 大内青巒先生著述 遊仙洞上梓」
40-431-1	乞伏 詩稿	年月日未詳	半・縦帳	1冊	七言絶句除夜ほか四首	
40-431-2	[漢詩下書]	年月日未詳	縦紙	1通	漢詩の書付	
40-431-3	[書状下書]	年月日未詳	縦紙	1通		
40-431-4	[漢詩添削]	年月日未詳	断簡	1通	山茶花・看山茶花の漢詩	罫紙
40-431-5	[漢詩添削]	年月日未詳	断簡	1通	詠牽牛花の漢詩	罫紙
40-431-6	[漢詩下書]	年月日未詳	縦紙	1通	中秋	
40-431-7	[漢詩・書状下書]	年月日未詳	22.2×31	1通	罫紙	
40-431-8	[漢詩下書]	年月日未詳	縦紙	1通		
40-431-9	[書付](二松学舎内梅亭住所)	年月日未詳	縦切紙	1冊	東京府下麹町区一丁目三十三番地 二松学舎内梅亭塾ニテ	
40-432	断簡	年月日未詳		1冊		便箋
40-433	明治十九年十一月 七日支払帖	明治19年11月	美・横長	1冊	入舟屋森蔵 金五拾三錢一厘ほか	
40-434	享和二年戊浜村御年貢請取	享和2年	横切紙	1通	年貢代銀の受取証 庄屋太郎兵衛 久兵衛	(橋裏書)「戊 中島屋久兵衛」
40-435	義光照道居士 六七日繰上ケ 中陰音物記	年月日未詳	横半	1冊	延喜香 一箱 林孚一 ほか音物の書上げ	
40-436	諦観玄応居士葬式覚 慶応元乙丑年 閏五月晦日 俗名大橋良介	慶応元年閏5月31日	美・横長	1冊	金壹両 導師地藏院ほかの書上	
40-437	封筒	明治29年4月	封筒	1枚		(封筒上書)「備中国倉敷町大橋高之様 平信」(封筒裏書)「邑久郡玉沢村 幡中登」
40-438	[墨蹟](美作誕生寺 徳定書)	昭和18年3月		1枚	茶 人生七十力困希咄吾這宝剣祖仏共殺 千利休遺言	まくり(落款)「昭和十八年三月吉祥日 大僧正誕生寺徳定 七十有五拜書」
40-439	[墨蹟](美作誕生寺 徳定書)	年月日未詳	半切	1枚	千利休散歌 茶の道は一より数へ十を知りとをよもかへる元のひとみち	まくり(落款)「誕生寺徳定 七十有五拜書」
40-440	[墨蹟](国清寺 華山海応書画)	年月日未詳	半切	1枚	万法帰一 達磨図	まくり(落款)「国清山主寒巖老納画賛」
40-441	[諸陵寮関係書類]	(大正13)12月1日 ~昭和12年12月15日		1袋(2通)		40-441-1~40-441-63が袋入り。茶封筒表印刷「御写真 旧新橋江木東京会館写真室」裏に「墨板」
40-441-1	[領収書類]	戊11月15日~11月17日		1纏		40-441-1-1~40-441-1-2が重ねて折られている
40-441-1-1	[受領証]	戊11月15日	横切紙	1通	川宗→東大橋 金壹円五拾七錢の受取	
40-441-1-2	証	年未詳11月17日	横切紙	1通	川宗→東大橋 備前中井行式人 四拾八錢ほか	
40-441-2	[書付類]	年月日未詳		1袋(2通)		(封筒上書)「大日本史八十二巻后妃列伝抜粹」40-441-2-1~40-441-2-2が封筒に入っている
40-441-2-1	大日本史巻之八十二列伝第九	年月日未詳	24.2×16.6	1通	大日本史八十二巻の抜粹	便箋三枚をホッチキスで綴っていたがホッチキス除去
40-441-2-2	[戎屋系図]	年月日未詳	10.1×14.7	1通	元戎屋、西戎屋の系図書付	二枚が糊で貼り継がれている
40-441-3	[武田勝蔵名刺]	年月日未詳	12.6×8.8	1通	宮内省図書寮編集官補 武田勝蔵	
40-441-4	[頼仁親王御墓勤番所守部宛大阪府警察部上野義彦書状]	(昭和)4年4月23日	22.6×13.9	1通	来たる二十八日、頼仁親王墓参拝したく、案内をお願いしたい	(封筒上書)「岡山県児島郡郷内村 頼仁親王御墓勤番所守部殿」(貼紙)「受信人備中倉敷町大橋高之様」(封筒裏書)「大阪府警察部二場課 上野義彦 四月二十三日(後筆)廿八日参拝ス」
40-441-5	[大橋高之宛岡田仲男書状]	年未詳11月1日		1通	大野高造守部の後任に谷田維太郎就任運動の由、内々に御報のこと	(封筒上書)「備中国倉敷町 大橋高之様 至急」(封筒裏書)「児島郷内 岡田仲男」
40-441-6	[大橋高之宛山口巍書状]	(大正)15年9月23日		1通	梨恵贈の礼、諸陵寮を去ったが依然宮内省に奉職しているので今後とも変わらぬ交誼を願う	(封筒上書)「岡山県都窪郡倉敷町 大橋高之様 侍史」(封筒裏書)「東京市外高田町学習院官舎 山口巍 九月廿三日」
40-441-7	[大橋高之宛樹下快淳書状]	(昭和)7年10月19日	27.2×18.1	1通	頼仁親王陵参拝時の礼状。尊家秘蔵の宝物拝見、尊瀧院案内等への礼。	罫紙(封筒上書)「岡山県倉敷市 大橋高之様」(封筒裏書)「東京市宮内省図書寮内 樹下快淳 十月十九日」
40-441-8	[大橋高之宛十五銀行本店営業課葉書]	昭和5年1月18日		1通	宮内省内蔵寮より送金に対する領収書、未提出につき催促	(葉書上書)「岡山県倉敷市一〇〇〇 大橋高之殿」
40-441-9	[大橋高之宛谷村為海葉書]	昭和9年8月19日		1通	頼仁親王陵墓参の予定変更の通知	(葉書上書)「岡山県倉敷市一〇〇〇 大橋高之様 京都府綴喜郡八幡町八幡庄四七 谷村為海」
40-441-10	[大橋高之宛諸陵寮会計掛葉書]	昭和9年3月8日		1通	陵墓日誌用紙・参拝人員報告用紙の領収書未着につき催促	(葉書上書)「岡山県倉敷市一〇〇〇 陵墓守部大橋高之殿 諸陵寮会計掛」
40-441-11	[絵葉書]	年月日未詳		1通	頼仁親王筆墨蹟の掛軸の写真	
40-441-12	[大橋高之宛諸陵寮陵墓掛葉書]	大正15年3月3日		1通	本年一月分陵墓日誌未提出につき催促	(葉書上書)「岡山県都窪郡倉敷町 陵墓守部大橋高之殿」
40-441-13	[大橋高之宛土師貞次郎書状]	昭和9年8月	14.1×9.1	1通	諸陵寮庶務課長兼考証課長拝名の挨拶状	消印は8月17日(封筒上書)「岡山県倉敷市倉敷新川 大橋高之様」(後筆墨書)「二月六日着ス」(葉書上書)「岡山県倉敷市一〇〇〇 大橋高之殿」
40-441-14	[大橋高之宛大坪徳四郎葉書]	昭和8年2月4日		1通	諸陵寮互助会委員大坪徳四郎から書籍送付の通知(印字)	(葉書上書)「岡山県倉敷市一〇〇〇 大橋高之殿」
40-441-15	[頼仁親王墓守部宛田中勢一郎葉書]	昭和6年10月28日		1通	頼仁親王墓参拝につき参陵記念印拝領の可否、阪神からの最近路、乗物の便、墓より大橋宅までの距離など問い合わせ	(葉書上書)「岡山県児島郡郷内村大字水見 頼仁親王墓御守部様」(貼紙)「受信人倉敷市大橋高之様」(返信上書)「兵庫県武庫郡精道村芦屋字菊屋二九〇 田中勢一郎」



40-441-16	[頼仁親王墓守部宛佐々木懋葉書]	昭和8年3月7日	葉書	1通	頼仁親王墓参拝につき陵墓名、御朱印の有無、順路行程など問い合わせ(印字)	(葉書上書)「岡山県児島郡郷内村大字水見 頼仁親王墓御守部御中 神戸市東川崎町一丁目四十六番地三菱倉庫株式会社神戸支店 佐々木懋(貼紙)「受信人倉敷市大橋高之様」
40-441-17	[大橋高之宛宮地直一葉書]	昭和10年7月31日	葉書	1通	東京へ帰着の報告と滞在中芳志への謝礼	(葉書上書)「岡山県都窪郡倉敷町 大橋高之様 東京市代々木山谷一七五ノ一 宮地直一」
40-441-18	[大橋高之宛諸陵寮会計掛葉書]	昭和2年9月30日	葉書	1通	大正十五年度・昭和元年度書類未提出につき催促上	(葉書上書)「岡山県都窪郡倉敷町 陵墓守部大橋高之殿」
40-441-19	[大橋高之宛諸陵寮委員葉書]	昭和8年5月20日	葉書	1通	互助会地方事業費補助金をもって購入の書籍を別途送付の通知	(葉書上書)「岡山市倉敷市一〇〇〇 大橋高之殿」
40-441-20	[大橋高之宛増田千信葉書]	大正7年7月2日	絵葉書	1通	先日来京都に滞在、来場への礼など	(葉書上書)「岡山県備中倉敷町 大橋高之殿 於京都増田千信」
40-441-21	[大橋高之宛大崎頼栄葉書]	大正14年9月21日	葉書	1通	親王陵墓参拝順路縷々御教示感謝する。本年末か来春参拝の積りである	(葉書上書)「岡山県都窪郡倉敷町 大橋高之殿 侍史」
40-441-22	[大橋高之宛大崎頼栄葉書]	大正14年9月17日	葉書	1通	頼仁親王陵墓は宇野線のどの駅で降りればよいか又駅からの距離はどのくらいかご一報下されたい	(葉書上書)「岡山県都窪郡倉敷町一〇〇〇(倉敷一六二) 大橋高之様」
40-441-23	[大橋高之宛山口巍葉書]	大正12年2月28日	葉書	1通	鴨恵贈への謝礼	(葉書上書)「岡山県倉敷町 大橋高之様 東京市外杉並村高円寺二〇〇 山口巍」
40-441-24	[大橋高之宛坂本千代三葉書]	大正10年1月1日	葉書	1通	年賀状	(葉書上書)「岡山県備中倉敷町 大橋高之殿」
40-441-25	[陵墓守部関係書類]	昭和5年10月21日 ～昭和12年12月15日		1袋		40-441-25-1～40-441-25-41が封筒入り(封筒上書)「岡山県倉敷市一〇〇〇 陵墓守部大橋高之殿 (朱印)「第四課」
40-441-25-1	[大橋高之宛杉岡正雄書状]	昭和9年8月26日	22.0×18.7	1通	白桃恵贈への礼状	便箋(封筒上書)「倉敷市新川町 大橋高之殿」(封筒裏書)「東京市世田谷区世田谷一丁目一九八 杉岡正雄」
40-441-25-2	[大橋高之宛宮内省諸陵寮杉岡宮内属書状]	昭和11年3月26日	横継紙	1通	来月状況の由につき任地を離れる際には事前に本寮の認許を受けることとの通知	便箋(封筒上書)「倉敷市新川町 陵墓守部大橋高之殿(朱筆)「至急」」(封筒裏書)「宮内省諸陵寮 杉岡宮内属」
40-441-25-3	[大橋高之宛山口巍書状]	昭和9年8月24日	横継紙	1通	白桃恵贈への礼状	(封筒上書)「岡山県倉敷市 大橋高之様 侍曹」(封筒裏書)「東京市豊島区目白町一丁目 学習院官舎 山口巍 電話牛込(34)二四二番 昭和九年八月廿三日」
40-441-25-4	[大橋高之宛宮内省図書寮宇宿捷他一名書状]	昭和12年12月15日	横切紙	1通	御地出張の節、ご案内ご芳情、お礼申し上げます。一昨日無事帰京の報告	(封筒上書)「岡山県倉敷市新川町 大橋高之殿 御礼」(封筒裏書)「東京市麹町区宮内省図書寮 芝葛盛 宇宿捷 十二月十五日」
40-441-25-5	[大橋高之宛杉岡正雄書状]	(昭和)8月29日	横継紙	1通	白桃恵贈への礼状	野紙(封筒上書)「倉敷市新川町 大橋高之様」(封筒裏書)「東京市世田谷区世田谷一ノ一九八 杉岡正雄」
40-441-25-6	[大橋高之宛田所留三書状]	昭和9年5月7日	25.6×17.3	1通	陵墓参拝時案内への礼状	関西大学野紙(封筒上書)「岡山県倉敷市倉敷千番地 大橋高之殿」(封筒裏書)「大阪市外千里関西大学 田所留三 昭和九年五月七日」
40-441-25-7	通知	昭和11年8月29日		1通	諸陵寮→頼仁親王陵墓守部大橋高之 諸陵寮商務課長兼考証課長伊藤武雄陵墓視察のため九月三日午後三十分頃下津井線林駅着の通知	宮内省野紙(封筒上書)「倉敷市新川町一〇〇〇 陵墓守部大橋高之殿」(封筒裏書)「(印字)宮内省諸陵寮」
40-441-25-8	[墓地周辺地籍図]	年月日未詳	27.8×39.9	1通	頼仁親王陵墓周辺の地籍	(封筒上書)「倉敷市倉敷 大橋高之殿」(封筒裏書)「(印刷)岡山県児島郡郷内村 花崎熊男」
40-441-25-9	[通達類]			1袋		40-441-25-9-1に40-441-25-9-2が挟み込まれて同封。(封筒上書)「岡山県倉敷市新川町一〇〇〇 陵墓守部 大橋高之殿」(封筒裏書)「(印字)宮内省諸陵寮」
40-441-25-9-1	昭和一二年度予算配布二関スル件通牒	昭和11年12月26日	27.5×39.5	1通	諸陵寮庶務課長伊藤武雄→頼仁親王墓陵墓守部大橋高之 陵墓物品購入ならびに修繕費予算額の通牒	
40-441-25-9-2	[大橋会員宛諸陵寮宮内省互助会委員伝達]	昭和11年12月26日	縦紙	1通	大正天皇式年祭に際し天皇・皇后・皇太后三陛下より金三千円下賜について宮内大臣松平恒雄→財団法人宮内省互助会会長男爵白根松介宛通達の件	
40-441-25-10	[大橋高之宛宮内省諸陵寮会員書状]	昭和12年8月9日				40-441-25-10-1に40-441-25-10-2が重ねて同封。(封筒上書)「岡山県倉敷市新川町一〇〇〇 陵墓守部 大橋高之殿」(封筒裏書)「(印字)宮内省諸陵寮」
40-441-25-10-1	[大橋高之宛諸陵寮互助会会員書状]	昭和12年8月9日	縦切紙	1通	諸陵寮互助会委員中沢→宮内省互助会会員大橋高之 『皇室と日本精神』送付の通知	
40-441-25-10-2	[陵墓守部他宛諸陵寮互助会委員通知]	昭和12年8月9日	縦切紙	1通	北支事案のため宮内省職員応召の節家族に菓子料贈呈の通報	
40-441-25-11	[陵墓守部他宛諸陵寮通知]	昭和12年4月1日	縦切紙	1綴(2通)	諸陵頭→陵墓守長・管守・陵墓守部・管守嘱託 御陵墓地域内建造物付属金属物品盗難取締り強化について 諸陵頭→内務省警保局長 鉄材金属高騰による盗難増加のため地方警察官においても監視を厳行せられたいとの依頼(写)	2枚がホッチキスで綴じられていたが除去。(封筒上書)「岡山県倉敷市新川町一〇〇〇 陵墓守部大橋高之殿」(封筒裏書)「(印字)宮内省諸陵寮」
40-441-25-12	[宮内省通知書類]			1綴(2通)		40-441-25-12-1,40-441-25-12-2が同封(封筒上書)「倉敷市新川町一〇〇〇 陵墓守部大橋高之殿」(封筒裏書)「(印字)宮内省諸陵寮」
40-441-25-12-1	要領	年月日未詳	21.8×30.2		宮内官の心得五か条(印刷)	
40-441-25-12-2	[下賜品添状]	年月日未詳	24.6×16.6		(勅)宮内省互助会→宛名なし 皇太后陛下下賜の菓子の添状	

40-441-25-13	[諸陵寮通知類]	昭和10年9月10日 ～昭和11年10月1日		1綴(3通)		(封筒上書)「倉敷市新川町一〇〇〇 陵墓守部大橋高之殿」(封筒裏書)「(印字)宮内省諸陵寮」
40-441-25-13-1	[大橋守部宛杉岡宮内属書状]	年未詳11月24日	横継紙	1通	害鳥駆除の方法問い合わせに対する回答。発砲は禁止。薬品使用。霞網は可とする。	
40-441-25-13-2	[諸陵寮互助会員大橋高之宛諸陵寮互助会委員土井満書状]	昭和10年9月10日	堅切紙	1通	別便で書籍3冊送付したので査取の上は領収書をお送り下さい	左端切り取り波線切り取り。「十年十月七日請書差出ス」の書入れあり
40-441-25-13-3	[諸陵寮互助会々員大橋高之宛諸陵寮互助会委員土井満書状]	昭和11年10月1日	堅切紙	1通	書籍『親鸞』一冊送付に付、領収書送付願ひ	領収書切り取り線跡あり
40-441-25-14	通牒	昭和12年2月22日	堅切紙	1通	諸陵寮庶務課長伊藤武雄→陵墓守部大橋高之 昭和十一年度経費支払いの契約書類があれば三月十五日までに提出のこと	(封筒上書)「岡山県倉敷市新川町一〇〇〇 陵墓守部大橋高之殿」(封筒裏書)「(印字)宮内省諸陵寮」
40-441-25-15	[大橋高之宛内蔵寮俸給係藤本正純書状]	昭和12年3月16日	26.4×19.0		未着の金券の件に付振替貯金局調査中の報告	宮内省罫紙(封筒上書)「倉敷市新川町 陵墓守部大橋高之殿 (後筆十二年三月五日着)」(封筒裏書)「(印字)東京市宮城内宮内省内蔵寮」
40-441-25-17	[諸陵寮紹介書類]			1袋(3通)		40-441-25-17-1～40-441-25-17-3が同封 宮内省罫紙(封筒上書)「岡山県倉敷市新川町一〇〇〇 陵墓守部大橋高之殿」(封筒裏書)「(印字)宮内省諸陵寮 (印字)昭和拾壹年四月廿五日」
40-441-25-17-1	照会	昭和11年3月18日	27.2×20.0		諸陵寮庶務課長伊藤武雄→陵墓守部大橋高之 昭和十二年度新設施工を要する新宮改修工事があれば四月十日までに報告のこと。工事要求書記入例・用紙を添付	宮内省罫紙。七枚がクリップで留められていたが錆のため除去。
40-441-25-17-2	内訳	年月日未詳	24.7×33.8		柱 檜 拾尺五寸 式本 単価一三〇〇 小計二六〇〇ほか人夫賃・運賃などの書付	貼紙四枚あり
40-441-25-17-3	諸陵寮職員名簿正誤	年月日未詳	堅切紙	2通	諸陵寮職員名簿などの正誤表二枚	
40-441-25-18	[大橋高之宛諸陵寮管理掛葉書]	昭和11年5月27日	葉書	1通	四月分参拝者員数表未提出につき催促。表は翌月十日までに必ず提出のこと	(葉書表書)「岡山県倉敷市新川町 一〇〇〇 陵墓守部大橋高之殿」
40-441-25-19	[大橋高之宛伊藤武雄葉書]	昭和10年8月30日	葉書	1通	白桃恵贈への礼状	(葉書表書)「岡山県倉敷市新川町 一〇〇〇 大橋高之殿 東京市渋谷区豊分町二伊藤武雄 三十日」
40-441-25-20	[大橋高之宛常室林野局技手佐藤慶三郎葉書]	昭和5年10月21日	葉書	1通	頼仁親王墓疆界簿調印のため出張の連絡	(葉書表書)「岡山県倉敷市新川町 一〇〇〇 陵墓守部大橋高之殿」
40-441-25-21	[大橋高之宛宮内省諸陵寮葉書]	(昭和)1月28日	葉書	1通	渡部諸陵頭視察予定の通知	(葉書表書)「岡山県倉敷市新川町 一〇〇〇 陵墓守部大橋高之殿 宮内省書書寮」
40-441-25-22	[大橋高之宛宮内省諸陵寮通牒]	昭和10年3月28日	27.6×19.8	1通	陵墓新宮・補修工事要求の報告について書類送付	(封筒上書)「岡山県倉敷市新川町 一〇〇〇 陵墓守部大橋高之殿」(封筒裏書)「(印字)宮内省諸陵寮 (後筆)拾年四月廿日着」照会、要求書、記入例がクリップで留められている
40-441-25-23	[大橋高之宛宮内省諸陵寮通牒]	昭和12年5月10日	28.0×40.4	1通	陵墓監会議議決事項の送付	(封筒上書)「岡山県倉敷市新川町 一〇〇〇 陵墓守部大橋高之殿」(封筒裏書)「(印字)宮内省諸陵寮」
40-441-25-24	[東北凶作救助募金趣意書]	昭和9年12月3日	26.7×41.5	1通	宮内省職員有志の義援金醸出依頼	(封筒上書)「岡山県倉敷市新川町 一〇〇〇 陵墓守部大橋高之殿」(封筒裏書)「(印字)宮内省諸陵寮 (後筆)十二月九日報告十一月人員式式 同巻円東北凶作救助寄付」
40-441-25-25	[大橋高之宛宮内省諸陵寮通牒]	昭和12年7月2日	27.6×39.8	1通	職員異動の通知	(封筒上書)「岡山県倉敷市新川町 一〇〇〇 陵墓守部大橋高之殿」(封筒裏書)「(印字)宮内省諸陵寮」
40-441-25-26	[大橋高之宛宮内省諸陵寮通牒]	昭和12年8月11日	27.6×39.8	1綴	北支那事変に際し在支軍人・軍属等慰問のため醸金要請の件	(封筒上書)「岡山県倉敷市新川町 一〇〇〇 陵墓守部大橋高之殿」(封筒裏書)「(印字)宮内省諸陵寮」
40-441-25-27	[諸陵寮通牒]	昭和10年1月15日 ～昭和12年10月22日		1袋(2通)		40-441-25-27-1～40-441-25-27-2が同封(封筒上書)「岡山県倉敷市新川町一〇〇〇 陵墓守部大橋高之殿」(封筒裏書)「宮内省諸陵寮」
40-441-25-27-1	[大橋高之宛諸陵寮庶務課長土師貞次郎通牒]	昭和10年1月15日	27.6×19.8	1通	備付器具・ゴム印一個送付のところで台帳に記入漏れの件	
40-441-25-27-2	[陵墓守長・陵墓守部・管守・管守嘱託宛諸陵寮庶務課長通牒]	昭和12年10月22日	27.6×19.8	1通	陵墓参拝者の希望により押捺する印章があれば印影提出のこと	
40-441-25-28	[諸陵寮通知]	昭和9年12月～昭和12年6月10日		1袋(3通)		40-441-25-28-1～40-441-25-28-3が同封(封筒上書)「岡山県倉敷市新川町一〇〇〇 大橋高之殿」(封筒裏書)「東京市宮城内宮内省内蔵寮(後筆)12.2.11着」
40-441-25-28-1	[勉励手当給与通知]	昭和9年12月	27.4×19.8	1通	陵墓守部大橋高之 金25円	宮内省用箋罫紙
40-441-25-28-2	[勉励手当給与通知]	昭和11年12月10日	27.4×19.8	1通	大橋高之 年末勉励手当金30円	宮内省用箋罫紙
40-441-25-28-3	[勉励手当給与通知]	昭和12年6月10日	27.4×19.8	1通	大橋高之 当期勉励手当金33円	宮内省用箋罫紙
40-441-25-29	[大橋高之宛諸陵寮会計係杉岡宮内属書状]	昭和8年10月26日	横継紙	1通	俸給通知未着の場合の取り扱いについて。俸給受領の趣記載の上、十五銀行差出のこと	(封筒上書)「倉敷市倉敷一〇〇〇 陵墓守部大橋高之殿」(封筒裏書)「(印字)諸陵寮会計掛 杉岡宮内属」
40-441-25-30	[大橋高之宛杉岡正雄書状]	昭和9年10月29日	横継紙	1通	陵墓に関する物品受払報告について	(封筒上書)「倉敷市新川町 陵墓守部大橋高之殿」(封筒裏書)「(印字)諸陵寮会計掛 杉岡」

40-441-25-31	聖上陛下御日常の一端に関する講和 出光海軍兵学校長	昭和11年12月	22.0×15.2	1冊	宮内大臣官房秘書課 昭和11年3月9日、出光海軍兵学校長の勤話を印刷したもの。出光校長は昭和6年5月から10年6月まで侍従武官	
40-441-25-32	阿保親王誌	年月日未詳	18.0×38.8	1通	阿保親王についての印刷冊子	
40-441-25-33	[大橋高之宛寮頭随員葉書]	(昭和)10年2月1日	葉書	1通	諸陵頭陵墓視察、2日午後の予定と下関からの通知	(葉書表書)「岡山県倉敷市新川町 一〇〇〇 陵墓守部大橋高之殿」
40-441-25-34	[大橋高之宛佐藤慶三郎葉書]	昭和年未詳11月18日	葉書	1通	出張の節世話になったことへの礼状	(葉書表書)「岡山県倉敷市新川町 一〇〇〇 陵墓守部大橋高之殿」明治の舶来目明治の国産の印あり
40-441-25-35	[大橋高之宛宮内省諸陵寮葉書]	昭和11年11月21日	葉書	1通	11月27日諸陵寮山崎考証官補、山口囑託兩名頼仁親王墓参につき取り計らいの依頼	(葉書表書)「岡山県倉敷市新川町 一〇〇〇 陵墓守部大橋高之様 宮内省諸陵寮」
40-441-25-36	[大橋高之宛諸陵寮大坪委員葉書]	昭和8年12月	葉書	1通	書籍一冊送付の通知	(葉書表書)「岡山県倉敷市新川町 一〇〇〇 「朱印 陵墓守部」大橋高之殿 「年賀状はお早く」の印」消印は13日
40-441-25-37	[大橋高之宛森弥一葉書]	昭和11年5月31日	葉書	1通	頼仁親王墓参の折購入できなかった墓・周辺名所絵葉書の送付依頼	(葉書表書)「岡山県倉敷市新川町 一〇〇〇 陵墓守部大橋高之殿 大阪市天王寺区椎寺町参拾八番地 森弥一」
40-441-25-38	[河村信一名刺]	昭和10年3月28日	9.0×5.5	1枚	関西大学教授 学生主事	裏面に「拾年三月廿八日参拜」の記あり
40-441-25-39	[岡田利雄名刺]	昭和11年8月16日	8.6×4.8	1枚	奈良県郡山町洞泉寺	裏面に「十一年八月十六日参拜」の記あり
40-441-25-40	[大橋高之宛宮内省諸陵寮小島忠二葉書]	昭和10年2月8日	葉書	1通	出張の節世話になった礼、帰京の報告	(葉書表書)「岡山県倉敷市一〇〇〇 大橋高之様 宮内省諸陵寮 小島忠二」
40-441-25-41	[大橋高之宛岡田利雄葉書]	昭和11年7月24日	葉書	1通	頼仁親王墓参拜につき所在地、陵墓印押捺有無の問い合わせ	(葉書表書)「岡山県倉敷市新川町一〇〇〇 大橋高之様 大坂城東商業学校教諭岡田利雄 奈良県郡山町洞泉寺」廿七日返事」の書き込みあり
40-441-26	[大橋高之宛宮内省諸陵寮杉岡宮内属書状]	昭和3年5月8日	横切紙	1通	出張時の厚配に対する感謝と林野局員出張の際の配慮を依頼	(封筒表書)「岡山県都窪郡倉敷町 陵墓守部大橋高之殿」(封筒裏書)「宮内省諸陵寮 杉岡宮内属」
40-441-27	[大橋高之宛宮内省諸陵寮調査掛山崎鉄丸葉書]	昭和3年2月10日	葉書	1通	先般増田へ督促された尊瀧院書類、調査がすんでいないため借用を延期願いたい	(葉書表書)「岡山県都窪郡倉敷町 大橋高之殿」
40-441-28	[大橋高之宛増田于信葉書]	昭和3年1月10日	葉書	1通	大鴨恵贈に対する礼状	(葉書表書)「岡山県都窪郡倉敷町 大橋高之殿 (朱印)東京府荏原郡平塚村下蛇窪三百九十一番地増田于信」
40-441-29	[大橋高之宛宮内省諸陵寮調査掛山崎鉄丸葉書]	昭和3年2月23日	葉書	1通	増田拝借の尊瀧院の書類を本日返送したのでご査収願う。おかげで震災で焼失した文書を復旧することができたことを感謝する	(葉書表書)「岡山県都窪郡倉敷町一〇〇〇 大橋高之殿 東京宮内省諸陵寮 山崎鉄丸」
40-441-30	[大橋高之宛増田于信葉書]	(昭和)4年2月4日	葉書	1通	尊瀧院の書類、近日中に出寮取り調べ、送付の積り、承知下されたい	(葉書表書)「岡山県備中倉敷町 大橋高之殿 東京 増田于信」
40-441-31	[大橋高之宛大寄頼哲葉書]	大正15年4月28日	葉書	1通	本月十三日に頼仁親王墓を参拝したが九州からの帰途で疲れていて参堂せず失礼した。遅ればせながらご挨拶申し上げます。三月十八日付けで休職となるが相変わらずの交誼を願う	(葉書表書)「岡山県都窪郡倉敷町 大橋高之様侍史」
40-441-32	[大橋高之宛岡田仲男葉書]	大正15年4月27日	葉書	1通	昨日午前室宮内省編修官、久保得二他一名を御陵墓、尊瀧院、後鳥羽院、桜井塚、熊野神社等案内説明した。正午彦崎駅から京都に向かわれたので報告する	(葉書表書)「都窪郡倉敷町 大橋高之様 児島郷内 岡田仲男 四月廿七日」
40-441-33	[大橋高之宛中川英夫書状]	昭和9年3月27日	25.5×21.0	1通	頼仁親王墓参拜希望につき墓印有無や乗り合いバスなどの問い合わせ	(封筒表書)「岡山県倉敷市一〇〇〇 大橋高之殿」(封筒裏書)「(印字)京都府久世郡富野庄村 中川英夫」本文は印字
40-441-34	[大橋高之宛書状類]	昭和4年6月6日～昭和5年2月5日		1纏7通1枚		40-441-34-1～40-441-34-9が一纏め
40-441-34-1	[大橋高之宛書状]	昭和5年2月10日		1纏2通		40-441-34-1-1～40-441-34-1-2が同封(封筒上書)「岡山県倉敷市新川 大橋高之様平安」(封筒裏書)「九日 大阪市東成区北生乃町一ノ五号 大谷拓道」
40-441-34-1-1	[東大橋宛大谷拓道書状]	昭和5年2月10日	横継紙	1通	宗八無事帰宅、厄介になった事への謝礼	日付は封筒の消印
40-441-34-1-2	[大橋伯父宛大谷雅堂書状]	昭和5年2月10日	21.9×13.6	1通	帰阪の報告。帰宅後家計杜撰な様子を嘆く	日付は封筒の消印
40-441-34-2	[大橋高之宛片山敬人書状]	昭和4年11月11日	縦紙	1通	大谷氏より預りの三井信託預金尾道大谷氏より返戻の催促が度々あるので尊台様の指示を仰ぎたい	(封筒表書)「倉敷市 大橋高之様 侍史」(封筒裏書)「岡山市宿 片山敬人」本文は印字
40-441-34-3	[封筒]	昭和4年6月6日		1通		(封筒表書)「倉敷市 大橋高之様 侍史」(封筒裏書)「岡山市山陽銀行支店内 片山敬人」
40-441-34-4	[大橋高之宛大谷拓道書状]	(昭和5年)2月4日	横継紙	1通	先日依頼したものを、まだお送りでなければ宗八に持ち帰らせてほしい	(封筒上書)「岡山県倉敷市新川 大橋高之様 急御親展」(封筒裏書)「戌月四日 大阪市東成区北生乃町一丁目五十六番 大谷拓道」
40-441-34-5	[大橋高之宛大谷拓道書状]	昭和5年2月8日	横継紙	1通	先日依頼した件はいかがなっているか。宗八は持ち帰っていないが、手渡し下さったのなら知らせてほしい	(封筒上書)「岡山県倉敷市新川 大橋高之様」(封筒裏書)「大阪市東成区北生野町一ノ五六 大谷拓道」
40-441-34-6	[大橋高之宛大谷真二書状]	昭和5年2月5日	21.9×13.6	1通	衣類を質にいれてまで酒を飲む父の困った状況を告げ父の申し出は断固断ってほしいと依頼。	(封筒上書)「岡山県倉敷市倉敷新川 大橋高之様 親展」(封筒裏書)「二月五日 大阪市東成区北生野町一丁目五六 大谷真二」便箋
40-441-34-7	[宗八宛拓道書状]	昭和5年2月4日	横継紙	1通	本日倉敷貴下宗八に持ち帰るよう申し送った	(封筒上書)「尾道市久保町佐伯商店内 大谷雅堂殿 急」(封筒裏書)「四日 大阪東成区北生乃町一丁目五六 大谷拓道」
40-441-34-8	[大橋雅堂宛大谷真二書状]	昭和5年2月5日	21.9×13.6	1通	真に我が家の事を思うなら倉敷の叔父に相談して再興を計りなさい。父を相手にしてはダメだ。私は家をでてでも良いので叔父に相談して立派にやってくれ	(封筒上書)「尾道市久保町西国寺大門外 佐伯富太様御内 大谷雅堂様 親展」(封筒裏書)「二月五日 大阪東成区北生野町一丁目五六 大谷真二」便箋
40-441-9	[書付](墓地地番地積)	年月日未詳	横切紙	1通	桜井宮覚仁墓 后鳥羽院墓 頼仁墓の地番・地積	
40-441-35	[大橋高之宛諸陵寮浅利宮内属葉書]	昭和2年12月15日	葉書	1通	頼仁親王墓生垣害虫駆除剤の予算はいかほどか知らせてほしい	(葉書表書)「岡山県都窪郡倉敷町陵墓守部 大橋高之殿」表面余白に「六十五銭除虫菊 三十銭マルセル百廿九」の書付

40-441-36	[大橋高之宛川口陵墓監書状]	大正12年12月23日	横継紙	1通	頼仁親王墓新年の注連飾り・鏡餅など供え物について問い合わせの回答	(封筒上書)「岡山県倉敷町 陵墓守部大橋高之殿」(封筒裏書)「大正十二年十二月廿三日 京都市下京区泉涌寺山内町 月輪勤番所 陵墓監川口知雄」
40-441-37	[名刺]	昭和10年3月2日	9.0×5.4	1枚	新任述礼 諸陵寮庶務課長兼考証課長 宮内事務官 伊藤武雄	封筒あり(封筒表書)「岡山県倉敷市新川町一〇〇〇 大橋高之殿」
40-441-38	[名刺]	年月日未詳	9.0×5.5	1枚	帝室林野局技手佐藤慶三郎	(封筒裏印)「昭和拾年三月二日」
40-441-39	[大橋高之宛岡田仲男書状]	大正15年2月22日	横継紙	1通	下命の墓測図を送付。訂正箇所あれば仰せつけられたい	(封筒表書)「備中国倉敷町 大橋高之様 御親剪」(封筒裏書)「児島郡郷内村 岡田仲男」
40-441-40	[陵墓守部大橋高之宛諸陵寮杉岡宮内属書状]	昭和3年3月4日	26.4×19.0	1通	諸陵寮巡視日程の通知 四月十五日大吉備津彦命御墓参拝 十六日頼仁親王墓参拝	宮内省罫紙(封筒表書)「岡山県都窪郡倉敷町一〇〇〇 陵墓守部 大橋高之殿 至急」(封筒裏書)「諸陵寮 杉岡宮内属 (後筆)四月六着」
40-441-41	[頼仁親王墓守部関連書類]	大正14年4月24日 ～5月16日		1袋5通		40-441-41-1～40-441-41-5が封筒に収められている。(封筒上書)「(印字)岡山県都窪郡倉敷町一〇〇〇番戸 陵墓守部大橋高之殿」(封筒裏書)「(印字)宮内省諸陵寮 (後筆)八月四日着」
40-441-41-1	[受領証(下書)](桐紋付高蒔絵杯)	大正14年5月16日	縦紙	1通	陵墓守部大橋高之→宮内事務官山口巍 天皇皇后両陛下御結婚二十五年ご祝儀につき下賜の杯を拝受	
40-441-41-2	[書類下書]	大正14年4月24日	24.5×33.6	1通	陵墓守部大橋高之→宮内事務官山口巍 天皇皇后両陛下と書きかけ	罫紙
40-441-41-3	[見積書雛形](陵墓樹木培養油)	大正14年5月1日	24.0×33.0	1通	内匠寮宛の見積書の雛形に頼仁親王御墓樹木培養用油粕供給の見積金四円五拾銭とその内訳を記す	宮内省罫紙 (付箋)「見積書ハ本雛形ニヨリ当業者ニ認メシメ請求書ハ一枚二件名金額住所氏名印ヲ記入セシメ提出相成度 経理係(後筆)十四年五月一日着」
40-441-41-4	[見積書雛形](陵墓樹木培養油)	(大正14年)年月日未詳	24.0×33.0	1通	岡山県児島郡郷内村林九巻八小林彦次郎→内匠寮 頼仁親王墓 施肥用油粕供給見積内訳書	宮内省罫紙 (付箋)「月日記入セス。件名ノ欄頼仁親王墓生垣又ハ樹木カ何レカ施行セシ名称記入ノコト 二通提出ノコト」
40-441-41-5	[支払い命令書]	(大正14年)年月日未詳	24.0×16.7	1通	頼仁親王御墓生垣培養用豆粕 四円五拾銭 郷内村林九一八 小林彦次郎	(付箋)「件名金額住所氏名印ノミ記入ノコト 一通ニテ宜シ 先般雛形作り製書類御提出御依頼致置候答ニ候ガ整理上差支候条々御手数大至急御提出相成度 (後筆)「八月六日差出ス」控」
40-441-42	[東宮成婚関連書類]	大正15年5月9日～6月12日		1袋5通	40-441-42-1～40-441-42-2が同封	(封筒上書)「岡山県都窪郡倉敷町 大橋高之殿」(封筒裏書)「内蔵寮 (後筆)六月拾四日着」
40-441-42-1	[依命通牒](御使派遣)	大正15年5月9日	縦紙	1通	珍田東宮大夫→大橋御陵墓守部 本月東宮殿下当県行啓につき五月二十一日東宮侍従伯爵甘露寺愛長を差し遣のこと東宮大夫より通牒	
40-441-42-2	[大橋高之宛内蔵寮扱者小林光則書状]	年未詳6月12日	横継紙	1通	東宮殿下御婚儀酒饌料金二円送付に際し高之を重之と誤記したため、宛名訂正の上にて領収書を提出してほしい	
40-441-43	[大橋高之宛増田于信書状]	昭和3年11月23日	横継紙	1通	西条柿送付への礼状	(封筒上書)「岡山県備中倉敷 大橋高之殿」(封筒裏書)「東京荏原町下蛇窪三九〇 増田于信」切手は昭和三年発行の大礼記念切手
40-441-44	[大橋高之宛増田于信書状]	(大正)14年9月25日	横継紙	1通	産物送付への礼と転居の知らせ	(封筒上書)「岡山県備中国倉敷町 大橋高之殿 親展」(封筒裏書)「東京府荏原郡平塚村下蛇窪三九〇 電話高輪八〇〇 増田于信」
40-441-45	[大橋高之宛書状類]	(大正)15年4月25日～5月11日		1袋2通		40-441-45-1～40-441-45-2が同封(封筒上書)「岡山県備中倉敷町 大橋高之殿 親展」(封筒裏書)「諸陵寮 増田于信」
40-441-45-1	[大橋高之宛増田于信書状]	(大正)15年5月11日	横切紙	1通	名産品送付への礼状	
40-441-45-2	特殊郵便物受領証	(大正)15年4月23日	9.5×17.5	1通	書留小包配達証明書	40-441-45-1～40-441-45-2が挟み込まれている
40-441-46	[大橋高之宛浅利属書状]	(昭和)3年2月4日	24.8×17.0	1通	害虫駆除薬品代につき正式の内訳書・請求書を提出されたい	(封筒上書)「岡山県都窪郡倉敷町 陵墓守部大橋高之殿」(封筒裏書)「(印字)宮内署諸陵寮」宮内省罫紙
40-441-47	[諸陵寮関係書類]	昭和3年11月2日～12月10日		1袋2通		(封筒上書)「岡山県都窪郡倉敷町 陵墓守部大橋高之殿」(封筒裏書)「(印字)宮内署 諸陵寮 十二月八日着(後筆)」40-441-47-1～40-441-47-2が同封
40-441-47-1	照会	昭和3年12月5日	26.5×19.2	1通	森田宮内事務官→陵墓守長ほか三職宛 諸陵寮職員で即位大礼・大嘗祭後、地方で饗宴を賜った者を至急報告のこと	
40-441-47-2	[報告書下書]	昭和3年12月10日	横切紙	1通	十月・十一月参拝人数 大饗宴の義は何ら沙汰なく不参	40-441-47-1に挟み込み
40-441-48	[大橋高之宛書状類]	大正15年5月31日～6月20日		1袋(2通)		(封筒上書)「岡山県児島郡郷内村木見 頼仁親王墓 陵墓守御中」(封筒裏書)「(印字)神戸市宮本通三丁目七番地神戸参陵会 主務幹事 柴田長太郎 大正十五年五月廿一日」宮内省罫紙 40-441-48-1と4-441-48-2が同封
40-441-48-1	[頼仁親王陵墓守部宛神戸参陵会主務幹事 柴田長太郎書状]	大正15年5月31日	19.5×27.1	1通	宮内省発行の「陵墓要覧」よりも詳細な冊子を発行し会員に配布するため別紙に書き加え返送願いたい	
40-441-48-2	[書付](頼仁親王略歴)	大正15年6月20日	横継紙	1通	頼仁親王は後鳥羽天皇の皇子にして母は源在子承明門院	40-441-48-1への回答下書か
40-441-49	送金添書	昭和4年6月12日	19.2×14.3	1通	十五銀行→大橋高之	宮内省よりの支払いに関する送金について
40-441-50	頼仁親王墓碑之図	年月日未詳	33.5×24.5	1枚	御墓兆域面積壹反二畝廿四歩 墓碑の図	
40-441-51	[諸陵寮俸給関係書類]	昭和8年6月10日		1袋(2通)		(封筒上書)「岡山県備中国倉敷市一〇〇〇(倉敷一六二)陵墓守部 大橋高之殿 (印字)書留親展」(封筒裏書)「(印字)諸陵寮 宮内省(後筆)六月十日着 弐拾五円手当 請書六月廿二日出」40-441-51-1と40-441-51-2が同封
40-441-51-1	[加俸通知]	昭和8年6月10日	28.1×20.3	1通	宮内省→大橋高之 精勤加俸三圓支給	宮内省罫紙

40-441-51-2	[ 勲勤手当分与通知 ]	昭和8年6月10日	27.5 × 19.8	1通	諸陵寮庶務課長→陵墓守部大橋高之 年末給与の手当一部を今期に分与	宮内省罫紙
40-441-52	[ 諸陵寮関係書類 ]	(大正)13年12月1日～昭和8年12月23日		1袋(5通)		40-441-52-1～40-441-52-5が同封 (封筒上書)「岡山県倉敷市一〇〇〇 陵墓守部大橋高之殿」(封筒裏書)「(印字)諸陵寮 宮内省」
40-441-52-1	[ 書類提出督促 ]	(大正)13年12月1日	26.5 × 19.0	1通	大正13年度器具・消耗品・郵便切手受払報告書提出のこと	宮内省罫紙
40-441-52-2	通牒	昭和8年12月23日	縦紙	1通	諸陵頭渡部信→陵墓監・陵墓守長・陵墓守部 親王命名の儀に付き賀表差出のこと	
40-441-52-3	[ 諸陵寮職員家族死亡通知 ]	昭和8年12月23日	縦切紙	1通	事務官久保寛次郎氏令闇死去につき告別式日時のお知らせ	
40-441-52-4	通牒	昭和8年12月23日	縦切紙	1通	諸陵頭渡部信→陵墓監ほか 親王誕生の通知	
40-441-52-5	通牒	昭和4年6月8日	27.5 × 19.9	1通	宮内事務官森田久造→陵墓守部大橋高之 勲勤手当式拾円分与の通知	宮内省罫紙
40-441-53	陵墓日誌提出方ノ件照会	昭和8年2月7日	24.3 × 33.6	1通	諸陵寮→陵墓守部大橋高之 昭和七年十二月分至急提出のこと	宮内省罫紙
40-441-54	[ 名刺 ](大橋高之)	年月日未詳	9.0 × 5.5	1枚	頼仁親王墓陵墓守部 大橋高之 岡山県倉敷町	
40-441-55	[ 大橋高之宛山口巍書状 ]	大正15年12月1日	横継紙	1通	金側時計恵贈への謝礼	(封筒上書)「岡山県都窪郡倉敷町一〇〇〇 大橋高之殿」(封筒裏書)「(印字)東京市外目白学習院官舎 山口巍」
40-441-56	[ 大橋高之宛樹下快淳書状 ]	昭和7年9月21日	24.2 × 15.1	1通	公命により皇室関係地巡拝で四国へ赴くついでに頼仁親王陵参拝、大橋家所蔵の資料など拝見したい。委細は大森一治氏よりお聴き取り願いたい	(封筒上書)「岡山県倉敷市 大橋高之様」(封筒裏書)「東京市宮内省図書寮内 樹下快淳 九月廿一日」便箋
40-441-57	[ 大橋高之宛杉岡宮内属書状 ]	昭和3年4月9日～4月14日		1袋(2通)		40-441-57-1と40-441-57-2が同封(封筒上書)「岡山県都窪郡倉敷町一〇〇〇 陵墓守部大橋高之殿 至急」(封筒裏書)「(印字)宮内省諸陵寮」
40-441-57-1	[ 大橋陵墓守部宛杉岡宮内属書状 ]	(昭和3年)4月9日	26.2 × 19.0	1通	寮頭閣下出張につき倉敷駅で待ち合わせ、玉串は不要の事など	宮内省罫紙
40-441-57-2	[ 大橋高之宛杉岡正雄葉書 ]	(昭和)3年4月14日	13.2 × 19.0	1通	諸陵頭出張日程変更の通知	(葉書表書)「岡山県都窪郡倉敷町 大橋高之殿 諸陵寮杉岡正雄」
40-441-58	[ 波多野宮内大臣宛尊瀧院宮家省三・大橋高之書状 ]	年末詳9月30日	横継紙	1通	兼て詮議中の頼仁親王墓、この度裁可発表につき礼状	案分(封筒上書)「東京市宮内省 波多野宮内大臣殿 閣下」(封筒裏書)「備中倉敷町 大橋高之 九月三十日」
40-441-59	見積内訳書雛形	年月日未詳	24.6 × 33.4	1通	見張所新設工事見積内訳書 倉敷市浜町 亀山金三郎→内匠寮	(封筒上書)「参年拾月四日 見積内訳書差出ス」
40-441-60	[ 名刺 ](田所留三)	年月日未詳	9.0 × 5.4	1枚	田所留三 大阪市千里山 関西大学	(書込)「九年五月六日参拝撮影」
40-441-61	[ 名刺 ](平井憲太郎)	年月日未詳	9.1 × 5.4	1枚	神戸参陵会幹事 平井憲太郎	(裏書込)「九年八月廿八日来ル」
40-441-62	頼仁親王墓見張所新設工事請負金額見積内訳書(下書)	年月日未詳	24.6 × 16.8	1通	倉敷市浜町 亀山金三郎→内匠寮 柱・梁・屋根板等の書上。付箋に訂正の指示が書きつけてある	(封筒表書)「参年拾月十八日金三郎方請取 訂正之分ハ直二本省へ送ル」(封筒裏書)「十一月四日七時参拝岡田会葬口室林野方久山外巻名測量ス」冒頭「昭和参年十月四日」の文字を抹消し年月日不要の付箋を貼る
40-441-63	[ 亀山金三郎請負工事関係書類 ]	昭和3年9月7日～昭和4年1月29日		1袋(2通)		40-441-63-1～40-441-63-2が同封 (封筒上書)「倉敷市一〇〇〇 大橋高之殿 (後筆)工事書類」(封筒裏書)「東京市宮内省内蔵寮 (後筆)五月十五日着」
40-441-63-1	[ 見張所建築請求書送付 ]	昭和3年9月7日	24.6 × 16.8	1通	陵墓守部大橋高之→宮内事務官森田久造 建築費予算超過につき大工請求書を差し出す	(封筒上書)「岡山県都窪郡倉敷町 陵墓守部大橋高之殿」(封筒裏書)「(印刷)宮内省諸陵寮」 亀山金三郎の工事費金額書を同封
40-441-63-2	[ 頼仁親王墓裏門改修工事関係書類 ]	昭和4年1月29日		1袋(5通)		40-441-63-2-1～40-441-63-2-5が同封 (封筒上書)「岡山県倉敷町浜町 亀山金三郎殿 書留」(封筒裏書)「十五銀行」
40-441-63-2-1	[ 大橋守部宛管理掛用状 ]	年末詳16日	24.2 × 19.1	1通	裏門改修工事書類提出のこと	
40-441-63-2-2	[ 頼仁親王墓裏門改修工事請負金額見積内訳書 ]	昭和5年	24.0 × 33.6	1通	請負人亀山金三郎→内匠寮 真石・檜木・鉄などの員数単価	罫紙
40-441-63-2-3	請求書・内訳書雛形	年月日未詳	24.4 × 16.2	1纏(4通)	頼仁親王墓裏門改修工事請負請求書・内訳書の雛形	雛形二通は紙縫りで綴じられている。諸陵寮の支払命令書二枚と重ねられている
40-441-63-2-4	送金添書	昭和4年1月24日	14.1 × 19.2	1通	十五銀行→亀山金三郎 宮内省支払い 223円5銭	
40-441-63-2-5	送金添書	(昭和)年月未詳15日	19.3 × 14.1	1通	十五銀行→大橋高之 宮内省支払い 68円70銭	
40-442	明治十九年十一月五日買物帳二冊之内第巻号 東大橋	明治19年11月5日	美・横半	1冊	草履・つげ櫛・むしろなど日用品の買物覚	
40-443	明治廿有九年丙申一月吉日 金銭出納帳	明治29年1月	美・横長	1冊	倉敷村収入役高橋士郎ほか税金の支払いなどの書上げ	(裏表紙)「東大橋」
40-444	[ 大橋高之宛加藤千代葉書 ]	明治32年9月14日	14.1 × 9.1	1通	先日罷り出の節は御馳走になり気ままばかり申し上げ済まない。帯は近々送るつもりである	(葉書表書)「備中国倉敷町新川町大橋高之様 九月十四日 大阪北浜三丁目 加藤千代」
40-445	[ 法要支払覚 ]	慶応4年8月17日	半・横長	仮1冊	玄覚道惠清信士十三回忌ほか二名の年忌法要の覚え	
40-446	安政五戊午年正月廿二日 瓊英自薫大姉葬式覚 俗名大橋おしげ	安政5年正月22日	美・横長	1冊	おしげ葬儀に関わる供えや支払い等の書付	
40-447	文化七年庚午年六月廿八日 嵩岳弘秀清信士葬式覚 俗名大橋金平重朝	文化7年6月28日	美・横長	1冊	大橋金平葬儀の音物・支払いなどの書付	
40-448	[ 書付 ](品物代金)	年末詳11月10日	横継・横切	1纏(35通)	東大橋家宛新屋・米屋・和栗屋など諸店からの品代書付	十一月十日の日付のものが多い
40-449	[ 大橋平右衛門ほか二名宛立石岐書状 ]	(明治)27年1月1日	横継	1通	新年の挨拶状	(封筒上書)「備中倉敷 大橋平右衛門様尊下 御侍史」(封筒裏書)「糊 (印)大阪北浜二丁目 石橋雲来」
40-450						

40-451	仏説療痔病大陀羅尼經	年月日未詳	横継	1通	痔病除払の真言	糊継がはがれ三枚になっている。末尾に「手塚氏某印施」
40-452	丙戌秋 鶏肉御通 東大橋様 三村屋藤吉	明治19年10月	半・横半	1冊	計九十九銭の受取	笠原藤吉
40-453	文化元子浜村御年貢請取	文化元年	横折紙	1通	庄屋仮役四郎右衛門ほか二名の年貢受取	(端裏書)「中島屋久兵衛」
40-454	諦然玄鏡大姉	(明治)年月日未詳	半・横長 美・横長	仮1冊	諦然玄鏡大姉の葬式支払い、音物などの書上げ	大ききの違う二冊の帳面が綴じられている。諦然玄鏡大姉は明治13年1月没(墓碑銘)
40-455	[窪屋郡倉敷弥兵衛・小田郡東三成村定次郎へかかる訴訟関係書類]	寛政12年12月～文化13年閏8月	1纏(4通)			40-455-1に40-445-2～40-455-4tが含まれている
40-455-1	乍恐以書付奉願上候(案文)	寛政12年12月	縦継	1通	倉敷弥兵衛・東三成村定次郎・平吉→板倉越中守御役場 東三成村定次郎銀子未返済につき弥兵衛訴訟のこと	
40-455-2	乍恐以書付奉願上候(案文)	子(文化13)年閏8月	縦継	1通	倉敷弥兵衛・東三成村定次郎・平吉→板倉越中守御役場 東三成村定次郎銀子未返済につき弥兵衛訴訟のこと	
40-455-3	質物入銀子借用申証文之事	寛政12年12月	縦継	1通	銀子借用主定次郎、証人平吉→倉敷郡次郎 上田四畝歩、屋敷式畝拾歩を質物に銀式百目を借用	(奥書)庄屋磯吉
40-455-4	覚(滞銀高書上げ)	子(文化13)年閏8月	縦継	1通	子(文化元年)～子(文化13年)滞銀の書上げ 倉敷弥兵衛	
40-453	文化元子浜村御年貢請取	文化元年	横折紙	1通	庄屋仮役四郎右衛門ほか二名の年貢受取	(端裏書)「中島屋久兵衛」
40-454	諦然玄鏡大姉	(明治)年月日未詳	半・横長 美・横長	仮1冊	諦然玄鏡大姉の葬式支払い、音物などの書上げ	大ききの違う二冊の帳面が綴じられている。諦然玄鏡大姉は明治13年1月没(墓碑銘)
40-455	[窪屋郡倉敷弥兵衛・小田郡東三成村定次郎へかかる訴訟関係書類]	寛政12年12月～文化元年8月	1纏(4通)			40-455-1に40-445-2～40-455-4tが含まれている
40-455-1	乍恐以書付奉願上候(案文)	子(文化13)年閏8月	縦継	1通	東三成村定次郎銀子未返済につき弥兵衛訴訟のこと	倉敷弥兵衛・東三成村定次郎・平吉→板倉越中守御役場
40-455-2	乍恐以書付奉願上候(案文)	子(文化13)年閏8月	縦継	1通	東三成村定次郎銀子未返済につき弥兵衛訴訟のこと	倉敷弥兵衛・東三成村定次郎・平吉→板倉越中守御役場
40-446	安政五戊午年正月廿二日 瓊英自薫大姉葬式覚 俗名大橋おしげ	安政5年正月22日	美・横長	1冊	おしげ葬儀に関わる供えや支払い等の書付	
40-447	文化七年庚午年六月廿八日 嵩岳弘秀清信士葬式覚 俗名大橋金平重朝	文化7年6月28日	美・横長	1冊	大橋金平葬儀の音物・支払いなどの書付	
40-448	[書付](品物代金)	年未詳11月10日	横継・横切	1纏(35通)	東大橋家宛新屋・米屋・和栗屋など諸店からの品代書付	十一月十日の日付のものが多い
40-449	[大橋平右衛門ほか二名宛立石岐書状]	(明治)27年1月1日	横継	1通	新年の挨拶状	(封筒上書)「備中倉敷 大橋平右衛門様尊下 御侍史」(封筒裏書)「糊(印)大阪北浜二丁目 石橋雲来」
40-450						
40-451	仏説療痔病大陀羅尼經	年月日未詳	横継	1通	痔病除払の真言	糊継がはがれ三枚になっている。末尾に「手塚氏某印施」
40-452	丙戌秋 鶏肉御通 東大橋様 三村屋藤吉	明治19年10月	半・横半	1冊	計九十九銭の受取	笠原藤吉
40-453	文化元子浜村御年貢請取	文化元年	横折紙	1通	庄屋仮役四郎右衛門ほか二名の年貢受取	(端裏書)「中島屋久兵衛」
40-454	諦然玄鏡大姉	(明治)年月日未詳	半・横長 美・横長	仮1冊	諦然玄鏡大姉の葬式支払い、音物などの書上げ	大ききの違う二冊の帳面が綴じられている。諦然玄鏡大姉は明治13年1月没(墓碑銘)
40-455	[窪屋郡倉敷弥兵衛・小田郡東三成村定次郎へかかる訴訟関係書類]	寛政12年12月～文化元年8月	1纏(4通)			40-455-1に40-445-2～40-455-4tが含まれている
40-455-1	乍恐以書付奉願上候(案文)	寛政13年8月	縦継	1通	東三成村定次郎銀子未返済につき弥兵衛訴訟のこと	倉敷弥兵衛・東三成村定次郎・平吉→板倉越中守御役場
40-455-2	乍恐以書付奉願上候(案文)	寛政13年8月	縦継	1通	東三成村定次郎銀子未返済につき弥兵衛訴訟のこと	倉敷弥兵衛・東三成村定次郎・平吉→板倉越中守御役場
40-453	文化元子浜村御年貢請取	文化元年	横折紙	1通	庄屋仮役四郎右衛門ほか二名の年貢受取	(端裏書)「中島屋久兵衛」
40-454	諦然玄鏡大姉	(明治)年月日未詳	半・横長 美・横長	仮1冊	諦然玄鏡大姉の葬式支払い、音物などの書上げ	大ききの違う二冊の帳面が綴じられている。諦然玄鏡大姉は明治13年1月没(墓碑銘)
40-455	[窪屋郡倉敷弥兵衛・小田郡東三成村定次郎へかかる訴訟関係書類]	寛政12年12月～文化元年8月	1纏(4通)			40-455-1に40-445-2～40-455-4tが含まれている
40-455-1	乍恐以書付奉願上候(案文)	寛政13年8月	縦継	1通	東三成村定次郎銀子未返済につき弥兵衛訴訟のこと	倉敷弥兵衛・東三成村定次郎・平吉→板倉越中守御役場
40-455-2	乍恐以書付奉願上候(案文)	寛政13年8月	縦継	1通	東三成村定次郎銀子未返済につき弥兵衛訴訟のこと	倉敷弥兵衛・東三成村定次郎・平吉→板倉越中守御役場
40-446	安政五戊午年正月廿二日 瓊英自薫大姉葬式覚 俗名大橋おしげ	安政5年正月22日	美・横長	1冊	おしげ葬儀に関わる供えや支払い等の書付	
40-447	文化七年庚午年六月廿八日 嵩岳弘秀清信士葬式覚 俗名大橋金平重朝	文化7年6月28日	美・横長	1冊	大橋金平葬儀の音物・支払いなどの書付	
40-448	[書付](品物代金)	年未詳11月10日	横継・横切	1纏(35通)	東大橋家宛新屋・米屋・和栗屋など諸店からの品代書付	十一月十日の日付のものが多い
40-449	[大橋平右衛門ほか二名宛立石岐書状]	(明治)27年1月1日	横継	1通	新年の挨拶状	(封筒上書)「備中倉敷 大橋平右衛門様尊下 御侍史」(封筒裏書)「糊(印)大阪北浜二丁目 石橋雲来」
40-450						
40-451	仏説療痔病大陀羅尼經	年月日未詳	横継	1通	痔病除払の真言	糊継がはがれ三枚になっている。末尾に「手塚氏某印施」
40-452	丙戌秋 鶏肉御通 東大橋様 三村屋藤吉	明治19年10月	半・横半	1冊	計九十九銭の受取	笠原藤吉
40-453	文化元子浜村御年貢請取	文化元年	横折紙	1通	庄屋仮役四郎右衛門ほか二名の年貢受取	(端裏書)「中島屋久兵衛」
40-454	諦然玄鏡大姉	(明治)年月日未詳	半・横長 美・横長	仮1冊	諦然玄鏡大姉の葬式支払い、音物などの書上げ	大ききの違う二冊の帳面が綴じられている。諦然玄鏡大姉は明治13年1月没(墓碑銘)

40-455	[窪屋郡倉敷弥兵衛・小田郡東三成村定次郎へかかる訴訟関係書類]	寛政12年12月～文化元年8月	1纏(4通)			40-455-1に40-445-2～40-455-4tが含まれている
40-455-1	乍恐以書付奉願上候(案文)	寛政13年8月	竪継	1通	東三成村定次郎銀子未返済につき弥兵衛訴訟のこと	倉敷弥兵衛・東三成村定次郎・平吉→板倉越中守御役場
40-455-2	乍恐以書付奉願上候(案文)	寛政13年8月	竪継	1通	東三成村定次郎銀子未返済につき弥兵衛訴訟のこと	倉敷弥兵衛・東三成村定次郎・平吉→板倉越中守御役場
40-453	文化元子浜村御年貢請取	文化元年	横折紙	1通	庄屋仮役四郎右衛門ほか二名の年貢受取	(端裏書)「中島屋久兵衛」
40-454	諦然玄鏡大姉	(明治)年月日未詳	半・横長 美・横長	仮1冊	諦然玄鏡大姉の葬式支払い、音物などの書上げ	大ききの違う二冊の帳面が綴じられている。諦然玄鏡大姉は明治13年1月没(墓碑銘)
40-455	[窪屋郡倉敷弥兵衛・小田郡東三成村定次郎へかかる訴訟関係書類]	寛政12年12月～文化元年8月	1纏(4通)			40-455-1に40-445-2～40-455-4tが含まれている
40-455-1	乍恐以書付奉願上候(案文)	寛政13年8月	竪継	1通	東三成村定次郎銀子未返済につき弥兵衛訴訟のこと	倉敷弥兵衛・東三成村定次郎・平吉→板倉越中守御役場
40-455-2	乍恐以書付奉願上候(案文)	寛政13年8月	竪継	1通	東三成村定次郎銀子未返済につき弥兵衛訴訟のこと	倉敷弥兵衛・東三成村定次郎・平吉→板倉越中守御役場
40-446	安政五戊午年正月廿二日 瓊英自薫大姉葬式覚 俗名大橋おしげ	安政5年正月22日	美・横長	1冊	おしげ葬儀に関わる供えや支払い等の書付	
40-447	文化七年庚午年六月廿八日 嵩岳弘秀清信士葬式覚 俗名大橋金平重朝	文化7年6月28日	美・横長	1冊	大橋金平葬儀の音物・支払いなどの書付	
40-448	[書付](品物代金)	年未詳11月10日	横継・横切	1纏(35通)	東大橋家宛新屋・米屋・和栗屋など諸店からの品代書付	十一月十日の日付のものが多い (封筒上書)「備中倉敷 大橋平右衛門様尊下 御侍史」(封筒裏書) 「糊(印)大阪北浜二丁目 石橋雲来」
40-449	[大橋平右衛門ほか二名宛立石岐書状]	(明治)27年1月1日	横継	1通	新年の挨拶状	
40-450						
40-451	仏説療痔病大陀羅尼經	年月日未詳	横継	1通	痔病除払の真言	糊継がはがれ三枚になっている。末尾に「手塚氏某印施」
40-452	丙戌秋 鶏肉御通 東大橋様 三村屋藤吉	明治19年10月	半・横半	1冊	計九十九銭の受取	笠原藤吉
40-453	文化元子浜村御年貢請取	文化元年	横折紙	1通	庄屋仮役四郎右衛門ほか二名の年貢受取	(端裏書)「中島屋久兵衛」
40-454	諦然玄鏡大姉	(明治)年月日未詳	半・横長 美・横長	仮1冊	諦然玄鏡大姉の葬式支払い、音物などの書上げ	大ききの違う二冊の帳面が綴じられている。諦然玄鏡大姉は明治13年1月没(墓碑銘)
40-455	[窪屋郡倉敷弥兵衛・小田郡東三成村定次郎へかかる訴訟関係書類]	寛政12年12月～文化元年8月	1纏(4通)			40-455-1に40-445-2～40-455-4tが含まれている
40-455-1	乍恐以書付奉願上候(案文)	寛政13年8月	竪継	1通	東三成村定次郎銀子未返済につき弥兵衛訴訟のこと	倉敷弥兵衛・東三成村定次郎・平吉→板倉越中守御役場
40-455-2	乍恐以書付奉願上候(案文)	寛政13年8月	竪継	1通	東三成村定次郎銀子未返済につき弥兵衛訴訟のこと	倉敷弥兵衛・東三成村定次郎・平吉→板倉越中守御役場
40-453	文化元子浜村御年貢請取	文化元年	横折紙	1通	庄屋仮役四郎右衛門ほか二名の年貢受取	(端裏書)「中島屋久兵衛」
40-454	諦然玄鏡大姉	(明治)年月日未詳	半・横長 美・横長	仮1冊	諦然玄鏡大姉の葬式支払い、音物などの書上げ	大ききの違う二冊の帳面が綴じられている。諦然玄鏡大姉は明治13年1月没(墓碑銘)
40-455	[窪屋郡倉敷弥兵衛・小田郡東三成村定次郎へかかる訴訟関係書類]	寛政12年12月～文化元年8月	1纏(4通)			40-455-1に40-445-2～40-455-4tが含まれている
40-455-1	乍恐以書付奉願上候(案文)	寛政13年8月	竪継	1通	東三成村定次郎銀子未返済につき弥兵衛訴訟のこと	倉敷弥兵衛・東三成村定次郎・平吉→板倉越中守御役場
40-455-2	乍恐以書付奉願上候(案文)	寛政13年8月	竪継	1通	東三成村定次郎銀子未返済につき弥兵衛訴訟のこと	倉敷弥兵衛・東三成村定次郎・平吉→板倉越中守御役場
別1-1	[改畝地価取調書類并観音院書類]			1包(1袋1包)		別1-1-1～2風呂敷で一包(風呂敷上書)「川口や」
別1-1-1	[改畝地価取調書類]			1袋(1冊仮6冊3通1括り)		別1-1-1-1～11一袋(袋上書)「所持地邑々自村吏差越候新反別収種米地価地租番号記録明細簿原本也 明治九子十二月」袋に入りきらないためSILティッシュで全体を包む
別1-1-1-1	[改畝名寄帳]	年月日未詳	美・横長	仮1冊	大橋秀太郎 字石見屋敷、河原他	
別1-1-1-2	明治八年改正 浅口郡西原村地価反別取調帳 窪屋郡倉敷村持主大橋秀太郎	明治8年	半・竪	1冊		中は罫紙
別1-1-1-3	[改番名寄帳]	年月日未詳	美・横長	仮1冊	大橋秀太郎 字村前、森末、三本木	
別1-1-1-4	[改畝地価取調書付]	丑年2月5日	横折紙	1通		裏は地割図
別1-1-1-5	[改番名寄帳]	亥年	半・横長	仮1冊	倉敷村大橋秀太郎部分、倉敷村大橋常吉分	
別1-1-1-6	[改番名寄帳]	年月日未詳	美・横長	仮1冊	持主大橋徳蔵 字福輪、森末、築田他	
別1-1-1-7	[改畝地租取調書付]	年月日未詳	竪紙	1通	前浜村大橋秀太郎部分	第十四大区都宇郡専用罫紙
別1-1-1-8	[改畝取調書付]	年月日未詳	半・横長	仮1冊		
別1-1-1-9	[地価取調書付]	年月日未詳	横折紙	1通	帯高村	
別1-1-1-10	[改畝名寄帳]	年月日未詳	半・横長	仮1冊	倉敷村大橋秀太郎部分、倉敷村大橋恒吉分	
別1-1-1-11	[改畝地価取調書類]			1括り(6冊仮4冊3通3枚1舗2綴)		別1-1-1-11-1～19紐で一括り
別1-1-1-11-1	[地価取調帳]	年月日未詳	美・横半折	1冊	中疇	
別1-1-1-11-2	明治八乙亥年十二月 興除新田中疇改正反別小作畝小作米控	明治8年	美・横長	1冊		(裏表紙上書)「東大橋 附北大橋」
別1-1-1-11-3	[改畝名寄帳]	年月日未詳	半・横半折	仮1冊	備中国窪屋郡倉敷村大橋秀太郎	
別1-1-1-11-4	明治九丙子年十月廿九日 木田并新田分共改畝名寄帖写	明治9年10月29日	半・横長	1冊		
別1-1-1-11-5	[改畝名寄帳]	年月日未詳	美・横長	仮1冊	倉敷村大橋秀太郎 川入村之内字村前、河原、森末他	
別1-1-1-11-6	[地価取調帳]	年月日未詳	美・横長	仮1冊	倉敷村大橋徳蔵 字福輪、森末他	
別1-1-1-11-7	[地価取調書付]	年月日未詳	横折紙	1通	大橋徳蔵 字山瀬他	
別1-1-1-11-8	[改正小作畝書付綴]	年月日未詳		1綴(9枚)	大橋徳蔵 字山瀬、矢倉地、午房地	
別1-1-1-11-9	[小作預り米之義二付請書他綴]	明治10年2月		1綴(9枚)		
別1-1-1-11-10	[改畝名寄書并地価表]	年未詳11月9日	半・横長	1冊		(裏表紙朱書)「福田新開御租税御改正二付地価表十一月九日麻太ヨリ差越候分」

別1-1-1-11-11	〔地価取調帳〕	年月日未詳	美・横半折	仮1冊	備中国窪屋郡倉敷村大橋秀太郎 玉島村松江	
別1-1-1-11-12	中贖取持地価副長鷺江より書上書写 但シ明治六年酉三月一日同所組頭恒太郎持参ノ分	明治6年3月1日	美・横長	1冊	倉敷大橋徳藏分、同村大橋秀太郎分	
別1-1-1-11-13	〔小作地地割図〕	年月日未詳	25.0×17.3	1枚	地主大橋秀太郎	
別1-1-1-11-14	〔地割図〕	年月日未詳	24.5×17.5	1枚		
別1-1-1-11-15	〔改畝書付〕	年月日未詳	横切紙	1通		
別1-1-1-11-16	〔地割図〕	年月日未詳	49.0×86.0	1舗	河原	
別1-1-1-11-17	〔地割図〕	年月日未詳	25.7×34.5	1枚		
別1-1-1-11-18	〔地価地租書付〕	年月日未詳	縦切紙	1通	箕島村分	
別1-1-1-11-19	〔地価取調帳〕	年月日未詳	半・横長	1冊		
別1-1-2	〔観音院書類〕			1包(1括り1包)		別1-1-2-1~2風呂敷で一包 風呂敷の端に紙縫りが括りつけてある(紙縫り上書)「観音院書類入」
別1-1-2-1	〔観音院石塔代さし引書類并小算用書付〕			1包(3冊1通2枚)		別1-1-2-1-1~6包紙で一包(包紙上書)「観音院石塔代さし引書類并小算用書付入」
別1-1-2-1-1	文政五年十一月より 観音院差引勘定控	文政5年11月	半・横半折	1冊		
別1-1-2-1-2	十月二日 買物帳 観音院追善世話方	年未詳10月2日	美・横半折	1冊		
別1-1-2-1-3	〔代銀受取書付〕	未年5月晦日~戌年7月	横継紙	1通(4枚)	石工太吉→中島屋他 観音院石塔代	
別1-1-2-1-4	〔石塔寸法図〕	年月日未詳	40.5×27.8	1枚		
別1-1-2-1-5	〔石塔寸法図下書〕	年月日未詳	40.5×27.8	1枚		
別1-1-2-1-6	〔観音院遺金控帳〕	戌年8月19日	美・横半折	1冊	的場復齋→(宛名なし)	
別1-1-2-2	〔包紙〕			1括り(46枚)		別1-1-2-2-1~46紐で一括り
別1-1-2-2-1	〔包紙〕	年月日未詳		1枚		(上書)「上 御香料 広島屋 此分八石塔取越之節繩代的場より百八拾文取かへ有之由二付右之通中二相渡し済 銀札壹匁」
別1-1-2-2-2	〔包紙〕	年月日未詳		1枚		(上書)「上 御布施 植田百十郎 白銀貳両」
別1-1-2-2-3	〔包紙〕	年月日未詳		1枚		(上書)「上 七日之御布施 観音院様 黒瀬与三右衛門 白銀 二」
別1-1-2-2-4	〔包紙〕	年月日未詳		1枚		(上書)「上 御布施 観音院様 黒瀬与三右衛門 白玉 一」
別1-1-2-2-5	〔包紙〕	年月日未詳		1枚		(上書)「上」
別1-1-2-2-6	〔包紙〕	年月日未詳		1枚		(上書)「上 観音院様 植田藤左衛門」
別1-1-2-2-7	〔包紙〕	年月日未詳		1枚		(上書)「上 石井八郎右衛門 貳匁」
別1-1-2-2-8	〔包紙〕	年月日未詳		1枚		(上書)「進上 観音院様 井上三郎右衛門 銀貳匁六分」
別1-1-2-2-9	〔包紙〕	年月日未詳		1枚		(上書)「上 香典 植田文四郎 白銀壹匁三分」
別1-1-2-2-10	〔包紙〕	年月日未詳		1枚		(上書)「上 観音院様 植田藤左衛門」
別1-1-2-2-11	〔包紙〕	年月日未詳		1枚		(上書)「上 御布施 植田文四郎 白銀壹両」
別1-1-2-2-12	〔包紙〕	年月日未詳		1枚		(上書)「上 観音院様 植田藤左衛門 金百疋」
別1-1-2-2-13	〔包紙〕	年月日未詳		1枚		(上書)「上 御布施 観音院様 植田喜藤太 金百疋」
別1-1-2-2-14	〔包紙〕	年月日未詳		1枚		(上書)「上 御布施 観音院様 黒瀬与三右衛門 方金百疋」
別1-1-2-2-15	〔包紙〕	年月日未詳		1枚		(上書)「上 大島か代 二朱 一片」
別1-1-2-2-16	〔包紙〕	年月日未詳		1枚		(上書)「上 観音院様 大島屋 南鐐一片」
別1-1-2-2-17	〔包紙〕	年月日未詳		1枚		
別1-1-2-2-18	〔包紙〕	年月日未詳		1枚		(上書)「上 観音院様 うを屋長十郎 南鐐一片」
別1-1-2-2-19	〔包紙〕	年月日未詳		1枚		(上書)「上 平松屋徳之丞 南鐐壹片」
別1-1-2-2-20	〔包紙〕	年月日未詳		1枚		(上書)「上 石原弥左衛門」
別1-1-2-2-21	〔包紙〕	年月日未詳		1枚		(上書)「奉 御祈禱御供物料 観音院様 大橋源介 南鐐一片」
別1-1-2-2-22	〔包紙〕	年月日未詳		1枚		(上書)「上 観音院様 浜田屋安右衛門 金百疋」
別1-1-2-2-23	〔包紙〕	年月日未詳		1枚		(上書)「上 御布施 なりはや与三右衛門 白銀一玉」
別1-1-2-2-24	〔包紙〕	年月日未詳		1枚		(上書)「上 観音院様 藤井彦七郎 南鐐一片」
別1-1-2-2-25	〔包紙〕	年月日未詳		1枚		(上書)「上 観音院様 大橋源介 白銀一封」
別1-1-2-2-26	〔包紙〕	年月日未詳		1枚		(上書)「初七日御布施 観音院様 大島屋」
別1-1-2-2-27	〔包紙〕	年月日未詳		1枚		(上書)「上 卯介ば、白銀一封」
別1-1-2-2-28	〔包紙〕	年月日未詳		1枚		(上書)「上 大井金蔵 小玉貳匁」
別1-1-2-2-29	〔包紙〕	年月日未詳		1枚		(上書)「上 御香典 観音院様 植田文四郎」
別1-1-2-2-30	〔包紙〕	年月日未詳		1枚		(上書)「上 観音院様 大村屋叡次郎 白銀四匁」
別1-1-2-2-31	〔包紙〕	年月日未詳		1枚		(上書)「上 観音院様 八浜屋弥兵衛 銀貳匁六分」
別1-1-2-2-32	〔包紙〕	年月日未詳		1枚		(上書)「上 観音院様 八浜屋弥兵衛 銀四匁」
別1-1-2-2-33	〔包紙〕	年月日未詳		1枚		(上書)「上 御布施 観音院様 黒瀬与三右衛門 白銀貳両」
別1-1-2-2-34	〔包紙〕	年未詳3月20日		1枚		(上書)「上 御布施 三月廿日今日分 植田文四郎 白銀三匁」
別1-1-2-2-35	〔包紙〕	年月日未詳		1枚		(上書)「上 観音院様 植田藤左衛門 白銀拾匁」
別1-1-2-2-36	〔包紙〕	年月日未詳		1枚		(上書)「上 観音院 大村屋叡次郎 白銀貳匁貳分」
別1-1-2-2-37	〔包紙〕	年月日未詳		1枚		(上書)「上 観音院様 和泉与八郎」
別1-1-2-2-38	〔包紙〕	年月日未詳		1枚		(上書)「上 御布施 観音院様 黒瀬与三右衛門 白銀六匁」
別1-1-2-2-39	〔包紙〕	年月日未詳		1枚		(上書)「上 御布施 観音院様 植田百十郎 南鐐貳片」
別1-1-2-2-40	〔包紙〕	年月日未詳		1枚		(上書)「上 金百疋 観音院様 児島屋与兵衛 金一百疋」
別1-1-2-2-41	〔包紙〕	年月日未詳		1枚		(上書)「上 観音院様 こぎそや永助」
別1-1-2-2-42	〔包紙〕	年月日未詳		1枚		(上書)「上 石原弥左衛門」



別1-1-2-2-43	[包紙]	年月日未詳		1枚		(上書)「上 御布施 観音院様 黒瀬与三右衛門 南鐐壱片」
別1-1-2-2-44	[包紙]	年月日未詳		1枚		(上書)「進上 御菓子料 井上善左衛門 南鐐壱片」
別1-1-2-2-45	[包紙]	年月日未詳		1枚		(上書)「上 和泉与八郎」
別1-1-2-2-46	[包紙]	年月日未詳		1枚		(上書)「上 元板屋」
別1-2	丑のとし しんつきろうそく通 直島分東中島屋様 藤井屋善吉	丑年	美・横半折	1冊		袋入り(袋上書)「直島諸用書類」
別1-3	弘化二乙巳年 ミとし秋よりひかへ	弘化2年10月3日～5年正月5日	半・横列	1冊	大橋金平書状控等	
別1-4	天保九年戌九月吉日 勘定帳	天保9年9月吉日	半・横列	1冊		中は棒引きで反故にしている
別1-5	[鶴新田小作米仮帳]			1括り(1冊仮1冊5丁)		別1-5-1～7紐で一括り 紐破損のためSILティッシュで包む
別1-5-1	[弘化開小作米仮帳帳外れ]	年月日未詳	横折紙	1丁		別1-5-5の帳外れ力
別1-5-2	[弘化開小作米仮帳帳外れ]	年月日未詳	横折紙	1丁		別1-5-5の帳外れ力
別1-5-3	[弘化開小作米仮帳帳外れ]	年月日未詳	横折紙	1丁		別1-5-5の帳外れ力
別1-5-4	[弘化開小作米仮帳帳外れ]	年月日未詳	横折紙	1丁		別1-5-5の帳外れ力
別1-5-5	明治六年 癸酉年弘化開小作米仮帳	明治6年	美・横長	1冊	東大橋→(宛名なし)	綴じ紐破損 SILティッシュで包む
別1-5-6	[文政開小作米仮帳帳外れ]	年月日未詳	横折紙	1丁		別1-5-5の帳外れ力不明 棒引きしている
別1-5-7	[鶴新田小作米仮帳]	年月日未詳	美・横長	仮1冊	寛政開、天保開、文化開、文政開	
別1-6	[大橋源介宛喜久太口上]	年未詳4月2日	横継紙	1通	金子入用について御願ひ	包紙あり(包紙上書)「大橋源介様 直島御用所金平喜久太 急内要用」
別1-7	[紐]	年月日未詳		1本		
別1-8	[書付類]			1包(3通)		別1-8-1～3風呂敷で一包
別1-8-1	[岡山扣帳等冊数書付]	年月日未詳	横継紙	1通		
別1-8-2	[大橋源介宛の場復齋用状]	年月未詳25日	横切紙	1冊	昨日差越の品は家内共不承知のこと	
別1-8-3	覚(観音院修覆入用銀請取)	弘化2年10月19日	横継紙	1通	観龍寺→大橋金平	包紙あり(包紙上書)「十月十九日 銀札百五拾目 観龍寺 右者観音院江修覆入用相渡ス」
別1-9	[証書類]			1括り(18袋1括り)		別1-9-1～19紐で一括り
別1-9-1	[田畑売渡証文]			1袋(3通1枚)		別1-9-1-1～4包紙で包み一袋 (包紙上書)「田畑売渡証文書通」(袋上書)「明治三年十一月 金札百式拾貳兩永式百五拾貳文四分 田三反歩求之 売主子位庄村俊平 証人同村八十治 同川入村久次郎」
別1-9-1-1	小作預証文手形之事	明治3年11月	縦継紙	1通	浜之茶屋小作人栄吉→倉敷東大橋源助	(奥書)売主子位庄村俊平・証人同村八平治・同川入村久次郎→(宛名なし)
別1-9-1-2	売渡申田畑之事	明治3年11月	縦継紙	1通	売主子位庄村俊平・証人同村八平治・同川入村久次郎→倉敷村大橋源介	(奥書)子位庄村里正江口金吉→(宛名なし)
別1-9-1-3	覚(畝高書付)	年月日未詳	横切紙	1通		
別1-9-1-4	[地割図]	年月日未詳	28.5×38.0	1枚	床田有畝三反	
別1-9-2	[田畑売渡証文]			1袋(5通1枚)		別1-9-2-1～6包紙で包み一包 (包紙上書)「証文 二通」(袋上書)「慶応三丁卯年十二月 金五拾貳兩貳式歩式朱永五拾八文六分三六 川入村ノ内字東川原 式百十四 式百十五 田畑売反歩求之 川入村売主善五郎 証人久次郎 同富吉」
別1-9-2-1	売渡申田畑之事	慶応3年12月	縦継紙	1通	売主川入村善五郎・証人同村久治郎・同同村富吉→倉敷村源助	(上書)「表書御公畝高相違無之候已上 同村名主総助」
別1-9-2-2	小作証文之事	慶応3年12月	縦継紙	1通	小作人川入村富吉・証人同村久治郎→倉敷源助	
別1-9-2-3	[地割図]	年月日未詳	37.8×28.5	1枚		
別1-9-2-4	[畝数書付]	年月日未詳	横切紙	1通		
別1-9-2-5	覚(田畑売渡代銀受取)	慶応3年12月8日	横継紙	1通	売主川入村善五郎・証人同村久次郎・同同村富吉→倉敷大橋源介	
別1-9-2-6	[田畑畝高書付]	年月日未詳	横切紙	1通		
別1-9-3	[田畑売渡証文]			1袋(6通2纏め)		別1-9-3-1～8一袋 (袋上書)「明治七甲戌五月求之 馬場五百拾貳番預畝壱反五畝歩 売主窪津有常 馬場五百拾三番預畝四畝廿六歩 同長山桂太 亀之尾旧六百四拾六番預畝六畝廿四歩 同窪津大紀 証文三通入」
別1-9-3-1	小作証文之事	明治7年4月	縦紙	1通	子位庄村小作人中村藤八・証人大角万作・川入村同横山久次郎→倉敷村大橋秀太郎	(奥書)売主子位庄村長山桂太・証人同村大角万作→(宛名なし)
別1-9-3-2	[田畑売渡証文]			1纏め(4通)		別1-9-3-2-1～4一纏め
別1-9-3-2-1	売渡申田地証文之事	明治7年5月8日	縦継紙	1通	子位庄村売渡人長山桂太・同村証人大角万作・川入村証人横山久次郎→倉敷村大橋秀太郎	(奥書)戸長不在二付副戸長窪津質→(宛名なし)
別1-9-3-2-2	記(田地畝高書付)	年月日未詳	横継紙	1通		
別1-9-3-2-3	記(田地代金受取)	明治7年5月8日	横切紙	1通	子位庄村長山桂太→倉敷村大橋秀太郎	
別1-9-3-2-4	記(買地地券証印税受取)	明治7年10月7日	横切紙	1通	子位庄村副戸長窪津質→倉敷村大橋秀太郎	
別1-9-3-3	[田地売渡証文]			1纏め(3通)		別1-9-3-3-1～3一纏め
別1-9-3-3-1	売渡申田地証文之事	明治7年5月8日	縦継紙	1通	子位庄村売渡人窪津有常・同村証人大角万作・同川入村横山久次郎→倉敷村大橋秀太郎	(奥書)戸長不在二付副戸長窪津質→(宛名なし)
別1-9-3-3-2	書拔(田地畝高書付)	年月日未詳	横切紙	1通	小作人中村孫八→(宛名なし)	

別1-9-3-3-3	記(耕地代金請取)	明治7年5月8日	横継紙	1通	子位庄村窪津有常→倉敷村大橋秀太郎	
別1-9-3-4	小作証文之事	明治7年4月	縦継紙	1通	子位庄村小作人中村孫八・証人大角万作・川入村横山久次郎→倉敷村大橋秀太郎	(奥書)売主子位庄村窪津有常・証人同村大角万作→(宛名なし)
別1-9-3-5	小作証文之事	明治7年4月	縦紙	1通	子位庄村小作人川崎安之助・証人大角万作・川入村同横山久次郎→倉敷村大橋秀太郎	(奥書)売主子位庄村窪津大紀・証人同村大角万作→(宛名なし)
別1-9-3-6	記(田地畝高書付)	年月日未詳	横切紙	1通	小作人子位庄村川崎安之助→(宛名なし)	
別1-9-3-7	記(田地代金預り証)	年未詳5月8日	横継紙	1通	子位庄村窪津質→倉敷村大橋秀太郎	
別1-9-3-8	売渡申田地証文之事	明治7年5月8日	縦継紙	1通	子位庄村売渡人窪津大紀・同村証人大角万作・川入村横山久次郎→倉敷村大橋秀太郎	(奥書)小十六区副戸長窪津質→(宛名なし)
別1-9-4	[田地売渡証文]			1袋(2通)		別1-9-4-1~2一袋(袋上書)「田舎反三畝六歩 代金六拾六円 売渡人生坂村木村仁平治 証人同郷黒瀬喜太郎 明治十二年二月十八日求之」
別1-9-4-1	地所売渡証書	明治12年2月15日	縦紙	1通	窪屋郡生坂村売渡人木村仁平治・同国同郡同村証人黒瀬喜太郎→同国同郡倉子城村大橋秀太郎	(奥書)戸長貝原利久蔵→(宛名なし)
別1-9-4-2	小作証文之事	明治12年2月15日	縦紙	1通	小作人生坂村木村仁平治→倉敷村大橋秀太郎	(奥書)生坂村売主木村仁平治・同村証人黒瀬喜太郎→(宛名なし)
別1-9-5	[田地売渡証文]			1袋(4通1枚1纏め)		別1-9-5-1~6紐で一括りし袋入り(袋上書)「明治亥年十一月求之 浜村分 金百貳拾八円六拾六銭六厘六毛 売主和栗二三 証人川入村林定次郎」
別1-9-5-1	売渡申田地証文之事	明治8年11月16日	縦継紙	1通	倉敷村売渡人和栗二三・同村親類和栗純次・浜村証人森伝次・子位庄村同林定次郎→倉敷村大橋秀太郎	(奥書)戸長屋葺恒衛・副戸長木村九三郎→(宛名なし)
別1-9-5-2	小作証文之事	明治8年11月16日	縦継紙	1通	小作人子位庄村足守広蔵・同断川入村荒木虎吉→倉敷村大橋秀太郎	(奥書)売主倉敷村和栗二三・証人浜村森伝次・同子位庄村林定次郎→(宛名なし)
別1-9-5-3	記(田地畝高書付)	年月日未詳	横折紙	1通	浜村分、川入村分	
別1-9-5-4	[田地畝高書付]			1纏め(2通)		別1-9-5-4-1~2一纏め
別1-9-5-4-1	[田地畝高書付]	年月日未詳	横継紙	1通	浜村、川入村	
別1-9-5-4-2	[地番書付]	年月日未詳	横継紙	1通		
別1-9-5-5	記(田地畝高書付)	亥年11月	横継紙	1通	和栗二三→大橋秀太郎	
別1-9-5-6	[地割図]	年月日未詳	24.8×18.2	1枚		
別1-9-6	[田地売渡証文]			1袋(5通)		別1-9-6-1~5一袋(袋上書)「明治八亥年十二月求之 金貳百七拾九円拾九銭八厘 売主古城榎次郎 証人古城助太郎」
別1-9-6-1	[地券証税金并入費書付]	年未詳6月2日	横切紙	1通	大橋秀太郎→(宛名なし)	
別1-9-6-2	誌(田畑畝高書付)	明治8年12月	横継紙	1通	古城榎二郎・同助太郎→大橋秀太郎	封筒あり(封筒上書)「東大橋様 古城榎二郎 書附在中」
別1-9-6-3	[東大橋宛榎二郎口上]	年未詳1月7日	横継紙	1通	小書付返却依頼	封筒あり(封筒上書)「東大橋様 榎二郎」
別1-9-6-4	証(地代金受取)	明治9年1月4日	縦紙	1通	古城榎二郎→大橋秀太郎	証券界紙 封筒あり(封筒上書)「地代金受取書 榎二郎」
別1-9-6-5	永代売渡田地証文之事	明治8年12月26日	縦継紙	1通	売主古城榎二郎・証人古城助太郎→大橋秀太郎	(奥書)戸長植田孫太郎・同木村光太郎・同原唯七→(宛名なし)
別1-9-7	[借用証文]			1袋(1袋7通)		別1-9-7-1~8包紙で一包みし袋入り(包紙上書)「米借用証文書 通 中疇赤木秀太」(袋上書)「明治七戌年 中疇赤木秀太証文并写小書付入」
別1-9-7-1	[書付類]			1袋(8通)		別1-9-7-1-1~8一袋(袋上書)「倉敷村大橋秀太郎様 中疇鷺江勝六 口上書」(袋裏書)「第九月十一日発ス 赤木秀太様より御通達被下候」
別1-9-7-1-1	記(木尾秀太田畑畝高書付)	年未詳9月16日	横継紙	1通	鷺江勝六→大橋秀太郎	
別1-9-7-1-2	[地価地租算用書付]	年月日未詳	横継紙	1通	大橋秀太郎→(宛名なし)	
別1-9-7-1-3	[鷺江勝六宛大橋秀太郎書状控]	年未詳9月11日	横切紙	1通	木屋秀太より請取田畑高物成の聞合せの上、書拔送付について礼	
別1-9-7-1-4	[地価地租算用書付]	年月日未詳	横継紙	1通	大橋徳蔵→(宛名なし)	
別1-9-7-1-5	[改畝地価取調書付]	年月日未詳	横継紙	1通		
別1-9-7-1-6	[反別地価地租書付]	年月日未詳	横継紙	1通		
別1-9-7-1-7	三ヶ年限屋敷田畑返し証文之事(控)	年月日未詳	横切紙	1通		
別1-9-7-1-8	[地割図]	年月日未詳	24.5×18.0	1枚		
別1-9-7-2	借用申米之事(写)	明治7年4月28日	横継紙	1通	備前国児島郡興除新田村借主・倅→備中国窪屋郡倉敷村大橋秀太郎・同徳蔵	
別1-9-7-3	賃地証文之事(写)	明治7年11月	横継紙	1通		
別1-9-7-4	三ヶ年限屋敷田畑返し証文之事	明治8年10月	縦継紙	1通	備中国窪屋郡倉敷村大橋秀太郎・同国同郡同村親類証人大橋徳蔵→備中国児島郡興除新田中疇赤木秀太・同国同郡同村証人佐藤良太郎	
別1-9-7-5	田地書入金子借用証文之事(写)	明治7年11月	縦継紙	1通	借主中疇赤木秀太・証人親類同所赤木柳平→倉敷大橋秀太郎	(奥書)副戸長妹尾幾太郎・同伊東三輪三・戸長鷺江小文太→(宛名なし)
別1-9-7-6	借用申米之事	明治7年4月28日	縦継紙	1通	備前国児島郡興除新田中疇赤木秀太・倅同伊惣太→大橋秀太郎・同徳蔵	
別1-9-7-7	屋敷田畑売渡証	明治8年10月	縦継紙	1通	備前国児島郡興除新田中疇売渡人赤木秀太・同国同郡同村証人佐藤良太郎→備中国窪屋郡倉敷村大橋秀太郎	(奥書)妹尾幾太郎・伊東三輪三→(宛名なし)
別1-9-7-8	受領之証(地券証印税)	明治8年12月9日	縦切紙	1通	岡山県令高崎五六代理岡山県権参事西毅一→納人大橋秀太郎	罫紙

別1-9-8	[田地売渡証文]			1袋(2通)		別1-9-8-1~2包紙で一包みし袋入り(包紙上書)「証文 吉通」(袋上書)「明治十年丑十二月 永代田地売渡証文吉通 新宅徳蔵」
別1-9-8-1	証(地券証印税受取)	明治10年12月19日	縦継紙	1通	第六戸長役場→大橋秀太郎	
別1-9-8-2	永代売渡申田地証文之事	明治10年12月	縦継紙	1通	売主新宅大橋徳蔵・証人川入村横山久次郎→本家大橋秀太郎	(奥書)戸長三宅染次・同高尾仙作→(宛名なし)
別1-9-9	[田地売渡証文]			1袋(5通1袋1纏め)		別1-9-9-1~7包紙で一包みし袋入り(包紙上書)「田地証文 吉通」(袋上書)「明治六癸酉年六月 金三百九円五拾六銭六厘七毛 田畑四反三畝貳拾歩求之 売主子位庄村戸長窪津大紀」
別1-9-9-1	売渡申田地証文之事	明治6年6月13日	縦継紙	1通	売主子位庄村窪津大紀・証人同村大角万作・同川入村横山久次郎→倉敷村大橋秀太郎	(奥書)副戸長窪津質→(宛名なし)
別1-9-9-2	[地券証印税受取証]			1纏め(2通)		別1-9-9-2-1~2一纏め
別1-9-9-2-1	記(地券証印税受取)	明治6年7月19日	縦紙	1通	子位庄村戸長窪津大紀→(宛名なし)	第十五大区窪屋郡専用罫紙
別1-9-9-2-2	記(地券証印税書付)	年未詳7月19日	横切紙	1通		
別1-9-9-3	小作証之事	明治6年5月	縦継紙	1通	小作人子位庄村岡本定平・証人同村大角万作・川入村横山久治郎→倉敷村大橋秀太郎	(奥書)売主子位庄村窪津大紀→(宛名なし)
別1-9-9-4	小作証文之事	明治6年5月	縦継紙	1通	小作人子位庄村井上岩太郎・証人同村大角万作・川入村横山久治郎→倉敷村大橋秀太郎	(奥書)売主子位庄村窪津大紀→(宛名なし)
別1-9-9-5	小作証文之事	明治6年5月	縦継紙	1通	小作人子位庄村坪井嘉作・証人同村大角万作・川入村横山久治郎→倉敷村大橋秀太郎	(奥書)売主子位庄村窪津大紀→(宛名なし)
別1-9-9-6	証(田地売渡代金請取)	明治6年5月25日	縦紙	1通	子位庄村窪津大紀→倉敷村大橋秀太郎	第十五大区窪屋郡専用罫紙
別1-9-9-7	[書付類]			1袋(1通1枚)		別1-9-9-7-1~2一袋(袋上書)「書拔袋」
別1-9-9-7-1	[田畑畝高書付]	年月日未詳	横継紙	1通		
別1-9-9-7-2	[地割図]	年月日未詳		37.2×28.5 1枚		
別1-9-10	[田地売渡証文]			1袋(6通1枚1舗仮2冊1纏め)		別1-9-10-1~11紐で一括りし包紙で包んで袋に入れている(包紙上書)「田地売渡証券 吉通」(袋上書)「明治十一年寅五月三日求焉 窪屋郡生坂村田地吉町吉反四畝九歩 売渡人岡島寿太郎 証人横山久次郎」
別1-9-10-1	地所売渡証書	明治11年4月	縦継紙	1通	窪屋郡大島村売渡人岡島寿太郎・本郡富久村証人横山久治郎→本郡倉敷村大橋秀太郎	(奥書)戸長三宅染次・戸長高尾仙作→(宛名なし)
別1-9-10-2	田地売渡入金受取証	明治11年4月29日	縦紙	1通	売主大島村岡島寿太郎・証人富久村横山久治郎→倉敷村大橋秀太郎	
別1-9-10-3	[田地売買代書付]	年月日未詳	横切紙	1通		
別1-9-10-4	[地割図]	年月日未詳		41.7×37.5 1舗		
別1-9-10-5	[田地見取図]	年月日未詳		33.2×24.5 1枚		
別1-9-10-6	[地券証印税受取証]	明治11年5月6日	横切紙	1通	第六戸長役場詰高尾仙作→倉敷村大橋秀太郎	罫紙
別1-9-10-7	地券御書換願	明治11年4月	半・縦	仮1冊	売渡人岡島寿太郎・買請人大橋秀太郎・副戸長清水石太・戸長高尾仙作・同三宅染次→岡山県令高崎五六	罫紙
別1-9-10-8	[田地代金書付]	年月日未詳	横切紙	1通		
別1-9-10-9	[小作人別畝高書付]	年月日未詳	半・横長	仮1冊		
別1-9-10-10	[小作証文]			1纏め(仮2冊6通)		別1-9-10-10-1~8重ねて折りたたんでいる 綴じ穴があるので元は一綴だった力
別1-9-10-10-1	小作証文之事	年月日未詳	縦紙	1通	小作人生坂村白神芳蔵→倉敷村大橋秀太郎	罫紙(奥書)売主大島村岡島寿太郎・証人富久村横山久治郎→(宛名なし)
別1-9-10-10-2	小作証文之事	年月日未詳	縦紙	1通	小作人生坂村林藤四郎→倉敷村大橋秀太郎	罫紙(奥書)売主大島村岡島寿太郎・証人富久村横山久治郎→(宛名なし)
別1-9-10-10-3	小作証文之事	年月日未詳	縦紙	1通	小作人生坂村林弥太郎→倉敷村大橋秀太郎	罫紙(奥書)売主大島村岡島寿太郎・証人富久村横山久治郎→(宛名なし)
別1-9-10-10-4	小作証文之事	年月日未詳	縦紙	1通	小作人生坂村江国音吉→倉敷村大橋秀太郎	罫紙(奥書)売主大島村岡島寿太郎・証人富久村横山久治郎→(宛名なし)
別1-9-10-10-5	小作証文之事	年月日未詳	縦紙	1通	小作人生坂村目黒弥四郎→倉敷村大橋秀太郎	罫紙(奥書)売主大島村岡島寿太郎・証人富久村横山久治郎→(宛名なし)
別1-9-10-10-6	小作証文之事	年月日未詳	半・縦	仮1冊	小作人生坂村林新松・林助治郎→倉敷村大橋秀太郎	罫紙(奥書)売主大島村岡島寿太郎・証人富久村横山久治郎→(宛名なし)
別1-9-10-10-7	小作証文之事	年月日未詳	半・縦	仮1冊	小作人生坂村矢吹定助・目黒佐治郎・目黒増太郎・江国磯吉・目黒武吉・目黒弥四郎→倉敷村大橋秀太郎	罫紙(奥書)売主大島村岡島寿太郎・証人富久村横山久治郎→(宛名なし)
別1-9-10-10-8	小作証文之事	年月日未詳	縦紙	1通	小作人生坂村木村繁蔵→倉敷村大橋秀太郎	罫紙(奥書)売主大島村岡島寿太郎・証人富久村横山久治郎→(宛名なし)
別1-9-10-11	[地番別地価書付]	年月日未詳	横継紙	1通	字入樋、永田、大渡り他	
別1-9-11	[地所売渡証文]			1袋(2通)		別1-9-11-1~2包紙で一包みし袋入り(包紙上書)「小作証文 二通入」(袋上書)「明治十一年四月求之 金三十拾壹円八拾貳錢五厘 生坂村目黒八百吉」
別1-9-11-1	地所売渡証書	明治11年4月10日	縦紙	1通	窪屋郡生坂村売渡人目黒八百吉・同郡富久村証人横山久治郎・同郡子位庄村証人大角万作→大橋秀太郎	(奥書)第八区務所第六役場詰戸長三宅染次・戸長高尾仙作→(宛名なし)
別1-9-11-2	小作証文之事	明治11年4月10日	縦紙	1通	窪屋郡生坂村小作人目黒八百吉・同郡富久村証人横山久治郎・同郡子位庄村証人大角万作→大橋秀太郎	

別1-9-12	[地所売渡証文]			1袋(4通)		別1-9-12-1~4一袋(袋上書)「明治十一年四月求之 金九拾壹円 拾四銭 生坂村貝原熊次郎 同同宇平」
別1-9-12-1	小作証文之事	明治11年4月10日	縦紙	1通	窪屋郡生坂村小作人貝原熊太郎・同郡同村小作人貝原宇平・同郡富久村証人横山久治郎・同郡子位庄村証人大角万作→窪屋郡倉敷村大橋秀太郎	
別1-9-12-2	地所売渡証書	明治11年4月10日	縦継紙	1通	窪屋郡生坂村売渡人貝原熊太郎・同郡同村売渡人貝原宇平・同郡富久村証人横山久治郎・同郡子位庄村証人大角万作→窪屋郡倉敷村大橋秀太郎	(奥書)第八区務所第六役場詰戸長三宅染次→(宛名なし)
別1-9-12-3	記(地価并売地代書付)	年月日未詳	横切紙	1通		
別1-9-12-4	[地券証印税受取証]	明治16年4月11日	横切紙	1通	第六戸長役場詰高尾仙作→倉敷村大橋秀太郎	罫紙
別1-9-13	[田地売渡証文]			1袋(5通1纏め)		別1-9-13-1~6紐で一括りし袋入り(袋上書)「明治十一年三月六日求之 金九拾四円四拾銭 同四拾六円八拾銭 合三反五畝九歩 西坂村鋤持文次 生坂村貝原弥惣二」
別1-9-13-1	永代売渡耕地之証書	明治11年3月5日	縦紙	1通	売主西坂村鋤持文治・証人鋤持文治・証人川入村横山久次郎・同子位庄大角万作→倉敷村大橋秀太郎	綴じ穴あり 罫紙
別1-9-13-2	永代売渡田之証書	明治11年3月5日	縦紙	1通	売主生坂村貝原弥惣治・証人川入村横山久次郎・同子位庄大角万作→倉敷邑大橋秀太郎	備中国窪屋郡専用罫紙 綴じ穴あり 罫紙(奥書)生坂村之西坂鋤持文治・子位庄村大角万作→(宛名なし)
別1-9-13-3	小作証文之事	明治11年3月	縦紙	1通	小作人生坂村木村市五郎→倉敷邑大橋秀太郎	綴じ穴あり 罫紙(奥書)生坂村之西坂鋤持文治・子位庄村証人大角万作・川入村同横山久治郎→(宛名なし)
別1-9-13-4	小作証文之事	明治11年3月	縦紙	1通	小作人生坂村黒瀬喜太郎→倉敷邑大橋秀太郎	綴じ穴あり 罫紙(奥書)子位庄村証人大角万作・川入村同横山久治郎→(宛名なし)
別1-9-13-5	小作証文之事	明治11年3月	縦紙	1通	小作人生坂村貝原弥惣治→倉敷村大橋秀太郎	綴じ穴あり 罫紙(奥書)子位庄村証人大角万作・川入村同横山久治郎→(宛名なし)
別1-9-13-6	[書付類]			1纏め(3通1枚)		別1-9-13-6-1~4重ねて巻いている
別1-9-13-6-1	[地券証印税受取証]	明治11年3月21日	横切紙	1通	第六戸長役場詰高尾仙作→倉敷村大橋秀太郎	罫紙
別1-9-13-6-2	[地割図]	年月日未詳	13.0×24.5	1枚	生坂村	
別1-9-13-6-3	記(畝高并地価書付)	年月日未詳	横切紙	1通	字入ひ	
別1-9-13-6-4	記(畝高并地価書付)	年月日未詳	横切紙	1通	字入樋	
別1-9-14	[地所売渡証文]			1袋(2通1纏め)		別1-9-14-1~3包紙で一包みし袋入り(包紙上書)「田地証文 子位庄村窪津作太」(袋上書)「明治十一年四月十七日求焉 金六拾六円貳銭五厘 子位庄村窪津作太」
別1-9-14-1	[地所売渡証文]			1纏め(3通)		別1-9-14-1-1~3一纏め
別1-9-14-1-1	地所売渡証書	明治11年4月13日	縦継紙	1通	売渡人窪屋郡子位庄村窪津作太・証人同郡富久村横山久次郎・同同郡子位庄村大角万作→同郡倉敷村大橋秀太郎	(奥書)第八区務所第六役場詰戸長三宅染次→(宛名なし)
別1-9-14-1-2	記(畝高并地価書付)	年月日未詳	横切紙	1通	字入樋	
別1-9-14-1-3	[地券証印税受取証]	明治11年4月17日	横切紙	1通	第六戸長役場詰高尾仙作→倉敷村大橋秀太郎	罫紙
別1-9-14-2	地券御書換願	明治11年4月	縦紙	1通	売渡人大目芳太・買受人大橋秀太郎・副戸長清水石太・戸長高尾仙作→岡山県令高崎五六	備中国窪屋郡専用罫紙
別1-9-14-3	小作証文之事	明治11年4月13日	縦紙	1通	小作人窪屋郡平田村平田誠一・証人富久村横山久次郎・同子位庄村大角万作→窪屋郡倉敷村大橋秀太郎	(奥書)窪屋郡子位庄村売主窪津作太→(宛名なし)
別1-9-15	[田地売渡証文]			1袋(3通1枚)		別1-9-15-1~4包紙で一包みし袋入り(包紙上書)「田地売渡証文 吉通 窪津」(袋上書)「明治三年十一月 金札七拾壹兩永八百四拾四文七分 田壹反三畝歩求之 売主子位庄村窪津郷治 証人西村万作 同川入村久次郎」
別1-9-15-1	売渡申田地証文之事	明治3年11月	縦紙	1通	売主子位庄村窪津郷治・証人西村万作・同川入久次郎→倉敷大橋源介	(奥書)子位庄村里正窪津俊平・同福島村江口金吉→(宛名なし)
別1-9-15-2	小作預証文手形之事	明治3年11月	縦継紙	1通	西村小作人万之丞→倉敷東大橋源助	(奥書)子位庄村窪津郷治・証人川入久次郎→(宛名なし)
別1-9-15-3	[地割図]	年月日未詳	37.5×28.5	1枚		
別1-9-15-4	覚(畝高書付)	年月日未詳	横切紙	1通		
別1-9-16	[畑地売渡証文]			1袋(3通)		別1-9-16-1~3包紙で一包みし袋入り(包紙上書)「証文 式通入」(袋上書)「明治二年巳十二月 銀札貳貫九百四拾目 川入村ノ内 三百三拾六 三百三拾七 三百三拾八 三百三拾九 畑七畝歩求之 売主八王寺村倉次郎 但大内為介事 親類孫次郎 証人川入村久次郎」
別1-9-16-1	小作証文之事	年月日未詳	縦紙	1通	小作人八王寺村倉治郎・証人川入村久次郎→倉敷東大橋源助	
別1-9-16-2	売渡申畑証文之事	明治2年12月	縦継紙	1通	売主八王寺村倉治郎・親類同所孫治郎・証人川入村久治郎→倉敷東大橋源助	(奥書)川入村名主素平→(宛名なし)
別1-9-16-3	覚(畑地畝高書付)	年月日未詳	横切紙	1通		
別1-9-17	[田畑売渡証文]			1袋(3通)		別1-9-17-1~3包紙で一包みし袋入り(包紙上書)「証文 式通入 川入庄吉」(袋上書)「明治二年巳十二月 金五拾兩 川入村ノ内 百九十四 百九十五 百九十六 百九十七 田畑壹反壹畝拾歩求之 売主川入村庄吉 証人同村久次郎」
別1-9-17-1	売渡申田畑証文之事	明治2年12月	縦継紙	1通	売主川入村庄吉・証人同村久次郎→倉敷村大橋源介	(奥書)川入村名主素平→(宛名なし)
別1-9-17-2	小作証文之事	明治2年12月	縦継紙	1通	小作人川入庄吉・証人同人(ママ)久治郎	
別1-9-17-3	書拔(田畑畝高書付)	年月日未詳	横切紙	1通		

別1-9-18	[田畑売渡証文]			1袋(2包)		別1-9-18-1~2一袋(袋上書)「己申売渡証文式通 売主大橋善五郎」
別1-9-18-1	[畑地売渡証文]			1包(4通1纏め)		別1-9-18-1-1~5包紙で一包(包紙上書)「売渡畑証文一通入 倉敷東新宅行 川入村善五郎」
別1-9-18-1-1	小作証文之事	明治2年2月	縦継紙	1通	小作人川入村幾右衛門→倉敷村源助	(奥書)売主川入村善五郎・親類同居大橋○良平・証人同村富吉・同村久治郎→(宛名なし)
別1-9-18-1-2	売渡申畑証文之事	明治2年2月	縦継紙	1通	売主川入村善五郎・親類同居大橋○良平・証人同村久治郎・同村富吉→倉敷村源助	(奥書)川入村名主総介→(宛名なし)
別1-9-18-1-3	[地割図]			1纏め(2枚)		別1-9-18-3-11~2重ねて巻いている
別1-9-18-1-3-1	[地割図]	年月日未詳	33.0×24.3	1枚	明治二巳二月廿七日杭入 東大橋分	
別1-9-18-1-3-2	[地割図]	年月日未詳	28.2×16.0	1枚	明治二年巳三月二日杭入	
別1-9-18-1-4	覚(畑売渡代金受取)	明治2年2月12日	横継紙	1通	売主川入村善五郎・証人同村久治郎・同村富吉→倉敷大橋源介	
別1-9-18-1-5	[畑畝高書付]	年月日未詳	横継紙	1通	小作川入幾右衛門之分	
別1-9-18-2	[田地売渡証文]			1包(3通1枚)		別1-9-18-2-1~4包紙で一包(包紙上書)「証文 式通入」
別1-9-18-2-1	小作証文之事	明治5年4月	縦継紙	1通	小作人八王寺村卯右衛門・同大内村惣五郎→倉敷大橋源介	(奥書)売主川入村大橋善五郎・親類同村秋岡惣五郎・証人同村横山久治郎→(宛名なし)
別1-9-18-2-2	売渡申田地証文之事	明治5年4月	縦継紙	1通	売主川入村大橋善五郎・親類同村秋岡惣五郎・証人同村横山久次郎→倉敷大橋源介	(奥書)里正秋岡素平→(宛名なし)
別1-9-18-2-3	[田地畝高書付]	年月日未詳	横切紙	1通	小作人八王寺卯右衛門・同大内惣五郎→(宛名なし)	
別1-9-18-2-4	[地割図]	年月日未詳	24.2×22.5	1枚		
別1-9-19	[直島塩浜関係証書類]			1括り(4通)		別1-9-19-1~4紐で一括り
別1-9-19-1	乍恐以書付奉願上候(案文)	天保10年11月	縦継紙	1通	新開築立人讃州直島庄屋見習源左衛門・同備中倉敷村年寄平右衛門・同源助・讃州直島庄屋兵右衛門代兼倅源左衛門外3名→倉敷御役所 直島新塩浜新開築立の引請について	(端裏書)「此書付前文者夏目様御案文出末文ハ申談調候本紙日笠 縦紙二いたし十一月廿五日於猪田屋調印平右衛門源介源左衛門三人〇〇御役所罷出候事」
別1-9-19-2	差上申一札之事(控)	天保10年12月6日	縦継紙	1通	当分預り所讃州直島惣百姓・組頭・百姓代清左衛門・年寄市左衛門・同治郎兵衛・庄屋源左衛門・庄屋兵左衛門→高山又蔵様御役所 直島新塩浜開発引受に際し仰渡された条々承知につき連印差上	
別1-9-19-3	為取替申議定証文之事	天保10年11月	縦継紙	1通	備中倉敷大橋平右衛門・同源助・讃州直島三宅源左衛門→(宛名なし) 直島塩浜新開築立について	(端裏書)「此義定書直島源左衛門作文二有之候得共此方にて加文致し認かへ候故反古」
別1-9-19-4	為取替申議定証文之事(案文)	天保10年11月	縦継紙	1通	倉敷中島屋平右衛門・同源介・直島源左衛門→(宛名なし) 直島塩浜新開築立について	(端裏書)「此義定此方と源左衛門意味も加文いたし認替本紙日笠 縦紙認十一月廿五日於猪田屋二調印取替置候事」
別1-10	[直島関係書状類]			1括り(27通1括り1包)		別1-10-1~29紐2本で括っている
別1-10-1	[大橋喜久太・金平宛源介書状]	年未詳2月11日	横継紙	1通(2枚)	西座敷取崩之義は当月中に取掛ることや、雨天や御停止等で検地が延引になりそうなこと等の報知	包紙あり(包紙上書)「倉敷大橋喜久太殿 同金平殿 自直島同源介 要用無異」
別1-10-2	[大橋源介・金平宛きく太書状]	年未詳6月14日	横継紙	1通	炎天につき普請場の水汐入手順子細と、式番釜の出来塩小俵の売捌きについての報告や、下旬の検地について相談等	
別1-10-3	[大橋喜久太宛同源介書状]			1包(3通)		別1-10-3-1~3包紙で一包(包紙上書)「直島御用所二而 大橋喜久太様 同源介 無事内用書」
別1-10-3-1	[大橋喜久太宛同源介書状]	年未詳4月12日	横継紙	1通	西地場の土手ができたか御尋ね 先頃改めの六番のうち間数 違いの地場の野取再改依頼 西座敷取崩は今年延引のこと	(上書)「大橋喜久太殿 源介 要用」
別1-10-3-2	[大橋喜久太宛源介追書]	年月未詳12日	横継紙	1通	増尾屋船が不参につき代わりの荷積と取寄せについて御願	
別1-10-3-3	[大橋宛半二郎書状]	年未詳4月12日	横継紙	1通	塩の売渡値について相談	包紙あり(包紙上書)「大橋御旦那様 直島より半二郎 尊下恐々」
別1-10-4	[大橋金平宛同源介書状]	年未詳2月8日	横継紙	1通	西座敷取崩の義は弥吉と行違いで難儀のこと、先頃半治郎から依頼の足守塩蔵について喜久太と相談するように等	包紙あり(包紙上書)「倉敷大橋金平様 自直島同金平 要用」
別1-10-5	覚(入用持参願)	年未詳6月23日	横継紙	1通	きく太→父 ろうそく、筆、きせん、氷砂料、焼酎他	
別1-10-6	[大橋源介宛同喜久太書状]	年未詳6月20日	横継紙	1通	26、27日の出張都合いと入用の品々の調達について	(上書)「大橋源介様 同喜久太 急用要 直島より」
別1-10-7	[大橋源介宛三宅左衛門書状]	年月日未詳	横継紙	1通	発熱のため約束していた面会ができないことへの詫言	
別1-10-8	[父・金平宛きく太書状]	年未詳4月2日	横継紙	1通	水門、三番の地場、式番釜、西地場他普請場それぞれの片付子細について報知	
別1-10-9	[源介宛源左衛門書状]	年未詳7月29日	横切紙	1通	内命にて島田宅へ同道願	
別1-10-10	[大橋宛松屋書状]	年未詳7月19日	横継紙	1通(2枚)	10日からの持浜の状況や、勘介等が注文品を積入れ16日朝赤穂出帆予定ときいていたが未着であること等の報知	包紙あり(包紙上書)「倉敷大橋旦那様 直島より松屋 用事」
別1-10-11	[大橋源介宛直島三宅源左衛門書状]	丑年6月22日	横継紙	1通	当月27日より検地の件承知と御用の品があれば市左衛門へ申し付けてほしい	
別1-10-12	勘定(入用銀勘定)	年未詳5月8日	横継紙	1通	きく太→源介・平右衛門 堀屋常蔵当借り之分他	
別1-10-13	[大橋宛直島半二郎書状]	年未詳2月20日	横継紙	1通	増尾屋船帰着につき助左衛門より塩籠等の売払いについて報知	
別1-10-14	[書状]			1括り(2通)		別1-10-14-1~2紐で一括り
別1-10-14-1	[父宛金平書状]	年未詳3月19日	横継紙	1通	左十郎等がむさへ拾いに行った釜石を直島へ石積するように頼んだが宿が打合せせず此方へ帰ってしまった件で彦崎より引替むさへ出向く旨報知	

別1-10-14-2	[父宛きく太口上]	年未詳3月19日	横切紙	1通(7枚)	左十郎が松蔵と牟佐へ行ったが、宿銭舟賃が不足難義した件の報告や水門せき板の相談等	
別1-10-15	[大橋源助宛三宅伝左衛門書状]	年未詳5月7日	横継紙	1通	人足等の不自由や浜方地場ならしくぼみが水溜りになること、またその件で近々出張の依頼	包紙あり(包紙上書)「倉舗大橋源助様 玉下 三宅伝左衛門 五月七日 自直島」
別1-10-16	[大橋源介宛三宅源左衛門・同伝左衛門書状]	丑年6月21日	横継紙	1通	当月27日検地について委細報知	包紙あり(包紙上書)「大橋源介様 御報 三宅源左衛門 同伝左衛門 六月廿一日 自直島」
別1-10-17	[金平宛喜久太口上]	年月未詳14日	横継紙	1通	粟〇〇一条について困っている旨	(上書)「金平様 喜久太 内要用」
別1-10-18	[大橋喜久太宛三宅源左衛門書状]	丑年4月14日	横切紙	1通	検地日限承知につき当島年寄中へも申達す また17、18日頃には出勤する旨	包紙あり(包紙上書)「大橋喜久太 貴答 三宅源左衛門 四月十四日 直島より」
別1-10-19	[大橋源介宛三宅源左衛門書状]	年未詳4月28日	横切紙	1通	菓子のお礼と書面二通送付	
別1-10-20	[父宛きく太書状]	年未詳5月8日	横継紙	1通	普請方次第が不自由で片付き難しい件を源左衛門と相談取極めた趣について半二より聞いてほしいこと等	
別1-10-21	[大橋源助宛三宅源左衛門書状]	年未詳5月7日	横継紙	1通	検地日限が近いが西地場が出来かねているので出張依頼 また、検地賄方について別紙の通り取計願	包紙あり(包紙上書)「倉舗大橋源助様 玉下 三宅源左衛門 五月七日 従直島」
別1-10-22	[大橋源介宛同喜久太書状]	年未詳3月20日	横継紙	1通(2枚)	雨天で滞り中の普請方片付子細報知	(上書)「大橋源介様 同喜久太」
別1-10-23	[大橋源介宛三宅源左衛門書状]	年未詳7月16日	横継紙	1通	役人方へ御施が延引しているが万事取計らしいの御願	包紙あり(包紙上書)「倉敷大橋源介様 玉下 三宅源左衛門 七月十六日 自直島」
別1-10-24	大坂之振り合	年未詳6月4日	横継紙	1通	喜久太→大橋源介 赤穂置の小俵について算用	
別1-10-25	[大橋源介宛同喜久太書状]	年未詳閏正月25日	横切紙	1通	松蔵等が居らず帳面調へが分かり兼ね困っていることや水門板が tonight にはできること等近況報告	(上書)「大橋源介様 同喜久太」
別1-10-26	[大橋源助宛三宅伝左衛門書状]	年未詳2月24日	横継紙	1通	雨続きの上、島中御停止の儀があり、普請所大工等は長休となって迷惑しているが町中の振合も伺いたい	
別1-10-27	[喜久太・金平宛源介書状]	年未詳3月19日	横継紙	1通	留主中に石工富蔵へ金五両を貸し、鶴新田入用として帳面に記すように、また量表等の品を増尾屋船で送るよう依頼	(上書)「倉敷大橋金平様 自直島 同源介 用事」
別1-10-28	[中島屋金平宛源介用状]	年未詳3月20日	横継紙	1通	鯛浜焼2つ遣し、桶之輪取延引、今日塩籠を積入れて値段を半次郎と相談したこと等報知	(上書)「中島屋金平殿 従直島源介 用事」
別1-10-29	[大橋宛三宅伝左衛門書状]	年月日未詳	横継紙	1通	昨日平右衛門と約束していたが訪問できなかったので御詫びを伝えてほしい	
別1-11	[人足通帳類]			1括り(仮16冊40通)		別1-11-1~56重ねて巻き紐で一括り 紐破損のためSILティッシュで括る
別1-11-1	平夫通	年未詳7月7日	横折紙	1通	新開御用所→や五番番田藤蔵	
別1-11-2	平夫通	年未詳7月6日	横折紙	1通	新開御用所→多度津代蔵	
別1-11-3	平夫通	年未詳7月7日	横切紙	1通	新開御用所→れ四番玉村徳蔵	
別1-11-4	平夫通	年未詳7月7日	横切紙	1通	新開御用所→直島長右衛門	
別1-11-5	平夫通	年未詳7月7日	横切紙	1通	新開御用所→玉片右衛門	
別1-11-6	平夫通	年未詳7月7日	横折紙	1通	新開御用所→さ五番阿津武兵衛	
別1-11-7	平夫通	年未詳7月7日	横切紙	1通	新開御用所→ま武番利生宇治郎	
別1-11-8	平夫通	年未詳7月7日	横折紙	1通	新開御用所→よ三番連島亀蔵	
別1-11-9	平夫通	年未詳7月7日	横切紙	1通	新開御用所→連島太十郎	
別1-11-10	平夫通	年未詳7月7日	横折紙	1通	新開御用所→直島弁蔵	
別1-11-11	平夫通	年未詳7月7日	横切紙	1通	新開御用所→玉村庄吉	
別1-11-12	平夫通	年未詳7月7日	横折紙	1通	新開御用所→り四番連島愛介	
別1-11-13	平夫通	年未詳7月7日	横切紙	1通	新開御用所→瀬戸定蔵	
別1-11-14	平夫通	年月日未詳	横切紙	1通	新開御用所→向島清蔵	
別1-11-15	平夫通	年月日未詳	横折紙	1通	新開御用所→ゆ武番梶岡助四郎	
別1-11-16	平夫通	年月日未詳	横切紙	1通	新開御用所→赤穂弥作	
別1-11-17	平夫通	年月日未詳	横折紙	1通	新開御用所→ら三番山田清之介	
別1-11-18	平夫通	年未詳7月7日	横切紙	1通	新開御用所→番田兼吉	
別1-11-19	平夫通	年月日未詳	横折紙	1通	新開御用所→番田空介	
別1-11-20	平夫通	年未詳7月6日	横折紙	1通	新開御用所→山田熊蔵	
別1-11-21	平夫通	年未詳7月6日	横切紙	1通	新開御用所→はん田新吉	
別1-11-22	平夫通	年未詳7月7日	横切紙	1通	新開御用所→番田久吉	
別1-11-23	平夫通	年月日未詳	横折紙	1通	新開御用所→は武番番田末吉	
別1-11-24	平夫通	年未詳6月7日	横折紙	1通	新開御用所→せ武番梶岡鉄次郎	
別1-11-25	平夫通	年月日未詳	横折紙	1通	新開御用所→ね四番山田一八	
別1-11-26	平夫通	年月日未詳	横折紙	1通	新開御用所→山田為吉	
別1-11-27	平夫通	年未詳7月7日	横折紙	1通	新開御用所→る五番番田清吉	
別1-11-28	平夫通	年月日未詳	横切紙	1通	新開御用所→番田三次郎	
別1-11-29	平夫通	年未詳7月6日	横折紙	1通	新開御用所→や四番山田作吉	
別1-11-30	平夫通	年月日未詳	美・横長	仮1冊	新開御用所→柳井原常右衛門	
別1-11-31	京八番土積通	年月日未詳	横折紙	1通	新開御用所→うの佐之吉	
別1-11-32	銀通	年月日未詳	横折紙	1通	御用所→石工義介	
別1-11-33	仕送り通	年月日未詳	美・横長	仮1冊	直島御新開方御用所→豊島家之浦石工山口屋儀助	
別1-11-34	[樋入用代銀書付]	年月日未詳	横継紙	1通		
別1-11-35	く三番土積通	年月日未詳	美・横長	仮1冊	新開御用所→宇野村紋次郎	
別1-11-36	四拾番土積通	年月日未詳	美・横長	仮1冊	新開御用所→児島郡うの繁蔵	

別1-11-37	ね組貳番土積通	年未詳7月8日	美・横長	仮1冊	新開御用所→児島郡宇野村幸吉	
別1-11-38	つ五番土積通	年月日未詳	横折紙	1通	新開御用所→うの岩吉	
別1-11-39	れ百番土積通	年未詳7月7日	美・横長	仮1冊	新開御用所→玉村徳蔵	
別1-11-40	五十四番土積通	年未詳7月8日	美・横長	仮1冊	新開御用所→うの松太郎	
別1-11-41	し組三番土積通	年月日未詳	美・横長	仮1冊	新開御用所→児島郡宇野村六蔵	
別1-11-42	か組三番土積通	年月日未詳	美・横長	仮1冊	新開御用所→宇野村梅蔵	
別1-11-43	み壱番土積通	年未詳7月8日	横折紙	1通	新開御用所→利生辰四郎	
別1-11-44	を五番土積通	年月日未詳	美・横長	仮1冊	新開御用所→児島郡宇野村役蔵	
別1-11-45	ろ五番土積通	年月日未詳	美・横長	仮1冊	新開御用所→児島郡玉村利右衛門	
別1-11-46	ほ組四番土積通	年未詳7月8日	美・横長	仮1冊	新開御用所→児島郡玉村九重郎	
別1-11-47	ゆ壱番土積通	年未詳7月8日	横折紙	1通	新開御用所→番田仲蔵	
別1-11-48	式拾番土積通	年月日未詳	美・横長	仮1冊	新開御用所→児島郡宇野村利吉	
別1-11-49	る組貳番土積通	年未詳7月7日	美・横長	仮1冊	新開御用所→直島宮浦市太夫	
別1-11-50	平夫通	年未詳7月8日	横切紙	1通	新開御用所→児島卯の幸吉	
別1-11-51	平夫通	年未詳7月8日	横切紙	1通	新開御用所→児島卯の佐之吉	
別1-11-52	平夫通	年未詳7月8日	横切紙	1通	新開御用所→児島卯の繁蔵	
別1-11-53	わ壱番土積通	年月日未詳	美・横長	仮1冊	新開御用所→利生浅次郎	
別1-11-54	平夫通	年未詳7月8日	横切紙	1通	新開御用所→児島卯の宇作	
別1-11-55	そ四番土積通	年未詳7月8日	横切紙	1通	新開御用所→利生大蔵	
別1-11-56	は四番土積通	年月日未詳	美・横長	仮1冊	新開御用所→瀬戸治之介	
別1-12	[直島関係書状類]			1括り(21通2包)		別1-12-1~23紐で一括り
別1-12-1	覚(入用書付)	年未詳10月28日	横切紙	1通	御用所→大橋 まくわのゑ、さぬきかめ、はがま、なへ	
別1-12-2	[大橋源介宛同喜久太口上]	年未詳10月28日	横継紙	1通	さぬきかめ等を釜屋入用で買ったこと等浜方始末について報知	(上書)「大橋源介様 同喜久太 用事」
別1-12-3	[大橋金平宛同喜久太書状]	年未詳10月7日	横継紙	1通	普請方が近々出来るので安心している また塩ますと昆布を堀屋常蔵舟で送るので私家へ遣すように依頼	(上書)「大橋金平様 同喜久太 用要」
別1-12-4	[大橋源介宛同喜久太書状]	年未詳6月23日	横継紙	1通	27日検地の迎いで出船しており25日に到着予定 六番から八番地場の普請方について雨天で難儀の旨報知 合羽等の御用所入用要求	包紙あり(包紙上書)「大橋源介様 同喜久太 急用要 直島より」
別1-12-5	[東大橋宛半二郎書状]	年未詳7月29日	横折紙	1通	堀尾屋船の品々請取の報告	包紙あり(包紙上書)「東大橋様 尊下要用 直島 新開半二郎」
別1-12-6	[大橋源介宛三宅源左衛門書状]	年未詳12月25日	横継紙	1通	浜高礼受取と贈酒の礼	
別1-12-7	[大橋源介宛同喜久太書状類]			1包(2通)		別1-12-7-1~2包紙で一包 (包紙上書)「大橋源介様 同喜久太 要用報」
別1-12-7-1	[父・金平宛きく太書状]	年未詳閏正月10日	横継紙	1通	普請方は雨天と年賀で滞り、村方人足も欠勤している また金子之義は別紙内書書を遣す等	
別1-12-7-2	内考(浜方入用算用書付)	年未詳10日	横継紙	1通	きく太→平右衛門・源介	
別1-12-8	[大橋金平宛同源介書状]	年未詳10月7日	横切紙	1通	浜方見受のところ堤根堀浚も追々出来るが地場が悪く内検地は見合せ また、縄を船積みするので本家へ伝えるように依頼	(上書)「倉敷大橋金平様 自御用所同源介 要用無異」包紙あり(包紙上書)「大橋金平様 同喜久太 急用要 糺つと式つ相添」
別1-12-9	覚(入用銀書付)	年月日未詳	横継紙	1通	御恵浜→極楽寺	
別1-12-10	[購入用書付]	年月日未詳	横継紙	1通		
別1-12-11	[大橋源介・大橋金平宛河野喜左衛門書状]	年未詳11月23日	横継紙	1通	兼ねて内談の一条について直談延引の詫び	破損 包紙あり(包紙上書)「大橋源介様 大橋金平様 〇〇喜左衛門 〇〇要用」
別1-12-12	[大橋金平宛同喜久太書状]	年未詳10月17日	横継紙	1通	川うそ2疋を本家へ遣す 普請方五番地場は明日辺り水塩取りの予定 21、22日迄に帰宅するように催促	(上書)「大橋金平様 同喜久太 要用」包紙あり(包紙上書)「大橋金平様 同喜久太 要用 自直島」
別1-12-13	[大橋源助宛三宅源左衛門書状]	子年11月21日	横継紙	1通	大工藤蔵并弟音吉を松蔵外一同で吟味し捕へ置いている件について意見伺い	包紙あり(包紙上書)「倉敷二而 大橋源助様 三宅源左衛門 急用十一月廿一日 自直島」
別1-12-14	[東大橋宛松蔵口上他]			1包(2通)		別1-12-14-1~2包紙で一包 (包紙上書)「東旦那様 直島御用所 松蔵 用事」
別1-12-14-1	[東大橋宛松蔵口上]	年未詳12月25日	横継紙	1通	吉番と五番の持浜で取れた水塩の量や、人足渡方も20日の賃用ですませたこと等の報告 油壱樽要求	
別1-12-14-2	覚(壱番及五番浜水塩数書付)	年月日未詳	横切紙	1通		
別1-12-15	[大橋源介宛同金平書状]	年月未詳27日	横継紙	1通	雨天で新開干除が悪いが当夏よりは大きいに浜が出来ていることと塩焼形の大きさや文字について報告	(上書)「大橋源介様 同金平 用事」
別1-12-16	[大橋源助宛三宅伝左衛門重治書状]	年未詳正月5日	横折紙	1通	年始挨拶	包紙あり(包紙上書)「備中倉舗大橋源助様 三宅伝左衛門 参人々 御中 自直島」
別1-12-17	[大橋源介・同金平宛同喜久太書状]	年未詳9月29日	横継紙	1通(3枚)	普請方内地干除の義はよく干落し、樋抜落しが出来ていないが洩汐は絶えて安心していること等の報告	包紙あり(包紙上書)「大橋源介様 同喜久太 急用要 直島より」
別1-12-18	[大橋源介宛同喜久太書状]	年未詳10月27日	横継紙	1通(2枚)	大雨で浜方が満水のこと、24日より五番浜地場の水塩をためていること、腰台八蔵組の分が出来たこと等の報知	(上書)「大橋源介様 同喜久太 用要」
別1-12-19	[大橋源介宛喜久太書状]	年月未詳24日	横継紙	1通	藤蔵一条について藤蔵と音吉を加子加五郎が舟で送り、宿預けにしたことと失念していた間縄をのき入れ置いたこと等の報知	包紙あり(包紙上書)「大橋源介様 直島より同喜久太 要用」
別1-12-20	[大橋源助宛富岡屋貞助書状]	年未詳11月15日	横継紙	1通	楳円先生への支払い残銀四両の調達依頼	包紙2枚あり(外包紙上書)「讃州直島大橋源助様 御用先 要用 富岡屋貞助 従倉舗」(内包紙上書)「讃州直島大橋源助様 御用先 尊下要用 富岡屋貞助 従倉舗」

別1-12-21	[大橋金平宛同源助書状]	年未詳11月8日	横継紙	1通	浜方は五軒分がほぼ仕上りのことや、一釜の水汐の初釜たきで塩の色が黒くなったこと等報知	(上書)「倉敷大橋金平殿 直島より同源助 要用」
別1-12-22	[大橋源介宛同喜久太書状]	年未詳10月3日	横継紙	1通	地場平しのもり汐について大手井路筋の堀さらえをし、登り堤のもり汐も取繕い中のこと等報知	(上書)「大橋源介様 同喜久太 御報」
別1-12-23	[大橋源助宛三宅源左衛門重保書状]	年未詳正月5日	横折紙	1通	年始挨拶と近日出張の件承知	
別1-13	[倉敷村大橋秀太郎宛子位庄村窪津大紀用状]	明治7年6月3日	横切紙	1通	売渡し田地の地券名前書き替えの件で御願い	
別1-14	記(本家分等地券枚数書付)	年月日未詳	横継紙	1通		
別1-15	[大橋源介・大橋平右衛門宛きく太書状]	年未詳6月21日	横継紙	1通	27日の検地での出張について承知、人足の数、塩商い、四番釜等の釜焚きについて等報告	
別1-16	[人夫通帳]			1括り(7通)		別1-16-1~7紐で一括り 紐破損のためSILティッシュで括る
別1-16-1	平夫通	年月日未詳	横切紙	1通	新開御用所→せと田虎吉	
別1-16-2	ひ三番土積通	年未詳6月28日	横折紙	1通	新開御用所→せと田甚介	
別1-16-3	平夫通	年月日未詳	横切紙	1通	新開御用所→せと田甚介	
別1-16-4	け五番土積通	年月日未詳	横折紙	1通	新開御用所→芸州しかた虎吉	
別1-16-5	て三番土積通	年未詳7月1日	横折紙	1通	新開御用所→生名伝右衛門	
別1-16-6	た壱番土積通	年未詳7月1日	横折紙	1通	新開御用所→生名彦吉	
別1-16-7	ひ壱番土積通	年月日未詳	横折紙	1通	新開御用所→せと田源之助	
別1-17	[丑正月より十一月迄要用書]			1括り(25通)		別1-17-1~25包紙で包み紐で一括り 年始挨拶の大橋源助宛菅波久治郎書状を包紙にしている(包紙上書)「丑正月より十一月迄要用書入」
別1-17-1	[中島屋源介宛石原権平書状]	年未詳正月15日	横折紙	1通	年始挨拶	包紙あり(包紙上書)「倉敷中島屋源介様 石原権平」
別1-17-2	[大橋宛五兵衛・善太夫書状]	年未詳4月27日	横継紙	1通	銀子借用依頼	封筒あり(封筒上書)「大橋様 秋庭 内用尊下」
別1-17-3	[倉敷大橋源助宛近藤甚介書状]	年未詳7月17日	横継紙	1通	21・22日の祖父七回忌の案内	包紙あり(包紙上書)「倉敷大橋源助様 安井 近藤甚介拝 貴下」
別1-17-4	[大橋源介宛片山栄吉書状]	年未詳4月14日	横継紙	1通	良三郎の縁談、塩飽島宮本伝右衛門の出自、岡山谷氏の破談、孫蔵作配一条を栄蔵に頼んだこと	包紙あり(包紙上書)「大橋源介様 片山栄吉 拝答要用」
別1-17-5	[大橋金平宛仁科源蔵書状]	年未詳2月6日	横継紙	1通	餞別南鏡三片への礼	(上書)「大橋金平様 仁科源蔵」
別1-17-6	[大橋金平宛高橋平兵衛書状]	年未詳6月9日	横継紙	1通	旧年来役介になっている本家事についての礼 徳蔵様のなんかく(南学カ)の祝いと猪かい様の芸州引越しについて	封筒あり(封筒上書)「倉敷にて大橋金平様 備前高橋平兵衛 御侍 貴下」
別1-17-7	[大橋源介・同金平宛京室町ましま純書状]	年未詳4月22日	横継紙	1通		
別1-17-8	[大橋源介宛井上三郎右衛門書状]	年未詳4月8日	横継紙	1通	肴の贈品への礼	封筒あり(封筒上書)「大橋源介様 井上三郎右衛門 貴答」
別1-17-9	[大橋源介宛河野喜左衛門書状]	年未詳6月12日	横継紙	1通	正介を差し向けてくれたことと母への贈品に対する礼	包紙あり(包紙上書)「大橋源介様 河野喜左衛門 奉復」
別1-17-10	[大橋源介・同金平宛ましますみ書状]	年未詳5月28日	横継紙	1通	金子十疋と干鰯一尾遣しへの礼	包紙あり(包紙上書)「備中倉子城二而 大橋源介様 摩島丈造 平安 五月廿八日」
別1-17-11	[大橋源介宛大島猪兵衛書状]	年未詳正月18日	横継紙	1通	当村年賦銀の15日切の払入が延引しているが、当月末まで猶予をくれるよう御願い	包紙あり(包紙上書)「大橋源介様 大島猪兵衛 貴下」
別1-17-12	[大橋源介宛田中文右衛門・大島猪兵衛書状]	丑年閏正月16日	横継紙	1通(2枚)	昨年の洪水で綿不作につき銀廻りが悪く延引していたが、年賦銀払入	
別1-17-13	[大橋源介宛児島庄左衛門・児島七郎右衛門書状]	年未詳4月16日	横継紙	1通	生鯛贈品への礼	包紙あり(包紙上書)「大橋源介様 児島七郎右衛門 貴報」
別1-17-14	[金受取証]	年月未詳11日	横切紙	1通	三宅譲平→(宛名なし)	
別1-17-15	[大橋源助宛伊勢や彦七書状]	年未詳正月6日	横継紙	1通	無沙汰の詫びと湯しま天神いせやの養子となり家業をしていること	封筒あり(封筒上書)「倉しき大橋源助様 人々御中 いせや彦七」
別1-17-16	[大橋源介宛文介書状]	年未詳8月13日	横継紙	1通	売払の受取書差越すことと作廻方が金田氏になったこと	(上書)「大橋源介様 岡山より文介 奉答」
別1-17-17	[大橋金平宛大黒屋文介書状]	年未詳10月4日	横継紙	1通	松原様分は当月中旬頃まで延引依頼があったこと、江戸表山田氏親類よりも借銀返済延引の断りがあったこと等	包紙あり(包紙上書)「大橋金平様 大黒屋文介 要用書」
別1-17-18	[大はし宛そう用状]	年月未詳19日	縦切紙	1通	大酩酊で今日の役所行延引	(上書)「大はしさま そうより 大急用御直披」
別1-17-19	[入用書付]	年月日未詳	横切紙	1通	米、ごとく、土びん、油つぎ他	
別1-17-20	[大橋源介・同金平宛秋庭五一兵衛・同善太夫書状]	年未詳8月6日	横切紙	1通	借用金子の引替手形遣し	包紙あり(包紙上書)「大橋様 秋庭 内用別紙在中貴下」
別1-17-21	[大橋源介・同金平宛秋庭五一兵衛書状]	年未詳9月14日	横継紙	1通	親子一緒に話があり、善太夫不快のため来訪してほしいが五一兵衛の他行があるので日限の都合伺い	(上書)「大橋様 秋庭」包紙あり(包紙上書)「大橋源介様 御同金平 秋庭五一兵衛 内要用」
別1-17-22	[大橋源助宛猪飼敬所書状]	年未詳8月14日	横継紙	1通	一昨年冬より令息寄寓につき毎々の挨拶状への礼と年忌で先帰国の件承知、土産の木綿に対し菓子にて返礼(代筆)	包紙あり(包紙上書)「大橋源介様 猪飼敬所 回報 八月十四日」
別1-17-23	覚(受取銀遣し)	丑年10月13日	横切紙	1通	文介→新宅	
別1-17-24	覚(受取銀遣し)	年未詳10月15日	横切紙	1通	文介→新宅	
別1-17-25	[大橋源介宛常太郎書状]	年月未詳13日	横継紙	1通	贈品の群肴への礼	(上書)「大橋老兄 常太郎 玉机下用答 略封吉平 渡免可被下候」
別1-18	[通帳]	年月日未詳	半・横半折	仮1冊		
別1-19	注文物控置おほへ	年月日未詳	美・横長	1通	縄・音物・かます他	
別1-20	[取替金元利書抜他]			1括り(2纏め)		別1-20-1~2紐で一括り
別1-20-1	[取替金元利書抜]			1纏め(1冊2通)		別1-20-1-1~3重ねて折りたたんでいる
別1-20-1-1	覚(預米書付)	年月日未詳	横折紙	1通		
別1-20-1-2	覚(預米書付)	年月日未詳	横折紙	1通		
別1-20-1-3	安政四丁巳年五月 取替金巳五月元利書抜	安政4年5月	美・横長	1冊		



別1-20-2	[小作米請負銀勘定書]			1纏め(仮1冊1通)		別1-20-2-1は別1-20-2-2を挟んでいる
別1-20-2-1	[小作米請負銀勘定書]	年月日未詳	半・横長	仮1冊		綴じ紐なし 前後欠か不明
別1-20-2-2	覚(銀子借証文)	安政4年6月	縦継紙	1通	船尾村熊蔵・証人政次郎→倉敷大橋源介	包紙あり
別1-21	汐留寺社御祈禱之時諸入用扣	年月日未詳	半・横長	1冊		
別1-22	[人夫通帳]			1括り(仮19冊40通)		別1-22-1～59紐で一括り
別1-22-1	や四番土積通	年未詳7月6日	横折紙	1通	新開御用所→児島郡山田村佐吉	
別1-22-2	け三番土積通	年未詳7月7日	横折紙	1通	新開御用所→岩木勝蔵	
別1-22-3	四拾八番土積通	年未詳7月7日	横折紙	1通	新開御用所→岩木二松	
別1-22-4	み四番土積通	年未詳7月7日	横折紙	1通	新開御用所→せと田藤吉	
別1-22-5	三十四番土積通	年未詳7月7日	横折紙	1通	新開御用所→せと田大次郎	
別1-22-6	十五番土積通	年月日未詳	横折紙	1通	新開御用所→児島郡阿津武兵衛	
別1-22-7	め壱番土積通	年未詳7月7日	横折紙	1通	新開御用所→生名与喜蔵	
別1-22-8	え三番土積通	年未詳7月7日	横折紙	1通	新開御用所→生名嘉治郎	
別1-22-9	い組五番土積通	年未詳7月5日	美・横長	仮1冊	新開御用所→直島積村長兵衛	
別1-22-10	平夫通	年未詳7月7日	美・横長	仮1冊	新開御用所→倉敷赤平	
別1-22-11	あ四番土積通	年未詳7月7日	横折紙	1通	新開御用所→生名弥三右衛門	
別1-22-12	さ貳番土積通	年未詳7月7日	横折紙	1通	新開御用所→生名才吉	
別1-22-13	平夫通	年未詳6月7日	横折紙	1通	新開御用所→日比市蔵	
別1-22-14	け壱番土積通	子年7月7日	横折紙	1通	新開御用所→岩木喜代松	
別1-22-15	平夫通	年未詳7月7日	美・横長	仮1冊	新開御用所→日比千蔵	
別1-22-16	四十七番土積通	年未詳7月7日	横折紙	1通	新開御用所→岩木俊太郎	
別1-22-17	て四番土積通	年未詳7月7日	横折紙	1通	新開御用所→生名文之丞	
別1-22-18	て貳番土積通	年未詳7月7日	横折紙	1通	新開御用所→生名鉄蔵	
別1-22-19	さ壱番土積通	年未詳7月7日	横折紙	1通	御用所→生名善蔵	
別1-22-20	あ三番土積通	年未詳7月7日	横折紙	1通	御用所→生名惣次郎	
別1-22-21	三十二番土積通	年未詳7月7日	横折紙	1通	御用所→せと田才蔵	
別1-22-22	て壱番土積通	年未詳7月7日	横折紙	1通	御用所→生名仲蔵	
別1-22-23	わ貳番土積通	年未詳7月7日	美・横長	仮1冊	新開御用所→利生卯治郎	
別1-22-24	え五番土積通	年月日未詳	横折紙	1通	新開御用所→生名長十郎	
別1-22-25	京四番土積通	年未詳7月7日	横折紙	1通	新開御用所→小松原勇蔵	
別1-22-26	ゆ五番土積通	年未詳7月7日	横折紙	1通	新開御用所→生名清十郎	
別1-22-27	す貳番土積通	年月日未詳	横折紙	1通	新開御用所→生名作蔵	
別1-22-28	ふ五番土積通	年未詳7月7日	横折紙	1通	新開御用所→大崎庄十郎	
別1-22-29	五十番土積通	年未詳7月7日	横折紙	1通	新開御用所→小松原吉松	
別1-22-30	ふ四番土積通	年未詳7月7日	横折紙	1通	新開御用所→大崎吉五郎	
別1-22-31	た貳番土積通	年未詳7月7日	横折紙	1通	新開御用所→生名与吉	
別1-22-32	け貳番土積通	年未詳7月7日	横折紙	1通	新開御用所→岩木甚蔵	
別1-22-33	あ五番土積通	年未詳7月7日	横折紙	1通	新開御用所→生名常介	
別1-22-34	た五番土積通	年未詳7月7日	美・横長	仮1冊	新開御用所→大崎徳兵衛	
別1-22-35	ろ組貳番土積通	年未詳7月7日	美・横長	仮1冊	新開御用所→直島内向島弁蔵	
別1-22-36	ね四番土積通	年月日未詳	美・横長	仮1冊	新開御用所→児島郡山田村一八	
別1-22-37	さ五番土積通	年未詳7月6日	横折紙	1通	新開御用所→沢村伊兵衛	
別1-22-38	さ四番土積通	年未詳7月6日	横折紙	1通	御用所→沢村十兵衛	
別1-22-39	五十六番土積通	年未詳7月6日	横折紙	1通	新開御用所→せと田浅吉	
別1-22-40	す四番土積通	年未詳7月6日	横折紙	1通	新開御用所→山田為吉	
別1-22-41	四拾三番土積通	年未詳7月6日	美・横長	仮1冊	御用所→播州赤穂弥作	
別1-22-42	二十七番土積通	年未詳7月6日	美・横長	仮1冊	新開御用所→阿州高崎丹五郎	
別1-22-43	せ貳番土積通	年未詳7月6日	美・横長	仮1冊	新開御用所→梶岡鉄次郎	
別1-22-44	ね三番土積通	年未詳7月6日	横折紙	1通	新開御用所→利生藤蔵	
別1-22-45	つ貳番土積通	年月日未詳	美・横長	仮1冊	新開御用所→児島郡番田村卯吉	
別1-22-46	い三番土積通	年月日未詳	美・横長	仮1冊	新開御用所→児島郡番田村三太郎	
別1-22-47	は壱番土積通	年月日未詳	美・横長	仮1冊	新開御用所→番田利吉	
別1-22-48	は三番土積通	年未詳7月6日	美・横長	仮1冊	新開御用所→児島郡番田村久吉	
別1-22-49	貳拾三番土積通	年月日未詳	横折紙	1通	新開御用所→児島郡山田村熊蔵	
別1-22-50	京五番土積通	年月日未詳	美・横長	仮1冊	新開御用所→児島郡山田久蔵	
別1-22-51	は貳番土積通	年月日未詳	横折紙	1通	新開御用所→児島郡番田村末吉	
別1-22-52	ひ組五番土積通	年月日未詳	美・横長	仮1冊	新開御用所→児島郡番田村兼吉	
別1-22-53	五拾八番土積通	年月日未詳	横折紙	1通	新開御用所→児島郡番田村七之助	
別1-22-54	い組貳番土積通	年月日未詳	美・横長	仮1冊	新開御用所→直島内向島清蔵	
別1-22-55	ゆ貳番土積通	年未詳7月7日	横折紙	1通	新開御用所→児島郡梶岡助四郎	
別1-22-56	ふ組三番土積通	年未詳7月7日	美・横長	仮1冊	新開御用所→児島郡山田宗吉	
別1-22-57	の五番土積通	年未詳7月6日	美・横長	仮1冊	新開御用所→なんど加八	
別1-22-58	ま五番土積通	年未詳7月6日	横折紙	1通	新開御用所→岩木藤吉	
別1-22-59	み三番土積通	年未詳7月7日	横折紙	1通	新開御用所→せと田金蔵	

別1-23	〔御恵浜見取絵図〕			1袋(2舗1枚)		別1-23-1~3袋入り(袋上書)「天保十二丑年四月 御恵浜見取絵図取調書類」
別1-23-1	〔御恵浜見取絵図〕	年月日未詳	28.2×42.0	1枚		
別1-23-2	御恵之浜地場割見取絵図	年月日未詳	75.5×137.5	1舗		
別1-23-3	〔御恵浜見取図〕	年月日未詳	67.8×88.3	1舗		
別1-24	〔直島書状并注文物控〕			1袋(3括り37通 4包1纏め)		別1-24-1~35袋に入れ紐で一括り(袋上書)「直島書状并注文物控入」
別1-24-1	〔大橋父・同金平宛きく太書状〕	年未詳5月9日	横継紙	1通	小汐時分のため樋方の干除が滞っていること、右手の富蔵は舟数が少々につき呼出し増舟させるつもりのこと、助次郎より杉丸太を交渉の上買い取り、代銀支払いのこと他	包紙あり(包紙上書)「倉敷源介様 同喜久太 急用要」
別1-24-2	〔倉敷大橋源助宛直島三宅源左衛門書状〕	年未詳5月10日	横継紙	1通	御林字井木数は別紙の通りでよいかの伺いと役所向の取りはからい願ひ	包紙あり(包紙上書)「倉敷大橋源助様 三宅源左衛門 御報」
別1-24-3	〔大橋源介・大橋金平宛喜久太書状〕	年未詳3月14日	横継紙	1通	普請方がはずんで入船が多くなり、積賃等で受取方が心配していること、石樋の件で堀割が当日晦日までには出来そうにないが西手樋所八蔵受の所は掘れていること他	包紙あり(包紙上書)「大橋源介様 同喜久太 直島より 用要」
別1-24-4	〔書状并入用書付〕			1包(9通)		別1-24-4-1~9包紙で一包 空俵等の入用書付を包紙にしている
別1-24-4-1	〔入用書付〕	年月日未詳	横継紙	1通(2枚)	酢、きさみ、青紙、上半紙他	
別1-24-4-2	〔書付〕	年月日未詳	横切紙	1通	「一 船大工伝三郎 宿谷神惣社屋へ」他2筆	
別1-24-4-3	覚(入用書付)	年月日未詳	横継紙	1通	みそ、す、きさみたばこ、さらし他	
別1-24-4-4	覚(入用書付)	年月日未詳	横継紙	1通	あき俵、縄、味噌他	
別1-24-4-5	〔大橋旦那宛店半二郎書状〕	年未詳6月24日	横継紙	1通	米等を書付と引合せ請取のことと砂入米の売払依頼	
別1-24-4-6	〔金平宛源介書状〕	年未詳5月28日	横継紙	1通	周平・手前井岩松方がある米は連島で直段がよければ売り払い、そうでなければ来月初旬までに差向け周平に聞くように	(上書)「金平殿 源介 用事」
別1-24-4-7	〔金平宛源介書状〕	年未詳7月20日	横継紙	1通	石垣の方は手後れになり、土手地理は当月中に大体調う様子だが、水尾留という事を盆前に出来難いので盆後にする旨報知、また本家へ伝達依頼	(上書)「倉敷金平殿 従御用所源介 要用無為」
別1-24-4-8	〔書状〕	年未詳6月24日	横継紙	1通	7月4日5日に水尾留をする予定で、その入用のことで近々訪ねる、またその頃に平右衛門に出張してほしい	
別1-24-4-9	〔大橋源介宛同喜久太書状〕	年未詳6月28日	横継紙	1通	寺社祈禱について源左衛門が神主及極楽寺方と相談し汐留日に決定したが、祈禱入用の品は当地で全て賄えないため、無印分の調達依頼	(上書)「大橋源介様 同喜久太 急用要」
別1-24-5	〔入用銀書付〕	年月日未詳	横切紙	1通	亥一月諸入用、亥十二月三日、同十二月十六日謝儀他	
別1-24-6	〔大橋金平宛同源介書状〕	年未詳3月3日	横継紙	1通	石垣は登り堤の方へ取り掛かる予定で堀割をしている また、石樋は間に合わないので伊部樋にしていたが当月中旬頃迄に調う様子につき石樋にする予定他	(上書)「大橋金平様 同源介 従直島 用事」
別1-24-7	〔大橋若旦那宛忠蔵書状〕	年未詳2月27日	横継紙	1通	新開所大手堤が大分調い、御用所東山根堀割も南古新開の脇まで掘付している等普請が賑っている様子を旦那様へ伝えてほしい	(上書)「井上町大橋若旦那様 直島より忠蔵 尊下要用書」
別1-24-8	〔東大橋若旦那宛店半次郎書状〕	年未詳2月4日	横継紙	1通	周平をもって頼んでいた買入物請取と地天尊供の御守送付への礼	包紙あり(包紙上書)「東大橋若旦那様 直島店二而半次郎 尊下要用」
別1-24-9	〔大橋源助宛助治郎書状〕	年未詳7月1日	横継紙	1通	約束の手掛の拵は出来てあとは文字だけなので至急返書依頼	包紙あり(包紙上書)「大橋源助様 直島助次郎 大急用 七月朔日 従岡山」
別1-24-10	〔喜久太・金平宛源助書状〕	年未詳正月29日	縦紙	1通(2枚)	小屋の屋根が出来て引移手配をする予定や昨日初めた石築に石船手先の者を連れてくる予定他	包紙あり(包紙上書)「倉敷大橋金平様 同源介 要用無異 従讃州直島 正月廿九日認発」
別1-24-11	〔大橋源介宛同喜久太書状〕	年未詳6月14日	横継紙	1通	用吉村木挽此蔵日別雇入れについて常蔵等と相談し落合がつかないので連島の方へ相談を考えていることや、土船砂値段で困っていること他	包紙あり(包紙上書)「大橋源介様 同喜久太 大急用要 六月十四日朝認自直島」
別1-24-12	〔大橋源介宛同喜久太口上〕			1纏め(2通)		別1-24-12-1は別12-24-12-2を巻き込んでいる
別1-24-12-1	〔大橋源介宛同喜久太口上〕	年月日未詳	横継紙	1通	木挽は服部屋を通して鴨方左の者を頼んだが、大洪水で三四日内には来ないので急ぐように服部屋へ伝言依頼と松丸太代銀と運賃について相談	(上書)「大橋源介様 同喜久太 急要用」
別1-24-12-2	〔入用書付〕	年月日未詳	横切紙	1通	とりもち他	
別1-24-13	〔大橋宛忠蔵書状〕	年未詳3月13日	横継紙	1通	普請所では土船多数で出精し、東山根堀浚他が出来ると等順調で、旦那様始棟梁好助等が悦んでいるので本家へも伝えるよう依頼	破損の包紙あり(包紙上書)「井上町大橋様 直島より堀内忠蔵 尊下要用書」
別1-24-14	〔平右衛門・金平宛源介書状〕	年未詳5月2日	横継紙	1通	昨日検地役人方の検地が済み、当浜の義と御林の義が願ひ通りに間済みとなり下見分が行われたこと等報知	包紙あり(包紙上書)「大橋平右衛門様 同源介 従直島 要用」
別1-24-15	〔大橋源助・大橋喜久太宛大橋平右衛門書状〕	年未詳5月26日	横継紙	1通	金及新札指出、昨日金平が届けた分間絵図について御尋ね、組頭割文介戎町へ付ける件の評価には欠席すること等	包紙あり(包紙上書)「直島御用所 大橋源助様 大橋喜久太様 備中倉舗大橋平右衛門 御用」
別1-24-16	〔大橋若旦那宛忠蔵書状〕	年未詳2月10日	横継紙	1通	大手堤がほぼ調い、土船や石船等も増えている新開所の様子報知	(上書)「井上町大橋若旦那様 忠蔵 尊下要用書」
別1-24-17	〔東大橋若旦那宛直島より半二郎書状類〕			1包(2通)		別1-24-17-1~2包紙で一包(包紙上書)「東大橋若旦那様 尊下 従直島御新開所半次郎 三月五日出」
別1-24-17-1	〔東大橋若旦那宛直島より半二郎書状〕	年未詳3月5日	横継紙	1通	増尾屋船の積荷値段について	
別1-24-17-2	〔入用書付〕	年月日未詳	横切紙	1通	米、香物他	

別1-24-18	[大橋若旦那宛直島より半二郎書状]			1包(2通)		別1-24-18-1~2包紙で一包(包紙上書)「大橋若旦那様 尊下 直島より半次郎」
別1-24-18-1	[大橋若旦那宛直島半二郎書状]	年未詳5月16日	横継紙	1通	増尾屋舟より醤油樽等の積荷請取	
別1-24-18-2	[大橋源介・大橋金平宛同喜久太書状]	年未詳5月16日	横継紙	1通(2枚)	砂汐留の件で近日中出張依頼、御林松の件は根切のものは一昨日来たが木挽不参のこと、市場屋材木を今朝注文取り受取のこと他	(上書)「大橋源介様 大橋金平様 急用要 同喜久太」
別1-24-19	[大橋若旦那宛半次郎書状]	年未詳2月25日	横継紙	1通	若旦那が渡海し、土船の数などを調べてくれた事に対する御礼	(上書)「若旦那様 直島店」
別1-24-20	[大橋御旦那宛直島半次郎書状]	年未詳2月27日	横継紙	1通	若旦那渡海の御礼と土船数の増加等について	
別1-24-21	[喜久太・金平宛同源助書状]	年未詳2月7日	横継紙	1通(2枚)	船数、人足の事等と普請の近況報告	(上書)「大橋金平殿 同源介 要用無異」 追書1通あり
別1-24-22	[大橋金平宛同源介書状]	年月未詳10日	横継紙	1通	船合等改めの事につき報告の事	(上書)「大橋金平様 同源介 要用無異」
別1-24-23	覚	年月日未詳	横切紙	1通	「一石灰石二付ふのり壹貳百匁」外	
別1-24-24	[大橋金平宛同喜久太書状]	年未詳7月31日	横継紙	1通	汐留の事、入用の品等について	(上書)「大橋金平様 同喜久太」
別1-24-25	[金平宛直島より源介書状]	年未詳7月10日	横継紙	1通	土船、石船、人足等について近況報告等	(上書)「金平殿 直島より源介 無異要用」
別1-24-26	[大橋金平宛書状並に入用書付]			1括り(5通)		別1-24-26-1~5一括り (包紙上書)「大橋金平様 同喜介 急用要 直島より 四月廿一日 朝認」
別1-24-26-1	[大橋金平宛同喜介書状]	年未詳4月21日	横継紙	1通	ろうそく、す、米等について	
別1-24-26-2	[大橋金平宛源介書状]	年未詳4月22日	横継紙	1通	喜久太が帰る事、入用の品の調達依頼等について	(上書)「金平殿 源介 用事」
別1-24-26-3	[大橋金平宛同喜久太書状]	年未詳4月20日	横継紙	1通	普請の儀、米の儀等について	(上書)「大橋金平様 同喜久太 急要用」
別1-24-26-4	覚(入用書付)	年月日未詳	横切紙	1通	「一 つちあげいかき 貳百」外	
別1-24-26-5	[大橋金平宛同喜久太書状]	年未詳4月7日	横継紙	1通	工事の近況報告等について	(上書)「大橋金平殿 同喜久太 用要」
別1-24-27	[大橋若旦那宛半次郎書状]			1包(2通)		別1-24-27-1~2一包(包紙上書)「倉敷井上町大橋若旦那様 直島より半次郎 尊下要用」
別1-24-27-1	[大橋若旦那宛半次郎書状]	年未詳正月28日	横継紙	1通	荷物の参着について等	
別1-24-27-2	[大橋若旦那宛忠蔵書状]	年未詳正月29日	横継紙	1通	旦那様直島渡海の事について等	
別1-24-28	[大橋様御店宛口上]	年未詳2月27日	横切紙	1通(2枚)	直島御用所→倉敷大橋様御店 小半送付依頼外	
別1-24-29	[覚一括]			1括り(1通2纏め)		別1-24-29-1~4紐で一括り
別1-24-29-1	[覚一括]			1纏め(2通)		別1-24-29-1-1~2一纏め 別1-24-29-1-1で別1-24-29-1-2を巻き込んでいる
別1-24-29-1-1	覚(入用書付)	年月日未詳	横切紙	1通	桶、うちわ外	
別1-24-29-1-2	覚(入用書付)	年月日未詳	横折紙	1通	「茶こし貳つ」外	
別1-24-29-2	覚(入用書付)	年未詳2月6日	横切紙	1通	仕入物覧、入用物	
別1-24-29-3	[覚一括]			1纏め(2通)		別1-24-29-3-1~2一纏め
別1-24-29-3-1	覚(入用書付)	年月日未詳	横継紙	1通	「一 瀬戸亀貳つ 三十九口」外	
別1-24-29-3-2	覚(入用書付)	年月日未詳	横継紙	1通	「一 かます 四五十」外	
別1-24-30	[金平・喜久太宛源介書状]	年未詳4月16日	横継紙	1通	土船、人足、人員の事等の近況報告	袋あり(袋上書)「中島屋金平殿 自直島 源介 要用無異」 包紙あり(包紙上書)「東大橋若旦那様 尊翰」直島より半次郎 三月十四日認
別1-24-31	[東大橋若旦那宛半次郎書状]	年未詳3月14日	横継紙	1通	直島の事は角旦那が書状で知らせてくれる事、品々を受け取った事について等	包紙あり(包紙上書)「東大橋御旦那様 尊下」直島 半次郎
別1-24-32	[大橋御旦那宛直島より半次郎書状]	年未詳3月20日	横切紙	1通	御西君様の御様子、二百艘の土船の事について等	包紙あり(包紙上書)「大橋源介様 同喜久太 □□□□」
別1-24-33	[大橋源介宛同喜久太口上]	年未詳6月17日	横継紙	1通	木挽、松丸太、金子の事等について(要件多数)	包紙あり(包紙上書)「大橋喜久太殿 金平殿 同源助」
別1-24-34	[大橋喜久太・金平宛源助書状]	年月未詳30日	横継紙	1通	堤辺りの工事の状況について外	
別1-24-35	[大橋源介・大橋金平宛書状一括]			1括り(7通1包)		別1-24-35-1~8まで紙紐一括り 別1-24-35-1-1~3一包(包紙上書)「大橋源介様 大橋金平様 同喜久太 用要 自直島」
別1-24-35-1	[大橋源介・金平宛同喜久太書状]			1包(3通)		
別1-24-35-1-1	[大橋源介・金平宛同喜久太書状]	年未詳8月29日	横継紙	1通	男子出生の件、普請方延引の件等	
別1-24-35-1-2	[追申]	年月未詳29日	横継紙	1通	大車の事等	
別1-24-35-1-3	[書状]	年月日未詳	横切紙	1通	喜久太の書状を本家へ差出してもらいたい	
別1-24-35-2	[大橋源介・金平宛同喜久太書状]	年未詳8月17日	横継紙	1通	船の事、大工・木挽の事等	包紙あり(包紙上書)「倉敷大橋源介様 同喜久太 急用要 自直島 八月十七日朝認」
別1-24-35-3	[大橋金平宛同源介書状]	年未詳9月2日	横継紙	1通(2枚)	当地普請方について等	包紙あり(包紙上書)「大橋金平殿 同源介 急用要 直島御用所」 追申を巻き込んでいる
別1-24-35-4	[大橋金平宛同源介書状]	年未詳8月19日	横継紙	1通	男子を出産し母子ともに大丈夫であること外	(上書)「倉敷大橋金平様 従同郡 同源介 用要」
別1-24-35-5	[大橋金平宛自直島源介書状]	年未詳5月24日	横継紙	1通(2枚)	銀子の事、汐留普請の事について等	包紙あり(包紙上書)「倉敷金平殿 自直島源介 要用」 覚あり 別1-24-35-6-1~3一包(包紙上書)「大橋金平様 同源介 急要用」
別1-24-35-6	[大橋金平宛源介書状外一括]			1包(3通)		
別1-24-35-6-1	[大橋金平宛源介書状]	年未詳6月3日	横継紙	1通	御林松引割の件、大風の被害について等	
別1-24-35-6-2	[追申]	年月未詳4日	横切紙	1通(4枚)	米について外	
別1-24-35-6-3	[大橋若旦那宛直島より半二郎書状]	年未詳6月8日	横継紙	1通	大風雨の被害について等	
別1-24-35-7	[大橋金平宛同源介書状]	年月日未詳	横継紙	1通	自分が帰る事、周平の事について	包紙あり(包紙上書)「大橋金平殿 同源介 急要用」(上書)「大橋金平様 源介 用事」
別1-24-35-8	[大橋源介・金平宛直島御用所自同喜久太書状]	年未詳8月23日	横継紙	1通	普請の状況・見通し、御祭礼について等	包紙あり(包紙上書)「大橋源介様 同喜久太 急用要 八月廿三日 朝 自直島御用所(後略)」
別1-25	[屋敷絵図一括]			1袋(1纏め4通1枚4舗)		別1-25-1~10一袋(袋上書)「屋敷絵図 同 本紙三枚 下書壹枚 戌三月」
別1-25-1	[本屋敷絵図]	年月日未詳	55.7×75.3	1舗		

別1-25-2	居宅建継絵図下書	年月日未詳	55.3×74.1	1舗		
別1-25-3	本宅屋敷絵図下書	年月日未詳	57.0×73.0	1舗		
別1-25-4	[屋敷絵図下書]	年月日未詳	横切紙	1枚		
別1-25-5	判断書	年未詳3月	横継紙	1通	稲田舎隆宗→大橋 家相について	
別1-25-6	方鑑	年未詳4月乙卯日	横継紙	1通(2枚)	吉時と井水・雪隠等の吉方等	
別1-25-7	[屋敷図下絵]	年月日未詳	横切紙	1纏め(2通)		
別1-25-8	覚(かまやぶん材木)	年月日未詳	横切紙	1通	「一 くり角 四寸二五寸 式丁半」	
別1-25-9	覚(材木)	年月日未詳	横切紙	1通	「一 くり 式間 四寸角 五本」	
別1-25-10	[屋敷図下絵]	年月日未詳	39.9×37.3	1舗		
別1-26	天保十一年子三月十五日ヨリ 船着到留帳	天保11年3月15日 ～4月17日	半・横長	1冊		(裏表紙)「新開 御用書」
別1-27	口子春 醤油御通 東中島屋様	子年正月21日～卯 年4月6日	美・横列	1冊		(裏表紙)「直島 御入用」 虫損あり
別1-28	直島 買物通	天保11年正月21日 ～14年2月23日	美・横列	1冊		(裏表紙)「東中島屋引受」
別1-29	[帳面一括]			1括り(8冊)		別1-28-1～8紙綴り一括り (紙綴り上書)「戌年ヨリ明治二巳年迄控帳 口口甚介 江渡候ひかへ」
別1-29-1	巳年初後渡候米書出ひかへ	巳年	美・横半折	1冊		
別1-29-2	辰年初後渡候米書出ひかへ	辰年	美・横半折	1冊		
別1-29-3	卯年初後渡候米書出ひかへ	卯年	美・横半折	1冊		
別1-29-4	寅年初後渡候米書出ひかへ	寅年	美・横半折	1冊		
別1-29-5	丑年初後渡候米書出ひかへ	丑年	美・横半折	1冊		
別1-29-6	子年初後渡候米書出ひかへ	子年	美・横半折	1冊		
別1-29-7	亥年初後渡候米書出ひかへ	亥年	美・横半折	1冊		
別1-29-8	戌年初後渡候米書出ひかへ	戌年	美・横半折	1冊		
別1-30	[帳面一括]			1括り(2冊)		別1-30-1～2一括り
別1-30-1	天保壬寅年 歳中家事日記 富春軒	天保壬寅年2月1日 ～12月20日	美・横列	1冊		
別1-30-2	天保十四年癸卯春正月 年中晴雨日記	天保14年正月1日 ～11月11日	美・横列	1冊		
別1-31	[書状外一括]			1括り(1括り2通)		別1-31-1～3一括り
別1-31-1	[書状外一括]			1括り(1括り1包2袋)		別1-31-1-1～4一括り 紙綴り付紙「此分已前也」
別1-31-1-1	[書状外一括]			1袋(8通1纏め)		別1-31-1-1-1～9まで括られた上で一袋 (袋上書)「巳十二月取之金干や 請取手形口 平方書状添 初平式枚請引当 大橋郷左衛門」
別1-31-1-1-1	[大橋郷左衛門宛武田弥三郎・佐野市兵衛書状]	子年12月	横継紙	1通	蔵納の御知行米について	(上書)「大橋郷左衛門様 武田弥三郎 佐野市兵衛」
別1-31-1-1-2	[大橋郷左衛門宛荒木弥右衛門・草野才助書状]	寅年12月	横継紙	1通	蔵納の御知行米について	(上書)「大橋郷左衛門様 荒木弥右衛門 草野才助」
別1-31-1-1-3	[大橋郷左衛門宛草野才助・武田源三郎書状]	午年12月	横継紙	1通	蔵納の御知行米について	(上書)「大橋郷左衛門様 草野才助 武田源三郎」
別1-31-1-1-4	覚(御平切手請取)	年月日未詳	横切紙	1纏め(2枚)	大橋郷左衛門→御平方御用所	
別1-31-1-1-5	覚(御平切手請取)	年月日未詳	横継紙	1通	大橋郷左衛門→御平方御用所	
別1-31-1-1-6	覚(御平切手請取)	年月日未詳	横継紙	1通	大橋郷左衛門→御平方御用所	
別1-31-1-1-7	覚(御平切手請取)	年未詳10月	横継紙	1通	大橋郷左衛門→御用所	
別1-31-1-1-8	覚(御平切手請取)	年月日未詳	横継紙	1通	大橋郷左衛門→御平方御用所	
別1-31-1-1-9	覚(御平切手請取)	年月日未詳	横切紙	1通	大橋郷左衛門→御平方御用所	
別1-31-1-2	[覚外一括]			1袋(1括り1通1纏め)		別1-31-1-2-1～3まで括られた上で一袋 (袋上書)「午十二月取申銀干 従平式枚請引当 加藤伝兵衛 請取手形なし」(紙綴り付紙上書)「巳前分」
別1-31-1-2-1	覚(平物成御切手請取)	巳月12月	横切紙	1通	加藤伝兵衛→平方御用所	
別1-31-1-2-2	[覚一括]			1纏め(2通)		別1-31-1-2-2-1～2一纏め
別1-31-1-2-2-1	覚(平物成御切手請取)	卯月10月	横切紙	1通	加藤伝兵衛→平方御用所	
別1-31-1-2-2-2	覚(平物成御切手請取)	辰年10月	横切紙	1通	加藤伝兵衛→平方御用所	
別1-31-1-2-3	[書状外一括]			1括り(1通1纏め)		別1-31-1-2-3-1～2帯封一括り (帯封上書)「卯より戌迄ハケ年分平方受取手形并御取返翰共々」
別1-31-1-2-3-1	[加藤伝兵衛宛荒木弥右衛門・草野才助書状]	卯月3月	横継紙	1通		(上書)「加藤伝兵衛様 荒木弥右衛門 草野才助」
別1-31-1-2-3-2	[覚一括]			1纏め(2通)		別1-31-1-2-3-2-1～2一纏め
別1-31-1-2-3-2-1	覚(平物成御切手請取)	戌年10月	横切紙	1通	加藤伝兵衛→平方御用所	
別1-31-1-2-3-2-2	覚(平物成御切手請取)	酉年10月	横切紙	1通	加藤伝兵衛→平方御用所	

別1-31-1-3	[伴大介外関係書類一括]			1括り(1通1袋)		別1-31-1-3-1~2一括り
別1-31-1-3-1	[大黒屋文介宛伴善次郎書状]	年未詳5月3日	横継紙	1通	中島屋に御掛合の件について等	袋あり(袋上書)「先月取申候○ 初平式拾四請引当 伴小太郎 請取手形并平方書状なし」包紙あり(包紙上書)「大黒屋文介様 友善次郎 要用」
別1-31-1-3-2	[書状・覚外一括]			1袋(8通1纏め)		別1-31-1-3-2-1~9まで一包で一袋(袋上書)「申十二月取替金 金六拾三両 初平引当 伴大介 丑年死去 伴同善次郎(後略)」(包上書)「伴大助殿一件口口一件入用書類」袋の下部部分を紙紐で括ってあったが、整理の時紐が切れたため、SILティッシュで袋と紐を包む
別1-31-1-3-2-1	[大黒屋文介宛佐々木左衛門書状]	年未詳5月23日	横継紙	1通	銀の返札について	
別1-31-1-3-2-2	覚(御平御切手受取)	年月日未詳	横切紙	1通	伴大介→御平方御用所	
別1-31-1-3-2-3	覚(御平御切手受取)	年月日未詳	横切紙	1通	伴大介→御平方御用所	
別1-31-1-3-2-4	覚(御平御切手受取)	年月日未詳	横切紙	1通	伴大介→御平方御用所	
別1-31-1-3-2-5	覚(御平御切手請取)	年月日未詳	横切紙	1通	伴大介→御平方御用所	
別1-31-1-3-2-6	覚(御平御切手受取)	年月日未詳	横切紙	1通	伴大介→御平方御用所	
別1-31-1-3-2-7	覚(御平御切手受取)	年月日未詳	横切紙	1通	伴大介→御平方御用所	
別1-31-1-3-2-8	覚(御平御切手受取)	年月日未詳	横切紙	1通	伴大介→御平方御要所	
別1-31-1-3-2-9	[伴大介借財関係書類]			1纏め(1冊1通)		別1-31-1-3-2-9-1~2一纏め 別1-31-1-3-2-9-1が別1-31-1-3-2-9-2を巻き込んでいる
別1-31-1-3-2-9-1	伴大介様借財書抜写	年月日未詳	半・横長	1冊		「酉三月改」とあり
別1-31-1-3-2-9-2	伴大助殿借財一条書抜	年月日未詳	横継紙	1通		
別1-31-1-4	[銀高書付外一括]			1包(4通1括り)		別1-31-1-4-1~5一包
別1-31-1-4-1	[銀高書付]	年月日未詳	横継紙	1通		
別1-31-1-4-2	[銀高貸付書類一括]			1括り(4通)		別1-31-1-4-2-1~4一括り
別1-31-1-4-2-1	[銀高書付]	年月日未詳	横折紙	1通		
別1-31-1-4-2-2	[銀高書付]	年月日未詳	横折紙	1通		
別1-31-1-4-2-3	[銀高書付]	年月日未詳	横折紙	1通		
別1-31-1-4-2-4	[銀高書付]	年月日未詳	横折紙	1通		
別1-31-1-4-3	[銀等数量書付]	年月日未詳	横継紙	1通		
別1-31-1-4-4	[銀等数量書付]	年月日未詳	横継紙	1通		
別1-31-1-4-5	[銀等数量書付]	年月日未詳	横継紙	1通		
別1-31-2	[良介宛三右衛門書状]	年未詳10月	横切紙	1通	金子の出入が解決した事について	(上書)「良介様 三右衛門 金子添」虫損あり
別1-31-3	[良介宛三右衛門書状]	年未詳11月24日	横切紙	1通	百両良介に用立するとの事	(上書)「良介様 三右衛門 百両添」虫損あり
別1-32	[封筒断簡]	年月日未詳		1枚		(上書)「西之浦村 高見和平次」
別1-33	[書状外一括]			1括り(1纏め1包1舗)		別1-33-1~3紐で一括り 紐は2本使用
別1-33-1	[直島関係書類一括]			1包(1括り仮3冊21通1枚3包)		別1-33-1-1~29一包(包紙上書)「天保十二丑年二月改 御恵浜 要用書類」
別1-33-1-1	[大橋源助宛大橋平右衛門書状]	年未詳3月26日	横継紙	1通	御台所より御使が来た件について等	包紙あり(包紙上書)「直島御用所 大橋源助様 倉敷同平右衛門 用事御直」(上書)「御伯父様 平右衛門」
別1-33-1-2	[父宛金平書状]	年未詳2月8日	横継紙	1通	ろうそく等の受取依頼	(上書)「直島御用所二而 御父様 金平 用事」
別1-33-1-3	[書状外一括]			1包(2通)		別1-33-1-3-1~2一包 包紙あり(包紙上書)「御恵浜 要用書 直島御用所二而 大橋源介様 倉敷同金平 用要無異」
別1-33-1-3-1	[父宛金平書状]	年未詳3月25日	横継紙	1通	西座敷取崩の義について外	
別1-33-1-3-2	覚(入用品送り状)	年未詳3月25日	横継紙	1通		
別1-33-1-4	[大橋源助宛三宅源左衛門書状]	丑年2月16日	横切紙	1通	塩浜持稼、地場ならし等の儀について	(上書)「御用所 大橋源助様 従高田浦 玉下」
別1-33-1-5	申定	子年正月	横継紙	1通	公儀の御法度を守る事、賞銭について等各種取り決め	
別1-33-1-6	口上	年未詳2月2日	横継紙	1通	きく太→父上 水門の義について外	
別1-33-1-7	[封筒]	年月日未詳	18.5×4.8	1枚		(封筒上書)「大橋源介様 同喜久太 要用」中身なし

別1-33-1-8	[大橋源介宛書状一括]			1包(2通)		別1-33-1-8-1~2一包(包紙上書)「直島御用所 大橋源介様 同喜久太 用要」
別1-33-1-8-1	[大橋源介宛同喜久太書状]	年未詳2月10日	横継紙	1通	普請の予定について等	(上書)「大橋源介様 同喜久太」
別1-33-1-8-2	[大橋源介宛同喜久太書状]	年未詳2月11日	横継紙	1通	耕作の儀について等	
別1-33-1-9	[大橋源介宛同喜久太書状]	年未詳2月24日	横継紙	1通(3枚)	屋根ふき替の件について外	(上書)「大橋源介様 同喜久太 用要」
別1-33-1-10	[大橋源助宛三宅源左衛門書状]	年未詳閏正月24日	横継紙	1通	酒を差上げるとの事	(上書)「御用所二而大橋源助様 三宅源左衛門書状 玉下」
別1-33-1-11	[父宛金平書状]	年月未詳14日	横継紙	1通	裏借屋の儀について	(上書)「御父様 金平 貴答」
別1-33-1-12	[大橋源介宛河野喜佐衛門書状外一括]			1包(1通1枚1纏め)		別1-33-1-12-1~3一包 包紙あり
別1-33-1-12-1	[大橋源介外2名宛河野喜左衛門書状]	年未詳3月15日	横継紙	1通(2枚)	直島新開手間入りの事について	包紙あり(包紙上書)「大橋源介様 河野喜左衛門 尊下要用書」
別1-33-1-12-2	[大橋正助宛喜衛門書状]	年未詳3月15日	横継紙	1通	□□喜衛門→大橋正介 喜久太の事について外	
別1-33-1-12-3	[書付外一括]			1纏め(1通1枚)		別1-33-1-12-3-1~2一纏め 別1-33-1-12-3-1が別1-33-1-12-3-2を巻き込んでいる
別1-33-1-12-3-1	[汐通し出人足名前書付]	年月日未詳	横切紙	1通	子十一月分	
別1-33-1-12-3-2	[間取図]	年月日未詳	19.3×24.4	1枚		
別1-33-1-13	内考(代銀書付)	年月日未詳	横折紙	1通	「一 貳百目 木挽」外	
別1-33-1-14	[米代銀書上帳]	年月日未詳	半・横長	仮1冊	元大橋、東大橋分「一 米三拾俵 子正月廿六日出金 代七百目」	
別1-33-1-15	[代銀書上帳]	年月日未詳	半・横長	仮1冊	内勤	
別1-33-1-16	[父宛きく太口上]	年未詳2月14日	横継紙	1通	水門普請の事について等	
別1-33-1-17	[大橋源介宛同金平・喜久太書状]	年未詳2月9日	横継紙	1通	霞買付に付、金子入用外	(上書)「大橋源介様 同金平 喜久太 用要」
別1-33-1-18	[大橋源介・金平宛同喜久太書状]	年未詳11月27日	横継紙	1通	普請の事について等	(上書)「大橋源介様 同金平様 同喜久太 用要御答」
別1-33-1-19	[品名書付]	年月日未詳	横切紙	1通		
別1-33-1-20	[はこ札]	年月日未詳		1括り(4枚)	「み恵のはま」「み恵のはま志保」外	包紙あり(包紙上書)「はこぶた」(大きさがまちまちなので形態は省略)
別1-33-1-21	口上(運賃受取)	子年正月	横継紙	1通		
別1-33-1-22	[物品書付]	年月日未詳	横継紙	1通(2枚)	持物覚外	
別1-33-1-23	招常吉舟(日付書付)	年月日未詳	横切紙	1通	「九月 一 七日 十日 十二日(後略)」	
別1-33-1-24	[運賃書付]	子年5月16日~21日				
別1-33-1-25	[定書案]	年月日未詳	横継紙	1通		
別1-33-1-26	[絵図面]	年月日未詳	19.2×25.7	1通	浜子釜焚の賃銭の払い方について等	
別1-33-1-27	[大橋源介宛秋葉五一兵衛書状]	年未詳11月3日	横継紙	1通	台形の図形の長さ(間)を書きいれている	
別1-33-1-28	[大橋金平宛秋庭大夫書状]	年未詳10月26日	横継紙	1通	酒送付の件と直島御用についてのお願い	袋あり(袋上書)「大橋源介様 林屋五一兵衛 貴下」
別1-33-1-29	[金銭書付帳]	年月日未詳	美・横長	仮1冊	浜古、積入舟の事は与島茂左衛門に頼んでもらいたい	袋あり(袋上書)「大橋金平様 秋庭善大夫 貴下」(袋裏書)「茂左衛門義八至而実正(後略)」
別1-33-2	[塩田区画絵図外一括]			1纏め(1枚1舗)		別1-33-2-1~2一纏め(重ね折り)
別1-33-2-1	[塩田区画絵図]	年月日未詳	43.0×74.0	1舗		
別1-33-2-2	[小屋略図]	年月日未詳	横切紙	1枚	壹~十まであり	
別1-33-3	[塩田区画絵図]	年月日未詳	42.7×76.0	1舗		
別1-34	[代銀書上外一括]			1纏め(3通2枚)		別1-34-1~5一纏め
別1-34-1	[金銭書付]	年月日未詳	縦紙	1通		
別1-34-2	[金銭書付]	年月日未詳	縦紙	1通		
別1-34-3	[図面]	年月日未詳	24.4×34.2	1枚		
別1-34-4	[書状包紙]	年未詳7月18日	縦紙	1枚		包紙のみ(包紙上書)「倉敷大橋源助様 大橋平右衛門様 三宅源左衛門 貴下 自直島」
別1-34-5	[金銭書付]	年月日未詳	24.4×33.0	1通	人足賃銭外	
別1-35	[紙袋]	年月日未詳	41.3×35.9	1枚		袋のみ(袋上書)「ト十二和」「宮島屋 仕入」の印あり(袋裏印字)「大極上 形都 御綿ほうし」
別1-36	[地券之証外書類]			1包(6通2枚)		別1-36-1~8一包 包紙あり(包紙上書)「四拾四通」
別1-36-1	第二百八十八番 地券之証	明治6年6月	縦紙	1通	窪屋郡倉敷村持主大橋秀太郎 興除新田中疇分	
別1-36-2	[白紙]	年月日未詳	縦紙	1枚		
別1-36-3	[白紙]	年月日未詳	縦紙	1枚		
別1-36-4	[地所売渡許可申請]	明治7年2月	縦紙	1通	売渡人窪津大紀・買請人大橋憶蔵・副戸長窪津賢	
別1-36-5	記(地代金書付)	成年5月8日	横切紙	1通		
別1-36-6	第五百貳拾七号 地券之証	明治7年3月	縦紙	1通	窪屋郡子位莊村持主窪津有常	
別1-36-7	第百五十七番 地券之証	明治6年6月	縦紙	1通	窪屋郡倉敷村持主大橋秀太郎	
別1-36-8	第二百八拾七番 地券之証	明治6年6月	縦紙	1通	窪屋郡倉敷村持主大橋秀太郎	
別1-37	[人足着到帳]	天保11年		1括り(2冊)		別1-37-1~2紙紐で一括り
別1-37-1	庚子五月 人足着到帳 貳番	庚子年5月28日~6月19日	半・横長	1冊		(表紙裏書)「御用書」

別1-37-2	天保十一年子二月吉日 人足着到帳	天保11年2月13日 ~5月27日	半・横長	1冊		
---------	------------------	----------------------	------	----	--	--

